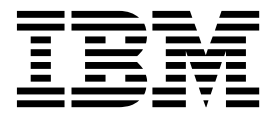


# **IBM Spectrum Protect**

バージョン 8.1.0

サーバー・メッセージとエラー・コード





# **IBM Spectrum Protect**

バージョン 8.1.0

サーバー・メッセージとエラー・コード



— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 857 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Spectrum Protect のバージョン 8 リリース 1 モディフィケーション 0 (製品番号 5725-W98、5725-W99、5725-X15、および 5725-X18) および新しい版で明記されていない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Spectrum Protect  
Version 8.1.0  
Server Messages and Error Codes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1993, 2016.

---

## 目次

本書について . . . . .	v
本書の対象読者 . . . . .	v
資料 . . . . .	v

### 第 1 章 メッセージの概要 . . . . . 1

IBM Spectrum Protect サーバーおよびクライアント のメッセージ形式 . . . . .	1
戻りコード・メッセージの解釈 . . . . .	3
例 1. QUERY EVENT コマンドの場合 . . . . .	3
例 2. DEFINE VOLUME コマンドの場合 . . . . .	4

### 第 2 章 ANE メッセージ . . . . . 5

ANE メッセージ・リスト . . . . .	5
-------------------------	---

### 第 3 章 ANR メッセージ . . . . . 59

ANR メッセージ・リスト . . . . .	59
-------------------------	----

### 第 4 章 サーバー・メッセージの入出力 コードの説明 . . . . . 841

完了コードと命令コードの値の概要 . . . . .	842
----------------------------	-----

デバイス・ドライバーの完了コード: 共通コード	842
デバイス・ドライバーの完了コード: メディア・ チェンジャー . . . . .	844
デバイス・ドライバーの完了コード: 磁気テープ 装置 . . . . .	846
標準の ASC コードと ASCQ コードの説明 . . . . .	848
Windows イベント・ログの ASC コードと ASCQ コード . . . . .	851

### 第 5 章 AIX システム・エラー・ログの デバイス・エラー・コード . . . . . 853

付録. IBM Spectrum Protect 製品ファ ミリーのアクセシビリティ機能 . . . . .	855
---	-----

特記事項 . . . . .	857
----------------	-----

用語集 . . . . .	861
---------------	-----



---

## 本書について

IBM Spectrum Protect™ は、ネットワーク用のエンタープライズ全体のストレージ管理アプリケーションです。これは、マルチベンダーのワークステーション、パーソナル・コンピュータ、およびローカル・エリア・ネットワーク (LAN) ファイル・サーバーに対して自動ストレージ管理サービスを提供します。

本書には、IBM Spectrum Protect サーバーから出されるメッセージの説明および推奨アクションが記載されています。

---

## 本書の対象読者

本書の対象読者は、IBM Spectrum Protect コンポーネントを保守するシステム管理者です。本書では、読者に IBM Spectrum Protect サーバーとクライアントのコンポーネントについて実践的知識があることを前提としています。

---

## 資料

IBM Spectrum Protect 製品ファミリーには、IBM Spectrum Protect Snapshot、IBM Spectrum Protect for Space Management、IBM Spectrum Protect for Databases、およびその他の IBM® のストレージ管理製品が含まれています。

IBM 製品の資料については、IBM Knowledge Center を参照してください。





---

## 第 1 章 メッセージの概要

IBM Spectrum Protect サーバーおよびクライアントで発行されるメッセージ、エラー・コード、および戻りコード。


メッセージおよびコードは、サーバー・コンソール、管理可能クライアント、オペレーター端末、管理用グラフィカル・ユーザー・インターフェース、バックアップ/アーカイブ・クライアント、または階層ストレージ管理クライアント (HSM クライアント) 上に表示されます。

IBM Spectrum Protect は、管理者がサーバー・アクティビティの追跡およびシステムのモニターを行う際に役立つ活動記録ログを提供します。活動記録ログにはサーバーが生成するメッセージが含まれており、これはデータベースに保管されます。サーバーは、指定した保存期間の経過後、活動記録ログからメッセージを自動的に削除します。サーバー・コンソールに送られたメッセージはすべて、活動記録ログに保管されます。活動記録ログに保管されるメッセージ・タイプの例としては、以下のものがあります。

- クライアント・セッションの開始時または終了時
- マイグレーションの開始時または終了時
- バックアップ・ファイルがサーバー・ストレージで有効期限切れとなる時
- バックグラウンド・プロセスから生成される出力

一部のメッセージには説明がないか、収録されていません。クライアントは、バックアップまたはリストアに関する情報を提供する統計をサーバーに送信できます。これらの統計は、通知メッセージであり、各種イベント・ロギング・レシーバーに使用可能または使用不可とすることができます。これらのメッセージは収録されていません。

関連タスク:

 活動記録ログの使用 (V7.1.1)

---

## IBM Spectrum Protect サーバーおよびクライアントのメッセージ形式

IBM Spectrum Protect サーバーおよびクライアントのメッセージは、以下の要素で構成されています。

- 3 文字の接頭部。メッセージには異なる接頭部が付いており、そのメッセージを出す IBM Spectrum Protect コンポーネントを特定する上で役立ちます。通常は、1 つのコンポーネントのすべてのメッセージに同じ接頭部が付きます。場合によっては、1 つのコンポーネントが 2 つまたは 3 つの異なる接頭部が付いたメッセージを出すことがあります。

例えば、バックアップ/アーカイブ・クライアントは ANS 接頭部が付いたメッセージを出します。サーバーのログに記録されるバックアップ/アーカイブ・ク

クライアント・イベントには ANE 接頭部が付きます。サーバー共通メッセージおよびサーバーのプラットフォーム固有のメッセージには、ANR 接頭部が付きます。

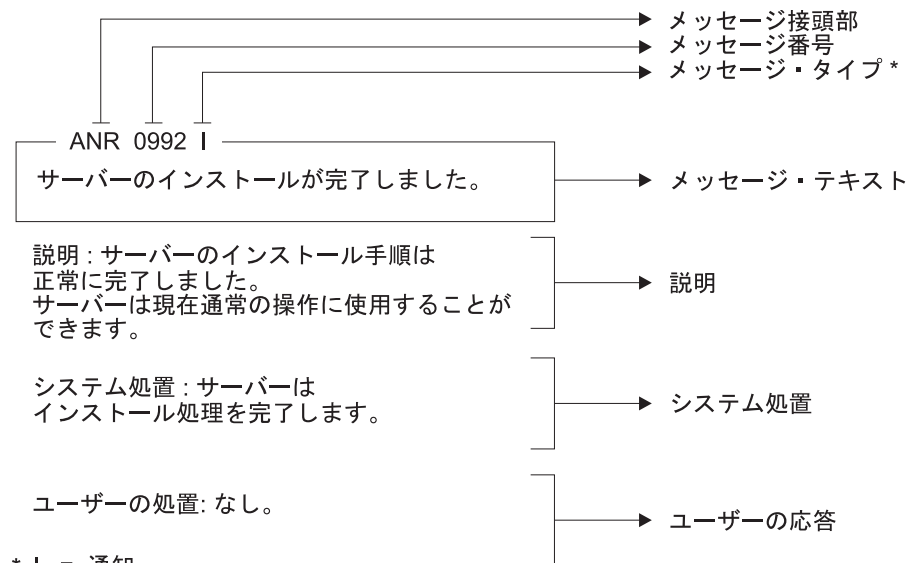
- 数値のメッセージ ID。
- 1 文字の重大度コード。以下のコードは、メッセージが生成される原因となったアクションの重大度を示しています。

コード	重大度	意味
S	重大	製品または製品機能は続行できません。ユーザー応答が必要です。
E	エラー	処理中にエラーが検出されました。処理が停止する可能性があります。ユーザー応答が必要な場合があります。
W	警告	処理は続行しますが、警告の結果、後で問題が生じる可能性があります。
I	通知	処理を続行します。ユーザーの処置は不要です。

- 画面に表示され、メッセージ・ログに書き込まれる、メッセージ・テキスト。
- 説明、システム処置、およびユーザーの応答のテキスト。これらのテキストはメッセージ・テキストを詳しく説明するもので、製品メッセージに関する資料またはコマンド・ライン・ヘルプで参照可能です。

以下のイメージは代表的な IBM Spectrum Protect サーバー・メッセージを示したものです。

付記は、メッセージの各要素を示しています。



\* I = 通知  
 E = エラー  
 S = 重大エラー  
 W = 警告  
 K = 階層ストレージ管理 (HSM) クライアントから発信するカーネル・メッセージ

メッセージ・テキスト中のメッセージ変数は、イタリック体で表示されます。

## 戻りコード・メッセージの解釈

多くの異なるコマンドが、同じ戻りコード を生成することがあります。 以下の例は、2 つの異なるコマンドが出された結果、同じ戻りコードが生成された例を示しています。したがって、コマンドの記述メッセージ を読み取る必要があります。

これらの例では 2 つの異なるコマンドが同じ戻りコードを生成していますが、それらは各コマンドに固有の記述メッセージも戻しています。 2 つのコマンドは、`q event standard dddd` および `def vol cstg05 primary` です。両方とも汎用メッセージを生成し、戻りコードは次のとおりです：

ANS5102I: 戻りコード 11。

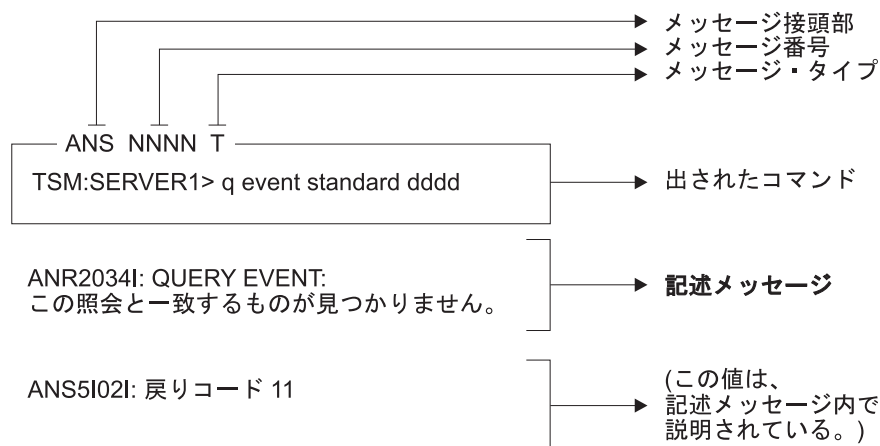
しかし、最初のコマンドは次の記述メッセージも生成しています：

ANR2034I: QUERY EVENT: この照会と一致するものが見つかりません。

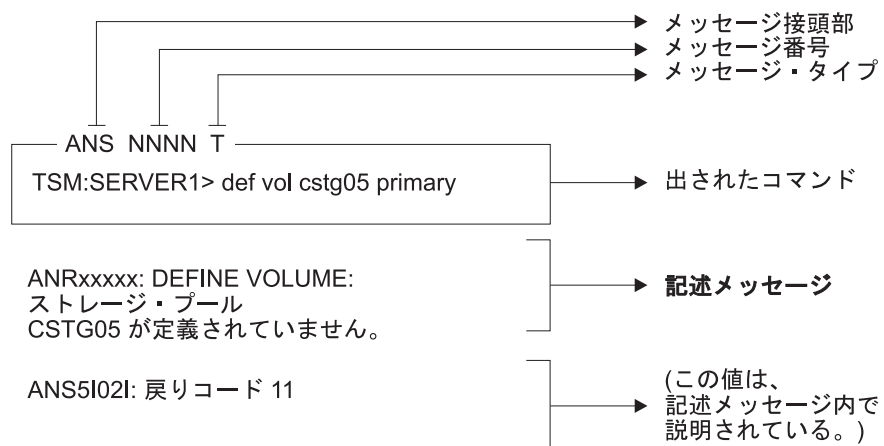
そして 2 番目のコマンドも、次に示す固有のメッセージを生成しています：

ANRxxxx: DEFINE VOLUME: ストレージ・プール CSTG05 が定義されていません。

### 例 1. QUERY EVENT コマンドの場合



## 例 2. DEFINE VOLUME コマンドの場合



---

## 第 2 章 ANE メッセージ

ANE メッセージは、サーバーによって発行されます。ANE 接頭部のついたすべてのメッセージは、サーバーに記録されたクライアント・イベントです。

---

### ANE メッセージ・リスト

メッセージが番号順に昇順でリストされています。メッセージのすべての要素が記載されています。

新規追加、変更、および削除されたサーバー・メッセージのリストについては、サーバーのインストール・ディレクトリー内にある以下のファイルを参照してください。

#### Release\_msg\_chgs

このファイルには、以前のサーバー・バージョンから現行バージョンの間で新規追加、変更、および削除されたすべてのメッセージが含まれます。

#### Maint\_msg\_chgs

このファイルには、現行のサーバー・バージョンから現行リリースの間で新規追加、変更、および削除されたすべてのメッセージが含まれます。

これらのファイルは、*installation\_directory*\doc ディレクトリー (Windows オペレーティング・システム) および *installation\_directory*/server/bin/ ディレクトリー (その他のすべてのオペレーティング・システム) にあります。

これらのファイルは、IBM Spectrum Protect Wiki の 新規、変更、および削除されたサーバー・メッセージ でも参照可能です。

---

**ANE4000E** 「*filespace-name*」の処理中にエラーが発生しました。ファイル・スペースが存在しません。

説明: 指定されたファイル・スペース (ドメイン) が誤っているか、ワークステーション上に存在しません。

-MODE=INCREMENTAL オプションを指定して BACKUP IMAGE コマンドを実行した結果このメッセージが出力された場合は、ユーザーがロー論理ボリュームの名前を入力したことを意味します。

MODE=INCREMENTAL オプションは、ロー論理ボリュームでは無効です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 既存のドメイン (ドライブ名またはファイル・システム名) を指定して操作を再試行してください。メッセージが MODE=INCREMENTAL オプションの不適切な使用の結果表示された場合は、オプションを省略してコマンドを再試行してください。

---

**ANE4001E** ドメイン '*filespace-name*' のファイル・スペースが **IBM Spectrum Protect** サーバーで見つかりませんでした。

説明: 指定されたファイル・スペースはサーバー上にあると期待されましたが、現在は存在しません。現在の操作の進行中にコマンドが実行されて、ファイル・スペースがサーバーから削除された可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が再発する場合は、エラー・ログにこの障害の原因を示す他のメッセージがないかを調べます。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

---

**ANE4002E** '*filespace-name*' を処理中のエラー: ボリューム・ラベルが存在しない。

## ANE4003E • ANE4008E

説明: 選択されたドライブにはラベルがありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、入力されたドライブまたはラベルがないと、要求された操作を実行できません。

ユーザーの処置: ドライブがフロッピー・ドライブである場合、ボリューム・ラベルの付いたディスクをそこにに入れて、操作を再試行してください。ディスクがハード・ディスクである場合、ドライブにボリューム・ラベルがあることを確認して、操作を再試行してください。

---

**ANE4003E** 'filespace-name' を処理中のエラー: 重複ボリューム・ラベルが検出されました。

説明: 選択したドライブには重複ボリューム・ラベルがあります。IBM Spectrum Protect はボリューム・ラベルを使用して、バックアップ・アーカイブ情報を追跡するので、重複ボリューム・ラベルを持つドライブからファイルをバックアップまたはアーカイブすることはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はドライブを選択することができません。

ユーザーの処置: このボリュームをシステムで使用できるようにする必要がある場合には、IBM Spectrum Protect を終了して、ドライブにボリューム・ラベルを割り当ててください。IBM Spectrum Protect を再始動し、操作を再試行します。

---

**ANE4004E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: 宛先ファイルおよびディレクトリは書き込みロックされています。

説明: 宛先が書き込みロックされているため、サーバーからリストアまたはリトリブされているファイルまたはディレクトリに書き込むことができません。別の操作がファイルをオープンしていて、更新を許可していない可能性があります。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: ファイルを書き込みロックした操作を判別するか、ファイルを別の名前または場所にリストアします。

---

**ANE4005E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイルが見つかりません。

説明: バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションの処理が行われているファイルは、既にクライアント上に存在しません。IBM Spectrum Protect によるバックアップ、アーカイブまたはマイグレーションが行われる前に、他のプロセスがファイルを削除しました。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANE4006E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ディレクトリ・パスが見つからない。

説明: IBM Spectrum Protect からディレクトリにアクセスしようとしたときに、「パスが見つからない」という状況がオペレーティング・システムから戻されました。メッセージに示された存在していないディレクトリ (path-name) を指定したか、IBM Spectrum Protect でディレクトリをバックアップまたはアーカイブする前に別のプロセスによって削除されたため、処理対象のディレクトリがクライアント上に存在しません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: スペルや句読点、特にディレクトリ区切り文字 (例えば、「¥」など) の配置をすべて再チェックしてください。構文が間違っている場合は、訂正してから操作を再試行してください。パスが正しく指定され、ディレクトリが実際に存在していることを確認してください。正しいパスとディレクトリ名を指定して、コマンドをやり直してください。ディレクトリ名を訂正できない場合は、除外オプションを使用してこのディレクトリを操作から除外してください。

---

**ANE4007E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: オブジェクトへのアクセスがリジェクトされた。

説明: 指定されたファイルまたはディレクトリへのアクセスが拒否されました。ファイルの読み取りまたはファイルへの書き込みを試行しましたが、ファイルまたはディレクトリへのアクセス許可がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリ名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

---

**ANE4008E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。ファイルは一時的に使用不可です。

説明: ファイルは一時的に使用不可です。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: ファイルが別のプロセスによってロックされていないか確認してください。そうでない場合、コマンドを再試行してください。

---

**ANE4009E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ディスクが満杯状態です

説明: 宛先ディスクがフルであるため、これ以上のファイルをリストアまたはリトリブできません。

システムの処置: クライアントは、ユーザーのアクションを要求しています。

- このオブジェクトの再試行
- このオブジェクトのスキップ
- アクションの打ち切り

ユーザーの処置: このオブジェクトの適切なアクションを選択してください。操作を再試行する前に、宛先ディスクでフリー・スペースを作成します。もう 1 つのオプションとして、ファイルを別のディスクにリストア、またはリトリブしてください。

---

**ANE4010E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。不整合の NFS ハンドルです。

説明: NFS ファイル・システムが不整合になっています。

システムの処置: ファイル・システムはスキップされました。

ユーザーの処置: NFS マウント・ファイル・システムを確認してください。

---

**ANE4011E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: 使用可能なファイル・ハンドルがない。

説明: システムのファイル・ハンドルはすべて現在使用中です。使用可能なものはありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他のプロセスを終了して一部のファイル・ハンドルを解放するか、システム・セットアップを変更して同時にオープンできるファイルの数を増やします。

---

**ANE4012E** 'filespace namepath-namefile-name' は既に存在しています。これはスキップされます。

説明: クライアントは指定のファイルをリストアまたはリトリブしようとしたましたが、ファイルはリストアの出力先の場所に既に存在しており、ユーザーは既存のファイルを置き換えない選択をしました。

システムの処置: このファイルはスキップされ、メッセージが dsmerror.log に記録されます。リストア処理ま

たはリトリブ処理は、次のオブジェクトを対象に引き続き実行されます。

ユーザーの処置: このファイルがスキップされた理由は、REPLACE NO が有効であった (それによって既存のすべてのファイルおよびディレクトリーがスキップされた) か、あるいは REPLACE PROMPT が有効であったかのいずれかであり、プロンプトが出されたときに、ユーザーはこのファイルまたは既存のすべてのディレクトリーおよびファイルをスキップすることを選択しました。意図的にファイルをスキップすることにしたのであれば、これ以上の措置は不要です。それ以外の場合は、REPLACE または ALL REPLACE PROMPT を使用して操作を再試行できます。

---

**ANE4013E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: 無効なファイル・ハンドル

説明: 内部システム・エラーが発生しました。無効なファイル・ハンドルが受け渡されたため、ファイル操作は失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: この問題をシステム管理者に報告してから、操作を再試行してください。

---

**ANE4014E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。不明なシステム・エラー (error-code) が発生しました。プログラムは終了します。

説明: クライアント・プログラム内で、認識されない、予期しない error-code が発生しました。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続く場合は、エラーを IBM Spectrum Protect 管理者に報告してください。

---

**ANE4015E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。予期しない IBM Spectrum Protect エラー (error-code) が検出されました。

説明: 予期しないエラーが発生しました。これは IBM Spectrum Protect が処理または回復することができない、低レベルのシステムまたは通信エラーの可能性がありま

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続く場合は、システム問題のその他の指示を探し

て、どこに問題があるかを判別してください。ほとんどのシステムには、追加情報が含まれていることがあるエラーまたはイベント・ログがあります。システム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、さらに援助を求めてください。

---

**ANE4016E** 'filespace namepath-namefile-name' プロセス中のエラー：ファイルは実行中。書き込み許可がリジェクトされました。

説明： 現行ファイルは、現在、別の操作によって実行されているため、オープンして書き込むことができません。

システムの処置： ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置： ファイルを実行している操作を停止して、操作を再試行するか、ファイルを異なる名前またはディレクトリーにリストアまたはリトリートします。

---

**ANE4017E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：名前の解決中に検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

説明： ファイル名の解決を試行しているときに検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

システムの処置： ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置： ファイルにループ・シンボリック・リンクがないことを確認してください。

---

**ANE4018E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：ファイル名が長すぎます。

説明： 指定されたファイル名は、IBM Spectrum Protect が処理するには長すぎます。

システムの処置： ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置： 特定オペレーティング・システム用の該当する「バックアップ・アーカイブ・クライアントの使用」資料で IBM Spectrum Protect によって処理されるファイル名を確認してください。

---

**ANE4019E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中にエラー：ファイル・システムがシステムによってロックされています。

説明： システムによってロックされているため、ファイル・システムにアクセスできません。

システムの処置： IBM Spectrum Protect は、操作を完了できません。

ユーザーの処置： システム管理者にご相談ください。

---

**ANE4020E** オブジェクトのデータ形式 'filespace namepath-namefile-name' が不明です。不明のフォーマットは、通常、ファイルがより最近のバージョンの **IBM Spectrum Protect** でバックアップまたはアーカイブされたときに発生します。

説明： ファイルがバックアップまたはアーカイブされる時、IBM Spectrum Protect にはファイルに関する追加情報がいくらか組み込まれます。IBM Spectrum Protect がリストアまたはリトリート操作時にその情報を認識できない場合に、このメッセージが出されます。この問題の原因として一番考えられるのは、ファイルがより新しいバージョンの IBM Spectrum Protect でバックアップまたはアーカイブされたことです。大/小文字を保持するものの、大/小文字を区別しないファイル・システムからファイルがバックアップされた場合、表示されるファイル名の大/小文字が誤っている可能性があります。ファイルはスキップされるので、大/小文字の誤りが処理に他の影響を与えることはありません。

システムの処置： ファイルはリストアもリトリートもされません。次のファイルで処理を続行します。

ユーザーの処置： 現行バージョンの IBM Spectrum Protect クライアント・ソフトウェアを使用してリストアまたはリトリート操作を試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

---

**ANE4021E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：ファイル・システムが作動不能です。

説明： ファイル・システム/ドライブでアクセスの準備ができていません。

システムの処置： 処理は停止しました。

ユーザーの処置： ドライブが IBM Spectrum Protect にとって利用可能であることを確認し、操作を再試行します。

---

**ANE4022E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中にエラー：ファイル・システムが無効です。

説明： ドライブをアクセス用に使用できませんでした。

システムの処置： 処理は停止します。

ユーザーの処置： ドライブが操作可能であることを確認し、操作を再試行してください。うまくいかない場合、エラー・ログを調べてください。



---

**ANE4023E** 'filespace namepath-namefile-name': ファイルの入出力エラーです

説明: ファイルの読み取り中またはファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。OS/2 の場合、障害を起こしたドライブに対して CHKDSK /F を実行してください。該当ドライブは、dsmerror.log で見つけることができます。

---

**ANE4024E** 'filespace namepath-namefile-name': ファイルの書き込みエラーです

説明: ファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。

---

**ANE4025E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイルがユーザーまたはシステム・ファイルの限界値を超えています。

説明: バックアップ/リストアまたはアーカイブ/リトリブを行っているファイルが、このユーザー用のシステム設定制限を超えました。下記に、さまざまなプラットフォームに対応するファイル・サイズ制限を示します。

**AIX** 68,589,453,312 (64GB)

**HP-UX**  
1,099,511,627,775 (1TB-1)

**Linux** 2,147,483,647 (2GB)

**Mac OS9** より前  
2,147,482,624 (2GB-1K)

**Mac OS9**  
18,446,744,073,709,551,616 (16EB)

**NetWare**  
4,294,963,200 (4GB -4KB)

**NUMA-Q DYNIX/ptx**  
4.5 1,095,216,660,480 (1TB-4GB)

**OS/390**  
4,294,967,295 (4GB)

**SGI** 18,446,744,073,709,551,615 (16EB-1)

**Solaris 2.6** 以上  
1,099,511,627,775 (1TB-1)

**Tru64 UNIX**  
1,099,511,627,776 (1TB)

**UnixWare**  
2,147,483,647 (2GB)

**Windows ME (FAT32)**  
4,294,967,295 (4GB)

**Windows NT/2000 (NTFS)**  
17,592,185,978,880 (16TB-64K)

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: システムしきい値が適切に設定されていることを確認してください。

---

**ANE4026W** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。'file-size' のサイズがシステムの最大ファイル・サイズ制限を超えました。

説明: システムの最大ファイル・サイズ制限を超えているファイルのリストアまたはリトリブを試行しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをリストアまたはリトリブできません。

ユーザーの処置: このファイルのサイズをサポートするシステムで、このファイルをリストアまたはリトリブしてください。システム管理者にご相談ください。

---

**ANE4027S** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。内部プログラム・メッセージ 'value' が出されました。

説明: 予期しない重大なプログラム障害が発生しました。value に示されています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者またはサービス担当員に連絡してください。

---

**ANE4028E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。ファイル/ディレクトリー項目を作成できません。

説明: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリー・パスを作成できません。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリーを作成するための適切な許可を取得していることを確認してください。

**ANE4029E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラー: ディレクトリー・パスを構築できません。ディレクトリーと同じ名前のファイルが存在しています。

説明: IBM Spectrum Protect はディレクトリー・パスの作成を試みましたが、ディレクトリーと同じ名前を持つファイルが存在するために、作成することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディレクトリーと同じ名前を持つファイルを除去します。 前回のリストア/リトリブ操作を参照して、パスに沿ってすべてのディレクトリーを確認してください。

**ANE4030E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: このプロセスのディスク・スペースの限界値に達しました。

説明: クライアント所有者に割り振られたディスク・スペースがフルです。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放して、リストアまたはリトリブ操作を再試行してください。

**ANE4031E** 「file\_space\_namepath\_namefile\_name」の処理中にエラーが発生しました。 名前が内部の **IBM Spectrum Protect** の最大値を超えています。

説明: IBM Spectrum Protect でのファイル操作時に、内部の IBM Spectrum Protect の最大値を超えているファイル名が、ファイル名の構成要素 (file\_space\_name、path\_name、directory\_name または file\_name) のうちの 1 つ以上で検出されました。

file\_space\_name、path\_name、directory\_name または file\_name に対して、内部の IBM Spectrum Protect の最大値は、オペレーティング・システムの最大値とは別に考える必要があります。

さまざまなプラットフォームにおける IBM Spectrum Protect の内部ファイル名の最大値を以下に示します。

AIX HP-UX Solaris	
File_space_name	1024
Path_name or directory_name	1023
File_name	256

Linux	
File_space_name	1024
Path_name or directory_name	768
File_name	256

Windows XP/2000/2003

File_space_name	1024
Path_name or directory_name	248
File_name	248

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイル名のサイズを縮小して、IBM Spectrum Protect の内部の最大値より小さくなるようにしてください。

**ANE4032E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイルが圧縮されていません。

説明: 圧縮のフラグを立てられたファイルが圧縮されていなかったため、システムで障害が発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システム管理者にこの問題を報告してください。 このエラーはシステム障害です。

**ANE4033E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイルはメモリーの大きい他のマシン上で圧縮されています。

説明: リストアを試行しているファイルは、ご使用のクライアント・ワークステーションより多くのメモリーを持つ別のクライアント・ワークステーションでバックアップおよび圧縮されています。 このファイルはリストアできません。 ファイルをリストアして解凍するには、ご使用のワークステーションのメモリーは不十分です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、操作を取り消しました。

ユーザーの処置: より多くのメモリーを持つマシンを手入して、操作を再試行してください。

**ANE4034E** 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: 不明のシステム・エラー。

説明: 不明なエラーが発生しました。 これは IBM Spectrum Protect が処理または回復することができない、低レベルのシステムまたは通信エラーの可能性あります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、問題がある場所を判別してください。システム管理者にさらなる支援を要請してください。

**ANE4035W** ファイル '*filepath namepath-namefile-name*' は、現在サーバー上で使用不可です。

説明: 現在 IBM Spectrum Protect サーバーから使用不可なファイルのリストアまたはリトリートを試行しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをリストアまたはリトリートできません。

ユーザーの処置: ファイルがサーバーで使用可能になってから、リストアまたはリトリートを試行してください。システム管理者にご相談ください。

**ANE4036E** レジストリー・キーの保存中にエラーが発生しました。

説明: 活動レジストリー・キーを ADSM.SYS ステージング・ディレクトリーにコピーできません。

システムの処置: レジストリーのバックアップ操作は終了します。

ユーザーの処置: Windows ブート区画の使用可能なスペースをチェックし、Windows レジストリーのコピーを格納するスペースがあることを確認します。これには数メガバイトのフリー・スペースが必要なことがあります。ADSM.SYS ステージング・ディレクトリーの Windows 許可も確認してください。それと共に IBM Spectrum Protect 実行下の Windows ユーザーが、そのディレクトリーと内容への全アクセス権限を持っていることを確認してください。

**ANE4037E** 処理中にオブジェクト '*file-namefile-namefile-name*' が変更されています。オブジェクトはスキップされました。

説明: 指定された *file-name* は、処理を試行したときに変更中であったため、バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションでスキップされました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、オブジェクトをスキップしました。

ユーザーの処置: このファイルをバックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションしたい場合には、操作をやり直してください。これが失敗した場合は、オブジェクトが変更されている理由を判別してください。変更中のオブジェクトのバックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションの詳細については、システム管理者に照会してください。

**ANE4038E** ファイル・システム '*filepath name*' の処理中にエラーが発生しました。

説明: ファイル・システムは破損しているか、1 つ以上の破損したディレクトリーが含まれているため、処理できません。

システムの処置: ファイル・システムはスキップされました。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。Windows 環境の場合、障害を起こしたドライブに対して CHKDSK ユーティリティーを実行します。壊れたディレクトリーの詳細については、*dsmerror.log* に記載されています。

**ANE4039E** '*filepath namepath-namefile-name*' の処理中にエラー。圧縮ファイルが壊れていて、解凍できません。

説明: 以下のいずれかの理由により、圧縮ファイルを正しく解凍できません。

テープに問題がある。

通信に問題がある。

圧縮ファイルが TSM サーバー上で破損した。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: 1) テープに問題があるため圧縮ファイルが破損した。これが問題であるかどうかを調べるには、TSM サーバーで次のコマンドを発行してください。audit volume <volume\_name> fix=no 問題が報告された場合は、該当のテープ・ボリウムから新しいボリウムにデータを移動して (MOVE DATA コマンドを参照)、リストアを再試行することができます。2) TSM サーバーと TSM クライアント間の通信に問題があり、その結果として、転送中にファイルが破損した。サーバーでギガビット・イーサネット・アダプターを使用している場合は、カード・ドライバをアップグレードするか (AIX プラットフォームの場合)、または、SUN が提供する、いくつかのシステム・ネットワーク・オプションへの推奨される変更 (この問題を解決済み) を追加してください (SUN プラットフォームの場合)。3) リストア中に、ファイル破損の発生元の TSM クライアント/サーバー間に問題がなかったか、ネットワーク・サポート担当者に確認してください。

**ANE4040E** '*filepath namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。ファイル・システム *filepath name* がそのスペース管理割り当て量を超えています。

説明: IBM Spectrum Protect が、ファイル・システムがその割り当て量を超えていることを検出しました。

このファイル・システムからこれ以上のデータをマイグレーションできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムからファイルをマイグレーションしません。

ユーザーの処置: いくつかのファイルを再呼び出しするか、システム管理者にこのファイル・システムの割り当て量を増やすよう依頼してください。

---

**ANE4041W** 'file-space namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイル・システムにマイグレーションまたは再呼び出しのためのフリー・スペースまたはフリー i ノードがありません。

説明: ファイル・システムがフルです。ファイルのマイグレーションまたは再呼び出しに必要なトランザクション・ファイルに割り振るために使用できるフリー・スペースまたはフリー i ノードがこれ以上ありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムの現行操作を終了します。

ユーザーの処置: ファイル・システム内のファイルをいくつか除去してから、調整を実行してください。操作を再試行してください。

---

**ANE4042E** オブジェクト名 'file-space namepath-namefile-name' に 1 つ以上の認識されない文字が含まれているため、無効です。

説明: ファイル名、ディレクトリー名、またはボリューム・ラベル構文が正しくありません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ディスクでエラーが発生していないか確認してください。

---

**ANE4043I** 再呼び出しされたオブジェクトの総数:  
Number of objects

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4044E** 'file-space namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。大/小文字の区別がある名前が競合しています。

説明: ワークステーションで指定されたファイルの処理中に、大/小文字のみが異なる類似の名前を持つ別のファイル名が検出されました。バックアップ・アーカイブ・クライアントは、このプラットフォームでは大/小文字のみが異なる複数の名前を許可せず、ファイルの保全性を保証できないため、このファイルはスキップされます。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 問題のファイルの名前を固有の名前に変更してください。

---

**ANE4045E** 'file-space namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。大/小文字の区別がある名前が競合しています。このディレクトリー・ツリーはスキップされます。

説明: ワークステーションで指定されたファイルの処理中に、大/小文字のみが異なる類似の名前を持つ別のオブジェクト名が検出されました。バックアップ・アーカイブ・クライアントは、このプラットフォームでは大/小文字のみが異なる複数の名前を許可せず、ファイルの保全性を保証できないため、このディレクトリーおよびその中のすべてのオブジェクトはスキップされます。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 問題のファイルの名前を固有の名前に変更してください。

---

**ANE4046E** 'file-space namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。このオブジェクトは壊れており、読み取り不能です。

説明: 壊れているファイルまたはディレクトリーの読み取りまたはファイルまたはディレクトリーへの書き込みが試行されました。壊れているファイルはスキップされます。これがディレクトリーである場合は、ディレクトリーおよびそのサブディレクトリーに含まれるオブジェクトはスキップされます。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: chkdsk (Windows) または fsck (UNIX) などのシステム・ツールを使用して、システム

でファイル・スペースが壊れていないか確認してください。

---

**ANE4047E** 'file-namefile-namefile-name' で読み取りエラーが発生しています。このファイルはスキップされます。

説明: 指定された *file-name* をバックアップ/アーカイブ中に読み取ることができなかったため、このファイルはスキップされました。

JFS2 スナップショットをベースとした操作を実行している場合は、スナップショットの大きさが、スナップショットの作成後にファイル・システムに対して行われたすべての変更を含めるのに十分ではなかったことが考えられます。これが原因でスナップショットが無効になったために、IBM Spectrum Protect クライアントがスナップショットを読み取れなかった可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをスキップしました。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。

JFS2 スナップショットをベースにした操作を実行している場合は、デフォルトの *snapshotcachesize* である 100% を使用し、ボリューム・グループに少なくともファイル・システムと同じ大きさのスナップショットを割り振るのに十分なディスク・スペースがあることを確認して、操作を再試行してください。

---

**ANE4048W** LAN フリー接続が失敗しました。

説明: このセッションで ENABLELANFREE オプションが YES に設定されていますが、LAN フリー接続を確立する試行が失敗しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは、非 LAN フリー・サポートにフェイルオーバーします。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect *error.log* で LAN フリーの失敗について調べてください。LAN フリー・セットアップを調べて、すべてのコンポーネントが正しく機能していることを確認してください。

---

**ANE4049I** LAN フリー接続を確立しました。

説明: このセッションで ENABLELANFREE オプションが YES に設定され、IBM Spectrum Protect クライアントは LAN フリー接続の中断後にサーバーとの LAN フリー接続を正常に確立しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは、LAN フリーを介してサーバーと通信します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect *error.log* で

LAN フリー・エラーについて調べてください。LAN フリー・セットアップを調べて、すべてのコンポーネントが正しく機能していることを確認してください。

---

**ANE4050W** IBM Spectrum Protect 管理者がクライアント上でスケジュール・アクションを実行できなくなっているため、スケジュール '*schedule-name*' のスケジュール・アクション '*schedule-action*' は実行できませんでした。

説明: クライアント・オプション (*schedcmddisabled*、*srvprepostscheddisabled*、*srvprepostsnapdisabled*、*restretscheddisabled*) の 1 つ以上がクライアント上で YES に設定されているため、IBM Spectrum Protect 管理者は、クライアント上でスケジュール・アクション (*preschedule*、*postschedule*、*presnapshot*、*postsnapshot*) のいずれか、またはスケジュールされたオペレーティング・システム・コマンド、リストア操作、またはリトリブ操作を実行できなくなっています。

システムの処置: スケジュールされた操作は実行されず、そのことを示すメッセージが IBM Spectrum Protect サーバーのログに記録されます。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4051E** '*filespace namepath-namefile-name*' の処理エラー: 復号オプションが有効ですが、バックアップまたはアーカイブの実行で使用されているユーザー ID にはこの暗号化ファイル・システム (EFS) ファイルを復号する許可がありません。

説明: 処理中のファイルは暗号化ファイル・システム (EFS) によって暗号化されています。このオプションはファイルを復号された形式でバックアップまたはアーカイブするために指定します。バックアップまたはアーカイブの実行で使用されているユーザー ID には、このファイルを復号する権限がありません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 復号作業を行う方法として、以下の 3 つが考えられます。

- 所有者とバックアップ・アーカイブ用ユーザー ID の両方が属するグループの暗号鍵を使用してファイルを暗号化し直す
- バックアップ・アーカイブ用ユーザー ID をこのファイルの復号許可を持つユーザーのリストに追加する
- 可能であれば、所有者のユーザー ID を使用してバックアップまたはアーカイブを実行する

**ANE4052E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理エラー: 暗号化ファイル・システム (EFS) ファイルをリストアできません。ファイル・システムが未加工の EFS バックアップ・データからのリストアをサポートしないため、または、おそらくそのリストア機能にこのディレクトリーへの書き込み権限がないためです。

説明: 処理中のファイルは暗号化ファイル・システム (EFS) によって暗号化されています。このファイルは未加工の暗号化形式でバックアップされました。ターゲット・ファイル・システムは暗号化フォーマットをサポートしていないか、またはリストアに、ファイルのリストア先ディレクトリーへの書き込みアクセスがない可能性があります。

システムの処置: リストアは終了します。

ユーザーの処置:

- ファイル・システムが AIX 拡張ジャーナル済みファイル・システム (JFS2) でない場合は、ファイルをこのロケーションにリストアすることはできません。
- ファイルが JFS2 であっても EFS が使用可能に設定されていない場合は、EFS を使用可能にしないとファイルをリストアできません。
- リストアの実行で使用されているユーザー ID にそのディレクトリーへの書き込み許可がない場合は、その許可を変更するか、リストアを別のユーザー ID で実行する必要があります。

**ANE4053E** 'filespace path filename' の処理エラーが発生しました。ファイル・システムまたはオペレーティング・システムで暗号化ファイル・システム (EFS) データがサポートされていないため、ファイルをリストアできません。

説明: 指定されたオブジェクトは、未加工の暗号化ファイル・システム (EFS) データとしてバックアップされました。クライアントは、EFS データをサポートしない宛先にこのオブジェクトをリストアまたはリトリブしようとしています。このロケーションは、以下のいずれかの理由で EFS データをサポートしていない可能性があります。

- オペレーティング・システムがサポートを提供していないか、このリリースにサポートが含まれていない
- オペレーティング・システムで EFS のサポートがアクティブになっていない
- ターゲット・ファイル・システムが EFS データをサポートしていない

システムの処置: オブジェクトはリストアまたはリトリ

ーブされません。次のオブジェクトによって処理を続行します。

ユーザーの処置: このファイルをリストアする必要がある場合は、EFS データをサポートする AIX オペレーティング・システム環境にリストアしてください。

**ANE4054E** 'filespace namepath-namefile-name' の処理エラー: 指定された暗号鍵がロードされていません。

説明: 処理中のファイルは暗号化ファイル・システム (EFS) によって暗号化されています。オプションは、復号された形式でファイルをバックアップまたはアーカイブするように指定されています。ファイルの復号に必要な暗号鍵がカーネル鍵リングにロードされていません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: この問題は、次の 3 つの状態が発生します。

- AIX システムで EFS の初期活動化を実行したばかりで、まだログアウトしていない。AIX は初期活動化時に実行されていたセッションの鍵をロードします。ソリューション: ログアウトし、再度ログインしてください。
- 最近ログイン・パスワードを変更しており、通常はログイン・パスワードと同じ EFS パスワードを使用して実行している。ログイン・パスワードを変更した場合、AIX は自動的に EFS パスワードを変更しません。ソリューション: 'efskeymgr -n' を発行して、EFS パスワードをログイン・パスワードと同じになるように設定します。
- EFS パスワードがログイン・パスワードと異なる場合、バックアップの復号を実行する必要がある。ソリューション: 'efskeymgr -o ksh' を発行し、ロードされた鍵を使用して新規シェルを起動します。シェルの起動すると、AIX により EFS パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。新規シェルからバックアップを実行します。

**ANE4055E** ファイル・スペース「filespace-name」を更新できません。IBM Spectrum Protect サーバー上のファイル・スペース・バージョンは、このクライアントと互換性がありません。

説明: IBM Spectrum Protect サーバー上のファイル・スペースは、このクライアントと互換性がありません。これが起きた原因は、あるクライアントでバックアップ操作またはアーカイブ操作を行ってから、下位レベルのクライアントで同じファイル・スペースを対象としてバックアップ操作またはアーカイブ操作を試行したことで

す。

具体的には、Windows または AIX クライアント V6.1 以上でバックアップ操作またはアーカイブ操作を行ってから、その後のバックアップ操作またはアーカイブ操作をクライアント V5.5 以下で試行すると、この問題が起きます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいレベルのクライアントを使用してください。

---

**ANE4056E IBM Spectrum Protect** サーバーによって返されるオブジェクト '*object-name*' には、**6000** 文字の最大長を超える高位名が付いています。ファイルおよびディレクトリーを処理することができません。

説明: 6000 文字を超える高位名を持つバックアップまたはアーカイブ・バージョンについて、IBM Spectrum Protect サーバーが情報を戻しました。高位名とは、オブジェクト (ファイルまたはディレクトリー) が含まれるディレクトリー・パスです。

このメッセージは、以下のすべての条件が該当する場合に表示されます。

- オブジェクトが、バージョン 6.1 以前の IBM Spectrum Protect クライアントによってバックアップまたはアーカイブされた場合。
- オブジェクトが、バージョン 5.5 以前の IBM Spectrum Protect サーバーにバックアップまたはアーカイブされた場合。
- バージョン 6.2 以降の IBM Spectrum Protect クライアントが、このオブジェクトに関する情報を IBM Spectrum Protect サーバーからクライアントに返す操作を試行している場合。注: 増分バックアップ中は、変更されたファイルの判別に使用する活動バックアップ・バージョンについての情報を、サーバーがクライアントに返します。

IBM Spectrum Protect サーバーのバージョン 6.1 以降では、高位名の最大長が 8192 文字から 6000 文字に削減されました。6000 文字を超える高位名を持つオブジェクトは、バックアップおよびアーカイブではサポートされていません。IBM Spectrum Protect バックアップ・アーカイブ・クライアントのバージョン 6.2 以降でも、同様に高位名の最大長が削減されました。

システムの処置: メッセージに指定されたファイルまたはディレクトリーはスキップされます。処理は次のオブジェクトから続行されます。

ユーザーの処置: さらに支援が必要な場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡してください。

---

**ANE4057I** 2 次サーバーは読み取り専用として構成されています。 *file-space-name*; のアクセスは読み取り専用で構成されていますが、この要求には読み取り/書き込みアクセスが必要です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4058I** ノード複製フェイルオーバー値をオプション・ファイルに保存中に書き込み障害が発生しました。

説明: 書き込み障害は、オプション・ファイルへのアクセス許可が不十分である場合に発生することが多いですが、使用可能なディスク・スペースが不足している場合にも発生する可能性があります。複製サーバーの接続情報を保存することができず、フェイルオーバーを行うことができません。

システムの処置: 操作は失敗しました。

ユーザーの処置: ローカル・ディスクに書き込みエラーの原因がないか確認し、オプション・ファイルに対して十分なアクセスが構成されているかを確認してください。

---

**ANE4059I** オプション **USERREPLICATIONFailover** が設定されています。ノードは、2 次サーバーへのフェイルオーバーを試行しません。

説明: このオプションを使用すると、1 次サーバーに障害が発生した場合に、ノードは複製サーバーに接続しません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 管理者が設定した構成は、オプション・ファイルに保存されます。クライアントは、1 次サーバーに接続することができず、処理は停止します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

---

**ANE4060I** 2 次サーバーに対してフェイルオーバー・モードでセッションが確立されました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4061I** フェイルオーバー・モードで 2 次サーバー *secondary server*; に接続されました。ホーム・サーバーは *home server*; です。

説明: ノードの複製が構成されており、2 次サーバーへの接続が正常に完了しました。このメッセージは、サーバー管理者に対して、ノードがフェイルオーバー・モードで 2 次サーバーに接続されたことを通知するためのものです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANE4062I** 2 次サーバーのアクセスが構成されていません。ファイル・スペース *file-space-name*; に対するアクセスが構成されていません。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4063W** **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護は、VM 'VM' から **SqlServerWriter.xml** および/または **SQLDBINFO.XML** ファイルをコピーしませんでした。このバックアップからの個別の **SQL** データベース・リストアはサポートされていません。

説明: SqlServerWriter.xml および/または sqldbinfo.xml ファイルがゲスト・マシン上で見つかりませんでした。

システムの処置: 操作は完了します。ただし、SqlServerWriter.xml または sqldbinfo.xml ファイルはコピーされませんでした。

ユーザーの処置: 「SQL Server VSS Writer」サービスおよび「SQL Server」サービスがこのゲスト・マシン上で実行されていることを確認してください。その後で、操作を再試行してください。

---

**ANE4064I** 組織 '*org name*' の組織 **VDC** '*org vdc name*' から **vCloud Director vApp** '*vapp name*' をリストアしています。ターゲット **vApp** 名は '*restored vapp name*' です。

**Restore VAPP** コマンドが開始されました。処理する **vApp** の総数: *vapps num to restore*

説明: リストア vApp 操作は完了しました。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANE4065E** プロキシが拒否されました。データ・ムーバー・ノード '*dm node*' には、組織 '*Org Name*' の組織 **VDC** '*OVDC name*' に関連付けられたターゲット・ノード '*target\_node*' に対するプロキシ権限が付与されていません。

説明: この操作を行うには、データ・センター・ノードのプロキシ・アクセスがデータ・ムーバー・ノードに付与されている必要があります。

システムの処置: 指定された vApp に対する操作は取り消されます。

ユーザーの処置: 構成ウィザードまたは構成エディターを実行して、適切なノード関係を構成してください。

---

**ANE4076I** *hypervisor* 仮想マシン '*vmname*' を初めてバックアップしています。ターゲット・ノード名: '*target\_node\_name*' データ・ムーバー・ノード名: '*data\_mover\_node\_name*'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4077E** ファイル '*filepath namepath-namefile-name*' は、**Microsoft EFS** によって暗号化され、少なくとも 1 つの疎データ・ストリームを含んでいます。オペレーティング・システムは、このファイルのリストアをサポートしないため、そのファイルはバックアップもリストアもされません。

説明: Microsoft Windows API 内のエラーのため、以下の条件を満たすファイルは正常にリストアされません。

- ファイルが、バックアップされた時点で Microsoft 暗号化ファイル・システム (EFS) によって暗号化される



- ファイルにスペースのデータ・ストリーム (代替「名前付き」ストリームまたは名前なしストリーム) が 1 つ以上含まれている。
- オペレーティング・システムが Microsoft XP、Microsoft Windows Server 2003、または Microsoft Windows Server 2003 R2 のいずれかのエディションである

ファイルをリストアできないため、IBM Spectrum Protect はそのファイルをバックアップしません。この問題は Microsoft によって文書化されています (<http://support.microsoft.com/kb/2525290>)。

システムの処置: ファイルはバックアップまたはリストアされません。次のオブジェクトの処理を続行するか、処理するオブジェクトがない場合は終了します。

ユーザーの処置: バックアップの操作中にこのメッセージが出された場合は、次の操作を実行できます。

- ファイルの EFS 暗号化を使用不可にしてバックアップできるようにします。
- ファイルのバックアップ・コピーが不要な場合は、それをバックアップから除外できます。

---

**ANE4081E** 'filespace-name' の処理中にエラーが発生しました: ファイル・スペースのタイプがサポートされていません。

説明: 指定されたファイル・スペース・タイプは、現在このプラットフォーム上で IBM Spectrum Protect はサポートしていません。

システムの処置: サポートされていないファイル・システムはスキップされます。処理は、次のファイル・システムから続行されます。

ユーザーの処置: サポートされているファイル・スペース・タイプに関する情報についての資料を参照してください。

---

**ANE4082I** ノード・パスワードが、管理 ID パスワードにリセットされました。

説明: クライアントがノード名でなく管理 ID を使用してログインしました。ノード・パスワードは、管理 ID パスワードと同期化するためにリセットされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANE4083I** 新しいノード・パスワードが生成されました。

説明: クライアントがノード名でなく管理 ID を使用してログインしました。新しいランダム・ノード・パスワードが生成され記録されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANE4084E** 「filespace-namepath-namefile-name」の処理中にエラーが発生しました。ファイル状況を取得できません。

説明: ファイルの処理中に、Istat() 呼び出しが EOVERFLOW エラー・コードを設定しました。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: このファイルはスキップされます。次のファイルで処理を続行します。

---

**ANE4085I** 前のシステム状態バックアップから新規のシステム状態バックアップに、「number」個のオブジェクトが割り当てられました。

説明: 前のシステム状態バックアップのオブジェクトは、変更されずに、新規のシステム状態バックアップに割り当てられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANE4086W** 前のシステム状態バックアップから新規のシステム状態バックアップへの、未変更のオブジェクトの割り当てに失敗しました。オブジェクトはバックアップされます。

説明: 前のシステム状態バックアップのオブジェクトは、変更がなく、そのまま新規のシステム状態バックアップに割り当てする必要があります。エラーのため、割り当て操作が失敗しました。オブジェクトはバックアップされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

---

**ANE4087E** ウィザードのデータをロードしようとしたのですが、失敗しました。  
詳しくは、ログ・ファイルを参照してください。

## ANE4088I • ANE4099E

説明: ウィザードのデータをロードしようとしたのですが、失敗しました。リモート・エージェントが使用不可になっている可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ログで失敗の理由を確認してください。

---

### ANE4088I エラー

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4089W** ファイル・サーバー *file-server-name* は、**Data ONTAP** バージョン「*version.modification.submodification*」にアップグレードされました。オプション **createnewbase=migrate** を指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

説明: ファイル・サーバーは、スナップショットの差分を使用する増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードされました。以前のバージョンの IBM Spectrum Protect クライアントによりスキップされた可能性のあるユニコード名を持つファイルをバックアップするために、完全増分バックアップを実行してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンド・ライン・オプション **createnewbase=migrate** を **snappdiff** オプションと共に指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

---

**ANE4090I** ファイル・サーバー *file-server-name* は、**Data ONTAP** バージョン「*version.modification.submodification*」にアップグレードされました。オプション **createnewbase=migrate** を指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

説明: ファイル・サーバーは、スナップショットの差分を使用する増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードされました。以前のバージョンの IBM Spectrum Protect クライアントによりスキップされた可能性のあるユニコード名

を持つファイルをバックアップするために、完全増分バックアップを実行してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンド・ライン・オプション **createnewbase=migrate** を **snappdiff** オプションと共に指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

---

**ANE4091I** 仮想マシン '*vmname*' のフル **VM** 増分バックアップを開始しています

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4092E** このデータ・ムーバー・プラットフォームは、インスタント・アクセス/リストア操作でサポートされていません。

説明: インスタント・アクセス/リストア操作は失敗しました。

システムの処置: インスタント・アクセス/リストア操作は失敗しました。失敗の理由は、サポートされていないプラットフォームです。

ユーザーの処置: インスタント・アクセス/リストア操作は、サポートされているデータ・ムーバー・プラットフォームから実行する必要があります。

---

**ANE4099E** システム・ボリュームを識別できません。したがって、システム状態をバックアップできません。

説明: システム・ボリュームには、**Ntldr**、**Boot.ini**、**Ntdetect.com**、または **Bootmgr** などの、Windows の開始に必要なハードウェア固有のシステム状態ファイルが含まれています。システム・ボリュームを識別できなければ、これらのファイルをバックアップできません。したがって、システム状態をバックアップすることができません。

システムの処置: システム状態のバックアップが停止します

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、その問題を収集したサービス・トレースを入手して、IBM 技術サポートに連絡を取り、追加支援を依頼してください。トレースの構成では、IBM Spectrum Protect 管理者の支援を受けることができます。

---

**ANE4100I** スキャンされたオブジェクトの数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4101I** ファイルの数: *Number of files* 新規の数 :  
*Number of new files*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4102I** ディレクトリーの数: *Number of directories* 新規の数 : *Number of new directories*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4103I** 入力された項目の数: *Number of entries*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4104I** 常駐オブジェクトの数: *Number of objects*  
新規の数 : *Number of new objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4105I** 事前マイグレーション済みオブジェクトの数: *Number of objects* 新規の数 : *Number of new objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4106I** マイグレーション済みオブジェクトの数:  
*Number of objects* 新規の数 : *Number of new objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4107I** 候補の数: *Number of migration candidates*  
マイグレーション済みの数 : *Number of migrated objects* 事前マイグレーション済みの数 : *Number of premigrated objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4108I** 除去されたオブジェクトの数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4109I** 事前マイグレーション済み候補の検索

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

## ANE4110I • ANE4119I

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4110I 最も大きく最も古い候補 (Level1) の検索

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4111I 最も大きいか最も古い候補 (Level2) の検索

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4112I 残りの候補 (Level3) の検索

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4113I dsmautomig を待機中

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4114I 新しいスキャンを待機中

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4115I プール・ファイルを作成中

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4116I 検索が終了

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4117I 現在の検索状態:

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4118I ハッシュでスキャンされたオブジェクトの数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4119I 事前マイグレーション済み候補の数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4120I** レベル 1 候補の数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4121I** レベル 2 候補の数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4122I** レベル 3 候補の数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4123I** 検出された候補の総数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4124I** 使用可能な情報はありません。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4125I** 検索は現在実行中です。 *Number of seconds* 秒前から実行中です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4126I** スキャンは現在実行中です。 *Number of seconds* 秒前から実行中です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4127I** 現在 1 秒あたり *Number of objects* オブジェクトをスキャン中です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4128I** スキャンが完了

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4129I** スキャン時間は *Number of seconds* 秒でした。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4130I**    1 秒あたり *Number of objects* オブジェクトがスキャンされました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4131I**    ----- 現在検索中:  
-----

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4132I**    仮想マシン '*vmname*' のバックアップが開始されました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4133I**    仮想マシン '*vmname*' のバックアップ・プロキシに **VM** ディスクをマウント

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4134I**    仮想マシン '*vmname*' の増分バックアップ

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

---

**ANE4135I**    **VM** '*vmname*' の全ローカル・ドライブを照会

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4136I**    **VM** '*vmname*' ボリュームのバックアップをロケーションで検索:  
*volname*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4137E**    '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました: 許可されたリンクの最大数を超過しました。

説明: 宛先ファイル・システムで許可されたリンクの最大数を超過したため、リンクをリストアまたはリトリブすることができません。

システムの処置: クライアントは、ユーザーのアクションを要求しています。

- このオブジェクトのスキップ
- アクションの打ち切り

ユーザーの処置: このオブジェクトの適切なアクションを選択してください。 別のファイル・システムにリンクをリストアまたはリトリブしてください。

---

**ANE4138I**    仮想マシン '*vmname*' のファイル・スペース照会

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

---

**ANE4139I** 仮想マシン '*vmname*' の増分バックアップに成功

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4140I** VM コマンドのバックアップが完了

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4141I** 正常にバックアップされた仮想マシンの合計数: *num*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4142I** ノード名 *nodename* にバックアップされた仮想マシン *vmname*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4143I** 失敗した仮想マシンの合計数: *num*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4144I** 仮想マシン *vmname*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4145I** VM コマンドのバックアップが開始されました。処理する仮想マシンの合計数: *num*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4146I** 仮想マシン '*vmname*' のフル VM バックアップを開始しています

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4147I** 仮想マシン「*vmname*」のフル VM バックアップに成功

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4148E** 仮想マシン「*vmname*」の完全 VM バックアップが失敗しました。RC *rc*

説明: 仮想マシンの完全 VM バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのフルバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4149I** 処理済み仮想マシンの合計数: *num*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4150E** 仮想マシン '*vmname*' の増分バックアップが失敗しました。RC *rc*

説明: 仮想マシン・ボリュームの増分バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4151E** 仮想マシン '*vmname*' のマウントに失敗しました。RC=*rc*

説明: VMware は仮想マシン・ディスクのマウントに失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップを続行できません。vmlist の次の仮想マシンを処理します。障害の原因を示す詳しいエラー・メッセージについては、dsmerror.log を参照してください。

ユーザーの処置: 詳しいエラー・メッセージについては、dsmerror.log を参照してください。

---

**ANE4152E** VMware 仮想マシンの環境の初期化に失敗しました。RC=*rc*。詳しいエラー・メッセージについては、IBM Spectrum Protect エラー・ログを参照してください。

説明: VMware 仮想マシンの環境の初期化に失敗しました。詳しいエラー・メッセージについては、IBM Spectrum Protect エラー・ログを参照してください。

システムの処置: バックアップを続行できません。

ユーザーの処置: 詳しいメッセージについては、IBM Spectrum Protect エラー・ログを参照してください。

---

**ANE4153E** 仮想マシン '*vmname*' のホスト名が見つかりませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4154E** 考えられる原因は、仮想マシンが稼働しておらず、固定 IP アドレスを持っていないことです。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4155E** 仮想マシン '*vmname*' が VMware サーバー上に見つかりませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4156E** 仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベルの VM バックアップはサポートされていません。ファイル・レベルの VM バックアップは、非 Windows プラットフォームのゲスト OS ではサポートされません。プラットフォーム・タイプ: '*platform*'。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: VMBACKUPTYPE=FULLvm オプションを使用して、仮想マシンをバックアップします。



---

**ANE4157I** 仮想マシンの *backuptype* **BACKUP VM** が *option* オプションで指定されています。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4158I** 仮想マシンの *backuptype* **BACKUP VM** の「*option*」

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4159E** 仮想マシン '*vmname*' のバックアップが失敗しました。 **rc=rc**。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 *vmlist* の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4160E** プロキシが拒否されました。ターゲット・ノード「*target\_node*」のプロキシ権限は、エージェント・ノード「*agent\_node*」に認可されませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 *vmlist* の次の仮想マシンを処理します。障害の原因は、バックアップ・プロキシ・ノードによって指定されたノードにアクセスするプロキシ権限をノードが認可されなかったことです。IBM Spectrum Protect 管理者は、最初にプロキシ権限の認可を行う必要があります。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、このノードのプロキシ権限を認可する必要があります。管理者コマンド「Grant Proxynode」を参照してください。

---

**ANE4161E** 同一のバックアップ操作で、重複する仮想マシン名「*vmname*」が検出されました。固有のオブジェクト名を使用しないと、仮想マシン「*vmfullname*」のバックアップを続行できません。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 *vmlist* の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: 仮想マシンの固有の名前を選択してください。

---

**ANE4162E** 仮想マシン「*virtual-machine-name*」は以前にバックアップされていません。

説明: 指定された仮想マシンは以前にバックアップされることがないため、リストアを指定することはできません。

システムの処置: 指定された仮想マシンはスキップされ、リストア・リストにある次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: リストアされる仮想マシン名を検証して、操作を再試行してください。

---

**ANE4163I** 現在暗号化が使用可能になっていますが、「*virtual-machine-name*」の仮想マシン・バックアップは暗号化されません。

説明: 仮想マシン・ファイルは、TSM サーバーにバックアップされるときには暗号化されません。

システムの処置: 仮想マシン・ファイルはバックアップ処理中には暗号化されません。

ユーザーの処置: ユーザー処置は不要です。

---

**ANE4164W** 現在圧縮が使用可能になっていますが、クライアント・サイドの重複排除を使用していないため '*virtual-machine-name*' の仮想マシン・バックアップは圧縮されません。

説明: 仮想マシンの CTL ファイルおよびデータ・ファイルの圧縮は、これらのファイルがクライアント・サイド重複排除を有効にしたストレージ・プールに保管されている場合のみ使用できます。このメッセージは、クライアントが圧縮用に構成されていて、仮想マシンの CTL ファイルまたはデータ・ファイルが、クライアント・サイド重複排除を有効にしていないストレージ・プールに送られたときに発行されます。

---

システムの処置: バックアップを続行しますが、データは圧縮されません。

ユーザーの処置: 仮想マシンの CTL ファイルとデータ・ファイルを圧縮する場合は、クライアント・サイド重複排除を有効にしたストレージ・プールに両タイプのファイルが送られるように、Tivoli Storage Manager の構成を更新します。仮想マシンのデータ・ファイルを圧縮し、CTL ファイルは圧縮しない場合は、クライアント・サイド重複排除を有効にしたストレージ・プールにデータ・ファイルが送られるように、Tivoli Storage Manager の構成を更新します。クライアント・オプション・ファイル内で、VMSKIPCTLCOMPRESSION を YES に設定します。圧縮を使用しない場合は、クライアント・オプション・ファイル内で COMPRESSION NO を設定します。

---

**ANE4165E** 仮想マシンを作成していますが、ホスト名「*virtual-machine-name*」が見つかりませんでした。

説明: 作成中の仮想マシンが作成されるためには、有効なホスト名が指定される必要があります。

システムの処置: 指定された仮想マシンのホスト名が正しいかどうか確認してください。

ユーザーの処置: 指定された仮想マシンのホスト名を訂正して、リストアを再試行してください。

---

**ANE4166E** 仮想マシンを作成していますが、データ・センター「*virtual-machine-name*」が見つかりませんでした。名前が正しくないか、**VMware** フォルダーに存在している可能性があります。「*vmfolder/dcname*」などのフォルダー名が必要です。

説明: 作成中の仮想マシンが作成されるためには、有効なデータ・センターが指定される必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された仮想マシンのデータ・センターが正しいかどうか確認してください。データ・センターがフォルダーに入っている場合、「*vmfolder/dcname*」などのフォルダー・パスを指定した完全なデータ・センター名を指定する必要があります。

---

**ANE4167E** 仮想マシンを作成していますが、データ・ストア「*virtual-machine-name*」が見つかりませんでした。

説明: 作成中の仮想マシンが作成されるためには、有効なデータ・ストアが指定される必要があります。

システムの処置: 指定された仮想マシンのデータ・ストアが正しいかどうか確認してください。

ユーザーの処置: 指定された仮想マシンのデータ・ストアを訂正して、リストアを再試行してください。

---

**ANE4168E** **VMware** はその **SOAP** インターフェースを介してエラーを報告しました。「詳細状況報告」パネルで、最後に報告されたエラー・メッセージを表示してください。また、エラー・ログで発生した問題の詳細情報を確認してください。

説明: **VMware** に対するコマンドを実行できませんでした。返されたエラーは、「最終エラー・メッセージ」セクションのリストアまたはバックアップ要約パネルに表示されます。

システムの処置: エラーが発生したため、操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 報告されたエラーを確認し、問題を修正してください。通常、エラーの原因は、ユーザーが操作で無効な値を指定したことです。

---

**ANE4169E** 仮想マシンの仮想ディスク情報を一時的に保管するために使用されるローカル・ディスク・プロキシーで書き込みエラーが発生しました。書き込みエラーの原因は、この情報の保管に使用されるドライブで使用可能なディスク・スペースが不足していることである可能性があります。このために異なるディスクの場所を割り当てるには、**VMBACKDIR** オプションを使用できます。使用しているドライブを確認し、この操作に必要なスペースを確保してください。

説明: 仮想マシンの仮想ディスク情報を保管するために使用されるローカル・ディスクで書き込みエラーが発生しました。通常、書き込みエラーの原因は、ディスク・スペースの不足、書き込み権限の不足、またはローカル・ディスクに関する同じような何らかの問題です。操作に必要なフリー・スペースがローカル・ドライブにない場合は、**VMBACKDIR** オプションを使用して異なるディスクの場所を割り当てることができます。

システムの処置: ディスクの書き込みエラーが発生したため、操作が失敗しました。

ユーザーの処置: ローカル・ディスクに書き込みエラーの原因がないか確認し、必要に応じて **VMBACKDIR** オプションを使用して別のディスクを割り当ててください。

---

**ANE4170E** **VMware** リリース「*release-version-source*」からバックアップされた **VMware** リリース「*release-version-target*」上で仮想マシンを作成できません。

説明: 作成中の仮想マシンは、リストア用に作成されるターゲットの VMware リリース・バージョンと互換性のない VMware バージョンからバックアップされました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 仮想マシンがバックアップされたレベルと互換性のある VMware システムに仮想マシンをリストアしてください。

---

**ANE4171E** 仮想マシン '*vmname*' のバックアップが失敗しました。 '*vmfullname*' が接続状態のため、**VM** を接続できませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。リストにある次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: VMware vCenter から接続状態を修正し、VM を ESX Server に割り当ててください。

---

**ANE4172I** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のフル **VM** バックアップを開始しています。  
 モード: '*full\_or\_incr*'  
 ターゲット・ノード名: '*target\_node\_name*'  
 データ・ムーバー・ノード名: '*data\_mover\_node\_name*'  
 アプリケーション保護タイプ: '*application\_protection\_type*'  
 保護されたアプリケーション: '*application\_list*'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4173I** **VMware** 仮想マシン「*vmname*」のフル **VM** バックアップに成功  
 モード: '*full\_or\_incr*'  
 ターゲット・ノード名: '*target\_node\_name*'  
 データ・ムーバー・ノード名: '*data\_mover\_node\_name*'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4174E** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' の完全 **VM** バックアップが **RC=rc** モード **=full\_or\_incr**、ターゲット・ノード名 **=*target\_node\_name***、データ・ムーバー・ノード名 **=*data\_mover\_node\_name*** で失敗しました

説明: 仮想マシンの完全 **VM** バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのフルバックアップが失敗して終了しました。 **vmlist** の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4175I** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' ターゲット・ノード名 **=*target\_node\_name***、データ・ムーバー・ノード名 **=*data\_mover\_node\_name*** の完全 **VM** リストアが開始されています

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4176I** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' ターゲット・ノード名 **=*target\_node\_name***、データ・ムーバー・ノード名 **=*data\_mover\_node\_name*** のフル **VM** リストアが正常に終了しました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4177E** VMware 仮想マシン 'vmname' の完全 VM リストアが RC=rc ターゲット・ノード名='target\_node\_name'、データ・ムーバー・ノード名='data\_mover\_node\_name' で失敗しました

説明: 仮想マシンの完全 VM リストアが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンの完全リストアが失敗して終了しました。 vmlist の次の仮想マシンを処理します。 失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

**ANE4178W** 現在圧縮が使用可能になっていますが、クライアント・サイドの重複排除が管理クラスのデフォルトとして使用されていないか、「vm-ctl-mgmt-class-name」に対する -vmctlmc オプションによって指定されていないため、「virtual-machine-name」の仮想マシン制御ファイルは圧縮されません。

説明: クライアント・サイドのデータ重複排除が使用可能になっていないストレージ・プールにデータが保管されているため、仮想マシン制御ファイルは圧縮されません。

クライアント・データの重複排除が使用可能になっているストレージ・プールにデータが保管されない限り、バックアップ処理中に仮想マシン制御ファイルは圧縮されません。

システムの処置: バックアップは続行されますが、制御ファイルのデータは圧縮されません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールのクライアント・サイドのデータ重複排除が使用可能であることを確認します。「q stg <pool name> f=d」を実行し、「データの重複排除」の値が「yes」であることを確認してください。クライアント・サイド・データの重複排除がサーバー上で使用可能になっていることを確認します。クライアント・サイドのデータ重複排除を有効にするには、REGISTER NODE または UPDATE NODE サーバー・コマンドの DEDUPLICATION パラメーターを使用します。パラメーターの値を CLIENTORSERVER に設定してください。クライアント上での DEDUPLICATION オプションの値が「YES」に設定されている必要があります。DEDUPLICATION オプションは、クライアント・オプション・ファイル、Tivoli Storage Manager クライアント GUI のプリファレンス・エディター、または Tivoli Storage Manager サーバー上のクライアント・オプション・セットに設定することができます。DEDUPLICATION オプションをク

ライアント・オプション・セットに設定するためには、DEFINE CLIENTOPT コマンドを使用します。クライアント・オプション・セット内の値をクライアントが指定変更しないようにするには、FORCE=YES を指定します。ノードの重複排除パラメーターが

「ClientOrServer」であることを確認してください。すなわち、クライアント上での DEDUPLICATION オプションの値が「YES」に設定されている必要があります。

**ANE4179I** IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は、VM 'VM' 上の Microsoft SQL Server ログを切り捨てませんでした。

説明: この仮想マシンに対してオプション

INCLUDE.VMTSMVSS vname OPTIONS=keepsqlllog が指定されていたために、SQL サーバー・ログは切り捨てられませんでした。

システムの処置: 操作は完了します。

ユーザーの処置: OPTIONS=keepsqlllog オプションを除去して、バックアップの完了時の SQL ログの切り捨てを有効にします。

**ANE4180I** BYTES='BYTES'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4181I** ACTIVITY\_DETAILS='DETAILS'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4182I** AS\_ENTITY='AS\_ENTITY'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4183I SUB\_ENTITY='SUB\_ENTITY'**

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4184I ACTIVITY\_TYPE='ACTIVITY\_TYPE'**

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4185I RC='RC'**

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4186I ENTITY='ENTITY'**

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4187W IBM Spectrum Protect** データ・ムーバー・ノードが **Virtual Center** によって管理されている **ESX/ESXi** ホストに直接接続されている場合、**CPU** およびメモリーのリソース割り振りの構成設定をリストアすることはできません。これらの設定はスキップされました。

説明: VMware vStorage API は、Virtual Center によって管理されている ESX/ESXi ホストに直接接続されている場合、CPU およびメモリーのリソース割り振りの構成設定をサポートしません。

システムの処置: CPU およびメモリーのリソース割り

振りの構成設定はスキップされます。処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect データ・ムーバー・ノードが vCenter サーバーに直接接続している場合、仮想マシンの CPU およびメモリーのリソース割り振りの構成設定はリストアされます。TSM データ・ムーバーを vCenter サーバーに接続するには、VMCHOST を変更してください。

---

**ANE4188I EXAMINED='EXAMINED'**

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4189I AFFECTED='AFFECTED'**

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4190I FAILED='FAILED'**

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4191E 「SAN」** トランスポート・モードを使用した **VM** リストア操作が失敗しました。**VM** リストアを **SAN** ベースからネットワーク・ベースに切り替えることで、リストアが成功する場合があります。

説明: SAN トランスポート・モードで失敗する VM リストア操作が、LAN パスでは成功する可能性が高くなります。「SAN」トランスポート・モードを使用して VM リストア操作が失敗した場合は、クライアント・オプション **VMVSTORTTRANSPORT** を "nbd:nbdssl" に設定して、VM リストア操作をやり直してみてください。

システムの処置: 「SAN」トランスポート・モードを

## ANE4192I • ANE4197I

使用した VM リストア操作が失敗しました。

「nbd:nbdssl」トランスポート・モードを使用したリストアは成功する可能性があります。

ユーザーの処置: 「SAN」トランスポート・モードを使用した VM リストア操作が失敗しました。「nbd」または「nbdssl」トランスポート・モードを使用すると、ネットワーク・ベースの VM リストアが成功する場合があります。VMVSTORTRANSPORT オプションを使用して、TSM クライアントが指定されたトランスポート・モードのみを使用するように制限することができます。

---

**ANE4192I** 年='Years' 月='Months' 日='Days' 時間='Hours' 分='Minutes' 秒='Seconds'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4193E** データ・ムーバー 'dm node' がターゲット・ノード 'target\_node' に接続できないため、vApp 'vApp name' を処理することができません。

説明: この操作を行うには、データ・センター・ノードのプロキシ・アクセスがデータ・ムーバー・ノードに付与されている必要があります。

システムの処置: 指定された vApp に対する操作は取り消されます。

ユーザーの処置: エラー・ログでエラーがないか確認し、すべての問題を修正します。構成ウィザードまたは構成エディターを実行して、ノードを適切に構成してください。

---

**ANE4194E** 現在暗号化が使用可能になっていますが、仮想マシンの永久増分バックアップ (-MODE=IFFULL または -MODE=IFINCREMENTAL) ではサポートされていません。

説明: 仮想マシンの永久増分バックアップ (-mode=IFFULL または -mode=IFINCREMENTAL) のクライアント暗号化がサポートされていません。サーバー上の暗号化されていないデータを誤って保管しないように、バックアップ操作は停止します。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップは停止します。

ユーザーの処置: この操作の暗号化オプションを削除して、再度実行してください。Secure Sockets Layer (SSL) 暗号化を使用すると、ネットワークを経由するデータを暗号化することができます。IBM Spectrum Protect ストレージ・プール内のバックアップ・データを暗号化する必要がある場合は、完全および増分バックアップ (-mode=FULL および -mode=INCREMENTAL)、またはインゲスト・バックアップなどの別のバックアップ方法を使用してください。

---

**ANE4195E** 組織 'Org name' 内の組織 VDC 'OrgVDC name' のターゲット・ノードが見つかりませんでした。その結果、vApp 'vApp name' をバックアップすることができません。

説明: 指定した組織 VDC の IBM Spectrum Protect ノードが IBM Spectrum Protect サーバー上で見つからなかったか、組織 VDC ノードに関する情報がプロバイダー VDC ノード内で見つかりませんでした。

システムの処置: 指定された vApp のバックアップは停止します。処理は次の vApp に進みます。

ユーザーの処置: 「構成」ページに進んで「構成ウィザードを実行」をクリックし、必要なすべての IBM Spectrum Protect ノードが IBM Spectrum Protect サーバーに登録されていることを確認します。必要の場合は、新規のデータ・ムーバー・ノードを登録します。組織 VDC が、このデータ・ムーバー・ノードが保護するプロバイダー VDC に属していることを確認してください。

---

**ANE4196I** データ暗号化タイプ: encryption type

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4197I** 暗号化されたオブジェクトの総数:  
Number of objects

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4198I** 重複排除後の合計バイト数: *bytes*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4199W** クラスタ・ディスク '*volume name*' にアクセスできないため、ファイル '*file name*' はシステム状態の一部としてバックアップされません。

説明: 指示されたファイルまたはディレクトリーが、書き込みプログラムのバックアップ・ファイル・リストの一部として VSS から返されました。しかし、ファイルが置かれているクラスタ・ディスクにアクセスできません。この問題の原因は、クラスタ・ディスクがオフラインであるか、別のノードに属していることである可能性があります。

システムの処置: ファイルはバックアップされません。処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題は、Microsoft 知識ベースのトピック 980794 に記載されています。これは、<https://support.microsoft.com/> にアクセスして 980794 を検索することで参照できます。このトピックにはホット・フィックスが含まれています。ホット・フィックスを使用して、VSS の一覧から除外される 1 つ以上のファイルのリストが入っているレジストリー・キーを指定できます。IBM Spectrum Protect は、VSS によって列挙されないファイルをバックアップしません。システム状態バックアップを実行するノードに対してボリュームがオンラインになる場合、そのボリュームをバックアップできません。そのボリュームをレジストリー・キーから除去し、システムを再始動してから、ボリュームをバックアップする必要があります。この問題のホット・フィックスを実装しない場合、IBM Spectrum Protect はこのメッセージを出し続けます。

**ANE4200I** *architecture*、*schedule-name*、*domain-name*: デプロイメント・マネージャーの処理は正常に開始しました。デプロイメント・マネージャーのバージョン情報: *version*。

説明: デプロイメント・マネージャーの処理はポスト・スケジュール・コマンドとして開始しました。これはデプロイメント・マネージャーからの最初のメッセージです。クライアントのアーキテクチャー、スケジュー

ル名、およびドメイン名は、メッセージ・テキストの先頭に示されています。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし

**ANE4201I** デプロイメント・マネージャーは言語パック *language pack name* を正常にインストールしました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4202E** デプロイメント・マネージャーは言語パック *language pack name* のインストールに失敗しました。Microsoft Installer のエラー・コードは *error code* でした。

説明: 以前の言語パックはアンインストールされましたが、新しい言語パックのインストールは失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Windows インストーラーのエラー・メッセージについて詳しくは、Microsoft Developer Network (MSDN) テクニカル・ライブラリー (<http://msdn.microsoft.com/library>) にアクセスし、「Windows Installer Error Messages」を検索してください。

クライアント・コンピューター上のインストール・ログを確認してください。

**ANE4203I** デプロイメント・マネージャーはシステム情報を正常に取得しました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4204E** クライアント・コンピューターのオペレーティング・システム *os name* はターゲット・バージョン *target version* でサポートされていません。

説明: クライアント・コンピューターのオペレーティン

## ANE4205I • ANE4212E

グ・システム・レベルは、ターゲット・レベルでは現在サポートされていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サポートされるオペレーティング・システムのレベルについては、リリース資料を確認してください。

---

**ANE4205I** デプロイメント・マネージャーはインストール・イメージ *image name* から正常に解凍しました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4206E** デプロイメント・マネージャーはインストール・イメージ *image name* からの解凍中にエラーを受信しました。

説明: インストール・イメージが欠落または破損しているか、クライアント・コンピューターのディスク・スペースが足りない可能性があります。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーは停止します。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューターに十分なディスク・スペースがあることを確認してください。

クライアント・コンピューター上のすべての Windows 自己解凍型クライアント・イメージが有効であることを確認してください。

---

**ANE4207I** デプロイメント・マネージャーはサービス *service name* を正常にシャットダウンしました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4208E** デプロイメント・マネージャーは **IBM Spectrum Protect** サービス *service name* をシャットダウンできませんでした。

説明: なし

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4209I** デプロイメント・マネージャーはパッケージ *client package name* を正常にインストールしました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4210E** デプロイメント・マネージャーはパッケージ *client package name* のインストールに失敗しました。**Microsoft Installer** のエラー・コードは *error code* でした。

説明: 以前のクライアント・パッケージはアンインストールされましたが、新しいクライアント・パッケージのインストールは失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft インストーラー・エラー・コードについては、Microsoft Developers Network (<http://msdn.microsoft.com/en-US/>) にアクセスして、「Windows Installer Error Messages」を検索してください。

クライアント・コンピューター上のインストール・ログを確認してください。

---

**ANE4211I** デプロイメント・マネージャーはサービス *service name* を正常に再始動しました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4212E** デプロイメント・マネージャーはサービス *service name* の再始動に失敗しました。

説明: クライアントの自動デプロイメント後、IBM Spectrum Protect クライアント・サービスの始動に失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・マシンにログオンし、



バックアップ・アーカイブ・クライアントのエラー・ログを確認してください。

**ANE4213E** クライアント・コンピューターの自動再始動が必要でした。理由: *reason*

説明: デプロイメント・マネージャーはデプロイメントでクライアントの再始動が必要であると判断しました。

自動再始動が使用不可です。デプロイメント・マネージャーの処理はデプロイメントを取り消します。

現在のクライアントはアンインストールされず、更新もされません。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーはクライアントのデプロイメントを取り消し、停止します。

ユーザーの処置: クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

**ANE4214E** クライアント・パッケージのオペレーティング・システム・プラットフォーム 'OS platform of package' は、クライアント・コンピューター 'OS platform of client computer' と互換性がありません。

説明: なし

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。適切なオペレーティング・システム・プラットフォームのクライアント・パッケージを使用してください。

**ANE4215E** 現在のクライアント・コード・バージョン 'source version' からクライアント・パッケージ・バージョン 'target version' への自動デプロイメント・パスはサポートされていません。

説明: なし

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 適切なターゲット・レベルを使用して、クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

詳しくは、製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「クライアントの自動デプロイメント」を検索してください。

**ANE4216E** IBM Spectrum Protect API ライブラリー・バージョン *API version* は、クライアント・パッケージのバージョン *package version* より前のバージョンです。

説明: 自動デプロイメントに対してクライアント・パッケージが無効です。このクライアント・パッケージでは、API バージョンがデプロイメント・マネージャーのバージョンと一致しません。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は停止します。

ユーザーの処置: インストール・パッケージが有効であることを確認してください。

**ANE4217E** デプロイメント・マネージャーはクライアント API のセットアップ中にエラーを受信しました。呼び出される標準 API 関数は *API setup function name* です。

説明: クライアント API のセットアップ時に、デプロイメント・マネージャーの処理が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のエラー・ログを確認してください。

**ANE4218E** デプロイメント・マネージャーはクライアント API の初期化中にエラーを受信しました。呼び出される標準 API 関数は *API init function name* でした。

説明: クライアント API の初期化時に、デプロイメント・マネージャーの処理が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のエラー・ログを確認してください。

**ANE4219E** デプロイメント・マネージャーは子プロセスの標準出力用パイプの作成中にエラーを受信しました。

説明: デプロイメント・マネージャーは子プロセスの標準出力用パイプの作成に失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のエラー・ログを確認してください。

**ANE4220E** デプロイメント・マネージャーは **IBM Spectrum Protect** 処理がまだ実行中であるかどうかを判別できません。

説明: デプロイメント・マネージャーはすべての IBM Spectrum Protect 処理が正常にシャットダウンされたかどうかを判別できませんでした。

システムの処置: 自動再始動 (autoreboot) が使用可能である場合、デプロイメント・マネージャーは続行されます。自動再始動が使用不可である場合、デプロイメント・マネージャーは停止します。

ユーザーの処置: 自動再始動 (autoreboot) を使用可能にしてスケジュールを変更してください。

**ANE4221E** パッケージのアーキテクチャー *package architecture* は現在のクライアント *system architecture* と一致しません。

説明: セットアップ・スクリプトは一致するパッケージをサーバーから取得できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サーバー上にすべてのアーキテクチャーの使用可能なクライアント・パッケージがあることを確認してください。

**ANE4222E** デプロイメント・マネージャーはファイル *file name* の情報を読み取れません。

説明: デプロイメント・マネージャーは必要なシステム情報を含むファイルを開けませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のエラー・ログを確認してください。

**ANE4223E** デプロイメント・マネージャーに必要な情報がファイル *file\_name* にありません。

説明: デプロイメント・マネージャーでは、クライアントのデプロイメントを完了するために、このファイルの情報が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のエラー・ログを確認してください。

**ANE4224I** デプロイメント・マネージャーは名前の先頭に「**dsm**」があるバックアップ・アーカイブ・クライアント・プロセスを正常にシャットダウンします。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行さ

れたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4225W** セットアップ・スクリプトはシステム情報の照会結果をまだ待っています。

「**PASSWORDACCESS GENERATE**」がクライアント・オプション・ファイルに設定され、パスワードの入力プロンプトを出さずにサーバーに接続できることを確認してください。

説明: システム情報の照会結果を得るのに予想以上に時間がかかっています。この原因は、システムが遅いか、ノードのパスワードが保存されていないことである可能性があります。

システムの処置: パスワードが生成されていない場合、処理は停止し、クライアントのデプロイメントは開始しません。システムが遅い場合、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 「**PASSWORDACCESS GENERATE**」がクライアント・オプション・ファイルに設定され、パスワードの入力プロンプトを出さずにサーバーに接続していることを確認してください。パスワードが生成されている場合は、この警告を無視してください。

**ANE4226E** クライアントのデプロイメント・スケジュールのポスト・スケジュール・コマンドに少なくとも 1 つのエラーがあります。

説明: デプロイメント・マネージャーは、クライアントのデプロイメント・スケジュールのポスト・スケジュール・コマンドの解析中に少なくとも 1 つのエラーを検出しました。

システムの処置: 処理は停止し、クライアントのデプロイメントは開始しません。

ユーザーの処置: クライアントのデプロイメント・スケジュールのポスト・スケジュール・コマンドの形式については、リリース資料を確認してください。

**ANE4227E** デプロイメント・マネージャーはパッケージ *client package name* のインストールに失敗しました。クライアント・コンピューターのディスク・スペースが足りません。**Microsoft Installer** のエラー・コードは *error code* でした。

説明: 以前のクライアント・パッケージはアンインストール

ールされましたが、クライアント・コンピューターのディスク・スペースが足りないため新しいクライアント・パッケージのインストールは失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft インストーラー・エラー・コードについては、Microsoft Developers Network (<http://msdn.microsoft.com/en-US/>) にアクセスして、「Windows Installer Error Messages」を検索してください。

クライアント・コンピューター上のインストール・ログを確認してください。

---

**ANE4228E** デプロイメント・マネージャーは言語パック *language pack name* のインストールに失敗しました。クライアント・コンピューターのディスク・スペースが足りません。 **Microsoft Installer** のエラー・コードは *error code* でした。

説明: 以前の言語パックはアンインストールされましたが、クライアント・コンピューターのディスク・スペースが足りないため新しい言語パックのインストールは失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Microsoft インストーラー・エラー・コードについては、Microsoft Developers Network (<http://msdn.microsoft.com/en-US/>) にアクセスして、「Windows Installer Error Messages」を検索してください。

クライアント・コンピューター上のインストール・ログを確認してください。

---

**ANE4229I** 新規バックアップ・アーカイブ・クライアントのインストールを完了するには、クライアント・コンピューターを再始動する必要があります。

説明: クライアント・コンピューターを再始動するまで、新規バックアップ・アーカイブ・クライアントのデプロイメントは完了しません。すべての言語パックがデプロイされた直後に再始動が行われるようにスケジュールされています。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は続行されます。クライアント・コンピューターは、すべての言語パックがデプロイされた後に、またはインストールする言語パックがない場合は直ちに、シャットダウンされて再始動します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4230I** クライアント・コンピューターは直ちにシャットダウンされて再始動します。

説明: デプロイメント・マネージャーはクライアントのデプロイメントを完了するためにクライアント・コンピューターを再始動する必要があります。デプロイメントの詳細は他のメッセージに示される場合があります。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は続行されます。クライアント・コンピューターは、すべての言語パックがデプロイされた直後に、またはインストールする言語パックがない場合は直ちに、シャットダウンされて再始動します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4231E** 言語パック *image name* のデプロイメントは取り消されました。

説明: デプロイメント・マネージャーは現在の言語パックをアンインストールせず、更新もしません。デプロイメントの詳細は他のメッセージに示される場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。クライアント・コンピューターは、すべての言語パックがデプロイされた直後に、またはインストールする言語パックがない場合は直ちに、シャットダウンされて再始動します。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のエラー・ログを確認してください。言語パックを手動でデプロイしてください。

---

**ANE4232E** 自己解凍型インストール・イメージ *image name* が見つかりません。

説明: デプロイメント・マネージャーは必要なインストール・イメージを検出できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。クライアントのデプロイメントは取り消されます。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のサーバーの活動記録ログまたはスケジューラー・ログを確認してください。クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4233I** デプロイメント・マネージャーは機能セット *feature set* を使用してバックアップ・アーカイブ・クライアントをインストールします。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4234E** 言語パックのデプロイメントは失敗しました。

説明: デプロイメント・マネージャーは 1 つ以上の言語パックのインストールに失敗しました。インストールの詳細は他のメッセージに示される場合があります。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のエラー・ログとインストール環境を確認してください。インストールに失敗した言語パックを特定し、この言語パックを手動でデプロイしてください。

---

**ANE4235I** デプロイメント・マネージャーはイベントをサーバーのログに記録できません。

説明: デプロイメント・マネージャーはイベントをサーバーのログに記録できません。通信の詳細は他のメッセージに示される場合があります。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は続行されます。イベントはクライアント・マシンのログのみにローカルに記録されます。

ユーザーの処置: クライアント・コンピューター上のネットワーク接続とエラー・ログを確認してください。

---

**ANE4236E** セットアップ・スクリプトは **IBM Spectrum Protect** クライアントのインストール・ディレクトリーのレジストリーを照会できませんでした。

説明: セットアップ・スクリプトは [HKLM¥SOFTWARE¥IBM¥ADSM¥CurrentVersion¥BackupClient] の Windows レジストリーの照会中にエラーを検出しました。

システムの処置: 処理は停止し、クライアントのデプロイメントは開始しません。

ユーザーの処置: サポートされる Windows プラットフォームについてリリース資料を確認し、クライアント・コンピューター上で REG.EXE コマンドが使用可能であることを確認してください。

---

**ANE4237W** システム情報の照会は完了しましたが、警告またはエラーが出されました。エラー・レベルは *error level* でした。

説明: セットアップ・スクリプトはシステム情報の照会

中に警告またはエラーを検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。デプロイメント・マネージャーは必要なシステム情報があるかどうかを確認します。必要な情報がない場合、クライアントのデプロイメントは取り消される可能性があります。

ユーザーの処置: 警告およびエラー・メッセージについては、バックアップ・アーカイブ・クライアントのエラー・ログを確認してください。

---

**ANE4238E** システム情報にプロセッサ・アーキテクチャー情報がありません。

説明: セットアップ・スクリプトはシステム情報の照会中に警告またはエラーを検出した可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。クライアントのデプロイメントは開始しません。

ユーザーの処置: 警告およびエラー・メッセージについては、バックアップ・アーカイブ・クライアントのエラー・ログを確認してください。

---

**ANE4239E** クライアント・パッケージにプロセッサ・アーキテクチャー情報がありません。

説明: クライアント・デプロイメント・パッケージが欠落または破損している可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。クライアントのデプロイメントは開始しません。

ユーザーの処置: 使用可能なクライアント・パッケージがあることを確認し、このパッケージをサーバーに正しくインポートしてください。

---

**ANE4240E** クライアント・パッケージにクライアント・バージョン情報がありません。

説明: クライアント・デプロイメント・パッケージが欠落または破損している可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。クライアントのデプロイメントは開始しません。

ユーザーの処置: 使用可能なクライアント・パッケージがあることを確認し、このパッケージをサーバーに正しくインポートしてください。

---

**ANE4241I** パッケージのアーキテクチャー *package architecture* は現在のクライアント *system architecture* と一致しません。セットアップ・スクリプトは一致するパッケージを取得しようとしています。

説明: セットアップ・スクリプトはサーバーから一致す

るクライアント・パッケージを取得しようとしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: サーバー上にすべてのアーキテクチャの使用可能なクライアント・パッケージがあることを確認してください。

---

**ANE4242E** セットアップ・スクリプトは *architecture* のクライアント・パッケージの取得中に警告またはエラーを検出しました。 エラー・レベルは *error level* です。

説明: サーバー上に使用可能なクライアント・パッケージがない可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サーバー上にすべてのアーキテクチャの使用可能なクライアント・パッケージがあることを確認してください。 さらに詳しいエラー・メッセージについては、バックアップ・アーカイブ・クライアントのエラー・ログを確認してください。

---

**ANE4243I** セットアップ・スクリプトは *architecture* のクライアント・パッケージを正常に取得しました。

説明: ダウンロードしたクライアント・パッケージは現在のクライアントのプロセッサ・アーキテクチャーと一致します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: None

---

**ANE4244E** セットアップ・スクリプトは **Microsoft Visual C++** 再配布可能パッケージのインストールに失敗しました。 エラー・レベルは *error level* です。

説明: 新規クライアントでは Microsoft Visual C++ 再配布可能パッケージが必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システムの一時ディレクトリーにあるインストール・ログ・ファイルで「vcredist\*.log」という名前のファイルがあるかどうかを確認してください。

---

**ANE4245I** セットアップ・スクリプトは **Microsoft Visual C++** 再配布可能パッケージを正常にインストールしました。

説明: 新規クライアントでは Microsoft Visual C++ 再配布可能パッケージが必要です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4246E** セットアップ・スクリプトはデプロイメント・マネージャー・プログラムの開始に失敗しました。 エラー・レベルは *error level* です。

説明: セットアップ・スクリプトはクライアントのデプロイメント処理を開始できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、クライアント・コンピューター上のログ・ファイルを確認してください。 クライアント・パッケージが壊れていないことを確認してください。

---

**ANE4247I** セットアップ・スクリプトはデプロイメント・マネージャー・プログラムを正常に開始しました。

説明: セットアップ・スクリプトはデプロイメント処理を管理するためにデプロイメント・マネージャーを呼び出します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4248E** クライアントは既にターゲット・レベル '*target version*' になっています。

説明: クライアントの自動デプロイメント機能では、クライアントを既にそのターゲット・レベルであるワークステーションにインストールすることはできないため、処理は停止しました。

システムの処置: ご使用の現在のバックアップ・アーカイブ・クライアントには影響はありません。

ユーザーの処置: 適切なターゲット・レベルを使用して、クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

詳しくは、製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「クライアントの自動デプロイメント」を検索してください。

---

**ANE4249E** セットアップ・スクリプトはクライアント・スケジューラーのサービス名のレジストリーを照会できませんでした。

説明: セットアップ・スクリプトは [HKLM¥SOFTWARE¥IBM¥ADSM¥CurrentVersion¥BackupClient¥Scheduler Service] の Windows レジストリーの照会中にエラーを検出しました。

## ANE4250E • ANE4256E

システムの処置: 処理は停止し、クライアントのデプロイメントは開始しません。

ユーザーの処置: サポートされる Windows プラットフォームについてリリース資料を確認し、クライアント・コンピューター上で REG.EXE コマンドが使用可能であることを確認してください。

---

**ANE4250E** このコンピューターでは既にデプロイメント・マネージャーが実行中です。

説明: 一度に活動状態にできるのは 1 つのクライアント・デプロイメント・マネージャーのインスタンスのみです。このクライアント・コンピューターは複数のノード名を使用して構成されている可能性があります、新規クライアント・コードは各コンピューターごとに 1 つのノードのみにデプロイされなければなりません。各クライアント・デプロイメント・インスタンスが完了するには数分かかる可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 一度に 1 つのクライアント・デプロイメント・タスクのみが実行されるようにスケジュールされていることを確認してください。

---

**ANE4251W** *writername* ファイル「*filename*」が見つかりません。

説明: 指示された VSS 書き込みプログラム・ファイルまたはディレクトリーが、書き込みプログラムのバックアップ・ファイル・リストの一部として VSS から返されました。しかし、そのオブジェクトがディスクに存在していません。

システムの処置: SKIPMISSINGSYSWFILES オプションが NO に設定されている場合、処理は停止します。SKIPMISSINGSYSWFILES オプションが YES に設定されている場合は、処理を続行します。

ユーザーの処置: このファイルがシステム状態バックアップでスキップできることを検証してください。

---

**ANE4252E** デプロイメント・マネージャーがスケジュール・タスクとして開始できませんでした。

説明: セットアップ・スクリプトは Windows の「at」コマンドを使用して、スケジュール・タスクとしてデプロイメント・マネージャーを開始できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows タスク・スケジューラー・サービスが実行されていることを確認してください。

システム・イベント・ログにこの失敗に関する詳細が記載されている可能性があります。クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4253E** クライアント・コンピューターに十分なディスク・スペースがありません。必要なスペース: *package space* バイト。使用可能なスペース: *system space* バイト。

説明: デプロイメント・マネージャーは、クライアントのデプロイメント用の空きディスク・スペースが不十分であると判別しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 必要なディスク・スペースを空けて、クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4254E** デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイする必要があるワークステーションで **HSM** クライアントを検出しました。

説明: すでに HSM クライアントがインストールされているワークステーションに、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイしようとしてしました。HSM クライアントがあるワークステーションに、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイすることはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: HSM クライアントをアンインストールし、バックアップ・アーカイブ・クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4255E** デプロイメント・マネージャーがシステム情報オブジェクトを作成できる十分なメモリーがありません。

説明: 一時的にデータを書き込むのに使用可能な RAM が十分でないため、システム情報オブジェクトを作成できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーションで不要なアプリケーションをすべてクローズし、デプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4256E** **DSMI\_DIR** 環境変数が定義されていません。

説明: DSMI\_DIR 環境変数が設定されていないため、デプロイメント・マネージャーはサーバーへの接続を開始できません。このエラーが発生する可能性があるの

は、デプロイメント・マネージャーがクライアント・スケジューラーを使用せずに開始される場合です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 入手可能な資料を読んで、クライアント・スケジューラーを使用してクライアント・デプロイメント・タスクを作成する方法を判別してください。

---

**ANE4257E** デプロイメント・マネージャーはファイル *file name* の情報を解析できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、必要な情報を解析することも、指定のファイルから抽出することもできませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーション上のエラー・ログ・ファイルを確認してください。

---

**ANE4258E** デプロイメント・マネージャーは、**Windows の「OpenSCManager failed」** エラー・メッセージを受信しました。

説明: デプロイメント・マネージャーは、クライアント・スケジューラーを開始するために「Windows サービス コントロール マネージャ」に接続できませんでした。一般に、このエラーが発生するのは、このタスクを開始するユーザーに十分な権限がないためです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・スケジューラーを開始するユーザーに管理特権があることを確実にしてください。

---

**ANE4259E** クライアント・スケジューラーが **root** ユーザーで開始されていません。

説明: クライアント・スケジューラーには、クライアント・コードをアップグレードするための **root** ユーザー特権が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **root** としてログインし、クライアント・スケジューラーを開始してください。

---

**ANE4260E** インストール・ファイル・システムが書き込み不能です。

説明: デプロイメント・マネージャーはインストール・ファイル・システムに書き込めません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: インストール・ファイル・システムの権限を確認してください。現在のクライアント・ノー

ドが、物理環境の共有ストレージにインストールされているクライアント・コードを使用して、仮想化環境で稼働している可能性があります。物理環境でクライアント・ノードを使用して、クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4261E** デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントをアップグレードできません。

説明: 現在の場所がデフォルトのインストール場所でないか、DSM\_DIR、DSMI\_DIR、DSM\_CONFIG および DSMI\_CONFIG 環境変数が、絶対パスではなく、相対パスを使用して定義されているため、バックアップ・アーカイブ・クライアントをアップグレードできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在のバックアップ・アーカイブ・クライアントのインストール・ディレクトリーを確認してください。バックアップ・アーカイブ・クライアントがデフォルトの場所にインストールされていない場合、手動でバックアップ・アーカイブ・クライアントをアップグレードしてください。

DSM\_DIR、DSMI\_DIR、DSM\_CONFIG および DSMI\_CONFIG 環境変数が相対パスを使用して定義されている場合、絶対パスを使用して定義して、クライアントのデプロイメントを再試行してください。

---

**ANE4262E** クライアント・インストールのプレビューが失敗しました。

説明: デプロイメント・マネージャーは現在のクライアントをアンインストールしませんでした。クライアント・コードは未変更のままです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: プレビュー時に識別された特定の問題がないか、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・マネージャーのログ・ファイルとトレース・ファイルを調べてください。すべての問題が解決された後、デプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4263E** デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントをアンインストールできませんでした。

説明: デプロイメント・マネージャーは、現在のクライアントのアンインストール中にエラーを受信しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーの詳細については、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・マネー

## ANE4264E • ANE4270I

ジャーのログ・ファイルとトレース・ファイルを調べてください。手動でクライアントをアンインストールする必要がある場合があります。

---

**ANE4264E** デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントをインストールできませんでした。

説明: 現在のクライアントがアンインストールされ、デプロイメント・マネージャーは、新規クライアント・コードのインストール中にエラーを受信しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーの詳細については、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・マネージャーのログ・ファイルとトレース・ファイルを調べてください。問題が解決された後、新規クライアントを手動でインストールしてください。

---

**ANE4265I** スケジューラー・コマンドで、またはクライアント・サービスから、クライアント・デプロイメント・オプションが指定されていません。

説明: デフォルトのクライアント・オプション・ファイルが使用されます。デプロイメント・マネージャーは、状況の報告時に正しいサーバーおよびノードの情報を報告しない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンド・ラインからクライアント・デプロイメントを直接開始せずに、必ず Windows サービスとしてクライアント・スケジューラーを開始してください。

---

**ANE4266I** デプロイメント・マネージャーは、英語以外の言語パックをインストールできませんでした。

説明: 以前のパッケージがアンインストールされ、1 つ以上の新規言語パックのインストールが失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 特定の言語パック情報がないか、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・トレース・ファイルを確認してください。

---

**ANE4267I** デプロイメント・マネージャーはハードウェア・プラグイン・パッケージをインストールできませんでした。

説明: 以前のパッケージはアンインストールされました。新規ハードウェア・プラグイン・パッケージのインストールが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーション上のデプロイメント・トレース・ファイルを確認してください。

---

**ANE4268I** デプロイメント・マネージャーはジャーナル・ベースのバックアップ・パッケージをインストールできませんでした。

説明: 以前のジャーナル・ベース・バックアップ・パッケージはアンインストールされました。新規のジャーナル・ベースのバックアップ・パッケージのインストールが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーション上のデプロイメント・トレース・ファイルを確認してください。

---

**ANE4269W** デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または **CAD** 処理 (もしくはその両方) を停止しようとしています。

説明: 新規クライアントをデプロイする前に、デプロイメント・マネージャーはスケジューラー処理と CAD 処理を停止する必要があります。デプロイメント後に、これらの処理が再開されなければなりません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: デプロイメント中にクライアント・スケジューラーが中断しています。

---

**ANE4270I** デプロイメント・マネージャーと新規クライアント・インストール・パッケージが、ディレクトリー *file name* にダウンロードされました。

説明: ダウンロード・ディレクトリーには、新規クライアント・デプロイメントの完了に必要なすべてのものが入っています。デプロイメントのログ・ファイルおよびトレース・ファイルは、log/ サブディレクトリーにあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題判別のために、ダウンロード・ディレクトリーからログ・ファイルとトレース・ファイルを取得してください。これらのファイルは log/ サブディレクトリーにあります。



---

**ANE4271E** デプロイメント・パッケージには、1 つ以上の必須のインストール・イメージ・ファイルが欠落しています。

説明: クライアント・デプロイメント・パッケージが、サーバーに正しくインポートされていない可能性があります。ディスク・スペースが不足しているため、デプロイメント・パッケージをクライアント・コンピュータに完全には取得できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サーバー上に使用可能なクライアント・パッケージがあり、クライアント・コンピュータに十分なディスク・スペースがあることを確認してください。さらに詳しいエラー・メッセージについては、バックアップ・アーカイブ・クライアントのエラー・ログ・ファイルを確認してください。

---

**ANE4272E** パッケージのプロセッサ・タイプ *package processor type* が、現在のクライアントの *system processor type* と一致しません。

説明: デプロイしたいクライアント・パッケージでサポートされているプロセッサ・タイプが、クライアントをデプロイしようとしているワークステーションのプロセッサ・タイプと一致しません。常にデプロイメント・マネージャーがサーバーに接続し、エラーを報告することができるとは限りません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: アップグレードしたいコンピュータのプロセッサ・アーキテクチャーに正しいクライアント・パッケージを使用していることを確認してください。その後でデプロイメントを再開してください。

---

**ANE4273E** デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイする必要があるワークステーションでジャーナル・ベースのバックアップ (JBB) クライアントを検出しました。

説明:すでに JBB クライアントがインストールされているワークステーションに、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイしようとしてしました。一部のプラットフォームでは、JBB クライアントがインストールされているワークステーションにバックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイすることはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: JBB クライアントをアンインストール

し、バックアップ・アーカイブ・クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4274E** デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または CAD 処理を停止できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントのスケジューラー処理または CAD 処理をシャットダウンしようとしたが、バックアップ・アーカイブ・クライアントが他のタスクで使用中等である可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

---

**ANE4275E** デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または CAD 処理を再開できません。

説明: 終了する前に、デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントのスケジューラー処理または CAD 処理を再開できませんでした。デプロイメント・マネージャーは、クライアントのアップグレードの前にこれらの処理を停止しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアント・ワークステーションにログオンし、エラー・ログ・ファイルを確認してください。環境変数を設定した場合は、相対パスを使用して定義されていないことを確認してください。

---

**ANE4276E** デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または CAD 処理に関する情報を取得できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントのスケジューラー処理または CAD 処理の停止と再開を行うために、処理情報が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアント・ワークステーションにログオンし、エラー・ログ・ファイルおよびデプロイメント・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを確認してください。

**ANE4277E** ターゲット・オペレーティング・システムのバージョン *target operating system* が最小要件のバージョン *minimum required version* と一致しません。

説明: オペレーティング・システムのバージョンが、自動デプロイメント・パッケージで必要なバージョンより前のバージョンです。

システムの処置: デプロイメントは取り消されます。

ユーザーの処置: デプロイされる IBM Spectrum Protect バージョンが、ターゲット・オペレーティング・システムでサポートされていることを確実にしてください。

**ANE4278E** デプロイメント・マネージャーは、**Logical Volume Snapshot Agent (LVSA)** に関する情報を取得できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、LVSA がクライアント・ワークステーションにインストールされているかどうかを判別する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアント・ワークステーションにログオンし、エラー・ログ・ファイルおよびデプロイメント・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを確認してください。

**ANE4279I** デプロイメント・スケジュールのサーバー情報が使用できません。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4280E** クライアント・ワークステーションでの自動クライアント・デプロイメントが許可されません。

説明: 1 つ以上の実行中のクライアント・サービスで、オプション・ファイルに `AUTODEPLOY = NO` が含まれています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアントで `AUTODEPLOY` オプションを変更して、クライアント・デプロイメントのスケジュールを変更してください。

**ANE4281E** 更新マネージャーが **TIVsmCapi** パッケージを非グローバル・ゾーン: *zone name* から削除できません。

説明: APAR IC57433 では、グローバル・ゾーンからアンインストールが実行される場合、疎ルートの非グローバル・ゾーン上で Solaris の **TIVsmCapi** パッケージが削除されないようにします。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 非グローバル・ゾーンから直接 **Tivoli Storage Manager** クライアントを手動でアンインストールして、デプロイメントのスケジュールを変更してください。

**ANE4282E** 非グローバル・ゾーン *zone names* からインストールされた **IBM Spectrum Protect** バックアップ・アーカイブ・クライアントで疎ルートの非グローバル・ゾーンが見つかりました。

説明: 1 つ以上の非グローバル・ゾーンが、`/usr` ファイル・システムをグローバル・ゾーンと共有しています。 **Tivoli Storage Manager** バックアップ・アーカイブ・クライアントが、`-G` パラメーター付きでグローバル・ゾーンにインストールされ、また非グローバル・ゾーンにも手動でインストールされています。 グローバル・ゾーン内の **Tivoli Storage Manager** バックアップ・アーカイブ・クライアントは、自動デプロイメントの一部ではない疎ルートの非グローバル・ゾーンと共有する **GSKit** のバージョンを更新するので、ユーザーはグローバル・ゾーンの **Tivoli Storage Manager** バックアップ・アーカイブ・クライアントを更新できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアントを手動で更新するか、`-G` パラメーターを指定せずにグローバル・ゾーンからインストールしてください。これにより、グローバル・ゾーンと疎ルートの非グローバル・ゾーンとの間に同じバージョンがあることになります。したがって、それらすべてのゾーンにクライアントをデプロイすることができます。

**ANE4283E** **GSKit** パッケージを圧縮解除するには *path* のディスク・スペースが不足しています。必要なスペース: *req\_space* バイト。使用可能なスペース: *avail\_space* バイト。

説明: デプロイメント・マネージャーが、**GSKit** パッケージを圧縮解除するにはディスク・スペースが不足していると判定しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 必要な量までディスク・スペースの空き容量を増やしてから、クライアントの自動デプロイメント・スケジュールを変更してください。

---

**ANE4284E** /usr ファイル・システムをグローバル・ゾーンと共有する疎ルートの非グローバル・ゾーンに対して自動クライアント・デプロイメント・タスクがスケジュールされていたため、デプロイメントは取り消されます。

説明: 試行された自動クライアント・デプロイメント・タスクはサポート対象外であり、取り消されます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ/アーカイブ・クライアントをグローバル・ゾーンからインストールするか、手動でバックアップ/アーカイブ・クライアントをアップグレードしてください。

---

**ANE4285E** 既存の仮想マシン「VmName」に対する更新リストア操作が失敗しました。仮想マシンが電源オフ状態になっていません。

説明: 既存の仮想マシンに対する更新リストア操作は、実行中のマシンについてサポートされていないため、打ち切られます。

システムの処置: リストアが打ち切られました。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源をオフにして、更新リストア・コマンドを再実行してください。

---

**ANE4286I** SCHEDULE\_NAME=  
'SCHEDULE\_NAME'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4289I** 組織 'Org name' の組織 VDC 'Org VDC name' 内の VMware vApp 'vApp name' のバックアップが正常に完了しました  
モード: '永久増分 - full\_or\_incr'  
ターゲット・ノード名: 'target\_node\_name'  
データ・ムーバー・ノード名:  
'data\_mover\_node\_name'  
VM バックアップ状況: number of VMs  
in vApp 個中 number of VM backed up

個の VM のバックアップが正常に完了しました

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4290E** リストア用に選択できる仮想マシンは 1 つのみです。

説明: 複数の仮想マシンのリストアは許可されていません。リストア用に選択できる仮想マシンは 1 つのみです。

システムの処置: 処理は発生しません。

ユーザーの処置: リストア用に仮想マシンを 1 つのみ選択してください。

---

**ANE4291E** 仮想マシンが VMware サーバー上に見つかりませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4292E** 仮想マシンが見つかりませんでした。

説明: 指定された名前の、またはドメイン・オプションで指定された、仮想マシンが見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい VM 名またはドメイン・オプションを指定してください。

---

**ANE4293E** 組織 'Org name' の組織 VDC 'Org VDC name' 内の VMware vApp 'vApp name' のバックアップが失敗しました。

説明: vApp バックアップ操作は失敗しました。このエラー・メッセージは要約メッセージで、詳細情報は含まれません。

システムの処置: 指定された vApp の構成情報および VM はバックアップされません。処理は次の vApp に進みます。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで以前のメッ

セージを調べ、この vApp に関する詳細を確認してください。

**ANE4294I** 処理済みの **vApp** の総数: *total number*  
正常にバックアップされた **vApp** 数:  
*total number*  
失敗した **vApp** 数: *total number*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4295W** *architecture, schedule-name, domain-name:*  
クライアントのデプロイメントは完了しませんでした。クライアント・コンピューターの再始動は保留中です。  
**AUTODEPLOY** オプションが  
**NOREBOOT** に設定されていたため、デプロイメント・マネージャーはクライアント・コンピューターを自動的に再始動しませんでした。

説明: 以前のクライアントはアンインストールされましたが、新しいクライアントのインストールは完了しませんでした。クライアント・コンピューターの再始動は保留中です。クライアントのアーキテクチャー、スケジュール名、およびドメイン名は、メッセージ・テキストの先頭に示されています。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は完了します。

ユーザーの処置: できるだけ速やかにクライアント・コンピューターを手動で再始動してください。

**ANE4296I** *architecture, schedule-name, domain-name:*  
クライアントのデプロイメントが正常に完了したため、クライアント・コンピューターを再始動しています。

説明: クライアントのデプロイメントを完了するには、コンピューターを再始動する必要があります。クライアントのアーキテクチャー、スケジュール名、およびドメイン名は、メッセージ・テキストの先頭に示されています。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は完了します。クライアント・コンピューターはシャットダウンされて再始動します。

ユーザーの処置: なし

**ANE4297W** *architecture, schedule-name, domain-name:*  
クライアントのデプロイメントは完了しましたが、次の警告が出されました:  
*warnings*。

説明: このメッセージは汎用警告メッセージです。デプロイメントの詳細は他のメッセージに示される場合があります。クライアントのアーキテクチャー、スケジュール名、およびドメイン名は、メッセージ・テキストの先頭に示されています。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は完了します。

ユーザーの処置: 詳しくは、クライアント・コンピューター上のサーバー管理センターからの警告メッセージ、サーバーの活動記録ログ、またはエラー・ログを確認してください。

**ANE4298E** *architecture, schedule-name, domain-name:*  
クライアントのデプロイメントは取り消されました。取り消しの原因である前のイベントは *event* です。

説明: このメッセージはクライアントのデプロイメントが取り消されたことを示す汎用メッセージです。デプロイメント・マネージャーは現在のクライアントをアンインストールせず、更新もしません。デプロイメントの詳細は他のメッセージに示される場合があります。クライアントのアーキテクチャー、スケジュール名、およびドメイン名は、メッセージ・テキストの先頭に示されています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、クライアント・コンピューター上のサーバー管理センターからの警告メッセージ、サーバーの活動記録ログ、またはエラー・ログを確認してください。

**ANE4299E** *architecture, schedule-name, domain-name:*  
クライアントのデプロイメントは失敗しました。失敗の原因である前のイベントは *event* です。

説明: このメッセージはクライアントのデプロイメントが失敗したことを示す汎用メッセージです。失敗の詳細は他のメッセージに示される場合があります。クライアントのアーキテクチャー、スケジュール名、およびドメイン名は、メッセージ・テキストの先頭に示されています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、クライアント・コンピューター上のサーバー管理センターからの警告メッセージ、

サーバーの活動記録ログ、またはエラー・ログを確認してください。

---

**ANE4300I** *architecture, schedule-name, domain-name:*  
クライアントのデプロイメントは正常に完了しました。

説明: これはクライアントのデプロイメントが正常に完了したことを示す汎用メッセージです。デプロイメントの詳細は他のメッセージに示される場合があります。クライアントのアーキテクチャー、スケジュール名、およびドメイン名は、メッセージ・テキストの先頭に示されています。

システムの処置: デプロイメント・マネージャーの処理は完了します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4301I** **IBM Spectrum Protect** は、仮想マシン 'VM' 上で **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーを検出しました。

説明: 仮想マシンに **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーが含まれています。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** は、この仮想マシンに関する追加情報を保存しました。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4302W** **IBM Spectrum Protect** は、仮想マシン 'VM' 上に **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーがあるかを検出することができませんでした。

説明: 仮想マシンに **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーが含まれているかを確認中にエラーが発生しました。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** は、この仮想マシンのバックアップを続行します。

ユーザーの処置: 追加情報については、**IBM Spectrum Protect** エラー・ログを確認してください。

---

**ANE4303E** **vCloud Director vApp** 'vapp-name' は、以前にバックアップされていません。

説明: 指定された **vCloud Director vApp** は、以前にバックアップされていません。そのため、リストア対象として指定することができません。

システムの処置: 指定された **vCloud Director vApp** はスキップされ、リストア・リストの次の **vApp** が処理されます。

ユーザーの処置: リストアする **vCloud Director vApp** 名を確認し、操作を再試行してください。

---

**ANE4304I** **IBM Spectrum Protect** は、**IBM Spectrum Protect for VE** のライセンスを検出できませんでした。**Active Directory** ドメイン・コントローラーは、**VM 'VM'** 上で保護されません。

説明: 仮想マシンには **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーが含まれていますが、**TSM for VE** のライセンスは検出されませんでした。ドメイン・コントローラーは保護されません。

システムの処置: **Active Directory** を保護するには、**TSM for VE 7.1** 以降をインストールしてください。

ユーザーの処置: なし

---

**ANE4305W** 組織 'Org name' の組織 **VDC 'Org VDC name'** 内の **VMware vApp 'vApp name'** のバックアップが完了しました。一部の **VM** がバックアップされませんでした。  
モード: '永久増分 - full\_or\_incr'  
ターゲット・ノード名: 'target\_node\_name'  
データ・ムーバー・ノード名: 'data\_mover\_node\_name'  
**VM** バックアップ状況: *number of VMs in vApp* 個中 *number of VM backed up* 個の **VM** のバックアップが正常に完了しました。

説明: **vApp** バックアップ操作は正常に完了しました。ただし、指定された **vApp** の 1 つ以上の **VM** がバックアップされませんでした。これらの **VM** は、リストア操作では作成されません。

システムの処置: 処理は次の **vApp** に進みます。

ユーザーの処置: **dsmerror.log** ファイルでこの **vApp** について調べ、このメッセージに関する詳細を確認してください。問題を解決して、操作を再試行してください。

---

**ANE4306I** 'hypervisor' 仮想マシン 'vmname' のフル **VM** バックアップを開始しています。  
モード: 'full\_or\_incr'  
ターゲット・ノード名: 'target\_node\_name'  
データ・ムーバー・ノード名: 'data\_mover\_node\_name'  
アプリケーション保護タイプ: 'application\_protection\_type'  
保護されたアプリケーション: 'application\_list'

## ANE4307I • ANE4324I

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4307I** 'hypervisor' 仮想マシン「*vmname*」のフル VM バックアップに成功  
モード: '*full\_or\_incr*'  
ターゲット・ノード名: '*target\_node\_name*'  
データ・ムーバー・ノード名:  
'*data\_mover\_node\_name*'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4308E** 'hypervisor' 仮想マシン '*vmname*' の完全 VM バックアップが失敗しました。  
**RC=rc**、モード=*full\_or\_incr*、ターゲット・ノード名=*target\_node\_name*、データ・ムーバー・ノード名  
=*data\_mover\_node\_name*'

説明: 仮想マシンの完全 VM バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのフルバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4309I** 'hypervisor' 仮想マシン '*vmname*' ターゲット・ノード名=*target\_node\_name*、データ・ムーバー・ノード名  
=*data\_mover\_node\_name*' の完全 VM リストアが開始されています

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4310I** 'hypervisor' 仮想マシン '*vmname*' ターゲット・ノード名=*target\_node\_name*、データ・ムーバー・ノード名  
=*data\_mover\_node\_name*' の完全 VM リストアが正常に終了しました

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4311E** 'hypervisor' 仮想マシン '*vmname*' の完全 VM リストアが **RC=rc** で失敗しました。ターゲット・ノード名  
=*target\_node\_name*、データ・ムーバー・ノード名=*data\_mover\_node\_name*'

説明: 仮想マシンの完全 VM リストアが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンの完全リストアが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4320I** Agent Name session type (データ・ムーバー・バージョン *version*)。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4324I** 組織 '*org\_name*' の組織 VDC '*org vdc name*' の VMWare vCloud Director vApp '*vapp\_name*' のバックアップを開始しています。  
モード: '*full\_or\_incr*'  
ターゲット・ノード名: '*target\_node\_name*'  
データ・ムーバー・ノード名:  
'*data\_mover\_node\_name*'  
仮想マシンの数: '*num vms*'

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告

します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4444I** *hypervisor type* の仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベル・リストアを開始しています。データ・センター・ノード名は '*data center node name*' で、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4445I** *hypervisor type* の仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベル・リストアが正常に完了しました。データ・センター・ノード名は '*data center node name*' で、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4446E** *hypervisor type* の仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベル・リストアのマウント操作が失敗しました。データ・センター・ノード名は '*data center node name*' で、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: 仮想マシンのファイル・レベル・リストアのマウント操作が失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのマウントが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4447I** *hypervisor type* の仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベル・リストアのクリーンアップを開始しています。データ・センター・ノード名は '*data center node name*' で、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4448I** *hypervisor type* の仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベル・リストアのクリーンアップが正常に完了しました。データ・センター・ノード名は '*data center node name*' で、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4449E** *hypervisor type* の仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベル・リストアのクリーンアップが失敗しました。データ・センター・ノード名は '*data center node name*' で、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: 仮想マシンのファイル・レベル・リストアのマウント操作のクリーンアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのマウントのクリーンアップが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4450E** ファイル・レベル・リストア操作では、マウント・プロキシ・プラットフォームはサポートされません。

説明: ファイル・レベル・リストア操作が失敗しました。失敗の原因は、プラットフォームがサポートされていないか、IBM Spectrum Protect Recovery Agent が

正しくインストールまたは構成されていないことです。  
システムの処置: ファイル・レベル・リストア操作が失敗しました。

ユーザーの処置: ファイル・レベル・リストアのマウント操作は、IBM Spectrum Protect Recovery Agent が正しくインストールおよび構成されている、サポートされるマウント・プロキシ・プラットフォームから実行する必要があります。

---

**ANE4451E Windows iSCSI** サービスが使用できません。

説明: マウント・プロキシ・マシン上で Windows iSCSI サービスが使用できません。サービスが開始されていないか、正しくインストールまたは構成されていません。

システムの処置: 処理は停止し、ファイル・レベル・リストアのマウント操作は失敗します。

ユーザーの処置: マウント・プロキシ・マシン上で iSCSI サービスが稼働していることを確認してください。

---

**ANE4900W** スケジュール '*schedule-name*' によりサーバーで、新規セッションがオープンされました。

説明: 接続障害のために、スケジュールされたイベントが終了します。操作を実行するために、通常の開始ウィンドウの外でスケジュール済みイベントを再開する必要がありますがありました。

システムの処置: スケジュールされたイベントは複数のセッションを使用して完了しています。

ユーザーの処置: 不要です。これが再発状態である場合は、ネットワーク問題を確認することが必要な場合があります。

---

**ANE4901E** 以下のオブジェクトは、1 つ以上の一致しない引用符を含んでいるので、処理できません: '*filespace path filename*'。

説明: ファイル・リスト内のファイル名に一致していない引用符があります。ファイル・リストの行の先頭にある単一引用符または二重引用符は、開始引用符と見なされます。同じタイプの対応する終了引用符が行の末尾になければなりません。終了引用符がない場合、または終了引用符が行の途中にある場合、入力は無効です。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: オブジェクトの指定を修正してください。

---

**ANE4902I VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・アクセスを開始しています。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4903I VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・アクセスが正常に完了しました。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4904E VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・アクセスが失敗しました。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: 仮想マシンのインスタント・アクセスが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのインスタント・アクセスが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

---

**ANE4905I VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・リストアを開始しています。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。



システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4906I** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・リストアが正常に完了しました。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4907E** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・リストアが失敗しました。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: 仮想マシンのインスタント・リストアが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのインスタント・リストアが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

**ANE4908I** '*origvmname*' のスナップショットからの **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のクリーンアップを開始しています。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4909I** '*origvmname*' のスナップショットからの **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のクリーンアップが正常に完了しました。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4910E** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のクリーンアップが失敗しました。ターゲット・ノード名は '*target\_node\_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data\_mover\_node\_name*' です。

説明: 仮想マシンのクリーンアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのクリーンアップが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

**ANE4911I** **VMware** 仮想マシン '*vmname*' を使用する準備が整いました

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4912I** '*Data Protection Product*' のバックアップが正常に開始されました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4913I** *Data Protection Product* のバックアップが完了しました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4914I**    大きくなったオブジェクトの総数:  
*Number*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4915I**    圧縮中にサイズが大きくなったオブジェクト: *filespace pathfilename*

説明: 圧縮中にファイルのサイズが大きくなりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANE4916I**    再試行の総数: *Number*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4939I**    スナップショットの差分オブジェクトの合計: *Number*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4940I**    シャドー・コピーを使用したオブジェクト  
*'writer-name'* コンポーネント  
*'component-name'* のバックアップ

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---



---

**ANE4941I**    オブジェクト *'writer-name'* コンポーネント *'component-name'* のバックアップが正常に終了しました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4942E**    ファイル指定 *'string'* が無効です。

説明: オペレーティング・システムはファイル指定が無効であることを指示しました。考えられる理由の 1 つは、ファイル指定に認識できない文字が含まれていることです。 また、ファイル指定での引用符の使い方が正しくないことも考えられます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システム用の「バックアップ・アーカイブ・クライアントの使用」に記載されている正しいファイル指定を入力してください。 ファイル指定で有効な文字が使用されていることを確認してください。ブランク・スペースを含む指定で、引用符が正しく使用されていることを確認してください。 複数のファイル指定を使用する場合は、複数のファイル指定が単一のファイル指定と見なされるような引用符の使い方をしないようにしてください。

---

**ANE4943I**    既存のファイル・スペース名  
*'filespace-name'* は「*filespace-name*」に名前変更されました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4944I**    仮想マシン: *vm-name*、ディスク:  
*disk-name* がユーザーによって除外されました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

---

**ANE4945I** 仮想マシン: *vm-name*、ディスク: *disk-name* がユーザーによって組み込まれました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4946W** 警告: ユーザーによって除外された仮想マシン: *vm-name*、ディスク: *disk-name* が見つかりませんでした。

説明: 指定された仮想ディスクが仮想マシンに存在しません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 「`dsmc backup vm ...`」コマンドを `-preview` オプションを付けて使用して、仮想マシン上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。そのディスクはバックアップから除外されるように指定されているので、バックアップは続行されます。ただし、バックアップしてほしくないディスクがバックアップに含まれている可能性があります。ディスク・ラベルのスペルをチェックして、バックアップしてほしくないディスクがバックアップ操作に今、含まれている場合は、ディスク・ラベルを修正します。

---

**ANE4947E** エラー: ユーザーによって組み込まれた仮想マシン: *vm-name*、ディスク: *disk-name* が見つかりませんでした。

説明: 指定された仮想ディスクが仮想マシンに存在しません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 「`dsmc backup vm ...`」コマンドを `-preview` オプションを付けて使用して、仮想マシン上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。ディスク・ラベルのスペルをチェックし、ディスク・ラベルを修正して、その後「`backup vm`」操作を再試行します。

---

**ANE4948E** 指定された仮想ディスクが仮想マシンに存在しません。

説明: 仮想マシンに存在する仮想ディスク・ラベル名を指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ操作の場合、「`dsmc`

`backup vm ...`」コマンドを `-preview` オプションを付けて使用して、仮想マシン上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。リストア操作の場合、「`dsmc query vm ...`」コマンドを `-detail` オプションを付けて使用して、仮想マシン・バックアップ上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。ディスク・ラベルのスペルをチェックし、ディスク・ラベルを修正して、その後、操作を再試行します。

---

**ANE4949I** 仮想マシン: *vm-name*、ディスク: *disk-name* がバックアップが実行されたときに除外されました。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4950I** 仮想マシン: *vm-name*、ディスク: *disk-name* がユーザーによってリストアから除外されています。

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4951I** 割り当てられたオブジェクトの総数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4952I** 検査されたオブジェクトの総数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4953I** アーカイブしたオブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4954I** バックアップされたオブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4955I** リストアされたオブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4956I** リトリブされたオブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4957I** 削除されたオブジェクトの総数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4958I** 更新されたオブジェクトの総数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4959I** 失敗したオブジェクトの総数: *Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4960I** 再バインドされたオブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4961I** 転送された合計バイト数: *Number of bytes*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4962I** 平均ファイル・サイズ: *Size*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。 このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4963I** データ転送時間: *Transfer time* 秒

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4964I** 経過した処理時間: *Elapsed time*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4965I** サブファイル・オブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4966I** ネットワーク・データ転送速度: *Transfer rate* KB/秒

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4967I** 集約データ転送速度: *Transfer rate* KB/秒

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4968I** オブジェクトの圧縮率: *Number%*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4969I** サブファイル・オブジェクトの縮小率:  
*Number%*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4970I** 有効期限が切れたオブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4971I** LAN フリー・データのバイト数: *Number of bytes*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4972W** ファイル・サーバー *file-server-name* は、**Data ONTAP** バージョン「*version.modification.submodification*」にアップグレードされました。このバージョンでは、スナップショットの差分の増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートしていません。できるだけ早くユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードしてください。

説明: ファイル・サーバーが、スナップショットの差分

を使用する増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートするバージョンから、サポートしないバージョンにアップグレードされました。Data ONTAP バージョン 7.3.3 (またはそれ以降) から 8.0 にアップグレードした場合、スナップショットの差分による増分バックアップを実行する際に、ユニコード・ファイル名を持つファイルをバックアップする機能が失われます。

システムの処置: 処理を続行します。ただし、ユニコード名のファイルはバックアップされません。

ユーザーの処置: できるだけ早くユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードしてください。Data ONTAP バージョン 7.3.3 (またはそれ以降) から 8.0 にアップグレードした場合は、8.1 (またはそれ以降) にアップグレードしてください。現時点でアップグレードできない場合は、IBM Spectrum Protect サーバー上のファイル・スペースを名前変更してスナップショット差分の増分バックアップを実行することで、この警告メッセージを抑止できます。

---

**ANE4973E** ファイル '*filesystem namepath-namefile-name*' の NTFS セキュリティー情報へのアクセス中にエラーが発生しました。

説明: NTFS セキュリティー情報へのアクセス試行中にアクセス否認エラーが発生しました。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡するか、SkipNTSecurity オプションを使用して失敗した検査をバイパスします。

---

**ANE4974E** '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。必要な NT 特権がありません。

説明: IBM Spectrum Protect を実行しているユーザー・アカウントは、現行操作を実行するのに必要な NT ユーザー権限/特権を保持していません。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 必要な特権を認可する権限はシステム管理者にあります。

---

**ANE4975I** 処理された合計バイト数: *Number of bytes*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4976I** 合計データ削減率: *Number%*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4977I** 検査された合計バイト数: *bytes*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4978I** 重複排除による削減:

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4979I** 合計データ削減:

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

**ANE4980I** 検査された合計バイト数:

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4981I** 重複排除による削減率: *Number%*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4982I** 重複排除されたオブジェクトの総数:  
*Number of objects*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4983I** 重複排除されたファイル数:

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4984I** 重複排除前の合計バイト数: *number of bytes*

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4985I** セッション

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4986I** ノード

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

**ANE4987E** '*filespace namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。オブジェクトは、別のプロセスが使用中です。

説明: 指定されたファイルは他のプロセスが使用しています。現在他のプロセスが使用しているファイルの読み取りまたは書き込みを試みました。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: ファイルが別のプロセスによってロックされていないことを確認してください。ファイルがロックされていない場合は、コマンドを再試行してください。

**ANE4988W** ファイル '*filespace namepath-namefile-name*' は、現在サーバーで使用不可であり、スキップされました。

説明: 現在 IBM Spectrum Protect サーバーから使用不可なファイルのリストアまたはリトリブを試行しました。これは、おそらく一時的な問題です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをリストアまたはリトリブできません。

ユーザーの処置: ファイルがサーバーで使用可能になった後で、ファイルを別々にリストアまたはリトリブしてみてください。この問題が続いて起こる場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を求めてください。

**ANE4989E** '*filespace namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。ディレクトリーは、別のプロセスが使用中です。ディレクトリーおよびそのサブディレクトリーにあるオブジェクトはすべてスキップされます。

説明: 指定されたディレクトリーは、別のプロセスによって使用されています。現在他のプロセスが使用しているディレクトリーの読み取りまたは書き込みを試みました。ディレクトリーおよびそのサブディレクトリーに含まれるオブジェクトはバックアップされません。

システムの処置: そのディレクトリーに対する処理は停

止しました。このバックアップ処理にほかのファイルやディレクトリーを指定していた場合、それらについては処理されます。

ユーザーの処置: 正しいディレクトリー名が指定されていることの確認、許可の訂正、または新規位置の指定を行ってください。ディレクトリー名が正しい場合、ディレクトリーの排他使用を行うプロセスがないときにバックアップを再試行してください。

---

### ANE4990I @1%s

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4991I Application Type Application Message Id Application Message

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

---

### ANE4992W Application Type Application Message Id Application Message

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

---

### ANE4993E Application Type Application Message Id Application Message

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

---

### ANE4994S Application Type Application Message Id Application Message

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

---

### ANE4995I @1%s @2%s @3%s

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4996I @1%s @2%s @3%s

説明: このメッセージは、このサーバーに対して実行されたクライアント操作についての統計または情報を報告します。このメッセージは、通知目的でログに記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 不要です。

---

### ANE4997E 'filespace namepath-namefile-name' の処理エラー: ファイル・システム割り当て量到達状態 - スペース残量がありません。

説明: 宛先ファイル・システムの割り当て量に達したため、これ以上ファイルをリストアまたはリトリブすることができません。

システムの処置: クライアントは、ユーザーのアクションを要求しています。

- このオブジェクトの再試行
- このオブジェクトのスキップ
- アクションの打ち切り

ユーザーの処置: このオブジェクトの適切なアクションを選択してください。フリー・スペースを作成するか、宛先ファイル・システム上の割り当て量を増やしてから、操作を再試行してください。あるいは、別のファイル・システムにファイルをリストアまたはリトリブするオプションを選択してください。



---

**ANE4998E** ファイル「*filename*」のリンク情報は取得できませんでした。オブジェクトへのアクセスが拒否されました。

説明: 指定したファイル・リンクへのアクセスが拒否されました。ファイル・リンク情報を読み取ろうとしましたが、このオブジェクトへのアクセス権限がありません。

システムの処置: 「システム状態」の処理が停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM 技術サポートに連絡して追加支援を依頼してください。

---

**ANE4999I** 次のメッセージは長すぎるためサーバーに記録できませんでした。'*shortened message with message number*'

説明: メッセージ・テキストと挿入部分が大きすぎるため、使用可能な内部バッファでサーバーに送信できません。

システムの処置: *message number* メッセージはローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれ、短縮されてからこのメッセージの一部としてサーバーに送信されます。メッセージの長さは、元のメッセージの中央にある '...' を置換することにより短縮されます。

ユーザーの処置: 参照されたメッセージは短縮されていますが、発生したエラーを説明しています。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。



---

## 第 3 章 ANR メッセージ

ANR メッセージは、サーバーによって発行されます。一部の ANR メッセージは、すべてのオペレーティング・システムに共通であり、一部は単一のオペレーティング・システムに固有です。

---

### ANR メッセージ・リスト

メッセージが番号順に昇順でリストされています。メッセージのすべての要素が記載されています。

新規追加、変更、および削除されたサーバー・メッセージのリストについては、サーバーのインストール・ディレクトリー内にある以下のファイルを参照してください。

#### **Release\_msg\_chgs**

このファイルには、以前のサーバー・バージョンから現行バージョンの間で新規追加、変更、および削除されたすべてのメッセージが含まれます。

#### **Maint\_msg\_chgs**

このファイルには、現行のサーバー・バージョンから現行リリースの間で新規追加、変更、および削除されたすべてのメッセージが含まれます。

これらのファイルは、*installation\_directory\doc* ディレクトリー (Microsoft Windows オペレーティング・システム) および *installation\_directory/server/bin/* ディレクトリー (その他のすべてのオペレーティング・システム) にあります。

これらのファイルは、IBM Spectrum Protect Wiki の 新規、変更、および削除されたサーバー・メッセージ でも参照可能です。

---

**ANR0010W** 言語 *language* のメッセージ・カタログを開くことができません。デフォルト言語のメッセージ・カタログが使用されます。

説明: 指定された言語のメッセージ・カタログが見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは、デフォルトの英語によるメッセージ・カタログでの初期化を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

- サーバー・オプション・ファイルで LANGUAGE オプションを指定している場合は、サポートされている言語を指定したことを確認してください。
- システム・ロケールの環境変数を指定している場合は、サポートされているロケールを指定したこと、およびそのロケールがシステムにインストールされていることを確認してください。

- 指定した言語の IBM Spectrum Protect 言語パッケージがシステムにインストールされていることを確認してください。
- サーバーを再始動します。

---

**ANR0011W** ロケールを *first locale* に設定できません。ロケール *second locale* をメッセージの書式設定に使用します。

説明: 最初のロケールを設定できませんでした。

システムの処置: サーバーは、2 番目のロケールを使用して初期化を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

- サーバー・オプション・ファイルで LANGUAGE オプションを指定した場合は、サポートされるロケール

ルを指定したこと、およびそのロケールがシステムにインストールされていることを確認してください。

- システム・ロケールの環境変数を指定している場合は、サポートされているロケールを指定したこと、およびそのロケールがシステムにインストールされていることを確認してください。
- サーバーを再始動します。

---

**ANR0098W** このシステムは、最小メモリー所要量を満たしていません。

説明: 必要な最小メモリーは 12 GB です。データ重複排除を使用する場合は 16 GB が必要です。頻繁に使用するサーバーでは少なくとも 32 GB は必要です。32 GB 以上のメモリーを使用すると、IBM Spectrum Protect サーバーのデータベース・インベントリのパフォーマンスが向上します。

複数インスタンスを実行する予定の場合は、サーバー 1 つ用のメモリーが各インスタンスに必要です。サーバー 1 つ用のメモリーの値に、システムに計画しているインスタンスの数を掛けます。

ノード複製処理には、追加メモリーが必要です。データ重複排除を使用しないノード複製には最小で 32 GB のメモリー使用してください。データ重複排除を使用するノード複製には、最小で 64 GB のメモリーが必要です。複製を実行するには、サイズが最低 64 GB の活動ログが必要です。複製と重複排除の両方を使用している場合、サイズが最低128 GB の活動ログが必要です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システムのメモリーの量を増やしてください。

---

**ANR0099W** このオペレーティング・システムはサポートされません。

説明: システムが、以下のいずれかの項目を検出しました。

- サポートされないオペレーティング・システムのリリース
- インストールされていない、オペレーティング・システムに必要な保守

詳しくは、インフォメーション・センターのソフトウェア要件のセクションを参照してください。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: インフォメーション・センターのソフトウェア要件のセクションを参照して、サポートされるオペレーティング・システムにアップグレードしてください。

---

**ANR0100E** *Source file(line number):* 表 "table name" を作成中にエラー error code。

説明: サーバー・データベース表を作成しようとしている時に内部エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0101E** *Source file(line number):* 表 "table name" をオープン中にエラー error code。

説明: サーバー・データベース表へのアクセス中に内部エラーが発生しました。このエラー・メッセージは、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントが HALT コマンドに応答して停止した場合は、このエラー・メッセージを無視できます。

---

**ANR0102E** *Source file(line number):* 表 "table name" に行を挿入中にエラー error code。

説明: データがサーバー・データベース表に追加されたときに内部エラーが発生しました。このエラー・メッセージは、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サーバー・データベース表に行が追加されたときにエラーが発生しました。通常、このエラーにより、エラー・コード値 1 が表示されます。エラー・コード値 1 は、挿入されているレコードが既にデータベース内に存在することを示しています。このタイプのエラーは、サーバーとのタイミングの問題、あるいはサーバー・プロセス、クライアント・セッション、またはその他のサーバー・アクションに関与する同期の問題によって引き起こされた可能性があります。活動記録ログ・ファイルを調べて、どの操作が進行中で、このエラーによる影響を受けたかを判別してください。操作を再試行してタイミングを変更し、エラーが発生したときと同じプロセスまたはアクションと同時に実行されないようにしてください。

---

**ANR0103E** *Source file(line number):* 表 "table name" の行を更新中にエラー *error code*。

説明: サーバー・データベース表でデータが更新されたときに内部エラーが発生しました。このエラー・メッセージは、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サーバー・データベース表に行が追加されたときにエラーが発生しました。通常、このエラーにより、エラー・コード値 2 が表示されます。エラー・コード値 2 は、更新されているレコードがデータベース内に存在しないことを示しています。このタイプのエラーは、サーバーとのタイミングの問題、あるいはサーバー・プロセス、クライアント・セッション、またはその他のサーバー・アクションに關与する同期の問題によって引き起こされた可能性があります。活動記録ログ・ファイルを調べて、どの操作が進行中で、このエラーによる影響を受けたかを判別してください。操作を再試行してタイミングを変更し、エラーが発生したときと同じプロセスまたはアクションと同時に実行されないようにしてください。

---

**ANR0104E** *Source file(line number):* 表 "table name" から行を削除中にエラー *error code*。

説明: サーバー・データベース表からデータが削除されているときに内部エラーが発生しました。このエラー・メッセージは、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サーバー・データベース表から行が削除されるときにエラーが発生しました。通常、このエラーにより、エラー・コード値 2 が表示されます。エラー・コード値 2 は、削除されているレコードがデータベース内に存在しないことを示しています。このタイプのエラーは、サーバーとのタイミングの問題、あるいはサーバー・プロセス、クライアント・セッション、またはその他のサーバー・アクションに關与する同期の問題によって引き起こされた可能性があります。活動記録ログ・ファイルを調べて、どの操作が進行中で、このエラーによる影響を受けたかを判別してください。操作を再試行してタイミングを変更し、エラーが発生したときと同じプロセスまたはアクションと同時に実行されないようにしてください。

---

**ANR0105E** *Source file(line number):* 表 "table name" の検索範囲を設定中にエラー。

説明: サーバー・データベース表からデータがアクセスされているときに内部エラーが発生しました。このエラー・メッセージは、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 活動記録ログ・ファイルを調べて、どの操作が進行中で、このエラーによる影響を受けたかを判別してください。操作を再試行してタイミングを変更し、エラーが発生したときと同じプロセスまたはアクションと同時に実行されないようにしてください。

---

**ANR0106E** *Source file(line number):* 表 "table name" の行を取り出し中に予期しないエラー *error code*。

説明: サーバー・データベース表からデータがアクセスされているときに内部エラーが発生しました。このエラー・メッセージは、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを調べて、どの操作が進行中で、このエラーによる影響を受けたかを判別してください。操作を再試行してタイミングを変更し、エラーが発生したときと同じプロセスまたはアクションと同時に実行されないようにしてください。

---

**ANR0107W** *Source file(line number):* 内部エラーのためにトランザクション *transaction ID* はコミットされませんでした。

説明: トランザクションのコミット中に内部エラーが検出されました。通常、このメッセージの前に、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを調べて、どの操作が進行中で、このエラーによる影響を受けたかを判別してください。操作を再試行してタイミングを変更し、エラーが発生したときと同じプロセスまたはアクションと同時に実行されないようにしてください。

---

---

**ANR0108E** *Source file(line number):* 新規トランザクションを開始できませんでした。

説明: 新規トランザクションを開始しようとした時にエラーが起きました。 メモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0109E** 試行番号 *att\_num* は *icc location* から暗号方式モジュールをロードできません。

説明: 暗号方式モジュールをロードしようとしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: アプリケーションは始動しません。

ユーザーの処置: ICC 暗号方式ディレクトリーが、アプリケーション・ルート・ディレクトリーまたはプラットフォーム固有の環境変数で指定されたディレクトリー (Unix プラットフォームの *DSMSERV\_DIR* または Windows レジストリー) のいずれにあるかを確認します。

---

**ANR0110E** 予期しないシステム日付が検出されました。サーバーは使用不可になっています。システム日付を確認してから、**ACCEPT DATE** コマンドを使用して、現在日付を有効なものとして設定してください。

説明: サーバーは、現行システム日付が疑わしいことを注記しました。日付がサーバーのインストール日付より前か、あるいは突然 30 日以上先の日付へ移動されました。

システムの処置: クライアント、サーバー、および管理用のアクセスに対してサーバーが使用不可です。大部分のサーバー・プロセスは実行されません。

ユーザーの処置: 現行システム日付が無効な場合には、その日付をリセットしてください。 **ACCEPT DATE** コマンドを使用して、現在日付をサーバー上で有効なものとして設定してください。このコマンドを実行した後に、サーバーをセッションに使用可能にするために **ENABLE SESSIONS ALL** コマンドを使用できます。無効な日付を受け入れると、以下のいずれかの問題が発生することがあります。

期限以前にデータが削除される問題

期限以後もデータが保存される問題

スケジューリングの問題

イベント・レコードの問題

パスワード期限切れの問題。

---

**ANR0111E** *Command:* **BEGINNODEID** と **ENDNODEID** は、両方指定する必要があります。

説明: **BEGINNODEID** と **ENDNODEID** を指定するときは、片方だけではなく、両方一緒に指定する必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: **BEGINNODEID** と **ENDNODEID** を両方指定するか、またはいずれも指定せずに、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0112E** *Command:* 指定した **BEGINNODEID** *node id* が **ENDNODEID** *node id* よりも大きくなっています。

説明: **BEGINNODEID** の値が **ENDNODEID** より大きいため、**BEGINNODEID** または **ENDNODEID** が無効です。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: **ENDNODEID** の値を **BEGINNODEID** 以上に指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0113E** *Command:* パラメーター *parameter name* で指定されたストレージ・プール・リストに、ストレージ・プール *storage pool name* が複数回入っています。

説明: 指定されたストレージ・プール名は、複数回指定されています。この名前は、**COPYSTGPools** リストに複数回入っているか、**ACTIVEDATAPools** リストに複数回入っているか、**PROTECTLOCALSTGPools** リストに複数回入っているか、複数のリストで指定されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 固有のストレージ・プール名を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR0114E** *Command:* このコマンドには **NUMBER** パラメーターが必要です。現行のデフォルト値は **0** です。

説明: **LFVOLUMEFORMATCOUNT** オプションが **0** に設定されている場合、**FORMAT LFVOLUME COMMAND** には **NUMBER** パラメーターが必要です。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: NUMBER パラメーターを指定してコマンドを再発行するか、SETOPT コマンドを使用して LFBVOLUMEFORMATCOUNT 値を変更してください。

---

**ANR0115W** サーバー・スクリプト *script name* が、単一スクリプトに許容されている以上の数の並列コマンドを始動しようとした。単一スクリプトでは、並列コマンドは *parallel command limit* に限定されます。

説明: サーバーは、このスクリプトが始動した以前の並列コマンドすべてが完了するのを待ちます。以前の並列コマンドがすべて完了すると、サーバーは、スクリプトの続行を許可します。スクリプトは、さらに並列コマンドの始動を試行することができます。

システムの処置: サーバーは、以前のコマンドすべてが完了するのを待ってから、スクリプトの続行を許可します。

ユーザーの処置: スクリプトの許容限界以上の数の並列コマンドを始動する必要がある場合は、複数のスクリプトを並行して起動し、各スクリプトがそのスクリプトの許容限界まで複数の並列コマンドを始動できるように、現在のスクリプトを変更してください。

---

**ANR0116W** サーバー・スクリプト *script name* が、サーバーに許容されている以上の数の並列コマンドを始動しようとした。サーバーでは、並列コマンドは *parallel command limit* に限定されます。

説明: サーバーは、このスクリプトが始動した以前の並列コマンドすべてが完了するのを待ちます。以前の並列コマンドがすべて完了すると、サーバーは、スクリプトの続行を許可します。スクリプトは、さらに並列コマンドの始動を試行することができます。この許容限界を超えると、コマンドは順次実行されます。

システムの処置: サーバーは、以前のコマンドすべてが完了するのを待ってから、スクリプトの続行を許可します。

ユーザーの処置: 任意の時点でサーバー上で実行中の並列コマンドまたはスクリプトを減らしてください。

---

**ANR0117E** サーバーに保管データが含まれています。アーカイブ・データ保存保護を変更できません。

説明: サーバーにバックアップ・データ、アーカイブ・データ、またはスペース管理データが含まれているときは、アーカイブ・データ保存保護状態を変更できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アーカイブ・データ保存保護状態を変更するには、サーバーにバックアップ・データ、アーカイブ・データ、またはスペース管理データが含まれてはいけません。サーバー・データベースを再初期化するか、保管データをすべて削除して、コマンドを再試行してください。

---

**ANR0118W** クライアント・オプション *client option* は無効であるため、クライアントに送信されません。 **INCLEXCL** オプションを代わりに使用してください。

説明: クライアント・オプション INCLUDE および EXCLUDE は無効で、それらを結合した INCLEXCL に置き換えられました。INCLUDE および EXCLUDE をクライアント・オプション・セット内で使用している場合は、クライアントに使用させる具体的な組み込みオプションや除外オプションを指定して、INCLEXCL オプションを使用してください。

システムの処置: オプションは無視され、クライアントにも送信されません。サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・オプション INCLUDE および EXCLUDE が無効であるため、クライアントに使用させる具体的な組み込みオプションや除外オプションを指定して、INCLEXCL オプションを使用してください。

---

**ANR0119W** クライアント・オプション *client option* は無効であるため、クライアントに送信されません。クライアント・オプション・セットからこのオプションを削除してください。

説明: クライアント・オプションはこのサーバーにサポートされていないため、クライアント・オプション・セットから削除する必要があります。

システムの処置: オプションは無視され、クライアントにも送信されません。サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: オプション・セットからオプションを削除します。オプションの可能な代替については、資料を調べてください。

---

**ANR0120I** アーカイブ・データ保存保護が *state of archive data retention protection* に設定されています。

説明: アーカイブ・データ保存保護の状態が設定されています。

システムの処置: 処理を続行します。

## ANR0121E • ANR0128E

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0121E** アーカイブ・データ保存が使用可能のときは、*command* は許可されません。

説明: アーカイブ・データ保存保護がサーバーで使用可能のときは、示されたコマンドは許可されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0122E** *command*: アーカイブ・データ保存が使用可能のときは、ノードを新しいドメインに割り当てることができません。

説明: アーカイブ・データ保存保護がサーバーで使用可能のときは、前に定義したノードを新しいドメインに割り当てることができません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0123E** *command*: アーカイブ・データ保存が使用可能のときは、装置タイプ **SERVER** は許可されません。

説明: アーカイブ・データ保存保護がサーバーで使用可能のときは、示された装置タイプは許可されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0124W** ノード *node name (node id)* のオブジェクト *object name (object id hi)*、ファイル・スペース *filespace name (filespace id)* は、保存保護および削除できません。

説明: 以下の理由により、指定されたオブジェクトは削除できません。

- アーカイブ保存保護が使用可能であり、オブジェクトの保存期間が過ぎていない。
- オブジェクトが削除保留の一部である。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0125W** ノード *node name* の **DELETE FILESPACE** *filespace name* には保持保護データが含まれており、削除できません。

説明: 以下のいずれかの理由で保持が必要なオブジェクトが 1 つ以上含まれているため、示されたファイル・スペースは削除できません。

- アーカイブ保存保護が使用可能であり、オブジェクトの保存期間が過ぎていない。

- オブジェクトが削除保留の一部である。

システムの処置: ファイル・スペースは削除されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0126W DELETE VOLUME:** ボリューム *volume name* は保存保護データを含んでおり、削除できません。

説明: 以下のいずれかの理由で保持が必要なオブジェクトが 1 つ以上含まれているため、示されたボリュームは削除できません。

- アーカイブ保存保護が使用可能であり、オブジェクトの保存期間が過ぎていない。
- オブジェクトが削除保留の一部である。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0127E** データ保存保護が、ターゲット・サーバー上で使用可能な場合は、別のサーバーに対して *command* の実行は許可されていません。

説明: データ保存保護がターゲット・サーバーで使用可能のときは、示されたコマンドは許可されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0128E** *Command*: パラメーター *parameter name* で指定されたストレージ・プールのリストに、別のストレージ・プールで既に使用されているストレージ・プール *storage pool name* が含まれています。

説明: 指定されたストレージ・プール名は、別のストレージ・プールを保護するために既に使用されています。同じコンテナ・コピー・ストレージ・プールを使用して複数のストレージ・プールを保護することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 固有のストレージ・プール名を指定して、コマンドを出し直してください。



---

**ANR0129I** データベース・アップグレードが正常に完了しました。

説明: 要求されたデータベース・アップグレード操作が正常に完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0130E** *Diagnostic(ID):* サーバー・ログ・スペースが使い果たされました。

説明: サーバー回復ログにデータを書き込むスペースがありません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを大きくするために、

ACTIVELOGDIR、ARCHIVELOGDIR、および ARCHFAILOVERLOGDIR に割り当てられたディレクトリおよびファイル・システムを評価します。

ACTIVELOGDIR ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。あるいは、ACTIVELOGDIR 内の活動状態でなくなったログ・ファイルを ARCHIVELOGDIR および ARCHFAILOVERLOGDIR ロケーションにアーカイブできない場合に、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要であれば、このオプションを dsmserv.opt ファイルで更新してサーバーを再始動すると、さらに大きな ARCHIVELOGDIR および ARCHFAILOVERLOGDIR を指定できます。

---

**ANR0131E** *Diagnostic(ID):* サーバー DB スペースが使い果たされました。

説明: サーバー・データベースにデータを書き込むスペースがありません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベースのスペースを大きくするため、許可された管理者は、DEFINE DBSPACE コマンドを使用してデータベース・ボリュームを追加することができます。一度データベースに追加スペースが追加されると、サーバー・データベース・マネージャーは自動的にそのスペースに拡大されてそれを使用します。

---

**ANR0132E** *Diagnostic(ID):* メモリー割り振りに失敗しました: オブジェクト *object name*、サイズ *size*。

説明: サーバーが、指定されたオブジェクトを作成する十分なメモリーを獲得することができません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0133E** モジュール *modname* のロード時にエラー: *error string*

説明: サーバーがモジュール *modname* のロードを試みた時に *error string* で指定されたエラーが起きました。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、モジュールによって提供された機能は利用できません。

ユーザーの処置: エラー・ストリングを参照して、ロード障害の原因となる状態を訂正してください。

---

**ANR0136I** *total tables* 個中 *processed tables* 個の表について表の統計の更新が正常に実行されました。

説明: サーバーはデータベース表の保守を定期的に行います。保守処理によって、データベースは指定された表への最善のアクセス方法を判別する統計を更新できます。保守処理はサーバーのすべての表を定期的に処理します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー・アクションは不要です。

---

**ANR0137E** *Source file(line number):* *num rows* のデータベース行を割り振り中にエラー *error code*。

説明: 指示されたデータベースの行数用にストレージを割り振ろうとしている時に内部エラーが起きました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0138E** 1 次ログ用の値 *primary logs* は無効です。

説明: 1 次ログに対して無効な数を指定したコマンドが出されています。

---

システムの処置: サーバーのインストールを停止します。

ユーザーの処置: 1 次ログに有効な数を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR0140I** *Command:* 成功しました。 ノード `node_id_2` に対するプロキシー権限がノード `node_id_1` に付与されました。

説明: コマンドは成功しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを実行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0141E** *Command:* 失敗しました。 ノード `node_id_2` に対するプロキシー・ノード権限がノード `node_id_1` に付与されませんでした。

説明: コマンドは、いずれかのノードが存在しない場合やコマンドを発行する管理者に十分な権限がない場合に失敗します。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: ノードが両方存在すること、および管理者に十分な権限があることを確認してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0142I** *Command:* 成功しました。 ノード `node_id_1` のプロキシー・ノード権限がノード `node_id_2` から取り消されました。

説明: コマンドは成功しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを実行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0143E** *Command:* 失敗しました。 ノード `node_id_1` のプロキシー・ノード権限がノード `node_id_2` に対して取り消されませんでした。

説明: コマンドは、コマンドを発行する管理者に十分な権限がない場合に失敗します。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: コマンドのヘルプをチェックして、管理者が無制限またはシステム・ポリシー権限を持っていることを確認してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0144E** *Command:* 失敗しました。 ノード `node_id_missing` がサーバーに対して定義されていないため、ノード `node_id_1` には、ノード `node_id_2` に対するプロキシー・ノード権限が付与されませんでした。

説明: コマンドは、ノードのいずれかが、サーバーに対して定義されていないため失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: ノードが両方ともサーバーに対して定義されていることを確認してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0145E** *Command:* 失敗しました。 ノード `node_id_2` に対するプロキシー・ノード権限は、既にノード `node_id_1` に付与されています。

説明: コマンドは、2 つのノード間に既にプロキシー関係が存在するため失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗しますが、既存のアソシエーションの変更は行いません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0146E** *Command:* 失敗しました。 ノード `node_id_1` は、自分自身に対するプロキシー・ノード権限を付与されませんでした。

説明: コマンドは、ノードがノード自身に対してプロキシー関係を定義できないため失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0147E** *Command:* 失敗しました。 ノード `node_id_missing` がサーバーに対して定義されていないため、ノード `node_id_2` に対するノード `node_id_1` のプロキシー・ノード権限が取り消されませんでした。

説明: コマンドは、ノードのいずれかが、サーバーに対して定義されていないため失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: ノードが両方ともサーバーに対して定義されていることを確認してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0148I** *Command:* プロキシ関係が検出されませんでした。

説明: プロキシ関係が検出されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0149E** ノード *node\_name* 用のファイル・スペース *filespace* は、コマンドと同時に削除されました。

説明: コマンドは失敗しました。要求されたファイル・スペースは、コマンドと同時に削除されました。

システムの処置: サーバーはコマンドに失敗します。

ユーザーの処置: コマンドをやり直してください。

---

**ANR0150E** *object object\_name* のオープンに失敗しました。 *password\_type* パスワードの暗号化解除中にエラーが発生しました。

説明: パスワードの暗号化解除中にエラーが検出されたので、サーバーは、指定されたオブジェクトをオープンできませんでした。

システムの処置: サーバーは関連するコマンドまたはアクションに失敗します。

ユーザーの処置: 適切な UPDATE コマンドを使用してパスワードを再設定し、失敗しているコマンドまたはアクションを再試行してください。

---

**ANR0151W** データベース・マネージャーが始動に失敗しました。 障害についての詳細情報を見るには、**db2start** コマンドを実行してください。

説明: サーバーはデータベース・マネージャーを開始できませんでした。考えられる原因は次のとおりです。

- データベース・マネージャーのライセンス・キーが無効であるか、欠落しています。
- サーバー・インスタンスのパスワードが変更されています。

システムの処置: サーバーの初期化が停止されます。

ユーザーの処置: 障害についての詳細情報を見るには、**db2start** コマンドを実行してデータベース・マネージャーの開始を試みてください (例:

C:\Users¥admin>db2start)。次のようなメッセージを受け取る可能性があります。「SQL1397N DB2 サービスはログオンに失敗しました。」「SQL1032N start database manager コマンドが発行されていません。SQLSTATE=57019」障害の原因を判別するには、サーバ

ーが最近変更されたかどうかを判断して、システム・エラー・ログを調べてください。 情報は、DB2 診断ログ・ファイルで見つかります。Windows プラットフォームで DB2 サーバーを始動している場合は、「コントロール パネル」の「サービス」ダイアログ・ボックスを使用して DB2 サービスのログオン・アカウントを設定できます。

---

**ANR0152I** データベース・マネージャーが正常に開始されました。

説明: サーバーはデータベース・マネージャーを正常に開始できました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0153I** データベース・マネージャーは既に実行されています。

説明: サーバーのデータベース・マネージャーは既に実行されています。

システムの処置: サーバーの開始は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0154E** *Command: ACTIVEDESTINATION* パラメーターで指定された活動データ・プール・リストに、重複する活動データ・プール *active data pool name* が入っています。すべての名前が固有でなければなりません。

説明: ACTIVEDESTINATION パラメーターには、最大 10 個の固有の活動データ・プール名を入力して指定できます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 固有の活動データ・プール名を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR0155E** *Command: ACTIVEDESTINATION* パラメーターで指定する活動データ・プール名は 10 を超えてはなりません。

説明: ACTIVEDESTINATION パラメーターで指定できる活動データ・プール名の最大数は 10 です。最大 10 個の固有の名前をコンマで区切って入力できます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 最大 10 個の活動データ・プール名をコンマのみで区切って指定し、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0156E** *Command:* プール ID *pool ID* のプール *active data pool name* は活動プールではありません。

説明: 指定したストレージ・プールは、活動データ・プールではありません。ACTIVEDESTINATION パラメーターで指定できるのは活動データ・プールだけです。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 10 以下の活動データ・プール名を指定するコマンドを再発行してください。

---

**ANR0157W** 表 *table name* のデータベース操作 *table operation* は、結果コード *op code* およびトラッキング ID: *id* で失敗しました。

説明: 示された表に指定された *table operation* でエラーが発生しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 問題の結果として操作上障害がなければ、これは予測されていたもので、サーバーは適正に続行できます。これによりクライアント・セッションまたはサーバーの処理が失敗した場合、この情報は問題の診断に役立てるために必要です。失敗の場合は、IBM サービス担当員に援助を依頼してください。

---

**ANR0158W** 表 *table name* のデータベース操作 *table operation* は、操作コード *op code* およびトラッキング ID: *tracking number* で失敗しました。列 *column number* のデータは *column data* です。

説明: 示された表に指定された *table operation* でエラーが発生しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 問題の結果として操作上障害がなければ、これは予測されていたもので、サーバーは適正に続行できます。これによりクライアント・セッションまたはサーバーの処理が失敗した場合、この情報は問題の診断に役立てるために必要です。失敗の場合は、IBM サービス担当員に援助を依頼してください。

---

**ANR0159E** *Diagnostic(ID):* データベースのデッドロックが *DB2 Statement Handle* で検出されました。

説明: データベース・サーバーはデッドロック状態を検出し、このステートメント・ハンドル上の完了していない処理をロールバックしました。サーバーの処理がデ

ータベースのデッドロックを検出すると、通常はデッドロックが見つかった時に進行していた処理が再度試みられます。すべてのプロセスが明示的に操作を再試行できるわけではありません。例えば、最終的にはマイグレーションおよびレクラメーションは再試行されることになります。しかし、マクロで実行されるボリューム削除などが再試行されるのは、マクロまたはコマンド・ラインのいずれかで削除コマンドが出し直された場合だけです。

システムの処置: そのステートメント・ハンドル上で実行されていた処理はロールバックされます。要求を再試行するプロセスもあります。他のプロセスは単に停止します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 処理が (マイグレーションのように) 再試行できる場合には、処理が正常に実行されたか、あるいはそうでなかったかを確認するために、再試行の試みを監視してください。処理またはコマンドが独自に再試行できない場合には、アクションが行われるコマンド、またはマクロを出し直してください。

---

**ANR0160I** テキスト *object name* を指定したクライアント・オブジェクト *object identifier* について、*total segments* のセグメント *segment number* を表示中。

説明: 長い完全修飾名を使用する、ファイルまたはディレクトリーなどのクライアント・オブジェクトを表示します。名前は、名前全体が表示されるまで名前より短い複数のセグメントに表示されます。このオブジェクト名のすべてのセグメントが表示されるまで、セグメント番号は 1 から N まで増加します。

システムの処置: このオブジェクトの完全修飾名が表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0161I** テキスト *segment text* を指定したメッセージ挿入 *insert identifier* のセグメント *segment number* を表示中。

説明: 長すぎて指定したメッセージ内に表示できないメッセージ挿入のセグメントを表示します。該当するメッセージ挿入に対して 1 つ以上のセグメントが表示される場合があります。

システムの処置: メッセージ挿入セグメント全体が表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0162W** 補足データベース診断情報:  
*dbReturnCode:dbState:dbCode*  
*(dbErrorMessage)*。

説明: *dbReturnCode*、*dbState*、および *dbCode* は補足情報として表示されます。この情報は、特定の問題の診断に役立つように、他のデータベース・エラー・メッセージまたは警告メッセージの発行と併せて使用する必要があります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。これは、発行された別のデータベース・エラー・メッセージまたは警告メッセージに対応する補足情報です。

---

**ANR0163E** *Diagnostic(ID)*: データベースのメモリーが不十分なことが *DB2 Statement Handle* で検出されました。

説明: データベース・サーバーはメモリーが不十分な状態を検出し、このステートメント・ハンドル上で完了していない処理をロールバックしました。

システムの処置: そのステートメント・ハンドル上で実行されていた処理はロールバックされます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0165I** インベントリー・ファイルの期限切れプロセスが、ノード *nodename*、ファイル・スペース *filespace name*、コピー・グループ *copygroup* およびオブジェクト・タイプ *type* に対して開始されました。

説明: インベントリー・ファイルの期限切れプロセスが、指定された *node name* および *filespace name* に対して処理を開始しました。この *node name* および *filespace name* に対して、指定されたコピー・グループおよびオブジェクト・タイプが現在評価されています。

システムの処置: インベントリー・ファイル期限切れプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、通知として提示されるだけであり、表示されるのは期限切れプロセスが QUIET=NO を指定して実行されている場合のみです。

---

**ANR0166I** ノード *nodename*、ファイル・スペース *filespace name*、コピー・グループ *copygroup* およびオブジェクト・タイプ *type* に対する、インベントリー・ファイルの期限切れ処理が終了しました。処理統計は、調査済み *examined*、削除済み *deleted*、再試行 *retrying*、失敗 *failed*、およびスキップ *skipped* です。

説明: インベントリー・ファイルの期限切れプロセスが、指定された *node name* および *filespace name* に対して処理を終了しました。この *node name* および *filespace name* に対して、指定されたコピー・グループおよびオブジェクト・タイプが評価されました。終了時の統計では、調査、削除、再試行、スキップされたオブジェクトの数、および処理に失敗したオブジェクトの数が示されます。

システムの処置: インベントリー・ファイル期限切れプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、通知として提示されるだけであり、表示されるのは期限切れプロセスが QUIET=NO を指定して実行されている場合のみです。

---

**ANR0167I** インベントリー・ファイル期限切れプロセス *process ID* は *minutes* 分間処理しました。

説明: サーバー期限切れプロセスは指示された時間(分) 実行されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0168I** 管理者 *admin name* の分析者権限は無視されます。分析者権限はこのサーバーではサポートされていません。

説明: V6.1 以降のサーバーでは、分析者権限はサポートされていません。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0169E** 予期しないエラーが発生して、**IBM Spectrum Protect** サーバーは停止しています。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは回復できないエラーを検出し、サーバーは停止しています。発生した具体的なエラー条件を示す他のメッセージが、このメッセージと一緒に発行されます。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: 関連メッセージに示された指示を実行してから、サーバーを開始してください。

---

**ANR0170E** *Diagnostic(ID):* エラーが DB2 Statement Handle で検出され、データベースの再始動が必要となりました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーがデータベース上にエラーを検出し、データベース・マネージャーに DB2 RESTART DB を実行する必要があります。データベース・サーバーへのすべての接続が切断され、未完了操作は打ち切られます。IBM Spectrum Protect サーバーはそれからデータベースを再始動して、続行を試行します。データベース・マネージャーを再始動できない場合は、IBM Spectrum Protect サーバーは停止します。発生した具体的なエラー条件を示す他のメッセージが、このメッセージと一緒に発行される場合があります。

システムの処置: サーバーは続行するか、あるいはデータベースを再始動できない場合は停止します。

ユーザーの処置: サーバーの回復が可能な場合は、打ち切られた操作の再始動以外のアクションは必要ありません。ただし、サーバーを回復できない場合は停止します。関連メッセージに示された指示を実行してから、サーバーを開始してください。まだサーバーを始動できない場合は、DB2 RESTART DB コマンドを手動で実行してからもう一度 IBM Spectrum Protect サーバーの始動を試行します。

---

**ANR0171I** *Diagnostic(ID):* エラーが DB2 Statement Handle で検出され、データベースは評価モードです。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーがデータベース上にエラーを検出し、エラーのタイプおよびそれをエラーから回復可能かどうかを判別するアクションを実行します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: これは情報メッセージです。IBM Spectrum Protect サーバーがエラーの解決を試行すると、他のメッセージを発行する場合があります。関連メッセージに示された指示を実行してください。

---

**ANR0172I** *Diagnostic(ID):* アクション action を実行して、エラーが検出されました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは指定されたデータベース・アクションを実行してエラーを検出しました。このエラーのためにアクションが失敗して、サーバーは続行できなくなりました。

システムの処置: サーバー処理は終了し、要求されたアクションは失敗します。

ユーザーの処置: 発行された他のメッセージを確認して実際のエラーを判別し、操作を再試行する前にその障害を解決するステップを実行してください。

---

**ANR0173I** 使用可能なシステム・メモリーが十分でないため、データベースはアクション action に失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは指定されたアクションを実行中にエラーを検出しました。具体的には、サーバー・データベースと通信できるようにするための十分なメモリーがサーバー・データベースにないか、あるいはサーバー・バッファー・プールに必要なメモリーを獲得できませんでした。

システムの処置: サーバー処理は終了し、要求されたアクションは失敗します。

ユーザーの処置: 多くの場合、これはシステムで使用可能なリソースの不足を表します。これは物理リソース不足、または環境設定によってサーバーが必要なリソースへアクセスするのを妨げている可能性があります。例えば、Linux システムでは、SHMMAX 値 (許可されている最大共有メモリー) の設定が小さすぎるのが原因である可能性があります。Linux では、コマンド「`ipcs -l`」を使用して表示できます。同様に、Linux については、この値はコマンド「`sysctl -w kernel.shmmax=nnn`」を使用して増やすことができます。ここで、nnn は共有メモリーの使用に割り当てられる新しい最大メモリー値です。一般的にこの値は、システムで使用可能な実際の物理メモリー (RAM) に応じて約 1.25 GB またはそれ以上に設定してください。

---

**ANR0174E** *Diagnostic(ID):* DB2 Handle で最大 DB2 接続に達しました。

説明: 使用可能なサーバー・データベースへの接続がありません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: DB2 管理者は DSNzPARM 設定の IDBACK パラメーターを変更して、サーバーが使用可能なデータベース接続の数を増やすことができます。

---

**ANR0175E** *Diagnostic(ID):* DB、ログ、またはインスタンス・ディレクトリーのうちの 1 つ以上のスペースが使果たされました。

説明: サーバー・データベース、回復ログ、またはインスタンス・ディレクトリーに割り当てられたスペースが使果たされました。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: データベース、回復ログ、またはインスタンス・ディレクトリー用にサーバーに割り当てられた、ファイル・システムまたはその他のスペースを確認してください。データベースに割り当てられたスペースが満杯の場合は、サーバーを再始動して、EXTEND DBSPACE コマンドまたは DSMSEV EXTEND DBSPACE ユーティリティを使用して追加データベース・スペースを追加します。サーバー ACTIVELOGDIR が満杯の場合は、このサーバー・オプションを、サーバーがデータベースの変更内容をログインするために使用可能なスペースのある新しいロケーションに更新します。サーバー・インスタンス・ディレクトリーが満杯の場合には、不要になったファイルを削除するか、あるいはこのファイル・システムを拡張します。

サーバーは、別々のディレクトリーおよびストレージ装置を使用するデータベース、活動ログ、およびアーカイブ・ログに関して構成する必要があることにご注意ください。例えば、データベースおよび活動ログが同じディレクトリーおよび基礎となるストレージ装置を使用するように構成されていると、パフォーマンスに悪影響を及ぼす場合があります。これによって、データベースおよび活動ログのスペースを効率的に管理するサーバー機能が侵害される場合もあります。同様に、ある程度のスペースが使用可能な状態で、サーバーのインスタンス・ディレクトリーをモニターおよび管理することも必要です。サーバー・インスタンス・ディレクトリーは、いくつかのサーバー・アクションおよびデータベース・アクションを記録するのに使用されます。

---

**ANR0185E** *primary storage pool name* のデータは *active data pool name* にコピーできません。活動データ・プールがドメインに定義されていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: DEFINE DOMAIN または UPDATE DOMAIN コマンドのいずれかで ACTIVEDESTINATION パラメーターを使用して、ドメインに活動データ・プールを定義してください。

---

**ANR0186E** データベース・マネージャーを開始するのに十分な権限がありません。

説明: サーバーが始動中である場合は、dsmserv プロセスの実行に使用するユーザー ID に、データベース・マネージャーを開始する権限がありません。サーバーが実行中である場合は、サーバー操作を実行するのに十分な権限がありません。

システムの処置: サーバーの処理は終了し、サーバーが実行中である場合はサーバーが停止します。

ユーザーの処置: データベース・マネージャーを開始するための権限を、サーバーで実行中のユーザー ID が持っていることを確認します。次のアクションを実行してください。

- IBM Spectrum Protect インスタンスのユーザー ID にログインし、サーバーを開始します。
  - UNIX システムで root ユーザー ID を使用してサーバーを稼働させるには、IBM Spectrum Protect インスタンスのユーザー ID の 1 次グループに root ユーザー ID を追加します。
  - または、UNIX システムでインスタンス・ユーザー ID を使用してサーバーを稼働させるには、自動開始機能を使用してサーバーを開始する際に、-u オプションを指定します。

---

**ANR0187E** データベース *db name* が見つかりませんでした。

説明: サーバーがデータベースのオープンを試みましたが、データベースがデータベース・マネージャーによって検出されませんでした。これが新規データベースのフォーマット設定の直後に生じた場合は、フォーマット操作が失敗した可能性があります。

システムの処置: サーバー・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: データベースを最初の開始前にフォーマット設定するようにします。データベースおよびログのすべてのディレクトリーがオンラインで使用可能であることを確認してください。

---

**ANR0188E** データベース・マネージャーを開始できませんでした。データベース・マネージャーのライセンスが見つかりません。

説明: データベース・マネージャーのライセンスが見つかりませんでした。

システムの処置: サーバー・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0189E** データベース・マネージャーを開始できませんでした。データベース・マネージャーのライセンスの有効期限切れです。

説明: データベース・マネージャーのライセンスの有効期限切れです。

システムの処置: サーバー・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR0190I** インベントリー・ファイル期限切れ処理が  
ノード *node name* のバックアップ・セッ  
トについて開始されました。

説明: 現在、期限切れ処理は、指定されたノードに対す  
るバックアップ・セットについての情報を評価中です。

システムの処置: インベントリー・ファイル期限切れプ  
ロセスは続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、通知として提示さ  
れるだけであり、表示されるのは期限切れ処理が  
QUIET=NO を指定して実行されている場合のみです。

**ANR0191I** ノード *node name* のバックアップ・セッ  
トに対する、インベントリー・ファイルの  
期限切れ処理が終了しました。処理統計  
は、調査済み *examined*、削除済み  
*deleted*、再試行 *retrying*、および失敗  
*failed* です。

説明: 指定されたノードのバックアップ・セットに対す  
る期限切れ処理が終了しました。終了時の統計では、調  
査および削除されたオブジェクトの数、および処理に失  
敗したオブジェクトの数が示されます。

システムの処置: インベントリー・ファイル期限切れプ  
ロセスは続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージは、通知として提示さ  
れるだけであり、表示されるのは期限切れ処理が  
QUIET=NO を指定して実行されている場合のみです。

**ANR0193E** REPAIR EXPIRATION TYPE=*type* コマ  
ンドをサーバー・コンソールから出すこと  
はできません。

説明: 指定された REPAIR EXPIRATION コマンドが  
サーバー・コンソールから出されました。コマンドの  
処理を続行するためのプロンプトを管理者に出す必要が  
あるので、このコマンドをサーバー・コンソールから出  
すことはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを無視して、処理  
を続行します。

ユーザーの処置: コマンドは管理クライアントから出し  
てください。

**ANR0195W** ボリューム *volume name* の無関係なデー  
タベース項目の削除を試みています。

説明: サーバーは、指定されたボリュームの無関係なデー  
タベース項目を削除しようとしています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、このボリ

ュームの無関係なデータベース項目を削除しようとして  
います。

ユーザーの処置: このボリュームの完了メッセージを確  
認して、無関係なデータベース項目が正常に削除された  
かエラーが発生したかを判別してください。

**ANR0196I** ボリューム *volume name* の無関係なデー  
タベース項目を正常に削除しました。

説明: サーバーは、指定されたボリュームの無関係なデー  
タベース項目を正常に削除しました。

システムの処置: システムは操作を続行します。指定さ  
れたボリュームに対する以後の操作も通常どおりに機能  
します。

ユーザーの処置: サーバーは、指定されたボリュームを  
正常に修復しました。

**ANR0197E** ボリューム *volume name* の無関係なデー  
タベース項目の削除は、他のサーバー・プ  
ロセスまたはアクティビティーとの競合の  
ために失敗しました。

説明: サーバーは、指定されたボリュームの無関係なデー  
タベース項目を削除することができませんでした。  
この原因は、他のサーバー・プロセスまたはアクティビ  
ティーと競合したためです。

システムの処置: システムは操作を続行します。このボ  
リュームには無関係なデータベース項目が引き続き存在  
します。

ユーザーの処置: 以後のサーバー・アクティビティーま  
たはプロセスでこのボリュームを選択し、修復すること  
ができます。この場合、後で行われた試行が成功する  
と、その後のアクションは不要です。サーバー管理者  
は、修復が試行されたときの活動記録ログを確認し、競  
合の原因を調べる必要があります。競合の原因が判明  
しない場合、または問題を解決できない場合は、サービ  
ス担当員に連絡して援助を依頼してください。

**ANR0198E** ボリューム *volume name* の無関係なデー  
タベース項目の削除に失敗しました。

説明: サーバーは、指定されたボリュームの無関係なデー  
タベース項目を削除することができませんでした。

システムの処置: システムは操作を続行します。このボ  
リュームには無関係なデータベース項目が引き続き存在  
します。

ユーザーの処置: サーバー管理者は、修復が試行された  
ときの活動記録ログを確認し、失敗の原因を調べる必要  
があります。競合の原因が判明しない場合、または問



題を解決できない場合は、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR0199W** このボリュームに対する他のデータベース参照のため、ボリューム *volume name* を修復できません。

説明: このボリュームに対する他のデータベース参照が存在するため、サーバーは、指定されたボリュームの無関係なデータベース項目を削除することができませんでした。

システムの処置: システムは操作を続行します。

ユーザーの処置: このボリュームに対する他の予期しないデータベース参照が存在するため、このボリュームに対するボリューム修復操作でアクションをとることができません。追加の支援が必要な場合は、IBM サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0200E** 宛先ストレージ・プールに十分なスペースがないため、**PROTECT STGPOOL** プロセス *process ID* が失敗しました。

説明: 宛先ストレージ・プールに十分なスペースがありません。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ストレージ・プールで使用可能なスペースを増やして、その操作を再始動してください。

---

**ANR0201I** ストレージ・プール *Pool Name* 内のストレージ・プール・ディレクトリー *Directory Name* のアクセス・モードは、*Access Mode* に変更されています。

説明: 指定されたストレージ・プール・ディレクトリーのアクセス・モードは変更されています。

システムの処置: クライアント・ノードおよびサーバー・プロセスは、ストレージ・プールにアクセスすることができません。

ユーザーの処置: アクセス・モードを変更するには、**UPDATE STGPOOLDIR** コマンドを発行します。

---

**ANR0202I** *parameter name* は変更されましたが、この変更は次回の始動まで有効になりません。

説明: データベース構成が更新されましたが、有効になっていません。この設定は、次回のサーバー始動時に有効になります。

システムの処置: このサーバー・パラメーターは、次回

の始動まで有効になりません。サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0203E** *container name* の **MOVE CONTAINER** プロセス *process ID* が強制終了された - ディレクトリー *directory name* のスペースが不足しています。

説明: **MOVE CONTAINER** の処理中に、サーバーは、コンテナに対してストレージ・プール・ディレクトリー内で十分なスペースを割り振ることができませんでした。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ストレージ・プール内で使用可能なスペースを増やし、**MOVE CONTAINER** コマンドを再発行してください。

---

**ANR0204I** *container name* のコンテナ状態が、*previous state* から *current state* に更新されました。

説明: サーバーはコンテナ状態を更新します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 他に発行されたメッセージを検討して、さらなる処置が必要であるかどうかを判別してください。

---

**ANR0205W** *Command name* は、損傷のマークが付けられたデータ・エクステンツ **ID** *Chunk ID* をスキップしました。

説明: コマンドの処理中に、サーバーは、損傷のマークが付けられたチャンクをスキップしました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0206E** 宛先ストレージ・プールに十分なスペースがないため、*Command name* プロセス *process ID* が失敗しました。

説明: 宛先ストレージ・プールに十分なスペースがないので、指示されたプロセスが失敗しました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ストレージ・プールで使用可能なスペースを増やして、そのコマンドを再発行してください。

**ANR0207W** 1 つ以上のエクステン트가損傷しているとしてマークされたので、*Command name* はオブジェクト **ID** *Object ID* をスキップしました。

説明: コマンドの処理中にデータ・エクステンツ (チャンク) が損傷しているとしてマークされたので、サーバーはオブジェクトをスキップしました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0211W** 断片化プロセスで、削除されたファイルを断片化できませんでした。

説明: 断片化プロセスで、ファイルを断片化できないエラーが発生しました。詳細については、前のエラー・メッセージを参照してください。

システムの処置: ファイルは断片化されません。次の断片化プロセスの実行時に、ファイルの断片化が再試行されます。

ユーザーの処置: 保全性エラー、破損エラー、またはリカバリー不能な入出力エラーが原因で断片化できないファイルがある場合は、以下のコマンドを実行します。

1. まだ実行されていない場合は、手動断片化の設定: SETOPT SHREDDING MANUAL
2. IOERROR パラメーターを指定した手動断片化の実行: SHRED DATA IOERROR=SHREDSUCCESS
3. 必要な場合は、自動断片化の再設定: SETOPT SHREDDING AUTOMATIC

ディスク・ボリューム全体で障害が発生して、そこにあるすべてのファイルにアクセスできなくなった場合は、以下のコマンドを実行します。

1. ボリューム・アクセスの破損への設定: UPDATE VOLUME volname ACCESS=DESTROYED
2. ボリュームおよびデータの削除: DELETE VOLUME volname DISCARDDATA=YES
3. まだ実行されていない場合は、手動断片化の設定: SETOPT SHREDDING MANUAL
4. IOERROR パラメーターを指定した手動断片化の実行: SHRED DATA IOERROR=SHREDSUCCESS
5. 必要な場合は、自動断片化の再設定: SETOPT SHREDDING AUTOMATIC

**ANR0212E** ディスク定義ファイル *file specification* を読み取れません。

説明: 始動時に、取り付けるディスク・ボリュームのリ

ストを表示する指示されたファイルを、サーバーが読み取ることができません。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: テキスト・エディターを使用してファイルを作り直してください。単一のログ、またはデータベース・ボリュームの名前を付けた 1 行が入っていない必要があります。その後でサーバーを再始動してください。

**ANR0222E** ディスク定義ファイル *file specification* でエラー *action*。

説明: ディスク定義ファイルの作成中または更新中にエラーが起きました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 書き込みエラーの原因を調べて訂正してください。

**ANR0225S** -S コマンド・ライン・オプションの無効な使用。

説明: -S オプションは、データベース ID ファイル (dsmserv.dbid) が原形を保っている場合は、コマンド・ラインで指定できません。このオプションは、ID ファイルが存在しない場合にのみ使用されます。

システムの処置: サーバーが開始されていません。

ユーザーの処置: -S コマンド・ライン・オプションを指定せずに、サーバーを開始してください。

**ANR0226S** サーバー開始のためのデータベース ID ファイルを検出できませんでした。

説明: サーバーのデータベース ID ファイル (dsmserv.dbid) を検出できませんでした。このファイルは、データベースのフォーマット時に作成されて、フォーマットが実行されたディレクトリーに保存され、通常のサーバー操作に必要です。

システムの処置: サーバーが開始されていません。

ユーザーの処置: 正しいインスタンス・ディレクトリーからサーバーを開始していること、および dsmserv.dbid ファイルが存在し読み取りが可能なことを確認してください。dsmserv.dbid ファイルが存在しない場合、-S オプションを指定してサーバーを再開し、新規データベース ID ファイルを作成してください。

**ANR0227S** 正しくないデータベースがオープンされました。 サーバーは開始できません。

説明: オープンされたデータベースの ID が、データベース ID ファイル (dsmserv.dbid) に保存されている ID と一致しません。

システムの処置: サーバーが開始されていません。

ユーザーの処置: インスタンス・ディレクトリーがオープンされているデータベース用の正しいディレクトリーであること、および環境が正しくセットアップされていることを確認してください。 インスタンス・ディレクトリーは通常、データベースをフォーマットしたディレクトリーか、または UNIX では -i コマンド・ライン・オプションを指定したディレクトリーです。

オープンされたデータベースの ID が、データベース ID ファイル (dsmserv.dbid) に保管されている ID と一致しない場合、サーバーは開始されません。 dsmserv.dbid ファイルを削除した後で、-S (DB ID チェックのスキップ) パラメーターを使用します。 -S パラメーターがリストア・シナリオで始めて使用された後で、サーバーはインスタンス・ディレクトリー内に新しい dsmserv.dbid ファイルを作成します。

**ANR0228S** サーバー開始のためのデータベース ID ファイルのオープン時のエラー *errno*。

説明: サーバーのデータベース ID ファイル (dsmserv.dbid) をオープンできませんでした。 *errno* は失敗の理由を示しています。

システムの処置: サーバーが開始されていません。

ユーザーの処置: 正しいインスタンス・ディレクトリーからサーバーを開始していること、および dsmserv.dbid ファイルに正しい所有権と許可があることを確認してください。 ファイルが空の場合、ファイルを削除し、-S コマンド・ライン・オプションを指定してサーバーを再開し、新規データベース ID ファイルを生成してください。

**ANR0229W** サーバーは活動記録ログに項目を追加できません。 データベース・アクセスが使用可能になるまで、コンソール・メッセージは記録されません。

説明: デフォルト (コンソール) 出力ストリームをモニターして活動記録ログを保持するプロセスで、活動記録ログを更新できません。 エラーは、サーバー・データベースにアクセスするサーバーの能力がないために発生しました。

システムの処置: サーバーは活動記録ログを更新しませ

ん。 活動記録ログは実行し続け、この状態からの回復を試行します。

ユーザーの処置: サーバー・データベースへのアクセスは、一時的に使用できません。 サーバー・データベース・マネージャーは、この状態からの回復を試行し、サーバー・データベースへのアクセスを再構築します。 サーバー・データベースへのアクセスが再構築された時、活動記録ログ・プロセスが実行されます。 サーバー・データベース・アクセスが再構築に失敗した場合、詳しい情報を示す追加メッセージが出されます。

**ANR0236E** 入出力エラーが原因でデータベース・マネージャーを開始できませんでした。 ファイル・システム完全条件、ファイル許可、およびオペレーティング・システムのエラーを検査してください。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは、データベース・マネージャーを開始しようとしているときに入出力エラーを検出しました。

システムの処置: サーバー・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: データベースおよび回復ログ用にサーバーに割り当てられたファイル・システムを確認してください。

**ANR0237E** データベース・マネージャーを開始できませんでした。 予期しないシステム・エラーが発生しました。

説明: 予期しないシステム・エラーが発生しました。

このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

- サーバーを稼働した場所のシステム名が変更されている
- システムの日付と時刻の設定が不正確である

システムの処置: サーバー・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR0238E** データベース回復タスクは、SQL コード *dbCode* で、*db name* を活動化できません。

説明: データベースを活動化しようとしているときに、データベースが BACKUP または RESTORE の実行で使用中であるか、ROLLFORWARD 処理中状態であったためエラーが発生しました。 SQL コードを調べて、データベースの活動化を妨げている条件を判別してください。 おそらく、データベース活動化ステップ中に以下の SQL コードが発生し、サーバーは始動できません。 SQLE\_RC\_BKP\_PEND ( -1116 ) は、データベース BACKUP が処理中であり、データベースの活動化前

に完了しておく必要があることを示します。 データベース BACKUP が完了した後、サーバーを始動するとデータベースを活動化できます。

SQLC\_RC\_ROLLFWD\_PEND ( -1117 ) は、データベース・ロールフォワード操作が処理中であり、データベースの活動化前に完了しておく必要があることを示します。 ロールフォワード回復ステップが完了した後、サーバーを始動するとデータベースを活動化できます。

SQLC\_RC\_BKP\_INPROG ( -1118 ) は、データベース BACKUP が進行中であったため、データベースを活動化しようとする試みが失敗するときに生じます。 データベースを活動化する前に、データベース BACKUP を再実行する必要があります。 データベース BACKUP が正常に完了した後、サーバーを始動するとデータベースを活動化できます。 SQLC\_RC\_RST\_INPROG ( -1119 ) は、データベースの活動化に失敗したときに、データベース RESTORE が進行中であったことを示します。 データベースを活動化する前に、データベース RESTORE を再開し、正常に完了できるようにする必要があります。 データベース RESTORE が完了した後、サーバーを始動するとデータベースを活動化できます。 SQLC\_RC\_BR\_INPROG ( -1120 ) は、データベースの活動化前に、データベースの BACKUP か RESTORE のどちらかを完了しておく必要があることを意味します。 データベースを活動化する前に、BACKUP または RESTORE 操作が正常に完了していることを確認してください。

システムの処置: データベースを活動化できないため、サーバーが始動しません。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージの説明を参照してください。

---

**ANR0239E DB2** インスタンス名 *instance name* が無効であるか、正しく構成されていません。  
戻りコードは *sqlcode* でした。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは、DB2INSTANCE 環境変数によって設定されたデータベース・インスタンスを使用して接続しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: データベース・インスタンスが無効であるため、サーバーが始動しません。

ユーザーの処置: データベース・インスタンスが存在し、正しく構成されていることを確認してください。 DB2 インストール・ディレクトリの下でインスタンス・ディレクトリから db2ilist コマンドを発行すると、DB2 インスタンスをリストすることができます。

例: c:\Program Files\IBM\SP64\SQL\BIN\db2ilist

---

**ANR0264E** データベース・ファイル入出力エラーにより、SQL コード *dbCode* で、*db name* を活動化できません。

説明: データベースを活動化しようとしているときに、データベース・ファイルの処理中に入出力エラーが発生しました。この問題は以下のいずれかの状態で発生した可能性があります。システムがデータベース・ファイルのオープン、読み取り、または書き込みを実行できません。システムがデータベース・ファイルまたはデータベースのディレクトリを作成していたときにエラーが発生したため、システムはデータベースを作成できません。システムがデータベース・ファイルまたはデータベースのディレクトリを削除していたときにエラーが発生したため、システムはデータベースを除去できません。システムがデータベース・ファイルまたはデータベースのディレクトリを作成または削除していたときに割り込みを受け取ったため、システムはデータベースを作成できません。システムが接続中にデータベース・サブディレクトリまたはデータベース構成ファイルを見つけることができません。問題の原因は、次のように発生頻度に関連した順序になっています。活動ログ・パス・ディレクトリでログ・ファイルが見つかりません。操作を試行しているデータベース・ディレクトリで問題が発生している可能性があります。操作を完了するのにディスク・スペースが不足している可能性があります。データベースを使用することはできません。

システムの処置: データベースを活動化できないため、サーバーが始動しません。

ユーザーの処置: 上記の問題の原因に対する適切な応答は次のとおりです。ログ・ファイルが欠落しているかどうかを検査するには、db2diag.log でロギング・エラーがあるか確認します (戻りコードに SQLO\_FNEX が含まれます)。ある場合、このエラーで、欠落ログ・ファイルの名前が示されます。このファイルが活動ログ・パス・ディレクトリにあることを確認してください。ファイルが見つからない場合は、欠落ログ・ファイルより前のログ・ファイルに示されている特定時点にデータベースをリストアおよびロールフォワードします (欠落ファイルのタイム・スタンプより前のタイム・スタンプを使用します)。データベース・ディレクトリで問題が発生している可能性があります。ディレクトリの整合性を確認してください。起こりうる問題の例として、許可の問題、マウント・ポイントの問題、破損が挙げられます。ファイル・システムのサイズを増やしてください。

**ANR0273W** ライブラリー *library name* は、オフラインに設定されているため初期化されません。

説明: 外部ライブラリーはオフラインに設定されています。ライブラリーは、再度オンラインに設定されるまで、新規トランザクションに対して使用されません。

システムの処置: このサーバーは、ライブラリーの初期化をスキップします。サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: オンライン・オプションの変更の詳細については、UPDATE PATH コマンドを参照してください。

**ANR0274E** ライブラリー *library name* に対するアクセスの試行は、同ライブラリーがオフラインに設定されているため失敗しました。

説明: ライブラリーはオフラインに設定されています。ライブラリーは、再度オンラインに設定されるまで、新規トランザクションに対して使用されません。

システムの処置: このマウントは失敗します。

ユーザーの処置: オンライン・オプションの変更の詳細については、UPDATE PATH コマンドを参照してください。

**ANR0275I** 表 *table* の検出されたスキーマの変更。調整の試行中。

説明: 参照される表のスキーマが、この表のサーバー定義に一致しません。この表のスキーマの差異は調整されます。

システムの処置: スキーマの差異が正常に調整された場合、サーバーの開始は続行されます。スキーマの調整が失敗した場合は、サーバーの開始は失敗します。

ユーザーの処置: この表のスキーマが調整されるように試行します。すなわち、予測されるスキーマに一致するように、サーバーはデータベース内の表の変更を試みます。スキーマ調整の成功または失敗を示すメッセージが出されます。

**ANR0276I** 表 *table* のスキーマ調整は成功しました。

説明: この表のスキーマの差異は正常に調整されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

**ANR0277E** 表 *table* のスキーマ調整は失敗しました。

説明: サーバーは、示された表のスキーマの差異を調整できませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービス担当員に連絡してください。

**ANR0278S** 仮想メモリー不足のため、データベース・マネージャーはデータベースを作成できません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: システムで実行されている他のアプリケーション (特に大量の共有メモリーを使用するアプリケーション) を停止してください。

**ANR0279S** サービス・ログオン資格情報が誤っているため、データベース・マネージャーが始動できませんでした。

説明: データベース・マネージャーのサービス資格情報 (ユーザー ID またはパスワード) が誤っているため、サーバーはデータベース・マネージャーを開始できませんでした。

システムの処置: サーバーの初期化が停止されます。

ユーザーの処置: コントロール・パネルから「サービス」ダイアログ・ボックスを使用して、データベース・マネージャー・サービスのログオン・プロパティを修正してください。

**ANR0293I** 表 *table name* の再編成が開始されました。

説明: サーバーは、参照された表のオンライン再編成を実行中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動ログ・ストレージ・パスおよびアーカイブ・ログ・ストレージ・パス内の使用可能なログ・スペースをモニターしてください。ファイル・システムで使用可能なログ・スペースが満杯に近づいている場合は、アーカイブ・ログ・スペースの整理を開始するために、TYPE=FULL パラメーターを指定した BACKUP DATABASE コマンドを実行してください。

**ANR0294I** 表 *table name* の再編成が終了しました。

説明: 参照された表のサーバー・オンライン再編成が終了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動ログ・ストレージ・パスおよびアーカイブ・ログ・ストレージ・パス内の使用可能なログ・スペースを確認してください。 ファイル・システムで使用可能なログ・スペースが満杯になったか、または満杯に近づいてきている場合は、アーカイブ・ログ・スペースの整理を開始するために、TYPE=FULL パラメーターを指定した BACKUP DATABASE コマンドを実行してください。

**ANR0297I** 完全データベース・バックアップが必要である可能性があります。 使用された最後のログ番号は *last log used* で、使用された最初のログ番号は *first log used* です。 ログ・ファイル・サイズは *log file size* メガバイトです。 最大ログ・ファイル・サイズは *maximum log file size* メガバイトです。

説明: 最後のデータベース・バックアップ以降に使用されたログ・スペースが最大ログ・ファイル・サイズを超える場合、フルデータベース・バックアップが必要になるか、最大ログ・ファイル・サイズを増やす必要があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0298S** データベースにアクセスするのに十分な権限がありません。

説明: サーバーが始動中である場合は、dsmserv プロセスの実行に使用するユーザー ID に、データベースにアクセスするための権限がありません。 サーバーが実行中のときにサーバー操作が失敗した場合は、このユーザー ID にその操作を実行するための権限がありません。

システムの処置: サーバーが始動中である場合は、dsmserv プロセスが終了します。 サーバーが実行中である場合は、サーバーが停止します。

ユーザーの処置: サーバーの実行に使用するユーザー ID が、インスタンス・ユーザー ID であるか、またはデータベースにアクセスするための権限を持っていることを確認してください。

**ANR0299I** フル・データベース・バックアップが開始されます。 使用済みアーカイブ・ログ・スペースは *archive log %* で、使用済みアーカイブ・ログ・スペースのしきい値は *arch log threshold %* です。

説明: 使用済みアーカイブ・ログ・スペースがしきい値を超えると、フル・データベース・バックアップが開始されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0314W** 回復ログ使用率が割り当て済み容量の *utilization percentage %* を超えています。

説明: このメッセージは、サーバー回復ログの使用率がその割り当て済み容量の 90 % 以上になったことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置:

- サーバーが NORMAL ログ・モードで運用の場合には、回復ログのサイズに応じて、回復ログが完全にいっぱいになる前に、回復ログ・ボリュームを追加するか、回復ログを拡張するか、あるいはその両方を行ってください。 これらの操作の詳細については、DEFINE LOGVOL、および EXTEND LOG コマンドを参照してください。
- サーバーが ROLLFORWARD ログ・モードで運用中の場合には、次のとおりです。
  - データベースをバックアップするか、あるいは
  - まだ定義されていない場合には、データベース・バックアップ・トリガーを定義するか、あるいは
  - 定義済みの場合には、データベース・バックアップ・トリガーを低くします。

DEFINE DBBACKUPTRIGGER または UPDATE DBBACKUPTRIGGER コマンドを参照してください。

**ANR0316W** データベース *DB Name* のフルバックアップを開始できません。 このバックアップは必須です。

説明: このデータベースに対して自動フルバックアップが試行されました。 しかし、データベース・バックアップの装置クラスが指定されていません。

システムの処置: データベース・バックアップ操作は開始されません。

ユーザーの処置: SET DBRECOVERY コマンドを発行して、自動データベース・バックアップのデフォルト装置クラスを指定します。 次に、BACKUP DB コマンドを発行して、データベースをバックアップするために TYPE=FULL を指定します。

**ANR0317I** 表 *table name* の索引の再編成が開始されました。

説明: サーバーは、参照された表の索引のオンライン再編成を実行中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動ログ・ストレージ・パスおよびアーカイブ・ログ・ストレージ・パス内の使用可能なログ・スペースをモニターしてください。ファイル・システムで使用可能なログ・スペースが満杯に近づいている場合は、アーカイブ・ログ・スペースの整理を開始するために、TYPE=FULL パラメーターを指定した BACKUP DATABASE コマンドを実行してください。

---

**ANR0318I** 表 *table name* の索引の再編成が SQL コード *dbCode* で終了しました。

説明: 参照された表の索引のサーバー・オンライン再編成が終了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動ログ・ストレージ・パスおよびアーカイブ・ログ・ストレージ・パス内の使用可能なログ・スペースを確認してください。ファイル・システムで使用可能なログ・スペースが満杯になったか、または満杯に近づいてきている場合は、アーカイブ・ログ・スペースの整理を開始するために、TYPE=FULL パラメーターを指定した BACKUP DATABASE コマンドを実行してください。

---

**ANR0319W** データベース・アーカイブ・ログのファイル・システムのフリー・スペースが不足しています。

説明: データベース・アーカイブ・ログのファイル・システムの使用量が ARCHLOGUSEDTHRESHOLD を超過しました。スペースはデータベース・アーカイブ・ログ・ファイル以外のファイルによって使用されており、BACKUP DB コマンドはファイル・システム内のスペースを解放できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 使用量が

ARCHLOGUSEDTHRESHOLD を超えないように、ファイル・システム上に十分なフリー・スペースを作成してください。

---

**ANR0320W** ストレージ・エージェント *storage agent* は、LAN フリー・データ移動操作に対して、ストレージ・プール *storagepool* 用の装置クラス *device class* を使用できません。

説明: 参照されたストレージ・エージェントは、このストレージ・プールおよび装置クラスを使用する LAN フリー・データ移動操作を実行できません。ストレージ・エージェントはバックレベルであり、この装置クラスを使用する LAN フリー操作をサポートできません。

システムの処置: LAN フリー・データ移動操作は実行されません。この操作は、LAN 経由で送信されるか、ストレージ・エージェントによってサーバーに直接プロキシ処理されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect バージョン 5.3 では、FILE および装置クラスのサポート方式が変更されています。この変更により、バックレベル・ストレージ・エージェントが、それらの装置クラスを使用できなくなっています。ストレージ・エージェントは、サーバーと同じバージョンとリリースにアップグレードする必要があります。ストレージ・エージェントがアップグレードされるまでは、いかなる LAN フリー・データ移動操作も試行されると、LAN を使用して実行されます。

---

**ANR0321W** バージョン *server VRMF* のサーバー *server name* は操作 *operationName* をサポートしますが、バージョン *storage agent VRMF* のストレージ・エージェント *storage agent name* はこれをサポートしません。

説明: ストレージ・エージェントはサーバーよりも前のバージョンであり、クライアントが要求した拡張機能を使用できません。

システムの処置: 操作は許可されていません。

ユーザーの処置: この操作をサポートするバージョン、リリース、およびレベルにストレージ・エージェントをアップグレードする必要があります。一般に、ストレージ・エージェントとサーバーが同じバージョンおよびリリースが同じでないことが問題です。例えば、サーバーがバージョン 5.3.0.0 であり、ストレージ・エージェントがバージョン 5.2.3.0 である場合、要求された操作を実行するには、ストレージ・エージェントをバージョン 5.3.0.0 にアップグレードする必要があります。

この操作がリストアまたはリトリブ操作であった場合、クライアント・ノードの DATAREADPATH 設定が ANY または LANFREE であったときは、サーバーはこれを LAN のみに上書きします。これにより、ストレージ・エージェントで操作が失敗し、メッセージ ANR0416W が発行されます。以下のいずれかの処置を行ってから、操作をやり直してください

- ストレージ・エージェントを停止し、ストレージ・エージェント・プログラムをアップグレードしてから、ストレージ・エージェントを再始動します。
- ENABLELANFREE クライアント・オプションを NO に設定してから、クライアントを再始動します。

この操作が無照会リストア操作であった場合、ストレージ・エージェントは、LAN フリー・データ転送を使用してデータをリストアしませんでした。LAN 経由でのデータの読み取りをクライアント・ノードが許可されている場合、データは LAN 経由でリストアされました。LAN 経由でのデータの読み取りをクライアント・ノードが許可されていないために操作が失敗した場合は、UPDATE NODE コマンドを使用してこのノードの DATAREADPATH 設定を更新することを検討してください。

この操作が、ターゲット・ノードに対するプロキシ・ノード権限を持つエージェント・ノードによって実行された場合、セッションはプロトコル・エラーで失敗します。操作はバージョン 5.3 以上のクライアントおよびサーバーによって試行されましたが、ストレージ・エージェントはこの操作をサポートしていません。エージェント・ノードがターゲット・ノードの代わりに操作を実行することを許可するには、ストレージ・エージェントをバージョン 5.3.0 以上にアップグレードする必要があります。

---

**ANR0322E** 重複排除されたボリューム *volume name* の **NEWSTGPOOL** パラメーターが無効です。

説明: このボリュームには重複排除されたオブジェクトが 1 つ以上含まれており、このボリュームは元のストレージ・プールにリストアする必要があります。

システムの処置: 操作は許可されていません。

ユーザーの処置: ボリュームを元のストレージ・プールにリストアするには、NEWSTGPOOL パラメーターを指定しないで RESTORE VOLUME コマンドを再実行してください。

---

**ANR0323E** 重複排除されたストレージ・プール *pool name* の **NEWSTGPOOL** パラメーターが無効です。

説明: このストレージ・プールには重複排除されたオブジェクトが含まれており、このストレージ・プールは元のストレージ・プールにリストアする必要があります。

システムの処置: 操作は許可されていません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールを元のストレージ・プールにリストアするには、NEWSTGPOOL パラメーターを指定しないで RESTORE STGPOOL コマンドを再実行してください。

---

**ANR0324E** *command*: 複製パラメーターを **TYPE=SERVER** パラメーターと一緒に使用することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗しました。

ユーザーの処置: 複製パラメーターを指定せずにコマンドを再発行してください。複製パラメーターには、REPLSTATE、REPLMODE、BKREPLRULEDEFAULT、ARREPLRULEDEFAULT および SPREPLRULEDEFAULT が含まれます。

---

**ANR0325E** *command*: ノード *nodename* はレプリカであるため、操作は許可されません。

説明: 指定されたノードは、REPLICATE NODE コマンドを使用して作成された、別のサーバー上のノードのレプリカです。

このノードからデータをリストアまたはリトリブすることはできますが、新規データを保管したり、既存データを変更することはできません。

システムの処置: 新規データの保管または既存データの変更を試行するクライアント・セッションは、プロトコル・エラーで終了します。IMPORT 操作はノードをスキップします。

ユーザーの処置: 元のノードが置かれているサーバーで操作を実行してください。

---

**ANR0326E** *command*: **ROLEOVERRIDE** パラメーターを **TYPE=SERVER** または **TYPE=NAS** パラメーターと一緒に使用することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗しました。

ユーザーの処置: **ROLEOVERRIDE** パラメーターを指定しないでコマンドを再実行してください。

---

**ANR0327I** ノード *node list* の複製が完了しました。現行ファイル: *files current*。複製されたファイル: *files to replicate* のうち *files replicated*。更新されたファイル: *files to update* のうち *files updated*。削除されたファイル: *files to delete* のうち *files deleted*。複製された容量: *amount to replicate* のうち *amount replicated*。転送された容量: *amount transferred*。経過時間: *elapsed time*。

説明: 複製プロセスが完了しました。数値の意味は次のとおりです。

- 現行ファイルは、複製する必要がないファイルの数を示します。



- 複製されたファイルは、複製を試行したファイル数のうち、正常に複製されたファイル数を示します。
- 更新されたファイルは、更新する必要があったファイル数のうち、ターゲット・サーバー上でメタデータが更新されたファイル数を示します。
- 削除されたファイルは、削除する必要があったファイル数のうち、ターゲット・サーバーから削除されたファイル数を示します。
- 複製された容量は、複製する必要があったファイルのサイズのうち、複製されたファイルのサイズを示します。
- 転送された容量は、複製されたファイルの転送済みバイト数を示します。圧縮ファイルの場合、転送済みバイト数は圧縮サイズ (バイト単位) です。転送されるデータ容量を削減するためにデータ重複排除または圧縮が使用されている場合、転送済みの合計バイト数は、複製済みの容量より少なくなる場合があります。
- 経過時間は、プロセスが実行されていた時間を示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0328I** ノード *node list* の複製プレビューが完了しました。現行ファイル: *files current*。複製されるファイル: *files to replicate*。更新されるファイル: *files to update*。削除されるファイル *files to delete*。複製される容量: *amount to replicate*。推定実行時間: *estimated runtime*。

説明: プレビュー・モードの複製プロセスが完了しました。数値の意味は次のとおりです。

- 現行ファイルは、複製する必要がないファイルの数を示します。
- 複製されるファイルは、複製を必要とするファイル数を示します。
- 更新されるファイルは、メタデータの更新が必要なファイル数を示します。
- 削除されるファイルは、ターゲット・サーバーから削除されるファイル数を示します。
- 複製される容量は、複製する必要があるファイルのサイズを示します。
- 推定実行時間は、プロセス実行の推定時間です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0329I** ノード *node name*、ファイル・スペース ID *filespace id* の *data type* データの複製を開始しています。

説明: 複製プロセスが、指定されたノードとファイル・スペース ID のデータの処理を開始しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0330W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - 無効な認証プロトコルが要求されました。

説明: サインオン処理時に無効な認証プロトコルが要求されたので、サーバーはセッションの開始要求を拒否しています。原因として、下位レベルのクライアント、サーバー、またはストレージ・エージェントが、そのような試行を許可しないように構成されたサーバーまたはストレージ・エージェントにアクセスしていることが考えられます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクセスしているクライアント、サーバー、またはストレージ・エージェントをバージョン 6.3 以降にアップグレードするか、下位レベルのクライアント、サーバー、またはストレージ・エージェントからのアクセスを許可するようにサーバーを再構成してください。

---

**ANR0331W** サーバー *server name* の複製セッションが拒否されました - サーバーは下位レベルです。

説明: 複製で指定されたサーバーは、現行レベルでないために使用できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーをバージョン 6.3 以降にアップグレードするか、別のサーバーを複製で指定してください。

---

**ANR0332E** ノード *node name* の複製モード *source repl mode* は、サーバー *server name* のモード *target repl mode* と非互換です。

説明: 示されているノードの複製モードは非互換です。ソース・モードが SEND である場合、ターゲット・モードは RECV でなければなりません。ソース・モードが SYNCSEND である場合は、ターゲット・モードは SYNCRECV でなければなりません。ソース・モード

を SEND または SYNCSEND 以外のものにすることはできません。

システムの処置: ノードのデータの複製は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: UPDATE NODE コマンドを使用して、ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方でノードを適切な状態に設定してください。

---

**ANR0333E** アウトバウンド・セッションに対してサーバー *server name* が使用不可になっています。セッション要求は拒否されます。

説明: DISABLED SESSION SERVER コマンドにより、示されているサーバーがアウトバウンド・セッションに対して使用不可にされました。このサーバーへのセッションは許可されません。

システムの処置: セッション要求は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY STATUS コマンドを発行して、インバウンド・セッションおよびアウトバウンド・セッションで使用不可になっているサーバーを表示します。ENABLE SESSIONS SERVER コマンドを発行して、サーバーをアウトバウンド・セッションに対して使用可能にします。

---

**ANR0334E** インバウンド・セッションに対してサーバー *server name* は使用不可になっています。セッション要求は拒否されます。

説明: DISABLED SESSION SERVER コマンドにより、示されているサーバーがインバウンド・セッションに対して使用不可にされました。示されているサーバーは、このサーバーへのセッションを開始することを許可されません。

システムの処置: セッション要求は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY STATUS コマンドを発行して、インバウンド・セッションおよびアウトバウンド・セッションで使用不可になっているサーバーを表示します。ENABLE SESSIONS SERVER コマンドを発行して、サーバーをインバウンド・セッションに対して使用可能にします。

---

**ANR0335I** 表 *table* のスキーマ調整は進行中です。  
*pct%* 完了しました。

説明: この表のスキーマは調整中です。

システムの処置: この表のスキーマ調整は続行されます。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR0336I** 表 *table name* の **Runstats** が開始されました。

説明: サーバーは、参照された表でオンライン Runstats を実行中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0337I** 表 *table name* の **Runstats** が、SQL コード *dbCode* で終了しました。

説明: 参照された表のサーバー・オンライン Runstats が完了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ゼロ以外の SQL コードの場合、詳しくは DB2 インフォメーション・センターを参照してください。

---

**ANR0338E** データベースの作成は終了しました。

説明: データベースの作成操作中に、DB2 が問題を検出しました。この問題の原因として、DB2 の制限が考えられます。データベース管理ストレージ・コンテナを使用して表スペースを作成する際に「ファイル・システム・キャッシングなし」が使用される場合、DB2 は、セクター・サイズが 512 バイトのストレージ装置 (AIX、Solaris、Linux、Windows の場合) およびセクター・サイズが 1024 バイトのストレージ装置 (HP-UX の場合) のみをサポートします。

システムの処置: データベースの作成操作は終了します。

ユーザーの処置: DB2 の制限を確認するための追加情報については、db2diag.log ファイルを参照してください。AIX、Solaris、Linux、Windows ではセクター・サイズを 512 バイトに変更し、HP-UX では 1024 バイトに変更してください。

---

**ANR0339E** *command*: アウトバウンド複製が使用不可になっています。

説明: このサーバーから発信された複製操作は使用不可です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ENABLE REPLICATION コマンドを使用して複製の使用を再度使用可能にします。

**ANR0340E** *command:* データベースがリストアされたため、アウトバウンド複製操作が使用不可になっています。

説明: このサーバーのデータベースはリストアされています。このサーバー上にあったが、リストアされたデータベースで参照されないデータは、もうアクセス可能ではありません。このサーバーで、ターゲット複製サーバーに存在する可能性があるデータのコピーが削除されないように、このサーバーから発信される複製操作は使用不可です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: データベースのリストア後に複製を使用不可にすることは、ノード複製を使用しているターゲット複製サーバー上で結果的にファイル・スペース・データが失われることもあり得るノード・インベントリがリストア・データベースに含まれる可能性をユーザーにアラートするための予防手順の 1 つです。データベースのリストア前にこのサーバー上で複製が使用されなかった場合は、ENABLE REPLICATION コマンドを発行して複製操作を再開してください。

ターゲット複製サーバーに存在するデータを保持するには、ターゲット複製サーバーにあるデータのコピーが必要かどうかを決定します。必要であれば、ターゲット複製サーバーのデータをソース複製サーバーに複製する必要があります。複製が完了した後で、ENABLE REPLICATION コマンドを発行して複製操作を再開します。

例えば、PRODSRV がソース複製サーバーであるとし、クライアント・ノード NODE1 に属するデータが PRODSRV から ターゲット複製サーバー DRSRV に複製されました。PRODSRV にあるデータベースがリストアされました。

複製を再開するには、以下のステップを実行します。

1. PRODSRV および DRSRV で、次のコマンドを発行して、複製から NODE1 を削除します:  
REMOVE REPLNODE NODE1。
2. NODE1 の定義を更新します。複製が行われると、DRSRV はデータベースのリストアにより失われたデータを PRODSRV に送信します。
  - a. DRSRV で、次のコマンドを発行します:  
UPDATE NODE NODE1  
REPLSTATE=ENABLED  
REPLMODE=SYNCSEND。
  - b. PRODSRV で、次のコマンドを発行します:  
UPDATE NODE NODE1  
REPLSTATE=ENABLED  
REPLMODE=SYNCRECEIVE。

3. DRSRV で、PRODSRV のルールに合うように複製ルールを設定します。例えば、アーカイブ・データのみが PRODSRV から DRSRV に複製された場合は、アーカイブ・データのみを DRSRV から PRODSRV に複製するように、DRSRV 上でルールを設定します。バックアップ・データおよびスペース管理データは PRODSRV に複製されません。
4. DRSRV で、次のコマンドを発行して、ターゲット複製サーバーを設定します: SET REPLSERVER PRODSRV。
5. DRSRV で、次のコマンドを発行して、NODE1 に属するデータを複製します: REPLICATE NODE NODE1。複製処理により、NODE1 の複製モードが DRSRV では SEND に、PRODSRV では RECEIVE に変更されます。
6. PRODSRV および DRSRV で、次のコマンドを発行して、複製から NODE1 を削除します:  
REMOVE REPLNODE NODE1。
7. 次のようにして、NODE1 の定義を更新します。
  - a. PRODSRV で、次のコマンドを発行します:  
UPDATE NODE NODE1  
REPLSTATE=ENABLED  
REPLMODE=SYNCSEND。
  - b. DRSRV で、次のコマンドを発行します:  
UPDATE NODE NODE1  
REPLSTATE=ENABLED  
REPLMODE=SYNCRECEIVE。
8. PRODSRV で、次のコマンドを発行して、複製を使用可能にします: ENABLE REPLICATION。
9. PRODSRV で、次のコマンドを発行して、NODE1 に属するデータを複製します: REPLICATE NODE NODE1。複製処理により、NODE1 の複製モードが PRODSRV では SEND に、DRSRV では RECEIVE に変更されます。

元の複製構成がリストアされます。PRODSRV にはデータベースのリストアによって失われたすべてのデータが入っています。

注意: DRSRV のデータを複製する場合は、ターゲット複製サーバーを PRODSRV に設定します。元の構成で、DRSRV から別のサーバー (例えば、BKUPDRSRV) にデータを複製していた場合、ターゲット複製サーバーをリセットする必要があります。ターゲット複製サーバーをリセットするには、DRSRV で次のコマンドを発行します: SET REPLSERVER BKUPDRSRV。

**ANR0341E** アーカイブ・データ保存保護が使用可能になっているときは、キーワード *keyword* を指定した *command* は許可されません。

説明: アーカイブ・データ保存保護がサーバーで使用可能になっているときは、示されているキーワードが指定された、示されているコマンドは許可されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0343W** ノード `$$_TSMDBMGR_$$` によってファイル・スペース *filespace name* を作成できませんでした。 `$$_TSMDBMGR_$$` ノード名は、**IBM Spectrum Protect** データベース・バックアップおよびリストア用に予約されています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ノード `$$_TSMDBMGR_$$` の使用は、IBM Spectrum Protect データベース・バックアップまたはリストアに限定されています。実行中のデータベース・バックアップまたはリストア・セッションがないため、サーバーはこの特殊ノードでファイル・スペースを作成しません。

ユーザーの処置: 別のノード名を使用して、このファイル・スペースを作成してください。

**ANR0344E** サーバーはデータベースのリストアに失敗しました。サーバー・オプション・ファイルに **ARCHIVELOGDIR** の値がありません。

説明: データベースのリストアを試行中に、IBM Spectrum Protect サーバーはサーバー・オプション・ファイルに **ARCHIVELOGDIR** の値がないことを検出しました。

システムの処置: サーバーのデータベース・リストアは停止します。

ユーザーの処置: データベースをリストアするコマンドを再発行する前に、次の項目を確認してください。

- **ARCHIVELOGDIR** オプションに有効な値が指定されていることを確認してください。
- コマンドがサーバーの正しいオプション・ファイルを使用するようにしてください。サーバー・オプション・ファイルを指定するコマンドに `-o` オプションを使用している場合は、ファイルの名前およびロケーションを正しくしてください。

**ANR0345E** ファイル *file name* がある場合、データベース・マネージャーは開始できません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: 指定されたファイルを除去するか、このファイルの名前を変更し、サーバーを再始動してください。

**ANR0347E** データベース *database name* は、ドライブが無効だと報告しており、そのデータベースを除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中に API が無効なドライブ状態を報告していることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: データベースを調べ、問題を訂正してから、コマンドを再発行します。

**ANR0358E** データベースの初期化が失敗しました。使用可能メモリーが足りません。

説明: サーバーの初期化中に、十分なサーバー・メモリーがないので、サーバー・データベースは初期化されません。

システムの処置: 初期化は失敗します。

ユーザーの処置: サーバーにさらにメモリーを用意してください。

**ANR0361I** データベース障害の発生後に回復が進行中です。

説明: サーバーの初期化中に、データベース・マネージャーが、データベースを障害からリカバリーする必要があることを示しました。データベース障害は、データベース・マネージャーの電源異常またはその他の異常終了が起こったときに発生することがあります。障害からの回復は、検査が必要なログ内のトランザクションの数によっては、非常に長時間がかかる可能性があります。

システムの処置: データベースのリカバリー中はサーバーの初期化は延期されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR0365E** データベース *database name* は現在使用中であり、削除できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中にデータベースが現在使用中であることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: すべてのデータベース接続を中断してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR0366I** データベース *database name* が正常に削除されました。

説明: このメッセージは、サーバーがサーバー・データベースを正常に削除したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバー・データベースは削除されました。IBM Spectrum Protect サーバーを実行するには、「DSMSERV FORMAT」コマンドを使用して新規データベースをフォーマットする必要があります。

---

**ANR0367W** サーバーはデータベース *database name* のフォーマットに失敗しました。このデータベース名は既に存在しています。

説明: データベースのフォーマットを試行中に、IBM Spectrum Protect サーバーはこのデータベース名が既に存在していることを検出しました。

システムの処置: サーバーはフォーマットを停止します。

ユーザーの処置: 新規データベースをフォーマットするコマンドを再発行する前に、次の項目を確認してください。

- コマンド「DSMSERV REMOVEDB DB\_NAME」を使用して古いデータベースを削除します。
  - コマンドがサーバーの正しいオプション・ファイルを使用するようにしてください。サーバー・オプション・ファイルを指定するコマンドに `-o` オプションを使用している場合は、ファイルの名前およびロケーションを正しくしてください。
- 

**ANR0369I** サーバーのシャットダウンによりデータベース・マネージャーを停止中です。

システムの処置: サーバーのデータベース・マネージャーを停止中です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0370E** *Diagnostic(ID)* フォーマット操作時に、サーバーが、*log type* に指定した 1 つ以上のディレクトリー内にファイルを作成することができません。ディレクトリーが置かれているファイル・システムに十分なスペースが確保されるようにします。

説明: サーバーがディレクトリーにデータを書き込むためのスペースが使用できません。

システムの処置: フォーマット操作は停止します。

ユーザーの処置: 新規データベースをフォーマットするコマンドを再発行する前に、次の項目を確認してください。

- フォーマット操作によりデータベースが作成されたが、失敗後にデータベースが除去されなかったかどうかを確認します。作成されたデータベースが除去されなかった場合は、DSMSERV REMOVEDB *db\_name* ユーティリティーを使用してデータベースを除去します。
  - ACTIVELOGDIR、ARCHIVELOGDIR、および ARCHFAILOVERLOGDIR に指定したディレクトリーに使用可能なスペースがあることを確認します。スペース量が要件を満たしていることを確認します。例えば、ACTIVELOGDIR 用のディレクトリーには、少なくとも 8 GB の使用可能なスペースがなければなりません。
  - 回復ログに使用するディレクトリー内にあるすべてのファイルを除去します。
- 

**ANR0371E** 値 *value* を用いた環境変数 *environment variable name* の設定エラー - 戻りコード *return code value*。

説明: サーバーは、オペレーティング・システム上の環境変数の内容をメッセージに指定された値に合わせて設定することができません。メッセージ内の戻りコードは、オペレーティング・システムで設定された最後のエラー・コード・セットです。戻りコードまたは最後のエラー・コードは、環境変数の設定に失敗した機能呼び出しの結果としてのシステム・エラー・コードです。

システムの処置: サーバー操作は停止します。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、オペレーティング・システムが提供するシステム・エラー・コードのリストを参照してください。問題を解決して、サーバー操作を再試行してください。

---

---

**ANR0372E** データベース *database name* は、現在損傷しており、除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中にデータベースが損傷したことを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: データベースを調べ、問題を訂正してから、コマンドを再発行します。

---

**ANR0373E** データベース *database name* は、ファイル・エラーを報告しており、除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中にデータベースがファイル・エラーを報告していることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: データベースを調べ、問題を訂正してから、コマンドを再発行します。

---

**ANR0374E** データベース *database name* は無効であり、除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中に API が無効な DB エラーを報告していることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: データベースを調べ、問題を訂正してから、コマンドを再発行します。

---

**ANR0375E** データベース *database name* は、許可エラーを報告しており、除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中にデータベースが許可エラーを報告していることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: データベースを調べ、問題を訂正してから、コマンドを再発行します。

---



---

**ANR0376E** データベース *database name* は見つからず、除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中に API が DB を見つけられないと報告していることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: データベースを調べ、問題を訂正してから、コマンドを再発行します。

---

**ANR0377E** データベース *database name* は、ドライブが見つからないと報告しており、除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中に API がデータベース・ドライブを見つけないことを報告していることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB を停止します。

ユーザーの処置: データベースを調べ、問題を訂正してから、コマンドを再発行します。

---

**ANR0378W** データベース *database name* は、ドライブが見つからないと報告しており、除去できません。

説明: このメッセージは、サーバーが、REMOVE DB 処理中に API が警告を報告していることを検出したことを管理者に通知するために発行されます。

システムの処置: サーバーの REMOVE DB が正常に完了しました。

ユーザーの処置: データベース除去コマンドが正常に完了しましたが、ノードの一部では、データベース別名またはデータベース名が見つからなかったものがあります。これらのノードでは DROP DATABASE AT NODE が既に実行されていた可能性があります。

---

**ANR0379W** サーバー・データベースのデッドロック状態が検出されました。デッドロックを解決するために、*lock name* ロック、*key name* に対するロック要求は拒否されます。

説明: サーバーが、データベース情報をアクセスしようとしている処理相互間で、デッドロック状況を検出しました。データベースのデッドロックを解決するため、処理のうちの 1 つに対するロック要求は拒否されます。サーバー・プロセスは、データベースのデッドロッ

クを検出すると、通常はデッドロックが見つかった時に進行していた機能を再度実行しようと試みます。すべてのプロセスが明示的に操作を再試行できるわけではありません。例えば、最終的にはマイグレーションおよびレクラメーションは再試行されることになります。しかし、マクロで実行されるボリューム削除などが再試行されるのは、マクロまたはコマンド・ラインのいずれかで削除コマンドが出し直された場合だけです。

システムの処置: デッドロックされた処理のためのロック要求は実行されません。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: プロセスを (マイグレーションのように) 再試行できる場合には、再試行を監視して、正常に実行されるかどうかを確認してください。プロセスまたはコマンドを再試行できない場合は、このアクションを発生させたコマンドまたはマクロを再発行してください。

デッドロックが報告された時点で実行されていた他のプロセスを調べてください。例えば、定期的なスケジュールのサーバー保守タスクの一部としてではなく、手動でプロセスが開始された場合、そのプロセスがデッドロックの原因となっている可能性があります。問題を回避するために、サーバー保守のスケジューリングの調整が必要になることがあります。

---

**ANR0387I** LAN フリー・データ移動のストレージ・エージェント *storage agent* を使用しているノード *node name* を評価しています。

説明: ノードおよびストレージ・エージェントが、LAN フリー・データ移動に対応するストレージ・プールを使用できるかをサーバーが評価します。

システムの処置: サーバーは、このノードが使用可能な宛先のストレージ・プールを評価し、LAN フリー・データ移動に使用できるストレージ・プールと使用できないストレージ・プールを報告します。

ユーザーの処置: この処理の結果を検討し、適切な LAN フリー環境が構成されているかどうかを判別してください。

---

**ANR0388I** ストレージ・エージェント *storage agent* を使用するノード *node name* には、LAN フリー・データ移動対応の *capable count* 個のストレージ・プールと LAN フリー・データ移動非対応の *not capable count* 個のストレージ・プールがあります。

説明: サーバーは、このストレージ・エージェントを使用しているこのノードの LAN フリー・ストレージ・プ

ール宛先および非 LAN フリー・ストレージ・プール宛先の評価を完了しました。サーバーは、*capable count* 個の LAN フリー・データ移動対応のストレージ・プールが存在すると判断しました。また、*not capable count* 個の LAN フリー・データ移動に使用できないストレージ・プールが存在することも判別しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 発行された他のメッセージを確認し、このストレージ・エージェントを使用しているこのノードで LAN フリー・データ移動に対応しているストレージ・プールと、LAN フリー・データ移動に対応していないストレージ・プールを判別してください。

---

**ANR0389W** ノード *node name* にはデータ・パス制限があります。

説明: *node name* には、データ・パス制限があります。登録済みノードには、データ書き込みパス、データ読み取りパス、または両方があり、LAN フリー操作を不許可にするために構成されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: コマンド `QUERY NODE node name F=D` を発行し、データ読み取りパスおよびデータ書き込みパスの両方の設定値を求めます。LAN フリー・データ移動を使用してデータの格納または読み取りを行うには、データ書き込みパスを ANY または LANFREE に設定してください。

---

**ANR0390W** サーバー・データベースのデッドロック状態が検出されました。トランザクション *transaction ID* に対するロック要求は拒否されます。

説明: サーバーが、データベース情報にアクセスしようとしていた複数のプロセス間で、デッドロック状況を検出しました。データベースのデッドロックを解決するため、プロセスのうちの 1 つに対するロック要求は拒否されます。サーバーの処理がデータベースのデッドロックを検出すると、通常はデッドロックが見つかった時に進行していた機能が再度試みられます。すべてのプロセスが明示的に操作を再試行できるわけではありません。例えば、最終的にはマイグレーションおよびレクラメーションは再試行されることになります。しかし、マクロで実行されるボリューム削除などが再試行されるのは、マクロまたはコマンド・ラインのいずれかで削除コマンドが出し直された場合だけです。

システムの処置: デッドロックされた処理のためのロック要求は実行されません。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: プロセスが (マイグレーションのよう

に) 再試行できる場合には、以降の試行をモニターしてプロセスが正常に実行されたか否かを確認してください。正常に実行されなかった場合には、サービス担当員に連絡してください。プロセスまたはコマンドが自動的に再試行できない場合には、このアクションを発生させたコマンド、またはマクロを再発行してください。再び正常に実行されない場合には、デッドロック条件をよりうまく分離するための援助を求めるために、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0397I** ノード *agent\_node* のセッション *session number* が、ノード *target\_node* に対するプロキシ・セッションを開始しました。

説明: クライアント・セッションがプロキシ操作を開始しました。

システムの処置: サーバーは、クライアント・ノードに対してプロキシ・セッションを許可しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0398W** ノード *agent\_node* のセッション *session number* が、ノード *target\_node* に対するプロキシ・セッションの開始に失敗しました。

説明: クライアント・セッションがプロキシ操作の開始を試行しました。このクライアント要求は、サーバーで失敗しました。この失敗は、エージェント・ノードが、ターゲット・ノードとの間にプロキシ・アソシエーションを持たない場合に発生することがあります。

システムの処置: サーバーはプロキシ許可の試行を阻止します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0399I** ノード *agent\_node* のセッション *session number* が、ノード *target\_node* に対するプロキシ・セッションを終了しました。

説明: プロキシ・セッションが終了しました。サーバーは、プロトコル内にエラーが存在する場合、セッションを強制終了します。他方、クライアントも、セッションを強制終了することができます。

システムの処置: サーバーおよびクライアントは、クライアント・ノードに対するプロキシ・セッションを終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0400I** ノード *node name (client platform) (communication method)* のセッション *session number* が開始されました。

説明: 指定されたノードによって新しいクライアント・セッションが開始されました。このセッションで使用するセッション番号、クライアント・プラットフォーム・タイプ、および通信方式がこのメッセージの中に含まれています。

システムの処置: サーバーはクライアント・ノードにサービスする通信セッションを開始します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0402I** 管理者 *administrator ID (administrator's platform) (communication method)* のセッション *session number* が開始されました。

説明: 指定された管理者によって新しい管理クライアント・セッションが開始されました。このセッションで 사용되는セッション番号、管理者のプラットフォーム・タイプ、および通信方式がメッセージに示されています。

システムの処置: サーバーは管理者クライアントにサービスする通信セッションを開始します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0403I** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました。

説明: クライアント・セッションは正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0405I** 管理者 *administrator ID (client platform)* のセッション *session number* が終了しました。

説明: 管理クライアント・セッションは正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0406I** ノード *node name (client platform) (communication method communication address)* のセッション *session number* が開始されました。

説明: 指定されたノードによって新しいクライアント・



セッションが開始されました。このセッションで使用するセッション番号、クライアント・プラットフォーム・タイプ、通信方式、およびアドレスがこのメッセージに含まれています。

システムの処置: サーバーはクライアント・ノードにサービスする通信セッションを開始します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0407I** 管理者 *administrator ID (administrator's platform) (communication method communication address)* のセッション *session number* が開始されました。

説明: 指定された管理者によって新しい管理クライアント・セッションが開始されました。このセッションで使用するセッション番号、管理者のプラットフォーム・タイプ、通信方式、およびアドレスがメッセージに示されています。

システムの処置: サーバーは管理者クライアントにサービスする通信セッションを開始します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0408I** *purpose* のためにサーバー *server name (server's platform) (communication method)* に対してセッション *session number* が開始されました。

説明: 指定された目的のため、指定されたサーバーが新しいサーバー・セッションを開始しました。このセッションで使用するセッション番号、サーバーのプラットフォーム・タイプ、および通信方式がこのメッセージの中に含まれています。

システムの処置: サーバーは管理者クライアントにサービスする通信セッションを開始します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0409I** サーバー *server name (client platform)* に対するセッション *session number* が終了しました。

説明: サーバーが正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0410E** サーバー *server name* へのエクスポート操作が拒否されました - 管理者 *administrator* は、ターゲット・サーバーにおけるインポート操作の実行を許可されていません。

説明: エクスポート・コマンドを発行する管理者がターゲット・サーバーに定義されていないか、ターゲット・サーバーでインポート操作を実行するのに十分な権限をもっていないので、名前を指定されたサーバーに対するエクスポート操作は拒否されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0411I** ノード *node name* としてログインした管理者 *administrator name* のセッション *session number* で *object type* オブジェクトがリストアまたはリトリブされました。ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、オブジェクト *object name*。

説明: このメッセージは、ノードにログインした管理者によってリストアまたはリトリブされたオブジェクトに関する情報を記録しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0412I** ノード *node name(Userid=user id)* のセッション *session number* により、次の *object type* オブジェクトがリストアまたはリトリブされました。ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、オブジェクト *object name*。

説明: このメッセージは、ノードにログインしたユーザーによってリストアまたはリトリブされたオブジェクトに関する情報を活動記録ログに記録します。ユーザー *ID* に値が指定されていない場合は、プラットフォームの管理ユーザーまたは *root* ユーザーがリストアを開始したことを示しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0413I** ノード *node name* としてログインした管理者 *administrator name* のセッション *session number* は、バックアップ・セット (ノード *node name*、セット *filespace name*) をリストアしています。

説明: このメッセージは、ノードにログインした管理者によってリストアされたバックアップ・セットに関する情報を記録しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0414I** ノード *node name* のセッション *session number* は、バックアップ・セット (ノード *node name*、セット *filespace name*) をリストアしています。

説明: このメッセージは、ノードによってリストアされたバックアップ・セットに関する情報を記録しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0415I** *storage agent name* がプロキシとして動作するセッション *session number* が、ノード *node name* に対して開始されました。

説明: このセッションは表示のノードに対して開始され、ストレージ・エージェントがそのノードのプロキシとして機能します。クライアント・ノード・セッションは、クライアントとサーバーの間の LAN フリー操作を実行するために使用されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0416W** ノード *node name* のセッション *session number* は、*path* データ転送パスを使用する *operation* に対して許可されていません。

説明: このセッションは、示されたデータ転送パスを使用してこの操作を試みました。この操作は、このクライアントに許可されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このノードに対して QUERY NODE FORMAT=DETAILED を発行し、現在の DATA WRITE PATH または DATA READ PATH 設定を確認してください。特定のデータ転送パスを使用する所定の操作が許可されるかどうかは、これらの設定で決まります。このクライアント・ノードがこのデータ転送パスを使用してこの操作を実行することを許可する必要があるときは、UPDATE NODE コマンドを使用してこれを訂正する必要があります。

**ANR0417W** ノード *node name* のセッション *session number* が終了しました - データ転送パスが許可されていません。

説明: このセッションは、このノードで使用が許可されていないデータ転送パスを必要とする操作を試行しました。

システムの処置: このクライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: このクライアント・セッションで発行された ANR0416W メッセージを参照し、試行された操作とデータ転送パスを確認してください。

**ANR0418W** 無効なパスワードが実行依頼されたため、管理者 *administrator name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました。

説明: サインオン処理時にクライアントによって無効なパスワードが実行依頼されたので、サーバーはクライアント・セッションの開始要求を拒否しています。

システムの処置: サーバーは、有効なパスワードが発信されるまで、このクライアントによるアクセスの試みを拒否し続けます。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、許可された管理者に連絡し、UPDATE ADMIN コマンドを使用して新しいパスワードの割り当てを受けてください。

**ANR0419W** 認証がオンの時には、管理クライアント・ユーザー ID *administrative ID* を使用できません。

説明: ID の認証が有効となっている時に指定したユーザー ID を使用することはできないので、サーバーはクライアント (管理者) セッションの要求を拒否しています。SERVER\_CONSOLE はこの制約が適用される管理 ID です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このサーバー用に登録されてパスワードを持っている管理 ID を使用してください。

**ANR0420W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - サーバーはユーザー・アクセスに対して使用不可になっています。

説明: サーバーが現在クライアントのアクセスに対して使用不可になっているので、サーバーはクライアント (バックアップ - 保存) セッションの要求を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。管理クライアントはサーバーにアクセスすることができます。

ユーザーの処置: 許可された管理者は、クライアント・ノードがサーバーへのアクセスを許可される前に、ENABLE SESSION コマンドを出す必要があります。

---

**ANR0421W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - サインオン・プロトコル違反。

説明: サインオン・プロトコルに違反しているので、サーバーはクライアント・セッションの要求を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 通常、このエラーが起こるのは、サインオン *verb* が誤ってフォーマット設定されてサーバーに送達されていたクライアント・プログラミング・エラーの結果です。サーバーがこの製品の一部でないアプリケーションによって接続された場合にも、このエラーは起こる可能性があります。

---

**ANR0422W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - ノード名が登録されていません。

説明: クライアント・ノード名がサーバー・データベースに登録されていないので、サーバーはクライアント・セッションの開始要求を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: セッションを確立する前に、サーバーにノード名を登録してください。サーバーが OPEN 登録で実行している場合にはアクションは不要です。クライアントは、ユーザーにパスワードを求めるプロンプトを出してそのクライアントをサーバーに登録します。サーバーで CLOSED 登録が有効となっている場合には、許可された管理者は REGISTER NODE コマンドを使用してクライアント・ノード名をサーバーに登録する必要があります。

---

**ANR0423W** 管理者 *administrator ID (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - 管理者名が登録されていません。

説明: 管理者名がサーバー・データベースに登録されていないので、サーバーは管理者用セッションの開始要求を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: セッションを確立する前に、管理者名をサーバーに登録してください。許可された管理者は、REGISTER ADMIN コマンドを使用して管理者をサーバーに登録する必要があります。

---

**ANR0424W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - 無効なパスワードが実行依頼されました。

説明: サインオン処理時にクライアントによって無効なパスワードが実行依頼されたので、サーバーはクライアント・セッションの開始要求を拒否しています。サーバーは、有効なパスワードが発信されるまで、このクライアントによるアクセスの試みを拒否し続けます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを入力してください。ユーザーがパスワードを忘れた場合には、権限のある管理者が UPDATE NODE コマンドを使用して、新しいパスワードを割り当てることができます。

---

**ANR0425W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - ノードのパスワードが期限切れになっています。

説明: クライアント・ノードのパスワードの期限が切れているので、サーバーは指定されたセッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このエラー条件を受け取ると、クライアント・プログラムは、パスワードの更新セッションを指定しているサーバーに即座に再接続して、ユーザーに新しいパスワードを求めるプロンプトを出します。ユーザーが新しいパスワードを入力すると、クライアントは、通常の実行を行うためにサーバーに再接続します。また、許可された管理者は UPDATE NODE コマンドを使用して、クライアントのパスワードを更新することができます。

---

**ANR0426W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - オープン登録が許可されていません。

説明: オープン登録アクションを行おうとしてサーバーが CLOSED 登録で実行しているため、サーバーはクライアント・セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 許可された管理者に REGISTER NODE または REGISTER ADMIN コマンドを使用して、要求を実行するように依頼してください。

**ANR0427W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - サーバーのバージョンがこのクライアントより下位レベルです。

説明: クライアント・プログラムのバージョン・レベルが、サーバー・プログラムによってサポートされるものより新しいので、サーバーはクライアント・セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・プログラムにサービスを適用してより新しいクライアント・プログラムに対応させるか、あるいは前のクライアント・プログラムを使用して、サーバーに接続してください。

**ANR0428W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - クライアントがこのサーバーのバージョンより下位レベルです。

説明: クライアント・プログラムのバージョン・レベルがサーバー・プログラムによってサポートされるものよりも古い場合、サーバーはクライアント・セッションを拒否しています。特定の問題 (圧縮修正など) の場合には、あるノードがより新しいクライアントを使用してサーバーに接続すると、サーバーはこの事実を記録してこのノードが、そのクライアント・バージョンを修正が入っていないバージョンに戻すことがないようにします。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムにサービスを適用して、より新しいサーバー・プログラムに対応するようにしてください。

**ANR0429W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - サーバー・セッションの最大数 (*max sessions allowed*) を超えました。

説明: 並行クライアント・セッションの最大数を超えたので、サーバーは、指定されたクライアントまたは管理者用セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、許可されるセッションの最大数を大きくしてください。そのためには、サーバー・オプション・ファイルの *MAXSESSIONS* パラメーターの値を更新して、更新されたオプション・ファイルでサーバーを再始動してください。 *MAXSESSIONS* の値を大きくすると、サーバーが追加のメモリー・リソースを必要とすることに注意してください。後でこの接続をやり直すこともできます。

**ANR0430W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - ノード名がロックされています。

説明: ノードがサーバー・アクセスから (*LOCK NODE* コマンドまたは *LDAP* ディレクトリー・サーバーによって) ロックされているため、サーバーは指定されたクライアント・セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・ノードがサーバーへのアクセスを許可される前に、正式に許可されている管理者がノードをアンロックする必要があります。 *LOCAL* 認証を使用しているノードは、*UNLOCK NODE* コマンドによってアンロックできます。 *LDAP* 認証を使用しているノードは、*LDAP* ディレクトリー・サーバー内部からアンロックできます。

**ANR0431W** セッション *session number* が拒否されました - 管理者 *administrator ID (client platform)* がロックされています。

説明: 管理者がサーバー・アクセスから (*LOCK ADMIN* コマンドまたは *LDAP* ディレクトリー・サーバーによって) ロックされているため、サーバーは指定された管理セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 管理者がサーバーへのアクセスを許可される前に、正式に許可されている管理者が管理者をアンロックする必要があります。 *LOCAL* 認証を使用している管理者は、*UNLOCK ADMIN* コマンドによってアンロックできます。 *LDAP* 認証を使用している管理者は、*LDAP* ディレクトリー・サーバー内部からアンロックできます。

**ANR0432W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
 - メモリーが不足しています。

説明: 使用可能な十分なメモリー (仮想メモリー) がないので、サーバーは指定されたセッションを終了します。

システムの処置: サーバーはセッションを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0433W** *node or administrator ID (client platform)*  
 のセッション *session number* が、回復ログ・スペースが不足しているために拒否されました。

説明: ログがスペースを使い尽くすと、現行のトランザクションはロールバックされます。サーバーは、エラー・メッセージを発行して停止します。回復ログのサイズを増やすまでは、サーバーを再始動することができません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: アーカイブ・ログと活動ログをモニターします。回復ログ・スペースが不足している場合は、最初にアーカイブ・ログ・スペースをモニターしてください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯の場合、あるいは満杯に近い場合は、フル・データベース・バックアップを実行してアーカイブ・ログを削除し、アーカイブ・ログ・ディレクトリーにディスク・スペースを追加することを検討してください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯ではなく、活動ログが満杯あるいは満杯に近い場合は、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGSIZE オプションの値を更新してください。

ACTIVELOGSIZE オプションの値を、活動ログの新しい最大サイズに設定します。

---

**ANR0434W** *node or administrator ID (client platform)*  
 のセッション *session number* が、データベース・スペースが不足しているために拒否されました。

説明: データベース・スペースが不足しているため、サーバーは、指定されたクライアントまたは管理用セッションを終了します。

システムの処置: サーバーはセッションを終了しますが、操作は続行します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行します。データベースに 1 つ以上のディレクトリーを追加します。

---

**ANR0435W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - 内部エラーが検出されました。

説明: 内部論理エラーが検出されているので、サーバーは指定されたセッションを終了します。

システムの処置: サーバーはセッションを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、管理者はこのメッセージの前に出されたサーバー・メッセー

ジを調べることができます。QUERY ACTLOG コマンドを使用して、活動記録ログを表示し、メッセージを検索することができます。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0437W** ノード *client node name (client platform)*  
 のセッション *session number* が、ライセンスとの適合を検査している時に、内部サーバー・エラーを検出しました。

説明: サーバーがライセンス条項に適合しているかどうかを判別している時に、サーバーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE および QUERY STATUS コマンドを使用して、サーバーがライセンス条項に適合しているかどうかを調べてください。AUDIT LICENSES プロセスを開始して、サーバーのライセンス情報を再調整してください。このプロセスが完了したら再度セッションを開始することができます。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0438W** クライアント *client node name (client platform)* のセッション *session number* アーカイブ操作が拒否されました - サーバーがライセンス条項に適合していません。

説明: 現行のサーバー構成がライセンス条項に適合していないので、サーバーはクライアントのアーカイブ操作を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。クライアントは、バックアップまたはアーカイブ以外のアクションを実行することができます。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを使用して、既に適合していないライセンス条項を調べてください。

---

**ANR0439W** クライアント *client node name (client platform)* のセッション *session number* バックアップ操作が拒否されました - サーバーがライセンス条項に適合していません。

説明: 現行のサーバー構成がライセンス条項に適合していないので、サーバーはクライアントのバックアップ操作を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。クライアントは、バックアップまたはアーカイブ以外のアクション

ョンを実行することができます。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを使用して、既に適合していないライセンス条項を調べてください。

---

**ANR0440W** ノード *client node name (client platform)* のセッション *session number* でプロトコル・エラー - 無効な **verb** ヘッダーを受け取りました。

説明: クライアントから無効な **verb** ヘッダーを受け取ったので、サーバーは、指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しています。 **verb** ヘッダーは、常にクライアントからサーバー、またはサーバーからクライアントに送られる通信に先行します。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: ユーザー側が WDSF **verb** を使用して書いている場合には、クライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正してください。 そうでない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0441W** ノード *client node name (client platform)* のセッション *session number* でプロトコル・エラー - 無効なデータ長を受け取りました。

説明: クライアントから無効な **verb** の長さを受け取ったので、サーバーは指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: ユーザー側が WDSF **verb** を使用して書いている場合には、クライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正してください。 そうでない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0442W** ノード *client node name (client platform)* のセッション *session number* でプロトコル・エラー - 無効なストリーム・モード切り替え。

説明: クライアントが誤ったストリーム操作を試みたので、サーバーは指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: ご使用のインストールでクライアント・プログラミングを書いている場合には、そのクライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正し

てください。 そうでない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0443W** ノード *client node name (client platform)* のセッション *session number* でプロトコル・エラー - "**verb name**" **verb** (オフセット *offset position*) で無効な "**field name**" フィールドが見つかりました。

説明: クライアント・ノードから送られた **verb** に無効なフィールドが見つかったので、サーバーは指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: ユーザー側が WDSF **verb** を使用して書いている場合には、クライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正してください。 そうでない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0444W** ノード *client node name (client platform)* のセッション *session number* でプロトコル・エラー - 順序違いの **verb** (タイプ *verb name*) を受け取りました。

説明: クライアント/サーバー交換順序に従っていない **verb** を受け取ったので、サーバーは指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: エラーを生成しているクライアントが API クライアントでない場合は、サービス担当員に連絡してください。 エラーを生成しているクライアントが API クライアントの場合は、その API クライアントの所有者に連絡してください。 ユーザーが WDSF **verb** を使って作成したクライアントにエラーがあった場合は、クライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正してください。

---

**ANR0445W** ノード *client node name (client platform)* のセッション *session number* でプロトコル・エラー - 最大グループ・トランザクション・サイズを超えました。

説明: クライアントが、単一のデータベース・トランザクションで、最大データベース更新操作を超えてグループ化しようとしたので、サーバーは指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: ユーザー側が WDSF **verb** を使用し

て書いている場合には、クライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正してください。 そうでない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0446W** セッション *session number* クライアント *client node name* の圧縮方式はサポートされていません - 圧縮は強制的にオフにされました。 最新レベルのクライアント・コードを入手してください。

説明: クライアントが既にサーバーによってサポートされていない圧縮方式を使用しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。クライアントのバックアップ操作はデータを圧縮しないで続行されます。

ユーザーの処置: クライアントが使用している圧縮方式は既にサポートされていません。圧縮を使用するには、クライアントは新しい圧縮方式をサポートするサービス・レベルにアップグレードする必要があります。

---

**ANR0447W** クライアント *client node name (client platform)* に対するセッション *session number* スペース管理マイグレーション操作が拒否されました - サーバーがライセンス条項に適合していません。

説明: 現行のサーバー構成がライセンス条項に適合していないので、サーバーは、クライアントのスペース管理マイグレーション操作を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。クライアントは、バックアップ、アーカイブ、またはスペース管理ファイル・マイグレーション以外のアクションを実行することができます。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを使用して、既に適合していないライセンス条項を調べてください。

---

**ANR0448W** クライアント *client node name (client platform)* に対するセッション *session number* スペース管理マイグレーション操作が拒否されました - サーバーがスペース管理サポートのライセンスを持っていません。

説明: サーバーがスペース管理クライアントをサポートするライセンスを持っていないので、サーバーはクライアントのスペース管理マイグレーション操作を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: スペース管理クライアントをサポート

するライセンスは、サービス・プロバイダーまたは販売店から入手することができます。これらのライセンスにより、REGISTER LICENSE コマンドを使用して、スペース管理サポートを使用可能にできます。

---

**ANR0449W** クライアント *client node name (client platform)* に対するセッション *session number* スペース管理マイグレーション操作が、サーバーのライセンス条項に違反しています - サーバーがスペース管理サポートのライセンスを持っていません。

説明: サーバーがスペース管理クライアントをサポートするライセンスを持っていないので、サーバーはクライアントのスペース管理マイグレーション操作について警告しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: スペース管理クライアントをサポートするライセンスは、サービス・プロバイダーまたは販売店から入手することができます。これらのライセンスにより、REGISTER LICENSE コマンドを使用して、スペース管理サポートを使用可能にできます。

---

**ANR0450W** サーバー *server name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - サーバー間通信にサーバー名が定義されていません。

説明: サーバー・データベースに要求元サーバー名が定義されていないか、要求元サーバー定義に

SERVERPASSWORD がないか、あるいはソース・サーバーで仮想ボリュームに使用するパスワードまたはノード名がセットアップされていないために、サーバーがサーバー・セッションの開始要求を拒否しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: セッションを確立する前にサーバーで要求元サーバー名を登録するか、あるいは既存の要求元サーバー定義を更新して、SERVERPASSWORD を設定してください。許可された管理者が DEFINE SERVER または UPDATE SERVER コマンドを使用して、要求元サーバーを登録してパスワードを設定しなければなりません。仮想ボリューム環境では、ソース・サーバーはターゲット・サーバーについて、ノード名とパスワードを含む定義を備えている必要があります。

---

**ANR0451W** サーバー *server name (server platform)* のセッション *session number* が拒否されました - 無効なパスワードが送信されました。

説明: サインオン処理時に無効なパスワードが発信され

たので、サーバーはサーバー・セッションの開始要求を拒否しています。有効なパスワードが発信されるまで、サーバーはそのサーバーによるアクセスの試みを拒否し続けます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを設定してください。 いずれかのサーバーでパスワードが変更された場合には、許可された管理者が `SERVERPASSWORD` パラメーターを指定した `UPDATE SERVER` コマンドを使用して、新規パスワードを設定することができます。

---

**ANR0452W** サーバー *source server name* のセッションが拒否されました。サーバー *source server name* は、サーバー *target server name* 上でサーバー間通信の対象として定義されていません。

説明: サーバー・データベースにサーバー名が定義されていないか、あるいはサーバー定義に `SERVERPASSWORD` がないために、サーバーが、サーバー間セッションの開始要求を拒否しました。 `SERVERPASSWORD` を使用するサーバー間通信では、各サーバーに他方のサーバーのサーバー定義が必要です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: セッションを確立する前に両方のサーバーでサーバー名を登録するか、あるいはサーバーの既存のサーバー定義を更新して、`SERVERPASSWORD` を設定してください。 許可された管理者が、`DEFINE SERVER` コマンドまたは `UPDATE SERVER` コマンドを使用して、サーバーの登録およびパスワードの設定を行う必要があります。

---

**ANR0453W** サーバー間セッションが拒否されました - パスワードが定義されていません。

説明: このサーバーにパスワードが定義されていないので、サーバー間セッションを開始できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: `SET SERVERPASSWORD` コマンドを使用してサーバー・パスワードを定義し、コマンドをやり直してください。

---

**ANR0454E** セッションがサーバー *target server name* によって拒否されました。理由: *rejection reason*。

説明: サーバーは、示されているサーバーとのセッションをオープンしようとしていました。セッションは、示されている理由により拒否されました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: セッションが拒否された理由をさらに詳しく説明する可能性がある追加メッセージがないか、両方のサーバーを調べてください。拒否された理由は「診断コード - 理由」の形式です。診断コードは、サービス担当員が使用することのみを目的としています。示されている拒否理由に対して、以下の対応が適用されます。

- リソースなし: 受信側サーバーが使用可能で、サーバー・セッションをサポートするために十分なデータベース、ログ、およびメモリー・リソースがあることを確認してください。
- 検証者は有効期限が切れています: 管理者のパスワードが両方のサーバーで現行のものであることを確認してください。
- 管理者は登録されていません: 管理者がターゲット・サーバーに登録されていることを確認してください。
- インバウンド・セッションが使用不可: ターゲット・サーバーが `DISABLE SESSIONS SERVER` コマンドを使用してこのサーバーを使用不可に設定していないことを確認してください。
- 下位レベル: このサーバーのレベルが、ターゲット・サーバーのレベルに対して現行のレベルであることを確認してください。
- 管理者は使用中です: 管理者がターゲット・サーバーで更新中でないことを確認してください。
- 言語は使用できません: 要求された言語がターゲット・サーバーにインストールされていることを確認してください。
- 管理者はロックされています: 管理者がいずれのサーバーでもロックされていないことを確認してください。
- ライセンス障害: 適切なライセンスが登録されていることを確認してください。
- クライアント・ポートの管理: `UPDATE SERVER` コマンドを使用して、ターゲット・サーバーの管理ポートを設定してください。
- SSL 必須: SSL が適切に構成されていることを確認してください。
- 認証障害: 両方のサーバーにおいてすべてのパスワードが正しく設定されていることを確認してください。サーバー用のパスワード (サーバー X 上で `SET SERVERPASSWORD` によって設定) と、サーバー定義内のパスワード (`DEFINE` または `UPDATE SERVER X SERVERPASSWORD=` で設定) は、同じパスワードです。
- 検査障害: `QUERY SERVER` コマンドを使用して、ターゲット・サーバーの `HLADDRESS` および



LLADDRESS が正しいか判別してください。正しくない場合は、UPDATE SERVER コマンドで、訂正してください。正しい場合は、UPDATE SERVER FORCESYNC=YES コマンドを実行して、ターゲット・サーバーと再同期してください。

- 通信障害: ターゲット・サーバーが使用可能であること、および両方のサーバーで TCPIP が使用可能であることを確認してください。QUERY SERVER コマンドを使用して、ターゲット・サーバーの HLADDRESS および LLADDRESS が正しいか判別してください。正しくない場合は、UPDATE SERVER コマンドで、訂正してください。
- ノード・タイプ: ターゲット・サーバーに登録されているノードの TYPE が SERVER でないか、またはソース・サーバー上のサーバー定義の NODENAME パラメーターが正しくありません。
- 内部エラー: ターゲット・サーバー上のメッセージを使用して問題を判別してください。

---

**ANR0455W** SNMP セッションに無効コマンド  
*command name.*

説明: SNMP 管理用セッションで、マクロ呼び出しでないコマンドを実行しようとした。SNMP 管理用セッションでは、マクロ・コマンドしか出すことができません。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: サーバーで定義されているマクロである SNMP 管理用インターフェースを介して、コマンドを入力してください。

---

**ANR0456W** サーバー *server name* のセッションが拒否されました - *High level address*、*Low level address* のサーバー名が一致していません。

説明: 指定されたアドレスのサーバー名がサーバー定義中の名前を一致していません。接続は確立されていません。

システムの処置: サーバーは続行します。

ユーザーの処置: サーバー定義コマンド中の HLADDRESS および LLADDRESS が正しいこと、および接続しようとしているサーバーのサーバー名が DEFINE SERVER コマンドで使用された名前と一致していることを確認してください。

---

**ANR0457W** サーバー *server name* のセッションが拒否されました - このサーバーではサーバー間定義は許されていません。

説明: サーバーは、相互定義がこのサーバーでは許可されていないため、相互定義のサーバー間セッションを開始する要求を拒否します。サーバーは、このサーバーで相互定義が許可されるまで、相互定義のセッションをすべて拒否します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 許可された管理者が SET CROSSDEFINE ON コマンドを使用して、サーバーの相互登録を許可する必要があります。

---

**ANR0458S** サーバー *server name* は、ストレージ・エージェントによるアクセスをサポートしていません。

説明: ストレージ・エージェントがデータベース・サーバーに接続しようとしたが、接続したサーバーが正しいレベルではありませんでした。

システムの処置: ストレージ・エージェントは終了しました。

ユーザーの処置: ストレージ・エージェントの devconfig ファイルで正しいデータベース・サーバーを指定してください。

---

**ANR0459W** ノード *client node name (client platform)* のセッション *session number* で認証プロトコル・エラー- 順序違いの **verb** (タイプ *verb name*) を受け取りました。

説明: クライアント/サーバー認証交換順序に従っていない **verb** を受け取ったので、サーバーは指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: エラーを生成しているクライアントが API クライアントでない場合は、サービス担当員に連絡してください。エラーを生成しているクライアントが API クライアントの場合は、その API クライアントの所有者に連絡してください。エラーを生成しているクライアントが、IBM が提供するクライアントである場合、そのクライアントのソフトウェアが現行レベルであることを確認してください。

---

**ANR0460W** セッション *session number* のオープン登録が失敗しました - ノード名 *node name (client platform)* は既に存在しています。

説明: クライアントが既にサーバーに登録されているノード名を指定したので、サーバーはオープン登録中のクライアント・セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムのユーザーは、クライアント・オプション・ファイルのクライアントに別のノード名を指定する必要があります。

---

**ANR0461W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でオープン登録が失敗しました - ポリシー・ドメイン **STANDARD** が存在していません。

説明: STANDARD ポリシー・ドメインが存在しないので、オープン登録中のクライアント・セッションをサーバーは拒否します。オープン登録でサーバー・データベースに追加されたすべてのノードには、STANDARD ポリシー・ドメインが自動的に割り当てられます。このポリシー・ドメインが定義されて、オープン登録をサポートする活動ポリシー・セットがなければなりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: オープン登録をサポートしたい場合には、STANDARD の名前前で DEFINE DOMAIN コマンドを使用してポリシー・ドメインを定義し、ドメイン内で有効なポリシー・セットを活動化してください。UPDATE NODE コマンドを実行すると、オープン登録によってノード自体が登録された後で、別のポリシー・ドメインにノードを移動することができます。

---

**ANR0462W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でオープン登録が失敗しました - 無効なノード名。

説明: クライアントによって指定されたノード名が無効であるため、サーバーはオープン登録中にクライアント・セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムのオプション・ファイルで、有効な文字が入っていて、サイズが最大長を超えないノード名を指定してください。

---

**ANR0463W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でオープン登録が失敗しました - 無効なパスワード。

説明: ユーザーによって指定されたパスワード名が無効であるため、サーバーはオープン登録中にクライアント・セッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 有効な文字を使用してサイズが最大長を超えないパスワードを指定してください。

---

**ANR0464W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でオープン登録が失敗しました - ライセンス条項のもとに使用可能なノードの数を超えました。

説明: 現在のライセンス条項によって許可されている以上のノードを登録しようとしたのを、サーバーが検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、REGISTER NODE コマンドは実行されず、このノードは登録されません。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを使用して、既に適合していないライセンス条項を調べてください。

---

**ANR0465W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でオープン登録が失敗しました - ポリシー・ドメイン **STANDARD** に **ACTIVE** ポリシー・セットが含まれていません。

説明: STANDARD ポリシー・ドメインに活動ポリシー・セットが含まれていないので、サーバーはオープン登録中にクライアント・セッションを拒否しています。オープン登録でサーバー・データベースに追加されたすべてのノードには、STANDARD ポリシー・ドメインが自動的に割り当てられます。このポリシー・ドメインが定義されて、オープン登録をサポートする活動ポリシー・セットがなければなりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: オープン登録をサポートしたい場合には、STANDARD の名前前で DEFINE DOMAIN コマンドを使用してポリシー・ドメインを定義し、ドメイン内で有効なポリシー・セットを活動化してください。UPDATE NODE コマンドを実行すると、オープン登録によってノード自体が登録された後で、別のポリシー・ドメインにノードを移動することができます。

---

---

**ANR0466E SETSTORAGESEVER** コマンドが正常に完了しませんでした。

説明: SETSTORAGESEVER コマンドがエラーを検出して、正常に完了しませんでした。

システムの処置: ストレージ・エージェント操作は終了します。

ユーザーの処置: これより前のエラー・メッセージを検討して、必要な修正処置を実行してください。

---

**ANR0467I SETSTORAGESEVER** コマンドは正常に完了しました。

説明: SETSTORAGESEVER コマンドは正常に完了し、適切な装置構成ファイルが更新されました。

システムの処置: ストレージ・エージェント操作は終了します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR0468E** サーバー *server name* に対するサーバー間エクスポートおよびインポートは許可されていません。エクスポート・サーバーは、バージョン *export version* です。インポート・サーバーは、バージョン *import version* です。

説明: 旧式のサーバーに対してエクスポートが試行されました。インポートが実行されるサーバーは、データのエクスポート元サーバーと同じレベルか、またはそれ以上のレベルでなければなりません。

システムの処置: エクスポート操作は終了し、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 同じレベルまたはそれ以降のレベルのサーバーにエクスポートしてください。

---

**ANR0469W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - クライアントがアーカイブ保存保護用に構成されていません。

説明: クライアントがアーカイブ保存保護用に構成されていないため、サーバーがこのクライアント・セッションを拒否しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー上でアーカイブ保存保護を使用不可にするか、アーカイブ保存保護用にクライアントを構成してください。

---

**ANR0470W** 管理者 *administrator name* のセッション *session number* が拒否されました - 管理者パスワードが期限切れになっています。

説明: 管理者のパスワードの期限が切れているので、サーバーは指定されたセッションを拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このエラー条件を受け取ると、クライアント・プログラムは、パスワードの更新セッションを指定しているサーバーに即座に再接続して、ユーザーに新しいパスワードを求めるプロンプトを出します。ユーザーが新しいパスワードを入力すると、クライアントは、通常の操作を行うためにサーバーに再接続します。また、許可された管理者は UPDATE ADMIN コマンドを使用して、クライアントのパスワードを更新することができます。

---

**ANR0472E** データベース・マネージャーは開始しませんでした。テーブル・スペース・コンテナがアクセス不能です。

説明: サーバーはデータベース・マネージャーを開始できませんでした。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: サーバーを再始動する前に、次の項目を確認してください。

- システムをリブートします。
  - dbdir、ログ、または装置のディレクトリーが存在し、ファイル・システムがマウントされていること(別のファイル・システム上にある場合)を確認します。
  - ハードウェアとネットワーク接続が正しく機能していることを確認します。
  - システム・ログと db2diag.log にエラーがある場合は、そのエラーを修正します。
- 

**ANR0473W** 管理者 *administrator ID (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - 管理者名にはクライアント・ノードに対する正しいレベルの権限がありません。

説明: 管理者名にノードに対する適切な権限がないので、サーバーは管理者用セッションの開始要求を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: コマンド GRANT AUTHORITY を使用して、現在の管理者 ID に適切な権限を認可してください。

**ANR0474W** 管理者がクライアント・ポートでセッションを開始することが許可されていないため、管理者 *administrator ID* (*administrator platform*) のセッション *session number* が拒否されました。

説明: 管理者がクライアント・セッションに使用されるサーバー・ポート上でサーバーに接続され、オプション *ADMINONCLIENTPORT* が *NO* に設定されているため、サーバーは、指定された管理用セッションを開始しませんでした。(TCP*PORT* オプションと TCP*ADMINPORT* オプションによって制御される) 管理用セッションおよびクライアント・セッションに異なるポート番号が使用され、*ADMINONCLIENTPORT* が *NO* に設定されている場合、管理用セッションは、(TCP*ADMINPORT* オプションによる指定に従って) 管理用セッションに使用されるポート上のみで開始できます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・オプション・ファイルを更新し、管理用セッションに使用するポートを指定してください。通常、これはクライアント・オプション・ファイルおよびサーバー・オプション・ファイルの両方で TCP*ADMINPORT* オプションによって指定します。

**ANR0475W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - ノードは管理ポートでのセッションの開始を許可されていません。

説明: ノードがサーバーの管理ポートのサーバーに接続されているため、サーバーは指定のクライアント・ノードとのセッションの開始を拒否しました。管理用セッションおよびクライアント・セッションに異なるポート番号を使用する場合は、クライアント・セッションはクライアント・セッションに使用するポートのみで開始できます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・オプション・ファイルを更新し、クライアント・セッションに使用するポートを指定してください。通常、これはクライアント・オプション・ファイルおよびサーバー・オプション・ファイルの両方で TCP*PORT* オプションによって指定します。MVS サーバーは ICS*PORT* オプションも使用します。

**ANR0476W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - ノードはセッションの開始を許可されていません。

説明: ノードがセッションの開始を許可されていないため、サーバーは指定のクライアント・ノードとのセッションの開始を拒否しました。このクライアントでは、サーバー開始セッションのみが許可されています。

REGISTER NODE および UPDATE NODE コマンドの SESSIONINIT パラメーターは、クライアントがセッションを開始できるかどうかを制御します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 管理者は、UPDATE NODE コマンドで SESSIONINIT パラメーターを使用して、クライアントがセッションを開始できることを指定できます。代わりに、サーバー主導スケジューリング・コマンド (DEFINE SCHEDULE、DEFINE ASSOCIATION) によって、サーバーが開始するクライアントでセッションをスケジュールすることもできます。

**ANR0477W** セッション *session number* が拒否されました - クライアント *client node name* は *client platform* のプラットフォーム・タイプでサーバーにアクセスできません。

説明: ノード・タイプおよびプラットフォーム・タイプの組み合わせが無効なクライアントが、サーバーとのセッションを要求しました。例えば、タイプ NAS のノード ID は "TSMNAS" というプラットフォーム・タイプでのみサインオン可能で、他のすべてのノード・タイプはこのプラットフォーム・タイプを使用できません。

システムの処置: セッション要求が拒否されました。サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: サインオンするためにクライアントが使用していた ID が正しいプラットフォーム・タイプを持っていることを検査してください。

**ANR0478W** セッション要求が拒否されました。サーバーはスタンドアロン・モードで実行中です。

説明: クライアントがサーバーとのセッションを要求しました。しかし、サーバーは、クライアント・セッションを開始できないモードで実行中です。

システムの処置: セッション要求が拒否されました。サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 応答は不要です。このメッセージの表示を削減または使用不可にするには、COMMETHOD NONE オプションによってスタンド

アロン・モードで実行する前に、サーバー・オプションを更新できます。これによって、クライアント接続を使用可能にしないでサーバーを実行することができません。

---

**ANR0479W** サーバー *server name (server platform)* のセッション *session number* が終了しました - サーバーとの接続が切断されました。

説明: サーバー A がサーバー B との接続を開始した場合、通信リンクがネットワーク・エラーまたはサーバー A のプログラムによってクローズされたので、サーバー B のセッションは終了します。

システムの処置: サーバー A は実行を継続します。

ユーザーの処置: サーバー B が操作を停止した場合、またはサーバー A との通信を中止した場合には、このメッセージがサーバー A に表示され、接続がサーバー B によって中断されたことを表示します。ネットワークの障害によってこのメッセージが表示されることもあります。多数のこれらのメッセージが同時に現れた場合には、ネットワークの障害を調べて、問題があったら訂正してください。

---

**ANR0480W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - クライアントとの接続が切断されました。

説明: 通信リンクがネットワーク・エラーまたはクライアント・プログラムによってクローズされたので、指定されたクライアント・セッションは終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーがクライアント・プログラムを中断した場合には、クライアントが突然接続をクローズすると、サーバー上にこのメッセージが表示されます。ネットワークの障害によってこのメッセージが表示されることもあります。多数のこれらのメッセージが同時に現れた場合には、ネットワークの障害を調べて、問題があったら訂正してください。

---

**ANR0481W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました。クライアントは、*commtimeout seconds* 秒以内に応答しませんでした。

説明: トランザクションの間、クライアントがデータベース・ロックを保持していたため、サーバーはクライアント・セッションを終了します。クライアントは、COMMTIMEOUT サーバー・オプションで指定された秒数以内に応答しませんでした。

システムの処置: サーバーは進行中であったトランザク

ションをロールバックし、セッションは終了されます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に表示される場合は、COMMTIMEOUT オプションで指定する値を増やすことを検討してください。サーバーを停止あるいは再始動せずに COMMTIMEOUT オプションの値を変更するには、SETOPT コマンドを使用します。この更新では、データベースを更新する操作中に、予想されるクライアント・メッセージをサーバーが待つ時間を変更します。

---

**ANR0482W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - アイドル状態が *idletimeout minutes* 分を超えました。

説明: サーバーは、サーバー・オプション・ファイルの IDLETIMEOUT パラメーターに指定された分数以上にわたってアイドル状態になっていたため、クライアント・セッションを終了しています。クライアント・プログラムは、必要な場合には、自動的にサーバーに再接続を試みます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 問題が続いて起こった場合には、サーバー・オプション・ファイルの IDLETIMEOUT パラメーターに指定された値を大きくしてサーバーを再始動してください。ユーザーが実行するアクション (例えば、ファイルのバックアップ、アーカイブ、リストア、またはリトリブ) を選択するのを待っている間に、クライアント・プログラムがアイドル状態になるのはよくあることです。ユーザーがクライアント・プログラムを開始して実行するアクションを選択しないと、最終的にセッションは、タイムアウトになります。ユーザーがサーバーの関与が必要なアクションを選択すると、クライアント・プログラムは自動的にサーバーに再接続します。多数のアイドル・セッションによって他のユーザーのサーバーへの接続が妨げられることがあるので、IDLETIMEOUT パラメーターを大きくする場合には注意する必要があります。

---

**ANR0483W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - 管理者によって強制されました。

説明: サーバーは、許可された管理者が出した CANCEL SESSION コマンドへの応答でクライアント・セッションを終了しています。

システムの処置: サーバーは、終了されたクライアント・セッションに対して進行中のトランザクションを、ロールバックします。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0484W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - プロトコル違反が検出されました。

説明: クライアントによる通信プロトコル・エラーが検出されたので、サーバーは指定されたセッションを終了しています。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: クライアント・メッセージを調べて問題を判別してください。クライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

このセッションがストレージ・エージェントのプロキシ LAN フリー・セッションである場合、このエラーは、ストレージ・エージェント上でのマウント・ポイントまたはボリュームの優先使用の結果である可能性があります。ストレージ・エージェントがログに記録したメッセージを確認して、ストレージ・エージェントのアクションがこのエラーの原因であるかどうかを判別してください。

---

**ANR0485W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - 使用可能メモリーが足りません。

説明: 使用可能な十分なメモリー (仮想メモリー) がないので、サーバーは指定されたセッションを終了します。

システムの処置: サーバーはセッションを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0486W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - 内部エラーが検出されました。

説明: サーバー上に内部処理エラーが検出されたので、指定されたクライアント・セッションはサーバーによって終了されています。サーバー・プログラムで、プログラミング・エラーが起こっている場合もあります。

システムの処置: セッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このセッションがストレージ・エージェントのプロキシ LAN フリー・セッションである場

合、このエラーは、ストレージ・エージェント上でのマウント・ポイントまたはボリュームの優先使用の結果である可能性があります。ストレージ・エージェントがログに記録したメッセージを確認して、ストレージ・エージェントのアクションがこのエラーの原因であるかどうかを判別してください。

活動記録ログを確認した後でもエラーの原因を判別できない場合には、担当の IBM サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0487W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - 他の操作によって優先使用されました。

説明: サーバーは、クライアントが使用していたマウント・ポイントを必要とする、優先順位の高い操作から出された取り消し要求に答えて、クライアント・セッションを終了しています。

システムの処置: サーバーは、終了されたクライアント・セッションに対して進行中のトランザクションを、ロールバックします。

ユーザーの処置: 操作を出し直してください。このメッセージが頻繁に現れる場合には、関係する装置クラスの *mountlimit* 値を大きくすることを検討してください。

---

**ANR0488W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - 転送速度が (*transfer rate*) より小さく、最初のデータ転送以降に経過した分数 (*elapsed time since first data transfer*) より大きくなっています。

説明: サーバーはクライアント・セッション番号 *session number* を取り消します。セッションの状況によって、セッションの取り消しにしばらく時間がかかる場合があります。サーバーは、クライアント・セッションがサーバー・オプション・ファイルの

THROUGHPUTTIMETHRESHOLD パラメーターに指定された分数より長く活動し、そのデータ転送速度がサーバー・オプション・ファイルの

THROUGHPUTDATATHRESHOLD パラメーターで指定された速度より遅いため、クライアント・セッションを終了します。クライアントは、データを異常に低い速度でサーバーへ転送しているので、他のクライアントからのデータを処理する場合にボトルネックとなることがあります。クライアントがログ・レコードの書き込まれる原因となっていた場合には、このクライアントによってログ・スペース・レクラメーションが禁止される可能性があります。

システムの処置: セッションは取り消されてサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 低いデータ転送速度が問題ではない場合には、サーバー・オプション・ファイルの THROUGHPUTTIMETHRESHOLD または THROUGHPUTDATATHRESHOLD パラメーターを、ゼロに設定することができます - これにより、スループット検査は使用不可となります。この変更は、SETOPT THROUGHPUTTIMETHRESHOLD または SETOPT THROUGHPUTDATATHRESHOLD コマンドを使用することによって、サーバーを停止させて再始動せずに、実行することができます。低いデータ転送速度と考えられない場合には、外部の原因を調査する必要があります。これには、ネットワーク問題、およびクライアント・ノード上のデータへのアクセスにおける問題が含まれます。クライアント・プログラムは、自動的にサーバーに再接続されることがあるので、このメッセージは、このデータ転送の問題が解決されるまで、この後のセッションでも現れる場合があります。デフォルトのサーバーの操作は、スループットの検査を実行しないことです。

---

**ANR0489W** *client node name* に対してセッション *session number* が拒否されました - ストレージ・エージェントで **NAS** タイプのノードがサポートされていません。

説明: 示されたクライアントがストレージ・エージェントに接続を試みました。ストレージ・エージェントでは、TYPE=NAS と定義されたノードはサポートされません。

システムの処置: セッション要求が拒否されました。サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: LAN フリー操作を試行しないようにクライアントを再構成する必要があります。これを行うには、クライアントに対して UPDATE NODE ENABLELANFREE=NO を設定します。

---

**ANR0490I** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* を取り消し中。

説明: サーバーはクライアント・セッション番号 *session number* を取り消します。このメッセージは CANCEL SESSION コマンドへの応答で表示されます。セッションの状況によって、セッションの取り消しにしばらく時間がかかる場合があります。

システムの処置: セッションは取り消されてサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0491I** 取り消す該当セッションが見つかりません。

説明: サーバーは、CANCEL SESSION コマンドに入力された指定と一致する、取り消すはずのセッションを見つけることができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY SESSION コマンドを使って、取り消すつもりセッションが接続していることを確認してください。クライアント・セッションを取り消すのに適切なセッション番号を使って、このコマンドを出し直してください。

---

**ANR0492I** すべてのドライブが使用中です。ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* は、優先順位の高い操作によって優先使用されています。

説明: 優先順位の高い操作が使用可能なドライブを見つけようとしていた時に、すべてのドライブが使用中でした。この操作のためのドライブを解放するために、示されているクライアント・セッションはシステムによって取り消されます。

システムの処置: マウント・ポイント (ドライブ) を解放するために、優先順位の低いクライアント・セッションは取り消されます。

ユーザーの処置: 再びドライブが使用できるようになった時に、取り消されたセッションを再度開始してください。このセッションはほとんどがバックアップ/アーカイブ・セッションであることが多く、スケジュールされた次のバックアップ・ウィンドウ中で自動的に再開させることができます。このメッセージが頻繁に現れる場合には、使用可能なドライブの数を増やすことができます。UPDATE DEVCLASS コマンドの MOUNTLIMIT パラメーターを参照してください。

---

**ANR0493I** リストア・セッション *session number* は取り消されました。

説明: 指定されたセッションは CANCEL RESTORE コマンドによって取り消されました。

システムの処置: リストア・セッションは取り消され、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0494I** ボリューム *volume name* は使用中です。ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* は、優先順位の高い操作によって優先使用されています。

説明: 高優先順位の操作が特定のボリュームを獲得しようとしたときに、それは使用中でした。この操作のためのボリュームを解放するために、示されているクライアント・セッションは、システムによって取り消されます。

システムの処置: ボリュームを解放するために、優先順位の低いクライアント・セッションは取り消されます。

ユーザーの処置: 取り消されたセッションを再始動してください。このセッションは、ボリュームの高優先順位操作が終了するまで待機します。取り消されたこのセッションは、ほとんどがバックアップ/アーカイブ・セッションであることが多く、スケジュールされた次のバックアップ・ウィンドウ中に自動的に再開させることができます。

---

**ANR0495I** 指定した **EXPORT/IMPORT** セッションを取り消すことはできません。

説明: サーバーは、**CANCEL SESSION** コマンドに指定したセッションを取り消すことはできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: セッションのエクスポート/インポートは **CANCEL SESSION** を使用して取り消すことはできません。ユーザーは、**CANCEL PROCESS** コマンドを使用して **EXPORT/IMPORT** 操作を終了する必要があります。

---

**ANR0496E** アーカイブ保持が活動状態のときは **verb** (タイプ *verb name*) が許可されないため、クライアント *client node name (client platform)* のセッション *session number* 操作が拒否されました。

説明: 示されたクライアント操作はアーカイブ保存保護が活動状態のため、サーバーはこの操作を拒否しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アーカイブ保存保護が活動状態のときは、指定された操作をサーバーに送らないでください。

---

**ANR0497W** 非 **Express** クライアントからのセッション要求が拒否されました。

説明: 非 **Express** クライアントが **Express** サーバーとのセッションを要求しました。Express サーバーは、Express クライアントからの接続のみを受け入れます。

システムの処置: セッション要求が拒否されました。サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0498W** リストア **DB** が進行中であるため、*client node name* に対してセッション *session number* が拒否されました。

説明: リストア **DB** が進行中であり、リストア **DB** に関連したクライアントからの接続だけが許可されています。

システムの処置: セッション要求が拒否されました。サーバーのリストア **DB** 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0500W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - 無効なパスワードが実行依頼されました。

説明: ユーザーが現在のパスワードを正しく指定していないので、サーバーはパスワードの更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 現在のパスワードを正しく指定してパスワードを更新してください。現在のパスワードを忘れた場合には、管理者は **UPDATE NODE** または **UPDATE ADMIN** コマンドを使用して、クライアントにパスワードを再割り当てすることができます。

---

**ANR0501W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - 無効なポリシー・バインドが指定されました。

説明: ファイルまたはディレクトリー・オブジェクトに正しい管理クラスが指定されなかったため、サーバーは指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ユーザー側が **WDSF verb** を使用して書いている場合には、クライアント・プログラムのプログラミング・エラーを訂正してください。そうでない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0502E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました。ターゲット宛先のストレージ・プールは、**Centera** 装置タイプを持つ装置クラスと関連付けられています。

説明: 無効な管理クラスが指定されたため、サーバー



は、指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。Centera 装置タイプは、アーカイブ・オブジェクトでのみ使用できます。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: Centera 装置タイプが関連付けられている装置クラスが、アーカイブ操作にのみ使用されることを確認してください。スペース管理またはバックアップ・ストレージ・プール、あるいはその両方に関連付けられたコピー・グループの更新に UPDATE COPYGRP コマンドを使用すると、有効な宛先を指すことができます。

---

**ANR0503I** ノード *node name* としてログインした管理者 *administrator name* のセッション *session number* で *object type* オブジェクトがリストアまたはリトリートされました。ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、オブジェクト *object name*、バージョン *version/total version*。

説明: このメッセージは、ノードにログインした管理者によってリストアまたはリトリートされたオブジェクトに関する情報を記録しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0504I** ノード *node name*(*Userid=user id*) のセッション *session number* により、次の *object type* オブジェクトがリストアまたはリトリートされました。ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、オブジェクト *object name*、バージョン *version/total version*。

説明: このメッセージは、ノードにログインしたユーザーによってリストアまたはリトリートされたオブジェクトに関する情報を活動記録ログに記録します。ユーザー ID に値が指定されていない場合は、プラットフォームの管理ユーザーまたは root ユーザーがリストアを開始したことを示しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0505E** データベース・マネージャーは、データの取り出し中に *column name* のヌル値を検出しました。

説明: サーバーは予期しないデータ値を受け取りました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理できません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行する前に、次のアクションを試行してください。

- システムをリブートします。
- dbdir、ログ、または装置のディレクトリーが存在し、ファイル・システムがマウントされていること(別のファイル・システム上にある場合)を確認します。
- ハードウェアとネットワーク接続が正しく機能していることを確認します。
- システム・ログと db2diag.log にエラーがある場合は、そのエラーを修正します。

---

**ANR0506I** データベース *DB Alias* のフルバックアップが開始されました。このバックアップは必須です。

説明: このレベルの IBM Spectrum Protect サーバーは、ログ・ファイルの形式が新しい、新バージョンのデータベース・マネージャーを使用します。このサーバー・レベルより前に作成されたデータベース・バックアップをデータベースのリストアに使用することはできません。データベースが確実に保護されるようにするには、新しいデータベース・バックアップ・イメージが必要です。

システムの処置: フル・データベース・バックアップが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0507E** ノード *client node name* (*client platform*) のセッション *session number* でプロトコル・エラーが発生しました。示されているノードの所有者が適切に指定されていないためです。

説明: セッションはクライアント/サーバー交換順序に従っていないため、サーバーは、指定されたセッションでプロトコル・エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーはクライアント・セッションを終了します。

ユーザーの処置: クライアントが非標準環境で実行される場合、サーバーは、所有者フィールドが適切に送信されていないことを検出します。クライアントを非標準環境で実行することは推奨されません。

---

**ANR0508E** データベース *DB Alias* の自動フル・データベース・バックアップが失敗しました。

説明: フル・データベース・バックアップが失敗しました。このメッセージは、エラーの詳細を示す 1 つ以上の他のメッセージと共に一緒に発行されます。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。

---

**ANR0509E** データベース・マネージャー・バージョン間でログ形式が異なっているため、*DB Alias* でデータベースのリストアが失敗しました。

説明: バックアップ・イメージが前バージョンのデータベース・マネージャーで生成されたため、データベースのリストアが失敗しました。

システムの処置: データベースのリストアが終了します。

ユーザーの処置: データベースを直ちにリストアする必要がある場合は、アップグレード済みのサーバーをアンインストールし、前バージョンのサーバーを再インストールしてから、リストア・コマンドを実行してください。それ以外の場合は、アップグレード済みのサーバーを開始してください。アップグレード済みのサーバーでは、新しいバックアップ・イメージが自動的に作成されます。データベース・バックアップが完了したら、サーバーのリストア・ユーティリティを再実行してください。

---

**ANR0510I** セッション *session number* が入力ボリューム *volume name* をオープンしました。

説明: 示されたセッションが、示されたボリュームを入力処理のためにオープンしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0511I** セッション *session number* が出力ボリューム *volume name* をオープンしました。

説明: 示されたセッションが、示されたボリュームを出力処理のためにオープンしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0512I** プロセス *process number* が入力ボリューム *volume name* をオープンしました。

説明: 示されたプロセスが、示されたボリュームを入力処理のためにオープンしました。このプロセス/ボリュームの組み合わせに対して、関連する ANR0515I メッセージが出される場合と出されない場合があります。これは、ボリュームの中には複数のプロセスで共有されているものがあるためです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0513I** プロセス *process number* が出力ボリューム *volume name* をオープンしました。

説明: 示されたプロセスが、示されたボリュームを出力処理のためにオープンしました。このプロセス/ボリュームの組み合わせに対して、関連する ANR0515I メッセージが出されない場合があります。これは、ボリュームの中には複数のプロセスで共有されているものがあるためです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0514I** セッション *session number* がボリューム *volume name* をクローズしました。

説明: 示されたセッションは、示されたボリュームの使用を終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0515I** プロセス *process number* がボリューム *volume name* をクローズしました。

説明: 示されたプロセスは、示されたボリュームの使用を終了しました。示されたプロセスは、このボリュームをオープンしたプロセスではない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0516E** ステートメント *statement* の SQL 処理は失敗しました。

説明: 示された選択ステートメントは失敗しました。失敗は、ステートメント自体の構文エラーが原因でした。

システムの処置: 選択ステートメントは失敗しました。

ユーザーの処置: このステートメントの失敗の原因とな

ったエラーを解釈するには、メッセージ ANR0162W のサーバー活動記録ログを検討してください。

---

**ANR0517E** *command: DEDUPLICATION* パラメーターを **TYPE=SERVER** または **TYPE=NAS** パラメーターと一緒に使用することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗しました。

ユーザーの処置: DEDUPLICATION パラメーターを指定しないでコマンドを再実行してください。

---

**ANR0518W** ノード *node name (client platform)*、ファイル・スペース *filespace* のセッション *session number* で **NDMP** リストアが失敗しました。

説明: サーバー上でエラーが検出されたので、サーバーは、指定された NAS ノードに対するリストア操作を終了します。このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

- 入力ボリュームが使用不可である。
- ストレージ・プールが使用不可である。
- 入力ボリュームのデータが壊れていた。
- ハードウェアまたはメディアの障害が発生した。
- サーバー・データベースが壊れています。

システムの処置: サーバーはリストア操作を終了します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。 **QUERY ACTLOG** コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。問題があれば訂正して、リストアを再試行してください。データがコピー・ストレージ・プールにもバックアップされていれば、再試行操作は代替位置からのファイルの読み取りを試行します。リストア操作を再試行してもまだ失敗する場合はサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0519E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリブまたはリストア操作が失敗しました。無効な部分オブジェクト要求が受信されました。

説明: リトリブまたはリストアされるオブジェクトに対してオフセットまたは長さ、あるいはその両方について無効な値がクライアント・アプリケーションから受信されたため、サーバーは指定されたセッションのファイルのリトリブまたはリストア操作を終了しました。

システムの処置: サーバーは指定された操作を終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: リトリブまたはリストアされるオブジェクトの範囲内でオフセットまたは長さ、あるいはその両方を指定し、アプリケーションを再実行してください。

---

**ANR0520W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - ストレージ・プール *pool name* が定義されていません。

説明: 管理クラス・コピー・グループに指定された宛先は示されているストレージ・プールを指定していますが、このストレージ・プールが存在しないので、サーバーは、指定されたセッションのデータベース更新トランザクションをロールバックしています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: コピー・グループの宛先が定義済みのストレージ・プールを参照するよう、クライアント・ポリシー・ドメインにおけるポリシー権限を持つ管理者が管理クラスの定義を訂正するか、あるいは指定されたストレージ・プールが許可された管理者によって、作成されなければなりません。

---

**ANR0521W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - ストレージ・プール *pool name* およびすべての後続プールでオブジェクトがサイズによって除外されました。

説明: クライアント・ノードから送られたファイルがクライアントの管理クラス・コピー・グループに指定されたストレージ・プールに許されるサイズより大きいので、サーバーは指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了しています。コピー・グループに指定されたプールの後続ストレージ・プールは、大きなファイルを受け入れることができません。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: クライアントがホストへのファイルの送信に圧縮を使用していない場合には、問題を解決するためにこのクライアントに対して (**UPDATE NODE** コマンドを使用して) 圧縮をオンにしてください。圧縮を使用している場合には、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールの最大ファイル・サイズを大きくして、ファイルを入れることができます。許可された管理者は、**UPDATE STGPOOL** コマンドを出して **MAXSIZE** パラメーターを大きくすることができます。

**ANR0522W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - ストレージ・プール *pool name* およびすべての後続プールに使用可能スペースがありません。

説明: クライアントの管理クラス・コピー・グループに指定されたストレージ・プールに、クライアントから送られたファイルを入れるのに十分なフリー・スペースがないので、サーバーは指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。コピー・グループ上で指定され、ストレージ・プールの後続ストレージ・プールには、十分なフリー・スペースがありません。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 許可された管理者は、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。管理するデータの量に基づいてファイル・システムのサイズを決定するようにしてください。オペレーティング・システム・ツールを使用してストレージ・スペースを追加します。UPDATE STGPPOOL コマンドで、ACCESS パラメーターを READWRITE として指定し、クライアント・ノードおよびサーバー・プロセスがストレージ・プールに読み取りおよび書き込みができるようにします。

**ANR0523W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - 出力ストレージ装置でエラー。

説明: 装置への書き込み中にサーバーによって入出力エラーが検出されたので、サーバーは指定されたクライアントのデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会して、障害のある装置を示しているこのメッセージの、前のメッセージを見つけてください。ストレージ・プールのボリュームを (VARY コマンドを使用して) オフラインに変更するか、あるいはハードウェアの問題を訂正するため、サーバーを停止する必要があります。問題の訂正後にクライアントは、操作をやり直す必要があります。

**ANR0524W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - データ転送が中断されました。

説明: 外部イベントによってデータ・ストレージに対するデータの転送が中断されたので、セッション *session number* に関連したデータベース・トランザクションが打ち切られました。

システムの処置: セッションは取り消されてサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題を解決できる場合には、再度クライアントの操作を試みてください。

**ANR0525W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - ストレージ・メディア・アクセス不能。

説明: ストレージ・プールにクライアントのファイルを記憶するストレージ・ボリュームがないので、サーバーは指定されたセッションのトランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: 許可された管理者は DEFINE VOLUME コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。VARY ONLINE コマンドを使って、ストレージ階層中でオフラインのストレージ・ボリュームをオンラインに変更して、クライアント・ノードのファイルの記憶用に使用することができます。

**ANR0526W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* で回復ログ・スペースが不足しているためにトランザクションが失敗しました。

説明: ログがスペースを使い尽くすと、現行のトランザクションはロールバックされます。サーバーは、エラー・メッセージを発行して停止します。回復ログのサイズを増やすまでは、サーバーを再始動することができません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: アーカイブ・ログと活動ログをモニターします。回復ログ・スペースが不足している場合は、最初にアーカイブ・ログ・スペースをモニターしてください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯の場合、あるいは満杯に近い場合は、フル・データベース・バックアップを実行してアーカイブ・ログを削除し、アーカイブ・ログ・ディレクトリーにディスク・スペースを追加することを検討してください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯ではなく、活動ログが満杯あるいは満杯に近

い場合は、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGSIZE オプションの値を更新してください。  
ACTIVELOGSIZE オプションの値を、活動ログの新しい最大サイズに設定します。

---

**ANR0527W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でデータベース・スペースが不足しているためにトランザクションが失敗しました。

説明: サーバーに十分なデータベース・スペースがないため、サーバーは、指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは、指定されたセッションを終了しますが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行します。データベースに 1 つ以上のディレクトリーを追加します。

---

**ANR0528W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - スレッド・リソースが使用不可です。

説明: サーバー上に追加のプロセスを開始する十分なメモリーがないので、サーバーは指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0529W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - メモリー不足。

説明: サーバー上に使用可能な十分なメモリーがないので、サーバーは、指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0530W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - 内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: 内部論理エラーが検出されているので、サーバーは、指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示し、エラーの原因を示すメッセージを検索してください。

---

**ANR0531W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - 無効なファイル・スペース ID がクライアントによって指定されました。

説明: トランザクションに対してクライアントによって識別されたファイル・スペースが存在しないので、サーバーは指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。

システムの処置: 通常このアクションは、管理コマンドまたはクライアント・アクションの結果として、現在削除中のファイル・スペース上で作業している時に行われます。サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY PROCESS コマンドを使用してファイル・スペース削除プロセスの完了をモニターし待機するか、あるいはファイル・スペースを削除する必要がない場合にはこのプロセスを取り消してください。このアクションが行われた後で、再度クライアント・アクションを試みてください。

---

**ANR0532W** *Diagnostic(ID):* ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* のトランザクション *transaction ID* が中止されました。

説明: 指定されたセッションのトランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザ

クションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0533W** セッション *session number* でトランザクションが失敗しました - クライアントによって使用された圧縮方式がサポートされていません。最新レベルのクライアント・コードを入手してください。

説明: クライアントが使用している圧縮方式は既にサーバーによってサポートされていないので、サーバーは指定されたセッションのトランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントは、圧縮をオフにしてデータをバックアップするか、あるいは新しい圧縮方式をサポートするクライアントにアップグレードする必要があります。クライアントが WDSF クライアントの場合には、クライアントが実行した圧縮を使用するよう、非 WDSF クライアントにアップグレードしてください。

---

**ANR0534W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - サイズ見積もりを超えたので、サーバーはストレージ・プール *pool name* で追加スペースを獲得できません。サイズ見積もりは *size estimate* でした。

説明: クライアントによって提供された見積サイズが小さ過ぎるので、サーバーは指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了しています。サーバーは示されたストレージ・プールで追加のスペースを獲得しようとしたのですが、それができませんでした。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

*pool name* がキャッシュが働いているランダム・アクセス・ストレージ・プールである場合には、キャッシュ済みのファイルを除去してこのストレージ・プールに使用可能な追加のスペースを作り出すこともできます。サーバーが、クライアントによって提供された見積サイズに基づいてスペースを割り振る時に、このスペースがこの見積サイズを獲得するのに必要な場合には、サーバーは、キャッシュ済みファイルによって占められていたスペースを解放します。しかし、サーバーが後にファイルの見積サイズが大き過ぎると判断した場合には、使用されていないスペースを獲得しようとはしますが、そのために、キャッシュ済みファイルを削除することはありません。

データを送信中のクライアントでオプション

COMPRESSALWAYS YES が設定されている場合に、圧縮操作中にファイルが大きくなり、クライアントがそのファイルをサーバーに送信する時に、ストレージ・プール *pool name* 内で使用可能なスペースを超えました。

ユーザーの処置: このメッセージは、*pool name* に追加のスペースがないことを示します。可能な回避策は次のとおりです。

許可された管理者が DEFINE VOLUME コマンドを実行して、このプールにストレージを追加することができます。

疑われる障害の原因が、*pool name* が DISK ストレージ・プールであること、およびキャッシュ・ファイルが使用中であったスペースが解放されていなかったことである場合には、ストレージ・プールに対するキャッシングをオフに切り替えて、プール *pool name* 中のボリュームに対して MOVE DATA コマンドを実行してください。

疑われる障害の原因が、クライアント上での圧縮中に、ファイルのサイズが大きくなったことである場合には、もう 1 つの回避策としては、クライアント・オプション・ファイルの COMPRESSALWAYS オプションを NO に設定して、操作を再試行することです。こうすることによって、クライアントが正確にファイル・サイズを報告するので、ストレージ・プールのスペースの不足条件を回避できることがあります。

---

**ANR0535W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - 要求を満たすために使用可能なマウント・ポイントが足りません。

説明: サーバーが、トランザクションを処理するための十分なマウント・ポイントを割り振ることができませんでした。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにするか、装置クラスおよびライブラリー構成を妥当性検査してください。

---

**ANR0536W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* のトランザクションが失敗しました - 下位レベルのクライアントが保管ファイルの形式をサポートしていません。

説明: クライアントが実行しようとしている操作は、そのクライアント・レベルでサポートされていない形式で

保管されたファイルに関係するものです。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: クライアントを後のレベルに更新してください。

---

**ANR0537E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* のトランザクションが失敗しました - ファイル・スペース名がユニコード名との間で名前変更できません。

説明: ファイル・スペースがユニコードとの間で名前変更しようとしたので、サーバーは指定されたセッションのデータベース更新トランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは指定されたトランザクションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: ユニコード・ファイル・スペースを非ユニコード名、または非ユニコード・ファイル・スペースをユニコード名に名前変更しようとししないでください。

---

**ANR0538I** リソースの待機が打ち切られました。

説明: リソースが使用可能になるのを長く待ちすぎると、サーバーがリソースの待機を打ち切ります。このことによってプロセスまたはセッションが失敗する可能性があります。プロセスまたはセッションが失敗した場合は、同時にいずれのプロセスまたはセッションが失敗したかを示す他のメッセージが出ます。リソースはロックおよび同期オブジェクトのような内部サーバー・リソースです。

システムの処置: サーバーは要求によりリソースを終了し、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 重大なデッドロック状態が起きたか、あるいはリソース・タイムアウト値の設定が低すぎます。RESOURCETIMEOUT サーバー・オプションの設定を調べて、値を上げてください。タイムアウトを上げても問題が起こるようであれば、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0539W** ノード *node name* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました。このノードは、マウント・ポイントの最大数を超過しています。

説明: サーバーはトランザクションを終了しました。ノードがデータを格納するにはマウント・ポイントが必要ですが、ノードがマウント・ポイントを獲得できないか、またはノードが使用できるマウント・ポイントの最

大数をノードが既に使用していることが原因です。サーバーでノードが使用できるマウント・ポイントの最大数は、REGISTER NODE または UPDATE NODE コマンドで MAXNUMMP パラメーターを設定することにより制御されます。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: ノードがサーバー上で使用を許可されるマウント・ポイントの数が既に獲得されている場合は、指定されたノードで並行して実行されているクライアント・セッションの数を少なくしてください。例えば、クライアント・オプション

RESOURCEUTILIZATION の値を小さくしてください。データ・ストア操作を実行するのに十分な数のマウント・ポイント (ドライブなど) が使用可能である場合は、UPDATE NODE コマンドを発行して、MAXNUMMP パラメーターの値を大きくしてください。

ノードがマウント・ポイントの獲得を許可されていない場合 (ノードの MAXNUMMP オプションが 0 に設定されている場合) は、UPDATE NODE コマンドを発行して、MAXNUMMP パラメーターの値を変更してください。

---

**ANR0540W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリブまたはリストアが失敗しました - データ保全性エラーが検出されました。

説明: サーバー上で内部データベース保全性エラーが検出されたので、サーバーは、指定されたセッションのファイル・リトリブ操作を終了します。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0541W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリブまたはリストアが失敗しました - 入力ストレージ装置でエラー。

説明: 装置からの読み取り中にサーバーによって入出力エラーが検出されたので、サーバーは指定されたセッションのリトリブまたはリストア操作を終了しています。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会して、このメッセージの前にあるメッセージ (障害のある装置を示している) を見つけてください。ストレージ・プールのポリュ

ームを (VARY OFFLINE コマンドを使用して) オフラインに変更することができます。また、場合によってはハードウェアの問題を訂正するために、HALT コマンドを使用してサーバーをシャットダウンする必要があります。問題が訂正された後で、クライアントは操作をやり直すことができます。

---

**ANR0542W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリートまたはリストアが失敗しました - ストレージ・メディア・アクセス不能。

説明: 必要なストレージ・プールのボリュームがオフラインに変更されている、あるいはストレージ・プール・ボリュームが使用不可能であるため、サーバーは指定されたセッションのクライアントのリトリートまたはリストア操作を終了しています。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: VARY ONLINE コマンドを使用して、ストレージ階層中でオフラインのストレージ・ボリュームをオンラインに変更し、これらをファイル・ストレージ用のクライアント・ノードに使用できるようにしてください。すべてのボリュームがオンラインの場合は、ストレージ・プールの ACCESS パラメーターをチェックしてください。アクセス・モードが UNAVAILABLE の場合は、UPDATE STGPOOL コマンドを使用して READONLY または READWRITE に変更します。

---

**ANR0543W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリートまたはリストアが失敗しました - データ転送が中断されました。

説明: 外部イベントによってデータ・ストレージに対するデータの転送が中断されたので、セッション *session number* に関連したデータベース・トランザクションが打ち切られました。

システムの処置: セッションは取り消されてサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題を解決できる場合には、再度クライアントの操作を試みてください。

---

**ANR0544W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリートまたはリストアが失敗しました - スレッド・リソースが使用不可です。

説明: サーバー上に追加のプロセスを開始する十分なメモリがないので、サーバーは、指定されたセッションのファイルのリトリートまたはリストア操作を終了しています。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0545W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリートまたはリストアが失敗しました - メモリー不足。

説明: サーバー上に使用可能な十分なメモリがないので、サーバーは、指定されたセッションのファイルのリトリートまたはリストア操作を終了しています。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0546W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリートまたはリストアが失敗しました - 内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: サーバー・プログラムに内部論理エラーが検出されたので、サーバーは、指定されたセッションのファイルのリトリートまたはリストア操作を終了します。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0547E** コマンド・プロセッサ出力ストリームで無効なデータが検出されました。最後に入力されたコマンドの出力フォーマットが打ち切られました。

説明: コマンドからの出力のフォーマット時に、サーバー・コンソール・セッションでエラーが見つかりました。



システムの処置: コマンド出力は破棄され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: サーバー QUERY コマンドを使用して、入力したコマンドがサーバーで、所望の影響を与えているかどうかを調べてください。 QUERY ACTLOG コマンドを使用して、このコマンドの前にサーバーのエラー条件 (メモリー不足など) が起こっているかどうかを調べてください。 エラーが見つかったら解決してください。 エラーを解決できない、あるいはエラーが見つからない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0548W** storage repository として保管されたファイル *file name* のファイル・スペース *filespace (fsId filespace id)* の処理中にノード *node name (client platform)* のセッション *session number* のリトリブまたはリストアに失敗しました - エラーが検出されました。

説明: サーバー上でエラーが検出されたので、サーバーは、指定されたセッションのファイル・リトリブ操作を終了します。 このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

- 入力ボリュームが使用不可である。
- ストレージ・プールが使用不可である。
- 入力ボリュームのデータが壊れていた。
- ハードウェアまたはメディアの障害が発生した。
- データベースが壊れていた。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: リストアまたはリトリブ操作をやり直してください。 ファイルがコピー・ストレージ・プールにもバックアップされていれば、代替位置からのファイルの読み取りが行われます。 リストア操作またはリトリブ操作を再試行しても失敗する場合は、前のエラー・メッセージを調べ、エラーの原因を判別してください。 QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。 問題を訂正してからリストアまたはリトリブ操作を再試行してください。

---

**ANR0549W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - 既存のリストア・セッションが検出されませんでした。

説明: クライアントは追加の照会なしリストア・セッションを開始してリストア・スループットを高めようとした

ましたが、オリジナル・リストア・セッションが検出されませんでした。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: オリジナル・リストアの状況を検査してください。 これが既に完了しているか、あるいは取り消されている場合があります。 QUERY SESSION コマンドおよび QUERY RESTORE コマンドは、既存のセッションおよび再始動可能なリストア・セッションに関する情報を提供することができます。

---

**ANR0550E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でクライアント操作が失敗しました - 前のエラー・メッセージを参照してください。

説明: 指示された操作は失敗しました。 このメッセージの前に、コマンドが失敗した理由の詳細を示す他の 1 つ以上のエラー・メッセージが常にあります。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。 QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。 問題を訂正して、コマンドを再試行してください。

---

**ANR0551E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でクライアント操作が失敗しました - ロックの競合。

説明: サーバーにシステム・リソースのロックを要求する操作が開始されました。 このリソースは別のコマンドまたはプロセスによって既に使用されているので、この操作を実行することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドをやり直してください。

---

**ANR0552E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でクライアント操作が失敗しました - 宛先ストレージ・プール *storage pool* がスキップされました。

説明: 宛先ストレージ・プールがスキップされたので、指示されたクライアント操作が失敗しました。 ストレージ・プールに使用可能なスペースが十分でないため、あるいは挿入されるオブジェクトのサイズより小さい MAXSIZE 値があるために、ストレージ・プールがスキップされた可能性があります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 宛先ストレージ・プールが使用可能で、適切な MAXSIZE 設定があり、適切なスペースがあることを確認してください。 MAXSIZE 設定は UPDATE STGPOOL コマンドを使用して変更できます。 スクラッチ・ボリュームにチェックインするか、あるいはストレージ・プールに新規のボリュームを定義することによって、ストレージ・プールにスペースを追加することができます。 宛先ストレージ・プールのボリュームがオフラインの場合は、VARY ONLINE コマンドを使用してそれをオンラインに構成変更して、使用できるようにしてください。 問題を訂正して、コマンドを再試行してください。

---

**ANR0553E** セッション *session number* でクライアント操作が失敗しました - 管理者 *administrator name* はノード *node name* に対して適切な権限をもっていません。

説明: 指定された管理者は、指定されたノードでこの操作を実行するのに必要な適切な権限をもっていません。

システムの処置: サーバーは照会を実行しません。

ユーザーの処置: 正しく許可された管理者 ID からこのコマンドを出すか、あるいはシステム管理者に連絡して現在の管理者 ID に追加の権限を認可するように依頼してください。

---

**ANR0554E** *command name: parameter name* パラメーターが有効であるのは、**TOSERVER** パラメーターが指定されている場合だけです。

説明: TOSERVER パラメーターが指定されていないために、コマンドが失敗しました。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、TOSERVER パラメーターを指定してください。

---

**ANR0555E** *command name: TOSERVER* パラメーターが指定されているときには、*parameter name* パラメーターを指定できません。

説明: TOSERVER パラメーターが指定されていないために、コマンドが失敗しました。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、TOSERVER パラメーターを省略してください。

---

**ANR0556E** *command name:* インポートしたファイルを **MERGE=YES** パラメーター値を使用してマージしているときには、**DATES=RELATIVE** パラメーター値を指定できません。

説明: ファイルをインポートして、それを既存のファイル・スペースにマージするときには、**DATES=RELATIVE** パラメーター値は指定できません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: **DATES=RELATIVE** パラメーターを省略してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0557I** *Import command:* 無効なエクスポート・レコード (バージョン *version*、コピー・タイプ *copy type*、オブジェクト・タイプ *object type*) が見つかりました。

説明: 指定されたバージョン、コピー・タイプ、およびオブジェクト・タイプの無効なインポート・レコードが見つかりました。 このオブジェクトはスキップされてインポート処理が続行されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG を出してエラーの原因を判別してください。

---

**ANR0558W** インポート処理は、*node\_id\_target* と *node\_id\_agent* の両ノードに対するプロキシ・ノード・アソシエーションを作成しませんでした。

説明: インポート処理は、2 つのノード間にプロキシ・ノード・アソシエーションを作成しませんでした。 いずれかのノードがサーバー上に存在しない場合、またはインポート処理の完了が許可されていない場合、アソシエーションの作成は失敗します。

システムの処置: サーバーは、指定されたプロキシ・ノード・アソシエーションを作成しません。

ユーザーの処置: 両方のノードが適切にインポートされたことを確認後、import コマンドを再発行してください。 または、GRANT PROXYNODE コマンドを使用して、プロキシ・ノード・アソシエーションを手動で作成してください。

---

**ANR0559E** **EXPORT NODE** コマンドに指定されたドメインの数が多すぎます。

説明: ドメイン・リストの最大長は、約 1400 文字を超えることができません。

システムの処置: EXPORT コマンドは終了します。

ユーザーの処置: コマンドに DOMAIN=\* を指定した場合は、ドメインを指定せずにコマンドを再発行し、デフォルトの動作によりすべてのドメインに設定されるようにしてください。ドメイン・リストを指定した場合は、EXPORT を複数のエクスポート・コマンドに分け、1 回のコマンドで指定するドメインの数を減らしてください。

---

**ANR0560E** *Import command:* パスワードまたは鍵の暗号化解除ができません。

説明: サーバーは、ノードまたは管理者に関連するパスワード、または、インポート対象オブジェクトに関連するクライアント暗号鍵の暗号化解除ができません。パスワードまたは鍵は AES 暗号化規格で暗号化されていますが、サーバーが AES をサポートしていません。

システムの処置: このオブジェクトはインポートされません。

ユーザーの処置: エクスポートのコマンドを再実行し、ENCryptionstrength=DES オプションを指定します。または、AES をサポートするサーバー上でインポートを再実行してください。

---

**ANR0561E** *Export command:* プロセスが異常終了しました - サーバー *target server name* へのサインオンが失敗しました。

説明: サーバーのエクスポート・プロセスで、ターゲット・サーバーとの通信セッションの確立中にエラーが発生しました。

システムの処置: エクスポート・プロセスは終了し、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: このコマンドを実行したサーバーまたはターゲット・サーバーに障害または問題があることを示すメッセージがないか、活動記録ログおよびサーバー・コンソールを調べてください。次に、このコマンドを実行したサーバーと指定されたサーバーの両方のサーバー定義、管理者名、およびパスワードを調べてください。また、2 つのサーバー間の通信接続も調べてください。最後に、指定されたターゲット・サーバーが実行中であるかを確認してください。問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0562I** *Export command:* データ転送は完了しました。一時データを削除しています。

説明: サーバー・エクスポート・プロセスは、ターゲット・メディアまたはターゲット・サーバーへのデータの書き込みを完了しました。操作中に使用された一時データは、現在データベースから削除されようとしています。

システムの処置: すべての一時データが除去されるまで、エクスポート・プロセスが続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0563W** ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace* に対する **NDMP** リストアは失敗しました。

説明: サーバー上でエラーが検出されたので、サーバーは、指定された NAS ノードに対するリストア操作を終了します。このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

- 入力ボリュームが使用不可である。
- ストレージ・プールが使用不可である。
- 入力ボリュームのデータが壊れていた。
- ハードウェアまたはメディアの障害が発生した。
- サーバー・データベースが壊れています。

システムの処置: サーバーはリストア操作を終了します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。問題があれば訂正して、リストアを再試行してください。データがコピー・ストレージ・プールにもバックアップされていれば、再試行操作は代替位置からのファイルの読み取りを試行します。リストア操作を再試行してもまだ失敗する場合はサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0564E** セッション *session number*、再始動可能リストア・セッション *restore session number* の再始動可能リストア要求が失敗しました - オリジナル・リストアからのセッションが活動状態です。

説明: クライアントは、再始動可能な照会なしリストア・セッションの再始動を試行しました。しかし、オリジナルの照会なしリストア呼び出しからのセッションが現在でも活動状態です。現行のセッション番号と再始動可能リストア・セッション番号の両方が示されます。

システムの処置: 再始動可能リストア要求は終了し、サ

ーバーの操作が続行されます。リストアの再始動可能性状況は変更されません。

ユーザーの処置: オリジナル・リストアの状況を検査してください。QUERY RESTORE コマンドを使用して、再始動可能リストアの状況を表示できます。再始動可能リストア・セッション番号は、セッションが実行中であることが検出されたセッション番号です。セッションは、サーバー上またはストレージ・エージェント上で活動状態であることがあります。CANCEL RESTORE コマンドを発行すると、再始動可能リストアを取り消すことができます。その後でリストアを再試行できます。リストア・セッションに対して CANCEL RESTORE が発行された後では、そのリストア・セッションは再始動の対象になりません。

---

**ANR0565W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリブまたはリストアが失敗しました。ストレージ・ボリューム *volume name* はアクセス不能です。

説明: 必要なストレージ・プールのボリュームがオフラインに変更されているので、サーバーは、指定されたセッションのクライアントのリトリブまたはリストア操作を終了しています。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: VARY ONLINE コマンドを使用して、オフラインのストレージ・ボリュームをオンラインに変更し、これらをファイル・ストレージ用のクライアント・ノードに使用できるようにしてください。

---

**ANR0566W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリブまたはリストアが失敗しました - リトリブ中にデータ・ストレージからファイルが削除されました。

説明: ファイルが、リトリブが完了する前に別のプロセスによってデータ・ストレージから削除されたため、サーバーは指定されたセッションの、ファイルのリトリブ操作を終了しています。

システムの処置: サーバーは指定されたセッションを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: 管理者に連絡して、DELETE FILESPACE、DELETE VOLUME、またはインベントリ・の期限切れプロセスが実行中であるかどうかを調べてください。これらのプロセスは、リトリブ中にデータ・ストレージのファイルを削除することがあります。ファイルの別のバージョンを指定してリストアまたはリ

トリブ操作を入れ直してください。

---

**ANR0567W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でリトリブまたはリストアが失敗しました - 要求を満たすために使用可能なマウント・ポイントが足りません。

説明: サーバーは、リトリブまたはリストア操作の処理に十分なマウント・ポイントを割り振ることができませんでした。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR0568W** 管理 *admin name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - クライアントとの接続が切断されています。

説明: 通信リンクがネットワーク・エラーまたはクライアント・プログラムによってクローズされたので、指定された管理セッションは終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーがクライアント・プログラムを中断した場合には、クライアントが突然接続をクローズすると、サーバー上にこのメッセージが表示されます。ネットワークの障害によってこのメッセージが表示されることもあります。多数のこれらのメッセージが同時に現れた場合には、ネットワークの障害を調べて、問題があったら訂正してください。

---

**ANR0569I** *node name* のオブジェクトが処理されませんでした: タイプ *=type*、ファイル・スペース *=filespace name*、オブジェクト *=object name*。

説明: エラーが発生しました。*node name* のオブジェクト (*type*、*file space*、および *object name* によって識別) が処理されませんでした。

システムの処置: サーバーのアクションは起こるエラーによって定義されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG を出してエラーの原因を判別してください。

---

**ANR0570E** *Export command:* 管理スケジュール *schedule name* のエクスポート中に **DURUNITS** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **DURUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールでは不明の **DURUNITS** 値が入っています。このデータがインポートされると、サーバーはデフォルトまたは既存の **DURUNITS** 値を使用します。

ユーザーの処置: このスケジュールの **DURUNITS** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **DURUNITS** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0571E** *Export command:* 管理スケジュール *schedule name* のエクスポート中に **PERUNITS** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトの値または既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **PERUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールで不明の **PERUNITS** 値が入っています。このデータがインポートされると、サーバーはデフォルトまたは既存の **PERUNITS** 値を使用します。

ユーザーの処置: このスケジュールの **PERUNITS** 値を更新してエクスポート・コマンドを再発行してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用してインポート処理の実行後に **PERUNITS** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0572E** *Export command:* 管理スケジュール *schedule name* のエクスポート中に **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトの値または既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、

エクスポートされるデータに、このスケジュールでは不明の **DAYOFWEEK** 値が入っています。このデータがインポートされると、サーバーはデフォルトまたは既存の **DAYOFWEEK** 値を使用します。

ユーザーの処置: このスケジュールの **DAYOFWEEK** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **DAYOFWEEK** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0573I** *Export/import command:* 管理スケジュール *schedule name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* がサービスするバックグラウンドのエクスポート・プロセスまたはインポート・プロセスは、現在管理スケジュール *schedule name* のスケジュール定義情報を処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0574E** *Import command:* 管理スケジュール *schedule name* のエクスポート済みデータ内に **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー中に、管理スケジュール *schedule name* の **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。データをインポートする後のコマンドが出されると、**DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** にデフォルトまたは既存の値が使用されます。

ユーザーの処置: 後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、**DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** にこのスケジュールに対して正しい値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR0575E** *Import command:* 管理スケジュール *schedule name* のエクスポート済みデータ内で **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー中に、管理スケジュール *schedule name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。データ

をインポートする後のコマンドが出されると、デフォルトまたは既存の DAYOFWEEK 値が使用されます。

ユーザーの処置: 後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このスケジュールに対して正しい DAYOFWEEK 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR0576E** *Import command:* エクスポート済みデータ内で **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値 - 管理スケジュール *schedule name* は **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** のデフォルト値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** のデフォルト値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** に正しい値が使われていることを確認してください。 必要な場合には、これらの値を更新してください。

---

**ANR0577E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値 - 管理スケジュール *schedule name* はデフォルトの **DAYOFWEEK** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対してデフォルトの **DAYOFWEEK** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このスケジュールに対して正しい **DAYOFWEEK** 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0578E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値 - 管理スケジュール *schedule name* の **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** の既存値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** の既存の値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** に正しい値が使われていることを確認してください。 必要な場合には、これらの値を更新してください。

---

**ANR0579E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値 - 管理スケジュール *schedule name* の既存の **DAYOFWEEK** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対して既存の **DAYOFWEEK** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このスケジュールに対して正しい **DAYOFWEEK** 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0580E** *Export command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* をエクスポート中、**SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトの値または既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の **SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータに、この管理クラスでは不明の **SPACEMGTECHNIQUE** 値が入っています。 このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **SPACEMGTECHNIQUE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループの **SPACEMGTECHNIQUE** 値を更新してエクスポートをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート・プロセスの実行

後に SPACEMGTECHNIQUE 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0581E** *Export command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* をエクスポート中、**MIGREQUIRESBKUP** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の **MIGREQUIRESBKUP** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータには、この管理クラスでは不明の値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **MIGREQUIRESBKUP** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループの **MIGREQUIRESBKUP** 値を更新してエクスポートをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート・プロセスの実行後に **MIGREQUIRESBKUP** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0582E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* のエクスポート済みデータ内に、**SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の **SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。データをインポートする後のコマンドが出されると、デフォルトまたは既存の **SPACEMGTECHNIQUE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、この管理クラスに対して正しい **SPACEMGTECHNIQUE** 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR0583E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* はデフォルトの **SPACEMGTECHNIQUE** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の **SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこの管理クラスに対してデフォルトの **SPACEMGTECHNIQUE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: この管理クラスに対して正しい **SPACEMGTECHNIQUE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0584E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の **SPACEMGTECHNIQUE** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の **SPACEMGTECHNIQUE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこの管理クラスに対して既存の **SPACEMGTECHNIQUE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: この管理クラスに対して正しい **SPACEMGTECHNIQUE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0585E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* のエクスポート済みデータ内に、**MIGREQUIRESBKUP** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セッ

ト *policy set name* の管理クラス *management class name* の MIGREQUIRESBKUP パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の MIGREQUIRESBKUP 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、この管理クラスに対して正しい MIGREQUIRESBKUP 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR0586E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **MIGREQUIRESBKUP** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* はデフォルトの **MIGREQUIRESBKUP** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の MIGREQUIRESBKUP パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこの管理クラスに対してデフォルトの MIGREQUIRESBKUP 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: この管理クラスに対して正しい MIGREQUIRESBKUP 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0587E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **MIGREQUIRESBKUP** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name* の管理クラス *management class name* の **MIGREQUIRESBKUP** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、MIGREQUIRESBKUP パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこの管理クラスに対して既存の MIGREQUIRESBKUP 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: 正しい MIGREQUIRESBKUP パラメーターが、この管理クラスに使用されていることを確認

してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0588E** *Import command:* サーバーがエクスポート・データ・バージョン *version number* と比べて下位レベルです。

説明: 下位レベルのサーバーにデータをインポートしようとしています。 インポートが実行されるサーバーは、データのエクスポート元サーバーと同じレベルか、またはそれ以上のレベルでなければなりません。

システムの処置: インポート・プロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: エクスポート元サーバーと同じレベルか、またはそれより後のレベルのサーバーにインポートしてください。

---

**ANR0589E** *Import command:* プレビュー処理が異常終了しました - サーバーが下位レベルです。

説明: プレビュー・モードのコマンド *import command* の処理は、サーバーがエクスポート・データと比べて下位レベルであると判断された時に終了しています。

システムの処置: インポート・プロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: エクスポート元サーバーと同じレベルか、またはそれより後のレベルのサーバーにインポートしてください。

---

**ANR0590E** *Import command:* 処理が異常終了しました - サーバーが下位レベルです。

説明: コマンド *import command* の処理は、サーバーがエクスポート・データと比べて下位レベルであると判断された時に終了しています。

システムの処置: インポート・プロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: エクスポート元サーバーと同じレベルか、またはそれより後のレベルのサーバーにインポートしてください。

---

**ANR0592E** *Export/import command:* 目次パラメーターに無効値 - *parameter value*。

説明: コマンド *export/import command* の目次 (TOC) パラメーターに指定された値 (*parameter value*) がこのパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。



ユーザーの処置: 有効な TOC パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0593E** *Export/import command: NOSPAN* パラメーターに無効値 - *parameter value*。

説明: コマンド *export/import command* の *NOSPAN* パラメーターに指定された値 (*parameter value*) がこのパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な *NOSPAN* パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0594E** *device class: NOSPAN* パラメーターは、**3590** 装置クラスでしか使用することができません。

説明: *NOSPAN* が *True* に設定されている時には、指定された装置クラスは **3590** 装置クラスでなければなりません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な *NOSPAN*/装置クラス・パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0595W** 未完了グループの一部であった *object count* オブジェクトをサーバーが削除しました。

説明: 別のサーバーからエクスポートされたデータをインポートしたあと、サーバーは未完了グループに含まれるオブジェクトを削除します。一般に、未完了グループは、失敗したエクスポート操作によって書き込まれたメディアからインポートした結果です。未完了グループは、失敗したインポート操作の結果である場合もあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: エクスポート操作とインポート操作の実行が完了することを確認してください。エラーが検出された場合はそれを訂正し、必要に応じてエクスポートまたはインポート (またはその両方) を再実行してください。

---

**ANR0596W** クライアント・ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* のスペース管理オブジェクト *object name* は既にサーバーに存在しています - このオブジェクトはスキップされます。

説明: スペース管理オブジェクトをインポートしようと

している時に、サーバーが既にそのオブジェクトが存在しているのを見つけました。このスペース管理オブジェクトはスキップされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0597W** **IMPORT:** ドメイン *domain name* の管理クラス *management class name* にスペース管理属性が定義されていません - デフォルトの管理クラスが使用されます。

説明: インポート処理中に、このノードの割り当てられているドメインの活動ポリシー・セットに、インポートされるスペース管理ファイルのスペース管理属性が存在しないことを、サーバーがみつめています。

システムの処置: このノードのポリシー・ドメインのデフォルト管理クラスがスペース管理対象ファイルとバインドされ、インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: 抜けている管理クラスを定義したい場合には、許可された管理者がインポート操作を取り消し、このドメインの抜けているスペース管理属性または管理クラスを定義して、インポート操作をやり直すことができます。

---

**ANR0598W** **IMPORT:** ドメイン *domain name* のデフォルトの管理クラスのスペース管理属性が、見つかりません - このドメインの管理クラス *management class name* にバインドされているスペース管理ファイルはインポートできません。

説明: インポート処理中に、このノードの割り当てられているドメインの活動ポリシー・セットに、インポートされるスペース管理ファイルにバインドされた管理クラスが存在していないことを、サーバーが検出しました。このドメインのデフォルト管理クラスに、スペース管理ファイルを再バインドしようとしている時に、サーバーは、デフォルト管理クラスにスペース管理属性が定義されていないのを見つけえています。

システムの処置: このファイルはインポートされません。インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: 抜けているコピー・グループを定義しようとする場合には、許可された管理者が、インポート操作を取り消し、このドメインの抜けているスペース管理属性、または管理クラスを定義して、インポート操作をやり直すことができます。

---

**ANR0599E** *Export/import command:* 無効なボリューム名 *volume name* が装置クラス *device class name* に指定されています。

説明: インポートまたはエクスポート・コマンドの VOLUMENAMES パラメーターに指定されたボリューム名の 1 つが、DEVCLASS パラメーターに指定された装置クラスに有効なボリューム名ではありません。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: DEVCLASS パラメーターに指定されている装置クラスに有効なボリューム名を、VOLUMENAMES パラメーターに指定してください。

---

**ANR0600I** *Export command:* エクスポートする該当ポリシー・ドメインが見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスが、*export command* に入力した指定と一致するポリシー・ドメインを見つけていません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが実行されますが、ポリシー・ドメインは、サーバーからエクスポートされません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0601I** *Export command:* エクスポートするポリシー・ドメイン *domain name* にポリシー・セットが見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスが、一致するドメイン *domain name* に定義されたポリシー・セットを見つけていません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが実行されますが、ポリシー・セットは、このドメインからエクスポートされません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0602I** *Export command:* エクスポートするポリシー・ドメイン *domain name* に管理クラスが見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスに、一致するポリシー・ドメイン *domain name* に定義された管理クラスが見つかりません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが実行されますが、管理クラスは、このドメインからエクスポートされません。

ユーザーの処置: ありません。

---



---

**ANR0603I** *Export command:* エクスポートするポリシー・ドメイン *domain name* にコピー・グループが見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスが、一致するポリシー・ドメイン *domain name* に定義されたコピー・グループを見つけていません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが実行されますが、コピー・グループは、このドメインからエクスポートされません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0604I** *Export command:* エクスポートするポリシー・ドメイン *domain name* にスケジュールが見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスが、一致するポリシー・ドメイン *domain name* に定義されたスケジュールを見つけていません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが実行されますが、スケジュールは、このドメインにエクスポートされません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0605I** *Export command:* エクスポートするポリシー・ドメイン *domain name* にスケジュール・アソシエーションが見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスが、一致するポリシー・ドメイン *domain name* に定義されたスケジュールのノード・アソシエーションを見つけていません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが実行されますが、スケジュール・アソシエーションは、このドメインにエクスポートされません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0606I** *Export command:* エクスポートするノード定義が見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスが、コマンド *export command* に指定されたエクスポートするノード定義を見つけていません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが実行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR0607I** *Export command:* エクスポートする管理者定義が見つかりません。

説明: バックグラウンドのエクスポート・プロセスが、コマンド *export command* に指定されたエクスポートする管理者定義を見つけていません。

システムの処置: エクスポート・プロセスが続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0608E** *Command:* コマンドが失敗しました - 前のエラー・メッセージを参照するか、活動記録ログを表示してください。

説明: 示されたインポート・コマンドが失敗しました。このメッセージの前に、コマンドが失敗した理由の詳細を示す他の 1 つ以上のエラー・メッセージが常にあります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。 *QUERY ACTLOG* コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。問題を訂正して、コマンドを再試行してください。

---

**ANR0609I** *Command* がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: コマンド *command* にサービスするためにバックグラウンド・プロセスが開始されました。バックグラウンド・プロセスは、プロセス *process ID* として定義されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: バックグラウンド・プロセスの進行状況を照会するためには、*QUERY PROCESS* コマンドを使用してください。バックグラウンド・プロセスを取り消すには、*CANCEL PROCESS* コマンドを使用してください。この特定のプロセスを指定するには、*process ID* 番号を使用してください。

---

**ANR0610I** *Command* が *administrator name* によってプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 管理者 *administrator name* によって入力されたコマンド *command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが開始されました。バックグラウンド・プロセスは、プロセス *process ID* として定義されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: バックグラウンド・プロセスの進行状況を照会するためには、*QUERY PROCESS* コマンドを使用してください。バックグラウンド・プロセスを取り消すには、*CANCEL PROCESS* コマンドを使用してください。この特定のプロセスを指定するには、*process ID* 番号を使用してください。

---

**ANR0611I** *administrator name* によってプロセス *process ID* として開始された *Command* が終了しました。

説明: 管理者 *administrator name* によって入力されたコマンド *command* をサービスするためのバックグラウンド・プロセスが処理を完了しました。

システムの処置: 指定されたプロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0612I** *Import command: export date export time* にサーバー *server name* からエクスポートされた **EXPORT SERVER** データを読み取り中。

説明: コマンド *import command* にサービスするバックグラウンド・インポート・プロセスが、*export date* の *export time* に **EXPORT SERVER** コマンドでサーバー *server name* からエクスポートされた情報をインポート中です。

システムの処置: インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0613I** *Import command: export date export time* にサーバー *server name* からエクスポートされた **EXPORT POLICY** データを読み取り中。

説明: コマンド *import command* にサービスするバックグラウンド・インポート・プロセスが、*export date* の *export time* に **EXPORT POLICY** コマンドでサーバー *server name* からエクスポートされた情報をインポート中です。

システムの処置: インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0614I** *Import command: export date export time* にサーバー *server name* からエクスポートされた **EXPORT ADMIN** データを読み取り中。

説明: コマンド *import command* にサービスするバックグラウンド・インポート・プロセスが、*export date*

の *export time* に `EXPORT ADMIN` コマンドでサーバー *server name* からエクスポートされた情報をインポート中です。

システムの処置: インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0615I** *Import command: export date export time*  
にサーバー *server name* からエクスポートされた **EXPORT NODE** データを読み取り中。

説明: コマンド *import command* にサービスするバックグラウンド・インポート・プロセスが、*export date* の *export time* に `EXPORT NODE` コマンドでサーバー *server name* からエクスポートされた情報をインポート中です。

システムの処置: インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0616I** *Export/import command: プレビュー処理が正常に完了しました。*

説明: プレビュー (Preview=Yes) モードでコマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドの、エクスポートまたはインポート・プロセスが正常に完了しました。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの計画数およびタイプの統計が、コピーされた計画バイト数合計と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0617I** *Export/import command: 処理が状況 status で完了しました。*

説明: コマンド *export/import command* をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、状況 *status* で完了しました。この状況が `INCOMPLETE` の場合には、ファイルの読み取り中または書き込み中のエラーが原因で、いくつかのファイルがスキップされています。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。スキップされたファイル数の合計も表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0618I** *Export/import command: プレビュー処理が完了前に取り消されました。*

説明: プレビュー (Preview=Yes) モードのコマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、`CANCEL PROCESS` コマンドで取り消されました。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理は終了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの計画数およびタイプの統計が、コピーされた計画バイト数合計と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0619I** *Command: 処理が完了前に取り消されました。*

説明: コマンド *command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが `CANCEL PROCESS` コマンドで取り消されました。

システムの処置: コマンド *command* の処理が終了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0620I** *Export/import command: number 個のドメインをコピーしました。*

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースへ、*number* 個のポリシー・ドメイン定義をコピーします。コマンド *export/import command* に `Preview=Yes` が指定されている場合には、実際にはデータは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0621I** *Export/import command: number 個のポリシー・セットをコピーしました。*

説明: コマンド *export/import command* をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはエクスポート・メディアからサーバー・データベースへ *number* 個のポリシー・セ

ット定義をコピーします。 コマンド `export/import command` に `Preview=Yes` が指定されている場合には、実際にはデータは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0622I** *Export/import command: number 個の管理クラスをコピーしました。*

説明: コマンド `export/import command` にサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースへ、`number` 個の管理クラスの定義をコピーしています。 コマンド `export/import command` に `Preview=Yes` が指定されている場合には、データは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0623I** *Export/import command: number 個のコピー・グループをコピーしました。*

説明: コマンド `export/import command` をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはエクスポート・メディアからサーバー・データベースへ `number` 個のコピー・グループ定義をコピーします。 コマンド `export/import command` に `Preview=Yes` が指定されている場合には、データは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0624I** *Export/import command: number 個のスケジュールをコピーしました。*

説明: コマンド `export/import command` をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはエクスポート・メディアからサーバー・データベースへ `number` 個のスケジュール定義をコピーします。 コマンド `export/import command`

に `Preview=Yes` が指定されている場合には、データは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0625I** *Export/import command: number 個の管理者をコピーしました。*

説明: コマンド `export/import command` をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはエクスポート・メディアからサーバー・データベースへ `number` 個の管理者定義をコピーします。 コマンド `export/import command` に `Preview=Yes` が指定されている場合には、データは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0626I** *Export/import command: number 個のノード定義をコピーしました。*

説明: コマンド `export/import command` をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはエクスポート・メディアからサーバー・データベースへ `number` 個のクライアント・ノードの定義をコピーします。 コマンド `export/import command` に `Preview=Yes` が指定されている場合には、データは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0627I** *Export/import command: filespace number 個のファイル・スペース、archive number 個のアーカイブ・ファイル、backup number 個のバックアップ・ファイル、および spacemg number 個のスペース管理ファイルをコピーしました。*

説明: コマンド `export/import command` をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、`filespace number` 個のクライアント・ファイル・スペース定義、`archive number` 個のアーカイブ・フ

ファイル・コピー、 *backup number* 個のバックアップ・ファイル・コピー、および *spacemg number* 個のスペース管理ファイルを、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはインポート・メディアからサーバー・データベースへコピーします。 コマンド *export/import command* に *Preview=Yes* が指定されている場合には、実際にはデータは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0629I** *Export/import command: number* バイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、 *number* バイトのデータをコピーしています。 コマンド *export/import command* に *Preview=Yes* が指定されている場合には、データは移動されません。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0630I** *Export/import command: number* キロバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、 *number* キロバイトのデータをコピーしています。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0631I** *Export/import command: number* メガバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、 *number* メガバイトのデータをコピーしています。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0632I** *Export/import command: number* ギガバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、 *number* ギガバイトのデータをコピーしています。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0633I** *Export/import command: number* テラバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、 *number* テラバイトのデータをコピーしています。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート

ート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0634I** *Export/import command: number* 個のエラーを検出しました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ情報をコピーしている時に、*number* 個のエラーを検出しています。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーを検討してください。

QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。

---

**ANR0635I** *Export/import command: ドメイン domain name* のノード *node name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* でサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、現在ノード *node name* のクライアント・ノードの定義情報を処理中です。このノードはドメイン *domain name* にインポートされます。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0636I** *Import command: ノード node name* のファイル・スペース *filespace name* をファイル・スペース *new filespace name* として処理中。

説明: コマンド *import command* にサービスするバックグラウンドのインポート・プロセスは、現在クライアント・ノード *node name* に属するファイル・スペース *filespace name* のクライアント・ファイル・スペース定義情報を処理中です。このファイル・スペースは、名前 *new filespace name* のもとでインポートされます。インポート処理中は、クライアントに定義されたファイル・スペースは置き換えられず、ファイル・スペース中のファイル・コピー情報が、新しいファイル・スペース名にインポートされるので、クライアント・ファイル・コピーが既存の定義と混合されることはありません。インポート処理によって、インポート操作の前に存在し

ていたクライアント・ノードのインポート・プロセッサが生成した名前でファイル・スペースを作成することができます。

システムの処置: コマンドのインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。ただしクライアントは、名前 *new filespace name* でファイル・スペースの内容を調べて、特定のファイル・コピーが保持されている場所を知ることができます。

---

**ANR0637I** *Export/import command: ノード node name、FSID filespace id* のファイル・スペース *filespace name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、現在クライアント・ノード *node name* に属するファイル・スペース *filespace name* のクライアント・ノード・ファイル・スペース情報を処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0638I** *Export/import command: 管理者 administrator name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* のサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、現在、管理者 *administrator name* の管理者定義情報を処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0639I** *Export/import command: ドメイン domain name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、現在、ドメイン *domain name* のポリシー・ドメイン定義情報を処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0640I** *Export/import command: ポリシー・ドメイン domain name* のポリシー・セット *set name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* をサービスする

バックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、現在、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* のポリシー・セット定義情報を処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0641I** *Export/import command:* ドメイン *domain name*、セット *set name* の管理クラス *class name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、ポリシー・ドメイン *domain name* 内のポリシー・セット *set name* に属している管理クラス *class name* のための管理クラス定義情報を現在処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0642I** *Export/import command:* ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* のバックアップ・コピー・グループを処理中。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、ポリシー・ドメイン *domain name* 内のポリシー・セット *set name* に属している管理クラス *class name* のためのバックアップ・コピー・グループ定義情報を現在処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0643I** *Export/import command:* ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* のアーカイブ・コピー・グループを処理中。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするためのバックグラウンド・エクスポート・プロセスは、ポリシー・ドメイン *domain name* 内のポリシー・セット *set name* に属している管理クラス *class name* のアーカイブ・コピー・グループ定義情報を現在処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0644I** *Export command:* ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* の不明タイプのコピー・グループを処理中。

説明: コマンド *export command* をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、ポリシー・ドメイン *domain name* 内のポリシー・セット *set name* に属している管理クラス *class name* のコピー・グループ定義情報を現在処理しています。処理中のコピー・グループのタイプが不明です。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が続行されます。インポートまたはエクスポート・プロセスは、このコピー・グループがバックアップ・コピー・グループであると見なします。

ユーザーの処置: ポリシー定義のインポート後に、**QUERY MGMTCLASS** および **QUERY COPYGROUP** コマンドを使用して管理クラス *class name* のサーバー定義を照会して、定義されたコピー・グループに必要な属性およびタイプがあることを確認してください。あるいは、このコピー・グループを削除して、正しいタイプで定義してからエクスポート・コマンドを再発行することもできます。

---

**ANR0645I** *Export/import command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、現在ポリシー・ドメイン *domain name* に属するスケジュール *schedule name* のスケジュール定義情報を処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0646I** *Export/import command:* *message*

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスがサーバーからメッセージ *message* を受け取りました。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が続行されますが、エラーが見つかった場合があります。

ユーザーの処置: メッセージ *message* の資料を調べて報告された問題を解決してください。



**ANR0647I** 取り消し処理が進行中

説明: エクスポートまたはインポート操作は取り消されて、バックグラウンド・プロセス用のリソースが解放された時に終了します。このメッセージは、エクスポートまたはインポート操作で QUERY PROCESS コマンドに応じて、表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0648I** 次のものをコピーしました:

説明: エクスポートまたはインポート操作で、表示されたオブジェクトの数およびタイプがコピーされました。このメッセージは、エクスポートまたはインポート操作で QUERY PROCESS コマンドに応じて、表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0649I** *Import command:* ドメイン *domain name* が存在していません - システムはノード *node name* をドメイン **STANDARD** にインポートしようとします。

説明: コマンド *import command* にサービスするバックグラウンドのインポート・プロセスは、現在クライアント・ノード *node name* を処理中です。このノードは、エクスポートの時点でドメイン *domain name* に割り当てられました。しかし、インポートの実行先のサーバー上にドメイン *domain name* が存在しません。

システムの処置: インポート処理が続行されますが、次のいずれかの条件が存在しない場合には、ノード *node name* はインポート時にドメイン **STANDARD** に割り当てられます。

- Preview=Yes
- ノード *node name* が既に登録されていて Replacedefs=No
- ドメイン **STANDARD** が存在していません

ユーザーの処置: Preview=Yes の場合には、ノードが実際にインポートされる前に、ドメイン *domain name* を定義することを検討してください。その他の場合には、ドメイン *domain name* はノードのインポート後に作成することができ、UPDATE NODE コマンドを使用して、ノードをドメイン *domain name* に割り当てることができます。

**ANR0650W** **IMPORT:** ドメイン *domain name* の管理クラス *management class name* にアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* が定義されていません。デフォルトの管理クラスが使用されます。

説明: インポート処理中に、サーバーがこのノードの割り当てられているドメインの活動ポリシー・セットに、インポートされるアーカイブ・ファイルにバインドされた管理クラスまたはコピー・グループが存在しないのを見つけています。

システムの処置: このノードのポリシー・ドメインのデフォルト管理クラスがアーカイブ・ファイルにバインドされ、インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: 抜けている管理クラスを定義したい場合には、許可された管理者がインポート操作を取り消し、このドメインの抜けている管理クラスまたはコピー・グループを定義して、インポート操作をやり直すことができます。

**ANR0651W** **IMPORT:** ドメイン *domain name* の管理クラス *management class name* にバックアップ・コピー・グループ *copy group name* が定義されていません。デフォルト管理クラスが使用されます。

説明: インポート処理中に、サーバーがこのノードの割り当てられているドメインの活動ポリシー・セットに、インポートされるバックアップ・ファイルにバインドされた管理クラスまたはコピー・グループが存在しないのを見つけています。

システムの処置: このノードのポリシー・ドメインのデフォルト管理クラスがバックアップ・ファイルにバインドされ、インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: 抜けている管理クラスを定義したい場合には、許可された管理者がインポート操作を取り消し、このドメインの抜けている管理クラスまたはコピー・グループを定義して、インポート操作をやり直すことができます。

**ANR0652W** **IMPORT:** ドメイン *domain name* のデフォルト管理クラスのアーカイブ・コピー・グループが見つかりません - このドメインの管理クラス *management class name* にバインドされているアーカイブ・ファイルはインポートできません。

説明: インポート処理中に、サーバーがこのノードの割り当てられているドメインの活動ポリシー・セットに、インポートされるアーカイブ・ファイルにバインドされた管理クラスまたはコピー・グループが存在しないのを見つけています。

見つけています。このドメインのデフォルト管理クラスにアーカイブ・ファイルを再バインドしようとしている時に、サーバーがデフォルト管理クラスにアーカイブ・コピー・グループが定義されていないのを見つけています。

システムの処置: このファイルはインポートされません。インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: 抜けているコピー・グループを定義したい場合には、許可された管理者がインポート操作を取り消し、このドメインの抜けている管理クラスまたはコピー・グループを定義して、インポート操作をやり直すことができます。

---

**ANR0653W** **IMPORT:** ドメイン *domain name* のデフォルト管理クラスのバックアップ・コピー・グループが見つかりません - このドメインの管理クラス *management class name* にバインドされているバックアップ・ファイルはインポートできません。

説明: インポート処理中に、サーバーがこのノードの割り当てられているドメインの活動ポリシー・セットに、インポートされるバックアップ・ファイルにバインドされた管理クラスまたはコピー・グループが存在しないのを見つけています。このドメインのデフォルト管理クラスにバックアップ・ファイルを再バインドしようとしている時に、サーバーがデフォルト管理クラスにバックアップ・コピー・グループが定義されていないのを見つけています。

システムの処置: このファイルはインポートされません。インポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: 抜けているコピー・グループを定義したい場合には、許可された管理者がインポート操作を取り消し、このドメインの抜けている管理クラスまたはコピー・グループを定義して、インポート操作をやり直すことができます。

---

**ANR0654I** エクスポート **ID:** *exportID* を指定した再始動可能エクスポート・コマンドがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: コマンド *command* にサービスするためにバックグラウンド・プロセスが開始されました。バックグラウンド・プロセスは、プロセス *process ID* として定義されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: バックグラウンドのサーバー間エクスポート・プロセスの進行状況を照会するには、**QUERY PROCESS** または **QUERY EXPORT** コマンドを使用してください。プロセスを中断するには、**SUSPEND**

**EXPORT** コマンドを発行してください。バックグラウンド・プロセスを取り消すには、**CANCEL PROCESS** コマンドを発行してください。この特定のプロセスを指定するには、*process ID* 番号を使用してください。

---

**ANR0655W** **Command:** リトリブまたはリストアが失敗しました - リトリブ中にデータ・ストレージからファイルが削除されました。

説明: リトリブが完了する前に別のプロセスによってデータ・ストレージからファイルが削除されたので、サーバーは指定されたコマンドのファイル・リトリブ操作を終了しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: 管理者に連絡して、**DELETE FILESPACE**、**DELETE VOLUME**、またはインベントリーの期限切れプロセスが実行中であるかどうかを調べてください。これらのプロセスは、リトリブ中にデータ・ストレージのファイルを削除することがあります。これらのプロセスが完了するかまたは取り消された後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR0656W** **Export/import command:** *archive number* 個のアーカイブ・ファイル、*backup number* 個のバックアップ・ファイル、*spacemg number* 個のスペース管理ファイルがスキップされました。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、*archive number* 個のアーカイブ・ファイル・コピー、*backup number* 個のバックアップ・ファイル・コピー、および *spacemg number* 個のスペース管理ファイルを、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはインポート・メディアからサーバー・データベースへスキップしました。コマンド *export/import command* に **Preview=Yes** が指定されている場合には、実際にはデータは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: エクスポートまたはインポートされなかったファイルの名前、および問題判別情報については、前のメッセージを調べてください。

---

**ANR0657W** **Export command:** ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name* **fsId** *filespace id* に無効な許可規則タイプ *rule type* を検出しました - バックアップとア

ーカイクの両方がインポート中に想定されます。

説明: インポート処理中に、サーバーは指示されたファイル・スペースおよびノードに無効なファイル・スペース許可規則タイプを見つけます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: インポート処理が完了した後に、ノード *node name* のユーザーに連絡して、アクセス規則を照会し、それらが希望どおりに指定されていることを確認してください。他のユーザーにアクセスさせたくないオブジェクトへのアクセスを認可する規則があれば、ユーザーはこれを訂正しなければなりません。

---

**ANR0658W** *Export command:* 管理者 *administrator name* のパスワードを取得できませんでした。値 *password value* と見なされます。システム管理者は、管理者 *administrator name* をインポートした後で、このパスワードを変更することができます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、エクスポート・プロセッサが管理者 *administrator name* のパスワードを獲得できません。値 *password value* は、エクスポート・メディアの管理者のパスワードとして割り当てられています。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。

ユーザーの処置: この管理者の定義が別のサーバーにインポートされた後で、許可された管理者は **UPDATE ADMIN** コマンドを使用して、管理者 *administrator name* のパスワードを設定する必要があります。

---

**ANR0659W** *Export command:* ノード *node name* のパスワードを、取得できませんでした。値 *password value* と見なされます。システム管理者は、ノード *node name* をインポートした後で、このパスワードを変更することができます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、エクスポート・プロセッサがクライアント・ノード *node name* のパスワードを獲得できません。値 *password value* は、エクスポート・メディアのクライアント・ノードのパスワードとして割り当てられています。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。

ユーザーの処置: クライアント・ノードの定義が別のサーバーにインポートされた後で、許可された管理者は **UPDATE NODE** コマンドを使用して、ノード *node name* のパスワードを設定する必要があります。

---

**ANR0660E** *Command:* データ・ストレージにアクセスするには使用可能メモリーが足りません。

説明: サーバーが、コマンド *command* の操作時に、データ・ストレージにアクセスするためのメモリーの不足を検出しています。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0661E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時に内部エラーが見つかりました。

説明: サーバーが、コマンド *command* の処理時に、データ・ストレージへのアクセス中に内部エラーを検出しています。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: **QUERY ACTLOG** コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。障害を見つけて解決できる場合には、コマンド *command* の操作を出し直してください。障害を見つけない場合には、サービス担当員に連絡して問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR0662E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時に出力エラーが見つかりました。

説明: 装置への書き込み時にサーバーによってエラーが検出されたので、コマンド *command* の操作は終了しています。考えられる理由は次のとおりです。

- 装置への書き込み時に入出力エラーが発生
- ストレージ・スペースがない
- ストレージ・プール・データ・フォーマットが非互換

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会し、このメッセージの前にあるメッセージを見つけ、エラーの原因を判別してください。問題の訂正後にコマンドをやり直すことができます。

---

**ANR0663E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にデータ転送が中断されました。

説明: 外部イベントによってデータ・ストレージに対するデータの転送が中断されたので、コマンド *command*

の操作に関連したデータベース・トランザクションが実行されませんでした。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題が解決された後でコマンド *command* を出し直してください。

---

**ANR0664E** *Export/import command:* データ・ストレージへのアクセスで、メディアにアクセス不能です。

説明: ストレージ・プールにクライアントのファイルを記憶するストレージ・ボリュームがないので、サーバーはエクスポートまたはインポート操作のトランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーはエクスポートまたはインポート操作を終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: 許可された管理者は **DEFINE VOLUME** コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。 **VARY ONLINE** コマンドを使用し、ストレージ階層内のオフラインのストレージ・ボリュームをオンラインに変更して、ファイル・ストレージ用に使用することができます。

---

**ANR0665W** *Import command:* トランザクションが失敗しました - ストレージ・プール *pool name* が定義されていません。

説明: 管理クラス・コピー・グループに指定された宛先は示されているストレージ・プールを指定していますが、このストレージ・プールが存在しないので、サーバーはインポート操作のデータベース更新トランザクションをロールバックしています。

システムの処置: インポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コピー・グループの宛先が定義済みのストレージ・プールを参照するよう、クライアント・ポリシー・ドメインにおけるポリシー権限を持つ管理者が管理クラスの定義を訂正するか、あるいは指定されたストレージ・プールが許可された管理者によって、作成されなければなりません。

---

**ANR0666W** *Import command:* トランザクションが失敗しました - ストレージ・プール *pool name* およびすべての後続のプールでオブジェクトがサイズによって除外されました。

説明: インポートされたファイルのサイズがこのファイルのバインドされた管理クラス・コピー・グループに指定されたストレージ・プールに許されるサイズより大きいので、サーバーはインポート操作のデータベース更新トランザクションを終了しています。コピー・グループに指定されたプールの後続ストレージ・プールは、大きなファイルを受け入れることができません。

システムの処置: インポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールの最大ファイル・サイズを大きくして、ファイルを入れることができます。許可された管理者は、**UPDATE STGPOOL** コマンドを出して **MAXSIZE** パラメーターを大きくすることができます。あるいは、該当するコピー・グループ定義を更新して、別の宛先ストレージ・プールを指定することもできます。

---

**ANR0667W** *Import command:* トランザクションが失敗しました - ストレージ・プール *pool name* およびすべての後続プールに使用可能スペースがありません。

説明: 管理クラス・コピー・グループ中で指定されたストレージ・プールには、インポートされているファイルを入れるのに十分なフリー・スペースがないので、サーバーはインポート操作を終了します。コピー・グループ上で指定され、ストレージ・プールの後続ストレージ・プールには、十分なフリー・スペースがありません。

システムの処置: インポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 許可された管理者は **DEFINE VOLUME** コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。

---

**ANR0668W** *Export/import command:* トランザクションが失敗しました - 出力ストレージ装置でエラー。

説明: 装置への書き込み中にサーバーによって入出力エラーが検出されたので、サーバーは、指定されたセッションのエクスポートまたはインポート操作を終了しています。

システムの処置: サーバーはエクスポートまたはインポート操作を終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会して、このメッセージの前にあるメッセージ (障害のある装置を示している) を見つけてください。ストレージ・プールのボリュームを (**VARY OFFLINE** コマンドを使用して) オフラ

インに変更することができます。また、場合によってはハードウェアの問題を訂正するために、HALT コマンドを使用してサーバーをシャットダウンする必要があります。問題が訂正された後で、クライアントは操作をやり直すことができる場合があります。

---

**ANR0669W** *Export/import command:* トランザクションが失敗しました - データ転送が中断されました。

説明: 外部イベントによってデータ・ストレージとのデータ転送が中断されたので、エクスポート、またはインポート操作に関連したデータベース・トランザクションが実行されませんでした。

システムの処置: エクスポートまたはインポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題が解決された後で、エクスポート/インポート操作をやり直してください。

---

**ANR0670W** *Export/import command:* トランザクションが失敗しました - ストレージ・メディアがアクセス不能です。

説明: ストレージ・プールにクライアントのファイルを記憶するストレージ・ボリュームがないので、サーバーはエクスポートまたはインポート操作のトランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーはエクスポートまたはインポート操作を終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: 許可された管理者は DEFINE VOLUME コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。VARY ONLINE コマンドを使用し、ストレージ階層内のオフラインのストレージ・ボリュームをオンラインに変更して、ファイル・ストレージ用に使用することができます。

---

**ANR0671W** *Export/import command:* トランザクションが失敗しました - 使用可能な回復ログ・スペースが足りません。

説明: サーバー上に使用可能な十分なログ・スペースがないので、サーバーは、エクスポートまたはインポート操作のデータベース更新トランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーはエクスポートまたはインポート操作を終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペース

を増やすために、dsmserve.opt ファイルの ACTIVELOGDIRECTORY、ARCHIVELOGDIRECTORY、および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserve.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR0672W** *Export/import command:* トランザクションが失敗しました - 使用可能なデータベース・スペースが足りません。

説明: サーバー上に使用可能な十分なデータベース・スペースがないので、サーバーは、エクスポートまたはインポート操作のデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーはエクスポートまたはインポート操作を終了してサーバーの操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR0673W** *Export/import command:* データ・ストレージのリトリートまたはリストアが失敗しました - エラーが検出されました。

説明: サーバー上でエラーが検出されたので、サーバーは、エクスポートまたはインポート操作を終了しています。このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

- 入力ボリュームが使用不可である。
- ストレージ・プールが使用不可である。
- 入力ボリュームのデータが壊れていた。
- ハードウェアまたはメディアの障害が発生した。
- データベースが壊れていた。

システムの処置: サーバーはエクスポートまたはインポート操作を終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。 QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。問題を訂正してからリストアまたはリトリブ操作を再試行してください。

---

**ANR0674W** *Export command:* リトリブが失敗しました - 入力ストレージ装置でエラー。

説明: 装置からの読み取りの際に、サーバーによって入出力エラーが検出されたので、サーバーは、指定されたセッションのエクスポート操作を終了します。入出力が出されたオブジェクトが後からのメッセージで報告されます。

システムの処置: エクスポート処理はこのファイルをスキップして、操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会して、このメッセージの前にあるメッセージ (障害のある装置を示している) を見つけてください。ストレージ・プールのボリュームを (VARY OFFLINE コマンドを使用して) オフラインに変更することができます。また、場合によってはハードウェアの問題を訂正するために、HALT コマンドを使用してサーバーをシャットダウンする必要があります。

---

**ANR0675E** **EXPORT/IMPORT:** エクスポート/インポート・セッションの開始中にエラー。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、サーバーから情報をエクスポートする、あるいはサーバーに情報をインポートするセッションを開始することはできません。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0678E** **EXPORT/IMPORT:** "*verb type*" **verb** の送信時に通信障害。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、サーバーに対して (またはサーバーからの) 情報を転送する *verb type verb* の使用中に通信エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0679E** **EXPORT/IMPORT:** "*verb type*" **verb** の受信時に通信障害。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、サーバーに対して (またはサーバーからの) 情報を転送する *verb type verb* の使用中に通信エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0681E** **EXPORT/IMPORT:** 認証障害。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスが、サーバーへ情報を転送したり、あるいはサーバーから情報を転送する際に認証エラーを検出しました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0682E** **EXPORT/IMPORT:** "*verb type*" **verb** (*command*) の送信時に通信障害。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、コマンド *command* を出す *verb type verb* の使用中に通信エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0683E** **EXPORT/IMPORT:** 受信バッファオーバーフロー。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、サーバーに対する情報の転送中に、オーバーフロー・エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0684E** **EXPORT/IMPORT:** 通信障害: 間違った **verb** を受信しました (*verb type*)。

説明: サーバーが、エクスポートまたはインポート処理中に無効な通信 **verb** を受信して、処理を続行することができません。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0685E** **EXPORT/IMPORT:** 内部エラー: 無効なテーブル出力ハンドルが検出されました。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、サーバーに対する (またはサーバーからの) 情報の転送中に、内部エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0686E** *Export/import command:* トランザクション障害 - データベース・トランザクションを開始できませんでした。

説明: コマンド *export/import command* の処理中に、サーバー・データベースでデータベース・トランザクションを開始することができません。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0687E** *Export/import command:* トランザクション障害 - データベース・トランザクションをコミットできませんでした。

説明: コマンド *export/import command* の処理中に、サーバー・データベースにデータベース・トランザクションをコミットすることができません。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0688E** *Export/import command:* トランザクション障害 - トランザクションが開始されないのにコミットが呼び出されました。

説明: コマンド *export/import command* の処理中に、サーバー・データベースでデータベース・トランザクションを開始することができません。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してくだ

さい。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0690E** *Export/import command:* トランザクション障害 - サーバーがトランザクションを異常終了しました (*abort code*)。

説明: コマンド *export/import command* の処理中に、サーバー・データベースにデータベース・トランザクションをコミットすることができません。理由コード *abort code* が戻されます。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0692E** *Command:* 順次メディアでスペース不足、スクラッチ・メディアをマウントできませんでした。

説明: コマンド *command* の処理中に、プロセスが順次メディアへの書き込み中にスペース不足条件を検出しています。順次メディア上にデータを保管するスペースがなく、コマンド *command* に SCRATCH=NO が指定されている場合には、コマンド *command* は終了します。

システムの処置: コマンド *command* の処理は終了します。サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドに SCRATCH=YES を指定するか、または追加のボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0694E** *Import command:* インポート時に無効なレコード形式 (*format code*) が検出されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、エクスポート・メディアからエクスポートされる情報の読み取り時に、無効なレコード・タイプが検出されています。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場

合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0695E** *Export command:* テーブル出力データの受信時に予期しないエラー *error code* が見つかりました。

説明: コマンド *export command* の処理中に、予期しないエラーが検出されています。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 *QUERY ACTLOG* コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0696E** *Export command:* 出力テーブル・エラーが見つかりました - テーブルの列が **0** 個であると報告されました。

説明: コマンド *export command* の処理中に、予期しないエラーが検出されています。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 *QUERY ACTLOG* コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0697E** *Export command:* 出力テーブル・エラーが見つかりました - テーブルの最初の列に位置づけられていません。

説明: コマンド *export command* の処理中に、予期しないエラーが検出されています。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 *QUERY ACTLOG* コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0698E** *Export/import command:* **FILEDATA** パラメーターに無効値 - *parameter value*。

説明: コマンド *export/import command* の **FILEDATA** パラメーターに指定された値 (*parameter value*) がこのパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な **FILEDATA** パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0699E** *Export/import command:* このコマンドでは、装置クラス **DISK** を指定することはできません。

説明: コマンド *export/import command* に **DEVCLASS** の値 **DISK** を指定することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な装置クラスを指定してコマンドを再発行してください。サーバーに有効な装置クラスのリストを表示するためには、*QUERY DEVCLASS* コマンドを実行してください。

---

**ANR0700E** *Export/import command:* **PREVIEW** パラメーターに無効値 - *parameter value*。

説明: コマンド *export/import command* の **PREVIEW** パラメーターに指定された値 (*parameter value*) がこのパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な **PREVIEW** パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0701E** *Export/import command:* **SCRATCH** パラメーターに無効値 - *parameter value*。

説明: コマンド *export/import command* の **SCRATCH** パラメーターに指定された値 (*parameter value*) がこのパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な **SCRATCH** パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0705E** *Export command:* **SCRATCH=NO** を指定した時には、**VOLUMENAMES** パラメーターを指定しなければなりません。

説明: コマンド *export command* で **SCRATCH** パラメーターが **NO** と指定されていますが、**VOLUMENAMES** パラメーターが指定されていません。スクラッチ・ボリュームを使用できない場合には、**VOLUMENAMES** パラメーターを指定してこのコ



マンドに使用できるボリュームを指示しなければなりません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な VOLUMENAMES パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR0706E** *Export command:* **PREVIEW=YES** を指定しない場合には、装置クラスを指定しなければなりません。

説明: コマンド *export command* に DEVCLASS パラメーターが指定されていません。PREVIEW=YES が指定されていない場合には、DEVCLASS 値を指定しなければなりません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な装置クラスを指定してコマンドを再発行してください。サーバーに有効な装置クラスのリストを表示するためには、QUERY DEVCLASS コマンドを実行してください。

**ANR0707E** *Export command:* **FILESPACE** パラメーターは指定できません。

説明: コマンド *export command* に FILESPACE パラメーターが指定されていますが、FILEDATA パラメーターが NONE として指定されているか、または指定されないでデフォルトが NONE になっています。ファイル・スペースがコピーされるのは、FILEDATA パラメーターに NONE 以外の値が指定されている場合だけです。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な FILEDATA パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR0708E** *Import command:* **FILEDATA** パラメーターでファイルのインポートを指定しない限り、**FILESPACE** パラメーターは指定できません。

説明: コマンド *import command* に FILESPACE パラメーターが指定されていますが、FILEDATA パラメーターが NONE として指定されているか、または指定されないでデフォルトが NONE になっています。ファイル・スペースがコピーされるのは、FILEDATA パラメーターに NONE 以外の値が指定されている場合だけです。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な FILEDATA パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR0709E** *Command:* 該当するノードが指定されたドメインに登録されていません。

説明: このコマンドに DOMAIN パラメーターが指定されていますが、指定されたドメインにノード名の指定と一致するノードが見つかりません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効なノード名とドメイン名の組み合わせを指定してコマンドを再発行してください。ドメインにエクスポートしようとしているノードの名前を表示するためには、QUERY NODE コマンドを使用してください。

**ANR0710E** *Command:* バックグラウンド・プロセスを開始することができません。

説明: サーバー・コマンド・プロセッサが、コマンド *command* を実行するバックグラウンド・プロセスを開始することができません。

システムの処置: コマンドのプロセスは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

**ANR0712E** *Import command:* **DATES** パラメーターに無効値 - *parameter value*。

説明: コマンド *import command* の DATES パラメーターに指定された値 (*parameter value*) がこのパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な DATES パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR0713E** *Import command:* **REPLACEDFS** パラメーターに無効値 - *parameter value*。

説明: コマンド *import command* の REPLACEDFS パラメーターに指定された値 (*parameter value*) がこのパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な REPLACEDFS パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0715E** *Import command:* 装置クラスを指定する必要があります。

説明: コマンド *import command* が指定されていますが、DEVCLASS パラメーターの指定が組み込まれていません。このコマンドには DEVCLASS パラメーターを指定しなければなりません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な装置クラスを指定してコマンドを再発行してください。サーバーに有効な装置クラスのリストを表示するには、QUERY DEVCLASS コマンドを実行してください。

---

**ANR0716E** *Import command:* 無効なエクスポート・データが検出されました。

説明: サーバー情報をインポートしようとしている時に、コマンド *import command* でエクスポート・メディア上に無効なデータが見つかりました。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: マウントされたエクスポート・テープが正しい順序であること (エクスポート時にマウントされたものと同じ順序でマウントされていること) を確認してください。コマンドを出し直して、テープを正しい順序でマウントしてください。VOLUMENAMES パラメーターが指定されている場合には、コマンドにボリューム名が正しい順序で指定されているのを確認してください。

---

**ANR0717E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - 通信 (送信または受信) が失敗しました。

説明: プレビュー・モードのコマンド *export/import command* の処理は、サーバーで内部通信エラーが見つかった時に終了しています。

システムの処置: エクスポートまたはインポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0718E** *Export/import command:* 処理が異常終了しました - 通信 (送信または受信) が失敗しました。

説明: コマンド *export/import command* の処理は、サーバーで内部エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポートまたはインポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0719E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - メモリー不足。

説明: サーバー上に使用可能な十分なメモリーがないので、プレビュー・モードのコマンド *export/import command* の処理は終了されます。

システムの処置: エクスポートまたはインポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0720E** *command:* 処理が異常終了しました - メモリー不足。

説明: サーバー上に使用可能な十分なメモリーがないので、コマンドの処理が終了しています。

システムの処置: コマンド処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0721E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - サーバーから予想しない **verb** を受信しました。

説明: プレビュー・モードのコマンド *export/import command* の処理は、サーバーで内部通信エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録

ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0722E** *Export/import command:* 処理が異常終了しました - サーバーから予期しない **verb** を受信しました。

説明: コマンド *export/import command* の処理は、サーバーで内部エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0723E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - トランザクション障害。

説明: プレビュー・モードのコマンド *export/import command* の処理は、サーバーでデータベース・トランザクション・エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0724E** *Export/import command:* 処理が異常終了しました - トランザクション障害。

説明: コマンド *export/import command* の処理は、サーバーにデータベース・トランザクション・エラーが見つかった時に終了しています。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたソース・サーバーおよびターゲット・サーバーのメッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0725E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - 認証障害。

説明: プレビュー・モードのコマンド *export/import command* の処理は、サーバーで認証エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0726E** *Export/import command:* 処理が異常終了しました - 認証障害。

説明: コマンド *export/import command* の処理は、サーバーに認証エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0727E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - 内部エラー。

説明: プレビュー・モードのコマンド *export/import command* の処理は、サーバーで内部エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0728E** *Export/import command:* 処理が異常終了しました - 内部エラー。

説明: コマンド *export/import command* の処理は、サーバーに内部エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: エクスポート/インポート処理は終了

してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0729E** *Import command:* コマンド 'server command' からの構文エラーです。

説明: コマンド *import command* の処理中に、サーバーに内部構文エラーが見つかりました。

システムの処置: インポート処理は続行されますが、示されているコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。インポート処理完了後に、場合によっては、手操作で追加のコマンドを実行して必要な定義を獲得することが必要になります。

---

**ANR0730E** *Import command:* コマンド 'server command' からの内部エラーです。

説明: コマンド *import command* の処理は、サーバーに内部エラーが見つかった時に終了します。

システムの処置: インポート・プロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0731E** *Import command:* ノード *node name* のエクスポート済みデータ内に **COMPRESSION** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ノード *node name* の **COMPRESSION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **COMPRESSION** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。以降のコマンドによって

データがインポートされる場合には、このノードに対して正しい **COMPRESSION** 値を必ず使用してください。

---

**ANR0732E** *Import command:* ノード *node name* のエクスポート済みデータ内に **ARCHDELETE** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ノード *node name* の **ARCHDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **ARCHDELETE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。以降のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このノードに対して正しい **ARCHDELETE** 値を必ず使用してください。

---

**ANR0733E** *Import command:* ノード *node name* のエクスポート済みデータ内に **BACKDELETE** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ノード *node name* の **BACKDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **BACKDELETE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このノードに対して正しい **BACKDELETE** 値を必ず使用してください。

---

**ANR0734E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **COMPRESSION** パラメーターに無効値 - ノード *node name* はデフォルトの **COMPRESSION** 値で登録されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* の **COMPRESSION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのノードに対してデフォルトの **COMPRESSION** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **COMPRESSION** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0735E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **ARCHDELETE** パラメーターに無効値 - ノード *node name* はデフォルトの **ARCHDELETE** 値で登録されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* の **ARCHDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのノードに対してデフォルトの **ARCHDELETE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **ARCHDELETE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0736E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **BACKDELETE** パラメーターに無効値 - ノード *node name* はデフォルトの **BACKDELETE** 値で登録されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* の **BACKDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのノードに対してデフォルトの **BACKDELETE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **BACKDELETE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0737E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **COMPRESSION** パラメーターに無効値 - ノード *node name* の既存の **COMPRESSION** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* の **COMPRESSION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのノードに対して既存の **COMPRESSION** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **COMPRESSION** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0738E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **ARCHDELETE** パラメーターに無効値 - ノード *node name* の既存の **ARCHDELETE** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* の **ARCHDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのノードに対して既存の **ARCHDELETE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **ARCHDELETE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0739E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **BACKDELETE** パラメーターに無効値 - ノード *node name* の既存の **BACKDELETE** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* の **BACKDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのノードに対して既存の **BACKDELETE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **BACKDELETE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0740E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のコピー・グループ *copy group name* のエクスポート済みデータ内に **TYPE** パラメーターに無効値 - バックアップが仮定されます。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でコピー・グループ *copy group* の **TYPE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。他のコピー・グループ・パラメーターに基づいて、バックアップのコピー・グループ・タイプが割り当てられます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに割り当てられたバックアップの **TYPE** 値が正しいことを確認してください。

---

**ANR0741E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のコピー・グループ *copy group name* のエクスポート済みデータ内に **TYPE** パラメーターに無効値 - アーカイブが仮定されます。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でコピー・グループ *copy group* の **TYPE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。他のコピー・グループ・パラメーターに基づいて、アーカイブのコピー・グループ・タイプが割り当てられます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに割り当てられたアーカイブの **TYPE** 値が正しいことを確認してください。

**ANR0742E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のコピー・グループ *copy group name* のエクスポート済みデータ内で **TYPE** パラメーターに無効値 - このコピー・グループはインポートされません。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でコピー・グループ *copy group* の **TYPE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。しかし、**TYPE** 値を割り当てることができないので、このコピー・グループはインポートされません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、手操作でこのコピー・グループを定義してください。

**ANR0743E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* のエクスポート済みデータ内に **MODE** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* でアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の **MODE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **MODE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このアーカイブ・コピー・グループに対して正しい **MODE** 値が使用されていることを確認してください。

**ANR0744E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のバックアップ・コピー・グループ *copy group name* のエクスポート済みデータ内に **MODE** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の **MODE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **MODE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このバックアップ・コピー・グループに対して正しい **MODE** 値が使用されていることを確認してください。

**ANR0745E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* のエクスポート済みデータ内に **SERIALIZATION** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **SERIALIZATION** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このアーカイブ・コピー・グループに対して正しい **SERIALIZATION** 値が使用されていることを確認してください。

**ANR0746E** *Import command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のバックアップ・コピー・グループ *copy group name* のエクスポート済みデータ内に **SERIALIZATION** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **SERIALIZATION** 値が使用されます。

ユーザーの処置: ありません。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このバックアップ・コピー・グループに対して正しい **SERIALIZATION** 値が使用されていることを確認してください。

**ANR0747E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **MODE** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* はデフォルトの **MODE** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の **MODE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのアーカイブ・コピー・グループに対してデフォルトの **MODE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい **MODE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

**ANR0748E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **MODE** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のバックアップ・コピー・グループ *copy group name* はデフォルトの **MODE** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の **MODE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのバックアップ・コピー・グループに対してデフォルトの **MODE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい **MODE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

**ANR0749E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* はデフォルトの **SERIALIZATION** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのアーカイブ・コピー・グループに対してデフォルトの **SERIALIZATION** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい **SERIALIZATION** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

**ANR0750E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のバックアップ・コピー・グループ *copy group name* はデフォルトの **SERIALIZATION** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのバックアップ・コピー・グループに対してデフォルトの

SERIALIZATION 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい SERIALIZATION 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0751E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **MODE** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の既存の **MODE** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の **MODE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのアーカイブ・コピー・グループに対して既存の **MODE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい **MODE** 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0752E** *Import command:* エクスポート済みデータ内で **MODE** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の既存の **MODE** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の **MODE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのバックアップ・コピー・グループに対して既存の **MODE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい **MODE** 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0753E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **SERIALIZATION** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の既存の **SERIALIZATION** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でアーカイブ・コピー・グループ *copy group name* の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのアーカイブ・コピー・グループに対して既存の **SERIALIZATION** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい **SERIALIZATION** 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0754E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **SERIALIZATION** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の既存の **SERIALIZATION** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でバックアップ・コピー・グループ *copy group name* の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのバックアップ・コピー・グループに対して既存の **SERIALIZATION** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループに対して正しい **SERIALIZATION** 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0755E** *Import command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* のエクスポート済みデータ内に **ACTION** パラメーターに無効値。



説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **ACTION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **ACTION** 値が使用されます。

ユーザーの処置: 後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このスケジュールに対して正しい **ACTION** 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR0756E** *Import command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* のエクスポート済みデータ内に **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに、無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、**DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** にデフォルトまたは既存の値が使用されます。

ユーザーの処置: 後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、**DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** にこのスケジュールに対して正しい値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR0757E** *Import command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* のエクスポート済みデータ内に **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **DAYOFWEEK** 値が使用されます。

ユーザーの処置: 後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このスケジュールに対して正しい **DAYOFWEEK** 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR0758E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **ACTION** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* はデフォルトの **ACTION** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **ACTION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのノードに対してデフォルトの **ACTION** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **ACTION** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0759E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* は **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** のデフォルトの値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** のデフォルト値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** に正しい値が使われていることを確認してください。必要な場合には、これらの値を更新してください。

---

**ANR0760E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値があります - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* はデフォルトの **DAYOFWEEK** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対してデフォルトの **DAYOFWEEK** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このスケジュールに対して正しい DAYOFWEEK 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0761E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **ACTION** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の既存の **ACTION** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **ACTION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対して既存の **ACTION** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **ACTION** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0762E** *Import command:* エクスポート済みデータ内に **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** の既存値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DURUNITS** または **PERUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は

**DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** の既存の値を使用して続行されます。

ユーザーの処置:

**DURATION**、**DURUNITS**、**PERIOD**、および **PERUNITS** に正しい値が使われていることを確認してください。必要な場合には、これらの値を更新してください。

---

**ANR0763E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の既存の **DAYOFWEEK** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule*

*name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対して既存の **DAYOFWEEK** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このスケジュールに対して正しい **DAYOFWEEK** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR0764E** *Import command:* ノード *node name* のインポート中に、無効なロック状況が検出されました - このノードはロックされません。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* のロック状況に、無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行されますが、このノードはロックされません。

ユーザーの処置: 正しい権限を持つ管理者は、必要があれば **LOCK NODE** コマンドを出さなければなりません。

---

**ANR0765E** *Import command:* 管理者 *administrator name* のインポート中に無効なロック状況が検出されました - この管理者はロックされません。

説明: コマンド *import command* の処理中に、管理者 *administrator name* のロック状況に無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行されますが、この管理者はロックされません。

ユーザーの処置: 正しい権限を持つ管理者は、必要があれば **LOCK ADMIN** コマンドを出さなければなりません。

---

**ANR0766E** *Export command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のコピー・グループ *copy group name* のエクスポート中に **TYPE** パラメーターに無効値が検出されました - システムは、インポート中に値を割り当てようとします。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でコピー・グループ *copy group name* の **TYPE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、

エクスポートされるデータに、このコピー・グループでは不明の **TYPE** 値が入っています。このデータがインポートされると、システムは他のコピー・グループ・パラメーターの値に基づいて **TYPE** 値を割り当てようとします。

ユーザーの処置: 無効データを除去するためにこのコピー・グループを削除して定義してから、エクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理中に **TYPE** を割り当てようとし

---

**ANR0767E** *Export command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name*、管理クラス *management class name* のコピー・グループ *copy group name* のエクスポート中に **MODE** パラメーターに無効値が検出されました - インポート中は、デフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でコピー・グループ *copy group name* の **MODE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータに、このコピー・グループでは不明の **MODE** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **MODE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループの **MODE** 値を更新してエクスポートをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **MODE** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0768E** *Export command:* ドメイン *domain name*、セット *policy set name* 管理クラス *management class name* のコピー・グループ *copy group name* のエクスポート中に **SERIALIZATION** パラメーターに、無効値が検出されました - インポート中はデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *policy set name*、管理クラス *management class name* でコピー・グループ *copy group name* の **SERIALIZATION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータに、このコピー・グループで

は不明の **SERIALIZATION** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **SERIALIZATION** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このコピー・グループの **SERIALIZATION** 値を更新してエクスポートをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **SERIALIZATION** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0769E** *Export command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* をエクスポート中に、**ACTION** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **ACTION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールで不明の **ACTION** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **ACTION** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このスケジュールの **ACTION** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **ACTION** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0770E** *Export command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* をエクスポート中、**DURUNITS** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DURUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールでは不明の **DURUNITS** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **DURUNITS** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このスケジュールの **DURUNITS** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **DURUNITS** 値を検

差し更新することもできます。

---

**ANR0771E** *Export command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* をエクスポート中、**PERUNITS** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **PERUNITS** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールで不明の **PERUNITS** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **PERUNITS** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このスケジュールの **PERUNITS** 値を更新してエクスポート・コマンドを再発行してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用してインポート処理の実行後に **PERUNITS** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0772E** *Export command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* をエクスポート中、**DAYOFWEEK** パラメーターに無効な値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **DAYOFWEEK** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールでは不明の **DAYOFWEEK** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **DAYOFWEEK** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このスケジュールの **DAYOFWEEK** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **DAYOFWEEK** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0773E** *Export command:* 管理者 *administrator name* のエクスポート中に、無効なロック状況が検出されました - この管理者はインポート時にロックされません。

説明: コマンド *export command* の処理中に、管理者

*administrator name* のロック状況に、無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、この管理者で不明のロック状況が入っています。このデータがインポートされると、この管理者はロックされません。

ユーザーの処置: 正しい権限を持つ管理者は、**LOCK NODE** または **UNLOCK NODE** コマンドを実行して、必要なロック状況を達成した後でエクスポート・コマンドを再発行する必要があります。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **LOCK ADMIN** または **UNLOCK ADMIN** コマンドを出すこともできます。

---

**ANR0774E** *Export command:* ノード *node name* のエクスポート中に **COMPRESSION** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時には、デフォルトの値または既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ノード *node name* の **COMPRESSION** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータに、このノードでは不明の **COMPRESSION** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **COMPRESSION** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このノードの **COMPRESSION** パラメーターを更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **COMPRESSION** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0775E** *Export command:* ノード *node name* のエクスポート中、無効なロック状況が検出されました - このノードはインポート時にロックされません。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ノード *node name* のロック状況に無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このノードでは不明のロック状況が入っています。このデータがインポートされると、このノードはロックされません。

ユーザーの処置: 必要なロック状況を達成するためにノードをロックまたはアンロックして、エクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、状況が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の

実行後にノードのロックまたはアンロックを行うこともできます。

---

**ANR0776E** *Export command:* ノード *node name* のエクスポート中に **ARCHDELETE** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時には、デフォルトの値または既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ノード *node name* の **ARCHDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータに、このノードで不明の **ARCHDELETE** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **ARCHDELETE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このノードの **ARCHDELETE** パラメーターを更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **ARCHDELETE** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0777E** *Export command:* ノード *node* のエクスポート中に **BACKDELETE** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時には、デフォルトの値または既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ノード *node name* の **BACKDELETE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータに、このノードでは不明の **BACKDELETE** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **BACKDELETE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このノードの **BACKDELETE** パラメーターを更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **BACKDELETE** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR0778E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 装置クラス *device class name* が定義されていません。

説明: コマンド *command* の処理中に、指定された装置クラスが定義されていないので、エラーが起きました。

システムの処置: コマンド *command* を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 指定された装置クラスが定義されていることを確認してください。

---

**ANR0779E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - ディスク・ボリュームが指定されています。

説明: コマンド *command* の処理中に、指定されたボリュームがテープ・ボリュームでなくディスク・ボリュームであったために、エラーが起きました。

システムの処置: コマンド *command* を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コマンド *command* に指定されたすべてのボリュームがテープ・ボリュームであることを確認してください。

---

**ANR0780E** *Export/import command:* プロセスが異常終了しました - サーバー通信セッションを確立できませんでした。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、他のサーバー・コンポーネントとのメモリー間通信セッションの確立中に内部エラーが発生しました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

エラーが解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0781E** *Export/import command:* プロセスが異常終了しました - サーバー・サインオンが失敗しました。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、他のサーバー・コンポーネントとのメモリー間通信セッションの確立中に内部エラーが発生しました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0784E** *Export/import command:* プロセスが異常終了しました - エクスポート/インポート・レベルに内部エラーが検出されました。: *level number*。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセス

で、エクスポート/インポート・レベル (SERVER、NODE、ADMIN、POLICY) の評価中に内部エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0785E** *Import command:* エクスポート・データから無効なレコード・タイプ *xrecord type* が読み取られました。

説明: サーバーのエクスポート/インポート・プロセスで、エクスポート・メディアからのデータの読み取り中に内部エラーが見つかりました。読み取り操作中に、無効な *record type* のレコード・タイプが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0786E** *Import command:* エクスポート済みデータの中に無効なエクスポート・バージョン *version number*。

説明: サーバーのインポート・プロセスで、エクスポート・メディアからのデータの読み取り中に内部エラーが見つかりました。読み取り操作中に無効なエクスポート・バージョン番号 (*version number*) が見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0787E** *Import command:* ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name* のインポートがサーバーによって打ち切られました (*abort reason*)。

説明: サーバーのインポート・プロセスで、クライアント・ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name* をインポート中に内部エラーが見つかりました。理由コード *abort reason* が見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0789E** *Import command:* サーバーへの送信でトランザクション ID の正規化に失敗。

説明: サーバーのインポート・プロセスで、サーバー・データベースへの情報のインポート中、内部データベース・トランザクション・エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0790E** *Import command:* データ・レコードの取り込み中にエラー。

説明: サーバーのインポート・プロセスで、サーバー・データベースへの情報のインポート中、内部エラーが見つかりました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート・プロセスは終了し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0792E** *Import command:* ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* のインポート済みファイル・スペース許可規則で、無効なコピー・タイプが見つかりました - タイプ **BACKUP** が仮定されます。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name* へのアクセスを認可する許可規則に、正しくないコピー・タイプが見つかりました。通常許可規則は、ファイル・スペース所有者によって他のユーザーにバックアップ・ファイル・アクセスが認可されるかアーカイブ・ファイル・アクセスが認可されるかにより、バックアップまたはアーカイブのコピー・タイプを指定します。この規則のインポートされる情報があいまいであるために、サーバーは、この規則はバックアップ・データ用であると見なします。

システムの処置: インポート・プロセスが続行されます。

ユーザーの処置: ノード *node name* のユーザーは、インポート・プロセスの完了後に、指定されたノード名のアクセス規則を照会して、エラーがある、あるいは必要ないアクセス規則を訂正または削除する必要があります。

---

**ANR0793E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - データ・ストレージへのアクセス中にエラー。

説明: サーバーが、エクスポートまたはインポートのプレビュー操作の実行中にデータ・ストレージにアクセスしていて内部エラーを検出しました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。エラーを見つけて解決できる場合には、エクスポートまたはインポート操作をやり直してください。エラーを見つけることができない場合には、サービス担当員に連絡して、問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR0794E** *Export/import command:* 処理が異常終了しました - データ・ストレージへのアクセス中にエラー。

説明: サーバーが、エクスポートまたはインポート操作の実行中に、データ・ストレージにアクセスしていて内部エラーを検出しました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。インポートまたはエクスポート操作に別のサーバーとのセッションが関係する場合は、QUERY ACTLOG コマンドを実行して他のサーバーでもメッセージを調べてください。他のサーバーでのメッセージは、ローカル・サーバーでのエラーをトラブルシューティングするのに役立つことがあります。エラーを見つけて解決できる場合には、エクスポートまたはインポート操作をやり直してください。エラーを見つけることができない場合には、サービス担当員に連絡して、問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR0795E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 無効なボリューム名が指定されています。

説明: サーバーが、コマンド *command* の処理時に、データ・ストレージへのアクセス中にエラーを検出しています。無効な名前のボリュームにアクセスしようとしたためにエラーが起きました。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを実行してください。

---

**ANR0796E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイントの数が足りません。

説明: コマンド *command* の処理中に、サーバーが十分な数のマウント位置を割り振ることができません。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR0797E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 必要なボリュームがマウントされていません。

説明: コマンド *command* の処理中に、必要なボリュームをマウントすることができません。マウント要求は取り消されている場合があります。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 必要なボリュームがアクセス可能であることを確認してコマンドを再発行してください。

**ANR0798E** *Import command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - ボリュームを使用できません。

説明: インポート処理中に、ボリュームはマウントされましたが、使用することができません。

システムの処置: インポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 活動記録ログで、追加の情報を示しているこのメッセージの前のメッセージを照会してください。使用可能なボリュームが指定され、マウントされていることを確認してください。

**ANR0799E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - ボリュームが既に使用中です。

説明: コマンド *command* の処理中に、ボリュームが既にストレージ・プールに定義されているか、または前にエクスポート、データベース・ダンプ、あるいはデータベース・バックアップ操作 (ボリューム・ヒストリーに記録されている) で使用されていたか、または別のプロセスで使用されているので、ボリュームを使用することができません。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 使用中でないかまたはストレージ・プールに定義されていない、前にエクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作 (サーバー・ボリューム・ヒストリー情報に記録されている) に使用されていない、ボリュームを指定してください。サーバー・ストレージ・プールに定義されているボリュームの名前を表示するためには、**QUERY VOLUME** コマンドを使用してください。エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作に使用されているボリュームの名前を表示するためには、**QUERY VOLHISTORY** コマンドを使用してください。

**ANR0800I** ノード *node name* の *Command command* は、プロセス *process ID* として開始されました。

説明: ファイル・スペース削除プロセスが、指定されたノードの 1 つ以上のファイル・スペースを削除するために開始されました。このプロセスには、メッセージに示されている ID が割り当てられました。

システムの処置: サーバーは、管理者が入力した **DELETE FILESPACE** コマンドに応じて、操作を実行するバックグラウンド・プロセスを開始しています。

ユーザーの処置: ファイル・スペース削除プロセスの状況を表示するためには、**QUERY PROCESS** コマンドを実行してください。このプロセスは **CANCEL PROCESS** コマンドで取り消すことができます。

**ANR0801I** ノード *node name* の **DELETE FILESPACE** *filesystem name* はプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 指定されたクライアント・ノードが、1 つ以上のファイル・スペースを削除するファイル・スペース削除プロセスを (サーバー上で) 開始しました。このプロセスには、メッセージに示されている ID が割り当てられました。

システムの処置: サーバーは、クライアント・ノードからの要求に応じて操作を実行するバックグラウンド・プロセスを開始しています。

ユーザーの処置: ファイル・スペース削除プロセスの状況を表示するためには、**QUERY PROCESS** コマンドを実行してください。このプロセスは、許可された管理者が **CANCEL PROCESS** コマンドを使用して、取り消すことができます。

**ANR0802I** ノード *node name* の **DELETE FILESPACE** *filesystem name* (バックアップ/アーカイブ・データ) が開始されました。

説明: 示されているノードに属する指定されたファイル・スペースを削除するバックグラウンド・サーバー・プロセスが (サーバー上で) 開始されました。スペースがメッセージに組み込まれていない場合には、このノードに属するすべてのファイル・スペースが削除されます。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスで、指定されたファイル・スペースのバックアップおよびアーカイブ・オブジェクトが削除され、その間はサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ファイル・スペース削除プロセスの状況を表示するためには、**QUERY PROCESS** コマンドを実行してください。このプロセスは、許可された管理者が **CANCEL PROCESS** コマンドを使用して、取り消すことができます。

**ANR0803I** ノード *node name* の **DELETE FILESPACE** *filesystem name* (バックアップ・データ) が開始されました。

説明: 示されているノードに属する指定されたファイル・スペースのバックアップ・オブジェクトを削除するバックグラウンド・サーバー・プロセスが (サーバー上



で) 開始されました。ファイル・スペース名がメッセージに組み込まれていない場合には、このノードに属するすべてのファイル・スペースのバックアップ・オブジェクトが削除されます。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスで、指定されたファイル・スペースのバックアップ・オブジェクトが削除され、その間はサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ファイル・スペース削除プロセスの状況を表示するためには、QUERY PROCESS コマンドを実行してください。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR0804I** ノード *node name* の **DELETE FILESPACE** *filesystem name* (アーカイブ・データ) が開始されました。

説明: 示されているノードに属する指定されたファイル・スペースのアーカイブ・オブジェクトを削除するバックグラウンド・サーバー・プロセスが (サーバー上で) 開始されました。ファイル・スペース名がメッセージに組み込まれていない場合には、このノードに属するすべてのファイル・スペースのアーカイブ・オブジェクトが削除されます。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスで、指定されたファイル・スペースのアーカイブ・オブジェクトが削除され、その間はサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ファイル・スペース削除プロセスの状況を表示するためには、QUERY PROCESS コマンドを実行してください。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR0805I** ノード *node name* の **DELETE FILESPACE** *filesystem name* が取り消されました: *number of objects* オブジェクトが削除されました。

説明: 示されているノードのファイル・スペース・データを削除するバックグラウンド・サーバー・プロセスは、CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されています。取り消しが終了する前に削除されたオブジェクトの数がメッセージで報告されています。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。許可された管理者は、DELETE FILESPACE コマンドを実行して、ファイル・スペースの残りのオブジェクトを削除することができます。

---

**ANR0806I** ノード *node name* の *filesystem name* ファイル・スペースが削除されました: *number of objects* 個のオブジェクトが削除されました。

説明: サーバー・プロセスにより、指定されたノードのファイル・スペース・データが削除されました。削除されたオブジェクトの合計数がメッセージで報告されています。

システムの処置: 削除プロセスは完了しましたが、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0811I** インベントリー・クライアント・ファイル期限切れがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: サーバーは、ファイルにバインドされた管理クラスのポリシーに基づいて、完了したクライアントのバックアップおよびアーカイブ・ファイルのコピーを除去するロールオフ処理を開始しました。サーバーによってそれぞれのファイルのコピー・グループの保存およびバージョン・パラメーターが使用され、コピーをサーバーから削除するかどうかを判断します。期限切れプロセスはプロセス番号 *process ID* として開始され、それぞれ QUERY PROCESS または CANCEL PROCESS コマンドで、照会または取り消しを行うことができます。

システムの処置: 期限切れプロセスは現在取り消し可能です。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0812I** インベントリー・ファイルの期限切れプロセス *process ID* が完了しました: *number of nodes* 個のノードを処理し、*number of objects* 個のオブジェクトを検査し、*number of backup objects* 個のバックアップ・オブジェクト、*number of archive objects* 個のアーカイブ・オブジェクト、*number of DB backup volumes* 個の **DB** バックアップ・ボリューム、および *number of recovery plan files* 個の回復計画ファイルが削除中です。 *retry count* 個のオブジェクトが再試行され、*error count* 個のエラーが見つかり、*skipped count* 個のオブジェクトがスキップされました。

説明: サーバーの期限切れ処理が完了しました。管理クラス・ポリシーに基づいて、クライアント・オブジェクトの数が調べられて削除され、メッセージで表示されます。合計エラー件数も表示されます。複製が必要であるためにスキップされたオブジェクトの数も含まれます。

す。削除される DB バックアップ・ボリュームの数は、SET DRMDBBACKUPEXPIREDAYS で指定した値が基準になります。削除される回復計画ファイルの数は、SET DRMRPFEXPIREDAYS で指定した値に基づいています。サーバーの期限切れ処理によって DB バックアップ・ボリューム、およびリカバリー計画ファイルが削除されるのは、DRM がサーバーにライセンスされていて、ボリュームまたは計画ファイルがサーバー間仮想ボリュームで作成されている場合だけです。

システムの処置: ロールオフ・プロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: エラー・カウントが 0 でない場合には、エラーの原因を判別するために、活動記録ログに出されたメッセージを調べてください。

---

**ANR0813I** インベントリー・ファイルの期限切れプロセス *process ID* が完了前に取り消されました: *number of nodes* 個のノードを処理し、*number of objects* 個のオブジェクトを検査し、*number of backup objects* 個のバックアップ・オブジェクト、*number of archive objects* 個のアーカイブ・オブジェクト、*number of DB backup volumes* 個の DB バックアップ・ボリューム、および *number of recovery plan files* 個の回復計画ファイルを削除中です。 *retry count* 個のオブジェクトが再試行され、*error count* 個のエラーが見つかり、*skipped count* 個のオブジェクトがスキップされました。

説明: インベントリー・ファイルの期限切れプロセスが管理者によって取り消されました。取り消しの前に調べられて削除されたオブジェクトの数が報告されます。合計エラー件数とスキップされたオブジェクト数も表示されます。

システムの処置: サーバーはファイルの期限切れプロセスを終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0819I** 取り消し処理が進行中

説明: このメッセージは、QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示され、インベントリーの期限切れプロセスが取り消されたことを示しています。このプロセスは間もなく終了します。

システムの処置: 期限切れプロセスは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0820I** *number* 個のオブジェクトのソート情報が削除されました。

説明: バックグラウンド・サーバー・プロセスで、サーバー・データベースから *number* ファイルのソート情報が削除されました。このプロセスは、前のエクスポート操作で残されたソート情報を除去するために、初期化中に開始されています。

システムの処置: 実際のバックアップまたはアーカイブ・オブジェクトは削除されず、前のエクスポート操作中にこれらのオブジェクトのソートに使用された情報だけが削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0821E** ファイル・スペース ID *fsId* は無効です。

説明: ファイル・スペースに割り当てられた ID は範囲外です。

システムの処置: ファイル・スペースは追加されません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0822I** *command*: ファイル・スペース *filesystem name (FSID=filesystem id)* はノード *node name* の *new filesystem name* に正常に名前変更されました。

説明: 指定されたファイル・スペースは、このノード用に指定された新しい名前に変更されました。このメッセージは RENAME FILESPACE コマンドの正常な完了に答えて表示されます。

システムの処置: システムは、このノードのファイル・スペースを示されているとおりに名前変更します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0823E** *command*: ファイル・スペース *filesystem name* を *new filesystem name* に名前変更することはできません。この名前のファイル・スペースは既にノード *node name* に存在しています。

説明: コマンドのターゲット名として指定されたファイル・スペース名が、指定されたノードに既に存在しているのが検出されました。コマンドは失敗します。

システムの処置: サーバーは操作を続行し、このコマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 別のターゲット・ファイル・スペース名でコマンドを出し直してください。

---

**ANR0824I** ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name* (スペース管理データ) の削除が開始されました。

説明: 示されているノードに属する指定されたファイル・スペースの、スペース管理オブジェクトを削除するバックグラウンド・サーバー・プロセスが (サーバー上で) 開始されました。ファイル・スペース名がメッセージに組み込まれていない場合には、このノードに属するすべてのファイル・スペースのスペース管理オブジェクトが削除されます。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスで、指定されたファイル・スペースのスペース管理オブジェクトが削除され、その間はサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ファイル・スペース削除プロセスの状況を表示するためには、**QUERY PROCESS** コマンドを実行してください。このプロセスは、許可された管理者が **CANCEL PROCESS** コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR0826I** ノード *node name* に対する **DELETE FILESPACE** *filespace name* でトランザクション障害が見つかりました。

説明: 示されているノードのファイル・スペース・データを削除していたバックグラウンド・サーバー・プロセスに、トランザクションの障害が見つかりました。

システムの処置: まだ最大試行回数を超えていなければ、サーバー・プロセスが再試行されます。

ユーザーの処置: 通常トランザクションの障害は、ファイル・スペースの削除中に、データベースのデッドロックが検出されたことを示します。これらのデッドロック条件は、複数のファイル・スペース削除プロセスが同時に実行されているときに見つかる場合があります。**DELETE FILESPACE** が削除プロセスを完了しないで終了しない限り、アクションは不要です (メッセージ **ANR0828** を参照)。

---

**ANR0827I** ノード *node name* に対する **DELETE FILESPACE** *filespace name* が再試行されます。

説明: エラーが見つかったので、示されているノードのファイル・スペース削除プロセスが再試行されています。

システムの処置: サーバー・プロセスが再試行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0828W** ノード *node name* に対する **DELETE FILESPACE** *filespace name* は、トランザクション障害のために、完了前に終了しました: *number of objects* 個のオブジェクトが削除されました。

説明: トランザクションの障害のために、示されているノードのファイル・スペース・データを削除するバックグラウンド・サーバー・プロセスが早期に終了されています。操作が終了する前に削除されたオブジェクトの数がメッセージ中に報告されています。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: トランザクションの障害によるこのプロセスの終了は、通常ファイル・スペースの削除中、データベースのデッドロックが検出されたことを示します。これらのデッドロック条件は、複数のファイル・スペース削除プロセスが同時に実行されているときに見つかる場合があります。少数のファイル・スペース削除プロセスが活動状態のときに、このコマンドを再び開始する必要があります。許可された管理者は **DELETE FILESPACE** コマンドを実行して、ファイル・スペースの残りのファイルを削除することができます。

---

**ANR0829E** *Command: TYPE* および **DATA** パラメーターの無効な組み合わせ。

説明: 指定されたコマンドは、**TYPE** および **DATA** パラメーターの無効な組み合わせを指定して出されました。**TYPE=ANY** または **TYPE=BACKUP** の場合には、**DATA=IMAGES** だけを指定することができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターの組み合わせを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR0830W** ファイル・スペース *filespace name* のノード *node name* が使用しているドメイン *domain name* の管理クラス *class name* が既に活動していないか、または既に **BACKUP** コピー・グループが含まれていません。期限切れ処理にはデフォルト管理クラス属性が使用されます。

説明: ポリシー・ロールオフ処理中に、サーバーは、管理クラスまたはバックアップ・コピー・グループがもはや存在しないクライアント・ファイル・コピーを見つけました。

システムの処置: サーバーは、指定されたドメイン用のデフォルト管理クラスを所有し、ファイルを期限切れにする必要があるかどうかについて判別するために、バツ

クアップ・コピー・グループ・バージョンおよび保存パラメーターを使用します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。指定されたドメインに対して権限を持つポリシー管理者は、**DEFINE COPYGROUP**、**DEFINE MGMTCLASS**、および **ACTIVATE POLICY** コマンドを使用して、抜けている管理クラスまたはコピー・グループの定義が入っているポリシー・セットを定義し活動化することができます。

---

**ANR0831W** ドメイン *domain name* のデフォルトの管理クラス *class name* にバックアップ・コピー・グループがありません: 期限切れ処理には **GRACE PERIOD** が使用されません。

説明: ポリシー・ロールオフ処理中に、サーバーは、管理クラスまたはバックアップ・コピー・グループがもはや存在しないクライアント・ファイル・コピーを見つけました。指示されたポリシー・ドメイン用の **DEFAULT** 管理クラスには、バックアップ・コピー・グループがありません。そのため、サーバーは、指定されたポリシー・ドメイン用に定義された **GRACE PERIOD** 保存値を使って、クライアント・ファイル・コピーを期限切れにしてサーバー・データベースから除去する必要があるかどうか、判別します。

システムの処置: サーバーは、指定されたドメイン用の **GRACE PERIOD** 保存値を所有し、バックアップ・ファイルを期限切れにする必要があるかどうかについて判別します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。指定されたドメインに対して権限を持つポリシー管理者は、**DEFINE COPYGROUP**、**DEFINE MGMTCLASS**、および **ACTIVATE POLICY** コマンドを使用して、抜けている管理クラスまたはバックアップ・コピー・グループの定義が入っているポリシー・セットを定義し活動化することができます。

---

**ANR0832W** ファイル・スペース *filespace name* のノード *node name* が使用しているドメイン *domain name* の管理クラス *class name* が既に活動状態ないか、または既にアーカイブ・コピー・グループを持っていません。期限切れ処理にはデフォルトの管理クラス属性が使用されます。

説明: ポリシーのロールオフ処理中に、サーバーがその管理クラスまたはアーカイブ・コピー・グループが既に存在しないクライアント・ファイル・コピーを見つけました。

システムの処置: サーバーは指定されたドメインに対して **DEFAULT** の管理クラスを獲得し、そのアーカイ

ブ・コピー・グループ保存パラメーターを使用して、ファイル・コピーの期限切れ処理を行う必要があるかどうかを判別します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。指定されたドメインに対して権限を持つポリシー管理者は、**DEFINE COPYGROUP**、**DEFINE MGMTCLASS**、および **ACTIVATE POLICY** コマンドを使用して、抜けている管理クラスまたはコピー・グループの定義が入っているポリシー・セットを定義し活動化することができます。

---

**ANR0833W** ドメイン *domain name* のデフォルトの管理クラス *class name* にアーカイブ・コピー・グループがありません: 期限切れ処理には **GRACE PERIOD** が使用されません。

説明: ポリシーのロールオフ処理中に、サーバーがその管理クラスまたはアーカイブ・コピー・グループが既に存在しないクライアント・ファイル・コピーを見つけました。示されているポリシー・ドメインの **DEFAULT** の管理クラスにアーカイブ・コピー・グループが入っていないので、サーバーは指定されたポリシー・ドメインに定義された **GRACE PERIOD** 保存値を使用して、クライアント・ファイルのコピーの期限切れ処理を行い、サーバー・データベースから除去する必要があるかどうかを判別します。

システムの処置: サーバーは指定されたドメインに対して **GRACE PERIOD** 保存値を獲得した後、アーカイブ・ファイル・コピーの期限切れ処理を行う必要があるかどうか判別します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。指定されたドメインに対して権限を持つポリシー管理者は、**DEFINE COPYGROUP**、**DEFINE MGMTCLASS**、および **ACTIVATE POLICYSET** コマンドを使用して、抜けている管理クラスまたはバックアップ・コピー・グループの定義が入っているポリシー・セットを定義し活動化することができます。

---

**ANR0834W** メモリー不足のため、インベントリ・クライアント・ファイル期限切れを開始できません - あと *number of seconds* 秒で再試行されます。

説明: サーバー上に十分なメモリーがないために行われなかった操作を再試行するため、サーバー・インベントリの期限切れプロセスが休止しています。

システムの処置: サーバーの操作が続行され、期限切れプロセスは示されている遅延後に再試行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増や

す方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0835W** ドメイン *domain name* の管理クラス *class name* がもう活動状態でないか、もう **BACKUP** コピー・グループをもってないか、あるいはもう **ARCHIVE** コピー・グループをもっていません。 *number of backup files* 個のバックアップ・ファイルおよび *number of archive files* 個のアーカイブ・ファイルを削除するために、**DEFAULT** 管理クラスが使用されました。 *number of backup files* 個のバックアップ・ファイルおよび *number of archive files* 個のアーカイブ・ファイルを削除するために、保存猶予期間が使用されました。

説明: ポリシーのロールオフ処理中に、サーバーが既に存在していない管理クラス、バックアップ・コピー・グループ、またはアーカイブ・コピー・グループを見つけました。管理クラスまたはバックアップ・コピー・グループが存在していない時には、デフォルト管理クラスまたは保存猶予期間を使用して削除されたバックアップ・クライアント・ファイルのコピーの数がメッセージに表示されます。管理クラスまたはアーカイブ・コピー・グループが存在しない時には、デフォルト管理クラスまたは保存猶予期間を使って削除されたアーカイブ・クライアント・ファイルの数がメッセージに表示されます。

システムの処置: サーバーは指定されたドメインに対して **DEFAULT** の管理クラスを獲得し、そのバックアップ・コピー・グループ・バージョンまたはアーカイブ・コピー・グループと保存パラメーターを使用して、ファイル・コピーの期限切れ処理を行う必要があるかどうかを判別します。しかし、必要なバックアップ・コピー・グループまたはアーカイブ・コピー・グループが **DEFAULT** 管理クラスに存在しない場合には、サーバーはドメインに保存猶予期間を使用します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。このメッセージが出されるのは、詳細メッセージを抑制するために、**QUIET** オプションを指定して期限切れプロセスが開始された時だけです。**QUIET** オプションを指定せずに期限切れプロセスを開始すると、詳細メッセージを表示することができます。このメッセージには、特定のノードおよびファイル・スペースが示されるとともに、バックアップ・コピー・グループとアーカイブ・コピー・グループの間の相違がさらに詳しく区別されます。指定されたドメインに対して権限を持つポリシー管理者は、**DEFINE COPYGROUP**、**DEFINE MGMTCLASS**、および **ACTIVATE POLICY** コマンドを使用して、抜けている管理クラスまたはコピー・グループの定義が入っ

ているポリシー・セットを定義し活動化することができます。

---

**ANR0836W** ファイル *high-level file* *namelow-level file name* のリトリートに失敗したノード *node name* および *filespace name* の照会リストア処理セッション *session id* はありません - ファイルをスキップ中。

説明: 指定されたファイルのリトリートに失敗した指定されたノード名およびファイル・スペースに関連したリストされたセッションの照会リストア処理はありません。このファイルのリトリート中にエラーが起こったので、このファイルはスキップされます。

システムの処置: いずれの照会リストア操作も続行されません。

ユーザーの処置: ファイルのリトリート障害の原因を調べ、訂正してください。この状態が正しくなった後、クライアントはスキップした特定ファイルのリストアを実行することができます。

---

**ANR0837I** インベントリ・ファイルの期限切れプロセス *process ID* が *duration* 分の所要時間の限度を超えて終了しました: *number of nodes* 個のノードを処理し、*number of objects* 個のオブジェクトを検査し、*number of backup objects* 個のバックアップ・オブジェクト、*number of archive objects* 個のアーカイブ・オブジェクト、*number of DB backup volumes* 個の **DB** バックアップ・ボリューム、および *number of recovery plan files* 個の回復計画ファイルを削除中です。 *retry count* 個のオブジェクトが再試行され、*error count* 個のエラーが見つかり、*skipped count* 個のオブジェクトがスキップされました。

説明: 管理者またはスケジュールがコマンド **EXPIRE INVENTORY ... DURATION=xxx** を発行しました。ここで、xxx は実行する期限切れインベントリ・プロセスの分数です。その分数 xxx の有効期限が切れたので、期限切れインベントリ・プロセスは終了します。

システムの処置: 期限切れインベントリ・プロセスを終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0844E** Command: *node name* はバックアップ/アーカイブ・ノードではありません。

説明: 示されたノード名は、バックアップ/アーカイブ・ノードではありません。

システムの処置: コマンド処理は失敗します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 有効なノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR0848W** ノード *node name* およびファイル・スペース *filespace name* の *file type* ファイル *file name* を削除する期限切れ処理が失敗しました - ファイルはスキップされます。

説明: 期限切れプロセスで示されたファイルを削除できませんでした。 ファイルは期限切れによってスキップされます。

システムの処置: 期限切れプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: 期限切れ処理を再試行して、削除失敗の原因が断続的な問題であるか、あるいは永続的な問題であるかを調べてください。 以後の期限切れ処理の試行後もまだファイルが削除されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0849E** *Command:* ノード *Node Name* に対しては使用できません - ノードのタイプは **SERVER** です。

説明: 指定されたノードが NODETYPE=SERVER であるため、示された DELETE FILESPACE プロセスは開始されていません。 DELETE FILESPACE でこのタイプのノードが処理されるのは、TYPE=SERVER パラメーターが指定されている場合だけです。

システムの処置: DELETE FILESPACE コマンドは終了して、サーバーの処理が続行されます。

ユーザーの処置: このファイル・スペースを削除する必要がある場合には、TYPE パラメーターを TYPE=SERVER に設定してこのコマンドを出し直してください。 TYPE=SERVER パラメーターを使用する際、これらのファイルを所有しているサーバーのデータの可用性に影響するおそれがあるので、注意してください。

---

**ANR0850E** *Command:* *process name* プロセスを開始できません。

説明: サーバー上で示されている DELETE FILESPACE プロセスを開始することができません。

システムの処置: DELETE FILESPACE コマンドは終了して、サーバーの処理が続行されます。

ユーザーの処置: 通常、これはサーバー上に使用可能な十分なサーバー・メモリーがないことを示しています。

アプリケーション用にメモリーを増やす方法について

は、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0851E** ノード *node name* のファイル・スペース削除スレッドを開始できません。

説明: サーバー上で示されている DELETE FILESPACE プロセスを開始することができません。サーバー上に使用可能な十分なメモリーがない可能性があります。

システムの処置: DELETE FILESPACE コマンドは終了して、サーバーの処理が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0852E** *Command:* 該当するファイル・スペースがノード *node name* に見つかりません。

説明: サーバーが、このコマンドに指定された名前に一致する、示されているノードのファイル・スペースを見つけていません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 指定したノードで定義済みのファイル・スペースを参照するファイル・スペース名で、コマンドを入力してください。 ファイル・スペース名に、大文字小文字の区別があることに注意してください。名前は、サーバー上に定義されたファイル・スペース名と正確に一致する、同一の大文字と小文字を使用して入力してください。 QUERY FILESPACE コマンドを使って、サーバー上のノードに定義されているファイル・スペースを調べてください。

---

**ANR0853E** ファイル・スペースの削除でトランザクションが失敗し、DELETE FILESPACE プロセスが打ち切られました。

説明: サーバーがファイル・スペース・データを削除している時にデータベース・トランザクションが実行されていません。

システムの処置: サーバーはファイル・スペース削除プロセスを終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0854E** インベントリー・ファイル・スペース照会の障害、**DELETE FILESPACE** プロセスが打ち切られました。

説明: サーバーが、ファイル・スペース削除プロセス中に、インベントリー・データベースを照会していて、エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはファイル・スペース削除プロセスを終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 **QUERY ACTLOG** コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0855E** サーバー・ログ・スペースが使い果たされ、**DELETE FILESPACE** プロセスが打ち切られました。

説明: ファイル・スペースの削除処理中に、サーバー・ログ・スペースの不足が見つかりました。

システムの処置: サーバーはファイル・スペース削除プロセスを終了します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、**dsmserv.opt** ファイルの

**ACTIVELOGDIRECTORY**、**ARCHIVELOGDIRECTORY**、および

**ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。 **ACTIVELOGDIRECTORY** ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが **ACTIVELOGDIRECTORY** ロケーションにあり、**ARCHIVELOGDIRECTORY** および **ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。 必要に応じて、**dsmserv.opt** ファイルの **ARCHIVELOGDIRECTORY** または **ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR0856E** サーバー・データベース・スペースが使い果たされ、**DELETE FILESPACE** プロセスが打ち切られました。

説明: ファイル・スペースの削除処理中、サーバー・データベース・スペースの不足が見つかりました。

システムの処置: サーバーはファイル・スペース削除プロセスを終了します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、**EXTEND DBSPACE** コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR0859E** データ・ストレージ・オブジェクト消去の障害、**DELETE FILESPACE** プロセスが打ち切られました。

説明: サーバーが、ファイル・スペースの削除処理中に、データ・ストレージからファイル・コピーを除去していて、エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーはファイル・スペース削除プロセスを終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 **QUERY ACTLOG** コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0860E** 内部エラーのために期限切れプロセス *process ID* が終了しました: *number of objects* 個のオブジェクトを検査し、*number of backup objects* 個のバックアップ・オブジェクト、*number of archive objects* 個のアーカイブ・オブジェクト、*number of DB backup volumes* 個の **DB** バックアップ・ボリューム、および *number of recovery plan files* 個の回復計画ファイルが削除中です。 *retry count* 個のオブジェクトが再試行され、*error count* 個のエラーが見つかりました。

説明: ファイルの期限切れ処理時にサーバーが内部エラーを見つけました。 このエラーの前に調べられ、削除されたファイルの数が報告されます。 合計エラー件数も表示されます。

システムの処置: サーバーは期限切れプロセスを終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 **QUERY ACTLOG** コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR0861E** 期限切れでトランザクションが失敗し、インベントリーの期限切れが打ち切られました。

説明: サーバーが、ポリシーのロールオフ処理中に、データベース・トランザクションの障害を検出しています。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR0865E** 期限切れ処理が失敗しました - サーバー内部のエラー。

説明: ポリシーのロールオフ中にサーバーの再試行処理が実行されていません。

システムの処置: サーバーはポリシーのロールオフ処理を終了します。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。

このメッセージが表示される原因として、次のような問題があります。

- サーバーのデータベース・スペースが不足しています。サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。
- サーバーのログ・スペースが不足しています。サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの  
ACTIVELOGDIRECTORY、  
ARCHIVELOGDIRECTORY、および  
ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが  
ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、  
ARCHIVELOGDIRECTORY および  
ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、

dsmserv.opt ファイルの

ARCHIVELOGDIRECTORY または

ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

- サーバーでメモリーが不足しています。サーバーが使用できるメモリーの量を増やすには、アプリケーションのメモリーを増やす方法が記載されたオペレーティング・システムの資料を確認します。

エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR0866E** 期限切れ処理の再試行が失敗しました - *maximum retries* 回の再試行後に不成功。

説明: サーバー・データベースからのクライアント・ファイル・コピーの期限切れ処理で、再試行処理が正常に実行されていないので、サーバーはポリシーのロールオフ処理を終了します。

システムの処置: サーバーはポリシーのロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。

このメッセージが表示される原因として、次のような問題があります。

- サーバーのデータベース・スペースが不足しています。サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。
- サーバーのログ・スペースが不足しています。サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの  
ACTIVELOGDIRECTORY、  
ARCHIVELOGDIRECTORY、および  
ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが  
ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、  
ARCHIVELOGDIRECTORY および  
ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの



ARCHIVELOGDIRECTORY または  
ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

- サーバーでメモリーが不足しています。サーバーが使用できるメモリーの量を増やすには、アプリケーションのメモリーを増やす方法が記載されたオペレーティング・システムの資料を確認します。

エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0867E** サーバー操作中に、ノード *node name* のポリシー・ドメインをオープンできませんでした。

説明: 指定されたノードに関連したポリシー情報を獲得しようとしている時に、サーバー上でのポリシーのロールオフ処理でエラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0868E** ID *management class ID* の管理クラス名が見つかりません。

説明: ポリシー情報を獲得しようとしている時に、サーバー上でのポリシーのロールオフ処理で、エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0869E** ノード *node ID* のポリシー・ドメインが見つかりません。

説明: 指定されたノードに関連したポリシー情報を獲得しようとしている時に、サーバー上でのポリシーのロールオフ処理でエラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0870E** ノード *node ID* のノード名が見つかりません。

説明: サーバー上でのポリシーのロールオフ処理で、クライアント・ノードの情報を獲得しようとしている時に、データベース・エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0871E** ノード *node ID*、ファイル・スペース *file space ID* のファイル・スペース名が見つかりません。

説明: サーバー上でのポリシーのロールオフ処理で、クライアント・ノードの情報を獲得しようとしている時に、データベース・エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0872E** ドメイン *domain name* の猶予期間保存を獲得できませんでした。

説明: サーバー上でのポリシーのロールオフ処理で、指定されたポリシー・ドメインに対する GRACE PERIOD 値を獲得しようとしている時に、データベース・エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログ

グを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0873E** ファイルの期限切れ処理中に無効なコピー・タイプが見つかりました:*copytype ID*

説明: サーバー上でのポリシーのロールオフ処理で、コピー・グループ情報を獲得しようとしている時に、データベース・エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0874E** インベントリー処理中にバックアップ・オブジェクト *object* が見つかりませんでした。

説明: データ・ストレージのバックアップ情報を獲得しようとしている時に、サーバー上でのインベントリー処理でデータベース・エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理またはクライアント・セッションを終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0875E** 期限切れ処理でアーカイブ・オブジェクト *object.ID* が見つかりませんでした。

説明: サーバー上でのポリシーのロールオフ処理で、データ・ストレージのアーカイブ情報を獲得しようとしている時に、データベース・エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0879E** インベントリー・ファイル・スペース照会のオープン中にエラー。

説明: インベントリー情報にアクセスしようとしている時に、サーバー上でのポリシーのロールオフ処理でデータベース・エラーが見つかりました。

システムの処置: サーバーはロールオフ処理を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0880E** *Filespace command*: 一致するファイル・スペースがありません。

説明: サーバーが、*filespace command* に入力した指定と一致するファイル・スペース名を見つけていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー上に定義されているファイル・スペースを調べるためには、QUERY FILESPACE コマンドを使用してください。ファイル・スペース名は大文字と小文字が区別されることに注意してください。正しいファイル・スペース名を (正しい大文字と小文字で) 指定してファイル・スペース・コマンドを再発行してください。

---

**ANR0881E** ポリシー・エラー: クライアント・インベントリー処理中に、ドメイン *domain ID* の猶予期間アーカイブ保存値を取得できませんでした。

説明: サーバーが、ポリシー情報にアクセスしようとしている時に、内部エラーを検出しています。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0882E** ポリシー・エラー: クライアント・インベントリー照会処理中に、ノード *node name* のポリシー・ドメインをオープンできません。

説明: サーバーが、ポリシー情報にアクセスしようとしている時に、内部エラーを検出しています。

システムの処置: クライアント操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0883E** ノード *node ID* のノード名を取得できません。

説明: サーバーが、クライアント・ノード情報にアクセスしようとしている時に、内部エラーを検出しています。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0884E** *number* 個のオブジェクトのソート情報を削除中にエラー *code*。

説明: バックグラウンド・サーバー・プロセスで、サーバー・データベースから *number* ファイルのソート情報を削除した後で、内部エラーが検出されました。このプロセスは、前のエクスポート操作で残されたソート情報を除去するために、初期化中に開始されています。

システムの処置: バックアップまたはアーカイブ・オブジェクトは削除されませんでした。前のエクスポート操作中に削除されたのは、これらのオブジェクトのソートに使用された情報だけです。バックグラウンド・プロセスは、すべてのソート情報が削除される前に終了されました。システムは、この問題が解決されるまで、以後のファイル・データのエクスポート処理を実行しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。その後でサーバーを再始動してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0885I** *Import command:* ドメイン *domain name* およびポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* を管理クラス *new management class name* として処理中。

説明: コマンド *import command* にサービスするバックグラウンド・インポート処理が、現在ドメイン *domain name* およびポリシー・セット *policy set name* の管理クラス *management class name* のポリシー情報を処理中です。この管理クラスは、名前 *new management class name* でインポートされます。インポート処理中に、DEFAULT または GRACE\_PERIOD として定義された管理クラスは、その管理クラスが既存のサーバーのポリシー規則と矛盾しないよう、名前変更しなければなりません。これでインポート処理では、名前変更され

た管理クラスを使用してファイル・データをインポートすることができます。

システムの処置: コマンドのインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。ただし、管理者はこの管理クラスの入ったポリシー・セットが活動化された場合に使用される管理クラスを認識できるよう、*new management class name* のポリシーの定義を調べることができます。

---

**ANR0886E** ファイル・スペース *filespace name* のノード *node name* が使用しているドメイン *domain name* の管理クラス *class name* に **ID copy group id** を持つ **BACKUP** コピー・グループが含まれていません: 期限切れ処理は、このノードからのファイルおよびこの管理クラスとコピー・グループ **ID** にバインドされたファイル・スペースについては実行されません。

説明: ポリシーのロールオフ処理中に、サーバーが存在しない管理クラスまたはバックアップ・コピー・グループをもつクライアント・ファイル・コピーを見つけました。

システムの処置: サーバーは、エラーのあるファイルをスキップします。

ユーザーの処置: プログラミング・サポートが必要な場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR0887E** ファイル・スペース *filespace name* のノード *node name* が使用しているドメイン *domain name* の管理クラス *class name* には、**ID copy group id** を持つアーカイブ・コピー・グループが含まれていません。サーバー操作は、このノードからのファイルおよびこの管理クラスおよびコピー・グループ **ID** にバインドされたファイル・スペースについては実行されません。

説明: ポリシーのロールオフ処理中に、サーバーが存在しない管理クラスまたはアーカイブ・コピー・グループをもつクライアント・ファイル・コピーを見つけました。

システムの処置: サーバーは、示されたファイルをスキップします。

ユーザーの処置: プログラミング・サポートが必要な場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

---

**ANR0888E** サーバー・コンソールから SQL コマンドを出すことはできません。

説明: サーバー・コンソールから SQL コマンドが出されました。SQL コマンドは完了に長時間を要し、サーバー・コンソールは他のサーバー機能の制御に使用しなければならないので、サーバー・コンソールから SQL コマンドを出すことはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: SQL コマンドを管理クライアントから出してください。

---

**ANR0889I** ノード *node name* のデータ重複排除に関する *count* 個の統計レポートを削除しました。

説明: サーバーは、指定されたノードに対する DELETE DEDUPSTATS を処理して、このメッセージに示されている合計数のデータ重複排除に関する統計レポートが削除されました。

システムの処置: ノードに対するデータ重複排除統計の削除が完了して、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0890I** *Export/import command*: オプション・セット *optionset name* を処理中。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが現在オプション・セットの定義情報を処理中です。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理またはインポート処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0891I** *Export/import command*: *number* 個のオプション・セット定義をコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、*number* 個のクライアント・オプション・セットの定義をサーバー・データベースからエクスポート・メディアに、またはエクスポート・メディアからサーバー・データベースにコピーします。コマンド *export/import command* に *Preview=Yes* が指定されている場合には、データは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0892I** *Export command*: エクスポートするための一致するオプション・セットが見つかりません。

説明: バックグラウンド・エクスポート・プロセスで、*export command* のためのクライアント・オプション・セットが見つかりません。

システムの処置: エクスポート・プロセスは続行されますが、サーバーからオプション・セットはエクスポートされません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0893I** 本当に現行システム日付を有効なものとして受け入れますか？

説明: このメッセージは、システム上の日付を有効なものとして受け入れたいかどうかを確認する ACCEPT DATE コマンドが出された時に表示されます。無効な日付を受け入れると、以下のいずれかの問題が発生することがあります。

期限以前にデータが削除される問題

期限以後もデータが保存される問題

スケジューリングの問題

イベント・レコードの問題

パスワード期限切れの問題。

システムの処置: コマンドはユーザーがアクションを確認するのを待機します。

ユーザーの処置: システム日付を有効なものとして受ける場合には「YES」を指定し、コマンドを実行したくない場合には「NO」を指定してください。

---

**ANR0894I** 現行システムが有効なものとして受け入れられました。

説明: このメッセージは、ACCEPT DATE コマンドが出され、日付が有効なものとしてサーバーで受け入れられた時に表示されます。

システムの処置: 現行システム日付がサーバーで有効なものとして受け入れられます。サーバーは、現行システム日付を使用して処理を開始します。

ユーザーの処置: ENABLE SESSIONS ALL コマンドを発行して、クライアント、サーバー、および管理用のセッションの開始を許可してください。

---

**ANR0895E** *Command: process name* プロセスを開始できません。

説明: 指示されたプロセスをサーバー上で開始することができません。

システムの処置: 指定されたコマンドは終了し、サーバー処理は続行されます。

ユーザーの処置: 通常、これはサーバー上に使用可能な十分なサーバー・メモリーがないことを示しています。

アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR0896I** プール *pool name* 内のノード *node name* のデータ重複排除に関する *count* 個の統計レポートが生成されました。

説明: サーバーは、指定されたノードおよびプールに対する GENERATE DEDUPSTATS を処理して、このメッセージに示されている合計数のデータ重複排除に関する統計レポートが生成されました。

システムの処置: コマンドで指定されたノードおよびプールに対するデータ重複排除統計の生成が完了して、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0900I** オプション・ファイル *filespec* を処理中。

説明: サーバーの初期化時に、サーバーは名前がメッセージに示されているサーバー・オプション・ファイルを読み取っています。

システムの処置: サーバーはこのファイルのオプションを読み取って処理します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0901W** 無効な *option* ステートメントがファイル *filespec* に見つかりました。

説明: 示されているサーバー・オプション・ファイルの処理時に、サーバーが正しくないステートメントを検出しました。正しくないステートメントのタイプがメッセージに示されています。このメッセージの後の行に詳細が示されています。

システムの処置: サーバーはエラーのあるステートメントを無視します。サーバーの初期設定が続行されます。抜けていたり無視されたオプションにはデフォルト値が使用されます。

ユーザーの処置: エラーを無視するか、あるいはテキス

ト・エディターを使用してエラーを訂正してサーバーを再始動してください。

---

**ANR0902W** サポートされていないキーワードまたは無効な値がファイル *filespec* で見つかりました。

説明: 示されているサーバー・オプション・ファイルの処理中に、サーバーがオプション・ステートメントで無効なキーワードまたは無効な値を検出しました。このメッセージの後の行に詳細が示されています。

システムの処置: サーバーはエラーのあるオプション・ステートメントを無視します。サーバーの初期設定が続行されます。抜けていたり無視されたオプションにはデフォルト値が使用されます。

ユーザーの処置: エラーを無視するか、あるいはテキスト・エディターを使用してエラーを訂正してサーバーを再始動してください。

---

**ANR0905W** オプション・ファイル *filespec* が見つかりません。

説明: サーバーの初期化時に、サーバーが示されているサーバー・オプション・ファイルを見つけていません。

システムの処置: サーバーはすべてのオプションにデフォルト値を使用します。サーバーの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: デフォルト値が受け入れ可能な場合には、このエラーを無視してください。そうでない場合には、有効なサーバー・オプション・ファイルを正しい位置に移動し、有効なオプション・ファイルを適切な名前に変更するか、あるいはテキスト・エディターを使用して適切なサーバー・オプション・ファイルを作成して、サーバーを再始動してください。

---

**ANR0914E** *Diagnostic(ID):* オブジェクト (*object name*) のサイズ (*size*) が最大サイズ (*maximum size*) を超えているので、要求が失敗しました。

説明: 指定されたオブジェクトのサイズがそのオブジェクトに定義された最大サイズを超えています。サーバーは、新規オブジェクトを扱うことができません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 新規オブジェクトの長さがそのオブジェクトに指定された最大長を超えている理由を判別してください。オブジェクトの長さを減らしてください。

**ANR0915E** 言語 *language name* をメッセージのフォーマット用にオープンできません。

説明: サーバーが指定されたメッセージ・リポジトリをオープンできません。

システムの処置: サーバーの初期化はデフォルトのメッセージ・リポジトリで続行されます。

ユーザーの処置: サーバー・オプション・ファイルの LANGUAGE オプションに正しい言語が指定されていることを確認してください。 オプション・ファイルに変更を行った場合には、その変更を活性化するためにサーバーを再始動してください。

**ANR0916I** *Company* によって配布された *Product Name* は現在使用可能です。

説明: サーバーは始動処理を完了していて、現在は使用可能です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0917W** ポリシーの長さが原因で、ドメイン *domain name* のノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が失敗しました。

説明: クライアントは長過ぎるポリシーを処理できません。

システムの処置: クライアント操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: クライアントを最新のレベルに更新するか、あるいはポリシー・セットを短い管理クラスで活性化してください。

**ANR0918E** ノード *node name* のインベントリ *operation* が終了しました - ロックの競合。

説明: 指示された操作中に、サーバーは、使用可能になっていないロックを獲得する必要が生じました。

システムの処置: 示されている操作は終了します。

ユーザーの処置: その操作を再始動してください。

**ANR0919E** ノード *node list* で長さ *length* のファイル・スペース名 *fsName* が検出されました。

説明: リストされたノードで、指定されたファイル・スペース名が見つかりました。この名前は許可されていません。 管理コマンドまたはクライアント要求の処理中

にエラーが発生する場合があります。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: EXPORT NODE や RENAME FILESPACE などの管理コマンドの処理中にエラーが発生した場合は、リストされているノードのファイル・スペースを有効な名前に変更してください。 クライアント要求の処理中に検出された場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR0920I** トレースは現在標準出力に対してアクティブな状態です。

説明: TRACE START コマンドへの応答で、サーバー・トレース・レコードを、標準出力宛先 (通常はサーバー・コンソール) に書き込み中です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0921I** トレースは現在ファイル *file spec* に対してアクティブな状態です。

説明: TRACE START コマンドへの応答で、サーバー・トレース・レコードを、示されているファイルに書き込み中です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0922I** トレースが終了しました。

説明: TRACE END コマンドへの応答で、サーバー・トレース・レコードはこれ以上書き込まれません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0923E** トレースは非アクティブ状態です。

説明: TRACE END コマンドが入力されましたが、トレースがアクティブ状態ではありません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: トレースが必要な場合には、TRACE ENABLE および TRACE START コマンドを使用してサーバー・トレースをアクティブ化してください。

**ANR0924E** トレースは既にファイル *file spec* に対してアクティブな状態になっています。

説明: TRACE BEGIN コマンドが入力されましたが、トレースは示されているファイルに対して既にアクティブ化されています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 現行のトレース出力ファイルが受け入れ可能な場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、TRACE END コマンドを実行してトレースを停止し、必要に応じて TRACE BEGIN コマンドを再発行してください。

**ANR0925E**   トレースは既に標準出力に対してアクティブな状態になっています。

説明: TRACE BEGIN コマンドが入力されましたが、トレースは標準出力宛先 (通常はサーバー・コンソール) に対して既にアクティブ化されています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 現行のトレース出力宛先が受け入れ可能な場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、TRACE END コマンドを実行してトレースを停止し、必要に応じて TRACE BEGIN コマンドを再発行してください。

**ANR0927E**   不明のトレース・クラス・キーワード - *class*。

説明: 不明のトレース・クラスを指定する TRACE ENABLE コマンドが入力されています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 正しいクラスを指定して TRACE コマンドを再発行してください。

**ANR0928E**   トレース・ファイル *file spec* を付加用にオープンできません。

説明: TRACE BEGIN コマンドに出力ファイルが指定されていますが、サーバーはこのファイルに書き込むことができません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: ファイルの正しいアクセス許可を調べるか、または別の出力ファイルを指定して TRACE コマンドを再発行してください。

**ANR0929E**   トレースをアクティブにするにはメモリーが不十分です。

説明: TRACE BEGIN コマンドが入力されましたが、サーバーには、トレースをアクティブ化するために使用できるメモリーが十分にありません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: トレースが必要な場合には、サーバーにさらに大きいメモリーを用意してからサーバーを再始動してください。

**ANR0936E**   クライアントが拡張修飾子属性をハンドルできないため、*session name* のセッション *session ID* は、**verb** *verb name* の送信に失敗しました。

説明: サーバーは指示されたセッションに報告された **verb** を送信していましたが、それを送信できませんでした。低レベル修飾子に関する拡張情報を含んでいるため、**verb** をクライアントに送信できませんでした。拡張低レベル修飾子は、512 バイトまでの長さの名前を保管するために使用されます。この **verb** が送信されるはずのクライアントは、拡張低レベル修飾子情報をサポートしません。

システムの処置: 報告されたセッションへの **verb** の送信は失敗し、このサーバー操作は失敗し、通信エラーを報告します。

ユーザーの処置: 報告されたクライアント・セッションは、拡張低レベル修飾子をサポートするために、インストール済みクライアントの IBM Spectrum Protect バージョン 5.1.5 またはそれ以降のバージョンへのアップグレードを要求します。

**ANR0937I**   期限切れプロセス *process ID* を終了しています。

説明: 参照されている期限切れプロセスは、取り消されたか、または必要なプロセスが完了したかのいずれかの理由により、終了しようとしています。このメッセージが表示されるのは、バックアップ・グループなどの関連ファイルのグループを削除する場合など、長時間の操作に対する期限切れ処理が実行されていた場合のみです。このメッセージは、長時間の操作が終了した時刻を示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0939E**   サブファイル (*subfileid*) の基本オブジェクト (*baseld*) を検索中にエラー *error code* が発生しました: ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、タイプ *file type*、ファイル名 *file name*。

説明: エクスポート処理は、指定のサブファイルの基本オブジェクトを検出できませんでした。エクスポート処理は続行されません。

システムの処置: エクスポート処理は停止されます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: データベースを監査して、エントリーを訂正してください。

**ANR0940I** プロセス *process ID* に対する取り消し要求は受け入れられました。

説明: 指定されたプロセスに対して CANCEL PROCESS コマンドが入力されています。一部のプロセスは終了が遅れる場合があります。リモート・データ移動が必要なプロセスではこの遅延が長くなる場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0941I** *Command:* プロセス *process ID* に対する取り消しは既に保留中です。

説明: 指定されたプロセスに CANCEL PROCESS コマンドが入力されましたが、このプロセスに対する取り消しは既に保留中になっています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0942E** *Command:* プロセス *process ID* が見つかりません。

説明: 指定されたプロセスに CANCEL PROCESS コマンドが入力されましたが、このプロセスは活動化されていません。プロセスが既に終了されているか、正しいプロセス番号が入力されていないかのいずれかです。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しくないプロセス番号を入力している場合には、正しいプロセス番号を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR0943E** *Command:* プロセス *process ID* を取り消すことができませんでした。

説明: 指定されたプロセスに CANCEL PROCESS コマンドが入力されましたが、指定されたプロセスは、マイグレーションやレクラメーションなどのような取り消し不可能の自動プロセスです。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: プロセスが REPLICATE NODE プロセスで、ターゲット・サーバー上にある場合、プロセスが進行中でソース・サーバーが使用可能ならば、そのプロセスを取り消すことはできません。ターゲット・サーバーは、ソース・サーバーとの通信をモニターします。最後の通信から 5 分が経過すると、ターゲット・サーバーは、ソース・サーバーが使用可能ではなくなったと

判断し、プロセスが取り消されます。プロセスがアイドル状態になってからの経過時間を確認するには、QUERY PROCESS コマンドを発行し、複製プロセスのプロセス ID を指定します。

**ANR0944E** *Command:* 活動状態のプロセスが見つかりません。

説明: QUERY PROCESS コマンドが入力され、活動状態のプロセスがありません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR0946E** アーカイブ処理が失敗しました。オブジェクト *objId* が見つかりませんでした。

説明: 指定のオブジェクトが見つからないため、アーカイブ処理に失敗しました。アーカイブ要求はステージの間で完了しています。オブジェクトは、これらのステージの間で開始され、完了したアーカイブ削除要求、ファイル・スペース削除、または期限切れによって削除されている場合があります。

システムの処置: システムの処理は続行されます。

ユーザーの処置: クライアント・ログにエラー・メッセージおよび再試行メッセージがないかどうか検査してください。再試行に失敗した場合はアーカイブ要求をやり直してください。

**ANR0947E** トレース・ファイル *file spec* への書き込みでエラー。

説明: 示されたトレース・ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

システムの処置: トレースは使用不可です。

ユーザーの処置: アクセス許可が正しいかどうか、またはトレース・ファイルのスペース不足の問題がないかどうかをファイルで調べます。これを訂正したら、同じ出力ファイルまたは別の出力ファイルを指定して、TRACE BEGIN コマンドを再発行します。

**ANR0950I** ノード *Node name* のセッション *Session number* は、サーバー・データのインライン重複排除またはインライン圧縮を使用しています。

説明: 指定されたノードおよびセッションで、インライン・データ重複排除またはインライン圧縮が使用されました。

システムの処置: データは、コンテナ・ストレージ・



プールへの書き込み時にサーバーによって重複排除されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0951I** ノード *Node name* のセッション *Session number* は、インライン・データ重複排除あるいは圧縮 (またはその両方) を使用して *files processed* 個のファイルを処理しました。オリジナルのバイト数は *bytes processed* でした。インライン・データ重複排除によって *bytes reduced by dedup* バイトのデータが削減され、圧縮によって *bytes reduced by compression* バイトのデータが削減されました。

説明: 指定されたノードに対するデータ重複排除処理あるいは圧縮処理 (またはその両方) が完了しました。

システムの処置: 指定されたノードに関する統計が表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0952W** ファイル・スペース *Filespace name* には暗号化されたデータが含まれているため、これをバックアップ・セットに組み込むことはできません。

説明: ファイル・スペースには暗号化されたデータが含まれているため、ファイル・スペースのデータをバックアップ・セットに組み込むことはできません。

システムの処置: ファイル・スペースはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0955I** 再始動可能リストア・セッションのために、ノード *node name* に対する **DELETE FILESPACE** *filespace name* が削除に失敗しました。

説明: 報告されたノードおよびファイル・スペースでは、再始動可能リストア・セッションが活動状態または再始動可能状態です。再始動可能リストア・セッションが存在する間は、ファイル・スペースを削除できません。

システムの処置: まだ最大試行回数を超えていなければ、サーバー・プロセスが再試行されます。

ユーザーの処置: QUERY RESTORE コマンドを使用して、このファイル・スペースの活動または再始動可能リストア・セッションを表示してください。セッションが完了するのを待つか、CANCEL RESTORE コマンドを使用してセッションを取り消し、その後で DELETE

FILESPACE コマンドを再発行してください。再始動可能リストア・セッションを表示するには、QUERY RESTORE コマンドを発行します。次のいずれかを行ってください。

- この再始動可能リストアが完了するまで待つから、DELETE FILESPACE コマンドを再発行します。
- 再始動可能リストア・セッションを CANCEL RESTORE コマンドで取り消します。

---

**ANR0958I** **CLEANUP BACKUPGROUPS** は、*objectcount* 個のグループ・オブジェクトを評価し、*errorcount* 個のエラーを検出し *deleted* グループ・オブジェクトを削除しました。その完了状態は *state* です。

説明: CLEANUP BACKUPGROUPS ユーティリティは、現状で終了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0960I** プロセス *process ID* が装置クラス *device class name* のマウント・ポイントを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、示されている装置クラスのボリュームに使用できるマウント・ポイントの待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはマウント・ポイントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR0961I** プロセス *process ID* が装置クラス *device class name* の複数のマウント・ポイントを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、示されている装置クラスのボリュームに使用できる複数のマウント・ポイントの待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはマウント・ポイントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR0962I** プロセス *process ID* が装置クラス *device class name* および *device class name* のマウント・ポイントを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、示されている 2 つの装置クラスのボリュームに使用できるマウント・ポイントの待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはマウント・ポイントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR0963I** プロセス *process ID* が入力ボリューム *volume name* のマウントを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、示されている入力ボリュームのマウントの待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはマウントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR0964I** プロセス *process ID* が出力ボリューム *volume name* のマウントを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、示されている出力ボリュームのマウントの待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはマウントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR0965I** プロセス *process ID* がスクラッチ・ボリュームのマウントを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、スクラッチ・ボリュームのマウントの待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはマウントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR0966I** プロセス *process ID* が入力ボリューム *volume name* へのアクセスを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、示されている入力ボリュームが使用可能になるまで待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはボリュームが使用可能になるまで待機します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0967I** プロセス *process ID* が出力ボリューム *volume name* へのアクセスを待機中。

説明: ID が示されているプロセスで、示されている出力ボリュームが使用可能になるまでの待機が開始されました。

システムの処置: このプロセスはボリュームが使用可能になるまで待機します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0981E** サーバーを始動する前に、サーバー・データベースはリストアされていなければなりません。

説明: このメッセージは次の 2 つのケースのうちの 1 つで発行されます。1) サーバーは不完全な RESTORE DB の後で再始動されました。サーバーを始動するためには、DSMSERV RESTORE DB コマンドを使用してデータベースを整合性のある状態にリストアしなければなりません。2) サーバー操作中に、IBM Spectrum Protect サーバーが続行できないようなエラー状態が発生しました。このメッセージが発行され、サーバーは停止されます。サーバーを再始動できるようにするには、DSMSERV RESTORE DB コマンドを使用してデータベースをリストアする必要があります。

システムの処置: サーバーの初期化が停止されるか、またはサーバーが停止されます。

ユーザーの処置: このエラー・メッセージと一緒に、関連する指示のある他のメッセージが発行された場合は、それらのメッセージの指示に従ってください。それから DSMSERV RESTORE DB コマンドを実行します。DSMSERV RESTORE DB コマンドが正常に完了したら、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動します。

---

**ANR0982I** ノード *Node name* のセッション *Session number* は、サーバー・サイド暗号化を使用しています。

説明: 指定されたノードおよびセッションでは、サーバー・サイド暗号化が使用されました。

システムの処置: データは、コンテナ・ストレージ・プールへの書き込み時にサーバーによって暗号化されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0983W** サーバー・プログラム・データベースは、サーバー・プログラムの下位レベル・バージョンによって記録されました。サーバーを始動して、データベースの内容を自動的に現行のサーバーのバージョンにアップグレードするためには、**UPGRADED** パラメーターが必要です。これを実行する前に用心のためのバックアップ手順についてのインストール上の指示事項を参照してください。

説明: サーバーの始動時に、データベース情報が前のバージョンのサーバー・プログラムによって書かれていて、このバージョンとは互換性がないことがサーバーに

よって検出されました。サーバー・データベースを自動的にこのバージョンのサーバー・プログラムにアップグレードするためには、サーバーの始動時に UPGRADEDDB パラメーターを指定しなければなりません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 現行のサーバー・レベルにアップグレードする前に、データベースのバックアップを取りたい場合には、予防措置に関する具体的な情報についてのインストール上の指示事項を参照してください。これらの措置を講じた後で、UPGRADEDDB パラメーターを指定してサーバーを始動してください。このパラメーターはサーバーを始動する時に一度指定する必要があるだけで、サーバーを始動する自動化プログラムに組み込んではありません。

---

**ANR0984I** *process name* のプロセス *process ID* は *process start time* に *process state* で開始されました。

説明: ID が表示されているプロセスが、示された状態で実行中のプロセス名によって示されたプロセスのために開始されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0985I** *process state* で実行していた *process name* に対するプロセス *process ID* は、*process start time* に完了状態 *completion state* で完了しました。

説明: 完了状態が FAILURE の場合は、操作がエラー条件を検出したか、または操作が完了する前に終了したことを示しています。完了状態が SUCCESS の場合は、操作が正常に実行されたことを示していますが、状況によっては、操作の結果に影響を及ぼす可能性がある条件を検出して通知した場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 完了状態が FAILURE の場合、活動記録ログおよびイベント・ログを確認して、障害の原因を判別してください。完了状態が SUCCESS の場合でも、活動記録ログおよびイベント・ログにより、操作に影響を与える可能性のある条件に関する警告メッセージの有無を確認できます。

---

**ANR0986I** *process state* で実行していた *process name* に対するプロセス *process ID* は、*process start time* に *completion state* の完了状態で、合計 *bytes processed* バイト、*items processed* 個の項目を処理しました。

説明: 完了状態が FAILURE の場合は、操作がエラー条件を検出したか、または操作が完了する前に終了したことを示しています。完了状態が SUCCESS の場合は、操作が正常に実行されたことを示していますが、状況によっては、操作の結果に影響を及ぼす可能性がある条件を検出して通知した場合があります。報告される合計バイト数は、トランザクションで処理されたソース・データのバイト数です。このバイト数には、出力に存在する可能性があるメタデータは含まれません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 完了状態が FAILURE の場合、活動記録ログおよびイベント・ログを確認して、障害の原因を判別してください。完了状態が SUCCESS の場合でも、活動記録ログおよびイベント・ログにより、操作に影響を与える可能性のある条件に関する警告メッセージの有無を確認できます。

---

**ANR0987I** *process state* で実行していた *process name* に対するプロセス *process ID* は、*process start time* に *completion state* の完了状態で *items processed* 個の項目を処理しました。

説明: 完了状態が FAILURE の場合は、操作がエラー条件を検出したか、または操作が完了する前に終了したことを示しています。完了状態が SUCCESS の場合は、操作が正常に実行されたことを示していますが、状況によっては、操作の結果に影響を及ぼす可能性がある条件を検出して通知した場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 完了状態が FAILURE の場合、活動記録ログおよびイベント・ログを確認して、障害の原因を判別してください。完了状態が SUCCESS の場合でも、活動記録ログおよびイベント・ログにより、操作に影響を与える可能性のある条件に関する警告メッセージの有無を確認できます。

---

**ANR0988I** *process state* で実行していた *process name* に対するプロセス *process ID* は、*process start time* に *completion state* の完了状態で *bytes processed* バイトを処理しました。

説明: 完了状態が FAILURE の場合は、操作がエラー条件を検出したか、または操作が完了する前に終了したことを示しています。完了状態が SUCCESS の場合は、操作が正常に実行されたことを示していますが、状況によっては、操作の結果に影響を及ぼす可能性がある条件を検出して通知した場合があります。

システムの処置: ありません。

## ANR0989E • ANR1000I

ユーザーの処置: 完了状態が FAILURE の場合、活動記録ログおよびイベント・ログを確認して、障害の原因を判別してください。完了状態が SUCCESS の場合でも、活動記録ログおよびイベント・ログにより、操作に影響を与える可能性のある条件に関する警告メッセージの有無を確認できます。

---

**ANR0989E** サーバーを始動する前に、サーバー・データベースを挿入またはリストアする必要があります。

説明: サーバーは LOADFORMAT コマンドの実行後に再始動されます。サーバーを始動するには、DSMSERV INSERTDB を実行、または DSMSERV RESTORE DB コマンドを使用してデータベースをリストアして、データベースをアップグレードする必要があります。

システムの処置: サーバーの初期化が停止されます。

ユーザーの処置: DSMSERV INSERTDB または DSMSERV RESTORE DB コマンドを実行してください。もう 1 つの方法として、DSMSERV INSERTDB コマンドで旧バージョンのサーバーをアップグレードしたり、あるいは DSMSERV RESTORE DB コマンドでデータベースのリストアを行う必要なしに、DSMSERV FORMAT コマンドを使用して通常使用サーバーの準備のためにインストールすることができます。

---

**ANR0990I** サーバーの再始動 - 回復が進行中。

説明: 停止またはシステム障害の後で、サーバーが再始動されました。必要な場合には、サーバーはシステムを整合性のある状態に戻すために回復処理を実行します。

システムの処置: サーバーの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0991I** *server* のシャットダウンが完了。

説明: HALT コマンドへの応答で、サーバーまたはストレージ・エージェントはその終了処理を完了しました。

システムの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントが終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0992I** サーバーのデータベース・フォーマットが完了しました。

説明: サーバーのフォーマット・プロシージャが正常に完了しました。サーバーは現在通常の操作に使用することができます。

システムの処置: サーバーはフォーマット処理を完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0993I** サーバーの初期化が完了。

説明: 停止またはシステム障害の後で、サーバーが再始動されました。通常の操作を再開することができます。

システムの処置: サーバーは初期化を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR0995W** サーバー・プログラムのこのバージョンはディスクに記録されている情報と比べて下位レベルです。もっと新しいバージョンのプログラムを使用する必要があります。

説明: サーバーの始動時に、ディスク情報が後のバージョンのサーバー・プログラムによって書き込まれていることをサーバーが検出しました。このバージョンのサーバー・プログラムを使用してはいけません。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 前のサーバー・プログラムが使用していたものと同じレベルのサーバー・プログラムのバージョンを開始してください。

---

**ANR0996W** ディスク上の情報は下位レベル・バージョンのサーバー・プログラムによって記録されたものです。このバージョンを使用するためには再インストールが必要です。

説明: サーバーの始動時に、ディスク情報が前のバージョンのサーバー・プログラムによって書かれていて、このバージョンには適合しないことがサーバーによって検出されました。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 情報を使用プログラムのレベルに更新するためには、このバージョンのサーバーをインストールしてください。

---

**ANR1000I** マイグレーション・プロセス *process ID* が、ストレージ・プール *storage pool name* automatically or manually、**highMig**=*highMig value*、**lowMig**=*lowMig value*、**duration**=*duration* に対して開始されました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション開始しきい値 (高しきい値) を超えたので、ストレ

ージ・プールからファイルをマイグレーションするプロセスが開始されました。注: *Duration* の *No* 値は、所要時間が指定されていない、すなわち、マイグレーションが所要時間なしに実行されることを意味します。

システムの処置: データはこのストレージ・プールから次の (ターゲット) プールに移動されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1001I** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション・プロセスは終了しています。このアクションは、ストレージ・プールのマイグレーションの低しきい値に達したか、マイグレーション対象のファイルを持つノードがこれ以上存在しないか、マイグレーション対象のボリュームがこれ以上存在しないか、または指定された所要時間が経過したかなどの理由により行われる場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1002I** あと *number of seconds* 秒でストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーションが再試行されます。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーションを行おうとしていて問題が起こったので、マイグレーションは遅らされますが、示されている時間後に再試行されます。

システムの処置: サーバーは指定された期間だけ待機してからストレージ・プールのマイグレーションを再試行します。この遅延は単一のマイグレーション・プロセスに適用されます。一定回数の正常に実行されなかった再試行後に、サーバーは自動的にこのプロセスを取り消します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、マイグレーションの遅延原因となった条件を訂正してください。

**ANR1003I** マイグレーション再試行遅延が終了しました。ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション状況を検査中。

説明: 問題が起こって示されているストレージ・プールのマイグレーションが遅らされたので、システムは待機してから再試行します。再試行の待機時間が終了したので、システムはマイグレーションを再試行します。

システムの処置: ストレージ・プールのマイグレーション処理が再開されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1004I** サーバーのフォーマットが完了し、データベースをロードする準備ができました。

説明: サーバーのフォーマット・プロシージャが正常に完了しました。DSMSERV LOADDB または DSMSERV RESTORE DB コマンドを出すことによって、サーバーはロードすることができます。

システムの処置: サーバーはフォーマット処理を完了しました。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるようにする前に、データベースをロードするのに DSMSERV LOADDB または DSMSERV RESTORE DB コマンドが必要です。

**ANR1013I** 保管操作の間、サーバーは、ストレージ階層内の次のプールに切り替えます。次のストレージ・プールは、宛先の 1 次ストレージ・プールから同時書き込み構成を継承します。

説明: バックアップ、アーカイブ、クライアント・マイグレーション、またはサーバー・インポートの各操作の間、サーバーが、ストレージ・プール階層内の次のプールにデータを書き込む必要がある場合は、以下の規則が適用されます。

1. 管理クラス・コピー・グループ内で指定されている宛先のストレージ・プールが、それに関連付けられている同時書き込み操作用のコピー・ストレージ・プールを 1 つ以上持つ場合。
  - a. サーバーは、次のストレージ・プール、および元の宛先 1 次ストレージ・プールに関連付けられているコピー・プールにデータを書き込みます。
  - b. 元の宛先 1 次ストレージ・プールの COPYCONTINUE 属性の設定値は、次のプールによって継承されます。
  - c. 次のプールが同時書き込み操作用に構成されている場合は、次のプールに関連付けられているコピー・ストレージ・プールが、その COPYCONTINUE 属性の値とともに無視されます。
2. 管理クラス・コピー・グループ内で指定されている 1 次ストレージ・プールが、それに関連付けられている同時書き込み操作用のコピー・プールを持たない場合。

- a. サーバーは、次のストレージ・プールにデータを書き込みます。
- b. 次のプールが同時書き込み操作に構成されている場合は、次のプールに関連付けられているコピー・プールが無視されます。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。同時書き込み構成について詳しくは、IBM Knowledge Centerを参照してください。

---

**ANR1014W** *pool type*のストレージ・プール *pool name* が使用不可か、同時書き込み操作に必要なスペースが十分ありません。

説明: 同時書き込みを使用するバックアップ、アーカイブ、クライアント・マイグレーション、またはインポート操作中に、サーバーがデータを指定したストレージ・プールに書き込むことができませんでした。考えられる理由は次のとおりです。

- ストレージ・プールが使用不可である。
- 指定したストレージ・プールに使用可能なスペースが十分でない。

システムの処置: 同時書き込み操作の結果は、元の宛先 1 次プール宛先の COPYCONTINUE 属性の設定値によって異なります。

- 宛先 1 次プールの COPYCONTINUE 属性の値が YES の場合は、サーバーは残りのセッションについては障害のあるコピー・プールへの書き込みを停止しますが、ストレージ階層およびその他の残ったコピー・プールの 1 次プールにファイルを保管し続けます。
- 宛先 1 次プールの COPYCONTINUE 属性の値が NO の場合は、サーバーはトランザクションに失敗し、操作を停止します。

ユーザーの処置: コピー・ストレージ・プールが READWRITE アクセス用に設定されていることを確認してください。必要な場合は、コピー・ストレージ・プールの使用可能なスペースを増やしてください。問題の訂正後に、以下のいずれかのアクションを実行します。

- 宛先 1 次プールの COPYCONTINUE 属性の値が YES の場合は、BACKUP STGPOL コマンドを発行して、ストレージ・プール階層内の 1 次ストレージ・プール内にあり、障害のあるコピー・プールにコピーされなかったファイルのバックアップを作成します。
- 宛先 1 次プールの COPYCONTINUE 属性の値が NO の場合は、同時書き込み操作を再実行します。

---

**ANR1015I** ストレージ・プール *pool name* で、*pending bytes* バイトの重複バイトの除去が保留されています。

説明: 示されているバイト数は、ストレージ・プール内の重複バイトと見なされていますが、データが入っているボリュームはまだレクラメーション処理されていません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1016W** システム上のファイバー・チャネル・アダプターを開けません。

説明: HBA API またはファイバー・チャネル HBA ドライバーに関する問題があるため、HBA API 機能はシステム上のファイバー・チャネル・ホスト・バス・アダプター (HBA) を開けません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect SAN ディスカバリー機能が機能していません。ご使用のファイバー・チャネル・ホスト・バス・アダプター (HBA) のベンダーを調べて、HBA API またはファイバー・チャネル HBA ドライバーのバージョンを更新してください。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

---

**ANR1018I** ストレージ・プール *storage pool name* 用に開始したボリューム重複排除プロセス *process ID*、識別プロセス *=number of identify processes*。

説明: 表示されたストレージ・プール用のボリューム重複排除プロセスが開始しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1019W** *node name* のノード属性を入手できません。

説明: HBA API 機能はノードの属性を入手できません。システムを再構成せずに SAN から装置を取り外すと、この問題が発生する場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: この装置に対して SAN ディスカバリーが機能していません。システム上の装置構成を検査してください。

---

**ANR1020W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、マイグレーションを実行していたプロセスが取り消されました。

システムの処置: マイグレーション・プロセスが終了します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1021W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - ストレージ・メディア・アクセス不能。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、必要なボリュームをマウントすることができませんでした。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: この障害の原因の 1 つとして、この操作のターゲット・ボリュームまたはストレージ・プールに対するアクセス権限状態が READWRITE に設定されていないことが考えられます。要求された出力ボリュームおよびストレージ・プールに対するアクセス権限状態を検査し、それらが ACCESS=READWRITE に設定されていることを確認します。

---

**ANR1022W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - 過度の読み取りエラーが見つかりました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、マイグレーションの続行を妨げる読み取りエラーが発生しました。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、読み取りエラーの原因を訂正してください。

---

**ANR1023W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - 過度の書き込みエラーが見つかりました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、マイグレーションの続行を妨げる書き込みエラーが発生しました。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、書き込みエラーの原因を訂正してください。

---

**ANR1024W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - データ転送が中断されました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、データの転送操作が中断されて続行できませんでした。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を訂正してください。

---

**ANR1025W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - 従属ストレージ・プールのスペースが足りません。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、データを入れる次のストレージ・プールに十分なスペースがないので、サーバーがストレージ・プールからデータを移動することができません。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: 次のストレージ・プールに使用可能なさらに大きいスペースを作るか、または UPDATE STGPOOL コマンドを使用して次のストレージ・プールをスペースの大きいストレージ・プールに変更してください。

---

**ANR1026W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - サイズによる除外のため従属ストレージ・プールにファイルを移動できません。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、ファイルが次のストレージ・プールに許されているサイズより大きいので、サーバーがストレージ・プールからデータを移動することができません。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: UPDATE STGPOOL コマンドを使用して次のストレージ・プールの最大ファイル・サイズを変更するか、または次のストレージ・プール・ターゲットを変更してください。

---

**ANR1027W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能な回復ログ・スペースが足りません。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、サーバーが回復ログ・スペースを使い切っています。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー回復ログ・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1028W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能なデータベース・スペースが足りません。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロ

セスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー・データベース・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1029W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - ロックの矛盾。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、サーバーは使用可能になっていないロックを獲得する必要があります。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: サーバーがマイグレーションを再試行するまで待ってください。

---

**ANR1030W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - スレッド・リソースが使用不可。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、サーバーがマイグレーション・プロセスのスレッドを開始できません。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: サーバーがマイグレーションを再試行するまで待ってください。このエラーが続いて起こった場合には、サーバー・メモリーが不足している可能性があります。

---

**ANR1031W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能なメモリーが足りません。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。



システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR1032W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - サーバー内部のエラーが検出されました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、サーバーが内部エラーを検出しています。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1033W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーション・プロセス *process ID* が終了しました - トランザクションは打ち切られました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、サーバーはトランザクションのコミットを試みる間にエラーを検出しました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: 示されているマイグレーション・プロセスは終了します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。示されているストレージ・プールに他のマイグレーション・プロセスが実行されている場合、それらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。

---

**ANR1034W** ボリューム *volume name* に保管されたファイルをマイグレーションできません - ボリュームがオフラインになっているか、あるいはアクセス・モードが「選択不可」または「破棄済み」となっています。

説明: マイグレーション中に、ボリュームがオフラインに変更されているか、またはボリュームのアクセス・モードのために、示されたボリュームに保管されたファイ

ルをマイグレーションすることができません。

システムの処置: サーバーはマイグレーション処理を続行しますが、示されているボリュームに保管されたファイルはスキップします。

ユーザーの処置: 必要な場合には、このボリュームに VARY ON または UPDATE VOLUME コマンドを使用してください。

---

**ANR1040I** ボリューム *volume name*、ストレージ・プール *storage pool name* のスペース・レクラメーションが開始されました (プロセス番号 *process ID*)。

説明: 示されているボリュームのレクラメーション処理が可能なスペースのパーセントが、このストレージ・グループに指定されたレクラメーション処理パーセントに達しました。その結果として、ボリュームからのデータは、このボリュームをレクラメーション処理できるように、別のボリュームに移動されます。

システムの処置: サーバーはボリューム・スペースのレクラメーションを開始します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1041I** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了しました。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーションは完了しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1042I** あと *number of seconds* 秒でストレージ・プール *storage pool name* のスペース・レクラメーションが再試行されます。

説明: 示されているストレージ・プールのスペース・レクラメーションを行おうとしていて問題が起こったので、レクラメーションは停止されますが、示されている時間後に再試行されます。一定回数の正常に実行されなかった再試行後に、このプロセスは自動的に取り消されます。

システムの処置: システムは指定された期間だけ待機してからストレージ・プールのスペース・レクラメーションを再試行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、レクラメーションを停止した条件を訂正してください。

**ANR1043I** スペース・レクラメーション再試行遅延が終了しました。ストレージ・プール *storage pool name* のボリューム・レクラメーション状況を検査中。

説明: 問題が起こって、示されているストレージ・プールのスペース・レクラメーションが停止されたので、システムは待機してから再試行します。再試行待機時間が終了したので、システムはスペース・レクラメーションを再試行することができます。

システムの処置: プールのレクラメーションが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1044I** スペース・レクラメーションには取り外し可能ボリューム *volume name* が必要です。

説明: スペースのレクラメーション処理中に、サーバーは処理を完了するために取り外し可能ボリュームが必要であると判断しています。

システムの処置: サーバーは取り外し可能ボリュームのマウントを試みます。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

**ANR1045E** ボリューム *volume name* のレクラメーションが終了しました。ボリューム上のファイルは、ターゲット・ストレージ・プール *storage pool name* に対して大きすぎます。

説明: 示されているボリュームのレクラメーション中に、ファイルが示されているストレージ・プールに許されているサイズより大きいので、サーバーがボリュームからデータを移動することができません。

システムの処置: ボリュームのレクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: UPDATE STGPOOL コマンドを使用してストレージ・プールの MAXSIZE パラメーターの値を変更してください。値を NOLIMIT として指定するか、レクラメーション処理される最大ファイルよりも大きい値を指定してください。

**ANR1046E** *command*: このサーバーでは、バックアップ・セットが使用されているため、現時点ではデータベース・アップグレードはサポートされません。

説明: 現行バージョンの IBM Spectrum Protect 6.1 サーバーは、バックアップ・セットをサポートしません。しかし、アップグレードしようとしているサーバーはバックアップ・セットを使用するため、この時点ではアップグレードできません。これは一時的な制約であり、将来の IBM Spectrum Protect 6.1 サーバーのフィックスパックで解除されます。

システムの処置: コマンドは、データベースにデータを挿入せずに終了します。

ユーザーの処置: バックアップ・セットをサポートするバージョンの IBM Spectrum Protect 6.1 サーバーを使用して、コマンドを再実行してください。

**ANR1047E** *command*: このサーバーでは、TOC を使用する NAS バックアップが使用されているため、現時点ではデータベース・アップグレードはサポートされません。

説明: 現行バージョンの IBM Spectrum Protect 6.1 サーバーは、目次 (TOC) を使用する NAS バックアップをサポートしません。しかし、アップグレードしようとしているサーバーは TOC を使用するため、この時点ではアップグレードできません。これは一時的な制約であり、将来の IBM Spectrum Protect 6.1 サーバーのフィックスパックで解除されます。

システムの処置: コマンドは、データベースにデータを挿入せずに終了します。

ユーザーの処置: TOC を使用する NAS バックアップをサポートするバージョンの IBM Spectrum Protect 6.1 サーバーを使用して、コマンドを再実行してください。

**ANR1048E** *command*: プロトコル・エラー - 順序違いの **verb** (タイプ *verb name*) を受け取りました。

説明: 定義済みの verb 順序に従っていない verb を受け取ったので、サーバーはデータベースのアップグレード中にプロトコル・エラーを検出しています。このエラーの原因として、アップグレードしている IBM Spectrum Protect 6.1 バージョンと互換性のないバージョンの DSMUPGRD ユーティリティを使用していることが考えられます。

システムの処置: コマンドは、データベースにデータを挿入せずに終了します。

ユーザーの処置: データの抽出に使用された DSMUPGRD のバージョンと互換性のあるバージョンのサーバーを使用して、コマンドを再実行してください。あるいは、サーバーのバージョンと互換性のある以前の

バージョンの DSMUPGRD を使用して、データを再抽出してください。

---

**ANR1049W** サーバーが、システム・ロケール属性から数値フォーマット情報を取得できませんでした。サーバーは代替の数値フォーマット *nmbrFmt* を代用します。

説明: サーバーはシステム・ロケールから有効な千の位の区切り文字および小数点の値を取得できないため、一部の数値をフォーマットできません。

システムの処置: サーバーは続行します。代替の数値フォーマットが使用されます。数値は、千の位の区切り文字にコンマを、小数点にピリオドを使用して表示されます。

ユーザーの処置: エラーがサーバーの初期化中に発生したかどうかを確認してください。サーバーの初期化中には、ロケールの初期化の問題が示される場合があります。サーバーがサポートしているロケールでサーバーが稼働しているかどうかを確認してください。そうでない場合は、サポートしているロケールでサーバーを再始動してください。

---

**ANR1053E** *Command:* 無効なプロセス番号 - *processIdvalue*

説明: 無効なプロセス番号を指定する QUERY EXPORT コマンドが発行されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なプロセス番号を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1054E** *Command:* 無効なエクスポート操作状態 - *export state*

説明: 無効なエクスポート状態を指定する QUERY EXPORT コマンドが発行されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なエクスポート操作状態を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1055E** *Command:* 無効なエクスポート・セッション ID 名 - *export sess name*.

説明: 発行されたコマンドが無効なエクスポート・セッション ID を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なエクスポート・セッション ID を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1056E** *command name:* エクスポート ID が指定されている場合、PROCESS パラメーターは無効です。

説明: 引数の無効な組み合わせのため、コマンドが実行されませんでした。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効なパラメーター・セットを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1057E** *command name:* STATE パラメーターが **INITIALIZING** または **SUSPENDED** の値で指定されている場合、PROCESS パラメーターは無効です。

説明: 引数の無効な組み合わせのため、コマンドが実行されませんでした。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効なパラメーター・セットを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1058E** *command name :* TOTIME を指定するときには TODATE を指定する必要があります。

説明: TODATE および TOTIME パラメーターをサポートするコマンドが、TOTIME パラメーターは指定されたが TODATE パラメーターは指定されずに発行されました。TOTIME パラメーターを使用するときは、TODATE パラメーターを指定しなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、TODATE パラメーターと TOTIME パラメーターの両方を指定してください。

---

**ANR1059I** 管理者 *administrator* によってプロセス *process ID* として開始された、NAS ノード *nodename*、ファイル・システム *file system* の選択リストア。指定のファイルまたはディレクトリー・ツリーあるいはその両方が宛先 *destination* にリストアされます。

説明: NAS ノードの指示されたファイル・システムのリストアが開始されます。この操作は表示された管理者によって開始されます。管理者によって指定された選

扱ファイルやディレクトリー・ツリーは、表示の宛先にリストアされます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1060W** ストレージ・プール *storage pool name* のスペース・レクラメーションを開始中にエラー - ロックの矛盾。

説明: 示されているストレージ・プールのスペース・レクラメーションを開始しようとしている時に、サーバーは使用可能になっていないロックを獲得する必要があるためです。

システムの処置: スペース・レクラメーションは停止します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからレクラメーションを再試行します。

ユーザーの処置: サーバーがレクラメーションを再試行するまで待ってください。

---

**ANR1061W** ストレージ・プール *storage pool name* のスペース・レクラメーションを開始中にエラー - 使用可能メモリーが足りません。

説明: 示されているストレージ・プールのスペース・レクラメーションを開始しようとしている時に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: スペース・レクラメーションは停止します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからレクラメーションを再試行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR1062W** ストレージ・プール *storage pool name* のスペース・レクラメーションを開始中にエラー - サーバー内部のエラーが検出されました。

説明: 示されているストレージ・プールのスペース・レクラメーションを開始しようとしている時に、内部サーバー・エラーが検出されています。

システムの処置: スペース・レクラメーションは停止します。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからレクラメーションを再試行します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1063I** 管理者 *administrator* によってプロセス *process ID* として開始された、**NAS** ノード *nodename*、ファイル・システム *file system* のフルバックアップ。

説明: NAS ノードの指示されたファイル・システムのフルバックアップが開始されます。この操作は表示された管理者によって開始されます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1064I** 管理者 *administrator* によってプロセス *process ID* として開始された、**NAS** ノード *nodename*、ファイル・システム *file system* の差分バックアップ。

説明: NAS ノードの指示されたファイル・システムの差分バックアップが開始されます。最後のフルバックアップ以降に変更したファイルだけが処理されます。この操作は表示された管理者によって開始されます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1065I** 管理者 *administrator* によってプロセス *process ID* として開始された、**NAS** ノード *nodename*、ファイル・システム *file system* のリストア。このファイル・システムのフル・イメージが宛先 *destination* にリストアされます。

説明: NAS ノードの指示されたファイル・システムのリストアが開始されます。この操作は表示された管理者によって開始されます。リストアは、このファイル・システムのフル・イメージを使用して実行されます。ファイル・システムは指示された宛先にリストアされます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1066I** 管理者 *administrator* によってプロセス *process ID* として開始された、**NAS** ノード *nodename*、ファイル・システム *file system* のリストア。このファイル・システムのフル・イメージと差分イメージとをプラスしたものが宛先 *destination* にリストアされます。

説明: NAS ノードの指示されたファイル・システムのリストアが開始されます。この操作は表示された管理者によって開始されます。リストアは、このファイル・システムのフル・イメージと差分イメージとをプラスしたものを使用して実行されます。ファイル・システムは指示された宛先にリストアされます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1067I** *Operation* プロセス *process ID* が完了しました。

説明: 指示された操作は完了しました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1068W** *Operation* プロセス *process ID* は終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 指示された操作中に、バックグラウンド・プロセスが取り消されました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1069E** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - 取り外し可能メディアで使用可能なマウント・ポイントの数が足りません。

説明: 示されている操作中に、サーバーが必要なボリュームに十分なマウント・ポイントを割り振ることができませんでした。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR1071E** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - 読み取りエラーが検出されました。

説明: 指示された操作中に、読み取りエラーで操作を続行できません。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合は、エラーの原因を訂正して、操作を再始動してください。

---

**ANR1072E** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - 宛先ストレージ・プールのスペースが不足しています。

説明: 指示された操作中に、宛先ストレージ・プールに使用可能なスペースが十分にありません。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ストレージ・プールで使用可能なスペースを増やして、その操作を再始動してください。

---

**ANR1073E** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能な十分な回復ログ・スペースがありません。

説明: 指示された操作中に、サーバーが回復ログ・スペースを使い切っています。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー回復ログ・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1074E** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - 十分なデータベース・スペースが使用できません。

説明: 指示された操作中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー・データベース・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1075E** *Operation* プロセス *process ID* は終了しました - ロックの競合。

説明: 指示された操作中に、サーバーは、使用可能になっていないロックを獲得する必要が生じました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: その操作を再始動してください。

---

**ANR1076E** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - 十分なメモリーが使用できません。

説明: 指示された操作中に、十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、サーバーで使用可能なメモリーをさらに大きくしてから、その操作を再始動します。

---

**ANR1077E** *Operation* プロセス *process ID* は終了しました - トランザクションが打ち切られました。

説明: 示された操作中に、トランザクションのコミットを試みている間に、サーバーがエラーを検出しました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

---

## ANR1078E • ANR1085E

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。

---

**ANR1078E** Operation プロセス *process ID* が終了しました - サーバーの内部エラーが検出されました。

説明: 示された操作中に、サーバーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1080W** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。プロセスは取り消されました。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、レクラメーションを実行するプロセスが取り消されました。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1081E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。ストレージ・メディアはアクセス不能です。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、必要なボリュームをマウントすることができません。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1082E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイントの数が足りません。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、サーバーが必要なボリュームに十分なマウント・ポイントを割り振ることができません。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行

中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR1083E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。過剰な読み取りエラーが発生しました。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、レクラメーションの続行を妨げる読み取りエラーが発生しました。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、読み取りエラーの原因を調べて訂正してください。

---

**ANR1084E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。過剰な書き込みエラーが発生しました。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、レクラメーションの続行を妨げる書き込みエラーが発生しました。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、書き込みエラーの原因を調べて訂正してください。

---

**ANR1085E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。データ転送は中断されました。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、データの転送操作が中断されて続行することができません。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を調べて訂正してください。

---

**ANR1086E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが完了しました。ストレージ・プールには十分なスペースがありません。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、ストレージ・プールのその他のボリュームに十分なスペースがないためにこのボリュームからデータを移動することができませんでした。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの他のボリュームに使用可能なより大きいスペースを作ってください。必要な場合は、次のストレージ・プールを定義してください。

---

**ANR1087E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。使用可能な回復ログ・スペースが十分にありません。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、サーバーが回復ログ・スペースを使い切っています。

システムの処置: スペース・レクラメーションは停止します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー回復ログ・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1088E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。使用可能なデータベース・スペースが十分にありません。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: スペース・レクラメーションは停止します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー・データベース・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1089E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。ロック対立があります。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメ

ーション中に、サーバーは使用可能になっていないロックを獲得する必要があります。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: サーバーがレクラメーションを再試行するまで待ってください。

---

**ANR1090E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。スレッド・リソースが使用不可です。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、サーバーがレクラメーション処理のスレッドを開始することができません。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: サーバーがレクラメーションを再試行するまで待ってください。このエラーが続いて起こった場合には、サーバー・メモリーが不足している可能性があります。

---

**ANR1091E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。使用可能なメモリーが十分にありません。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありませんでした。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR1092E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: 示されているボリュームのスペース・レクラメーション中に、サーバーが内部エラーを検出しています。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバ

ー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 QUERY ACTLOG コマンドを発行して活動記録ログを表示し、エラーの原因を示すメッセージを検索してください。 スペース・レクラメーションの失敗を引き起こした可能性があるエラーをすべてを訂正して、操作を再試行してください。

---

**ANR1093E** ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了されました。トランザクションは終了されました。

説明: 示されたボリュームのスペース・レクラメーション中に、サーバーはトランザクションのコミットを試みている間にエラーを検出しました。

システムの処置: ボリュームのスペース・レクラメーションは停止します。他のレクラメーション処理を実行中の場合、これらの処理はレクラメーションを続行します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。

---

**ANR1094E** 無効な宛先ストレージ・プール *storage pool name* がデータ・ムーバー *data mover* を使用してオブジェクトのストレージに指定されました。

説明: 指示されたデータ・ムーバーを使用してオブジェクトを保管中に、この操作では指示されたストレージ・プールは無効とサーバーが判別しました。指示されたストレージ・プールは割り当てられた管理クラスのコピー・グループの宛先として指定されているために、これが使用されます。

次の理由のいずれかによって、このストレージ・プールが無効になった可能性があります。

- ストレージ・プールが定義されていない
- ストレージ・プールがランダム・アクセス・ストレージ・プールであり、この操作には順次アクセスのストレージ・プールが必要である
- ストレージ・プールが 1 次ストレージ・プールでない
- ストレージ・プールが NATIVE または NONBLOCK データ・フォーマットになっていますが、これはこの操作ではサポートされていません
- ストレージ・プールが、サーバー・フリー操作に必要な NONBLOCK データ・フォーマットでない
- ストレージ・プールのデータ・フォーマットがデータ・ムーバーのデータ・フォーマットと一致していない

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージは通常、ストレージ・プールまたはポリシーのいずれかの構成問題を示しています。この操作について、データ・フォーマットも含めて、宛先ストレージ・プールが適切な属性であることを確認してください。割り当てられた管理クラスのコピー・グループを検査してください。宛先が間違っている場合は、新しい管理クラスを割り当てるか、あるいはコピー・グループの宛先を変更して、変更されたポリシーを活動化します。また、新しいストレージ・プールまたはデータ・ムーバーを定義する必要があるかどうかも考慮してください。

---

**ANR1095E** ノード *node name* およびファイル・スペース *filespace name* のデータ・ムーバー操作を開始できません - このノードおよびファイル・スペースと関係する操作は既に進行中です。

説明: データ・ムーバーを使用して、指示されたノードおよびファイル・スペースと関係する操作を実行する要求が行われました。指示されたファイル・スペースは、バックアップ操作のソース、またはリストア操作の宛先位置のいずれかとして指定されました。ただし、そのノードおよびファイル・スペースと関係するデータ・ムーバー操作は既に進行中です。指示されたファイル・スペースは、現在実行中のバックアップ操作のソースであるか、あるいは現在実行中のリストア操作の宛先であるか、のいずれかです。起こりうる競合を回避するために、新しい操作は実行されません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このノードおよびファイル・スペースの新しい操作を開始する前に、現行操作を完了することができます。

---

**ANR1096E** Operation プロセス *process ID* が終了しました - ストレージ・メディアにアクセス不能です。

説明: 示されている操作中に、必要なボリュームをマウントすることができません。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合は、問題を訂正して、操作を再始動してください。

---

**ANR1097E** Operation プロセス *process ID* が終了しました - データ転送が中断されました。

説明: 示されている操作中に、データの転送操作が中断されて、続行することができません。



システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合は、問題を訂正して、操作を再始動してください。

**ANR1098E** Operation プロセス *process ID* が終了しました - リトリブ中にデータ・ストレージからファイルが削除されました。

説明: 指示された操作中に、リトリブ中のデータ・ストレージからファイルが削除されました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1099E** Operation プロセス *process ID* が終了しました - スレッド・リソースが使用不可です。

説明: 示された操作中に、サーバーはスレッドを開始することはできません。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: この問題はメモリー不足を指示していることがあります。必要な場合は、サーバーで使用可能なメモリーをさらに大きくしてから、その操作を再始動します。

**ANR1100I** ボリューム *volume name*、ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーションが開始されました (プロセス番号 *process ID*)。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション開始しきい値 (高しきい値) を超えたので、示されているボリュームからのファイルのマイグレーションが開始されています。

システムの処置: システムはこのボリュームから次の (ターゲット) プールにデータを移動します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1101I** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了しました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーションの低しきい値に達したので、示されているボリュームからのファイルのマイグレーションは終了しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1102I** マイグレーションには取り外し可能ボリューム *volume name* が必要です。

説明: マイグレーション処理中に、サーバーは処理を完了するために、取り外し可能ボリュームが必要であると判断しています。

システムの処置: サーバーは取り外し可能ボリュームのマウントを試みます。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

**ANR1104E** Operation プロセス *process ID* が終了しました - NAS データ・ムーバー *NAS datamover name* が NDMP セッション・エラーを報告しました。

説明: 指示された操作中に、NAS ファイル・サーバーとの NDMP セッションで操作が続行できなくなるエラーが報告されました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 終了した NDMP 操作の原因を特定する方法の詳細については、NAS ファイル・サーバーの資料を参照してください。NAS ファイル・サーバーの NDMP ログを検査し、可能な場合は、エラーの原因を訂正して、操作を再始動してください。

**ANR1106W** イメージの目次を格納するために誤った宛先ストレージ・プール *storage pool name* が指定されました。このイメージの目次は作成されません。

説明: イメージ・オブジェクトを格納しようとしているときに、サーバーは、表示の目次 (TOC) 宛先ストレージ・プールが無効であると判定しました。表示のストレージ・プールは、割り当てられた管理クラスのコピー・グループの TOC 宛先として指定されているため、このストレージ・プールが使用されます。

次の理由のいずれかによって、このストレージ・プールが無効になった可能性があります。

- ストレージ・プールが定義されていない
- ストレージ・プールが 1 次ストレージ・プールでない
- ストレージ・プールに、NATIVE または NONBLOCK 以外のデータ・フォーマットがある

システムの処置: TOC の作成が設定されましたが、この操作には必要ないため、操作は続行されます。格納されるイメージ・オブジェクトの TOC は作成されません。

ユーザーの処置: このメッセージは通常、ストレージ・

プールまたはポリシーのいずれかの構成問題を示しています。データ・フォーマットなど、適切な属性が TOC 宛先ストレージ・プールにあることを確認してください。割り当てられた管理クラスのコピー・グループを検査してください。TOC 宛先が正しくない場合は、新しい管理クラスを割り当てるか、またはコピー・グループの TOC 宛先を変更して、変更されたポリシーを活動化します。

---

**ANR1107E** イメージ・オブジェクトの目次を格納するために誤った宛先ストレージ・プール *storage pool name* が指定されました。バックアップ操作は失敗します。

説明: イメージ・オブジェクトを格納しようとしているときに、サーバーは、表示の目次 (TOC) 宛先ストレージ・プールが無効であると判定しました。表示のストレージ・プールは、割り当てられた管理クラスのコピー・グループの TOC 宛先として指定されているため、このストレージ・プールが使用されます。

次の理由のいずれかによって、このストレージ・プールが無効になった可能性があります。

- ストレージ・プールが定義されていない
- ストレージ・プールが 1 次ストレージ・プールでない
- ストレージ・プールに、NATIVE または NONBLOCK 以外のデータ・フォーマットがある

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージは通常、ストレージ・プールまたはポリシーのいずれかの構成問題を示しています。データ・フォーマットなど、適切な属性が TOC 宛先ストレージ・プールにあることを確認してください。割り当てられた管理クラスのコピー・グループを検査してください。TOC 宛先が正しくない場合は、新しい管理クラスを割り当てるか、またはコピー・グループの TOC 宛先を変更して、変更されたポリシーを活動化します。

---

**ANR1108W** サーバーは、ストレージ・プール *storage pool name* のノード *node name*、ファイル・スペース *file space* に目次を作成できません。

説明: 表示の TOC 宛先プールに属する指定のノードやファイル・スペースに対して目次 (TOC) を作成しようとしたときに、障害が発生しました。

システムの処置: TOC の作成が設定されましたが、この操作には必要ないため、操作は続行されます。格納されるイメージ・オブジェクトの TOC は作成されません。

ユーザーの処置: 障害に関する具体的な理由を示しているメッセージを、直前に表示されたメッセージから探してください。適切な対策を講じてください。

---

**ANR1109W** *Command:* 目次が要求されましたが、目次宛先ストレージ・プールが指定されていませんでした。目次は作成されませんが、操作は続行されます。

説明: 目次 (TOC) の作成を準備しているときに、サーバーは、割り当て済みの管理クラスのバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先ストレージ・プールが指定されていないことを確認しました。

システムの処置: TOC の作成が設定されましたが、この操作には必要ないため、操作は続行されます。TOC は作成されません。

ユーザーの処置: このメッセージは、ポリシーに構成の問題があることを示しています。適切な属性に新しい管理クラスを割り当てるか、またはバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先を設定し、変更されたポリシーを活動化することにより、割り当てられた管理クラスを訂正してください。

---

**ANR1110E** *Command:* 目次が要求されましたが、目次宛先ストレージ・プールが指定されていませんでした。目次は作成できず、操作は失敗します。

説明: 目次 (TOC) の作成を準備しているときに、サーバーは、割り当て済みの管理クラスのバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先ストレージ・プールが指定されていないことを確認しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージは、ポリシーに構成の問題があることを示しています。適切な属性に新しい管理クラスを割り当てるか、またはバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先を設定し、変更されたポリシーを活動化することにより、割り当てられた管理クラスを訂正してください。TOC が不要な場合は、コマンドの TOC パラメーターの値を変更してください。

---

**ANR1111E** *Command:* 無効なメッセージ番号 *message number* が指定されました。

説明: 無効なメッセージ番号を指定している MSGSTACKTRACE ENABLE または MSGSTACKTRACE DISABLE コマンドが入力されました。メッセージは 3 桁から 8 桁にする必要があります。メッセージ番号では文字は許可されません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なメッセージ番号を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1112W** *Command:* ノード *Node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) で使用できる目次宛先ストレージ・プールがありません。目次は作成されません。

説明: 目次 (TOC) の作成を準備しているときに、サーバーは、割り当て済みの管理クラスのバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先ストレージ・プールが指定されていないことを確認しました。

システムの処置: TOC の作成が設定されましたが、この操作には必要ないため、操作は続行されます。TOC は作成されません。

ユーザーの処置: このメッセージは、ポリシーに構成の問題があることを示しています。適切な属性に新しい管理クラスを割り当てるか、またはバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先を設定し、変更されたポリシーを活動化することにより、割り当てられた管理クラスを訂正してください。

---

**ANR1113E** *Command:* ノード *Node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) で使用できる目次宛先ストレージ・プールがありません。バックアップ・セットは生成されません。

説明: 目次 (TOC) の作成を準備しているときに、サーバーは、割り当て済みの管理クラスのバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先ストレージ・プールが指定されていないことを確認しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージは、ポリシーに構成の問題があることを示しています。適切な属性に新しい管理クラスを割り当てるか、またはバックアップ・コピー・グループに TOC 宛先を設定し、変更されたポリシーを活動化することにより、割り当てられた管理クラスを訂正してください。TOC が不要な場合は、コマンドの TOC パラメーターの値を変更してください。

---

**ANR1114E** *Command:* バックアップ・セット操作の対象となるノードまたはデータ・タイプがありません。

説明: 指定されたノードまたはデータ・タイプはどれも、GENERATE BACKUPSET または DEFINE BACKUPSET コマンドのバックアップ・セットに含めることができません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 問題判別用の情報については、前のメッセージを参照してください。

---

**ANR1115W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーションを開始中にエラー - ロック対立。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーションを開始しようとしている時に、サーバーは使用可能になっていないロックを獲得する必要があります。

システムの処置: マイグレーションは停止されます。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: サーバーがマイグレーションを再試行するまで待ってください。

---

**ANR1116W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーションを開始中にエラー - 使用可能メモリーが足りません。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーションを開始しようとしている時に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: マイグレーションは停止されます。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR1117W** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーションを開始中にエラー - サーバー内部のエラーが検出されました。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーションを開始しようとしている時に、サーバーが内部エラーを検出しています。

システムの処置: マイグレーションは停止されます。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1118I** *Command:* ノード *Node name*、バックアップ・セット *backup set name* の目次が正常に生成されました。

説明: 指定されたバックアップ・セットおよびデータ・タイプの目次の生成を要求しました。目次は正常に生成されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1119W** Command: ノード *Node name*、バックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) の目次は既に存在します。 目次は作成されません。

説明: 指定されたバックアップ・セットおよびデータ・タイプの目次の生成を要求しましたが、この目次は既に存在します。

システムの処置: サーバーは、このバックアップ・セットおよびデータ・タイプの目次を生成しません。

ユーザーの処置: 指定されたバックアップ・セット名およびデータ・タイプが正しくない場合は、正しいパラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1120W** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 プロセスは取り消されました。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、マイグレーションを実行していたプロセスが取り消されました。

システムの処置: マイグレーション・プロセスは終了します。 他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1121E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 ストレージ・メディアはアクセス不能です。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、必要なボリュームをマウントすることができません。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。 他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: この障害の原因の 1 つとして、この操作のターゲット・ボリュームまたはストレージ・プールに対するアクセス権限状態が READWRITE に設定されていないことが考えられます。 要求された出力ボリュームおよびストレージ・プールに対するアクセス権限状態を検査し、それらが ACCESS=READWRITE に設定されていることを確認します。

---

**ANR1122E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイントの数が足りません。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、サーバーが必要なボリュームに十分なマウント・ポイントを割り振ることができませんでした。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。 他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR1123E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 過剰な読み取りエラーが発生しました。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、マイグレーションの続行を妨げる読み取りエラーが起きました。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。 他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、読み取りエラーの原因を訂正してください。

---

**ANR1124E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 過剰な書き込みエラーが発生しました。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、マイグレーションの続行を妨げる書き込みエラーが起きました。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。 他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、書き込みエラーの原因を訂正してください。

---

**ANR1125E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 データ転送は中断されました。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、データの転送操作が中断されて続行できませんでした。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を調べて訂正してください。

---

**ANR1126E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。従属ストレージ・プールに十分なスペースがありません。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、次のストレージ・プール上に十分なスペースがない、あるいは次のストレージ・プールが定義されていないために、サーバーがボリュームからデータを移動できませんでした。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 次のストレージ・プールが定義されていることを確認し、次のストレージ・プールで使用可能なスペースを増やしてください。UPDATE STGPOOL コマンドを使用して、次のストレージ・プールを、より多くのスペースを持つストレージ・プールに変更してください。

---

**ANR1127E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。ファイルが大きすぎるため、サーバーは従属ストレージ・プールにファイルを移動できません。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、ファイルが次のストレージ・プールに許されているサイズより大きいので、サーバーがボリュームからデータを移動することができません。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: UPDATE STGPOOL コマンドを使用して次のストレージ・プールの最大ファイル・サイズを変更するか、または次のストレージ・プール・ターゲットを変更してください。

---

**ANR1128E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。使用可能な回復ログ・スペースが十分にありません。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、サーバーが回復ログ・スペースを使い切っています。

システムの処置: マイグレーションは停止されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー回復ログ・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1129E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。使用可能なデータベース・スペースが十分にありません。

説明: 示されているボリューム・プールのマイグレーション中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: マイグレーションは停止されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー・データベース・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1130E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。ロック対立があります。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、サーバーは使用可能になっていないロックを獲得する必要があります。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: サーバーがマイグレーションを再試行するまで待ってください。

---

**ANR1131E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。スレッド・リソースが利用不能です。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、サーバーがマイグレーション・プロセスのスレッドを開始できません。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: サーバーがマイグレーションを再試行するまで待ってください。このエラーが続いて起こっ

た場合には、サーバー・メモリーが不足している可能性があります。

---

**ANR1132E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 使用可能なメモリーが十分にありません。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: マイグレーションは停止されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR1133E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: 示されているボリュームのマイグレーション中に、サーバーが内部エラーを検出しています。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。 他のマイグレーション・プロセスを実行中の場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1134E** ストレージ・プール *storage pool name* のマイグレーションが終了されました。 取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイントの数が足りません。

説明: 示されているストレージ・プールのマイグレーション中に、サーバーは次のストレージ・プールに十分なマウント・ポイントを割り振ることができません。

システムの処置: マイグレーションは停止されます。サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してからマイグレーションを再試行します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR1135E** ボリューム *volume name* のマイグレーションが終了されました。 トランザクションは終了されました。

説明: 示されたボリュームのマイグレーション中に、サーバーはトランザクションのコミットを試みている間にエラーを検出しました。

システムの処置: ボリュームのマイグレーションは停止します。 他のマイグレーション・プロセスを実行中の

場合、これらのプロセスはマイグレーションを続行します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。

---

**ANR1136W** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - **NAS** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space* の差分バックアップ用に処理するデータはありません。

説明: NAS ファイル・サーバーが、指定されたファイル・スペースの NDMP バックアップの終了時にゼロ・バイトが保管されていると報告しました。 コマンドは、サーバーのデータベースを更新せずに終了します。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1137E** *Operation* プロセス *process ID* が終了しました - オブジェクトは宛先ストレージ・プールおよび後続のすべてのプールでサイズのために除外されました。

説明: 指示された操作中に、宛先のストレージ・プールに許されるサイズより大きいファイルが、クライアント・ノードから送られました。 その大きなファイルを受け入れることができる後続ストレージ・プールはありません。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ストレージ階層において、そのファイルを収容できるように 1 つ以上のストレージ・プールの最大ファイル・サイズを大きくしてください。 許可された管理者は、UPDATE STGPOOL コマンドを出して MAXSIZE パラメーターを大きくすることができます。

---

**ANR1139E** 一部のデータが欠落していたために、*command name* コマンドは失敗しました。

説明: データベース・マネージャーからデータベース統計を収集する試みは失敗しました。 以下のいずれかの条件に該当する場合に、この失敗が起こる可能性があります。

- バッファー・プール・モニター・スイッチ (DFT\_MON\_BUFPOOL) が「オフ」に設定されています。 バッファー・プール・モニター・スイッチは、データベース統計のコレクションを制御します。
- ファイル・システムまたはドライブがリモート・ネットワーク内にあります。 サーバーがそれらのポリ

ユームの統計を収集できない原因となるネットワーク上の問題が発生している可能性があります。

システムの処置: このコマンドは実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 以下のいずれかのアクションを実行して、QUERY DBSPACE コマンドの実行を再試行してください。

- サーバーを停止して再始動してください。
- DB2 コマンド 'db2 update dbm cfg using DFT\_MON\_BUFPOOL ON' を使用して、バッファ・プール・モニター・スイッチを 'ON' に設定します。
- オペレーティング・システム・コマンドを実行してドライブまたはファイル・システムの統計を取得できない場合は、問題を修正してから、コマンドの実行を再試行してください。

---

**ANR1140I** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: MOVE DATA コマンドの結果として、示されているボリュームからデータを移動するプロセスが開始されています。

システムの処置: サーバーはこのボリュームからすべてのデータを移動します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1141I** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました。

説明: 示されているボリュームの MOVE DATA コマンドは完了しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1142I** *total clusters* 個のうちのコロケーション・クラスター *cluster number* のデータをボリューム *volume name* に移動中。

説明: MOVE DATA コマンドの結果として、示されているボリュームから新しいボリュームへデータがマイグレーションされています。メッセージにはボリューム上のクラスター (データ・オブジェクト) の合計数と現在処理中のクラスターが示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1143W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、データ移動を実行するプロセスが取り消されました。このプロセスの終了中にサーバーがこのメッセージを複数回発行する場合があります。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1144W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - ストレージ・メディア・アクセス不能。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、必要なボリュームをマウントすることができません。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1145W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - 取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイントの数が足りません。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、サーバーが必要なボリュームに十分なマウント・ポイントを割り振ることができませんでした。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR1146W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - 過度の読み取りエラーが見つかりました。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、移動の続行を妨げる読み取りエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、読み取りエラーの原因を訂正して MOVE DATA コマンドを再発行してください。

**ANR1147W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - 過度の書き込みエラーが見つかりました。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、移動の続行を妨げる書き込みエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、書き込みエラーの原因を訂正して MOVE DATA コマンドを再発行してください。

**ANR1148W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - データ転送が中断されました。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、データ転送操作が中断されて続行することができませんでした。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を調べて訂正してください。

**ANR1149W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - ターゲット・ストレージ・プールのスペースが足りません。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、データを入れる宛先ストレージ・プールに十分なスペースがないか、そのストレージ・プールへのアクセスが使用不可か、読み取り専用のため、サーバーがボリュームからデータを移動できません。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 次のストレージ・プールの使用可能なスペースをさらに大きくするか、あるいはより大きなスペースを持つストレージを指定して MOVE DATA コマンドを再発行してください。

**ANR1150W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - サイズによる除外のためターゲット・ストレージ・プールにファイルを移動できません。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、ファイルが次のストレージ・プールで許されているサイズより大きいので、サーバーがボリュームからデータを移動することができません。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンド

または MOVE NODEDATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: UPDATE STGPOOL コマンドを使用して次のストレージ・プールの最大ファイル・サイズを変更するか、または次のストレージ・プール・ターゲットを変更して MOVE DATA コマンドまたは MOVE NODEDATA コマンドを再発行してください。

**ANR1151W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - 使用可能な回復ログ・スペースが足りません。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、サーバーが回復ログ・スペースを使い切っています。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー回復ログ・スペースをさらに大きくしてください。

**ANR1152W** ボリューム *volume name* のデータ移動プロセスが終了しました - 使用可能なデータベース・スペースが足りません。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー・データベース・スペースをさらに大きくしてください。

**ANR1153W** ボリューム *volume name* のデータ移動処理が終了しました - ロック対立。

説明: データ移動処理中に、サーバーは指定されたボリュームを入手することができませんでした。ロック使用不能状態だったか、そのボリューム上にあるデータの再始動可能リストアが活動状態でロックしていたためです。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: QUERY RESTORE コマンドを発行して、再始動可能リストアをチェックしてください。もしも、指定したボリュームが QUERY RESTORE コマンドで識別されるノードおよびファイル・スペースからの任意のデータを含んでいる場合には、MOVE DATA コマンドは失敗します。再始動可能リストアは、MOVE DATA コマンドが正常終了する前に完了するか、取り消されている必要があります。

もしも、指定したボリュームが QUERY RESTORE コ



マンドで識別されるノードおよびファイル・スペースからの任意のデータを含んでいない場合には、MOVE DATA コマンドは再実行します。

---

**ANR1154W** ボリューム *volume name* のデータ移動プロセスが終了しました - スレッド・リソースが使用不可。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、サーバーがマイグレーション処理のスレッドを開始することができません。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: MOVE DATA コマンドを再発行してください。このエラーが続いて起こった場合には、サーバー・メモリーが不足している可能性があります。

---

**ANR1155W** ボリューム *volume name* のデータ移動プロセスが終了しました - 使用可能メモリーが足りません。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくして MOVE DATA コマンドを再発行してください。

---

**ANR1156W** ボリューム *volume name* のデータ移動プロセスが終了しました - サーバー内部のエラーが検出されました。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理中に、サーバーが内部エラーを検出しています。

システムの処置: サーバーは MOVE DATA コマンドを終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1157I** 移動プロセスには取り外し可能ボリューム *volume name* が必要です。

説明: データ移動処理またはノード・データ移動処理中に、処理を完了するには、指示された取り外し可能ボリュームが必要であるとサーバーが判断しています。

システムの処置: サーバーは取り外し可能ボリュームのマウントを試みます。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

---

**ANR1160W** ボリューム *volume name* のトランザクションが打ち切られました。

説明: トランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1161W** 移動プロセスがボリューム *volume name* 上の損傷ファイルをスキップ中: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、ファイル名 *file name*。

説明: 移動プロセス中に、前に損傷のあったファイルが見つかりました。このファイルが集合体の一部である場合には、集合体全体に損傷ありのマークが以前に付けられています。理由はおそらくその集合体内の他のファイルにエラーが検出されたためと考えられます。

システムの処置: 損傷のあるファイルは移動されません。

ユーザーの処置: 次のアクションを実行してください。

- 示されているボリュームを FIX=NO で監査して、ファイルに損傷があるかどうか検査します。監査中にファイルに損傷のないことがわかれば、この監査でファイルの状況がリセットされます。ファイルが集合体の一部である場合は、集合体全体に損傷がないことがわかれば、この監査で集合体の状況がリセットされます。
- このボリュームが前にコピー・ストレージ・プールにバックアップされている 1 次ストレージ・プール中にある場合には、RESTORE STGPOOL コマンドを使用して損傷のあるファイルのリストアを試みてください。

---

**ANR1162W** スペース・レクラメーションがボリューム *volume name* 上の損傷ファイルをスキップ中: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、ファイル名 *file name*。

説明: レクラメーション中に、前に損傷のあったファイルが見つかりました。このファイルが集合体の一部で

ある場合には、おそらくその集合体の中で他のファイルについて保全性のエラーが検出されたためと考えられます。

システムの処置: 損傷のあるファイルは移動されません。

ユーザーの処置: 示されているボリュームを `FIX=NO` で監査して、ファイルに損傷があるかどうか検査します。監査中にファイルに損傷のないことがわかれば、この監査でファイルの状況がリセットされます。ファイルが集合体の一部である場合は、集合体全体に損傷がないことがわかれば、この監査で集合体の状況がリセットされます。このボリュームが前にコピー・ストレージ・プールにバックアップされている 1 次ストレージ・プール中にある場合には、`RESTORE STGPOOL` コマンドを使用して損傷のあるファイルのリストアを試みてください。

---

**ANR1163W** 移動できなかったファイルがオフサイト・ボリューム *volume name* にまだ入っています。

説明: `MOVE DATA` コマンドの処理中またはレクラメーション中に、サーバーが示されているオフサイト・ボリュームに、移動できない 1 つ以上のファイルが入っているのを確認しました。1 つ以上のファイルを他の使用可能ボリュームからコピーすることができませんでした。

ストレージ・プールの連結され、移動中またはレクラメーション中のボリューム内に別の出力ボリュームが必要なファイルがある場合、サーバーは一部のファイルを移動しない場合があります。サーバーはこれらのファイルをスキップします。スキップされたファイルを示すメッセージは発行されません。ファイルはスキップされ、ストレージ・プールのコロケーション属性が受け入れられます。

ストレージ・プール内のファイルが重複排除されている場合、オンサイト・コピーが使用できないために、それらはスキップされる可能性があります。これは、ポリシーの保存設定または明示的な削除により、ファイルが他のすべてのストレージ・プールから論理的に削除されているが、それらのファイルが重複排除の依存関係のためにオフサイト・ストレージ・プールに残されている必要がある場合に起こることがあります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ファイルを移動できない理由を示しているメッセージを調べてください。移動操作を完了するためには、次のようないくつかのオプションがあります。

- ボリュームをオンサイトに戻し、`MOVE DATA` コマンドを再発行してボリュームをレクラメーション処

理します。ストレージ・プールが重複排除されていて、すべての 1 次ストレージ・プール・ボリュームが使用可能である場合、これは推奨される解決方法です。

- 1 次ボリュームを使用可能にし、`MOVE DATA` コマンドを実行し直してボリュームをレクラメーション処理します。
- `DELETE VOLUME` コマンドを使用してファイルを削除します。

ストレージ・プールのコロケーション属性を受け入れるためにサーバーがファイルをスキップする場合は、`MOVE DATA` コマンドを実行するか、またはレクラメーション処理が再度実行されるまで待機します。いずれの場合も、移動中またはレクラメーション中のボリュームが空になるまで、サーバーは適切な出力ボリュームにファイルを移動します。ボリュームを完全に空にするには、移動を複数回実行しなければならない場合があります。

---

**ANR1165E** ストレージ・プール *storage pool name* 内のファイルでエラーが検出されました: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: 示されたファイルでサーバーがエラーを検出しました。

システムの処置: このファイルにはサーバー・データベースで損傷があるとしてマークが付けられ、将来の操作ではアクセスされません。このファイルが集合体の一部である場合には、集合体全体に損傷のマークが付けられます。別のストレージ・プールにこのファイルの使用可能コピーが存在する場合には、このファイルにかかわる将来の操作でそのコピーにアクセスすることができます。

ユーザーの処置: 示されているストレージ・プールが 1 次プールで、コピー・ストレージ・プールにこのファイルの使用可能コピーが存在する場合には、`RESTORE STGPOOL` コマンドを使用して 1 次プールにこのファイルを再作成することができます。示されているストレージ・プールがコピー・ストレージ・プールの場合には、このファイルの 1 次コピーを使用できる可能性があります。1 次ストレージ・プールまたはボリュームのアクセス・モードが使用できないので、アクセスできませんでした。この場合には、1 次プールまたはボリュームのアクセス・モードを変更して、ファイルの 1 次コピーにアクセスできるようにすることができます。

**ANR1166E** オフサイト・ボリュームのデータ移動がストレージ・プール *storage pool name* 内の損傷ファイルをコピーできません: ノード *node name*、タイプ *file type*、スプール・ファイル *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: オフサイト・ボリュームのデータ移動プロセスで、サーバーによってアクセス可能な任意のストレージ・プールに、指定されたファイルの損傷のないコピーを見つけることができません。このファイルが集合体の一部である場合には、そのファイルが属する集合体の損傷のないコピーをプロセスで位置指定することはできません。

システムの処置: このファイルはスキップされ、オフサイト・ボリュームから移動されません。

ユーザーの処置: 示されているストレージ・プールは、このファイルの損傷のあるコピーが入っている 1 次プールです。このファイルの使用可能な唯一のコピーは、このデータ移動プロセスにかかわるオフサイト・ボリューム上にしか存在しない可能性があります。このボリュームをオンサイトに戻せば、**RESTORE STGPOOL** コマンドを使用して 1 次プールにこのファイルを再作成することができます。リストア後に **MOVE DATA** コマンドを再発行することができます。

**ANR1167E** オフサイト・ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションでストレージ・プール *storage pool name* 内の損傷ファイルをコピーできません: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: オフサイト・ボリュームのレクラメーション処理で、サーバーによってアクセス可能な任意のストレージ・プールに、指定されたファイルの損傷のないコピーを見つけることができません。このファイルが集合体の一部である場合には、そのファイルが属する集合体の損傷のないコピーをプロセスで位置指定することはできません。

システムの処置: このファイルはスキップされ、オフサイト・ボリュームから移動されません。

ユーザーの処置: 示されているストレージ・プールは、このファイルの損傷のあるコピーが入っている 1 次プールです。このファイルの使用可能な唯一のコピーは、このレクラメーション処理にかかわるオフサイト・ボリューム上にしか存在しない可能性があります。完全にはレクラメーションされませんでした。このボリュームをオンサイトに戻せば、**RESTORE STGPOOL** コマ

ンドを使用して 1 次プールにこのファイルを再作成することができます。

**ANR1168W** マイグレーションがボリューム *volume name* 上の損傷ファイルをスキップ中: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: マイグレーション中に、前に損傷のあったファイルが見つかりました。このファイルが集合体の一部である場合には、おそらくその集合体の中で他のファイルについて保全性のエラーが検出されたためと考えられます。

システムの処置: 損傷のあるファイルは移動されません。

ユーザーの処置: 示されているボリュームを **FIX=NO** で監査して、ファイルに損傷があるかどうか検査します。監査中にファイルに損傷のないことがわかれば、この監査でファイルの状況がリセットされます。ファイルが集合体の一部である場合は、集合体全体に損傷がないことがわかれば、この監査で集合体の状況がリセットされます。このボリュームが前にコピー・ストレージ・プールにバックアップされている 1 次ストレージ・プール中にある場合には、**RESTORE STGPOOL** コマンドを使用して損傷のあるファイルのリストアを試みることもできます。

**ANR1169W** オフサイト・ファイルの移動時にロック対立 - ファイルはスキップされます。

説明: オフサイトのボリュームのマイグレーション、レクラメーション、またはデータ移動処理中に、1 次ディスク・ストレージ・プールに入っているファイルのコピーが別の処理によってロックされています。

システムの処置: このファイルはスキップされ、このプロセスはコピー・ストレージ・プールにあるファイルの別のコピーを見つけようとします。別のコピーを使用できない場合には、ボリュームの移動操作は不完全なものになる可能性があります。

ユーザーの処置: 移動操作が不完全な場合には、操作を繰り返してください。

**ANR1170E** ターゲット・コピー・ストレージ・プールのスペース不足:*copy storage pool name*。

説明: オフサイトのボリュームのレクラメーションまたはデータ移動処理中に、指定されたターゲットのコピー・ストレージ・プールに使用できるボリュームがありませんでした。

システムの処置: この操作は終了します。

ユーザーの処置: コピー・ストレージ・プールにボリュームを定義するか、または MAXSCRATCH 値を増加します。

---

**ANR1171W** リストアが進行中のため、ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name fsId filespace id* と関連したファイルをボリューム *volume name* に移動できません。

説明: 順次ボリュームからのデータの移動 (マイグレーション、レクラメーション、データ移動) 中に、リストア操作によってロックされている 1 つ以上のファイルが出てきました。

システムの処置: ファイルは移動されず、スキップされます。

ユーザーの処置: QUERY RESTORE

FORMAT=DETAILED コマンドを使用して、リストア操作が活動状態であるか再始動可能状態であるかを判別します。再始動可能リストア操作は、RESTOREINTERVAL に達するまで、ファイルが移動しないようにロックしています。QUERY OPTION によりこの間隔が表示されます。RESTOREINTERVAL を下げて、再始動可能リストア操作を除去し、ロックされたファイルを空けることが可能です。RESTOREINTERVAL はサーバー・オプションです。MOVE DATA 操作が原因でこのメッセージを受け取った場合は、残りのすべてのファイルを移動するために、リストア操作が完了した後で MOVE DATA コマンドを再発行してください。

---

**ANR1172E** オフサイト・ボリュームのデータ移動がストレージ・プール *storage pool name* 内のファイルをコピーできません: ノード *node name*、タイプ *file type*、スプール・ファイル *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: オフサイト・ボリュームのデータ移動プロセスで、サーバーによってアクセス可能な任意のストレージ・プールに、指定されたファイルのコピーを見つけることができません。このファイルが集合体の一部である場合には、そのプロセスでそのファイルが属する集合体のコピーをアクセス可能なボリューム上に見つけることができませんでした。

システムの処置: このファイルはスキップされ、オフサイト・ボリュームから移動されません。

ユーザーの処置: 示されているストレージ・プールは、このファイルの 1 次コピーが入っているはずの 1 次プールです。ファイルは、破棄されたボリュームに入っていると考えられます。このファイルの使用可能な唯

一のコピーは、このデータ移動プロセスにかかわるオフサイト・ボリューム上にしか存在しない可能性があります。このボリュームをオンサイトに戻せば、RESTORE STGPOOL コマンドを使用して 1 次プールにこのファイルを再作成することができます。リストア後に MOVE DATA コマンドを再発行することができます。

---

**ANR1173E** オフサイト・ボリュームのスペース・レクラメーションでストレージ・プール *storage pool name* 内のファイルをコピーできません: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: オフサイト・ボリュームのレクラメーション処理で、サーバーによってアクセス可能な任意のストレージ・プールに、指定されたファイルのコピーを見つけることができません。このファイルが集合体の一部である場合には、そのプロセスでそのファイルが属する集合体のコピーをアクセス可能なボリューム上に見つけることができませんでした。

システムの処置: このファイルはスキップされ、オフサイト・ボリュームから移動されません。

ユーザーの処置: 示されているストレージ・プールは、このファイルのコピーが入っているはずの 1 次プールです。ファイルは、破棄されたボリュームに入っていると考えられます。このファイルの使用可能な唯一のコピーは、このレクラメーション処理にかかわるオフサイト・ボリューム上にしか存在しない可能性があります。完全にレクラメーションされませんでした。このボリュームをオンサイトに戻せば、RESTORE STGPOOL コマンドを使用して 1 次プールにこのファイルを再作成することができます。

---

**ANR1174W** ボリューム *volume name* 上で 1 つ以上のキャッシュ・ファイルが削除されませんでした。

説明: MOVE DATA コマンドが表示されたディスク・ボリューム上の 1 つ以上のキャッシュ・ファイルを削除できませんでした。MOVE DATA コマンドがキャッシュ・ファイルを削除しようとしている時に、同時にマイグレーションが実行中であり、キャッシュ・ファイルが作成中であつたと考えられます。

システムの処置: MOVE DATA コマンドは、完了まで実行されました。

ユーザーの処置: 残りのキャッシュ・ファイルをディスク・ボリュームから除去したい場合には、MOVE DATA コマンドを実行依頼し直してください。

**ANR1175W** ボリューム *volume name* にレクラメーション処理できないファイルが含まれています。

説明: 示されたボリュームのレクラメーションの後に、まだそのボリュームにレクラメーションできなかった 1 つ以上のファイルが含まれています。こうしたファイルは、読み取りエラーのため、あるいはファイルが損傷としてマークされているためにスキップされました。

システムの処置: ボリュームは使用不可としてマークされており、レクラメーションにもう一度選択されることはありません。

ユーザーの処置:

- UPDATE VOLUME コマンドを使用して、ボリューム・アクセスを読み取り専用に設定してください。
- MOVE DATA コマンドを使用して、手操作でボリュームをレクラメーション処理してみてください。
- ファイルがまだボリュームに存在する場合には、AUDIT VOLUME FIX=YES を使用してボリュームを監査してください。
- もう一度 MOVE DATA コマンドを使用してみてください。
- RESTORE VOLUME コマンドを使用して、損傷としてマークされたファイルをリストアしてください。

**ANR1176I** *total sets* 個のうちのコロケーション・セット *set number* のデータをボリューム *volume name* に移動中。

説明: MOVE DATA、MOVE NODEDATA、マイグレーション、またはレクラメーションなどの移動操作の結果、サーバーが指示されたボリュームから新しいボリュームにデータを移動しています。このメッセージは、処理対象のボリュームにある合計データ・セットを示しています。宛先ストレージ・プールのコロケーション設定によって、セットは同じコロケーション・グループに属するファイル・スペースになるか、ノード用のファイル・スペースになるか、または単一ファイル・スペースになります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1178I** 1 次ストレージ・プール *primary pool name* から活動データ・プール *active data pool name* へのアクティブ・ファイルのコピーがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 1 次ストレージ・プールから示されている活動デ

ータに活動データをコピーするプロセスが開始されました。

システムの処置: 1 次プールのすべての非キャッシュ・アクティブ・ファイルに対して、そのファイルにコピーがまだ存在しない場合には、活動データ・プールにコピーが作成されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1179I** 1 次ストレージ・プール *primary pool name* から活動データ・プール *active data pool name* にアクティブ・ファイルをコピーするプレビューがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 1 次ストレージ・プールから示されている活動データ・プールに活動データをコピーするプレビュー・プロセスが開始されました。

システムの処置: COPY ACTIVATEDATA 操作についてのプレビュー情報が収集されて表示されますが、ファイルはコピーされません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1181E** *Diagnostic (ID):* データ・ストレージ・トランザクション *transaction ID* が打ち切られました。

説明: データ・ストレージの処理中に検出されたエラーのために、データベース・トランザクションが実行されませんでした。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: データ・ストレージの処理中にこのエラーが起きたサーバー操作は、実行されません。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。

**ANR1182I** セッション *session id* からのリストア要求には取り外し可能ボリューム *volume name* が必要です。

説明: リストア要求には取り外し可能ボリュームが必要です。このメッセージは、ボリュームが必要であるとサーバーが判断した時点で直ちに発行されます。実際に処理でボリュームが必要になると、マウント要求が出されます。必要なボリュームの初回判別が完了すると、メッセージ ANR1183I が発行されます。ただし、メッセージ ANR1183I の説明にあるように、後で追加ボリュームが必要となることがあります。DISK 装置クラスのボリュームと FILE 装置クラスのボリュームの

場合は、このメッセージは発行されません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

**ANR1183I** セッション *session id* からのリストア要求に必要な取り外し可能ボリュームの初期判別が完了しました。追加ボリュームが必要になる場合があります。

説明: 示されているリストア・セッションに必要なボリュームの初回判別が完了しました。個別のオブジェクトのリストア時に追加ボリュームが必要になることがあります。これはさまざまな理由で発生します。この理由の一部を以下に示します。1. オブジェクトが 1 つのボリュームから別のボリュームにスパンしており、このリストア・セッションでは他のオブジェクトにこの 2 番目のボリュームが必要とされない。2. オブジェクトが壊れており、リストア操作を完了するにはコピー・ストレージ・プール・ボリュームが必要である。3. ボリュームが使用不可であり、リストア操作を完了するにはコピー・ストレージ・プール・ボリュームが必要である。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 追加ボリュームのマウント要求に応答してください。

**ANR1184I** ストレージ・プール *storage pool name* の活動データのコピー・プロセス *process ID* が終了しました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールの COPY ACTIVATEDATA プロセスが終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1185I** ストレージ・プール *storage pool name* の活動データのコピー・プロセス *process ID* が終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールからの活動データのコピー中に、操作を実行中のプロセスが取り消されました。

システムの処置: 指定ストレージ・プールに対して他の活動データのコピー・プロセスが実行中の場合には、それらのプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1186I** ノード *nodename*、ファイル・システム *file system* のリストアは、管理者 *administrator* によってプロセス *process ID* として開始されました。このファイル・システムはフル・イメージが宛先 *destination* にリストアされます。

説明: 管理者は、ノードのファイル・システムのリストアを開始します。リストアは、このファイル・システムのフル・イメージを使用して実行されます。ファイル・システムは指示された宛先にリストアされます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1189I** 活動データをコピーするには取り外し可能ボリューム *volume name* が必要です。

説明: COPY ACTIVATEDATA コマンドの処理中に、サーバーが取り外し可能ボリュームが必要であることを確認しています。

システムの処置: これがプレビュー・プロセスでない場合には、サーバーは取り外し可能ボリュームをマウントしようとしています。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

**ANR1199I** 監査処理には取り外し可能ボリューム *volume name* が必要です。

説明: 示されているボリュームのボリューム監査処理中に、サーバーが処理を完了するために取り外し可能ボリュームが必要であると判断しています。

システムの処置: サーバーは取り外し可能ボリュームのマウントを試みます。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

**ANR1210I** コピー・ストレージ・プール *copy pool name* への 1 次ストレージ・プール *primary pool name* のバックアップがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 1 次ストレージ・プールを示されているコピー・ストレージ・プールにバックアップするプロセスが開始されました。

システムの処置: 1 次プールのすべての非キャッシュ・ファイルに対して、そのファイルにコピーがまだ存在しない場合には、コピー・プールにバックアップ・コピーが作成されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1211I** コピー・ストレージ・プール *copy pool name* への 1 次ストレージ・プール *primary pool name* のバックアップ・プレビューがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 1 次ストレージ・プールを示されているコピー・ストレージ・プールにバックアップするプレビュー・プロセスが開始されました。

システムの処置: バックアップ操作についてのプレビュー情報が収集されて表示されますが、ファイルはバックアップされません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1212I** ストレージ・プール *storage pool name* のバックアップ・プロセス *process ID* が終了しました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールのバックアップ・プロセスが終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1213I** ストレージ・プール *storage pool name* のバックアップ・プロセス *process ID* が終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールのバックアップ中に、バックアップを実行しているプロセスが取り消されました。

システムの処置: 示されているストレージ・プールに他のバックアップ・プロセスが実行中の場合には、それらのプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1214I** *copy pool name* コピー・ストレージ・プールへの *primary pool name* 1 次ストレージ・プールのバックアップが完了しました。バックアップされたファイル数: *number of backed up files* バックアップされたバイト数: *number of backed up bytes* バックアップされた重複排除バイト数: *number of backed up dedup bytes* 読み取れないファイル数: *number of unreadable files* 読み取れないバイト数: *number of unreadable bytes*

説明: 指定されたストレージ・プールのバックアップ処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べて、すべてのバックアップ・プロセスが正常に終了しているかどうかを確認してください。

---

**ANR1215I** *copy pool name* コピー・ストレージ・プールへの *primary pool name* 1 次ストレージ・プールのバックアップ・プレビューが完了しました。バックアップされたファイル数: *number of backed up files* バックアップされたバイト数: *number of backed up bytes* バックアップされた重複排除バイト数: *number of backed up dedup bytes*

説明: 指定されたストレージ・プールのバックアップ・プレビュー処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1216E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - ストレージ・メディアにアクセス不能です。

説明: バックアップ処理中に、必要なボリュームをマウントできませんでした。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1217E** *Command:* プロセス *process ID* が停止しました。取り外し可能メディアに使用できるマウント・ポイントの数が不足しています。

説明: バックアップ処理中に、サーバーが、必要なボリュームに十分なマウント位置を割り振ることができませんでした。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。セクションまたはプロセスがマウント・ポイントを待機しないで済むようにするには、装置クラス定義で MOUNTLIMIT パラメーターの値を増やします。

MOUNTLIMIT パラメーターの値は、重複排除されたストレージ・プールを使用するすべてのサーバー・プロセスが NUMOPENVOLSALLOWED オプションで指定される数のボリュームを開くことができるように十分に高く設定してください。

---

**ANR1218E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 過剰読み取りエラーが起きました。

説明: バックアップ処理中に、バックアップの続行を妨げる読み取りエラーが発生しました。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、読み取りエラーの原因を訂正してバックアップ・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1219E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 過剰書き込みエラーが起きました。

説明: バックアップ処理中に、バックアップの続行を妨げる書き込みエラーが発生しました。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、書き込みエラーの原因を訂正してバックアップ・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1220E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - データ転送が中断されました。

説明: バックアップ処理中に、データの転送操作が中断されて続行することができませんでした。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を訂正してバックアップ・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1221E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - ターゲット・ストレージ・プール *pool name* のスペースが不足しています。

説明: バックアップ処理中に、指定したコピー・ストレージ・プールまたは活動データ・ストレージ・プールに使用可能なスペースが十分でない、もしくは、そのコピー・ストレージ・プールまたは活動データ・ストレージ・プールにアクセスが使用不可か、読み取り専用のため、サーバーがそのコピー・ストレージ・プールまたは活動データ・ストレージ・プールにデータをコピーできません。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: コピー・ストレージ・プールまたは活

動データ・ストレージ・プールで使用可能なスペースをさらに大きくしてバックアップ・コマンドを出すか、あるいはより大きいスペースを持つ別のコピー・ストレージ・プールまたは活動データ・ストレージ・プールを指定してバックアップ・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1222E** *Command:* プロセス *process ID* は、回復ログ・スペースが不足しているために終了しました。

説明: ログがスペースを使い尽くすと、現行のトランザクションはロールバックされます。サーバーは、エラー・メッセージを発行して停止します。回復ログのサイズを増やすまでは、サーバーを再始動することができません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: アーカイブ・ログと活動ログをモニターします。回復ログ・スペースが不足している場合は、最初にアーカイブ・ログ・スペースをモニターしてください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯の場合、あるいは満杯に近い場合は、フル・データベース・バックアップを実行してアーカイブ・ログを削除し、アーカイブ・ログ・ディレクトリーにディスク・スペースを追加することを検討してください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯ではなく、活動ログが満杯あるいは満杯に近い場合は、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGSIZE オプションの値を更新してください。

ACTIVELOGSIZE オプションの値を、活動ログの新しい最大サイズに設定します。

---

**ANR1223E** *Command:* プロセス *process ID* が、十分なデータベース・スペースがないために終了しました。

説明: バックアップ処理中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: 示されているバックアップ処理は終了します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行します。データベースに 1 つ以上のディレクトリーを追加します。

---

**ANR1224E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - ロックが矛盾しています。

説明: バックアップ処理中に、サーバーは使用可能になっていないロックを獲得する必要があります。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。



ユーザーの処置: バックアップ・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1225E** Command: プロセス *process ID* が終了しました - スレッド・リソースが使用不可です。

説明: バックアップ処理中に、サーバーがスレッドを開始できません。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: バックアップ・コマンドを再発行してください。このエラーが続いて起こった場合には、サーバー・メモリーが不足している可能性があります。

---

**ANR1226E** Command: プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能な十分なメモリーがありません。

説明: バックアップ処理中に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてから、バックアップ・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1227E** Command: プロセス *process ID* が終了しました - サーバーの内部エラーが検出されました。

説明: バックアップ処理中に、サーバーが内部エラーを検出しています。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示し、エラーの原因を示すメッセージを検索してください。

---

**ANR1228I** ストレージ・プールのバックアップには、取り外し可能なボリューム *volume name* が必要です。

説明: BACKUP STGPOOL コマンドの処理中に、サーバーが取り外し可能ボリュームが必要であることを確認しています。

システムの処置: これがプレビュー・プロセスでない場

合には、サーバーは取り外し可能ボリュームをマウントしようとしています。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

---

**ANR1229W** ボリューム *volume name* にアクセスできないため、このボリュームをコピー・ストレージ・プールにバックアップしたり、活動データ・ストレージ・プールにコピーしたりすることができません。

説明: ストレージ・プールのバックアップ中または活動データのコピー中は、次の条件のいずれかを満たす場合はボリュームの内容をバックアップまたはコピーできません。

- ボリュームがオフラインである。
- ボリュームが別のプロセスで使用されている。
- ボリュームをマウントできない。
- ボリュームのアクセス・モードがその操作を許可していない。

システムの処置: サーバーはバックアップ処理を続行しますが、示されているボリュームはスキップします。

ユーザーの処置: 次のアクションのいずれか 1 つを実行してください。

- ボリュームがオフラインの場合は、示されたボリュームに VARY ONLINE コマンドを実行します。
- ボリュームのアクセス・モードが使用不可の場合は、UPDATE VOLUME コマンドを実行してアクセス・モードを readwrite または readonly に変更します。ボリュームのアクセス・モードが破棄されている場合は、アクセス・モードを更新するべきかどうかを管理者と確認してください。更新が必要な場合は、UPDATE VOLUME コマンドを発行してアクセス・モードを readwrite または readonly に変更します。
- ボリュームが別のプロセスで使用されている場合は、そのプロセスが完了するのを待ってから、BACKUP STGPOOL コマンドまたは COPY ACTIVATEDATA コマンドを再試行します。
- ボリュームが現在マウントできない場合は、ドライブでボリュームをマウント可能であることを確認してから、BACKUP STGPOOL コマンドまたは COPY ACTIVATEDATA コマンドを再試行します。

---

**ANR1230I** 1 次ストレージ・プール *primary pool name* のリストアがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールをリスト

アするプロセスが開始されました。

システムの処置: 次の基準のいずれかが満たされている場合には、示されている 1 次ストレージ・プールに存在している非キャッシュ・ファイルがリストアされます。

- ファイルが、そのアクセス・モードが破棄されているボリューム上に保管されている。
- 前の操作で、1 次ファイルがデータ保全性エラーありとして識別されている。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1231I** 1 次ストレージ・プール *primary pool name* のリストア・プレビューがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 1 次ストレージ・プールをリストアするプレビュー・プロセスが開始されました。

システムの処置: リストア操作についてのプレビュー情報が収集されて表示されますが、ファイルはバックアップされません。 リストア・プレビューには、指定された 1 次ストレージ・プールに入っていて、次のいずれかの条件に適合する非キャッシュ・ファイルが含まれます。

- ファイルが、そのアクセス・モードが破棄されているボリューム上に保管されている。
- 前の操作で、1 次ファイルがデータ保全性エラーありとして識別されている。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1232I** 1 次ストレージ・プール *primary pool name* の中のボリュームのリストアがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールの 1 つ以上のボリュームをリストアするプロセスが開始されました。

システムの処置: 1 次ストレージ・プールの選択されたボリュームに入っている非キャッシュ・ファイルがリストアされます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1233I** 1 次ストレージ・プール *primary pool name* の中のボリュームのリストア・プレビューがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールの 1 つ以上のボリュームをリストアするプレビュー・プロセスが開始されました。

システムの処置: リストア操作についてのプレビュー情報が収集されて表示されますが、ファイルはバックアップされません。 リストア・プレビューには、1 次ストレージ・プールの選択されたボリュームに入っている非キャッシュ・ファイルが含まれます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1234I** ストレージ・プール *storage pool name* のリストア・プロセス *process ID* が終了しました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールのリストア・プロセスが終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1235I** ストレージ・プール *storage pool name* の中のボリュームのリストア・プロセス *process ID* が終了しました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールのボリュームのリストア・プロセスが終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1236I** ストレージ・プール *storage pool name* のリストア・プロセス *process ID* が終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールのリストア中に、リストアを実行中のプロセスが取り消されました。

システムの処置: 示されているストレージ・プールに他のリストア・プロセスが実行中の場合には、それらのプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1237I** ストレージ・プール *storage pool name* のボリュームのリストア・プロセス *process ID* が終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されている 1 次ストレージ・プールのボリュームのリストア中に、リストアを実行中のプロセスが取り消されました。

システムの処置: このボリュームに他のリストア・プロセスが実行中の場合には、それらのプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1238I** *primary pool name 1* 次ストレージ・プールのリストアが完了しました。リストアされたファイル数: *number of restored files* リストアされたバイト数: *number of restored bytes* リストアされた重複排除バイト数: *number of restored dedup bytes* 読み取れないファイル数: *number of unreadable files* 読み取れないバイト数: *number of unreadable bytes*

説明: 指定されたストレージ・プールのリストア処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べて、すべてのリストア・プロセスが正常に終了しているかどうかを確認してください。

---

**ANR1239I** *primary pool name 1* 次ストレージ・プールのリストア・プレビューが完了しました。リストアされたファイル数: *number of restored files* リストアされたバイト数: *number of restored bytes* リストアされた重複排除バイト数: *number of restored dedup bytes*

説明: 指定されたストレージ・プールのリストア・プレビュー処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1240I** *primary pool name 1* 次ストレージ・プール内のボリュームのリストアが完了しました。リストアされたファイル数: *number of restored files* リストアされたバイト数: *number of restored bytes* リストアされた重複排除バイト数: *number of restored dedup bytes* 読み取れないファイル数: *number of unreadable files* 読み取れないバイト数: *number of unreadable bytes*

説明: 指定されたストレージ・プール内のボリュームのリストア処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べて、すべてのリストア・プロセスが正常に終了しているかどうかを確認してください。

---

**ANR1241I** *primary pool name 1* 次ストレージ・プール内のボリュームのリストア・プレビューが完了しました。リストアされたファイル数: *number of restored files* リストアされたバイト数: *number of restored bytes* リストアされた重複排除バイト数: *number of restored dedup bytes*

説明: 指定されたストレージ・プール内のボリュームのリストア・プレビュー処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1242E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - ストレージ・メディアにアクセス不能です。

説明: リストア処理中に、必要なボリュームをマウントできませんでした。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: アクセスしているコピー・ストレージ・プール (ボリューム) および 1 次ストレージ・プール (ボリューム) が使用可能であることを確認してください。2 つのストレージ・プールおよびすべての関連ボリュームの ACCESS パラメーターを調べて、ACCESS 状態によってアクセスが禁止されていないことを確認してください。

---

**ANR1243E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 取り外し可能メディアに使用できるマウント・ポイントの数が不足しています。

説明: リストア処理中に、サーバーが、必要なボリュームに十分なマウント・ポイントを割り振ることができませんでした。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR1244E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 過剰読み取りエラーが起きました。

説明: リストア処理中に、リストアの続行を妨げる読み取りエラーが発生しました。

---

## ANR1245E • ANR1252E

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、読み取りエラーの原因を訂正してリストア・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1245E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 過剰書き込みエラーが起きました。

説明: リストア処理中に、リストアの続行を妨げる書き込みエラーが発生しました。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、書き込みエラーの原因を訂正してリストア・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1246E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - データ転送が中断されました。

説明: リストア処理中に、データの転送操作が中断されて続行することができませんでした。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を訂正してリストア・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1247E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - ターゲットの 1 次ストレージ・プールのスペースが不足しています。

説明: リストア処理中に、ターゲット・プールに十分なスペースがないので、サーバーがターゲット 1 次ストレージ・プールにデータをコピーすることができません。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット 1 次ストレージ・プールに使用可能なさらに大きいスペースを作って、リストア・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1248E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能な十分な回復ログ・スペースがありません。

説明: リストア処理中に、サーバーが回復ログ・スペースを使い切っています。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー回復ログ・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1249E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能な十分なデータベース・スペースがありません。

説明: リストア処理中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、使用可能なサーバー・データベース・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR1250E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - ロックが矛盾しています。

説明: リストア処理中に、サーバーは使用可能になっていないロックを獲得する必要があります。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: リストア・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1251E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - スレッド・リソースが使用不可です。

説明: リストア処理中に、サーバーがスレッドを開始できません。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: リストア・コマンドを再発行してください。このエラーが続いて起こった場合には、サーバー・メモリーが不足している可能性があります。

---

**ANR1252E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - 使用可能な十分なメモリーがありません。

説明: リストア処理中に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてから、リストア・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1253E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - サーバーの内部エラーが検出されました。

説明: リストア処理中に、サーバーが内部エラーを検出しています。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1254I** リストア処理には取り外し可能ボリューム *volume name* が必要です。

説明: RESTORE STGPOOL または RESTORE VOLUME コマンドの処理中に、サーバーが取り外し可能ボリュームが必要であることを確認しています。

システムの処置: これがプレビュー・プロセスでない場合には、サーバーは取り外し可能ボリュームをマウントしようとします。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

---

**ANR1255W** ボリューム *volume name* のファイルをリストアすることができません - アクセス・モードが「選択不可能」または「オフサイト」となっています。

説明: RESTORE STGPOOL または RESTORE VOLUME コマンドの処理中に、ボリュームのアクセス・モードのために、コピー・ストレージ・プール・ボリュームのファイルをリストアすることができません。

システムの処置: サーバーはリストア処理を続行しますが、示されているボリュームはスキップします。

ユーザーの処置: ボリュームがオフサイト位置に保管されている場合には、そのボリュームをオンサイトにしてください。UPDATE VOLUME コマンドを使用してボリュームのアクセス・モードを変更して、リストア・コマンドをやり直してください。

---

**ANR1256W** ボリューム *volume name* に、リストアできないファイルが入っています。

説明: RESTORE STGPOOL または RESTORE VOLUME コマンドの処理中に、サーバーは示されているボリュームに、リストアできない 1 つ以上のファイルが入っているのを確認しています。これがプレビュー操作の場合には、このメッセージは、示されているボリューム上の 1 つ以上のファイルにリストア可能なバックアップ・コピーを見つけられないことを示しています。これが実際のリストア操作の場合には、このメッ

セージは、示されているボリューム上のファイルに次のいずれかの条件が存在する場合に表示されます。

- このファイルのリストア可能なバックアップ・コピーを見つけることができません。
- このファイルのリストア可能なバックアップ・コピーは存在するが、そのアクセス・モードが使用不可またはオフサイトのコピー・ストレージ・プール・ボリューム上にある。
- リストア処理中に、リストア処理にバックアップ・コピーが選択されましたが、ファイルが実際にリストアされる前に削除されたかまたは移動されている。このアクションは、リストアの進行中に、MOVE DATA、DELETE VOLUME、AUDIT VOLUME FIX=YES、またはコピー・ストレージ・プール・ボリュームのレクラメーション処理の結果として行われることがあります。
- このファイルのリストア可能なバックアップ・コピーは存在するが、ドライブ・パスが存在しないためにアクセスできないコピー・ストレージ・プール・ボリューム上にある。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: これが実際のリストア操作である場合には、コピー・ストレージ・プール・ボリュームが使用不可またはオフサイトであるためにファイルをリストアできなかったことを示しているメッセージを調べてください。リストアの進行中に、コピー・ストレージ・プールのデータ移動、ボリューム削除、ボリューム監査、またはレクラメーション処理が行われていなかったかどうかを調べてください。これらの条件のいずれかが存在する場合には、状況を訂正してリストア・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1257W** ストレージ・プール・バックアップがボリューム *volume name* 上の損傷ファイルを見逃すスキップ中: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: ストレージ・プールのバックアップ中に、前に損傷のあったファイルが見つかりました。このファイルが集合体の一部である場合には、おそらくその集合体の中で他のファイルについて保全性のエラーが検出されたためと考えられます。

システムの処置: 損傷のあるファイルはバックアップされません。

ユーザーの処置: FIX=YES を指定して、示されたボリュームを監査してください。監査では、ファイルが損傷しているかどうかを検査して、次のいずれかの処置を行います。

- ファイルが損傷していないことがわかった場合、監査によりファイル状況がリセットされます。ファイルが集合体の一部である場合は、集合体全体に損傷がないことがわかれば、この監査で集合体の状況がリセットされます。
- ファイルが損傷していることがわかった場合、ファイルが以前にコピー・ストレージ・プールにバックアップされていなかったときは、監査によりファイルが削除されます。
- ファイルが損傷していることがわかった場合、ファイルが以前にコピー・ストレージ・プールにバックアップされていたときは、ファイルが損傷していることが監査により報告されます。この場合は、RESTORE STGPOOL コマンドを使用してファイルを回復する必要があります。

---

**ANR1258W** データ移動のために必要なボリューム *volume name* のファイルにアクセスできません - アクセス・モードが「選択不可能」、「オフサイト」、または「破損」になっています。

説明: ボリュームのアクセス・モードが原因で、データ移動操作中にストレージ・プール・ボリュームのファイルをコピーできません。サーバーは、アクセス・モードが「選択不可能」、「オフサイト」、または「破棄済み」であるボリュームのデータを移動できません。

システムの処置: サーバーはデータ移動処理を続行しますが、1 つ以上のファイルがボリュームから移動されませんでした。

ユーザーの処置: 示されたボリュームを使用可能にできる場合は、UPDATE VOLUME コマンドを使用してボリュームのアクセス・モードを変更し、MOVE DATA コマンドまたは MOVE NODEDATA コマンドを再発行してください。

---

**ANR1259W** オフサイト・レクラメーションに必要なボリューム *volume name* のファイルにアクセスできません - アクセス・モードが「選択不可能」または「オフサイト」になっています。

説明: オフサイト・ボリュームのレクラメーション処理中に、このボリュームのアクセス・モードのために、ストレージ・プール・ボリューム上のファイルをコピーすることができません。

システムの処置: サーバーはレクラメーションを続行しますが、レクラメーションを妨げている 1 つ以上のファイルがオフサイト・ボリュームから移動されていません。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームを使用できるようにする場合には、UPDATE VOLUME コマンドを使用してこのボリュームのアクセス・モードを変更し、コピー・ストレージ・プールのレクラメーションしきい値を更新して再度レクラメーションを開始してください。

---

**ANR1260W** ボリューム *volume name* に 1 つ以上の損傷した 1 次ファイルが入っています。

説明: このメッセージは RESTORE STGPOOL の処理中に出されます。示されているボリュームには、前に損傷のあることがわかっている 1 つ以上の 1 次非キャッシュ・ファイルが入っています。

システムの処置: これがプレビュー操作でない場合には、リストア処理で、コピー・ストレージ・プールにあるコピーから損傷のあるファイルのリストアが試みられます。これがプレビュー操作の場合には、システムのアクションは行われません。

ユーザーの処置: ユーザーは次のアクションを行うことができます。

- 示されているボリューム上の損傷のあるファイルのリストを表示するためには、DAMAGED=YES を指定して QUERY CONTENT コマンドを実行します。
- ファイルに損傷があることを確認するためには、示されているボリュームを FIX=NO で監査します。この監査では、監査中に損傷のないことがわかったファイルの状況がリセットされます。
- このメッセージがリストア・プレビュー操作中に出された場合には、RESTORE STGPOOL コマンドを使用して損傷のあるファイルのリストアを試みます。
- 損傷のあるファイルをデータベースから削除するためには、示されているボリュームを FIX=YES で監査します。

---

**ANR1263I** *command*: 処理が正常に完了しました。

説明: コマンド *command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが、正常に完了しました。

システムの処置: コマンドの処理が完了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1264I** *Command*: 処理が完了前に取り消されました。

説明: コマンド *command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが CANCEL PROCESS コマンドで取り消されました。

システムの処置: コマンド *command* の処理が終了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1265E** *Salvage volume command:* 処理が異常終了しました - データ・ストレージへのアクセス中にエラー。

説明: サルベージ・ボリューム操作を実行中に、サーバーがデータ・ストレージをアクセスする際に内部エラーを検出しました。

システムの処置: 操作は終了して、サーバーの操作が継続されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。エラーを見つけて解決した場合には、操作を再試行します。エラーを見つけない場合には、サービス担当員に連絡して、問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR1266E** *Salvage volume command:* 処理が異常終了しました - ボリュームがストレージ・プール・ボリュームではありません。

説明: サルベージ・ボリューム操作を実行中に、サーバーがデータ・ストレージをアクセスする際に内部エラーを検出しました。このエラーは、ストレージ・プール・ボリュームでないボリュームをアクセスしようとしたために起こりました。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が継続されます。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを実行してください。

---

**ANR1267I** *Salvage volume command:* *number* 個のボリュームを処理しました。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが *number* 個の入力ボリュームを検査しました。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1268I** *Salvage volume command:* *number* バイトを回復しました。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが、有効バイトが *number* バイトのデータを回復しました。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1269I** *Salvage volume command:* *number* 個のファイルを回復しました。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが *number* 個のファイルを回復しました。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1270I** *Salvage volume command:* ファイル (*internal file identifier**internal file identifier*) が回復されました。

説明: コマンド *Salvage volume command* をサービスするバックグラウンド・プロセスがファイルを回復しました。新規ファイルには、*internal file identifier* およびファイルの回復元であるボリュームの名前に基づいて、新規のシステム生成の名が与えられました。*internal file identifier* は、そのファイルが削除される前にサーバーに認識されていたファイルの ID です。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1271I** *Salvage volume command:* \* *number* バイトがボリューム *volume* から回復されました。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスがボリューム *volume* からファイルを回復しました。*volume* から *number* バイト回復したことをリストします。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1272I** *Salvage volume command:* \* ファイルは完了しています - これはボリューム *volume* で開始されて終了しました。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスがボリューム *volume* からファイルを回復しました。このファイルは完全に *volume* に組み込まれました。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1273I** *Salvage volume command:* \* ファイルは不完全です - これはボリューム *volume* で開始されましたが終了しませんでした。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスがボリューム *volume* からファイルを回復しました。このファイルは完全には *volume* に組み込まれていません。ファイルはこのボリューム上で開始されましたが、別のボリュームにスパンアウトされました。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1274I** *Salvage volume command:* \* ファイルは不完全です - これはボリューム *volume* で終了しましたが、そこでは開始されていませんでした。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスがボリューム *volume* からファイルを回復しました。このファイルは完全には *volume* に組み込まれていません。ファイルはこのボリューム上で終了されましたが、別のボリュームからスパンインされました。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1275I** *Salvage volume command:* \* ファイルは不完全です - これはボリューム *volume* で開始されなかったか終了しませんでした。

説明: コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスがボリューム *volume* からファイルを回復しました。このファイルは完全には *volume* に組み込まれていません。ファイルは、あるボ

リュームからスパンインされ、別のボリュームにスパンアウトされました。

システムの処置: コマンドのサルベージ処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1276E** *Command:* プロセスが終了しました - 使用可能な十分なメモリーがありません。

説明: サルベージ処理中に、十分なサーバー・メモリーがありません。

システムの処置: サルベージ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 必要であれば、サーバーに使用できるメモリーを増やしてから、サルベージ・コマンドを再度出してください。

---

**ANR1277E** *Command:* プロセスが終了しました - ポリシー・ドメイン *domain name* 中の活動ポリシー・セットのデフォルトの管理クラスに、アーカイブ・コピー・グループが入っていません。サルベージを続行することができません。

説明: *policy domain* 内の活動ポリシー・セットにあるデフォルト管理クラスには、アーカイブ・コピー・グループが入っていないため、コマンド *Salvage volume command* にサービスするバックグラウンド・プロセスはファイルを回復できません。

システムの処置: サルベージ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 指定したドメインの活動ポリシー・セットの中のデフォルト管理クラスにアーカイブ・コピー・グループを追加してから、サルベージ・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1278I** ストレージ・プール *storage pool name* の占有が正しくありません。占有はリセットされています。

説明: サーバーが正しくない占有情報を検出しました。

システムの処置: サーバーは、現在のストレージ・プール情報に基づいて占有値を計算し直します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1279I** ボリューム名 *volume name* の占有が正しくありません。占有はリセットされています。

説明: サーバーが正しくない占有情報を検出しました。

システムの処置: サーバーは、現在の順次ボリューム情報に基づいて占有値を計算し直します。



ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1280E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - トランザクションは打ち切られました。

説明: バックアップ処理中に、サーバーはトランザクションのコミットを試みる間にエラーを検出しました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: 示されているバックアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。

---

**ANR1281E** *Command:* プロセス *process ID* が終了しました - トランザクションは打ち切られました。

説明: リストア処理中に、サーバーはトランザクションのコミットを試みる間にエラーを検出しました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。

---

**ANR1282I** ストレージ・プール *storage pool name* の論理的占有が正しくありません。論理的占有はリセットされています。

説明: サーバーが正しくない論理的占有情報を検出しました。

システムの処置: サーバーは、現在のストレージ・プール情報に基づいて論理的占有値を計算し直します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1283I** ストレージ・プール *storage pool name* のファイル・カウントが正しくありません - ファイル・カウントのリセット中です。

説明: サーバーは、このストレージ・プール内のファイル数の正しくないカウントを検出しました。

システムの処置: サーバーはこの情報を訂正します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1284I** ノード・データの移動がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: ノードによってデータを移動するプロセスが開始されました。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されました。

ユーザーの処置: プロセスの進行状況を照会するには、**QUERY PROCESS** コマンドを使用してください。バックグラウンド・プロセスを取り消すには、**CANCEL PROCESS** コマンドを使用してください。このプロセスを指定するには、*process ID* 番号を使用してください。

---

**ANR1288I** ストレージ・プール *storage pool name* のノード・データの移動処理 *process ID* が終了しました。

説明: 指定ストレージ・プールのノード・データの移動処理は終了しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1289I** ストレージ・プール *storage pool name* のノード・データの移動処理 *process ID* が終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されたストレージ・プールでのノード・データ移動処理のときに、ノード・データ移動を実行している処理が取り消されました。

システムの処置: そのストレージ・プールに他のノード・データの移動処理が実行されている場合は、それらのプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1290I** *storage pool name* ストレージ・プールから *storage pool name* ストレージ・プールへのノード・データの移動処理が完了しました。移動されたファイル数: *number of moved files* 移動されたバイト数: *number of moved bytes* 移動された重複排除バイト数: *number of moved dedup bytes* 読み取れないファイル数: *number of unreadable files* 読み取れないバイト数: *number of unreadable bytes*

説明: 指定されたストレージ・プールのノード・データの移動処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べて、すべてのノード・データの移動処理が正常に終了しているかどうかを確認してください。

---

**ANR1293E** スペース・レクラメーション・プロセス *process number*: オフサイト・ストレージ・プール・ボリュームにある **50** 個のファイルは、アクセス可能なストレージ・プールにコピーがありません。

説明: オフサイト・ストレージ・プール・ボリュームには、コピーを入れることができないそれより多くのファイルが存在する可能性があります。 その場合には、メッセージ ANR1173E は表示されません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーは、コピーのないファイルをスキップします。サーバーがオフサイト・ストレージ・プール・ボリュームからファイルを移動することはありません。

ユーザーの処置: スペース・レクラメーション・プロセス中にスキップされるすべてのファイルについての詳細情報を表示するには、トレース AFUNAVAILABLE を使用可能にし、トレース・ログにアクセスします。

---

**ANR1294I** 重複排除されたファイルのために、プロセス *process ID* は、ボリューム *volume name* 上の *skipped files* ファイルをスキップしました。

説明: 示された順次ファイル・ボリュームからディスク・ストレージ・プールにファイルを移動またはコピー中に、重複排除された範囲を持つファイルが検出されました。その結果として、ファイルはスキップされます。

示された順次ファイル・ボリュームは、重複排除が使用可能なストレージ・プールか、かつて重複排除が使用可能だったストレージ・プールに割り当てられます。ボリューム上の一部のファイルは重複排除された範囲を持っているので、ディスク・ストレージ・プールに移動またはコピーできません。

システムの処置: サーバーは、重複排除された範囲を持たないボリュームからすべてのファイルを移動またはコピーします。 重複排除された範囲を持つこれらのファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: MOVE DATA/NODEDATA を試行して、重複排除された範囲を持つファイルをディスク・ストレージ・プールに移動する場合、最初に、重複排除が使用可能でない他の順次ストレージ・プールに MOVE DATA/NODEDATA を実行する必要があります。 この移動によって、ターゲット・ストレージ・プール内で重複排除されたファイルが完全な状態に復元されます。 すべての重複排除されたデータが移動された

ら、ターゲット・ストレージ・プールからディスク・ストレージ・プールへ MOVE DATA または MOVE NODEDATA を実行してください。 ターゲットとしてファイル・ストレージ・プールを使用することをお勧めします。

RESTORE STGPOOL/VOLUME を試行して、重複排除された範囲を持つファイルをコピーする場合、最初に、重複排除が使用可能でない他の順次ストレージ・プールに RESTORE STGPOOL/VOLUME を実行する必要があります。 これによって、ターゲット・ストレージ・プール内で重複排除されたファイルが完全な状態に復元されます。すべての重複排除されたデータが修復されたら、ターゲット・ストレージ・プールからディスク・ストレージ・プールへ MOVE DATA/NODEDATA を実行してください。 ターゲットとしてファイル・ストレージ・プールを使用することをお勧めします。

---

**ANR1295W** WORM ボリューム *volume name* のレクラメーション終了日付を *end reclamation date* に設定する試みが失敗しました。 レクラメーション終了日付は *SnapLock retention date* に設定されました。

説明: IBM Spectrum Protect は、RETMIN 属性および RETVER COPYGROUP 属性に基づいてボリュームのレクラメーション終了日付を計算し、この日付に設定しようと試みます。 指定されたボリュームのレクラメーション終了日付の設定時に、Network Appliance SnapLock ファイル・システムが要求を満たすことができませんでした。 ただし、日付を、要求した日付よりも後の日付である Snaplock 保存日付に設定することができました。 これは、SnapLock NAS ファイル・サーバーの保存日付の構成方法に原因があると考えられます。

この警告メッセージは、ボリュームに最初にデータが置かれた時にこの条件が検出された時点で、ボリュームごとに一度だけ発行されます。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect の COPYGROUP 属性および Network Appliance ファイル・システムの保存設定が、WORM ボリューム・ストレージに対するお客様の要件と一致していることを確認してください。

---

**ANR1296W** ストレージ・プール *storage pool name* に **WORM FILE** ボリュームが含まれていません。

説明: このメッセージは、ストレージ・プールの定義または更新中、BACKUP コマンドまたは RESTORE STGPOOL コマンド中、あるいは WORM ボリューム

上のデータが別のメディアに移動される可能性があるとして判断された場合に発行されます。これは、WORM FILE ボリュームを含まないストレージ・プールを指定します。

DEFINE および UPDATE STGPOOL コマンドの実行中に発行された場合、これは、定義または更新中のストレージ・プールが WORM FILE ボリューム (Reclamationtype は SnapLock) とともに構成されているが、ストレージ・プール定義 (例えば、Next、Reclaim、または Copy ストレージ・プール・パラメーター) で指定されているその他のストレージ・プールには WORM FILE ボリューム (Reclamationtype は Threshold) が含まれていないことを意味します。このような構成では、WORM FILE ボリューム上のデータが、WORM FILE ボリュームをサポートしていないストレージ・プールに移動される可能性があります。

その他の状況では、このメッセージは、WORM FILE ボリューム (Reclamationtype は SnapLock) のあるストレージ・プールから WORM FILE ボリューム (Reclamationtype は Threshold) のないストレージ・プールへデータが移動される場合に発行される可能性があります。

サーバーはこのタイプの移動を許可しますが、カスタマーは、WORM FILE ボリュームから別のタイプのメディアへ移動された場合、そのデータは不注意による削除または不正な削除から保護されなくなることを認識している必要があります。さらに、このデータが特定の正当な目的による保存および保護要件に適合するよう WORM ボリュームに置かれている場合に別のメディアに移動されると、そのデータはその要件に適合しなくなる可能性があります。

システムの処置: コマンドは続行します。

ユーザーの処置: 使用中のストレージ・プールがデータ保護および保存の要件に適合することを確認します。

---

**ANR1297E RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK** のストレージ・プールは、アーカイブ・データ保存保護が使用可能になっているサーバーでのみ定義できます。

説明: RECLAMATION=SNAPLOCK のストレージ・プールの定義は、アーカイブ・データ保存保護が使用可能になっているサーバーでのみサポートされます。

システムの処置: ストレージ・プールの定義コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: このサーバーで

RECLAMATIONTYPE=THRESHOLD のストレージ・プールを定義します。あるいは、このサーバーでアー

カイブ・データ保存保護を使用可能にして、コマンドを再試行してください。

---

**ANR1298W Centera** ストレージ装置でオブジェクトの削除を試行していたときに、サーバーでエラーが発生しました。名前の **Centera** 表現は *Centera object string* です。サーバーはこのオブジェクトをボリューム **ID volume id** でトラッキングしていました。受け取った戻りコードは *return code* でした。

説明: オブジェクトに関するサーバーの記録が削除された後、サーバーは **Centera** ストレージ装置でのオブジェクトの削除に失敗しました。サーバーからこのオブジェクトにアクセスできなくなりました。このオブジェクトは **Centera** ストレージ装置のスペースを引き続き占有します。戻りコードは、**Centera** サービスへのサーバー・インターフェースからの戻されたものである場合と、**Centera** 装置から直接戻されたものである場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行し、このオブジェクトはサーバー内で論理的に削除されますが、**Centera** 装置のスペースを引き続き占有します。

ユーザーの処置: このエラーが発生した場合でも、サーバーは操作を続行できます。ページされていないオブジェクトのボリュームが問題になった場合は、**Centera** サービスが必要となります。

---

**ANR1299E** オブジェクト *seg\_id* に対して部分オブジェクト・リトリブを試行中に、サーバーが無効なストレージ・フォーマットを検出しました。

説明: 部分オブジェクト・リトリブをサポートしないフォーマットで保管されたファイルに対して、部分オブジェクト・リトリブが試行されました。

システムの処置: トランザクションは終了し、リトリブ要求は失敗します。

ユーザーの処置: 部分オブジェクト・リトリブではなく、標準リトリブまたはフルリトリブを使用してリトリブを再試行してください。

---

**ANR1305I** ディスク・ボリューム *volume name* がオンラインに変更されました。

説明: 指定されたボリュームは、VARY ONLINE コマンドの結果として、オンラインに変更されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1306I** ディスク・ボリューム *volume name* がオンライン (読み取り専用) に変更されました。

説明: 指定されたボリュームは、VARY ONLINE コマンドの結果として、読み取り専用モードでオンラインに変更されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1307I** ディスク・ボリューム *volume name* がオフラインに変更されました。

説明: 指定されたボリュームは、VARY OFFLINE コマンドの結果として、オフラインに変更されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1308W** オフセット *offset* について読み取られたバイト数 *bytes read* が誤っています。

説明: 読み取り操作が失敗しました。活動記録ログで、入出力エラーまたは警告を示すメッセージが以前に記録されていないかを確認してください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1309W** ストレージ・プール *storage pool name* の **SHRED** 値をゼロに指定すると、削除されたデータは断片化不能になります。

説明: このメッセージは、ストレージ・プールの定義中または更新中に、ストレージ・プール階層のストレージ・プールでゼロの SHRED 値が検出された場合に発行されます。

サーバーはこのタイプの操作を許可しますが、管理者は、データが該当ストレージ・プールに保管または移動された場合、データを削除した後に断片化できないことを認識している必要があります。

DEFINE コマンドの実行中に発行された場合、これは、ストレージ・プール定義はゼロ以外の SHRED 値で構成されているが、この定義で指定されている他のストレージ・プール (例えば、Next、Reclaim、または Copy ストレージ・プール・パラメーター) の SHRED 値がゼロであることを意味します。

UPDATE コマンドの実行中に発行された場合、これは、指定されたストレージ・プールが SHRED 値をゼロ以外からゼロに変更しているか、指定された Copy、Next、または Reclaim ストレージ・プールの

SHRED 値がゼロであることを意味します。このような構成の結果として、データが 1 次ランダム・アクセス・ストレージ・プールから SHRED 値がゼロのストレージ・プールに移動された場合に、データは断片化不能になります。

システムの処置: コマンドは続行します。

ユーザーの処置: 使用中のストレージ・プールがデータ保護の要件に適合することを確認します。

**ANR1310E** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が失敗しました - メモリーが不足しています。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、このコマンドを処理する使用可能な十分なメモリーがありません。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: 後でコマンドを再発行するか、あるいはサーバーが使用できるメモリーをさらに増やしてください。

**ANR1311E** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が失敗しました - ディスク装置にアクセスすることができません。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、サーバーがディスクにアクセスできません。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: ボリュームにアクセスできない原因を調べて問題を訂正してください。

**ANR1312E** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が失敗しました - ディスクの読み取り中にエラー。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、ディスクの読み取り中にサーバーがエラーを検出しています。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: 読み取りエラーの原因を調べて問題を訂正してください。

---

**ANR1313E** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が失敗しました - ブロック・サイズ (*block size*) がサポートされていません。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、ボリュームが使用できないブロック・サイズでフォーマットされています。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: ディスクを 4096 で均等に分割できるブロック・サイズでフォーマットしなおしてください。

---

**ANR1314E** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が失敗しました - 削減された容量は *count* ブロックで、現在は *count* ブロックです。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、ボリュームのサイズが必要なサイズと一致しません。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: ボリュームをリストアするか、またはディスク・ボリュームのサイズを訂正してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1315E** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が失敗しました - ラベル・ブロックが正しくありません。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、ボリュームのラベル・ブロックが無効であるかあるいは読み取ることができません。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: ディスク・ボリュームをリストアするか、あるいはフォーマットし直してください。

---

**ANR1316E** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が失敗しました - 内部エラーが検出されました。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、内部サーバー・エラーのために実行されていません。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1317E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は断片化可能プールではありません。

説明: 示されているコマンドが、断片化可能プールではないストレージ・プールの名前を指定しています。このコマンド構文では、データを断片化可能ストレージ・プールから断片化不能ストレージ・プールに移動する場合に SHREDTONOSHRED=YES を指定することが必要です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: SHREDTONOSHRED=YES を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR1318I** *primary pool name* 1 次ストレージ・プールから *active data pool name* 活動データ・プールへの活動データのコピー・プロセスが完了しました。コピーされたファイル数: *number of copied files* コピーされたバイト数: *number of copied bytes* コピーされた重複排除バイト数: *number of copied dedup bytes* 読み取れないファイル数: *number of unreadable files* 読み取れないバイト数: *number of unreadable bytes*

説明: 指定されたストレージ・プールの活動データのコピー・プロセスが、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べて、すべての活動データのコピー・プロセスが正常に終了しているかどうかを確認してください。

---

**ANR1319I** *primary pool name* 1 次ストレージ・プールから *active data pool name* 活動データ・プールへの活動データのコピー・プレビューが完了しました。コピーされたファイル数: *number of copied files* コピーされたバイト数: *number of copied bytes* コピーされた重複排除バイト数: *number of copied dedup bytes*

説明: 指定されたストレージ・プールの活動データのコピー処理のプレビューが、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR1320W** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が不可能 - アクセス状態が「選択不可能」となっています

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、ボリュームの状況が使用不可になっています。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、UPDATE VOLUME コマンドを使用してボリュームの状況を変更して、コマンドを再発行してください。

**ANR1321W** ディスク・ボリューム *volume name* のオンへの変更が不可能 - アクセス状態が「破棄済み」となっています。

説明: 指定されたディスク・ボリュームに VARY ONLINE コマンドが出されていますが、ボリュームの状況が破損になっています。

システムの処置: ボリュームはオンラインに変更されません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、UPDATE VOLUME コマンドを使用してボリュームの状況を変更して、コマンドを再発行してください。

**ANR1322W** 断片化モードが既に *shredding mode* です。

説明: 断片化モードを変更するために SETOPT SHREDDING コマンドが出されましたが、新しいモードは既存のモードと同じです。

システムの処置: 断片化モードは変更されません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1323E** コマンド SHRED DATA は、自動断片化モードには無効です。

説明: 断片化モードが「自動」に設定されているときに、SHRED DATA コマンドが出されました。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 断片化モードを「手動」に設定するか、自動断片化がデータを断片化するまで待機します。

**ANR1324E** プロセス *process number* は既に SHRED DATA を実行しています。

説明: まだ別の SHRED DATA プロセスが実行されているときに、SHRED DATA コマンドが出されまし

た。 随時許可される SHRED DATA プロセスは 1 つだけです。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 現行の SHRED DATA プロセスが終了するまで待機してから、コマンドを出し直してください。

**ANR1325W** *node name* の断片化可能オブジェクト: タイプ *=type*、ファイル・スペース *=filespace name*、オブジェクト *=object name* がスキップされました。

説明: *node name* のオブジェクト (*type*、*file space*、および *object name* によって識別) が断片化可能ストレージ・プールで検出されスキップされましたが、EXPORT は続行します。

システムの処置: サーバー・プロセスはエクスポートを続行し、断片化可能なすべてのオブジェクトをスキップします。

ユーザーの処置: 断片化可能ストレージ・プールからオブジェクトをエクスポートする場合は、ALLOWSHREDDABLE=YES パラメーターを指定してください。 このオプションを使用すると、断片化可能ストレージ・プールで検出されたオブジェクトも含むすべてのオブジェクトが EXPORT の対象になります。

**ANR1326I** 断片化可能プロセスは、*shredded bytes* バイトを断片化し *skipped bytes* バイトをスキップして終了します。

説明: 断片化プロセスが完了しました。 正常に断片化されたデータの量とスキップされたデータの量が報告されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スキップされたデータがあれば、サーバーは次に断片化が実行されるときにそのデータを断片化しようとします。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1327I** 自動断片化は停止されます。 断片化されたバイト数の合計は *shredded bytes* バイト、スキップされたバイト数の合計は *skipped bytes* バイトです。

説明: 自動断片化プロセスは終了しました。 自動断片化で正常に断片化されたデータの量およびスキップされたデータの量が報告されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スキップされたデータがあれば、サーバーは次に断片化が実行されるときにそのデータを断片化しようとします。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1328E** サーバーが、断片化オブジェクトを復元または取得しようとする試行を検出しました。

説明: 試行は、既に断片化されているオブジェクトを取得または復元しようとするものでした。これは最近データベースが復元され、データベースのバックアップ時に存在したデータがその後削除および断片化されている場合に起こります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 断片化データを含むボリューム上で、AUDIT VOLUME オペレーションを実行してください。

**ANR1329I** 自動断片化を開始しました。

説明: 削除されたオブジェクトの自動断片化を開始しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1330E** リストアまたは移動するオブジェクトが破壊されている可能性があることをサーバーが検出しました。無効なフレームの実際の値は次のとおりです: マジック *magic*、ヘッダー・バージョン *ver*、ヘッダーの長さ *hdrLen*、シーケンス番号 *seqNum*、データの長さ *length*、サーバー ID *srvid*、セグメント ID *segId*、crc *crc*。

説明: 無効なフレームが検出されました。このメッセージは、リストアまたは移動の対象となるオブジェクトが破壊されている可能性があることを示しています。

システムの処置: このオブジェクトはリストアまたは移動されません。

ユーザーの処置: 障害の起こった操作をやり直してください。操作が再度失敗する場合は、このメッセージに有効な追加情報を確認してください。製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「ANR1330E」を検索します。

**ANR1331E** 無効なフレームが検出されました。予想マジック *magic* シーケンス番号 *seqNum* サーバー ID *srvid* セグメント ID *segId*。

説明: このメッセージの意味は、無効なフレームが検出された場合の予想値です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サポート部門に連絡する場合は、この

メッセージの情報を提供してください。

**ANR1332W** 断片化は完了前に取り消されました。断片化されたバイト数の合計は *shredded bytes* バイト、スキップされたバイト数の合計は *skipped bytes* バイトです。

説明: 断片化プロセスは、指定された所要時間が経過したか、CANCEL PROCESS コマンドが使用されたことにより、取り消されました。正常に断片化されたデータの量およびスキップされたデータの量が報告されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スキップされたデータまたは処理されなかったデータがあれば、サーバーは次に断片化が実行されるときにそのデータを断片化しようとします。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1335E** *command*: データベース *database name* は空でないため、アップグレードのターゲットになることはできません。

説明: 指定したデータベースが既に別のサーバーからのデータを含んでいるため、DSMSERV INSERTDB 操作によってそのデータベースにデータを挿入することはできません。

このエラーについて考えられる原因は以下のとおりです。

- サーバーのオプション・ファイルの DATABASEALIAS オプションに、誤ったデータベースが指定されていた。
- データベースが DSMSERV LOADFORMAT コマンドでなく、DSMSERV FORMAT コマンドを使用してフォーマットされていた。

システムの処置: DSMSERV INSERTDB コマンドは終了します。

ユーザーの処置: サーバーのオプション・ファイルに正しいデータベース名が指定されていることを確かめてください。指定されたデータベースが正しく、そのデータベースが別の IBM Spectrum Protect サーバーによって使用されていないければ、データベースをドロップして、DSMSERV LOADFORMAT コマンドを使用して再作成してから、DSMSERV INSERTDB コマンドを再実行してください。

**ANR1336I** *command*: ソース・サーバーからの接続が可能になっています。残り時間: *remaining time*

説明: コマンドは初期化を完了し、ソース・サーバーか

らのデータベース情報の受け取りを開始できる状態になっています。

システムの処置: コマンドは、ソース・サーバーがサーバー間の接続を確立し、データベース情報の送信が開始されるまで待機するか、指定された時間が経過するまで待機します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーからのセッションを開始します。

**ANR1337I** *trigger type* トリガーは除去されました。

説明: DSMSERV INSERTDB コマンドは、データベース・バックアップ・トリガー、データベース・スペース・トリガー、または回復ログ・スペース・トリガーを見つけ、データベース・アップグレード・プロセスの一環として、そのトリガーを除去しました。

システムの処置: トリガーはアップグレードされたデータベースから削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1338E** 1 つ以上の制約違反が検出されました。詳細については、ログ・ファイル *log file name* を調べてください。

説明: DSMSERV INSERTDB コマンドで、1 つ以上のインスタンスが検出されました。この場合、データベースに挿入されるデータが制約に違反したか、または無効でした。エラーに関する情報が、エラーを引き起こしたデータとともに、指定されたログ・ファイルに記録されました。

システムの処置: 問題の行はデータベースに挿入されていません。その代わりに、この行の内容が、特定のエラーに関する追加情報とともに、指定されたログ・ファイルに書き込まれています。

ユーザーの処置: 一部のデータがデータベースに挿入されていないため、データベースは不整合な状態にあります。問題が訂正されるまで、サーバーを開始してはなりません。

問題を訂正する際の援助が必要であればサービス担当員に連絡してください。ログ・ファイルを調べるように指示され、場合によっては、エラーのデータを訂正してそれをデータベースに挿入するように指示されることがあります。ただし、データベースの性質が細心の注意を払うべきものであるため、サービス担当員の指示がない限り、決してこの処理を試みてはなりません。

**ANR1339W** セッション *session id* が、サイズ割り振り要求を過小評価しました - *additional spaceMB* の追加スペースが、操作続行を可能にするために割り振られました。

説明: このセッションは、操作続行のため、*additional space MB* のスペースを必要としました。サーバーに格納するファイルのサイズを正確に報告するのは、クライアントの責任です。クライアントの報告するサイズは、ファイルを格納するため、DISK ストレージ・プールにスペースを予約するために使用されます。このサイズが過小評価されると、サーバーは、そのファイルに対して該当する操作を続行するために必要となる追加スペースを割り振ることができなくなる場合があります。

システムの処置: ありません。操作は続行可能でした。

ユーザーの処置: このノードに対してインストールされているクライアントのバージョンが求められます。普通、クライアントが、ファイルのサイズを過小評価しサーバーに報告した場合でも、最近のクライアントのバージョンでは、訂正できる可能性があります。そのクライアントが、IBM 製品ではない IBM Spectrum Protect API を使用するアプリケーションである場合は、これを訂正するため、アプリケーションのベンダーに連絡してください。

**ANR1340I** スクラッチ・ボリューム *volume name* は現在ストレージ・プール *storage pool name* に定義されています。

説明: 指定されたスクラッチ・ボリュームが、示されているストレージ・プールに追加されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1341I** スクラッチ・ボリューム *volume name* がストレージ・プール *storage pool name* から削除されました。

説明: 指定されたスクラッチ・ボリュームは既に使用されず、示されているストレージ・プールから除去されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1342I** スクラッチ・ボリューム *volume name* は現在保留中です - このストレージ・プールの再使用遅延の経過後にボリュームはストレージ・プール *storage pool name* から削除されます。



説明: すべてのファイルが示されているスクラッチ・ボリュームから削除されています。示されているストレージ・プールの再使用遅延期間が経過するまで、ボリュームはストレージ・プールから除去されません。ストレージ・プールに再使用遅延が指定されていない場合は、指示されたボリュームは別のプロセスによって要求された後に空になっていました。プロセスでさらに多くのデータをテープに入れると、あるいはまたはファイル中の状態になるか、あるいはもはや不要になった後でストレージ・プールから除去されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1343I** スクラッチ・ボリューム *volume name* を削除することができません。

説明: ロックがすべて解放されていないので、この時点で、スクラッチ・ボリュームをサーバーから削除して、スクラッチに戻すことはできません。再試行回数が試みられています。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: スクラッチ・ボリュームは、サーバーの再始動時に自動的に削除されます。あるいは、後から、DELETE VOLUME コマンドを使用して、手操作でこのボリュームを削除することができます。

---

**ANR1344I** ボリューム *volume name* は再利用できません。サーバー・ストレージからボリュームを取り外します。

説明: フルであったものが現在空であっても、ボリュームが WORM メディア上に存在する場合は、サーバーによる再使用はできません。

システムの処置: ボリュームは、アクセス・モードが READONLY、状況が FULL、使用パーセントが 0 の状態にあります。サーバーは、ボリュームの占有率と使用率の両フィールドを計算した後、ボリュームが空であるとみなします。

ユーザーの処置: ボリュームは、『システムの処置』セクションで説明している属性とともに、ライブラリーとストレージ・プール内に残ります。このボリュームが RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールに存在しない場合には、以下のステップを実行してボリュームを取り外します:

1. DELETE VOLUME コマンドを実行して、ストレージ・プールからボリュームを除去します。
2. CHECKOUT LIBVOLUME コマンドを実行して、ライブラリーからボリュームを除去します。

このボリュームが RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールに存在する場合には、ボリュームを取り外すことができません。IBM Spectrum Protect のレクラメーション処理でボリュームを削除してください。

---

**ANR1345I** ボリューム *volume name* は、他のアプリケーションによって再利用できず、ストレージ・プール内に残ります。

説明: サーバーから書き込みを受けた WORM (Write Once Read Many) ボリュームは、他のアプリケーションから使用できません。このボリュームはフルにならないうちに、期限切れ、DELETE コマンド、またはトラランザクションの失敗により空にされています。

システムの処置: ボリュームは手動で削除されない限り、ストレージ・プール内に残り、IBM Spectrum Protect によって再利用されます。ボリュームの残りのスペースは、通常のサーバー操作の実行中に使用されます。

ユーザーの処置: ボリュームがそれ以上使用できなくなった時点で、ストレージ・プールから手動で削除してください。

---

**ANR1346E** *Export/import command:* プレビュー処理が異常終了しました - データ・ストレージへのアクセス中にエラー。

説明: サーバーが、エクスポートまたはインポートのプレビュー操作の実行中にデータ・ストレージにアクセスしていて内部エラーを検出しました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。エラーを見つけて解決できる場合には、エクスポートまたはインポート操作をやり直してください。エラーを見つけない場合には、サービス担当員に連絡して、問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR1347E** *Export/import command:* 処理が異常終了しました - データ・ストレージへのアクセス中にエラー。

説明: サーバーが、エクスポートまたはインポート操作の実行中に、データ・ストレージにアクセスしていて内部エラーを検出しました。

システムの処置: エクスポートまたはインポート操作は終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。エラーを見つけて解決できる場合には、エクスポートまたはインポート操作をやり直してください。エラーを見つけることができない場合には、サービス担当員に連絡して、問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR1348I** *number* 個のオブジェクトのエクスポート操作情報が削除されました。

説明: バックグラウンド・サーバー・プロセスで、サーバー・データベースから *number* 個のファイルのエクスポート操作情報が削除されました。不要なエクスポート情報を削除するために、このプロセスは初期化中に開始されました。

システムの処置: 実際のバックアップ・オブジェクトまたはアーカイブ・オブジェクトは削除されませんでした。削除されたのは、前のエクスポート操作中にこれらのオブジェクトのソートに使用された情報だけです。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1349E** *number* 個のオブジェクトのエクスポート操作情報を削除中にエラー *code*。

説明: サーバー・データベースから *number* ファイルのエクスポート操作情報を削除した後、バックグラウンド・サーバー・プロセスで内部エラーが検出されました。このプロセスは、前のエクスポート操作で残されたソート情報を除去するために、初期化中に開始されました。

システムの処置: バックアップまたはアーカイブ・オブジェクトは削除されませんでした。前のエクスポート操作中に削除されたのは、これらのオブジェクトのソートに使用された情報だけです。バックグラウンド・プロセスは、すべてのソート情報が削除される前に終了されました。システムは、この問題が解決されるまで、以後のファイル・データのエクスポート処理を実行しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してから、サーバーを再始動してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1350E** *Command*: 無効な時刻範囲が指定されました。 **FROM:** *fromdate fromtime* **TO:** *todate totime*.

説明: 無効な FROM および TO の日付または時刻範囲を指定するコマンドが発行されました。このエラーは、FROM の日付または時刻が TO の日付または時刻より前でない場合に起こります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい日付または時刻範囲を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1351I** *Export/import command*: 処理が状況 *status* で中断されました。

説明: コマンド *command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが SUSPEND コマンドで中断されました。

システムの処置: コマンド *command* の処理が停止します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1352I** *administrator name* によってプロセス *process ID* として開始された *Command* が中断されました。

説明: 管理者 *administrator name* によるコマンド *command* をサービスするためのバックグラウンド・プロセスが処理を中断しました。

システムの処置: 指定されたプロセスが中断して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1353I** *Command*: エクスポート **ID:** *exportId* で **EXPORT** 操作を取り消すことができません。操作は現在アクティブです。

説明: エクスポート操作は現在、活動プロセスとして実行中であるため、サーバーは CANCEL EXPORT コマンドで指定されたエクスポート操作を取り消すことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: CANCEL EXPORT コマンドを発行して取り消すことができるのは、中断状態の EXPORT 操作のみです。QUERY EXPORT コマンドを発行して、EXPORT 操作の現行状態を識別します。

---

**ANR1354I** *command name:* **FILEDATA** パラメーターが **NONE** に設定されているときは、**EXPORTIdentifier** パラメーターはサポートされていません。再始動不能のエクスポートとして実行中です。

説明: コマンドが続行されている間、**EXPORTIdentifier** パラメーターは無視されます。

システムの処置: コマンドは実行され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1355I** *command name:* **EXPORTIdentifier**  
*export ID* が指定されたエクスポート操作は既に存在しています。

説明: エクスポート・コマンドは実行されません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: 未使用のエクスポート ID を指定して、エクスポート・コマンドを再入力してください。

---

**ANR1356I** *Command:* エクスポート **ID:** *exportId* で **EXPORT** 操作を開始することができます。操作は現在アクティブです。

説明: エクスポート操作は現在、活動プロセスとして実行中であるため、サーバーは **RESTART EXPORT** コマンドで指定されたエクスポート操作を再始動することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: **RESTART EXPORT** コマンドを使用して再始動できるのは、中断状態のエクスポート操作のみです。 **QUERY EXPORT** コマンドを発行して、**EXPORT** 操作の現行状態を識別します。

---

**ANR1357I** *command name:* **PREVIEWIMPORT** パラメーターが指定されているとき、**EXPORTIdentifier** パラメーターはサポートされません。再始動不能のエクスポートとして実行中です。

説明: コマンドが続行されている間、**EXPORTIdentifier** パラメーターは無視されます。

システムの処置: コマンドは実行され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1358I** エクスポート **ID:** *Export Id*

説明: これは再始動可能なエクスポート操作であり、表示された **EXPORTIdentifier** パラメーターで参照することができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1359I** 中断が進行中

説明: サーバー間のエクスポート操作が中断され、バックグラウンド・プロセス用にリソースが解放されたときに停止します。このメッセージは、エクスポート操作で **QUERY PROCESS** コマンドに応じて、表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1360I** 出力ボリューム *volume name* がオープンされました (順序番号 *sequence number*)。

説明: 順次データ操作中に、指定されたボリュームが表示されているボリューム番号で出力用に開かれました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1361I** 出力ボリューム *volume name* がクローズされました。

説明: 順次データ操作中に、エクスポートまたはダンプが完了したので、指定されたボリュームが閉じられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1362I** 出力ボリューム *volume name* がクローズされました (完全)。

説明: 順次データ操作中に、ボリュームがいっぱいになったので、指定されたボリュームが閉じられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1363I** 入力ボリューム *volume name* がオープンされました (順序番号 *sequence number*)。

説明: 順次データ操作中に、指定されたボリュームが表示されているボリューム番号で入力用に開かれました。

システムの処置: ありません。

## ANR1364I • ANR1371I

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1364I** 入力ボリューム *volume name* がクローズされました。

説明: 順次データ操作中に、操作が完了したので、指定されたボリュームが閉じられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1365I** ボリューム *volume name* がクローズされました (終わりに達しました)。

説明: 順次データ操作中に、ボリュームの処理が完了したので、指定されたボリュームが閉じられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1366W** 入力ボリューム *volume name* に無効な ID が入っています。

説明: 順次データ操作中に、指定されたボリュームがマウントされましたが、無効な ID が入っています。

システムの処置: このボリュームは使用されません。

ユーザーの処置: 操作に正しいボリュームを指定していることを確認してください。MVS で LOADDB 操作が実行されていた場合には、dd 名を使用するか、または装置クラス名を指定して、コマンドの構文が指定されている可能性があります。最初にデータベースをダンプした時に使用したものと同じ方式を使用する必要があります。そのようにしないとこのエラー・メッセージが表示されます。構文の他の方式 (dd 名) を使用して、データベースをロードし直してください。

---

**ANR1367W** インポート・ボリューム *volume name* が別のエクスポート・プロセスによって書き込まれました。

説明: IMPORT 操作中に、指定されたボリュームがマウントされていますが、インポート・プロセスと一致しないエクスポート ID が入っています。

システムの処置: このボリュームは使用されません。

ユーザーの処置: 正しいエクスポート・プロセスで作成されたボリュームを指定してください。

---

**ANR1368W** 入力ボリューム *volume name* に順序番号 *sequence number* が入っていますが、ボリューム順序番号 *sequence number* が必要です。

説明: 順次データ操作中に、指定されたボリュームがマウントされていますが、誤ったボリューム順序番号が入っています。

システムの処置: このボリュームは使用されません。

ユーザーの処置: 正しい順序番号のボリュームを指定してください。ボリューム・ヒストリー・ファイルが、正しいボリュームの選択に役立ちます。

---

**ANR1369E** 入力ボリューム *volume name* にバージョン 1 のダンプが入っています。

説明: 順次データ操作中に、指定されたボリュームがマウントされましたが、バージョン 1 のデータベース・ダンプが入っていると表示されています。

システムの処置: このボリュームは使用されません。この操作は終了します。

ユーザーの処置: 操作に正しいボリュームを指定していることを確認してください。バージョン 1 のデータベース・ダンプはバージョン 2 のサーバーにロードすることができません。バージョン 1 のデータベース・ダンプはバージョン 1 のサーバーにのみロードしなければなりません。

---

**ANR1370E** 装置クラス *device class name* で使用できるマウント・ポイントの数が十分ではありません。

説明: インポートまたはエクスポート処理時に、サーバーは指定されて装置クラスに十分なマウント・ポイントを割り振ることができません。エクスポート・ドライブまたはインポート・ドライブと関連した装置クラスのマウント・リミットは 1 つだけです。ファイル・データがインポート中またはエクスポート中なので、この操作では同じ装置クラスとの間でファイル・データの読み取りまたは書き込みを行うことが必要です。

システムの処置: IMPORT コマンドまたは EXPORT コマンドは終了して、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: さらに多くのマウント・ポイントを使用可能にしてください。

---

**ANR1371I** *Command:* エクスポート ID: *Export Id* でエクスポート操作が削除されました。

説明: 中断状態のサーバー間エクスポート操作が削除されました。この操作はもはや再始動できません。このメッセージは、CANCEL EXPORT コマンドへの応答で表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1372I**    エクスポート中断要求が、エクスポート  
**ID:** *Export Id* で指定されたエクスポート・プロセス (プロセス *process ID*) に受け入れられました。

説明: 指定されたサーバー間エクスポート・プロセスに対して SUSPEND EXPORT コマンドが入力されました。一部のプロセスは中断が遅れる場合があります。リモート・データ移動が必要なプロセスではこの遅延が長くなる場合があります。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1373I**    *Command* のプロセス *process Id* がソース・サーバー上で中断されました。

説明: バックグラウンド・インポート・プロセスがソース・サーバー上で中断されました。

システムの処置: 指定されたプロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1374I**    *Command* のプロセス *process Id* がソース・サーバー上で取り消されました。

説明: バックグラウンド・インポート・プロセスがソース・サーバー上で取り消されました。

システムの処置: 指定されたプロセスは終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1375I**    *Command:* 現行の状態が無効なので、エクスポート操作 *export Id* を中断できません。

説明: 現在中断可能でないエクスポート操作を指定した SUSPEND EXPORT コマンドに対する応答で、このメッセージが戻されました。エクスポート操作は実行されていないか、中断されるプロセスにあります。

システムの処置: 指定されたコマンドが実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1376I**    管理者 *administrator name* の分析者権限が取り消されました。

説明: DSMSEV INSERTDB コマンドは、分析者権限を持つ管理者を見つけ、データベース・アップグレード・プロセスの一環として、その権限を取り消しました。

システムの処置: 分析者権限は取り消されました。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1377I**    管理者 *ID administrator id* の分析者権限が取り消されました。

説明: DSMSEV INSERTDB コマンドは、分析者権限を持つ管理者を見つけ、データベース・アップグレード・プロセスの一環として、その権限を取り消しました。

システムの処置: 分析者権限は取り消されました。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1378I**    *command: session wait time* 分経過しましたが接続を受信していません。

説明: コマンドは、ソース・サーバーの接続を指定された時間待機しましたが、接続は確立されませんでした。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: コマンドを再実行します。

SESSWAIT パラメーターの値を大きくするか、ソース・サーバーからの接続を確立する時間を短縮してください。

---

**ANR1379I**    *command: elapsed time* で *bytes* バイトを読み取り、*database entries* 個のデータベース・エントリーを挿入しました (*read rate* メガバイト/時間)。

説明: このコマンドは示されているバイト数を読み取り、示されているデータベース・エントリーの数を書き込みました。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1380I**    バッファ・プール・モニター・スイッチは使用可能になっています。

説明: サーバーは、バッファ・プール・モニター・スイッチを「ON」にしました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1381W**    バッファ・プール・モニター・スイッチは使用不可 (「OFF」) になっています。手動更新が必要な場合があります。

説明: サーバーは、バッファ・プール・モニター・スイッチを「ON」にすることに失敗しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: この時点ではアクションは不要です。ただし手動更新をしなければ、コマンド「Q DBS」または「Q DB F=D」を実行できない場合があります。メッセージ 1139I を参照してください。

---

**ANR1382E** サーバーはデータベース・パラメーターの更新を試行して、エラー・コード *return code* で失敗しました。

説明: サーバー・オプション・ファイルで指定した値でデータベース・パラメーターを更新できませんでした。

システムの処置: サーバーの初期化は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。詳細については、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1383I** データベース・マネージャーが使用するメモリーが *instance memory in MB MB* に制限されています。

説明: データベース・マネージャー専用のメモリーは正常に設定されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1384E** **IBM Spectrum Protect** サーバー・データベースが使用するメモリーを *instance memory in MBMB* に設定する更新に失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバー・データベース専用のメモリーを設定しようとして失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、この前のメッセージをすべて収集してサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1385E** データベース名がサーバー・オプション・ファイルで無効であるか欠落しているかのいずれかです。

説明: データベースのフォーマットを試行中に、IBM Spectrum Protect サーバーはデータベース名が無効または欠落していることを検出しました。

システムの処置: サーバーはフォーマットを停止します。

ユーザーの処置: データベースをフォーマットするコマンドを再発行する前に、次の項目を確認してください。

- サーバー・オプション・ファイルに指定した名前が IBM Spectrum Protect サーバー・データベースに有効であるようにしてください。データベース名は DATABASEALIAS オプションで指定します。データベース名は 8 つの文字、数字、またはキーボード文字から成る固有の文字ストリングです。名前には a-z、A-Z、0-9、@、#、および \$ の文字をどれでも含めることができます。
- コマンドがサーバーの正しいオプション・ファイルを使用するようにしてください。サーバー・オプション・ファイルを指定するコマンドに -o オプションを使用している場合は、ファイルの名前およびロケーションを正しくしてください。

---

**ANR1386I** データベース挿入処理のスキーマ検査を開始中です。

説明: データベース挿入処理はデータベース・スキーマが正しいことを検査中です。

システムの処置: サーバーはデータベース・レコードを挿入する前にデータベース・スキーマの正確さを検査します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1387I** データベース挿入処理のスキーマ検査が完了しました。

説明: データベース挿入処理はデータベース・スキーマが正しいことを正常に検査しました。

システムの処置: CHECKSCHEMA=YES が指定されている場合に、データベース挿入処理はデータベースへのレコードの挿入を開始します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1388E** データベース挿入処理のスキーマ検査で矛盾が検出されました。

説明: データベース・スキーマの検査中に矛盾が検出されました。

システムの処置: データベース挿入処理は終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1389I** **CHECKSCHEMA=ONLY** が指定されていたため、データベース挿入処理は終了します。

説明: CHECKSCHEMA=ONLY パラメーターが指定されていたため、データベース挿入処理はデータベース・スキーマを検査した後に終了します。

システムの処置: データベース挿入処理は終了します。

ユーザーの処置: CHECKSCHEMA=ONLY パラメーターを指定せずにコマンドを再実行してください。

---

**ANR1390E** レガシー表 *source table name* の列 *source column name (source column number)* が、ターゲット・テーブル *target table name* (最大の列幅が *table size*) の無効な列 (*target column number*) にマップされています。

説明: データベース挿入処理が、データベース・スキーマの検査中に矛盾を検出しました。ソース・データベース表の列が、ターゲット表の無効な列にマップされていました。ターゲット列番号が、ターゲット表の列の数よりも大きいです。

システムの処置: データベース挿入処理は終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1391E** レガシー表 *source table name* の列 *source column name (source column number)* が、ターゲット表 *target table name* の間違った列 *target column name (target column number)* にマップされています。

説明: データベース挿入処理が、データベース・スキーマの検査中に矛盾を検出しました。ソース・データベース表の列が、ターゲット表の間違った列にマップされていました。

システムの処置: データベース挿入処理は終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1392E** ターゲット表 *target table name* の列 *target column name (target column number)* がアップグレードによって設定されていませんが、NULL を許可しておらずデフォルト値がありません。

説明: データベース挿入処理が、データベース・スキーマの検査中に矛盾を検出しました。ターゲット・データベース表の列が設定されておらず、デフォルト値がなく NULL を許可していません。

システムの処置: データベース挿入処理は終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1393I** データベース・マネージャーが使用するメモリーが「自動」に設定されています。

説明: IBM Spectrum Protect サーバー・データベース専用のメモリーは正常に「自動」に設定されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1394E** IBM Spectrum Protect サーバー・データベースが使用するメモリーを「自動」に設定する更新に失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバー・データベース専用のメモリーを「自動」に設定しようとして失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、この前のメッセージをすべて収集してサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1395I** *Insertdb command:* プロセス *process number*、データベース挿入が完了しました。

説明: データベースの挿入処理 *process number* が完了しました。

システムの処置: データベースの挿入処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1396E** *Insertdb command:* プロセス *process number*、データベース挿入がエラーを伴って完了しました。

説明: データベースの挿入処理 *process number* が完了しましたが、この処理でエラーが検出されました。

システムの処置: データベースの挿入処理は終了します。

ユーザーの処置: この処理で発行されたすべてのメッセージを調べ、適切な対策を講じてください。

---

**ANR1397I** *Insertdb command:* *number of database objects* 個のデータベース・オブジェクトが検出されました。

説明: このメッセージは、データベースの挿入処理中に検出されたデータベース・オブジェクトの総数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1398I** *Insertdb command:* *number of database objects* 個のデータベース・オブジェクトが処理されました。

説明: このメッセージは、データベースの挿入処理中に

正常に処理されたデータベース・オブジェクトの総数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1399I** *Insertdb command: number of database objects* 個のデータベース・オブジェクトの処理に失敗しました。

説明: このメッセージは、データベースの挿入処理中に正常に処理されなかったデータベース・オブジェクトの総数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1400W** ボリューム *volume name* のマウント要求が拒否されました - マウントが取り消されました。

説明: マウント要求が取り消されているので、示されているボリュームをマウントすることはできません。

システムの処置: このボリュームはマウントされません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1401W** ボリューム *volume name* のマウント要求が拒否されました - マウントが失敗しました。

説明: マウント要求を正常に完了できないので、示されているボリュームをマウントすることはできません。考えられる理由としては、サーバーの装置指定にエラーがあるか、またはマウント要求のタイムアウトがあげられます。

システムの処置: このボリュームはマウントされません。

ユーザーの処置: 装置指定 (DEFINE DEVCLASS など) にエラーがある場合には、それらを訂正して、ボリュームのマウントを要求するコマンドを再発行してください。

**ANR1402W** ボリューム *volume name* のマウント要求が拒否されました - ボリュームが使用不可です。

説明: 使用可能になっていないので、示されているボリュームをマウントすることはできません。

システムの処置: このボリュームはマウントされません。

ユーザーの処置: 試行されたマウントがライブラリー共有環境で実行され、ライブラリー・マネージャーが最近リサイクルされている場合、5 分以内に再試行してください。この場合、ライブラリー・マネージャーとライブラリー・クライアントが通信を再確立して、2 台のサーバー間でマウント情報を同期化するのに数分かかります。

**ANR1403W** スクラッチ・ボリュームのマウント要求が拒否されました - マウントが取り消されました。

説明: マウント要求が取り消されたので、スクラッチ・ボリュームをマウントすることはできません。

システムの処置: このスクラッチ・ボリュームはマウントされません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1404W** スクラッチ・ボリュームのマウント要求が拒否されました - マウントが失敗しました。

説明: マウント要求を正常に完了できないので、スクラッチ・ボリュームをマウントすることはできません。考えられる理由としては、サーバーの装置指定にエラーがあるか、またはマウント要求のタイムアウトがあげられます。

システムの処置: このスクラッチ・ボリュームはマウントされません。

ユーザーの処置: 装置指定 (例えば、DEFINE DEVCLASS) にエラーがある場合には、それらを訂正して、ボリュームのマウントを要求するコマンドを再発行してください。

**ANR1405W** スクラッチ・ボリューム・マウント要求が拒否されました - 使用可能なスクラッチ・ボリュームがありません。

説明: 使用可能なスクラッチ・ボリュームがないので、スクラッチ・ボリュームをマウントすることはできません。

システムの処置: このスクラッチ・ボリュームはマウントされません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1406E** 取得したマウント・ポイントを同時書き込み操作によってすべて解放できませんでした。

説明: 1 次ストレージ・プールおよびコピー・ストレージ・プールへの同時書き込みによって、取得したマウン



ト・ポイントをすべて解放できませんでした。同時書き込み操作を開始すると、必要なすべてのマウント・ポイントの取得が試みられます。マウント・ポイントを取得できない場合、または同時書き込み操作でマウント・ポイントを待機する必要がある場合は、取得済みのマウント・ポイントが解放されます。これにより、同時書き込み操作でマウント・ポイントが保持されなくなり、その他のマウント要求は完了しなくなります。このメッセージは、前に取得したマウント・ポイントのいずれかを解放できない場合に発行されます。

システムの処置: 同時書き込み操作によって取得されたマウント・ポイントのうち、最低 1 つは解放されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1407W** スクラッチ・ボリュームのマウント要求が拒否されました - ストレージ・プール *pool name* が **maxscratch** 制限に達しました。

説明: ストレージ・プールが MAXSCRATCH パラメーターで許可される最大スクラッチ・ボリューム制限に達したので、スクラッチ・ボリュームをマウントすることはできません。

システムの処置: このスクラッチ・ボリュームはマウントされません。

ユーザーの処置: UPDATE STGPOOL *poolname* MAXSCRATCH=xx コマンドを使用して、ストレージ・プールで許可されるスクラッチ・ボリュームの数を多くしてください。

---

**ANR1408I** *Insertdb command:* **PREVIEW=YES** が指定されています。データベースにデータは挿入されません。

説明: INSERTDB コマンドに PREVIEW=YES が指定されました。データベース・データは読み取られ、エラーがないかチェックされますが、データベースにデータは書き込まれません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1409W** ボリューム *volume name* は既に使用中です - スキップされました。

説明: エクスポート中またはデータベースのバックアップ中に、ボリュームが既にストレージ・プールに定義されているか、現行操作によって既に使用済みであるか、エクスポート操作またはデータベースのバックアップ操作で以前に使用済みである (ボリューム・ヒストリーに

記録されているとおり) か、あるいは別のプロセスで使用中国なので、そのボリュームを使用できません。

システムの処置: 操作は続行され、このボリュームはスキップされます。

ユーザーの処置: サーバー・ストレージ・プールに定義されているボリュームの名前を表示するためには、**QUERY VOLUME** コマンドを使用してください。エクスポートまたはデータベースのバックアップ操作に使用されているボリュームの名前を表示するためには、**QUERY VOLHISTORY** コマンドを使用してください。ボリューム名が前述の **QUERY** コマンドを使用して表示されていない場合には、このメッセージで識別されているボリュームが実行中の操作で指定されていないか、あるいは複数回使用されていないことを確認してください。

---

**ANR1410W** ボリューム *volume name* のアクセス・モードは現在「利用不能」に設定されています。

説明: 示されているボリュームの状況は使用不可に設定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1411W** ボリューム *volume name* のアクセス・モードは現在書き込みエラーのために「読み取り専用」に設定されています。

説明: 示されているボリューム上の回復不能の書き込みエラーのために、ボリュームの状況が読み取り専用に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1412W** ボリューム *volume name* のアクセス・モードは「選択不可能」です。

説明: サーバーの始動時に、示されているボリュームの状況は使用不可になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1413W** ボリューム *volume name* のアクセス・モードは「読み取り専用」です。

説明: サーバーの始動時に、示されているボリュームの状況は読み取り専用になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1414W** 前の書き込みエラーのために、ボリューム *volume name* のアクセス・モードは「読み取り専用」となっています。

説明: サーバーの始動時に、回復不能の書き込みエラーのため、または管理者が UPDATE VOLUME コマンドを使用してボリュームのアクセス・モードを読み取り専用設定しているために、示されているボリュームの状況は読み取り専用になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1415W** ボリューム *volume name* のアクセス・モードは「破壊」です。

説明: サーバーの始動時に、示されているボリュームの状況は破壊になっています。この状況は、ストレージ管理者によってアクセス・モードが破壊に設定されたために発生する場合があります。また、この状況は、サーバーがこのボリュームに関連付けられたデータベース・レコードが損傷していることを判別し、このボリュームの状況を破壊に設定したために発生する場合もあります。この場合、サーバーは ANR1316E メッセージも発行します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールのバックアップが有効である場合は、RESTORE VOLUME サーバー・コマンドを実行してボリュームをリストアできます。

---

**ANR1416I** *command: elapsed time* で *bytes* バイトを読み取り、*database entries* 個のデータベース・エントリーを挿入しました (*read rate* メガバイト/時間)。 *database objects* 個のデータベース・オブジェクトのうち *database objects* 個が検査されました。

説明: このコマンドは示されているバイト数を読み取り、示されているデータベース・エントリーの数を書き込みました。コマンドはデータベース表の示された番号の保全性を検査しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1417W** 過剰な読み取りエラーのために、ボリューム *volume name* のアクセス・モードは現在「読み取り専用」に設定されています。

説明: 示されているボリューム上の読み取りエラーが多

いために、ボリュームの状況は読み取り専用に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクセス・モードおよび読み取りエラーの数を表示するには、ボリュームについて QUERY VOLUME FORMAT=DETAILED を使用してください。 MOVE DATA コマンドを使用して、リトリブ可能なデータをこのボリュームから別のボリュームに移動することもできます。 損傷ファイルの場合には、ファイルの読み取り可能コピーをストレージ・プールにリストアするためには、RESTORE VOLUME コマンドを使用してください。

---

**ANR1418E** *command name:* 別のサーバーをターゲットとする **Export** コマンドをサーバー・コンソールから出すことはできません。

説明: 別のサーバーをターゲットとする EXPORT コマンドがサーバー・コンソールから出されました。 このコマンドは、ターゲット・サーバーでの発行管理者の認証を必要とするので、サーバー・コンソールから発行できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドは管理クライアントから出してください。

---

**ANR1419E** *command name :* **FROMTIME** を指定するときには **FROMDATE** を指定する必要があります。

説明: FROMDATE パラメーターおよび FROMTIME パラメーターをサポートしているコマンドを実行しましたが、FROMTIME パラメーターを指定して FROMDATE パラメーターを指定していません。 FROMTIME パラメーターを使用する時は、FROMDATE パラメーターを指定しなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: FROMDATE および FROMTIME パラメーターの両方を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1420W** ボリューム *volume name* に対する読み取りアクセスが拒否されました - ボリューム・アクセス・モード = 「選択不可能」。

説明: 示されているボリュームを読み取りのためにアク

セスしようとして、ボリュームの状況が使用不可であるために、実行されていません。

システムの処置: このボリュームは読み取りアクセスに使用されません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1421W** ボリューム *volume name* の読み取りアクセスが拒否されました - ボリュームがオフラインになっています。

説明: 示されているボリュームを読み取りのためにアクセスしようとして、ボリュームがオフラインになっていたために実行されませんでした。

システムの処置: このボリュームは使用されません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1422W** ボリューム *volume name* に対する読み取りアクセスが拒否されました - ボリューム・アクセス・モード = 「オフサイト」。

説明: 示されているボリュームを読み取りのためにアクセスしようとして、ボリュームの状況がオフサイトになっていたために実行されませんでした。

システムの処置: このボリュームは読み取りアクセスに使用されません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1423W** スクラッチ・ボリューム *volume name* は空ですが、削除されません - ボリューム・アクセス・モードは「オフサイト」です。

説明: 示されているスクラッチ・ボリュームは空ですが、アクセス・モードがオフサイトになっているので、現時点では削除されません。

システムの処置: ボリュームは削除されません。

ユーザーの処置: ボリュームをオンサイトにした後で、ボリュームを削除できるように、アクセス・モードを読み取り専用に変更してください。

**ANR1424W** ボリューム *volume name* の読み取りアクセスが拒否されました - ボリューム・アクセス・モード = 「破棄済み」

説明: 示されているボリュームを読み取りのためにアクセスしようとして、ボリュームの状況が破損になっていたために実行されませんでした。

システムの処置: このボリュームは読み取りアクセスに使用されません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1425W** スクラッチ・ボリューム *volume name* は空ですが、削除されません - ボリューム状態は "mountablenotinlib" です。

説明: 示されているスクラッチ・ボリュームは空ですが、ボリュームの状態が MOUNTABLENOTINLIB になっているので、現時点では削除されません。可能な理由として、MOVE MEDIA コマンドがライブラリーからボリュームをチェックアウトするために使用された後、最初に、MOVE MEDIA コマンドを実行しないで、CHECKIN LIBVOL を使用してライブラリーにボリュームがチェックインされ、ボリューム状態を MOUNTABLEINLIB 状態に更新したことが考えられます。この現象が発生した場合、QUERY MEDIA は、ボリュームの状態を表示する前に、ボリュームが実際にライブラリー内に存在するかを確認するため、ボリュームが MOUNTABLEINLIB 状態にあると表示します。

システムの処置: ボリュームは削除されません。

ユーザーの処置: ボリュームを削除する場合には、以下の手順を使用できます。

1. CHECKOUT LIBVOL を実行して、ライブラリーから該当するボリュームをチェックアウトしますが、実際のボリューム移動を避けるため、REMOVE=NO オプションを使用することができます。
2. MOVE MEDIA \* STG=\*  
WHERESTATE=MOUNTABLENOTINLIB  
WHERESTATUS=EMPTY を実行します。MOVE MEDIA WHERESTATE=MOUNTABLENOTINLIB によってボリュームが移動された時には、空のスクラッチ・ボリュームは削除されます。
3. CHECKIN LIBVOL コマンドを使用して、ライブラリーにボリュームをチェックインして戻します。

**ANR1426I** すべてのレガシー FILE ボリュームが満杯とマークされました。

説明: IBM Spectrum Protect バージョン 5.3 へのデータベースの変換の一環として、満杯でない devtype FILE の既存のボリュームすべてが、拡張されるのを避けるため、満杯とマークされました。

システムの処置: まだ満杯でないすべての FILE ボリュームが満杯とマークされたので、それらに追加することはできません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1427E** 満杯とマークされたレガシー **FILE** ボリュームはありませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect バージョン 5.3 へのデータベースの変換の一環として、満杯でない devtype **FILE** の既存のボリュームすべてを満杯とマークするように試行しました。しかし、データベース・エラーによって変換が妨げられ、これらのボリュームの状態が未変更のままになっています。

システムの処置: ボリュームは、満杯とマークされません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 **QUERY ACTLOG** コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。詳細については、サービス担当員に連絡してください。

**ANR1428W** ボリューム *volume name* の断片化アクセスが拒否されました - ボリュームがオフラインになっています。

説明: 示されたボリューム上のオブジェクトは、ボリュームがオフラインのため断片化できません。

システムの処置: オブジェクトは今回断片化されません。 ボリュームをオンラインに戻すと、オブジェクトを断片化する試行がもう一度行われます。

ユーザーの処置: ボリュームがオフラインになっている理由を判別して、可能ならボリュームをオンラインに戻します。

**ANR1429E** インポート・プロセスのトランザクションが失敗しました。ノード *node name* に対して無効なファイル・スペース *filespace name* が検出されました。

説明: インポート処理中に、サーバーが無効なファイル・スペース名を検出しました。

システムの処置: このアクションは、通常、管理コマンドまたはクライアント・アクションの結果として、現在削除中のファイル・スペース上でインポートが実行しているときに行われます。サーバーはインポート操作を終了します。

ユーザーの処置: **QUERY PROCESS** コマンドを使用してファイル・スペース削除プロセスの完了をモニターし待機するか、あるいはファイル・スペースを削除する必要がない場合にはこのプロセスを取り消してください。このアクションが行われた後で、再度インポート操作を試みてください。

**ANR1430W** ストレージ・プール *storage pool name* のリトリブ要求が拒否されました - アクセス・モード = 「選択不可能」。

説明: 示されているストレージ・プールからファイルをリトリブしようとしたますが、ストレージ・プールのアクセス・モードが使用不可になっています。

システムの処置: ファイルはこのストレージ・プールからリトリブされません。 可能な場合には、ファイルは別のストレージ・プールからリトリブされます。

ユーザーの処置: ストレージ・プールのアクセス・モードの変更を検討してください。

**ANR1431E** ボリューム *volume name* の **A** 面に書き込み中にエラーが起きました。 このボリュームの **B** 面への書き込みが試みられます。

説明: 2 面方式のボリュームの **A** 面への書き込み中にエラーが起きました。

システムの処置: このボリュームの **A** 面に追加のデータは書き込まれません。 **A** 面の残りのスペースは使用されません。 このボリュームの裏側 (**B** 面) を使用する試みが行われます。

ユーザーの処置: **B** 面を正常に使用できる場合には不要です。 ただし、管理者はこのエラーの原因を調べて、データをこのボリュームから移動することができま

**ANR1432I** 定義済みファイルに対する装置構成情報を更新中です。

説明: サーバーは、サーバー・オプション・ファイルの **DEVCONFIG** オプションで指定されたファイルまたはデータ・セットの装置構成情報を更新中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1433I** 装置構成情報が正常に *file name* に書き込まれました。

説明: 装置構成情報が、指定されたファイルに正常に書き込まれました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1434W** 装置構成情報を自動的に保管するためのファイルが認識されていません。

説明: サーバーは装置構成ファイルを自動的に更新することができません。サーバー・オプション・ファイルの DEVCONFIG オプションを使用して、ファイルが識別されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーの回復を助けるためにサーバーに装置構成情報を自動的に記録させたい場合には、サーバー・オプション・ファイルの DEVCONFIG オプションを使用して、装置構成情報の書き込み先を指定してください。オプション・ファイルを更新する場合には、変更が有効となるように、サーバーを停止してから再始動してください。

---

**ANR1435E** サーバーが装置構成情報を *devconfig file name* に書き込むことができませんでした。

説明: 装置構成情報を定義されたファイルに書き込むようとしている時に、サーバーが指定されたファイル名に書き込むことができません。

システムの処置: サーバーは装置構成情報を指定されたファイルに書き込むことができません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。表示のファイルに書き込む適正な権限がサーバーに存在すること、およびこのファイルのファイル・システムに十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。問題が訂正された後で、BACKUP DEVCONFIG コマンドを使用して、装置構成情報をファイルに書き込んでください。

---

**ANR1436E** 装置構成ファイル *devconfig file name* をオープンできません。

説明: 装置構成情報を装置構成ファイルに書き込むようとしている時に、サーバーが指定されたファイル名をオープンすることができません。

システムの処置: サーバーは装置構成情報を指定されたファイルに書き込みません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。表示のファイルに書き込む適正な権限がサーバーに存在すること、およびこのファイルのファイル・システムに十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られて

いて、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。問題が訂正された後で、BACKUP DEVCONFIG コマンドを使用して、装置構成情報をファイルに書き込んでください。

---

**ANR1437E** 装置構成ファイルを使用することができませんでした。

説明: サーバーは定義されたファイルから装置構成情報を読み取ろうとしています、ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: この操作は終了されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。定義された装置構成ファイルが作成されていることを確認してください。サーバーを始動できる場合には、BACKUP DEVCONFIG コマンドを使用してファイルを作成することができます。サーバーを始動できない場合には、ファイルを編集し、装置クラス、ドライブ、およびライブラリー用の適切な DEFINE コマンドを追加して、装置構成ファイルを作成する必要があります。サーバーが定義された装置構成ファイルから読み取る正しい権限を持っていることを確認してください。

---

**ANR1438W** 装置構成ファイル *devconfig file name* をスキップ中。

説明: 定義済みの装置構成ファイルから装置構成情報を読み取ろうとしている時に、サーバーがファイルに組み込まれている定義を処理していて問題を見つけています。

システムの処置: 指定されたファイルはスキップされ、サーバー・オプション・ファイルに指定された次のファイルが使用されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べて、ファイルを使用できない理由を判断してください。サーバーを再始動できる場合には、BACKUP DEVCONFIG コマンドを使用してこのファイルを再表示することができます。

---

**ANR1439E** 割り振りが禁止されています - トランザクションが失敗しました。

説明: ストレージ・プールにストレージを事前割り振りしようとしている時に、サーバーはこの操作のトランザクションが前に失敗したことを検出しました。このエラーは、バックアップ用に大きなファイルが選択されてクライアントがファイル・サイズを正しく見積もっていない場合に起こることがあります。このファイルのス

ストレージ・プールに十分なスペースがない場合があります。

システムの処置: 内部エラーがサーバーによって報告され、実行中の操作は終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、このメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べてください。

---

**ANR1440I** すべてのドライブが使用中です。 プロセス *process number* は優先順位がより高い操作に先行されました。

説明: 優先順位の高い操作が使用可能なドライブを見つけようとしていた時に、すべてのドライブが使用中でした。 ドライブをこの操作に使用できるようにするために、示されているプロセスはシステムによって取り消されています。

システムの処置: マウント・ポイント (ドライブ) を使用できるようにするために、優先順位の低いプロセスは取り消されます。

ユーザーの処置: 再びドライブが使用できるようになった時に、取り消されたプロセスを再度開始してください。 このプロセスがマイグレーションまたはレクラメーション処理の場合には、必要に応じて自動的に再開されます。 このメッセージが頻繁に現れる場合には、使用可能なドライブの数を増やすことができます。

UPDATE DEVCLASS コマンドの MOUNTLIMIT パラメーターを参照してください。

---

**ANR1441I** ボリューム *volume name* は使用中です。 プロセス *process number* は優先順位がより高い操作に先行されました。

説明: 優先順位の高い操作がボリュームを使用しようとした時に、それが使用中でした。 ボリュームをこの操作に使用できるようにするために、示されているプロセスはシステムによって取り消されています。

システムの処置: 使用可能なボリュームに対して優先順位の低いプロセスは取り消されます。

ユーザーの処置: 取り消されたプロセスを再始動してください。 高優先順位のプロセスがボリュームの使用を完了するまで、待機することになります。 取り消されたプロセスがマイグレーションまたはレクラメーション処理の場合には、必要な時に自動的に再開されることになります。

---

**ANR1442E** 保管操作には無効なストレージ・プール: *storage pool*.

説明: 保管操作 (バックアップまたはアーカイブなど) 用に選択されたストレージ・プールが NATIVE または

NONBLOCK データ・フォーマットのストレージ・プールではありません。 これによって、間違った管理クラスがオブジェクトに割り当てられている可能性があります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 割り当てられた管理クラスのコピー・グループ宛先ストレージ・プールが適切な NATIVE または NONBLOCK データ・フォーマットになるようにしてください。

---

**ANR1443W** プロセス *process ID* は、セッション *session id* から終了しました。 ドライブの競合による潜在的なデッドロックが検出されました。

説明: メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1444E** 装置構成ファイルが定義されていません。

説明: 装置構成ファイルが定義されていません。 サーバー・オプション・ファイルの DEVCONFIG オプションを確認してください。

システムの処置: 指定された構成パラメーターはスキップされます。

ユーザーの処置: 装置構成ファイルに使用する有効なファイルまたはデータ・セットの名前を指定して、DEVCONFIG オプションをサーバー・オプション・ファイルに追加してください。

---

**ANR1445I** *Insertdb command*: スループットは *megabytes per hour* メガバイト/時間で示した。

説明: このメッセージは、データベースの挿入処理中のスループットの合計 (メガバイト/時間) を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1446I** **RUNSTATS:** 表の統計の更新が開始されました。

説明: このメッセージは、すべての表の統計の更新が開始されたことを示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1447W** *command name:* サーバーは、新規スレッドを開始して、行 *line number* にあるコマンドを並列に実行することができません。コマンドは、順次実行されます。

説明: このメッセージは、RUN コマンド中に出され、スレッド・リソースがコマンドの並列実行に使用できないことを示します。コマンドは、順次実行されます。

システムの処置: SCRIPT は続行します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるリソースを増加するか、任意の時点でサーバー上で実行される並列コマンドまたはスクリプトを減少するかします。

---

**ANR1448I** *command name:* 行 *line number* にある **SCRIPT** コマンドの順次実行の開始。

説明: このメッセージは、RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行時に出され、SERIAL コマンドが見つかり、その後に続く SCRIPT コマンドが順次実行されることを示します。

システムの処置: SCRIPT コマンドは続行します。

ユーザーの処置: SERIAL コマンドの後に続くコマンドの出力を参照して、コマンドの実行結果を確認します。

---

**ANR1449I** *command name:* 行 *line number* にある **SCRIPT** コマンドの並列実行の開始。

説明: このメッセージは、RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行時に出され、PARALLEL コマンドが見つかり、その後に続く SCRIPT コマンドが並列実行されることを示します。

システムの処置: SCRIPT コマンドは続行します。

ユーザーの処置: PARALLEL コマンドの後に続くコマンドの出力を参照して、コマンドの実行結果を確認します。

---

**ANR1450E** *command name:* 無効なコマンド・スクリプト名: *command script name*。

説明: DEFINE、UPDATE、または DELETE SCRIPT コマンドに無効なスクリプト名が指定されました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 有効なコマンド名を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR1452E** *command name:* 行番号が無効です。 *line number*。

説明: DEFINE、UPDATE、または DELETE SCRIPT コマンドに無効な行番号が指定されました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 有効な行番号を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR1453E** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* は既に存在しています。

説明: DEFINE SCRIPT コマンドに指定されたスクリプト名は既に存在しています。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 別のコマンド名を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR1454I** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* が定義されました。

説明: DEFINE SCRIPT コマンドに指定されたスクリプト名が正常に定義されました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1455E** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* が存在していません。

説明: DEFINE、UPDATE、または DELETE SCRIPT コマンドに指定されたスクリプト名が存在していません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 別のコマンド名を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR1456I** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* が更新されました。

説明: UPDATE SCRIPT コマンドに指定されたスクリプト名が正常に更新されました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1457I** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* が削除されました。

説明: DELETE COMMAND コマンドに指定されたスクリプト名が正常に削除されました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1458I**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name* から行 *line number*  
                  が削除されました。

説明: DELETE SCRIPT コマンドの結果として指定された行番号がコマンド・スクリプトから削除されました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1459E**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name*、行 *line number* が  
                  存在しません。

説明: UPDATE または DELETE SCRIPT コマンドに指定されたコマンド・スクリプト名の行が存在していません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 別の行番号を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR1460I**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name* が *new command*  
                  *script name* にコピーされました。

説明: COPY SCRIPT コマンドに指定されたコマンド・スクリプトが新しいスクリプトにコピーされました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1461I**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name* を実行中。

説明: RUN コマンドの結果として指定されたコマンド・スクリプトが実行中です。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1462I**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name* が正常に完了しました。

説明: 指定されたコマンド・スクリプトは、RUN コマンドによって開始されたもので、正常に完了しました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---



---

**ANR1463E**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name* はエラーで完了しました。

説明: 指定されたコマンド・スクリプトは、RUN コマンドによって開始されたもので、エラーを見つけました。

システムの処置: スクリプト中のコマンド・ラインの一部またはすべてがエラーで終了しました。 コマンド処理を終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前のメッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 コマンド・スクリプトを訂正してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1464E**    *command name:* コマンド・マクロ  
                  *command script name*、行 *line number*、パラメーター *parameter number* が指定されていません: *command line*。

説明: コマンド・スクリプトを実行するために必要な一部のパラメーターが RUN コマンドに指定されていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 必要なすべてのパラメーターを指定して RUN コマンドを再入力してください。

---

**ANR1465E**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name*、行 *line number*、パラメーターが指定されていません:  
                  *command line*。

説明: コマンド・スクリプトで無効なパラメーターが見つかりました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: スクリプト定義を訂正して RUN コマンドを再実行してください。

---

**ANR1466I**    *command name:* コマンド・スクリプト  
                  *command script name*、行 *line number* :  
                  *command line*。

説明: コマンド・スクリプトの指定された行が実行中です。 実行中の行の内容が表示されます。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

---



---

**ANR1468E** *command name:* 継続行のあるコマンド・スクリプト *command script name* が長すぎます。

説明: 継続行をもつ指定されたコマンド・スクリプトが実行するのに長すぎます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 指定されたコマンド・スクリプトを短くなるように訂正してください。

---

**ANR1469E** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name*、行 *line number* が無効なコマンドです。 *command line*。

説明: コマンド・スクリプトに指定された行が有効なサーバー・コマンドではありません。 *PREVIEW=YES* パラメーターが指定された *RUN* コマンドが実行されると、このメッセージが表示されます。

システムの処置: コマンド・プレビュー処理は失敗します。

ユーザーの処置: スクリプトを訂正して *RUN* コマンドを再入力してください。

---

**ANR1470I** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* が正常に完了しました (**PREVIEW** モード)。

説明: 指定されたコマンド・スクリプトは、*RUN* コマンドによって開始されたもので、正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1471E** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* がエラーで完了しました (**PREVIEW** モード)。

説明: 指定されたコマンド・スクリプトは、*RUN* コマンドによって開始されたもので、エラーを見つけました。

システムの処置: コマンド・スクリプト中のコマンド・ラインの一部またはすべてがエラーで終了しました。コマンド処理を終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前のメッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。スクリプトを訂正してコマンドを再発行してください。

---



---

**ANR1472I** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* が *new command script name* に名前変更されました。

説明: 指定されたコマンド・スクリプトは、*RENAME SCRIPT* コマンドで名前変更されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1473E** *command name:* **FILE=** パラメーターを使用する時には、コマンド・ラインを指定することはできません。

説明: *DEFINE SCRIPT* コマンドに *FILE=* パラメーターが指定されましたが、*SCRIPT* にコマンド・ラインも指定されています。 *FILE=* パラメーターを指定した時には、コマンド・ラインを指定することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コマンド・ラインまたは *FILE=* パラメーターを指定しないで、コマンドを再入力してください。

---

**ANR1474E** *command name:* **FILE=** パラメーターを使用する時には、行番号を指定することはできません。

説明: *DEFINE SCRIPT* コマンドに *FILE=* パラメーターが指定されましたが、*SCRIPT* に行番号も指定されています。 *FILE=* パラメーターを指定した時には、行番号を指定することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 行番号または *FILE=* パラメーターを指定しないで、コマンドを再入力してください。

---

**ANR1475E** *command name:* ファイル *file name* をオープンできません。

説明: コマンドにファイル名が指定されましたが、サーバーが指定されたファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 活動記録ログでこのメッセージの前に現れた可能性があるメッセージを調べ、エラーが見つかるかどうかを判別してください。そのファイルがコマンドで使用するものであった場合には、ファイルが存在していること、およびサーバーがそのファイルにアクセスするのに適切な権限をもっているかを確認してください。そのファイルがコマンドで作成されるものであった場合には、ファイル・システムに十分なスペースがあること、およびサーバーが指定された位置でファイルを

作成する権限をもっているかを確認してください。

---

**ANR1476E** *command name:* ファイル *file name* にデータがありません。

説明: コマンドに FILE= パラメーターが指定されましたが、指定されたファイルにスクリプト・コマンド・ラインが含まれていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ファイルにスクリプト・コマンド・ラインを追加するか、あるいは別のファイルを指定して、コマンド入れ直してください。

---

**ANR1477E** *command name:* **FORMAT=RAW** を指定した時だけ **OUTPUTFILE** パラメーターを指定することができます。

説明: QUERY SCRIPT コマンドに OUTPUTFILE パラメーターが指定されていますが、FORMAT パラメーターに RAW 出力が指定されていません。QUERY をファイルに出力する時には、RAW の出力形式を指定しなければなりません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: FORMAT パラメーターに適切な値を指定したコマンドを再入力するか、あるいは OUTPUTFILE パラメーターを指定しないでください。

---

**ANR1478E** *command name:* ファイル *file name* に書き込み中にエラー。

説明: 指定されたファイルへの書き込み中に、エラーが検出されました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 活動記録ログでこのメッセージの前に現れた可能性があるメッセージを調べ、エラーが見つかるかどうかを判別してください。ファイル・システムに十分なスペースがあること、およびサーバーが指定された位置でファイルを作成する権限をもっていることを確認してください。

---

**ANR1479I** *command name:* 照会出力がファイル *file name* に書き込まれました。

説明: 指定された照会からの出力が指定されたファイルに正常に書き込まれました。

システムの処置: コマンドは正常に完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1480E** *command name:* 記述テキストが長すぎます。

説明: 指定された記述テキストが記述テキストの指定が可能なコマンドには長すぎます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 短い記述を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR1481E** *command name:* コマンド・ラインまたは記述を指定しなければなりません。

説明: UPDATE SCRIPT コマンドが指定されましたが、コマンド・ライン (スクリプト行) または記述テキストがありません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コマンド・ラインまたは記述テキストを指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR1482I** *command name:* 行 *line number* でラベル *statement label* が見つかり、続行中です。

説明: このメッセージは、RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行時に出され、GOTO ステートメントのターゲット・ラベルが見つかりましたということを示します。

システムの処置: コマンド処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1483I** *command name:* 行 *line number* の条件 **IF(condition)** が真ではありません - ステートメントはスキップされます。

説明: このメッセージは RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行中に出され、戻りコードの条件検査が正常に実行されず、IF(.) ステートメントがスキップされることを示します。

システムの処置: コマンド処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1484I** *command name:* 行 *line number* の条件 **IF(condition)** が真です - ステートメントは実行されます。

説明: このメッセージは RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行中に出され、戻りコードの条件検査が正常に実行され、IF(.) ステートメントが実行されることを示します。

システムの処置: コマンド処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1485I** *command name:* 行 *line number* で **EXIT** ステートメントをもつスクリプトが終了中。

説明: このメッセージは、RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行時に出され、EXIT ステートメントが見つかり、スクリプト終了が完了するということを示します。

システムの処置: SCRIPT コマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1486I** *command name:* 行 *line number* **GOTO** *label name* を実行中。

説明: このメッセージは、RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行時に出され、GOTO ステートメントが見つかり、処理は名前つきラベルにスキップするということを示します。

システムの処置: SCRIPT 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1487I** *command name:* コマンドの戻りコードは *symbolic return code (return code severity)* です。

説明: このメッセージは、RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行時に出され、最後のコマンドから戻された戻りコードを示します。

システムの処置: SCRIPT 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1488E** *command name:* 行 *line number* の条件 **IF(condition)** が有効な条件ではありません。

説明: このメッセージは、SCRIPT 中の IF() ステートメントが正しい条件値を指定していない場合に出されます。

システムの処置: コマンドの処理は失敗します。

ユーザーの処置: IF() ステートメントに有効な条件を使用して、コマンドを再入力してください。

---

**ANR1489E** *command name:* 行 *line number* はラベル (*label name*) の **GOTO** ですが、このラベルが存在していないか、行 *line number* より前の行と関連しています。

説明: このメッセージは、SCRIPT 中の GOTO ステートメントが SCRIPT に存在するラベルを指定していな

いか、あるいは、ラベルは存在するがこの GOTO ステートメントを含む行より前の行と関連しているラベルを指定している場合に出されます。

システムの処置: コマンドの処理は失敗します。

ユーザーの処置: SCRIPT 定義を訂正して RUN コマンドを再入力してください。

---

**ANR1490W** *command name:* コマンド・スクリプト *command script name* にコマンドが含まれていません。

説明: RUN コマンドに指定されたスクリプト名にコマンドが含まれていません。

システムの処置: RUN 操作は失敗します (行うものがありません)。

ユーザーの処置: コマンドを含まないサーバー・コマンド・スクリプトは実行されません。スクリプトにコマンド・ラインを追加して、RUN コマンドを再入力してください。

---

**ANR1491E** サーバー・コマンド・スクリプトは、サーバー・コンソールから開始することはできません。

説明: サーバー・コマンド・スクリプトの RUN コマンドがサーバー・コンソールから出されました。サーバー・コマンド・スクリプトは、完了まで長時間かかることがあり、サーバー・コンソールはサーバー機能以外の制御にも使用する必要があるため、サーバー・コンソールから開始することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・コマンド・スクリプトを管理クライアントから開始するか、あるいは管理コマンド・スケジューラーを使用して実行されるようにスケジュールしてください。

---

**ANR1492E** *command name:* サーバー・コマンド・スクリプトの **RUN** コマンドにループが検出されました - コマンドは失敗しました。

説明: サーバー・コマンド・スクリプトの DEFINE または UPDATE コマンドは、1 つ以上のスクリプトがループ内で相互に呼び出し、スクリプトが無限に実行されるような状態を作り出しました。

システムの処置: コマンドは、サーバー・コマンド・スクリプトの更新に失敗しました。

ユーザーの処置: サーバー・コマンド・スクリプトは相互に呼び出すことができますが、ただしその実行でルー

プを起こす可能性があるような形式であってはなりません。 ループ内でスクリプト相互間の呼び出しが起らないような方法でスクリプトを指定してください。

---

**ANR1493E** *Command:* 管理者 *administrator name* には、コマンド・スクリプト *command script name* を更新または削除することは認可されていません。

説明: 指定された管理者が示されているコマンドを入力しましたが、この管理者はこのコマンド・スクリプトを更新または削除するために必要な正しい権限を持っていません。 管理者がシステム権限を持っていない場合には、その管理者が前にこのスクリプトを作成または更新していることが必要です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しく許可された管理者 ID からこのコマンドを出すか、あるいはこのスクリプトを作成した管理者に連絡してください。

---

**ANR1494I** *command name:* コマンドの戻りコードは *numeric return code* です。

説明: このメッセージは、RUN コマンド (VERBOSE=YES) の実行中に、最後のコマンドから戻された数値の戻りコードを示すために出されます。

システムの処置: SCRIPT 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1495E** *command name: command script name* は、現在実行中です。 定義、更新、または削除は実行できません。

説明: DEFINE、UPDATE、または DELETE SCRIPT が、現在実行されているスクリプトで試行されました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: スクリプトが実行されていない時に、コマンドを再入力してください。

---

**ANR1496I**

説明: 重大度標識が INFORMATION の ISSUE MESSAGE コマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1497W**

説明: 重大度標識が WARNING の ISSUE MESSAGE コマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1498E**

説明: 重大度標識が ERROR の ISSUE MESSAGE コマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1499S**

説明: 重大度標識が SEVERE の ISSUE MESSAGE コマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1500I** ポリシー・ドメイン *domain name* が定義されました。

説明: DEFINE DOMAIN コマンドに応答して、ポリシー・ドメイン *domain name* がサーバー・データベースの中で定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1501I** ポリシー・ドメイン *domain name* が削除されました。

説明: DELETE DOMAIN コマンドに応答して、ポリシー・ドメイン *domain name* がサーバー・データベースから削除されました。 このドメインに関連のあるすべてのポリシー・セット、管理クラス、コピー・グループ、およびスケジュールも除去されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1502I** ポリシー・ドメイン *domain name* が更新されました。

説明: UPDATE DOMAIN コマンドへの応答で、サーバー・データベースのポリシー・ドメイン *domain name* が更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1503I** ポリシー・ドメイン *domain name* がドメイン *target domain* にコピーされました。

説明: COPY DOMAIN コマンドへの応答で、ポリシー・ドメイン *domain name* が *target domain* という名前の新しいドメインにコピーされました。すべてのポリシー・セット、管理クラス、およびコピー・グループも、*target domain* ポリシー・ドメインにコピーされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1504I** *Command*: 一致するドメインがありません。

説明: サーバーが、コマンド *command* に入力した指定と名前が一致するポリシー・ドメインを見つけることができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 既存のポリシー・ドメイン名と一致する指定でコマンドを再発行してください。既存のポリシー・ドメインの名前のリストを表示するためには、QUERY DOMAIN コマンドを使用してください。

---

**ANR1505W** 管理クラス *management class name* の中のバックアップ・コピー・グループは、存在しない目次宛先ストレージ・プール *storage pool name* を指定します。ポリシー・セット *policy set name* が活動化されたときにこのプールが存在しない場合、バックアップ用としてこの管理クラスを使用すると、イメージ・バックアップのための目次の作成は正常に実行されない場合があります。

説明: このメッセージは、DEFINE COPYGROUP、UPDATE COPYGROUP、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。表示のコマンド処理時に、サーバーは、*storage pool name* という名前の未定義のストレージ・プールを参照している目次 (TOC) 宛先を持つバックアップ・コピー・グループを検出しました。ポリシー・セットが活動化されたときにこのストレージ・プールが定義されていない場合、イメージ・バックアップのための TOC の作成が管理クラスにバインドされ、かつこの管理クラスに属しているコピー・グループがこのプールを参照していると、この TOC の作成は正常に実行されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 未定義のストレージ・プールを参照し

ているコピー・グループを見つけるためには、QUERY COPYGROUP コマンドを実行してください。既存のストレージ・プールを参照している TOC 宛先を変更するには、UPDATE COPYGROUP コマンドを実行してください。ストレージ・プールを定義するために、許可された管理者は DEFINE STGPOOL コマンドを実行することができます。

---

**ANR1506E** *Command*: TOC 宛先に指定されているストレージ・プール名 *storage pool name* が無効です。

説明: 目次 (TOC) の宛先に指定されたストレージ・プール名 *pool name* が無効な宛先ストレージ・プール・タイプになっているので、コマンド *command* のサーバー処理は失敗しました。コピー・ストレージ・プールまたは活動データ・ストレージ・プールは、有効なコピー・グループの TOC 宛先ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コピー・プールまたは活動データ・プール以外のストレージ・プール名を使用してコマンドを再発行してください。定義済みのストレージ・プールの名前のリストを表示するためには、QUERY STGPOOL コマンドを実行してください。

---

**ANR1507I** 目次のロード保存期間が *number of minutes* 分に設定されました。

説明: 参照されていない目次 (TOC) データがサーバー・データベースにロードされた状態で保持される分数が、SET TOCLOADRETENTION コマンドで指定された値に設定されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1508E** *Command*: 誤った目次ロード保存期間 *retention value* が指定されました。

説明: 無効な目次 (TOC) 保存期間を指定している SET TOCLOADRETENTION コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい保存期間を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1509E** ファイル *file name* へのオプション *option name* の書き込みエラー。

説明: オプション・エントリをサーバー・オプション・ファイルに書き込み中に、エラーが検出されました。

システムの処置: フォーマット・コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 活動記録ログでこのメッセージの前に現れた可能性があるメッセージを調べ、エラーが見つかるかどうかを判別してください。ファイル・システムに十分なスペースがあること、およびサーバーがサーバー・オプション・ファイルを更新する権限を持っていることを確認して、フォーマット・コマンドを再発行してください。

---

**ANR1510I** ポリシー・ドメイン *domain name* でポリシー・セット *set name* を定義します。

説明: DEFINE POLICYSET コマンドへの応答で、*set name* という名前のポリシー・セットが、サーバー・データベースの *domain name* という名前のポリシー・ドメインに定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1511I** ポリシー・ドメイン *domain name* からポリシー・セット *set name* を削除します。

説明: DELETE POLICYSET コマンドへの応答で、ポリシー・セット *set name* が、サーバー・データベースのポリシー・ドメイン *domain name* から削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1512I** ポリシー・ドメイン *domain name* でポリシー・セット *set name* を更新します。

説明: UPDATE POLICYSET コマンドへの応答で、ポリシー・セット *set name* が、サーバー・データベースのポリシー・ドメイン *domain name* で更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1513I** ポリシー・セット *set name* がポリシー・ドメイン *domain name* のセット *new set name* にコピーされました。

説明: COPY POLICYSET コマンドへの応答で、ポリシー・セット *set name* が *domain name* という名前のポリシー・ドメインのポリシー・セット *new set name* にコピーされました。すべての管理クラスおよびコピー・グループもポリシー・セット *new set name* にコピーされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1514I** ポリシー・ドメイン *domain name* でポリシー・セット *set name* が活動化されました。

説明: ACTIVATE POLICYSET コマンドへの応答で、ポリシー・セット *set name* が、ポリシー・ドメイン *domain name* で活動化されました。ポリシー・セット内のすべての管理クラスおよびコピー・グループ定義は、このコマンドがコミットされた後でセッションを開始するクライアントによって使用されます。現在サーバーとの確立されたセッションを持っているクライアントは、このドメインに対して前に活動化されたポリシー・セットのポリシー定義を使用します。

システムの処置: サーバーは、ポリシー・ドメイン用の活動状態の管理クラスおよびコピー・グループ定義を、指定されたポリシー・セットで見つかった定義と置き換えます。これらの値は、サーバー・データベースにこのコマンドがコミットされた後で、サーバーとのセッションを開始するクライアント・ノードに戻されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1515I** ポリシー・セット *set name* がドメイン *domain name* の中で妥当性検査されました (活動化のために作動可能)。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET コマンドへの応答で表示される場合があります。管理クラスおよびコピー・グループ定義がポリシー・セットの活動化のために妥当であるかどうかを調べるため、ポリシー・セット *set name* が、ドメイン *domain name* で検査されました。このメッセージは、ポリシー・セットを活動化できることを示しています。ポリシー・セットに現在ポリシー・ドメインで活動状態の集合との相違点がある場合には、このメッセージの前に警告メッセージが出されている可能性があります。

システムの処置: サーバーはその定義を検査して、ポリシー・セットを活動化するための資格を判断します。サーバーはポリシー・セットを活動化しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されているポリシー・セットの矛盾に関する警告メッセージが受け入れられるものである場合には、ACTIVATE POLICYSET コマンドを実行してポリシー・ドメインのポリシー・セットを活動化してください。そうでない場合には、ポリシー・セットを活動化する前に、矛盾を訂正してください。ACTIVATE POLICYSET コマンドを実行してポリシー・セットを活動化する前に、妥当性検査コマンド

を使用してポリシー・セットの内容を検査してください。

---

**ANR1516E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は重複排除が使用可能になっていません。

説明: 示されているコマンドが、重複排除が使用可能になっていないストレージ・プールの名前を指定しています。コマンドを実行できるようにするには、ストレージ・プールで重複排除を使用可能にする必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: パラメーター DEDUPLICATE=YES を指定してストレージ・プールを更新して、データの重複排除を許可してください。ただし、ストレージ・プール内でデータを重複したい場合に限りです。

---

**ANR1517I** *Insertdb command:* *number of database records* 個のデータベース・レコードが処理されました。

説明: このメッセージは、データベースの挿入処理中に正常に挿入されたデータベース・レコードの総数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1518I** *Insertdb command:* *number of bytes* バイトが読み取られました。

説明: このメッセージは、データベースの挿入処理中に正常に読み取られたバイトの総数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1519I** *Insertdb command:* 経過時間は *elapsed time* でした。

説明: このメッセージは、データベースの挿入処理中に経過した時間を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1520I** 管理クラス *class name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name* の中で定義されました。

説明: DEFINE MGMTCLASS コマンドへの応答で、*class name* という名前の管理クラスが、*domain name* と

いう名前のポリシー・ドメインに属するポリシー・セット *set name* に定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1521I** 管理クラス *class name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name* から削除されました。

説明: DELETE MGMTCLASS コマンドへの応答で、*class name* という名前の管理クラスが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシーの集合 *set name* から削除されました。この管理クラスに定義されたすべてのコピー・グループも除去されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1522I** 管理クラス *class name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name* の中で更新されました。

説明: UPDATE MGMTCLASS コマンドへの応答で、*class name* という名前の管理クラスが、ポリシー・ドメイン *domain name*、ポリシー・セット *set name* で更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1523I** 管理クラス *class name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name* の中のクラス *new class name* にコピーされました。

説明: COPY MGMTCLASS コマンドへの応答で、*class name* という名前の管理クラスが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の *new class name* という名前の新しい管理クラスにコピーされました。管理クラス *class name* に定義されたすべてのコピー・グループも管理クラス *new class name* にコピーされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1524I** *Insertdb command:* データベースの更新フェーズを開始しています。

説明: データベース挿入プロセスは、データベース・レコードの挿入を完了し、挿入されたレコードへの更新を始めました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1525I** *command: database entries* データベース項目の *database entries* が *elapsed time* で更新されました。

説明: コマンドによって、データベース項目の指定された番号が更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1526I** *Insertdb command:* 索引の構築をして、表の健全性を検査しています。

説明: データベース挿入プロセスは索引の作成とデータベース表の健全性検査を開始しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1527I** *command: database objects* データベース・オブジェクトの *database objects* が *elapsed time* で検査されました。

説明: コマンドはデータベース表の示された番号の健全性を検査しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1528I** **RUNSTATS:** 表の統計の更新が *elapsed time* で完了しました。

説明: このメッセージは、すべての表の統計の更新が完了したことを示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1529I** プロセス *process ID* は、ボリューム *Volume name* 上の *File state* の重複排除された範囲 *Extent id* をスキップしました。

説明: 順次ファイル・ボリュームからの重複排除された範囲の移動またはコピー中に、削除済みまたは損傷ありのマークが付けられた範囲が検出されました。その結果として、範囲はスキップされました。

システムの処置: サーバーは、損傷ありまたは削除済みのマークが付けられていないすべての範囲をボリュームから移動またはコピーします。 損傷ありまたは削除済みの範囲はスキップされます。

ユーザーの処置: 重複排除された範囲に損傷ありのマークが付けられている場合、示されているボリュームを *FIX=NO* で監査して、ファイルに損傷があるかどうか検査します。 重複排除された範囲に損傷がなければ、この監査でファイルの状況がリセットされます。

重複排除された範囲に削除済みのマークが付けられている場合、別のストレージ・プールにコピーされません。

---

**ANR1530I** バックアップ・コピー・グループ *group name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* の中に定義されました。

説明: *DEFINE COPYGROUP* コマンドへの応答で、*group name* という名前のバックアップ・コピー・グループが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の *class name* という名前の管理クラスに定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1531I** バックアップ・コピー・グループ *group name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* から削除されました。

説明: *DELETE COPYGROUP* コマンドへの応答で、*group name* という名前のバックアップ・コピー・グループが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の *class name* という名前の管理クラスから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1532I** バックアップ・コピー・グループ *group name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* の中で更新されました。

説明: *UPDATE COPYGROUP* コマンドへの応答で、*group name* という名前のバックアップ・コピー・グループが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の *class name* という名前の管理クラスで更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。



---

**ANR1533E** *command*: 指定されたターゲット・クライアントのバージョンが無効です。 *value name* の値: **V.R.M.F.** 形式の *value* (バージョン、リリース、モディフィケーション、および修正レベル) が間違っています。

説明: コマンド *command* の前処理中に、クライアント・ターゲット・レベルに無効な値が検出されました。正しいクライアント・ターゲット・レベルのフォーマットは 6.2.0.0 などです。

システムの処置: REGISTER NODE または UPDATE NODE は失敗します。

ユーザーの処置: 正しいクライアント・ターゲット・レベルを指定し、このコマンドを再実行します。

---

**ANR1534I** ファイルのコピーが見つからなかったため、プロセス *process ID* はボリューム *Volume name* 上の *Num Files* 個の重複排除されたファイルをスキップしました。

説明: DEDUPREQUIRESBACKUP サーバー・オプションは YES に設定されています。このオプションの値が YES (デフォルト) のときに重複排除されたストレージ・プール内にあるファイルを移動する場合は、事前にそのファイルを重複排除されていないコピー・ストレージ・プールにバックアップする必要があります。

システムの処置: 操作はコピーのないファイルをスキップし、続行されます。

ユーザーの処置: 1 次ストレージ・プールにあるすべてのファイルを、重複排除されていないコピー・ストレージ・プールにバックアップするようにしてください。また、DEDUPREQUIRESBACKUP サーバー・オプションの値を NO に変更することもできます。ただし、この値を NO に設定すると、データの整合性エラーが発生した場合にリカバリー不能なデータ損失が起こる可能性があります。デフォルトを変更しないことが最善の方法です。

---

**ANR1535I** アーカイブ・コピー・グループ *group name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* の中に定義されました。

説明: DEFINE COPYGROUP コマンドへの応答で、*group name* という名前のアーカイブ・コピー・グループが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の *class name* という名前の管理クラスに定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

---

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1536I** アーカイブ・コピー・グループ *group name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* から削除されました。

説明: DELETE COPYGROUP コマンドへの応答で、*group name* という名前のアーカイブ・コピー・グループが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の *class name* という名前の管理クラスから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1537I** アーカイブ・コピー・グループ *group name* がポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* の中で更新されました。

説明: UPDATE COPYGROUP コマンドへの応答で、*group name* という名前のアーカイブ・コピー・グループが、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の *class name* という名前の管理クラスで更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1538I** ポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name* の *class name* にデフォルトの管理クラスが設定されました。

説明: ポリシー・ドメイン *domain name* のポリシー・セット *set name* のデフォルト管理クラスが、*class name* という名前の管理クラスに設定されました。

システムの処置: このポリシー・セットが活動化されると、クライアントはデフォルトで、バックアップ・アーカイブ処理にこの管理クラスを使用します。また、バインド用に指定された他の管理クラスがポリシー・セットに存在しない場合、この管理クラスを使用します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1539S** 前回のデータベース・アップグレードは正常に行われませんでした。サーバーは始動できません。

説明: IBM Spectrum Protect V5 からアップグレードするために使用された DSMSEV INSERTDB コマンドは失敗したか、取り消されました。その結果、データベースには元のデータベースからのすべてのデータが入るわけではありません。データベースが不完全である

## ANR1540E • ANR1545W

と、サーバーは稼働できません。

システムの処置: サーバーは始動しません。

ユーザーの処置: DSMSERV INSERTDB コマンドを再実行してください。

---

**ANR1540E** *Import command:* 処理が停止しました。  
ソース・サーバーとの接続が切断されています。

説明: ネットワーク・エラーがあるか、ソース・サーバーのエクスポート・プロセスが停止したため、ソース・サーバーとの通信リンクが切断されました。

システムの処置: インポート・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーの活動記録ログを調べて、エクスポート・プロセスが停止したかどうかを確認してください。 ネットワークの障害によってこのメッセージが表示されることもあります。 多くの通信エラー・メッセージが同時に表示された場合は、ネットワークの障害を調べて、問題があったら修正してください。

---

**ANR1541E** *Export command:* 処理が停止しました。  
ターゲット・サーバーとの接続が切断されています。

説明: ネットワーク・エラーがあるか、ターゲット・サーバーのインポート・プロセスが停止したため、ターゲット・サーバーとの通信リンクが切断されました。

システムの処置: エクスポート・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの活動記録ログを調べて、インポート・プロセスが停止したかどうかを確認してください。 ネットワークの障害によってこのメッセージが表示されることもあります。 多くの通信エラー・メッセージが同時に表示された場合は、ネットワークの障害を調べて、問題があったら修正してください。

---

**ANR1542E** *Import command:* プレビュー処理が停止しました。 ソース・サーバーとの接続が切断されています。

説明: ネットワーク・エラーがあるか、ソース・サーバーのエクスポート・プロセスが停止したため、ソース・サーバーとの通信リンクが切断されました。

システムの処置: インポート・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーの活動記録ログを調べて、エクスポート・プロセスが停止したかどうかを確認してください。 ネットワークの障害によってこのメッセージが表示されることもあります。 多くの通信エ

ラー・メッセージが同時に表示された場合は、ネットワークの障害を調べて、問題があったら修正してください。

---

**ANR1543E** *Export command:* プレビュー処理が停止しました。 ターゲット・サーバーとの接続が切断されています。

説明: ネットワーク・エラーがあるか、ターゲット・サーバーのインポート・プロセスが停止したため、ターゲット・サーバーとの通信リンクが切断されました。

システムの処置: エクスポート・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの活動記録ログを調べて、インポート・プロセスが停止したかどうかを確認してください。 ネットワークの障害によってこのメッセージが表示されることもあります。 多くの通信エラー・メッセージが同時に表示された場合は、ネットワークの障害を調べて、問題があったら修正してください。

---

**ANR1544I** **DEDUPTIER3FILESIZE** オプション値が *old value* から *new value* に一時的に更新されました。

説明: DEDUPTIER3FILESIZE オプションの値は、DEDUPTIER2FILESIZE オプションの値より大か等しくなければなりません。 サーバーが再始動するか、SETOPT コマンドによって DEDUPTIER3FILESIZE オプションの値が更新されるまで、DEDUPTIER3FILESIZE オプションの値は DEDUPTIER2FILESIZE オプションの値と一致するように増やされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: SETOPT コマンドを使用して DEDUPTIER2FILESIZE オプションまたは DEDUPTIER3FILESIZE オプションのいずれかの値を更新します。 値を指定する際、DEDUPTIER3FILESIZE オプションの値が DEDUPTIER2FILESIZE オプションの値より大か等しくなるようにしてください。

---

**ANR1545W** **diagpath ( path )** ファイル・システムまたはディスクがいっぱいになっています。 使用可能なスペースは、**total space MB** のうちの **space available MB** です。 パーセント・フル: **file system used ratio** パーセント。

説明: db2diag.log ファイルが入っているファイル・システムまたはディスクがいっぱいになっています。 このスペースに他の DB2 またはサーバーのデータベースが

ある場合、サーバーに問題が発生する可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ファイル・システムにスペースを追加するか、ファイル・システムまたはディスク上のスペースを空にしてください。

---

**ANR1546W** ディレクトリー (*path*) に使用可能なスペースは **1 GB** 未満です。 使用可能なスペースがない場合、サーバーは正しく機能することができなくなります。

説明: サーバーのデータベース・ファイルが入っているファイル・システムまたはディスクで使用可能なスペースが **1 GB** 未満です。 **DSMSERV FORMAT** ユーティリティーまたは構成ウィザードを使用してサーバーを最初に作成するとき、サーバー・データベースおよび回復ログが作成されます。さらに、データベース・マネージャーによって使用されるデータベース情報を保持するファイルが作成されます。 示されているパスは、データベース・マネージャーによって使用されるデータベース情報の場所です。 使用可能なスペースがない場合、サーバーは正しく機能することができなくなります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ファイル・システムにスペースを追加するか、ファイル・システムまたはディスク上のスペースを空にしてください。

---

**ANR1547W** 使用可能スペースが不足しているため、サーバーは **DBDIAGLOGSIZE** サーバー・オプションを更新できませんでした。必要なスペース: *new value MB* 使用可能スペース: *system free space MB* 現行の値: *current value MB*

説明: **db2diag.log** ファイルを作成するために十分なフリー・スペースがファイル・システムまたはドライブにありません。

システムの処置: 更新は実行されないでサーバーは続行します。

ユーザーの処置: サーバー・オプションおよび **logattr.chk** の値が更新されたため、それらの値を現行の値に変更する必要があります。そうすると値はデータベース・マネージャーに保管されている値と一致します。必要なディスク・スペースを空けて、**DBDIAGLOGSIZE** オプションを更新してください。

---

**ANR1548E** サーバーはフォーマットまたは初期化に失敗しました。**db2diag.log** ファイルを割り当てるための診断データ・ディレクトリー・パス *path* の使用可能スペース (*free space* バイト) が **2MB** より小さいためです。

説明: **2MB** の **db2diag.log** ファイルを割り当てるために十分なフリー・スペースが診断ディレクトリーにありません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: 必要なディスク・スペース (少なくとも **2MB**) を診断ディレクトリーに空けて、コマンドを再度実行してください。

---

**ANR1549W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました。 **1** 次ストレージ・プール *pool name* の次のストレージ・プール *pool name* を **LAN** フリー・バックアップのターゲットにすることはできません。

説明: 示されている **1** 次ストレージ・プールの次のストレージ・プールを **LAN** フリー・バックアップのターゲットにすることはできないため、サーバーは、示されているセッションのデータベース更新トランザクションをロールバックしました。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 許可された管理者は、示されている **1** 次ストレージ・プールに対して **UPDATE STGPOOL** コマンドを発行して、示されている次のストレージ・プールをパラメーター **NEXTSTGPOOLS** から削除することができます。また、許可された管理者は、示されている次のストレージ・プールへの **LAN** フリー・バックアップを有効にすることができます。

---

**ANR1550W** 管理クラス *class name* はポリシー・セット *set name* の中に定義されていませんが、ドメイン *domain name* の活動ポリシー・セットの中に定義されています。この管理クラスにバインドされたファイルは、このセットが活動化された場合に、デフォルトの管理クラスに再バインドされます。

説明: このメッセージは、**VALIDATE POLICYSET** または **ACTIVATE POLICYSET** コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、現在活動状態のポリシー・セットでサーバーが *class name* という名前の管理クラスを見つけましたが、

妥当性検査または活動化されているポリシー・セット (set name) では定義されていません。ポリシー・セット set name が活動化されている場合には、ドメイン domain name のこの管理クラスにバインドされたファイルは、ポリシー・セット set name のデフォルト管理クラスに自動的に再バインドされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ファイルをデフォルト管理クラスに再バインドしたくない場合には、ポリシー・セットに、このメッセージに示されている名前で管理クラスを定義してください。正しいコピー・グループ属性を定義するためには、ACTIVE なポリシー・セットの管理クラスの定義を参照するか、あるいは COPY MGMTCLAS コマンドを使用して ACTIVE なポリシー・セットからポリシー・セット set name に管理クラス class name をコピーしてください。

---

**ANR1551W** 管理クラス class name の **BACKUP** コピー・グループ group name はポリシー・セット set name の中に定義されていませんが、ドメイン domain name の **ACTIVE** ポリシー・セットに定義されています。この管理クラスにバインドされたファイルは、set name が活動化された場合であってももはやバックアップされません。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、サーバーが現在活動状態のポリシー・セットに管理クラス class name の group name という名前のバックアップ・コピー・グループを見つけていますが、妥当性検査または活動化されているポリシー・セット (set name) にこの管理クラスが定義されていません。ポリシー・セット set name が活動化されている場合には、ドメイン domain name の管理クラス class name にバインドされているファイルは、以後バックアップ処理に使用することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ファイルをこの管理クラスにバインドしてバックアップ処理に使用できるようにしたい場合には、DEFINE COPYGROUP コマンドを使用して管理クラス class name のアーカイブ・コピー・グループを定義してください。

---

**ANR1552W** 管理クラス class name の **ARCHIVE** コピー・グループ group name はポリシー・セット set name 内で定義されていませんが、ドメイン domain name の **ACTIVE** ポリシー・セット内で定義されています。この管理クラスを指定してファイルをアーカイブする試行は、set name が活動化された場合に失敗します。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、サーバーが現在活動状態のポリシー・セットに管理クラス class name の group name という名前のアーカイブ・コピー・グループを見つけていますが、妥当性検査または活動化されているポリシー・セット (set name) にこの管理クラスが定義されていません。ポリシー・セット set name が活動化されている場合には、この管理クラスを指定してファイルをアーカイブする試行は失敗します。デフォルト管理クラスにアーカイブ・コピー・グループが含まれていない場合、IBM Spectrum Protect サーバーでこの管理クラスにバインドされている既存アーカイブは、defmgmtclass 値またはポリシー・ドメインのアーカイブ保存猶予期間に基づいて期限切れになります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この管理クラスを指定してファイルをアーカイブするには、DEFINE COPYGROUP コマンドを使用して管理クラス class name のアーカイブ・コピー・グループを定義します。

---

**ANR1553W** ポリシー・セット domain name set name 中のデフォルト管理クラス class name はバックアップ・コピー・グループをもっていません。このセットが活動化された場合には、デフォルトではファイルはバックアップされません。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・ドメイン domain name のポリシー・セット set name のポリシー・セットの妥当性検査中に、サーバーが class name という名前のデフォルト管理クラスにバックアップ・コピー・グループが含まれていないことを見つけました。このメッセージは、このポリシー・セットを活動化すると、それらがデフォルト以外の (コピー・グループを持っている) 管理クラスにバインドされている場合を除き、クライアント・ファイルがバックアップされないことを管理者に警告しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この管理クラスのバックアップ・コピー・グループを定義するためには、**DEFINE COPYGROUP** コマンドを実行してください。このドメインに別のデフォルト管理クラスを割り当てるためには、**ASSIGN DEFMGMTCLASS** コマンドを実行してください。ファイルをデフォルトでバックアップしたい場合には、いずれかのアクションを行ってください。

---

**ANR1554W** ポリシー・セット *domain name set name* 中のデフォルトの管理クラス *class name* はアーカイブ・コピー・グループを持っていません。このセットが活動化された場合には、デフォルトの設定としてファイルはアーカイブされません。

説明: このメッセージは、**VALIDATE POLICYSET** または **ACTIVATE POLICYSET** コマンドから戻されることがあります。ポリシー・ドメイン *domain name* のポリシー・セット *set name* のポリシー・セットの妥当性検査中に、サーバーが *class name* という名前のデフォルト管理クラスにアーカイブ・コピー・グループがないことを見つけました。このメッセージは、このポリシー・セットを活動化すると、それらがデフォルト以外の(アーカイブ・コピー・グループを持っている)管理クラスにバインドされている場合を除き、クライアント・ファイルがアーカイブ処理されないことを管理者に警告しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この管理クラスのバックアップ・コピー・グループを定義するためには、**DEFINE COPYGROUP** コマンドを実行してください。このドメインに別のデフォルト管理クラスを割り当てるためには、**ASSIGN DEFMGMTCLASS** コマンドを実行してください。ファイルをデフォルトでアーカイブ処理したい場合には、いずれかのアクションを行ってください。

---

**ANR1555W** 管理クラス *management class name* 中のバックアップ・コピー・グループは、定義済みストレージ・プール *storage pool name* には無関係の宛先を指定します。ポリシー・セット *policy set name* が活動化された時にこのプールが存在していない場合には、クライアントはこの管理クラスを使用してファイルをサーバーにバックアップする際に失敗します。

説明: このメッセージは、**VALIDATE POLICYSET** または **ACTIVATE POLICYSET** コマンドから戻されることがあります。*set name* のポリシー・セットの妥当性検査中に、サーバーが未定義の *pool name* という名前のストレージ・プールを参照しているバックアップ・コピー・グループ宛先を見つけました。ポリシー・セット

が活動化された時にこのストレージ・プールが定義されていないと、コピー・グループがこのプールを参照している管理クラスにバインドされたファイルを持つクライアントは、バックアップまたはアーカイブ操作を実行できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 未定義のストレージ・プールを参照しているコピー・グループを見つけるためには、**QUERY COPYGROUP** コマンドを実行してください。既存のストレージ・プールを参照している宛先を変更するには、**UPDATE COPYGROUP** コマンドを実行してください。ストレージ・プールを定義するために、許可された管理者は **DEFINE STGPOOL** コマンドを実行することができます。

---

**ANR1556W** 管理クラス *management class name* 中のアーカイブ・コピー・グループは、定義済みストレージ・プール *storage pool name* とは関係のない宛先を指定します。ポリシー・セット *policy set name* が活動化された時にこのプールが存在していない場合には、クライアントはこの管理クラスを使用してファイルをサーバーにアーカイブする際に失敗します。

説明: このメッセージは、**VALIDATE POLICYSET** または **ACTIVATE POLICYSET** コマンドから戻されることがあります。*set name* のポリシー・セットの妥当性検査中に、サーバーが未定義の *pool name* という名前のストレージ・プールを参照しているアーカイブ・コピー・グループ宛先を見つけました。ポリシー・セットが活動化された時にこのストレージ・プールが定義されていないと、コピー・グループがこのプールを参照している管理クラスにバインドされたファイルを持つクライアントは、バックアップまたはアーカイブ操作を実行できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 未定義のストレージ・プールを参照しているコピー・グループを見つけるためには、**QUERY COPYGROUP** コマンドを実行してください。既存のストレージ・プールを参照している宛先を変更するには、**UPDATE COPYGROUP** コマンドを実行してください。ストレージ・プールを定義するために、許可された管理者は **DEFINE STGPOOL** コマンドを実行することができます。

**ANR1557W** 管理クラス *management class name* の中のスペース管理マイグレーション宛先は定義済みのストレージ・プール *storage pool name* とは関係ありません。ポリシー・セット *policy set name* が活動化された時にこのプールが存在していない場合には、クライアントはこの管理クラスを使用してスペース管理ファイルをサーバーにマイグレーションする際に失敗します。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。 *set name* のポリシー・セットの妥当性検査中に、サーバーが未定義の *pool name* という名前のストレージ・プールを参照しているスペース管理マイグレーション宛先を見つけました。ポリシー・セットが活動化された時にこのストレージ・プールが定義されていないと、このプールを参照している管理クラスにバインドされたファイルを持つクライアントは、スペース管理マイグレーション操作を実行できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 未定義のストレージ・プールを参照している管理クラスを見つけるためには、QUERY MGMTCLASS コマンドを実行してください。既存のストレージ・プールを参照している宛先を変更するには、UPDATE MGMTCLASS コマンドを実行してください。ストレージ・プールを定義するために、許可された管理者は DEFINE STGPOOL コマンドを実行することができます。

**ANR1558E** ポリシー・セット *policy set name* の中の管理クラス *management class name* のスペース管理マイグレーション宛先は、コピー・ストレージ・プール *storage pool name* を指しています。コピー・ストレージ・プールは正しいマイグレーション宛先ではありません。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。 *set name* のポリシー・セットの妥当性検査中に、サーバーが *pool name* という名前のストレージ・プールを参照しているスペース管理マイグレーション宛先を見つけました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。ポリシー・セットは活動化されません。

ユーザーの処置: コピー・ストレージ・プールを参照している管理クラスを見つけるためには、QUERY MGMTCLASS コマンドを実行してください。非コピー・ストレージ・プールを参照している宛先を変更する

ためには、UPDATE MGMTCLASS コマンドを実行してください。

**ANR1559E** ポリシー・セット *policy set name* の中の管理クラス *management class name* のタイプ *copy group type* のコピー・グループ宛先は、コピー・ストレージ・プール *storage pool name* を指しています。コピー・ストレージ・プールは正しいコピー・グループ宛先ではありません。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。 *set name* のポリシー・セットの妥当性検査中に、サーバーが *pool name* という名前のコピー・ストレージ・プールを参照しているコピー・グループ宛先を見つけました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。ポリシー・セットは活動化されません。

ユーザーの処置: コピー・ストレージ・プールを参照している管理クラスを見つけるためには、QUERY MGMTCLASS コマンドを実行してください。非コピー・ストレージ・プールを参照している宛先を変更するためには、UPDATE MGMTCLASS コマンドを実行してください。

**ANR1560E** Command: ポリシー・ドメイン名が無効 - *domain name*

説明: 指定されたポリシー・ドメイン名 *domain name* に有効な文字が入っていないか、または入っている文字が多すぎるので、コマンド *command* のサーバー処理は失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 名前の要件に適合したポリシー・ドメイン名を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR1562E** Command: ポリシー・ドメインの記述が *length limit* 文字を超えています。

説明: 指定されたポリシー・ドメインの記述が使用できる文字数の *length limit* より長くなっているので、コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: より短いポリシー・ドメインの記述を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1563E** *Command:* **BACKRETN** パラメーターとして無効な保存期間 - *retention value*

説明: **BACKRETN** パラメーターに指定された値 (*retention value*) が正しくないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な **BACKRETN** 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1564E** *Command:* **ARCHRETN** パラメーターとして無効な保存期間 - *retention value*。

説明: **ARCHRETN** パラメーターに指定された値 (*retention value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な **ARCHRETN** 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1565E** *Command:* 無効なポリシー・セット名 - *set name*。

説明: 指定されたポリシー・セット名 *set name* に有効な文字が入っていないか、または入っている文字が多すぎるので、コマンド *command* のサーバー処理に失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な名前要件に適合したポリシー・セット名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1566E** *Command:* ポリシー・セットの記述が *length limit* 文字を超えています。

説明: 指定されたポリシー・セットの記述が使用できる文字数の *length limit* より長くなっているため、コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: より短いポリシー・セットの記述を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1567E** *Command:* 無効な管理クラス名 - *class name*。

説明: 指定された管理クラス名 *class name* に有効な文字が入っていないか、または入っている文字が多すぎるので、コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な名前要件に適合した管理クラス名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1568E** *Command:* 管理クラスの記述が *length limit* 文字を超えています。

説明: 指定された管理クラスの記述が使用できる文字数の *length limit* より長くなっているため、コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: より短い管理クラスの記述を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1569E** *Command:* 無効なコピー・グループ名 - *group name*。

説明: 指定されたコピー・グループ名 *group name* に有効な文字が入っていないか、または入っている文字が多すぎるので、コマンド *command* のサーバー処理に失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコ

マンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な名前の要件に適合したコピー・グループ名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1570E** *Command: 無効なコピー頻度 - frequency value。*

説明: FREQUENCY パラメーターに指定された値 (*frequency value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な FREQUENCY 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1571E** *Command: 無効なコピー宛先 - pool name。*

説明: 目次 (TOC) 宛先またはコピー・グループ宛先に指定されたストレージ・プール名 *pool name* に有効な文字が含まれていないか、またはプール名の文字数が多過ぎたことが原因で、コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な名前の要件に適合したストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1572E** *Command: コピー宛先が欠落しています。*

説明: 必要なコピー・グループ宛先が指定されていないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 必須のコピー・グループ宛先 (DEST) を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1573E** *Command: 無効なコピー・タイプ - type value。*

説明: TYPE パラメーターに指定された値 (*type value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な TYPE 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1574E** *Command: VEREXISTS パラメーターとして無効なバージョン・カウント - version value。*

説明: VEREXISTS パラメーターに指定された値 (*version value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な VEREXISTS 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1575E** *Command: VERDELETED パラメーターとして無効なバージョン・カウント - version value。*

説明: VERDELETED パラメーターに指定された値 (*version value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な VERDELETED 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1576E** *Command: RETEXTRA パラメーターとして無効な保存期間 - retention value。*

説明: RETEXTRA パラメーターに指定された値 (*retention value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。



システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な RETEXTRA 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1577E** *Command: RETONLY* パラメーターとして無効な保存期間 - *retention value*。

説明: RETONLY パラメーターに指定された値 (*retention value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な RETONLY 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1578E** *Command: RETVER* パラメーターとして無効なバージョン・カウント - *retention value*。

説明: RETVER パラメーターに指定された値 (*retention value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な RETVER 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1579E** *Command: 無効なコピー・モード - mode value*。

説明: MODE パラメーターに指定された値 (*mode value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な MODE 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1580E** *Command: 無効なコピー逐次化モード - serialization value*。

説明: SERIALIZATION パラメーターに指定された値 (*serialization value*) が有効でないので、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な SERIALIZATION 値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1581E** *Command: option* オプションが有効なのはバックアップ・コピー・グループの場合だけです。

説明: アーカイブ・コピー・グループ・コマンド *command* 用のサーバー処理は、指定された *option* がバックアップ・コピー・グループの定義に対してのみ有効なため、失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効なアーカイブ・コピー・グループ・オプションを指定してコマンドを再発行するか、あるいはバックアップ・コピー・グループで操作するのであれば TYPE=BACKUP を指定してください。

---

**ANR1582E** *Command: option* オプションはアーカイブ・コピー・グループの場合にのみ有効です。

説明: バックアップ・コピー・グループ・コマンド *command* 用のサーバー処理は、指定された *option* がアーカイブ・コピー・グループの定義に対してのみ有効なため、失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・コピー・グループ・オプションを指定してコマンドを再発行するか、あるいはアーカイブ・コピー・グループで操作するのであれば TYPE=ARCHIVE を指定してください。

---

**ANR1583E** *Command:* アーカイブ・コピー・グループのコピー頻度は **CMD** でなければなりません - *frequency value* は無効です。

説明: FREQUENCY パラメーターに CMD 以外の値が指定されているので、アーカイブ・コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。アーカイブ・コピー・グループの FREQUENCY パラメーターに指定できる唯一の値は CMD です。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: FREQUENCY パラメーターに CMD を指定するか、またはアーカイブ・コピー・グループの FREQUENCY のデフォルト値は CMD であるので FREQUENCY パラメーターを省略してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1584E** *Command:* アーカイブ・コピー・グループのコピー・モードは **ABSOLUTE** でなければなりません - *mode value* は無効です。

説明: MODE パラメーターに ABSOLUTE 以外の値が指定されているので、アーカイブ・コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。アーカイブ・コピー・グループの MODE パラメーターに指定できる唯一の値は ABSOLUTE です。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: MODE パラメーターに ABSOLUTE を指定するか、またはアーカイブ・コピー・グループの MODE のデフォルト値は ABSOLUTE であるので MODE パラメーターを省略してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1585E** *Command:* ポリシー・セット **ACTIVE** を変更することはできません。

説明: ポリシー・セット名 **ACTIVE** が指定されているので、コマンド *command* のサーバー処理に失敗します。ドメインのポリシー・セット **ACTIVE** のオブジェクトは、別のポリシー・セットを活動化しなければ変更することはできません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコ

マンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: **ACTIVE** 以外のポリシー・セットを指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインの **ACTIVE** ポリシー・セットを別の名前にコピーしてコマンドをその内容の変更に使用できるようにするためには、COPY POLICYSET コマンドを実行してください。その後で、変更を活動化するために、ACTIVATE POLICYSET コマンドを実行してください。

---

**ANR1586E** *Command:* 無効なマイグレーション宛先 - *pool name*。

説明: マイグレーションの宛先に指定されたストレージ・プール名 *pool name* がコピー・プールになっているので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。コピー・プールは有効なマイグレーションの宛先ではありません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: コピー・プール以外のストレージ・プール名を使用してコマンドを再発行してください。定義済みのストレージ・プールの名前のリストを表示するためには、QUERY STGPOOL コマンドを実行してください。

---

**ANR1587E** *Command:* 無効なコピー・グループ宛先 - *pool name*。

説明: コピー・グループの宛先に指定されたストレージ・プール名 *pool name* がコピー・プール、活動データ・プール、またはコンテナ・コピー・プールになっているので、コマンド *command* のサーバー処理は失敗します。コピー・プール、活動データ・プール、またはコンテナ・コピー・プールは有効なコピー・グループの宛先ではありません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、1 次ストレージ・プールの名前を指定してください。コピー・グループの宛先に指定したストレージ・プールは、コピー・プール、活動データ・プール、またはコンテナ・コピー・プールにすることができません。定義済みのストレージ・プールの名前のリストについては、QUERY STGPOOL コマンドを実行してください。

---

**ANR1588W** 構成マネージャーから受け取った **ACTIVEDESTINATION** パラメーターの値は、管理対象サーバー上に定義されていないドメイン *domain name* のストレージ・プール *storage pool name* を指定しません。

説明: 管理対象サーバー上のストレージ・プールが未定義の場合、ドメイン *domain name* の **ACTIVEDESTINATION** パラメーターの値は更新されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 管理対象サーバー上に活動データ・ストレージ・プールを、構成マネージャー上と同じ名前で定義してください。

---

**ANR1589E** データベース・マネージャーのセキュリティー・プラグイン *file name* の更新中に予期しないエラー *reason code*。

説明: サーバーはデータベース・マネージャーのセキュリティー・プラグインを更新できませんでした。このプラグインは、IBM Spectrum Protect サーバーからデータベース・マネージャーへのアクセスを制御します。理由コードはファイルの *fopen* サブルーチンからの *errno* です。共通理由コードの一部を以下に示します。

- 26 - ファイルが使用中です。
- 13 - ファイルへの書き込み許可が拒否されました。  
Windows では、この理由コードはファイルが使用中であることを示す場合もあります。

その他の理由コードについては、ご使用のオペレーティング・システムの解説書で *errno* 値について参照してください。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: インストール・ディレクトリーからメッセージに示された場所にファイルを手動でコピーして、サーバーを再始動します。AIX の場合、サーバーを停止した後 (ただし、ファイルをコピーする前) に *root* として、*/usr/sbin/slibclean* コマンドを実行しなければならない場合もあります。この手順によりカーネル・メモリーからプラグインがアンロードされます。

---

**ANR1590E** *Command:* ポリシー・ドメイン *domain name* が定義されていません。

説明: ポリシー・ドメイン名 *domain name* がサーバー・データベースの定義済みのポリシー・ドメインを参照していないため、コマンド *command* のサーバー処理は失敗します。REPLICATE NODE コマンドを使用し

た場合、このメッセージは、ターゲット・サーバーに適用されます。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: サーバー・データベースに定義されているポリシー・ドメイン名を指定してコマンドを再発行してください。サーバー・データベースの定義済みのポリシー・ドメインの名前のリストを表示するためには、QUERY DOMAIN コマンドを実行してください。

---

**ANR1591E** *Command:* ポリシー・ドメイン *domain name* は既に定義されています。

説明: 指定されたポリシー・ドメイン名 *domain name* が既にサーバー・データベースに定義されているポリシー・ドメインを参照しているので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: サーバー・データベースに定義されていないポリシー・ドメイン名を指定してコマンドを再発行してください。サーバー・データベースの定義済みのポリシー・ドメインの名前のリストを表示するためには、QUERY DOMAIN コマンドを実行してください。

---

**ANR1592E** *Command:* ポリシー・ドメイン *domain name* にはまだ少なくとも 1 つのポリシー・セットが入っています。

説明: 指定されたポリシー・ドメイン名 *domain name* がまだ少なくとも 1 つのポリシー・セットが入っているポリシー・ドメインを参照しているので、削除コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・ドメインからポリシー・セットを削除するためには、DELETE POLICYSET コマンドを実行してください。

---

**ANR1593E** *Command:* ポリシー・ドメイン *domain name* には、まだ少なくとも 1 つのノードが入っています。

説明: 指定されたポリシー・ドメイン名 *domain name*

がまだ少なくとも 1 つのノードが入っているポリシー・ドメインを参照しているの、削除コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。ドメインに 1 つ以上のクライアント・ノードが割り当てられている場合には、ポリシー・ドメインを削除することはできません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・ドメインから残りのノードを除去するためには、REMOVE NODE コマンドを実行してください。すべてのノードが除去された後で、削除コマンドを再発行してください。

---

**ANR1594E** *Command:* ポリシー・ドメイン *domain name* には活動ポリシー・セットがありません。

説明: 指定されたポリシー・ドメイン名 *domain name* が活動状態のポリシー・セットが定義されていないポリシー・ドメインを参照しているの、ノードの更新または登録コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。活動状態のポリシー・セットを持たないポリシー・ドメインにノードを割り当てることはできません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 指定されたポリシー・ドメインのポリシー・セットを活動化するためには、ACTIVATE POLICYSET コマンドを実行してください。ポリシー・セットが活動化された後で、ポリシー・ドメインにクライアント・ノードを割り当てることができます。

---

**ANR1595E** *Command:* ポリシー・セット *set name* はポリシー・ドメイン *domain name* の中に定義されていません。

説明: 指定されたポリシー・セット名 *set name* がサーバー・データベースのポリシー・ドメイン *domain name* の定義済みの集合を参照していないので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・ドメインに定義されているポリシー・セット名を指定してコマンドを再発行してく

ださい。ポリシー・ドメインの定義済みのポリシー・セットの名前のリストを表示するためには、QUERY POLICYSET コマンドを実行してください。

---

**ANR1596E** *Command:* ポリシー・セット *set name* は既にポリシー・ドメイン *domain name* の中に定義されています。

説明: 指定されたポリシー・セット名 *set name* が既にポリシー・ドメイン *domain name* に定義されているポリシー・セットを参照しているの、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・ドメインに定義されていないポリシー・セット名を指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインの定義済みのポリシー・セットの名前のリストを表示するためには、QUERY POLICYSET コマンドを実行してください。

---

**ANR1597E** *policy set command:* ドメイン *domain name* のポリシー・セット *set name* には、まだ少なくとも 1 つの管理クラスが入っています。

説明: 集合にまだ少なくとも 1 つの管理クラスの定義が入っているの、*policy set command* が実行されませんでした。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が継続されます。

ユーザーの処置: ポリシー・セットから残りの管理クラスを除去してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1598E** *Command:* ドメイン *domain name* のポリシー・セット *set name* には、デフォルト管理クラスが割り当てられていません。

説明: ポリシー・ドメイン *domain name* のポリシー・セット *set name* にデフォルト管理クラスが割り当てられていないので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・セットにデフォルト管理クラスを割り当てるためには、ASSIGN DEFMGMTCLASS コマンドを実行してください。

---

**ANR1599E** *Command:* 管理クラス *class name* はポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name* の中に定義されていません。

説明: 指定された管理クラス名 *class name* に、ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の定義済みの管理クラスが参照されていないので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・ドメインに定義されているポリシー・セット名を指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインの定義済みのポリシー・セットの名前のリストを表示するためには、QUERY POLICYSET コマンドを実行してください。

---

**ANR1600E** *Command:* 管理クラス *class name* は既にポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name* の中に定義されています。

説明: 指定された管理クラス名 *class name* が既にポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の定義されている管理クラスを参照しているので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・セットに定義されていない管理クラス名を指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインおよびポリシー・セットの定義済みの管理クラスの名前のリストを表示するためには、QUERY MGMTCLASS コマンドを実行してください。

---

**ANR1602E** *Command:* バックアップ・コピー・グループ *group name* が、ポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* に定義されていません。

説明: 管理クラス *class name* に指定された *group name* という名前のバックアップ・コピー・グループがポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* に定義済みのバックアップ・コピー・グループを参照していないので、コマンド *command* のサーバー処理に失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロール

バックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 定義されているコピー・グループ名を指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインまたはポリシー・セットの、定義済みのコピー・グループおよび管理クラスの名前のリストを表示するためには、QUERY COPYGROUP コマンドを実行してください。

---

**ANR1603E** *Command:* バックアップ・コピー・グループ *group name* は既にポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* に定義されています。

説明: 指定された *group name* という名前のバックアップ・コピー・グループが既にポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の管理クラス (*class name*) に定義されているので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・セットに定義されていないコピー・グループを指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインおよびポリシー・セットの管理クラスの定義済みのコピー・グループの名前のリストを表示するためには、QUERY COPYGROUP コマンドを実行してください。

---

**ANR1604E** *Command:* アーカイブ・コピー・グループ *group name* はポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* の中に定義されていません。

説明: 管理クラス *class name* に指定された *group name* という名前のアーカイブ・コピー・グループがポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* が定義済みのアーカイブ・コピー・グループを参照していないので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 定義されているコピー・グループ名を指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインまたはポリシー・セットの、定義済みのコピ

ー・グループおよび管理クラスの名前のリストを表示するためには、QUERY COPYGROUP コマンドを実行してください。

---

**ANR1605E** Command: アーカイブ・コピー・グループ *group name* は既にポリシー・ドメイン *domain name*、セット *set name*、管理クラス *class name* の中に定義されています。

説明: 指定された *group name* というアーカイブ・コピー・グループはポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の中の管理クラス *class name* に対して既に定義されているコピー・グループと関連しているので、コマンド *command* に対するサーバー処理は失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ポリシー・セットに定義されていないコピー・グループを指定してコマンドを再発行してください。ポリシー・ドメインおよびポリシー・セットの管理クラスの定義済みのコピー・グループの名前のリストを表示するためには、QUERY COPYGROUP コマンドを実行してください。

---

**ANR1606E** ポリシー・テーブルへのアクセス中にサーバー・ログ・スペースの不足。

説明: サーバー上に使用可能な十分なログ・スペースがないので、サーバーはポリシー情報のデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: ポリシー操作は終了され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGDIRECTORY、ARCHIVELOGDIRECTORY、および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY

または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR1607E** ポリシー・テーブルへのアクセス中にサーバー・データベース・スペースの不足。

説明: サーバー上に使用可能な十分なデータベース・スペースがないので、サーバーはポリシー情報のデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: ポリシー操作は終了され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR1608E** ドメイン *domain name*、セット *set name* の項目を取り出す際にエラーが起きました。

説明: ドメイン *domain name* のポリシー・セット *set name* に関するポリシー情報のリトリート時に、内部サーバー・データベース・エラーが発生しました。

システムの処置: ポリシー操作は終了され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1609E** ポリシー・エラー: ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の中のクラス *class name* の管理クラス **ID** を見つけることができません。

説明: ポリシー・ドメイン *domain name* に属するポリシー・セット *set name* の管理クラス *class name* のポリシーの情報のリトリート時に、内部サーバー・データベース・エラーが検出されました。

システムの処置: ポリシー操作は終了され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR1610E** 内部サーバー・エラー：ポリシー・セットの妥当性検査時に無効なコピー・タイプ *copy type integer* が見つかりました。

説明: VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドへの応答でポリシー・セットの妥当性を検査している時に、内部サーバー・データベース・エラーが検出されました。

システムの処置: ポリシー操作は終了され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR1611E** Command: 無効な管理クラス名 - *management class name*

説明: 指定された管理クラス名を管理クラス名として使用することはできないので、コマンド *command* のサーバー処理は実行されていません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 別の管理クラス名を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR1612E** Command: ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* の中の管理クラス *management class name* は **MIGREQUIRESBKUP=YES** を指定していますが、バックアップ・コピー・グループが入っていません。

説明: ポリシー・ドメイン *domain name* のポリシー・セット *set name* の、ポリシー・セットの妥当性検査中または活動化中に、サーバーが *class name* という名前の管理クラスに MIGREQUIRESBKUP=YES パラメーターが指定されていて、バックアップ・コピー・グループが入っていないのを見つけています。この場合には、サーバーにマイグレーションされる前にスペース管理クライアント・ファイルを確実にバックアップすることができないので、ポリシー・セットの妥当性検査または活動化は実行されません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 管理クラス内でバックアップ・コピー・グループを定義するためには、DEFINE COPYGROUP コマンドを実行してください。MIGREQUIRESBKUP パラメーターを変更するためには、UPDATE MGMTCLASS コマンドを実行してください。

**ANR1613E** Command: 保持開始が無効です - *retention initiation value*。

説明: RETINIT パラメーターに指定した値 (*retention initiation value*) が無効であるため、コピー・グループ・コマンド *command* のサーバー処理が失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 正しい RETINIT 値を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR1614E** Command: RETMIN パラメーターの日数が無効です - *days value*。

説明: コマンドは失敗します。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 正しい RETMIN 値を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR1615E** Command: NOLIMIT の RETVER は、EVENT の RETINIT 値とともに指定できません。

説明: 保持開始値 EVENT とともに、バージョン保存期間値 NOLIMIT を指定することは許可されないため、コピー・グループ・コマンド *command* に対するサーバー処理が失敗しました。これが、UPDATE コピー・グループ・コマンドである場合は、値の少なくとも 1 つが既に定義されていた可能性があります。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 正しい RETVER または RETMIN 値を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR1616W** Command: *domain policy set management class* の RETINIT 値が CREATION なので、指定された RETMIN 値 (*new days*) は無視されます。

説明: コピー・グループ・コマンド *command* の処理に

よって、最小保持日数値が、保持開始値 CREATION で指定されていたこと、あるいはコピー・グループ用に格納されている現在の保持開始値が CREATION であることが検出されました。最小保存日数の値は、保持開始値が CREATION の場合は使用されません。コピー・グループは定義または更新されますが、RETMIN 値は保管されません。

システムの処置: コピー・グループは定義または更新され、システム操作は続行されます。

ユーザーの処置: コピー・グループは定義または更新されますが、最小保持日数の値は保管されません。保持開始値の EVENT を指定する場合は、更新コマンドを再発行してください。

---

**ANR1617W** *Command:* 新しい RETVER 値 (*new days*) は、*domain policy set management class* に対して前に保管されていた値 (*old days*) よりも小さい値です。

説明: コピー・グループ・コマンド *command* の処理で、新しいバージョン保存期間 (日数) が、このコピー・グループ用として現在保管されている日数よりも少ないことが検出されました。アーカイブ保存保護が活動状態にあるときは、バージョン保存期間値を小さくすることが許可されていないため、このポリシー・セットは、活動化されない可能性があります。

システムの処置: コピー・グループは更新され、システム操作は続行されます。

ユーザーの処置: コピー・グループは更新されますが、ポリシー・セットが妥当性検査されるときまたは活動化されるときにコピー・グループの妥当性検査が失敗する可能性があります。

---

**ANR1618W** *Command:* 新しい RETMIN 値 (*new days*) は、*domain policy set management class* に対して前に保管されていた値 (*old days*) よりも小さい値です。

説明: コピー・グループ・コマンド *command* の処理で、新しい最小保持日数が、コピー・グループ用として現在保管されている日数よりも少ないことが検出されました。最小保持日数の値を減らすことは許可されていないので、アーカイブ保存保護が活動状態のときは、このポリシー・セットは活動化できない可能性があります。

システムの処置: コピー・グループは更新され、システム操作は続行されます。

ユーザーの処置: コピー・グループは更新されますが、ポリシー・セットが妥当性検査されるときまたは活動化

されるときにコピー・グループの妥当性検査が失敗する可能性があります。

---

**ANR1619E** *domain policy set management class* に対して、NOLIMIT の RETVER を EVENT の RETINIT と共に指定することはできません。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、サーバーは、ポリシー内のコピー・グループにオプションの無効な組み合わせが指定されていることを検出しました。バージョン保存期間 NOLIMIT と保存開始 EVENT を併せて指定することはできません。ポリシーは、妥当性検査または活動化されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: コピー・グループで RETVER 値または REINIT 値を更新してください。

---

**ANR1620E** 新しい RETVER 値 (*new days*) は、*domain policy set management class* 用の活動ポリシー内の値 (*old days*) よりも小さい値です。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、サーバーは、アーカイブ保存保護が活動状態であり、コピー・グループのバージョン保存期間値が、ACTIVE ポリシー・セット内の値よりも小さいことを検出しました。ポリシーは、妥当性検査または活動化されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: コピー・グループ内の RETVER 値を更新してください。

---

**ANR1621E** 新しい RETMIN 値 (*new days*) は、*domain policy set management class* 用の活動ポリシー内の値 (*old days*) よりも小さい値です。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、サーバーは、アーカイブ保存保護が活動状態であり、コピー・グループの最小保持日数値が ACTIVE ポリシー・セット内の値よりも小さいことを検出しました。ポリシーは、妥当性検査または活動化されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。



ユーザーの処置: コピー・グループ内の RETMIN 値を更新してください。

**ANR1622E** 管理クラス *class name* はポリシー・セット *set name* に定義されていませんが、ドメイン *domain name* の活動ポリシー・セットに定義されています。アーカイブ保存保護が活動状態なので、妥当性検査は失敗します。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、サーバーが現在活動状態のポリシー・セット内に *class name* という名前の管理クラスを見つけていますが、妥当性検査または活動化されているポリシー・セット (*set name*) 内に定義されていません。アーカイブ保存保護が活動状態のときは、活動ポリシー・セット内のすべての管理クラスが妥当性検査対象のポリシー・セットに含まれている必要があります。ポリシー検証は失敗します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ポリシー・セットに対して、メッセージに示された名前を指定して管理クラスを定義してください。正しいコピー・グループ属性を定義するためには、活動ポリシー・セットの管理クラスの定義を参照するか、あるいは COPY MGMTCLAS コマンドを使用して活動ポリシー・セットからポリシー・セット *set name* に管理クラス *class name* をコピーしてください。

**ANR1623E** ドメイン *domain name* 用のポリシー・セット *set name* 内の管理クラス *class name* は、アーカイブ・コピー・グループを持っていません。アーカイブ保存保護が活動状態なので、妥当性検査は失敗します。

説明: このメッセージは、VALIDATE POLICYSET または ACTIVATE POLICYSET コマンドから戻されることがあります。ポリシー・セットの妥当性検査処理中に、サーバーは、妥当性検査または活動化されているポリシー・セット (*set name*) 内に *class name* という名前の管理クラスを見つけました。この管理クラスはアーカイブ・コピー・グループを持っていません。アーカイブ保存保護が活動状態のときは、妥当性検査されるポリシー・セット内のすべての管理クラスがアーカイブ・コピー・グループを持っていなければなりません。ポリシー検証は失敗します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定された管理クラス内にアーカイブ・コピー・グループを定義してから、妥当性検査を再試行してください。

**ANR1625E** *command*: サーバーがデータベースに挿入されるデータのバージョン *data version* と比べて下位レベルです。

説明: DSMSERV INSERTDB コマンドで、サーバー・バージョンによってサポートされているバージョンよりも新しい DSMUPGRD EXTRACTDB コマンドによって書き込まれたデータが検出されました。

システムの処置: コマンドは、データベースにデータを挿入せずに終了します。

ユーザーの処置: データの抽出に使用された DSMUPGRD のバージョンと互換性のあるバージョンのサーバーを使用して、コマンドを再実行してください。あるいは、サーバーのバージョンと互換性のある以前のバージョンの DSMUPGRD を使用して、データを再抽出してください。

**ANR1626I** 前のメッセージ (メッセージ番号 *message number*) が *repeat count* 回繰り返されました。

説明: このメッセージの前に出されたメッセージが繰り返し出されました。

システムの処置: 重複メッセージは抑止されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR1627I** 前のメッセージが *repeat count* 回繰り返されました。

説明: このメッセージの前に出されたメッセージが繰り返し出されました。

システムの処置: 重複メッセージは抑止されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR1628I** データベース・マネージャーがサーバー接続でポート *port number* を使用しています。

説明: サーバーは、示されているポートをサーバーからの接続で使用するようデータベース・マネージャー環境を構成します。最初は、サーバーからの接続では TCP/IP は使用されません。接続の数が事前設定されたしきい値を超えると、指定されたポートへの接続は TCP/IP 経由で行われます。ポートが別のアプリケーションによって使用されていると、TCP/IP 接続への変更が必要になった場合に、データベース・マネージャーはサーバーからの接続を受信できません。この状態が生じた場合、以後のデータベース・マネージャーへの接続は失敗する可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1629W** *command:* このコマンドの結果、パターン *node pattern* と一致するすべてのノードの複製関係が終了します。指定されたノードに対して、複製は実行されなくなります。

説明: REMOVE REPLMODE コマンドは、指定されたノードが複製されないようにします。各ノードの複製関係は削除されます。ノード・データは、この複製サーバーからも他のどの複製サーバーからも削除されません。

システムの処置: システムは REMOVE REPLNODE コマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: REMOVE REPLNODE コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR1630W** *command:* *node name* は複製用に構成されていません。

説明: コマンドに指定されたノードは、複製用に構成されていません。ノードの複製状態が使用可能または使用不可であれば、ノードは複製用に構成されています。複製状態を判別するには、QUERY NODE FORMAT=DETAILED コマンドを発行します。

システムの処置: 操作は続行しますが、このノードはこの操作でスキップされます。

ユーザーの処置: コマンドで指定したノードが複製用に構成されていることを確認して、コマンドを出し直してください。ノードは、UPDATE NODE コマンドを使用して複製用に構成されている可能性があります。

---

**ANR1631I** *command:* 指定されたノードの複製状態情報が削除されました。

説明: 指定されたノードの複製状態情報はすべてデータベースから削除され、このノードは複製用に構成されなくなります。このノードが複製操作のターゲットであった場合、クライアント・データを受け入れるために使用できるようになります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1632E** *command:* コマンドは失敗しました。指定されたノードの複製状態情報を削除できませんでした。

説明: REMVOVE REPLNODE コマンドは完了できま

せませんでした。指定されたノードの複製状態は変更されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーは、REMOVE REPLNODE コマンドの実行中の問題を報告しました。詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR1633E** *Command:* ノード *node name* は複製用にセットアップされており、名前変更または削除することができません。

説明: ソース・サーバーからの複製用に構成されたノード、あるいは複製の結果としてターゲット・サーバー上で作成されたノードは、名前変更したり削除したりすることができません。

システムの処置: 要求された操作は失敗します。

ユーザーの処置: ノードの名前変更あるいは削除を行うには、最初にノードを削除するサーバー上で REMOVE REPLNODE コマンドを発行して、複製からノードを削除する必要があります。

---

**ANR1634I** デフォルトの複製サーバー名が *server name* に設定されました。

説明: デフォルトのターゲット複製サーバーの名前が、SET REPLSERVER コマンドで指定された名前に設定されました。コマンドで値を指定しなかった場合は、既存のターゲット複製サーバーが削除され、クライアント・ノード・データは複製されません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1635I** サーバー・マシン **GUID** *machine GUID* が初期化されました。

説明: サーバー・マシンの指定されたグローバル・ユニーク ID (GUID) が初期化されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1636W** サーバー・マシン **GUID** が変更されました。古い値: (*old value*)、新しい値: (*new value*)。

説明: サーバー・マシンのグローバル・ユニーク ID (GUID) が変更されました。古い値と新しい値が表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1637W** サーバー・マシン **GUID** の初期化中にエラー (*error*) が発生しました。

説明: サーバー・マシンのグローバル・ユニーク ID (GUID) の初期化中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 適切に問題に対処してください。サーバーは GUID の書き込みに root 権限を必要とするため、書き込みエラーが発生する場合があります。サーバーに GUID を読み取る権限がない場合は、読み取りエラーが発生する場合があります。他のエラー・コードは GUID ユーティリティから受け取ったものです。

---

**ANR1638W** サーバー・マシン **GUID** の初期化中にエラー (*error*) が発生しました。古い値は *old GUID* でした。

説明: サーバー・マシンのグローバル・ユニーク ID (GUID) の初期化中にエラーが発生しました。古い値が表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 適切に問題に対処してください。サーバーは GUID の書き込みに root 権限を必要とするため、書き込みエラーが発生する場合があります。サーバーに GUID を読み取る権限がない場合は、読み取りエラーが発生する場合があります。他のエラー・コードは GUID ユーティリティから受け取ったものです。

---

**ANR1639I** ノード *nodeName* の属性が変更されました: *changed attribute list*。

説明: 指定されたノードの TCP/IP 名またはアドレス、あるいはグローバル・ユニーク ID (GUID) が変更されました。変更された項目の古い値と新しい値が表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1640E** ノード *node name* に定義されたデータ・ムーバーがありません。

説明: 要求された操作を実行するには、指定されたノードに関連のデータ・ムーバーが定義されていなければなりません。

システムの処置: 要求された操作は失敗します。

ユーザーの処置: ノードのデータ・ムーバーを定義して、操作をやり直してください。

---

**ANR1641E** *command*: ノード *node name* に、このコマンドでは許可されないタイプがあります。

説明: ノードは、このコマンドで使用する正しいタイプではありません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 正しいタイプのノードでコマンドをやり直してください。

---

**ANR1642E** *command*: ノード *node name* がロックされます。

説明: ノードはロックされて、このコマンドで使用することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ノードをアンロックして、コマンドを再実行してください。

---

**ANR1643I** *Command*: ノード *node name* のすべてのファイル・スペースが移動されます。

説明: サーバーは、MOVE NODEDATA コマンドで入力された基準に基づいて指定されたノード名のすべてのファイル・スペースのデータを移動しようとします。

システムの処置: サーバーは、指示したノードのデータを移動します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1644E** *Command*: ストレージ・プール *storage pool* のノード・データ移動操作は既に進行中です。

説明: 指定されたストレージ・プールのノード・データを移動するコマンドが発行されましたが、同じストレージ・プールに指定されている 1 つ以上のノードに対して既に進行中のノード・データ移動操作があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 活動記録ログで前の MOVE NODEDATA コマンドを調べて、そのストレージ・プールに対して進行中のノード・データの移動処理を判断してください。まだ進行中でない所要のノードおよびストレージ・プールに対してコマンドを再発行するか、ノード・データの移動処理が終了した後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR1645I** *Command:* ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、**FSID** *filespace ID* のデータが移動されます。

**説明:** MOVE NODEDATA コマンドに入力された基準に基づいて、サーバーは指定ファイル・スペース名およびノード名のデータを移動します。

**システムの処置:** サーバーは指定ノードおよびファイル・スペースのデータを移動します。

**ユーザーの処置:** ありません。

---

**ANR1646E** *Command:* データ・ムーバー・タイプ *data mover type* は、データ・フォーマット **NETAPPDUMP** である場合のみ使用可能です。

**説明:** 指定されたデータ・フォーマットは、タイプ *data mover type* のデータ・ムーバーには無効です。

**システムの処置:** コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

**ユーザーの処置:** 正しいパラメーター値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1647E** ノード *node ID*、ファイル・スペース *file space ID* のファイル・スペース名が見つかりません。

**説明:** サーバーは、そのノードについてのファイル・スペース情報を入手できませんでした。

**システムの処置:** サーバー操作は続行されます。

**ユーザーの処置:** このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1648W** *Command:* このコマンドは、ストレージ・プール *source storage pool* 中のボリュームに保管されているノードのデータを同じストレージ・プールの他のボリュームに移動します。このデータは、操作が完了するまでユーザーにアクセスできなくなります。

**説明:** データを同じストレージ・プールの他のボリュームに移動する MOVE NODEDATA コマンドが入力されました。データの移動中は、ユーザーはデータを使用できません。

**システムの処置:** 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

**ユーザーの処置:** 続行する場合には 'Y' を、またこのプロセスを終了する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR1649W** *Command:* このコマンドは、ストレージ・プール *source storage pool* に保管されているノードのデータをストレージ・プール *destination storage pool* に移動します。このデータは、操作が完了するまでユーザーにアクセスできなくなります。

**説明:** データをソース・ストレージ・プールから示された宛先ストレージ・プールに移動する MOVE NODEDATA コマンドが入力されました。データの移動中は、そのデータはユーザーに使用可能になりません。

**システムの処置:** 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

**ユーザーの処置:** 続行する場合には 'Y' を、またこのプロセスを終了する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR1651E** *server name* のサーバー情報は使用不可です。

**説明:** *server name* に関するサーバー情報が使用可能ではありませんでした。

**システムの処置:** 現行のサーバー・アクションは正常に実行されません。

**ユーザーの処置:** このメッセージの前に出されている他のメッセージを検討して、障害の原因を判別してください。

---

**ANR1653E** サーバー *server name* のリソース・ロックの獲得が失敗しました。

**説明:** サーバー *server name* に対するリソース・ロックの獲得が失敗しました。

**システムの処置:** このサーバーを参照する装置クラスに対する現在のアクションは正常に実行されません。

**ユーザーの処置:** このサーバー名を参照する装置クラスを参照してアクションを再試行してください。ロックの障害が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1654E** サーバー *server name* は装置構成ファイルに書き込まれません。

**説明:** この情報を装置構成ファイルに書き込もうとして

いるときに、*server name* に関する情報へのアクセス中にエラーが起きました。

システムの処置: この DEFINE SERVER 項目は処理されません。

ユーザーの処置: 必要な DEFINE SERVER 項目が装置構成ファイルに書き込まれていることを確認してください。このエラーが続いて起こる場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1656E** サーバーの定義を装置構成ファイルに書き込み中に障害。

説明: 装置構成ファイルへのサーバー情報の書き込み中にエラーが起きました。

システムの処置: BACKUP DEVCONFIG アクションは正常に実行されません。

ユーザーの処置: 装置構成ファイルが存在していること、およびそのファイルが常駐しているファイル・システムのスペースが不足していないかどうかを調べてください。

---

**ANR1657E** *Command:* 無効なサーバーまたはグループ名 - *server or group name*。

説明: 示されているコマンドは、無効なサーバー名またはグループ名を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な名前を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1659E** *Command:* サーバーまたはサーバー・グループ *server or group name* は既に定義されています。

説明: 既に存在しているサーバー名またはサーバー・グループ名を指定した DEFINE SERVER または DEFINE SERVERGROUP コマンドが入力されました。指定する名前は固有でなければなりません。登録済みノードによって使用されているノード名、定義済みサーバーによって使用されているサーバー名、または定義済みサーバー・グループによって使用されているサーバー・グループ名と重複してはなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバーまたはサーバー・グループを定義するには、異なる名前を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR1660I** サーバー *server name* が正常に定義されました。

説明: DEFINE SERVER コマンドに応答して、要求されたサーバーがシステムに対して定義されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1661I** サーバー *server name* が削除されました。

説明: DELETE SERVER コマンドに応答して、要求されたサーバーがシステムから除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1662I** サーバー *server name* が更新されました。

説明: サーバーの 1 つ以上の属性が UPDATE SERVER コマンドによって更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1663E** *command:* サーバー *server name* は定義されていません。

説明: サーバー *server name* はシステムに対して定義されていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1664W** *Command:* サーバー *server name* は現在使用中です。

説明: 表示されているコマンドが使用中のサーバーを指定しています。サーバーは次を目的として使用されています。

- サーバーが DEVTYPE=SERVER の装置クラスによって参照されていて、この装置クラスが「SERVERNAME=」パラメーターにこのサーバーを指定している。
- サーバーがターゲット複製サーバーとして定義されている。
- このサーバーとの接続が現在オープンされている。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でこのコマンドを再発行してください。指定されたサーバーを削除するには、そのサーバーが現在接続されていないこと、装置クラス内で参照され

ていないこと、およびターゲット複製サーバーとして定義されていないことが必要です。

---

**ANR1666E** *command:* **TYPE=SERVER** の場合は **FILEAGGR** を使用できません。

説明: TYPE=SERVER パラメーターが指定されている場合は、FILEAGGR= パラメーターを指定できません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: このノードのタイプが SERVER である場合は、FILEAGGR= パラメーターを指定しないでコマンドを再実行してください。

---

**ANR1667E** *command:* ノード *node name* に対してアクションを実行することはできません。

説明: このコマンドは、ノード *node name* の項目に対しては許されていません。このノード項目のタイプは SERVER です。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1668E** *command:* サーバー *server name* では使用できません。

説明: DELETE SERVER コマンドは、サーバー *server name* には許可されていません。指定されたサーバーは、イベント・サーバーであるか、さもなければサーバー定義以外のノード項目です。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 指定されたサーバーがイベント・サーバーであり、それを削除したい場合には、DELETE EVENTSERVER コマンドを出してから、DELETE SERVER コマンドを出し直してください。ノード項目を除去するためには、指定された名前に対して REMOVE NODE コマンドを実行してください。

---

**ANR1669I** サーバー *event server name* はイベント・サーバーとして定義されています。

説明: 指定されたサーバーは定義済みです。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1670E** サーバー *event server name* は既にイベント・サーバーとして定義されています。新しいイベント・サーバーを定義する前に **DELETE EVENTSERVER** コマンドを出す必要があります。

説明: イベント・サーバーは既に定義されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 既存のイベント・サーバーを削除して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR1671I** イベント・サーバー定義が削除されていません。

説明: イベント・サーバー定義が削除されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: イベント・サーバー定義が必要な場合には、DEFINE EVENTSERVER コマンドを使用してください。

---

**ANR1672I** 現在イベント・サーバーが定義されていません。

説明: イベント・サーバーの名前を入手するために照会が発行されましたが、現在イベント・サーバーが定義されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: イベント・サーバー定義が必要な場合には、DEFINE EVENTSERVER コマンドを使用してください。

---

**ANR1673I** サーバー・グループ *group name* が正常に定義されました。

説明: DEFINE SERVERGROUP コマンドに応答して、要求されたサーバー・グループがシステムに対して定義されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1674I** メンバー *member name* がサーバー・グループ *group name* 中に正常に定義されました。

説明: DEFINE GRPMEMBER コマンドに応答して、要求されたメンバーがサーバー・グループ中に定義されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1675I** サーバー・グループ *server group name* が削除されました。

説明: DELETE SERVERGROUP コマンドに応答し

て、要求されたサーバー・グループがシステムから除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1676I** メンバー *member name* がサーバー・グループ *server group name* から削除されました。

説明: DELETE GRPMEMBER コマンドに応答して、要求されたメンバーがサーバー・グループから除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1677I** サーバー・グループ *server group name* が更新されました。

説明: サーバー・グループの 1 つ以上の属性が UPDATE SERVERGROUP コマンドによって更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1678I** サーバー・グループ *original server group name* が *new server group name* に名前変更されました。

説明: サーバー・グループが RENAME SERVERGROUP コマンドによって名前変更されました。元の名前が有効ではありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1679E** Command: サーバー・グループ *server group name* が定義されていません。

説明: サーバー *server group name* がシステムに対して定義されていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 既存のグループを指定してコマンドをやり直してください。

---

**ANR1680E** Command: メンバー *member name* がサーバー・グループ *server group name* に定義されていません。

説明: メンバー *member name* は、サーバー・グループ *server group name* に定義されていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: グループの既存メンバーを指定してコマンドをやり直してください。

---

**ANR1681E** Command: メンバー *member name* は既にサーバー・グループ *server group name* にあります。

説明: メンバー *member name* は、サーバー・グループ *server group name* に定義されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して新規メンバー名を指定してください。

---

**ANR1682E** グループはそれ自身のメンバーとすることはできません。

説明: メンバー名とグループ名が同じです。グループはそれ自身のメンバーとすることはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して別のメンバー名を指定してください。

---

**ANR1683E** Command: メンバー *member name* は定義されていません。

説明: メンバー *member name* はシステムに対して定義されていません。サーバー・グループのメンバーは、定義済みのサーバーまたはサーバー・グループでなければなりません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 既存のサーバーまたはグループを指定して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR1684E** Route:command: 経路指定されたコマンドは経路指定できません。

説明: 経路指定されたコマンドのコマンド部分は、経路指定情報を持つことができません。経路指定されたコマンドに使用できる構文は、「route : command」です。コマンドには経路指定情報を含むことができません。経路指定は 1 つのレベルしか許可されません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: この経路指定コマンドのコマンド部分に経路指定情報を指定しないで、コマンドを再発行してください。

---

**ANR1685I**    サーバー・グループ *server group* がサーバー・グループ *new server group* にコピーされました。

説明: このメッセージは COPY SERVERGROUP コマンドへの応答で表示されます。 *server group* という名前のサーバー・グループが *new server group* という名前のサーバー・グループにコピーされました。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1686I**    メンバー *member name* がサーバー・グループ *group name* からサーバー・グループ *new group name* に移動されました。

説明: MOVE GRPMEMBER コマンドに応答して、要求されたメンバー *member name* がサーバー・グループ *group name* からサーバー・グループ *new server group* に移動されました。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1687I**    サーバー *server name* に対して出されたコマンド '*command*' の出力が続きます。

説明: 示されたサーバーに対して出されたコマンドの出力がこのメッセージの後に続きます。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1688I**    サーバー *server name* に対して出されたコマンド '*command*' の出力が完了しました。

説明: このメッセージは、示されたサーバーに対して出された指定のコマンドの出力の終わりをマークします。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR1689E**    サーバー *server name* に対して出されたコマンド '*command*' の出力が終了しました。

説明: 指定されたサーバーに対して出されたコマンドの出力を終了させるようなエラー条件が起きました。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    エラー条件が解決されたら、要求されたサーバーに対してコマンドをやり直してください。  
エラーの原因を判別できない場合には、担当の IBM サ

ービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1690E**    コマンド '*command*' をサーバー *server name* に送信中にエラー。

説明: 指定されたコマンドを示されたサーバーに送信している時に、エラーが見つかりました。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    エラー条件が解決されたら、要求されたサーバーに対してコマンドをやり直してください。  
エラーの原因を判別できない場合には、担当の IBM サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1691E**    サーバー *server name* からコマンド '*command*' の応答を受信中にエラー。

説明: 示されたサーバーからそれに対して出されたコマンドの応答を受信している時に、エラーが見つかりました。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    エラー条件が解決されたら、要求されたサーバーに対してコマンドをやり直してください。  
エラーの原因を判別できない場合には、担当の IBM サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1692E**    サーバー *server name* からのコマンド '*command*' の応答に無効データが含まれています。

説明: 出されたコマンドに対して指定されたサーバーから戻された出力に、無効な出力が含まれています。 コマンドの応答は、処理することができません。

システムの処置:    このコマンドの応答の出力処理は終了します。

ユーザーの処置:    当該地区の IBM サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1693E**    サーバー *server name* にコマンド '*command*' を出すことができません - スレッドの開始中に障害。

説明: 示されたサーバーに対して指定されたコマンドを出すために、スレッドを開始できませんでした。

システムの処置:    このコマンドは、指定されたサーバーに対しては出されません。 プロセスでは、コマンドの経路指定情報用に指定された他のサーバーがあれば、そのサーバーに対してコマンドの発行が試みられます。

ユーザーの処置:    このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。エラーの原因が判別されて解決した後で、示され



たサーバーへのこのコマンドの経路指定をやり直してください。 エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1694I** サーバー *server name* がコマンド '*command*' を処理し、正常に完了しました。

説明: 示されたサーバーは、コマンドを正常に処理しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1695W** サーバー *server name* がコマンド '*command*' の処理を完了しましたが、警告が出されました。

説明: 示されたサーバーはコマンドを処理しましたが、警告が見つかりました。 しかし、この警告でコマンドの実行が妨げられることはありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1696E** サーバー *server name* がコマンド '*command*' を処理しようとしたますが、エラーが見つかりました。

説明: 示されたサーバーはコマンドを処理しましたが、エラーが見つかりました。 このエラーによってコマンドが正常に終了できませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: コマンドを送信したサーバーまたはコマンドを実行したサーバーのいずれかで出されたエラー・メッセージを調べて、障害の原因を判別してください。 エラーが訂正されたら、コマンドを出し直してください。

---

**ANR1697I** コマンド '*command*' が *total number for servers* 台のサーバーによって処理されました: *number of successful servers* が成功、*number of servers with warnings* が警告付き、*number of servers with errors* にエラーあり。

説明: 示されたコマンドは、指定された数のサーバーによって処理されました。 サーバーの合計数について、成功した数、警告条件が見つかったがどうにか処理された数、および最後に、エラーが見つかり処理できなかった数が示されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1698I** 他のいずれのサーバーにもコマンド '*command*' が発行されませんでした。

説明: 示されたコマンドは、他のいずれのサーバーにも発行されませんでした。 経路情報が有効なサーバーに対して解決されなかったか、さもなければ必要なサーバーに対してコマンドを実行している時に障害が起こりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: コマンドに有効な経路情報が与えられているかを検査するか、あるいは他のサーバーにコマンドが出されなかった理由を示すエラー・メッセージがないか活動記録ログを調べてください。

---

**ANR1699I** *route information* が *number of servers* 台のサーバーに解決されました - コマンド *command* をサーバーに対して発行中です。

説明: 経路情報が示された数のサーバーに解決されました。 指定されたコマンドがこれらのサーバーに対して出されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1700E** '*route information*' をいずれのサーバーにも解決することができません。

説明: このコマンドに提供された経路情報がいずれのサーバー名またはグループ名にも解決されませんでした。 このため、コマンドは出されません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 提供された経路情報を調べてください。 正しい経路情報を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR1701E** *Command*: 対応するサーバーが定義されていません。

説明: 指定されたコマンドに対応するサーバーが見つかりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のサーバーを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR1702W** 'server name' をスキップ - 有効なサーバー一名に解決することができません。

説明: 指定されたサーバー名は、有効なサーバー名に解決できなかったため、スキップされます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 正しいサーバー名を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR1703E** サーバー名の解決中に障害。

説明: サーバー名を解決している時に、エラーが起きました。特に、重大な障害のためにサーバー名の解決が終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 障害の原因についての他のメッセージがないか、活動記録ログおよびサーバー・コンソールを検査してください。原因が解消されたら、コマンドを出し直してください。

---

**ANR1704E** 管理者 *admin name* の証明書の入手または使用中に障害。

説明: 参照される管理者の証明書を入手または使用している時に、エラーが起きました。

システムの処置: コマンドの処理は失敗します。

ユーザーの処置: 管理者 `SERVER_CONSOLE` が `PING` または `VALIDATE LANFREE` コマンドで使用されていた場合、コマンドが失敗することがあります。管理者 `SERVER_CONSOLE` は、ソース・サーバー、ターゲット・サーバー、または両方のサーバーで認証が使用可能である場合は、これらのコマンドを実行できません。 `SERVER_CONSOLE` 以外の管理者を使用してコマンドを再試行してください。

障害の原因についての他のメッセージがないか、活動記録ログおよびサーバー・コンソールを検査してください。原因が解消されたら、コマンドを出し直してください。

---

**ANR1705W** サーバー 'server name' に対する **ping** 要求は、管理者資格情報を使用して接続を確立できませんでした。

説明: この失敗は、ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーに問題があるか、またはサーバー間の接続に問題があることを示している可能性があります。

システムの処置: 接続は確立されませんでした。

ユーザーの処置: 問題を特定して解決するには、以下のステップを実行してください。 1. ソース・サーバーに

障害または問題があることを示すメッセージがないか、活動記録ログおよびサーバー・コンソールを調べます。 2. サーバー間の通信接続を調べます。 3. 両方のサーバーにおける管理者定義およびパスワードを確認します。 4. ターゲット・サーバーが稼働していることを確認します。 5. 識別された問題をすべて訂正します。

---

**ANR1706I** サーバー 'server name' に対する **ping** 要求は、管理者資格情報を使用して接続を確立できました。

説明: 管理者資格情報は有効です。

システムの処置: 接続が確立されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1707E** サーバー情報が不完全です。相互定義は許可されていません。

説明: このサーバーに `SERVERHLADDRESS`、`SERVERLLADDRESS`、または `SERVERPASSWORD` が設定されていません。サーバー定義コマンドの `CROSSDEFINE` オプションにはこれらがが必要です。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: `QUERY STATUS` コマンドを使用して、設定する必要がある値を判別してください。 `SET SERVERHLADDRESS`、`SET SERVERLLADDRESS`、または `SET SERVERPASSWORD` コマンドを実行して欠落した値を設定するのは、認可された管理者が行う必要があります。

---

**ANR1708I** サーバー間定義が失敗したために、*Server name* のサーバー定義が失敗しました。

説明: サーバー間定義パラメーターが含まれていますが、サーバー間定義が成功しなかったために、サーバー定義コマンドが失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: このサーバーおよび定義中のサーバーを調べ、障害の理由を示す他のメッセージを探してください。

---

**ANR1709E** *Command.*: サーバー名またはグループ名 *Server name* の現在の使用状況の判別中に障害。

説明: 指定されたコマンドで、指定されたサーバー名またはサーバー・グループの現在の使用状況の判別に失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コマンドをやり直してください。 コマンドの失敗が続き、障害の原因を判別できない場合には、担当のサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1710E** *Command:* 名前 *Name* はこのコマンドには無効です。

説明: このコマンドに指定された名前は、この操作には無効です。 1 つの原因は、サーバー・グループ名を必要とするコマンドにサーバー名が指定されたということです。 もう 1 つの原因は、サーバー名を必要とするコマンドにサーバー・グループ名が指定されたということです。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 正しい名前を指定してコマンドをやり直してください。

---

**ANR1711E** サーバーまたはサーバー・グループ名 *Name* のアクセス中にエラー。

説明: サーバー操作で、指定されたサーバー名またはサーバー・グループ名にアクセスしようとしていました。 このサーバー名またはサーバー・グループ名の情報にアクセスしようとしている時に、エラーが起きました。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを検討して、障害の原因を判別してみてください。 原因を判別できない場合には、担当の IBM サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1712W** サーバー・コンソールからはコマンドの経路指定は使用できません。

説明: サーバー・コンソールからはコマンドの経路指定を行うことができません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 管理クライアントからコマンドを出し直してください。

---

**ANR1713I** コマンド '*command*' がサーバー *server name* に対して出されました。

説明: 表示されたサーバーに対してコマンドが出されました。 このコマンドは、指定されたサーバーを終了させ、確認を受けとりません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1714W** 管理者 *administratortor name* のパスワードの有効期限が切れています。 この管理者のパスワードは、構成マネージャー・サーバー *server name* で更新する必要があります。

説明: 名前が示された管理者のパスワードの有効期限が切れていますが、その管理者は、このサーバー上の管理下のオブジェクトです。 パスワードを名前が示されている構成マネージャー・サーバーで更新する必要があります。

システムの処置: 管理者はサーバーにアクセスすることができます。

ユーザーの処置: 管理者のパスワードを名前が示されている構成マネージャー・サーバーで変更してください。

---

**ANR1715E** イベント・サーバーを削除することはできません - それは現在活動中です。

説明: イベント・サーバーは現在イベント・ロギングのために活動中なので、削除することはできません。

システムの処置: サーバーはイベント・サーバー項目を削除しません。

ユーザーの処置: イベント・サーバーを削除するには、それが現在イベント・ロギングのために活動中であってはなりません。 イベント・サーバーへのイベント・ロギングを停止するには、END EVENTLOGGING EVENTSERVER を出してください。 次に、DELETE EVENTSERVER コマンドを出し直してください。

---

**ANR1716I** サーバーをそれ自体に対して相互定義することはできません。相互定義は許可されていません。

説明: サーバーをそれ自体に対して相互定義しようとしていました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1717E** *Command:* コマンドが失敗しました - 互換性のないファイル・スペースの名前タイプが指定されました。

説明: サーバー・コマンドが入力されましたが、互換性のないファイル・スペースの名前タイプが指定されたために処理できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 互換性のあるファイル・スペース名を指定してください。 ユニコード相互間または非ユニコード相互間。

---

**ANR1718E** *Command:* ファイル集合の再構成がサポートされるのは、順次アクセス・ストレージ・プール (ソースとターゲット両方) 内のデータの動作の場合のみです。

説明: 指示されたコマンドは、再構成がサポートされていない移動操作時のファイル集合の再構成を指定しています。集合が再構成されるのは、ソース・ストレージ・プールとターゲット・ストレージ・プールの両方が順次アクセスの場合のみです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 集合の再構成を指定しないでコマンドを再発行してください。あるいは、1 つあるいは 2 つの順次アクセス・ストレージ・プール内でのデータ転送を含む移動操作を指定してください。

---

**ANR1719E** **MOVE NODEDATA** コマンドに指定されたストレージ・プール *storage pool name* は、有効なプール名またはプール・タイプではありません。

説明: コマンドに指定されたソース・ストレージ・プールが 1 次ストレージ・プールである場合には、指定する宛先ストレージ・プールも 1 次ストレージ・プールでなければなりません。ソース・ストレージ・プールがコピー・ストレージ・プールである場合は、指定の宛先ストレージ・プールがソース・ストレージ・プールと同じストレージ・プールでなければなりません。

システムの処置: MOVE NODEDATA プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: ソース・プールが 1 次ストレージ・プールである場合は、宛先ストレージ・プールとして有効な 1 次ストレージ・プール名を指定してください。ソース・プールがコピー・ストレージ・プールである場合は、宛先プールを指定しないか、あるいは宛先プールと同じコピー・ストレージ・プールを指定してください。

---

**ANR1720I** *source name* から *destination name* へのパスが定義されました。

説明: DEFINE PATH コマンドに応答して、ソース名から宛先名へのパスがサーバー・データベースに定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1721I** *source name* から *destination name* へのパスが削除されました。

説明: DELETE PATH コマンドまたは MOUNTLIMIT パラメーターを持つ UPDATE DEVCLASS コマンドに応答して、ソース名から宛先名へのパスがサーバー・データベースで削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1722I** *source name* から *destination name* へのパスが更新されました。

説明: UPDATE PATH コマンドに応答して、ソース名から宛先名へのパスがサーバー・データベースで更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1723E** パスは *source name* および *destination name* を使用して既に定義されています。

説明: DEFINE PATH コマンドに応答して、同じソース名および同じ宛先名のパスがサーバー・データベースに既に存在することをサーバーは判別します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ソース名または宛先名を訂正して、このコマンド再入力してください。

---

**ANR1724W** *Command:* サーバー *server name* は現在使用中です。

説明: 示されているコマンドは現在使用中のサーバーを指定しています。サーバーは、PATH の中で参照されています。その PATH は共有ライブラリー内にある FILE 装置タイプ・ドライブへの LAN フリー・アクセスに使用されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でこのコマンドを再発行してください。指定されたサーバーを削除するには、そのサーバーがサーバーと現在接続状態であってはならず、装置クラスで参照されていないと、またイベント・サーバーとして定義されていないと、FILE 装置タイプ・ドライブのように PATH 定義の中でも参照されていないと、なりません。

---

**ANR1725E** ソースまたは宛先の名前 *name* が無効のため、コマンド *command* は失敗しました。

説明: DEFINE PATH、DELETE PATH、または PERFORM LIBACTION コマンドで、ソースまたは宛先の名前が無効です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 有効なソース名または宛先名を使用してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1726E** *sourcename* から *destname* へのパスを使用する操作は現在使用中です。

説明: コマンドを入力した時に、このパスは使用中でした。パスの使用中には、そのパスの属性は変更できないことがあります。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: このパスを使用する操作が完了するまで待つか、あるいはこのパスを使用する操作を取り消してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR1727E** *sourcename* から *destname* へのパスが存在しません。

説明: 更新または削除しているパスが存在しません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 別のソースまたは宛先名でコマンドを再発行するか、あるいは新しいパスを定義してください。

---

**ANR1728E** ライブラリー *libname* は **SCSI** または **VTL** ライブラリーではありません。

説明: NAS データ・ムーバーで使用されることになるドライブは SCSI または VTL ライブラリーに接続されていなければなりません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 別のドライブ名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR1729E** データ・ムーバー *source name* を使用するパスはまだ存在しています。

説明: DELETE DATAMOVER コマンドでは、提供されたデータ・ムーバー名はサーバー・データベース中にまだ存在するパスのソースまたは宛先のいずれかです。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 存在するパスを削除して、このコマンドを再発行してください。

---

**ANR1730I** データ・ムーバー *mover name* が定義されました。

説明: データ・ムーバーはサーバー・データベース中に定義されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1731I** データ・ムーバー *mover name* が削除されました。

説明: データ・ムーバーはサーバー・データベースで削除されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1732I** データ・ムーバー *mover name* が更新されました。

説明: データ・ムーバーはサーバー・データベースで更新されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1733E** データ・ムーバー *mover name* は既に定義されています。

説明: サーバー・データベースに既にあるデータ・ムーバーに、DEFINE DATAMOVER コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: UPDATE DATAMOVER を使用して、このデータ・ムーバーの属性を変更します。そうでない場合は、別のデータ・ムーバー名を使用してください。

---

**ANR1734E** データ・ムーバー *mover name* は定義されていません。

説明: サーバー・データベースに存在しないデータ・ムーバーに、UPDATE DATAMOVER コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: データ・ムーバー名を訂正するか、あるいは DEFINE DATAMOVER コマンドを使用して、

新しいデータ・ムーバーを定義してください。

---

**ANR1735E** データ・ムーバー *data mover* は現在使用中です。

説明: コマンドを入力した時に、データ・ムーバーは使用中でした。データ・ムーバーの使用中には、その属性は変更できないことがあります。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: このデータ・ムーバーを使用する操作が完了するまで待つか、あるいはこのデータ・ムーバーを使用する操作を取り消してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR1736E** *Command:* パラメーター *parameter* の長さが無効です。

説明: 指定されたサーバー・コマンドは入力されましたが、パラメーターが許可された長さよりも長い、短い、か、いずれかです。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1737E** *Command:* 指定された装置名 *device* が無効です。

説明: 無効な装置名を指定して、示されているコマンドが入力されました。

システムの処置: コマンドは失敗しました。

ユーザーの処置: 有効な装置名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1738W** データベース・バックアップに、サーバー・マスター暗号鍵のコピーが含まれていません。サーバー・マスター暗号鍵はリストアされません。

説明: このデータベース・バックアップはサーバー・レベルで実行され、暗号化はサポートされません。

システムの処置: コマンドは続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1739E** データベース・バックアップに、サーバー・マスター暗号鍵のコピーは含まれていますが、パスワードが指定されませんでした。

説明: サーバー・マスター暗号鍵をリストアするには、DSMSERV RESTORE DB コマンドでパスワードを指定する必要があります。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: サーバー・マスター暗号鍵をリストアするには、DSMSERV RESTORE DB コマンドでパスワードを指定してください。マスター暗号鍵をリストアしない場合は、RESTOREKeys=No 値を指定する必要があります。

---

**ANR1740W** データベース・バックアップに、サーバー・マスター暗号鍵のコピーが含まれていません。サーバー・マスター暗号鍵はリストアされません。

説明: データベースのバックアップ時にサーバー・マスター暗号鍵が保管されませんでした。

システムの処置: コマンドは続行します。

ユーザーの処置: データベース・バックアップ時にサーバー・マスター暗号鍵のコピーを保管するには、SET DBRECOVERY コマンドまたは BACKUP DB コマンドで、PROTECTKEYS パラメーターおよび PASSWORD パラメーターを指定する必要があります。

---

**ANR1741E** データベース・バックアップ内のサーバー・マスター暗号鍵を読み取れません。パスワードが誤っているか、暗号鍵が無効である可能性があります。

説明: データベース・バックアップに保管されたサーバー・マスター暗号鍵を読み取れません。マスター暗号鍵にアクセスするには、パスワードが必要です。パスワードが誤っていると、マスター暗号鍵にアクセスできません。パスワードが正しい場合は、マスター暗号鍵が適切に読み取られていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: パスワードが正しいことを確認して、コマンドを再試行してください。パスワードが正しい場合は、マスター暗号鍵のリストアをスキップすることができます。マスター暗号鍵のリストアをスキップするには、DSMSERV RESTORE DB コマンドで RESTOREKeys=No 値を指定する必要があります。警告: マスター暗号鍵のリストアをスキップする場合、暗号化されたストレージ・プールに保管されたデータをリトリブできなくなり、暗号化されたストレージ・プールに新規データを保管することもできなくなります。

---

**ANR1742I** サーバー・マスター暗号鍵は、正常にリストアされました。

説明: サーバー・マスター暗号鍵がサーバー・パスワード・ファイルにリストアされました。

システムの処置: N/A

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1743E** **PASSWORD** を指定する場合は、*parm* パラメーターを有効にする必要があります。

説明: **PASSWORD** パラメーターは、指定されたパラメーターに有効な値が設定されている場合のみ使用されます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: **PASSWORD** パラメーターを削除するか、**KEYS** パラメーターを有効にしてください。 **SET DB RECOVERY** コマンドまたは **BACKUP DB** コマンドの **KEYS** パラメーターを有効にするには、**PROTECTKEYS** パラメーターを **YES** に設定します。 **DSMSERV RESTORE DB** ユーティリティの **KEYS** パラメーターを有効にするには、**RESTOREKEYS** パラメーターを **YES** または **ONLY** に設定します。

---

**ANR1744E** 定義しているパスの宛先のワールド・ワイド名が無効です。

説明: データ・ムーバーから宛先へのパスを定義していますが、その宛先に誤ったワールド・ワイド名が指定されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しいワールド・ワイド名で宛先の定義を更新してください。

---

**ANR1745I** **HBA** がビジーのため、**SAN** 装置を検出できません。

説明: **SAN** 装置検出機能は使用中です。現時点では、要求された **HBA** API 照会を完了できません。通常、このタイプのタイムアウトは、複数の **HBA** を搭載したシステム内の不良 **HBA** アダプターが原因で発生します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システム上のすべての **HBA** アダプターを検査し、すべてのアダプターが正常に機能していることを確認してください。 **QUERY SAN** コマンドを再発行します。

---

**ANR1746E** データ・ムーバー *datamover name* からドライブ *library name drive name* へのパスがオンラインではありません。

説明: サーバー・フリー操作が指定された装置を要求しました。データ・ムーバーから装置へのパスがオンラインでないために装置は使用できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: パスがオフラインになっている理由を調べてください。可能であれば、パスをオンラインの状況に更新してください。

---

**ANR1747E** ライブラリー *libname* は **ZOSMEDIA** 対応ライブラリーではありません。

説明: **ZOSMEDIASERVER** パラメーターを使用してライブラリーへの **PATH** を定義するには、ライブラリーが **ZOSMEDIA** ライブラリー (例えば、**DEFINE LIB libname LIBTYPE=ZOSMEDIA**) でなければなりません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しいライブラリー名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1748E** *parm* が有効な場合には、**PASSWORD** パラメーターが必要です。

説明: 指定されたパラメーターに有効値が設定されている場合に、**PASSWORD** パラメーターが必要になります。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: **PASSWORD** パラメーターを追加するか、**KEYS** パラメーターを無効にしてください。 **SET DB RECOVERY** コマンドまたは **BACKUP DB** コマンドの **KEYS** パラメーターを無効にするには、**PROTECTKEYS** パラメーターを **NO** に設定します。 **DSMSERV RESTORE DB** ユーティリティの **KEYS** パラメーターを無効にするには、**RESTOREKEYS** パラメーターを **NO** に設定します。

---

**ANR1749W** ドライブ *library name drive name* が **SAN** 上で見つかりませんでした。このドライブのパス定義にオフラインのマークが付いています。

説明: ストレージ・エリア・ネットワークでの装置検出中に、**IBM Spectrum Protect** に定義されたドライブと同じシリアル番号を持つ装置が見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

---

ユーザーの処置: ドライブ定義のシリアル番号が正しいこと、およびドライブが操作可能であることを確認してください。

---

**ANR1750E** サーバーが内部エラーを検出しました。戻りコード = *return code*。

説明: サーバー操作中に、予期しないエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。障害を見つけて解決できた場合は、操作を再試行してください。障害を見つけない場合には、サービス担当員に連絡して問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR1758I** ディレクトリー・コンテナ・プール内の *extents* 個の損傷エクステントが修復されました。

説明: サーバーは、指定された数のエクステントを修復しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1759E** *Command:* データ・ムーバー *datamover name* のシステム構成に **SCSI** データ・ムーバー機能をもつ装置が見つかりませんでした。

説明: データ・ムーバー操作を実行できる装置の SCSI アドレスを判別できませんでした。

システムの処置: 要求された操作は失敗します。

ユーザーの処置: SCSI データ・ムーバー操作を実行できるハードウェアがインストールされ、パワーオンになっているかを確認してください。

---

**ANR1760E** *Command:* ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* でコマンドが失敗しました - 宛先ストレージ・プール *storage pool* がスキップされました。

説明: 宛先ストレージ・プールがスキップされたので、指示されたコマンドが失敗しました。ストレージ・プールに使用可能なスペースが十分でないため、あるいは挿入されるオブジェクトのサイズより小さい MAXSIZE 値があるために、ストレージ・プールがスキップされた可能性があります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 宛先ストレージ・プールが使用可能で、適切な MAXSIZE 設定があり、適切なスペースがあることを確認してください。MAXSIZE 設定は UPDATE STGPOOL コマンドを使用して変更できます。スクラッチ・ボリュームにチェックインするか、あるいはストレージ・プールに新規のボリュームを定義することによって、ストレージ・プールにスペースを追加することができます。宛先ストレージ・プールのボリュームがオフラインの場合は、VARY ONLINE コマンドを使用してそれをオンラインに構成変更して、使用できるようにしてください。問題を訂正して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR1761E** *Command:* ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* でコマンドが失敗しました - ストレージ・メディアがアクセス不能です。

説明: 必要なストレージ・メディアが選択不可能なために、指示されたコマンドは失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: バックアップの保管に使用可能なボリュームが十分にあり、リストアに必要な任意のボリュームにチェックインして、使用可能であることを確認してください。問題を訂正して、コマンドを再試行してください。

---

**ANR1762E** *Command:* ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* でコマンドが失敗しました - マウント・ポイントが選択不可能です。

説明: 十分なマウント・ポイントが使用可能でないために、指示されたコマンドは失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 十分なマウント・ポイントが使用可能で、正しく作動していることを確認してください。問題を訂正して、コマンドを再試行してください。

---

**ANR1763E** *Command:* コマンドが失敗しました - 前のエラー・メッセージを参照するか、活動記録ログを表示してください。

説明: 指示されたサーバー・コマンドは失敗しました。このメッセージの前に、コマンドが失敗した理由の詳細を示す他の 1 つ以上のエラー・メッセージが常にあります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。QUERY



ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。問題を訂正して、コマンドを再実行してください。

---

**ANR1764E** *Command:* コマンドが失敗しました - ロード可能モジュール *module name* が使用できません。

説明: 指示されたサーバー・コマンドでは、指定されたロード可能モジュールが使用可能でなければなりません。そのモジュールがロードされないために、このコマンドは失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 必要なロード可能モジュールがそのプラットフォームで使用可能であることを確認してください。すべてのモジュールがすべてのプラットフォームで使用可能になるとは限りません。そのモジュールがご使用のプラットフォームで使用可能であり、インストールされている場合には、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR1765E** *Command:* 入力されたコピー・スレッド数 *copythreads* がデータ・ムーバーの能力を超えています。

説明: データ・ムーバーには、実行可能なコピー・スレッドの数に上限があります。指定された *copythreads* パラメーターはこの制限を超えています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: このデータ・ムーバーの最大値より小さい値を *copythreads* パラメーターに入力してください。 *copythreads* の数としてデフォルトを使用すると、コピー・スレッドの数がデータ・ムーバーの最大値に設定されます。

---

**ANR1766E** *Command:* NAS 装置 *datamover* が、ドライブ *tape drive* について、このデータ・ムーバーと一致しないドライブ・アフィニティを報告しました。

説明: NAS 装置は、磁気テープ・ドライブについて、記録されたデータ・ムーバーのアフィニティ ID と一致しないアフィニティ ID を返しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: データ・ムーバーの高位アドレスを確認し、それが NAS クラスター上のノード管理ネットワーク・インターフェースであることを確認してください。インターフェースが適切なノード・クラスター上に配置されていることを確認してください。

---

**ANR1767I** *NAS* ノード *node name* のプロセス *process number* は、**NAS** データ・ムーバー *datamover* を使用します。

説明: 現行の NAS 操作で代替 NAS データ・ムーバーが選択されました。

システムの処置: NAS 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1768E** *Command:* 指定された装置名と、既に使用されている装置名が競合しています。

説明: コマンドに指定された装置名は、既存のパスで既に使用されています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 他のドライブやライブラリーによって使用されていない有効な DEVICE パラメーターを指定してください。

---

**ANR1769E** *Command:* コマンドが失敗しました - コミット・アクション間における複数のアクションは許可されていません。

説明: コミット・アクション間で複数のアクションを実行するサーバー・スクリプトは許可されません。例えば、各削除をコミットする前に複数のパスを削除することは許可されません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: スクリプトまたはマクロを書き直し、前のコマンドがコミットされるまでは新しいコマンドが発行されないようにしてください。

---

**ANR1770E** セッション *session id* の処理で宛先 *new destination* が見つかりました。 *current destination* が必要です。

説明: リモート・イメージ操作の処理中に、指定されたセッションが現行宛先で実行中でした。しかし、サーバーは、新規宛先名でクライアント要求を受け取りました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントから、現行リモート・イメージ要求を終了してください。必要であれば、要求を入れ直してください。

**ANR1771E** リモート・サーバー *remote server name* から宛先 *destination name* (出力先 *device type*) へのパスが有効ではありません。

説明: ライブラリー・マネージャーは、リモート・サーバーのパスを更新するコマンドを受け取ります。宛先装置の装置タイプ・フィールドが有効ではありません。リモート・サーバーからの更新パスの宛先は、ドライブまたはライブラリーでなければなりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 宛先装置の装置タイプ・フィールドが無効である理由を確認してください。

**ANR1772E** ソース *source name* から宛先 *drive name* へのパスがオフラインにされています。

説明: このパスには、オフラインのマークが付けられません。

システムの処置: パスはアクセス不能です。

ユーザーの処置: ハードウェア障害など、パスがアクセス不能である理由を判別してください。必要な訂正を加えてください。次に ONLINE=YES オプションを指定して UPDATE PATH コマンドを発行し、パスをオンラインにしてください。

**ANR1773W** データベース *path source name* およびドライブ *drive name* のパスを更新できません。

説明: システムがデータベース表のパス情報を更新できません。

システムの処置: .

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1774E** **Query Status** コマンドが失敗し、サーバー初期化が完了しませんでした。サーバー初期化の完了を可能にしてから、コマンドを再試行してください。

説明: コマンド Query Status は、サーバー初期化が完了しなかったため失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー初期化の完了を可能にしてから、コマンドを再試行してください。

**ANR1775I** データ・ムーバー *mover name* が定義されましたが、データ・ムーバーへの接続が失敗しました。データ・ムーバーの定義

内で指定したファイル・サーバーの属性を検査してください。

説明: データ・ムーバーはサーバー・データベースで定義されていますが、データ・ムーバーに関連付けられたファイル・サーバーにサーバーが接続できません。接続が失敗したのは、以下のいずれかの理由による可能性があります。

- データ・ムーバー定義中に指定したパラメーター、すなわち、ファイル・サーバーの TCP/IP アドレス、ユーザー ID、パスワード、TCP/IP ポートの 1 つが正しくない
- ファイル・サーバーがアクセス可能でない
- NDMP サーバーが活動状態の NDMP セッション数を制限する

システムの処置: データ・ムーバーがサーバーに対して定義されています。

ユーザーの処置: データ・ムーバーに関連付けられたファイル・サーバーがネットワークを介してアクセス可能であることを検査し、データ・ムーバー定義中に指定した各属性を検査し、ファイル・サーバーで活動状態になっている NDMP セッション数を検査してください。

**ANR1776I** データ・ムーバー *mover name* が更新されましたが、データ・ムーバーへの接続が失敗しました。更新コマンド内で指定したファイル・サーバーの属性を検査してください。

説明: データ・ムーバーはサーバー・データベースで更新されていますが、データ・ムーバーに関連付けられたファイル・サーバーにサーバーが接続できません。接続が失敗したのは、以下のいずれかの理由による可能性があります。

- データ・ムーバー更新中に指定したパラメーター、すなわち、ファイル・サーバーの TCP/IP アドレス、ユーザー ID、パスワード、TCP/IP ポートの 1 つが正しくない
- ファイル・サーバーがアクセス可能でない
- NDMP サーバーが活動状態の NDMP セッション数を制限する

システムの処置: データ・ムーバー定義は更新されました。

ユーザーの処置: データ・ムーバーに関連付けられたファイル・サーバーがネットワークを介してアクセス可能であることを検査し、データ・ムーバー更新コマンド内で指定した各属性を検査し、ファイル・サーバーで活動状態になっている NDMP セッション数を検査してください。

---

**ANR1777W** *Command: NAS* クラスター *nas cluster* 上の新規クラスター・ノード *cluster node* が、クラスター・ノード *existing cluster node* と同じクラスター・アフィニティに割り当てられました。

説明: NAS クラスター装置が、既存のデータ・ムーバーを同じクラスター・アフィニティ ID を持つクラスター・ノードを報告しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージで報告されたデータ・ムーバーを確認し、NAS クラスターの現在の構成に基づいて、これらのデータ・ムーバーについて定義された既存の装置パスを更新してください。

---

**ANR1778E** *Command:* 無効なパラメーターまたは欠落したパラメーター。

説明: 指定されたサーバー・コマンドに無効なパラメーターが入っているか、あるいは必須パラメーターが欠落しています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1779I** *backupset process name* プロセスが終了しました。コマンドの指定によって要求された *total count* のバックアップ・セットのうち、*successful count* バックアップ・セットが生成または定義されました。

説明: GENERATE または DEFINE BACKUPSET コマンドが正常に終了し、直前のメッセージに表示されたバックアップ・セットが作成されました。

システムの処置: 表示のバックアップ・セットが作成されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1780I** *Command: Network Attached Storage (NAS)* クラスター *cluster name* に、クラスター・ノード *cluster node* に接続された磁気テープ・デバイスがあります。

説明: DEFINE DATAMOVER コマンドまたは UPDATE DATAMOVER コマンドの実行時に、サーバーが、NAS クラスター内のノードに接続された磁気テープ・ドライブを検出しました。

---

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1781I** *Command: Network Attached Storage (NAS)* クラスター *cluster name* には、磁気テープ・ドライブにアクセスするために、新規データ・ムーバー *cluster node* が必要です。

説明: サーバーが、NAS クラスター内に磁気テープ・ドライブが接続されたノードを検出しました。接続された磁気テープ・ドライブへのアクセスを提供するために、新規データ・ムーバーが定義されます。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: クラスター内のノード用にサーバーがデータ・ムーバーを作成する際に、ノードに接続された磁気テープ・ドライブを識別する必要があります。新規データ・ムーバーから NAS クラスターのバックアップに使用する各ドライブへのパスを定義します。

---

**ANR1786W** *HBAAPI* がアダプター名を取得できません。

説明: HBAAPI 機能 *getAdapterName* は失敗しました。サーバーは、存在する場合には次のアダプターに対してアクセスを続行します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このホスト・バス・アダプターに対して IBM Spectrum Protect SAN 装置検出機能が機能しません。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

---

**ANR1787W** アダプター *adapter name* を開くことができません。

説明: ホスト・バス・アダプター (HBA) を開く HBAAPI 機能が失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このホスト・バス・アダプターに対して IBM Spectrum Protect SAN 装置検出機能が機能しません。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

---

**ANR1788W** *adapter name* のアダプターの属性を取得できません。

説明: アダプターの属性を取得する HBAAPI 機能が失敗しました。この問題は、システムのファイバー・チャネル・アダプターが機能していないことが原因です。このアダプターをチェックして正しく機能するようにしてください。また、この問題は、システム上の別の非ファイバー・チャネル・タイプのアダプター (SAS またはパラレル SCSI アダプターなど) が原因で起きることもあります。非ファイバー・チャネル・アダプターを使用している場合、このメッセージは無視できます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このアダプターに対して SAN 装置検出機能が機能しません。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

**ANR1789W** HBA ターゲット・マッピングの取得が失敗しました。

説明: ターゲット・マッピングを取得する HBAAPI 機能が失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このアダプターに対して SAN 装置検出機能が機能しません。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

**ANR1790W** SAN 装置検出機能が失敗しました。

説明: SAN 装置検出機能が失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: SAN 装置検出機能が失敗しました。HBA ファームウェア、HBA または HBA ベンダーの HBAAPI ドライバーに問題がある可能性があります。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

**ANR1791W** HBAAPI ラッパー・ライブラリー *file name* がロードに失敗したか、欠けています。

説明: このライブラリーは、IBM Spectrum Protect によって提供されます。これは、SAN 上の装置の検出に必要です。

- Windows では、HBAAPI ラッパー・ライブラリーは `hbaapi.dll` です。
- AIX では、HBAAPI ラッパー・ライブラリーは `libHBAAPI.a` です。
- Solaris では、HBAAPI ラッパー・ライブラリーは、32 ビット・アプリケーションの場合は `libhbaapi32.so`、64 ビット・アプリケーションの場合は `libhbaapi64.so` です。
- Linux では、HBAAPI ラッパー・ライブラリーは、32 ビット・アプリケーションの場合は `libhbaapi32.so`、64 ビット・アプリケーションの場合は `libhbaapi64.so` です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このプラットフォームの HBAAPI ラッパー・ライブラリーが IBM Spectrum Protect サーバー実行可能プログラムと同じディレクトリーにあることを確認してください。AIX のみは例外で、HBAAPI ラッパー・ライブラリー `libHBAAPI.a` が `/usr/lib` にあることを確認してください。

**ANR1792W** HBAAPI ベンダー・ライブラリーがロードに失敗したか、欠けています。

説明: HBAAPI ベンダー・ライブラリーがロードに失敗したか、欠けています。この HBAAPI ライブラリーは、ホスト・バス・アダプター (HBA) ベンダーによって提供されます。これは、IBM Spectrum Protect サーバーが SAN 上の装置を検出するために必要です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: システム上に HBAAPI ファイルが存在することを確認してください。ご使用のシステム上のドライバー・レベルがサポートされていない場合は、HBA ベンダーの Web サイトにアクセスし、HBA ドライバーをダウンロード/インストールしてください。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。HBA ベンダーの HBAAPI ファイルのいくつかの例を以下に示します。

- UNIX システムの場合、この HBAAPI ベンダー・ライブラリーの位置は `/etc/hba.conf` に示されています。例えば次のとおりです。

```
qla2x00          /usr/lib/libqlsdm.so
com.emulex.emulexapilibrary
                /usr/lib/libemulexhbaapi.so
```

- Windows システムの場合、次の中の LibraryFile を確認して HBAAPI ベンダー・ライブラリーの位置を検査してください。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE
SOFTWARE
    SNIA
        HBA
            <HBAAPI library>
```

---

#### ANR1793W IBM Spectrum Protect SAN 装置検出機能は、このプラットフォームまたは、このバージョンではサポートされていません。

説明: SAN 装置検出機能は、このプラットフォームでは現在サポートされていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このプラットフォームに対して SAN 装置検出機能が機能しません。

- AIX については、AIX5.2F およびそれ以降でのみサポートします。
- HP については、まだサポートしていません。
- Linux については、Linux-zOS をまだサポートしていません。
- Windows については、Windows 2003 64 ビットをまだサポートしていません。

サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

---

#### ANR1794W IBM Spectrum Protect SAN 装置検出機能はオプションによって使用不可能になっています。

説明: SAN 装置検出機能はオプション SANDISCOVERY OFF または SANDISCOVERY UNSCANNEDPATHOFF によって使用不可能になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: SAN 装置検出機能は、現在プラットフォームに応じてデフォルトで SANDISCOVERY OFF オプション、または SANDISCOVERY UNSCANNEDPATHOFF オプションによって使用不可

になっています。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要なドライバー・レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

---

#### ANR1795I 装置 *old device name* のデバイス・ドライバーが正常に更新されました。新規の装置名は *new device name* です。

説明: このメッセージは CHANGE DEVDRIVER コマンドへの応答で表示されます。装置 *old device name* のデバイス・ドライバーが正常に更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR1796E 無効な装置名 *device name*。

説明: 装置名が TAPEx または CHANGERx の形式ではありません。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: 装置名を TAPEx または CHANGERx に変更し、コマンドを再試行してください。

---

#### ANR1797E 装置 *device name* は IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーでサポートされていません。

説明: 装置 *device name* は IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーでサポートされていません。ハードウェア ID が IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバー INF ファイル (`tsmlb.inf` および `tsmmt.inf`) 内で見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect Web サイト ([www.ibm.com/software/sysmgmt/products/support/IBMTivoliStorageManager.html](http://www.ibm.com/software/sysmgmt/products/support/IBMTivoliStorageManager.html)) にアクセスし、そのサイトでサーバーのオペレーティング・システムに関する装置サポート情報にナビゲートしてください。装置がサポートされているかどうかを確認してください。IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーでサポートされている場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR1798E** 装置 *device name* のデバイス・ドライバー更新が失敗しました。

説明: 装置 *device name* の CHANGE DEVDRIVER 操作が失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR1799E** **IBM Spectrum Protect** デバイス・ドライバーがインストールされていないか、1 つ以上のデバイス・ドライバー・ファイルが欠落しています。

説明: IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーがインストールされていないか、1 つ以上のデバイス・ドライバー・ファイルが欠落しているため、サーバー・コマンドが失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。また、次のファイルは欠落していません。

%WINDIR%\system32\drivers\tsmscsi.sys (64 ビット Windows の場合は tsmscsi64.sys)、%WINDIR%\inf\tsmmt.inf、および %WINDIR%\inf\tsmlb.inf。

**ANR1801E** *Eventlog command:* イベントまたはイベント・クラスが無効 - *Event or event class name*。

説明: 不明のイベントまたはイベント・クラスを指定したイベント・ロギング・コマンドが入力されました。

システムの処置: このコマンドは、無効なイベントまたはイベント・クラスのために無視されます。指定された有効なイベントまたはクラスはすべて処理されます。

ユーザーの処置: 正しいイベントまたはイベント・クラスを指定して、コマンドを出し直してください。

**ANR1802E** 装置 *device name* が見つかりませんでした。

説明: 装置が装置情報セット内で見つかりませんでした。ベンダー ID または製品 ID のいずれか (あるいはその両方) または装置名が無効であるか、装置がシステムから除去された可能性があります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 正しいベンダー ID と製品 ID、または装置名を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR1803W** **SAN** ディスカバリー・モジュール *module name* が正しくインストールされていません。

説明: サーバーは SAN ディスカバリー・モジュールをロードしようとしたますが、ファイルの許可または所有権が正しくありません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、SAN ディスカバリー機能がありません。

ユーザーの処置: SAN ディスカバリー・モジュールが実行可能で、setuid ビットがオンになり、root によって所有されていることを確認してください。SAN ディスカバリー・モジュールは「dsmqsan」と呼ばれ、サーバーまたはストレージ・エージェントの実行可能ディレクトリに存在する必要があります。

**ANR1804W** *Command:* プロセス *process number* はストレージ・プール *pool name* のボリューム *volume name* をスキップします。このボリュームが現在他のプロセスによって使用されているためです。

説明: 示されているコマンドによって、処理されるボリュームが指定されていますが、このボリュームは現在他の操作によって使用されています。

システムの処置: サーバーはこのボリュームをスキップして、使用可能な次のボリュームを処理します。

ユーザーの処置: 活動記録ログで、ボリュームを使用していた操作を判別してください。ボリュームを使用していた操作が完了している場合、*Command* を再発行して、スキップされたボリュームを処理してください。

**ANR1805I** このエクスポート・コマンドは、コンテナまたはクラウド・ストレージ・プールに対して機能しません。オブジェクト *Object Name* はスキップされます。

説明: コンテナ・ストレージ・プールは、ストレージ・プールのバックアップ、レクラメーション、マイグレーション、コロケーション、エクスポート、インポート、および同時書き込みに使用することができません。

システムの処置: サーバーはこのオブジェクトをスキップして、使用可能な次のオブジェクトを処理します。

ユーザーの処置: 別の方法またはストレージ・プール・タイプを使用して、データを保管してください。

**ANR1806I** コンテナ・ストレージ・プールあるいはクラウド・ストレージ・プールに対する操作を完了できないため、一部のデータはスキップされます。

説明: コンテナ・ストレージ・プールあるいはクラウド・ストレージ・プールは、ストレージ・プールのバックアップ、レクラメーション、マイグレーション、コロケーション、エクスポート、インポート、NDMP、バックアップ・セットの生成、および同時書き込みに使用することができません。

システムの処置: サーバーはこのオブジェクトをスキップして、使用可能な次のオブジェクトを処理します。

ユーザーの処置: 別の方法またはストレージ・プール・タイプを使用して、データを保管してください。

**ANR1807I** *processed table* に対する表の統計の更新は正常に実行されました。

説明: その表の *Runstat* は正常に実行されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ユーザー・アクションは不要です。

**ANR1808I** クラウド・ストレージ・プールに対する操作を完了できないため、オブジェクト *Object ID* はスキップされます。

説明: クラウド・ストレージ・プールは、ストレージ・プールのバックアップ、レクラメーション、マイグレーション、コロケーション、および同時書き込みに使用することができません。

システムの処置: サーバーはこのオブジェクトをスキップして、使用可能な次のオブジェクトを処理します。

ユーザーの処置: 別の方法またはストレージ・プール・タイプを使用して、データを保管してください。

**ANR1809E** イベント・ロギングを活動化するにはメモリーが不十分です。

説明: *BEGIN EVENTLOGGING* コマンドが入力されましたが、サーバーにはロギングの活動化に使用可能なメモリーが不足しています。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: ロギングが必要な場合には、サーバーに使用できるメモリーを増やしてから、サーバーを再始動してください。

**ANR1810E** *Eventlog command: 無効な受信側 - receiverName*。

説明: 1 つの不明のイベント・ロギングの受信側 (このプラットフォームでのみ不明場合があります) を指定したイベント・ロギング・コマンドが入力されました。

システムの処置: このコマンドは、無効な受信側のために無視されます。指定された有効な受信側はすべて処理されます。

ユーザーの処置: 正しい受信側を指定して、コマンドを出し直してください。

**ANR1811W** ホスト・バス・アダプター **API** パッケージはインストールされていない可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: HBA API は、ホスト・システムからのファイバー・チャネル・アダプターの数を示しません。オペレーティング・システム上の HBA API ファイル・バージョンがサポートされていないか、HBA API パッケージがインストールされていない可能性があります。HBA ベンダーの Web サイトにアクセスし、最新バージョンの HBA API を入手してください。サポートされる HBA とオペレーティング・システムごとに必要な HBA API レベルのリストについては、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21193154> の Techdoc 1193154 を参照してください。

**ANR1812E** 複製が進行中であったため、ノード *node name* に対する **DELETE FILESPACE** *filespace name* は削除に失敗しました。

説明: 報告されたノードに属する、報告されたファイル・スペースは、現在、*REPLICATE NODE* コマンドの一部として複製されています。複製の進行中は、ファイル・スペースを削除できません。

システムの処置: *DELETE FILESPACE* は、*FAILURE* の状態で終了します。

ユーザーの処置: *QUERY PROCESS* コマンドを使用して、アクティブな *REPLICATE NODE* プロセスを表示します。複製が完了するのを待つか、*CANCEL PROCESS* または *CANCEL REPLICATION* コマンドを使用して複製プロセスを取り消し、*DELETE FILESPACE* コマンドを再発行してください。

**ANR1813W** ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name* は複製 *replication role* です。

説明: 報告されたファイル・スペースは、複製されたノードのソースまたはターゲットのいずれかです。

DELETE FILESPACE コマンドは、このサーバー上のデータを削除しますが、他のどの複製サーバーからもデータを削除しません。

システムの処置: DELETE FILESPACE コマンドは続行します。

ユーザーの処置: このメッセージが、このファイル・スペースが複製されたデータのソースであることを示している場合は、このファイル・スペースから複製されたデータを収容しているすべてのサーバーにログインして、DELETE FILESPACE コマンドを発行し、それらのサーバーからデータを削除します。このメッセージが、このファイル・スペースが複製されたデータのターゲットであることを示している場合は、ソース・サーバー上のファイル・スペースが削除されたか、このサーバーに複製しなくなるように更新されていることを確認します。

**ANR1814W** データベース・マネージャーがセキュリティー・プラグイン *file name* をロードできません。

説明: データベース・マネージャーがセキュリティー・プラグインをロードできません。このプラグインは、IBM Spectrum Protect サーバーからデータベース・マネージャーへのアクセスを制御します。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: DB2 診断ログ・ファイルを検査して、データベース・マネージャーがセキュリティー・プラグインをロードできない理由を識別してください。問題を訂正して、サーバーを再始動してください。

**ANR1815W** ノード *node list* の複製時にストレージの問題がないか、ターゲット・サーバーを調べてください。

説明: 指定されたノードの複製プロセス時に、複製ターゲット・サーバーでデータの保管に問題がありました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 複製プロセス時にデータ・ストレージに関連した特定のエラー・メッセージがないか、ターゲット・サーバーの活動記録ログを確認してください。

**ANR1816W** 1 つ以上のファイルの名前が切り捨てられました。詳細については、ログ・ファイル *log file name* を調べてください。

説明: DSMSERV INSERTDB コマンドで、IBM Spectrum Protect V6 でサポートされる最大パス名より長いパス名のファイルについて説明するデータベース行を挿入しようとした。IBM Spectrum Protect V5 サーバーでは、最大 8000 バイトのパス名がサポートされましたが、V6 サーバーでは、6000 バイトより長いパス名は許可されません。

システムの処置: ファイルの名前が、システムで生成される名前置き換えられました。ファイルを元の名前に復元するのに必要な情報が、指定のログ・ファイルに書き込まれました。

このログ・ファイルには 2 つのセクションが含まれています。最初のセクションには名前が切り捨てられたファイルがリストされます。2 番目のセクションには、切り捨てられたファイルのノード名とファイル・スペース名が示されます。

最初のセクションは、ヘッダー「-- Truncated Files --」で示されます。このセクションの各行は、名前が切り捨てられた 1 つのファイルを示します。この行は次の 4 つのフィールドで構成され、それぞれがタブによって分離されます。

- ノード ID - ファイルを所有するノードの数値 ID。
- ファイル・スペース ID - ファイルのファイル・スペースの数値 ID。
- 新規名 - システムによって生成され、ファイルに割り当てられた名前。
- 元の名前 - ファイルの元の名前。

2 番目のセクションは、ヘッダー「-- Node and Filespace Names --」によって示されます。このセクション内の各行は、最初のセクション内の 1 つ以上のファイルに関連したノード ID とファイル・スペース ID を、リストア・コマンドで指定できるノード名とファイル・スペース名にマップします。この行は次の 4 つのフィールドで構成され、それぞれがタブによって分離されます。

- ノード ID - ファイルを所有するノードの数値 ID。
- ノード名 - ノード ID に関連付けられているノードの名前。
- ファイル・スペース ID - ファイルのファイル・スペースの数値 ID。
- ファイル・スペース名 - ファイル・スペース ID に関連付けられているファイル・スペースの名前。

ユーザーの処置: 指定されたログ・ファイルの内容を検査します。必要に応じて、ログ・ファイル内の情報を



使用して、ファイルを元の名前に戻します。

---

**ANR1817W** *command:* ターゲット・サーバー *tgtServerName* へのインポートに有効なノードが識別されませんでした。

説明: サーバー間エクスポート時に、ターゲット・サーバー上のインポート・プロセスで、エクスポート・データ内のノード定義がいずれも、インポートに有効でないことが報告されました。ノード・データはターゲット・サーバーにインポートされませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーで警告メッセージまたはエラー・メッセージがないか確認し、必要に応じて処理してください。

---

**ANR1818W** *command:* インポートに有効なノードが識別されませんでした。

説明: サーバー・インポート・プロセス時に、インポート・データ内のノード定義がいずれも、インポートに有効ではありませんでした。ノード・データはインポートされませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーへのインポート・プロセス時に警告メッセージまたはエラー・メッセージがないか確認し、必要に応じて処理してください。

---

**ANR1819E** デバイス *device name* へのアクセス権が拒否されました。

説明: 読み取り専用属性が、非 root ユーザーおよびその磁気テープ装置ファイルに割り当てられています。この属性が変更されない場合、非 root ユーザーは磁気テープ装置にデータを保管できません。これは、HP-UX、Linux、および Solaris の各オペレーティング・システムにのみ影響します。

システムの処置: オープン操作が失敗します。

ユーザーの処置: 特定の磁気テープ装置ファイルの読み取り専用属性を変更するため、CHMOD システム・コマンドを発行して、前回失敗した操作を再度実行してください。この問題の解決について詳しくは、技術情報 1321130 (<https://www-304.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21321130>) を参照してください。

---

**ANR1820E** サーバーは、TCP/IP ポート *port number* を使用したデータベース・マネージャーへの接続ができませんでした。

説明: サーバーが TCP/IP を使用してデータベースに接続しようとしたましたが、接続できませんでした。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: 最初に、このポート番号がまだ使用されていないことを確認してください。考えられる方法は次のとおりです。

- UNIX システムで、そのポート番号があるかどうか `/etc/services` を検査します。
- `netstat` コマンドを使用して、サービスがそのポート番号を `listen` しているかどうかを判別します。

競合が検出される場合、サーバー・オプション・ファイルの DBMTCPPORT オプションで別のポート番号を指定して、サーバーを再始動してください。

競合が検出されない場合、「`db2 get database manager config`」コマンドを使用して、SVCENAME 構成パラメーターがこのメッセージによって示されたポート番号に設定されていることを確認します。正しく設定されていない場合、「`db2 update database manager config using SVCENAME port number`」コマンドを使用して、構成パラメーターを手動で構成します。この指定した値を DBMTCPPORT サーバー・オプションでも指定してください。サーバーを再始動します。

最後に、「`db2set`」コマンドを使用して、DB2COMM 環境変数が「TCPIP」に設定されていることを確認します。正しく設定されていない場合、「`db2set DB2COMM=TCPIP`」コマンドを使用して環境変数を設定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR1821W** *receiverName* 受信側のイベント・ロギングが開始されていません。

説明: BEGIN EVENTLOGGING コマンドに対する応答として、イベント・ログ・レコードを指定された受信側へ記録する操作を試行しました。受信側が現在実行中であるか、受信側が前に終了して、処理用にキューに入れられたメッセージの書き込みプロセスが続行中であるため、指定された受信側のイベント・ロギングがまだ開始されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: QUERY STATUS コマンドを発行し、「活動レシーバー」フィールドを検査することにより、イベント・ログが既に開始されているかどうかを検査してください。一部のイベント・ログ受信側 (FILETEXT、FILETEXTEXIT、USEREXIT、および Tivoli 受信側など) は、サーバー・オプション・ファイルで構成してあれば、サーバーの初期化中に開始できます。

- イベント・ログ受信側が既に開始されている場合は、それ以上のアクションを取りません。

- イベント・ログ受信側が現在実行中でない場合は、しばらく待機してから開始を再試行してください。

---

**ANR1822I** *receiverName* 受信側のイベント・ロギングが終了しました。

説明: END EVENTLOGGING コマンドに対する応答として、またはエラーの発生のため、イベント・ログ・レコードは指定された受信側へは出力されなくなっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1823I** すべての受信側のイベント・ロギングが終了しました。

説明: END EVENTLOGGING コマンドに対する応答として、イベント・ログ・レコードはいずれの受信側へも出力されなくなっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1824E** 指定された受信側のイベント・ロギングが非活動となっています。

説明: END EVENTLOGGING コマンドが入力されましたが、指定された受信側についてロギングは活動状態になっていません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: ログ記録が必要な場合には、ENABLE EVENT および BEGIN EVENTLOGGING コマンドを使用して、イベント・ロギングを活動化してください。

---

**ANR1825I** *receiverName* 受信側のイベント・ロギングが活動状態です。

説明: BEGIN EVENTLOGGING コマンドに対する応答として、イベント・ログ・レコードは指定された受信側へ出力されるようになっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1827E** *Eventlog command:* 有効な受信側が指定されていません。

説明: イベント・ロギング・コマンドが入力され、有効な受信側が指定されていません。

システムの処置: コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 正しい受信側を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR1829E** *Eventlog command:* 活動記録ログ受信側に対するサーバー・イベントを使用不可にすることはできません。

説明: 活動記録ログ受信側に対して "DISABLE EVENT" コマンドが入力されました。

システムの処置: このコマンドは、活動記録ログの受信側については無視されます。指定された有効な受信側はすべて処理されます。

ユーザーの処置: 正しい受信側を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR1830E** *receiverName* 受信側オプションはサーバー・オプション・ファイルの中に定義されていません。

説明: 受信側に対して BEGIN EVENTLOGGING コマンドが入力されましたが、必要な受信側オプションがサーバー・オプション・ファイルの中に指定されていません。

システムの処置: 指定された受信側にロギングが開始されません。

ユーザーの処置: 受信側オプションをサーバー・オプション・ファイルに入れて、サーバーを再始動してください。

---

**ANR1831I** **ACTLOG** 受信側に対してクライアント・イベントのイベント・ロギングが終了しました。

説明: 活動記録ログ受信側に対して END EVENTLOGGING コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーは活動記録ログのクライアント・イベントをもう記録していません。サーバー・イベントは活動記録ログに記録し続けられます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1842E** *receiverName* 受信側でエラーが起きました。

説明: 指定された受信側でエラーが起きました。

システムの処置: これ以降、サーバーは受信側へイベントを送信しません。

ユーザーの処置: BEGIN EVENTLOGGING コマンドを受信側に出し、その受信側へのイベントのログ記録の開始を再度試行してください。

---

**ANR1843I**    **Fasp** モニター・コレクターが完了し、終了処理中です。

説明: Fasp モニター機能がオフに設定されたか、システムがシャットダウンされているため、Fasp モニター処理コレクターが処理を終了しています。

システムの処置: なし。Fasp モニター・コレクターは終了します。

ユーザーの処置: SET MONITORFASP コマンドを使用して、Fasp 状況処理がオフにされました。

---

**ANR1844I**    *Eventlog command* コマンドが処理されました。

説明: 指定されたコマンドが処理されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 前のメッセージが失敗したコマンドの部分を示している場合には、その部分に対してのみコマンドを出し直してください。

---

**ANR1850E**    循環イベント・ロギングが検出されました。 イベント・サーバーは既に *Source trail* からのイベント *Event number* を処理しています。 ループを避けるため、イベント・サーバーによって既に記録されているイベントは再度送信されません。 循環ログ記録の原因となっている状態を訂正して、システム・リソースの浪費を避けてください。

説明: サーバーは、現在定義されているイベント・サーバーによって前に処理されたイベントを記録しようとしています。

システムの処置: このイベントはイベント・サーバーに送信されません。 それでも他のイベントは、送られますが、この状態がもう一度検出されると、このメッセージが定期的に出されます。

ユーザーの処置: サーバー間イベント・ロギング設定で間違っているものを判別し、問題を修正してください。

---

**ANR1851E**    サーバー間イベント・ロギングのソース証跡が *Maximum sourcetrail length* バイトという最大長を超えています。

説明: イベントをイベント・サーバーのログに記録しようとした時に、サーバーはソース証跡の長さが長すぎることを見つけました。

システムの処置: サーバーはイベント・サーバーへのイベントの送信を続けようとしませんが、ソース証跡は切り

捨てられ、次のような内容が表示される場合があります。:

	<b>name1&gt;...&gt;nameX&gt;nameY</b>
	ここで、
<b>name1</b>	イベントの発信元です。
...	ソース証跡がオフにされたままの中間サーバー名です。

ユーザーの処置: 一番考えられるのは、非常に長いサーバー名を使用しているか、サーバー間のホップの数が多過ぎるということです (あるいはその両方)。 短いサーバー名を使用するか、あるいはホップ数が減るように構成を変更してください。

---

**ANR1852E**    ヘッダーを *TEC server* の **TEC** に送信できません。 **rc return code**

説明: イベント・ヘッダーを Tivoli Enterprise Console に送信しようとしてネットワーク・エラーが起きました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ネットワークの接続を検査して、このエラーが続いて起こる場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1853E**    データを *TEC server* の **TEC** に送信できません。 **rc return code**

説明: イベント・データを Tivoli Enterprise Console に送信しようとしてネットワーク・エラーが起きました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ネットワークの接続を検査して、このエラーが続いて起こる場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1854E**    データを *TEC server* の **TEC** にフラッシュできません。 **rc return code**

説明: データを Tivoli Enterprise Console にフラッシュしようとしてネットワーク・エラーが起きました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ネットワークの接続を検査して、このエラーが続いて起こる場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

---

**ANR1855E** セッション *session number* でノード *node* のクライアントとサーバー間でプロトコルの妥当性検査に失敗しました。

説明: "VALIDATE PROTOCOL" オプションを "DATAONLY" または "ALL" のいずれかに設定したノードに、妥当性検査エラーが起きました。 トランザクションは打ち切れ、失敗を示す指示がクライアントに送信されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ネットワークの接続を検査して、このエラーが続いて起こる場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR1856W** *Command*: 処理に選択されたボリュームがありません。

説明: 指定されたパラメーターに基づいて AUDIT VOLUME コマンドによる処理に適格なボリュームがありません。

システムの処置: AUDIT VOLUME 処理は、いずれのボリュームも処理せずに終了します。

ユーザーの処置: コマンドに指定されたパラメーターを調べてください。パラメーターの指定にエラーがある場合には、パラメーターを訂正してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1857I** **AUDIT VOLUME** は、*count* 修復プロセスを開始します。

説明: AUDIT VOLUME コマンドは、次の 1 つ以上のパラメーターが指定されているので、一定範囲のボリュームを処理することになります。 FROMDATE、TODATE、または STGPOOL。 AUDIT VOLUME 処理は、適格とするボリュームごとに処理を開始して、FIX=YES が指定されたボリュームごとに AUDIT VOLUME を処理します。

システムの処置: 1 つ以上のボリュームが監査され、整合性のないデータは破棄されます。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: このボリュームを監査する場合には 'Y' を、このプロセスを停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR1858I** **AUDIT VOLUME** は、*count* 検査プロセスを開始します。

説明: AUDIT VOLUME コマンドは、次の 1 つ以上のパラメーターが指定されているので、一定範囲のボリ

ュームを処理することになります。

FROMDATE、TODATE、または STGPOOL。 AUDIT VOLUME 処理は、適格とするボリュームごとに処理を開始して、FIX=NO が指定されたボリュームごとに AUDIT VOLUME を処理します。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: このボリュームを監査する場合には 'Y' を、このプロセスを停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR1859W** セッション *session id* でノード *node* が **CRC** プロトコル妥当性検査情報を受け取りましたが、このノードはそれを受け取るように構成されていません。

説明: サーバーが、指定されたセッションおよびノードのプロトコル妥当性検査情報を受け取りました。 このノードの設定はプロトコル妥当性検査を実行するように構成されておらず、受け取られた CRC 情報は無視されます。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: サーバー管理者は、このノードがプロトコル妥当性検査を実行すべきかどうかを評価しなければなりません。 実行する場合は、UPDATE NODE コマンドを発行して、適切な設定の VALIDATEPROTOCOL オプションを指定し、プロトコル妥当性検査を使用可能にしてください。

これが仮想ボリューム操作のターゲット用の TYPE=SERVER ノードである場合で、プロトコル妥当性検査が必要でない場合は、ソース・サーバー上のサーバー定義を VALIDATEPROTOCOL=NO の設定で更新しなければなりません。 そうではなく、プロトコル妥当性検査が必要な場合は、VALIDATEPROTOCOL=ALL を指定した UPDATE NODE コマンドを使用して、ターゲット・サーバー上の SERVER タイプ・ノードを更新しなければなりません。

---

**ANR1860E** シリアル *serial* エレメント *element* ポート *port* およびターゲット *target lun lun* のドライブが、ライブラリー *libraryPath* と一致しません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR1861E** エレメント *element* ポート *port* ターゲット *target lun lun* のドライブが、ライブラリー *libraryPath* と一致しません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR1862W** *command*: このコマンドは、ID が *Unique ID* のサーバーに関するすべての複製情報を削除します。

説明: このサーバー上に保管されている、指定されたサーバーを参照しているすべての複製情報が削除されます。この後、指定されたサーバーに対する複製では、データが再送信される可能性があります。

システムの処置: システムは、REMOVE REPLSERVER コマンドを続行するかを確認します。

ユーザーの処置: REMOVE REPLSERVER コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR1863E** ライブラリー *libraryPath* およびシリアル *serial* は **Read Element Status** コマンドをサポートしません。これは非常に古いので、新規のモデルに置き換える必要があります。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR1864E** ライブラリー *libraryPath* は、**Read Element Status** コマンドをサポートせず、シリアル番号がありません。これは非常に古いので、新規のモデルに置き換える必要があります。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR1865I** *export command* : 再始動可能エクスポート操作の要約 *export identifier* :

説明: *export identifier* の再始動可能エクスポート操作で伝送されたオブジェクトの合計数の要約がこのメッセージの後に表示されます。

システムの処置: コマンドのエクスポート処理が終了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1866I** *Export/import command*: 処理が状況 *status* で中断されました。

説明: コマンド *command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが SUSPEND コマンドで中断されました。

システムの処置: コマンド *command* の処理が停止します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1867I** *Export/import command*: 処理が状況 *status* で完了しました。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするためのバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、状況 *status* で完了しました。この状況が INCOMPLETE の場合には、ファイルの読み取り中または書き込み中のエラーが原因で、いくつかのファイルがスキップされています。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。スキップされたファイル数の合計も表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1868I** *Export/import command: filespace number* 個のファイル・スペース、*archive number* 個のアーカイブ・ファイル、*backup number* 個のバックアップ・ファイル、および *spacemg number* 個のスペース管理ファイルをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、*filespace number* 個のクライアント・ファイル・スペース定義、*archive number* 個のアーカイブ・ファイル・コピー、*backup number* 個のバックアップ・ファイル・コピー、および *spacemg number* 個のスペース管理ファイルを、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはインポート・メディアからサーバー・データベースへコピーします。コマンド *export/import command* に Preview=Yes が指定されている場合には、実際にはデータは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポ

ート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1869W** *Export/import command: archive number* 個のアーカイブ・ファイル、*backup number* 個のバックアップ・ファイル、*spacemg number* 個のスペース管理ファイルがスキップされました。

説明: コマンド *export/import command* をサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスは、*archive number* 個のアーカイブ・ファイル・コピー、*backup number* 個のバックアップ・ファイル・コピー、および *spacemg number* 個のスペース管理ファイルを、サーバー・データベースからエクスポート・メディアへ、あるいはインポート・メディアからサーバー・データベースへスキップしました。 コマンド *export/import command* に *Preview=Yes* が指定されている場合には、実際にはデータは移動されません。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: エクスポートまたはインポートされなかったファイルの名前、および問題判別情報については、前のメッセージを調べてください。

---

**ANR1870I** *Export/import command: number* バイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、*number* バイトのデータをコピーしています。 コマンド *export/import command* に *Preview=Yes* が指定されている場合には、データは移動されません。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1871I** *Export/import command: number* キロバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、*number* キロバイトのデータをコピーしています。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1872I** *Export/import command: number* メガバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、*number* メガバイトのデータをコピーしています。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。 サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1873I** *Export/import command: number* ギガバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、*number* ギガバイトのデータをコピーしています。 この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要が取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート

ート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1874I** *Export/import command: number* テラバイトのデータをコピーしました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ、*number* テラバイトのデータをコピーしています。この数値をエクスポートのプレビュー処理時に使って、サーバーからのエクスポート情報を入れるのに必要を取り外し可能メディア・ボリュームの数を見積もることができます。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1875I** *Export/import command: number* 個のエラーを検出しました。

説明: コマンド *export/import command* にサービスするバックグラウンドのエクスポートまたはインポート・プロセスが、サーバー・データベースおよびデータ・ストレージからエクスポート・メディアへまたはエクスポート・メディアからサーバー・データベースおよびデータ・ストレージへ情報をコピーしている時に、*number* 個のエラーを検出しています。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーを検討してください。

QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、メッセージを検索してください。

---

**ANR1876W** *Export/import command: ノード name の data-transfer path option* 設定で予想しない値 *value* が検出されました。このノードにはデフォルト値の「ANY」が使用されています。

説明: エクスポートまたはインポート操作で、このノードに対して予想しないデータ転送パス値が検出されました。その結果、このノードおよび示されているデータ転送パス・オプションにはデフォルト値の「ANY」が使用されています。

システムの処置: コマンドのエクスポートまたはインポート処理が完了します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このノードで「ANY」のデータ転送パス設定が許容される場合は、何もしないでください。この設定を変更する必要がある場合は、UPDATE NODE コマンドを使用してください。

---

**ANR1877E** **NAS** バックアップ処理が終了しました - **NAS** ファイル・サーバー *NAS file server name* が正しくない引数を報告しました。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: NAS ファイル・サーバーにファイル・スペースが存在していることを確認してください。NAS 仮想ファイル・スペースをバックアップする場合は、仮想ファイル・スペースに指定されたパスが存在していることを確認してください。

終了した NDMP 操作の原因を特定する方法の詳細については、NAS ファイル・サーバーの資料を参照してください。NAS ファイル・サーバーの NDMP ログを検査し、エラーの原因を訂正して、操作を再始動してください。

---

**ANR1878E** データベース・マネージャー構成パラメーターを更新できません。 **DIAGSIZE** パラメーターの値が、データベース・マネージャーの診断データ・ディレクトリーで使用可能な空き領域の量より大きくなっています。

説明: **DIAGSIZE** データベース・マネージャー構成パラメーターの現在の値が、診断データ・ディレクトリーを含むドライブまたはファイル・システムの空き領域の量より大きくなっているため、エラーが発生しました。

システムの処置: 操作は失敗します。構成パラメーターの更新状況によっては、サーバーが停止する場合があります。

ユーザーの処置: 次のオプションのいずれかを実行してください。

- **DIAGSIZE** の値を小さくしてください。
- 診断データ・ディレクトリーの場所を、空き領域の大きいドライブまたはファイル・システムに変更してください。
- 診断データ・ディレクトリーを含むドライブまたはファイル・システムの空き領域の量を増やしてください。

**DIAGSIZE** 構成パラメーターの現在の設定を確認するには、次のデータベース・コマンドを発行します。

```
db2 get dbm cfg
```

次に「DIAGSIZE」を検索します。

DIAGSIZE 構成パラメーターの値を変更するには、次のコマンドを発行します。

```
db2 update dbm cfg using DIAGSIZE new_size
```

`new_size` は、DIAGSIZE 構成パラメーターの値 (メガバイト単位) です。この値は、2 以上でなければなりません。

詳しくは、製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で『DB2 診断ログ・ファイルを見つける』を参照してください。

---

**ANR1879E** *command:* 指定された ID パターンに複数の複製サーバー ID が一致しました。

説明: REMOVE REPLSERVER コマンドで、複製サーバー ID にワイルドカードが使用されました。その結果、複数のサーバー ID が一致しました。予定外に複製情報が消去されることを防止するために、複製サーバー ID は一度に 1 つしか削除できません。

システムの処置: コマンドは、サーバーによって終了されます。

ユーザーの処置: より具体的な複製サーバー ID 値を使用して REMOVE REPLSERVER コマンドを発行し、一致するサーバー ID が 1 つだけ選択されるようにしてください。

---

**ANR1880W** 表 `table name` でロックが競合しているため、サーバー・トランザクションは取り消されました。

説明: 再編成プロセスとサーバー・プロセスの間でロック競合が生じたため、参照された表のサーバー・オンライン再編成を完了できませんでした。再編成プロセスを完了できるように、サーバー・プロセスが取り消されました。場合によっては、サーバーはロック競合を解決するために複数のサーバー・プロセスを取り消す必要があります。したがって、このメッセージは、サーバー・プロセスが強制的に停止されるたびに出されて、複数回表示されることがあります。さらに、ロック競合が解決されたときに、その他のサーバー・アプリケーション・エラー・メッセージが表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、ロック競合が解決されるまで、新規の再編成は開始されません。

ユーザーの処置: サーバーの活動記録ログを確認して、

再開する必要がある重要なサーバー操作が取り消されたかどうかを判別してください。取り消されている場合は、サーバー操作を再開してください。

---

**ANR1881E** *Command or operation:* LDAPUSER のパスワードの有効期限が切れたために障害が発生しました。

説明: LDAPUSER として指定されたユーザー・アカウントのパスワード資格情報の有効期限が切れているため、更新が必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: LDAP ディレクトリー・サーバーの管理者は、LDAP ディレクトリー・サーバー内の LDAPUSER アカウントのパスワードを更新する必要があります。次に、LDAP 管理者がパスワードを更新した後、LDAPPASSWORD コマンドを実行して新規パスワードを突き合わせます。失敗したコマンドを再実行します。

---

**ANR1882E** *Command or operation:* administrator/node name or LDAPUSER の資格情報を使用して LDAP administrator or node 項目 admin or node name にアクセスしているときに、パスワードがリセットされたため、変更が必要です。

説明: この操作に使用された資格情報がリセットされたため、LDAP ディレクトリー・サーバーでパスワードを更新する必要があります。

システムの処置: この操作では、パスワード更新が必要です。

ユーザーの処置: 操作で LDAPUSER の資格情報が使用されていた場合、LDAP ディレクトリー・サーバーで LDAPUSER として指定されているユーザー・アカウントのパスワードを更新してください。操作でノードまたは管理者の資格情報が使用されていた場合は、パスワードの有効期限の状況が発行されて、パスワード更新が強制的に実行されます。

---

**ANR1883E** *Command or operation:* administrator/node name or LDAPUSER の資格情報を使用して LDAP administrator or node 項目 admin or node name にアクセスしているときに、アクセス障害が発生しました。

説明: コマンドは、IBM Spectrum Protect サーバーが LDAP ディレクトリー・サーバー内の項目にアクセスした後で失敗し、ロック・アカウント・エラーを受け取りました。

システムの処置: 操作は失敗します。



ユーザーの処置: 操作で LDAPUSER の資格情報が使用されていた場合、LDAP ディレクトリー・サーバーで LDAPUSER として指定されているユーザー・アカウントをアンロックしてください。操作でノードまたは管理者の資格情報が使用されていた場合、パスワードを指定して UPDATE NODE または UPDATE ADMIN コマンドを実行することによってノードまたは管理者をアンロックするか、または LDAP ディレクトリー・サーバーで直接的にノードまたは管理者のアカウントをアンロックします。

---

**ANR1884E** *Command or operation: LDAPUSER* の資格情報が使用されたときに **LDAP** ディレクトリー・サーバーで認証障害が発生しました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは認証を試行しましたが、アクセスは拒否されました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: LDAPUSER、LDAPPASSWORD、および LDAPURL が正しい値に設定されていることを確認してください。無効な設定があれば訂正して、コマンドまたは操作を再実行してください。

---

**ANR1885E** *Command or operation: administrator/node name or LDAPUSER* として **LDAP** administrator or node 項目 admin or node name にアクセスしたときに許可が拒否されました。

説明: コマンドは、IBM Spectrum Protect サーバーが LDAPUSER として LDAP ディレクトリー・サーバーに対する認証を行った後で失敗しました。サーバーが LDAP ディレクトリー・サーバーの項目の追加、変更、または削除を試行したときに、許可が拒否されました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: LDAPUSER で指定されたユーザーには、LDAPURL サーバー・オプションで指定された識別名 (DN) に対する完全なアクセス制御が必要です。LDAPUSER のアクセス制御権限を訂正するか、IBM Spectrum Protect サーバーの DN に対する完全なアクセス制御権限を持つ別の LDAPUSER を指定してください。

---

**ANR1886E** 項目 *entry name* が **LDAP** ディレクトリー・サーバーで見つかりませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーが LDAP ディレクトリー・サーバーで見つからない LDAP 項目に対する操作を試行したため、コマンドは失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーは LDAP ディレクトリー・サーバーに対する操作を試行しましたが、項目が見つからなかったため、操作は失敗しました。このノードまたは管理者の新規項目を挿入するには、UPDATE NODE または UPDATE ADMIN コマンドを発行して、パスワードを指定してください。

---

**ANR1887E** *Command or operation: LDAP* ディレクトリー・サーバーの処理中に障害が発生しました。

説明: LDAP ディレクトリー・サーバーによってエラーが返されたため、コマンドまたは操作は失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーは LDAP ディレクトリー・サーバーに対する操作を実行しましたが、操作は失敗しました。具体的なエラー詳細は、前のメッセージに示されています。LDAP 障害の一般的な原因は以下のとおりです。

- LDAP ディレクトリー・サーバーで通信エラーが発生しました
- LDAPURL が無効であるか、欠落しています (誤ったホスト名または基本 DN)
- LDAPUSER が無効であるか、欠落しています (値が誤っているか、ロックされています)
- LDAPPASSWORD が無効であるか、欠落しています (値が誤っているか、有効期限が切れています)

LDAP ディレクトリー・サーバー設定を更新するか、LDAP 管理者に連絡してこの問題を解決してください。

---

**ANR1888W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました  
- クライアントには、このサーバーとの **SSL** 接続が必要です。

説明: SSL 接続が確立されていませんでした。それで、サーバーはクライアント・セッションを開始しませんでした。クライアント・ノードまたは管理者に SSL 接続が必要であるためです。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: SSL を使用するようにクライアントを構成するか、SSL が必要とならないようにサーバー上でノードまたは管理者の定義を更新してください (SSLREQUIRED パラメーターを更新します)。ノードが SSLREQUIRED=SERVERONLY を使用して作成された場合、対応する管理者定義は SSLREQUIRED=YES で作成されます。ストレージ・エージェントとの非 SSL セッションを使用するには、RENAME ADMIN コマンド

を使用して、同一の名前で管理者を名前変更してください。

---

**ANR1889W** リストア操作が進行中であるため、ノード *node name (client platform)*、ファイル・スペース *file space id or name* のバックアップ中にセッション *session number* が終了しました。

説明: ファイル・バックアップ操作中に、1 つ以上のファイルがリストア操作によってロックされているため、サーバーはノード・セッションを終了します。

システムの処置: バックアップ・セッションはサーバーによって終了されます。

ユーザーの処置: FORMAT=DETAILED を指定して QUERY RESTORE コマンドを発行し、リストア操作が活動状態であるか再始動可能状態であるかを判別します。再始動可能リストア操作は、RESTOREINTERVAL サーバー・オプションに指定された時間に達するまで、ファイルをロックした状態で保持します。ロックされたファイルを解放するために、この値を小さくすることができます。QUERY OPTION コマンドを発行して、RESTOREINTERVAL オプションの現行設定値を表示してください。

クライアント・バックアップ操作が原因でこのメッセージを受け取った場合は、残りのすべてのファイルを移動するために、リストア操作が完了した後で操作を再始動してください。再始動可能なリストア・セッションを CANCEL RESTORE コマンドで取り消すこともできます。

---

**ANR1890W** ノード *client node name* のセッション *session number* のバックアップ操作は、**root** 限定の制限のために失敗しました。

説明: 非 **root** ユーザーが操作を試行したために、バックアップ操作は失敗しました。示されているノードに対する非 **root** ユーザーのバックアップ操作を許可しない制限が設定されています。

システムの処置: バックアップ操作は終了します。クライアントによってメッセージが出されます。レベル 6.3 より前のクライアントの場合は、メッセージ ANS0350E が表示されることがあります。

ユーザーの処置: **root** ユーザーとしてバックアップ操作を再試行してください。

---

**ANR1891E** *Command or operation:* **Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)** モードが「統合」に設定されている場合、この操作を完了することはできません。

説明: 統合モードでは、ユーザーの削除またはパスワードの変更を除き、LDAP ディレクトリを変更することができません。ユーザーの削除またはパスワードの変更を行うには、SET LDAPUSER コマンドで指定されたユーザー ID に十分な権限が必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サーバー・コマンドの代わりに LDAP ユーティリティを使用して、操作を実行してください。

---

**ANR1892W** *process name* のプロセス *process ID* は、完了状態 **SUCCESS** で完了しましたが、警告メッセージまたはもっと重大なメッセージが出されました。

説明: プロセスは、完了状態 **SUCCESS** で完了しましたが、このプロセスによって警告メッセージまたはもっと重大なメッセージが出されました。このプロセスは、一部の処理を完了しなかった可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このプロセスで出された活動記録ログおよびイベント・ログ内のメッセージを調べてください。これらのメッセージが出される原因となった状態が、操作に影響を与えたかどうかを判別してください。

---

**ANR1893E** *process name* のプロセス *process ID* は、完了状態 **FAILURE** で完了しました。

説明: このプロセスは **FAILURE** の状態で完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このプロセスで出された活動記録ログおよびイベント・ログ内のメッセージを調べてください。これらのメッセージが出される原因となった状態を判別し、それらの問題を解決して、操作を再試行してください。

---

**ANR1894E** *command:* ロック競合のために、ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* の処理が失敗しました。

説明: サーバーは、指定されたファイル・スペースの処理に必要なリソースを取得できませんでした。

システムの処置: コマンドは続行しますが、指定されたファイル・スペースの処理は失敗します。

ユーザーの処置: 必要なリソースをすべて取得する可能性を高めるには、示されたコマンドをサーバー・アクティビティが比較的少ないときに発行してください。

---

**ANR1895W** *Command or operation:* ノード *node name* のパスワードは、現在、大/小文字の区別のあるパスワードを使用しています。

説明: ノードは、LDAP ディレクトリー・サーバーで認証しています。LDAP 認証のパスワード・ポリシーは、LDAP ディレクトリー・サーバーによって指示され、通常、パスワードでの大/小文字の区別を必要とします。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1896E** ボリューム *volume name* はまだボリューム・ヒストリーで参照されているため、このボリュームを割り振ることができません。

説明: アクティブ・ボリューム・ヒストリー・レコードでボリュームが使用中として示されているため、このボリュームを割り振ることはできません。

システムの処置: アクティブ・ボリューム・ヒストリー・レコードでボリュームが使用中として示されています。

ユーザーの処置: ボリュームは、サーバーによって管理されているか、期限切れのレコードが原因でボリューム・ヒストリー・テーブルで誤って参照されている可能性があります。レコードを調べてボリューム・ヒストリー状況を確認するには、QUERY VOLHISTORY コマンドを実行してください。無効なボリューム・ヒストリー・レコードがある場合は、DELETE VOLHISTORY コマンドを使用してレコードを削除します。DELETE VOLHISTORY コマンドが失敗する場合は、IBM ソフトウェア・サポート に連絡してレコードを削除してください。

---

**ANR1897I** LDAP パスワードが削除されました。

説明: サーバーが LDAP サーバーに対する認証で使用するパスワードが SET LDAPPASSWORD コマンドによって削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1898I** LDAP ユーザー名が削除されました。

説明: サーバーが LDAP サーバーに対する認証で使用する LDAP ユーザーの識別名 (DN) が SET LDAPUSER コマンドによって削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1899W** *Command or operation:* LDAP ディレクトリー・サーバーを処理できません。

説明: コマンドまたは操作は終了しましたが、LDAP ディレクトリー・サーバー構成が不完全であるため、IBM Spectrum Protect サーバーは LDAP ディレクトリー・サーバーで処理しませんでした。LDAP サーバー上でノードまたは管理者の作成または更新が行われていた場合は、サーバーが LDAP ディレクトリー・サーバー情報を使用できるようになるまで、そのノードまたは管理者を使用してログオンすることはできません。

システムの処置: 操作は終了しましたが、情報は LDAP ディレクトリー・サーバーに追加されませんでした。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーで LDAP ディレクトリー・サーバーに対する操作が実行されました。操作は正常に実行されましたが、LDAP ディレクトリー・サーバー構成が不完全であるため、情報は LDAP ディレクトリー・サーバーに追加されませんでした。不完全な構成の一般的なシナリオは以下のとおりです。

- LDAPURL 値がサーバー・オプション・ファイルで指定されていませんでした
- LDAPUSER が無効です (値が誤っているか、ロックされています)
- LDAPPASSWORD が無効です (値が誤っているか、有効期限が切れています)

LDAP ディレクトリー・サーバー情報を更新するか、LDAP 管理者に連絡してこの問題を解決してください。LDAP 構成を完了した後、LDAP 認証を使用してノードまたは管理者を追加する場合は、IBM Spectrum Protect サーバーにログオンするときに新規パスワードを指定する必要があります。

---

**ANR1900E** サーバー *server source* とライブラリー *parm* の間のパスが許可されません。

説明: ライブラリーの定義中は、現行サーバーからライブラリーへのパスを指定する必要があります。別のサーバーからのパスは使用できません。

## ANR1901I • ANR1908W

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 別のソースまたは宛先名でコマンドを再発行するか、あるいは新しいパスを定義してください。

---

**ANR1901I** 指定されたセッションは、*process name* プロセス *process id* に関連付けられているため、取り消すことができません。

説明: セッションが実行中のプロセスに関連付けられているため、サーバーはこのセッションを取り消すことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: セッションを取り消すための唯一の方法は、関連付けられているプロセスを取り消すことです。CANCEL PROCESS コマンドを使用して、プロセスを取り消します。

---

**ANR1902W** サーバー *server name* のノード *node name* は複製に対応していません。これは複製されません。

説明: 指定されたターゲット・サーバー上のノードは複製に対応していないため、サーバーは指定されたノードを複製できません。

システムの処置: ノードは、指定されたサーバーに複製されません。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバー上のノードを複製に対応させて、複製コマンドを再実行してください。

---

**ANR1903E** エクスポート *export name* が定義されていません。

説明: NFS クライアントは指定された名前をマウント・ポイントとしてマウントしようとしていました。指定された名前は、現在サーバーによってエクスポートされていません。

システムの処置: サーバーは指定されたディレクトリーのエクスポートを提供しません。

ユーザーの処置: 指定されたノードで NFS ADDEXPORT コマンドが発行されたか確認してください。

---

**ANR1904E** *option* の値が欠落しているか無効です。これには有効なディレクトリーが定義されていなければなりません。

説明: サーバーは、サーバー・オプションに欠落しているか無効な値を検出しました。このオプションには有

効なディレクトリーが定義されていなければなりません。

システムの処置: サーバーの初期化が停止されます。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR1905E** *parm* のパス *dir name* が存在しないか、空ではありません。

説明: 指定されたディレクトリーは存在しないか、空ではありません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: 有効なパス名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1906E** *Command:* データベース・スペースを拡張できませんでした。

説明: 失敗は、データベース・スペースの拡張時に発生しました。これは「EXTEND DBSPACE」コマンドの処理中に発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: エラー・メッセージを検討して障害の原因を調べ、問題を解決したら「EXTEND DBSPACE」を再試行してください。障害の原因が判明しない場合、または問題を解決できない場合は、IBM サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR1907E** サーバーはディレクトリー *dir name* の絶対パスを解決できません。そのパスが存在していない可能性があります。

説明: 指定されたディレクトリーは存在しないか、アクセス可能ではありません。

システムの処置: サーバー操作は停止します。

ユーザーの処置: 有効なパス名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1908W** *parameter* パラメーターの値が無効です - *parameter valueMB*。このパラメーターにデフォルト値 *default valueMB* が使用されています。

説明: (*parameter*) パラメーターに指定された値 (*parameter value*) は有効ではありません。サーバーはこのパラメーターにデフォルト値を使用します。

システムの処置: コマンドの処理はデフォルト値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: 正しい値が使用されていることを確認

してください。必要な場合には、値を更新してください。

---

**ANR1909W** *option name* オプションの値が無効です - *option valuetype*。このオプションにデフォルト値 *default valuetype* が使用されています。

説明: (*option*) オプションに指定された値 (*option value*) が有効ではありません。サーバーはこのパラメーターにデフォルト値を使用します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しい値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、値を更新してください。

---

**ANR1910E** ディレクトリー *directory name* は、コマンドの他のパスに既に定義されています。

説明: コマンド引数リストの処理中に、重複パス名が検出されました。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 引数リスト内にないディレクトリーを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR1911W** *option name* オプションの値が無効です - *option valuetype*。このオプションにデフォルト値 *default valuetype* が使用されています。

説明: (*option*) オプションに指定された値 (*option value*) が有効ではありません。サーバーはこのパラメーターにデフォルト値を使用します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しい値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、値を更新してください。

---

**ANR1912I** サーバーのシャットダウンにより活動記録ログを停止中です。

システムの処置: サーバーのシャットダウンにより活動記録ログを停止中です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1913I** *command* は *number of processes* 回の **IDENTIFY** プロセスを正常に開始しました。

システムの処置: サーバーは、示された回数の **IDENTIFY** プロセスを正常に開始しました。

ユーザーの処置: **QUERY PROCESS** コマンドまたは **QUERY ACTLOG** コマンドを使用して、**IDENTIFY** プロセスの状況を確認してください。

---

**ANR1914I** *command* は *number of processes* 回の **IDENTIFY** プロセスを正常に終了しました。

システムの処置: サーバーは、示された回数の **IDENTIFY** プロセスを正常に終了しました。

ユーザーの処置: **QUERY ACTLOG** コマンドを使用して、**IDENTIFY** プロセスの状況を確認してください。

---

**ANR1915I** 自動コピー・プロセス *process ID* がターゲット・ストレージ・プール *storage pool name* へのデータ転送を開始しました。

説明: 指定された活動データ・ストレージ・プールまたはコピー・ストレージ・プールに対する自動コピー・プロセスが開始しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1916I** ストレージ・プール *storage pool name* の自動コピー・プロセス *process ID* が正常に終了しました。転送されたファイル数: *number of files*、転送されたバイト数: *number of bytes*。

説明: 指定された活動データ・ストレージ・プールまたはコピー・ストレージ・プールに対する自動コピー・プロセスが正常に終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1917E** ストレージ・プール *storage pool name* の自動コピー・プロセス *process ID* が失敗しました。バックアップされたファイル数: *number of files*、バックアップされたバイト数: *number of bytes*。結果コード: *return code*。

説明: 指定された活動データ・ストレージ・プールまたはコピー・ストレージ・プールに対する自動コピー・プロセスが失敗して終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 完了する前に発行されたメッセージを活動記録ログで確認してください。このメッセージに障害に関する詳細が示されている場合があります。

---

**ANR1918I** ストレージ・プール *Storage pool name* の自動コピー・プロセス *process ID* がサーバー・エラーにより停止しました。

説明: 指定された活動データ・ストレージ・プールまたはコピー・ストレージ・プールに対する自動コピー・プロセスが使用不可になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 処理が停止する前に発行されたメッセージを活動記録ログで確認してください。このメッセージに障害に関する詳細が示されている場合があります。

---

**ANR1919W** ストレージ・プール *Storage pool name* の自動コピー・プロセス *process ID* が使用不可でした。階層内で少なくとも 1 つのストレージ・プールで重複排除が使用可能になっています。

説明: 少なくとも 1 つのターゲット・ストレージ・プールで重複排除が使用可能であるため、すべての自動コピー・プロセスが使用不可になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ストレージ・プール階層内のすべてのストレージ・プールで重複排除を使用不可にするか、自動コピー・ストレージ・プール階層から重複排除されたストレージ・プールを除去してください。

---

**ANR1920W** HBA アダプター数の照会は現行値 *timeout value* でタイムアウトになりました。

説明: HBA アダプター数を取得する HBAAPI 関数がタイムアウトで失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: システム上のすべての HBA アダプターを検査し、正しく構成されていることを確認してください。SANDISCOVERYTIMEOUT 値を増やして再試行します。SANDISCOVERYTIMEOUT オプションが設定されていない場合は、このオプションをより大きい値で設定してください。

---

**ANR1921W** HBA アダプター名の照会は現行値 *timeout value* でタイムアウトになりました。

説明: FC アダプターから名前を取得する HBAAPI 関数がタイムアウトで失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: システム上のすべての HBA アダプターを検査し、正しく構成されていることを確認してく

ださい。機能していない FC アダプターがある場合は、このアダプターをシステムから除去し、HBA ドライバーを再構成してください。FC ポートに装置がない場合は、SANDISCOVERYTIMEOUT 値を増やして再試行します。SANDISCOVERYTIMEOUT オプションが設定されていない場合は、このオプションをより大きい値で設定してください。

---

**ANR1922W** HBA アダプターを開く要求は現行値 *timeout value* でタイムアウトになりました。

説明: FC アダプターを開く HBAAPI 関数がタイムアウトで失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: システム上のすべての HBA アダプターを検査し、正しく構成されていることを確認してください。機能していない FC アダプターがある場合は、このアダプターをシステムから除去し、HBA ドライバーを再構成してください。FC ポートに装置がない場合は、SANDISCOVERYTIMEOUT 値を増やして再試行します。SANDISCOVERYTIMEOUT オプションが設定されていない場合は、このオプションをより大きい値で設定してください。

---

**ANR1923W** ファイバー・チャネル・アダプター属性の照会が、*timeout value* 秒後にタイムアウトになりました。

説明: HBAAPI ライブラリーに対するファイバー・チャネル (FC) アダプターの属性の取得要求は、割り当てられた時間内に応答がありませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: システム上のすべてのファイバー・チャネル・アダプターが正しく構成されていることを確認してください。機能していないアダプターがある場合は、そのアダプターをシステムから取り外します。アダプター・ポート上に装置がない場合は、SANDISCOVERYTIMEOUT 値を増やして、オペレーティング・システムが応答するのに十分な時間を確保してください。SANDISCOVERYTIMEOUT オプションが設定されていない場合は、デフォルト値より大きい値に設定してください。

---

**ANR1924W** ファイバー・チャネル (FC) ポート属性の照会が、*timeout value* 秒後にタイムアウトになりました。

説明: HBAAPI ライブラリーに対するファイバー・チャネル (FC) アダプターのポート属性の取得要求は、割り当てられた時間内に応答がありませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: システム上のすべてのファイバー・チャンネル・アダプターが正しく構成されていることを確認してください。機能していないアダプターがある場合は、そのアダプターをシステムから取り外します。特定のアダプターに接続された装置がない場合は、**SANDISCOVERYTIMEOUT** 値を増やして、オペレーティング・システムが応答するのに十分な時間を確保してください。 **SANDISCOVERYTIMEOUT** オプションが設定されていない場合は、デフォルト値より大きい値に設定してください。

---

**ANR1925W** ファイバー・チャンネル (FC) ターゲット・マッピングの照会が、*timeout value* 秒後にタイムアウトになりました。

説明: HBAAPI ライブラリーに対するファイバー・チャンネル (FC) アダプターのターゲット・マッピングの取得要求は、割り当てられた時間内に応答がありませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 指定された時間では、装置が多すぎて検出できない可能性があります。

**SANDISCOVERYTIMEOUT** オプションが設定されている場合は、値を増やしてください。

**SANDISCOVERYTIMEOUT** オプションが設定されていない場合は、このオプションをデフォルト値より大きい値に設定してください。

---

**ANR1926W** SCSI の照会が、*timeout value* 秒後にタイムアウトになりました。

説明: HBAAPI ライブラリーに対する SCSI 装置の照会要求は、割り当てられた時間内に応答がありませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ファイバー・チャンネル (FC) アダプターに接続されているすべての装置が作動可能であることを確認してください。機能していない装置を SAN から除去し、システム上の装置を再構成してください。 FC ポートに装置がない場合は、**SANDISCOVERYTIMEOUT** 値を増やして再試行します。 **SANDISCOVERYTIMEOUT** オプションが設定されていない場合は、デフォルト値より大きい値に設定してください。

---

**ANR1927W** ストレージ・プール *Storage pool name* の自動コピー・プロセス *process ID* が停止しました。 データ・フォーマットまたは装置タイプが、**1** 次プールのデータ・フォーマットまたは装置タイプと互換性がありませんでした。

説明: 指定された活動データ・ストレージ・プールまたはコピー・ストレージ・プールに対する自動コピー・プロセスが使用不可能でした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: **QUERY STGPPOOL** コマンドを使用して、ストレージ・プールのデータ・フォーマットを確認してください。 **QUERY DEVCLASS** コマンドを使用して、ストレージ・プールに関連付けられている装置クラスの装置タイプを確認してください。

---

**ANR1928W** SAN ディスカバリー・プロセスのファイル記述子表が満杯です。

説明: SAN ディスカバリー・プロセスによって変更および更新されたパスが多すぎる可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のいずれかの方法を使用します。

- **SANREFRESHTIME** オプションを使用して、キャッシュに入れられた SAN ディスカバリー情報が最新表示されるまでに経過する時間の長さを増やします。例えば、**setopt sanrefreshtime 600** です。
- **ulimit** で **nofiles** (記述子) を増やし、**IBM Spectrum Protect** サーバーを再始動します。

---

**ANR1929E** ターゲット複製サーバー *target server* へのノード *node name* の複製に失敗しました。ソース・ノードの複製モードは **SYNCSEND** ですが、このノードはターゲット複製サーバーに定義されていません。

説明: 同期送信モードのノードを複製するには、ターゲット・ノードがターゲット複製サーバーに存在していて、同期送信モードでなければなりません。

システムの処置: ノードのデータの複製は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーのノードに対して **REMOVE REPLNODE** コマンドを発行し、次に **UPDATE NODE** コマンドを発行して **ENABLED** または **DISABLED** を指定してください。ソース複製サーバーのノードの複製モードは、**UPDATE NODE** コマンドの発行後、自動的に **SEND** に設定されます。この

コマンドの発行後、複製操作をやり直してください。

---

**ANR1930E** *command:* ノード *node name* に適格なファイル・スペースがありません。

説明: 指定されたノードには、コマンドによって処理される適用可能なファイル・スペースがありません。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ノードに属するファイル・スペースのコマンド設定を確認して、コマンドを再試行してください。

---

**ANR1931E** *command:* 指定されたノードおよびファイル・スペースで、複製に適格なデータは検出されませんでした。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: 指定されたノードにデータおよびファイル・スペースがあることを確認してください。複製したいファイル・スペースにあるデータ・タイプに対して複製が使用可能になっていることを確認してください。ファイル・スペースの複製状況を判別するには、QUERY FILESPACE コマンドを使用します。

---

**ANR1932I** *command:* ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* の **NAS** バックアップ・イメージが複製でスキップされました。

説明: 複製プロセスは、NAS バックアップ・イメージが複製に不適格であることを検出しました。これは、このイメージ、または、その従属ファイルの 1 つが非ネイティブ・ストレージ・プールに保管されているためです。

システムの処置: 複製処理が続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1933W** ターゲット・サーバー *target server* 上で行われたリストア操作が原因で、ノード *node name* 上のファイル・スペース *filespace name* に対するバックアップ・データの複製がスキップされました。

説明: 複製処理時に、ターゲット複製サーバーのファイル・スペース上でリストア操作が処理中になっています。処理中のリストアがアクティブである間は、ファイルをファイル・スペースに保管することはできません。

システムの処置: ファイルはターゲット複製サーバー上で複製されません。

ユーザーの処置: QUERY RESTORE コマンドを使用し

て、FORMAT=DETAILED パラメーターを指定し、ターゲット複製サーバー上でリストア操作が再始動可能かどうかを判別します。再始動可能なリストア操作は、ファイルをロックします。これらのファイルは、RESTOREINTERVAL サーバー・オプションの値に達するまで移動できません。QUERY OPTION コマンドを使用して RESTOREINTERVAL 値を表示します。RESTOREINTERVAL 値を小さくすれば、再始動可能なリストア操作が複製処理中に削除される時期を早めて、ファイル・スペースをアンロックできます。リストア操作が完了した後、REPLICATE NODE コマンドを再発行して、残りのファイルをすべて複製します。

---

**ANR1934W** **REPLICATE NODE:** ノード *node name* は使用不可です。

説明: 要求されたノードは、複製では使用不可であり、スキップされました。

システムの処置: 複製は続行しますが、このノードはスキップされます。

ユーザーの処置: UPDATE NODE コマンドを使用してノードを複製に対応させ、REPLICATE NODE コマンドを出し直してください。

---

**ANR1935W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* は、サーバー初期化が *timeout value* 分経過しても完了しなかったため拒否されました。

説明: サーバー初期化が指定された時間内に完了しなかったため、指定されたセッションは拒否されました。

システムの処置: セッションは打ち切れ、サーバー初期化は続行されます。

ユーザーの処置: サーバー初期化が完了するまで待つてから、セッションを再試行してください。このメッセージが定期的に出される場合、サーバー・オプション・ファイルの SESSIONSERVERINITTIMEOUT オプションの値を増やすことを検討してください。

---

**ANR1936E** ノード *node name* 上のファイル・スペース *filespace name (fsId filespace id)* の *data type* データの複製は、理由 *reason* で失敗しました。

説明: メッセージ・テキストに示されている理由で、サーバーは、指定されたファイル・スペースを複製できませんでした。

システムの処置: コマンドは続行されますが、ファイル・スペースの複製は失敗します。

ユーザーの処置: 失敗の理由を確認して、可能な場合は



問題を修正してください。次に、REPLICATE NODE コマンドを再実行してください。

---

**ANR1937I** 複製ノード *nodename (platform)* のフェイルオーバー・セッション *session num* で、保管操作が有効にされました。

説明: 指定された複製ノードはフェイルオーバー・モードになっており、現在、保管操作に適しています。

システムの処置: このセッションでのクライアントによる保管操作要求は、続行可能です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1938W** ソース・プール *storage pool name* に対して、次のストレージ・プールが定義されていません。

説明: マイグレーションを行っているストレージ・プールには、データのマイグレーション先となる次のストレージ・プールがありません。

システムの処置: ターゲット・ストレージ・プールがないために、マイグレーションが失敗しました。

ユーザーの処置: さらにマイグレーション操作を実行する前に、マイグレーションを行っているストレージ・プールに次のストレージ・プールがあることを確認してください。

---

**ANR1939W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* には、このノードに対するフェイルオーバー・サーバー情報が現在存在しません。

説明: ノードに対してフェイルオーバー・サーバーが指定されていません。クライアントは、クライアント・オプション・ファイルに保管されているフェイルオーバー構成をすべて削除します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: フェイルオーバーが確実に行われるようにするには、このノードを 2 次サーバーに複製します。

---

**ANR1940E** *Source file(line number):* 固有 ID の生成が *Return code* で失敗しました。

説明: 固有 ID の作成時に内部エラーが発生しました。このエラー・メッセージは、エラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 失敗の理由を確認して、可能な場合は問題を修正してください。

---

**ANR1941I** オプション・セット *option set name* をソース・サーバー *source server name* から複製しています。

説明: 複製されたノードによって参照される新規オプション・セットは、ソース複製サーバーの定義から複製処理によって作成されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1942W** オプション・セット *option set name* は既に存在しています。ソース・サーバー *source server name* からの複製をスキップしています。

説明: 複製ノードが参照する新規オプション・セットは複製されません。これは、同じ名前のオプション・セットが既にこのサーバー上に存在しているためです。このオプション・セットは、ソース・サーバーのオプション・セットのレプリカではありません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 必要なオプション・セットを複製するには、そのオプション・セットをコピーして、コピーに異なる名前を指定し、その新規オプション・セットを参照するように複製ノードを更新します。

---

**ANR1943I** 複製されたオプション・セット *option set name* は、ソース・サーバー *source server name* のオプション・セットを使用して更新されています。

説明: このサーバーの既存の複製されたオプション・セットは、ソース・サーバーの同じ名前のオプション・セットを使用して更新されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR1944I** ノード *referencing node* で必要な *option count* 個のオプションが含まれるオプション・セット *option set name* がサーバー *target server* に複製されています。

説明: このサーバー上のオプション・セットは、複製中のノードによって参照されているため、ターゲット・サーバーに複製されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

**ANR1945I** オプション・セット *option set name* はサーバー *target server* に正常に複製されました。

説明: このサーバーのオプション・セットは、ターゲット・サーバーに正常に複製されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

**ANR1946W** オプション・セット *option set name* はターゲット・サーバー *target server* に既に存在しているため、複製されません。

説明: このサーバーのオプション・セットは、ターゲット・サーバーと同じ名前のオプション・セットが既に存在しているため、ターゲット・サーバーに複製することができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 複製されているノードは、ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方に存在するオプション・セットを参照しています。ターゲット・サーバー上で使用するオプション・セットを決定してください。使用するオプション・セットを決定したら、もう一方のサーバー上の定義の名前を変更するために、その定義をコピーして新規オプション・セット名を付け、元のオプション・セットを削除します。

**ANR1947E** オプション・セット *option set name* のターゲット・サーバー *target server* への複製が失敗しました。エラーがないかどうか、ターゲット・サーバー上の活動記録ログを参照してください。

説明: 指定されたオプション・セットの複製中に、ターゲット・サーバーでエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: エラーがないかどうか、ターゲット・サーバーの活動記録ログを調べてください。

**ANR1948W** *volume name* のボリューム・マウント要求は拒否されました - サーバー操作はボリュームを待機できません。

説明: ある操作でボリュームを獲得し、2 番目の操作がその同じボリュームを待機している場合、最初の操作はその他のボリュームを獲得するために待機しません。最初の操作が別のボリュームの待機を許可されている場合は、デッドロックが発生する可能性があります。

システムの処置: サーバー操作が続行され、スクラッチ・テープをマウントする試みなど、ボリューム獲得が

再試行される可能性があります、サーバー操作はボリュームを獲得するために待機しません。

ユーザーの処置: サーバー操作が成功した場合、アクションは不要です。ただし、操作が失敗した場合は、ストレージ・プールに追加のスクラッチ・テープを提供する必要があります。

**ANR1949W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - ノードにはユニコード・ファイル・スペースが存在しますが、クライアントがユニコードを使用しません。

説明: クライアントのプラットフォームがユニコードを使用していないにも関わらず、ノードには既にユニコード・ファイル・スペースが含まれているので、サーバーはこのクライアント・セッションを受け入れることはできません。サーバーはクライアントのデータがユニコードかどうかを記録して、ノードがこの属性を変更することを許可しません。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、ノード・セッションは拒否されます。

ユーザーの処置: ユニコード・データを使用するプラットフォームのクライアントからサーバーへログオンします。例えば、このノードの既存のファイル・スペースを作成するために使用した元のプラットフォームです。あるいは、たクライアント・ノードを、現在セッションが試みられているプラットフォームに変更する必要がある場合には、ユニコード・データが含まれる既存のファイル・スペースを削除して、ノード接続を再試行します。

**ANR1950W** 装置クラス *device class* の装置タイプ *device type* は、**z/OS** から **AIX** へ、または **z/OS** から **Linux on System z** へのマイグレーション時はサポートされません。この装置クラスはスキップされます。

説明: **z/OS** から **AIX** へ、または **z/OS** から **Linux on System z** へのマイグレーション時に、ターゲット・プラットフォームでサポートされていない装置タイプが指定された装置クラスが検出されました。

システムの処置: 装置クラスは、ターゲット・データベースに追加されません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR1951W** 装置クラス *device class* は、装置タイプ *device type* でサポートされていない記録フォーマット *format (format code)* を使用します。代わりに、**FORMAT=DRIVE** が使用されます。

説明: z/OS から AIX へ、または z/OS から Linux on System z へのマイグレーション時に、ターゲット・プラットフォームの装置タイプによってサポートされていない記録フォーマットを使用する装置クラスが検出されました。

システムの処置: 記録フォーマットは FORMAT=DRIVE に置き換えられます。

ユーザーの処置: FORMAT=DRIVE がご使用のメディア・タイプをサポートしているかどうかを確認してください。サポートされていない場合は、サポートされる記録フォーマットを指定して装置クラスを更新します。

---

**ANR1952I** ライブラリー *library name* が装置クラス *device class* の定義に追加されました。

説明: z/OS から AIX へ、または z/OS から Linux on System z へのマイグレーション時に、z/OS メディア・サーバーを介してメディアへのアクセスに使用するライブラリーを組み込むために装置クラス定義が更新されました。

システムの処置: 装置クラスは、新しいライブラリーを使用するように変更されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR1953E** *command: target platform* を、*source platform* からのデータベース・アップグレードのターゲットにすることはできません。

説明: クロスプラットフォーム・データベース・アップグレードは、示されているソース・プラットフォームとターゲット・プラットフォームの間でサポートされていません。

システムの処置: INSERTDB コマンドは停止します。

ユーザーの処置: サポートされるプラットフォームで INSERTDB コマンドを再実行してください。

---

**ANR1954W** ライブラリー定義 *library* は、下位レベルのストレージ・エージェント *stagent* に送信されませんでした。

説明: ストレージ・エージェントがサポートされていないライブラリー・タイプの定義を要求し、サーバーは定義を送信しませんでした。

システムの処置: ストレージ・エージェントはライブラリー定義を処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・エージェントを、ライブラリー・タイプをサポートするレベルにアップグレードしてください。

---

**ANR1955E** システムにインストールされている DB2 のレベル (*current db2 level*) が、必要なレベル (*required db2 level*) より低いレベルです。

説明: システム上の DB2 レベルが、このサーバーの要件を満たしていません。サーバー・パッケージには、サーバーと一緒にインストールされる DB2 必須レベルが含まれています。DB2 レベルが正しくないと、サーバーのアップグレード・プロセスで DB2 がアップグレードできない可能性があります。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

- 1. 「db2level」を実行して、システムにインストールされている DB2 のレベルを確認します。
- 2. インストール・ログ・ファイルを調査して、DB2 のアップグレード失敗の原因となった問題を特定します。
- 3. 問題を修正してサーバーをもう一度インストールします。
- IBM Spectrum Protect インストール・パッケージおよびフィックスパックと一緒にインストールされる DB2 ソフトウェアは変更しないでください。DB2 ソフトウェアの別のバージョン、リリース、またはフィックスパックのインストールやアップグレードは行わないでください。問題を解決できない場合には、IBM ソフトウェア・サポート にお問い合わせください。

---

**ANR1956W** 管理者 *administrator name* のパスワードの有効期限が切れています。

説明: 管理者は、リモート・サーバーへのセッションを開こうとしています。ローカル・サーバー上のパスワードの有効期限が切れています。

システムの処置: 操作を続行します。リモート・セッションは拒否される場合があります。

ユーザーの処置: できるだけ早い機会にパスワードを更新してください。

---

**ANR1957W** *Command or operation:* 管理者 *administrator name* のパスワードは、現在、大/小文字の区別のあるパスワードを使用しています。

説明: 管理者は、LDAP ディレクトリー・サーバーで認証しています。LDAP 認証のパスワード・ポリシーは、LDAP ディレクトリー・サーバーによって指示さ

れ、通常、パスワードでの大/小文字の区別を必要とします。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1958I** *Command:* 管理者 *administrator ID* は既に登録され、ロック済みです。

説明: インポート処理は、サーバーに登録されてロック済みの管理者 *ID* をインポートしようとしています。

システムの処置: 処理は *ID* をインポートせずに続行されます。

ユーザーの処置: 管理 *ID ADMIN\_CENTER* をアンロックするか、管理者をログオフさせます。操作を再試行してください。

---

**ANR1959I** 状況モニターは *time* 時点での現行データを収集しています。

説明: 状況モニター処理が、示された時刻におけるサーバーの現行データのセットを収集しています。

システムの処置: この処理はモニター対象の状況データ・エレメントを収集します。

ユーザーの処置: 状況モニター処理を使用可能にするには、*SET MONITORSTATUS* コマンドを使用します。データを収集する間隔は、*SET STATUSREFRESHINTERVAL* によって制御されます。状況データの収集頻度が高すぎる場合は、収集間隔を増やします。管理グラフィカル・ユーザー・インターフェースはこのデータに依存するため、このインターフェースを *IBM Spectrum Protect* の管理に使用する場合は、状況モニター処理をオフにしないでください。

---

**ANR1960I** 状況モニターは *time* にデータの収集を終了し、*refreshinterval* 分にわたって休止します。

説明: 状況モニター処理はデータ収集サイクルを終了し、指示された時間 (分) 休止します。その後に再開して処理を再試行します。

システムの処置: 状況モニターのデータ収集プロセスはアイドル状態です。

ユーザーの処置: 状況モニター処理を使用可能にするには、*SET MONITORSTATUS* コマンドを使用します。データを収集する間隔は、*SET STATUSREFRESHINTERVAL* によって制御されます。状況データの収集頻度が高すぎる場合は、収集間隔を増やします。管理グラフィカル・ユーザー・インターフェースはこのデータに依存するため、このインターフェースを *IBM Spectrum Protect* の管理に使用する場合は、

状況モニター処理をオフにしないでください。

---

**ANR1961I** 状況モニター・コレクターが完了し、終了処理中です。

説明: 状況モニター機能がオフに設定されたので、状況モニター処理コレクターが処理を終了しています。

システムの処置: なし。状況モニター・コレクターは終了します。

ユーザーの処置: 状況モニター処理をオフにするには、*SET MONITORSTATUS* コマンドを使用します。この結果、管理グラフィカル・ユーザー・インターフェースはこのサーバーを管理できなくなります。

---

**ANR1962W** *command:* このコマンドは、1 つ以上のサーバーに経路指定されているため、その潜在的な効果を判別できません。指定したパラメーターによっては、コマンドは破壊的な結果をもたらしたり、大量の出力を生成する可能性があります。破壊的なコマンドが、サーバーの停止、データの削除、あるいはデータ配置や保存ポリシーの変更を引き起こす可能性があります。

説明: このコマンドは、破壊的な結果をもたらしたり、大量の出力を生成する可能性があります。

システムの処置: *IBM Spectrum Protect* からユーザーに対し操作を続行するよう促すプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: コマンドを続行するには、'Y' を入力します。コマンドを続行しない場合は、'N' を入力します。

---

**ANR1963E** *command:* このコマンドは、サーバー・コンソールから発行できません。

説明: このコマンドは完了に長時間を要し、サーバー・コンソールは他のサーバー機能の制御に使用しなければならないので、サーバー・コンソールからこのコマンドを出すことはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを無視して、処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドは管理クライアントから出してください。

---

**ANR1964W** *command:* このコマンドは大量の出力を生成する可能性があります。

説明: 大量の出力を生成する可能性があるコマンドが呼び出されました。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合には 'Y' を、またこのコマンドを終了する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR1965E** *Command:* ノードコロケーション・グループ *collocation group name* のファイル・スペース *filespace name* の追加または削除を要求しました。ノード・コロケーション・グループのファイル・スペースを追加したり削除したりすることはできません。

説明: コマンドが発行され、指定されたコロケーション・グループは存在します。しかし、このコロケーション・グループはノード・コロケーション・グループであり、ノード・コロケーション・グループのファイル・スペースを追加したり削除したりすることはできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、ファイル・スペース・コロケーション・グループ・メンバーを含むことができる登録済みコロケーション・グループを指定してください。

---

**ANR1966E** *Command:* コロケーション・グループ *collocation group name* のファイル・スペース名を指定してください。

説明: ファイル・スペース・コロケーション・グループのファイル・スペース名が指定されませんでした。ファイル・スペース・コロケーション・グループのコロケーション・グループ・メンバーを追加または削除する場合、コロケーション・グループのファイル・スペース名を指定する必要があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、ファイル・スペース・コロケーション・グループのファイル・スペース名を指定してください。

---

**ANR1967E** *Command:* ファイル・スペース・コロケーション・グループの **NAMEType** パラメーターを指定する場合、ファイル・スペース名にワイルドカード文字を使用することはできません。

説明: コマンドは発行されましたが、ファイル・スペース名と **NAMEType** 値の間に不一致があります。**NAMEType** 値を指定する場合、ファイル・スペース名は部分修飾または完全修飾でなければなりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、部分修飾または完全修飾のファイル・スペース名と **NAMEType** パラメーターの組み合わせを指定します。

---

**ANR1968E** *Command:* ファイル・スペース名 *filespace name* は無効です。**CODEType** パラメーターを指定する場合、ファイル・スペース名はワイルドカード文字でなければなりません。

説明: コマンドは発行されましたが、ファイル・スペース名と **CODEType** 値の間に不一致があります。**CODEType** 値を指定する場合、ファイル・スペース名はワイルドカード文字でなければなりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、ファイル・スペース名のワイルドカード文字と **NAMEType** パラメーターの組み合わせを指定します。

---

**ANR1969E** *Command:* *filespace name* は、有効なファイル・スペース **ID** ではありません。**NAMEType** パラメーターが **FSID** の場合、ファイル・スペース **ID** は数値でなければなりません。

説明: コマンドは発行されましたが、ファイル・スペース **ID** のリストが数値ではありません。

**NAMEType=FSID** パラメーターを指定する場合、ファイル・スペース名リスト内のファイル・スペース名には、数値のみが含まれている必要があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、数値のみを含むファイル・スペース **ID** のリストを指定してください。

---

**ANR1970E** *Command:* 無効なノード名リスト *node name* が指定されました。ファイル・スペース・コロケーション・グループ・メンバーを処理する場合は、単一のノード名を指定する必要があります。

説明: コマンドは発行されましたが、ノード名のリストが無効です。ファイル・スペース・コロケーション・グループ・メンバーを処理する場合は、1 つのノード名のみを指定することができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、単一のノード名を指定します。

---

**ANR1971W** *Command:* 指定された **NAMEType** および **CODEType** パラメーターを使用しましたが、ノード *node name* 上のファイル・スペース *filespace name* に対して一致するファイル・スペースが見つかりませんでした。

説明: サーバーは、コマンドで指定されたファイル・スペースおよびノードに対して、一致するファイル・スペース名またはファイル・スペース ID を検出できませんでした。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 指定したノードで定義済みのファイル・スペースを参照するファイル・スペース名またはファイル・スペース ID を使用して、コマンドを入力してください。ファイル・スペース名に、大文字小文字の区別があることに注意してください。サーバー上で定義されているファイル・スペース名に一致するように正確に大文字および小文字を使用して、ファイル・スペース名を入力してください。ファイル・スペース名検索でも、**NAMEType** (SERVER、UNICODE、FSID) および **CODEType** (BOTH、UNICODE、NONUNICODE) パラメーターの大文字小文字を区別します。 **QUERY FILESPACE** コマンドを発行し、サーバー上のノードで定義されているファイル・スペースおよびファイル・スペース ID を判別します。

---

**ANR1972W** *Command:* コロケーション・グループに新規のファイル・スペース関連付けが追加されませんでした。

説明: 指定されたコマンドは発行されましたが、コロケーション・グループに新規のファイル・スペース関連付けが定義されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドの影響はありません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、別のファイル・スペースを指定してください。

---

**ANR1973W** *Command:* ファイル・スペース・グループを処理する場合、**NODE** パラメーター・リスト *node list* のノードには、ワイルドカード文字を含むことができません。ファイル・スペース関連付けは、コロケーション・グループから削除されませんでした。

説明: 指定されたコマンドは発行されましたが、ファイ

ル・スペース関連付けは削除されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドの影響はありません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、ワイルドカードを使用せずに有効なクライアント・ノードを指定してください。

---

**ANR1974W** *Command: FILESPACE* パラメーター・リスト *filespace list* のファイル・スペースは、ファイル・スペース・コロケーション・グループ *collocgroup name* に関連付けられていません。ファイル・スペース関連付けは、コロケーション・グループから削除されませんでした。

説明: 指定されたコマンドは発行されましたが、ファイル・スペース関連付けは削除されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドの影響はありません。

ユーザーの処置: コマンドを発行し、別のファイル・スペースを指定してください。

---

**ANR1975W** ノード *node name* は、既にコロケーション・グループ *node collocation group name* に関連付けられています。 *same node name* に属しているファイル・スペースは、*user specified collocation group* コロケーション・グループに追加することができません。

説明: このメッセージは **DEFINE COLLOCMEMBER** コマンドへの応答で表示されます。このコマンドは、ファイル・スペース・コロケーション・グループ・メンバーの作成に使用されます。ノード *node name* は、既にコロケーション・グループ名 *collocation group name* に関連付けられており、既にノード・コロケーション・グループ内にあるノードに属しているファイル・スペースは、ファイル・スペース・コロケーション・グループに追加することができません。示されたファイル・スペースは、処理されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく入力されていない場合は、正しいノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1976I** *Command:* コロケーション・グループ *collocation group name* 内に *number of filespace* 個のメンバーが定義されています。

説明: DEFINE COLLOCMEMBER コマンドが、示されているコロケーション・グループ内に指定された数のファイル・スペース・メンバーを作成しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1977I** ノード *node name* 上のファイル・スペース *filespace name* は、ファイル・スペース・コロケーション・グループ *collocation group name* に関連付けられています。

説明: このメッセージは DEFINE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* 上のファイル・スペース *filespace name* は、ファイル・スペース・コロケーション・グループ名 *collocation group name* に関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1978W** ノード *node name* 上のファイル・スペース *filespace name* は、既にファイル・スペース・コロケーション・グループ *collocation group name* に関連付けられています。

説明: このメッセージは DEFINE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ファイル・スペース *filespace name* は、既に *collocation group name* という名前のファイル・スペース・コロケーション・グループに関連付けられています。示されたファイル・スペースは処理されません。その他のファイル・スペースがコマンドで指定されている場合は、処理することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名が誤って入力された場合は、正しいファイル・スペース名を使用してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1979W** ノード *node name* は、既に 1 つ以上のファイル・スペース・コロケーション・グループに関連付けられており、ノード・コロケーション・グループに関連付けることはできません。

説明: このメッセージは DEFINE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* は、既に 1 つ以上のファイル・スペース・コロケーション・グループ名に関連付けられています。指示されたノードは処理されません。他のノードは、コマンドによって指定されている場合に処理可能です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく入力されていない場合は、正しいノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1980I** ファイル・スペース *filespace name* は、ファイル・スペース・コロケーション・グループ *collocation group name* との関連付けが解除されました。

説明: このメッセージは DELETE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。現在、ファイル・スペース *filespace name* は、ファイル・スペース・コロケーション・グループ名 *collocation group name* とは関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1981I** *Command: number of filespace* 個のファイル・スペース・メンバーがファイル・スペース・コロケーション・グループ *collocation group name* から削除されました。

説明: DELETE COLLOCMEMBER コマンドが、指定された数のファイル・スペース・メンバーを指定されたコロケーション・グループから削除しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1982W** ファイル・スペース *filespace name* は、ノード *node name* 上に存在していますが、このファイル・スペースは、指定されたコロケーション・グループ *collocation group name* のメンバーではありません。

説明: このメッセージは DELETE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ファイル・スペース *filespace name* は、*collocation group name* という名前のファイル・スペース・コロケーション・グループに関連付けられていません。示されたファイル・スペースは処理されません。その他のファイル・スペースがコマンドで指定されている場合は、処理することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名が誤って入力された場合は、正しいファイル・スペース名を使用してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1983W** コロケーション・グループ *collocgroup name* は存在しますが、パラメーター・リスト *node name* 内のノード名は、このコロケーション・グループに関連付けられていません。コロケーション・グループに関連付けられているファイル・スペースはありません。

説明: 指定されたコマンドは発行されましたが、コロケーション・グループに関連付けられているファイル・スペースがありません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、コマンドの影響はありません。

ユーザーの処置: 別のノードを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR1984E** *command*: 複製サーバー *server name* は、アクティブ複製プロセスが使用しているため削除できません。

説明: REMOVE REPLSERVER コマンドを発行したときに、削除するように指定した複製サーバーは、アクティブ複製プロセスによって使用されていました。アクティブ複製プロセスが使用している複製サーバーを削除することはできません。

システムの処置: コマンドは、サーバーによって停止されます。

ユーザーの処置: ソース複製サーバーまたはターゲット複製サーバーから QUERY PROCESS コマンドを発行し、アクティブ複製プロセスを識別してください。ソース複製サーバーから CANCEL PROCESS コマンドを発行し、複製プロセスを停止します。このコマンドをターゲット複製サーバーから実行している場合は、ソース複製サーバーにログオンして、CANCEL PROCESS コマンドを発行します。複製プロセスが停止したら、REMOVE REPLSERVER コマンドを再発行します。

---

**ANR1985E** リモート・モニター管理者 *admin name* が存在しません。

説明: リモート・サーバーのモニターに使用される管理者が存在しません。

システムの処置: リモート・モニター・セッションは終了します。

ユーザーの処置: SET MONITORINGADMIN コマンドを使用して、リモート・サーバーをモニターするための新しい管理者を設定します。

---

**ANR1986E** リモート・モニター・サーバー・グループ *group name* が存在しません。

説明: リモート・モニター対象のサーバー・グループが存在しません。

システムの処置: リモート・モニター・セッションは終了します。

ユーザーの処置: SET MONITOREDSEVERGROUP コマンドを使用して、リモート・サーバーをモニターするための新しいグループを設定します。

---

**ANR1987E** モニター対象サーバー *server name* とのセッション *session number* 中に通信エラーが発生しました。

説明: システムが指定されたモニター対象サーバーから情報を受信中に、通信エラーが発生しました。

システムの処置: 進行中だったモニターは失敗しました。サーバーは、モニター対象サーバーとの通信の再確立を試行します。

ユーザーの処置: エラーが頻繁に発生する場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、両方のサーバー上の活動記録ログを確認して、リモート・モニターに関連したメッセージがあるかどうか調べてください。

---

**ANR1988W** サーバー *server name* のリモート・モニター・セッションが拒否されました。サーバーは下位レベルです。

説明: リモート・サーバーは V6.3.4 以降であることが必要なので、指定されたリモート・サーバーをモニターできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定されたリモート・サーバーをアップグレードするか、DELETE GRPMEMBER コマンドを使用してリモート・モニター・サーバー・グループから削除します。

---

**ANR1989W** サーバー *server name* のリモート・モニターを開始できませんでした。minutes 分内に再試行されます。

説明: 指定されたリモート・サーバーをモニターしようとしたときに、エラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。指定されたリモート・サーバーはモニターされていません。サーバーは、指定された分数の経過後にモニターの開始を再試行します。

ユーザーの処置: 活動記録ログ内で前に発行されたメッ



セージを確認してください。指定されたりモート・サーバーが実行中で、ネットワーク上で使用可能になっていることを確認します。このリモート・サーバーをモニターする必要がなくなった場合は、DELETE GRPMEMBER コマンドを使用してリモート・モニター・サーバー・グループから削除します。

---

**ANR1990I**   サーバー *server name* のリモート・モニターが開始されました。

説明: 指定されたりモート・サーバーは現在モニターされています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1991I**   サーバー *server name* のリモート・モニターが終了しました。

説明: 指定されたりモート・サーバーは、モニター対象ではなくなりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1992E**   *Command: parameter* パラメーターが欠落しています。

説明: 指定されたサーバー・コマンドが、必要なすべてのパラメーターを指定せずに入力されました。少なくとも、名前付きパラメーターが欠落しています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1993I**   *command* は除去されました。

説明: 指定されたコマンドは有効なサーバー・コマンドですが、IBM Spectrum Protect サーバーの新しい機能によって、必要でなくなりました。このコマンドは除去されています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1994I**   活動記録ログの整理が開始されました: 現在のサイズ *current size megabytes M*、および保存設定 *retention size megabytes M* に基づいて、*delete megabytes M* を除去中です。

説明: サーバー活動記録ログが、指定した *delete megabytes* 分だけ保存サイズを超えました。活動記録ログの整理によって、現在の活動記録ログ・サイズを *delete megabytes* サイズ減らすために必要な分だけレコードが削除されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR1995E**   *Command: 無効な Formatsize 値 - 装置クラス Device Class の formatsize value*

説明: Formatsize に対して値が指定されましたが、メッセージに示された装置クラスの最大容量値より大きい値でした。装置クラスは FILE 装置タイプであり、DEFINE VOLUME コマンドで指定されたストレージ・プールに関連付けられています。装置クラスの最大容量値とは、サーバーがボリュームに書き込むデータの制限値です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの最大容量値より小さい Formatsize 値を使用してコマンドを再発行してください。最大容量は、QUERY DEVCLASS classname F=D コマンドを使用して表示できます。

---

**ANR1996E**   *Command: 無効なボリューム名の接頭部 - volume name. additional characters だけのスペースが必要です。*

説明: コマンドは、複数のボリューム名に使用されています。それらの名前に対する接尾部は、指示されたコマンドで生成されます。接尾部を考慮すると、指定された名前は、指示された文字数だけ余分に長くなります。3 文字を接尾部として見込んでおく必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 接尾部を付加できるように短くした接頭部を使用して、コマンドを再発行します。接尾部用に、3 文字が余分に必要になります。

---

**ANR1997E**   *Command: Formatsize* パラメーターは、複数のボリュームを作成する場合に指定する必要があります。

説明: コマンドは、Numberofvolumes パラメーターを使用して複数のボリュームの作成を指定しました。複数のボリュームの作成時には、Formatsize パラメーターも指定して、ボリュームのサイズを設定する必要があります。各ボリュームは、同じサイズで作成されます。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

## ANR1998E • ANR2006E

ユーザーの処置: `Formatsize` パラメーターを使用してコマンドを再発行するか、あるいは `Formatsize` パラメーターを使用しない場合、単一ボリュームを定義してください。

---

**ANR1998E** *Command: parameter* パラメーターの値が無効です - *parameter value*.

説明: コマンド *command* の (*parameter*) パラメーターに指定された値 (*parameter value*) は、このパラメーターに有効な値ではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 正しいパラメーター値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR1999I** *Command* が正常に完了しました。

説明: 指定されたコマンドの処理は正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2000E** 不明のコマンド - *command*

説明: 指定されたコマンドは有効なサーバー・コマンドではありません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しいコマンドを再発行してください。

---

**ANR2001E** コマンドを開始するにはサーバー・メモリーが不足しています。

説明: コマンドが入力されましたが、サーバーがこのコマンドを処理する十分な内部メモリーを獲得することができません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2002E** 右側の引用符が抜けています。

説明: 引用符付きのパラメーターが入っているサーバー・コマンドが入力されましたが、対応する右側の引用符が抜けています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しく対応する引用符を付けてコマンドを再発行してください。

---

**ANR2003E** キーワード・パラメーターの文字 (=) の使用法が正しくありません - *parameter*

説明: 示されているパラメーターが入っているサーバー・コマンドの後に等号記号 (=) が続けられています。このパラメーターはキーワード・パラメーターではありません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2004E** キーワード・パラメーターの値が抜けています - *parameter*

説明: キーワード・パラメーターが入っているサーバー・コマンドが入力されましたが、パラメーターの値が抜けています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: キーワード・パラメーターの値を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2005E** キーワード・パラメーター文字 (=) をブランクで囲むことはできません。

説明: サーバー・コマンドに等号記号 (=) が続くキーワード・パラメーターが入っていますが、等号記号の前または後にブランクがあるか、あるいはその両方です。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 等号記号の隣りにブランクを入れないでコマンドを再発行してください。

---

**ANR2006E** 活動記録ログ・プロセスが開始されていないため、デフォルト出力ストリームをオープンすることができません。

説明: デフォルト (コンソール) 出力ストリームをモニターして活動記録ログを保持するプロセスが、出力ストリームにアクセスできません。

システムの処置: サーバーは活動記録ログを更新しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2007E** 内部エラーのために、活動記録ログ・プロセスが開始されていません。

説明: サーバー内部エラーのために、デフォルト (コンソール) 出力ストリームをモニターして活動記録ログを保持するプロセスを開始することができません。

システムの処置: サーバーは活動記録ログを更新しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2008E** 活動記録ログ・プロセスが停止しました - データベース・トランザクションを始動することができませんでした。

説明: サーバーのトランザクション障害のために、デフォルト (コンソール) 出力ストリームをモニターして活動記録ログを保持するプロセスを続行することができません。これはメモリー不足エラーである可能性があります。

システムの処置: サーバーは活動記録ログの更新を停止します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2009E** 活動記録ログ・プロセスが停止しました - データベース・エラーです。

説明: サーバーのデータベース・エラーのために、デフォルト (コンソール) 出力ストリームをモニターして活動記録ログを保持するプロセスを続行することができません。

システムの処置: サーバーは活動記録ログの更新を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2010W** 活動ログ・スペースが満杯です。ログ・スペースが使用可能になるまで、コンソール・メッセージをログに記録することができません。

説明: ログがスペースを使い尽くすと、現行のトランザクションはロールバックされます。サーバーは、エラー・メッセージを発行して停止します。回復ログのサイ

ズを増やすまでは、サーバーを再始動することができません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: アーカイブ・ログと活動ログをモニターします。回復ログ・スペースが不足している場合は、最初にアーカイブ・ログ・スペースをモニターしてください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯の場合、あるいは満杯に近い場合は、フル・データベース・バックアップを実行してアーカイブ・ログを削除し、アーカイブ・ログ・ディレクトリーにディスク・スペースを追加することを検討してください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯ではなく、活動ログが満杯あるいは満杯に近い場合は、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGSIZE オプションの値を更新してください。

ACTIVELOGSIZE オプションの値を、活動ログの新しい最大サイズに設定します。

---

**ANR2011W** エントリーを活動ログに追加中に、サーバーがデータベース・スペースを使い尽くしました。データベース・スペースが使用可能になるまで、コンソール・メッセージはログに記録されません。

説明: データベース・スペースが不足しているため、コンソール出力ストリームをモニターして活動ログを保持するプロセスは、活動ログを更新することができません。

システムの処置: サーバーは、活動ログを更新できません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行します。データベースに 1 つ以上のディレクトリーを追加します。

---

**ANR2012W** ストレージ・プール STGPOOL でストレージ・プール・ディレクトリー STGPOOLDIRECTORY のエラーが見つかりました。

説明: サーバーは、指定されたディレクトリーへのアクセス中にエラーを検出しました。

システムの処置: 該当する場合は、別のディレクトリーで操作が試行されます。

ユーザーの処置: 警告を評価して、適切な修正アクションを実行してください。

**ANR2013E** 活動記録ログ・プロセスで、コンソール出力ストリーム中に予期しない出力データが見つかりました。プロセスが再始動されます。

説明: コンソール出力をモニターして活動記録ログを保持するプロセスが、コンソール・ストリーム中に無効データ (不明のデータ・タイプ) を検出しました。

システムの処置: サーバーは活動記録ログの記録プロセスを再始動します。このプロセスの再始動時には、サーバーは一部のコンソール・メッセージを活動記録ログに記録できない場合があります。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

**ANR2014E** 内部エラーのために、活動記録ログの整理プロセスを開始することができません。

説明: サーバー内部エラーのために、サーバーの活動記録ログから期限切れのレコードを除去するプロセスの実行を開始することができません。

システムの処置: サーバーは活動記録ログの整理を行いません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR2015E** 活動記録ログの障害 - データベース・トランザクションを開始できませんでした。

説明: データベース・トランザクションの障害 (メモリー不足エラーの可能性もある) のために、サーバーの活動記録ログから期限切れのレコードを除去するプロセスが実行されませんでした。

システムの処置: サーバーは活動記録ログの整理を終了します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

**ANR2016E** 活動記録ログの障害 - データベース・エラー。

説明: サーバーのデータベース・エラーのために、サーバーの活動記録ログから期限切れのレコードを除去するプロセスが実行されませんでした。

システムの処置: サーバーは活動記録ログの整理を終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR2017I** 管理者 *Administrator Name* がコマンド *Command* を出しました。

説明: このメッセージは、名前が示された管理者が指定されたコマンドを実行したという事実を記録します。このメッセージは、管理コマンドの監査証跡を提供するために出されて記録されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2018E** *Administrator Command*: 引数 *Command Argument* でのユニコード変換が失敗しました。

説明: 指定されたコマンド引数をユニコード・ストリングに変換できませんでした。変換は、ストリングにサーバーのコード・ページで使用できない文字が含まれている場合、またはサーバーによるシステム変換ルーチンへのアクセスに問題がある場合に失敗することがあります。RENAME FILESPACE コマンドを発行した場合、新規ファイル・スペース名が長すぎる可能性があります。

システムの処置: サーバー・コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: サーバーのロケールが正しく構成されていることを確認してください。RENAME FILESPACE コマンドを発行した場合、新規ファイル・スペースにもっと短い名前を指定することを検討してください。

**ANR2019I** *Command*: ノードが更新されませんでした。

説明: UPDATE NODE コマンドが入力されましたが、オブジェクトは更新されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2020E** *Command*: 無効なパラメーター - *parameter*

説明: 指定されたサーバー・コマンドに入力されたパラメーターが正しくありません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2021E** *Command:* サブコマンド・キーワードが抜けています。

説明: 指定されたサーバー・コマンドが、有効なサブコマンド (2 番目のパラメーター) なしで入力されました。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2022E** *Command:* 1 つ以上のパラメーターが抜けています。

説明: 指定されたサーバー・コマンドが、必要なすべてのパラメーターを指定せずに入力されました。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2023E** *Command:* 無関係のパラメーター - parameter

説明: 指定されたサーバー・コマンドに、使用できる数以上の定位置パラメーターが入っています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2024E** *Command:* 指定されたパラメーターが多すぎます。

説明: 指定されたサーバー・コマンドに、使用できる数以上の定位置パラメーターが入っています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2025E** *Command:* コマンドが実行されませんでした - サーバーのスレッド・リソースが使用不可です。

説明: サーバーのスレッドを開始する要件を持つサーバー・コマンドが入力されましたが、使用可能なサーバー・スレッドがないので、実行することができません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行してください。同じエラーでこのコマンドが実行されない場合には、サーバーの活動が減少するまで待ってからやり直してください。

---

**ANR2026E** *Command:* コマンドが実行されませんでした - 使用可能なサーバー・メモリーが不足しています。

説明: サーバー・コマンドが入力されましたが、サーバーが使用できる十分なメモリーがないので、処理することができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2027E** *Command:* コマンドが失敗しました - 十分なサーバー回復ログ・スペースが使用不可です。

説明: サーバー・コマンドが入力されましたが、使用可能な十分な回復ログ・スペースがないので、処理することができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGDIRECTORY、ARCHIVELOGDIRECTORY、および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2028E** *Command:* コマンドが実行されなかった - 使用可能な十分なサーバー・データベース・スペースがありません。

説明: サーバー・コマンドが入力されましたが、使用可能な十分なデータベース・スペースがないので、処理す

ることができません。SQL コマンドなどの特定の操作では、データベースにスペースがあるが DB 割り振りヒストリーが原因でそのスペースを現在の要求に使用できないときに、このメッセージが発行されることがあります。この場合、データベース照会削減可能最大値 0 を示します。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR2029E** *Command:* トランザクションが失敗しました。コマンドは実行されません。

説明: 現行トランザクションの一部であるコマンドが実行されませんでした。したがって、追加のコマンドも実行されません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 管理者用セッションを停止し、再び開始して、コマンドをやり直してください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2030E** コミットが受け入れられませんでした。トランザクションが失敗しました。

説明: 現行トランザクションの一部であるコマンドが実行されませんでした。したがって、COMMIT コマンドを処理することができません。

システムの処置: サーバーは COMMIT コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 管理者用セッションを停止し、再び開始して、コマンドをやり直してください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2031E** *Command:* 更新の場合は少なくとも 1 つの属性を指定しなければなりません。

説明: 指定された UPDATE コマンドが入力されましたが、更新の属性が指定されていません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 更新する 1 つ以上の属性を指定して UPDATE コマンドを再発行してください。

---

**ANR2032E** *Command:* コマンドが失敗しました - 内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: サーバー・コマンドを処理しようとしている時に内部エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2033E** *Command:* コマンドが失敗しました - ロックが矛盾しています。

説明: サーバーにシステム・リソースのロックを要求するサーバー・コマンドが入力されました。このリソースは別のコマンドまたはプロセスによって既に使用されているので、このコマンドを実行することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドをやり直してください。

---

**ANR2034E** *Command:* この基準に一致するものが見つかりません。

説明: 指定されたコマンドが入力されましたが、基準に一致するオブジェクトが見つかりません。SELECT コマンドを使用すると、レコードの競合があるときにこのメッセージが発行される場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 指定したすべてのパラメーター値が正しいことを確認してください。誤りが見つかった場合は、訂正して、コマンドを出し直してください。SELECT コマンドを発行した場合、このコマンドを再度発行すると、一致が生じる場合があります。

---

**ANR2035E** *Command:* 管理者 *administrator name* はこのコマンドを出すことを認可されていません。

説明: 指定された管理者が示されているコマンドを入力しましたが、この管理者はこのコマンドを実行するために必要な正しい権限を持っていません。注: このメッセージは、サーバー・オプション

REQSYSAUTHOUTFILE YES が有効となっている結果として出される可能性があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 追加情報については、前のメッセージを参照してください。正しく許可された管理者 ID からこのコマンドを出すか、あるいはシステム管理者に連絡して現在の管理者 ID に追加の権限を認可するように依頼してください。

---

**ANR2036E** *Command:* プロセスを開始できませんでした - 使用可能な十分なメモリーがありません。

説明: サーバーが使用できるメモリーが十分ないので、示されているコマンドのバックグラウンド・プロセスを開始することができません。

システムの処置: このコマンドを実行する新しいプロセスは開始されません。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2037E** *Command:* プロセスを開始することができなかった - ロックが矛盾しています。

説明: 必要なシステム・リソースが既に別のコマンドまたはプロセスによってロックされているので、示されているコマンドのバックグラウンド・プロセスを開始することができません。

システムの処置: このコマンドを実行する新しいプロセスは開始されません。このコマンドに対して他のプロセスが開始されている場合には、それらのプロセスは正常に実行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、後でコマンドをやり直してください。

---

**ANR2038E** *Command:* プロセスを開始できませんでした - サーバー・スレッド・リソースが使用不可です。

説明: 使用可能なサーバーのスレッドがないので、示されているコマンドのバックグラウンド・プロセスを開始することができません。

システムの処置: このコマンドを実行する新しいプロセスは開始されません。このコマンドに対して他のプロセスが開始されている場合には、それらのプロセスは正常に実行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、コマンドを再発行してください。同じエラーでこのコマンドが実行されない場合には、サーバーの活動が減少するまで待ってからやり直してください。

---

**ANR2039E** *Command:* プロセスを開始できませんでした - 内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: 内部エラーが起こったので、示されているコマンドのバックグラウンド・プロセスを開始することができません。

システムの処置: このコマンドを実行する新しいプロセスは開始されません。このコマンドに対して他のプロセスが開始されている場合には、それらのプロセスは正常に実行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2040W** このコマンドは、以前に損傷していたか、あるいはアクセス・モードが「破棄済み」のボリュームに常駐しているストレージ・プール *storage pool* にあるすべてのファイルをリストアしようとしています。ストレージ・プール *storage pool* 中のファイルに対する既存の参照は、ファイルがリストアされた後でデータベースから削除されます。

説明: RESTORE STGPOOL コマンドを出すと、示されている 1 次ストレージ・プールの既存のファイルが、コピー・ストレージ・プールからリストアされた後で削除されます。ボリューム上のすべてのファイルが別の場所にリストアされたために、アクセス・モードが破損のボリュームが空になると、その破損ボリュームがデータベースから削除されます。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: ストレージ・プールをリストアする場合には 'Y'、そうでない場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2041W** このコマンドは、コマンドの中に指定されたボリュームの 1 つが常駐しているストレージ・プール *storage pool* 内のすべてのファイルをリストアしようとしています。これらのボリューム上のファイルに対する既存の参照は、ファイルがリストアされた後にデータベースから削除されます。

説明: RESTORE VOLUME コマンドを出すと、指定されたボリュームのアクセス・モードが破損に更新されま

## ANR2042E • ANR2050I

す。既存のファイルは、それらのファイルがコピー・ストレージ・プールからリストアされた後で、指定されたボリュームから削除されます。ボリューム上のすべてのファイルが別の場所にリストアされたために、アクセス・モードが破損のボリュームが空になると、その破損ボリュームがデータベースから削除されます。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: ボリュームをリストアする場合には 'Y'、そうでない場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2042E** *Command: pool type* ストレージ・プール・ボリュームにはコピー済みパラメーターは無効です。

説明: 正しくないパラメーターを指定して QUERY CONTENT サーバー・コマンドが入力されました。指定されたボリュームがコピーまたは活動データのタイプのストレージ・プールに属している場合には、COPIED は有効なパラメーターではありません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: COPIED パラメーターなしでコマンドを再発行してください。

---

**ANR2043E** *Command:* サーバー・コンソールから **WAIT** パラメーターを使用することはできません。

説明: サーバー・コンソールから出されるコマンドには、WAIT パラメーターは使用できません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: WAIT パラメーターなしでコマンドを再発行するか、あるいは管理クライアントを使用して管理者からコマンドを再発行してください。

---

**ANR2044E** *Command:* 無効なオプションの値 - *Option's value.*

説明: オプション設定コマンドが入力されましたが、値が無効です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な値でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2045E** *Command:* 書き込み操作時にエラー (*error code*) が起こりました。

説明: サーバーが書き込み操作を試みている時にエラーを検出します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 他の表示されたメッセージを参照して、書き込み操作が正常に実行されなかった理由を調べてください。

---

**ANR2046I** *optionset name:* オプション・セット *optionset name* が定義されました。

説明: DEFINE OPTIONSET コマンドに応答して、要求されたオプション・セットがシステムに追加されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2047E** *Command:* オプション・セット *optionset name* は既に定義されています。

説明: 既にサーバーに定義されているオプション・セット名を指定した DEFINE OPTIONSET コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: オプション・セットを定義するためには、別のオプション・セット名を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2048I** *Command:* オプション・セット *optionset name* が削除されました。

説明: DELETE OPTIONSET コマンドに応答して、要求されたオプション・セットがシステムから削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2049E** *Command:* オプション・セット *optionset name* が定義されていません。

説明: 示されたコマンドは、サーバーに定義されていないオプション・セットを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2050I** *Command:* オプション *option name* がオプション・セット *option set name* に定義されました。

説明: DEFINE OPTIONSET コマンドに応答して、要求されたオプションが指定されたオプション・セットに追加されました。



システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2051E** *Command:* オプション *option name*、順序番号 *sequence number* は既にオプション・セット *option set name* に定義されています。

説明: 要求されたオプションは、DEFINE CLIENTOPT コマンドによって指定されたオプション・セットに既に存在しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2052E** *Command:* オプション *option name*、順序番号 *sequence number* はオプション・セット *option set name* に定義されています。

説明: 要求されたオプションは、DELETE CLIENTOPT コマンドによって指定されたオプション・セットに定義されていません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2053I** *Command:* オプション *option name*、順序番号 *sequence number* がオプション・セット *option set name* から削除されました。

説明: DELETE CLIENTOPT コマンドに回答して、要求されたオプションが指定されたオプション・セットから削除されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2054I** *Command:* オプション・セット *optionset name* が更新されました。

説明: UPDATE OPTIONSET コマンドに回答して、要求されたオプション・セットがシステム内で更新されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2055I** *Command:* オプション・セット *source optionset name* がオプション・セット *target optionset name* にコピーされました。

説明: このメッセージは、COPY OPTIONSET コマンドに回答して表示されます。 *source optionset name* という名前のオプション・セットが *target optionset name* という名前のオプション・セットにコピーされました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。COPY OPTIONSET コマンドに回答して、要求されたオプション・セットがシステムに追加されました。

---

**ANR2056E** *Command:* 無効なオプション名 - *option name*。 完全なオプション名を使用してやり直してください。

説明: 示されているコマンドは無効なオプション名を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なオプション名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2057E** *Command:* 無効なオプション値 - *option value*。

説明: 示されているコマンドは無効なオプション値を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なオプション値でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2058W** *Command:* オプション・ファイル *Filespec* が見つかりません - ユーザーがファイルを手動で更新する必要があります。

説明: サーバー・オプション・ファイルをオープンまたは見つけることができません。

システムの処置: コマンドは処理されますが、オプション・ファイル内でオプションが更新されません。

ユーザーの処置: 後からサーバーが再始動した時にこの値を使用したい場合には、テキスト・エディターを使用して、サーバー・オプション・ファイルを更新してください。 ユーザーがファイルを更新しない場合には、サーバーが再始動される時に、オプション・ファイル中の現在値が使用されます。

---

**ANR2059W** *Command: Filespec* への書き込み時にエラーが起きます - ユーザーはファイルを  
手動で更新する必要があります。

説明: サーバー・オプション・ファイルに新しい値を書き込もうとしているときに、エラーが起きました。

システムの処置: コマンドは処理されますが、オプション・ファイル内でオプションが更新されません。

ユーザーの処置: 後からサーバーが再始動した時にこの値を使用したい場合には、テキスト・エディターを使用して、サーバー・オプション・ファイルを更新してください。ユーザーがファイルを更新しない場合には、サーバーが再始動される時に、オプション・ファイル中の現在値が使用されます。

---

**ANR2060I** ノード *node name* がポリシー・ドメイン *domain name* に登録されました。

説明: REGISTER NODE コマンドへの応答で要求されたバックアップ・アーカイブ・ノードがシステムに追加され、示されているポリシー・ドメインに割り当てられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2061I** ノード *node name* がポリシー・ドメイン *domain name* から除去されました。

説明: REMOVE NODE コマンドへの応答で、要求されたバックアップ・アーカイブ・ノードがシステムから除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2062I** ノード *node name* が *new node name* に名前変更されました。

説明: RENAME NODE コマンドへの応答で、要求されたバックアップ・アーカイブ・ノードが示されている新しい名前に変更されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2063I** ノード *node name* が更新されました。

説明: UPDATE NODE コマンドによって、バックアップ・アーカイブ・ノードの 1 つ以上の属性が更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2064I** ノード *node name* がロックされました。

説明: LOCK NODE コマンドへの応答で、示されているバックアップ・アーカイブ・ノードがロックされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2065I** ノード *node name* は既にロックされています。

説明: LOCK NODE コマンドで参照された示されているバックアップ・アーカイブ・ノードは既にロックされています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2066I** ノード *node name* のアンロックされました。

説明: UNLOCK NODE コマンドへの応答で、示されているバックアップ・アーカイブ・ノードはアンロックされています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2067I** ノード *node name* のロックは既に解除されています。

説明: UNLOCK NODE コマンドで参照された示されているバックアップ・アーカイブ・ノードはロックされていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2068I** 管理者 *administrator ID* が登録されました。

説明: REGISTER ADMIN コマンドへの応答で、要求された管理者 ID がシステムに追加されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR2069I** 管理者 *administrator ID* が除去されました。

説明: REMOVE ADMIN コマンドへの応答で、要求された管理者 ID がシステムから除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2070I** 管理者 *administrator ID* が *new administrator ID* に名前変更されました。

説明: RENAME ADMIN コマンドへの応答で、要求された管理者 ID が示されている新しい名前に変更されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2071I** 管理者 *administrator ID* が更新されました。

説明: UPDATE ADMIN コマンドによって、管理ユーザーの 1 つ以上の属性が更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2072I** 管理者 *administrator ID* がロックされました。

説明: LOCK ADMIN コマンドへの応答で、示されている管理者 ID がロックされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2073I** 管理者 *administrator ID* は既にロックされています。

説明: LOCK ADMIN コマンドで参照された示されている管理者 ID は既にロックされています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2074I** 管理者 *administrator ID* のアンロックされました。

説明: UNLOCK ADMIN コマンドへの応答で、示されている管理者 ID がアンロックされています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2075I** 管理者 *administrator ID* のロックは既に解除されています。

説明: UNLOCK ADMIN コマンドで参照された示されている管理者 ID はロックされていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2076I** システム特権が管理者 *administrator ID* に認可されました。

説明: GRANT AUTHORITY コマンドへの応答で、システム特権クラスが示されている管理者に認可されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2077I** 無制限ポリシー特権が管理者 *administrator ID* に認可されました。

説明: GRANT AUTHORITY コマンドへの応答で、無制限のポリシー特権が示されている管理者に認可されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2078I** 制限付きポリシー特権が管理者 *administrator ID* に認可されました - ポリシー・ドメイン *domain name*。

説明: GRANT AUTHORITY コマンドへの応答で、指定されたポリシー・ドメインの制限付きポリシー特権が示されている管理者に付与されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2079I** 無制限ストレージ特権が管理者 *administrator ID* に認可されました。

説明: GRANT AUTHORITY コマンドへの応答で、無制限のストレージ特権が示されている管理者に付与されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR2080I** 制限付きストレージ特権が管理者 *administrator ID* に認可されました - ストレージ・プール *storage pool name*。

説明: GRANT AUTHORITY コマンドへの応答で、指定されたストレージ・プールに対する制限付きストレージ特権が、示された管理者に認可されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2081E** ストレージ・プール *STGPOOL* 内のストレージ・プール・ディレクトリー *STGPOOLDIRECTORY* が満杯です。

説明: オペレーティング・システムは、ディレクトリーに関するスペースの問題を報告しました。

システムの処置: 書き込みは別のディレクトリーに対して試行されます。

ユーザーの処置: ストレージ・プール・ディレクトリーに適切なストレージが割り当てられていることを確認するか、次のプールを定義してください。

---

**ANR2082I** オペレーター権限が管理者 *administrator ID* に認可されました。

説明: GRANT AUTHORITY コマンドへの応答で、オペレーター特権クラスが示されている管理者に認可されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2083I** 管理者 *administrator ID* のシステム特権が取り消されました。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドへの応答で、示されている管理者からシステム特権クラスが取り消されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2084I** 管理者 *administrator ID* のポリシー特権が取り消されました。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドへの応答で、示されている管理者からすべてのポリシー・ドメインのポリシー特権クラスが取り消されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2085I** 管理者 *administrator ID* の制限付きポリシー特権が取り消されました - ポリシー・ドメイン *domain name*。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドへの応答で、指定されたポリシー・ドメインの制限付きポリシー特権が示されている管理者から取り消されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2086I** 管理者 *administrator ID* のストレージ特権が取り消されました。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドへの応答で、すべてのストレージ・プールのストレージ特権クラスが示されている管理者から取り消されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2087I** 管理者 *administrator ID* の制限付きストレージ特権特権が取り消されました - ストレージ・プール *storage pool name*。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドへの応答で、示されているストレージ・プールの制限付きストレージ特権が示されている管理者から取り消されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2088E** ストレージ・プール *storage pool name* 内のコンテナ *container name* を読み取り中に、入出力エラーが発生しました。

説明: コンテナ内の 1 つ以上のデータ・エクステンントにアクセスできません。

システムの処置: 操作は失敗し、サーバー操作は続行されます。実行している操作によっては、アクセスしているデータ・エクステンントに損傷のマークが付けられ、修復できるようになります。

ユーザーの処置: 入出力エラーについて詳しくは、サーバーの First Failure Data Capture (FFDC) ログを参照してください。AUDIT CONTAINER コマンドを発行し、コンテナのコンテンツを検査します。AUDIT CONTAINER コマンドで損傷したエクステンントが検出された場合は、ストレージ・プールを修復して、失敗した操作を再試行してください。

---

**ANR2089I** 管理者 *administrator ID* のオペレーター権限が取り消されました。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドへの応答で、オペレーター特権クラスが示されている管理者から取り消されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2090I** 活動記録ログの保存が *management style* による管理用に *value* に設定されています。

説明: サーバー活動記録ログは、指示された管理スタイル用に SET ACTLOGRETENTION コマンドで指定された値に設定されています。管理スタイルが DATE の場合、値は、削除されるまで活動記録ログにメッセージを保持しておく日数となります。管理スタイルが SIZE の場合、値はサーバー・データベース内で活動記録ログのため占有することが許可されるメガバイト単位のサイズとなります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2091I** アカウンティング・パラメーターが *value* に設定されました。

説明: アカウンティング・レコードの生成が、SET ACCOUNTING コマンドで指示されているように、オンまたはオフにされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2092I** パスワードの有効期限が *number of days* 日間に設定されました。

説明: パスワードを変更するまでに使用できる日数が、SET PASSEXP コマンドで指示された値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2093I** 登録パラメーターが *registration method* に設定されました。

説明: バックアップ・アーカイブ・ノードの登録が、SET REGISTRATION コマンドで指示された方式に設定されました。

システムの処置: ありません。

---

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2094I** サーバー名が *server name* に設定されました。

説明: サーバーが表示し、バックアップ・アーカイブ・ノードに対して通信する名前が、SET SERVERNAME コマンドで指示された値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2095I** 認証パラメーターが *value* に設定されました。

説明: サーバーとのセッションの確立時にパスワードを入力するノードまたは管理者の要件が、SET AUTHENTICATION コマンドで指示されたように、オンまたはオフにされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2096I** 現在、サーバーはバックアップ・アーカイブ・クライアント・アクセス用に使用可能になっています。

説明: サーバーは、ENABLE コマンドによってバックアップ・アーカイブ・クライアントが使用できるようになりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2097E** サーバー・パスワード・ファイル *password file name* からマスター暗号鍵を取得できません。

説明: マスター暗号鍵を、保管先のパスワード・ファイルから読み取ることができませんでした。次のリストに、考えられる理由を示します。

- パスワード・ファイルが別のサーバー・インスタンスによって作成されました。
- パスワード・ファイルが、データベースがフォーマットされる前に作成されました。
- サーバー・パスワードが変更され、パスワード・ファイルが変更前の時点からリストアされました。

システムの処置: サーバーの初期設定が続行されます。暗号化されたストレージ・プールに保管されているデータは取得できません。暗号化されたストレージ・プールに新規データを書き込むことはできません。

ユーザーの処置: サーバーのインスタンス・ディレクト

リーに正しいパスワード・ファイルが存在することを確認してください。

- サーバーがストレージ・プール内のデータを暗号化するように構成されていない場合、パスワード・ファイルを削除するか、名前変更してください。サーバーを再始動します。
- サーバー・データベースが再フォーマットされている場合、パスワード・ファイルを削除するか、名前変更してください。サーバーを再始動します。
- サーバー・パスワードが変更された場合、変更前の時点でデータベースをリストアするか、パスワードを以前の値に再設定してください。

---

**ANR2098E** *Command:* 無効な URL 指定 - *url*。

説明: 指定された URL が長すぎます。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンドを再発行し、200 文字以下の URL 値を入力してください。

---

**ANR2099I** 管理ユーザー ID *admininstrator name* はノード *node name* に対し **OWNER** アクセス権限を定義されました。

説明: 指定された名前の管理者は、クライアント・ノードに対して **OWNER** アクセス権限を持つように作成されました。この管理者は、対話式インターフェースからクライアント・ノードにアクセスするために作成されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2100I** 活動記録ログ・プロセスが開始されました。

説明: 期限切れのサーバー活動記録ログ・レコードを除去する自動サーバー・プロセスが処理を開始しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2101I** 活動記録ログ・プロセスが停止し、活動記録ログの保存が **0** に設定されました。

説明: **SET ACTLOGRETENTION** コマンドで、保存期間がゼロ日に設定されました。その結果として、活動記録のログは停止しています。

システムの処置: 活動記録ログ・プロセスは、サーバー活動記録ログのコンソール出力の記録を停止します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2102I** 活動記録ログの整理が開始されました: *date time* より前の項目を除去中です。

説明: 示されている日付および時刻より古いサーバー活動記録ログ・レコードは活動記録ログから除去されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2103I** 活動記録ログの整理が完了しました: *number of records* 個のレコードが除去されました。

説明: 期限切れの (ログのアーカイブ保存値より古い) サーバー活動記録ログ・レコードはすべて除去されました。削除されたレコード数が示されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2104I** 活動記録ログ・プロセスが今再開されました。

説明: サーバー回復ログまたはデータベースに十分なスペースがないため、またはデータベースへのアクセスが失敗したために、サーバー活動記録ログにデータを記録するプロセスはメッセージのロギングを中断しました。活動記録ログ・プロセスに障害をもたらした状態が解決されて、活動記録ログ・プロセスは再開できます。

システムの処置: 活動記録ログ・プロセスが再開します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2105W** *Command:* ノードがライセンス条項を超えて登録されました - ライセンス数量の **120 %** のノードが登録されると、その後のノード登録は失敗することになります。

説明: サーバーが、サーバーのライセンス条項を超えるノードの追加を検出しました。REGISTER NODE コマンドは、ライセンスを付与されたノード数の 120 % が登録されると、それ以上実行されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを使用して、適合していないライセンス条項を調べてください。登録ノード数を減らすためにノードを除去するか、あるいは追加のクライアント・ノードの接続を購入することができます。追加のノードを購入した場合には、AUDIT LICENSES コマンドを出して、サーバーの構成

をライセンス条項と再同期化してください。

---

**ANR2106I** *Server HALT command:* データベースの更新活動を静止中。

説明: サーバーはデータベースを更新するトランザクションを静止中です。したがって、サーバーの停止時にはデータベースは整合状態にあります。このアクションは、データベースを整合状態にしてサーバーを停止するために HALT QUIESCE が指定された時に行われます。

システムの処置: データベース更新トランザクションの活動が停止すると、サーバー・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2107I** *Server HALT command:* データベースの更新活動は現在静止中です。

説明: サーバーはすべてのデータベース更新トランザクションの活動を停止しました。このアクションは、データベースを整合状態にしてサーバーを停止するために HALT QUIESCE が指定された時に行われます。

システムの処置: サーバー・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2108I** *Server HALT command:* データベースの更新活動の静止を再び試みています。

説明: サーバーはデータベースを更新するトランザクションを静止中です。したがって、サーバーの停止時にはデータベースは整合状態にあります。サーバー上の現在のトランザクション負荷のために、前にデータベース活動を静止しようとした試みに失敗しています。静止操作が再度試みられます。このアクションは、データベースを整合状態にしてサーバーを停止するために HALT QUIESCE が指定された時に行われます。

システムの処置: データベース更新トランザクションの活動が停止すると、サーバー・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2109I** *Server HALT command:* データベースの更新トランザクション活動を正常に静止することができませんでした。

説明: 繰り返し試みて、サーバー・データベース更新トランザクションの活動を静止することができませんでした。サーバーは HALT QUIESCE で停止されていません。データベース更新トランザクションの活動を静止する試みは、HALT QUIESCE コマンドが入力された時に

サーバー上のトランザクション負荷が大き過ぎると、正常に実行されないことがあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを使用不可にし、サーバーにアクセス中のすべてのクライアント・セッションを取り消し、すべての処理を取り消して、HALT QUIESCE コマンドを入力してサーバーの処理を停止してください。HALT コマンドは、データベース・トランザクション更新活動を静止しないでサーバーの処理を停止するために使用することもできます。サーバーの回復論理は、データベース・トランザクション活動を調整するためにサーバーが再始動された時に使用されます。

---

**ANR2110I** *Command* がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: コマンド *command* にサービスするためにバックグラウンド・プロセスが開始されました。バックグラウンド・プロセスは、プロセス *process ID* として定義されています。

システムの処置: サーバーは示されているコマンドを処理します。

ユーザーの処置: バックグラウンド・プロセスの進行状況を照会するためには、QUERY PROCESS コマンドを使用してください。バックグラウンド・プロセスを取り消すには、CANCEL PROCESS コマンドを使用してください。このプロセスを指定するには、*process ID* 番号を使用してください。

---

**ANR2111W** *Command:* *storage pool* のために処理するデータがありません。

説明: 示されているコマンドに、処理するデータがありません。これは、コマンドが指定するストレージ・プールにボリュームがないか、データを含むボリュームがない場合に起こることがあります。また、これは、ストレージ・プールにアクセス状態が READWRITE または READONLY のボリュームがない場合にも起こることがあります。

システムの処置: コマンドはバックグラウンド・プロセスを開始しないで終了します。

ユーザーの処置: QUERY VOLUME F=D コマンドを発行して、ストレージ・プールにデータを含むボリュームが少なくとも 1 つあること、およびストレージ・プール・ボリュームのアクセス状態が READWRITE または READONLY であることを確認してください。

---

**ANR2112E** *Command:* ボリューム *volume name* は 1 次ストレージ・プールの中にありません。

説明: 示されているコマンドが、1 次ストレージ・プールに属していないボリュームの名前を指定しています。コマンドの構文では、1 次ストレージ・プールのボリュームを指定することが要求されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 1 次プールのボリュームを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2113E** *Command:* ボリューム *volume name* は前にリストされたボリュームと同じストレージ・プール (*storage pool name*) に属していません。

説明: 示されているコマンドは、同じストレージ・プールに属する 1 つ以上のボリュームのリストを受け入れます。示されているボリュームが、前にリストされているボリュームと同じストレージ・プールに属していません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 同じストレージ・プールに属するボリュームのリストを指定してコマンドを実行してください。

---

**ANR2114I** *Command:* ボリューム *volume name* のアクセス・モードが「破棄済み」に更新されました。

説明: RESTORE VOLUME コマンドによって、示されているボリュームのアクセス・モードが破損に更新されました。

システムの処置: リストア処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2115E** *Command:* ボリューム *volume name* のアクセス・モードを「破棄済み」に変更することができません - ボリュームはオンラインのままです。

説明: ボリュームがまだオンラインになっているので、RESTORE VOLUME コマンドで、示されているボリュームのアクセス・モードを破損に変更することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: VARY OFFLINE コマンドを出して、RESTORE VOLUME を入れ直してください。

---

**ANR2116E** *Command:* ボリューム *volume name* のアクセス・モードを「破棄済み」に変更することができません - ボリュームが 1 次ストレージ・プールに属していません。

説明: ボリュームが 1 次ストレージ・プールに属していないので、示されているボリュームのアクセス・モードを破損に変更することはできません。

システムの処置: このボリュームのアクセス・モードは変更されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2117E** *Command:* ボリューム *volume name* のアクセス・モードを「オフサイト」に変更することができません - ボリュームがコピー・ストレージ・プールに属していないか、あるいは装置クラスが **DEVTYPE=SERVER** となっています。

説明: ボリュームがコピー・ストレージ・プールに属していないのか、DEVTYPE = SERVER 装置クラスであるので、示されているボリュームのアクセス・モードをオフサイトに変更することはできません。

システムの処置: このボリュームのアクセス・モードは変更されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2118E** **MOVE DATA** コマンドに指定されたストレージ・プール *storage pool name* が正しいプール名でないか、あるいはボリューム *volume name* のプール・タイプではありません。

説明: ボリュームが 1 次ストレージ・プールに属している場合には、指定されたストレージ・プールも 1 次ストレージ・プールでなければなりません。ボリュームがコピー・ストレージ・プールに属している場合には、指定されたストレージ・プールもそのボリュームのものと同じストレージ・プールでなければなりません。

システムの処置: MOVE DATA プロセスは実行されません。

ユーザーの処置: ボリュームが 1 次ストレージ・プールに属している場合には、有効な 1 次ストレージ・プール名を指定してください。ボリュームがコピー・ストレージ・プールに属している場合には、コマンドからストレージ・プール名を除去してください。

---



---

**ANR2119I** オプション・ファイル中の *Option* オプションが変更されました。

説明: サーバー・オプション・ファイル内でオプションが更新されました。

システムの処置: サーバーは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2120E** *Command:* 無効なプラットフォーム名 - *platform name*

説明: 示されているコマンドは無効なプラットフォーム名を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なプラットフォーム名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2121W** 重要: *amount changed unit megabytes, gigabytes or terabytes* を超えるデータベースが変更され、最後のデータベース・バックアップは *hours name* 時間以上前でした。 **BACKUP DB** コマンドを使用してデータベースの回復の準備をしてください。

説明: かなりの量のデータベース変更活動が起こり、サーバー・データベースがバックアップされていないときに、サーバーはこの警告を出します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・データベース回復の準備をする際にハードウェアまたはソフトウェアがデータベースに影響を与える場合には、**BACKUP DB** コマンドを使用してデータベースをバックアップしてください。

---

**ANR2122E** *command name:* **NODES** パラメーターが指定されている場合には、**DOMAINS** パラメーターを指定することはできません。

説明: **NODES** パラメーターと **DOMAINS** パラメーターの両方が指定されました。 **NODES** パラメーターを指定できるし、あるいは **DOMAINS** パラメーターを指定できますが、両方を同時に指定することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 両方ではなく、**NODES** パラメーターまたは **DOMAINS** パラメーターのいずれか一方を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR2123E** *command name:* **DOMAINS** パラメーターを指定した時には、**NODES** パラメーターを指定することはできません。

説明: **NODES** パラメーターと **DOMAINS** パラメーターの両方が指定されました。 **NODES** パラメーターまたは **DOMAINS** パラメーターを指定することができますが、両方を同時に指定することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 両方ではなく、**NODES** パラメーターまたは **DOMAINS** パラメーターのいずれか一方を指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR2124E** *command name:* 無効なクライアント権限 *authority* が指定されました。

説明: **CLASS=NODE** パラメーターが指定された時に、**GRANT AUTHORITY** または **REVOKE AUTHORITY** コマンドに無効なクライアント権限が指定されました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 有効なクライアント権限を指定してコマンドを入力し直してください。

---

**ANR2125I** *command name:* 管理者 *administrator name* にクライアント *client name* の **OWNER** 権限が認可されました。

説明: **GRANT AUTHORITY** コマンドの結果として名前を示されたクライアント・ノードを介して名前を示された管理者に **OWNER** 権限が認可されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2126I** *command name:* 管理者 *administrator name* にクライアント *client name* の **ACCESS** 権限が認可されました。

説明: **GRANT AUTHORITY** コマンドの結果として名前を示されたクライアント・ノードを介して名前を示された管理者に **ACCESS** 権限が認可されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2127I** *command name:* 管理者 *administrator* に対してノード *client node* の **OWNER** 権限が取り消されました。

説明: **REVOKE AUTHORITY** コマンドの結果として、名前を示されたクライアント・ノードを介して名前

## ANR2128I • ANR2136I

を示された管理者から OWNER 権限が取り消されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2128I** *command name:* 管理者 *administrator* に対してノード *client node* の **ACCESS** 権限が取り消されました。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドの結果として、名前を示されたクライアント・ノードを介して名前を示された管理者から ACCESS 権限が取り消されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2129I** ノード *node name* に対する権限のみを定義された管理ユーザー **ID** *admininistrator name* が除去されました。

説明: クライアント・ノードが除去され、管理者にあるのは指定されたノードに対する OWNER アクセス権限のみであったため、指定された管理者が除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2130S** 前のプロダクトのバージョンが期限切れになっています。サーバーは停止中です。

説明: このサーバーはサーバーのプレリリース・バージョンです。プレリリース・バージョンの有効期限が切れています。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: サーバーの製品バージョンをインストールしてください。

---

**ANR2131I** サーバー・パスワードが設定されました。

説明: サーバーが他のサーバーに自身との通信を可能にするために使用するパスワードが SET SERVERPASSWORD コマンドによって設定、変更、または除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2132I** サーバーの高位アドレスが *hladdress* に設定されました。

説明: 他のサーバーがこのサーバーとの通信に使用する高位アドレスが SET SERVERHLADDRESS コマンドによって示された値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2133I** サーバーの低位アドレスが *lladdress* に設定されました。

説明: 他のサーバーがこのサーバーとの通信に使用する低位アドレスが SET SERVERLLADDRESS コマンドによって示された値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2134I** サーバー **url** が *url* に設定されました。

説明: 他のサーバーがこのサーバーと通信するために使用する **url** が SET SERVERURL コマンドによって示された値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2135I** サーバー間定義が *state* に設定されました。

説明: 別のサーバーが自身を自動的にこのサーバーに対して定義するための機能は、SET CROSSDEFINE コマンドの指示どおりにオンまたはオフになりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2136I** 管理者 *administrator name* は既にドメイン *policy domain name* に対する **POLICY** アクセス権限を持っています。

説明: 名前の示された管理者は、既に名前の示されたポリシー・ドメインについて **POLICY** 権限を持っています。このドメインに対するクライアント権限を認可しようとする試みは無視されます。

システムの処置: このポリシー・ドメインはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2137I** 管理者 *administrator name* は既にノード *node name* が属するドメイン *policy domain name* に対する **POLICY** アクセス権限を持っています。

説明: 名前の示された管理者は、既に名前の示されたポリシー・ドメインについて **POLICY** 権限を持っています。このドメイン中のクライアントに対するクライアント権限を認可しようとする試みは無視されます。

システムの処置: このクライアントはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2138I** 最小パスワード長が *length* に設定されています。

説明: ノードまたは管理者がサーバーに送るパスワードの最小長は、**SET MINPWLENGTH** コマンドによって示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2139E** *Command:* 最小パスワード長として指定された値が正しくありません - *length*

説明: **SET MINPWLENGTH** コマンドが入力されましたが、長さに指定された値が正しくありません。有効な値は 0 から 64 です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な値でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2140E** *Command:* 無効な活動記録ログ保存期間 - *retention value*

説明: 無効なログ保存期間を指定している **SET ACTLOGRETENTION** コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい保存期間を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2141E** *Command:* 無効なパスワードの有効期限 - *days value*。

説明: 無効な日数値を指定している **SET PASSEXP** コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: パスワードの有効期限を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2142E** *Command:* 無効なサーバー名 - *server name*。

説明: 無効なサーバー名を指定している **SET SERVERNAME** コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なサーバー名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2143E** *Command:* 無効なノード名 - *node name*。

説明: 示されているコマンドに、無効なノード名が指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2144E** *Command:* 無効なパスワード - *password*。

説明: コマンドに無効なノード・パスワードまたは管理者パスワードが指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: パスワードが命名規則に従っていること、および管理者によって設定された最小パスワード長の要件を満たしていることを確認してください。また新しいパスワードが、古いパスワードと同じでないことを確認してください。LDAP ディレクトリー・サーバーに対する認証を行っている場合、新規パスワードが、LDAP ディレクトリー・サーバーによって指定されているその他のすべてのパスワード・ポリシーの規則に従っていることを確認してください。有効なパスワードを指定してコマンドを再実行してください。

---

**ANR2145E** *Command:* 連絡先情報が *maximum characters* 文字を超えています。

説明: 長過ぎる連絡先情報の値を指定している **REGISTER NODE** または **REGISTER ADMIN** コマンドが入力されました。正しい最大長はコマンドに示されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 短い連絡先情報を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2146E** *Command:* ノード *node name* は登録されていません。

説明: 示されているコマンドに、このサーバーに登録されていないノードが指定されています。

## ANR2147E • ANR2156E

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。  
ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2147E** *Command:* ノード *node name* は既に登録されています。

説明: 既にこのサーバーに登録されているノード名を指定している REGISTER NODE コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ノードを登録するためには、別のノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2148E** *Command:* 管理者 *administrator ID* は登録されていません。

説明: 示されているコマンドに、このサーバーに登録されていない管理者 ID が指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2149E** *Command:* 管理者 *administrator ID* は既に登録されています。

説明: 既にこのサーバーに登録されている管理者 ID を指定している REGISTER ADMIN コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 管理者を登録するためには、別の管理者 ID を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2150E** *Command:* ノード *node name* は現在サーバーにアクセス中です。

説明: 示されているコマンドに、このサーバーと活動状態のセッションを持つノードが指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドを再発行するか、あるいは必要に応じて現行セッションを取り消してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2151E** *Command:* 管理者 *administrator ID* は現在サーバーにアクセス中です。

説明: このサーバーと活動状態のセッションを持っている管理者 ID を指定している UPDATE ADMIN または REMOVE ADMIN コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドを再発行するか、あるいは

必要に応じて現行セッションを取り消してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2152E** *Command:* ノード *node name* のインベントリ参照がまだ存在しています。

説明: サーバーがまだバックアップまたはアーカイブ・データ (あるいはその両方) を保管しているノードに REMOVE NODE コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ノードを除去するには、サーバーからファイル・スペースおよびすべての仮想ファイル・スペース・マッピング定義を削除して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2153E** *Command:* 無効なファイル・スペース名 - *filespace name*。

説明: 使用できる長さ以上のファイル・スペース名を指定して、示されているサーバー・コマンドが入力されました。ユニコード・ファイル・スペース名の最大長は、非ユニコード・ファイル・スペース名の最大長よりも 8 文字分少ないことに注意してください。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なファイル・スペース名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2154E** *Command:* 無効な管理者名 - *administrator ID*。

説明: 示されているコマンドに、無効な管理者 ID が指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な管理者 ID を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2155E** *Command:* 無効な特権クラス - *privilege class*。

説明: コマンドに、無効な管理者特権クラスが指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な特権クラスを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2156E** *Command:* 管理者 *administrator ID* は既にシステム特権を認可されています。

説明: 既にシステム権限を持っている管理者 ID にシ

システム権限を付与する GRANT AUTHORITY コマンドが出されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2157E** *Command:* システム特権と一緒に他の特権を付与することはできません。

説明: 管理者 ID にシステム権限を付与し、同時にその他の特権を付与する GRANT AUTHORITY コマンドが出されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: システム特権クラスだけを指定して GRANT AUTHORITY コマンドを再発行してください。

---

**ANR2158E** *Command:* 無制限ポリシー管理者 *administrator ID* に対してポリシー・ドメインを指定することはできません。

説明: 特定のポリシー・ドメインに対する管理者のポリシー権限を取り消す REVOKE AUTHORITY コマンドが出されましたが、この管理者は無制限のポリシー権限を持っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2159E** *Command:* 無制限ストレージ管理責任者 *administrator ID* に対してストレージ・プールを指定することはできません。

説明: 特定のストレージ・プールに対する管理者のストレージ権限を取り消す REVOKE AUTHORITY コマンドが出されましたが、この管理者は無制限のストレージ権限を持っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2160E** *Command:* 管理者 *administrator ID* に対して新規特権は認可されません。

説明: 管理者 ID に権限を付与する GRANT AUTHORITY コマンドが出されましたが、この管理者は既に指定されたすべての特権を持っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2161E** *Command:* 管理者 *administrator ID* のシステム特権だけを取り消すことができません。

説明: 管理者の特権の 1 つ以上を取り消す REVOKE AUTHORITY コマンドが出されましたが、この管理者はシステム権限を持っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2162E** *Command:* 管理者 *administrator ID* の特権は取り消されていません。

説明: 管理者 ID から権限を取り消す REVOKE AUTHORITY コマンドが出されましたが、この管理者は指定されたいずれの特権も持っていない。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2163E** *Command:* *administrator ID* に対してコマンドが無効です。

説明: 指定されたコマンドをサーバー・コンソールに出すことはできません。例えば、サーバー・コンソールの管理者 ID を除去することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2164E** *Command:* コマンドが拒否されました - *administrator ID* は単なるシステム管理者です。

説明: システム権限を持っている最終管理者の権限を除去しあるいは取り消すために REMOVE ADMIN または REVOKE AUTHORITY コマンドが出されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: この ID を除去しあるいは取り消すためには、このコマンドを出す前に別の管理者 ID にシステム権限を付与してください。

---

**ANR2165E** *Command:* 無効な開始日 - *date*。

説明: 検索基準として正しくない開始日付を指定している QUERY ACTLOG コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な開始日付を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2166E** *Command:* 無効な開始時刻 - *time*。

説明: 検索基準として正しくない開始時刻を指定している QUERY ACTLOG コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な開始時刻を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2167E** *Command:* 無効な終了日付 - *date*。

説明: 検索基準として正しくない終了日付を指定している QUERY ACTLOG コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な終了日付を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2168E** *Command:* 無効な終了時刻 - *time*。

説明: 検索基準として正しくない終了時刻を指定している QUERY ACTLOG コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な終了時刻を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2169E** *Command:* 無効なメッセージ番号 - *message number*。

説明: 検索基準として正しくないメッセージ番号を指定している QUERY ACTLOG コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なメッセージ番号を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2170E** *Command:* 無効なメッセージ検索ストリング引数 - *search string*

説明: 検索基準として正しくない検索ストリングを指定している QUERY ACTLOG コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な検索ストリングを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2171E** *Command:* 無効な時刻範囲 - 開始 : *date time* 終了 : *date time*。

説明: 正しくない開始および終了の日付/時刻範囲が指定されている QUERY ACTLOG コマンドが入力されました。このエラーは、開始日付/時刻が終了日付/時刻

より前でない場合に起こります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な日付/時刻の範囲を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2172E** *Command:* 一致する管理者がありません。

説明: 示されているコマンドは、このサーバーに登録されている管理者と一致しない管理者 ID を指定しています。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、別の管理者 ID を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR2173E** *Command:* 位置情報が *maximum characters* 文字を超えています。

説明: 長すぎる位置情報の値を指定している DEFINE または UPDATE VOLUME コマンドが入力されました。正しい最大長はコマンドに示されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 短い位置情報を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2174E** 管理者 *administrator ID* は登録されていません。スケジュール *schedule name* は処理されずに、「失敗」のマークが付けられます。

説明: 示されているコマンドに、このサーバーに登録されていない管理者 ID が指定されています。スケジュールおよび関連コマンドは処理されません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: スケジュールされたコマンドを実行するのに適切な権限をもっている有効な管理者 ID を使用してコマンド・スケジュールを更新してください。

---

**ANR2175I** 無効なパスワード限界が *password attempts limit* 回に設定されました。

説明: ノードまたは管理者がサーバーに送る連続した無効パスワードの最大数は、SET INVALIDPWLIMIT コマンドによって示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR2176E** *Command:* 無効パスワード試行限度として指定された値が正しくありません - *password attempts limit*.

説明: SET INVALIDPWLIMIT コマンドが入力されましたが、連続した無効なパスワード試行限界に指定された値が正しくありません。正しい値の範囲は 0 から 9999 です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な値でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2177I** *node/admin name* が *count* 回の無効サインオンを試みました。限度は *limit* 回です。

説明: サインオン処理時に、サーバーが指定されたノードに正しくないパスワードを検出しました。現在、ノードは *count* 個の連続した無効パスワードを送信しました。許容最大値は *limit* です。*limit* に達すると、サーバーはこのノードをロックします。

システムの処置: ノードまたは管理者セッションは拒否されます。

ユーザーの処置: クライアント・ノードがサーバーにアクセスするのを許可される前に、正式に許可されている管理者が UNLOCK NODE または UNLOCK ADMIN コマンドを使用してそのノードまたは管理者をアンロックする必要があります。

---

**ANR2178E** *node/admin name* がロックされました。無効なサインオン試行限度 (*limit*) に達しました。

説明: 指定されたノードは、サーバーによってロックされています。連続した無効パスワードの限界に達しました。

システムの処置: ノードまたは管理者セッションは拒否されます。

ユーザーの処置: クライアント・ノードがサーバーにアクセスするのを許可される前に、正式に許可されている管理者が UNLOCK NODE または UNLOCK ADMIN コマンドを使用してそのノードまたは管理者をアンロックする必要があります。

---

**ANR2179E** 管理者 *administrator* はロックされていなければならないのに、ロックされていませんでした。

説明: 示された管理者は、連続した無効パスワードの限界に達しており、ロックされていなければなりません。

ロックされている場合には、システム権限を必要とするコマンドを実行する意味がありません。

システムの処置: 管理者セッションは拒否されます。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを使用してもう一度サインオンしてください。

---

**ANR2180W** 管理者 *administrator* ID の最終アクセス日付を更新できません - 十分な回復ログ・スペースがありません。

説明: 示されている ID の管理者用セッションを確立している時に、十分な回復ログ・スペースがないので、サーバーがこの管理者の最終アクセス日付を更新することができません。

システムの処置: サーバーは管理者用セッションを確立しますが、最終アクセス日付は更新されません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの

ACTIVELOGDIRECTORY、  
ARCHIVELOGDIRECTORY、および

ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY および

ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2181W** 管理者 *administrator* ID の最終アクセス日付を更新できません - 十分なデータベース・スペースがありません。

説明: 示されている ID の管理者用セッションを確立している時に、十分なデータベース・スペースがないので、サーバーがこの管理者の最終アクセス日付を更新することができません。

システムの処置: サーバーは管理者用セッションを確立しますが、最終アクセス日付は更新されません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR2182W** 管理者 *administrator ID* の最終アクセス日付を更新できません - 内部サーバー・エラー。

説明: 示されている ID の管理者用セッションを確立している時に、サーバーの内部エラーのために、サーバーがこの管理者の最終アクセス日付を更新することができません。

システムの処置: サーバーは管理者用セッションを確立しますが、最終アクセス日付は更新されません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 `QUERY ACTLOG` コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2183W** *Diagnostic(ID):* トランザクション *transaction ID* が打ち切られました。

説明: トランザクションのコミット中に、このトランザクションの異常終了を引き起こすエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがある場合があります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。サーバーの停止中にこれが検出された場合、これは無視できます。サーバー `HALT` 処理中に、通常のサーバー・シャットダウン処理の一部として、既存の未完了トランザクションが異常終了することがあります。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2184W** *Diagnostic(ID):* コマンド *command* のトランザクション *transaction ID* が打ち切られました。

説明: 指定されたサーバー・コマンドのトランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決す

ることができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2185W** コマンド *command* のトランザクションが打ち切られました。

説明: トランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2186W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* のトランザクションが打ち切られました。

説明: トランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2187W** *node/admin name* のトランザクションが打ち切られました。

説明: 指定されたノードまたは管理者名のトランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---



---

**ANR2188W** トランザクションが打ち切られました。  
活動は終了中です。

説明: トランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は終了します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2189W** *Diagnostic(ID): node/admin name* のトランザクション *transaction ID* が打ち切られました。

説明: 指定されたノードまたは管理者名のトランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2190E** *command:* このコマンドでは、装置クラス **DISK** を指定することはできません。

説明: DEVCLASS 値 DISK は、このコマンドで指定することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な装置クラスを指定してコマンドを再発行してください。サーバーに有効な装置クラスのリストを表示するためには、**QUERY DEVCLASS** コマンドを実行してください。

---

**ANR2191E** *command:* ボリューム・リストに定義済みボリュームと未定義ボリュームが入っています。

説明: SALVAGE VOLUME コマンドに指定されたボリュームのリストは、すべてサーバーに定義されていない

ければなりません、定義されていないものがあります。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効なボリュームのリストを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2192E** *Command:* バックグラウンド・プロセスを開始することができません。

説明: サーバー・コマンド・プロセッサが、コマンド *command* を実行するバックグラウンド・プロセスを開始することができません。

システムの処置: コマンドのプロセスは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2193E** *Command:* 無効なオプション・セット名 - *option set name*。

説明: 示されているコマンドは無効なオプション・セット名を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なオプション・セット名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2194E** *Command:* 無効なオプション・セット記述 - 長すぎます。

説明: 示されているコマンドは無効な記述を指定しています。記述が長すぎます。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な記述でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2195E** *Command:* 無効なオプション順序番号 - *option sequence number name*。

説明: 示されているコマンドは無効なオプション順序番号を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なオプション順序番号でコマンドを再発行してください。

**ANR2196W** データベースのフォーマット操作中に既存のサーバー・パスワード・ファイル *password file name* が検出されました。このファイルは、*new password file name* に名前変更されています。

説明: パスワード・ファイルは既に存在しています。このファイルをサーバー・データベースの新規インスタンスで使用することはできません。ただし、後でデータベースが以前の時点にリストアされた場合に必要になる可能性があります。

システムの処置: パスワード・ファイルは名前変更されています。

ユーザーの処置: データベースが以前の時点にリストアされる予定の場合は、名前変更されたパスワード・ファイルを保存します。データベースがリストアされた後、パスワード・ファイルを「*dsmserv.pwd*」に名前変更して、サーバーのインスタンス・ディレクトリーに配置します。

**ANR2197E** *Command: Web* 認証タイムアウトとして指定された値が正しくありません - *time-out value*。

説明: 無効値を指定した SET WEBAUTHTIMEOUT コマンドが入力されました。正しい値の範囲は 0 から 9999 です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な値でコマンドを再発行してください。

**ANR2198I** *Command: Web* 認証タイムアウトが *time-out value* 分に設定されました。

説明: Web ブラウザー管理ユーザーがサーバーによる再認証を必要とする頻度を決定するタイムアウト値が SET WEBAUTHTIMEOUT コマンドによって表示された値に設定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2199I** ノード *node name* のパスワードの有効期限が *number of days* 日間に設定されました。

説明: 変更が必要になる前に使用することができるノードのパスワードの日数が SET PASSEXP コマンドで指示された値に設定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2200I** ストレージ・プール *storage pool name* が定義されました (装置クラス *device class name*)。

説明: DEFINE STGPOOL コマンドによって、示されている装置クラスの示されているストレージ・プールが作成されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2201I** ストレージ・プール *storage pool name* が削除されました。

説明: DELETE STGPOOL コマンドによって、示されているストレージ・プールが削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2202I** ストレージ・プール *storage pool name* が更新されました。

説明: UPDATE STGPOOL コマンドによって、示されているストレージ・プールが更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2203I** 装置クラス *device class name* が定義されました。

説明: DEFINE DEVCLASS コマンドによって、示されている装置クラスが作成されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2204I** 装置クラス *device class name* が削除されました。

説明: DELETE DEVCLASS コマンドによって、示されている装置クラスが削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2205I** 装置クラス *device class name* が更新されました。

説明: UPDATE DEVCLASS コマンドによって、示されている装置クラスが更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2206I** ボリューム *volume name* がストレージ・プール *storage pool name* (装置クラス *device class name*) に定義されました。

説明: DEFINE VOLUME コマンドによって、示されているストレージ・プール内に示されている装置クラスに属するボリュームが定義されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2207I** ボリューム *volume name* が更新されました。

説明: UPDATE VOLUME コマンドによって、示されているボリュームが更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2208I** ボリューム *volume name* がストレージ・プール *storage pool name* から削除されました。

説明: 示されているボリュームが、次の 1 つによって削除されました。

- DELETE VOLUME コマンドが出されました。
- ボリュームが空で、ボリュームのアクセス・モードが破棄済みに更新された。
- ボリュームが空で、スクラッチおよびオフサイトで、アクセス・モードが読み取り/書き込み、読み取り専用、または選択不可能に変更されました。
- ボリュームがスクラッチで (オフサイトでなく)、DELETE FILESPACE、RECLAMATION、または RESTORE VOLUME/STGPOOL によって空にされました。
- ボリュームは空スクラッチ WORM FILE ボリュームであり、ボリュームの保存期限が切れたため、RECLAMATION によって削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2209W** ボリューム *volume name* の中にデータが入っていません。

説明: 入力された AUDIT VOLUME または MOVE DATA コマンドで、データの入っていないボリュームが指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2210I** ディスク・ボリューム *volume name* のオンラインへの変更が開始されました。

説明: 示されているボリュームの VARY ONLINE コマンドが処理中で、エラーが起これなければこのボリュームはオンラインに変更されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2211I** ディスク・ボリューム *volume name* のオフラインへの変更が開始されました。

説明: 示されているボリュームの VARY OFFLINE コマンドが処理中で、エラーが起これなければこのボリュームはオフラインに変更されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2212I** *Command:* ボリュームは更新されませんでした。

説明: UPDATE VOLUME コマンドが入力されましたが、オブジェクトは更新されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2213I** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* が *storage pool name* に名前変更されました。

説明: RENAME STGPOOL コマンドが入力されました。ストレージ・プールの名前変更が成功しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2214E** *Command:* 無効なバックアップ・セット名 - *backup set name*。

説明: 示されたコマンドには、無効なバックアップ・セット名が指定されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・セット名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2215E** *Command:* 記述テキストが長すぎます。

説明: 指定された記述テキストが記述テキストの指定が可能なコマンドには長すぎます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

---

ユーザーの処置: 短い記述を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR2216E** *Command:* 装置クラスは順次装置クラスでなければなりません。

説明: コマンドに指定された装置クラスが順次装置クラスではありません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 順次装置クラスを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR2217E** *Command:* 無効なバックアップ・セット保存期間 - *retention value*。

説明: バックアップ・セット・コマンド *command* のサーバー処理は、RETENTION パラメーターに指定した値 (*retention value*) が無効であるために失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 有効な RETENTION 値を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2218E** *Command:* 装置クラスを指定する必要があります。

説明: コマンド *command name* に DEVCLASS パラメーターが指定されていません。 DEVCLASS 値を指定しなければなりません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 有効な装置クラスを指定して、コマンドを再発行してください。サーバーに有効な装置クラスのリストを表示するためには、QUERY DEVCLASS コマンドを実行してください。

---

**ANR2219E** *Command:* ストレージ・プール・クラウド URL が 870 文字を超えています。

説明: 示されたコマンドには、許可された最大長を超えるストレージ・プール・クラウド URL が含まれていません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プール・クラウド URL を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2220W** このコマンドは、ボリューム *volume name* にデータが入っていないことを確認した後で、そのボリュームをストレージ・プールから削除します。

説明: Discarddata=No オプションを指定した

DELETE VOLUME コマンドが入力されました。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: DELETE VOLUME コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2221W** このコマンドにより、結果的にボリューム *volume name* のデータに対するすべてのインベントリ参照が削除されることになり、そのためにデータが回復不能になります。  
削除するボリュームに重複排除されたデータが含まれている場合、サーバーは、このボリューム上に保管されているデータに従属する、ストレージ・プール内にあるすべてのファイルを無効にします。その他のボリューム上のファイルは、損傷のマークが付けられる可能性があり、そのデータにアクセスするときに警告メッセージが示されます。

説明: Discarddata=Yes オプションを指定した DELETE VOLUME コマンドが入力されました。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: DELETE VOLUME コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2222I** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: Discarddata=Yes オプションを指定した DELETE VOLUME コマンドの結果として、示されているボリューム上のデータを削除するために、その ID が表示されているプロセスが開始されました。

システムの処置: サーバーはこのボリューム上のデータを削除します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2223I** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが終了しました - ボリュームはストレージ・プール *storage pool name* から削除されました。

説明: 示されているボリュームのデータを削除するプロセスが終了して、ボリュームが削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2224W** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されているボリュームのデータを削除するプロセスが、ボリュームの削除を準備している時に、取り消されました。

システムの処置: サーバーはボリュームを削除しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2225W** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが終了しました - ボリュームにはまだデータがあります。

説明: 示されているボリュームのデータを削除するプロセスが、ボリュームの削除を準備している時に、終了しました。しかし、このボリュームにはデータが入っています。

システムの処置: サーバーはボリュームを削除しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2226W** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが終了しました - 使用可能な十分な回復ログ・スペースがありません。

説明: 示されているボリュームのデータを削除するプロセスが、ボリュームの削除を準備している時に、回復ログ・スペース不足のために終了しました。

システムの処置: サーバーはボリュームを削除しません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの

ACTIVELOGDIRECTORY、  
ARCHIVELOGDIRECTORY、および

ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルがACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY およびARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY

または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2227W** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが終了しました - 使用可能な十分なメモリーがありません。

説明: 示されているボリュームのデータを削除するプロセスが、ボリュームの削除を準備している時に、メモリー不足のために終了しました。

システムの処置: サーバーはボリュームを削除しません。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2228W** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが終了しました - ロック対立が検出されました。

説明: 示されているボリュームのデータを削除するプロセスが、ボリュームの削除を準備している時に、ロック対立により終了しました。

システムの処置: サーバーはボリュームを削除しません。

ユーザーの処置: 後でこのコマンドを再発行してください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2229W** ボリューム *volume name* のデータ廃棄プロセスが終了しました - 内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: 示されているボリュームのデータを削除するプロセスが、ボリュームの削除を準備している時に、サーバーの内部エラーのために終了しました。

システムの処置: サーバーはこのボリュームを削除しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示し、エラーの原因を示すメッセージを検索してください。

---

**ANR2232W** このコマンドは、ボリューム *volume name* に保管されているすべてのデータを同じストレージ・プール内の他のボリュームに移動します。操作が完了するまで、ユ

ユーザーがデータにアクセスすることはできません。

説明: 示されているボリュームから同じストレージ・プール内の他のボリュームにデータを移動するデータ移動が入力されました。データの移動中は、ユーザーはデータを使用できません。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合には 'Y' を、またこのプロセスを終了する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2233W** このコマンドは、ボリューム *volume name* に保管されているすべてのデータをストレージ・プール *storage pool name* の中の他のボリュームに移動します。操作が完了するまで、ユーザーがデータにアクセスすることはできません。

説明: 示されているボリュームから示されているストレージ・プール内のボリュームにデータを移動するデータ移動が入力されました。データの移動中は、ユーザーがデータを使用することはできません。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合には 'Y' を、またこのプロセスを終了する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2234W** このコマンドはサーバーを停止します。このコマンドがリモート・クライアントから出されたものである場合には、リモート・ロケーションからサーバーを再始動できない場合があります。

説明: HALT コマンドが入力されました。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: サーバーを停止する場合には 'Y' を、またサーバーを活動状態のままにしたい場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2235W** このコマンドは管理者 *adminName* を除去します。この管理者がスケジュールを定義または更新しています。この権限を除去すると、スケジュールが実行されなくなる場合があります。

説明: 管理スケジュールを所有する管理者に対する REMOVE ADMINISTRATOR コマンドが入力されまし

た。このコマンドの続行を確認すると、この管理者によって所有されるスケジュールは、将来実行される時に失敗します。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: REMOVE ADMINISTRATOR コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。管理者によって所有されるスケジュールを処理するには、QUERY SCHEDULE コマンドを使用するか、あるいは ADMIN\_SCHEDULES 表に対して SQL SELECT ステートメントを使用して、管理者によって最後に更新されたスケジュールを判別してください。UPDATE SCHEDULE コマンドを使用して、スケジュールの実行権限をもつ管理者の下でのスケジュールを更新するか、あるいは DELETE SCHEDULE コマンドを使用してスケジュールを除去してください。

---

**ANR2236W** このコマンドは管理者 *adminName* を除去しました。この管理者がスケジュールを定義または更新しています。このスケジュールを除去すると、将来スケジュールが実行されなくなります。

説明: REMOVE ADMINISTRATOR コマンドが入力され、管理者が所有する管理スケジュールを除去しました。これらのスケジュールは、有効な管理者に属していないので、将来実行する時に失敗します。

システムの処置: システムは管理者を除去します。

ユーザーの処置: QUERY SCHEDULE コマンドを使用するか、あるいは ADMIN\_SCHEDULES 表に対して SQL SELECT ステートメントを使用して、管理者によって最後に更新されたスケジュールを判別してください。UPDATE SCHEDULE コマンドを使用して、スケジュールの実行権限をもつ管理者の下でのスケジュールを更新するか、あるいは DELETE SCHEDULE コマンドを使用してスケジュールを除去してください。

---

**ANR2237W** このコマンドは管理者 *adminName* の特権を取り消しました。この管理者がスケジュールを定義または更新しています。これにより、将来スケジュールが実行されなくなります。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドが入力されました。

システムの処置: システムは、権限を除去します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2238W** このコマンドにより、結果的にノード *node name* のパターン *filespace name* と一致するファイル・スペース上のデータに対するすべてのインベントリ参照が削除されることになり、そのためにデータが回復不可能となります。

説明: DELETE FILESPACE コマンドが入力されました。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: DELETE FILESPACE コマンドの処理する場合には 'Y' を、そうでない場合には 'N' を入力してください。

**ANR2239W** このコマンドは管理者 *adminName* の特権を取り消します。この管理者がスケジュールを定義または更新しています。この権限を取り消すと、スケジュールが実行されなくなる場合があります。

説明: REVOKE AUTHORITY コマンドが入力されました。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: REVOKE AUTHORITY コマンドの処理する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力します。

**ANR2240E** *Command:* ストレージ・プール・クラウド ID が 255 文字を超えています。

説明: 示されたコマンドには、許可された最大長を超えるストレージ・プール・クラウド ID が含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プール・クラウド ID を指定して、コマンドを再発行してください。

**ANR2241E** *Command:* ストレージ・プール・クラウド・パスワードが 255 文字を超えています。

説明: 示されたコマンドには、許可された最大長を超えるストレージ・プール・クラウド・パスワードが含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プール・クラウド・パスワードを指定して、コマンドを再発行してください。

**ANR2242E** *Command:* クラウド・ストレージ・プールのクラウド URL に情報が含まれていません。

説明: このコマンドで有効なクラウド URL が指定されていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なクラウド URL を指定して、コマンドを再発行してください。

**ANR2243E** *Command:* クラウド・ストレージ・プール ID を指定してください。

説明: このコマンドには、クラウド・ストレージ・プール ID が必要です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なクラウド・ストレージ・プール ID を指定して、コマンドを再発行してください。

**ANR2244I** 「アクティビティの要約」の整理が開始されました。*date time* より前の項目を除去しています。

説明: 示された日時より古いサーバー・アクティビティ要約レコードをアクティビティの要約から除去しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2245I** 「アクティビティの要約」の整理が完了しました。*number of records* 個のレコードが除去されました。

説明: 期限切れの (要約アーカイブの保持値より古い) すべてのサーバー・アクティビティ要約レコードが除去されました。削除されたレコードの数が示されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2246I** データベース・ボリューム *volume name* のオンラインへの変更プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: VARY ONLINE コマンドへの応答で、示されているプロセス ID を持つプロセスが、示されているデータベース・ボリュームをオンに構成変更するために開始されました。

## ANR2247I • ANR2252S

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2247I** データベース・ボリューム *volume name* がオフラインに変更されました。

説明: VARY OFFLINE コマンドによって、示されているデータベース・ボリュームがオフライン状態にされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2248E** Command: クラウド・ストレージ・プール・パスワードが欠落しています。

説明: このコマンドには、クラウド・ストレージ・プール・パスワードが必要です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なクラウド・ストレージ・プール・パスワードを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2249I** ストレージ・プール *storage pool name* が定義されました。

説明: DEFINE STGPOOL コマンドによって、ストレージ・プールが作成されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2250E** command: ノード *nodename* が廃止されているため、操作は許可されません。

説明: 廃止されたクライアント・ノードからデータをリストアあるいはリトリブすることができるときがありますが、新規データを保管したり、既存のデータを変更したりすることはできません。

システムの処置: 新規データの保管または既存データの変更を試行するクライアント・セッションは、プロトコル・エラーで終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2251S** ストレージ・プール *poolname* の「アクセス」設定が *access* から「UNAVAILABLE」に変更されました。このプールは暗号化に使用可能になっていますが、サーバーのマスター暗号鍵を使用できません。

説明: サーバーにマスター暗号鍵がないか、マスター暗号鍵を使用できません。ストレージ・プールとの間で、暗号化されたストレージ・プールのデータの読み取りまたは書き込みを行うことはできません。

システムの処置: ストレージ・プールの「アクセス」設定が「UNAVAILABLE」に変更されました。

ユーザーの処置: サーバー・パスワード・ファイル *dsmserv.pwd* が存在していて、サーバーによる読み取りが可能であることを確認してください。必要な場合には、バックアップからパスワード・ファイルをリカバリーしてください。

サーバー・パスワードが最近変更された場合は、パスワード・ファイルが変更前のものでないことを確認してください。変更前のものである場合は、SET SERVERPASSWORD コマンドを発行して、サーバー・パスワードを以前の値に再設定します。サーバーを再始動します。サーバーが暗号鍵を読み取ることができる場合は、サーバーにパスワード・ファイルに対する読み取りおよび書き込みアクセスがあることを確認してください。SET SERVERPASSWORD コマンドを再発行して、サーバー・パスワードを再び変更します。

サーバー・パスワード・ファイルをサーバーで使用できるようになった後、サーバーを再始動して、UPDATE STGPOOL コマンドを発行し、「アクセス」設定を元の値に変更します。

---

**ANR2252S** ストレージ・プール *poolname* の「アクセス」設定が *access* から「UNAVAILABLE」に変更されました。このプールは暗号化に使用可能になっていますが、サーバーのマスター暗号鍵が再設定されました。

説明: 暗号化されたストレージ・プールのデータの保護に使用されるマスター暗号鍵が変更されました。おそらくサーバー・パスワード・ファイル *dsmserv.pwd* が削除されたためと考えられます。サーバーは、データの保護に使用される暗号鍵にアクセスできなくなったため、暗号化された既存のデータを読み取ることができません。

システムの処置: ストレージ・プールの「アクセス」設定が「UNAVAILABLE」に変更されました。

ユーザーの処置: サーバー・パスワード・ファイル *dsmserv.pwd* を名前変更して、以前のバージョンのパスワード・ファイルをバックアップからリカバリーします。サーバーを再始動します。UPDATE STGPOOL コマンドを発行して、ストレージ・プールの「アクセス」設定を元の値に変更します。



---

**ANR2253E** *Command:* サーバーのマスター暗号鍵を使用できないため、**ENCRYPT=YES** パラメーターを指定できません。

説明: サーバーのマスター暗号鍵を使用できないため、ストレージ・プールに対して暗号化を使用可能にすることはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、**ENCRYPT=NO** を指定してください。

暗号化が必要な場合は、活動記録ログで、サーバーのマスター暗号鍵またはサーバー・パスワード・ファイルに関連するエラーがないか確認してください。サーバー・パスワード・ファイルからマスター暗号鍵を読み取ることができない原因となっている問題をすべて訂正します。

---

**ANR2254E** *Command:* **SCRATCH=NO** を指定する時には、**VOLUMENAMES** パラメーターを指定する必要があります。

説明: コマンド *Command* の **SCRATCH** パラメーターに **NO** が指定されていますが、**VOLUMENAMES** パラメーターが指定されていません。スクラッチ・ボリュームを使用できない場合には、**VOLUMENAMES** パラメーターを指定してこのコマンドに使用できるボリュームを指示しなければなりません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 有効な **VOLUMENAMES** パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2255E** *Command:* **VOLUMENAMES** パラメーターを指定する必要があります。

説明: このコマンドに使用できるボリュームを指示する **VOLUMENAMES** パラメーターを指定しなければなりません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 有効な **VOLUMENAMES** パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2256E** *Command:* **RETENTION** パラメーターを指定する必要があります。

説明: このコマンドに使用する保存期間を指示する **RETENTION** パラメーターを指定しなければなりません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 有効な **RETENTION** パラメーターを

指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR2257E** *Command:* 管理者 *administrator name* は、ノード *node name* についてこのコマンドを出すことを認可されていません。

説明: 示された管理者が示されたコマンドを入力しましたが、この管理者は、示されたノードについてこのコマンドを実行するために必要な正しい権限を持っていません。注: このメッセージは、サーバー・オプション **REQSYSAUTHOUTFILE YES** が有効となっている結果として出される可能性があります。

システムの処置: サーバーは、示されたノードについてこのコマンドを処理しません。コマンドに複数のノードが指定されている場合には、サーバーは、他のノードについてこのコマンドの処理を続行する場合があります。

ユーザーの処置: 追加情報については、前のメッセージを参照してください。正しく許可された管理者 ID からこのコマンドを出すか、あるいはシステム管理者に連絡して現在の管理者 ID に追加の権限を認可するように依頼してください。

---

**ANR2258E** *Command:* 無効な要約保存期間 - *retention value*。

説明: 無効な保存期間を指定した **SET SUMMARYRETENTION** コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい保存期間を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2259I** 要約保存期間は *number of days* 日に設定されました。

説明: サーバー・データベースに活動記録要約レコードを保存する日数が、**SET SUMMARYRETENTION** コマンドで示された値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2260W** **IBM Spectrum Protect** のバージョンは、このオペレーティング・システムと互換性がありません。

説明: このオペレーティング・システムでこのコマンドを処理することはできません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** と互換性があるオペレーティング・システムを使用して、このコマン

ドを発行してください。IBM Spectrum Protect でサポートされているオペレーティング・システムについては、技術情報 1243309「Overview - IBM Spectrum Protect Supported Operating Systems」(<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21243309>)を参照してください。

---

**ANR2261W** サーバー・パスワード・ファイル *password file name* が見つかりませんでした。新規のマスター暗号鍵が作成され、新規パスワード・ファイルに保管されます。

説明: マスター暗号鍵をパスワード・ファイルから読み取ることができません。ファイルが存在しないためです。

システムの処置: 新規のマスター暗号鍵が作成され、サーバー・パスワード・ファイルに保管されます。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの暗号化が使用中でない場合は、処置は不要です。

既存のストレージ・プールに暗号化されたデータが含まれている場合は、サーバー・パスワード・ファイルをリストアします。暗号化されたストレージ・プール・データの保護に使用されていたマスター暗号鍵を含むバージョンにリストアします。サーバーを再始動します。

---

**ANR2262E** サーバー・パスワード・ファイル *password file name* から読み取ることができません。理由: *error reason*。

説明: サーバーは、サーバー・パスワード・ファイルからマスター暗号鍵を読み取ることができませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: エラーの理由に示されている問題を訂正して、サーバーを再始動します。

---

**ANR2263E** サーバー・パスワード・ファイル *password file name* に書き込むことができません。理由: *error reason*。

説明: サーバーは、サーバー・パスワード・ファイルにマスター暗号鍵を書き込むことができませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: エラーの理由に示されている問題を訂正して、サーバーを再始動します。

---

**ANR2264E** サーバー・パスワード・ファイル *password file name* からの読み取り中に破壊が検出されました。マスター暗号鍵を読み取れません。

説明: サーバーは、マスター暗号鍵を読み取りを試行中に、サーバー・パスワード・ファイル内に破損を検出しました。マスター暗号鍵を読み取れませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: バックアップからパスワード・ファイルをリカバリーします。サーバーを再始動します。

---

**ANR2265E** **SERVERPASSWORD** をブランクにすることはできません。

説明: パスワードが設定されていないと、暗号化が機能しません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバー・パスワードを設定してください。

---

**ANR2266I** 回復ログ・ボリューム *volume name* のオンラインへの変更プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: VARY ONLINE コマンドへの応答で、示されているプロセス ID を持つプロセスが、示されている回復ログ・ボリュームをオンに構成変更するために開始されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2267I** 回復ログ・ボリューム *volume name* がオフラインに変更されました。

説明: VARY OFFLINE コマンドによって、示されている回復ログ・ボリュームがオフライン状態にされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2268W** **ENCRYPTED** 値 *encryption value* は、**CLOUDLOCATION** パラメーターが *cloudlocation value* に更新された際に変更されませんでした。

説明: UPDATE STGPOOL コマンドの **CLOUDLOCATION** 値を変更しても **ENCRYPTION** 値は自動的に変更されません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 暗号化をオフにしたい場合は、**ENCRYPTION** 値を OFF に変更してください。

**ANR2269E** 1 つ以上のストレージ・プールで暗号化が有効にされているため、**SET DBRECOVERY** コマンドで **PROTECTKEYS=NO** パラメーターを指定することができません。

説明: PROTECTKEYS=NO が指定されましたが、1 つ以上のストレージ・プールで暗号化が有効にされているため、SET DBRECOVERY コマンドが失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: PROTECTKEYS=NO パラメーターを指定せずに SET DBRECOVERY コマンドを発行してください。

**ANR2270E** **PROTECTKEYS** パラメーターは使用可能ではありません。

説明: PROTECTKEYS パラメーターを使用可能にする前に、マスター暗号鍵を設定する必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: SET SERVERPASSWORD コマンドを発行して、マスター暗号鍵を設定および保護します。

**ANR2272W** このコマンドを実行すると、ストレージ・プール *stgpool* 内の損傷データに対するすべてのインベントリ参照が削除されます。

説明: REMOVE DAMAGE コマンドが入力されました。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: REMOVE DAMAGE コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

**ANR2273E** コンテナが使用不可のため、保護操作または複製操作が失敗しました。

説明: サーバーは、コンテナ内のデータにアクセスできないため、操作を完了できません。

システムの処置: 操作は失敗し、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 問題の詳細については、サーバーの first-failure data capture (FFDC) ログを参照してください。デフォルトでは、ログの名前は *dsmffdc.log* で、サーバーのインスタンス・ディレクトリ内にあります。AUDIT CONTAINER コマンドを発行して、問題の原因となったコンテナ内のデータを検証します。コマンド結果でコンテナが損傷していることが示された

場合は、REPAIR STGPOOL コマンドを使用してストレージ・プールを修復します。その後、失敗した操作を再試行します。

**ANR2274W** ファイル・スペース *filespace* にバックアップされている VM は廃止されているため、操作が許可されません。

説明: このファイル・スペースは廃止済み VM であるため、このコマンドでは処理されません。

システムの処置: 処理は、リストの次のファイル・システムから続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2275I** データベース・スペース・トリガーが定義されましたが、使用不可能になっています。

説明: データベース・スペース・トリガーが定義されていますが、現在スペース拡張パーセントが 0 に設定されているので、スペース・トリガーが使用不可になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: スペース・トリガーを活動化するには、UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、スペース拡張パーセントを 0 より大きい値に設定します。

**ANR2276W** 管理ユーザー ID *administrator name* がノード名に一致しています。これらの名前が一致していると、統合モードで **Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)** サーバーを使用してユーザーを認証する場合に、パスワード管理の問題が発生する可能性があります。

説明: 統合モードとは、LDAP サーバーに定義された ID を使用して、ユーザーを LDAP サーバーで認証することを意味します。統合モードを使用しており、一致する管理ユーザー ID とノード名がある場合、それらが単一の LDAP ユーザー ID を解決します。この状態で自動パスワード変更を行うと、同じパスワードが 2 回更新される可能性があります。その結果、パスワードが管理ユーザー ID に対して不明になる可能性があります。あるいは、パスワード更新操作が失敗する可能性があります。

システムの処置: システム操作は続行されます。

ユーザーの処置: パスワード管理の問題を回避するには、以下のステップを実行します。1. REMOVE ADMIN コマンドを使用して、指定された管理ユーザー

ID を削除します。例えば、管理者が ADMIN6 である場合、次のコマンドを発行します。 `remove admin admin6` 2. REGISTER ADMIN コマンドを使用して、クライアント所有者操作に別の管理ユーザー ID を登録します。例えば、管理者が ADMIN6 であり、LDAP サーバーを使用して認証したい場合は、次のコマンドを発行します。 `register admin admin6 authentication=ldap` 3. GRANT AUTHORITY コマンドを使用して、新規の管理ユーザー ID にクライアント所有者特権を付与します。例えば、管理者が ADMIN6 であり、ノード名が NODE2 である場合、次のコマンドを発行します。 `grant authority admin6 classes=node authority=owner node=node2`

---

**ANR2280I** フルデータベース・バックアップがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: データベースの内容をバックアップするバックグラウンド・プロセスが開始されました。完全なデータベース・バックアップ処理は、示されているプロセス ID を割り当てられました。

システムの処置: データベース・バックアップ・プロセスが開始され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 管理者は、QUERY PROCESS コマンドを使用してデータベース・バックアップ・プロセスの状況を照会するか、あるいは CANCEL PROCESS コマンドによってこのプロセスを取り消すことができます。

---

**ANR2281I** データベースの増分バックアップがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: データベースの内容をバックアップするバックグラウンド・プロセスが開始されました。データベースの増分バックアップ処理は、示されているプロセス ID を割り当てられました。

システムの処置: データベース・バックアップ・プロセスが開始され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 管理者は、QUERY PROCESS コマンドを使用してデータベース・バックアップ・プロセスの状況を照会するか、あるいは CANCEL PROCESS コマンドによってこのプロセスを取り消すことができます。

---

**ANR2282E** *Command name* は、ストレージ・プール *Stgpool* に対してすでに開始されています。

説明: コンテナ監査プロセスは、ストレージ・プールに対してすでに開始されています。

システムの処置:

ユーザーの処置: 現在のコンテナ監査プロセスが完了

するまで待機してください。

---

**ANR2283E** *Command:* ストレージ・プール・バケット名が **63** 文字を超えています。

説明: 使用できる最大長を超えたストレージ・プール・バケット名がコマンドに含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プール・バケット名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2287I** スナップショット・データベース・バックアップがプロセス *process ID* として開始されました。

説明: データベースの内容をバックアップするバックグラウンド・プロセスが開始されました。スナップショット・データベース・バックアップ処理は、示されているプロセス ID を割り当てられました。

システムの処置: データベース・バックアップ・プロセスが開始され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 管理者は QUERY PROCESS コマンドを使用して開始済みプロセスを照会するか、あるいは CANCEL PROCESS コマンドを使用してこのプロセスを取り消すことができます。

---

**ANR2288I** サブファイルが *state* に設定されました。

説明: このサーバーがクライアントのサブファイルをバックアップできるかどうかを指定するために、SET SUBFILE コマンドが使用されました。CLIENT の値が指定されている場合には、クライアントにサブファイルをバックアップするオプションが与えられます。NO の値が指定されている場合は、クライアントはサブファイルをバックアップできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2289I** ノード *node name* に対する権限として定義された管理ユーザー ID *administrator name* が除去されていません。

説明: 指定された管理者は除去されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2296E** *Command:* ストレージ・プール *pool name* のプール・タイプ *pool type* は、装置クラス *class name* と互換性がありません。

説明: 競合するプール・タイプ・パラメーターと装置クラス・パラメーターを指定して DEFINE STGPOOL コマンドが発行されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 互換性があるプール・タイプと装置クラス名を指定して DEFINE STGPOOL コマンドを再発行してください。ストレージ・プール・タイプと装置クラスの互換性の詳細については、DEFINE STGPOOL コマンドのヘルプを参照してください。

---

**ANR2297I** *Command:* オプション・セット *optionset name*、オプション *option name*、順序番号 *old sequence number* が *new sequence number* に変更されました。

説明: UPDATE CLIENTOPT コマンドに応答して、要求されたオプション順序番号が更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2298I** *Command:* オプション・セット *optionset name*、オプション *option name*、順序番号 *old sequence number* は更新されていません。

説明: UPDATE CLIENTOPT コマンドに応答して、要求されたオプション順序番号が更新されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 有効な旧順序番号で UPDATE CLIENTOPT コマンドを再発行してください。

---

**ANR2299I** 管理者名 *administrator name* のパスワードの有効期限が *number of days* 日間に設定されました。

説明: 変更が必要になる前に使用することができる管理者のパスワードの日数が SET PASSEXP コマンドで指示された値に設定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2300E** サーバー・ヘルプ・ファイル "*file spec*" をオープンできませんでした。

説明: 示されているヘルプ・ファイルにアクセスできませんでした。

システムの処置: 要求されたヘルプ・テキストは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

---

**ANR2301W** 指定されたノードのファイル・スペースが見つかりませんでした。

説明: 指定されたノードにはどれもファイル・スペースがありませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ファイル・スペースを持つノードを少なくとも 1 つ指定してください。

---

**ANR2303E** *section number* という番号のヘルプ・セクションはありません。

説明: HELP コマンドで指定された数値オペランドが 1 より小さいか、またはヘルプ索引の一番大きい番号の項目より大きいかのいずれかです。

システムの処置: サーバーはこの HELP コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: オペランドを指定しない HELP コマンドを実行し、応答で表示された番号付きリスト (ヘルプ索引) から選択してください。

---

**ANR2306E** コマンド/サブコマンドのヘルプ・テキストが見つかりません: *command*

説明: HELP コマンドに入力したオペランドは、コマンド/サブコマンド名は正しいが、ヘルプ・テキストのファイルに指定した項目と一致しません。

システムの処置: サーバーはこの HELP コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

---

**ANR2307E** メッセージのヘルプ・テキストが見つかりません: *message ID*。

説明: ヘルプ・コマンドに入力したメッセージ ID が、ヘルプ・テキストのファイルのメッセージ項目と一致しません。

システムの処置: このヘルプ・コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

---

**ANR2308W** 監査ボリュームがボリューム *volume name* の損傷ファイルに損傷マークを付けています：ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name* は *total versions* バージョンの番号 *version* です。

説明: 示されているボリュームに **FIX=YES** を指定している **AUDIT VOLUME** コマンドの結果として、その情報が表示されているファイルは、サーバーで損傷ありとしてマークされています。このファイルは **COPY** ストレージ・プールにあることが判明しているコピーから回復することができるので、損傷ありとしてマークが付けられています。このファイルが集合に所属する場合には、その集合全体が損傷ありとしてマーク付けされ、集合内のすべてのファイルに対してこのメッセージが出されます。このファイルのバージョン番号は最新 (1) から最旧 (n。ここで、n はバージョンの合計数です。) へと番号が付けられています。

システムの処置: このファイルはサーバー・データベースで損傷ありとしてマークされています。

ユーザーの処置: 損傷のあるファイルを回復するためには、**RESTORE STGPOOL** または **RESTORE VOLUME** コマンドを使用してください。

---

**ANR2310W** このコマンドは、ボリューム *volume name* に対するすべてのインベントリ参照をこのボリュームに実際に保管されているデータと比較して相違点を報告します。操作が完了するまでユーザーがデータにアクセスすることはできません。

説明: **AUDIT VOLUME** コマンドの実行中は、示されているボリューム上のデータをユーザーが使用することはできません。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: このボリュームを監査する場合には 'Y' を、このプロセスを停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2311W** このコマンドは、欠落または矛盾している保管データと関連したボリューム *volume name* に対するすべてのインベントリ参照を破棄し、そのためにデータの回復が不可能になります。ボリューム上の有効なデータは、操作が完了するまでアクセス不能になります。

説明: **AUDIT VOLUME** コマンドの実行中は、示され

ているボリューム上のデータをユーザーが使用することはできません。このコマンドが終了すると、検出された整合性のないデータは破棄されます。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: このボリュームを監査する場合には 'Y' を、このプロセスを停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2312I** ボリューム *volume name* の監査ボリューム (修理) プロセスが開始されました (プロセス **ID** *process ID*)。

説明: 示されているボリュームに **FIX=YES** を指定している **AUDIT VOLUME** コマンドの結果として、その **ID** が表示されているプロセスは、ボリュームの監査を開始しました。

システムの処置: このボリュームが監査され、整合性のないデータは破棄されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2313I** ボリューム *volume name* の監査ボリューム (検査のみ) プロセスが開始されました (プロセス **ID** *process ID*)。

説明: 示されているボリュームに **FIX=NO** を指定している **AUDIT VOLUME** コマンドの結果として、その **ID** が表示されているプロセスは、ボリュームの監査を開始しました。

システムの処置: このボリュームが監査され、整合性のないデータが表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2316W** 監査ボリュームがボリューム *volume name* の損傷ファイルを削除中です。ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name* は *total versions* バージョンの番号 *version* です。

説明: 示されているボリュームに **FIX=YES** を指定している **AUDIT VOLUME** コマンドの結果として、その情報が表示されているファイルはサーバーから削除されます。このファイルのバージョン番号は最新 (1) から最旧 (n。ここで、n はバージョンの合計数です。) へと番号が付けられています。

システムの処置: このファイルは削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2317W** 監査ボリュームがボリューム *volume name* の損傷ファイルを検出しました。ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name* は *total versions* バージョンの番号 *version* です。

説明: 示されているボリュームに **FIX=NO** を指定している **AUDIT VOLUME** コマンドの結果として、その情報が表示されているファイルにエラーが見つかってアクセスすることができません。このファイルが集合に所属する場合には、その集合全体が損傷ありとしてマーク付けされ、集合内のすべてのファイルに対してこのメッセージが出されます。このファイルのバージョン番号は最新 (1) から最旧 (n。ここで、n はバージョンの合計数です。) へと番号が付けられています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2318W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されているボリュームの **AUDIT VOLUME** コマンドの処理中に、監査を実行中のプロセスが取り消されました。

システムの処置: **AUDIT VOLUME** コマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2319W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - 装置の読み取り中にエラー。

説明: 示されているボリュームの **AUDIT VOLUME** コマンドの処理中に、ボリューム上に回復不可能の読み取りエラーが起きました。

システムの処置: **AUDIT VOLUME** コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 読み取りエラーの原因を訂正して、このコマンドを再発行してください。

---

**ANR2320W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - データ転送が中断されました。

説明: 示されているボリュームの **AUDIT VOLUME** コマンドの処理中に、データの転送操作が中断されて続行することができません。

システムの処置: **AUDIT VOLUME** コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を調べて訂正し、このコマンドを再発行してください。

---

**ANR2321W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - ストレージ・メディアはアクセス不能です。

説明: 示されているボリュームの **AUDIT VOLUME** コマンドの処理中に、必要なボリュームをマウントすることができません。

システムの処置: **AUDIT VOLUME** コマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2322W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - 使用可能な十分な回復ログ・スペースがありません。

説明: 示されているボリュームの **AUDIT VOLUME** コマンドの処理中に、サーバーに続行するだけの十分な回復ログ・スペースがありません。

システムの処置: **AUDIT VOLUME** コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できる回復ログ・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR2323W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - 使用可能な十分なデータベース・スペースがありません。

説明: 示されているボリュームの **AUDIT VOLUME** コマンドの処理中に、サーバーに続行するだけの十分なデータベース・スペースがありません。

システムの処置: **AUDIT VOLUME** コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるデータベース・スペースをさらに大きくしてください。

---

**ANR2324W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - スレッド・リソースが使用不可です。

説明: 示されているボリュームの **AUDIT VOLUME** コマンドの処理中に、サーバーが監査処理のスレッドを開始することができません。

システムの処置: AUDIT VOLUME コマンドは終了します。

ユーザーの処置: AUDIT VOLUME コマンドを再発行してください。このエラーが続いて起こった場合には、サーバー・メモリーが不足している可能性があります。

---

**ANR2325W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - 使用可能な十分なメモリーがありません。

説明: 示されているボリュームの AUDIT VOLUME コマンドの処理中に、サーバーにこのコマンドを完了する十分なメモリーがありません。

システムの処置: AUDIT VOLUME コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR2326W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム・プロセスが終了しました - ロック対立が検出されました。

説明: 示されているボリュームの AUDIT VOLUME コマンドの処理中に、サーバーが必要なロックを獲得することができません。

システムの処置: AUDIT VOLUME コマンドは終了します。

ユーザーの処置: コマンドを再発行してください。

---

**ANR2327W** ボリューム *volume name* のボリューム監査処理が終了しました - 内部サーバー・エラーが検出されました。

説明: 示されているボリュームの AUDIT VOLUME コマンドの処理中に、内部サーバー・エラーが起きました。

システムの処置: AUDIT VOLUME コマンドは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2332W** ボリューム *volume name* の AUDIT VOLUME コマンドの実行中に、別のプロセスによってオブジェクト *object.ID* が削除されました。

説明: AUDIT VOLUME コマンドの処理中に、監査中のボリュームからデータ・ストレージ・オブジェクトが削除されました。AUDIT VOLUME プロセスは、指定されたボリューム上にこのオブジェクトを見つけること

ができませんでした。通常、オブジェクトは DELETE FILESPACE コマンドなどのプロセスによって削除されているので、このアクションはエラー条件とは見なされません。

システムの処置: AUDIT VOLUME コマンドの処理は続行します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを調べて、AUDIT VOLUME コマンドの実行中に、オブジェクトを削除することとなった (DELETE FILESPACE コマンドなどの) プロセスが進行中でなかったかどうかを確認してください。そのようなプロセスを識別できない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2333W** ボリューム *volume name* の AUDIT VOLUME によって欠落している情報または間違った情報が検出されました。

説明: AUDIT VOLUME コマンドによって、指定されたボリュームに抜けているかまたは正しくない情報が検出されています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 情報を作成するかまたは訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR2334W** ボリューム *volume name* の AUDIT VOLUME によって欠落している情報または間違った情報が検出されました - 情報は作成または訂正されます。

説明: AUDIT VOLUME プロセスによって、指定されたボリュームに抜けているかまたは正しくない情報が検出されています。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、情報が作成されるかまたは訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2335W** 監査ボリュームが次のものを読み取り中にボリューム *volume name* の入出力エラーを検出しました: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: AUDIT VOLUME プロセスで、指定されたファイルの読み取り時に、指定されたボリュームに入出力エラーが見つかりました。このファイルが集合に所属する場合には、その集合全体が損傷ありとしてマーク付け



され、集合内のすべてのファイルに対してこのメッセージが出されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 可能な場合には、ボリュームの入出力エラーを識別して解決してください。このボリュームの装置が正常に機能していて、このボリュームが使用可能であることを確認してください。例えば、ボリュームがテープ・ボリュームの場合には、別のドライブをテストして、ドライブがクリーンであるか、またテープ・ボリュームが使用可能であるかを確認してください。

---

**ANR2336W** ボリューム *volume name* のボリューム監査が終了しました - 取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイントの数が不足しています。

説明: 示されたボリュームのボリューム監査中に、サーバーが必要なボリュームに十分なマウント・ポイントを割り振ることができませんでした。

システムの処置: ボリューム監査は停止します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR2337W** オブジェクト *Object ID*、**verb** タイプ (*Verb Type*) のヘッダー・サイズを、(*Header Size*) から (*Verb Length*) にリセットします。

説明: ボリュームの監査時に、指定されたオブジェクトのヘッダー・サイズが再計算されました。

システムの処置: FIX=YES が指定されている場合には、オブジェクトのヘッダー・サイズが更新されます。処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2338E** *Diagnostic(ID)*: オブジェクト *ObjectID*、長さ *Data Length* の無効なヘッダーが受信されました。サイズ (*Header Size*)、プッシュ (*Pushed Length*)、スキップ (*Skipped Length*)、状況 (*New Retrieve*)。見つかった長さ (*Verb Length*)、タイプ (*Verb Type*)、サイズ (*Verb Size*)。

説明: ボリュームの監査時に、指定されたオブジェクトに無効なヘッダーが検出されました。メッセージに診断情報が含まれています。

システムの処置: FIX=YES が指定されている場合には、このオブジェクトは損傷ありとしてマークされます。処理を続行します。

ユーザーの処置: このオブジェクトが入っているボリュ

ームまたはストレージ・プールをリストアしてください。

---

**ANR2339E** *Command*: ノード *node name* のオブジェクト・セットがまだ存在しています。

説明: サーバーがまだバックアップ・セットを保管しているノードに対して、REMOVE NODE コマンドが入力されました。ノードを除去するには、そのノードの、サーバーに保管されたファイルまたはバックアップ・セットがあってはなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ノードを除去するには、サーバーからすべてのバックアップ・セットを削除して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2340E** *Command*: 無効なストレージ・プール名 - *storage pool name*。

説明: 示されているコマンドに、正しくないストレージ・プール名が入っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2341E** *Command*: 次のストレージ・プール名が欠落しています。

説明: 示されているコマンドにはストレージ・プール名が必要ですが、何も入力されていません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2342E** *Command*: ストレージ・プール記述が *maximum characters* 文字を超えています。

説明: 示されているコマンドに、使用できる最大長を超えるストレージ・プールの記述が入っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいストレージ・プールの記述を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2343E** *Command*: 無効な装置クラス名 - *device class name*。

説明: 示されているコマンドに、正しくない装置クラス名が入っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

## ANR2344E • ANR2354E

ユーザーの処置: 正しい装置クラス名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2344E** *Command: "option"* オプションは装置クラス *device class name* には無効です。

説明: 示されているコマンドは、示されている装置クラスに属するストレージ・プールに正しくない、示されているオプションを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 装置クラスに適したオプションを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2345E** *Command: 無効なボリューム名 - volume name。*

説明: 示されているコマンドに、正しくないボリューム名が入っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2346E** *Command: ボリューム名 "volume name"* は装置クラス *device class name* には無効です。

説明: 示されているコマンドは、示されている装置クラスで使用できないボリュームの名前を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2347E** *Command: ボリューム名 "volume name"* は不明確です。複数の定義済みボリューム名に解釈されます。

説明: 示されているコマンドが、複数のボリュームと一致するボリューム名パターンを指定して入力されました。このコマンドが処理できるのは、1 つのボリュームだけです。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: より明確なボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2348E** *Command: "option"* オプションは、1 次ストレージ・プールに割り当てられたボリュームには無効です。

説明: 示されているコマンドが、1 次ストレージ・プー

ルのボリュームには正しくないオプションを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 1 次ストレージ・プールのボリュームに有効なオプションを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2350E** *Command: 装置クラス device class name* は既に定義されています。

説明: 示されているコマンドが、既に存在する装置クラスを定義しようとしています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2351E** *Command: 装置クラス device class name* は定義されていません。

説明: 示されているコマンドが、存在しない装置クラスを参照しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2352E** *Command: 装置クラス device class name* を削除することはできません。

説明: DELETE DEVCLASS コマンドはクラス名 DISK を指定していますが、これはシステム定義の装置クラスで削除することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2353E** *Command: 装置クラス device class name* を更新することはできません。

説明: UPDATE DEVCLASS コマンドはクラス名 DISK を指定していますが、これはシステム定義の装置クラスで変更することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2354E** *Command: 装置クラス device class name* はまだ 1 つ以上のストレージ・プールによって、あるいはデータベース・バックアップ、あるいはエクスポート・ボリュームまたはバックアップ・セット・ボリュームによって参照されています。

説明: DELETE DEVCLASS コマンドが、割り当てられ

たストレージ・プールを持つ装置クラスあるいはデータベース・バックアップ、エクスポート・ボリュームまたはバックアップ・セット・ボリュームによって参照されている装置クラスを削除しようとしています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: Q DEVCLASS を出してストレージ・プール参照カウントを表示し、Q STGPOOL を出して装置クラスを参照するプールを判別し、Q VOLHIST を出してデータベース・バックアップまたはエクスポート・ボリュームまたはバックアップ・セット・ボリュームの参照を見つけてください。

---

**ANR2355E** Command: 必須パラメーターが欠落しています - *missing parameter*.

説明: 指定されたサーバー・コマンドが、必須パラメーターなしで入力されました。この必須パラメーターが示されています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2356E** Command: 非互換パラメーターが指定されています - *first parameter*、*second parameter*.

説明: 指定されたサーバー・コマンドが、相互に排他的なパラメーターを指定して入力されました。この 2 つのパラメーターがリストされています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2357E** Command: **DISK** 装置クラスはコピー・ストレージ・プール用にサポートされていません。

説明: DISK の装置を使用して、コピー・ストレージ・プールを定義しようとしています。コピー・ストレージ・プールを割り当てることができるのは、順次装置クラスだけです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 順次装置クラスを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2359E** Command: ボリューム名 "*volume name*" は、**DISK** または **FILE STGPOOL** によって指定しなければなりません。

説明: 指示されたコマンドは、装置クラスのタイプ DISK または FILE に関連付けられているストレージ・プールとともに指定する必要のあるボリュームの名前を指定します。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なボリューム名およびストレージ・プールを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2360E** Command: 装置クラス *device class name* をデータベース・バックアップ用には使用することはできません。

説明: このコマンドは DISK 装置クラスを指定していますが、これはデータベース・バックアップ、バックアップ・トリガー、またはリストア操作には使用できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい装置クラス名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2361E** Command: 完全データベース・バックアップが必要です。

説明: BACKUP DB コマンドで増分バックアップが指定されていますが、完全なバックアップが必要です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: フルバックアップを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2364E** Command: レクラメーション・ストレージ・プール名が欠落しています。

説明: 示されているコマンドにはストレージ・プール名が必要ですが、何も入力されていません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2365I** ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) が削除されました。

説明: バックアップ・セットが削除されました。

システムの処置: サーバーがバックアップ・セットを削除しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2366I** ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) が削除されている場合があります。

説明: DELETE BACKUPSET コマンドの結果として、バックアップ・セットが削除されていることがあります。PREVIEW=YES パラメーターが指定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このバックアップ・セットを削除したい場合には、PREVIEW=YES を指定しないで、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2367I** ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) の保存期間が更新されました。

説明: バックアップ・セットの保存期間が更新されました。

システムの処置: サーバーがバックアップ・セットの保存期間を更新しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2368I** ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) の保存期間が更新されている場合があります。

説明: UPDATE BACKUPSET コマンドの結果として、バックアップ・セットの保存期間が更新されていることがあります。PREVIEW=YES パラメーターが指定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このバックアップ・セットを更新したい場合には、PREVIEW=YES を指定しないで、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2369I** プロセス *process ID* の下でデータベース・バックアップ・ボリュームおよび回復計画ファイルの期限切れプロセスが開始されました。

説明: リモート・サーバーで作成され、期限切れとなっているデータベース・バックアップ・ボリュームおよび回復計画ファイルを除去するために、サーバーが期限切れ処理を開始しました。このメッセージは、サーバーで DRM がライセンスを付与されている場合にのみ出されます。期限切れとなる DB バックアップ・ボリュームは、SET DRMDBBACKUPEXPIREDAYS に指定さ

れた値に基づいています。期限切れとなる回復計画ファイルは、SET DRMRPFEXPIREDAYS に指定された値に基づいています。サーバー・インベントリ期限切れ処理で DB バックアップ・ボリュームおよび回復計画ファイルが削除されるのは、そのボリュームまたは計画ファイルがサーバー間仮想ボリュームで作成されていた場合だけです。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。期限切れプロセスは取り消し可能です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2376I** 回復ログ・スペース・トリガーが定義されましたが、使用不可能になっています。

説明: 回復ログ・スペース・トリガーが定義されていますが、現在スペース拡張パーセントが 0 に設定されているので、スペース・トリガーが使用不可能になっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: スペース・トリガーを活動化するには、UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、スペース拡張パーセントを 0 より大きい値に設定します。

---

**ANR2380E** Command: ストレージ・プール *storage pool name* は定義されていません。

説明: 出されたコマンドで、存在しないストレージ・プールが指定されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。MACRO コマンドを使用してストレージ・プールを定義および更新する場合、必ず、UPDATE STGPOOL コマンドが出される前に DEFINE STGPOOL コマンドをコミットしてください。

---

**ANR2381E** Command: ストレージ・プール *storage pool name* は既に定義されています。

説明: DEFINE STGPOOL コマンドが、既に存在するストレージ・プールの名前を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2382E** Command: ストレージ・プール *storage pool name* には、まだ少なくとも 1 つのボリュームが入っています。

説明: DELETE STGPOOL コマンドが、割り当てられ

たボリュームを持っているストレージ・プールを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このストレージ・プールに属しているボリュームを削除してコマンドを再発行してください。

**ANR2383E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は現在クライアントまたはデータ・マネージメント操作 (またはその両方) によって使用中です。

説明: 示されているコマンドは、使用中のストレージ・プールを参照しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でこのコマンドを再発行してください。

**ANR2384E** *Command:* 次のストレージ・プール、またはレクラメーション処理ストレージ・プール *storage pool name* がサイクルをストレージ・プール・チェーンに導きます。

説明: DEFINE STGPOOL または UPDATE STGPOOL コマンドが、結果的に処理されるプールを指定する、次のストレージ・プールを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 別の次のプールの値を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2385E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は、他の 1 つ以上の次またはレクラメーション処理プールとして使用中です。

説明: DELETE STGPOOL コマンドが、他のストレージ・プールの次のプールまたはレクラメーション処理プールであるプールを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、他のストレージ・プールを更新し、削除されるプールを参照しないようにしてコマンドを再発行してください。

**ANR2386E** *Command:* マイグレーション開始しきい値 (高しきい値) は、マイグレーション停止しきい値 (低しきい値) 以上になるように設定しなければなりません。

説明: DEFINE または UPDATE STGPOOL コマンドで、ストレージ・プールのマイグレーション停止しきい値 (LOWMIG) パラメーターをマイグレーション開始し

きい値 (HIGHMIG) より大きく設定しようとした。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: マイグレーション停止しきい値をマイグレーション開始しきい値に等しいかそれより小さくなるように指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2387E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は 1 次プールではありません。

説明: 示されているコマンドが、1 次プール以外のストレージ・プールの名前を指定しています。コマンドの構文では、1 次ストレージ・プール名を指定する必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい 1 次ストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2388E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は *copy or an active-data pool type* のプールではありません。

説明: 示されているコマンドが、コピー・プールまたは活動データ・プール以外のストレージ・プールの名前を指定しています。コマンド構文では、コピー・ストレージ・プール名または活動データ・プール名を指定する必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なコピー・ストレージ・プール名または活動データ・プール名を指定してコマンドを出し直してください。

**ANR2389E** *Command:* "option" オプションは 1 次ストレージ・プールには無効です。

説明: 示されているコマンドが、1 次ストレージ・プールには正しくないオプションを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 1 次ストレージ・プールに適したオプションを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2390E** *Command:* "option" オプションは *pool type* ストレージ・プールには無効です。

説明: 示されているコマンドが、コピー、活動データ、またはコピー・コンテナのストレージ・プール・タイプに無効なオプションを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 指定されたストレージ・プール・タイプに適したオプションを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR2391E** *Command:* サーバーが装置構成情報を *file name* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが指定されたファイル名に書き込むことができないので、BACKUP DEVCONFIG コマンドは正常に完了しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバーが示されているファイルに書き込む正しい権限を持っていて、このファイルのファイル・システムに使用可能な十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。

---

**ANR2392E** *Command:* 装置構成情報を *file name* に書き込む際に内部エラーが起きました。

説明: サーバーが指定されたファイル名に書き込むことができないので、BACKUP DEVCONFIG コマンドは正常に完了しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバー・コンソールにこのメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。サーバーが示されているファイルに書き込む正しい権限を持っていて、このファイルのファイル・システムに使用可能な十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。

---

**ANR2393I** *Command:* サーバーの装置構成情報が *file name* に書き込まれました。

説明: このメッセージは BACKUP DEVCONFIG コマンドへの応答で表示され、装置構成情報が示されているファイル名に正常に書き込まれたことを示しています。

システムの処置: サーバーは装置構成情報を指定されたファイル名に記録します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2394I** *Command:* サーバーの装置構成情報がすべての装置構成ファイルに書き込まれました。

説明: このメッセージは BACKUP DEVCONFIG コマンドへの応答で表示され、装置構成情報がサーバー・オプション・ファイルに指定されたすべてのファイルに正常に書き込まれたことを示しています。

システムの処置: サーバーは装置構成情報を装置構成ファイルに記録します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2395I** *Command:* 装置構成ファイルが自動記録用に定義されていません - 装置構成ファイルの名前を指定してください。

説明: このメッセージは BACKUP DEVCONFIG コマンドへの応答で表示され、オプション・ファイルにファイルが指定されていないので、装置構成情報を書き込むことができないことを示しています。

システムの処置: 装置構成情報は書き込まれません。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 装置構成情報を記録したいファイルの名前を指定して BACKUP DEVCONFIG コマンドを再発行してください。必要な場合には、DEVCONFIG オプションで自動的に更新してサーバーを再始動するファイルを構成することができます。

---

**ANR2396E** *Command:* 装置構成情報を 1 つ以上の定義済み構成ファイルに書き込む際に入出力エラーが起きました。

説明: サーバーが定義された 1 つ以上の装置構成ファイルに書き込むことができないので、BACKUP DEVCONFIG コマンドは正常に完了しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバー・コンソールにこのメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。サーバーが示されているファイルに書き込む正しい権限を持っていて、このファイルのファイル・システムに使用可能な十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。

---

**ANR2397E** *Command:* 装置構成情報を 1 つ以上の定義済み構成ファイルに書き込む際に内部サーバー・エラーが起きました。

説明: サーバーが定義された 1 つ以上の装置構成ファイルに書き込むことができないので、BACKUP DEVCONFIG コマンドは正常に完了しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバー・コンソールにこのメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。問題を解決できない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2398E** *Command:* 装置構成ファイルの中に無効な構文のステートメントが入っています。

説明: 装置構成情報を処理している時に、正しくないステートメントが見つかりました。

システムの処置: サーバーは実行中の操作を終了します。

ユーザーの処置: 装置構成ファイルを手操作で作成している場合には、サーバー・コンソールのこのメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べて、問題を訂正してください。ステートメントが正しい順序になっていることを確認してください。サーバーに装置構成ファイルを自動的に作成させている場合には、サーバーを再始動し、BACKUP DEVCONFIG コマンドを実行して装置構成ファイルを再表示して操作をやり直してください。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2399E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は順次プールではありません。

説明: 示されているコマンドが、順次プールでないストレージ・プールの名前を指定しています。すべてのストレージ・プールは、固定ディスクか順次アーカイブのいずれかです。すべての磁気テープ装置は、光装置クラスやファイル装置クラスとともに順次です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な順次ストレージ・プール名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2400E** *Command:* ボリューム *volume name* は、ストレージ・プールに既に定義されているか、前にエクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ情報を保管するために使用されています。

説明: 示されているコマンドは、既に存在するかあるい

はサーバー・ボリューム・ヒストリー・ファイルに記録されているサーバー・エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ情報を保管するために使用されているストレージ・プールのボリュームの名前を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 使用中でない、ストレージ・プールに定義されていない、前に (サーバー・ボリューム・ヒストリー情報に記録されている) エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作に使用されていないボリュームを指定してください。サーバー・ストレージ・プールに定義されているボリュームの名前を表示するためには、QUERY VOLUME コマンドを使用してください。エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作に使用されているボリュームの名前を表示するためには、QUERY VOLHISTORY コマンドを使用してください。

---

**ANR2401E** *Command:* ボリューム *volume name* はストレージ・プールに定義されていません。

説明: 示されているコマンドが、存在していないストレージ・プールのボリュームの名前を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2402E** *Command:* ボリューム *volume name* は既にオンラインです。

説明: VARY ONLINE コマンドで、既にオンラインになっているボリュームの名前を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2403E** *Command:* ボリューム *volume name* はオンラインではありません。

説明: 示されているコマンドで、オンラインになっていないボリュームの名前が指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2404E** *Command:* ボリューム *volume name* は使用不可です。

説明: 示されているコマンドが、検出できないボリュームにアクセスしようとしています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

## ANR2405E • ANR2416E

ユーザーの処置: ボリューム名のつづりを調べて、つづりが正しいことを確認してください。 ボリュームが存在しない場合には、サーバーが実行しているオペレーティング・システムに適した方法で再割り振りしてください。

---

**ANR2405E** *Command:* ボリューム *volume name* は現在クライアントまたはデータ・マネージメント操作 (またはその両方) によって使用中です。

説明: 示されているコマンドは、現在使用中のデータ・ストレージ・ボリュームの名前を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: QUERY VOLHISTORY コマンドを発行して、ボリュームが使用不可になっていることをチェックします。ボリュームがコマンドの出力にリストされていれば、そのボリュームは使用されていて使用不可です。対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、この操作をやり直してください。 ボリュームが現在マウントされているがアイドル状態である場合には、DISMOUNT VOLUME コマンドを使用してそのボリュームを取り外してから、操作をやり直します。

---

**ANR2406E** *Command:* ボリューム *volume name* にまだデータが入っています。

説明: 示されたコマンドは、データを含んでいるデータ・ストレージ・ボリュームを削除しようとしています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2407W** ストレージ・プール STGPOOL でストレージ・プール・ディレクトリー STGPOOLDIRECTORY のエラー *Error* が見つかりました。

説明: サーバーは、指定されたディレクトリーへのアクセス中にエラーを検出しました。

システムの処置: 該当する場合は、別のディレクトリーで操作が試行されます。

ユーザーの処置: 警告を評価して、適切な修正アクションを実行してください。

---

**ANR2410E** *Command:* ボリューム *volume name* にアクセスできません - アクセス・モードが「選択不可能」に設定されています。

説明: 示されているコマンドによって、その名前が表示されているボリュームが指定されていますが、その状況

が使用不可であるために、このボリュームにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ボリュームの状況をリセットしてコマンドを再発行してください。

---

**ANR2411E** *Command:* 関連ボリューム *volume name* にアクセスできません - アクセス・モードが「選択不可能」に設定されています。

説明: 示されているコマンドは (コマンドで指定されたボリュームからデータがこのボリュームにスパンされるので) その名前が表示されているボリュームにアクセスする必要がありますが、その状況が使用不可であるために、示されているボリュームにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ボリュームの状況をリセットしてコマンドを再発行してください。

---

**ANR2412E** *Command:* ボリューム *volume name* の監査操作は既に進行中です。

説明: コマンドで、現在ボリューム監査操作で使用されているボリュームが指定されました。

システムの処置: このコマンドが MOVE NODEDATA コマンドである場合、サーバーはこのボリュームをスキップして、他のボリュームのノード・データの移動を続行します。 その他のコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ボリューム監査操作が終了した後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2414E** *Command:* ボリューム *volume name* の削除操作は既に進行中です。

説明: コマンドで、現在ボリュームの削除操作で使用されているボリュームが指定されました。

システムの処置: このコマンドが MOVE NODEDATA コマンドである場合、サーバーはこのボリュームをスキップして、他のボリュームのノード・データの移動を続行します。 その他のコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ボリューム削除操作が終了した後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2416E** *Command:* ボリューム *volume name* のデータ移動操作は既に進行中です。

説明: コマンドで、現在データ移動操作で使用されているボリュームが指定されました。

システムの処置: このコマンドが MOVE NODEDATA



コマンドである場合、サーバーはこのボリュームをスキップして、他のボリュームのノード・データの移動を続行します。その他のコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: データ移動処理が終了した後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2418E** *Command:* ボリューム *volume name* のマイグレーション操作は既に進行中です。

説明: コマンドで、現在マイグレーション操作で使用されているボリュームが指定されました。

システムの処置: このコマンドが MOVE NODEDATA コマンドである場合、サーバーはこのボリュームをスキップして、他のボリュームのノード・データの移動を続行します。その他のコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: マイグレーションが終了した後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2420E** *Command:* ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーション操作は既に進行中です。

説明: コマンドで、現在レクラメーション操作で使用されているボリュームが指定されました。

システムの処置: このコマンドが MOVE NODEDATA コマンドである場合、サーバーはこのボリュームをスキップして、他のボリュームのノード・データの移動を続行します。その他のコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: レクラメーションの終了後にコマンドを再発行してください。

---

**ANR2422E** *Command:* ボリューム *volume name* は定義済みディスク・ボリュームではありません。

説明: 示されているコマンドによって、既知のディスク・ボリュームと一致しないボリューム名が指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2423E** *Command:* ボリューム *volume name* はまだオンラインです。

説明: UPDATE VOLUME コマンドによって、まだオンラインになっているディスク・ボリュームに access=unavailable が指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: VARY OFFLINE コマンドを実行し

て、UPDATE VOLUME コマンドを再発行してください。

---

**ANR2424E** *Command:* ボリューム *volume name* にアクセスできません - アクセス・モードが「破棄済み」に設定されています。

説明: 示されているコマンドによって、その名前が表示されているボリュームが指定されていますが、その状況が破損であるために、このボリュームにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ボリュームの状況をリセットしてコマンドを再発行してください。

---

**ANR2425E** *Command:* ボリューム *volume name* にアクセスできません - アクセス・モードが「オフサイト」に設定されています。

説明: 示されているコマンドによって、その名前が表示されているボリュームが指定されていますが、その状況がオフサイトであるために、このボリュームにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ボリュームの状況をリセットしてコマンドを再発行してください。

---

**ANR2426I** ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) が定義されています。

説明: 示されたノードについてバックアップ・セットが定義されています。

システムの処置: サーバーはバックアップ・セットを定義しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2427E** ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) が削除されませんでした。装置クラス *device class name* が見つかりません。

説明: 生成するために使用された装置クラスが見つからなかったため、指定されたバックアップ・セットが削除されませんでした。

システムの処置: バックアップ・セットは削除されていません。

ユーザーの処置: 装置クラスが不注意に削除された場合

には、再定義してからバックアップ・セットを再び削除してください。

---

**ANR2428E** エラー *error code* のために、ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) は削除されませんでした。

説明: バックアップ・セットは削除されていません。

システムの処置: サーバーはバックアップ・セットを削除していません。

ユーザーの処置: 関連するエラー・メッセージを調べてください。

---

**ANR2433E** *Command:* データベースの定義、削除、拡張、削減、またはバックアップ操作は既に進行中です。

説明: データベースを変更しあるいはバックアップするコマンドが既に活動状態の時に、示されているコマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 他の活動が終了するまで待ってからコマンドを再発行してください。

---

**ANR2439E** *Command:* データベース・ボリューム *volume name* をオフラインに変更することができません - ミラー保護されたコピーが同期化されていません。

説明: VARY OFFLINE コマンドが入力されましたが、構成変更するこのボリュームのミラーが最新のものではありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後で (データベース・ボリュームが同期化された後で) コマンドをやり直してください。

---

**ANR2440E** *Command:* データベース・ボリューム *volume name* をオフラインに変更することができません - コピーのみ。

説明: VARY OFFLINE コマンドが入力されましたが、データベース・ボリュームにミラーがないので、このボリュームにはデータのコピーが入っているだけです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2444E** *Command:* 回復ログの定義、削除、拡張、または削減操作は既に進行中です。

説明: 回復ログを変更するコマンドが既に活動状態の時に、示されているコマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 他の活動が終了するまで待ってからコマンドを再発行してください。

---

**ANR2451E** *Command:* 回復ログ・ボリューム *volume name* をオフラインに変更することができません - コピーのみ。

説明: VARY OFFLINE コマンドが入力されましたが、回復ログ・ボリュームにミラーがないので、このボリュームにはデータのコピーが入っているだけです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2455E** *Command:* 関連ボリューム *volume name* にアクセスできません - アクセス・モードが「破棄済み」に設定されています。

説明: 指定されたコマンドは (コマンドで指定されたボリュームからデータがこのボリュームにスパンされるので) その名前が表示されているボリュームにアクセスする必要がありますが、その状況が破棄済みになっているので、示されているボリュームにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ボリュームの状況をリセットしてコマンドを再発行してください。

---

**ANR2456E** *Command:* 関連ボリューム *volume name* にアクセスできません - アクセス・モードが「オフサイト」に設定されています。

説明: 示されているコマンドは (コマンドで指定されたボリュームからデータがこのボリュームにスパンされるので) その名前が表示されているボリュームにアクセスする必要がありますが、その状況がオフサイトになっているので、示されているボリュームにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ボリュームの状況をリセットしてコマンドを再発行してください。

---

**ANR2457E** *Command:* 1 次ストレージ・プール *primary pool name* のコピー・ストレージ・プール *copy pool name* へのバックアップは既に進行中です。

説明: 示されているコマンドによって、既に進行中のバックアップ操作が指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 現行のバックアップ操作が終了した後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2458E** *Command:* 1 次ストレージ・プール *primary pool name* (またはそのストレージ・プール中のボリューム) のリストアは既に進行中です。

説明: 示されているストレージ・プールにかかわるリストア操作は既に進行中であるため、示されているコマンドを処理することはできません。示されているストレージ・プールの **RESTORE STGPOOL** コマンドが進行中であるか、または示されているストレージ・プールに属するボリュームの **RESTORE VOLUME** コマンドが進行中です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 現行のリストア操作が終了した後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2459E** *Command:* ボリューム *volume name* を更新することができません - そのボリュームを呼び出すリストア操作が進行中です。

説明: 示されているボリュームのアクセス・モードが破損になっています。示されているボリュームの内容をリストアする **RESTORE STGPOOL** コマンドまたは **RESTORE VOLUME** コマンドが進行中です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、リストア処理を取り消してこのボリュームを更新してください。

---

**ANR2460E** *Command:* サーバーが順次ボリューム・ヒストリー情報を *File name* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが指定されたファイル名に書き込むことができないので、**BACKUP VOLHISTORY** コマンドは正常に完了しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバーが示されているファイルに書き込む正しい権限を持っていて、このファイルのファイル・システムに使用可能な十分なスペースがあることを

確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。

---

**ANR2461E** *Command:* 順次ボリューム・ヒストリー情報を *file name* に書き込む際に内部エラーが起きました。

説明: サーバーが指定されたファイル名に書き込むことができないので、**BACKUP VOLHISTORY** コマンドは正常に完了しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバー・コンソールにこのメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。サーバーが示されているファイルに書き込む正しい権限を持っていて、このファイルのファイル・システムに使用可能な十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。

---

**ANR2462I** *Command:* サーバーの順次ボリューム・ヒストリー情報は *file name* に書き込まれていました。

説明: このメッセージは **BACKUP VOLHISTORY** コマンドへの応答で表示され、順次ボリューム・ヒストリー情報が示されているファイル名に正常に書き込まれたことを示しています。

システムの処置: サーバーは順次ボリューム・ヒストリー情報を指定されたファイル名に記録します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2463I** *Command:* サーバーの順次ボリューム・ヒストリー情報はすべての構成済みヒストリー・ファイルに書き込まれています。

説明: このメッセージは **BACKUP VOLHISTORY** コマンドへの応答で表示され、順次ボリューム・ヒストリー情報がサーバー・オプション・ファイルに指定されたすべてのファイルに正常に書き込まれたことを示しています。

システムの処置: サーバーは順次ボリューム・ヒストリー情報を構成されたファイルに記録します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2466E** *Command:* 順次ボリューム・ヒストリー情報を 1 つ以上の定義済みボリューム・ヒストリー・ファイルに書き込む際に、内部サーバー・エラーが起きました。

説明: サーバーが定義された 1 つ以上のボリューム・ヒストリー・ファイルに書き込むことができないので、BACKUP VOLHISTORY コマンドは正常に完了しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバー・コンソールにこのメッセージの前に表示されたエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。問題を解決できない場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR2467I** *Command:* number of entries deleted 個の順次ボリューム・ヒストリー項目が正常に削除されました。

説明: DELETE VOLHISTORY コマンドによって、示されている項目数が正常に削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2468E** *Command:* サーバー順次ボリューム・ヒストリー情報を削除する際に、内部サーバー・エラーが起きました。

説明: 内部サーバー・エラーが検出されたので、DELETE VOLHISTORY コマンドは実行されません。

システムの処置: DELETE VOLHISTORY コマンドは実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 活動記録ログまたはサーバー・コンソールのこのエラーの前に表示されたメッセージを見て、エラーを解決できるかどうかを調べてください。このエラーを解決できない場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR2469E** *Command:* 無効なボリューム・ヒストリー・タイプ: history type。

説明: TYPE= パラメーターに正しくない順次ボリューム・ヒストリー・タイプが指定されているので、このコマンドは実行されませんでした。

システムの処置: このコマンドは実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効な TYPE 値を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2472E** *Command:* 無効なボリュームが指定されました: volume name。

説明: 指定された順次ヒストリー・ボリュームが DB DUMP、DB BACKUP、または EXPORT ボリュームではないので、このコマンドは実行されませんでした。

システムの処置: このコマンドは実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2473I** ボリューム volume name の Command が完了しました。

説明: コマンドが完了して、ボリューム・ヒストリー・ファイルが更新されました。

システムの処置: サーバーは順次ボリューム・ヒストリー情報を記録します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2474E** *Command:* 入力ボリューム名を VOLumenames= パラメーターとして指定しなければなりません。

説明: VOLumenames パラメーターで入力ボリューム名が指定されていないので、このコマンドは実行されませんでした。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 一部のプラットフォームまたは特定の装置クラスでは、サーバーが入力用の取り外し可能メディア・ボリュームのマウントをプロンプトできないので、必要なボリュームの名前をコマンドに指定しなければなりません。入力用にマウントするボリュームの名前を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2475E** *Command:* ファイル file name をオープンできません。

説明: 指定されたファイル (使用するボリュームのリストを入れる) をオープンできないので、DSMSERV コマンドを正常に完了することができませんでした。

システムの処置: DSMSERV コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: DSMSERV コマンドで指定したファイル名を調べてください。必要な場合には、存在していてサーバー・プログラムがアクセスできるファイルの名前が指定されるように、指定を訂正してください。これを訂正できる場合には DSMSERV コマンドを再発行してください。このエラーを解決できない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2476I** ライセンス・ストレージ監査は使用不可能になっています。使用可能な出力はありません。

説明: ライセンス・ストレージ占有機能が現在使用不可能です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ストレージ占有結果を入手するためには、サーバー・オプション・ファイルから NOAUDITSTORAGE または AUDITSTORAGE NO オプションを除去して、サーバーを再始動してから、AUDIT LICENSES コマンドを実行してください。

---

**ANR2477I** ライセンス・ストレージ監査が実行不能です。ストレージ値が期限切れになっている可能性があり、無視されます。

説明: ライセンス・ストレージ占有機能が現在使用不可能です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ストレージ占有結果を入手するためには、サーバー・オプション・ファイルから NOAUDITSTORAGE または AUDITSTORAGE NO オプションを除去して、サーバーを再始動してから、AUDIT LICENSES コマンドを実行してください。

---

**ANR2478E** *Command:* このセッションでコマンドを実行することはできません。

説明: 示されたコマンドは、それが呼び出されたセッションではサポートされていません。例えば、DEFINE CURSOR コマンドは、サーバーの主コンソールから呼び出すことはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このコマンドは、標準管理者セッションから呼び出さなければなりません。

---

**ANR2479E** *Command:* 無効な SQL カーソル名 - SQL cursor name。

説明: 示されているコマンドには、無効な SQL カーソル名が含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な SQL カーソル名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2480E** *Command:* SQL カーソル名 SQL cursor name は既に定義済みです。

説明: 示されたコマンドは、既に定義されている SQL カーソル名を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 別のカーソル名を指定してコマンドをやり直してください。

---

**ANR2481E** *Command:* SQL カーソル名 SQL cursor name が定義されていません。

説明: 示されたコマンドは、定義されていない SQL カーソル名を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: DEFINE CURSOR コマンドを使用して、まずカーソルを定義してください。

---

**ANR2482E** *Command:* SQL カーソル SQL cursor name は既にオープンされています。

説明: 示されたコマンドは、SQL カーソルが既にオープンされているので失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: CLOSE CURSOR コマンドを使用して、まず現行カーソルをクローズしてください。

---

**ANR2483E** *Command:* 現在 SQL カーソルがオープンされていません。

説明: 示されたコマンドは、SQL カーソルが現在オープンされていないので失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: OPEN CURSOR コマンドを使用して、まずカーソルをオープンしてください。

---

**ANR2484E** *Command:* 無効な SQL 日付/時刻の表示形式 - SQL date-time display format name

説明: 示されているコマンドには、無効な SQL 日付/時刻表示形式名が含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な SQL 日付/時刻形式名でコマンドを再発行してください。

---

---

**ANR2485E** *Command:* 無効な SQL 表示形式 - SQL display format name.

説明: 示されているコマンドには、無効な SQL 表示形式名が含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な SQL 表示形式名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2486E** *Command:* 無効な SQL 文字算術モード - SQL arithmetic mode.

説明: 示されているコマンドに、無効な SQL 算術モード名入っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な SQL 演算モード名でコマンドを再発行してください。

---

**ANR2487E** *Command:* SQL 式が必要です。

説明: 示されているコマンドでは、SQL キーワード・パラメーターを使用して SQL 式を指定する必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: SQL 式を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2488W** リスト・ファイル list file name をオープンできません。

説明: サーバーは、順次ファイル・リストの読み取りまたは書き込みを実行しようとしているときに、指定の名前のファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: サーバーは、リスト・ファイルを使用しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。OUTFILE ファイルの場合には、サーバーが示されているファイルに書き込む正しい権限を持っていることを確認し、このファイルのファイル・システムに十分なスペースがあることを確認してください。OS/390 および z/OS では、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。

---

**ANR2489W** ボリューム・リスト・ファイル volume list file name に書き込んでいる時にエラーが見つかりました。

説明: ボリューム・リストの順次ファイルに書き込もうとしている時に、名前を指定されたファイルでエラーが

起こりました。ボリュームは完全ではなく、入力に使用してはなりません。

システムの処置: サーバーは、ファイルへの書き込みを停止します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。表示のファイルに書き込む適正な権限がサーバーに存在すること、およびこのファイルのファイル・システムに十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、サーバーにこのデータ・セットに書き込む権限があることを確認してください。コンソール・メッセージ、QUERY VOLHISTORY コマンド、またはボリューム・ヒストリー・ファイル (使用されている場合) からボリューム・リストを入手してください。

---

**ANR2490E** *Command:* NODENAMES と SERVERNAMES パラメーターの両方を同じコマンドに指定することはできません。

説明: ノード名パラメーターとサーバー名パラメーターの両方が指定されていたので、示されたコマンドは失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 1 つ以上のノードのため、あるいは 1 つ以上のサーバーのためにアクションを実行するかどうかを決定してから、正しいパラメーターだけを指定してコマンドを再入力してください。

---

**ANR2491I** volume name プロセス ID process ID に対してボリューム作成処理が開始中です。

説明: SIZE=xxx パラメーターが指定された DEFINE VOLUME コマンドの結果として、新規ボリュームが作成されています。ID が表示されたプロセスが、示されたボリュームの作成を開始しました。

システムの処置: サーバーはボリュームを作成し、サーバーに追加します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2500I** スケジュール schedule name がポリシー・ドメイン domain name に定義されました。

説明: このメッセージは DEFINE SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。schedule name という名前のスケジュールが、サーバー・データベースの domain name という名前のポリシー・ドメインに定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2501I** スケジュール *schedule name* がポリシー・ドメイン *domain name* から削除されました。

説明: このメッセージは DELETE SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。 *schedule name* という名前のスケジュールがサーバー・データベースの *domain name* という名前のポリシー・ドメインから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2502I** スケジュール *schedule name* がポリシー・ドメイン *domain name* の中で更新されました。

説明: このメッセージは UPDATE SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。 *schedule name* という名前のスケジュールが、サーバー・データベースの *domain name* という名前のポリシー・ドメインで更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2503I** ドメイン *domain name* の中のスケジュール *schedule name* がドメイン *new domain name* の中のスケジュール *new schedule name* にコピーされました。

説明: このメッセージは COPY SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。 ポリシー・ドメイン *domain name* の *schedule name* という名前のスケジュールが、*new domain name* という名前のポリシー・ドメインの *new schedule name* という名前のスケジュールにコピーされました。 ノードの関連はコピーされていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2504I** スケジュール *schedule name* が削除されました。

説明: このメッセージは DELETE SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。 *schedule name* という名前のスケジュールがサーバー・データベースから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2505I** *number of schedules* 個のスケジュールが *command* 用に定義されています。

説明: 出された *command* に対して、*number of schedules* が生成されており、ノードが正常に関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この数値が必要な数値より小さい場合は、DEFINE CLIENTACTION コマンドに指定された *nodeList* と *domainList* の組み合わせを調べてください。 スケジュールは、*nodeList* 中の少なくとも 1 つのノードが *domainList* 中のドメイン内に存在している場合に生成されます。

---

**ANR2506I** ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* に関連付けられたノード *node name* が処理されました。  
**rc=return code.**

説明: このメッセージは DEFINE CLIENTACTION WAIT=YES コマンドへの応答で表示されます。 ポリシー・ドメイン *domain name* の *schedule name* という名前のスケジュールと関連付けられているノード *node name* が処理されました。 結果は戻りコード *return code* で示されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 戻りコードが非ゼロの場合には、QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示し、エラー・メッセージを検索してください。 エラーが解決された後で、スケジュールされた操作を再開してください。

---

**ANR2507I** ノード *node name* に対して *start timestamp* に開始されたドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* は、*timestamp* に正常に完了しました。

説明: 指定の *domain name* および *schedule name* に対してスケジュールした操作が処理されました。 これは、ノード *node name* について処理され、示された時刻に正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは、スケジュールされたクライアント・アクションの完了状態を報告するためのものです。 このメッセージは、スケジュール・アクションが正常に完了したことを示しています。

---

**ANR2508E** Trace Tsmtrcfm に失敗しました。トレース・ファイル名が必要です。

説明: Trace Tsmtrcfm はコンソールに出力しません。

システムの処置: トレースは、Trace Tsmtrcfm にトレース・ファイル名を指定しなければ開始しません。

ユーザーの処置: トレース・ファイル名を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2509E** Command: 無効な仮想ファイル・スペース名 - *vfs name*。

説明: 使用できる長さ以上の仮想ファイル・スペース名を指定して、示されているサーバー・コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な仮想ファイル・スペース名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2510I** ノード *node name* はポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* と関連しています。

説明: このメッセージは DEFINE ASSOCIATION コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* がポリシー・ドメイン *domain name* の *schedule name* という名前のスケジュールと関連付けられています。スケジュール *schedule name* は、ノード *node name* に適用されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2511I** ノード *node name* はポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* とは無関係です。

説明: このメッセージは DELETE ASSOCIATION コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* は、既にポリシー・ドメイン *domain name* の *schedule name* という名前のスケジュールと関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2512I** イベント・レコードが削除されました: *record count*。

説明: このメッセージは DELETE EVENT コマンドへの応答で表示されます。合計 *record count* のイベント・レコードがデータベースから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2513I** スケジュール *schedule name* がスケジュール *new schedule name* にコピーされました。

説明: このメッセージは COPY SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。 *schedule name* という名前のスケジュールが *new schedule name* という名前の新規スケジュールにコピーされています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2514E** Command: 仮想ファイル・スペース名 *vfs name* が **Network Attached Storage (NAS)** 装置のファイル・スペースの名前と重複しています。

説明: 指定されたサーバー・コマンドは、NAS 装置上の File スペースと同名の仮想ファイル・スペースを使用して入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: この NAS 装置の仮想ファイル・スペース・マッピングに、NAS 装置上に存在する実際のファイル・スペースと同じ名前がないことを確認してください。

---

**ANR2515I** Command: ノード *node name* に対する *vfs name* という名前の仮想ファイル・スペース・マッピングが定義されました。

説明: DEFINE VIRTUALFSMAPPING コマンドに回答して、指定されたノード用の仮想ファイル・スペース・マッピングが、サーバー・データベース内で定義されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2516E** Command: 指定されたファイル・スペース *fs name* は、ノード *node name* に関連付けられている **NAS** 装置上に存在しません。

説明: 指定されたサーバー・コマンドは、関連する NAS 装置上に存在しないファイル・スペースを使用して入力されました。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: NAS 装置から有効なファイル・スペース



ース名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2517E** *Command:* 仮想ファイル・スペース *vfs name* はノード *node name* に対して定義済みです。

説明: 示されているノードに既に定義されている仮想ファイル・スペース名を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: このノードにまだ定義されていない仮想ファイル・スペース名を使用してコマンドを出してください。

---

**ANR2518E** *Command:* 仮想ファイル・スペース・マッピングは、指定されたノード、ファイル・スペース、およびパスに対して既に存在します。

説明: 指定されたコマンドは、仮想ファイル・スペース・マッピングが既に定義されているノード、ファイル・スペース、およびパスを使用して発行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: マッピングが未定義のファイル・スペースとパスを使用してコマンドを発行してください。

---

**ANR2519E** *Command:* ファイル・スペース *fs name* はノード *node name* に関連付けられている **NAS** 装置上に存在しません。

説明: NAS 装置に対する仮想ファイル・スペース・マッピングのバックアップの実行中、サーバーは、仮想ファイル・スペースの常駐するファイル・スペースが、関連する NAS 装置上に存在しないことを検出しました。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: QUERY VIRTUALFSMAPPING を使用して、仮想ファイル・スペース・マッピングが正しく定義されていることを確認してください。

---

**ANR2520I** スケジュール・セッションが *percent* パーセントに設定されました。

説明: このメッセージは SET MAXSCHEDSESSIONS コマンドへの応答で表示されます。スケジュールされた作業の処理に使用できるサーバーの合計セッション数のパーセントが示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2521I** イベント・レコードの保存期間が *days* 日に設定されました。

説明: このメッセージは SET EVENTRETENTION コマンドへの応答で表示されます。イベント・レコードがデータベースに保存される日数が示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2522I** ランダム化が *percent* パーセントに選択されました。

説明: このメッセージは SET RANDOMIZE コマンドへの応答で表示されます。個々のクライアントの開始時刻が配分される始動ウィンドウのパーセントが示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2523I** スケジュール照会期間が *hours* 時間に選択されました。

説明: このメッセージは SET QUERYSCHEDPERIOD コマンドへの応答で表示されます。スケジュールされたコマンドに対してクライアントがサーバーに連絡する回数間の時間数が示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2524I** スケジュール照会期間が、各クライアントごとの値にリセットされました。

説明: このメッセージは SET QUERYSCHEDPERIOD コマンドへの応答で表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2525I** コマンド再試行の最大回数が *retries* に設定されました。

説明: このメッセージは SET MAXCMDRETRIES コマンドへの応答で表示されます。スケジュールされたコマンドの処理が正常に実行されなかった後で、クライアントのスケジューラーがコマンドを再試行する最大回数が示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2526I** コマンド再試行の最大回数が、各クライアント別の値にリセットされました。

説明: このメッセージは SET MAXCMDRETRIES コマンドへの応答で表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2527I** 再試行時間間隔が *minutes* 分に設定されました。

説明: このメッセージは SET RETRYPERIOD コマンドへの応答で表示されます。実行失敗後、クライアントのスケジューラーがサーバーへコンタクト、またはスケジュールされているコマンドを処理するための再試行を行う最大時間間隔 (分数) が示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2528I** 再試行時間間隔が、各クライアント別の値にリセットされました。

説明: このメッセージは SET RETRYPERIOD コマンドへの応答で表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2529I** スケジューリング・モードが **POLLING** に設定されました。

説明: このメッセージは SET SCHEDMODES コマンドへの応答で表示されます。クライアントのポーリング・スケジュールで、スケジュール済み作業を獲得しあるいはクライアントが処理を待っているスケジュールが変更されていないことを確認するために、クライアントは事前に設定された時間間隔でサーバーに照会を行います。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2530I** スケジューリング・モードが **PROMPTED** に設定されました。

説明: このメッセージは SET SCHEDMODES コマンドへの応答で表示されます。サーバー主導スケジュールリングで、サーバーは、スケジュールされた作業を実行する必要があって、セッションが使用可能な時にクライアントに連絡します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2531I** スケジューリング・モードが **ANY** に設定されました。

説明: このメッセージは SET SCHEDMODES コマンドへの応答で表示されます。サーバーは、クライアントにクライアント・ポーリング・モードまたはサーバー主導スケジュールリング・モードで実行させることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2532I** スケジュール *schedule name* が更新されました。

説明: このメッセージは UPDATE SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。 *schedule name* という名前のスケジュールがサーバー・データベースで更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2533I** クライアント・アクション・スケジュール所要時間が *days* 日に設定されました。

説明: このメッセージは Set CLIENTACTDuration コマンドへの応答で表示されます。これは、DEFine CLIENTAction によって生成されるスケジュールおよびアソシエーションがデータベース中で保存される日数を示します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2534I** クライアント・アクション・スケジュール *schedule name* は *domain name* の *node name* によって実行されていません。

説明: 即時クライアント・アクション *schedule name* はドメイン *domain name* の中のノード *node name* によって実行されていません。このスケジュールは削除されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2535E** Command: ノード *node name* に関連のデータ・ムーバーがあるために、これの除去または名前変更はできません。

説明: 関連のデータ・ムーバーがあるノードを除去また

は名前変更しようとしたしました。

システムの処置: サーバーはノードを除去または名前変更しません。

ユーザーの処置: ノードを除去または名前変更するには、関連のデータ・ムーバーを除去して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2536E** *Command: "option"* オプションはストレージ・プールのデータ・フォーマットでは無効です。

説明: 示されているコマンドには、ストレージ・プールに指定された (またはデフォルトの) データ・フォーマットに無効なオプションが含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの必要なデータ・フォーマットに適したオプションを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2537E** *Command: 装置クラス device class name* に、この操作で許可されない装置タイプがあります。

説明: 指定されたコマンドの装置クラスに、この操作で許可されない装置タイプがあります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 別の装置クラスを選択して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2538E** *Command: バックアップ・セットが NAS ノード node name* で生成できません。

説明: バックアップ・セットが NAS ノードで生成できません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2539E** *Command: ストレージ・プール Storage Pool Name* が有効なデータ・フォーマットになっていません。

説明: 指示されたストレージ・プールのデータ・フォーマットは、要求された操作には無効です。ストレージ・プールは NATIVE または NONBLOCK のデータ・フォーマットでなければなりません。サーバーは要求された操作を実行できません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 適切なデータ・フォーマットの別のス

トレージ・プールを選択して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2540E** *Command: "option"* 装置クラスはストレージ・プールのデータ・フォーマットでは無効です。

説明: 示されているコマンドは、ストレージ・プールに指定された (またはデフォルトの) データ・フォーマットには無効な装置クラスを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの必要なデータ・フォーマットに適したデータ・クラスを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2541E** *Command: オプション "option"* で指定されたストレージ・プールは、このオプションで意図された用途と互換性がありません。

説明: コマンドは、装置クラスが Centera 装置であるストレージ・プールを指定しています。このストレージ・プールは、レクラメーションなどのデータ移動操作、あるいはコピー、活動データ、またはストレージ・プールのレクラメーション処理などの属性では使用できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 意図した機能に適したストレージ・プールを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2542E** *Command: このストレージ・プールは、この操作で意図された用途と互換性がありません。*

説明: コマンドは、装置クラスが Centera 装置であるストレージ・プールを指定しています。このストレージ・プールは、レクラメーションなどのデータ移動操作、またはストレージ・プールのコピーやレクラメーションなどの属性では使用できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 意図した機能に適したストレージ・プールを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2543E** *Command: このボリューム名は、この操作で意図された用途と互換性がありません。*

説明: コマンドは、装置クラスが Centera 装置であるストレージ・プールに常駐するボリュームを指定しています。このボリュームは、レクラメーションなどのデータ移動操作、またはストレージ・プールのコピーやレクラメーションなどの属性では使用できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。  
 ユーザーの処置: 意図した機能に適したボリュームを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2544E** **hla** *hla* にある **Centera** 装置をオープンできません。

説明: サーバーは、指定された HLA にある装置との通信を開始できません。

システムの処置: この装置を必要とするトランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: 装置クラスに指定された **hla** が正しいこと、およびこの **centera** 装置が作動可能であることを確認してください。

**ANR2545E** **centera** ライブラリーのバージョン *version* は、サーバーと互換性がありません。

説明: サーバーと互換性を持つためには、**centera** ライブラリーのバージョンはバージョン 2 以上でなければなりません。

システムの処置: トランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR2546E** **centera** 装置 (*version*) は、要求された操作の実行に対応していません。

説明: **centera** 装置は、オブジェクトの読み取り、書き込み、および削除が可能でなければなりません。この装置は、これらの操作のうちの少なくとも 1 つに対応していません。

システムの処置: トランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR2547E** コマンド *Centera command* の実行中、**Centera** 装置 (*devclass*) がエラー "*message,error*" を報告しました。

説明: 指定されたコマンドの実行中に、**Centera** 装置がエラーを報告しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ストレージ・プールに関連する装置クラスに指定した IP アドレスが正しいことを確認してください。問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR2548I** **NAS command:** ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name* の名前をファイル・スペース *new filespace name* に変更しています。

説明: NAS バックアップ・プロセスにより、仮想ファイル・スペース *filespace name* の名前とノード *node name* に関連付けられている NAS 装置上のファイル・スペースの名前とが重複していることが検出されました。仮想ファイル・スペースの名前は、*new filespace name* に変更されます。NAS バックアップ・プロセスの実行中、バックアップ対象のオブジェクトが仮想ファイル・スペースである場合は、IBM Spectrum Protect が、この名前が NAS 装置上のファイル・スペースとしても存在しないことを確認します。名前が重複している場合は、IBM Spectrum Protect が、既存の仮想ファイル・スペースの名前と、関連するファイル・スペース定義の名前 (存在する場合) を変更します。

システムの処置: コマンドの NAS バックアップ・プロセスが続行されます。

ユーザーの処置: ありません。ただし、ユーザーは、元の仮想ファイル・スペース *filespace name* と新規の *new filespace name* を書き留めておき、この仮想ファイル・スペースのバックアップ・データがどこに位置しているかを把握しておくようにします。RENAME FILESPACE コマンドを使用して、仮想ファイル・スペースの名前をより適切な名前に変更できることに注意してください。

**ANR2549E** **Command:** 無効な仮想ファイル・スペース名。仮想ファイル・スペース・マッピング名の最初の文字は、スラッシュにする必要があります。

説明: 指定されたサーバー・コマンドは、最初の文字がスラッシュでない仮想ファイル・スペース名を使用して入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な仮想ファイル・スペース名を指定してコマンドを再発行してください。

**ANR2550W** **Command: Celerra NAS** 装置 *NAS device* の仮想ファイル・スペース・マッピング *VFS Name* を変更すると、データがリカバリーされなくなる可能性があります。この定義を変更した場合、既存のファイル・スペースとパス設定を保存することで、定義を元の状態に戻すことが可能になります。

説明: Celerra NAS 装置に対して UPDATE

VIRTUALFSMAPPING が入力されました。Celerra 仮想ファイル・スペース定義を変更すると、データがリカバリされなくなる可能性があります。データをリカバリするためにこの定義を変更する場合は、リカバリを実行した後に変更内容を元の値に戻す必要があります。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: UPDATE VIRTUALFSMAPPING コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2551E** Command: Celerra NAS 装置の仮想ファイル・スペース・マッピングを変更することはできません。

説明: Celerra NAS 装置の仮想ファイル・スペース定義を変更することはできません。ディレクトリーが NAS 装置に再配置した場合、新規ロケーションを指すように新規の仮想ファイル・スペース・マッピングを作成してください。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: この NAS ファイル・スペースおよびパス用に、新規の仮想ファイル・スペース・マッピングを定義します。

---

**ANR2552I** 現在、サーバーは *session type* アクセス用に使用可能になっています。

説明: サーバーは、ENABLE コマンドによって指定したセッション・タイプで使用できるようになりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2553I** 現在、サーバーは *session type* アクセス用に使用不可能になっています。

説明: サーバーは、DISABLE コマンドによって指定したセッション・タイプで使用不可能になりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2554I** ストレージ・プール *pool name* の **Format Ifvolume** プロセス *process id* が終了しました。 *number of volumes requested* ボリュームが要求され、 *number of volumes formatted* ボリュームがフォーマットされました。

説明: 示されたストレージ・プールの FORMAT

LFVOLUME プロセスが終了しました。 フォーマットが要求されたボリュームの数と実際にフォーマットされたボリュームの数が表示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: フォーマットされたボリュームの数が、フォーマットが要求されたボリュームの数より少ない場合は、活動記録ログでこの差異の理由を示すメッセージを調べてください。理由として、プロセスが取り消された、ストレージ・プール内でこれ以上のスクラッチ・ボリュームが許可されない、またはスクラッチ・ボリュームの処理でエラーが発生したことが考えられます。

---

**ANR2556W** 管理下のサーバー *server name* は、ドメイン *domain name* の拡張スタイル・クライアント・スケジュール *schedule name* の使用に対応していません。ドメインは、このサーバーには伝搬されません。

説明: 管理下のサーバー *server name* は、拡張スタイル構文を使用するクライアント・スケジュール *schedule name* を含むドメイン *domain name* に加入します。管理下のサーバーは、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していません。バージョン 5 リリース 3 以上の IBM Spectrum Protect サーバーのみが、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。ドメインは、管理下のサーバーには伝搬されません。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーを少なくとも IBM Spectrum Protect バージョン 5 リリース 3 にアップグレードすることを検討してください。

---

**ANR2557W** 管理下のサーバー *server name* は、拡張スタイル管理スケジュール *schedule name* の使用に対応していません。管理スケジュールはこのサーバーには伝搬されません。

説明: 管理下のサーバー *server name* は、拡張スタイル構文を使用する管理スケジュールに加入します。管理下のサーバーは、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していません。バージョン 5 リリース 3 以上の IBM Spectrum Protect サーバーのみが、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。管理スケジュールは、管理下のサーバーには伝搬されません。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーを少なくとも IBM Spectrum Protect バージョン 5 リリース 3 にアップグレードすることを検討してください。

---

**ANR2558W** *command:* クライアント・スケジュール *schedule name* を含むドメイン *domain name* に加入 1 つ以上の管理下のサーバーは、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していません。

説明: クライアント・スケジュール *schedule name* は、拡張スタイル・スケジュール構文を使用します。スケジュールは、管理下のオブジェクトであるドメイン内に存在し、それに加入する 1 つ以上の管理下のサーバーは、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していません。バージョン 5 リリース 3 以上の IBM Spectrum Protect サーバーのみが、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応しています。構成の最新表示処理中、ドメインは、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していない管理下のサーバーには伝搬されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーを少なくとも IBM Spectrum Protect バージョン 5 リリース 3 にアップグレードすることを検討してください。

---

**ANR2559W** *command:* 管理スケジュール *schedule name* に加入する 1 つ以上の管理下のサーバーは拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していません。

説明: 管理スケジュール *schedule name* は、拡張スタイル・スケジュール構文を使用します。スケジュールは管理下のオブジェクトであり、それに加入する 1 つ以上の管理下のサーバーは、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していません。バージョン 5 リリース 3 以上の IBM Spectrum Protect サーバーのみが、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応しています。構成の最新表示処理中、スケジュールは、拡張スタイル・スケジュールの使用に対応していない管理下のサーバーには伝搬されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーを少なくとも IBM Spectrum Protect バージョン 5 リリース 3 にアップグレードすることを検討してください。

---

**ANR2560I** スケジュール・マネージャーが始動されました。

説明: サーバーの初期化時にスケジュール・マネージャーが始動されました。スケジュール・マネージャーは、スケジュールされた操作項目を保管します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2561I** スケジュール・プロンプターがスケジュール済み操作を始動するために、*node name* (セッション *session number*) に接続中。

説明: スケジュール・プロンプターは、このノードのスケジュール済み操作を開始する必要があるため、ノード *node name* のクライアント・スケジューラーに接続しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2562I** 自動イベント・レコードの削除が開始されました。

説明: 保存期間を経過したイベント・レコードを削除する処理が開始されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2563I** *date time* より前の日付のイベント・レコードを除去中。

説明: 始動ウィンドウがまだ経過していない場合を除き、*date time* より前に開始するようにスケジュールされているイベントは自動的に削除されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2564I** 自動イベント・レコード削除が終了しました - *record count* 個のレコードが削除されました。

説明: イベント削除処理が終了しました。合計 *record count* のイベント・レコードがデータベースから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2565I** 即時クライアント・アクション用の *schedules* スケジュールが削除されました。

説明: DEFINE CLIENTACTION コマンドによって生成された *schedules* の合計が有効期限切れとなり、データベースから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2566E** 即時クライアント・アクション・スケジュールを削除中にエラーが起きました。

説明: DEFINE CLIENTACTION コマンドによって生成されたスケジュールを削除する処理が完了していません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この障害に関連している可能性のある他のメッセージの活動記録ログを調べてください。メモリーまたはスペースの問題があれば訂正してください。

**ANR2567W** スケジュール・プロンプターがスケジュールされた操作を開始するための *node name* との接続試行をスキップしました。

説明: ノードの開始時間枠が過ぎたか、ノードがロックしていたため、スケジュール・プロンプターは、ノード *node name* のクライアント・スケジューラーとの接続試行をスキップしました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: スケジュール済み開始時間枠の長さを検査し、増加させる必要があるかどうか確認してください。ANR2716E メッセージの活動記録ログを検査してください。これらのメッセージは、クライアント・スケジューラーへの接続の失敗に関連しています。これらのメッセージの数が過剰な場合は、これらの失敗した試行における TCP/IP 通信がタイムアウトする前にスケジュール時間枠が終了した可能性があります。また、クライアント・ノードがロックしていないかどうかにも確認してください。ノードがロックしていると、接続試行がスキップされます。

**ANR2568E** ノード *node* のスケジュール *schedule* を *startTime* に開始する要求が拒否されました。現在時刻は *now* です。

説明: クライアント・スケジューラーは、ノードのスケジュールの指定されたインスタンスの開始を試行しました。そのインスタンスは将来のインスタンスであるため、要求は拒否されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。ノードはスケジュールを開始しません。

ユーザーの処置: クライアント・スケジュールとエラー・ログで、ネットワークまたは *preschedule* コマンドの問題を調べてください。また、クライアントのアップグレードが必要になることもあります。

**ANR2569E** ノード *node* によるスケジュール *schedule*、*startTime* の結果 (*result*、コード *code*) の報告の要求は、拒否されました。現在時刻は *now* です。

説明: クライアント・スケジューラーは、指定されたスケジュールの実行の結果の報告を試行しました。しかし、このスケジュールは将来実行されるスケジュールです。結果は保存されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。結果は保存されません。

ユーザーの処置: クライアント・スケジュールとエラー・ログで、ネットワークまたは *preschedule* コマンドの問題を調べてください。また、クライアントのアップグレードが必要になることもあります。

**ANR2570W** スケジュール済みセッションが拒否されました。スケジュール・マネージャーが活動化されていません。

説明: クライアント・スケジューラーがサーバーに接続しようとしたますが、スケジュール・マネージャーが活動化されていないので、セッションが拒否されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、中央のスケジューリングは作動不能です。

ユーザーの処置: QUERY OPTION コマンドを出して、サーバー・オプション・ファイルにオプション *DISABLESCHEDS YES* が指定されているかどうかを判別してください。指定されている場合には、*DISABLESCHEDS NO* でサーバー・オプション・ファイルを更新し、サーバーを再始動することによって、スケジューリングを使用可能にすることができます。サーバー・オプション・ファイルに *DISABLESCHEDS YES* が指定されていなかった場合には、QUERY ACTLOG コマンドを使用して、活動記録ログを表示し、メッセージを検索することによって、エラーの原因を判別してください。エラーが解決された後でサーバーを再始動して、セントラル・スケジューラーの操作をリストアしてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR2571W** ノード *node name (platform name)* からのスケジュール済みセッションが拒否されました。スケジュール済みセッションは現在使用可能ではありません。

説明: ノード *node name* のクライアント・スケジューラーがサーバーに接続しようとしたますが、セッションが拒否されています。スケジュールされた操作に割り

振られているすべてのセッションが既に使用中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY OPTION コマンドを出して、サーバー・オプション・ファイルにオプション `DISABLESCHEDS YES` が指定されているかどうかを判別してください。指定されている場合には、`DISABLESCHEDS NO` でサーバー・オプション・ファイルを更新し、サーバーを再始動することによって、スケジューリングを使用可能にすることができます。サーバー・オプション・ファイルに `DISABLESCHEDS YES` が指定されていない場合には、サーバー・オプション・ファイルの `MAXSESSIONS` パラメーターを変更してから、サーバーを再始動することによって、セッションの合計数を変更してください。スケジュールされた操作に使用可能なセッションのパーセントは、SET `MAXSCHEDSESSIONS` コマンドをしようして増やすことができます。

---

**ANR2572W** ノード *node name* へのスケジュール・プロンプター・セッションが拒否されました。スケジュール済みセッションは現在使用可能ではありません。

説明: サーバーがノード *node name* のクライアント・スケジューラーにプロンプトを出そうとしましたが、スケジュールされた操作に割り振られているすべてのセッションが既に使用中です。

システムの処置: スケジュールされたイベントの始動ウィンドウが経過しない限り、サーバーはクライアント・スケジューラーとの接続を引き続き試みます。

ユーザーの処置: セッションの合計数を変更するためには、サーバー・オプション・ファイルの `MAXSESSIONS` パラメーターを変更してからサーバーを再始動してください。スケジュールされた操作に使用可能なセッションのパーセントは、SET `MAXSCHEDSESSIONS` コマンドをしようして増やすことができます。

---

**ANR2573W** セントラル・スケジューラーに使用可能な十分なメモリーがありません - *number of seconds* 秒間だけ再試行します。

説明: 使用可能な十分なサーバー・メモリーがないので、サーバーはセントラル・スケジューラーの処理を中断しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジューラーの操作は指定された遅延の後で再試行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増や

す方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2574W** セントラル・スケジューラーに十分な回復ログ・スペースがありません。現行のトランザクションは、*number of seconds* 秒後に再試行されます。

説明: ログがスペースを使い尽くすと、現行のトランザクションはロールバックされます。サーバーは、エラー・メッセージを発行して停止します。回復ログのサイズを増やすまでは、サーバーを再始動することができません。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: アーカイブ・ログと活動ログをモニターします。回復ログ・スペースが不足している場合は、最初にアーカイブ・ログ・スペースをモニターしてください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯の場合、あるいは満杯に近い場合は、フル・データベース・バックアップを実行してアーカイブ・ログを削除し、アーカイブ・ログ・ディレクトリーにディスク・スペースを追加することを検討してください。アーカイブ・ログ・スペースが満杯ではなく、活動ログが満杯あるいは満杯に近い場合は、`dsmserv.opt` ファイルの `ACTIVELOGSIZE` オプションの値を更新してください。`ACTIVELOGSIZE` オプションの値を、活動ログの新しい最大サイズに設定します。

---

**ANR2575W** セントラル・スケジューラーに十分なデータベース・スペースがありません。現行のトランザクションは、*number of seconds* 秒後に再試行されます。

説明: データベース・スペースが不足しているため、サーバーはセントラル・スケジューラーの処理を中断します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジューラーの操作は指定された遅延の後で再試行されます。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、`EXTEND DBSPACE` コマンドを発行します。データベースに 1 つ以上のディレクトリーを追加します。

---

**ANR2576W** 既にノード *node name* に対して実行されたスケジュール済み操作のイベント・レコードを更新しようとした。

説明: サーバーは、指定されたクライアント・ノードのイベント・レコードを更新できません。既存のレコードは、スケジュールされた操作は既に完了したことを示し



ています。これは、このノードに対して複数のクライアント・スケジュールが実行されている場合、またはクライアントがエラーの発生後に操作を再試行した場合に起ります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。既存のイベント・レコードは変更されません。このスケジュールされた操作にこれ以上の処理は実行されません。

ユーザーの処置: このクライアント・ノードのユーザーに連絡して、1 つのクライアント・スケジューラーだけが実行中であることを確認してください。

---

**ANR2577I** スケジュール *schedule name* が定義されました。

説明: このメッセージは DEFINE SCHEDULE コマンドへの応答で表示されます。サーバー・データベースの *schedule name* という名前のスケジュール。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2578W** ノード *node name* のドメイン *domain name* の中のスケジュール *schedule name* のスケジュール済み始動ウィンドウが欠落しています。

説明: このメッセージは、このスケジュールのスケジュール済み始動ウィンドウが終了して、スケジュールが開始されない時に表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジュール作業はサーバーによって処理されません。

ユーザーの処置: ノード *node name* のスケジュール済みセッションがクライアントからサーバーに対して開始されたことを確認してください。

---

**ANR2579E** ノード *node name* のドメイン *domain name* 中のスケジュール *schedule name* が失敗しました (戻りコード *return code*)。

説明: クライアントは、スケジュール済みアクションの完了の失敗を報告しました。または戻りコード -99 がサーバーにより報告されました。以下の戻りコードのいずれかが表示されます。

- 0       すべての操作が正常に完了しました。
- 4       操作は完了しましたが、一部のファイルが処理されませんでした。
- 8       操作は完了しましたが、1 つ以上の警告メッセージが出されました。
- 12      操作は完了しましたが、1 つ以上のエラー・メッセージが出されました。エラー・メッセージ

をカウントする際、スキップされたファイルに関する通知は含まれません。

- 99      クライアントとサーバー間のセッションが不明な理由で終了したために、操作は失敗しました。クライアントがスケジュール済みイベントを完了するためにサーバーに再接続できるかどうかは不明です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノードのスケジュール・ログを調べ、障害の原因を判別してください。スケジュール済みイベントの最終的な状況を判別するには、QUERY EVENT コマンドを発行してください。

---

**ANR2581W** 管理コマンドのスケジュール *schedule name* はスケジュール済み始動ウィンドウをなくしました。

説明: このメッセージは、このスケジュールのスケジュール済み始動ウィンドウが終了して、スケジュールが開始されない時に表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジュール作業はサーバーによって処理されません。

ユーザーの処置: スケジュールに指定された所要時間と時間間隔がスケジュールを開始するのを許可するには長過ぎます。

---

**ANR2582E** *Command*: 指定した装置クラスは、異なるレクラメーション・タイプを持つストレージ・プールと一緒に使用できません。

説明: ストレージ・プールは、RECLAMATIONTYPE=THRESHOLD または、RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK を指定して定義できます。装置クラスは、RECLAMATIONTYPE=THRESHOLD または RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールとだけ一緒に使用できます。ある装置クラスのレクラメーション・タイプを持つストレージ・プールを定義を試みたところ、その装置クラスは既に他のレクラメーション・タイプのストレージ・プールに関連づけられています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、新しいストレージ・プールと同じレクラメーション・タイプを持つストレージ・プールによって、参照される別の装置クラスを指定します。別の装置クラスを定義する必要があります。

---

**ANR2583E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は **LAN** フリー・プールではありません。

説明: 示されているコマンドが、LAN フリー・プールでないストレージ・プールの名前を指定しています。コマンドの構文では、LAN フリー・ストレージ・プール名を指定する必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい LAN フリー・ストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2584E** *Command:* **E** メール・アドレスが *maximum characters* 文字を超えています。

説明: E メール・アドレスのリストを指定している REGISTER NODE または REGISTER ADMIN コマンドが入力されましたが、それらのアドレスの 1 つが長すぎます。単一の E メール・アドレスの有効な最大長はコマンドに示されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: より短い E メール・アドレスを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2585E** *Command:* **E** メール・アドレスの構文が無効です。

説明: 無効な E メール・アドレスを指定したサーバー・コマンドが入力されました。E メール・アドレスの形式は "name@domain" であり、名前は 1 から 64 文字、ドメインは 1 から 255 文字でなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい E メール・アドレスを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2586W** サーバー名を *serverName* に設定すると、**Operations Center** 管理、バックアップ/アーカイブ・クライアント操作、ライブラリー・マネージャーまたはライブラリー・クライアントとのライブラリーの共有、あるいはその他のサーバー間機能 (仮想ボリューム、イベント・ログ、またはエンタープライズ構成など) などの通信に依存する操作に悪影響を与えたり、操作が停止したりする場合があります。

説明: **SET SERVERNAME** コマンドを使用して、サーバー名が変更されました。Operations Center によってサー

バーが管理されている場合、サーバー・データが表示されない、あるいは誤っている場合があります。仮想ボリューム構成では、ソース・サーバーの名前を変更すると、ターゲット・サーバーに保管されているデータへのアクセスおよびデータの管理が行えなくなる可能性があります。名前の変更時にサーバーに接続されている Windows クライアントが、引き続きそのサーバーにアクセスするには、再接続する必要があります。

システムの処置: サーバーからユーザーに対して、続行するかを確認するプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: サーバー名を変更する場合は 'Y' を入力します。変更を取り消す場合は 'N' を入力します。サーバー名を変更する場合は、影響を受けるすべてのコンポーネント (バックアップ/アーカイブ・クライアント操作、ライブラリー・マネージャーまたはライブラリー・クライアントとのライブラリーの共有、あるいはその他のサーバー間操作など) を再構成する必要があります。例えば、Operations Center スポーク・サーバーの名前を変更する場合、そのスポーク・サーバーを Operations Center から削除してから再追加する必要があります。ハブ・サーバーの場合は、初期構成ウィザードを再始動して、既存のサーバー接続を削除してから新規のサーバー接続を作成する必要があります。

---

**ANR2587W** **IBM Spectrum Protect** は、バックアップ・セット・ボリューム *Volume* でゼロの **verb** を検出し、次のボリュームにスキップしました。

説明: IBM Spectrum Protect が APAR PK12572 で説明されている問題を検出しました。サーバー・オプション・ファイルに SKIPONZEROVERBBACKUPSET ON が含まれています。IBM Spectrum Protect は、ボリュームにこれ以上のデータがないことを検査し、次のボリュームにスキップしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: バックアップ・セット・ボリュームが IBM Spectrum Protect 5.2.7 以前に書き込まれた場合、または 5.3.3 がシステムに置かれていて PK12572 基準に適合している場合は、アクションは不要です。それ以外の場合は、ボリュームで読み取りエラーが発生しているため、SKIPONZEROVERBBACKUPSET ON オプションを指定せずにサーバーで再び読み取りを行って、問題判別用の正しいエラー・メッセージを取得する必要があります。

---

**ANR2588E** *Command:* ストレージ・プール "StgPool" で、ゼロ以外の **SHRED** 属性が指定されている場合に **CACHE** を **YES** に設定することはできません。

説明: ゼロ以外の **SHRED** 属性を指定してストレージ・プールを定義または更新できるのは、ストレージ・プールの **CACHE** 属性が **NO** である場合のみです。 **CACHE** 属性が **YES** に設定されている既存ストレージ・プールは、ゼロ以外の **SHRED** 属性を指定して更新できません。同様に、ゼロ以外の **SHRED** 属性が指定されている既存ストレージ・プールは、**CACHE** = **YES** を指定して更新できません。 **CACHE** が **YES** に設定されている既存ストレージ・プールは、ゼロ以外の **SHRED** 属性を指定して更新できません。 **CACHE** を **YES** に設定し、ゼロ以外の **SHRED** 値を指定して、新規ストレージ・プールを定義することも、既存ストレージ・プールを変更することもできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: **SHRED** 値をゼロに指定するか、**CACHE** = **NO** を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2589E** ノード *node name* のバックアップ・セット *backup set name* (データ・タイプ *data type*) は使用中で削除できません。

説明: サーバーはバックアップ・セットを削除しようとしたが、そのバックアップ・セットが別のプロセスで使用中であったため、操作は完了しませんでした。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でこのコマンドを再発行してください。

---

**ANR2590E** *Command* は失敗しました - **SET DBRECOVERY** コマンドが出されていません。

説明: 自動 DB バックアップに使用する装置クラスを定義する **SET DBRECOVERY** が出されていなかったため、**BACKUP DB** コマンドは失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 自動 DB バックアップ操作の装置クラスを定義するため **SET DBRECOVERY** コマンドを発行します。

---

**ANR2591I** ディレクトリー *directory name* は、データベース・スペースに既に定義されています。

説明: このディレクトリーは既に、データベース・スペース内にあります。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: サーバー・データベース・スペースに定義されていないディレクトリーを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2592I** ディレクトリー *directory list* が、データベース・スペースに定義されています。

説明: コマンド「**EXTEND DBSPACE**」は、新しいディレクトリー *dir list* をサーバーのデータベース・スペースに正常に追加しました。

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR2593E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* は存在しますが、サーバーがこのコマンドで処理しようとしているストレージ・プール・タイプと一致しません。

説明: 指定されたストレージ・プールは、このコマンドによって処理されているタイプと一致しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいストレージ・プール・タイプを指定してコマンドをやり直してください。

---

**ANR2594I** **LDAP** ユーザー名が *LDAP user name* に設定されました。

説明: サーバーが **LDAP** サーバーに対する認証に使用する **LDAP** ユーザーの識別名が、**SET LDAPUSER** コマンドで指示された値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 設定された **LDAPUSER** と相互に関連付けられたパスワードを指定するには、**SET LDAPPASSWORD** コマンドを実行する必要があります。これは、**LDAPURL** オプションで指定されている **LDAP** サーバーと通信するために必要です。

---

**ANR2595I** ディレクトリー *directory name* は既に、データベース・スペースに追加するリスト内にあります。

説明: コマンド引数リストの処理中に、重複パス名が検出されました。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 引数リスト内にないディレクトリーを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2596E** データベース・ファイルを作成するのに十分な権限がありません。

説明: IBM Spectrum Protect インスタンス用のユーザー ID のもとで実行中のデータベース・マネージャーには、1 つ以上のデータベース・ディレクトリー内でファイルを作成するための権限がありません。

システムの処置: サーバー・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect インスタンス用のユーザー ID にすべてのデータベース・ディレクトリーへの書き込み許可があることを確認します。どのユーザー ID が dsmserv プロセスを実行中であっても、データベース・ファイルはデータベース・マネージャーによって書き込まれます。これらのデータベース・ディレクトリーに対する許可では、データベース・マネージャーのユーザー ID からの書き込みアクセスを許可する必要があります。データベース・ディレクトリーの所有権を IBM Spectrum Protect インスタンス用のユーザー ID に変更してください。

---

**ANR2597W** ドメイン *domain name* のノード *node name* が、スケジュール *schedule name* を *actual start* で開始し、*schedule state* になっています。期間は、*expiration time* で有効期限が切れました。

説明: このメッセージは、ノードがスケジュールを開始し、スケジュール期間の有効期限が切れ、ノードがスケジュールの結果を報告していない場合に表示されます。考えられる原因は以下のとおりです。

- アクションの処理にスケジュール期間より長い時間がかかっている
- ノードがスケジュール・アクションを実行しているときに問題が発生した
- ノードはスケジュール・アクションを完了したが、サーバーに結果を報告しなかった

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジュールされた操作の結果が不明です。

ユーザーの処置: 管理者は、サーバー活動記録ログとクライアント・スケジューラー・ログを調べて、必要に応じて修正処置を取る必要があります。

---

**ANR2598W** 管理コマンド・スケジュール *schedule name* が *actual start* に処理を開始し、*schedule state* になっています。期間は、*expiration time* で有効期限が切れました。

説明: このメッセージは、管理コマンド・スケジュールが開始され、スケジュール期間の有効期限が切れ、スケジュールの結果が報告されていない場合に表示されます。考えられる原因は以下のとおりです。

- アクションの処理にスケジュール期間より長い時間がかかっている
- スケジュール・アクションの実行中に問題が発生した
- スケジュールの結果の報告中に問題が発生した

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジュールされた操作の結果が不明です。

ユーザーの処置: 管理者は、サーバー活動記録ログを調べて、必要に応じて修正処置を取る必要があります。

---

**ANR2599W** 中央スケジューラーが必要なロックを取得できませんでした。 *number of seconds* 秒間だけ再試行します。

説明: 必要なロックが使用可能でないので、サーバーはセントラル・スケジューラーの処理を一時的に中断します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジューラーの操作は指定された遅延の後で再試行されます。

ユーザーの処置: サーバーのワークロードが高くなっています。この状態が続く場合は、サーバーのワークロードの調整を検討する必要があります。

---

**ANR2600E** Command: 無効なスケジュール名 - *schedule name*

説明: 正しくないスケジュール名を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいスケジュール名を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2601E** Command: スケジュール記述が *maximum length* 文字を超えています。

説明: 最大長を超える記述を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい記述を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2602E** *Command:* 無効なアクション - *action*。

説明: 無効なアクションを指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なアクションを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2603E** *Command:* オプション・ストリングが *maximum length* 文字を超えています。

説明: 最大長を超えるオプションのストリングを指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいオプションのストリングを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2604E** *Command:* オブジェクト・ストリングが *maximum length* 文字を超えています。

説明: 最大長を超えるオブジェクトのストリングを指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいオブジェクトのストリングを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2605E** *Command:* 無効な優先順位 - *priority*。

説明: 正しくない優先順位を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい優先順位を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2606E** *Command:* 無効な開始日付 - *date*。

説明: 正しくない開始日付を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい開始日付を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2607E** *Command:* 無効な開始時刻 - *time*。

説明: 正しくない開始時刻を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい開始時刻を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2608E** *Command:* 無効な所要時間 - *duration*。

説明: 正しくない所要時間を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい所要時間を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2609E** *Command:* 無効な所要時間単位 - *duration units*。

説明: 正しくない所要時間の単位を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい所要時間の単位を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2610E** *Command:* 無効な時間間隔 - *period*。

説明: 正しくない時間間隔を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい時間間隔を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2611E** *Command:* 無効な時間間隔単位 - *period units*。

説明: 正しくない時間間隔の単位を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい時間間隔の単位を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2612E** *Command:* 無効な曜日 - *day of week*.

説明: 正しくない曜日を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい曜日を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2613E** *Command:* 無効な期限切れ - *date*.

説明: 正しくない有効期限を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい有効期限を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2614E** *Command:* 次のパラメーターの組み合わせが無効です: 所要時間、所要時間単位、時間間隔、時間間隔単位。

説明: DURATION、DURUNITS、PERIOD、および PERUNITS パラメーターの正しくない組み合わせを指定して示されているコマンドが出されました。このメッセージは、スケジュールの始動ウィンドウの所要時間がウィンドウからウィンドウまでの時間間隔より短くない場合に 표시됩니다。このメッセージは、DURUNITS=INDefinite が指定されていて PERUNITS=Onetime が指定されていない場合にも表示されることがあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターの組み合わせを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2615E** *Command:* 有効期限 *date* が経過しました。

説明: 経過した有効期限 *date* を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: まだ経過していない有効期限を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2616E** *Command:* 開始日付 *start date* は有効期限 *expiration* より前でなければなりません。

説明: 有効期限より前でない開始日付を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効期限より前のスケジュール開始日付を使用してコマンドを出してください。

---

**ANR2617E** *Command:* スケジュール *schedule name* はポリシー・ドメイン *domain name* に定義されていません。

説明: 示されているポリシー・ドメインに定義されていないスケジュール名を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: このドメインに既に定義されているスケジュールを使用してコマンドを出してください。

---

**ANR2618E** *Command:* スケジュール *schedule name* は既にポリシー・ドメイン *domain name* の中に定義されています。

説明: 示されているポリシー・ドメインに既に定義されているスケジュール名を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: このドメインにまだ定義されていないスケジュールを使用してコマンドを出してください。

---

**ANR2619E** *Command:* 現在定義されている時間間隔 *period* は、更新された時間間隔単位には無効です。

説明: 既存の時間間隔に使用できない時間間隔の単位の値を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 新しい時間間隔を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2620E** *Command:* 現在定義されている所要時間 *duration* は、更新済み所要時間単位には無効です。

説明: 既存の所要時間に使用できない所要時間の単位の

値を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 新しい所要時間を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2621E** *Command:* 一致するスケジュールがありません。

説明: 示されているコマンドが出されましたが、一致するスケジュールが見つかりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のスケジュールを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2622E** *Command:* 新規のノード・アソシエーションは追加されていません。

説明: 示されているコマンドが出されましたが、新規のノード・アソシエーションが定義されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 別のノードを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2623E** *Command:* ノード・アソシエーションは削除されていません。

説明: 示されているコマンドが出されましたが、ノード・アソシエーションは削除されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 別のノードを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2624E** *Command:* 対応するノードは登録されていません。

説明: 指定されたコマンドに対応するノードが見つかりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のノードを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2625E** *Command:* 対応するノードはポリシー・ドメイン *domain name* には登録されていません。

説明: 示されているコマンドが出されましたが、示されているポリシー・ドメインに対応するノードが登録されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のノードを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2626E** *Command:* 無効な置き換え値 - *replace*。

説明: 正しくない置き換えの値を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい置き換えの値を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2627E** *Command:* 無効な形式値 - *format*。

説明: 正しくない形式の値を指定して示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい形式の値を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2628E** *Command:* 無効な日付 - *date*。

説明: 示されているコマンドが無効な日付を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい日付を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2629E** *Command:* 無効な時刻 - *time*。

説明: 示されているコマンドが無効な時刻を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい時刻を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2630E** *Command:* イベント削除は既に処理中です。

説明: イベントの削除が既に進行している時に示されているコマンドが出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: イベントの削除が完了するまで待つてからこのコマンドを出してください。

---

**ANR2631E** *Command:* 無効な開始日 - *date*。

説明: 示されているコマンドが無効な開始日付を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい開始日付を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2632E** *Command:* 無効な開始時刻 - *date*。

説明: 示されているコマンドが無効な開始時刻を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい開始時刻を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2633E** *Command:* 無効な終了日付 - *date*。

説明: 示されているコマンドが無効な終了日付を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい終了日付を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2634E** *Command:* 無効な終了時刻 - *time*。

説明: 示されているコマンドが無効な終了時刻を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい終了時刻を指定してコマンドを出してください。

---



---

**ANR2635E** *Command:* 無効な時刻範囲 - 開始 : *begin* 終了 : *end*。

説明: 示されているコマンドが無効な時刻の範囲を指定して出されました。これは、時刻の範囲の始めの日付および時刻 (*begin*) が時刻の範囲の終わりの日付および時刻 (*end*) より前にない場合に起こります。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい時刻の範囲を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2636E** *Command:* 例外のみの値が無効 - *exceptions only*。

説明: 示されているコマンドが無効な例外のみの値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい例外のみの値を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2637E** 回復ログ・ファイルを作成するのに十分な権限がありません。

説明: IBM Spectrum Protect インスタンス用のユーザー ID のもとで実行中のデータベース・マネージャーには、1 つ以上のログ・ディレクトリー内でファイルを作成するための権限がありません。

システムの処置: サーバー・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect インスタンス用のユーザー ID に、活動、ミラー、アーカイブ、およびフェイルオーバー・アーカイブのすべてのログ・ディレクトリーへの書き込み許可があることを確認します。どのユーザー ID が *dsmserv* プロセスを実行中であっても、回復ログ・ファイルはデータベース・マネージャーによって書き込まれます。これらのログ・ディレクトリーに対する許可では、データベース・マネージャーのユーザー ID からの書き込みアクセスを許可する必要があります。回復ログ・ディレクトリーの所有権を IBM Spectrum Protect インスタンス用のユーザー ID に変更してください。

---

**ANR2638W** このコマンドは、すべてのユーザー・データおよびログ・ファイルと共に、**IBM Spectrum Protect** サーバー・データベースのバックアップ/リストア・ヒストリーを削除します。データベースとそのすべての参照を除去して本当によろしいですか (*y* または *n*)?



説明: REMOVEDB コマンドが入力されました。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: データベースを除去する場合は 'y' を入力し、サーバーのデータベースを残す場合は 'n' を入力してください。

---

**ANR2639E** *Command* が失敗しました - 順次ボリューム・ヒストリー情報を保管するファイルが定義されていません。

説明: サーバー・データベースを復元するには、順次ボリューム・ヒストリー情報が必要です。この情報を受け取るファイルが構成されていないため、この操作は実行されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーにサーバーの回復を助ける順次ボリューム・ヒストリー情報を自動的に記録させるためには、サーバー・オプション・ファイルの VOLUMEHISTORY オプションを使用して、ヒストリー情報を書き込む場所を指定してください。オプション・ファイルを更新した場合には、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2640E** *Command*: スケジュール済み処理のセッション・パーセントが無効 - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2641E** *Command*: 無効なイベント・レコード保存期間 - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2642E** *Command*: 無効なランダム化パーセント - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、この

コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2643E** *Command*: 無効なスケジュール照会時間間隔 - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2644E** *Command*: 無効なコマンド再試行最大回数 - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2645E** *Command*: 無効な再試行時間間隔 - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2646E** *Command*: 無効なスケジューリング・モード - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2647E** *Command*: 無効なタイプ - *type*。

説明: 示されているコマンドが正しくないタイプを指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、この

## ANR2648E • ANR2654E

コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいタイプを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2648E** *Command:* タイプ・ストリングが *maximum length* 文字を超えています。

説明: 示されているコマンドが最大長を超えるタイプのストリングを指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいタイプのストリングを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2649E** *Command:* スケジュール *schedule name* は定義されていません。

説明: 示されているコマンドが定義されていないスケジュール名を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 既に定義されているスケジュールを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2650E** *Command:* スケジュール *schedule name* は既に定義済みです。

説明: 示されているコマンドが既に定義されているスケジュール名を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: まだ定義されていないスケジュール名を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2651E** *Command:* 次のパラメーターの **1** つ以上が無効な組み合わせになっています :  
**CMD、TYPE、ACTION、OBJECTS、OPTIONS。**

説明: 示されているコマンドが **CMD、ACTION、OBJECTS、および OPTIONS** パラメーターの正しくない組み合わせを指定して出されました。このメッセージは **CMD** パラメーターが指定されて **TYPE=CLIENT** が指定されていない場合、または **TYPE=ADMIN** が指定されて **ACTION、OBJECTS、または OPTIONS** の **1** つ以上が指定されている場合に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターの組み合わせを指

定してコマンドを出してください。

---

**ANR2652E** *Command:* 次のパラメーターの **1** つ以上が無効な組み合わせになっています :  
**ACTIVE、CMD、TYPE。**

説明: 示されているコマンドが **TYPE、CMD、または ACTIVE** パラメーターの正しくない組み合わせを指定して出されました。このメッセージは **TYPE=CLIENT** が指定されて **ACTIVE、CMD** の **1** つ以上が指定されている場合に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターの組み合わせを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2653W** *Command:* ノード *node name* は、登録されていないか、廃止されたか、指定されたドメインに属していないため、処理することができません。

説明: 示されているノードでこのコマンドを処理することはできません。指定されたノードがサーバーに登録され、必要なドメインに割り当てられている必要があります。このノードが廃止されていることはありません。

システムの処置: 示されているノードは処理されませんが、他のノードは (このコマンドで指定されていれば) 処理されます。

ユーザーの処置: ノード名が正しく入力されていない場合には、正しいノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2654E** *Command:* **NODES** パラメーターは、管理スケジュールを照会している時には使用できません。

説明: **TYPE=ADMINISTRATIVE** と **NODES** パラメーターの両方を指定して、**QUERY SCHEDULE** コマンドが出されました。管理者用スケジュールを照会する時に **NODES** パラメーターを指定することはできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **NODES** パラメーターを指定しないでコマンドを出してください。

---

**ANR2655E** *Command:* 無効なクライアント・アクション・スケジュール所要時間 - *days*。

説明: 指定されたコマンドは無効な日数を指定して出されています。有効な値は 1 から 9999 です。 *days* は、DEFINE CLIENTAction コマンドによって定義されたスケジュールを関連したノード別に実行しなければならない時間の長さを指定します。その後で、スケジュールはデータベースから削除されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい日数を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR2656E** *Command:* 無効なスケジュール・スタイル *schedStyle*。

説明: 指定されたコマンドは、無効なスケジュール・スタイルを使用して発行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なスケジュール・スタイルを指定して、コマンドを発行してください。

---

**ANR2657E** *Command:* 無効な月 *month*。

説明: 指定されたコマンドは、無効な月を使用して発行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な月を指定して、コマンドを発行してください。

---

**ANR2658E** *Command:* 無効な日 *month*。

説明: 指定されたコマンドは、無効な日を使用して発行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な日を指定して、コマンドを発行してください。

---

**ANR2659E** *Command:* 無効な月の週目 *month*。

説明: 指定されたコマンドは、無効な月の週目を使用して発行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な月の週目を指定して、コマンドを発行してください。

---

**ANR2660E** *Command:* 拡張スケジュール・パラメーターまたはその各値 (*parm1* と *parm2*) の無効な組み合わせ。

説明: 示されているコマンドが DAYOFMONTH、WEEKOFMONTH、または DAYOFWEEK パラメーターの正しくない組み合わせを指定して出されました。 WEEKOFMONTH および DAYOFWEEK は、DAYOFMONTH と一緒には指定できません。 WEEKEND または WEEKDAY は、月の FIRST 週または LAST 週とともに指定する必要があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターの組み合わせを指定してコマンドを出してください。

---

**ANR2661E** *Command:* スケジュール *name* で検出された拡張スケジュール・パラメーターまたはその各値 (*parm1* と *parm2*) の無効な組み合わせ。

説明: 指定された更新コマンドがパラメーターまたはその値の無効な組み合わせを使用して発行されたか、あるいは指定されたパラメーターまたは値が、既存のスケジュール用に更新されていないオプションと互換性がありません。 WEEKOFMONTH および DAYOFWEEK は、DAYOFMONTH とともに指定できません。 WEEKEND または WEEKDAY は、月の FIRST 週または LAST 週とともに指定する必要があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 既存スケジュールのオプションを確認するには、クライアント・スケジュールまたは管理スケジュールに対して QUERY SCHEDULE FORMAT=DETAILED を発行します。エラーが以下のいずれかの原因で発生したかを判別します。

- 更新コマンドに使用するパラメーター間の矛盾。
- 更新コマンドで指定されたパラメーターと、スケジュールに既に存在する値の間の矛盾。

後者の問題の場合は、問題の原因である既存のオプションも更新します。更新コマンドを訂正した後、再発行してください。

---

**ANR2662I** (\*) **"Query schedule format=standard"** とした場合は、拡張スケジュールの曜日列にはアスタリスクを表示します。 期間列はブランクです。 **"query schedule format=detailed"** を発行して、拡張スケジュールの完全な情報を表示します。

説明: このメッセージは、拡張スケジュールの標準的な表示について説明します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: "query schedule format=detailed" を発行して、拡張スケジュールの情報を表示します。

---

**ANR2663I** *Command:* スケジュール *name* の既存オプション *options* をデフォルト値にリセットしています。.

説明: update schedule コマンドが、スケジュールの既存オプションをデフォルト値にリセットしました。 この変更は、更新コマンドまたは監査コマンドで指定されたパラメーターによって要求されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2664E** *Command:* スケジュール・スタイル *schedule style* の無効なパラメーター *parm*。

説明: 指定されたパラメーターは、スケジュール・スタイルにとって有効ではありません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: スケジュール・スタイルに有効なパラメーターを使用して、コマンドを発行します。

---

**ANR2665W** *Command:* 無効な月および日 *month day* が検出されました。

説明: 指定されたコマンドは、MONTH および DAYOFMONTH の無効な組み合わせを指定して発行されました。 1 つの月と 1 つの日をコマンドで指定すると、コマンドは失敗します。 有効な月および日の組み合わせが少なくとも 1 つある場合は、スケジュールは定義され、有効な日付に実行されます。 スケジュールは月および日の無効な組み合わせをスキップします。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 日と月の正しい組み合わせを決定します。コマンドが失敗した場合は、定義コマンドを再度発行します。 スケジュールが定義された場合は、更新コマンドを使用して、月および日の値を変更します。

---

**ANR2666W** *Command:* 無効な月および日 *month day* がスケジュール *name* に対して検出されました。

説明: 指定された更新コマンドが MONTH および DAYOFMONTH の無効な組み合わせを使用して発行されたか、または指定された MONTH 値または DAYOFMONTH 値が、既存のスケジュール用に更新されていない MONTH 値または DAYOFMONTH 値と互換性がありません。 1 つの月および 1 つの日の組み合わせのみが存在し、その組み合わせが無効である場合は、コマンドは失敗します。 有効な月および日の組み合わせが少なくとも 1 つある場合は、スケジュールは更新され、有効な日付に実行されます。 スケジュールは月および日の無効な組み合わせをスキップします。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 既存スケジュールのオプションを確認するには、クライアント・スケジュールまたは管理スケジュールに対して "q sched f=d" を発行します。 日と月の正しい組み合わせを決定します。コマンドが失敗した場合は、更新コマンドを再度発行します。

---

**ANR2667W** ボリュームの監査処理はエラーによりボリューム *volume name* をスキップしました。

説明: 示されているボリュームの AUDIT VOLUME コマンドの処理中に、このボリュームでリカバリー不能エラーが発生しました。

システムの処置: AUDIT VOLUME コマンドが、示されているボリュームをスキップしました。

ユーザーの処置: 以前に表示された、失敗の原因が記載されているメッセージを調べて、可能であればエラーを修正してください。エラーを修正したら、コマンドを再実行してください。

---

**ANR2668I** 重複排除検証レベルが *percent* に設定されました。

説明: このメッセージは、サーバー・コマンド SET DEDUPVERIFICATIONLEVEL が発行されたときに表示されます。重複排除検証レベルを設定すると、クライアントからサーバーへのセキュリティー攻撃は行われません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2669E** 指定された重複排除検証レベルが無効です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このコマンドには 0 から 100 までの値を指定してください。

---

**ANR2670E** *Export command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* をエクスポート中、**SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールでは不明の **SCHEDSTYLE** 値が入っています。このデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の **SCHEDSTYLE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: このスケジュールの **SCHEDSTYLE** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **SCHEDSTYLE** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR2671E** *Export command:* 管理スケジュール *schedule name* のエクスポート中に **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値が検出されました - インポート時にはデフォルトの値または既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: エクスポート処理が続行されますが、エクスポートされるデータに、このスケジュールでは不明の **SCHEDSTYLE** 値が入っています。このデータがインポートされると、サーバーはデフォルトまたは既存の **SCHEDSTYLE** 値を使用します。

ユーザーの処置: このスケジュールの **SCHEDSTYLE** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用して、インポート処理の実行後に **SCHEDSTYLE** 値を検査し更新することもできます。

---

**ANR2672E** *Import command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* のエクスポート済みデータ内の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、デフォルトまたは既存の **SCHEDSTYLE** 値が使用されます。

ユーザーの処置: 後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このスケジュールに対して正しい **SCHEDSTYLE** 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR2673E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値があります - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* はデフォルトの **SCHEDSTYLE** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対してデフォルトの **SCHEDSTYLE** 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい **SCHEDSTYLE** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR2674E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値 - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の既存の **SCHEDSTYLE** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対して既存の **SCHEDSTYLE** 値を使用して続行されます。

---

ユーザーの処置: このノードに対して正しい SCHEDSTYLE 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR2675E** *Import command:* 管理スケジュール *schedule name* 用にエクスポートされるデータ中の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値。

説明: コマンド *import command* のプレビュー処理中に、管理スケジュール *schedule name* の SCHEDSTYLE パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。後のコマンドが出されることによりデータがインポートされると、デフォルトまたは既存の SCHEDSTYLE 値が使用されます。

ユーザーの処置: 後のコマンドによってデータがインポートされる場合には、このスケジュールに対して正しい SCHEDSTYLE 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR2676E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値 - 管理スケジュール *schedule name* はデフォルトの **SCHEDSTYLE** 値で定義されました。

説明: コマンド *import command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の SCHEDSTYLE パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対してデフォルトの SCHEDSTYLE 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい SCHEDSTYLE 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR2677E** *Import command:* エクスポート済みデータ内の **SCHEDSTYLE** パラメーターに無効値 - 管理スケジュール *schedule name* の既存の **SCHEDSTYLE** 値は更新されませんでした。

説明: コマンド *import command* の処理中に、管理スケジュール *schedule name* の SCHEDSTYLE パラメーターに無効値が見つかりました。

システムの処置: コマンドの処理はこのスケジュールに対して既存の SCHEDSTYLE 値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: このノードに対して正しい

SCHEDSTYLE 値が使用されていることを確認してください。 必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR2678E** サーバー・データベースのフォーマットは失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバー・データベースのフォーマット中に障害が発生しました。発生したのは「DSMSERV FORMAT」コマンドの処理中です。

システムの処置: サーバーのフォーマット処理は終了します。

ユーザーの処置: エラー・メッセージを検討して障害の原因を調べ、問題を解決したら「DSMSERV FORMAT」を再試行してください。

---

**ANR2679E** *Command:* 指定されたノードはすべて無効です。

説明: 指定されたコマンドのパラメーターの検査中に、有効なノードが見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 指定したノードが正しく、すべて登録されていることを確認してください。 次に、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2680E** *Command:* **TYPE** が **SNAPMIRROR** のときは **TOC=YES** を指定することはできません。

説明: TOC=YES を指定中に SnapMirror バックアップが試行されました。 ネットワーク・アプライアンス SnapMirror バックアップは、TOC の作成をサポートしていません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: TOC=YES を指定せずにコマンドを再発行してください。

---

**ANR2681E** *Command:* ファイル・サーバー *movername* は、**SnapMirror** とテープ間の操作をサポートしていないか、または **NDMP** バージョン **4** を実行していません。

説明: SnapMirror バックアップが、ネットワーク・アプライアンス SnapMirror バックアップ操作を行わない NAS デバイスで指定されました。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 標準 NDMP フルまたは差分バックアップを指定してコマンドを再発行してください。 .

---

**ANR2682E** *Command: TYPE が SNAPMIRROR のときは MODE=DIFF を指定することはできません。*

説明: MODE=DIFF を指定中に SnapMirror バックアップが試行されました。 ネットワーク・アプライアンス SnapMirror バックアップは、フルイメージ・バックアップのみの場合があります。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: MODE=DIFF を TYPE=SNAPMIRROR で指定せずにコマンドを再発行してください。

---

**ANR2683I** *Command: SnapMirror バックアップの目次は作成されません。*

説明: Netapp SnapMirror バックアップが要求され、TOC パラメーターが PREFERRED に設定されました。バックアップは続行されますが、目次は作成されません。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2684E** *Command: SnapMirror 操作は NAS 仮想ファイル・スペース定義でサポートされていません。*

説明: SnapMirror バックアップまたはリストアが NAS 仮想ファイル・スペースで試行されました。 ネットワーク・アプライアンス SnapMirror バックアップはディレクトリー・レベルのバックアップをサポートしていないため、TYPE=SNAPMIRROR で仮想ファイル・スペースは使用されない場合があります。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: TYPE=DUMPIMAGE を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2685I** *管理者 administrator によってプロセス process ID として開始された、NAS ノード nodename、ファイル・システム file system の SnapMirror バックアップ。*

説明: NAS ノードの指示されたファイル・システムの SnapMirror バックアップが開始されます。 この操作は表示された管理者によって開始されます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2686I** *管理者 administrator によってプロセス process ID として開始された、NAS ノード nodename、ファイル・システム filesystem の SnapMirror リストア。このファイル・システムのフル・イメージが宛先 destination にリストアされます。*

説明: NAS ノードの指示されたファイル・システムの SnapMirror リストアが開始されます。 この操作は表示された管理者によって開始されます。リストアは、このファイル・システムのフル・イメージを使用して実行されます。 ファイル・システムは指示された宛先にリストアされます。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2687E** *Command: TYPE が SNAPMIRROR のときは FILELIST を指定することはできません。*

説明: ファイル・レベルのリストアが SnapMirror バックアップから試行されました。 ネットワーク・アプライアンス SnapMirror バックアップは、ファイル・レベルのリストアをサポートしていません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: FILELIST パラメーターを指定せずにコマンドを再試行してください。

---

**ANR2688E** *Command: NAS ノード nodename、ファイル・システム file system の SnapMirror リストアを開始できません。宛先ファイル・システム destination が、NAS 装置上で「制限付き」に設定されていません。*

説明: 指定されたコマンドのパラメーターの検査中に、有効なノードが見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 指定したノードが正しく、すべて登録されていることを確認してください。 次に、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2689W** *Command:* データ・ムーバー *data mover* のデータ・フォーマットは、ホスト **ID** *hostId* を持つ **NAS** デバイスと互換性がありません。

説明: コマンドに指定されたデータ・フォーマットは、高位アドレスと関連付けられた **NAS** デバイスと互換性がありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを完了します。

ユーザーの処置: **NAS** デバイスの正しいデータ・フォーマットを判断して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2690E** *Command:* ファイル・システム *file system* は制限状態であり、**NDMP** バックアップまたはリストア操作で使用できません。

説明: 制限状態である **NAS** ファイル・システムが、**NDMP** バックアップまたはリストア操作に指定されました。制限状態のファイル・システムの **NDMP** バックアップまたはリストアは実行できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: ファイル・システムの制限を解除する方法については、ご使用の **NAS** 装置の資料を参照してください。次に、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2691E** *Command:* ファイル・サーバー *file server name* は、**NDMP Cluster Aware Backup** 拡張をサポートしていませんが、このデータ・ムーバー・タイプではその拡張が必要です。

説明: タイプ **NASCLUSTER** または **NASVSERVER** のデータ・ムーバーが定義されていますが、ファイル・サーバーが **NDMP Cluster Aware Backup** 拡張をサポートしていません。

システムの処置: ファイル・サーバー上の **IBM Spectrum Protect** サーバー定義操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイル・サーバーが **clustered Data OnTap** を **Netapp** から実行していることを確認してください。

---

**ANR2692E** *Command:* 無効なサブアクション - *action*。

説明: 指定されたコマンドは無効なサブアクションを使用して発行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なサブアクションを指定してコマンドを発行してください。

---

**ANR2693E** *Command:* アクションとサブアクションの無効な組み合わせ。

説明: 指定されたコマンドは、アクション値とサブアクション値の無効な組み合わせを使用して発行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なサブアクションを指定してコマンドを発行してください。

---

**ANR2694E** *Command:* サブアクションを使用してアクションを指定する必要があります。

説明: 指定されたコマンドはサブアクションを使用して発行されましたが、アクション値が指定されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なサブアクションを指定してコマンドを発行してください。

---

**ANR2695E** ノード *node name* の重複排除モードは **SERVERONLY** に設定されています。

説明: サーバーはセキュリティー攻撃の可能性を検出し、クライアント・サイドの重複排除を使用不可にしました。

システムの処置: サーバーとクライアントの操作は続行されます。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーションに、サーバーへのセキュリティー攻撃を試行しているアプリケーションがないことを確認してください。クライアントがセキュアである場合は、サーバー・コマンド **UPDATE NODE** を

**DEDUPLICATION=CLIENTORSERVER** パラメーターと一緒に発行し、ノードでクライアント・サイドの重複排除を再度使用可能にしてください。

---

**ANR2696E** *Export command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* をエクスポート中に **SUBACTION** パラメーターに無効な値が検出されました - インポート時にはデフォルトまたは既存の値が使用されます。

説明: コマンド *export command* の処理中に、ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の



**ACTION** パラメーターに無効値が見つかりました。

**システムの処置:** エクスポート処理は続行されますが、エクスポートされるデータにはこのスケジュールで不明の **SUBACTION** 値が含まれます。このデータがインポートされる場合は、デフォルトまたは既存の **SUBACTION** 値が使用されます。

**ユーザーの処置:** このスケジュールの **SUBACTION** 値を更新してエクスポート・コマンドをやり直してください。あるいは、値が不明のエクスポート・データを使用し、インポート処理の実行後に **SUBACTION** 値を確認して更新することもできます。

---

**ANR2697E** *Import command:* エクスポート済みデータの **SUBACTION** パラメーターの値が無効です - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* はデフォルトの **SUBACTION** 値で定義されました。

**説明:** コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **SUBACTION** パラメーターに無効な値が見つかりました。

**システムの処置:** コマンドの処理はこのスケジュールにデフォルトの **SUBACTION** 値を使用して続行されます。

**ユーザーの処置:** このスケジュールに対して正しい **SUBACTION** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR2698E** *Import command:* エクスポート済みデータの **SUBACTION** パラメーターの値が無効です - ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の既存の **SUBACTION** 値は更新されませんでした。

**説明:** コマンド *import command* の処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **SUBACTION** パラメーターに無効な値が見つかりました。

**システムの処置:** コマンドの処理はこのスケジュールに既存の **SUBACTION** 値を使用して続行されます。

**ユーザーの処置:** このスケジュールに対して正しい **SUBACTION** 値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、この値を更新してください。

---

**ANR2699E** *Import command:* ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* のエクスポート済みデータの **SUBACTION** パラメーター値が無効です。

**説明:** コマンド *import command* のプレビュー処理中に、ポリシー・ドメイン *domain name* のスケジュール *schedule name* の **SUBACTION** パラメーターに無効な値が見つかりました。

**システムの処置:** コマンドの処理は続行します。以降のコマンドでデータがインポートされる場合は、デフォルトまたは既存の **SUBACTION** 値が使用されます。

**ユーザーの処置:** 以降のコマンドでデータがインポートされる場合は、このスケジュールに対して正しい **SUBACTION** 値が使用されていることを確認してください。

---

**ANR2700E** スケジュール・マネージャーが打ち切られました。

**説明:** エラー条件があつてスケジュールされた操作のために項目を保持できないので、スケジュール・マネージャーが終了しました。

**システムの処置:** サーバーは操作を続行しますが、セントラル・スケジューラーは作動不能です。

**ユーザーの処置:** このエラーの原因を判別するために、このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べてください。 **QUERY ACTLOG** コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーが解決された後でサーバーを再始動して、セントラル・スケジューラーの操作をリストアしてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2701E** スケジュール・マネージャーを始動できませんでした : *diagcode*。

**説明:** 初期化中に、使用可能な十分なメモリーがないので、スケジュール・マネージャーを開始することができません。診断コード *diagcode* が出されています。

**システムの処置:** 初期化は失敗します。

**ユーザーの処置:** アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2702E** スケジュール・プロンプターを始動できませんでした : *diagcode*。

**説明:** 初期化中に、使用可能な十分なメモリーがないので、スケジュール・プロンプターを開始することができ

ません。診断コード *diagcode* が出されています。

システムの処置: 初期化は失敗します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2703E** スケジュール・プロンプターが打ち切られました。

説明: 処理エラーのためにスケジュール・プロンプターが終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、プロンプト・スケジューリングは操作可能ではありません。

ユーザーの処置: このエラーの原因を判別するために、このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べてください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーが解決された後でサーバーを再始動して、セントラル・スケジューラーのプロンプト操作をリストアしてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2707E** セントラル・スケジューラーでサーバー・ログのスペース不足。

説明: サーバーに使用可能な十分なログ・スペースがないので、サーバーは中央スケジューラーのデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、データベースの更新は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGDIRECTORY、ARCHIVELOGDIRECTORY、および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2708E** セントラル・スケジューラーでサーバー・データベースのスペース不足。

説明: サーバーに使用可能な十分なデータベース・スペースがないので、サーバーはセントラル・スケジューラーのデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、データベースの更新は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリをデータベースに追加します。

---

**ANR2709E** スケジュール・マネージャー: イベント・レコードの削除を開始できません。

説明: 使用可能な十分なメモリーがないので、イベント・レコードの削除を開始することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、イベント・レコードはその保存期間が経過しても自動的に削除されません。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2712E** ノード *node1* がノード *node2* のスケジューリング情報を要求しました - セッションが拒否されました。

説明: ノード *node1* のクライアント・スケジューラーからスケジュールされた操作の保留要求が送られました。しかし、この要求は別のノード *node2* のスケジューリング情報についてのものです。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、ノード *node1* のクライアント・スケジューラーは保留操作を処理することができません。

ユーザーの処置: ノード *node1* のクライアント・スケジューラーの再開を試みてください。問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してクライアント・プログラムのエラーの解決を依頼してください。

---

**ANR2713E** ノード *node1* がノード *node2* のスケジュール済み操作を開始中 - セッションが拒否されました。

説明: ノード *node1* のクライアント・スケジューラーが、別のノード *node2* のスケジュール済み操作を実行しようとした。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、スケ

ジュールされた操作は処理されません。

ユーザーの処置: ノード *node1* のクライアント・スケジューラーの再開を試みてください。問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してクライアント・プログラムのエラーの解決を依頼してください。

---

**ANR2714E** ノード *node1* がノード *node2* のスケジュール済み操作を報告中 - セッションが拒否されました。

説明: ノード *node1* のクライアント・スケジューラーが、別のノード名 *node2* を使用してスケジュール済み操作の結果を報告しようとした。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、ノード *node1* から送られた結果はサーバーのデータベースには保管されません。

ユーザーの処置: ノード *node1* のクライアント・スケジューラーの再開を試みてください。問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してクライアント・プログラムのエラーの解決を依頼してください。

---

**ANR2715E** クライアント・ノード *node id* はサーバー・プロンプト用の正しいアドレスを登録できません: タイプ *address type (high address low address)*。

説明: ノード *node id* のクライアント・スケジューラーが、サーバー主導セントラル・スケジューリング用に正しくないアドレスを登録しようとした。このアドレスは、高位フィールド *high address*、低位フィールド *low address* の、タイプ *address type* でした。唯一の正しいアドレス・タイプは 1 です。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、ノード *node id* はスケジュールされた操作を実行するプロンプトを出しません。

ユーザーの処置: アドレス・タイプおよびアドレスがこのクライアントに正しいことを確認してください。唯一の有効なアドレス・タイプは 1 です (TCP/IP の場合)。クライアント・スケジューラーの開始時に、クライアント・スケジューラーがクライアントのオプション・ファイルまたはコマンド・ラインから取り出した正しくないアドレスを使用していないことを確認してください。

---

**ANR2716E** スケジュール・プロンプターがタイプ *address type (high address low address)* を使用してクライアント *node name* に接続できませんでした。

説明: スケジュールされた操作を開始する必要があるので、サーバーがノード *node name* のクライアント・ス

ケジューラーにプロンプトを出そうとしました。サーバーは、高位フィールド *high address* および低位フィールド *low address* のアドレス・タイプ *address type* を使用して、クライアントに接続することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、ノード *node name* はスケジュールされた操作を開始するプロンプトを出しません。他のノードに対して操作を開始する必要がある場合には、サーバーはクライアント・スケジューラーにそれらのノードのプロンプトを出そうとします。通常このエラーは、ネットワークの故障またはクライアント・スケジューラーのプログラムがクライアント・ノードで実行していないことが原因で起こります。

ユーザーの処置: アドレス・タイプおよびアドレスがこのクライアントに正しいことを確認してください。唯一の有効なアドレス・タイプは 1 です (TCP/IP の場合)。クライアント・スケジューラーの開始時に、クライアント・スケジューラーがクライアントのオプション・ファイルまたはコマンド・ラインから取り出した正しくないアドレスを使用していないことを確認してください。ノード *node name* のクライアント・スケジューラーが実行中で、そのスケジューラーに対する必要な通信リンクが作動可能状態にあることを確認してください。ファイアウォールが、セッションをタイムアウトにすることなく、サーバーからクライアントへのトラフィックとクライアントからサーバーへのトラフィックを許可する必要があります。DNS 構成が正しいことを確認してください。

---

**ANR2717E** スケジュール・プロンプターがアドレス・タイプ (*address type*) を使用してクライアント *node name* に接続することができません。

説明: スケジュールされた操作を開始する必要があるので、サーバーがノード *node name* のクライアント・スケジューラーにプロンプトを出そうとしています。しかし、サーバーがサーバー主導スケジューリングに必要なアドレス・タイプ *address type* をサポートしていないか、または通信方式が現在使用可能でないかのいずれかです。唯一の有効なアドレス・タイプは 1 です (TCP/IP の場合)。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、そのサーバーはノード *node name* に対してプロンプトを出しません。

ユーザーの処置: サーバーが指定された *address type* をサポートしない場合には、クライアントはポーリング・モードのスケジューリングしか使用することができません。通信方式が一時的に使用できない場合には、通信問題が修正され、サービスがリストアされた後でプロンプト・モードのスケジューリングが再開されます。

それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2718W** スケジュール・マネージャーが使用不可能でした。

説明: サーバー・オプション・ファイルに DISABLESCHEDS YES オプションが指定されているので、スケジュール・マネージャーは使用不可能になっています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、セントラル・スケジューラーは作動不能です。

ユーザーの処置: スケジュール・マネージャーを使用可能にするには、サーバー・オプション・ファイルに DISABLESCHEDS NO を指定して、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2719E** *Command:* ACTION=DEPLOY のパラメーター *parm* が無効です。

説明: 指定されたパラメーターは ACTION=DEPLOY に対して無効です。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ACTION=DEPLOY に有効なパラメーターを使用してコマンドを再実行してください。

---

**ANR2720E** *Command:* ノード *node name* は現在複製中です。

説明: 示されているコマンドに、現在別のサーバーに複製されているノードが指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドを再発行するか、あるいは必要に応じて現行の複製を取り消してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2721E** アドレス *address* への複製以外の SSL セッションが要求されました。

説明: 示されているアドレスへの複製以外の SSL セッションが試行されました。サーバー間の SSL セッションは、複製の場合にのみサポートされています。

システムの処置: サーバーはセッションを開始しません。

ユーザーの処置: 同一のターゲット・サーバーを SSL および非 SSL の両方の通信用に構成したい場合、DEFINE SERVER コマンドを発行するときに複数のサーバー定義を構成できます。サーバー名が同じでない場

合、複数のサーバー定義に同じターゲット・アドレスを指定できます。

---

**ANR2722I** サーバーは、サーバー *server name* からのセッションを受け入れるようになりました。

説明: サーバーは、指定されたサーバーからのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2723I** サーバーは、サーバー *server name* へのアウトバウンド・セッションに対して使用可能になりました。

説明: サーバーは、示されているサーバーをターゲットとするセッションを許可するようになりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2724I** サーバーは、サーバー *server name* からのセッションを受け入れません。

説明: サーバーは、指定されたサーバーからのセッションを拒否します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2725I** サーバーは、サーバー *server name* とのセッションで使用不可です。

説明: サーバーは、指定されたサーバーへのセッションを開始できません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2726E** *Command:* 指定されたノードはいずれも複製用には構成されていないか、または、アクティブな複製プロセスの一部です。

説明: 複製コマンドは、指定されたノードに属するデータが複製中であつたか、ノードが複製用に構成されていないため開始されません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 指定されたノードが正しく、また複製用に構成されていることを確認してください。ノードがアクティブな複製プロセスの一部でないことを確認して

ください。複製状態が使用可能または使用不可であれば、ノードは複製用に構成されています。ノードの複製状態を判別するには、`QUERY NODE FORMAT=DETAILED` コマンドを発行します。複製用にノードを構成するには、`UPDATE NODE` コマンドを発行します。状態を修正した後で、`REPLICATE NODE` コマンドを再発行してください。

---

**ANR2727E** *Command:* ノード *node name* は現在サーバー *server name* にアクセス中です。

説明: 示されているコマンドに、指定されたサーバーとの活動状態のセッションを持つノードが指定されています。

システムの処置: ローカル・サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドを再発行するか、あるいは必要に応じて現行セッションを取り消してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2728E** *Command:* ノード *node name* が **SEND** または **SYNCSEND** モードでないので、複製できません。

説明: 指定されたノードの複製モードは、**RECEIVE** または **SYNCRECEIVE** です。複製するには、複製モードは **SEND** または **SYNCSEND** でなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理します。しかし、指定されたノードはこの操作でスキップされます。

ユーザーの処置: 複製されるすべてのノードが **SEND** または **SYNCSEND** モードであることを確認してください。コマンドを再発行するか、あるいは必要に応じて複製プロセスを取り消してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2729W** このコマンドはノードを新規ドメイン *domainname* に登録します。  
ドメインを変更すると、そのノードは元のドメインのスケジュールからの関連が解除されます。

説明: スケジュールはドメインに属します。ノードが新規ドメインに登録されると、そのノードはスケジュールからの関連が解除されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect からユーザーに対し操作を続行するよう促すプロンプトが出されません。

ユーザーの処置: ドメインを変更する場合は 'Y' を入力

します。ドメインを変更しない場合は 'N' を入力します。

---

**ANR2730I** デフォルトの認証が *defaultAuth* に設定されました。

説明: このメッセージは、`Set DEFAULTAUTHentication` コマンドへの応答として表示されます。これは、`REGISTER NODE` および `REGISTER ADMIN` コマンドの現行のデフォルト `AUTHENTICATION` 値を示しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2731E** 無効なコマンド *issued command* が実行されました。コマンド *prerequisite command* を最初に実行する必要があります。

説明: 指定されたサーバー・コマンドが、別の必須コマンドより前に実行されました。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 必須コマンドを実行してから、問題の原因となったコマンドを再実行してください。

---

**ANR2732E** 外部 **LDAP** ディレクトリー・サーバーと通信できません。

説明: サーバーは、外部 **LDAP** ディレクトリー・サーバーとの通信を試行しましたが、通信できませんでした。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 外部 **LDAP** ディレクトリー・サーバーが現在稼働していることを確認してください。また、**LDAPURL** オプションが適切に設定されていて、有効な **LDAP** ディレクトリー・サーバーを参照していることも確認してください。

---

**ANR2733W** **SET LDAPUSER** コマンドを処理するための外部 **LDAP** ディレクトリー・サーバーに対する認証を行えません。

説明: **LDAPUSER** 値または **LDAPPASSWORD** 値、あるいはその両方が無効です。

システムの処置: サーバー・コマンドは続行されます。

ユーザーの処置: **SET LDAPUSER** コマンドの実行中に、IBM Spectrum Protect サーバーは外部 **LDAP** ディレクトリー・サーバーに対する認証を試行しました。**LDAPPASSWORD** が設定されていないか、無効である

場合、認証は失敗しますが、SET LDAPUSER コマンドは正常に実行されます。サーバーが外部 LDAP ディレクトリー・サーバーと通信するには、その前に、LDAPUSER 値と LDAPPASSWORD 値の両方が正しく設定されている必要があります。現行の LDAPUSER および新しい LDAPPASSWORD を指定した外部 LDAP ディレクトリー・サーバーに対する認証が失敗する場合、SET LDAPPASSWORD コマンドは失敗します。

QUERY STATUS コマンドを実行することにより、現行の LDAPUSER を検証できます。適切な SET コマンドを使用して、LDAPUSER コマンドおよび LDAPPASSWORD コマンドを訂正できます。まだ認証エラーが発生する場合、外部 LDAP ディレクトリー・サーバーでユーザーおよびパスワードが正しく設定されていることを確認してください。

---

**ANR2734E SET LDAPPASSWORD** コマンドを処理するための外部 LDAP ディレクトリー・サーバーに対する認証を行えません。

説明: LDAPUSER 値または LDAPPASSWORD 値、あるいはその両方が無効です。

システムの処置: サーバー・コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: QUERY STATUS コマンドを実行することにより、現行の LDAPUSER を検証できます。適切な SET コマンドを使用して、LDAPUSER コマンドおよび LDAPPASSWORD コマンドを訂正できます。まだ認証エラーが発生する場合、外部 LDAP ディレクトリー・サーバーでユーザーおよびパスワードが正しく設定されていることを確認してください。

---

**ANR2735W** 名前変更されたノード *node name* を、現行のパスワードを使用して更新する必要があります。

説明: LDAP 認証を使用しているノードに対する RENAME NODE コマンドへの応答として、IBM Spectrum Protect データベースでそのノードが名前変更されましたが、LDAP ディレクトリー・サーバー内にその新規名の LDAP 項目が存在しません。これは、SYNCLDAPDELETE=NO パラメーターが使用されていたか、あるいは元の名前の LDAP 項目が存在していなかった場合に起きる可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ノードとのセッションを試行する前に、現行のパスワードを使用して、名前変更されたノードに対して UPDATE NODE コマンドを実行してください。

---

**ANR2736W** 名前変更された管理者 *admin name* を、現行のパスワードを使用して更新する必要があります。

説明: LDAP 認証を使用している管理者を指定した RENAME ADMIN コマンドへの応答として、IBM Spectrum Protect データベースでその管理者が名前変更されましたが、LDAP ディレクトリー・サーバー内にその新規名の LDAP 項目が存在しません。これは、SYNCLDAPDELETE=NO パラメーターが使用されていたか、あるいは元の名前の LDAP 項目が存在していなかった場合に起きる可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 管理者とのセッションを試行する前に、現行のパスワードを使用して、名前変更された管理者に対して UPDATE ADMIN コマンドを実行してください。

---

**ANR2737E Command:** 指定された管理者はすべて無効です。

説明: 指定されたコマンドのパラメーターの検査中に、有効な管理者が見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 指定された管理者が正しく、すべて登録されていることを確認してください。次に、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2738W Command:** *parameter* がパラメーター *conflicting parameter* と矛盾しています。

説明: コマンドに、矛盾するパラメーターが指定されました。

システムの処置: サーバーは矛盾するパラメーターをバイパスし、処理は続行されます。

ユーザーの処置: どちらのパラメーターを使用するか確認して、必要な場合はコマンドを再実行してください。コマンドを反転する必要がある場合は、コマンドを取り消して、構文を訂正してから、コマンドを再実行してください。

---

**ANR2739I LDAP** ディレクトリーの監査がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: LDAP ディレクトリー項目を監査するためにバックグラウンド・プロセスが開始されました。監査には、示されているプロセス ID が割り当てられました。

システムの処置: 監査処理が開始され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 管理者は、QUERY PROCESS コマンドを使用して監査処理の状況を照会するか、または CANCEL PROCESS コマンドでこのプロセスを取り消すことがあります。

---

**ANR2740E** アラート・モニターが開始できないか、障害が起こって停止しました。

説明: サーバー・アラート・モニターが開始できないか、処理を続行できません。

システムの処置: アラート・モニターを実行できません。

ユーザーの処置: 活動記録ログに含まれるその他のメッセージを検討して、アラート・モニターを実行できない理由を判別します。通常この問題は、メモリーやその他のシステム・リソースの不足など、不十分なリソースが原因で起こります。

---

**ANR2741I** アラート・モニターが開始されました。

説明: サーバー・アラート・モニターが正常に開始され、メッセージを評価して、必要な場合には管理者への通知のアラートを出します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2742W** Command: 実行依頼され、承認の検討中です。

説明: コマンドは実行されていません。コマンドは承認の検討のために記録されました。この要求の検討と処理について、1 次または代替の承認管理者に問い合わせてください。承認期間が経過する前にコマンドが承認されないと、コマンドは削除され、コマンド自体が実行されません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。承認処理中のコマンドは記録されます。要求を表示するには、QUERY PENDINGCOMMAND を発行します。

ユーザーの処置: この要求の処理について、1 次または代替の承認管理者に問い合わせてください。承認が与えられると、承認管理者は承認処理の一環としてコマンドを再発行します。また、コマンドが拒否された場合、コマンドは削除され、それ以外のアクションは行われません。

---

**ANR2743I** 管理者 *administrator* によって発行された Command の処理要求 *requestId* の承認処理が正常に行われました。コマンドは完了しました。

説明: 指定された管理者に対してコマンドが実行依頼さ

れ、正常に実行されて完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 処理されたコマンドについて、活動記録ログを調べてください。

---

**ANR2744W** 管理者 *administrator* によって発行された Command の処理要求 *requestId* の承認処理が失敗しました。コマンドは正常に実行されませんでした。

説明: 指定された管理者に対してコマンドが実行依頼されましたが、正常な実行に失敗しました。

システムの処置: 処理中のコマンド項目は削除され、発信元の管理者がコマンドを再発行する必要があります。

ユーザーの処置: 処理されたコマンドについて、活動記録ログを調べてください。

---

**ANR2745I** AUDIT LDAPDIRECTORY コマンドの終了: *admin only LDAP* 管理者項目は LDAP ディレクトリー・サーバーのみにあり (IBM Spectrum Protect サーバーにはありません)、*number* 管理者項目は IBM Spectrum Protect サーバーのみにあり (LDAP ディレクトリー・サーバーにはありません)、*node only LDAP* ノード項目は LDAP ディレクトリー・サーバーのみにあり (IBM Spectrum Protect サーバーにはありません)、*number* ノード項目は IBM Spectrum Protect サーバーのみにあり (LDAP ディレクトリー・サーバーにはありません)、合計 *total deleted entries* 項目が LDAP サーバーから削除されました。

説明: AUDIT LDAPDIRECTORY コマンドの結果として、LDAP ディレクトリー・サーバーと IBM Spectrum Protect サーバーとの間の不整合が表示されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2746W** ノード *node name* は、データベースにはありますが、LDAP ディレクトリー・サーバーにはありません。

説明: LDAP ディレクトリー・サーバーと IBM Spectrum Protect データベースとの間で不整合が検出されました。IBM Spectrum Protect データベース内のノードに対応する項目が LDAP ディレクトリー・サーバーにありません。LDAP ディレクトリー・サーバーに

項目がない場合、処置が実行されるまで、ノードにアクセスできません。推奨処置については、「ユーザーの処置」を参照してください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ノードをアクセス可能にするには、ノードを LDAP ディレクトリー・サーバーに追加する必要があります。パスワードを指定して UPDATE NODE コマンドを実行し、LDAP ディレクトリー・サーバーに LDAP ノード項目を作成してください。

---

**ANR2747W** 管理者 *admin name* は、データベースにはありますが、LDAP ディレクトリー・サーバーにはありません。

説明: LDAP ディレクトリー・サーバーと IBM Spectrum Protect データベースとの間で不整合が検出されました。IBM Spectrum Protect データベース内の管理者に対応する項目が LDAP ディレクトリー・サーバーにありません。LDAP ディレクトリー・サーバーに項目がない場合、処置が実行されるまで、管理者にアクセスできません。推奨処置については、「ユーザーの処置」を参照してください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 管理者をアクセス可能にするには、管理者を LDAP ディレクトリー・サーバーに追加する必要があります。パスワードを指定して UPDATE ADMIN コマンドを実行し、LDAP ディレクトリー・サーバーに LDAP 管理者項目を作成してください。

---

**ANR2748W** ノード *node name* は、LDAP ディレクトリー・サーバーにはありますが、データベースにはありません。

説明: LDAP ディレクトリー・サーバーと IBM Spectrum Protect データベースとの間で不整合が検出されました。LDAP ディレクトリー・サーバーで予期しないノード項目が検出されました。LDAP ディレクトリー・サーバー内の余分な項目は、IBM Spectrum Protect サーバーの操作には影響を与えません。LDAP ディレクトリー・サーバーが複数の IBM Spectrum Protect サーバーで共有されている場合、この余分な項目は、その他の 1 つ以上の IBM Spectrum Protect サーバーで必要となる可能性があります。

システムの処置: FIX=YES を指定して AUDIT LDAPDIRECTORY コマンドが実行された場合、サーバーは、このノード項目を LDAP ディレクトリー・サーバーから削除します。FIX=NO を指定してコマンドが実行された場合、サーバーは項目を削除しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2749W** 管理者 *admin name* は、LDAP ディレクトリー・サーバーにはありますが、データベースにはありません。

説明: LDAP ディレクトリー・サーバーと IBM Spectrum Protect データベースとの間で不整合が検出されました。LDAP ディレクトリー・サーバーで予期しない管理者項目が検出されました。LDAP ディレクトリー・サーバー内の余分な項目は、IBM Spectrum Protect サーバーの操作には影響を与えません。LDAP ディレクトリー・サーバーが複数の IBM Spectrum Protect サーバーで共有されている場合、この余分な項目は、その他の 1 つ以上の IBM Spectrum Protect サーバーで必要となる可能性があります。

システムの処置: FIX=YES を指定して AUDIT LDAPDIRECTORY コマンドが実行された場合、サーバーは、この管理者項目を LDAP ディレクトリー・サーバーから削除します。FIX=NO を指定してコマンドが実行された場合、サーバーは項目を削除しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2750I** スケジュール済みコマンド *schedule name* (*scheduled command*) を開始中。

説明: このメッセージは、サーバーがスケジュール済みコマンドの実行を開始した時に表示されます。スケジュールの名前と実際にスケジュールされたコマンドが表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行し、スケジュールされたコマンドが処理されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2751I** スケジュール済みコマンド *schedule name* が正常に完了しました。

説明: このメッセージは、サーバーがスケジュールされたコマンドの処理を正常に完了した時に表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2752E** スケジュール済みコマンド *schedule name* が失敗しました。

説明: このメッセージは、サーバーがスケジュールされたコマンドの処理中に障害を検出した時に表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジュールされたコマンドは終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、UPDATE SCHEDULE コマンドを使用



してスケジュール済みコマンドを訂正してください。  
 QUERY EVENT コマンドを使用して、このスケジュール済みコマンドの障害の原因を判別することもできます。

---

#### ANR2753I (Schedule name):command response

説明: このメッセージは、スケジュール済みコマンドに対するサーバーの応答を表示するために使用されます。メッセージの始めにコマンド・スケジュールの名前が括弧に入れて示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。スケジュールされたコマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2754E DEFINE SCHEDULE または UPDATE SCHEDULE パラメーター CMD='command' - 不明のコマンド。

説明: 指定されたコマンドは有効なサーバー・コマンドではありません。

システムの処置: DEFINE SCHEDULE または UPDATE SCHEDULE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいコマンドを再発行してください。

---

#### ANR2755E DEFINE SCHEDULE または UPDATE SCHEDULE パラメーター CMD='command' - スケジューリングには適格ではありません。

説明: 指定されたコマンドはスケジューリングに使用できません。

システムの処置: DEFINE SCHEDULE または UPDATE SCHEDULE コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2756I スケジュール済みコマンド *schedule name* が正常に開始されました。

説明: このメッセージは、サーバーがスケジュール済みコマンドのバックグラウンド処理の処理を正常に開始した時に表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2757E Command: NODES パラメーターは、管理スケジュールにイベントを照会している時には使用できません。

説明: TYPE=ADMINISTRATIVE と NODES パラメーターの両方を指定して、QUERY EVENT コマンドが出されました。NODES パラメーターは、管理スケジュールにイベントを照会している時には指定できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: NODES パラメーターを指定しないでコマンドを出してください。

---

#### ANR2758E 完全修飾の場合には 37 文字を超えず、完全修飾でない場合には 26 文字を超えない トレース・ファイル名を指定してください。

説明: .template ファイルではファイル名の終わりにさらに 9 文字が追加されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ファイル名の長さを S/390 システムの作業範囲までに減らしてください。

---

#### ANR2759I Command: ノード *node name* に対する *vfs name* という名前の仮想ファイル・スペース定義が削除されました。

説明: DELETE VIRTUALFSMAPPING コマンドに回答して、ノード *node name* に対する仮想ファイル・スペース・マッピング *vfs name* がサーバー・データベースで削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2760E Command: ノード *node name* に対する仮想 ファイル・スペース定義 *vfs name* を削除できません。同じ名前のファイル・スペース定義が存在します。

説明: DELETE VIRTUALFSMAPPING コマンドが入力されましたが、ノード *node name* に対する指定した仮想ファイル・スペース・マッピング *vfs name* はサーバー・データベース内に関連したファイル・スペース定義をもっています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 仮想ファイル・スペース定義を削除するには、その前に同じ名前を持つファイル・スペース定義を削除してください。

---

**ANR2762I** Command: ノード *node name* に対する *vfs name* という名前の仮想ファイル・スペース・マッピングが更新されました。

説明: UPDATE VIRTUALFSMAPPING コマンドに回答して、指定されたノードに対する仮想ファイル・スペース・マッピングが、サーバー・データベース内で更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2763E** Command: パス・パラメーターに対して入力された 16 進数ストリングが無効です。

説明: 示されたコマンドは、パス・パラメーターに対して無効な 16 進値を指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: パスを表すストリングが偶数個の有効な 16 進文字のみを含んでいることを確認してください。パス・パラメーターの有効な 16 進ストリングを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2764E** command: ファイル・スペース *filespace name* を *new filespace name* に名前変更することはできません。この名前の仮想ファイル・スペースは既にノード *node name* に存在しています。

説明: コマンドのターゲット名として指定されたファイル・スペース名が、指定されたノードの仮想ファイル・スペースとして既に存在しているのが検出されました。コマンドは失敗します。

システムの処置: サーバーは操作を続行し、このコマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 別のターゲット・ファイル・スペース名でコマンドを出し直してください。

---

**ANR2765E** command: *node name* に、仮想ファイル・スペース定義では無効なノード・タイプがあります。ノード・タイプは **NAS** である必要があります。

説明: Define VirtualFSMapping コマンドが無効なノード・タイプで入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: TYPE=NAS のノードを指定して、このコマンドをもう一度実行することができます。

---

**ANR2766W** Command: 仮想ファイル・スペース名 *vfs name* が **Network Attached Storage (NAS)** 装置のファイル・スペースの名前と重複しています。

説明: 指定されたサーバー・コマンドは、NAS 装置上の *file* スペースと同名の仮想ファイル・スペースを使用して入力されました。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: この NAS 装置の仮想ファイル・スペース・マッピングに、NAS 装置上に存在する実際のファイル・スペースと同じ名前がないことを確認してください。

---

**ANR2767E** Command: ストレージ・プール *Storage Pool Name* のデータ・フォーマットがストレージ・プール *Storage Pool Name* のデータ・フォーマットと一致していません。

説明: 指定されたストレージ・プールのデータ・フォーマットが一致しません。要求された操作が失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: QUERY STGPOOL F=D を使用して、さまざまなプールのデータ・フォーマットを表示し、操作に適切なものを判別してください。データ・フォーマットが一致するストレージ・プールを選択して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR2768I** プロセス *process ID* が操作でデータ・ムーバー *datamover name* を使用します。

説明: 示されているデータ・ムーバーが、指定されたプロセスで使用されます。

システムの処置: 示されているデータ・ムーバーが、指定されたプロセスで使用されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2769E** Command: プロセス *process ID* が終了しました - データ・ムーバーがアクセス不能です。

説明: 示されているプロセスは、いずれのデータ・ムーバーもアクセス不能であるために、示されているコマンドで終了しました。

システムの処置: 示されているプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 以前の各エラー・メッセージで、リモート・セッションを開始できなかった理由として考えられるものを調べてください。

---

**ANR2770E** *Command:* プロセス *process ID* が、  
*storage pool name* ストレージ・プールの  
 ボリューム *volume name* からのデータの  
 リストアをスキップしました - ドライ  
 ブ・パスが使用不可です。

説明: 示されているプロセスは、NAS タイプのデー  
 タ・ムーバーがいずれも使用不可であるために、示され  
 ているボリュームからのデータのリストアをスキップし  
 ました。

システムの処置: 示されているボリュームのデータはリ  
 ストアされません。

ユーザーの処置: QUERY STGPOOL を使用して、示  
 されているソース・ストレージ・プールが属している装  
 置クラスを取得してください。QUERY DEVCLASS を  
 使用して、ソース・ストレージ・プールが入っているライ  
 ブラリ内を取得します。次に、QUERY  
 DATAMOVER および QUERY PATH コマンドを使用  
 して、少なくとも 1 つの NAS データ・ムーバーにライ  
 ブラリ内のドライブへのパスがあることを確認しま  
 す。

---

**ANR2771E** ボリューム *volume name* のデータ移動プ  
 ロセスが終了しました - データ・ムーバ  
 ーがアクセス不能です。

説明: 示されているボリュームのデータ移動処理は、い  
 ずれのデータ・ムーバーもアクセス不能であるために終  
 了しました。

システムの処置: 示されているボリュームのデータ移動  
 は終了します。

ユーザーの処置: 以前の各エラー・メッセージで、リモ  
 ート・セッションを開始できなかった理由として考えら  
 れるものを調べてください。

---

**ANR2772E** *Command:* プロセス *process ID* が終了し  
 ました - ドライブ・パスまたはデータ・  
 ムーバーが使用不可です。

説明: 示されているコマンドに対して指定されたプロセ  
 スが、以下のいずれかの理由で終了しました。

- ソース・ストレージ・プールが入っているライブラリ  
 内のドライブへのパスがあるデータ・ムーバーがい  
 ずれも使用不可である。
- ターゲット・ストレージ・プールが入っているライブ  
 ラリ内のドライブへのパスがあるデータ・ムーバー  
 がいずれも使用不可である。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: QUERY STGPOOL を使用して、ソ  
 ースまたはターゲット・ストレージ・プールが属してい

る装置クラスを取得してください。QUERY  
 DEVCLASS を使用して、ソースまたはターゲット・ス  
 トレージ・プールが入っているライブラリ名を取得し  
 ます。次に、QUERY DATAMOVER および QUERY  
 PATH コマンドを使用して、少なくとも 1 つのデー  
 タ・ムーバーにライブラリ内のドライブへのパスがあ  
 ることを確認します。

---

**ANR2773E** ボリューム *volume name* のデータ移動プ  
 ロセスが終了しました - ドライブ・パス  
 またはデータ・ムーバーが使用不可です。

説明: 示されたボリュームの MOVE DATA 処理が、  
 以下のいずれかの理由で終了しました。

- ソース・ストレージ・プールが入っているライブラリ  
 内のドライブへのパスがあるデータ・ムーバーがい  
 ずれも使用不可である。
- ターゲット・ストレージ・プールが入っているライブ  
 ラリ内のドライブへのパスがあるデータ・ムーバー  
 がいずれも使用不可である。

システムの処置: 指示されたプロセスは終了します。

ユーザーの処置: QUERY STGPOOL を使用して、ソ  
 ースまたはターゲット・ストレージ・プールが属してい  
 る装置クラスを取得してください。QUERY  
 DEVCLASS を使用して、ソースまたはターゲット・ス  
 トレージ・プールが入っているライブラリ名を取得し  
 ます。次に、QUERY DATAMOVER および QUERY  
 PATH コマンドを使用して、少なくとも 1 つのデー  
 タ・ムーバーにライブラリ内のドライブへのパスがあ  
 ることを確認します。

---

**ANR2774E** *Command:* プロセス *process ID* が終了し  
 ました - データ・フォーマットが一致し  
 ません。

説明: リストア処理中に、リストアされているストレ  
 ージ・プールとコピー・ストレージ・プールのデータ・フ  
 ォーマットの不一致が発生しました。

システムの処置: 示されているリストア・プロセスは終  
 了します。

ユーザーの処置: 以前の各エラー・メッセージを調べ  
 て、リストアに使用するコピー・ストレージ・プールの  
 名前を判別します。可能な場合、リストア・コマンド  
 でリストアされているストレージ・プールとデータ・フ  
 ォーマットが同じコピー・ストレージ・プールを指定し  
 ます。

---

**ANR2775W** *Command:* プロセス *Process id* で出力エラーが発生しました。 ボリューム *volume name* のファイルがスキップされました - ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、ファイル名 *file name*、**FSID** *filespace id*。

説明: コピーまたは移動の操作中に、出力エラーが発生しました。 示されているファイルはスキップされました。

システムの処置: ファイルは処理されません。

ユーザーの処置: 可能な場合は、エラーを訂正して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR2776W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - ターゲット宛先のストレージ・プールは、コンテナ・ストレージ・プールまたはクラウド・ストレージ・プールに関連付けられています。

説明: 仮想ボリュームの保管に無効なストレージ・プールが使用されているため、指定されたセッションは失敗しました。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 仮想ボリュームにコンテナ・ストレージ・プールおよびクラウド・ストレージ・プールが使用されていないことを確認してください。 **UPDATE COPYGROUP** コマンドを使用して、有効なストレージ・プールを指すようにコピー・グループ宛先を更新することができます。

---

**ANR2777I** ノードの複製: ノード *node name* は、廃止および使用不可にされています。

説明: 要求されたノードは、廃止され、複製で使用不可にされているため、スキップされました。

システムの処置: 複製は続行しますが、このノードはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2778I** *Command:* オブジェクト *bfid* のインベントリ情報が欠落しています。

説明: 読み取り操作中に、ファイルの損傷レコードが識別されました。このファイルはスキップされます。

システムの処置: このファイルは表示されません。

ユーザーの処置: ファイル内のエラーを修正し、**QUERY CLEANUP** コマンドを再発行してください。

---

**ANR2779I** *Command:* すべての項目のインベントリ資料を表示できません。合計 *num files* 個のファイルで、インベントリ情報が欠落しています。欠落ファイルは表示されません。

説明: 読み取り操作中に、ファイルの損傷レコードが識別されました。このファイルはスキップされます。

システムの処置: これらのファイルは表示されません。

ユーザーの処置: ファイル内のエラーを修正し、**QUERY CLEANUP** コマンドを再発行してください。

---

**ANR2780W** *Command:* このコマンドの実行中に前に処理されたノードに対する更新がロールバックされます。

説明: **UPDATE NODE** 操作の実行中にエラーが起きました。 **UPDATE NODE** が複数のノードを処理していた場合には、前に処理されたノードに対する更新はロールバックされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2781E** *command name: keyword* は、*max length* 文字より長い値です。

説明: 示されたキーワードに対して指定されたディレクトリは長すぎます。 示された文字数以下のディレクトリを指定してください。 これは、基盤になっているデータベースの制約です。

システムの処置: サーバー・データベースのフォーマット処理は終了します。

ユーザーの処置: 示されたキーワードに対して有効な値を指定してください。

---

**ANR2782I** **SET DBRECOVERY** が正常に完了して、自動 **DB** バックアップの装置クラスは *value* に設定されています。

説明: 自動データベース・バックアップの装置クラス要件が **SET DBRECOVERY** コマンドによって設定されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2783E** **FORMAT:** 必須のキーワード *keyword* が指定されていません。

説明: データベースのフォーマット処理に必要なキーワードが指定されていません。

システムの処置: サーバー・データベースのフォーマット処理は終了します。

ユーザーの処置: 必要なパラメーターを指定して、フォーマット・コマンドを再発行してください。

---

**ANR2785E** *path name* にアクセスしようとして、エラーが発生しました。

説明: ディレクトリーへのアクセス試行中にアクセス否認エラーが発生しました。

システムの処置: コマンドは停止します。

ユーザーの処置: そのディレクトリーに対する許可が正しく設定されていることを確認してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2786E** サーバーは *path name* を見つけれませんでした。

説明: サーバーは指定されたディレクトリーを見つけれませんでした。

システムの処置: コマンドは停止します。

ユーザーの処置: そのディレクトリーが存在することを確認してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2787E** サーバーは、*path name* へのアクセスを試行中にエラー・コード *last error* で失敗しました。

説明: サーバーは指定されたディレクトリーへのアクセスに失敗しました。

システムの処置: コマンドは停止します。

ユーザーの処置: そのディレクトリーが存在することを確認してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2788E** データベース・ログのパス *path name* が空ではありません。

説明: サーバー・オプション・ファイルで新規の活動ログ、アーカイブ・ログ、あるいはミラー・ログ・ディレクトリーを指定する場合や、サーバーをフォーマットする場合は、予期せず既存のデータが上書きされることを防ぐために、指定されるディレクトリーは空でなければなりません。

システムの処置: FORMAT 操作が実行中であった場合、操作は停止します。サーバー・オプション・ファイ

ルを変更して新規のログ・ディレクトリーを指定する操作であった場合は、新規ディレクトリーは無視され、既存のディレクトリーが使用されます。

ユーザーの処置: 指定されたディレクトリーを確認してください。そのディレクトリー内のデータはすべて、必要なければ削除するか、あるいは新しいディレクトリーを作成してください。フォーマット・コマンドを再発行してください。

---

**ANR2790E** ファイル・パス *path name* の全探索中に、大量のシンボリック・リンクが検出されました。

システムの処置: サーバーはコマンドの処理を停止します。

ユーザーの処置: パス名で利用できるシンボリック・リンクの最大数については、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。ファイル・パスに導くシンボリック・リンクの数を減らしてから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR2791E** ファイル名またはボリューム名 *path name* が長すぎます。

システムの処置: サーバーはコマンドの処理を停止します。

ユーザーの処置: ファイルとパスの長さに関するオペレーティング・システムの制限を確認してください。もう少し短いファイル名またはボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2792E** パス *path name* のコンポーネントはディレクトリーではありません。

説明:

システムの処置: サーバーはコマンドの処理を停止します。

ユーザーの処置: ファイル名またはボリューム名のパスにあるすべてのディレクトリーを確認してください。有効なファイル・パスまたはボリューム・パスを指定してコマンドを再発行してください。コマンド。

---

**ANR2793W** データベース内で無効な **MAXTXNBYTE** 値 *value in bytes* が見つかりました。

説明: サーバーはデータベース内で無効な **MAXTXNBYTE** 値を検出しました。サーバーは **MAXTXNBYTE** のデフォルト値を使用し、処理は続行されます。

システムの処置: サーバーの初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR2794I** LDAP パスワードが設定されました。

説明: サーバーが LDAP サーバーに対する認証で使用するパスワードが SET LDAPPASSWORD コマンドによって設定、変更、または削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2795I** *command:* 修復で、ノード *node name* のバックアップ・セットの処理が失敗しました。 *node count* ノードに属する *backup set count* バックアップ・セットは、障害が発生する前に正常に修復されました。

説明: REPAIR BACKUPSET コマンドで、指定されたノードのバックアップ・セットの処理中にエラーが発生しました。一部のバックアップ・セットは正常に修復された可能性があります。

システムの処置: コマンドは失敗しました。一部のバックアップ・セットは修復された可能性があります。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。 QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。問題を訂正して、コマンドを再実行してください。

---

**ANR2796I** *command:* *node count* ノードに属する *backup set count* バックアップ・セットの修復が完了しました。

説明: REPAIR BACKUPSET コマンドは、示されている数のバックアップ・セットの保存開始日を正常に修正した後で完了しました。

システムの処置: コマンドは完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2797E** 日付範囲が無効なため、ライセンス値がスキップされました。

説明: 現行システム日付がライセンスに対して有効ではないため、1 つ以上のライセンス値がスキップされました。このメッセージは、*nodelock* ファイルの読み取り時に発行されます。これは、サーバーの始動時、ライセンスの監査時、または REGISTER LICENSE の際に発行される可能性があります。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: システム日付設定が正しいことを確認してください。システム日付の訂正後、数量値とともに

に登録されているライセンスを再登録する必要があります。

---

**ANR2798E** サーバー操作は拒否されました - サーバーは、*License required* のライセンス交付を受けていません。

説明: サーバーは、該当するサポートのライセンス交付を受けていないため、サーバー操作を拒否します。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: 該当するライセンスを取得し、登録してください。

---

**ANR2799W** サーバー操作がサーバー・ライセンス条項に違反しています - サーバーは、*License required* のライセンス交付を受けていません。

説明: サーバーは、該当するサポートのライセンス交付を受けていないため、サーバー操作について警告を発しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 該当するライセンスを取得し、登録してください。

---

**ANR2800E** ライセンス・マネージャーを開始することができません: *diagcode*。

説明: 初期化中に、使用可能な十分なメモリーがないので、ライセンス・マネージャーを開始することができません。診断コード *diagcode* が出されています。

システムの処置: 初期化は失敗します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2803I** ライセンス・マネージャーが開始されました。

説明: サーバーの初期化時に、ライセンス・マネージャーが開始されています。ライセンス・マネージャーは、ライセンスに適合しているかどうかをモニターします。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2804W** ライセンス・マネージャーに使用可能な十分なメモリがありません - *number of seconds* 秒間だけ再試行します。

説明: 使用可能な十分なサーバー・メモリがないので、サーバーはライセンス・マネージャーの処理を中断しています。

システムの処置: サーバーの操作は続行します。ライセンス・マネージャーの操作は指定された遅延の後で再試行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2805W** ライセンス・マネージャーに使用可能な十分な回復ログ・スペースがありません - *number of seconds* 秒間だけ再試行します。

説明: 使用可能な十分な回復ログ・スペースがないので、サーバーはライセンス・マネージャーの処理を中断しています。

システムの処置: サーバーの操作は続行します。ライセンス・マネージャーの操作は指定された遅延の後で再試行されます。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、*dsmserv.opt* ファイルの

**ACTIVELOGDIRECTORY**、**ARCHIVELOGDIRECTORY**、および

**ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。 **ACTIVELOGDIRECTORY** ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが **ACTIVELOGDIRECTORY** ロケーションにあり、**ARCHIVELOGDIRECTORY** および **ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、*dsmserv.opt* ファイルの **ARCHIVELOGDIRECTORY** または **ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2806W** ライセンス・マネージャーに使用可能な十分なデータベース・スペースがありません - *number of seconds* 秒間だけ再試行します。

説明: 使用可能な十分なデータベース・スペースがない

ので、サーバーはライセンス・マネージャーの処理を中断しています。

システムの処置: サーバーの操作は続行します。ライセンス・マネージャーの操作は指定された遅延の後で再試行されます。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、**EXTEND DBSPACE** コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR2807E** サーバーにライセンス・マネージャーのログ・スペースがありません。

説明: サーバーに使用可能な十分な回復ログ・スペースがないので、サーバーはライセンス・マネージャーのデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、データベースの更新は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、*dsmserv.opt* ファイルの

**ACTIVELOGDIRECTORY**、**ARCHIVELOGDIRECTORY**、および

**ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。 **ACTIVELOGDIRECTORY** ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが **ACTIVELOGDIRECTORY** ロケーションにあり、**ARCHIVELOGDIRECTORY** および **ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、*dsmserv.opt* ファイルの **ARCHIVELOGDIRECTORY** または **ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY** オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR2808E** サーバーにライセンス・マネージャーのデータベース・スペースがありません。

説明: サーバーに使用可能な十分なデータベース・スペースがないので、サーバーはライセンス・マネージャーのデータベース更新トランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、データベースの更新は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、**EXTEND DBSPACE** コマンド

を発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR2812W** ライセンスの監査が完了しました - 重要:  
サーバーがライセンス条項に適合していません。

説明: AUDIT LICENSES コマンドの結果は、サーバーが現在のライセンス条項に適合していないことを示しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、REGISTER NODE コマンドまたはバックアップ・アーカイブ要求 (あるいはその両方) は実行されません。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを使用して、既に適合していないライセンス条項を調べてください。

---

**ANR2815E** *Command:* ライセンス監査間の間隔に無効値が指定されました - *value*。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してコマンドを実行します。

---

**ANR2816E** *Command:* ライセンス監査操作または登録操作は既に進行中です。

説明: サーバーは、ライセンス登録またはライセンス監査を現在実行中です。

システムの処置: サーバーは指定されたコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ライセンス監査処理またはライセンス登録コマンドの終了後にコマンドを再発行してください。一度に実行中にしてかまわないのは 1 つの REGISTER LICENSE コマンドまたは AUDIT LICENSE 処理だけです。REGISTER LICENSE コマンドと AUDIT LICENSE 処理は同時に実行してはいけません。

---

**ANR2817I** *Command:* ライセンス監査はプロセス *process ID* として開始されました。

説明: ライセンスに適合しているかどうかを監査するバックグラウンド・プロセスが開始されました。

システムの処置: サーバーは既存のサーバーの構成を検査して、サーバーがライセンスを付与されている値と比較します。

ユーザーの処置: 管理者は、QUERY PROCESS コマンドを使用してバックグラウンド処理の状況を照会するか、または CANCEL PROCESS コマンドでこの処理を取り消すことができます。

---

**ANR2818E** エラー *Error Code* でコンテナ *Container Name* の整合性検査が失敗しました。

説明: ストレージ・プールでデータ保全性の問題が検出されました。

システムの処置: サーバーは、通常の操作の一環としてデータを検査し、データ保全性の問題を検出しました。

ユーザーの処置: REPAIR STGPOOL コマンドを発行してデータを修復するか、リカバリー・サーバーからデータをリカバリーしてください。

---

**ANR2820I** 自動ライセンス監査はプロセス *process ID* として開始されました。

説明: ライセンスに適合しているかどうかを監査するバックグラウンド・プロセスが開始されました。

システムの処置: サーバーはストレージの使用状況およびサーバーの登録済みノードとライセンス係数を検査して、これらをサーバーがライセンスを付与されている値と比較します。

ユーザーの処置: 管理者は QUERY PROCESS コマンドを使用してバックグラウンド処理の状況を照会することができます。

---

**ANR2821E** 自動ライセンス監査を開始できませんでした。 *diagcode*。

説明: 使用可能な十分なメモリーがないので、ライセンス・マネージャーがサーバーのライセンスを監査する自動処理を開始することができません。診断コード *diagcode* が出力されています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR2822I** 取り消し処理が進行中

説明: ライセンスの監査操作が取り消され、バックグラウンド・プロセス用にリソースが解放された時に終了します。このメッセージは、AUDIT LICENSES 操作の QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。



---

**ANR2823I**    *number of nodes* 個のノードが監査されています

説明: AUDIT LICENSES 操作が進行中です。この処理によって、示されているノード数が監査されました。このメッセージは、AUDIT LICENSES 操作の QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2824I**    ライセンス監査処理 *process number* が取り消されました - *number of nodes* のノードが監査されました。

説明: CANCEL PROCESS コマンドを使用して、サーバーのライセンスを監査するバックグラウンド・サーバー処理が取り消されました。この操作が終了するまでに監査されたノード数がメッセージに報告されています。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2825I**    ライセンス監査処理 *process number* が正常に完了しました - *number of nodes* 個のノードが監査されました。

説明: 示されているノード数の監査後に、サーバーのライセンスを監査するバックグラウンド・サーバー処理が正常に完了しました。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2826I**    ライセンス監査処理 *process number* エラーで終了しました - *number of nodes* 個のノードが監査されました。

説明: サーバーのライセンスを監査するバックグラウンド・サーバー処理でエラーが見つかって終了しています。この操作が終了するまでに監査されたノード数がメッセージに報告されています。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2827I**    *feature name* をサポートするライセンスがサーバーには、*licensed quantity* 部あります。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2828I**    サーバーは *feature name* をサポートすることをライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2829E**    *Command:* パラメーター - *parameter* は許可されません。

説明: UPDATE NODE コマンドは、許可されないパラメーターを使用して入力されています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: ノード定義上の REPLMODE パラメーターおよび REPLSTATE パラメーターを更新する場合、特定の値の変更を禁止する制限があります。意図しない更新を阻止するコマンドの処理中に、いくつかの条件が実施されます。構文処理は厳密に実施され、ほとんどの場合、UPDATE NODE を使用する前に他のコマンドを発行することが必要です。

UPDATE NODE コマンドについては、製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「UPDATE NODE」を検索してください。

---

**ANR2832I**    *Command:* ライセンス・マネージャーはまだ初期化を完了していません - 後で、このコマンドをやり直してください。

説明: 示されているライセンス・コマンドを処理しようとしている時に、サーバーが、サーバーのライセンス・コンポーネントがまだ初期化を完了していないのを見つけています。一部のプラットフォームで使用されるライセンス機能には、ネットワーク呼び出しの関係で初期化にしばらくかかるものがあり、待機が行われるものがあります。

システムの処置: サーバー操作は続行します。コマンドは処理されません。

---

ユーザーの処置: 10 分間待ってからコマンドを再発行してください。 何回も試みた後でこのメッセージが表示された場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2835I** サーバーは *number of clients* 個のクライアントにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中と、以後 1 時間ごとに outされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2839I** 自動ライセンス監査はプロセス *process ID* として開始されました。

説明: ライセンスに適合しているかどうかを監査するバックグラウンド・プロセスが開始されました。

システムの処置: サーバーは登録済みノードを検査して、サーバーがライセンスを付与されている値と比較します。

ユーザーの処置: 管理者は QUERY PROCESS コマンドを使用してバックグラウンド処理の状況を照会することができます。

---

**ANR2841W** サーバーはライセンス条項に適合していません。

説明: このメッセージは、サーバーの構成がライセンスを付与されている条項に適合しない場合に、定期的に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを使用して、ライセンス条項に対する現在のサーバーの構成を表示し、構成のどの要素がライセンスに適合していないかを調べてください。 必要な場合にさらにライセンスを取得するためにはサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2842I** サーバーは *number of gigabytes* ギガバイトのストレージをサポートするようにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に outされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2843I** サーバーは **UNIX** クライアントをサポートするようにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に outされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

---

**ANR2844I** サーバーはデスクトップ・クライアントをサポートするようにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中と、以後 1 時間ごとに outされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2847W** 追加のクライアント *client node name* はサーバーがサポートをライセンスしているクライアント容量を超えています。

説明: このメッセージは、REGISTER NODE コマンドまたはオープン登録によって新しいクライアント・ノードがサーバーに追加され、サーバーに登録された実際のノード数がサーバーのライセンス容量を超えた時に outされます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは、サーバーがそのライセンス条項に従って作動していないことを管理者に知らせるものとして outされます。 サーバーにさらにライセンスが必要な場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2852I** 現行ライセンス情報:

説明: このメッセージは、REGISTER LICENSE コマンドの実行中に、このコマンドによって新しいライセンスが解釈される前に、サーバーの現在のライセンス情報を表示するために outされます。 このメッセージの後で表示されるメッセージは、サーバーが現在ライセンスを付与されている要素を表示します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2853I** 新規ライセンス情報:

説明: このメッセージは、REGISTER LICENSE コマンドの実行中に、このコマンドによって新しいライセンスが解釈された後で、サーバーの更新されたライセンス情報を表示するために出されます。このメッセージの後で表示されるメッセージは、サーバーがライセンスを付与される更新された要素を表示します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 新しいライセンス情報に、REGISTER LICENSE コマンドの対象である更新が組み込まれていることを確認してください。ライセンス条項が変更されていない場合には、パラメーターを調べて、正しく入力されていないことがわかったら、コマンドを再発行してください。REGISTER LICENSE コマンドでライセンス条項に必要な更新が行われない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2854I** サーバーは装置サポート・モジュール *module number* に対してライセンスされています。

説明: このメッセージはサーバーの始動中に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2855W** UPDATE STGPOOLDIRECTORY コマンドは、ストレージ・プール・ディレクトリー *directory name* 内のコンテナ・ストレージ・プール *pool name* に保管されているすべてのデータに「破棄」のマークを付けます。

説明: stgpoolmdir のアクセスを「破棄」に変更する update stgpoolmdir コマンドが入力されました。これにより、関連するストレージすべてに、リカバリーする必要があるとマークが付けられます。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合には 'Y' を、またこのプロセスを終了する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR2859I** サーバーは 2 次サーバー接続機構に対してライセンスされています。

説明: このメッセージはサーバーの始動中に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2860I** サーバーは 災害時回復管理機能 をサポートするようにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に出されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2861I** サーバーは NETWORK 接続をサポートするようにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に出されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2863I** サーバーは Enterprise Administration 機能をサポートするようにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に出されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2864I** サーバーはサーバー間仮想ボリュームをサポートするようにライセンスされています。

説明: このメッセージは、サーバーの始動中に出されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2865W** サーバーは Enterprise Administration 機能をサポートするようにライセンスされていません。このアクションを実行することによって、もはやライセンス条項に適合していません。

説明: このメッセージは、Enterprise Administration 機能が使用されて、サーバーがこの機能をサポートするようにライセンスを付与されていない時に出されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: インストールをライセンス条項に適合するように戻すためには、Enterprise Administration 機能のライセンスを取得するか、あるいは中央ログ定義

を除去してください。このメッセージに疑問や懸念がある場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2868E** サーバーは **Enterprise Administration** 機能をサポートするようにライセンスされていません。

説明: このメッセージは、Enterprise Administration 機能が使用されて、サーバーがこの機能をサポートするようにライセンスを付与されていない時に出されます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: Enterprise Administration のライセンスを取得したい場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR2899E** *Command: storage pool type* のストレージ・プール *storage pool name* に対する操作が無効です。

説明: 示されているコマンドが、そのコマンドに対して無効なストレージ・プール内のボリュームを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プール内のボリュームを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR2900W** 割り当て時に文字ストリング '*string*' が切り捨てられました。

説明: 切り捨ては SQL 文字ストリングの割り当て中に起こりました。例えば、式 CAST( 'Hello' AS CHAR(2) ) では、ストリング 'Hello' (長さ 5) は、末尾の文字を失わないでターゲット・タイプ CHAR(2) に入れることはできないので切り捨てが行われます。

システムの処置: この警告は、SQL 照会処理の前または後に出されますが、照会処理は終了されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2901W** 文字ストリング連結の結果が切り捨てられました。

説明: 切り捨ては、文字ストリングの連結で長さが文字ストリングの最大長 (データ・タイプ CHAR の場合には 250、データ・タイプ VARCHAR の場合には 2000) を超えた時に行われます。

システムの処置: この警告は、SQL 照会処理の前または後に出されますが、照会処理は終了されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2902E** SQL ステートメントを処理するために使用可能なメモリが不足しています。

説明: SQL 照会の処理を完了するために使用可能なメモリが十分ではありません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2903E** トークン '*token*' の処理中に、SQL パーサーのスタック・オーバーフローが発生しました。

説明: SQL 照会パーサーが使用している内部スタックがオーバーフローしました。通常、これは SELECT 文節に指定された欄名または式が多すぎる時に起こります。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2904E** 予期しない SQL キーワード・トークン - '*token*'。

説明: SQL ステートメント内の示された位置に正式には使用できない SQL キーワードが見つかったので、構文エラーが起こりました。SQL キーワードの例は SELECT、FROM、および WHERE です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2905E** 予期しない SQL 識別名トークン - '*token*'。

説明: SQL ステートメント内の示された位置に正式には使用できない SQL ID が見つかったので、構文エラーが起こりました。SQL ID の例は表名および列名です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2906E** 予期しない SQL リテラル・トークン - '*token*'。

説明: SQL ステートメント内の示された位置に正式には使用できない SQL リテラル・トークンが見つかったので、構文エラーが起こりました。SQL リテラル・トークンの例は 'abc'、1.567、および DATE '1/1/96' です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2907E** 予期しない SQL 演算子トークン - 'token'。

説明: SQL ステートメント内の示された位置に正式には使用できない SQL 演算子トークンが見つかったので、構文エラーが起きました。SQL 演算子トークンの例は +、\*、<、および = です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2908E** 予期しない SQL 句読点トークン - 'token'。

説明: SQL ステートメント内の示された位置に正式には使用できない SQL 句読点トークンが見つかったので、構文エラーが起きました。SQL 句読点トークンの例はピリオド、コンマ、および括弧です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2909E** SQL ステートメントが不完全です。追加トークンが必要です。

説明: SQL 照会式の構文はストリングの終わりまで正確でしたが、パーサーが構文的に正しい SQL ステートメントにするために追加のトークンを必要としているので、構文エラーが起きました。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2910E** 無効な SQL トークン - 'token'。

説明: 無効な SQL トークンが見つかりました。例えば、文字順序 "!!:" で形成されるトークンは有効な SQL トークンではありません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2911E** 無効な SQL 数値リテラル・トークン - 'token'。

説明: 無効な SQL 数値リテラル・トークンが見つかりました。例えば、浮動小数点リテラル "1.456E" は正しくありません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2912E** 無効文字ストリング・リテラル・トークン - 'token'。

説明: 無効な SQL 文字ストリング・リテラル・トークンが見つかりました。例えば、16 進数リテラル X'78FG' は、文字 'G' が入っているので無効です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2913E** 無効な SQL 識別名トークン - 'token'。

説明: 無効な SQL ID トークンが見つかりました。例えば、ストリング "ABC.123" は、ID の 2 番目の部分 "123" が文字で始まっていないので無効です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2914E** SQL 識別名トークン 'token' は長すぎます。名前またはコンポーネントが 18 文字を超えています。

説明: コンポーネント当たり 18 文字の最大長を超える SQL ID トークンが見つかりました。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2915E** 'token' で始まる SQL トークンの終了区切り文字が欠落しています。

説明: 終了区切り文字が抜けている SQL トークンが見つかりました。例えば、トークン 'abc, "abc, および X'abc' にはそれぞれ終了区切り文字が抜けています。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2916E** SQL データ・タイプ *data type* および *data type* は演算子 '*operator*' の場合は非互換です。

説明: オペランドのデータ・タイプは、指定の演算子と使用する時は互換ではありません。例えば、式 3 + 'abc' は、オペランドのデータ・タイプ INTEGER および CHAR(3) は加算演算子 "+" の場合は互換ではないので正しくありません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2917E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは整数式です。

説明: 位取りゼロのデータ・タイプ

SMALLINT、INTEGER、または DECIMAL の SQL 式が必要です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2918E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのはブール式です。

説明: データ・タイプ BOOLEAN の SQL 式が必要です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2919E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは数式です。

説明: 数値データ・タイプ SMALLINT、INTEGER、DECIMAL、NUMERIC、REAL、FLOAT、または DOUBLE\_PRECISION の SQL 式が必要です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2920E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは数値または間隔式です。

説明: 数値データ・タイプ (SMALLINT、INTEGER、DECIMAL、NUMERIC、REAL、FLOAT、DOUBLE) または間隔データ・タイプ (INTERVAL) の SQL 式が必要です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2921E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは文字ストリング式です。

説明: 文字ストリング・タイプ CHAR または VARCHAR の SQL 式が必要です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2922E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは日付、タイム・スタンプ、文字ストリング日付、文字ストリング・タイム・スタンプ、または間隔式です。

説明: EXTRACT 関数のオペランドとしてタイプ DATE、TIMESTAMP、CHAR、VARCHAR、または INTERVAL のいずれかの SQL 式が必要です。CHAR または VARCHAR の場合には、式は日付またはタイム・スタンプの有効な文字ストリング表示でなければなりません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2923E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは時刻、タイム・スタンプ、文字ストリング時刻、文字ストリング・タイム・スタンプ、または間隔式です。

説明: EXTRACT 関数のオペランドとしてタイプ TIME、TIMESTAMP、CHAR、VARCHAR または INTERVAL のいずれかの SQL 式が必要です。CHAR または VARCHAR の場合には、式は時刻またはタイム・スタンプの有効な文字ストリング表示でなければなりません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2924E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは日付または文字ストリング日付です。

説明: タイプ DATE、CHAR、または VARCHAR のいずれかの SQL 式が必要です。CHAR または VARCHAR の場合には、式は日付の有効な文字ストリング表示でなければなりません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2925E** 式 'expression' の SQL データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは時刻または文字ストリング時刻式です。

説明: タイプ TIME、CHAR、または VARCHAR のいずれかの SQL 式が必要です。CHAR または VARCHAR の場合には、時刻の有効な文字ストリング表示でなければなりません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2926E** 式 '*expression*' の **SQL** データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは日付、タイム・スタンプ、文字ストリング日付、または文字ストリング・タイム・スタンプ式です。

説明: タイプ DATE、TIMESTAMP、CHAR、または VARCHAR のいずれかの SQL 式が必要です。CHAR または VARCHAR の場合には、式は日付またはタイム・スタンプの有効な文字ストリング表示でなければなりません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2927E** 式 '*expression*' の **SQL** データ・タイプは *data type* ですが、必要としているのは単一の日付/時刻フィールドを含む間隔です。

説明: すべて単一の日付/時刻フィールドが入っているデータ・タイプ INTERVAL YEAR、INTERVAL MONTH、INTERVAL DAY、INTERVAL HOUR、INTERVAL MINUTE、または INTERVAL SECOND の SQL 式が必要です。複数フィールドの間隔タイプ (例えば、INTERVAL DAY TO SECOND) は使用できません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2928E** 間隔に複数の日付/時刻フィールドが含まれている場合には、数値を **SQL** データ・タイプ **INTERVAL** に変換できません。

説明: 数字をデータ・タイプ INTERVAL に変換しようとしたが、ターゲット間隔に複数の日付/時刻フィールド (例えば、INTERVAL DAY TO SECOND) が入っています。単一フィールドの間隔タイプ INTERVAL YEAR、INTERVAL MONTH、INTERVAL DAY、INTERVAL HOUR、INTERVAL MINUTE、または INTERVAL SECOND しか指定できません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2929E** 式 '*expression*' は整数ではありません。

説明: 1 または -9 などの整数が必要です。例えば、DECIMAL 関数では、精度および位取りオペランドは整数である必要があります。1.67 のような 10 進数は無効です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2930E** **SQL** 式で使用される副照会には単一の結果列を指定する必要があります。

説明: 式に使用する副照会で複数の結果欄を指定することはできません。例えば、式 X > (select A,B from T) は、2 つの結果欄 (A と B) を指定しているので無効です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2931E** 副照会式には外部照会式に含まれている列名への参照を含めることはできません。

説明: 副照会に、外側の照会式の欄名に対する参照が入っています。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2932E** 副照会式のネストの最大の深さを超えています。

説明: あまりにも多くのネストされた副照会が指定されました。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2933E** **WHERE** 文節に集合関数を含めてはいけません。

説明: WHERE 文節に集計機能 COUNT、MAX、MIN、SUM、AVG、VARIANCE、または STDDEV を使用することはできません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2934E** **CASE** 式の結果データ・タイプを判別できません。非ヌルの **THEN** または **ELSE** 式を少なくとも 1 個は指定する必要があります。

説明: すべての THEN 式および ELSE 式 (ある場合)

に NULL キーワードが指定されているので、CASE 式の結果のデータ・タイプを判別できません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2935E** 日付/時刻フィールド *field* が式 '*expression*'(データ・タイプ *data type*) に存在していません。

説明: 式のデータ・タイプに、示された日付/時刻フィールド (YEAR、MONTH、DAY、HOUR、MINUTE、または SECOND) が入っていません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2936E** SQL 集合関数 *function* は別の集合関数内にネストできません。

説明: 別の集計機能式内に、集計機能 COUNT、MAX、MIN、SUM、AVG、VARIANCE、または STDDEV の 1 つがネストされているのが見つかりました。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2937E** SQL 副照会式は集合関数内でネストできません。

説明: 集計機能 COUNT、MAX、MIN、SUM、AVG、VARIANCE、または STDDEV の 1 つの中にネストされている副照会が入っている式が見つかりました。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2938E** 列 '*column*' はこの文脈では使用できません。この列は **GROUP BY** 文節に指定するか、あるいは集合関数内にネストしている必要があります。

説明: GROUP BY 文節に指定がなく、集計機能 COUNT、MAX、MIN、SUM、AVG、VARIANCE、または STDDEV のいずれにもネストされていない列参照が指定されています。1) GROUP BY 文節が指定されているか、2) HAVING 文節が指定されているか、または 3) 少なくとも 1 つの集計機能が存在しているので、列参照を使用することはできません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2939E** 参照 '*reference*' に不明な SQL 表名が含まれています。

説明: SQL コマンドの表名が、サーバーのデータベースで定義された基本表の 1 つになっていません。表 SYSCAT.TABLES の各行を選択して、有効なすべての基本表のリストを取得することができます。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー・データベースによって定義されている表を使用してコマンドをやり直してください。

**ANR2940E** コマンド '*reference*' に不明な SQL 列名が含まれています。

説明: SQL コマンドの列名が、サーバーのデータベースで定義された基本表の列の 1 つになっていません。表 SYSCAT.COLUMNS の各行を選択して、有効な基本表のすべての列のリストを取得することができます。X.Y のような 2 つの部分から成る (複合) 列参照が指定されている場合には、相関名 X はその照会の活動相関名の 1 つでなければなりません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2941E** 列参照 '*column reference*' が複数の SQL 列名と一致します。

説明: 指定された列参照は、複数の表に関連した列と一致しているのであいまいです。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2942E** 列参照 '*column reference*' は、外部 SQL 照会式の一部になっているために、この文脈では使用できません。

説明: 指定された列参照は、外側の照会式の列を指定しているので使用できません。このような参照は、HAVING および SELECT 文節の式の中に入っている場合には許可されません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。



---

**ANR2943E** 列参照 '*column reference*' は同一リスト中の別の **SQL** 列名と重複しています。

説明: 重複している列参照が同一の GROUP BY または ORDER BY リストの列に指定されました。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2944E** 参照 '*reference*' は不明の **SQL** スカラー関数名です。

説明: 指定された関数参照は有効なスカラー関数の名前になっていません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2945E** **SQL** スカラー関数 *function* に指定された引数が少なすぎます。

説明: 指定された関数の引数が少なすぎます。例えば、式 LEFT(x) は、LEFT 関数に少なくとも 2 つの引数が必要なので無効です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2946E** **SQL** スカラー関数 *function* に指定された引数が多すぎます。

説明: 指定された関数の引数が多すぎます。例えば、式 UPPER(x,y) は、UPPER 関数には 1 個しか引数が必要ないので無効です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2947E** 演算子 '*operator*' にゼロによる除算が指定されました。

説明: 指定された **SQL** 演算子にゼロで除算しようとしているのが検出されました。この問題はおおむね、値の 1 つがゼロである列が除算の分母に使用されていることから発生します。このような事例を防止するために NULLIF 関数を使用することができます。例えば、式 1/X の代わりに、X の値がゼロの場合に式がヌルに設定される 1/NULLIF(X,0) を指定します。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2948E** 値 '*value*' は **SQL** データ・タイプ *data type* に代入または変換することはできません。

説明: 1) 値のデータ・タイプを合法的にターゲット・データ・タイプにキャストできない (例えば、データ・タイプ TIME をデータ・タイプ INTEGER に変換することはできない) か、2) 値の割り当てでターゲット・データ・タイプにオーバーフローが起こる (例えば、10 進数値 12345678.34 は、ターゲット・タイプの精度を超えるので、データ・タイプ DECIMAL(3,2) に割り当てることができない)、または 3) 文字ストリング値の構文がターゲット・データ・タイプに適切ではない (例えば、ストリング 'abc' をデータ・タイプ DATE に変換することはできない) ので、値を指定された **SQL** データ・タイプに割り当てまたは変換することができませんでした。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2949E** **SQL** 演算子 '*operator*' に関する算術オーバーフローが発生しました。

説明: 指定された演算子に算術オーバーフローが起きました。この例には、1) 最小の INTEGER 値 (-2147483648) に単項の負の演算子を適用すると、結果を 2 の補数で表すことができないので、オーバーフローの原因となる、2) SUM 集計関数に適用した INTEGER 列値のセットの合計を INTEGER タイプの精度内で表すことはできない、が含まれます。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2950E** 値 '*value*' (データ・タイプ *data type*) および '*value*' (データ・タイプ *data type*) に対する **SQL** 演算子 '*operator*' に関する算術オーバーフローまたは日付/時刻オーバーフローが発生しました。

説明: 指定された演算子に算術または日付/時刻のオーバーフローが起きました。オーバーフローの原因になった値 (およびそれらの **SQL** データ・タイプ) が表示されます。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2951E** 値 '*value*'(データ・タイプ *data type*) は、演算子 '*operator*' に有効な引数ではありません。

説明: SQL 演算子の引数として無効値が指定されました。例えば、式 SQRT(-1) は、SQRT 関数の引数が負になっているので有効ではありません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2952E** 値 '*value*'(データ・タイプ *data type*) は、演算子 '*operator*' に有効な SQL 日付またはタイム・スタンプの文字ストリング表現ではありません。

説明: DATE または TIMESTAMP の無効な文字ストリング表現が指定されました。例えば、ストリング 'abc' は有効な日付でもタイム・スタンプでもありません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2953E** 値 '*value*'(データ・タイプ *data type*) は、演算子 '*operator*' に有効な SQL 時刻またはタイム・スタンプの文字ストリング表現ではありません。

説明: TIME または TIMESTAMP の無効な文字ストリング表示が指定されました。例えば、ストリング 'g pm' は、有効な時刻でもタイム・スタンプでもありません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2954E** スカラー式に使用された SQL 副照会により、多くとも 1 行しか含まない表が作成される必要があります。

説明: このエラーは、スカラー式に使用された副照会で複数行が戻されて、どの値を戻すべきかがあいまいになった時に起こります。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: 副照会で多くとも 1 行が戻されるように副照会を (例えば、WHERE 文節を使用して) 指定し直してください。

**ANR2955E** SQL 文字ストリング式 '*expression*' は単一文字を戻す必要があります。

説明: LIKE 演算子の ESCAPE 文節、TRIM 演算子のトリム文字、または LEFT あるいは RIGHT 関数の埋め込み文字には、1 文字の文字ストリングが必要です。例えば、ストリング 'Hello' は、複数の文字が入っているので無効です。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2956E** SQL 基本表 '*table*' にアクセスできません。

説明: SQL 基本表の 1 つから行を読み取ろうとしている時にエラーが起こりました。通常、このメッセージの前にはこの状態を記述している別のエラーがあります。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2957E** SQL 一時表に行の挿入中にエラーが発生しました。サーバーのデータベース・サイズを増やすことが必要な場合があります。

説明: SQL 照会に使用する一時表に行を挿入しようとしている時にエラーが起こりました。通常、このメッセージの前にはこの状態を記述している別のエラーがあります。多くの場合には、このエラーはサーバー・データベースのサイズを大きくすることによって解決することができます。SQL SELECT 照会の実行中に作成された一時表を保管するために、データベースのフリー・スペースが使用されます。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR2958E** SQL 一時表のストレージが使い果たされています。

説明: 一時表ストレージ・スペースが使用不可能だったので、SQL 照会の結果を計算できませんでした。QUERY DB コマンドを発行し、削減可能最大値パラメーターを表示することによって、一時表ストレージ・スペースで使用可能となるスペース容量を判別することができます。このパラメーターが 4 未満の場合は、ストレージ・スペースが使用し尽くされて、SQL 照会はどう実行できません。ORDER BY 文節、GROUP BY 文節、および DISTINCT 演算子などの複合 SQL 照会で

は、追加の一時表スペースが必要になることがあります。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ユーザーのデータベースが満杯の場合は、データベースのサイズを大きくしてください。ユーザーのデータベースがフラグメント化された場合 (使用可能スペース・パラメーターは 4 より大ですが、削減可能最大値パラメーターは 4 未満) には、そのデータベースをアンロードしてロードするか、あるいはボリュームを追加する必要があります。

---

#### ANR2959E SQL 一時表の行幅が広すぎます。

説明: 行が広すぎるので、SQL 一時表に行を挿入することができませんでした。これは、1) 挿入する行の列が多すぎるか、または 2) その行の列の長さの合計が広すぎる場合に起こることがあります。一時表は、1) ORDER BY 文節が指定されているか、2) GROUP BY 文節が指定されているか、または 3) DISTINCT 演算子が指定されている場合に使用されます。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ORDER BY または GROUP BY、あるいはその両方の文節に指定されている列の数を減らしてください。

---

#### ANR2960E 予期しない SQL 列挙型名トークン - 'token'。

説明: SQL ステートメント内の指定された位置には合法的に使用できない SQL 列挙型名が見つかったために構文エラーが起きました。サーバーで宣言された列挙型のすべてのリストは、SQL カタログ表 SYSCAT.ENUMTYPES にあります。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2961E 無効な SQL 列挙型名 - 'name'。

説明: SQL 列挙型名が必要ですが、指定された名前は宣言された列挙型のいずれでもないので構文エラーが起きました。例えば、リテラル式 XXX::YYYY は、XXX が有効な列挙型名でないので無効です。サーバーで宣言された列挙型のすべてのリストは、SQL カタログ表 SYSCAT.ENUMTYPES にあります。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2962E 値 'value' に関する SQL 列挙型を解決できません。

説明: 修飾されていない SQL 列挙値名が指定されて、その値名が複数の列挙型のメンバーで、その型を解析できなかったため、構文エラーが起きました。例えば、列挙値名 YES は複数の列挙型に属しているので、式 YES = YES の結果のタイプを解析することはできません。サーバーで宣言された列挙型のすべてのリストは、SQL カタログ表 SYSCAT.ENUMTYPES にあります。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2963W この SQL 照会は非常に大容量の結果表を作成するか、あるいは計算に非常に長時間を必要とすることがあります。

説明: 非常に大きな行数を戻して表示する可能性があるか、または結果表の最初の行を生成するまでの処理時間が非常に大きくなるような SQL 照会が出されました。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: SQL 照会の処理を続行するには 'Y' を、この照会を終了するには 'N' を入力してください。

---

#### ANR2964E 参照 'reference' は SQL 結果表の列ではありません。

説明: ORDER BY 文節が、SQL 照会の結果表の一部でない列を指定しています。選択リストに名前のある列だけが、結果表に含まれています。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

#### ANR2965E SQL 一時表を構築することができません。required columns 列が必要です。最大数は maximum columns です。

説明: SQL 照会の処理を完了するには、一時表に幅 required columns が必要です。SQL 表の最大度数は maximum columns です。表は作成されません。

システムの処置: SQL 照会は終了されました。

ユーザーの処置: ORDER BY または GROUP BY、あるいはその両方の文節が指定されている場合には、結果表に必要な列の数を減らしてください。

**ANR2966E** *Command/process:* データベース一時表ストレージが使い果たされています。

説明: 使用できる一時表のストレージ・スペースが不足していたので、名前が示されたコマンドまたは処理を完了できませんでした。サーバー・データベース内のフリー・スペースは、名前が示されたコマンドまたは処理の実行中に作成された一時表を保管するために使用されます。

システムの処置: 名前が示されたコマンドまたは処理は終了されます。

ユーザーの処置: サーバー・データベースを (必要な場合は、データベース・ボリュームの追加後に) 拡張して、コマンドまたは処理を再実行してください。

**ANR2968E** データベースのバックアップは終了しました。 **DB2 SQL** コード: *sqlcode*。 **DB2 sqlerrmc:** *sqlerrmc*。

説明: バックアップ操作中に、DB2 が問題を検出しました。問題の原因には、以下が含まれている可能性があります。

1. IBM Spectrum Protect サーバー・データベースがある DB2 インスタンスの IBM Spectrum Protect API 構成エラー。
2. DB2 バックアップ操作に関連したエラー。
3. ターゲット・バックアップ・デバイスに関連したエラー。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: メッセージが DB2 SQL コード 2033 を示している場合、問題は、IBM Spectrum Protect API 構成と考えられます。DB2 インスタンスは、IBM Spectrum Protect API を使用して IBM Spectrum Protect データベース・バックアップ・イメージを IBM Spectrum Protect サーバーに接続されたストレージ装置にコピーします。一般的な *sqlerrmc* コードには、以下があります。

1. 50 - エラーが API タイムアウト状態を引き起こしたかどうかを判断するには、データベース・バックアップ・プロセス中に発生して、ANR2968E の前に出された IBM Spectrum Protect サーバー・メッセージを探してください。IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルで、バックアップされる IBM Spectrum Protect サーバーに正しい TCPSERVERADDR と TCPPORT オプションが指定されていることを確認してください。オプション設定が間違っている場合は、DB2 インスタンスのその設定を訂正してください。

2. 53 - IBM Spectrum Protect API オプション・ファイル内の NODENAME オプションが `$$_TSMDBMGR_$$` に設定されていることを確認してください。TCPSERVERADDRESS 設定値も検査してください。キーワード「localhost」が使用されている場合は、システム・コマンド・ウィンドウからコマンド「ping localhost」を発行して、これが正しく解決されていることを検査してください。  
localhost の ping が失敗した場合、TCPSERVERADDRESS を明示的なループバック・アドレス 127.0.0.1 に変更することを検討してください。明示的なループバック・アドレス 127.0.0.1 の設定に代わる手段としては、TCP/IP 構成と「localhost」が正しく構成されているかどうかを検査してください。例えば、UNIX または Linux システムの場合は、`/etc/hosts` に「localhost」の適切な項目があることを確認します。
3. 106 - DB2 インスタンスの DSMI\_DIR 環境変数に IBM Spectrum Protect API 実行可能プログラムおよび `dsm.sys` 構成ファイルの位置が示されていることを確認してください。DSMI\_DIR 設定が間違っている場合は、DB2 インスタンスのその設定を訂正し、DB2 インスタンスを再始動させてください。
4. 137 - DB2 インスタンスの DSMAPIPW コマンドが実行されたこと、およびノード名 `$$_TSMDBMGR_$$` とパスワード TSMDBMGR が指定されたことを確認してください。
5. 400 - IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルに指定されたオプションが有効であることを確認してください。
6. 406 - DB2 インスタンス所有者が、IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルに対して、少なくとも読み取りアクセスを持っていることを確認してください。DB2 インスタンスの DSMI\_CONFIG 環境変数が、IBM Spectrum Protect API の有効なオプション・ファイルを示していることを確認してください。DSMI\_CONFIG 設定が間違っている場合は、DB2 インスタンスのその設定を訂正し、DB2 インスタンスを再始動させてください。
7. 450、451 - サーバー・オプション・ファイルと IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルの両方に COMMMETHOD SHAREDMMEM オプションが含まれていることを確認してください。各オプション・ファイルの SHMPORT オプションの値が一致していることを確認してください。サーバー・オプション・ファイルの値を変更した場合は、サーバーを再始動します。
8. その他の *sqlerrmc* 値の説明については、IBM Spectrum Protect API と一緒にインストールされる `dsmrc.h` ファイルを調べてください。

このメッセージが 2033 以外の DB2 SQL コードと一緒に出された場合は、DB2 コマンド・ライン・プロセッサ・ウィンドウを開いて、? SQLsqlcode と入力し、エラーについての詳しい情報を確認してください。例: db2 => ? sql2428

---

**ANR2969E** データベースのリストアは終了しました。  
**DB2 SQL** コード: *sqlcode*。 **DB2**  
**sqlerrmc:** *sqlerrmc*。

説明: リストア操作中に、DB2 が問題を検出しました。問題の原因には、以下が含まれている可能性があります。

1. IBM Spectrum Protect サーバー・データベースがある DB2 インスタンスの IBM Spectrum Protect API 構成エラー。
2. DB2 リストア操作に関連したエラー。
3. ターゲット・バックアップ・デバイスに関連したエラー。
4. 現行のインスタンスで使用されている IBM Spectrum Protect API クライアント構成がバックアップ・イメージにアクセスできない。

システムの処置: データベースのリストア操作は終了されます。

ユーザーの処置: メッセージが DB2 SQL コード 2033 を示している場合、IBM Spectrum Protect API 構成の問題が考えられます。DB2 インスタンスは、IBM Spectrum Protect API を使用して、IBM Spectrum Protect データベースのリストア・イメージを IBM Spectrum Protect サーバーに接続された装置から DB2 にコピーします。一般的な *sqlerrmc* コードには、以下があります。

1. 50 - エラーが API タイムアウト状態を引き起こしたかどうかを判断するには、バックアップ DB プロセス中に発生して、ANR2969E の前に出された IBM Spectrum Protect サーバー・メッセージを探してください。IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルで、バックアップされる IBM Spectrum Protect サーバーに正しい TCPSERVERADDR と TCPPORT オプションが指定されていることを確認してください。オプション設定が間違っている場合は、DB2 インスタンスのその設定を訂正してください。
2. 53 - IBM Spectrum Protect API オプション・ファイル内の NODENAME オプションが *\$\$\_TSMDBMGR\_\$\$* に設定されていることを確認してください。
3. 106 - DB2 インスタンスの DSMI\_DIR 環境変数が IBM Spectrum Protect API 実行可能プログラムおよび *dsm.sys* 構成ファイルの位置が示されているこ

とを確認してください。これらの位置にアクセスするための正しい許可を取得していることを確認してください。DSMI\_DIR 設定が間違っている場合は、DB2 インスタンスのその設定を訂正し、DB2 インスタンスを再始動させてください。

4. 137 - DB2 インスタンスの DSMAPIPW コマンドが実行されたこと、およびノード名 *\$\$\_TSMDBMGR\_\$\$* とパスワード *TSMDBMGR* が指定されたことを確認してください。
5. 400 - IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルに指定されたオプションが有効であることを確認してください。
6. 406 - DB2 インスタンス所有者が、IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルに対して、少なくとも読み取りアクセスを持っていることを確認してください。DB2 インスタンスの DSMI\_CONFIG 環境変数が、IBM Spectrum Protect API の有効なオプション・ファイルを示していることを確認してください。DSMI\_CONFIG 設定が間違っている場合は、DB2 インスタンスのその設定を訂正し、DB2 インスタンスを再始動させてください。
7. 450、451 - サーバー・オプション・ファイルと IBM Spectrum Protect API オプション・ファイルの両方に COMMMETHOD SHAREDMMEM オプションが含まれていることを確認してください。各オプション・ファイルの SHMPORT オプションの値が一致していることを確認してください。サーバー・オプション・ファイルの値を変更した場合は、サーバーを再始動します。
8. その他の *sqlerrmc* 値の説明については、IBM Spectrum Protect API と一緒にインストールされる *dsmrc.h* ファイルを調べてください。

メッセージが DB2 SQL コード 2542 を示している場合、問題の原因は、データベース・リストア用の IBM Spectrum Protect API バージョンがデータベース・バックアップと同じ API バージョンではないことが考えられます。次のようにして、IBM Spectrum Protect API バージョンを確認してください。

1. AIX - /bin/sh -c "lspp -lcq tivoli.tsm.client.api.64bit"
2. Solaris - /bin/sh -c "cat /var/sadm/pkg/TIVsmCapi/pkginfo | grep VERSION"
3. HP- /bin/sh -c "cat /var/adm/sw/products/TIVsm64/CLIENT\_API64/INDEX | grep ^revision"
4. Linux - rpm -q TIVsm-API64-\* --qf %[VERSION].%[RELEASE]¥¥n
5. Windows - reg query "HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥IBM¥ADSM¥CurrentVersion¥Api"

## ANR2970E • ANR2978E

このメッセージが 2033 または 2542 以外の DB2 SQL コードと一緒に出された場合は、DB2 コマンド・ライン・プロセッサ・ウィンドウを開いて、? SQLsqlcode と入力し、エラーについての詳しい情報を確認してください。例: db2 => ? sql2428

---

**ANR2970E** データベースのロールフォワードは終了しました - **DB2 SQL** コード *sqlcode* *sqlerrmc* *sqlerrmc* のエラー。

説明: DB2 によって検出された問題があります。

システムの処置: データベースのロールフォワードは終了します。

ユーザーの処置: DB2 コマンド・ライン・プロセッサ・ウィンドウを開いて、? SQLsqlcode と入力することで、エラーに関する詳しい情報をご覧になれます。

例: db2 => ? sql2428

---

**ANR2971E** データベースのバックアップ/リストア/ロールフォワードは終了しました - **DB2 SQL** コード *sqlcode* のエラー。

説明: DB2 によって検出された問題があります。

システムの処置: データベースのバックアップ/リストア/ロールフォワードは終了します。

ユーザーの処置: DB2 コマンド・ライン・プロセッサ・ウィンドウを開いて、? SQLsqlcode と入力することで、エラーに関する詳しい情報をご覧になれます。

例: db2 => ? sql2428

---

**ANR2972E** *Restore DB Command:* データベースのリストア/ロールフォワードは終了します - ログ・ディレクトリー *directory name* をクリーンアップできません。

説明: IBM Spectrum Protect は PIT が DB をリストアする前にこのログ・ディレクトリーのクリーンアップを試行しましたが、できませんでした。

システムの処置: データベースのリストア/ロールフォワードは終了します。

ユーザーの処置: DB PIT リストアを実行する前に、このディレクトリーを手動でクリーンアップしてください。

---

**ANR2973E** *Restore DB Command:* データベースのリストア/ロールフォワードは終了します - ログ・ディレクトリー *directory name* が必要であり、それが存在しません。

説明: ログ・ディレクトリーが必要であり、それが存在しません。PIT リストア DB は終了します。

システムの処置: データベースのリストア/ロールフォワードは終了します。

ユーザーの処置: 指定されたディレクトリーを作成して、再試行してください。

---

**ANR2974I** データベース *DB Alias* のオフライン DB バックアップが正常に完了しました。

説明: オフライン DB バックアップが正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2975E** データベース *DB Alias* のオフライン DB バックアップが、*sqlcode* *sqlcode* および *sqlerrmc* *sqlerrmc* で失敗しました。

説明: オフライン・データベース・バックアップは失敗しました。

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR2976I** データベース *DB Alias* のオフライン DB バックアップが開始しました。

説明: オフライン DB バックアップが開始しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2977E** *Command:* 装置構成ファイルに問題があるためコマンドが失敗しました。

説明: 装置構成ファイルに 1 つ以上の無効な値が含まれています。

システムの処置: サーバーは現行の操作を終了します。

ユーザーの処置: 装置構成ファイルの問題を訂正して、コマンドを再度実行してください。

---

**ANR2978E** *Command:* ディレクトリー名が無効です - *directory name*。

説明: 装置ターゲット・ディレクトリー・ファイル内の無効なターゲット・ディレクトリー名が原因で DB のリストアが失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ターゲット・ディレクトリー・ファイルの問題を訂正して、再試行してください。

---

**ANR2979E** 内部エラー - 制御記述子が NULL です。

説明: 何らかの問題があり、制御記述子が NULL です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR2980E** データベースのバックアップは TCPIP の失敗 - DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc により終了しました。

説明: DB2 によって検出された TCPIP の失敗があります。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect と DB2 の間で TCPIP のセットアップ問題を訂正して、再試行してください。

---

**ANR2981E** データベースのバックアップは、ファイル・アクセスに関連した環境またはセットアップの問題 - DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc により終了しました。

説明: DB2 によって検出された、環境またはセットアップに関連する問題があります。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリ名を指定したことを確認し、許可を訂正するか、新しいロケーションを指定して再試行します。

---

**ANR2982E** データベースのバックアップは、パスワードに関連した環境またはセットアップの問題 - DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc により終了しました。

説明: DB2 によって検出された、環境またはセットアップに関連する問題があります。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect パラメーター PASSWORDACCESS が GENERATE に設定されている場合、システム管理者がパスワードを設定するために dsmapipw ユーティリティを使用したことを確認してください。PASSWORDACCESS が PROMPT に設定されている場合、TSM\_NODENAME および TSM\_PASSWORD データベース構成パラメーターが正しく設定されていることを確認してください。

---

**ANR2983E** データベースのバックアップが DSMI\_DIR に関連した環境またはセットアップの問題 - DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc により終了しました。

説明: DB2 によって検出された、環境またはセットアップに関連する問題があります。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: DSMI\_DIR が正しいバージョンの db2tca を含むディレクトリを指示していることを確認して、インスタンスを再始動し、コマンドを再実行してください。

---

**ANR2984E** データベースのバックアップが DSMI\_CONFIG に関連した環境またはセットアップの問題 - DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc により終了しました。

説明: DB2 によって検出された、環境またはセットアップに関連する問題があります。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: DSMI\_CONFIG 環境変数が有効な IBM Spectrum Protect オプション・ファイルを指示していることを確認してください。インスタンスの所有者が dsms.opt ファイルの読み取り権限を持っていることを確認してください。DSMI\_CONFIG 環境変数が db2profile 内に設定されていることを確認してください。

---

**ANR2985E** データベースのバックアップは、TCPIP に関連する入出力エラー - DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc により終了しました。

説明: DB2 によって検出され、データベースのバックアップが失敗する原因となった TCPIP の問題があります。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: 考えられる TCPIP の問題としては、接続タイムアウト、接続拒否、ホスト名の間違い、またはネットワークの到達不能があります。IBM Spectrum Protect と DB2 の間で TCPIP の問題を訂正し、再試行してください。

---

**ANR2986E** データベースのバックアップは、入出力エラー - **DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc** により終了しました。

説明: DB2 によって検出され、データベースのバックアップが失敗する原因となった入出力の問題があります。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect と DB2 の間で入出力の問題を訂正し、再試行してください。

**ANR2987W** マシン **GUID** またはローカル・ホスト **IP** アドレスが一致しないため、セッションが終了しました。

説明: BACKUP DB または RESTORE DB コマンドが使用できるのは、バックアップまたはリストアされる IBM Spectrum Protect データベース、IBM Spectrum Protect API および IBM Spectrum Protect サーバーが同じマシン上にある場合のみです。データベース・マネージャーが使用中の IBM Spectrum Protect API クライアントの **GUID** が、IBM Spectrum Protect サーバーの **GUID** と一致しないか、IBM Spectrum Protect クライアントによって示されるローカル・ホスト **IP** アドレスが受け入れられないかのどちらかです。

システムの処置: データベースのバックアップまたはリストア操作は終了します。

ユーザーの処置: 受け入れ可能なデフォルトのローカル・ホスト・アドレスは、**IPV4** の場合「127.0.0.1」、**IPV6** の場合「::1」です。システム上でこれらのローカル・ホスト・アドレスの 1 つを構成できない場合は、IBM Spectrum Protect サーバー・オプション「**DBMTRUSTEDIPADDR ipaddr**」を使用して、受け入れ可能なローカル・ホスト・アドレスを設定してください。

**ANR2988W** 最終使用バックアップ **DB** ボリューム項目をボリューム・ヒストリーに追加して戻そうとする試みが失敗しました。

説明: RESTORE DB 操作は成功しましたが、最終使用バックアップ **DB** ボリュームをボリューム・ヒストリーに追加して戻そうとする試みが失敗しました。

システムの処置: データベースのリストア操作は成功しました。この操作で最後に使用されたバックアップ **DB** ボリュームの項目が、ボリューム・ヒストリーから欠落している可能性があります。

ユーザーの処置: リストア操作の実行に使用されたボリューム・ヒストリー・ファイルのコピーを保持してくだ

さい。RESTORE DB 操作を検証した後、**type=full** の **BACKUP DB** を実行してください。ボリューム・ヒストリーに追加して戻されなかったボリュームを、手動で追跡してください。

**ANR2989E** データベース *Database Name* のバックアップが失敗しました。ボリューム・ヒストリー・ファイルが欠落しています。

説明: ボリューム・ヒストリー・ファイルが **dsmserv.opt** で定義されていないために、**DB** のバックアップが失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: **dsmserv.opt** ファイルの問題を訂正して、再試行してください。

**ANR2990E** 無効なデータベース・パス **sqlerrmc** および **DB2 sqlcode sqlcode** のために、データベース・リストアは終了します。

説明: DB2 が無効なデータベース・パスを検出しました。

システムの処置: データベースのリストアは終了されます。

ユーザーの処置: パスが存在することおよび許可が正しいことを確認して、**restore DB** コマンドを再発行するか、**ON** パラメーターで新しい有効なデータベース・ストレージ・パスを指定して **restore DB** コマンドを発行してください。

**ANR2991E** データベースの増分バックアップは、フル・データベース・バックアップが必要なため終了しました - **DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc**。

説明: データベースの増分バックアップは終了しました。データベースの増分バックアップを完了させるには、事前にフル・データベース・バックアップが必要です。

システムの処置: データベースの増分バックアップは終了します。

ユーザーの処置: 最初にフル・データベース・バックアップを実行し、その後にデータベースの増分バックアップを再試行してください。

**ANR2992W** データベースは *database space used* メガバイトのファイル・システム・スペースを使用しています。使用可能なファイル・システム・スペースの容量は *database space available* メガバイトです。比率は *database*



*file system used ratio* です。

説明: 比率がデータベース・スペース使用率のしきい値を超えています。

システムの処置: データベース・スペースの制約により、システム操作が制限される可能性があります。

ユーザーの処置: データベースのスペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを使用してください。

---

**ANR2993E** データベースのバックアップがログの問題により終了しました。DB2 SQL コード: *sqlcode*。DB2 sqlerrmc: *sqlerrmc*。

説明: 必要な 1 つ以上のログ・ファイルを取得できなかったために、データベースのバックアップは DB2 によって終了されました。

システムの処置: データベースのバックアップは終了します。

ユーザーの処置: メッセージに問題の原因となったログ・ディレクトリー・パスが示されていない場合、db2diag.log で追加情報を見つけてください。一般的な問題として、ディレクトリーの欠落または許可の拒否が挙げられます。

---

**ANR2994E** 自動データベース・バックアップが終了しました。

説明: 自動データベース・バックアップで使用される装置クラスが定義されていないため、操作は終了しました。

システムの処置: 自動データベース・バックアップは終了します。

ユーザーの処置: 自動データベース・バックアップ用の装置クラスを定義するために SET DBRECOVERY コマンドを発行します。

---

**ANR2995E** *Command:* 装置クラス *device class name* は自動データベース・バックアップで使用されています。

説明: 自動データベース・バックアップで使用中の装置クラスを削除するために、DELETE DEVCLASS コマンドが発行されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: この装置クラスを削除する前に、自動データベース・バックアップ用の新しい装置クラスを定義するために SET DBRECOVERY コマンドを発行します。

---

**ANR2996I** サーバー・ログが *log full percentage* パーセント使用されています。サーバーでトランザクションが遅延されないようになりました。

説明: サーバー・ログの使用率が高すぎて危険だったため、サーバーはトランザクションを遅延していました。現在ログの使用率は下がり、サーバーはトランザクションを遅延しなくなりました。

システムの処置: サーバー処理は 続行されます。

ユーザーの処置: サーバーの活動とログの使用率のモニターを続行してください。ログの使用率が十分に低い場合は、ログに割り当てるスペースの削減を検討できます。

---

**ANR2997W** サーバー・ログが *log full percentage* パーセント使用されています。サーバーはトランザクションを *delay time* ミリ秒遅延します。

説明: サーバー・ログの使用率が非常に高くなっています。サーバー・ログが満杯になるのを防止するために、サーバーはトランザクションを示された時間だけ遅延します。

システムの処置: サーバー処理は 続行されます。

ユーザーの処置: サーバーの活動とログの使用率をモニターしてください。可能な場合は、新しい作業をサーバー負荷に追加することを遅延してください。

---

**ANR3000E** *Command:* コマンドは構成マネージャーで発行することしかできません。

説明: *command* は、構成マネージャーでしか出すことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: このコマンドを構成マネージャーから出してください。

---

**ANR3001E** *Command:* コマンドは管理対象のサーバーで発行することしかできません。

説明: *command* は、管理下のサーバーでしか出すことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: このコマンドを管理下のサーバーから出してください。

---

**ANR3002E** *Command:* プロファイル名が *maximum length* 文字を超えています。

説明: *command* に指定されたプロファイル名が許容最大長より長くなっています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 最大長を超えないプロファイル名を選択してください。

---

**ANR3003E** *Command:* プロファイル記述 *maximum length* 文字を超えています。

説明: *command* に指定されたプロファイル記述が許容最大長より長くなっています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 最大長を超えない記述を選択してください。

---

**ANR3004E** *Command:* 構成マネージャー名が *maximum length* 文字を超えています。

説明: *command* に指定された構成マネージャー名が許容最大長より長くなっています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 最大長を超えない構成マネージャー名を選択してください。

---

**ANR3005E** *Command:* サーバー名が *maximum length* 文字を超えています。

説明: *command* に指定された構成マネージャー名が許容最大長より長くなっています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 最大長を超えない構成マネージャー名を選択してください。

---

**ANR3006E** *Command:* 構成最新表示間隔値は *minimum value* から *maximum value* の範囲内になっていなければなりません。

説明: 指定されたコマンドが無効な最新表示間隔で出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

---

ユーザーの処置: 有効な最新表示間隔値を指定して、コマンドを出してください。

---

**ANR3007E** *Command:* *option* オプションが指定されていなければなりません。

説明: 構成マネージャーでも、管理下のサーバーでもないサーバーでこのコマンドを出す時には、示されたオプションを指定しなければなりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 示されたオプションを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3008I** クライアント **API** *API information* を使用してデータベース・バックアップが書き込まれました。

説明: 示されている IBM Spectrum Protect バックアップ・アーカイブ **API** を使用してデータベース・バックアップが書き込まれました。

システムの処置: データベースのリストア処理が続行されます。

ユーザーの処置: この情報は、データベースのリストア操作中に使用されます。 リストア中に使用される **API** に互換性がない場合は、追加のメッセージが出され、操作は失敗します。

---

**ANR3009E** データベース・リストアは不可能です。クライアント **API** *API information* に互換性がありません。

説明: このデータベース・リストア操作に使用されている IBM Spectrum Protect クライアント **API** バージョンは、データベース・バックアップの書き込みに使用されたバージョンと互換性がありません。

システムの処置: データベースのリストア処理は終了します。

ユーザーの処置: より新しいバージョンの IBM Spectrum Protect クライアント **API** をインストールして、このデータベース・リストア操作を再試行してください。現在使用可能になっていて、このデータベース・リストア操作に使用されているクライアント **API** バージョンは、最初にデータベース・バックアップを書き込むために使用されたものと互換性がありません。

---

---

**ANR3010W** このコマンドは、構成マネージャー上の 1 つ以上のプロファイルに関連したオブジェクトを削除します。 後続の構成最新表示処理では、管理下のサーバー上にあり、そのオブジェクトに関連したプロファイルに加入しているオブジェクトが削除されません。

説明: 構成マネージャーからオブジェクトを削除するコマンドが入力されました。 このオブジェクトは構成マネージャー上の 1 つ以上のプロファイルに関連しているので、構成最新表示処理では加入する管理下のサーバー上のこのオブジェクトを削除します。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: コマンドの処理する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR3011E** *command:* 1 つ以上のオブジェクトを廃棄できなかったため、プロファイル *profile name* の加入が削除されませんでした。

説明: このメッセージは、示されたコマンドで 1 つ以上のオブジェクトを廃棄できなかったために出されます。 前のメッセージに廃棄できなかった各オブジェクトの説明があります。

システムの処置: システムは、プロファイル *profile name* に関連した一部の管理下のオブジェクトを廃棄します。加入そのものは削除されません。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べ、残りのオブジェクトを廃棄する前に取らなければならないアクションを判断してください。 さもなければ、DISCARDOBJECTS=YES オプションを使用せずに加入を削除することができます。

---

**ANR3012I** *command:* 構成マネージャーの状態が *state* に設定されました。

説明: コマンドが構成マネージャーの状態を正常に設定しました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3013W** *command:* 構成マネージャーの状態は既に *state* に設定されています。

説明: 指定された状態は、既にサーバーで設定されています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 指定された状態は、既にこのサーバーで設定されています。 その状態が異なって設定されているはずであれば、新しい状態の値を指定して再度そのコマンドを実行してください。

---

**ANR3014E** *command:* 1 つ以上の加入がまだ存在しません。

説明: 1 つ以上の加入がまだ存在しているので、構成マネージャーの状態を OFF に設定することができません。 サーバーは、まだそのプロファイルに対する 1 つ以上の加入のレコードをもっています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SUBSCRIBERS コマンドを使用して、まだ存在する加入を判断してください。 こうした加入のレコードを除去するには、DELETE SUBSCRIBER コマンドを使用することができます。 そうではなく管理下のサーバー上の実際の加入を削除することもできます。 構成マネージャーに記録された加入がなくなった時には、すべてのプロファイルを削除しなければなりません。 プロファイルが削除されると、コマンドを出し直すことができます。

---

**ANR3015E** *command:* 1 つ以上のプロファイルがまだ存在します。

説明: 1 つ以上のプロファイルがまだ存在しているので、構成マネージャーの状態を OFF に設定することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFILE コマンドを使用して、構成マネージャーにまだ存在するプロファイルを判断してから、DELETE PROFILE コマンドを使用してください。 すべてのプロファイルが削除されたら、コマンドを出し直してください。

---

**ANR3016I** *command:* 構成最新表示間隔は *interval* に設定されています。

説明: コマンドが構成最新表示間隔を指定値に正常に設定しました。 自動構成最新表示処理がただちに試みられ、指定された分数が経過した後でもう一度実行されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3017I** *command:* プロファイル *profile name* が定義されました。

説明: コマンドがプロファイルを正常に定義しました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3018E** *command:* プロファイル *profile name* は既に存在しています。

説明: 指定されたプロファイルは、構成マネージャー上に既に存在します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のプロファイル名を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3019I** *command:* プロファイル *profile name* が更新されました。

説明: コマンドがプロファイルを正常に更新しました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3020E** *command:* プロファイル *profile name* が見つかりません。

説明: 指定されたプロファイルを見つけることができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドでプロファイル名が正しく指定されているかどうかを検査してください。 **QUERY PROFILE** コマンドを使用して、構成マネージャーにプロファイルが存在するかどうかを検査してください。正しいプロファイル名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3021I** *command:* プロファイル *profile name* がプロファイル *profile name* にコピーされました。

説明: コマンドが最初のプロファイルを新しく作成された 2 番目のプロファイルに正常にコピーしました。すべてのプロファイル・アソシエーションも同時にコピーされました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3022E** *command:* プロファイル・ロック・タイムアウト間隔値は *minimum value* と *maximum value* の間でなければなりません。

説明: 指定されたコマンドが無効なロック・タイムアウト間隔で出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なロック・タイムアウト間隔値を指定して、コマンドを出してください。

---

**ANR3023I** *command:* プロファイル *profile name* がロックされました。

説明: コマンドがプロファイルを正常にロックしました。アンロックされるまで、構成情報をプロファイルの加入サーバーに伝搬することができません。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3024W** *command:* プロファイル *profile* は *interval* より大きいタイムアウト間隔で既にロックされています。

説明: 指定されたプロファイルをロックしようとしてしました。このプロファイルは、指定された値より大きいタイムアウト間隔で既にロックされています。

システムの処置: プロファイルは、元のタイムアウト間隔でロックされたままになります。

ユーザーの処置: タイムアウト間隔を低くしたい場合には、プロファイルをアンロックしてから、より低い値を指定してプロファイルをもう一度ロックしてください。

---

**ANR3025I** *command:* プロファイル *profile name* がアンロックされました。

説明: コマンドがプロファイルを正常にアンロックしました。ここで構成情報をプロファイルの加入サーバーに伝搬することができます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3026I** *command:* プロファイル *profile name* が削除されました。

説明: コマンドが構成マネージャーからプロファイルを正常に削除しました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

---

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3027E** *command:* プロファイル *profile name* に対する 1 つ以上の加入がまだ存在しています。

説明: プロファイルを削除しようとしたのですが、そのプロファイルには 1 つ以上の管理下のサーバーに定義された加入をまだもっています。構成マネージャーは、まだそのプロファイルに対する 1 つ以上の加入のレコードもっています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SUBSCRIBERS コマンドを使用して、まだ存在する加入を判別してください。管理下のサーバーで DELETE SUBSCRIPTION コマンドを使用してその加入を削除してから、構成マネージャーで DELETE PROFILE コマンドを再発行してください。そうではなく、DELETE PROFILE コマンドで FORCE=YES オプションを使用すると、プロファイルに対する加入がある場合にも、プロファイルを削除することができます。この場合には、管理下のサーバーがそのプロファイルの更新を要求すると、プロファイルが削除されていることを管理下のサーバーに通知するメッセージが出されます。

---

**ANR3028E** *command:* プロファイル *profile name* がロックされました。

説明: 指定されたコマンドは、ロックされたプロファイルでは実行することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: UNLOCK PROFILE コマンドを使用してプロファイルをアンロックしてから、コマンドを出し直してください。

---

**ANR3029I** 表 *table name* の再編成は取り消されました。

説明: DISABLEREORGTABLE サーバー・オプションに基づき、示されている表に対する表の再編成は使用不可になっており、休止された再編成は取り消されます。

システムの処置: 再編成は取り消されます。

ユーザーの処置: 示されている表に対して表の再編成を使用不可にする場合は、これ以上の処置は不要です。そうでない場合は、DISABLEREORGTABLE サーバー・オプションの更新を検討してください。

---

**ANR3030I** *command:* プロファイル *profile name* に加入が定義されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルに加入を正常に定義しました。構成情報の最新表示が開始されました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3031W** *command:* プロファイル *profile name* には加入が既に存在します。

説明: 指定されたプロファイルに加入が既に存在します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいプロファイル名を指定したことを確認し、必要な場合には、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3032E** *command:* サーバー名が指定されていません。

説明: SERVER= パラメーターを使用してこのコマンドでサーバー名を指定しなければなりません。これにより、構成マネージャーが識別されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: サーバー名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3033E** *command:* サーバー *server* は管理下のサーバーの構成マネージャーではありません。

説明: コマンドでサーバー名が指定されましたが、その名前が現行構成マネージャーに対応していません。管理下のサーバーは、1 つの構成マネージャーしかもつことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: サーバー・パラメーターをブランクにして、コマンドを再発行してください。デフォルトで現行構成マネージャーが使用されます。QUERY SUBSCRIPTION は、現在使用中の構成マネージャーを表示します。

---

**ANR3034E** *command:* サーバー *server* はこのサーバーの構成マネージャーとして使用することができません。

説明: コマンドでサーバー名が指定されましたが、その名前は構成マネージャーとして使用することができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 構成マネージャーの正しい名前を見つけてから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3035I** *command:* 加入サーバー *subscriber name* が削除されました。

説明: コマンドが構成マネージャーに保持されたレコードから加入サーバーを正常に削除しました。 加入サーバー (管理下のサーバー) がまだ有効なプロファイルに対する加入をもっている場合には、その加入サーバーが次の構成最新表示を実行する時に、その加入のレコードが再び現れます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3036E** *command:* 加入サーバー *subscriber name* が見つかりません。

説明: 指定された加入サーバー名がいくつかのプロファイルの有効な加入サーバーとして構成マネージャーのレコード中に見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 加入サーバー (管理下のサーバー) 名が正しいかを確認してください。名前が正しいと考えられる場合には、管理下のサーバーはまだ正常に構成マネージャーに接触しておらず、その加入が存在していることを構成マネージャーに通知していない可能性があります。

---

**ANR3037I** *command:* プロファイル *profile name* の加入が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルの加入を正常に削除しました。 構成情報の最新表示が開始されました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3038E** *command:* プロファイル *profile name* の加入が見つかりません。

説明: 指定されたプロファイルの加入が見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: プロファイル名が正しく指定されているかどうかを検査してください。 QUERY

SUBSCRIPTION コマンドを使用して、どのプロファイルに加入があるかを判別してください。正しいプロファイル名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3039E** *command:* 構成中に対応する管理者が見つかりません。

説明: DEFINE PROFASSOCIATION コマンドで指定された管理に対応する管理者定義が構成マネージャーに見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY ADMIN コマンドを使用して、サーバーに定義された管理者を調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3040I** *command:* すべての管理者がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにすべての管理者を正常に関連付けました。 すべての管理者定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。 将来において管理者が構成マネージャーに追加されると、その定義も自動的に管理下のサーバーに伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3041I** *command:* 管理者 *admin* がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにこの管理者を正常に関連付けました。 その管理者定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3042W** *command:* 追加の管理者がプロファイル *profilename* に関連付けられませんでした。

説明: プロファイルに追加の管理者が関連付けられませんでした。指定された管理者は、既にこのプロファイルに関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY ADMIN コマンドを使用して、サーバーに定義された管理者を調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。QUERY PROFASSOCIATION FORMAT=DETAILED を使用して、プロファイルに既に関連付けられている管理者を判別することができます。

---

**ANR3043E** *command:* 構成中に対応するドメインが見つかりません。

説明: DEFINE PROFASSOCIATION コマンドで指定されたドメインに対応するドメイン定義が構成マネージャーに見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY DOMAIN コマンドを使用して、サーバーに定義されたドメインを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3044I** *command:* すべてのドメインがプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにすべてのドメインを正常に関連付けました。すべてのドメイン定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。将来においてドメインが構成マネージャーに追加されると、その定義も自動的に管理下のサーバーに伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3045I** *command:* ドメイン *domain* がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにこのドメインを正常に関連付けました。そのドメイン定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3046W** *command:* 追加のドメインがプロファイル *profilename* に関連付けられませんでした。

説明: プロファイルに追加のドメインが関連付けられませんでした。指定されたドメインは、既にこのプロファイルに関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY DOMAIN コマンドを使用して、サーバーに定義されたドメインを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。QUERY PROFASSOCIATION FORMAT=DETAILED を使用して、プロファイルに既に関連付けられているドメインを判別することができます。

---

**ANR3047E** *command:* 構成中に対応する管理スケジュールが見つかりませんでした。

説明: DEFINE PROFASSOCIATION コマンドで指定された管理スケジュールに対応する管理スケジュール定義が構成マネージャーに見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SCHEDULE TYPE=ADMIN コマンドを使用して、サーバーに定義された管理スケジュールを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3048I** *command:* すべての管理スケジュールがプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにすべての管理スケジュールを正常に関連付けました。すべての管理スケジュール定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。将来において管理スケジュールが構成マネージャーに追加されると、その定義も自動的に管理下のサーバーに伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3049I** *command:* 管理スケジュール *admin*  
*schedule* がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにこの管理スケジュールを正常に関連付けました。 管理スケジュール定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3050W** *command:* 追加の管理スケジュールがプロファイル *profilename* に関連付けられませんでした。

説明: プロファイルに追加の管理スケジュールが関連付けられませんでした。 指定された管理スケジュールは、既にこのプロファイルに関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SCHEDULE TYPE=ADMIN コマンドを使用して、サーバーに定義された管理スケジュールを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。 QUERY PROFASSOCIATION FORMAT=DETAILED を使用して、プロファイルに既に関連付けられている管理スケジュールを判別することができます。

---

**ANR3051E** *command:* 構成中に対応するスクリプトが見つかりませんでした。

説明: DEFINE PROFASSOCIATION コマンドで指定されたスクリプトに対応するスクリプト定義が構成マネージャーに見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SCRIPT コマンドを使用して、サーバーに定義されたスクリプトを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3052I** *command:* すべてのスクリプトがプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにすべてのスクリプトを正常に関連付けました。 すべてのスクリプト定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。 将来においてスクリプトが構成マネージャーに追加されると、その定義も自動的に管理下のサーバーに伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3053I** *command:* スクリプト *script* がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにこのスクリプトを正常に関連付けました。 そのスクリプト定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3054W** *command:* 追加のスクリプトがプロファイル *profilename* に関連付けられませんでした。

説明: プロファイルに追加のスクリプトが関連付けられませんでした。 指定されたスクリプトは、既にこのプロファイルに関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SCRIPT コマンドを使用して、サーバーに定義されたスクリプトを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。 QUERY PROFASSOCIATION FORMAT=DETAILED を使用して、プロファイルに既に関連付けられているスクリプトを判別することができます。

---

**ANR3055E** *command:* 構成中に対応するクライアント・オプション・セットが見つかりません。

説明: DEFINE PROFASSOCIATION コマンドで指定されたクライアント・オプション・セットに対応するクライアント・オプション・セット定義が構成マネージャーに見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY CLOPTSET コマンドを使用して、サーバーに定義されたクライアント・オプション・セットを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3056I** *command:* すべてのクライアント・オプション・セットがプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにすべてのク



クライアント・オプション・セットを正常に関連付けました。すべてのクライアント・オプション・セット定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。将来においてクライアント・オプション・セットが構成マネージャーに追加されると、その定義も自動的に管理下のサーバーに伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3057I** *command:* クライアント・オプション・セット *client option set* がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにこのクライアント・オプション・セットを正常に関連付けました。そのクライアント・オプション・セット定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3058W** *command:* 追加のクライアント・オプション・セットがプロファイル *profilename* に関連付けられませんでした。

説明: プロファイルに追加のクライアント・オプション・セットが関連付けられませんでした。指定されたクライアント・オプション・セットは、既にこのプロファイルに関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY CLOPTSET コマンドを使用して、サーバーに定義されたクライアント・オプション・セットを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。QUERY PROFASSOCIATION FORMAT=DETAILED を使用して、プロファイルに既に関連付けられているクライアント・オプション・セットを判別することができます。

---

**ANR3059E** *command:* 構成中に対応するサーバーが見つかりません。

説明: DEFINE PROFASSOCIATION コマンドに指定されたサーバーに対応するサーバー定義が構成マネージャーに見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SERVER コマンドを使用して、サーバーに定義されたサーバーを調べてから、

DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3060I** *command:* すべてのサーバーがプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにすべてのサーバーを正常に関連付けました。すべてのサーバー定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。将来においてサーバーが構成マネージャーに追加されると、その定義も自動的に管理下のサーバーに伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3061I** *command:* サーバー *server* がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにこのサーバーを正常に関連付けました。そのサーバー定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3062W** *command:* 追加のサーバーがプロファイル *profilename* に関連付けられませんでした。

説明: プロファイルに追加のサーバーが関連付けられませんでした。指定されたサーバーは、既にこのプロファイルに関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SERVER コマンドを使用して、サーバーに定義されたサーバーを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。QUERY PROFASSOCIATION FORMAT=DETAILED を使用して、プロファイルに既に関連付けられているサーバーを判別することができます。

---

**ANR3063E** *command:* 構成中に対応するサーバー・グループが見つかりませんでした。

説明: DEFINE PROFASSOCIATION コマンドに指定されたサーバー・グループに対応するサーバー・グループ定義が構成マネージャーに見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SERVERGROUP コマンドを使用して、サーバーに定義されたサーバー・グループを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3064I** *command:* すべてのサーバー・グループがプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにすべてのサーバー・グループを正常に関連付けました。すべてのサーバー・グループ定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。将来においてサーバー・グループが構成マネージャーに追加されると、その定義も自動的に管理下のサーバーに伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3065I** *command:* サーバー・グループ *server group* がプロファイル *profilename* に関連付けられました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルにこのサーバー・グループを正常に関連付けました。サーバー・グループ定義は、そのプロファイルに加入する管理下のサーバーに自動的に伝搬されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3066W** *command:* 追加のサーバー・グループがプロファイル *profilename* に関連付けられませんでした。

説明: プロファイルに追加のサーバー・グループが関連付けられていません。指定されたサーバー・グループは、既にこのプロファイルに関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY SERVERGROUP コマンドを使用して、サーバーに定義されたサーバー・グループを調べてから、DEFINE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。QUERY PROFASSOCIATION FORMAT=DETAILED を使用して、プロファイルに既に関連付けられているサーバー・グループを判別することができます。

---

**ANR3067E** *command:* 対応する管理者がプロファイル *profile* に関連付けられていません。

説明: 指定されたプロファイルに対応する管理者定義が関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFASSOCIATION コマンドを使用して、プロファイルに関連した管理者を調べてから、DELETE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3068I** *command:* プロファイル *profilename* からすべての管理者アソシエーションが削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからすべての管理者アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこれらの管理者が自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3069I** *command:* プロファイル *profilename* から管理者アソシエーション *admin* が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからこの管理者アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこの管理者が自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3070E** *command:* 対応するドメインがプロファイル *profile* に関連付けられていません。

説明: 指定されたプロファイルに対応するドメイン定義が関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFASSOCIATION コマンドを使用して、プロファイルに関連したドメインを調べてから、DELETE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3071I** *command:* プロファイル *profilename* からすべてのドメイン・アソシエーションが削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからすべてのドメイン・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこれらのドメインが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3072I** *command:* プロファイル *profilename* からドメイン・アソシエーション *domain* が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからドメイン・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこのドメインが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3073E** *command:* 対応する管理スケジュールがプロファイル *profile* に関連付けられていません。

説明: 指定されたプロファイルに対応する管理スケジュール定義が関連付けられませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFASSOCIATION コマンドを使用して、プロファイルに関連した管理スケジュールを調べてから、DELETE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3074I** *command:* プロファイル *profilename* からすべての管理スケジュール・アソシエーションが削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからすべての管理スケジュール・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこれらの管理スケジュールが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---



---

**ANR3075I** *command:* プロファイル *profilename* から管理スケジュール・アソシエーション *admin schedule* が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルから管理スケジュール・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこの管理スケジュールが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3076E** *command:* 対応するスクリプトがプロファイル *profile* に関連付けられていません。

説明: 指定されたプロファイルに対応するスクリプト定義が関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFASSOCIATION コマンドを使用して、プロファイルに関連したスクリプトを調べてから、DELETE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3077I** *command:* プロファイル *profilename* からすべてのスクリプト・アソシエーションが削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからすべてのスクリプト・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこれらのスクリプトが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3078I** *command:* プロファイル *profilename* からスクリプト・アソシエーション *script* が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからスクリプト・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこのスクリプトが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR3079E** *command:* 対応するクライアント・オプション・セットがプロファイル *profile* に関連付けられていません。

説明: 指定されたプロファイルに対応するクライアント・オプション・セット定義が関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFASSOCIATION コマンドを使用して、プロファイルに関連したクライアント・オプション・セットを調べてから、DELETE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3080I** *command:* プロファイル *profilename* からすべてのクライアント・オプション・セット・アソシエーションが削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからすべてのクライアント・オプション・セット・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこれらのクライアント・オプション・セットが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3081I** *command:* プロファイル *profilename* からクライアント・オプション・セット・アソシエーション *client option set* が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからクライアント・オプション・セット・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこのクライアント・オプション・セットが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3082E** *command:* 対応するサーバーがプロファイル *profile* に関連付けられていません。

説明: 指定されたプロファイルに対応するサーバー定義が関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFASSOCIATION コマンドを使用して、プロファイルに関連したサーバーを調べてから、DELETE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---



---

**ANR3083I** *command:* プロファイル *profilename* からすべてのサーバー・アソシエーションが削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからすべてのサーバー・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこれらのサーバーが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3084I** *command:* プロファイル *profilename* からサーバー・アソシエーション *server* が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからサーバー・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこのサーバー定義が自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3085E** *command:* 対応するサーバー・グループがプロファイル *profile* に関連付けられていません。

説明: 指定されたプロファイルに対応するサーバー・グループ定義が関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFASSOCIATION コマンドを使用して、プロファイルに関連したサーバー・グループを調べてから、DELETE PROFASSOCIATION コマンドを再発行してください。

---

**ANR3086I** *command:* プロファイル *profilename* からすべてのサーバー・グループ・アソシエーションが削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからすべてのサーバー・グループ・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこれらのサーバー・グループが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR3087I** *command:* プロファイル *profilename* からサーバー・グループ・アソシエーション *server group* が削除されました。

説明: コマンドが指定されたプロファイルからサーバー・グループ・アソシエーションを正常に削除しました。これにより、このプロファイルに加入された管理下のサーバーからこのサーバー・グループが自動的に削除されます。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3088W** このコマンドにより、プロファイル *profile name* に加入しているいずれかの管理下のサーバーでオブジェクトが削除されることとなります。

説明: DELETE PROFASSOCIATION コマンドのオブジェクトが入力されました。このアクションでは、プロファイルからアソシエーションが削除されるだけでなく、このプロファイルに加入するいずれかの管理下のサーバー上の管理下のオブジェクトも削除されることになります。こうしたオブジェクトの削除は、その管理下のサーバーの次の構成最新表示の時に起こります。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: DELETE PROFASSOCIATION コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR3089E** *command:* コマンドに失敗しました - サーバー *server name* とのサーバー間通信エラー。

説明: 指定されたコマンドは、示されたサーバーとの通信を試みている時に失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 示されたサーバー名が正しく定義されていることを確認してください。再度コマンドを実行してください。PING コマンドを使用して他のサーバーが立ち上がっているかどうかを確認してください。問題が続く場合には、ネットワーク管理者に連絡してください。

---

**ANR3090E** *command:* サーバー *server name* は構成マネージャーではありません。

説明: 指定されたサーバーにコンタクトしようとしたが、そのサーバーが構成マネージャーでなかったこと

が判明したため、指定されたコマンドは失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい構成マネージャー名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3092I** *command:* 加入サーバーの通知処理が始まりました。

説明: NOTIFY SUBSCRIBER の処理が始まりました。管理下のサーバーが、直ちに構成を最新にするようコンタクトされています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3093I** *command:* 対応するプロファイルまたは加入がありませんでした。

説明: 指定されたプロファイルに加入がありませんでした。プロファイルが存在しないか、そのプロファイルに対する加入がありません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: QUERY PROFILE と QUERY SUBSCRIBER コマンドを使用してどのプロファイルが存在し、どのプロファイルが加入サーバーを持っているか判別してください。正しいプロファイル名を指定して再度コマンドを実行してください。

---

**ANR3094E** LDAPURL オプションで指定された識別名「DN」は、LDAP ディレクトリー・サーバー上に存在しません。

説明: LDAPURL サーバー・オプションで指定された識別名 (DN) が LDAP ディレクトリー・サーバーで見つかりません。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: DN に関連付けられたディレクトリー項目を作成するか、既に存在する DN を LDAPURL で指定するか、LDAPURL サーバー・オプションで定義されている DN を含む別のディレクトリー・サーバーを指定してください。上記のいずれかのオプションを選択して、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動します。

**ANR3095W** このリストア操作を実行するために使用されたボリュームに関するデータベース・ボリューム・履歴情報の更新が失敗しました。

説明: 特定時点の操作のデータベース・リストア処理の終了時に、サーバー・データベースは、データベースのリストアに使用されたボリュームを示すために更新されます。これは、以後のリストアでこのデータベース・バックアップが認識され、このバックアップが以後の操作で最適な候補である場合に使用できるようにするために実行されます。サーバーがこの情報を更新できなかったため、以後のデータベース・リストア操作は、操作に使用するのに最適なデータベース・バックアップを選択しない可能性があります。

システムの処置: データベースのリストア処理は完了します。

ユーザーの処置: データベース・リストアが完了した後でサーバーが再始動したら、可能な限り速やかに **BACKUP DB TYPE=FULL** を実行して、このバックアップの完了後にボリューム・履歴情報をバックアップしてください。これにより、以後、リストア操作が必要になった場合の新しい最適なリストア・ポイントが設定されます。Disaster Recovery Manager 機能を使用してデータベース・バックアップ・ボリュームの物理的な位置を追跡する場合、更新されなかったデータベース・バックアップの位置を手動で追跡する必要があります。

**ANR3096I** このリストア操作を実行するために使用されたボリュームは、サーバー・ボリューム・履歴に正常に記録されました。

説明: 特定時点の操作のデータベース・リストア処理の終了時に、サーバー・データベースは、データベースのリストアに使用されたボリュームを示すために更新されます。これは、以後のリストアでこのデータベース・バックアップが認識され、このバックアップが以後の操作で最適な候補である場合に使用できるようにするために実行されます。

システムの処置: データベースのリストア処理は完了します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3097W** LDAP パスワード認証を使用するには、その前に **LDAPUSER** が設定されている必要があります。

説明: LDAPURL サーバー・オプションが設定されていますが、LDAPUSER および LDAPPASSWORD が設

定されるまで LDAP パスワード認証は実行できません。

システムの処置: サーバーは LDAP 認証を行わずに操作を続行します。

ユーザーの処置: SET LDAPUSER コマンドおよび SET LDAPPASSWORD コマンドをこの順番で実行します。

**ANR3098W** LDAP パスワード認証を使用するには、その前に **LDAPPASSWORD** が設定されている必要があります。

説明: LDAPURL サーバー・オプションが設定されていますが、LDAPUSER および LDAPPASSWORD が設定されるまで LDAP パスワード認証は実行できません。

システムの処置: サーバーは LDAP 認証を行わずに操作を続行します。

ユーザーの処置: SET LDAPPASSWORD コマンドを実行してください。

**ANR3099E** LDAPURL オプションで指定された識別名「DN」の構文が適切ではありません。

説明: LDAPURL サーバー・オプションで指定された識別名 (DN) の構文が適切ではありません。LDAP URL には、RFC 2255 フォーマットを使用する必要があります。また、LDAPURL サーバー・オプションには ASCII 文字のみを含めることができるという制約があります。DN は、ディレクトリー・サーバーの要件に準拠する必要があります。ディレクトリー・サーバーは通常、DN のフォーマットで RFC 2253 または 4514 をサポートします。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: LDAPURL サーバー・オプションを修正して、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動します。

**ANR3100I** LDAP ディレクトリー・サービスを初期化しています。

説明: サーバーは、LDAP ディレクトリー・サーバーでの初期化プロセスを開始しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3101I LDAP ディレクトリー・サービスを正常に初期化しました。**

説明: サーバーは、LDAP ディレクトリー・サービスを使用するために正常に構成されました。

システムの処置: サーバーの操作は続行され、LDAP ディレクトリー・サービスは使用可能です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3102E ユーザー LDAP user として LDAP ディレクトリー・サービスを初期化しているときに認証が失敗しました。**

説明: LDAPUSER 値または LDAPPASSWORD 値、あるいはその両方が誤っています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。LDAP ディレクトリー・サービスを使用できません。

ユーザーの処置: SET LDAPUSER コマンドおよび SET LDAPPASSWORD コマンドを実行して、LDAP ユーザーおよび LDAP パスワードの値を修正してください。これらのコマンドが実行された後、LDAP ディレクトリー・サービスの初期化が試行されます。

---

**ANR3103E LDAP ディレクトリー・サービスの初期化中に障害が発生しました。**

説明: サーバーが LDAP ディレクトリー・サービスを初期化しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーの操作は失敗します。サーバーが既に始動されている場合、LDAP ディレクトリー・サービスは使用不可になっています。サーバーが始動の試行中であった場合、サーバーは始動できません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを実行して、活動記録ログ・ファイルを表示し、メッセージを検索してください。ネットワーク上の問題がないか調べてください。ディレクトリー・サーバーによって使用された証明書、または証明書が入っている鍵データベースの問題がないか調べてください。LDAPUSER のアクセス権限を確認してください。ディレクトリー・サーバーの状況を確認して、ディレクトリー・サーバーによって提供されるログ・ファイルを調べてください。ldapsearch または ldap などの LDAP ユーティリティを使用し、問題を切り分けてください。

サーバーが始動しない場合、LDAPURL サーバー・オプションを削除して、サーバーがディレクトリー・サービスを使用せずに、一時的に始動できるようにします。サーバーが稼働中の場合は、SET LDAPUSER コマンド

または SET LDAPPASSWORD コマンドを実行して、LDAP ディレクトリー・サービスの初期化を再試行してください。

---

**ANR3104E LDAP ディレクトリー・サービスは正常に構成されませんでした。**

説明: アカウントを LDAP ディレクトリー・サーバーに配置してアクセス要求の認証を行う前に、LDAP ディレクトリー・サービスを使用するように IBM Spectrum Protect サーバーを正しく構成しておく必要があります。

システムの処置: サーバーの操作は失敗します。

ユーザーの処置: LDAP ディレクトリー・サービスを構成するには、LDAPURL サーバー・オプションを設定して、適切な証明書を IBM Spectrum Protect サーバーの鍵データベースに追加し、SET LDAPUSER コマンドおよび SET LDAPPASSWORD コマンドを実行します。LDAP ディレクトリー・サーバーへのアクセス時に、LDAP パスワード (LDAPPASSWORD) が、IBM Spectrum Protect の管理操作を実行可能なユーザー (LDAPUSER) のパスワードと一致している必要があります。

既に IBM Spectrum Protect サーバーが LDAP ディレクトリー・サービスを使用するように構成されている場合は、認証が失敗した可能性があるか、構成中に別のエラーが発生した可能性があります。このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。

---

**ANR3105E ドメイン・ネーム・システム (DNS) を使用しましたが、LDAP ディレクトリー・サービスが見つかりませんでした。**

説明: システムの現行の DNS サーバー構成および DNS サフィックス検索リストを使用して LDAP ディレクトリー・サーバーを見つけることができませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は失敗します。

ユーザーの処置: システムの DNS 構成、DNS サーバーの状況、DNS サーバーのログ・ファイル、および DNS サーバー構成を確認してください。DNS サーバー構成が RFC 2052、2219、または 2782 に準拠していることを確認してください。

**ANR3106E LDAPURL オプション値 LDAP URL の解析に失敗しました。**

説明: LDAPURL サーバー・オプション値を解析できません。LDAP URL には、RFC 2255 フォーマットを使用する必要があります。また、LDAPURL サーバー・オプションには ASCII 文字のみを含めるという制約があります。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: LDAPURL サーバー・オプション値を訂正して、サーバーを再始動してください。

**ANR3107E LDAPS は、LDAPURL オプション値 LDAP URL では許可されません。**

説明: LDAPS は、Secure Sockets Layer (SSL) 接続の使用と、既存の SSL 接続を介した LDAP データの送信を表します。サーバーは、標準の LDAPv3「StartTLS」操作を使用して既存の LDAP 接続でセキュアな TLS 交換を確立することによって保護された LDAP 接続のみをサポートします。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: LDAPURL サーバー・オプションに標準の ldap:// スキームを使用して、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動してください。

**ANR3108E LDAPURL サーバー・オプション値 LDAP URL に識別名がありません。**

説明: 識別名 (DN) は、LDAPURL サーバー・オプションの一部として必要です。LDAP URL 情報を更新するときは、RFC 2255 フォーマットを使用してください。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: LDAPURL サーバー・オプション値を訂正して、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動してください。

**ANR3109E LDAPURL サーバー・オプション値 LDAP URL にホスト・アドレスが含まれていません。別の LDAPURL オプション値がホスト・アドレスを指定しているため、この値を使用できません。**

説明: いずれかの LDAPURL サーバー・オプション値がホスト・アドレスを指定していない場合、複数の値を指定することはできません。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: LDAPURL サーバー・オプション値

を訂正して、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動してください。

**ANR3110E LDAPURL サーバー・オプションで指定された識別名「DN」および「DN」が一致していません。**

説明: それぞれの LDAPURL サーバー・オプション値で指定される識別名 (DN) は同じでなければなりません。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: LDAPURL サーバー・オプション値を訂正して、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動してください。

**ANR3111E LDAPURL サーバー・オプション値 LDAP URL に ldap:// 接頭部がありません。**

説明: LDAP URL 情報を更新するときは、RFC 2255 フォーマットを使用してください。

システムの処置: サーバーの操作は失敗します。

ユーザーの処置: LDAPURL サーバー・オプションに標準の ldap:// スキームの接頭部を使用して、IBM Spectrum Protect サーバーを再始動してください。

**ANR3112E パスワードをリセットできません。LDAP ディレクトリー・サーバーでは、現行のパスワードを指定する必要があります。**

説明: LDAP ディレクトリー・サーバーでは、SET LDAPUSER コマンドで指定されたユーザーが別のユーザーのパスワードを変更する場合に現行のパスワードを指定する必要があります。IBM Spectrum Protect の管理者が IBM Spectrum Protect ノードおよび管理者のパスワードをリセットするためには、LDAPUSER がパスワードをリセットできる必要があります。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: LDAP ディレクトリー・サーバー上のパスワード・ポリシーまたは許可設定を変更して、SET LDAPUSER コマンドで指定されたユーザーが IBM Spectrum Protect サーバーによって管理されている LDAP ユーザーのパスワードを変更できるようにしてください。

**ANR3113E パスワードの追加または変更を行うことができません。LDAP ユーザーには、パスワードの追加または変更を行うのに十分なアクセス権限がありません。**

説明: 操作で現行のパスワードが指定されなかった場



合、パスワードのリセットは、SET LDAPUSER コマンドで指定されたユーザーによって LDAP ディレクトリー・サーバー上で実行されます。操作で現行のパスワードが指定された場合 (例えば、SET PASSWORD クライアント・コマンドで)、ユーザーのパスワードはユーザーによって LDAP ディレクトリー・サーバー上で変更されます。ただし、ユーザーのパスワードの有効期限が切れていて、ディレクトリー・サーバーにアクセスできない場合は、パスワードは、SET LDAPUSER コマンドで指定されたユーザーによって変更されます。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: LDAP ディレクトリー・サーバー上のパスワード・ポリシーおよびアクセス権を変更し、ユーザーが自分のパスワードを変更できるようにして、SET LDAPUSER コマンドで指定されたユーザーが IBM Spectrum Protect サーバーによって管理されているユーザーのパスワードの追加またはリセットを行えるようにしてください。

---

**ANR3114E** *operation* の実行中に **LDAP** エラー **LDAP error code (error description)** が発生しました。

説明: LDAP 操作は、予期しないエラーで失敗しました。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージとほぼ同じ時刻に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因と影響を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。LDAP ディレクトリー・サーバーの状況を確認して、ログ・ファイルを調べてください。ldapsearch または ldp などの LDAP ユーティリティーを使用して、問題を切り分けてください。

---

**ANR3115E** **LDAP** ディレクトリー・サーバーが、**LDAP** エラーと共に次のエラー・メッセージ (**LDAP server message**) を返しました。

説明: LDAP ディレクトリー・サーバーが、発生した LDAP エラーに関連するエラー・メッセージを返しました。このメッセージには、問題の原因を判別する上で役立つ追加情報が示されています。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージとほぼ同じ時刻に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因と影響を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。LDAP ディレクトリー・サーバーの状況を確認

して、ログ・ファイルを調べてください。ldapsearch または ldp などの LDAP ユーティリティーを使用して、問題を切り分けてください。

---

**ANR3116E** *operation* の実行中に **LDAP SSL/TLS** エラー **GSKIT error code (error description)** が発生しました。

説明: GSKit コンポーネントにより、発生した LDAP エラーと共に SSL/TLS エラー・コードが報告されました。

システムの処置: サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージとほぼ同じ時刻に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因と影響を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。ネットワーク上の問題がないか調べてください。LDAP ディレクトリー・サーバーによって使用された証明書、または証明書が入っている鍵データベースの問題がないか調べてください。LDAP ディレクトリー・サーバーの状況を確認して、ログ・ファイルを調べてください。ldapsearch または ldp などの LDAP ユーティリティーを使用して、LDAP サーバーへの TLS 接続を使用し、問題を切り分けてください。

---

**ANR3117E** ノードまたは管理者 *node/admin name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - クライアントのレベルが **LDAP** 認証に必要な最小レベルを満たしていません。

説明: クライアント・プログラムのバージョン・レベルが 6.4 以降ではないため、サーバーはクライアント・セッションを拒否しています。バージョン 6.4 以降のクライアントのみが LDAP 認証を使用できます。

システムの処置: セッションは拒否され、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: より新しいサーバー・プログラムに対応させるために、クライアント・プログラムを少なくともバージョン 6.4 にアップグレードするか、LDAP 認証を使用しないでください。

---

**ANR3118I** ノード *node name* の **LDAP** 項目が削除されました。

説明: AUDIT LDAPDIRECTORY コマンドの処理中に、IBM Spectrum Protect サーバー・データベースのデータベースと LDAP ディレクトリー・サーバーの間で不整合が見つかりました。FIX=YES が指定されているため、この不整合を修正するためにノードの LDAP 項目が削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3119I** 管理者 *admin name* の **LDAP** 項目が削除されました。

説明: AUDIT LDAPDIRECTORY コマンドの処理中に、IBM Spectrum Protect サーバー・データベースのデータベースと LDAP ディレクトリー・サーバーの間で不整合が見つかりました。FIX=YES が指定されているため、この不整合を修正するために管理者の LDAP 項目が削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3120I** 同じ名前のノードに対する *parameter* パラメーターが変更されたため、管理者 *admin name* が更新されました。

説明: 同じ名前を共有するノードと管理者では、AUTHENTICATION および SSLREQUIRED パラメーターの値が同一でなければなりません。ノードまたは管理者のいずれかの値が変更された場合、同じ名前を共有する管理者あるいはノードも更新され、これらのパラメーターを同一に保持します。

AUTHENTICATION パラメーターが LDAP から LOCAL に変更された場合、パスワードも更新されます。これが起きると、パスワードはノードに使用されているものと同じパスワードに更新されます。

システムの処置: サーバーは、指定された管理者の AUTHENTICATION または SSLREQUIRED パラメーターを更新しました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3121I** 同じ名前の管理者に対する *parameter* パラメーターが変更されたため、ノード *node name* が更新されました。

説明: 同じ名前を共有するノードと管理者では、AUTHENTICATION および SSLREQUIRED パラメーターの値が同一でなければなりません。ノードまたは管理者のいずれかの値が変更された場合、同じ名前を共有するノードあるいは管理者も更新され、これらのパラメーターを同一に保持します。

AUTHENTICATION パラメーターが LDAP から LOCAL に変更された場合、パスワードも更新されます。これが起きると、パスワードは管理者に使用されているものと同じパスワードに更新されます。

システムの処置: サーバーは、指定されたノードの

AUTHENTICATION または SSLREQUIRED パラメーターを更新しました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3122E** *command*: サーバーが、同じ名前を共有するノードまたは管理者を更新するため、システム・レベル権限が必要です。

説明: 同じ名前を共有するノードと管理者では、AUTHENTICATION および SSLREQUIRED パラメーターの値が同一でなければなりません。ノードまたは管理者のいずれかの値が変更された場合、同じ名前を共有するノードあるいは管理者も更新され、これらのパラメーターを同一に保持します。

システムの処置: サーバーはコマンドの実行に失敗します。

ユーザーの処置: システム・レベル権限を持つ管理者を使用して、コマンドを再発行します。あるいは、コマンドに関連付けられているノードあるいは管理者を名前変更し、ノードと管理者が同じ名前を共有しないようにします。

**ANR3123W** ノード *node name* の **LDAP** 項目が **LDAP** ディレクトリー・サーバーで見つかりませんでした。

説明: AUTHENTICATION=LDAP を指定して REGISTER NODE コマンドが発行されましたが、パスワードが指定されませんでした。この組み合わせは有効です。ただし、この組み合わせでは LDAP 項目は作成されず、その作成にはノードへのアクセスが必要です。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: このノードにアクセスするには、事前に LDAP 項目を作成する必要があります。このノードに対する新規の LDAP 項目を作成するには、UPDATE NODE コマンドを発行してパスワードを指定します。LDAP ディレクトリー・サーバーが別の IBM Spectrum Protect サーバーと共有されている場合、LDAP 項目は、代わりにそのもう一方の IBM Spectrum Protect サーバーによって作成することができます。

**ANR3124W** 管理者 *admin name* の **LDAP** 項目が **LDAP** ディレクトリー・サーバーで見つかりませんでした。

説明: AUTHENTICATION=LDAP を指定して REGISTER ADMIN コマンドが発行されましたが、パスワードが指定されませんでした。この組み合わせは

有効です。ただし、この組み合わせでは LDAP 項目は作成されず、その作成には管理者へのアクセスが必要です。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: この管理者にアクセスするには、事前に LDAP 項目を作成する必要があります。この管理者に対する新規の LDAP 項目を作成するには、UPDATE ADMIN コマンドを発行してパスワードを指定します。LDAP ディレクトリー・サーバーが別の IBM Spectrum Protect サーバーと共有されている場合、LDAP 項目は、代わりにそのもう一方の IBM Spectrum Protect サーバーによって作成することができます。

---

**ANR3125I** *command:* 更新対象のターゲットにされていた *total update attempts* 個のノードのうち、*successful updates* 個のノードが正常に更新されました。

説明: コマンドは、ノード (複数可) を更新し、正常に更新されたノード数および行われた試行回数を示す要約統計を作成しました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3126I** *command:* 更新対象のターゲットにされていた *total update attempts* 人の管理者のうち、*successful updates* 人の管理者が正常に更新されました。

説明: コマンドは、管理者 (複数可) を更新し、正常に更新された管理者数および行われた試行回数を示す要約統計を作成しました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3127W** "LDAP user" のパスワードを *number* 日以内に変更する必要があります。

説明: パスワードの期限切れが近づいています。処理の失敗を防ぐためパスワードを変更する必要があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: LDAP ディレクトリー・サーバーでパスワードを変更して、SET LDAPPASSWORD コマンドを新しいパスワードで発行してください。

---

**ANR3128E** *Command:* フェイルオーバー・サーバーの数が、許可された最大数を超過しています。

説明: ノードに対して定義できるフェイルオーバー・サーバーの数は 1 に制限されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 登録済みのサーバー名を 1 つだけ指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3129I** サーバーへのフェイルオーバー用の高位アドレスが *address* に設定されました。

説明: クライアントがフェイルオーバー中にこのサーバーとの通信に使用する高位アドレスが SET FAILOVERHLADDRESS コマンドによって示された値に設定されました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3132W** サーバー *server name* からのプロセス ID *process number* の複製プロセスは取り消されます。ソース・サーバー上の複製プロセス *source process number* がまだ活動状態にある可能性があります。

説明: ソース複製サーバー上で開始された、ターゲット複製サーバー上の複製プロセスが取り消されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ソース・サーバー上の複製プロセスの状況を確認します。ソース・サーバー上で CANCEL PROCESS コマンドを発行して、この複製操作を取り消します。

---

**ANR3133E** *command:* サーバー *server name* は定義されていません。

説明: サーバー *server name* はシステムに対して定義されていません。

システムの処置: コマンドは続行されますが、サーバー名は使用されません。

ユーザーの処置: QUERY SERVER を使用して、有効なフェイルオーバー・サーバーを識別してください。

---

**ANR3134E** *Command:* 指定した出力ボリュームの数 (*volume count*) は、MAXSTREAM パラメーター (*stream count*) で指定したストリームの数より小さい数です。

説明: 指定した出力ボリュームの数が、MAXSTREAM パラメーターで指定したストリームの数より小さく、ス

クラッチ・ボリュームは許可されていません。

システムの処置: このコマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 出力ボリュームを増すか、ストリームの数を小さくしてコマンドを再実行するか、  
SCRATCH=YES を指定してスクラッチ・ボリュームの使用を許可してください。

---

**ANR3135E** *Command: MAXSTREAM* パラメーター (stream count) に指定した値は、装置クラス device class に関連付けられたマウント・リミット (mount limit) を超えています。

説明: MAXSTREAM パラメーターに指定した値は、指定した装置クラスのマウント・リミットを超えています。

システムの処置: このコマンドは実行されません。

ユーザーの処置: ストリームの数を小さく指定してコマンドを再実行してください。

---

**ANR3136E** *Extractdb command:* 開始できなかったか、正常に完了できませんでした。

説明: データベース抽出の実行前に行われたコマンド指定またはその他の検証でエラーが発生したため、その抽出処理を開始できませんでした。または、抽出処理は開始していましたが、処理中にエラーが発生したために正常に完了できませんでした。

システムの処置: データベース抽出処理は正常に行われませんでした。

ユーザーの処置: 他に発行されたメッセージを検討して、障害の原因を判別してください。

---

**ANR3137E** 表スペース *tblspace name* のデータベース・ストレージをレクラメーション処理することはできません。エラー・コード *return code* が返されました。

説明: データベース・マネージャーが、参照された表スペースのスペースのレクラメーション処理を試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: EXTEND DBSPACE 操作は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・コンソール上および db2diag ログ内のメッセージを確認し、失敗の理由を判別してください。このプロセスを完了するには、データの再配布およびスペースのレクラメーション処理のステップを手動で実行する必要があります。

---

**ANR3138I** 表スペース *tblspace name* のデータベース・ストレージのレクラメーション処理が開始されています。

説明: データベース・マネージャーが、参照された表スペースのストレージ・スペースをレクラメーション処理しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3139I** すべての表スペースのデータベース・ストレージのレクラメーション処理が完了しました。

説明: データベース・マネージャーは、すべての表スペースのスペースをレクラメーション処理してサイズを削減しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3140I** 表スペース *tblspace name* 上のデータベース *database name* のデータの再配布が完了しました。

説明: データベース・マネージャーは、最近追加されたパス上にディレクトリーを作成し、参照された表スペースのこれらのパスにデータを再配布しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3141E** 表スペース *tblspace name* 上のデータベース *database name* のデータの再配布は、エラー・コード *error code* で失敗しました。

説明: 最近追加されたパス上でのディレクトリーの作成中、または参照された表スペースの新規ディレクトリーへのデータの再配布中に、障害が発生しました。

システムの処置: EXTEND DBSPACE 操作は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・コンソール上および db2diag ログ内のメッセージを確認し、失敗の理由を判別してください。このプロセスを完了するには、データの再配布およびスペースのレクラメーション処理のステップを手動で実行する必要があります。

---

**ANR3142I** 表スペース *tblspace name* 上のデータベース *database name* のデータの再配布が開始されました。

説明: データベース・マネージャーは新規に追加されたパス上にディレクトリーを作成し、参照された表スペースのすべてのディレクトリー間でデータを再配布します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3143I** データベース・スペースには、次のディレクトリーが定義されています。*directory list*。ただし、データベース・マネージャーは、新規のストレージ・パスを即時に使用しない場合があります。

説明: EXTEND DBSPACE 操作は、新規ディレクトリーをサーバー・データベース・ストレージ・スペースに正常に追加しました。コマンドで RECLAIM=NO が指定されているため、データは一部のディレクトリーに再配布されません。既存のストレージがフルになるまで、新規ストレージ・パスは使用されない場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: データベース内のデータを再配布して、スペースをレクラメーション処理する場合は、これらのタスクのステップを手動で実行することができます。

---

**ANR3144I** プロセス ID *process ID* としてスペースがデータベースに追加されました。

説明: データベースにスペースを追加する (すべてのディレクトリー間でデータの再配布を行い、オペレーティング・システムにスペースを返す) 操作が進行中です。

システムの処置: EXTEND DBSPACE コマンドは処理され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このプロセスが実行中の場合は、サーバーを停止しないでください。いったんプロセスが開始されたらプロセスの停止は試行しないでください。このプロセスを取り消す場合は、CANCEL PROCESS コマンドを使用します。このプロセスの状況を照会するには、QUERY PROCESS を発行します。

---

**ANR3145E** Command: 管理者 *admin name* は現在サーバー *server name* にアクセス中です。

説明: 示されたコマンドは、指定されたサーバーとの活動状態のセッションを持つ管理者を指定します。

---

システムの処置: ローカル・サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドを再発行するか、あるいは必要に応じて現行の管理者セッションを取り消してコマンドを再発行します。

---

**ANR3146E** *command name*: データベース・ストレージに指定されたディレクトリーのリストが、*length limit* 文字を超えています。

説明: ディレクトリーのリストが長すぎます。示された文字数以下のリストを指定してください。

システムの処置: コマンドは停止します。

ユーザーの処置: 操作を複数の EXTEND DBSPACE コマンドに分割して、コマンドに指定するディレクトリーの数を減らすことを検討してください。

---

**ANR3147I** ディレクトリー *directory list* が、データベース・スペースに定義されています。データベース・データは、既存のディレクトリー間に分散され、平衡化されました。

説明: コマンド 'EXTEND DBSPACE' により、新規ディレクトリーがサーバー・データベース・スペースに正常に追加されて、既存のディレクトリー間でデータが平衡化されました。

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR3148W** プロセス *process number* (サーバー *server name* 上のプロセス *source process number* による複製) が、*minutes of inactivity* 分間、非活動状態にあります。

説明: ターゲット・サーバー上の複製プロセスは、かなりの長時間、非活動状態になっています。ソース複製サーバーに接続上の問題があるか、ソース複製プロセスがすでに実行されていないか、またはソース複製サーバーがダウンしている可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ソース複製サーバーがまだ稼働しているかどうかを確認してください。サーバーが稼働している場合は、ソース複製プロセスがまだ活動状態にあるかどうかを確認してください。ソース複製プロセスがすでに活動状態にない場合、このプロセスを取り消すことができます。

---

---

**ANR3149I**    サーバーへのフェイルオーバー用の高位アドレスが削除されました。

説明: クライアントがフェイルオーバー中にこのサーバーとの通信に使用する高位アドレスが削除されました。

システムの処置: コマンドは正常終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3150E**    構成マネージャー *server name* で構成最新表示が失敗しました。*minutes* 分内に再試行されます。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、通信エラーのために、処理が失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が停止され、自動的に再試行されます。

ユーザーの処置: 構成マネージャーが活動状態でないと考えられます。問題が続く場合には、構成マネージャーの管理者またはネットワーク管理者に連絡してください。最新表示が数回自動的に再試行され、その後で、もう一度構成最新表示間隔に達するまで、ギブアップします。

---

**ANR3151E**    構成マネージャー *server name* で構成最新表示が失敗しました。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、処理が失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が停止されました。

ユーザーの処置: 構成最新表示が失敗した理由を説明する他のメッセージがないか、活動記録ログを調べてください。構成最新表示間隔に達した時に、最新表示がもう一度試みられます。

---

**ANR3152I**    構成マネージャー *server name* で構成最新表示が開始しました。

説明: 構成最新表示処理が開始されました。構成マネージャーから構成情報を受信するために、サーバー間セッションがオープンされました。加入されたプロファイルに関連したオブジェクトの更新が送信されます。

システムの処置: 最新表示処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---



---

**ANR3153I**    構成マネージャー *server name* で構成最新表示が正常に終了しました。

説明: 構成最新表示処理が正常に終了しました。加入されたプロファイルに関連した管理下のオブジェクトに対してすべての更新が行われました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。構成最新表示間隔に達した時に、次の自動最新表示が開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3154E**    管理下のサーバー *server name* への通知で通信エラー。*minutes* 分内に再試行されます。

説明: 指定された管理下のサーバーに加入サーバー要求通知を試みている時に、通信エラーが検出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。加入サーバー要求通知が停止され、自動的に再試行されます。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーが活動状態でないと考えられます。問題が続く場合には、管理下のサーバーの管理者またはネットワーク管理者に連絡してください。加入サーバー要求通知が数回再試行され、その後でギブアップします。

---

**ANR3155E**    管理下のサーバー *server* への加入サーバー要求通知を試みている時にエラー。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。加入サーバー要求通知は失敗しました。

ユーザーの処置: 加入サーバー要求通知が失敗した理由を説明する他のメッセージがないか、活動記録ログを調べてください。

---

**ANR3156E**    管理下のサーバー *server name* で構成最新表示が失敗しました。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成情報を送信している時に、処理が失敗しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理は終了しました。

ユーザーの処置: 構成最新表示が失敗した理由を説明する他のメッセージがないか、管理下のサーバーと構成マネージャーの両方の活動記録ログを調べてください。管理下のサーバーの構成最新表示間隔に達した時に、管理下のサーバーによって最新表示がもう一度試みられます。

---

---

**ANR3157I** 管理下のサーバー *server name* で構成最新表示が開始されました。

説明: 構成最新表示処理が開始されました。構成マネージャーから構成情報を受信するために、サーバー間セッションが管理対象のサーバーによってオープンされました。加入されたプロファイルに関連したオブジェクトの更新が送信されます。

システムの処置: 最新表示処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3158I** 管理下のサーバー *server name* で構成最新表示が正常に終了しました。

説明: 構成最新表示処理が正常に終了しました。管理下のサーバー上の加入されたプロファイルに関連した管理下のオブジェクトに対してすべての更新が行われました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3159E** 管理下のサーバー *server name* により新しいバージョンのプロファイル *profile name* があります。

説明: 指定された管理下のサーバーに構成情報を送信している時に、管理下のサーバーが指定されたプロファイルに対してもっている構成情報のバージョンが構成マネージャーより新しいことが検出されました。この条件は、構成マネージャーのデータベースが前の特定時点にリストアされた場合に起こることがあります。もう 1 つの可能性として、構成マネージャー上でプロファイルが削除され、同じ名前でも新しいプロファイルが作成されたということが考えられます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。この条件が訂正されるまで、このプロファイルの構成情報は管理下のサーバーに送られません。

ユーザーの処置: この状態を訂正する前に、**QUERY PROFILE** を使用して、構成マネージャーと管理下のサーバーの両方で定義されたプロファイル・アソシエーションを調べることができます。この状態を訂正するには、管理下のサーバーでプロファイルに対する加入を削除してから、その加入をもう一度定義してください。これにより、管理下のサーバーは、構成マネージャーの現行レベルで最新表示されることになります。

---

**ANR3160E** 管理下のサーバー *server name* から最新表示の確認を受信することができません。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成情報を送信している時、その情報が正常に処理された管理下のサーバーから確認を受信しようとして、通信エラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: サーバー **PING** コマンドを使用することによって、管理下のサーバーとの通信を確立できるかどうかを判別してください。 **NOTIFY SUBSCRIBERS** コマンドを使用して、構成最新表示を強制的に再試行させてください。

---

**ANR3161E** 管理下のサーバー *server name* の構成最新表示の終了が早すぎました。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成情報を送信している時に、エラーのために、処理の終了が早すぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: 最新表示が失敗した理由を説明するエラー・メッセージがないか、管理下のサーバー上の活動記録ログを調べてください。構成マネージャーで **NOTIFY SUBSCRIBERS** コマンドを使用して、構成最新表示を強制的に再試行させてください。

---

**ANR3162E** メモリー不足条件のために、管理下のサーバー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成情報を送信している時に、管理下のサーバーでのメモリー不足条件のために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーに使用可能なメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR3163E** 内部エラーのために、管理下のサーバー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成情報を送信している時に、管理下のサーバーでの内部エラーのために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

## ANR3164E • ANR3170E

ユーザーの処置: 内部エラーの原因を説明するメッセージがないか、管理下のサーバーの活動記録ログを調べてください。

---

**ANR3164E** ロック対立のために、管理下のサーバー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成情報を送信している時に、管理下のサーバーでのロック対立のために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: NOTIFY SUBSCRIBERS コマンドを使用して、構成最新表示を再試行してください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3165E** プロトコル・エラーのために、管理下のサーバー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成情報を送信している時に、管理下のサーバーでプロトコル・エラーが検出されたために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: NOTIFY SUBSCRIBERS コマンドを使用して、構成最新表示を再試行してください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3166E** サーバー *server name* から構成最新表示情報を受信することができません。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、通信エラーのために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: サーバー PING コマンドを使用して、構成マネージャーに到達できるかどうかを判別してください。問題が続く場合には、ネットワーク管理者に連絡してください。

---

**ANR3167E** メモリー不足条件のために、構成マネージャー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、構成マネージャーでのメモリー不足条件

のために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: 構成マネージャーの管理者に通知してください。

---

**ANR3168E** 内部エラーのために、構成マネージャー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、構成マネージャーでの内部エラーのために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: 内部エラーの原因を説明するメッセージがないか、構成マネージャーの活動記録ログを調べてください。

---

**ANR3169E** ロック対立のために、構成マネージャー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された管理下のサーバーから構成情報を受信している時に、構成マネージャーでのロック対立のために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: SET CONFIGREFRESH コマンド (現行最新表示間隔値を使用) を出すことによって、構成最新表示を再試行してください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3170E** プロトコル・エラーのために、構成マネージャー *server name* が構成最新表示処理を打ち切りました。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、構成マネージャーでプロトコル・エラーが検出されたために、処理の終了が早過ぎました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: SET CONFIGREFRESH コマンド (現行最新表示間隔値を使用) を出すことによって、構成最新表示を再試行してください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。



---

**ANR3171E** 構成マネージャー *server name* による構成最新表示では、1 つ以上のオブジェクトで処理をスキップする必要がありました。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、1 つ以上のオブジェクトを作成または削除をスキップする必要が出てきました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。構成最新表示処理が終了しました。

ユーザーの処置: そのオブジェクトを示す前のメッセージがないか、管理下のサーバーの活動記録ログを調べ、そのメッセージに示されたアクションを行ってください。問題が解消されるまで、構成最新表示処理は正常に完了しません。

---

**ANR3172W** 削除されたプロファイル *profile name* に加入が存在しています。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、構成マネージャーにもう存在しないプロファイルに対する加入が管理下のサーバーにあることが検出されました。この条件は、構成マネージャーでプロファイルが FORCE=YES で削除されたために起こることがあります。この同期外れ条件は、一方のサーバーのデータベースが db のリストアのために古くなったために起こることもあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この状態を訂正するには、DELETE SUBSCRIPTION コマンドを使用します。管理下のオブジェクトをサーバーに残すかどうかを決定する必要があります。削除したい場合には、DISCARD=YES を指定してください。オブジェクトをローカル・オブジェクトとして管理下のサーバーに残しておきたい場合には、DISCARD=NO を指定してください。

---

**ANR3173E** いくつかのサーバーに構成マネージャー *server name* より新しいバージョンのプロファイル *profile name* があります。

説明: 指定された構成マネージャーから構成情報を受信している時に、管理下のサーバーが指定されたプロファイルに対して構成マネージャーより新しいバージョンの構成情報をもっていることが検出されました。この条件は、構成マネージャーのデータベースが前の特定時点にリストアされた場合に起こることがあります。もう 1 つの可能性として、構成マネージャー上で FORCE=YES によってプロファイルが削除され、同じ名前でも新しいプロファイルが作成されたということが考えられます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。この条件が訂正されるまで、このプロファイルの構成情報は管理下のサーバーに送られません。

ユーザーの処置: この状態を訂正する前に、QUERY PROFILE を使用して、構成マネージャーと管理下のサーバーの両方で定義されたプロファイル・アソシエーションを調べることができます。この状態を訂正するには、管理下のサーバーでプロファイルに対する加入を削除してから、その加入をもう一度定義してください。これにより、管理下のサーバーは、構成マネージャーの現行レベルで最新表示されることになります。

---

**ANR3174E** 管理下のサーバー *server name* との通信エラー。

説明: 指定された管理下のサーバーへの情報の送受信中に、通信エラーが検出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。実行中の操作は、失敗します。

ユーザーの処置: エラーがしばしば起きる場合、ネットワーク管理者に相談してください。また、管理下のサーバーが動作しているか確認してください。

---

**ANR3175W** プロファイル *profile name* がロックされていて、構成マネージャー *server name* から最新表示できませんでした。

説明: 指定された管理下のサーバーから構成最新情報を受信中に、加入されたプロファイルのロックが検出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。このプロファイルのリフレッシュ処理はスキップします。

ユーザーの処置: 通常、そのプロファイルは、後ほど自動的にあるいは管理者によってアンロックされます。ロックされるべきでないと考えられる場合、構成マネージャーの管理者に UNLOCK PROFILE コマンドによるロックの解除を要求してください。

---

**ANR3176W** プロファイル *profile name* がロックされ、管理下のサーバー *server name* に対し最新表示できませんでした。

説明: 指定された管理下のサーバーへ構成最新情報を送信中に、加入されたプロファイルのロックが検出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。このプロファイルのリフレッシュ処理はスキップします。

ユーザーの処置: プロファイルがロックされているべきでないと考えられる場合、UNLOCK PROFILE コマンドを使用してアンロックしてください。

---

**ANR3177W** サーバー・レベルは、プロファイル *profile name* のオブジェクトをサポートしません。

説明: 構成最新情報を構成マネージャーから受信中に、管理下のサーバーでサポートされないオブジェクトが受信されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。このオブジェクトのリフレッシュ処理はスキップします。このプロファイルのリフレッシュは失敗します。

ユーザーの処置: 構成マネージャーは、管理下のサーバーより高いリリース・レベルにあります。管理下のサーバーが、サポートされないオブジェクトを持つプロファイルに加入しました。サービスが、サーバーをより高いリリース・レベルに上げるためにそのサーバーに適用できるまで、このプロファイルへの加入を削除してください。

---

**ANR3178E** 複製サーバー *server name* とのセッション *session number* 中に通信エラーが発生しました。

説明: システムが特定の複製サーバーから情報を受信中、または送信中に通信エラーが発生しました。このエラーは、CANCEL REPLICATION コマンドがソース複製サーバーで発行された場合に、ターゲット複製サーバーで発生する可能性があります。

システムの処置: このサーバーは実行中ですが、進行中の操作が失敗しました。

ユーザーの処置: エラーが頻繁に発生する場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、ターゲットおよびソースの複製サーバーの活動記録ログで、複製に関連するメッセージを確認してください。

---

**ANR3179E** サーバー *server name* が複製をサポートしないか、複製のために初期化されていません。

説明: REPLICATE コマンドに応答して、サーバーが複製ターゲットへの接続を確立しようとした。しかし、ターゲット・サーバーが複製をサポートしないか、複製のために適切に初期化されていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。複製は失敗します。

ユーザーの処置: 複製ターゲットの保守レベルが正しく、ターゲット・サーバーのグローバル固有 ID (GUID) が適切に設定されていることを確認してください。GUID が適切に設定されていない場合は、tivguid ユーティリティを使用して設定してください。

---

**ANR3180E** ターゲット複製サーバーが設定されていないため、ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、およびコピー・タイプ *copytype name* の複製を実行できません。

説明: REPLICATE NODE コマンドへの応答で、ターゲット・サーバーが定義されていないために、サーバーはターゲット複製サーバーへの接続を確立できませんでした。

システムの処置: このノードおよびファイル・スペースの複製はスキップされます。ただし、その他のノードおよびファイル・スペースの複製は続行します。

ユーザーの処置: データを複製するには、ターゲット複製サーバーが定義されている必要があります。SET REPLSERVER コマンドを発行して、ターゲット複製サーバー名を設定します。SET REPLSERVER コマンドで指定される名前は、有効なサーバー定義に関連付けられている必要があります。

---

**ANR3181E** 複製サーバー *server name* に、このサーバーと同じ複製キーが指定されています。

説明: 複製の初期化時に、サーバーは、ターゲット・サーバーの複製キーがこのサーバーと同じであることを検出しました。各サーバーには固有の複製キーが必要です。

システムの処置: 指定されたサーバーへの複製は停止します。

ユーザーの処置: SET REPLSERVER コマンドを発行して、複製のターゲットとして別のサーバーを指定してください。

---

**ANR3182W** ノード *node name* のパスワード認証方式は変更されませんでした。

説明: 複製またはインポート処理中に、LDAP ディレクトリー・サーバーを使用してターゲットでパスワードを認証するノードが検出されましたが、ソース・ノードは IBM Spectrum Protect サーバー (LOCAL) を使用してパスワードを認証します。複製およびインポートのプロセスはノード・パスワード認証方式を LDAP から LOCAL に変更しません。

システムの処置: 複製またはインポートの処理は続行されます。ノード・パスワード認証方式は LDAP から LOCAL に変更されませんでした。

ユーザーの処置: AUTHENTICATION=LOCAL パラメーターを指定して UPDATE NODE コマンドを発行することによって、ノード・パスワード認証方式を LDAP から LOCAL に変更してください。

---

**ANR3183W** 管理者 *admin name* のパスワード認証方式は変更されませんでした。

説明: インポート処理中に、ターゲットで LDAP ディレクトリー・サーバーを使用してパスワードを認証する管理者 ID が検出されましたが、ソースでは IBM Spectrum Protect サーバー (LOCAL) を使用してパスワードを認証します。インポート処理は管理者のパスワード認証方式を LDAP から LOCAL に変更しません。

システムの処置: インポート処理が続行されます。パスワード認証方式は LDAP から LOCAL に変更されませんでした。

ユーザーの処置: AUTHENTICATION=LOCAL パラメーターを指定して UPDATE ADMIN コマンドを発行することによって、ターゲット管理者のパスワード認証方式を LDAP から LOCAL に変更してください。

---

**ANR3184E** サーバー *server name* はこのサーバーを使用して複製できません。

説明: REPLICATE コマンドに応答して、サーバーは、複製ターゲットとの接続を確立しようとしていました。ターゲット・サーバーは、このサーバーを使用した複製をサポートできないレベルにあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。複製は失敗します。

ユーザーの処置: 複製ターゲット・サーバーが、このサーバーを使用した複製をサポートする保守レベルにあることを確認してください。

---

**ANR3185I** 複製されたノード *reference node* のプロキシ・エージェントとしてノード *associated replication node* を複製しています。

説明: REPLICATE NODE 操作中に、サーバーは、複製されたノードに参照される関連プロキシ・エージェント・ノードを識別しました。プロキシ・エージェント・ノードの定義は複製されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3186I** 複製されたノード *reference node* のファイル・スペース許可規則内で参照されるノード *associated replication node* を複製しています。

説明: REPLICATE NODE 操作中に、サーバーは、複製されたノードのファイル・スペース許可規則内で参照

される関連複製ノードを識別しました。関連複製ノードの定義は複製されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3187E** 関連複製ノード *associated replication node name* の複製が失敗しました - ノードが複製用に構成されていません。

説明: REPLICATE NODE 操作中に、サーバーは、プロキシ・エージェントであるノード、または、複製されたノードのファイル・スペース許可規則内で参照されるノードのいずれかの複製を試行しました。現在、関連複製ノードは複製用に構成されていないため、複製できませんでした。関連複製ノードをターゲット・サーバーに複製するには、複製モードが SEND に設定され、複製状態が ENABLED となっている必要があります。

システムの処置: 複製操作は続行されます。関連ノードの複製は失敗します。

ユーザーの処置: フェイルオーバー操作中に、関連複製ノードをクライアントで使用できるようにするには、関連複製ノードを複製用に構成し、使用可能にしてください。

---

**ANR3188E** 関連複製ノード *associated replication node name* の複製が失敗しました - ノードは複製用に使用可能になっていません。

説明: REPLICATE NODE 操作中に、サーバーは、プロキシ・エージェントであるノード、または、複製されたノードのファイル・スペース許可規則内で参照されるノードのいずれかの複製を試行しました。現在、関連複製ノードは、複製用に使用可能になっていないため、複製できませんでした。関連複製ノードをターゲット・サーバーに複製するには、複製モードが SEND に設定され、複製状態が ENABLED となっている必要があります。

システムの処置: 複製操作は続行されます。関連ノードの複製は失敗します。

ユーザーの処置: フェイルオーバー操作中に、関連複製ノードをクライアントで使用できるようにするには、関連複製ノードを複製用に使用可能にしてください。

---

**ANR3189E** 関連複製ノード *associated replication node name* の複製が失敗しました - ターゲット・ノードは複製用に使用可能になっていません。

説明: REPLICATE NODE 操作中に、サーバーは、プロキシ・エージェントであるノード、または、複製さ

れたノードのファイル・スペース許可規則内で参照されるノードのいずれかの複製を試行しました。現在、ターゲット・サーバーのノード定義が複製用に使用可能になっていないため、関連複製ノードは複製できませんでした。ターゲット・サーバーの関連複製ノードをソース・サーバーから複製するには、複製モードが RECV に設定され、複製状態が ENABLED となっている必要があります。

システムの処置: 複製操作は続行されます。関連ノードの複製は失敗します。

ユーザーの処置: 関連複製ノードを複製するためには、ターゲット・サーバーのノードの複製状態を使用可能に設定してください。

---

**ANR3190E** サーバー *server name* 上のノード *node name* は、複製に異なる 1 次サーバーを使用しています。

説明: REPLICATE NODE コマンドの実行時に、サーバーはノードを別のサーバーに複製しようとしていました。しかし、他のサーバーには、既に異なる 1 次サーバーからのノードの複製があります。

システムの処置: ノードの複製は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: RENAME NODE コマンドを発行してノードの名前を変更するか、または、REMOVE REPLNODE コマンドを発行して現行の 1 次サーバーを使用した複製からノードを削除してください。

---

**ANR3191E** *Command: CONTAINER* ストレージ・タイプは、**POOLTYPE** が **PRIMARY** である場合にのみ使用可能です。

説明: ストレージ・タイプ CONTAINER を使用して、POOLTYPE を定義しようとしています。POOLTYPE が PRIMARY 以外のストレージ・プールは、DEVCLASS ストレージ・タイプのストレージ・プールにのみ割り当てることができます。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 順次装置クラスを指定してコマンドを再発行するか、POOLTYPE を省略してください。

---

**ANR3192I** ノードの複製: 複製されたプロキシ・エージェント・ノード数: *proxy nodes found* のうち *proxy nodes replicated* が識別されました。複製された関連許可ノード数: *authorized nodes found* のうち *authorized nodes replicated* が識別されました。複製されたクライアント・オプション・セット数: *option sets found* のうち *option sets*

*replicated* が識別されました。

説明: 複製プロセスが完了しました。数値の意味は次のとおりです。

- プロキシ・エージェント・ノード数は、REPLICATE NODE コマンドで指定されたすべてのノードに対して、プロキシ・エージェントとして識別されるノードの数です。
- 関連許可ノード数は、REPLICATE NODE コマンドで指定されたすべてのノードに対して、ファイル・スペース許可規則に参照されるノードの数です。
- クライアント・オプション・セット数は、REPLICATE NODE コマンドに指定されるすべてのノードによって参照されるオプション・セットの数です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3193I** 複製プレビュー: 識別されたプロキシ・エージェント・ノード数: *proxy nodes found*。識別された関連許可ノード数: *authorized nodes found*。識別されたクライアント・オプション数: *option sets found*。

説明: 複製プレビューのプロセスが完了しました。数値の意味は次のとおりです。

- プロキシ・エージェント・ノード数は、REPLICATE NODE コマンドで指定されたすべてのノードに対して、プロキシ・エージェントとして識別されるノードの数です。
- 関連許可ノード数は、REPLICATE NODE コマンドで指定されたすべてのノードに対して、ファイル・スペース許可規則に参照されるノードの数です。
- クライアント・オプション・セット数は、REPLICATE NODE コマンドに指定されるすべてのノードによって参照されるオプション・セットの数です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3194I** 複製されたノード *reference node* のプロキシ・エージェントとしてノード *associated replication node* を識別しました。

説明: 複製プレビューのプロセスが完了しました。サーバーは、複製されたノードに参照される関連プロキシ・エージェント・ノードを識別しました。プロキシ・エージェント・ノード定義が複製されるのは、参照

ノードが複製されている場合です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3195I** 複製されたノード *reference node* のファイル・スペース許可規則内で参照されるノード *associated replication node* が識別されました。

説明: 複製プレビューのプロセスが完了しました。サーバーは、複製されたノードのファイル・スペース許可規則内で参照される関連複製ノードを識別しました。関連ノード定義が複製されるのは、参照ノードが複製されている場合です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3196E** (*communication method communication address*) からのインポート中に、セッション *session number* で通信エラーが発生しました。

説明: 別のサーバーからのインポート中に通信エラーが発生しました。

システムの処置: インポート・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 通信エラーの原因を判別し、インポートを再試行してください。

**ANR3197W** *command*: ターゲット・サーバー *target server* 上のノード *node name*、ファイル・スペース *ID filespace id* に対する許可規則の複製に失敗しました - ターゲット・サーバー上に重複する規則が存在します。

説明: このサーバーのファイル・スペース許可規則は、ターゲット・サーバーに同じ規則が既に存在しているため、ターゲット・サーバーに複製することができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 複製中のファイル・スペースには、ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方に存在する許可規則が含まれています。IBM Spectrum Protect クライアントの QUERY ACCESS コマンドを使用して、ターゲット・サーバー上で使用する許可規則を決定してください。使用する許可規則を決定した後、IBM Spectrum Protect クライアントの DELETE ACCESS コマンドを使用して、不要な許可規則を削除します。

**ANR3198E** *command*: サーバー *server name* 定義をトリートできませんでした。データベースは不整合な状態にあります。

説明: サーバー情報にアクセス中にエラーが発生しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 詳細情報と、問題を解決するための説明については、技術情報 1598476 (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) を参照してください。検索フィールドに 1598476 と入力してください。

**ANR3199I** *time* に開始されたステージ *stage* に対するサーバーの停止。

説明: サーバーの HALT 処理が実行中であり、各ステージはステージが開始された時刻付きで報告されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このメッセージは活動記録ログに記録されることがあります。このメッセージは通知目的でのみ提供されます。報告されたステージは通知目的であり、進行状況を示すだけです。停止の間、実行される順序と実際のステージは異なることがあるので、常に同じ方法で報告されるとは限りません。主な考慮事項は、サーバーの停止に使用する時間を計算するために、INIT ステージと COMPLETE ステージを使用できるということです。このメッセージは、「HALT VERBOSE」のように、停止コマンドが *verbose* パラメーターを指定して発行された場合にもみ表示されます。

**ANR3200E** *command*: コマンドを実行できません - ドメイン *domain name* は管理下のオブジェクトです。

説明: 指定されたコマンドは、示された管理下のドメインの内容を変更するので実行することができません。ポリシー・セット活動化は例外で、管理下のドメインは、構成マネージャーから伝搬された構成情報を使用しでのみ変更することができます。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3201E** *command*: ドメイン *domain name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたドメインは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3202E** *command:* ドメイン *domain name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたドメインは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを更新するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3203E** *command:* ドメイン *domain name* 中のポリシー・セット *set name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたポリシー・セットは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3204E** *command:* ドメイン *domain name* 中のポリシー・セット *set name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたポリシー・セットは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを更新するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3205E** *command:* ドメイン *domain name* 中の管理クラス *class name*、ポリシー・セット *set name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示された管理クラスは管理下のオブジェクトであ

り、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3206E** *command:* ドメイン *domain name* 中の管理クラス *class name*、ポリシー・セット *set name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示された管理クラスは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを更新するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3207E** *command:* ドメイン *domain name* 中のバックアップ・コピー・グループ *group name*、ポリシー・セット *set name*、管理クラス *class name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたバックアップ・コピー・グループは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3208E** *command:* ドメイン *domain name* 中のアーカイブ・コピー・グループ *group name*、ポリシー・セット *set name*、管理クラス *class name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたアーカイブ・コピー・グループは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3209E** *command:* ドメイン *domain name* 中のバックアップ・コピー・グループ *group name*、ポリシー・セット *set name*、管理クラス *class name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたバックアップ・コピー・グループは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを更新するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3210E** *command:* ドメイン *domain name* 中のアーカイブ・コピー・グループ *group name*、ポリシー・セット *set name*、管理クラス *class name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたアーカイブ・コピー・グループは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを更新するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3211E** *command:* ドメイン *domain name* 中のクライアント・スケジュール *schedule name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたクライアント・スケジュールは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3212E** *command:* ドメイン *domain name* 中のクライアント・スケジュール *schedule name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたクライアント・スケジュールは管理下の

オブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを更新するには、ドメイン *domain name* が関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3213E** *command:* 管理スケジュール *schedule name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示された管理スケジュールは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3214E** *command:* 管理スケジュール *schedule name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。スケジュールの活動化または非活動化は可能です。

説明: 示された管理スケジュールは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。ただしスケジュールの活動状態は変更することができます。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを更新するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3215W** 管理下のドメイン *domain name* は少なくとも 1 つのノードを含んでおり、廃棄できません。

説明: このメッセージは、DISCARDOBJECTS=YES を指定した DELETE SUBSCRIPTION コマンドを処理している時に出されます。示されたドメインは、まだ 1 つ以上のノードを含んでいるので管理下のサーバーで廃棄することはできません。

システムの処置: ドメイン *domain name* は削除されません。このドメインに属するポリシー・セット、管理クラス、コピー・グループ、およびクライアント・スケジュールも削除されません。

ユーザーの処置: このドメインを削除するには、ドメイ

ン中のノードを削除するか、別のドメインに割り当てなければなりません。

---

**ANR3216W** 管理下の管理スケジュール *schedule name* は活動状態であり、廃棄できません。

説明: このメッセージは、DISCARDOBJECTS=YES を指定した DELETE SUBSCRIPTION コマンドを処理している時に出力されます。示された管理スケジュールは、活動状態であるので管理下のサーバーで廃棄することはできません。

システムの処置: 管理スケジュール *schedule name* は削除されません。

ユーザーの処置: この管理スケジュールを削除するには、スケジュール更新コマンドを使用して非活動にしなければなりません。

---

**ANR3217E** *command:* 管理者 *administrator name* は管理下のオブジェクトであり、除去できません。

説明: 示された管理者は管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで除去することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: この管理者を削除するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3218E** *command:* 管理者 *administrator name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示された管理者は管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: この管理者を更新するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3219E** *command:* 管理者 *administrator name* は管理下のオブジェクトであり、名前変更できません。

説明: 示された管理者は管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで名前変更することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: この管理者を名前変更するには、オブ

ジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3220E** *command:* 管理者 *administrator name* は管理下のオブジェクトです - 権限を付与できません。

説明: 示された管理者は管理下のオブジェクトです。管理下のサーバー上でこの管理者に権限を付与することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: この管理者に権限を付与するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3221E** *command:* 管理者 *administrator name* は管理下のオブジェクトです - 権限を取り消しできません。

説明: 示された管理者は管理下のオブジェクトです。管理下のサーバーでこの管理者の権限を取り消すことはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: この管理者の権限を取り消すには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3222W** 管理下の管理者 *administrator name* は、唯一のシステム管理者であり、廃棄できません。

説明: このメッセージは、DISCARDOBJECTS=YES を指定した DELETE SUBSCRIPTION コマンドを処理している時に出力されます。示された管理者は、唯一のシステム管理者であるので、管理下のサーバーで廃棄することはできません。

システムの処置: 管理者 *administrator name* は削除されません。

ユーザーの処置: この管理者を削除するには、別の管理者にシステム権限を付与しなければなりません。

---

**ANR3223W** 管理下の管理者 *administrator name* は、現在サーバーにアクセス中であり、廃棄できません。

説明: このメッセージは、DISCARDOBJECTS=YES を指定した DELETE SUBSCRIPTION コマンドを処理している時に出力されます。示された管理者は、サーバーとの活動セッションをもっているため、管理下のサーバ



ーで廃棄することはできません。

システムの処置: 管理者 *administrator name* は削除されません。

ユーザーの処置: 管理者定義を廃棄する前に、この管理者のすべてのセッションを終了するか、あるいは取り消してください。

---

**ANR3224E** *command:* コマンド・スクリプト  
*command script name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたコマンド・スクリプトは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このスクリプトを削除するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3225E** *command:* コマンド・スクリプト  
*command script name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたコマンド・スクリプトは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このスクリプトを更新するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3226E** *command:* コマンド・スクリプト  
*command script name* は管理下のオブジェクトであり、名前変更できません。

説明: 示されたコマンド・スクリプトは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで名前変更することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このスクリプトを名前変更するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3227E** *command:* オプション・セット *optionset name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたオプション・セットは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオプション・セットを削除するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3228E** *command:* オプション・セット *optionset name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたオプション・セットは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオプション・セットを更新するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3229E** *command:* コマンドを実行できません - オプション・セット *optionset name* は管理下のオブジェクトです。

説明: 指定されたコマンドは、示された管理下のオプション・セットの内容を変更するので実行することができません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3230E** *command:* サーバー・グループ *group name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたサーバー・グループは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このサーバー・グループを削除するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3231E** *command:* サーバー・グループ *group name* は管理下のオブジェクトであり、更新できません。

説明: 示されたサーバー・グループは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで更新することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このサーバー・グループを更新するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3232E** *command:* サーバー・グループ *group name* は管理下のオブジェクトであり、名前変更できません。

説明: 示されたサーバー・グループは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで名前変更することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このサーバー・グループを名前変更するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3233E** *command:* コマンドを実行できません - サーバー・グループ *group name* は管理下のオブジェクトです。

説明: 指定されたコマンドは、示された管理下のサーバー・グループのメンバーシップを変更するので実行することができません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3234E** *command:* サーバー *server name* は管理下のオブジェクトであり、削除できません。

説明: 示されたサーバーは管理下のオブジェクトであり、管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このオブジェクトを削除するには、オブジェクトが関連した構成プロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3235E** *command:* サーバー *server name* は管理下のオブジェクトです - 指定された 1 つ以上の属性は更新できません。

説明: 示されたサーバーは管理下のオブジェクトであり、特定の属性を管理下のサーバーで更新することはできません。これらの属性は次のとおりです。

SERVERPASSWORD、HLADDRESS、LLADDRESS、COMMMETHOD、DESCRIPTION、URL および ALLOWREPLACE。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーで更新することができる属性に対する更新を制限することができます。例えば、PASSWORD、NODENAME、FORCESYNC および DELGRACEPERIOD 属性は、サーバーが管理下のオブジェクトであっても更新することができます。これに代えて、オブジェクトが関連した構成プロファイルへの加入を削除できるので、サーバーは管理下のオブジェクトではなくなります。

---

**ANR3236W** サーバー *server name* は現在使用中であり、廃棄できません。

説明: このメッセージは、DISCARDOBJECTS=YES を指定した DELETE SUBSCRIPTION コマンドを処理している時に出力されます。示されたサーバーは、*server name* が使用中であるために、管理下のサーバーで廃棄することはできません。これは、管理下のサーバーに *server name* との活動接続があった場合、あるいは管理下のサーバーが *server name* を参照する DEVTYPE=SERVER の装置クラスがあった場合に起こることがあります。

システムの処置: サーバー *server name* は削除されません。

ユーザーの処置: *server name* を削除するには、管理下のサーバーがそのサーバーに接続してはならず、そのサーバーに対する装置クラス参照をもっていない必要があります。

---

**ANR3237W** サーバー *server name* はイベント・サーバーであり、廃棄できません。

説明: このメッセージは、DISCARDOBJECTS=YES を指定した DELETE SUBSCRIPTION コマンドを処理している時に出力されます。示されたサーバーは、管理下のサーバーのイベント・サーバーであるので、廃棄することができません。

システムの処置: サーバー *server name* は削除されません。

ユーザーの処置: *server name* を削除するには、DELETE EVENTSERVER コマンドを使用して、*server name* に対するイベント・サーバー参照を除去しなければなりません。

---

**ANR3238E** *command:* このオブジェクトは、1 つ以上の構成プロファイルに関連しているので名前変更できません。

説明: このメッセージは、1 つ以上の構成プロファイルに関連したオブジェクトを名前変更しようとした時に、構成マネージャーで出されます。関連したオブジェクトは、enterprise 構成機能がオブジェクトの名前変更をサポートしていないので、名前変更することができません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: オブジェクト名を変更しなければならない場合には、オブジェクトを削除して、新しい名前ですそれを定義してから、新しいオブジェクトに対するプロファイル・アソシエーションを定義することができます(ワイルドカードによるプロファイル・アソシエーションがまだ存在しない場合)。これにより、オブジェクトが削除され、このオブジェクトが関連しているプロファイルに対する加入によって管理下のサーバーでこのオブジェクトが再定義されることになります。

---

**ANR3239E** 装置クラス *device class* の作成中にエラー *rc* が発生しました。

説明: このメッセージは、装置構成ファイルの処理中にエラーが発生したために装置クラスを作成できなかったときに発行されます。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 装置構成ファイルにエラーがないか調べてください。また、装置構成ファイルでこれらのエラーの位置を特定するために役立つような前のエラー・メッセージがないか、活動記録ログで調べてください。

---

**ANR3240W** 装置クラス *device class* には *number of drives* のドライブしかありませんが、要求されたストリームの数は *number of streams* です。

説明: このメッセージは、NUMSTREAM パラメーターに装置クラスで使用可能なドライブの数よりも高い値が指定されている場合に発行されます。

システムの処置: コマンドは続行します。

ユーザーの処置: 値は、要求されたとおりに更新されます。データベース・バックアップが試行された時点で

使用可能なドライブの数がストリームの数よりも少ない場合、オンライン・ドライブの数をストリームの数として使用してデータベース・バックアップが実行されます。例えば、使用可能なドライブの数が 2 で、NUMSTREAM 値が 4 に設定されている場合は、ストリームを 2 つのみ使用してデータベース・バックアップが実行されます。

---

**ANR3241W** オプション *option 2* の設定が原因で、サーバー・オプション *option 1* に指定された値が無視されます。

説明: 2 番目のオプションが優先されるため、最初のオプションに指定した値は無視されます。

システムの処置: オプションのデフォルト値が使用されます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・オプションの値が競合しないように、一方または両方の値を変更してください。サーバーを再始動します。

---

**ANR3242E** *command:* 複製サーバー *server Name* は、現在 REMOVE REPLSERVER コマンドによって削除されています。

説明: REMOVE REPLSERVER コマンドを発行するときに、前の REMOVE REPLSERVER コマンドの結果として、削除対象として指定した複製サーバーの削除処理が既に進められています。

システムの処置: コマンドは、サーバーによって停止されます。

ユーザーの処置: QUERY REPLSERVER コマンドを発行して、複製サーバーの現在の状況を確認します。指定した複製 GUID が、削除しているサーバーに対応する正しいものであることを確認します。

---

**ANR3243E** *command:* 複製サーバー *server Name* が、前の REMOVE REPLSERVER コマンドによって現在削除されています。

説明: REPLICATE NODE コマンドを発行するときに、前の REMOVE REPLSERVER コマンドの結果として、デフォルト複製サーバーの削除処理が既に進められています。

システムの処置: コマンドは、サーバーによって停止されます。

ユーザーの処置: QUERY REPLSERVER コマンドを発行して、複製サーバーの現在の状況を確認します。SET REPLSERVER コマンドを使用して、デフォルト複製サーバーを更新します。

**ANR3244E** サーバー *server name* のセッション *session number* のエラー - 複製サーバーは、前の **REMOVE REPLSERVER** コマンドによって現在削除されています。

説明: ターゲット・サーバー上での REPLICATE NODE プロセスの開始時に、前の REMOVE REPLSERVER コマンドの結果として、ターゲット・サーバー上で複製サーバーの削除処理が既に進められています。

システムの処置: コマンドは、サーバーによって停止されます。

ユーザーの処置: QUERY REPLSERVER コマンドを発行して、複製サーバーの現在の状況を確認します。SET REPLSERVER コマンドを使用して、デフォルト複製サーバーを更新します。

**ANR3245W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* - サーバー *server name* に関するフェイルオーバー接続情報が見つかりません。

説明: クライアントのサインオン時に、保管されたフェイルオーバー・サーバー接続情報がありませんでした。これは、関連ノード定義内で定義されたフェイルオーバー・サーバー上で REMOVE REPLSERVER コマンドを発行すると起こります。クライアント・オプション・ファイル内に保管されたフェイルオーバー・サーバー接続情報の変更は行われません。クライアントは、最後に認識されたフェイルオーバー・サーバーにフェイルオーバーします。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・オプション・ファイルのフェイルオーバー・サーバーがまだ有効な場合にはアクションは必要ありません。ノードのフェイルオーバー・サーバーを更新するために、デフォルトのターゲット複製サーバーにノードを複製してください。

**ANR3246W** ファイルが削除されているため、プロセス *process ID* はボリューム *Volume name* 上の *Num Files* 個のファイルをスキップしました。

説明: 移動操作中のファイルのうち、いくつかのファイルは既に削除されていたためスキップされました。

システムの処置: 操作はコピーを作成せずにファイルをスキップし、続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3247W** 保留中のフラグメントにより、プロセス *process ID* はボリューム *Volume name* 上の *Num Files* 個のファイルをスキップしました。

説明: 移動操作中のファイルのうち、いくつかのファイルは保留中のフラグメントを含んでいたためスキップされました。

重複排除が有効になっているストレージ・プールに保管されているラージ・ファイルは、パフォーマンス上の理由から、より小さい断片またはフラグメントに分割されます。フラグメントは、別のストレージ・プールにコピーまたは移動される際に、ファイルを構成するすべてのフラグメントがターゲット・ストレージ・プールに到着するまで、保留中のマークが付けられます。すべてのフラグメントの移動が正常に完了すると、フラグメントの保留中の状態が解除されます。

システムの処置: 操作はコピーを作成せずにファイルをスキップし、続行されます。

ユーザーの処置: BACKUP STGPOOL、MOVE DATA、MOVE NODEDATA、およびストレージ・プールのマイグレーションなどのサーバー・プロセスでは、フラグメントが保留中としてマークされることがあります。QUERY PROCESS コマンドを使用して、いずれかのプロセスが実行中であるかどうか確認してください。実行中である場合は、後で、フラグメントが保留中になっていないときに、操作を再試行してください。

**ANR3248W** すべてのセグメントをロックできなかったため、プロセス *process ID* はボリューム *Volume name* 上の *Num Files* 個のファイルをスキップしました。

説明: プロセスがファイルのすべてのセグメントのロックに失敗したため、ファイルはスキップされました。

システムの処置: 操作はコピーを作成せずにファイルをスキップし、続行されます。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

**ANR3249W** プロセス *ID process id* の *process desc* プロセスは、プロセス・モニターによって取り消されました。

説明: 入力ボリュームまたは出力ボリュームに対するマウント待機時間が、MOUNTWAITRESOURCELIMIT サーバー・オプションで設定されているマウント待機限度を超えたため、プロセスが取り消されました。マウント・ポイントに問題があるか、またはマウント待機限度の時間設定が短すぎます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: MOUNTWAITRESOURCELIMIT サーバー・オプションの設定を調べて、値を大きくしてください。値を大きくしても問題が継続する場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3250E** *Command:* ディレクトリー *directory* は、ストレージ・プール *storage pool* で定義されていません。

説明: 発行されたコマンドで、存在しないストレージ・プール・ディレクトリーが指定されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プール・ディレクトリーを指定して、コマンドを再発行してください。

MACRO コマンドを使用してストレージ・プール・ディレクトリーの定義および更新を行う場合、UPDATE STGPOOLDDIRECTORY コマンドを発行する前に、必ず DEFINE STGPOOLDDIRECTORY コマンドをコミットする必要があります。

---

**ANR3251E** *Command:* ストレージ・プール *stgpool name* は、コンテナ・ストレージ・プールではありません。

説明: 指定されたストレージ・プールは、このコマンドでは無効です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プールを指定して、コマンドを再発行してください。

STGPOOLDDIRECTORY コマンドでは、コンテナ・ストレージ・プールのみが使用可能です。

---

**ANR3252E** *Command:* ディレクトリー *directory* は、ストレージ・プール *storage pool* で既に定義されています。

説明: 発行されたコマンドで、既に存在しているストレージ・プール・ディレクトリーが指定されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な固有のストレージ・プール・ディレクトリーを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3253W** スケジュール *schedule name* によって開始されたクライアント操作が、クライアント *node name* で想定されている最大実行時間より長い時間実行されています。

説明: ユーザーによるスケジュールの定義または更新時に、スケジュールに関連付けられているクライアント操作の最大実行時間が設定されています。あるいは、

Operations Center で、ユーザーによってクライアント操作の終了時刻が設定されています。クライアント操作は、スケジュールどおりに開始されましたが、終了時刻を過ぎても実行されているか、または最大実行時間より長い時間実行されています。

システムの処置: サーバーはこの警告メッセージを発行しますが、クライアント操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3254I** ストレージ・プール・ディレクトリー *storage pool directory name* は、ストレージ・プール *stgpool name* で定義されました。

説明: DEFINE STGPOOLDDIRECTORY コマンドによって、示されているストレージ・プールで、示されているストレージ・プール・ディレクトリーが作成されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3255I** ストレージ・プール・ディレクトリー *storage pool directory name* が削除されました。

説明: DELETE STGPOOLDDIRECTORY コマンドによって、示されているストレージ・プール・ディレクトリーが削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3256I** ストレージ・プール・ディレクトリー *storage pool directory name* が更新されました。

説明: UPDATE STGPOOLDDIRECTORY コマンドによって、示されているストレージ・プール・ディレクトリーが更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3257W** *command:* ファイル・スペース **ID** *fsId* は、ノード *node name* に対して定義されていません。

説明: REPLICATE NODE コマンドで指定されたファイル・スペース **ID** は、示されているノードに対して定義されていません。

システムの処置: 複製操作は、指定されている他の有効なファイル・スペース **ID** に対して続行されます。

ユーザーの処置: QUERY FILESPACE コマンドを使用して、REPLICATE NODE コマンドで指定したファイル・スペース ID のリストを確認してください。

---

**ANR3258E** Command: 装置クラス *device class name* の装置タイプは **SERVER** であり、ソース・サーバー名がターゲットと同じです。

説明: 指定された装置クラスは、装置タイプが **SERVER** であり、ソース・サーバー名とターゲット・サーバー名が同じです。IBM Spectrum Protect サーバーのデータベース・バックアップは、バックアップの実行に使用したのと同じ IBM Spectrum Protect サーバー上にある仮想ボリュームからリストアすることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップを行っている IBM Spectrum Protect サーバー上に仮想ボリュームがないこと、およびソース・サーバーとターゲット・サーバーの名前が固有であることを確認してください。

---

**ANR3259W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - 信頼されないシステムからの  
**\$\$\_TSMDBMGR\_\$\$** ノードは許可されません。

説明: IBM Spectrum Protect データベースのバックアップあるいはリストアでは、信頼されるシステムからのノード **\$\$\_TSMDBMGR\_\$\$** のみが許可されるため、サーバーは、指定されたクライアント・セッションを拒否します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect データベースのバックアップあるいはリストアでは、信頼されるシステムからの **\$\$\_TSMDBMGR\_\$\$** ノードを使用してください。

---

**ANR3260E** データベースのバックアップは、バックアップ中に発生したページ検証の失敗 -  
**DB2 sqlcode sqlcode sqlerrmc sqlerrmc** が原因で終了しました。これは、データベースのリストアや、その他の修復処置が必要な、データベースの破損を示している場合があります。

説明: DB2 によってページ検証エラーが検出され、エラーによってデータベース・バックアップが失敗します。

システムの処置: フル・データベース・バックアップがアーカイブ・ログ・ディレクトリー内のスペースの開放

を進行中だった場合、以下のいずれかのアクションを実行してください。

- アーカイブ・ログ・ディレクトリーのスペースの量を増やします。
- ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションを使用して、フェイルオーバー・アーカイブ・ログ・ディレクトリーを指定します。ここには、アーカイブ・ログ・ディレクトリー内に保存できないログ・ファイルをサーバーによって保存することができます。

データベース破壊の診断および修復に関して支援が必要な場合は IBM ソフトウェア・サポート に連絡してください。

---

**ANR3261W** 完全または増分の自動データベース・バックアップが開始されます。使用された活動ログ・スペースは *log space used is* メガバイトで、使用可能な活動ログ・スペースは *log space available* メガバイトです。比率 *active log used ratio* がしきい値 *log utilization threshold* を超えています。

説明: 使用された活動ログ・スペースがログの使用率しきい値を超える場合、データベース・バックアップが開始されます。フル・データベース・バックアップが少なくとも 1 回行われている場合、バックアップはデータベースの増分バックアップです。そうでない場合は、フル・データベース・バックアップが開始されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3262W** 完全データベース・バックアップが必要である可能性があります。使用された最後のログ番号は *last log used* で、使用された最初のログ番号は *first log used* です。ログ・ファイル・サイズは *log file size* メガバイトです。最大ログ・ファイル・サイズは *maximum log file size* メガバイトです。

説明: 最後のデータベース・バックアップ以降に使用されたログ・スペースが最大ログ・ファイル・サイズを超える場合、フルデータベース・バックアップが必要になるか、最大ログ・ファイル・サイズを増やす必要があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3263E** *Command:* **CLOUD** ストレージ・タイプは、**POOLTYPE** が **PRIMARY** である場合にのみ使用可能です。

説明: ストレージ・タイプ **CLOUD** を使用して、**POOLTYPE** を定義しようとしています。**POOLTYPE** が **PRIMARY** 以外のストレージ・プールは、**DEVCLASS** ストレージ・タイプのストレージ・プールにのみ割り当てることができます。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 順次装置クラスを指定してコマンドを再発行するか、**POOLTYPE** を省略してください。

**ANR3264W** フル・データベース・バックアップが必要です。使用された活動ログ・スペースは *log space used is* メガバイトで、使用可能な活動ログ・スペースは *log space available* メガバイトです。比率 *active log used ratio* がしきい値 *log utilization threshold* を超えています。

説明: 使用された活動ログ・スペースがログの使用率しきい値を超える場合、データベース・バックアップが必要です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3265W** フル・データベース・バックアップが開始されます。使用済みアーカイブ・ログ・スペースは *archive log %* で、使用済みアーカイブ・ログ・スペースのしきい値は *arch log threshold %* です。

説明: 使用済みアーカイブ・ログ・スペースがしきい値を超えると、フル・データベース・バックアップが開始されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3266E** ターゲット複製サーバー *target server* へのノード *node name* の複製に失敗しました。必要なポリシー・ドメインがターゲット・サーバー上で定義されていないことが原因です。

説明: ノードを複製する予定だが、ノードがターゲット・サーバー上に存在していない場合は、適切なポリシー・ドメインがターゲット・サーバー上のノードに対して定義されていることを確認する必要があります。

システムの処置: ノードに属しているデータは複製され

ませんでしたが、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ノードを複製するには、以下のいずれかのアクションを実行します。

- ソース・サーバー上のノードに使用されているポリシー・ドメインをターゲット・サーバーに定義します。
- ターゲット・サーバー上で **STANDARD** ポリシー・ドメインを定義します。

その後、ノード複製プロセスを再度開始します。

**ANR3267E** このオペレーティング・システムでは、ストレージ・プール *stgpool name* をコンテナ・ストレージ・プールとして定義することができません。

説明: このオペレーティング・システムでこのコマンドを処理することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** と互換性があるオペレーティング・システムを使用して、コマンドを発行してください。**IBM Spectrum Protect** でサポートされているオペレーティング・システムについては、技術情報 1243309「Overview - IBM Spectrum Protect Supported Operating Systems」(<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21243309>)を参照してください。

**ANR3268W** ストレージ・プール・ディレクトリー *storage pool directory name* へのアクセスは失敗しました。

説明: サーバーは、指定されたストレージ・プール・ディレクトリーにアクセスできませんでした。ファイル・システムが使用不可であるか、ストレージ・プール・ディレクトリーへのアクセス権によってアクセスが防止されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 基礎となるファイル・システムが適切にマウントされており、使用可能であることを確認してください。サーバーに、ストレージ・プール・ディレクトリーへのフルアクセス権があることを確認してください。

**ANR3269E** *Command:* マスター暗号鍵を使用できないため、プール *pool name* のストレージ・プール・アクセス・モードを **UNAVAILABLE** から変更できません。

説明: プールが暗号化されているか、暗号化されたデータを収容しており、サーバーのマスター暗号鍵を使用で

きないため、ストレージ・プール・アクセス・モードを変更できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 活動記録ログで、サーバーのマスター暗号鍵またはサーバーのパスワード・ファイルに関連するエラーがないか確認してください。サーバー・パスワード・ファイルからマスター暗号鍵を読み取ることができない原因となっている問題をすべて訂正します。必要に応じて、サーバー・パスワード・ファイル `dsmserv.pwd` を名前変更して、以前のバージョンのパスワード・ファイルをバックアップからリカバリーしてください。サーバーを再始動します。UPDATE STGPOOL コマンドを再発行して、ストレージ・プールの「アクセス」設定を変更します。

---

**ANR3270E** *Command:* サポートされないオプション - *option*

説明: 示されているコマンドで、サポートされなくなったクライアント・オプションがクライアント・オプション・セットに指定されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なクライアント・オプションを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3271W** *Command:* 推奨されないオプション - *option*

説明: 示されているコマンドで、推奨されないクライアント・オプションがクライアント・オプション・セットに指定されています。指定されたオプションは処理されますが、将来、このオプションは廃止されます。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理します。

ユーザーの処置: 将来、クライアント・オプション・セットからこのクライアント・オプションを削除する準備をしておいてください。

---

**ANR3272E** サーバー *server name* は、**fasp** を転送方式として使用する複製をサポートしていません。

説明: REPLICATE コマンドに応答して、サーバーが複製ターゲットへの接続を確立しようとした。しかし、ターゲット・サーバーは、**fasp** を転送方式としてサポートしていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。複製は失敗します。

ユーザーの処置: 複製ターゲットの保守レベルが正しく、ターゲット・サーバーのグローバル固有 ID (GUID) が適切に設定されていることを確認してください。

い。GUID が適切に設定されていない場合は、tivguid ユーティリティーを使用して設定してください。

---

**ANR3273I** LDAP 認証に **Active Directory** ドメイン LDAP DN を使用しています。

説明: Active Directory ドメインは、LDAP サーバー・ベースのコンテキストから決定されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3274I** LDAP レガシー・モードで実行中です。

説明: サーバーは LDAP レガシー・モードで実行中です。このモードはサーバーに固有の LDAP 管理者 ID および組織単位が必要です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3275I** LDAP 統合モードで実行中です。

説明: サーバーは LDAP 統合モードで実行中です。このモードでは既存の LDAP ユーザーを、LDAP サーバーを使用して管理されるサーバーに登録できます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3300W** *list file name* という **FILELIST** ファイルには有効なディレクトリーがありません。

説明: サーバーは、FILELIST ファイルに有効なディレクトリーがないことを検出しました。

システムの処置: RESTORE DB 操作は失敗します。

ユーザーの処置: FILELIST ファイルを更新して、少なくとも 1 つの有効なディレクトリーを含めてください。

---

**ANR3301E** データベース・バックアップ処理がアクティブであるため、**EXTEND DBSPACE** は失敗しました。

説明: データベース・バックアップと EXTEND DBSPACE 処理は競合するため、同時にアクティブにすることはできません。

システムの処置: EXTEND DBSPACE 操作は失敗して終了します。

ユーザーの処置: データベース・バックアップの完了後に EXTEND DBSPACE を再実行してください。



**ANR3302E** **EXTEND DBSPACE** 処理がアクティブであるため、データベース・バックアップは失敗しました。

説明: データベース・バックアップと **EXTEND DBSPACE** 処理は競合するため、同時にアクティブにすることはできません。

システムの処置: データベース・バックアップ操作は失敗して終了します。

ユーザーの処置: **EXTEND DBSPACE** 処理の完了後にデータベース・バックアップを再実行してください。

**ANR3337I** オプション *option value* がサーバー・オプション・ファイルに追加されました。

説明: 指定されたオプションと値は、TLS レベル 1.2 以上で通信を保護するために必要なオプションの一部としてサーバー・オプション・ファイルに書き込まれました。サーバーの鍵データベースが作成された場合に、この一連のオプションはサーバー・オプション・ファイルに書き込まれます。これらのオプションは起動プロセスの一環としてすぐに有効になります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーの起動後にサーバーに接続し、SSL/TLS 通信を使用するすべてのクライアントは、TLS 1.2 を使用するように構成する必要があります。サーバーの自己署名証明書を使用するクライアントは、サーバーがエクスポートした証明書ファイル *cert256.arm* をクライアントの鍵データベースに追加する必要があります。TLS 1.2 が SSL 通信に適していない場合、サーバー・オプション・ファイルの以下のオプションを変更する必要があります: **SSLTLS12** (存在する場合)、**SSLDISABLELEGACYTLS**、および **SSLHIDELEGACYTLS** を **NO** に変更してください。自己署名証明書を使用する場合、サーバーの鍵データベースのデフォルト・ラベルも「TSM Server SelfSigned Key」に変更する必要があります。

**ANR3338E** **TLS 1.2** 以降ではなく **SSL Level** レベルの **TLS** が使用されたため、アドレス *hladdress* にあるノードまたはシステムとのセッションが失敗しました。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントのオプション **SSLDISABLELEGACYTLS** が **yes** に設定されている場合、サーバーは 1.2 以降のレベルの **TLS** を要求します。1.2 より低いレベルの **TLS** を使用すると、セッションは失敗します。

システムの処置: セッションは失敗します。サーバーまたはストレージ・エージェントの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージを出してセッションをリジェクトしているサーバーまたはストレージ・エージェントに接続しているすべてのクライアントを、**TLS 1.2** を使用するように再構成してください。

**ANR3339I** 鍵データベースのデフォルト・ラベルは *Label* です。

説明: 鍵データベース内のデフォルト **SSL** ラベルが表示されます。

システムの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントの操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3340W** **CLEANUP REPLGROUPS** コマンドが失敗したか、一部のレコードがスキップされました。コマンドを再実行して、孤立レコードをクリーンアップしてください。

説明: **CLEANUP REPLGROUPS** プロセスは、孤立レコードを削除せずにスキップしている可能性があります。このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

1. ノードが現在複製中である。
2. **CLEANUP REPLGROUPS** プロセスが取り消された。
3. 想定外の内部エラーが発生した (エラーは活動記録ログに表示されることがあります)。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: エラーについて、活動記録ログを調べてください。エラーを訂正して、コマンドを再発行してください。

**ANR3341I** ノード *name* を廃止するためのプロセス *process ID* が開始されました。

説明: **DECOMMISSION NODE** コマンドを実行すると、ノードを廃止してノードのバックアップ・ファイルを非活動化するためにノードを準備するプロセスが開始されます。

システムの処置: 廃止プロセスは取り消すことができません。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、**QUERY PROCESS** コマンド *query process process\_number* を使用して、プロセスを照会することができます。また、**CANCEL PROCESS** コマンド *cancel process process\_number* を使用して、プロセスを取り消すことができます。

**ANR3342I** ノードを廃止するプロセスが取り消されました。

説明: ノードを廃止するプロセスを終了するために、CANCEL PROCESS コマンドが発行されました。このプロセスは間もなく終了します。

システムの処置: 廃止プロセスは終了しますが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3344E** *Command:* ノード *name* を非活動化しているときにエラーが発生しました。

説明: 指定されたノードのバックアップ・ファイルを非活動化しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: DEACTIVATE DATA command は終了しますが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3345I** ノード *name* のデータを非活動化するためのプロセス *process ID* が開始されました。

説明: DEACTIVATE DATA コマンドを実行すると、ノードの活動バックアップ・ファイルを非活動化するためのノードの準備が開始されます。

システムの処置: 非活動化プロセスは取り消すことができます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、QUERY PROCESS コマンド `query process process_number` を使用して、プロセスを照会することができます。また、CANCEL PROCESS コマンド `cancel process process_number` を使用して、プロセスを取り消すことができます。

**ANR3346I** ノードのバックアップ・ファイルを非活動化するプロセスが取り消されました。

説明: 取り消しは進行中です。このプロセスは間もなく終了します。

システムの処置: バックアップ・ファイルを非活動化するプロセスは終了中ですが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3348E** *Command:* ノード *name* のデータの非活動化プロセスが失敗しました。

説明: 指定されたノードのバックアップ・ファイルを非活動化しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: DEACTIVATE DATA command は終了しますが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3349W** *Command:* このコマンドは、データを非活動化します。非活動化の日付以前に指定されたノードに対して作成された活動バックアップ・ファイルが非活動化されます。

説明: DEACTIVATE DATA コマンドは、指定されたノードのバックアップ・ファイルを非活動化します。

システムの処置: 続行するか、コマンドをキャンセルするかのプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合は「Y」、終了する場合は「N」を入力します。

**ANR3350W** ローカルに定義されたドメイン *domain name* は少なくとも 1 つのノードをもっていて構成マネージャーからの定義によって置き換えることはできません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示されたローカルに定義されたドメインを構成マネージャーからの定義によって置き換えることができませんでした。ドメインにまだ 1 つ以上の割り当てノードが含まれているので、ドメイン定義は置き換えられませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、このドメインは置き換えられません。システムは、後からの構成最新表示操作でローカル・ドメインの置き換えを試みることになります。

ユーザーの処置: 既存のノードを構成マネージャーからのドメインに割り当てたい場合には、そのノードを一時的に別のドメインに割り当てることができます。ドメイン定義が正常に構成マネージャーから伝搬された後で、ノードを新しいドメインに割り当て直してください。そうではなく、構成最新表示処理の時にそれ以上のローカル・ドメイン定義の置き換えの試みを防止したい場合には、ドメイン *domain name* が関連したプロファイルに対する加入を削除してください。

**ANR3351W** 管理下のドメイン *domain name* は少なくとも 1 つのノードを含んでおり、構成最新表示処理の時に削除できません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示されたドメインが構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないので、enterprise 構成機能がそれを削除しようとしていました。そのドメインは、まだ 1 つ以上のノードを含んでいるので管理下のサーバーで削除することはできません。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、このドメインは削除されません。システムは、後からの構成最新表示操作でこのドメインの削除を試みるようになります。

ユーザーの処置: このドメインのノードを別のドメインに割り当ててください。さもなければ、ドメイン *domain name* が関連したプロファイルに対する加入を削除することができます。

---

**ANR3352I** ローカルに定義されたドメイン *domain name* は、構成最新表示処理の時に置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、ローカル・ドメイン定義が構成マネージャーからの定義によって置き換えられました。システムは、ローカルに定義されたドメインに属するポリシー・セット、管理クラス、コピー・グループ、およびクライアント・スケジュールもすべて削除し、構成マネージャーからの定義を追加しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3353I** 管理下のドメイン *domain name* は、構成最新表示処理の時に削除されました。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理下のドメインが管理下のサーバーから除去されました。これは、ドメインが構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないために、起こりました。システムは、管理下のドメインに属するポリシー・セット、管理クラス、コピー・グループ、およびクライアント・スケジュールもすべて削除しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3354W** ローカルに定義された管理スケジュール *schedule name* は、活動状態であり、構成マネージャーからの定義で置き換えることができません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示されたローカルに定義された管理スケジュールを構成マネージャーからの定義によって置き換えられることができませんでした。スケジュール定義は、活動状態であったので、置き換えられませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、この管理スケジュールは置き換えられません。システムは、後からの構成最新表示操作でローカル管理スケジュールの置き換えを試みるようになります。

ユーザーの処置: この管理スケジュールを構成マネージャーからのスケジュール定義によって置き換えたい場合には、スケジュール更新コマンドを使用してローカル・スケジュールを非活動化してください。管理スケジュール定義が正常に構成マネージャーから伝搬された後で、新しいスケジュールを活動化することができます。さもなければ、構成最新表示処理の時にそれ以上のローカル・スケジュール定義の置き換えの試みを防止したい場合には、スケジュールが関連したプロファイルに対する加入を削除してください。

---

**ANR3355W** 管理下の管理スケジュール *schedule name* は、活動状態であり、構成最新表示処理の時に削除できません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理スケジュールが構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないので、**enterprise** 構成機能がそれを除去しようとした。スケジュールが活動状態であったので、管理下のサーバーでスケジュール削除できませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、このスケジュールは削除されません。システムは、後からの構成最新表示操作で管理スケジュールの削除を試みるようになります。

ユーザーの処置: この管理スケジュールを構成マネージャーで行われた変更に従って削除したい場合には、スケジュール更新コマンドを使用して管理下のスケジュールを非活動化してください。そうではなく、構成最新表示処理の時にそれ以上の管理下のスケジュール定義の削除の試みを防止したい場合には、スケジュール名が関連したプロファイルに対する加入を削除してください。

---

**ANR3356I** 構成最新表示処理の時に、ローカルに定義された管理スケジュール *schedule name* が置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、ローカル管理スケジュール定義が構成マネージャーからの定義によって置き換えられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3357I** 管理下の管理スケジュール *schedule name* は、構成最新表示処理の時に削除されました。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理下の管理スケジュールが管理下のサーバーから除去されました。これは、スケジュールが構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションが

もう存在しないために、起こりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3358W** ローカルに定義された管理者 *administrator name* は、唯一のシステム管理者であり、構成マネージャーからの定義で置き換えることはできません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示されたローカルに定義された管理者を構成マネージャーからの定義によって置き換えられることができませんでした。この管理者定義は、唯一のシステム管理者であり、構成マネージャーからの定義にシステム権限が組み込まれていないために、置き換えられませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、この管理者定義は置き換えられません。システムは、後からの構成最新表示操作でローカル管理者定義の置き換えを試みるようになります。

ユーザーの処置: この管理者定義を構成マネージャーからの定義によって置き換えたい場合には、別の管理者にシステム権限を付与することができます。そうではなく、構成最新表示処理の時にそれ以上のローカル管理者定義の置き換えの試みを防止したい場合には、管理者 *administrator name* が関連したプロファイルに対する加入を削除してください。

**ANR3359W** 管理下のシステム管理者 *administrator name* は、唯一のシステム管理者であり、構成最新表示処理の時に削除できません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理者が構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないので、**enterprise** 構成機能がそれを除去しようとしていました。その管理者は、唯一のシステム管理者であるので、管理下のサーバーで削除できませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、この管理者は削除されません。システムは、後からの構成最新表示操作の時に管理者の削除を試みるようになります。

ユーザーの処置: 別の管理者にシステム権限を付与してください。あるいは、管理者 *administrator name* が関連したプロファイルに対する加入を削除することができます。

**ANR3360W** 管理下のシステム管理者 *administrator name* は、唯一のシステム管理者です - 構成最新表示処理の時に権限を取り消すことはできません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理者の権限が構成マネージャーで取り消されていたので、**enterprise** 構成機能がその権限を取り消そうとしました。その管理者は唯一のシステム管理者であるので、管理下のサーバーでその権限を取り消すことができませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、この管理者の権限は取り消されません。システムは、後からの構成最新表示操作の時に管理者の取り消しを試みるようになります。

ユーザーの処置: 別の管理者にシステム権限を付与してください。あるいは、管理者 *administrator name* が関連したプロファイルに対する加入を削除することができます。

**ANR3361I** ローカルに定義された管理者 *administrator name* は、構成最新表示処理の時に置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、ローカル管理者定義が構成マネージャーからの定義によって置き換えられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3362I** 管理下の管理者 *administrator name* は、構成最新表示処理の時に削除されました。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理下の管理者が管理下のサーバーから除去されました。これは、管理者が構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないために、起こりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3363W** 管理下の管理者 *administrator name* は、現在サーバーにアクセス中であり、構成最新表示処理の時に削除できません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理者が構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないので、**enterprise** 構成機能がそれを除去しようとしていました。その管理者は、現在サーバーとの活動セッションをもつ

ているので、管理下のサーバーで削除できませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、この管理者は削除されません。 システムは、後からの構成最新表示操作の時に管理者の削除を試みることになります。

ユーザーの処置: 示された管理者のすべてのセッションを終了するか、あるいは取り消してください。あるいは、管理者 *administrator name* が関連したプロファイルに対する加入を削除することができます。

**ANR3364W** 管理者 *administrator name* が除去されました。 この管理者には、定義または更新された管理スケジュールがありますが、このスケジュールは実行時に失敗します。

説明: このメッセージは、構成最新表示処理の時、あるいは DISCARDOBJECTS=YES オプションが指定された DELETE SUBSCRIPTION コマンドの結果として出されます。 示された管理下の管理者はサーバーから除去されましたが、この管理者は 1 つ以上の管理スケジュールを所有しています。 このスケジュールは、有効な管理者に属していないので、将来実行する時に失敗します。

システムの処置: 示された管理者は除去されました。

ユーザーの処置: QUERY SCHEDULE コマンドを使用するか、あるいは ADMIN\_SCHEDULES 表に対して SQL SELECT ステートメントを使用して、管理者によって最後に更新されたスケジュールを判別してください。 UPDATE SCHEDULE コマンドを使用して、スケジュールの実行権限をもつ管理者の下でのスケジュールを更新するか、あるいは DELETE SCHEDULE コマンドを使用してスケジュールを除去してください。

**ANR3365I** ローカルに定義されたコマンド・スクリプト *command script name* は、構成最新表示処理の時に置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、ローカル・コマンド・スクリプト定義が構成マネージャーからの定義によって置き換えられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3366I** 管理下のコマンド・スクリプト *command script name* は、構成最新表示処理の時に削除されました。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理下のコマンド・スクリプトが管理下のサーバーから除去されました。

これは、スクリプトが構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないために、起こりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3367I** ローカルに定義されたオプション・セット *option set name* は、構成最新表示処理の時に置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、ローカル・オプション・セット定義が構成マネージャーからの定義によって置き換えられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3368I** 管理下のオプション・セット *option set name* は、構成最新表示処理の時に削除されました。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理下のオプション・セットが管理下のサーバーから除去されました。 これは、オプション・セットが構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないために、起こりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3369I** ローカルに定義されたサーバー・グループ *group name* は、構成最新表示処理の時に置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、ローカル・サーバー・グループ定義が構成マネージャーからの定義によって置き換えられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3370I** 管理下のサーバー・グループ *group name* は、構成最新表示処理の時に削除されました。

説明: 構成最新表示処理の時に、示された管理下のサーバー・グループが管理下のサーバーから除去されました。 これは、サーバー・グループが構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないために、起こりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3371W** 同じ名前のサーバーが既に存在しているので、構成最新表示処理の時に、サーバー・グループ *group name* を定義できません。

説明: 構成最新表示処理の時に、エンタープライズ構成機能が管理下のサーバーで示されたサーバー・グループを定義しようとした。 同じ名前のサーバー定義が既に管理下のサーバーに存在しているので、このサーバー・グループを定義できませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、このサーバー・グループは定義されません。 システムは、後からの構成最新表示操作でサーバー・グループの定義を試みることになります。

ユーザーの処置: 示されたサーバー・グループが関連するプロファイルに対する加入を削除するか、管理下のサーバーで矛盾するサーバー定義を削除することができます。 さもなければ、サーバー・グループのプロファイル・アソシエーションを最初に削除してから、構成マネージャーでそのサーバー・グループを名前変更することができます。

---

**ANR3372I** ローカルに定義されたサーバー *server name* は、構成最新表示処理の時に置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、ローカル・サーバー定義が構成マネージャーからの定義によって置き換えられました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3373I** サーバー *server name* は、構成最新表示処理の時に削除されました。

説明: 構成最新表示処理の時に、管理下のオブジェクト *server name* の定義が管理下のサーバーから除去されました。 これは、*server name* が構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないために、起こりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3374I** サーバー・グループ *group name* は、構成最新表示処理の時にサーバー *server name* によって置き換えられました。

説明: 構成最新表示処理の時に、サーバー・グループ定義が構成マネージャーからのサーバー定義によって置き換えられました。 このサーバーは、削除されたサーバ

ー・グループと同じ名前をもっています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3375W** サーバー *server name* は現在使用中であり、構成最新表示処理の時に削除できません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示されたサーバー定義が構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないので、enterprise 構成機能がそれを除去しようとした。 *server name* が使用中であるので、示されたサーバーは管理下のサーバーで削除できませんでした。 これは、管理下のサーバーに *server name* との活動接続があった場合、あるいは管理下のサーバーが *server name* を参照する DEVTYPE=SERVER の装置クラスがあった場合に起こることがあります。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、このサーバー定義は削除されません。 システムは、後からの構成最新表示操作でサーバーの削除を試みることになります。

ユーザーの処置: *server name* を削除するには、管理下のサーバーがそのサーバーに接続してはならず、そのサーバーに対する装置クラス参照をもっていないはなりません。

---

**ANR3376W** サーバー *server name* はイベント・サーバーであり、構成最新表示処理の時に削除できません。

説明: 構成最新表示処理の時に、示されたサーバー定義が構成マネージャーから削除されていたか、あるいはプロファイル・アソシエーションがもう存在しないので、enterprise 構成機能がそれを除去しようとした。 示されたサーバーは、管理下のサーバーのイベント・サーバーであるので、管理下のサーバーで削除できませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、このサーバー定義は削除されません。 システムは、後からの構成最新表示操作でサーバーの削除を試みることになります。

ユーザーの処置: *server name* を削除するには、DELETE EVENTSERVER コマンドを使用して、*server name* に対するイベント・サーバー参照を除去しなければなりません。

---

**ANR3377W** ローカル・サーバー *server name* を構成マネージャーからの定義で置き換えることは許されていません。

説明: 構成最新表示処理の時に、enterprise 構成機能が示されたサーバー定義を構成マネージャーからの定義で置き換えようとしていました。示されたサーバーには ALLOWREPLACE=NO が指定されているので、この操作を実行できませんでした。

システムの処置: 最新表示処理は続行されますが、このサーバー定義は置き換えられません。システムは、後からの構成最新表示操作でサーバー定義の置き換えを試みることになります。

ユーザーの処置: *server name* のローカル・サーバー定義を構成マネージャーからの定義で置き換えるには、UPDATE SERVER コマンドを使用して ALLOWREPLACE 属性を ON に設定してください。

---

**ANR3378I** 構成最新表示の処理中に管理者 *administrator name* が追加されました。

説明: 構成最新表示の処理中に、示された管理者定義が構成マネージャーからの情報に基づいて作成されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3379E** Command: プール *pool name* にアクセスできません - アクセス・モードは「読み取り専用」に設定されています。

説明: 示されているコマンドによって、その名前が表示されているプールが指定されていますが、その状況が読み取り専用であるために、このプールにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: プールのアクセス状態をリセットするか、別のプールを選択してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3380E** Command: プール *pool name* にアクセスできません - アクセス・モードは「選択不可能」に設定されています。

説明: 示されているコマンドによって、その名前が表示されているプールが指定されていますが、その状況が選択不可能であるために、このプールにアクセスすることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: プールのアクセス状態をリセットする

か、別のプールを選択してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3381W** このコマンドは、管理者 *user ID* を削除します。この管理者は、アラート・トリガーに定義されているか、またはアラートに割り当てられています。このコマンドは、これらのアラート・トリガーおよびアラートから管理者を削除します。

説明: 示されている管理者に対して REMOVE ADMINISTRATOR コマンドが発行されました。コマンドの実行を確認すると、管理者はアラート・トリガーおよびアラートから削除されます。

システムの処置: システムは、ユーザーの応答に応じて、コマンドを実行するかまたは取り消します。

ユーザーの処置: REMOVE ADMINISTRATOR コマンドを実行する場合は「Y」と入力してください。コマンドを取り消す場合は「N」と入力してください。管理者が定義されているアラート・トリガーを検索する場合は、TSM\_MON\_ALERTTRIG 表に対して QUERY ALERTTRIGGER コマンドまたは SQL SELECT ステートメントを使用してください。管理者に割り当てられているアラートを検索する場合は、TSM\_MON\_ALERT 表に対して QUERY ALERTSTATUS コマンドまたは SQL SELECT ステートメントを使用してください。アラート・トリガーを更新して、アラートに関する E メールを受け取る管理者のリスト変更する場合は、UPDATE ALERTTRIGGER コマンドを使用してください。別の管理者にアラートを割り当てる場合は、UPDATE ALERTSTATUS コマンドを使用してください。

---

**ANR3382W** このコマンドは管理者 *user ID* の名前を変更します。この管理者は、アラート・トリガーに定義されているか、またはアラートに割り当てられています。この管理者の名前を変更すると、アラート・トリガーおよびアラートの管理者の名前も変更されます。

説明: アラート・トリガーに定義されているか、またはアラートに割り当てられている管理者に対して RENAME ADMINISTRATOR コマンドが発行されました。このコマンドの実行を確認すると、これらのアラート・トリガーおよびアラートの管理者の名前が変更されます。

システムの処置: システムは、ユーザーの応答に応じて、コマンドを実行するかまたは取り消します。

ユーザーの処置: RENAME ADMINISTRATOR コマンドを実行する場合は「Y」と入力してください。コマ

ンドを取り消す場合は「N」と入力してください。管理者に割り当てられているアラートを確認する場合は、`QUERY ALERTSTATUS` コマンドを使用してください。管理者に割り当てられているアラートを管理する場合は、`UPDATE ALERTSTATUS` コマンドを使用してください。アラート・トリガーを確認する場合は、`QUERY ALERTTRIGGER` コマンドを使用してください。アラート・トリガーを更新する場合は、`UPDATE ALERTTRIGGER` コマンドを使用してください。

---

**ANR3383E** *command:* 管理者 *user ID* は、モニター管理者であるため、削除することも名前変更もすることもできません。

説明: 指定された管理者は、ハブとスポーク・サーバー間の通信に使用されているため、削除することも名前変更することもできません。

システムの処置: このコマンドは実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 管理者の削除または名前変更を行う場合は、以下の手順を実行してください。1. `SET ALERTMONITORINGADMIN` コマンドを発行して、ハブ・サーバーおよび対応するスポーク・サーバーのモニター管理者を変更します。2. 管理者の削除または名前変更を行います。

---

**ANR3384E** *command:* サーバー・グループ *group name* は、モニター対象サーバー・グループであり、削除することも名前変更することもできません。

説明: 指定されたサーバー・グループは、モニター対象サーバー・グループとして使用中であるため、削除することも名前変更することもできません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: `SET MONITOREDSEVERGROUP` コマンドを使用して、そのサーバー・グループをモニター対象サーバー・グループの設定から削除してください。その後、そのサーバー・グループを削除または名前変更することができます。

---

**ANR3385E** *command:* この操作は、コンテナ・ストレージ・プールでは許可されません。

説明: 指定されたストレージ・プールは、コンテナ・ストレージ・プールです。コンテナ・ストレージ・プールでは、次のコマンドを発行することはできません。

- `BACKUP STGPOOL`
- `RESTORE STGPOOL`

- `MIGRATE STGPOOL`
- `IDENTIFY DUPLICATES`
- `RECLAIM STGPOOL`
- `AUDIT VOLUME`
- `MOVE NODEDATA`
- `MOVE DATA`
- `RESTORE VOLUME`
- `PREPARE`

これらの機能を実行するには、1 次ランダム、1 次順次、コピー、または活動データ・ストレージ・プールを使用する必要があります。

システムの処置: コマンドは失敗し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールのコンテンツを保護するには、`PROTECT STGPOOL` コマンドを発行します。

---

**ANR3386E** ファイル・システム・オブジェクト *object name* を作成するための権限が不足しています。

説明: 権限が不足しているため、ファイルまたはディレクトリーの作成に失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: 作成するオブジェクトまでのディレクトリーに対する権限を確認します。サーバーの実行に使用しているユーザー ID に、このディレクトリー内でオブジェクトを作成するために必要な権限があることを確認します。操作を再試行してください。

---

**ANR3387W** *Command:* このコマンドは、アラート・トリガーを追加、更新、または削除します。

説明: サーバー上でアラート・トリガーを追加、更新、または削除するコマンドが発行されました。

システムの処置: 続行するか、コマンドをキャンセルするかのプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合は「Y」、終了する場合は「N」を入力します。

---

**ANR3388W** *Command:* このコマンドは、クライアント・ノードを廃止して、データを削除します。アクティブ・ファイルは非アクティブ化され、データは有効期限が切れると削除されます。

説明: ノードを廃止するコマンドが発行されました。



システムの処置: 続行するか、コマンドをキャンセルするかのプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合は「Y」、終了する場合は「N」を入力します。

---

**ANR3389E** *Command:* ノード *name* は、既に廃止されています。

説明: このノードは既に廃止されており、廃止状態が YES であるため、廃止することができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: QUERY NODE FORMAT=DETAIL コマンドを使用して、ノードの廃止状態およびノードが廃止された日付を確認することができます。廃止状態が YES ではないノードでコマンドを再発行することができます。

---

**ANR3390W** アラート・トリガー *message number* は有効ではなくなったために削除されます。

説明: アラート・トリガーは、存在しなくなったサーバー・メッセージと関連付けられているため、使用できません。

システムの処置: アラート・トリガーは、サーバーに自動的に削除されます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR3391E** *command:* この操作は、クラウド・ストレージ・プールでは許可されません。

説明: 指定されたストレージ・プールは、クラウド・ストレージ・タイプです。クラウド・ストレージ・プールでは、次のコマンドを発行することはできません。

- BACKUP STGPOOL
- RESTORE STGPOOL
- MIGRATE STGPOOL
- IDENTIFY DUPLICATES
- RECLAIM STGPOOL
- PREPARE

これらの機能を実行するには、1 次ランダム、1 次順次、コピー、または活動データ・ストレージ・プールを使用する必要があります。

システムの処置: コマンドは失敗し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: DEDUP 装置クラスを使用するストレージ・プールをバックアップするには、PROTECT STGPOOL コマンドを発行して、ストレージ・プールの内容を保護します。

---

**ANR3392W** *Command:* このコマンドは、指定された仮想マシンを廃止します。仮想マシンに属しているアクティブ・ファイルが非活動化され、仮想マシンのファイル・スペースは、そのすべてのファイルの有効期限が切れると自動的に削除されます。

説明: 実動環境から指定された仮想マシンを削除するためのコマンドが発行されました。

システムの処置: 続行するか、コマンドをキャンセルするかのプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合は「Y」、取り消す場合は「N」を入力します。

---

**ANR3393E** *Command:* ノード *name* 内の仮想マシン *virtual machine name* は、既に廃止されています。

説明: 指定された仮想マシンは、既に廃止状態が「Yes」であるため、廃止することができません。

システムの処置: 仮想マシンは廃止された状態のまま残り、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 仮想マシンが廃止された日付を表示するには、コマンド `query filespace format=detailed` を発行します。別の仮想マシンを廃止するには、その仮想マシンに対して `DECOMMISSION VM` コマンドを再発行します。

---

**ANR3394I** ノード *name* 上の仮想マシン *virtual machine name* を廃止するためのプロセス *process ID* が開始されました。

説明: `DECOMMISSION VM` コマンドを実行すると、廃止操作を実行するために仮想マシンを準備し、仮想マシンのバックアップ・ファイルの非活動化を行うプロセスが開始されます。

システムの処置: 廃止プロセスが進行中です。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、`QUERY PROCESS` コマンド `query process process_number` を使用して、プロセスを照会することができます。また、`CANCEL PROCESS` コマンド `cancel process process_number` を使用して、プロセスを取り消すことができます。

---

**ANR3395I** 仮想マシンを廃止するプロセスが取り消されました。

説明: 廃止操作を終了するために、`CANCEL PROCESS` コマンドが発行されました。この操作は間もなく終了します。

## ANR3397E • ANR3404I

システムの処置: 廃止操作は終了しますが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR3397E** *Command:* 仮想マシン *virtual machine name* を非活動化しているときにエラーが発生しました。

説明: 指定された仮想マシンのバックアップ・ファイルを非活動化しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: DECOMMISSION VM コマンドは停止しますが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、この問題を解決するには、dsmffdc.log ファイルおよび dsmserv.err ファイルを確認し、報告されているエラーをすべて修正してください。

---

**ANR3398E** *Command:* ファイル・スペース *FSID* が見つかりませんでした。

説明: ファイル・スペース ID が無効です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しませんが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。1. 仮想マシンのファイル・スペース ID を取得するには、次のコマンドを発行します: query filespace 2. 仮想マシンに対してコマンドを再発行します。

---

**ANR3399E** *Command:* 仮想マシン *virtual machine name* が見つかりませんでした。

説明: 仮想マシン名が無効であるため、コマンドは失敗しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しませんが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。1. 次のコマンドを発行します: select \* from filespaceview 2. 仮想マシンの名前を判別するには、出力を確認します。- ENTITYNAME フィールドがブランクではない場合、フィールド内の名前が仮想マシン名です。- ENTITYNAME フィールドがブランクの場合、FILESPACE\_NAME フィールドに進み、仮想マシンの名前を判別します。3. 仮想マシンに対してコマンドを再発行します。

---

**ANR3400I** *Command:* 出力ストリーム *stream* はボリューム *volume name* を使用しました。

説明: 指定した出力ストリームは、指定したボリュームを使用しました。

システムの処置: コマンドは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3401I** *Command:* 出力ストリーム *stream* は、どの出力ボリュームにも書き込みを行いませんでした。

説明: 指定した出力ストリームは、どの出力ボリュームにも書き込みを行いませんでした。

システムの処置: コマンドは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3402I** *Extractdb command:* プロセス *process number*、データベース抽出が完了しました。

説明: データベース抽出処理 *process number* が完了しました。

システムの処置: データベース抽出処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3403I** *Extractdb command:* *number of database objects* 個のデータベース・オブジェクトが検出されました。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中に見つかったデータベース・オブジェクトの合計数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3404I** *Extractdb command:* *number of database objects* 個のデータベース・オブジェクトが処理されました。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中に正常に処理されたデータベース・オブジェクトの合計数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3405I** *Extractdb command: number of database objects* 個の空のデータベース・オブジェクトをスキップしました。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中に、レコードが含まれていないためにスキップされたデータベース・オブジェクトの合計数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3406I** *Extractdb command: number of database objects* 個のデータベース・オブジェクトの処理に失敗しました。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中に正常に処理されなかったデータベース・オブジェクトの合計数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3407I** *Extractdb command: number of database records* 個のデータベース・レコードが処理されました。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中に正常に抽出されたデータベース・レコードの合計数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3408I** *Extractdb command: number of bytes* バイトを書き込みました。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中に正常に書き込まれた合計バイト数を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3409I** *Extractdb command: 経過時間は elapsed time* でした。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中に経過した合計時間を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---



---

**ANR3410I** *Extractdb command: スループットは megabytes per hour* メガバイト/時間でした。

説明: このメッセージは、データベース抽出処理中の合計スループット (メガバイト/時間) を示します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3411I** *Extractdb command: number of database records* 個のデータベース・エントリーを抽出して、*number of bytes* バイトを *elapsed time (megabytes per hour* メガバイト/時間) で書き込みました。

説明: このコマンドは示されている数のデータベース・レコードを読み取り、示されているバイト数を書き込みました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3412I** *Extractdb command: サーバー server name* でエラーが発生したために、出力ストリーム *stream number* を終了しています。

説明: サーバー間のアップグレード処理中にターゲット・サーバーでエラーが検出されたため、データベース情報をターゲット・サーバーに送信するために使用されている出力ストリームが終了しています。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: エラーの説明については、ターゲット・サーバーのメッセージを参照してください。エラーを訂正し、コマンドを再実行してください。

---

**ANR3413W** *Extractdb command: 予期しない表 table name* が検出されました。この表はスキップされます。

説明: データベース抽出プロセスで、予期しない表が検出されました。ほとんどの場合、予期しない表は以前のリリースで使用された表ですが、現行リリースではもはや使用されません。このような表は、データベース抽出プロセスでは安全に無視することができます。ただし、まれに、これによりプログラミング・エラーが示されることがあります。その場合に限り、サービス担当員に連絡し、表を無視しても、アップグレード・プロセスに支障がないかを確認してもかまいません。

システムの処置: データベース抽出処理を続行します。指定された表のデータは抽出されません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、指定され

た表を支障なく無視できるかどうかを確認してください。

---

**ANR3414E** *Extractdb command:* プロセス *process number*、データベース抽出がエラーで完了しました。

説明: データベース抽出処理 *process number* は完了しましたが、このプロセスでエラーが検出されました。

システムの処置: データベース抽出処理は終了します。

ユーザーの処置: この処理で発行されたすべてのメッセージを調べ、適切な対策を講じてください。

---

**ANR3415I** サーバーは保守モードです。

説明: サーバーは保守モードです。以下のサービスは使用不可になっています。

- クライアント・セッション
- スケジューラー
- インベントリーの自動有効期限切れ
- ボリュームの自動レクラメーション
- ストレージ・プールの自動マイグレーション

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、制限されたサービスは使用不可です。

ユーザーの処置: 保守モードを終了する場合は、HALT コマンドを使用してサーバーを停止した後、サーバーを再始動します。

---

**ANR3416I** サーバーは保守モードです。クライアント・セッションを使用可能にできません。

説明: サーバーは保守モードです。クライアント・セッションは使用不可になっており、通常操作が再開されるまでは再度使用可能にすることはできません。

システムの処置: クライアント・セッションは使用可能にされません。

ユーザーの処置: 保守モードを終了する場合は、HALT コマンドを使用してサーバーを停止した後、サーバーを再始動します。

---

**ANR3417W** データベース・バックアップ・ページの検証が使用不可です。

説明: DB2 データベースからバックアップされるページは検証されません。考えられる原因は、IBM ソフトウェア・サポート がこの変更を要求したか、有効にしたことです。

システムの処置: データベース・バックアップは続行しますが、無効または破損したデータベース・ページは検

出されない可能性があります。

ユーザーの処置: IBM ソフトウェア・サポート により、データベース・バックアップ・ページの検証の無効化が指示されている場合には、アクションは必要ありません。

IBM ソフトウェア・サポート により、データベース・バックアップ・ページの検証の無効化が指示されていない場合には、この機能が提供する追加の保護を受けるために、機能を再度有効にします。

---

**ANR3418W** 無効なストレージ・プール・ディレクトリが指定されました: *stgpooldir* エラー: *Error*

説明: DEFINE STGPOOLDIRECTORY コマンドで指定されたストレージ・プール・ディレクトリが存在しないか、権限が無効です。

システムの処置: コマンドは処理されますが、ストレージ・プール・ディレクトリは「UNAVAILABLE」としてマーク付けされます。

ユーザーの処置: ストレージ・プール・ディレクトリ内にデータを保管するには、ディレクトリが存在していること、および有効な権限があることを確認してください。その後、ストレージ・プール・ディレクトリのアクセス状態を「READWRITE」に更新します。

---

**ANR3419E** *parameter* コマンドの発行時に、ディレクトリー名 *directory name* が重複していました。

説明: コンテナ・ストレージ・プールの複数のディレクトリーを定義または更新する場合、コマンドでディレクトリー名を指定できるのは 1 回のみです。

システムの処置: コマンドは失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ディレクトリー名がコマンドで 1 度だけ指定されていることを確認してください。

---

**ANR3420E** *Command:* ノード *name* は、有効なアプリケーション・タイプ・ノードではありません。

説明: 有効なアプリケーション・タイプ・ノードではないノードを非活動化することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3421E** ストレージ・プール・ディレクトリー *stgpooldir* の無効なアクセス状態です。

説明: ストレージ・プール・ディレクトリーに対する操作を完了するには無効なアクセス状態が存在します。必要なアクセス状態は READWRITE です。

システムの処置: 操作は失敗し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: ディレクトリーに正しい書き込みアクセスが設定されていることを確認します。次に、ストレージ・プール・ディレクトリーに対して UPDATE STGPOOLDIRECTORY コマンドを発行して、ACCESS=READWRITE パラメーターを指定します。

---

**ANR3422W** ストレージ・プール・ディレクトリー *stgpooldir* の無効なアクセス状態です。

説明: ストレージ・プール・ディレクトリーのアクセス状態が無効です。この操作を完了するには、アクセス状態が READONLY または READWRITE でなければなりません。

システムの処置: 操作は失敗し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: ディレクトリーに少なくとも読み取りアクセスが設定されていることを確認します。次に、ストレージ・プール・ディレクトリーに対して UPDATE STGPOOLDIRECTORY コマンドを発行して、ACCESS=READWRITE パラメーターまたは ACCESS=READONLY パラメーターを指定します。

---

**ANR3423E** プロキシ・セッション *session number* は許可ユーザーにより開始されませんでした。

説明: プロキシ・セッションは、許可ユーザーとして実行する必要があります。許可ユーザーとは、クライアントが保管したパスワード (TSM.PWD ファイル) に対する読み取り権限および書き込み権限を持つ root 以外のユーザー、またはクライアント・パスワードを知っていて、そのパスワードを対話式に入力する root 以外のユーザーです。許可ユーザーは client passworddir オプションを使用して、TSM.PWD ファイルのコピーを保存するディレクトリーを定義できます。

システムの処置: セッションは打ち切られます。システムの処理は続行されます

ユーザーの処置: クライアント・セッションを許可ユーザーとして再構成するか、許可ユーザーとしてサーバーまたはストレージ・エージェントに接続します。

---

**ANR3424E** *Command:* ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールを指定する必要があります。ストレージ・プール *stgpool name* は、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールではありません。

説明: このコマンドは、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールに対してのみ有効です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドで、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールの名前を指定してください。

---

**ANR3425W** コンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリューム *volume name* のデータをリトリブできません。アクセス・モードが「READWRITE」または「READONLY」ではありません。

説明: REPAIR STGPOOL コマンドの処理中に、ボリュームのアクセス・モードが「READWRITE」または「READONLY」ではないために、コンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリュームのデータをリストアすることができません。

システムの処置: サーバーは、アクセスできるコンテナ・コピー・ストレージ・プールのコピーを使用して損傷エクステントを修復します。ただし、オフサイト・ボリュームにのみ存在する損傷エクステントはスキップします。

ユーザーの処置: ボリュームがオフサイト位置に保管されている場合には、そのボリュームをオンサイトにしてください。MOVE DRMEDIA コマンドを使用してボリュームのアクセス・モードを「READWRITE」または「READONLY」に変更して、REPAIR コマンドを再発行してください。

---

**ANR3426I** 修復処理にはコンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリューム *volume name* が必要です。

説明: REPAIR STGPOOL コマンドの処理中に、サーバーが取り外し可能ボリュームが必要であると判断しました。

システムの処置: これがプレビュー・プロセスでない場合には、サーバーは取り外し可能ボリュームをマウントしようとします。

ユーザーの処置: 示されているボリュームのマウント要求に応答してください。

---

**ANR3427E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* には、そのローカル・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに保護されるデータが含まれていません。

説明: 示されたコマンドは、LOCAL PROTECT によって保護されていないストレージ・プールを参照しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 指定されたストレージ・プールから、そのコンテナ・コピー・ストレージ・プールへのデータ保護の処理が済んだ後、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3485W** ハブ・サーバーがスポーク・サーバーより前のバージョンで稼働しています。

説明: ハブ・サーバーにインストールされる IBM Spectrum Protect サーバーのバージョンは、スポーク・サーバーにインストールされた IBM Spectrum Protect サーバーのバージョン以上でなければなりません。

システムの処置: ハブ・サーバーは、引き続きスポーク・サーバーからのアラートおよび状況情報を受信しますが、予期しない動作が発生する可能性があります。

ユーザーの処置: ハブ・サーバー上で稼働している IBM Spectrum Protect サーバーのバージョンをアップグレードしてください。少なくともスポーク・サーバーと同じバージョンでなければなりません。

---

**ANR3486I** **CANCEL SESSION ALL** コマンドの処理が予期したよりも早く終了しました。

説明: 取り消しできなかったセッションが発生したため、サーバーがすべてのセッションを取り消しできなかった可能性があります。コマンド完了後に一部のセッションがアクティブのまま残っていることがあります。

システムの処置: サーバー操作は完了します。

ユーザーの処置: 特定の CLIENT セッションを取り消すには、*session\_number* を CANCEL SESSION コマンドと一緒に指定します。SERVER セッションがアクティブな場合、そのセッションを終了させるためにパートナー・サーバーを静止する必要があります。SERVER セッションは、Storage Agent、Library Client、Library Server または Virtual Volume サーバーでアクティブな場合があります。新規セッションの開始を防止する場合は、DISABLE SESSIONS コマンドを参照してください。

---

**ANR3487E** *Command:* 管理者の数が許可された最大数を超えています。

説明: アラート要約を E メールで受信できる管理者の数は、3 人に制限されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 登録済みの管理者名を最大 3 つ指定して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3488W** *Command:* 管理者 *administrator name* に E メール・アドレスがありません。

説明: 管理者に E メール・アドレスが定義されていません。有効な E メール・アドレスが定義されるまで、指定された管理者はサーバーから E メールを受信できません。

システムの処置: コマンドの処理は続行します。

ユーザーの処置: UPDATE ADMIN コマンドを発行して E メール・アドレスを定義し、コマンドを再発行します。

---

**ANR3489I** *Command* が正常に完了しました。

説明: 指定された SET コマンドが正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3490E** *Command* が失敗して完了しました。

説明: 指定された SET コマンドは正常に完了しませんでした。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 値が有効であることを確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3491E** 差出人の E メール・アドレスが見つかりません - アラート *message num* の E メールを送信できません。

説明: 差出人の E メール・アドレスが見つからなかったため、サーバーは指定されたアラートの E メールを管理者に送信できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY MONITORSETTINGS コマンドを使用して、現在の差出人の E メール・アドレスを表示します。SET ALERTEMAILFROMADDR コマ

ンドを使用して、有効な差出人 E メール・アドレスを指定します。

---

**ANR3492W** *Command:* 管理者 *administrator name* は、E メールでアラートを受信するように構成されていません。

説明: 指定された管理者名は、E メールでアラートを受信するようにセットアップされていません。管理者が E メールでアラートを受信するように構成されるまで、アラートを管理者に送信することはできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY ADMIN FORMAT=DETAIL を使用して、管理者の現行設定を表示します。管理者に ALERT=YES が設定されていて、有効な E メール・アドレスが設定されていることを確認します。UPDATE ADMIN コマンドを使用して設定を更新します。

---

**ANR3493E** *SMTP server name* **SMTP** ホスト・サーバーと **SMTP** ポート *port number* を使用して、E メール・アドレス *email address* を持つ管理者にアラート *msg number* の E メールを送信中にエラーが発生しました。

説明: 指定された E メール・アドレスを持つ管理者に、アラートに関する E メールが正常に送信されませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY MONITORSETTING コマンドを使用して、アラートの E メール送信に関する現行設定を表示します。管理者の E メール・アドレスと SMTP ホスト・サーバー名が正しいことを確認します。SMTP ポートが正しいことを確認します。誤った設定があれば修正します。次回トリガーされるアラートから新しい構成設定が使用されます。サーバーの *ffdc* ログを確認して、エラーに関する追加情報を調べることもできます。

---

**ANR3494E** *Command:* アラート・トリガーに対する管理者は追加および削除されませんでした。

説明: 示されているコマンドが出されましたが、アラート・トリガーに対する管理者は追加および削除されませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 管理者を追加する場合には、サーバーに登録されている管理者名を指定するコマンドを再発行します。管理者を削除する場合には、アラート・トリガ

ーに定義されている管理者名のいずれかを指定するコマンドを再発行します。

---

**ANR3495I** *Command:* 管理者 *admin name* は、*alert trigger* に対して定義されていません。

説明: この管理者名は、指定したアラート・トリガーに対して定義されていないため、削除することはできません。

システムの処置: 管理者名はスキップされ、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: アラート・トリガーに定義されている管理者名を指定するコマンドを再発行します。

---

**ANR3496W** 無効な値 *option value* がオプション *option name* に対して指定されました。理由コードは *reason code* です。

説明: 理由コード 1 は、この表名がオプションで許可されていないことを意味します。理由コード 2 は、この表がデータベース内に存在しないことを意味します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しい値が使用されていることを確認してください。必要な場合には、値を更新してください。

---

**ANR3497W** 除外された表 *table name* で再編成が必要です。理由コードは *reason code* です。

説明: サーバーは、サーバーまたはサーバー・オプションによってオンライン再編成から除外された表または索引で再編成が必要であると判別しました。理由コード 1 は、リストされた表で再編成が必要であることを意味します。また、現在この表は、DISABLEREORGTable サーバー・オプションで指定されているか、表

STAGED\_EXPIRING\_OBJECTS または STAGED\_OBJECT\_IDS (これらの表は、サーバーによって永続的にオンライン表再編成から除外されます) のいずれかであるために、オンライン再編成処理から除外されています。理由コード 2 は、リストされた表で索引再編成が必要であることを意味します。また、索引再編成は、DISABLEREORGIndex サーバー・オプションで指定されているか、表

STAGED\_EXPIRING\_OBJECTS、STAGED\_OBJECT\_IDS、または REPLICATED\_OBJECTS (これらの表は、サーバーによって永続的にオンライン索引再編成から除外されます) のいずれかに違反しているため、除外されています。理由コード 3 は、CLEANUP PAGES ALL オプションによる索引再編成が必要であることを意味します。この理由は、BF\_BITFILE\_EXTENTS 表が

DISABLEREORGCleanupindex サーバー・オプションで指定されている場合に、この表に対してのみ有効です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 必要なときに表および索引が再編成されないと、データベースが増大し、時間の経過とともにサーバー・パフォーマンスが低下する可能性があります。これらの症状のいずれかが発生し、このメッセージを受信した場合は、指定された表または索引のオフライン再編成の実行を検討する必要があります。オフライン再編成の実行の詳細および手順については、セクション『Running an offline table or index reorg』(技術情報 1452146)(<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21452146>) を参照してください。

---

**ANR3498W** サーバー再編成オプションのワнтаイム設定が実行されます。

説明: 以下のサーバー・オプションは、初めてサーバーを始動した後に設定されます。 1)

DISABLEREORGTABLE オプションは、表を指定せずに設定されます。その結果、表再編成処理から除外される表はありません。 2) DISABLEREORGINDEX オプションは、ARCHIVE\_OBJECTS、BACKUP\_OBJECTS、BF\_AGGREGATED\_BITFILES および BF\_BITFILE\_EXTENTS に設定されます。その結果、索引再編成は、これらの表では実行されません。 3) DISABLEREORGCLEANUPINDEX は、表を指定せずに設定されます。その結果、CLEANUP PAGES ALL オプションを指定した INDEX REORG が、BF\_BITFILE\_EXTENTS 表で実行されます。このサーバー・オプション・ファイルを更新する処理は、サーバーが初めて始動された後に 1 回だけ実行されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ワнтаイム再編成処理を行いたくない場合は、DB2 コマンド・ウィンドウから以下のコマンドを実行してください。 db2 connect to tsmdb1 db2 "insert into tsmdb1.global\_attributes (owner,name,type,length,int32) values ('RDB','REORG\_ONETIME\_AUTO\_INIT',3,0,2)" これらのコマンドは、サーバーを始動する前に、バージョン 6 の任意のサーバー、またはフィックス・レベルが APAR IC95301 のサーバーから実行することができます。

---

**ANR3499E** *command:* スクラッチパッド・エントリは既に存在しています。

説明: 指定されたキーを持つスクラッチパッド・エントリは既に存在しています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 固有のキーを持つ新しいスクラッチパッド・エントリを定義するか、または既存のスクラッチパッド・エントリを更新してください。

---

**ANR3500I** ノード *node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) を *set name* という名前で生成中。

説明: 名前を指定されたオブジェクト・セットは指定されたノード用に作成中です。

システムの処置: サーバーはバックアップ・セットを生成します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3501I** ノード *node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) が *set name* という名前で正常に完了しました - *files* 個のファイルが処理されました。

説明: 名前を指定されたオブジェクト・セットは指定されたノード用に正常に作成されました。処理されたファイル数が表示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3502W** ノード *node name* の *set name* という名前のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) がファイル処理エラーで完了しました - *files* 個のファイルが処理され、*error files* 個のファイルがスキップされました。

説明: 名前を指定されたオブジェクト・セットは指定されたノード用に正常に作成されました。しかし、処理中に、一部のファイルへのアクセス中にエラーが検出されました - これらのファイルはスキップされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: その他のサーバー・メッセージを調べて、ファイルがスキップされた理由を示すものがないか判断してください。それらのファイルのロックの障害、処理するファイルがない、またはその他のさらに重大な問題が原因で、ファイルがスキップされる可能性があります。最初に、コマンドをやり直して、どのファイルもスキップされずに完了するかどうか確認してください。ファイルをスキップすることなくバックアップ・セットを生成できない場合は、担当のサービス担当員に連絡して援助を依頼してください。



---

**ANR3503E** *node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) が *set name* という名前で生成に失敗しました。

説明: 指定されたノードの名前を指定されたオブジェクトは作成されませんでした。このオブジェクト・セットの作成が正常に完了しないエラーが検出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 発行されたその他のメッセージを評価し、障害の原因を判別してみてください。障害の原因を判別した後で、コマンドをやり直してください。この原因を判別できない場合は、サービス担当員に連絡してください。

ANR3504W を受信した場合は、サーバー・ボリューム・ヒストリーに使用されるボリュームを記録中にエラーが起きました。DEFINE BACKUPSET を発行してこれらのボリュームをリストすることができます。それにより、サーバーはこのサーバー上のこのバックアップ・セットに必要な項目を作成することになります。

---

**ANR3504W** *node name* のバックアップ・セットが *set name* という名前でこの操作に使用されるボリュームをサーバー・ボリューム・ヒストリーに記録できませんでした。

説明: 指定されたノードの名前を指定されたオブジェクトが作成されました。しかし、処理でこの操作に使用されたボリュームをサーバーのボリューム・ヒストリーに追加しようとしたときにエラーが起こり、これを完了できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 発行されたその他のメッセージを確認して、このバックアップ・セットを生成するために使用されたボリュームを判別してください。DEFINE BACKUPSET を発行してこれらのボリュームをリストすることによって、このボリュームをボリューム・ヒストリーに使用するために挿入することができます。また、これによって、このバックアップ・セットは、このバックアップ・セットのサーバー項目がなくなった後からでもクライアントから照会することができます。DEFINE BACKUPSET は、このバックアップ・セット生成操作が正常に完了した場合だけ発行してください。

---

**ANR3505I** *node name* のバックアップ・セットが *set name* という名前でボリューム *volume name* を使用しました。

説明: 指定されたノードの名前を指定されたオブジェクトが指定されたボリュームを使用しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3507I** 取り消し処理が進行中

説明: このメッセージは QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示され、バックアップ・セット生成処理が取り消されたことを示します。このプロセスは間もなく終了します。

システムの処置: プロセスは終了し、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3508W** *node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) の *set name* としての生成が失敗しました - 処理するファイル・スペースがありません。

説明: 指定されたノードの名前を指定されたオブジェクトは作成されませんでした。処理するファイル・スペースがありません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 関連したファイル・スペースをもったノードに対してコマンドを出し直してください。特定のノードについてファイル・スペースがない場合には、バックアップ・セットに書き込むファイル・データがありません。

---

**ANR3509E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 装置クラス *device class name* が定義されていません。

説明: コマンド *command* の処理中に、指定された装置クラスが定義されていないので、エラーが起きました。

システムの処置: コマンド *command* を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 指定された装置クラスが定義されていることを確認してください。

---

**ANR3510E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - ディスク・ボリュームが指定されています。

説明: コマンド *command* の処理中に、指定されたボリュームがテープ・ボリュームでなくディスク・ボリュームであったために、エラーが起きました。

システムの処置: コマンド *command* を終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コマンド *command* に指定されたすべ

てのボリュームがテープ・ボリュームであることを確認してください。

---

**ANR3511E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 無効なボリューム名が指定されています。

説明: サーバーが、コマンド *command* の処理時に、データ・ストレージへのアクセス中にエラーを検出しています。無効な名前のボリュームにアクセスしようとしたためにエラーが起きました。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを実行してください。

---

**ANR3512E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイントの数が足りません。

説明: コマンド *command* の処理中に、サーバーが十分な数のマウント位置を割り振ることができません。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR3513E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時に出力エラーが見つかりました。

説明: 装置への書き込み時にサーバーによってエラーが検出されたので、コマンド *command* の操作は終了しています。考えられる理由は次のとおりです。

- 装置への書き込み時に入出力エラーが発生
- ストレージ・スペースがない

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会し、このメッセージの前にあるメッセージを見つけ、エラーの原因を判別してください。問題の訂正後にコマンドをやり直すことができます。

---

**ANR3514E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にデータ転送が中断されました。

説明: 外部イベントによってデータ・ストレージに対するデータの転送が中断されたので、コマンド *command* の操作に関連したデータベース・トランザクションが実行されませんでした。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題が解決された後でコマンド *command* を出し直してください。

---

**ANR3515E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - ボリュームが既に使用中です。

説明: コマンド *command* の処理中に、ボリュームが既にストレージ・プールに定義されているか、または前にエクスポート、データベース・ダンプ、あるいはデータベース・バックアップ操作 (ボリューム・ヒストリーに記録されている) で使用されていたか、または別のプロセスで使用されているので、ボリュームを使用することができません。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 使用中でないかまたはストレージ・プールに定義されていない、前にエクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作 (サーバー・ボリューム・ヒストリー情報に記録されている) に使用されていない、ボリュームを指定してください。サーバー・ストレージ・プールに定義されているボリュームの名前を表示するためには、**QUERY VOLUME** コマンドを使用してください。エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作に使用されているボリュームの名前を表示するには、**QUERY VOLHISTORY** コマンドを使用してください。

---

**ANR3516E** *Command:* 順次メディアでスペース不足、スクラッチ・メディアをマウントできませんでした。

説明: コマンド *command* の処理中に、プロセスが順次メディアへの書き込み中にスペース不足条件を検出しています。順次メディア上にデータを保管するスペースがなく、コマンド *command* に **SCRATCH=NO** が指定されている場合には、コマンド *command* は終了します。

システムの処置: コマンド *command* の処理は終了します。サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドに **SCRATCH=YES** を指定するか、または追加のボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3517E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - 必要なボリュームがマウントされていません。

説明: コマンド *command* の処理中に、必要なボリュームをマウントすることができません。マウント要求は取り消されている場合があります。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 必要なボリュームがアクセス可能であることを確認してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3518I** *Command:* 処理が完了前に取り消されました。

説明: コマンド *command* にサービスするバックグラウンド・プロセスが CANCEL PROCESS コマンドで取り消されました。

システムの処置: コマンド *command* の処理が終了します。サーバー・コンソールに、このメッセージに続いて、移動済みのオブジェクトの数およびタイプの統計が、コピーされた合計バイト数と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3519E** *Command:* データ・ストレージにアクセスするには使用可能メモリーが足りません。

説明: サーバーが、コマンド *command* の操作時に、データ・ストレージにアクセスするためのメモリーの不足を検出しています。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR3520E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時に内部エラーが見つかりました。

説明: サーバーが、コマンド *command* の処理時に、データ・ストレージへのアクセス中に内部エラーを検出しています。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用してこのエラーの前のメッセージを調べて、データ・ストレージの障害の原因を判別してください。障害を見つけて解決できる場合には、コマンド *command* の操作を出し直してください。障害を見つけることができない

場合には、サービス担当員に連絡して問題解決の援助を依頼してください。

---

**ANR3521W** *BackupSet command:* データ・ストレージのリトリブまたはリストアが失敗しました - エラーが検出されました。

説明: サーバー上でエラーが検出されたので、サーバーはバックアップ・セット操作を終了しています。このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

- 入力ボリュームが使用不可である。
- ストレージ・プールが使用不可である。
- 入力ボリュームのデータが壊れていた。
- ハードウェアまたはメディアの障害が発生した。
- データベースが壊れていた。

システムの処置: サーバーはバックアップ・セット操作を終了して操作を続行します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。問題を訂正してからリストアまたはリトリブ操作を再試行してください。操作を再試行してもまだ失敗する場合はサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3523W** *Backup set command:* リトリブが失敗しました - 入力ストレージ装置でエラー。

説明: 装置からの読み取り中にサーバーによって入出力エラーが検出されたので、サーバーは指定されたセッションのバックアップ・セット操作を終了しています。入出力が出されたオブジェクトが後からのメッセージで報告されます。

システムの処置: バックアップ・セット処理はこのファイルをスキップして、操作を続行します。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会して、このメッセージの前にあるメッセージ (障害のある装置を示している) を見つけてください。ストレージ・プールのボリュームを (VARY OFFLINE コマンドを使用して) オフラインに変更することができます。また、場合によってはハードウェアの問題を訂正するために、HALT コマンドを使用してサーバーをシャットダウンする必要があります。

---

**ANR3524W** *Backup set command:* トランザクションが失敗しました - データ転送が中断されました。

説明: 外部イベントによってデータ・ストレージとの間のデータ転送が中断されたので、バックアップ・セット

操作と関連したデータベース・トランザクションは実行されませんでした。

システムの処置: バックアップ・セット操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題が解決された後でバックアップ・セット操作をやり直してください。

---

**ANR3525W** *Backup set command:* トランザクションが失敗しました - ストレージ・メディアがアクセス不能です。

説明: ストレージ・プールにクライアントのファイルを記憶するストレージ・ボリュームがないので、サーバーはバックアップ・セット操作のトランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーはバックアップ・セット操作を終了してサーバー操作を続行します。

ユーザーの処置: 許可された管理者は DEFINE VOLUME コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。 VARY ONLINE コマンドを使用し、ストレージ階層内のオフラインのストレージ・ボリュームをオンラインに変更して、ファイル・ストレージ用に使用することができます。

---

**ANR3527E** *Backup set command* 操作が終了しました。空ボリュームに対して実行しているかボリュームの内容が予期しない内容です。

説明: このコマンドの処理対象であるボリュームの内容が予期しない内容であったか、ボリュームが空ボリュームであったか、またはボリュームが見つかりませんでした。

システムの処置: コマンドの操作は終了されます。

ユーザーの処置: ボリュームの内容が予期している内容であるか、またはボリュームが空ではなく存在していることを確認してコマンドを出し直してください。

---

**ANR3528E** *Backup set command:* データ・ストレージへのアクセスでメディアにアクセス不能です。

説明: ストレージ・プールにクライアントのファイルを記憶するストレージ・ボリュームがないので、サーバーはバックアップ・セット操作のトランザクションを終了しています。

システムの処置: サーバーはバックアップ・セット操作を終了してサーバー操作を続行します。

ユーザーの処置: 許可された管理者は DEFINE VOLUME コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。 VARY ONLINE コマンドを使用し、ストレージ階層内のオフラインのストレージ・ボリュームをオンラインに変更して、ファイル・ストレージ用に使用することができます。

---

**ANR3529W** 生成バックアップ・セットがボリューム *volume name* 上の損傷ファイルをスキップ中: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: バックアップ・セットの生成処理時に、前に損傷のあったファイルが見つかりました。このファイルは、生成処理中のストレージ・プール・ボリュームのすべてのファイルを順次スキャンしているときに見つかりました; 示されたファイルはバックアップ・セットへの組み込みが予定されている場合もそうでない場合もあります。

このファイルが集合体の一部である場合、その集合体の中で他のファイルについて保全性のエラーが検出されたため、損傷とマークされたと考えられます。 AUDIT VOLUME で該当するかどうか判別できます。該当する場合、そのファイルの損傷という状況はリセットされます。

システムの処置: 損傷ファイルはバックアップ・セットに追加されません。

ユーザーの処置: 示されているボリュームを FIX=NO で監査して、ファイルに実際に損傷があるかどうか判別します。監査によって、ファイルに損傷がなければ損傷というファイルの状況はリセットされます。ファイルが集合体の一部で、集合体に含まれるどのファイルにも損傷がない場合、この監査で集合体全体の損傷という状況もリセットされます。

監査完了後もファイルが損傷した状況にある場合、 RESTORE STGPOOL コマンドを使用して損傷ファイルの復元を試みてください。ただし、これは損傷ファイルが、コピー・ストレージ・プールにバックアップ済みの 1 次ストレージ・プールの場合に限られます。

監査によって損傷というファイルの状況がリセットされるか、損傷ファイルが RESTORE STGPOOL を使用して正常に復元された場合、このファイルをバックアップ・セットに組み込んでから GENERATE BACKUPSET コマンドを再度実行し、このファイルを含む新しいバックアップ・セットを生成することが重要です。

---

**ANR3540E** セッション *session number*, *node* 用のオブジェクト・セット *set node:set name:data type* が見つかりませんでした。

説明: 示されたセッション ID がオブジェクト・セットのリストアを要求しました。 そのオブジェクト・セットがサーバーで見つかりませんでした。

システムの処置: クライアントにエラーが戻されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3541E** セッション *session number*, *node* 用のオブジェクト・セット *set node:set name:data type* のオープン中にエラー *error code* が起こりました。

説明: 示されたオブジェクト・セットのオープン中にエラーが起こりました。

システムの処置: クライアントにエラーが戻されます。

ユーザーの処置: 可能な場合には、前のメッセージによって報告された問題を訂正してください。

---

**ANR3542E** セッション *session number*, *node* 用のオブジェクト・セット *set node:set name:data type* の読み取り中にエラー *error code* が起こりました。

説明: 示されたオブジェクト・セットの読み取り中にエラーが起こりました。

システムの処置: クライアントにエラーが戻されます。

ユーザーの処置: 可能な場合には、前のメッセージによって報告された問題を訂正してください。

---

**ANR3543E** セッション *session number*, *node* 用のオブジェクト・セット *set node:set name:data type* から項目の送信中にエラー *error code* が起こりました。

説明: 示されたオブジェクト・セットの項目の送信中にエラーが起こりました。

システムの処置: クライアントにエラーが戻されます。

ユーザーの処置: このセッションに関連する前のメッセージまたは後のメッセージで報告された問題を訂正し、操作を再試行してください。

---

**ANR3544E** *node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) の *set name* としての生成が、ファイル・スペース *filespace name* (**fsId** *filespace id*)、ファイル名 *file name*、タイプ *file type* の断片化可能デー

タ・オブジェクトをスキップしました。

説明: 指定されたノードの名前を持つデータ・オブジェクトは、バックアップ・セットの生成中にスキップされました。

ALLOWSHREDDABLE=YES パラメーターが指定されなかったために、このデータ・オブジェクトは断片化可能ストレージ・プールに置かれ、バックアップ・セットに組み込まれません。

システムの処置: バックアップ・セットの生成は続行されます。

ユーザーの処置: 断片化可能ストレージ・プールにあるデータをバックアップ・セットに保管できることをストレージ管理者に確認してください。 バックアップ・セットに保管されているデータは断片化できません。 断片化できるのは、断片化可能ストレージ・プールにあるデータのみです。 ストレージ管理者が断片化可能データをバックアップ・セットに保管することを許可する場合、操作を再開して、ALLOWSHREDDABLE=YES パラメーターを指定してください。

---

**ANR3547I** バックアップ・セット *set name* が、ボリューム *volume name* を使用しました。

説明: 名前指定されたオブジェクトは、指定されたボリュームを使用しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3548E** *Command*: リトリブまたはリストアが失敗しました - リトリブ中にデータ・ストレージからファイルが移動されたか、削除されました。

説明: リトリブが完了する前に別のプロセスによってデータ・ストレージからファイルが移動されたか、削除されたので、サーバーは指定されたコマンドのファイル・リトリブ操作を終了しています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを終了します。

ユーザーの処置: 管理者に連絡して、スペース再利用、マイグレーション、DELETE FILESPACE、DELETE VOLUME、MOVE DATA、またはインベントリーの期限切れプロセスが実行中であるかどうかを調べてください。これらのプロセスは、リトリブ中にデータ・ストレージのファイルを移動または削除することがあります。これらのプロセスが完了するかまたは取り消された後でコマンドを再発行してください。

---

**ANR3549W** 表 *table name* でロックが競合しているため、再編成は取り消されました。

説明: ロック競合が生じたため、参照された表のサーバー・オンライン再編成を完了できませんでした。再編成は取り消されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3550E** 形式が不明なため、*node name* のバックアップ・セット *set name* の定義に失敗しました。

説明: 指定されたノードの名前付きオブジェクトは定義されませんでした。これは、このサーバーより高位レベルのサーバーで生成されていて、このサーバーで正しく解釈できないデータが含まれています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: オブジェクトを生成したサーバーと互換性のあるサーバーでオブジェクトを定義するか、あるいはこのサーバーをこのオブジェクトを生成したサーバーに対応するようにアップグレードしてください。

---

**ANR3551I** サーバーの削除バッチ・サイズが *new batch size* に設定されています。この時点以降に開始した削除操作ではこの新しい値が使用されます。

説明: 削除バッチ・サイズの値を設定するために、SETOPT コマンドが使用されました。この設定値は、1回のデータベース・トランザクションでサーバーから削除されるファイルの最大数を決定します。この設定値は、インベントリーの期限切れ操作に影響を与えます。

システムの処置: サーバーは、このメッセージが出された後に開始された削除操作にこの新しい設定値を使用します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3552E** *Command:* ノード *node name* は、ターゲット・サーバーでサポートされていないノード名なのでスキップされます。

説明: このノード名には、7.1.1 より前のサーバー・バージョンではサポートされない文字が 1 つ以上含まれています。その文字は「@」記号です。

システムの処置: サーバーは、そのノード名をスキップし、処理を続行します。

ユーザーの処置: ノード名に「@」(アットマーク)文字が含まれているかどうか確認してください。「@」文字を含むノード名はサーバー・バージョン 7.1.1 以降で

はサポートされています。別のノード名を指定するコマンドを再発行するか、ノード名を変更してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3556E** サーバーは、クラウド ID *id* とそのパスワードを使用して、指定されたクラウド URL *url* を持つクラウド・サービス・プロバイダーに接続できませんでした。

説明: コマンドで指定されたクラウド URL、クラウド ID、クラウド・パスワードを解決できなかったため、クラウド・サービス・プロバイダーへの接続に失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: クラウド URL、ユーザー ID、パスワード、およびクラウド・ストレージ・プールのクラウド・タイプが正しいこと、および正しく入力されていることを確認してください。また、クラウド・プロバイダーがアクティブであることを確認してください。

---

**ANR3557I** クラウド・サービス・プロバイダーの URL および資格情報が検証されました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーの資格情報および URL の検証が正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3560E** *command:* 次のパラメーターのうち、1 つ以上が欠落しています: *parameters*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3561E** *command:* キーワード・パラメーター *parameter* が認識されません。次のキーワード・パラメーターが有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

---

**ANR3562E** *command: parameter* パラメーター値 *value* が数値ではありません。最小値は *min value* で、最大値は *max value* です。

説明: 指定されたパラメーターは数値を必要とするので、コマンドを処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3563E** *command: parameter* パラメーター値 *value* は範囲外です。最小値は *min value* で、最大値は *max value* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3564E** *command: parameter* パラメーター値 *value* が認識されません。次のパラメーター値が有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3565E** *command: parameter* パラメーター値 *value* は範囲外です。最小値は *min value* で、最大値は *max value* です。次のパラメーター値も有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3566E** *command: parameter* パラメーター値 *value* が認識されません。最小値は *min value* で、最大値は *max value* です。次のパラメーター値も有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

---

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3567E** *command: parameter* パラメーターのスケール *scale* が認識されません。次のスケールが有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3568E** *command: parameter* パラメーター値 *value* は範囲外です。最小値は *min value* で、最大値は *max value* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3569E** *command: parameter* パラメーター値 *value* が長すぎます。最大長は *max length* 文字です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3570E** *command: parameter* パラメーター値が短すぎます。最小長は *min length* 文字です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3571E** *command: parameter* パラメーター値 *value* には無効な文字「*character*」が含まれています。次の文字が有効です: 「*validlist*」(引用符を除く)。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

---

## ANR3572E • ANR3581E

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3572E** *command: parameter* パラメーター値 *value* は予約済みの値で、指定できません。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3573E** *command: parameter* パラメーター値 *value* は無効な日付です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3574E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の月 *month* は範囲外です。最小値は *minimum* で、最大値は *maximum* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3575E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の日 *day* は範囲外です。最小値は *minimum* で、最大値は *maximum* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3576E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の年 *year* は範囲外です。最小値は *minimum* で、最大値は *maximum* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3577E** *command: parameter* パラメーター相対日数値 *value* が数値ではありません。

説明: 指定されたパラメーターは数値を必要とするので、コマンドを処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3578E** *command: parameter* パラメーター値の相対日数値 *value* は範囲外です。最小値は **0** で、最大値は *max value* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3579E** *command: parameter* パラメーター値 *value* は無効な時間です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3580E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の時 *hours* は範囲外です。最小値は *minimum* で、最大値は *maximum* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3581E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の分 *minutes* は範囲外です。最小値は *minimum* で、最大値は *maximum* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。



システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3582E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の秒 *seconds* は範囲外です。最小値は *minimum* で、最大値は *maximum* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3583E** *command: parameter* パラメーター相対時間値 *value* が数値ではありません。

説明: 指定されたパラメーターは数値を必要とするので、コマンドを処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3584E** *command: parameter* パラメーター相対分数量値 *value* が数値ではありません。

説明: 指定されたパラメーターは数値を必要とするので、コマンドを処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3585E** *command: parameter* パラメーター値の相対時間数値 *value* は範囲外です。最小値は **0** で、最大値は *max value* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3586E** *command: parameter* パラメーター値の相対分数量値 *value* は範囲外です。最小値は **0** で、最大値は *max value* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3587E** *command: parameter* パラメーターが複数回指定されています。

説明: 指定されたパラメーターは 1 回のみ入力できるので、コマンドは処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3588E** *command: parameter* パラメーターは *prerequisite parameter* パラメーターが必要です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3589I** *command:* 詳しくは、**HELP command** コマンドを発行してください。

説明: 指定されたサーバー・コマンドに、1 つ以上の構文エラーが検出されました (前のメッセージを参照してください)。コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3590E** *command:* コマンドは要求されたスキル・レベルを超えています。

説明: 指定されたサーバー・コマンドのスキル・レベルが、要求されたレベルを超えています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3591E** *command: parameter* パラメーター値 *value* は範囲外です。最小値は *min value* で、最大値は *max value* です。次のパラメーター値も有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3592E** *command: parameter* パラメーター値 *value* が認識されません。最小値は *min value* で、最大値は *max value* です。次のパラメーター値も有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3593E** *command: parameter* パラメーター値 *value* が無効です。次のスケールのいずれかが必要です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3594E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の整数部分が範囲外です。最小整数値は *min value* で、最大整数値は *max value* です。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3595E** *command: parameter* パラメーター値 *value* の整数部分が範囲外です。最小整数値は *min value* で、最大整数値は *max value* です。次のパラメーター値も有効です: *validlist*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3596E** *command: parameter* パラメーターが *conflicting parameter* パラメーターと競合しています。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3597E** *command: parameter* パラメーター値 *value* が複数回指定されています。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3598E** *command:* 次の少なくとも **1** つのパラメーターが必要です: *parameters*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3599E** *command:* 次のいずれか **1** つのパラメーターのみが必要です: *parameters*。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文を確認して、コマンドを再発行します。

---

**ANR3601W** 通信障害のために、ドメイン *domain id* のポリシー・ドメインのリリースに失敗しました。

説明: ストレージ・エージェントが *domain id* によって指示されたドメインで完了していたことをデータベース・サーバーに通知しようとしたが、データベース・サーバーと通信できませんでした。キャッシュに入っているポリシー情報は、ストレージ・サーバーの終了時か再始動時、またはデータベース・サーバーの再始動時に消去されます。

システムの処置: ストレージ・エージェントは処理を続行します。ポリシー情報は、ストレージ・エージェントのポリシー・キャッシュから削除されます。

ユーザーの処置: ポリシー・キャッシュはストレージ・エージェントまたはサーバーの再始動時にクリーンアップされます。ストレージ・エージェントとデータベース・サーバーとの間のネットワーク通信を調べる必要があります。

---

**ANR3602E** データベース・サーバーと通信できません。

説明: ストレージ・エージェントがデータベース・サーバーと通信しようとしたが、通信できませんでした。

システムの処置: ストレージ・エージェント操作は失敗します。

ユーザーの処置: 通信パラメーターが正しいことを確認するためにストレージ・エージェントおよびサーバーの構成を調べてください。データベース・サーバーが稼働中で、メッセージを受け入れていることを確認してください。

---

**ANR3603E** プロトコル・エラーが原因で、ストレージ・エージェント *Storage Agent name* がポリシー情報をロードできませんでした。

説明: データベース・サーバーからポリシー情報を受信しているときに、プロトコル・エラーのため、処理が早期に終了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。ポリシーは、データベース・サーバー・データベースからロードされます。

ユーザーの処置: この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3604E** このコマンドは現在の操作環境ではサポートされません。

説明: ほとんどの場合に有効なコマンドが出されましたが、現行のサーバー環境では有効ではありませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 現在の環境で許可されるコマンドを出してください。

---

**ANR3605E** ストレージ・エージェントと通信できません。

説明: データベース・サーバーがストレージ・エージェントと通信しようとしたが、通信できませんでした。

システムの処置: データベース・サーバー操作は失敗します。

ユーザーの処置: 通信パラメーターが正しいことを確認するためにストレージ・エージェントおよびサーバーの構成を調べてください。

---

**ANR3606E** ストレージ・エージェントが冗長 *verb name* によるリストア要求でデータベース・サーバーと通信中でしたが、戻りコード *return code* を受信しました。

説明: ストレージ・エージェントとデータベース・サーバーはリストア要求を調整中でした。指示された *verb* (ストレージ・エージェントとデータベース・サーバーの間の内部要求メカニズム) を使用して通信しているときに、予期しない戻りコードが受信されました。 *verb* 名および戻りコードが IBM ソフトウェア・サポート に提供されます。

システムの処置: データベース・サーバーおよびストレージ・エージェントは続行されます。リストア要求は失敗しましたが、クライアントは再試行することができます。

ユーザーの処置: 通信パラメーターが正しいことを確認するためにストレージ・エージェントおよびサーバーの構成を調べてください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3607E** ストレージ・エージェントが *verb verb name* によるリストア要求でクライアントと通信中でしたが、戻りコード *return code* を受信しました。

説明: ストレージ・エージェントは、リストア要求のためにクライアントと通信中でした。指示された *verb*

(ストレージ・エージェントとクライアントの間の内部要求メカニズム) を使用して通信しているときに、予期しない戻りコードが受信されました。 **verb** 名および戻りコードが IBM ソフトウェア・サポート に提供されます。

**システムの処置:** データベース・サーバーおよびストレージ・エージェントは続行されます。 リストア要求は失敗しましたが、クライアントは再試行することができます。

**ユーザーの処置:** 通信パラメーターが正しいことを確認するためにストレージ・エージェントおよびクライアントの構成を調べてください。この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3608E** ストレージ・エージェントはリストア要求時にデータベース・サーバーと通信中でした。データベース・サーバーから予期しない要求 (**id verb**) が受信されました。

**説明:** ストレージ・エージェントとデータベース・サーバーはリストア要求を調整中でした。通信時に、指示された **verb** (ストレージ・エージェントとデータベース・サーバーの間の内部要求メカニズム) は予期されていませんでした。 **verb** 番号が IBM ソフトウェア・サポート に提供されます。

**システムの処置:** データベース・サーバーおよびストレージ・エージェントは続行されます。 リストア要求は失敗しましたが、クライアントは再試行することができます。

**ユーザーの処置:** この問題が続いて起こった場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3609E** ストレージ・エージェントはリストア要求を処理中でした。新規スレッドを開始しようとして、障害が起きました。障害ルーチンからの戻りコード *return code* が、IBM ソフトウェア・サポート に対して有用な場合があります。

**説明:** ストレージ・エージェントはリストア要求を処理中でした。新規スレッドが開始できませんでした。新規スレッドなしに、この要求は処理できませんでした。

**システムの処置:** データベース・サーバーおよびストレージ・エージェントは続行されます。 リストア要求が失敗しました。

**ユーザーの処置:** ストレージ・エージェントのシステム・メモリーが正しく作動するのに十分であることを確認してください。メモリーまたはページング/スワップ・スペースが不十分だと、スレッドを開始する時に問題が生じる原因となります。この問題が続いて起こった

場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3610I** ドメイン ID *domain identifier* が見つかりませんでした。

**説明:** サーバーは、リストア要求の後でキャッシュに入れられたポリシー情報をクリーンアップしました。指示された ID をもつドメインが、内部リストでは見つかりませんでした。

**システムの処置:** データベース・サーバーおよびストレージ・エージェントは続行されます。

**ユーザーの処置:** メッセージがストレージ・エージェントの開始の結果である場合には、応答は必要ありません。ストレージ・エージェントは、サーバーが以前に使用中だったキャッシュに入れられた情報を除去することを要求しています。情報トラッキング・ポリシー・キャッシングが不整合になっている可能性があります。この場合、応答は必要ありません。メッセージが、ストレージ・エージェントがサーバーに接続されていないに出される場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR3611E** ストレージ・エージェントはサーバーに接続できませんでした。

**説明:** ストレージ・エージェントはサーバーに接続して、セッションの開始またはコマンドの実行を試みようとしました。ストレージ・エージェントはサーバーに接続して、トランザクションを開始することができませんでした。

**システムの処置:** ストレージ・エージェントは処理を続行します。サーバーがダウンしているか、あるいは通信上の問題がある可能性があります。

**ユーザーの処置:** サーバー停止の理由がメッセージのとおりであればこのメッセージに対して応答は必要ありません。ストレージ・エージェント通信をもつサーバーが稼働中で、システム間の接続が確立していることを確認してください。ストレージ・エージェントとセッションをもつ新しいアドミニストレーターを開始する前にサーバーを開始する必要があります。

---

**ANR3612E** このコマンドは **Express** 環境ではサポートされません。

**説明:** ほとんどの場合に有効なコマンドが出されましたが、現行のサーバー環境では有効ではありませんでした。

**システムの処置:** サーバーは操作を続行します。

**ユーザーの処置:** 現在の環境で許可されるコマンドを出してください。

**ANR3613W** 別のプロセスとのロック対立のため、プロセス *process ID* は、ボリューム *Volume name* 上の *Num Files* 個のファイルをスキップしました。

説明: ファイルの移動中にロック対立が検出され、再試行回数が制限を超過しました。

システムの処置: 操作はコピーを作成せずにファイルをスキップし、続行されます。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

**ANR3614E** サーバーはデータベースとの接続に失敗しました。

説明: サーバーはデータベースへの接続を確立または検証できませんでした。

システムの処置: サーバーはシャットダウンします。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別するために、このメッセージの前に出されたメッセージを調べてください。問題が解決された後、サーバーを始動してください。

**ANR3615E** データ・ムーバーの **DATAFORMAT** パラメーターの値は、**NAS** ファイル・サーバーと互換性がありません。

説明: データ・ムーバーは、NDMPDump **DATAFORMAT** で定義されました。このデータ・フォーマットは、EMC NAS ファイル・サーバーと互換性がありません。

システムの処置: NDMP 操作は失敗します。

ユーザーの処置: CELERRADump データ・フォーマットを使用するためにデータ・ムーバーを更新してください。

**ANR3616E** エラーが発生しました。詳細情報を **dsmserve.err** ファイルおよび **dsmffdc.log** ファイルから入手できる場合があります。

説明: ありません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: **dsmserve.err** ファイルおよび **dsmffdc.log** ファイルで、エラーと同じ時刻に発生したメッセージがないかを確認してください。**dsmserve.err** ファイルおよび **dsmffdc.log** ファイルは、サーバーの作業ディレクトリー内にあります。確認された問題があれば、訂正してください。

**ANR3617E** データベース環境のハンドルの問題のために、サーバーは戻りコード *rc* で始動できませんでした。

説明: サーバーは、データベース環境にハンドルを割り振ることができませんでした。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: 考えられる原因と解決策は次のとおりです:

- 最も一般的な原因は、DSMSERV ユーティリティーがインスタンス所有者として実行されていないことか、現在のログイン・シェルのユーザー・プロファイル (**db2profile**) が読み込まれていないことです。この問題を解決するには、インスタンス・ユーザーとしてログインして、次の DB2 プロファイルを読み込みます。**db2profile**: `./home/tsminst1/sqllib/db2profile` 注: 最初のドットの後にスペースを挿入するようにしてください。
- `/etc/hosts` ファイルと `~/sqllib/db2nodes.cfg` ファイルの不一致が考えられます。最近ホスト名が更新されている場合には、`/etc/hosts` ファイル内のシステム・ホスト名が `~/sqllib/db2nodes.cfg` ファイル内のホスト名と一致していることを確認してください。ファイル内のホスト名が同じ場合には、**db2diag.log** ファイルで詳細情報を確認してください。**db2nodes.cfg** ファイルについて詳しくは、DB2 の資料を参照してください。
- システム・リソースが不十分なためデータベース・マネージャーが開始できません。DSMSERV プログラムを開始しているユーザーの **nofiles** などのパラメーターについて、現行オペレーティング・システムのカーネル設定と **ulimit** 設定を確認してください。必要があれば、値を大きくしてください。カーネル値および **ulimit** 値の変更方法について、詳しくはご使用のオペレーティング・システムの資料を参照してください。IBM Spectrum Protect サーバーの **ulimit** 設定に関するガイドラインについては、製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「ユーザー制限」を検索してください。オペレーティング・システムのカーネル・パラメーターについてのガイドラインは、製品情報で「カーネル・パラメーターの調整」を検索してください。
- インスタンス項目が `/etc/services` ファイルから欠落しています。`/etc/services` ファイルに項目がない場合、以下の例のように項目を再作成します:  
DB2\_tsminst1 60000/tcp DB2\_tsminst1\_1 60001/tcp  
DB2\_tsminst1\_2 60002/tcp DB2\_tsminst1\_END 60003/tcp 一般的に、これらの項目は `/etc/services` ファイルの末尾近くに配置されます。**tsminst1** を、

サーバーで使用されている IBM Spectrum Protect インスタンスの名前と置き換えます。

- DB2APP64.dll ファイルのコピーが、サーバー・インスタンス・ディレクトリー内にあります。場合によってはユーザーが、インストール・ディレクトリーからサーバー・インスタンス・ディレクトリーに、DB2APP64.dll ファイルを誤ってコピーすることがあります。デフォルトでは、インストール・ディレクトリーは C:\Program Files\Tivoli\TSM\bin\BIN です。DB2APP64.dll ファイルは、このディレクトリーの中に含まれていなければなりません。この DLL ファイルの余分なコピーは削除する必要があります。

**ANR3618W** *total adapter number* 個のホスト・バス・アダプターのうち *bad adapter number* 個を開くことができません。

説明: SAN ディスカバリー機能が、システム上のホスト・バス・アダプター (HBA) をすべて開くことができません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect SAN ディスカバリーは、SAN から一部の装置情報のみを取得することができます。すべての HBA が適切に構成されて機能していることを確認してください。

**ANR3619W** *limit* のユーザー限度が *value* の推奨最小値を下回っています。

説明: ユーザー限度が推奨最小値を下回っている場合、予期しない動作が発生する可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ユーザー限度は、推奨最小値以上であるように設定してください。

**ANR3620I** 状況しきい値 *status threshold* が更新されました。

説明: UPDATE STATUSTHRESHOLD コマンドによって、示されている状況しきい値が更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3621I** 状況しきい値 *status threshold* が削除されました。

説明: DELETE STATUSTHRESHOLD コマンドによって、示されている状況しきい値が削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3622I** 状況しきい値 *status threshold* が定義されました。

説明: DEFINE STATUSTHRESHOLD コマンドによって、示されている状況しきい値が作成されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3623E** *Command:* 状況しきい値 *status threshold* は既に定義されています。

説明: 示されているコマンドが、既に存在する状況しきい値を定義しようとしています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3624E** *Command:* 状況しきい値 *threshold name* は定義されていません。

説明: 示されているコマンドに、このサーバーに定義されていない状況しきい値が指定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3625I** ホスト・バス・アダプター (HBA) API 機能は、アダプター *adapter name* でサポートされていません。

説明: HBA API 機能がアダプターの属性のリトリブに失敗しました。これは、このアダプターがファイバー・チャンネル SCSI アダプターではないためです。このアダプターは Serial Attached SCSI アダプターの可能性があります。したがって、SAN ディスカバリーは機能しません。

システムの処置: システムがアダプターの属性のリトリブに失敗しました。

ユーザーの処置: このアダプターがファイバー・チャンネル SCSI アダプターかどうかを検証し、ファイバー・チャンネル SCSI アダプターである場合は、ハードウェア・サポートに連絡してアダプターについてお問い合わせください。

**ANR3626W** チェック状態が、ファイバー・チャンネル・ポート **WWN=fc port wwn**、**KEY=sense key**、**ASC=asc**、**ASCQ=ascq** における **SCSI** 照会中に発生しました。

説明: ホスト・バス・アダプター (HBA) API 機能は、このポートにある装置の SCSI 情報の照会に失敗しました。ハードウェア・エラーまたは SCSI バス・リセ

ットが操作中に発生した可能性があります。

システムの処置: HBAAPI 照会機能は、このポートから SCSI 装置情報をリトリブできませんでした。

ユーザーの処置: アダプター、装置、およびファイバー・チャンネルが接続済みであることを確認してください。KEY、ASC、および ASCQ のフィールドの値について詳しくは、SCSI 仕様を参照してください。

---

**ANR3627I** アラートを E メールで送信できません。

説明: アラートを E メールで受信するには、アラート・モニターと E メール・オプションを使用可能にする必要があります。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 次のコマンドを使用して、サーバー・アラート設定を構成します。

```
SET ALERTMONITOR ON
```

```
SET ALERTEMAIL ON
```

---

**ANR3628E** エlement *element* の状況の設定中に、状況モニター・プロセスが予期しないエラーを検出しました。プロセスはエラー・コード *rc* を返しました。

説明: サーバー・アクティビティをモニターするプロセスが、エlement状況の設定中にエラーを検出しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3629W** システム・レベルの権限を持つすべての管理者が **LDAP** 認証を使用します。管理者 *admin* は、直近で **LOCAL** 認証を使用した、システム・レベルの権限を持つ管理者です。

説明: システム・レベルの権限を持つすべての管理者が LDAP 認証を使用します。この状態は、LDAP サーバーの可用性によってはリスクがあります。必要に応じて、LDAP サーバーに高可用性構成が実装されていることを確認してください。高可用性構成とは、例えば、クラスター化、ミラーリング、および複製などです。LOCAL 認証を使用するシステム・レベルの管理者を 1 人設定すると、LDAP サーバーが長期間ダウンして使用不可になった場合に、他の管理者およびノードを LOCAL 認証を使用できるように、その管理者が更新することができます。

システムの処置: システム・レベルの権限を持つ管理者のみ LDAP 認証を使用します。

ユーザーの処置: システム権限と LOCAL 認証を使用する管理者を 1 人設定することを検討してください。これが不可能な場合、LDAP サーバーの高可用性構成の内容が十分であることを確認してください。

---

**ANR3630E** *Command: condition* 条件は、*condition* 条件を含む既存の状況しきい値 *threshold* と競合します。

説明: 示されているコマンドが、既存のしきい値と競合する状況しきい値を定義または更新しようとしています。

システムの処置: 状況しきい値は定義または更新されません。

ユーザーの処置: 既存のしきい値を削除するか、別の条件を使用します。

---

**ANR3631E** データベースが損傷しています。

説明: データベースが損傷していたため、サーバーは始動に失敗しました。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: これが新規のインストールまたは構成である場合は、DSMSERV FORMAT ステップが正常に完了したことを確認してください。これが以前に正常に機能していた既存の構成である場合は、データベースの復元が必要な場合があります。

---

**ANR3632E** *command:* 管理者 *administrator ID* がロックされます。

説明: 管理者 ID はロックされて、このコマンドで使用することはできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 管理者 ID のロックを解除して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3633I** ボリュームにバックアップされていないファイルが含まれているため、プロセス *process ID* はボリューム *Volume Name* をスキップしました。

説明: DEDUPREQUIRESBACKUP サーバー・オプションは、デフォルト値の YES に設定されています。このオプションの値が YES の場合、重複排除されたストレージ・プール内のファイルは、レクラメーション処理する前に重複排除されていないコピー・ストレージ・プールにバックアップする必要があります。

システムの処置: 操作はこのボリュームをスキップして続行されます。

ユーザーの処置: ボリューム上のすべてのファイルが、重複排除されていないコピー・ストレージ・プールにバックアップされていることを確認してください。

DEDUPREQUIRESBACKUP サーバー・オプションの値を NO に変更することができます。ただし、このオプション値を NO に変更すると、データの整合性エラーが発生した場合にリカバリー不能なデータ損失が起こる可能性があります。

---

**ANR3634W HBA API** が SAN からの磁気テープ・デバイス情報を提供することができません。

システムの処置: アクションは不要です。

ユーザーの処置: ファイバー・チャネル・ケーブル間の接続と磁気テープ・デバイスの設定を確認し、磁気テープ・デバイスが最初にシステムに提示されていることを確認してください。磁気テープ・デバイスがシステムに提示されているにも関わらず QUERY SAN コマンドで磁気テープ・デバイス情報を取得できない場合は、HBA ベンダーに連絡して問題を報告してください。

---

**ANR3635I** 状況モニターは、イベント・レコードの保存期間を 14 日間に更新しました。

説明: Operations Center の全機能を使用するには、最低でも 14 日間分のイベント・レコードをサーバーに保持する必要があります。

システムの処置: イベント・レコードは 14 日間保持されます。

ユーザーの処置: 別の値が必要な場合には、SET EVENTRETENTION コマンドを使用してください。

---

**ANR3636W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* ではトランザクションが失敗しました - キーは既に定義されています。

説明: キーはデータベース内に既に定義されているので、サーバーがトランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: キーが固有であることを確認します。

---

**ANR3637W** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* ではトランザクションが失敗しました - キーは定義されていません。

説明: キーはデータベース内に既に定義されているので、サーバーがトランザクションを終了します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: キーが定義されていることを確認します。

---

**ANR3638W** ストレージ・プール *storage pool name* 内のスパン・ボリューム *volume name* がアクセス不能であるため、スペース・レクラメーションはボリューム *volume name* をスキップしました。

説明: 示されているボリュームはスペース・レクラメーションに適格なボリュームですが、スパン・ボリュームが使用不可であるかまたは壊れています。示されているボリュームはスキップされます。他のボリュームについてスペース・レクラメーションが続行されます。

システムの処置: スペース・レクラメーション・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR3639I** *command*: ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* の重複排除された NAS バックアップ・イメージがスキップされました。

説明: サーバー・コマンドは、NAS バックアップ・イメージが処理に不適格であることを検出しました。これは、このイメージ、または、その従属ファイルの 1 つが重複排除されたストレージ・プールに保管されているためです。

システムの処置: 処理は続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR3640E** ターゲット複製サーバー *target\_server\_name* が無効であるため、*command* コマンドが失敗しました。

説明: 指定されたターゲット複製サーバーは、ターゲット複製サーバーではありません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ターゲット複製サーバーの名前を設定して、そのターゲット複製サーバーの複製妥当性検査処理を実行するには、以下のステップを実行してください。

1. QUERY SERVER コマンドを実行して、有効なターゲット複製サーバーのリストを取得します。
2. VALIDATE REPLPOLICY コマンドを実行して、ポリシーを検証してください。



---

**ANR3641E** ターゲット複製サーバー上のポリシーが検証されなかったため、**SET DISSIMILARPOLICIES** コマンドが失敗しました。

説明: SET DISSIMILARPOLICIES コマンドが実行される前に、ターゲット複製サーバー上のポリシーが検証されませんでした。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: VALIDATE REPLPOLICY コマンドを実行して、ポリシーを検証してください。

---

**ANR3642E** システム全体の **REPLRECOVERDAMAGED** 設定がオフになっているため、損傷ファイルを回復できません。

説明: REPLICATE NODE コマンドを使用して損傷ファイルを回復するには、REPLRECOVERDAMAGED 設定がオンになっている必要があります。

システムの処置: REPLICATE NODE コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。1. SET REPLRECOVERDAMAGED コマンドを使用して、ファイル・リカバリーの設定をオンにします。次のコマンドを実行します: SET REPLRECOVERDAMAGED ON。2. REPLICATE NODE コマンドを再度実行します。RECOVERDAMAGED パラメーターが YES または ONLY に設定されていることを確認してください。

---

**ANR3643W** *description* のプロセス *number* が最大許容実行時間を超えました。

説明: 管理スケジュールによって開始されたプロセスが、スケジュールで定義されている最大許容時間を超えて実行されています。

システムの処置: プロセスは取り消され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3644E** ターゲット複製サーバー *name* は似ていないポリシーをサポートしません。

説明: 異種ポリシーは、IBM Spectrum Protect Version 7.1.1 以降のみでサポートされます。

システムの処置: 示されているサーバーのポリシー妥当性検査はスキップされます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。1. ターゲット・サーバーを IBM

Spectrum Protect V7.1.1 以降にアップグレードします。2. VALIDATE REPLPOLICY コマンドを再度実行します。

---

**ANR3645E** *Command*: ストレージ・プール *storage pool name* には、まだ少なくとも 1 つのディレクトリーが含まれています。

説明: DELETE STGPOOL コマンドは、ディレクトリーが割り当てられているストレージ・プールを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールに属しているディレクトリーを削除して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3646E** *Command*: ストレージ・プール・ディレクトリー *storage pool directory name* は、アクセス・モードが *access mode* で、アクティブ・データが入っています。

説明: DELETE STGPOOLDIR コマンドは、使用中のディレクトリーが割り当てられているストレージ・プール・ディレクトリーを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ディレクトリーを削除する前に、そのディレクトリー内にコンテナがないことを確認します。UPDATE STGPOOL コマンドを発行して REUSEDELAY パラメーターを設定し、重複排除されたすべてのエクステン트가コンテナ・ストレージ・プールから削除されてから経過している必要がある日数を指定します。ディレクトリーを強制的に削除するには、UPDATE STGPOOLDIRECTORY コマンドを発行してアクセス・モードを DESTROYED に設定します。コンテナを削除するには、AUDIT CONTAINER コマンドを発行して ACTION=REMOVEDAMAGED パラメーターを指定します。

---

**ANR3647E** デフォルトの複製サーバーが設定されていないため、*Command* コマンドが失敗しました。

説明: このコマンドを実行するには、デフォルトのターゲット複製サーバーが必要です。デフォルトのターゲット複製サーバーが設定されていないと、コマンドは失敗します。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: SET REPLSERVER コマンドを実行して、デフォルトのターゲット複製サーバーをターゲット複製サーバーとして設定します。

**ANR3648E** *Command:* ストレージ・プール  
**NEXTSTGPOOL:** *storage pool name* は、  
ディレクトリー・コンテナ・ストレ  
ージ・プールです。

説明: 示されたコマンドは、ディレクトリー・コンテナ  
・ストレージ・プールであるストレージ・プールの名  
前を指定しています。このコマンド構文では、ディレク  
トリー・コンテナ・ストレージ・プール名を指定する  
ことはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいストレージ・プール名を指定し  
てコマンドを再発行してください。

**ANR3649I** 損傷ファイルを識別するためのスキャンが  
*time* に開始されました。

説明: REPLRECOVERDAMAGED システム・パラメ  
ーターが ON に設定されている場合、システムは、損  
傷があるビット・ファイルの数に変動したかどうかを判  
別するために 30 分ごとにサーバー・データベース表の  
簡易チェックを行います。数に変動がある場合、システ  
ムはサーバー・データベース表のスキャンを開始して、  
回復する損傷ファイルを識別します。

システムの処置: 損傷ファイルに関する情報を収集する  
ためのスキャンが開始されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3650I** 損傷ファイルを識別するためのスキャンが  
*time* に完了しました。

説明: REPLRECOVERDAMAGED システム・パラメ  
ーターが ON に設定されている場合、システムは、損  
傷があるビット・ファイルの数に変動したかどうかを判  
別するために 30 分ごとにサーバー・データベース表の  
簡易チェックを行います。数に変動がある場合、システ  
ムはサーバー・データベース表のスキャンを開始して、  
回復する損傷ファイルを識別します。

システムの処置: 損傷ファイルに関する情報を収集した  
スキャンが完了しました。ノードで損傷ファイルの回復  
が可能な場合は、次の複製プロセスで、そのノード上  
の損傷ファイルが、ターゲット複製サーバー上の損傷が  
ないファイルに置き換えられます。損傷ファイルの回復  
は、ファイルが損傷を受ける前に複製されていた場合に  
のみ行うことができます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3651W** 複製プロセスがボリューム *volume name*  
上の損傷ファイルをスキップ中です: ノー  
ド *node name*、タイプ *file type*、ファイ  
ル・スペース *filespace name*、ファイル名  
*file name*。

説明: 複製プロセス中に、以前に損傷が見つかったファ  
イルが検出されました。このファイルが集合体の一部で  
ある場合には、おそらくその集合体の中で他のファイル  
について保全性のエラーが検出されたためと考えられま  
す。

システムの処置: 損傷のあるファイルは複製されませ  
ん。

ユーザーの処置: 次のアクションを実行してください。

- ボリュームを **FIX=NO** を指定して監査し、ファイル  
に損傷があるか検査します。ファイルに損傷がない場  
合、監査プロセスにより、ファイル状況がリセットさ  
れます。ファイルが集合体の一部である場合は、集合  
体全体に損傷がないことがわかれば、この監査プロセ  
スで集合体の状況がリセットされます。
- ボリュームが 1 次ストレージ・プールにあり、コピ  
ー・ストレージ・プールにコピーが存在する場合は、  
**RESTORE STGPOOL** コマンドを実行して損傷ファ  
イルの復元を試行します。

**ANR3652I** **VALIDATE REPLPOLICY** コマンドは、  
ターゲット複製サーバー *target server*  
*name* 上で妥当性検査を行うノードを検出  
しませんでした。

説明: ターゲット複製サーバー上のノードが、ソース複  
製サーバー上のノードと同じではありません。このコマン  
ドの実行時に、両方の複製サーバーに共通の比較対象ノ  
ードがありませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3653I** 損傷ファイルを識別するためのスキャンが  
*time* に停止しました。

説明: REPLRECOVERDAMAGED システム・パラメ  
ーターが OFF に設定されていたため、スキャンが停止  
しました。

システムの処置: スキャン中に収集された情報は保存さ  
れました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、スキ  
ャンを再始動する場合は、**SET**  
**REPLRECOVERDAMAGED ON** コマンドを実行してく  
ださい。

**ANR3654W** インベントリー・ファイル期限切れ処理がこの 24 時間内に実行されませんでした。

説明: ターゲット複製サーバー上のポリシーを使用して、複製されたクライアント・ノード・データを管理している場合は、期限切れになった複製データが占有しているストレージ・プール・スペースをターゲット複製サーバーが再使用できるように、期限切れ処理を24 時間ごとに実行する必要があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 少なくとも 24 時間に 1 回は期限切れ処理を実行してください。

**ANR3655I** プロセス *node name* の複製は終了しましたが、ストレージ・プール *pool list* で重複排除カタログを更新中です。

説明: ファイルがターゲット複製サーバーからリカバリーされていたため、重複排除カタログ内の影響を受けるファイルのエントリーを更新するために別個のスレッドが開始されました。複製のリカバリー処理が終了した時点で、そのスレッドがまだエントリーの更新を処理中でした。

システムの処置: スレッドは、重複排除カタログ内のリカバリー対象ファイルの属性の更新を続行します。更新が完了したら、影響を受けるすべてのファイルにクライアント・セッションおよびサーバー処理からアクセス可能になります。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3656I** 損傷ファイルの複製リカバリーが無効になっています。

説明: データベース・アップグレード中に、損傷ファイルが検出されました。損傷ファイルのリカバリーを有効にするために使用される REPLRECOVERDAMAGED システム・パラメーターは、自動的に OFF に設定されました。設定が OFF の場合、サーバーは、リカバリー可能な損傷オブジェクトのデータベース表のスキャンを行いません。多数の損傷ファイルが検出される場合、スキャンを回避することが必要です。そのようなケースでは、スキャンに長時間かかり、大量のサーバー・リソースが必要になる可能性があります。

システムの処置: サーバー・アップグレードは続行され、REPLRECOVERDAMAGED システム・パラメーターは OFF に設定されたまま残ります。

ユーザーの処置: データベース表をスキャンするプロセスは、サーバー・リソースの使用が最小になる時間帯にスケジュールすることをお勧めします。スキャンを開始するには、次のコマンドを発行します。 `set`

replrecoverdamaged on 詳細な手順については、資料で SET REPLRECOVERDAMAGED コマンドについて参照してください。

**ANR3657E** REPAIR STGPOOL: 現在、ターゲット・サーバー上で 1 つ以上の必要なストレージ・プール・ディレクトリーが使用不可です。

説明: 複製されたデータが現在ターゲット・サーバー上で使用できないストレージ・プール・ディレクトリーに配置されているため、REPAIR STGPOOL プロセスは 1 つ以上をファイルを修復できませんでした。

システムの処置: REPAIR STGPOOL プロセスは失敗します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバー上でストレージ・プール・ディレクトリーに使用不可のマークが付けられている場合、UPDATE STGPOOLDIR コマンドを使用してそのディレクトリーを更新することができません。

**ANR3658E** Command: ストレージ・プール *storage pool name* は、複製操作、修復操作、または保護操作で現在使用中です。

説明: 示されているコマンドは、使用中のストレージ・プールを参照しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でこのコマンドを再発行してください。

**ANR3659E** Command: ストレージ・プール *storage pool name* には、保護ストレージ・プールが定義されていません。

説明: ストレージ・プールには、保護ストレージ・プールが定義されている必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 保護するプールの PROTECT STGpool パラメーターを更新してください。

**ANR3660E** コンテナのオープン時、あるいはコンテナへの書き込み時に予期しないエラーが発生しました。ストレージ・プール *storage pool name* 内のコンテナ *container name* は、*container state* としてマーク付けされており、アクセシビリティおよびコンテンツを確認するために、監査を行う必要があります。

説明: コンテナで入出力エラーが発生したため、その

コンテナを使用できません。

システムの処置: サーバーはこのコンテナを使用しません。

ユーザーの処置: コンテナに対して AUDIT CONTAINER コマンドを実行します。

**ANR3661I** コンテナ *container name* およびこのコンテナに含まれる *# of data extents* 個のデータ・エクステントに、「損傷」のマークが付けられました。

説明: AUDIT CONTAINER コマンドによって「損傷」のマークが付けられたデータ・エクステントの結果を表示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3662E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* には、まだデータが含まれています。

説明: DELETE STGPOOL コマンドで、まだデータが含まれているストレージ・プールが見つかりました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールに属しているデータを削除し、コマンドを再発行してください。

**ANR3663W** *Source file(line number):* ストレージ・プール *storage pool name* は、クラウド・コンテナを削除できませんでした。

説明: DELETE STGPOOL コマンドでクラウド・コンテナを削除できませんでした。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーへの接続に有効な資格情報が使用されていること、および適切に通信できることを確認してください。

**ANR3664W** *Command:* ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* の **Network Attached Storage (NAS)** の目次 (TOC) がスキップされました。

説明: ターゲット複製サーバーで目次ストレージ・プールが定義されていないため、TOC はスキップされました。

システムの処置: ノード複製処理は続行されますが、TOC は複製されません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、パッ

クアップ・イメージが確実に複製されるようにするために、**UPDATE COPYGROUP** コマンドを使用して目次の宛先を指定し、**ACTIVATE POLICYSET** コマンドを発行して、更新されたポリシー・セットをアクティブにすることができます。これらの 2 つのコマンドは、ターゲット複製サーバーで発行する必要があります。次に、ソース複製サーバーでノード複製を開始します。

例えば、STANDARD コピー・グループを変更して目次データを TOCPOOL ストレージ・プールに保管する際に、ドメイン名が STANDARD で、ポリシー名が STANDARD である場合、以下のステップを実行します。

1. 次のコマンドを出します。

```
update copygroup standard standard standard
tocdestination=tocpool
```

2. 次のコマンドを出します。

```
activate policyset standard standard
```

3. ノード複製プロセスを開始します。例えば、ノードの名前が NODE1 である場合、ソース複製サーバーで次のコマンドを発行します。

```
replicate node node1
```

**ANR3665E** *Command:* ソース・ストレージ・プール *storage pool* は、変換に適格ではありません。

説明: データ重複排除が有効にされている1次順次アクセス・ストレージ・プールのみが、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールへの変換に適格です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、ソース・ストレージ・プールとして 1 次順次アクセス・ストレージ・プールを指定してください。

**ANR3666E** *Command:* 宛先ストレージ・プール *storage pool* は、変換に適格ではありません。

説明: コマンドで、変換に無効なターゲット・ストレージ・プールが指定されました。変換プロセスのターゲット・ストレージ・プールには、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールを指定する必要があります。停止した変換プロセスを再開する場合は、変換プロセスに最初に使用したターゲット・ストレージ・プールを指定する必要があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、ターゲット・ストレージ・プールとしてディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールを指定してください。再開する

場合は、最初に変換プロセスに使用したのと同じターゲット・ストレージ・プールを指定するか、ターゲット・ストレージ・プール・パラメーターを指定せずにコマンドを発行してください。

---

**ANR3667W** ポート *port name* で **FASP** によってサーバー *server name* に接続できません。

説明: 指定されたポートを使用して、ターゲット・サーバーとの接続を確立できませんでした。操作では、既存の TCP/IP セッションを使用してターゲット・サーバーと通信します。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーとターゲット・サーバーの活動記録ログを調査して、FASP バイト・ストリーム・アクティビティに関連する情報がないか確認してください。

---

**ANR3668E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool* のアクセス状態を変更する試行が無効です。

説明: ストレージ・プールのアクセス状態は、変換後に変更することはできません。さらに、ストレージ・プールは、変換状態に手動で変更することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR3669W** ストレージ・プール *storage pool* には、ポリシーまたは次のプール宛先として 1 つ以上の参照があります。ストレージ・プール変換が開始されると、そのストレージ・プールは新規データを取り込んだり保管したりすることができなくなります。

説明: 変換中のストレージ・プールに対する書き込みアクセスは制限されます。ストレージ・プールは、クライアント・セッションおよびサーバー・プロセスのどちらからの新規ファイルも保管することができません。変換されたストレージ・プールのサーバー操作は、制限されているか使用不可である可能性があります。ストレージ・プール変換は、開始された後に元に戻すことはできません。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: 'Y' を入力してストレージ・プールを変換するか、'N' を入力してプロセスを停止します。

---

**ANR3670W** ストレージ・プール *storage pool* は、変換済みまたは変換中であるため、新規データを受け入れることができません。

説明: ストレージ・プールの変換が進行中です。

システムの処置: ストレージ・プールは、クライアント・セッションおよびサーバー・プロセスのどちらからの新規ファイルも保管することができません。

ユーザーの処置: すべてのポリシーを更新して、変換中状態ではないストレージ・プールを宛先に指定する必要があります。UPDATE STGPPOOL コマンドを発行して NEXTstgpool パラメーターを指定することで、変換中状態ではないストレージ・プールを次のストレージ・プールとして指定してください。

---

**ANR3671E** ストレージ・プール *storage pool* は、変換済みまたは変換中であるため、ストレージ・プール間でのマイグレーションやレクラメーションを実行することはできません。

説明: ストレージ・プールは変換状態であるため、別のストレージ・プールにデータをマイグレーションあるいはレクラメーション処理することはできません。

システムの処置: 変換状態であるストレージ・プールに対する要求は拒否されます。

ユーザーの処置: MOVE DATA コマンドまたは MOVE NODEDATA コマンドを使用して、特定のデータ・グループをストレージ・プールの外部に移動します。データを移動できるのは、ストレージ・プールでアクティブな変換プロセスがない場合のみです。

---

**ANR3672E** **Aspera Fast Adaptive Secure Protocol (FASP)** テクノロジーを有効にするために必要なライセンス・ファイルが、*server\_loc* サーバー上で見つかりませんでした。

説明: ライセンス・ファイル (aspera-license) がソース・サーバーまたはターゲット・サーバーで見つからなかったため、Aspera FASP データ転送方式の試行が失敗しました。

システムの処置: システム操作は続行されます。ただし、有効なライセンス・ファイルがインストールされない限り、Aspera FASP テクノロジーを使用してデータを転送することはできません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. 有効なライセンス・ファイルを入手してインストールします。技術情報 7047418 (<http://>

www.ibm.com/support/  
docview.wss?uid=swg27047418) の手順に従いま  
す。

2. ノード複製操作またはデータ保護操作を再試行しま  
す。

---

**ANR3673E FASP** 関連ファイルのいずれかが無効で  
あるか破損しています。

説明: サーバーの複製で通信方式として **fasp** の使用を  
試行しましたが、ソース・サーバーまたはターゲット・  
サーバーのいずれかで有効な **aspera** ファイルが欠落し  
ています。

システムの処置: 通信方式を変更するか、有効なファイ  
ル・セットを入手してインストールしなければ、サー  
バーの複製を続行できません。

ユーザーの処置: Aspera ライセンス・ファイルを入手  
し、そのファイルを **aspera** ライセンスとしてサーバー  
の **bin** ディレクトリに入れ、Aspera 構成ファイルを  
**aspera.config** としてサーバーの **bin** ディレクトリに  
入れ、Aspera SDK の **faspstream** コンポーネントを  
**faspstream** としてサーバーの **bin** ディレクトリに入  
れてください。

---

**ANR3674E server\_loc** サーバー上で **aspera.conf** ファ  
イルが見つかりません。

説明: サーバーの複製で通信方式として **fasp** の使用を  
試行しましたが、ソース・サーバーまたはターゲット・  
サーバーのいずれかで適切な **aspera.conf** ファイルが欠  
落しています。

システムの処置: 通信方式を変更するか、有効な  
Aspera 構成ファイルを入手してインストールしなけれ  
ば、サーバーの複製を続行できません。

ユーザーの処置: Aspera 構成ファイルを入手し、その  
ファイルを **aspera.conf** としてサーバーの **bin** ディレ  
クトリに入れてください。

---

**ANR3675E server\_loc** サーバー上で **faspstream** 実行  
可能ファイルが見つかりません。

説明: サーバーの複製で通信方式として **fasp** の使用を  
試行しましたが、ソース・サーバーまたはターゲット・  
サーバーのいずれかで適切な **faspstream** 実行可能ファ  
イルが欠落しています。

システムの処置: 通信方式を変更するか、有効な  
Aspera **faspstream** 実行可能ファイルを入手してインス  
トールしなければ、サーバーの複製を続行できません。

ユーザーの処置: Aspera **faspstream** 実行可能ファイル  
を入手し、そのファイルを **faspstream** としてサーバー

の **bin** ディレクトリに入れてください。

---

**ANR3676E** ストレージ・プール **storage pool** は、ア  
クティブに変換中であるため、データの移  
動や削除を実行することはできません。

説明: ストレージ・プールの変換が進行中です。

システムの処置: ストレージ・プールは、コマンドを実  
行できません。

ユーザーの処置: このストレージ・プールに対するすべ  
ての **CONVERT STPGOOL** プロセスをキャンセルする  
か、それらが完了するまで待機してください。

---

**ANR3677E** ストレージ・プール **storage pool** は、変  
換済みまたは変換中であるため、マイグレ  
ーション操作やレクラメーション操作のタ  
ーゲットになることはできません。

説明: ストレージ・プールは変換状態であるため、マイ  
グレーションあるいはレクラメーションのターゲットに  
なることはできません。

システムの処置: ストレージ・プールに対する要求は拒  
否されます。

ユーザーの処置: 変換済みのストレージ・プールへのマ  
イグレーションまたはレクラメーション処理を試行して  
いるストレージ・プールを更新し、有効なターゲットを  
指すようにしてください。

---

**ANR3678E FASP** ドライバーを初期化できません -  
スレッドの作成に失敗しました。

説明: サーバーは、サーバー・スレッドの作成中にエラ  
ーが発生したため、FASP ドライバーを初期化できませ  
ん。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、  
FASP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: このエラーはメモリー不足から起こる  
こともあります。システムに、現在の活動をサポートす  
るだけの十分なページング・スペースがあることを確認  
してください。

---

**ANR3679W** コピー・ストレージ・プールまたは活動デ  
ータ・ストレージ・プールに保管されてい  
るデータを変換することはできません。  
**CONVERT STGPOOL** コマンドを発行  
すると、1 次ストレージ・プール **storage  
pool** に保管されているファイルのコピー  
は削除されます。災害復旧管理で使用され  
るコピー・ストレージ・プールおよび活動

データ・ストレージ・プールを更新する必要があります。

説明: ストレージ・プールの変換が正常に完了すると、既存のストレージ・プール内のすべてのデータおよびデータのコピーが削除されます。 **PROTECT STGPOOL** コマンドを使用してコンテナ・ストレージ・プール内のデータを保護するか、**REPLICATE NODE** コマンドを使用して他のタイプのストレージ・プールにデータを複製してください。 **SET DRMCOPYSTGPOOL** コマンドと **SET DRMACTIVEDATASTGPOOL** コマンドを使用して、災害後にデータをリカバリーするコピー・ストレージ・プールと活動データ・ストレージ・プールの名前を指定します。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: 'Y' を入力してストレージ・プールを変換するか、'N' を入力してプロセスを停止します。

---

**ANR3680W** ストレージ・プール *pool name* に対するストレージ・プール変換がキャンセルされました。

説明: 指定されたストレージ・プールに対する変換処理中に、変換プロセスがキャンセルされました。変換のキャンセル中に、サーバーがこのメッセージを複数回表示する可能性があります。

システムの処置: ストレージ・プール変換は終了し、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ストレージ・プールを再度変換するには、**CONVERT STGPOOL** コマンドを再発行します。

---

**ANR3681E** Aspera Fast Adaptive Secure Protocol (FASP) テクノロジーを有効にするために必要なライセンス・ファイルが、*server\_loc* サーバー上で有効期限切れになりました。

説明: ライセンス・ファイルがソース・サーバーまたはターゲット・サーバーで有効期限切れになったため、Aspera FASP データ転送方式の試行が失敗しました。

システムの処置: システム操作は続行されます。ただし、有効なライセンス・ファイルがインストールされない限り、Aspera FASP テクノロジーを使用してデータを転送することはできません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. 有効なライセンス・ファイル入手してインストールします。技術情報 7047418 (<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047418>) の手順に従います。

[www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047418](http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047418)) の手順に従います。

2. ノード複製操作またはデータ保護操作を再試行します。

---

**ANR3682W** コンテナ *container name* は空のため、移動できません。

説明: 空のコンテナを移動することはできません。

システムの処置: このコンテナはスキップされます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: データが含まれるコンテナに対して **MOVE CONTAINER** コマンドを再発行してください。

---

**ANR3683E** ソース・ストレージ・プール *storage pool* はディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールに変換中のため、名前を変更することはできません。

説明: ソース・ストレージ・プールの変換が進行中です。

システムの処置: ソース・ストレージ・プールは、変換処理中に名前を変更することができません。

ユーザーの処置: 変換が完了したら、**RENAME STGPOOL** コマンドを再発行してください。

---

**ANR3684I** Aspera Fast Adaptive Secure Protocol (FASP) テクノロジーを有効にするために必要な評価ライセンス *id* は、*days* 日後に有効期限切れになります。

説明: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーで Aspera FASP データ転送ライセンス・ファイルが有効期限切れになります。

システムの処置: システム操作は続行されます。ただし、長期ライセンスを入手しない限り、Aspera FASP テクノロジーを使用するデータ転送は定期的に停止されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. 有効なライセンス・ファイル入手してインストールします。技術情報 7047418 (<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047418>) の手順に従います。

**ANR3685W Aspera Fast Adaptive Secure Protocol (FASP)** テクノロジーを有効にするために必要なライセンス・ファイルが、今日有効期限切れになります。

説明: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーで Aspera FASP データ転送ライセンス・ファイルが有効期限切れになります。

システムの処置: システム操作は続行されます。ただし、長期ライセンスを入手しない限り、Aspera FASP テクノロジーを使用するデータ転送は定期的に停止されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. 有効なライセンス・ファイルを入手してインストールします。技術情報 7047418 (<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047418>) の手順に従います。

**ANR3686W** ソース・ストレージ・プール *source\_pool* が、災害復旧管理によって参照されています。変換後、データをソース・ストレージ・プールにリストアすることはできず、災害復旧は失敗する可能性があります。

説明: 変換が開始されると、ソース・ストレージ・プールは、新規データを取り込んだり保管したりすることができません。 **QUERY DRMSTATUS** コマンドおよび **SET DRMPRIMSTGPOOL** コマンドを使用して、災害復旧管理により使用される 1 次ストレージ・プールを表示および更新してください。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: 'Y' を入力してストレージ・プールを変換するか、'N' を入力してプロセスを停止します。

**ANR3687E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - コンテナ・トランザクション・タイムアウトが発生しました。

説明: タイムアウト期間が満了する前に指定されたクライアントによりトランザクションがコミットされなかったため、サーバーがそのクライアントのデータベース更新トランザクションを終了します。タイムアウト期間は **CONTAINERRESOURCE TIMEOUT** オプションで制御されます。

システムの処置: 指定されたセッションは終了してサー

バーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: オプションによって指定された時間フレーム内に、この操作でトランザクションがコミットされなかった理由を判別します。トランザクションをコミットするための取り込み操作に、より長い期間を確保するため、オプションの値を増やすことが必要な場合があります。

**ANR3688E** ストレージ・プール *storage pool name* にデータを変換中にファイルがスキップされました。ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name* のファイル名 *file name* がそのサイズのために除外されます。

説明: サーバーは、指定されたファイルの変換をスキップします。ファイルのサイズが、**MAXSIZE** パラメーター設定に基づいてストレージ・プールに許可されている値よりも大きくなっています。

システムの処置: ファイルの変換プロセスはスキップされました。

ユーザーの処置: **CONVERT STGPOOL** コマンドを指定して、ターゲット・ストレージ・プールの最大ファイル・サイズを増やしてください。許可された管理者は、**UPDATE STGPOOL** コマンドを出して **MAXSIZE** パラメーターを大きくすることができます。このファイルは、大きなオブジェクトの保管を許可する別のストレージ・プールに移動することもできます。

**ANR3701E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーに接続できません。

説明: クライアント・システムがクラウド・サーバーに接続されていないため、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーに接続するための有効な資格情報を指定していること、およびクライアント・システムがクラウド・サーバーと通信できることを確認してください。

**ANR3702E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーに接続できません。

説明: **DEFINE STGPOOL** コマンドで指定されたクラウド・サービス・プロバイダーが無効であるため、クラウド・プロバイダーへの接続が失敗しました。



システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーに接続するための有効な資格情報を指定していること、およびクライアント・システムがクラウド・サーバーと通信できることを確認してください。

---

**ANR3703E** *Source file(line number):* クラウド・プロバイダーに接続できません。

説明: クラウド・プロバイダーへの接続を試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置:

---

**ANR3704E** *Source file(line number):* クラウド・ストレージ・プールの **jvm** をロードできません。

説明: クラウド・ストレージ・プールの **jvm** のロードを試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置:

---

**ANR3705E** *Source file(line number): dsmcloud.jar* ファイルの検索中にエラーが発生しました。

説明: クラウド・ストレージ・プールの **dsmcloud.jar** ファイルのロードを試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置:

---

**ANR3706W** オンライン再編成から除外された表 *table name* で再編成が必要です。

説明: 指定された表は、DISABLEREORGTABLE サーバー・オプションによってオンライン再編成から除外されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 必要なときに表の再編成に失敗すると、時間の経過とともにデータベースが増大し、サーバー・パフォーマンスが低下する可能性があります。これらのいずれかの症状が発生した場合は、指定された表のオフライン再編成を実行することを検討してください。手順については、技術情報 1683633

([http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21683633#offline\\_table\\_reorg](http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21683633#offline_table_reorg)) の

オフラインでの表の再編成に関するセクションを参照してください。

---

**ANR3707E** ストレージ・プール・ディレクトリーのオープン時、またはストレージ・プール・ディレクトリーへのデータの書き込み時に予期しないエラーが発生しました。ストレージ・プール *Pool Name* 内のストレージ・プール・ディレクトリー *Directory Name* のアクセス・モードは、*Access Mode* に変更されています。

説明: 指定されたストレージ・プール・ディレクトリーのアクセス・モードは変更されています。

システムの処置: クライアント・ノードがストレージ・プールにアクセスできず、サーバー・プロセスを完了できません。

ユーザーの処置: ファイル・システム上でストレージ・プール・ディレクトリーにアクセス可能であることを確認します。アクセス・モードを変更するには、UPDATE STGPOOLDIR コマンドを発行して ACCESS パラメーターを指定します。

---

**ANR3708E** このオペレーティング・システムでは、ストレージ・プール *stgpool name* をクラウド・ストレージ・プールとして定義することができません。

説明: このオペレーティング・システムでこのコマンドを処理することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect と互換性があるオペレーティング・システムを使用して、コマンドを発行してください。IBM Spectrum Protect でサポートされているオペレーティング・システムについては、技術情報 1243309「Overview - IBM Spectrum Protect Supported Operating Systems」(<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21243309>) を参照してください。

---

**ANR3709W** コンテナ *container name* は、ファイル・システムから永久に削除されています。

説明: 指定されたコンテナをデータベース内で見つけることができませんでした。この理由は、コンテナがファイル・システムから削除されたためです。

システムの処置: コンテナを使用することはできませんが、システム操作は続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR3710I** このコマンドは、コンテナ *container name* をファイル・システムから削除します。

説明: 指定されたコンテナをデータベース内で見つけることができないため、このコンテナはファイル・システムから削除されます。

システムの処置: アクションを確認するプロンプトが表示されます。

ユーザーの処置: ファイル・システムからコンテナを削除する場合は「Y」、コマンドを取り消す場合は「N」を入力します。

---

**ANR3711E** コンテナ *container name* は、ファイル・システムから削除されません。

説明: コンテナのヘッダーを検証できなかったため、このコンテナは削除されません。

システムの処置: システムは操作を続行します。

ユーザーの処置: コンテナをファイル・システムから手動で削除するには、ファイルを削除します。サーバーが AIX、Linux、あるいは Solaris システムにインストールされている場合は、コマンド `rm container_name` を発行します。サーバーが Windows システムにインストールされている場合は、コマンド `del container_name` を発行します。

---

**ANR3712E** *Command:* ストレージ・プール  
**NEXTSTGPOOL:** *storage pool name* はクラウド・プールです。

説明: 示されたコマンドは、クラウド・プールであるストレージ・プールの名前を指定しています。このコマンド構文では、非コンテナ・ストレージ・プールにクラウド・ストレージ・プール名を指定することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR3713W** コンテナ *Container Name* は削除対象としてマーク付けされましたが、ストレージ・プール・ディレクトリー *Stgpool Directory* は使用不可です。

説明: コンテナにはチャックがなく、削除対象としてマーク付けされました。コンテナのストレージ・プール・ディレクトリーのアクセス権が無効であるため、削除は失敗しました。

システムの処置: システムは、ストレージ・プール・デ

ィレクトリーのアクセス権が有効になるまで、このコンテナを削除しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プール・ディレクトリーのアクセス権を読み取り/書き込みに更新し、コンテナの削除が再度行われるまで待ちます。

---

**ANR3714E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド **URL url** のクラウド・サービス・プロバイダーに接続できません。

説明: DEFINE STGPOOL コマンドで指定されたクラウド URL を解決できないため、クラウド・サービス・プロバイダーへの接続が失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: クラウド URL、クラウド・ストレージ・プールのユーザー ID とパスワードが正しいこと、および正しく入力されていることを確認し、クラウド・プロバイダーがアクティブであることを確認してください。

クラウド・プロバイダーと通信せずにクラウド・ストレージ・プールから損傷したデータを削除するには、AUDIT CONTAINER ACTION=MARKDAMAGED コマンドを発行して、コンテナ上のすべてのデータを損傷ありとしてマークします。

---

**ANR3715E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、HTTP 状況「UNAUTHORIZED」で失敗しました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が失敗しました。クラウド・サービス・プロバイダーの資格情報に、このエラーを生成したアクティビティを実行するための適切な権限がありません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーに接続するために指定された資格情報のアクセス権が適切であることを確認してください。

---

**ANR3716E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、HTTP 状況コード *http\_status\_code* で失敗しました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が失

敗しました。クラウド・サービス・プロバイダーは、非成功 HTTP 状況コードで応答しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: この状況が発生する原因となった可能性のある次の HTTP 状況コードのリストを確認してください:

- 401 無許可: 要求は有効ですが、認証が要求され失敗したか、または認証が提供されませんでした。
- 403 禁止: 要求は有効ですが、サーバーが要求への応答を拒否しました。
- 404 未検出: 要求されたリソースが見つかりませんでしたが、後で再度使用可能になる可能性があります。
- 409 競合: 要求内での競合のために要求を処理できませんでした。

HTTP 状況コードについての詳細は、オブジェクト・ストレージ・プロバイダーにお問い合わせください。

**ANR3717E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、**HTTP** 状況「**CREDENTIAL\_ERROR**」で失敗しました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が失敗しました。クラウド・サービス・プロバイダーの資格情報が存在しません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーに提供された資格情報が、クラウド・サービス・プロバイダー上に存在していることを確認してください。

**ANR3718E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド接続が失われたために、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が失敗しました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が失敗しました。クラウド・サービス・プロバイダーへの接続が失われました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーの電源がオンになっていることを確認してください。

**ANR3719E** *container\_name* クラウド・コンテナが存在しないために、*pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作が失敗しました。

説明: クラウド・プロバイダーへの要求が失敗しました。要求されたクラウド・コンテナが存在しません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: コンテナがクラウド・サーバーから削除されていないことを確認してください。

クラウド・プロバイダーと通信せずにクラウド・ストレージ・プールからデータを削除したい場合は、**AUDIT CONTAINER ACTION=MARKDAMAGED** コマンドを発行して、コンテナ上のすべてのデータに損傷のマークを付けてから、**ACTION=REMOVEDAMAGED FORCEORPHANDBDEL=YES** を指定して **AUDIT CONTAINER** コマンドを発行し、データを削除します。

**ANR3720E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、**HTTP** プロトコル・エラーで失敗しました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が **HTTP** エラーで失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3721E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、内部エラーで失敗しました。

説明: 内部エラーのために、クラウド・プロバイダーへの要求が失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3722E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、作成エラーで失敗しました。

説明: 出力を XML ファイルに書き込めないため、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3723E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・メトリックを取得する要求が、内部エラーで失敗しました。

説明: 内部エラーのために、クラウド・メトリックを取得する要求が失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR3724E** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name* のデータは、サーバー *target server name* 上で保護されません。

説明: 指定されたストレージ・プールは、複製ターゲット・サーバーによって保護されていません。または以前に発行された REPAIR STGPOOL コマンドによって、複製されたターゲット・ストレージ・プールの保護設定が無効にされました。その結果、複製されたターゲット・ストレージ・プールに PROTECT STGPOOL コマンドが発行されるまで、REPAIR STGPOOL コマンドを使用して複製されたターゲット・ストレージ・プールからの修復を行うことはできません。REPAIR STGPOOL コマンドは、ローカル・ターゲット・ストレージ・プールには影響を与えません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ターゲット複製サーバーがまだ設定されていない場合、SET REPLSERVER コマンドを発行して、ストレージ・プールの保護に使用されるターゲット複製サーバーを指定します。SET REPLSERVER コマンドで指定される名前は、有効なサーバー定義に関連付けられている必要があります。指定されたストレージ・プールに対して、値 TYPE=REPLSERVER を指定して PROTECT STGPOOL コマンドを発行します。例えば、ソース・ストレージ・プールの名前が POOL1 の場合、次のコマンドを発行します。protect stgpool pool1 type=replserver このコマンドを発行して、指定されたストレージ・プールの保護設定を復元します。

---

**ANR3725E** 以下のストレージ・プール *storage pool name* のクラウド・プロバイダー上のオブジェクトは削除されません。

説明: クラウド・プロバイダーは、クラウド・オブジェクトの削除に使用できません。

システムの処置: サーバーは、データベースからオブジェクトを削除します。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーの電源がオンになっていること、および資格情報が正しいことを確認してください。クラウド・サーバー上に残ったクラウド・オブジェクトを削除するには、AUDIT CONTAINER コマンドを発行します。

---

**ANR3726I** すべてのコンテナ・ストレージ・プールに対して **AUDIT DATABASE** コマンドが処理中です。このプロセスが行われている間は、ストレージ・プール操作を完了しないでください。

説明: AUDIT DATABASE コマンドは、データベース内の複数のテーブルをスキャンします。AUDIT DATABASE コマンドの発行時に処理中であったストレージ・プール操作が、監査結果に影響する可能性があります。

システムの処置: AUDIT DATABASE コマンドを続行するかを確認してください。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合は「Y」、取り消す場合は「N」を入力します。

---

**ANR3727E** **AUDIT CONTAINER:** このクラウド・コンテナ・ストレージ・プールではローカル・ストレージが使用不可であるため、このストレージ・プール上で **STGPOOLDIRECTORY** パラメーターを使用することはできません。

説明: コマンドは指定されたとおりに処理できません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: クラウド・コンテナ・ストレージ・プールでローカル・ストレージが使用可能であることを確認し、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3728E** **MOVE CONTAINER:** コンテナ *container name* は移動できません。

説明: 指定されたコンテナは、クラウド・コンテナです。MOVE CONTAINER コマンドは、クラウド・コンテナには適用されません。

システムの処置: コマンドは失敗し、サーバー操作が続行されます。

ユーザーの処置: 別のタイプのコンテナを移動対象として選択します。

**ANR3729I** **AUDIT CONTAINER** コマンド・プロセス *process id* が完了しました。 *delete object count* 個の損傷オブジェクトが削除されました。 *skip object count* 個の損傷オブジェクトがスキップされました。 *delete cloud orphan object count* 個のオーファン・オブジェクトがクラウド・コンテナ・ストレージ・プール内で削除されました。 *skip cloud orphan object count* 個のオーファン・オブジェクトがクラウド・コンテナ・ストレージ・プール内でスキップされました。

説明: **AUDIT CONTAINER** コマンドを発行して、**ACTION=REMOVEDAMAGED** パラメーターを指定した場合、

以下の情報が表示されます。

- 削除された損傷オブジェクトの数。
- スキップされた損傷オブジェクトの数。
- 削除されたクラウド・オーファン・オブジェクトの数。
- スキップされたクラウド・オーファン・オブジェクトの数。

処理されるオブジェクトは、インベントリー・ファイル、データ・エクステンツ、あるいはその両方です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3730E** コンテナの監査操作 *process\_id* は、コンテナ *container\_name* のクラウド・プロバイダーと通信できないために失敗しました。

説明: **AUDIT CONTAINER** コマンドは、クラウド・プロバイダーに正しい資格情報が提供されていないか、クラウド・プロバイダーが非アクティブであるために失敗しました。

システムの処置: **AUDIT CONTAINER** コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: クラウド・ストレージ・プールのユーザー ID とパスワードが正しいこと、および正しく入力されていることを確認し、クラウド・プロバイダーがアクティブであることを確認してください。

クラウド・プロバイダーと通信せずにクラウド・ストレージ・プールから損傷したデータを削除するには、**AUDIT CONTAINER ACTION=MARKDAMAGED** コマンドを発行して、コンテナ上のすべてのデータを損傷ありとしてマークします。

**ANR3731E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、**503 HTTP** 状況コードで失敗しました。

説明: この状況コードは、操作を処理できないことを示します。クラウド・プロバイダーは、これ以降の着信要求を処理できません。ハードウェア制限があるか、構成設定に問題がある可能性があります。

システムの処置: サーバーは稼働していますが、クラウド・サービス・プロバイダーが要求に応答できません。

ユーザーの処置: システム管理者に、クラウド・サービス・プロバイダーの構成設定が正しいこと、および追加の要求を受け入れるのに十分な専用ハードウェアがあることを確認してください。

- Proxy-server.conf; [default] node\_timeout = 120, [app:proxy-server] conn\_timeout = 120.
- Object-server.conf; [default] node\_timeout = 60, [app:object-server] set node\_timeout = 60.

各 .conf ファイルで、'workers = auto' を設定するか、この構成をシステム上のコア数以下の値に設定します。

**ANR3732E** 暗号鍵が一致しないため、ストレージ・プール *poolname* を更新できません。

説明: このプールで暗号化が有効にされたため、マスター暗号鍵が変更されました。元のマスター暗号鍵がないと、ストレージ・プールを更新できません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: **BACKUP DB** コマンドを使用してサーバー・マスター鍵を保護した場合は、**RESTORE DB** コマンドを使用して、元のサーバー・パスワード・ファイル (dsmserv.pwd) をリストアします。

**ANR3733W** サーバー・パスワードが設定されていないため、マスター暗号鍵を生成できません。

説明: マスター暗号鍵がないと、ストレージ・プールの暗号化は使用不可になります。

システムの処置: マスター暗号鍵は生成されません。

ユーザーの処置: **SET SERVERPASSWORD** コマンドを使用して、サーバー・パスワードを設定します。パスワードを設定した後、マスター鍵は自動的に生成されます。

**ANR3734E** データベース・バックアップを使用して暗号鍵を保護するようにサーバーが構成されていないため、ストレージ・プールの暗号化を有効にすることができませんでした。

説明: ストレージ・プールの暗号化を有効にするために、マスター暗号鍵を保護するようにデータベース・バックアップを構成する必要があります。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: データベース・バックアップ時にサーバー・マスター暗号鍵を保護するために、SET DBRECOVERY コマンドで PROTECTKeys=Yes パラメーターおよび PASSword パラメーターを指定してください。

**ANR3735W** *other server* 上の *stgpool name* への *this server* 上の *stgpool name* のストレージ・プール保護プロセスは完了しました。一部のエクステントが保護されていない可能性があります。保護されたエクステント: *extents to protect* のうち *extents protected*。保護に失敗したエクステント: *extents failed to protect*。削除されたエクステント: *extents to delete* のうち *extents deleted*。保護された容量: *amount to protect* のうち *amount protected*。失敗した容量: *amount transferred*。転送された容量: *amount transferred*。経過時間: *elapsed time*。

説明: ストレージ・プールの保護プロセスは完了しましたが、競合操作のために一部のエクステントがスキップされた可能性があります。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 保護されたエクステント: ターゲット・サーバー上の一致するエクステントにリンク付けることで正常に保護されたエクステント数。
- 保護に失敗したエクステント: ターゲット・サーバーへの保護のプロセス中に正常に保護されなかったエクステント数。
- 削除されたエクステント: ソース・サーバー上にエクステントが存在しなかったため、あるいはターゲット・サーバー上でエクステントは損傷しており再送信が必要であったために、ターゲット・サーバーから正常に削除されたエクステント数。
- 保護された容量: ターゲット・サーバー上の一致するエクステントにリンク付けることで正常に保護されたバイト数。
- 失敗した容量: 保護されなかったバイト数。詳しくは、前のメッセージを参照してください。

- 転送された容量: このプロセス中にターゲット・サーバーに送信されたバイト数。ターゲット・サーバーに既にエクステントが存在していた場合、あるいは圧縮が有効にされている場合は、転送された容量が保護された容量より小さくなる可能性があります。

- 経過時間: 処理の実行にかかった時間。

ユーザーの処置: すべてのデータ・エクステントを確実にスキャンして保護するには、PROTECT STGPOOL コマンドを再発行します。

**ANR3736E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で *key* キーを使用して要求されたデータが、*container\_name* クラウド・コンテナで見つかりませんでした。コンテナは内容の検証のために監査する必要があります。

説明: クラウド・サービス・プロバイダー上で要求されたデータが見つかりませんでした。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: コンテナまたはストレージ・プールに対して AUDIT CONTAINER コマンドを実行します。

**ANR3737E** *stgpool\_name* ストレージ・プールの *container\_name* コンテナ内にある 1 つ以上のオーファン・エクステントは、エクステントをクラウドから削除できなかったため、スキップされました。

説明: 1 つ以上のオーファン・エクステントは、クラウドから削除できなかったため、データベースから除去されませんでした。そのため、クラウド・サービス・プロバイダーへの接続が不十分になる可能性があります。

システムの処置: クラウドから削除されなかったオーファン・エクステントはスキップされます。そのため、これらのオブジェクトはデータベースでオーファンのまま残ります。

ユーザーの処置: クラウド URL、クラウド・コンテナ・ストレージ・プールのユーザー ID とパスワードが正しいこと、および正しく入力されていることを確認してください。また、クラウド・プロバイダーがアクティブであることを確認してください。

ACTION=REMOVEDAMAGED パラメーターを指定して AUDIT CONTAINER コマンドを再発行し、オーファン・エクステントを削除してください。

クラウド・プロバイダーが非アクティブであるかアクセス不能であるが、オーファン・エクステントへの参照をデータベースから削除する必要がある場合は、AUDIT CONTAINER コマンドを再発行して、

ACTION=REMOVEDAMAGED パラメーターおよび FORCEORPHANDBDEL=YES パラメーターを指定してください。

---

**ANR3738I** Command: ストレージ・プール *storage pool name* には、まだ **1** つ以上のコンテナが含まれています。

説明: DELETE STGPOOL コマンドで、まだ **1** つ以上のコンテナが含まれているストレージ・プールが見つかりました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 空のコンテナは、数分おきに自動的に削除されます。空のコンテナが自動削除されるまで待機してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3740E** エクステントをクラウドから削除できなかったために、ストレージ・プール *stgpool\_name* 内の **1** つ以上のオフファン・エクステントがスキップされました。

説明: **1** つ以上のオフファン・エクステントは、クラウドから削除できなかったため、データベースから除去されませんでした。そのため、クラウド・サービス・プロバイダーへの接続が不十分になる可能性があります。

システムの処置: クラウドから削除されなかったオフファン・エクステントはスキップされます。そのため、これらのオブジェクトはデータベースでオフファンのまま残ります。

ユーザーの処置: クラウド URL、クラウド・コンテナ・ストレージ・プールのユーザー ID とパスワードが正しいこと、および正しく入力されていることを確認してください。また、クラウド・プロバイダーがアクティブであることを確認してください。

ACTION=REMOVEDAMAGED パラメーターを指定して AUDIT CONTAINER コマンドを再発行し、オフファン・エクステントを削除してください。

クラウド・プロバイダーが非アクティブであるかアクセス不能であるが、オフファン・エクステントへの参照をデータベースから削除する必要がある場合は、AUDIT CONTAINER コマンドを再発行して、ACTION=REMOVEDAMAGED パラメーターおよび FORCEORPHANDBDEL=YES パラメーターを指定してください。

---

**ANR3741E** ストレージ・プール *stgpool\_name* を更新できませんでした: クラウド・タイプ *current\_cloud\_type* からクラウド・タイプ *new\_cloud\_type* に変更できません。

説明: クラウド・タイプの変更が非互換であるために、

UPDATE STGPOOL コマンドでエラーが発生しました。予定外のエラーを最小限にするために、現行のクラウド・タイプから指定されたクラウド・タイプに変更することができません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 引き続きストレージ・プールを更新する必要がある場合は、UPDATE STGPOOL コマンドを再発行し、CLOUDTYPE パラメーターが、ストレージ・プールの現行のクラウド・タイプと互換性のある値に設定されていることを確認してください。あるいは、CLOUDTYPE パラメーターの値を指定しないというオプションもあります。

---

**ANR3742W** このコマンドは、ストレージ・プール *stgpool\_name* の更新を試行します。このコマンドで更新される **1** つ以上の属性は、このストレージ・プール内の既存のデータにアクセスできるかに影響する場合があります。

説明: このコマンドで指定されたパラメーターを付けて UPDATE STGPOOL コマンドを実行すると、既存のデータにアクセスできない場合があります。

システムの処置: システムは、コマンドを続行するかどうかを管理者に確認します。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合は「Y」、取り消す場合は「N」を入力します。

---

**ANR3743E** *pool\_name* ストレージ・プールに対する *operation\_name* 操作で、クラウド・サービス・プロバイダーへの要求が、例外で失敗しました。

説明: クラウド・クライアントで、*operation\_name* クラウド操作の処理中に例外が発生しました。

システムの処置: *operation\_name* クラウド操作は終了し、サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを使用して、このエラーの前のメッセージを調査し、FFDC (初期障害データ・キャプチャー機能) ファイルを調査して、操作が失敗した原因を判別します。失敗の原因が見つかって解決できた場合は、コマンドを再発行してください。失敗の原因が見つからない場合は、サービス担当員に連絡して問題解決の支援を依頼してください。

**ANR3744I** Aspera FASP 高速データ転送のセッション *session number* が開始され、複製セッション *session number* とペアになりました。

説明: 指定されたサーバーによって、Aspera FASP 高速データ転送の新規サーバー・セッションが開始されました。メッセージには、親セッション番号が含まれています。

システムの処置: サーバーは、FASP 通信セッションを開始して、プロセスにサービスを提供します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3745I** Aspera FASP 高速データ転送のセッション *session number* が終了しました。

説明: Aspera FASP 高速データ転送セッションが正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3746E** この地域またはアクセス・プールに *container\_name* バケットまたはボールドが存在しないため、*pool\_name* ストレージ・プールでの *operation\_name* 操作が失敗しました。

説明: クラウド・プロバイダーへの要求が失敗しました。要求されたバケットまたはボールドが、ストレージ・プールによって指された地域またはアクセス・プールに存在していません。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: このストレージ・プールの

CLOUDURL 値が、バケットまたはボールドにアクセスできる場所を指していることを確認してください。

**ANR3747E** *command: parameter* パラメーターは、このプラットフォームまたはこの構成ではサポートされません。

説明: プラットフォームが指定されたパラメーターに必要な機能をサポートしていないか、サーバーの構成でその機能を使用可能にされていないため、指定されたとおりにコマンドを処理することができません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: コマンド構文、プラットフォーム、および構成を確認して、コマンドを再発行してください。

**ANR3748E** Aspera Fast Adaptive Secure Protocol (FASP) テクノロジーを有効にするために必要なライセンス・ファイルが、*server\_loc* サーバー上で有効期限切れになりました。

説明: ライセンス・ファイルがソース・サーバーまたはターゲット・サーバーで有効期限切れになったため、Aspera FASP データ転送方式の試行が失敗しました。

システムの処置: システム操作は続行されます。ただし、有効なライセンス・ファイルがインストールされない限り、Aspera FASP テクノロジーを使用してデータを転送することはできません。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. 有効なライセンス・ファイルを入手してインストールします。技術情報 7047418 (<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27047418>) の手順に従います。
2. ノード複製操作またはデータ保護操作を再試行します。

**ANR3749I** 現在 Aspera 評価ライセンスが使用して FASP 転送方式を許可しています。 .

説明: Aspera FASP 高速データ転送セッションが 30 日間の Aspera 評価ライセンスを使用して確立されました。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 30 日間の評価ライセンスは、そのライセンスが生成された日から 30 日で有効期限が切れま

**ANR3751E** この地域またはアクセス・プールに *container\_name* バケットまたはボールドが存在しないため、指定された資格情報は検証に失敗しました。

説明: このバケットまたはボールドを使用するには、CLOUDURL パラメーターが、このバケットまたはボールドが存在する地域またはアクセス・プールに一致している必要があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このストレージ・プールの

CLOUDURL 値が、バケットまたはボールドにアクセスできる場所を指していることを確認してください。



---

**ANR3825E** *Command:* 転送方式 *transfer method* は無効です。

説明: 転送方式は、*fasp* をサポートするプラットフォームでは、*tcp* または *fasp* のいずれかでなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 保護するプールの **PROTECT** **STGpool** パラメーターを更新してください。

---

**ANR3826E** *Command:* 転送方式 *transfer method* は無効です。

説明: 転送方式は、*fasp* をサポートするプラットフォームでは、*tcp* または *fasp* のいずれかでなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 複製を試行しているノードの **Replicate Node** パラメーターを更新してください。

---

**ANR3827E** アクセス・プールにボルト・テンプレートがなかったため、ストレージ・プール *pool\_name* にコンテナを作成する要求が失敗しました。

説明: デフォルトのボルト・テンプレートが指定されなかったか、デフォルトのボルト・テンプレートが指定されたアクセサーにデプロイされなかったため、コンテナを作成する要求は失敗しました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Cloud Object Storage *dsNet* でデフォルトのボルト・テンプレートが指定されていることを確認し、このストレージ・プールが指すアクセサーを含むアクセス・プールにデフォルトのボルト・テンプレートがデプロイされていることを確認してください。その後、コマンドを再実行してください。

---

**ANR3828E** *command* は、**CLOUDURL** パラメーターで複数の **Amazon** エンドポイントを指定しました。

説明: コマンドは、**Amazon** オブジェクト・ストレージ・システムの複数のエンドポイントをリストした **CLOUDURL** パラメーターを指定しました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理できません。

ユーザーの処置: **CLOUDURL** パラメーターで 1 つの **Amazon** エンドポイントのみを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3829I** ストレージ・プール *stgpool\_name* に対する **AUDIT CONTAINER** プロセス *process\_id* が終了しました。  
*inspected\_extents* 個のクラウド・オブジェクトが検査され、*orphaned\_extents* 個のデータ・エクステントがオーファンとしてマークされました。

説明: オーファン・エクステントの識別によって、以下の情報が生成されました。

- 検査されたクラウド・オブジェクトの数
- オーファン・データ・エクステントの数

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: クラウド・コンテナからオーファン・エクステントを削除するには、**AUDIT CONTAINER** コマンドを発行して、**ACTION=REMOVEDAMAGED** パラメーターを指定します。

---

**ANR3830E** *command* コマンドの **CLOUDURL** パラメーターで、同じエンドポイントが複数回指定されました。

説明: コマンドに、1 つ以上のエンドポイントを複数回指定した **CLOUDURL** パラメーターが含まれています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理できません。

ユーザーの処置: 各エンドポイントを 1 回だけ指定した **CLOUDURL** パラメーターを使用して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR3831E** **FASP** セッション *Session identifier* は、未解決の **FASP** 読み取りまたは書き込みのタイムアウト・スレッドが *timeout value* 秒超過したので打ち切られました。

説明: サーバーとパートナー・システムとの間の **FASP** セッションでは、データの転送時に入出力タイムアウト条件が発生しました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、**Aspera FASP** を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。サーバー・オブション **FaspSessTimeout** を適宜調整してください。

---

**ANR3832I** ストレージ・プール *storage pool name* のローカルからクラウドへの転送プロセス *process identifier* が開始しました。

説明: プロセスは、ローカル・ストレージからクラウドへのデータの転送を開始しました。

システムの処置: 指示されたプロセスが開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3833I** ストレージ・プール *storage pool name* のローカルからクラウドへの転送プロセス *process identifier* が完了しました。

説明: ローカル・ストレージからクラウドへのデータの転送プロセスが完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3834I** コンテナ *container name* は空であり、プロセス *process identifier* の間に転送されません。

説明: ローカル・ストレージからクラウドへの転送プロセスでは、空のコンテナはクラウドに移動されません。

システムの処置: ローカル・ストレージのコンテナは、転送プロセス時にスキップされました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR3835E** *Command: targetservername* への **aspera** 接続の検証プロセスは失敗しました。

説明: aspera の検証の初期化中にエラーが起きました。

システムの処置: **validate aspera** コマンドは終了しますが、サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR3836I** *srcserver* から *targetserver* への **Aspera FASP** 接続の検証。 **FASP** を使用して転送された容量: *faspmb* MB/秒。 **TCP/IP** を使用して転送された容量: *tcpipmb* MB/秒。待ち時間: *latency* マイクロ秒。状況: *status*。ライセンスの有効期限が切れるまでの日数: *expires*。

**ANR3998W** **CONVERT STGPOOL** は、ボリューム *volume* 上の以下の変換不能ファイルをスキップします: ノード *node\_name*、タイプ *type*、ファイル・スペース *file\_space*、ファイル名 *file\_name*

説明: 変換処理中に、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールによってサポートされないタイプのファイルが見つかりました。

システムの処置: このファイルは変換されません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの状態が「変換済み」になった後に、このボリュームで **MOVE DATA** コマンドを発行して、変換不能ファイルを別のストレージ・プールに移動してください。

**ANR3999E** データベース・ロードの妥当性検査の失敗: *numRecs* レコードおよび *numBV* ビット・ベクトルを予期 - *actNumRecs* レコードおよび *actNumBV* ビット・ベクトルをロード

説明: データベース・ロード処理が終了し、ロードされたレコード数、ビット・ベクトル数、またはレコード数とビット・ベクトル数の妥当性検査に失敗しました。

システムの処置: **LOAD DB** 処理が障害で完了しました。サーバー・データベースが使用可能状態になっていません。

ユーザーの処置: 考えられる多くの原因が存在します。この状態から回復するには、まずデータベース・ロード処理をやり直してください。エラーが再発した場合には、活動記録ログまたは他のシステム・ログを調べて、ハードウェアまたはメディアのエラーがないか確認してください。ハードウェアまたはメディアのエラーがある場合には、そのエラーを訂正して、ロード処理をやり直してください。ハードウェアまたはメディアのエラーが存在しない場合には、サーバー・データベースのダンプまたはアンロードにおいてエラーが検出されたため、サーバー・データベース・イメージのダンプ/アンロードが使用不可になったこと、あるいは DB ロード処理の論理にエラーがあることが考えられます。援助が必要であればサービス担当員に連絡してください。

**ANR4000I** サーバー *other server* 上の *stgpool name* へのサーバー *this server* 上の *stgpool name* のストレージ・プール保護プロセスは完了しました。保護されたエクステンツ: *extents to protect* のうち *extents protected*。保護に失敗したエクステンツ: *extents failed to protect*。保護された容量: *amount to protect* のうち *amount*

*protected*。保護に失敗した容量: *amount not protected*。削除されたエクステント: *extents to delete* のうち *extents deleted*。削除に失敗したエクステント: *extents failed to delete*。移動されたエクステント: *extents to move* のうち *extents moved for volume reclamation*。移動に失敗したエクステント: *extents not moved for volume reclamation*。移動した容量: *amount to move* のうち *amount moved for volume reclamation*。移動に失敗した容量: *amount not moved for volume reclamation*。経過時間: *elapsed time*。

説明: ストレージ・プールの保護プロセスが完了しました。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 保護されたエクステント: ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに正常にコピーされたエクステント数。
- 保護された容量: ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールにコピーすることで正常に保護されたバイト数。
- 失敗した容量: 保護されなかったバイト数。詳しくは、前のメッセージを参照してください。
- 削除されたエクステント: ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールから削除され、コピー・コンテナ・ストレージ・プールから除去されているエクステント数。
- 移動されたエクステント: ボリュームがレクラメーション処理の対象であったために、ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに正常に再コピーされたエクステント数。
- 移動された容量: ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに正常に再コピーされたバイト数。
- 移動に失敗した容量: 再コピーされなかったバイト数。詳しくは、前のメッセージを参照してください。
- 経過時間: 処理の実行にかかった時間。

---

**ANR4001I** サーバー *other server* 上の *stgpool name* へのサーバー *this server* 上のストレージ・プール *stgpool name* 保護のプレビューは完了しました。保護されるエクステント: *extents to be protected*。保護される容量: *amount to be protected*。削除されるエクステント: *extents to be deleted*。移動されるエクステント: *extents to be moved for volume reclamation*。移動される容量:

*amount to be moved for volume reclamation*。

説明: ストレージ・プール保護のプレビューが完了しました。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 保護されるエクステント: ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールにコピーすることで保護する必要があるエクステント数。
- 保護される容量: ターゲット・サーバー上の一致するエクステントにリンク付けることで保護する必要があるバイト数。
- 削除されるエクステント: コピー・コンテナ・ストレージ・プールから除去する必要がある、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールから削除されたエクステント数。
- 移動されるエクステント: ボリュームがレクラメーション処理の対象であったために、ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに再コピーする必要があるエクステント数。
- 移動される容量: ボリュームがレクラメーション処理の対象であったために、ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに再コピーする必要があるバイト数。

---

**ANR4002W** *other server* 上の *stgpool name* への *this server* 上の *stgpool name* のストレージ・プール保護プロセスは完了しました。一部のエクステントが保護されていない可能性があります。保護されたエクステント: *extents to protect* のうち *extents protected*。保護に失敗したエクステント: *extents failed to protect*。保護された容量: *amount to protect* のうち *amount protected*。保護に失敗した容量: *amount not protected*。削除されたエクステント: *extents to delete* のうち *extents deleted*。削除に失敗したエクステント: *extents failed to delete*。移動されたエクステント: *extents to move* のうち *extents moved for volume reclamation*。移動に失敗したエクステント: *extents not moved for volume reclamation*。移動した容量: *amount to move* のうち *amount moved for volume reclamation*。移動に失敗した容量: *amount not moved for volume reclamation*。経過時間: *elapsed time*。

説明: ストレージ・プールの保護プロセスは完了しましたが、競合操作のために一部のエクステントがスキップされた可能性があります。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

## ANR4003I • ANR4009E

- 保護されたエクステント: ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに正常にコピーされたエクステント数。
- 保護された容量: ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールにコピーすることで正常に保護されたバイト数。
- 失敗した容量: 保護されなかったバイト数。詳しくは、前のメッセージを参照してください。
- 削除されたエクステント: ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールから削除され、コピー・コンテナ・ストレージ・プールから除去されているエクステント数。
- 移動されたエクステント: ボリュームがレクラメーション処理の対象であったために、ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに正常に再コピーされたエクステント数。
- 移動された容量: ターゲット・コンテナ・コピー・ストレージ・プールに正常に再コピーされたバイト数。
- 移動に失敗した容量: 再コピーされなかったバイト数。詳しくは、前のメッセージを参照してください。
- 経過時間: 処理の実行にかかった時間。

ユーザーの処置: すべてのデータ・エクステントを確実にスキャンして保護するには、PROTECT STGPOOL コマンドを再発行します。

---

**ANR4003I** *Load command:* データベース・ロード処理が開始されました。

説明: データベースのロード処理が開始されました。

システムの処置: サーバーは、データベースの内容をファイルまたは取り外し可能メディアからロードします。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4004I** *Load command:* データベース・ロード処理が完了しました。

説明: データベースのロード処理が終了しました。

システムの処置: サーバーは処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4005E** *Load command:* データベース・ロード処理がエラー (error indicator) のために終了しました。

説明: エラーのためにデータベースのロード処理が突然終了しました。

システムの処置: サーバーはロード処理を終了します。

ユーザーの処置: 前に出されているメッセージを調べて、構文エラーなどのエラーを訂正できるかどうかを確認してください。 エラーを解決できない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4006I** *Command:* プロセスによって書き込まれたボリューム *volume number* は *volume name* です。

説明: 順次データ処理で、出力の保管に使用されている一連の 1 つ以上のボリュームの、示されたボリュームに書き込まれました。 ボリューム番号によって示された一連のボリュームの位置が報告されています。

システムの処置: サーバーは処理を終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4007E** *Command:* ボリューム使用履歴の記録でトランザクション・エラーが見つかりました。

説明: コマンド処理で、サーバー・データベースの処理に使用したボリュームの名前を記録している時に、データベース・トランザクション・エラーが見つかりません。

システムの処置: サーバーは処理を終了します。

ユーザーの処置: 前に出されているメッセージを調べて、構文エラーなどの訂正可能なエラーがあるかどうかを確認してください。 エラーを解決できない場合には、サービス担当員に連絡してください。 この処理で使用されるボリュームは対応する入力処理には有効ですが、サーバーによって生成された順次ボリューム・ヒストリー・リストには記録されません。

---

**ANR4008W** *Load command:* データベース・オブジェクト *object name* は存在していません。

説明: データベースのロード処理でデータベース・オブジェクトを削除しようとしています、このオブジェクトが存在していません。

システムの処置: データベースの処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4009E** *Load command:* データベース・オブジェクト *object name* は別の処理で使用中のために削除できません。

説明: データベースのロード処理で、データベース・オブジェクトを削除しようとしています、このオブジェクトは現在別の処理が使用しています。

システムの処置: データベースの処理は終了します。

ユーザーの処置: コマンドを再発行してください。正常に実行されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4010E** *Dump/load command:* データベース・ダンブ/ロード処理が失敗しました - 十分なメモリーがありません。

説明: 十分なメモリーがないので、データベースのダンブ/ロード処理が失敗します。

システムの処置: データベースの処理は終了します。

ユーザーの処置: サーバーに追加のストレージを割り振ってください。これを実行するには 2 つの方法があります。

- サーバーの仮想マシンのサイズを大きくしてください (VM の場合)。または領域サイズを大きくしてください (MVS の場合)。AIX の場合には、十分なページング・スペースがあることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判断できます。OS/2 の場合には、OS/2 SWAPPER.DAT ファイル用に十分なスペースがあることを確認してください。CONFIG.SYS の SWAPPATH ステートメントを調べて、SWAPPER.DAT ファイルがどこにあって、そのドライブにどれだけのスペースが残されているかを確認してください。
- サーバーのデータベースまたはログ・バッファ・プールに割り振られたスペースの大きさを減らしてください。このためには、サーバー・オプション・ファイルの BUFPOOLSIZE または LOGPOOLSIZE パラメーターの値を更新してサーバーを再始動してください。指定されたバッファ・プールでは、各ページに追加の 4K ページが割り振られることに注意してください。プール・サイズを減らすと同じ量のデータをサービスするためにさらに入出力が必要となります。ある程度のパフォーマンスの低下が起こる可能性があります。

---

**ANR4012W** *Dump command:* データベース・ページ *page number* に損傷があります。

説明: 指定されたデータベース・ページに損傷があるのでダンプされません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4013I** *Audit command* のプロセス *process id* は、*total number* 個のコンテナの監査を実行しました。 *successful number* 個のコンテナの監査が正常に完了し、*failed number* 個のコンテナの監査が失敗しました。

説明: AUDIT CONTAINER コマンドの処理が完了しました。

以下の情報が表示されます。

- 監査されたコンテナの総数。
- 正常に監査されたコンテナの数。
- 監査に失敗したコンテナの数。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4014W** コンテナの監査プロセス *process id* は取り消されました。

説明: AUDIT CONTAINER コマンドの処理中に、監査を実行しているプロセスが取り消されました。

システムの処置: AUDIT CONTAINER コマンドは取り消されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4015E** *Load command:* 無効なレコード形式 (*format code*) が検出されました。

説明: コマンド *load command* の処理中に、ダンプ・メディアからダンプされた情報を読み取っている時に無効なレコード・タイプが検出されています。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。MVS または VM では、LOADDB コマンドの構文は dd 名を使用するかまたは装置クラス名を指定して、指定することができます。最初にデータベースをダンプした時に使用したのと同じ方式を使用する必要があります。そのようにしないとこのエラー・メッセージが表示されます。構文のもう 1 つの方法 (装置クラス) を使用してデータベースのロードを試みてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4016E** *Load command:* データベース・ダンプで無効ヘッダー順序番号が検出されました。必要な番号は *expected sequence number*、実際の番号は *actual sequence number* です。

説明: コマンド *load command* の処理中に、ダンプ・メディアからダンプされた情報を読み取っている時に無効な順序番号が検出されています。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: 前に出されたサーバー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4017E** *Load command:* データベース・ダンプ・データから無効レコード・タイプ *record type* が読み取られました。

説明: サーバー・データベースのロード処理で、ダンプ・メディアからのデータの読み取り時に無効なレコードが検出されました。

システムの処置: データベースのロード処理は終了します。

ユーザーの処置: 前に出されたサーバー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4018E** *Load command:* ロード処理が失敗しました - 十分な回復ログ・スペースがありません。

説明: 十分な回復ログ・スペースがないため、ロード処理が実行されていません。

システムの処置: データベースのロード処理は終了します。

ユーザーの処置: より大きな回復ログを指定してサーバーを再インストールし、データベース・ロード・コマンドを再発行してください。

---

**ANR4019E** *Load command:* ロード処理が失敗しました - 十分なデータベース・スペースがありません。

説明: 十分なデータベース・スペースがないので、ロード処理が実行されていません。

システムの処置: ロード処理は終了します。

ユーザーの処置: より大きなデータベースを指定してサーバーを再インストールし、データベース・ロード・コマンドを再発行してください。

---

**ANR4020E** *Load command:* バッチ・データベースの挿入が失敗しました。

説明: データベースに行のバッチを挿入しようとした時に、データベースのロード処理が失敗しました。

システムの処置: データベースのロード処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、エラーを訂正できるかどうかを確認してください。新しい回復ログおよびデータベースを指定してサーバーを再インストールし、ロード・コマンドを入れ直すことができます。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4021E** *Dump/load command:* オープン操作時にエラー (*error code*) が発生しました。

説明: データベースのダンプ/ロード操作でダンプ・メディアのオープン操作を行おうとしている時にエラーが起こっています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して、操作が正常に実行されなかった理由を調べてください。問題を訂正してこの処理をやり直してください。

---

**ANR4022E** *Dump command:* 書き込み操作時にエラー (*error code*) が発生しました。

説明: サーバー・データベースのダンプ処理で、ダンプ・メディアへの書き込み時にエラーが検出されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行しますが、ダンプ処理は終了します。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して、操作が正常に実行されなかった理由を調べてください。問題を訂正してこの処理をやり直してください。

---

**ANR4023E** *Load command:* 読み取り操作時にエラー (*error code*) が発生しました。

説明: サーバー・データベースのロード処理で、ダンプ・メディアからの読み取り時にエラーが検出されました。

システムの処置: データベースのロード操作は終了します。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して、操作が正常に実行されなかった理由を調べてください。問題を訂正してこの処理をやり直してください。

---

**ANR4025W** **AUDIT DATABASE** コマンド *process id* が終了しました。コマンドの処理は取り消されました。

説明: AUDIT DATABASE コマンドは処理中に取り消されました。

システムの処置: AUDIT DATABASE コマンドは終了しました。

ユーザーの処置: AUDIT DATABASE コマンドを再発行してください。

---

**ANR4026I** **AUDIT DATABASE** コマンド・プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 表示された ID のプロセスについて、AUDIT DATABASE コマンド・プロセスが開始されました。

システムの処置: AUDIT DATABASE コマンド・プロセスが進行中です。

ユーザーの処置: このプロセスは、QUERY PROCESS コマンドを使用して監視することができます。このプロセスを取り消す必要がある場合は、CANCEL PROCESS コマンドを発行してください。

---

**ANR4027I** **AUDIT DATABASE** コマンド・プロセス *process id* は、*total number* 個のオーファン・データ・エクステントの処理を完了しました。

説明: AUDIT DATABASE コマンドが完了しました。

以下の情報が表示されます。

- 処理されたオーファン・データ・エクステントの総数
- システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: プログラミング・サポートが必要な場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4028I** 損傷ファイルのスキャンが進行中です。  
*count* 個の損傷ファイルが処理されました。

説明: REPLRECOVERDAMAGED システム・パラメーターが ON に設定されている場合、システムは、30 分ごとにサーバー・データベース表をモニターして、損傷ビット・ファイルの数が増加していないかを判別します。数に変動がある場合、システムはサーバー・データベース表のスキャンを開始して、回復する損傷ファイルを識別します。システム環境によっては、スキャンに数時間あるいは数日かかる場合があります。

システムの処置: スキャン中はシステム操作が続行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、サーバー・コンソールまたは管理クライアントから次のコマンドを発行して、スキャンを取り消すことができます。

```
set replrecoverdamaged off
```

---

**ANR4029I** 損傷ファイルを識別するためのスキャンが進行中です。損傷ファイルが検出された場合は、スキャンの完了後にリカバリー・プロセスが開始されます。

説明: REPLICATE NODE コマンドが、損傷ファイルを識別およびリカバリーするためのプロセスを開始しました。サーバーは、データベース表をスキャンして、リカバリーに適切な損傷ファイルを識別します。システム環境によっては、スキャンに数時間あるいは数日かかる場合があります。サーバーは、定期的に ANR4024I メッセージを発行して、スキャンが実行中であることを示します。スキャンが完了すると、サーバー・コンソールにメッセージ ANR3650I が表示されます。

システムの処置: スキャン中はサーバー操作が続行されます。スキャンによってリカバリーに適切なファイルが識別されると、リカバリー・プロセスが開始されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

---

**ANR4030E** ソース・サーバー上のエクステントと、**PROTECT STGPOOL** プロセスによって書き込まれたターゲット・サーバー上のエクステントの間の不整合が原因で、複製プロセスが失敗しました。

説明: REPLICATE NODE プロセス中に、PROTECT STGPOOL プロセスでターゲット・サーバーに書き込まれたエクステントが、ソース・サーバーと不整合になっており、同期されていないことを検出しました。REPLICATE NODE プロセスは、FAILURE として終了します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: PROTECT STGPOOL コマンドを発行し、プロセスが完了していることを確認してください。その後、REPLICATE NODE コマンドを再発行します。

---

**ANR4031I** **PROTECT STGPOOL:** コンテナ・コピー・ストレージ・プール *target pool* に対してレクラメーション処理が開始されました。

説明: 指定されたコンテナ・コピー・ストレージ・プールに対して、PROTECT STGPOOL コマンドがレクラ

メーション処理を開始しました。レクラメーション処理は、使用率が低いボリュームからデータを移動し、スペースを解放することを目的としています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4032W PROTECT STGPOOL:** ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プール *source pool* 内のすべてのデータが、コンテナ・コピー・ストレージ・プール *target pool* に対して保護されました。しかし、コンテナ・コピー・ストレージ・プールに対するレクラメーション処理は完了していません。

説明: PROTECT STGPOOL コマンドは、指定されたコンテナ・コピー・ストレージ・プールに対して、指定されたディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プール内のすべてのデータを保護しました。これにより、必要に応じてディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールを修復できるようになります。しかし、レクラメーション処理が取り消されたため、コンテナ・コピー・ストレージ・プールに対するレクラメーション処理は完了していません。レクラメーション処理は、使用率が低いボリュームからデータを移動し、スペースを解放することを目的としています。

システムの処置: ストレージ・プールの保護プロセスが完了しました。

ユーザーの処置: コンテナ・コピー・ストレージ・プールのスペースが不足している場合や、このメッセージが頻繁に発行される場合は、ストレージ・プールの保護プロセスを実行するスケジュールの最大実行時間を増やすことを検討してください。コンテナ・コピー・ストレージ・プールに十分なスペースがあり、このメッセージが頻繁に発行されない場合は、アクションは不要です。

---

**ANR4033I** *Update stgpoolmdir command* のプロセス *process id* は、*stgpoolmdir name* の更新を実行しました。*successful number* 個のコンテナの更新が正常に完了し、*failed number* 個のコンテナの更新が失敗しました。

説明: UPDATE STGPOOLDIR コマンドの処理が完了しました。

以下の情報が表示されます。

- 更新されたストレージ・プール・ディレクトリー。
- 正常に更新されたコンテナの数。
- 更新に失敗したコンテナの数。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4034W Update Stgpoolmdir** プロセス *process id* は取り消されました。

説明: UPDATE STGPOOLDIR コマンドの処理中に、監査を実行しているプロセスが取り消されました。

システムの処置: UPDATE STGPOOLDIR プロセスは取り消されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4074I** *Dump/load command: number of entries* 個の不良データベース項目が見つかりました。

説明: このメッセージはサーバー・データベースのダンプまたはロード・コマンドの終わりに表示され、見つかった無効なデータベースの項目数を示します。

システムの処置: データベースのダンプまたはロード処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4075I** *Audit command:* ポリシー定義の監査中。

説明: このメッセージは、データベースの監査中に表示され、データベース監査処理によってサーバーのポリシー情報 (ドメイン、ポリシー・セット、管理クラス、およびコピー・グループ) が調べられていることを示しています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4076E** *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効クライアント・ノード数を検出した。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに記録されたノード・カウントがこのドメインに割り当てられた実際のノードの数と一致していないことが検出されました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。



---

**ANR4077I**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効クライアント・ノード数を検出した。カウントは訂正されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに記録されたノード・カウントがこのドメインに割り当てられた実際のノードの数と一致していないことが検出されました。 コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、このノード・カウントは自動的に訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4078E**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効活動化標識が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくないポリシー・セットの活動化項目が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4079I**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効活動化標識が見つかりました - 入力値は訂正することになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくないポリシー・セットの活動化項目が見つかっています。 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この項目は訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4080E**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効な猶予期間バックアップ保存値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくない猶予期間保存値が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4081I**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効な猶予期間バックアップ保存値が見つかりました - デフォルトの値が設定されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくない猶予期間保存値が見つかっています。 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、デフォルト値が設定されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4082E**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効な猶予期間アーカイブ保存値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくない猶予期間保存値が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4083I**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効な猶予期間アーカイブ保存値が見つかりました - デフォルトの値が設定されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくない猶予期間保存値が見つかっています。 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、デフォルト値が設定されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4084E**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくない最終更新情報が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4085I**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました - 情報は訂正されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに正しくない最終更新情報が見つっています。 コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この情報は訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4086E**    *Audit command:* ドメイン *domain name* に割り当てられた無効なノード *node number* が検出されました。

説明: データベース監査処理で、有効なクライアント・ノードの定義を参照していないポリシー・ドメインに割り当てられたノード番号が見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4087I**    *Audit command:* ドメイン *domain name* に割り当てられた無効なノード *node number* が検出されました。参照は削除されることになります。

説明: データベース監査処理で、有効なクライアント・ノードの定義を参照していないポリシー・ドメインに割り当てられたノード番号が見つっています。 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この参照は削除されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4088E**    *Audit command:* ドメイン *domain name* でポリシー・セット *policy set name* に指定されたデフォルトの管理クラス *management class name* が存在していません。

説明: データベース監査処理で、存在しないデフォルト管理クラスを指定したポリシー・セットが見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4089I**    *Audit command:* ドメイン *domain name* でポリシー・セット *policy set name* に指定されたデフォルトの管理クラス *management class name* が存在していません - 参照は除去されることになります。

説明: データベース監査処理で、存在しないデフォルト管理クラスを指定したポリシー・セットが見つっています。 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この参照はポリシー・セットから除去されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了時に、指定されたポリシー・セットを調べて、この集合に新しいデフォルト管理クラスを設定してください。 ポリシー・セットが **ACTIVE** のポリシー・セットである場合には、有効なデフォルト管理クラスを指定してこのドメインに対して新しいポリシー・セットを活動化しなければなりません。

---

**ANR4090E**    *Audit command:* ドメイン *domain name* の活動ポリシー・セットに正しいデフォルトの管理クラスが含まれていません - このドメインのポリシーは失敗することになります。 活動ポリシー・セットを修正してください。

説明: データベース監査処理で、活動状態の有効な管理クラスが指定されていない、指定されたポリシー・ドメインに活動状態のポリシー・セットが見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了時に、有効なデフォルト管理クラスを指定してこのドメインに対して新しいポリシー・セットを活動化しなければなりません。

---

**ANR4091E**    *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* でポリシー・セット *set name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・セットに正しくない最終更新情報が見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

---

**ANR4092I** *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* でポリシー・セット *set name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました - 情報は訂正することになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・セットに正しくない最終更新情報が見つかっています。コマンドに *FIX=YES* が指定されているので、この情報は訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4093E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *management class name* に関する管理クラス *ID* が定義されていません。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに正しくない情報が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように *FIX=YES* を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4094E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *management class name* に関する管理クラス *ID* が定義されていません - この管理クラスの *ID* が生成されます。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに正しくない情報が見つかっています。監査コマンドに *FIX=YES* が指定されているので、監査処理で *ID* が生成されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4095E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *management class name* に関する無効な管理クラス識別名 (*actual identifier*) が見つかりました (必要とされていたのは *expected identifier*)。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに正しくない情報が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように *FIX=YES* を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4096E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *management class name* に関する無効な管理クラス *ID* (*actual identifier*) が見つかりました (必要とされていたのは *expected identifier*) - 正しい *ID* が保管されます。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに正しくない情報が見つかっています。監査コマンドに *FIX=YES* が指定されているので、監査処理で *ID* が訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4097E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ポリシー・ドメイン *domain name* で管理クラス *management class name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに正しくない最終更新情報が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように *FIX=YES* を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4098I** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ポリシー・ドメイン *domain name* で管理クラス *management class name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました - 情報は訂正することになります。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに正しくない最終更新情報が見つかっています。コマンドに *FIX=YES* が指定されているので、この情報は訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4099E** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* のコピー・グループ *copy group name* に無効な名前またはタイプがあります。

説明: データベース監査処理で、無効な名前またはコピー・グループ・タイプを持ったコピー・グループが見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

---

ユーザーの処置: 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されていない場合には、エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4100I**    *Audit command:* コピー・グループを **BACKUP** コピー・グループとして挿入する試みを実行中。

説明: データベース監査処理で、無効な名前またはコピー・グループ・タイプを持ったコピー・グループが見つかっています。このプロセスで、定義をバックアップ・コピー・グループとして再挿入しようとしています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4101I**    *Audit command:* バックアップ・コピー・グループは既に存在しています - 無効なコピー・グループは削除されることになります。

説明: データベース監査処理で、無効な名前またはコピー・グループ・タイプを持ったコピー・グループが見つかっています。コピー・グループをバックアップ・コピー・グループとして再挿入しようとしている時に、この処理で、この管理クラスに既にバックアップ・コピー・グループが存在することが検出されました。このコピー・グループは削除されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、**QUERY COPYGROUP** コマンドを使用してサーバー・コピー・グループを調べて、必要な場合には **DEFINE COPYGROUP** および **UPDATE COPYGROUP** コマンドでそれらを訂正することができます。

---

**ANR4102I**    *Audit command:* コピー・グループを **ARCHIVE** コピー・グループとして挿入する試みを実行中。

説明: データベース監査処理で、無効な名前またはコピー・グループ・タイプを持ったコピー・グループが見つかっています。このプロセスで、定義をアーカイブ・コピー・グループとして再挿入しようとしています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4103I**    *Audit command:* アーカイブ・コピー・グループは既に存在しています - 無効なコピー・グループは削除されることとなります。

説明: データベース監査処理で、無効な名前またはコピー・グループ・タイプを持ったコピー・グループが見つかっています。コピー・グループをアーカイブ・コピー・グループとして再挿入しようとしている時に、この処理で、この管理クラスに既にバックアップ・コピー・グループが存在することが検出されました。このコピー・グループは削除されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、**QUERY COPYGROUP** コマンドを使用してサーバー・コピー・グループを調べて、必要な場合には **DEFINE COPYGROUP** および **UPDATE COPYGROUP** コマンドでそれらを訂正することができます。

---

**ANR4104E**    *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* でコピー・グループに関する無効な管理クラス識別名 (*actual identifier*) が見つかりました (必要とされていたのは *expected identifier*)。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに正しくない情報が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4105E**    *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* でコピー・グループに関する無効な管理クラス識別名 (*actual identifier*) が見つかりました (必要とされていたのは *expected identifier*) - 正しい識別名が保管されることとなります。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに正しくない情報が見つかっています。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、監査処理でこの ID が訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4106E** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* でコピー・グループに関する無効なコピー・グループ識別名 (*actual identifier*) が見つかりました (必要とされていたのは *expected identifier*)。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに正しくない情報が見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: プログラミング・サポートが必要な場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4107E** *Audit command:* コピー・グループ名 *copy group name* に関する無効なコピー・グループ識別名 (*actual identifier*) が見つかりました (必要とされていたのは *expected identifier*)。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループ名に正しくない情報が見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: プログラミング・サポートが必要な場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4108E** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* のコピー・グループ *copy group name* に関する無効なバックアップ・コピー・グループ属性が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに無効なバックアップ・コピー・グループ属性が見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されていない場合には、各矛盾を訂正できるように **FIX=YES** を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4109I** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* のコピー・グループ *copy group name* に関する無効なバックアップ・コピー・グループ属性が見つかりました - コピー・グループはデフォルトの属性を使用して訂正されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グ

ループに無効なバックアップ・コピー・グループ属性が見つっています。 コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、このコピー・グループは、エラーが見つっている属性にデフォルト値を使用して訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、**QUERY COPYGROUP** コマンドを使用してコピー・グループを調べて、必要な場合には **UPDATE COPYGROUP** コマンドで属性を訂正してください。

---

**ANR4110E** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* のコピー・グループ *copy group name* に関する無効なアーカイブ・コピー・グループ属性が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに無効なアーカイブ・コピー・グループ属性が見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドに **FIX=YES** が指定されていない場合には、各矛盾を訂正できるように **FIX=YES** を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4111I** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* のコピー・グループ *copy group name* に関する無効なアーカイブ・コピー・グループ属性が見つかりました - コピー・グループはデフォルトの属性を使用して訂正されることとなります。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに無効なアーカイブ・コピー・グループ属性が見つっています。 コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、このコピー・グループは、エラーが見つっている属性にデフォルト値を使用して訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、**QUERY COPYGROUP** コマンドを使用してコピー・グループを調べて、必要な場合には **UPDATE COPYGROUP** コマンドで属性を訂正してください。

---

**ANR4112W** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* でコピー・グループ *copy group name* に宛先として指定されたストレージ・プール *storage pool*

*name* が存在していません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに定義されていない指定されたコピー・グループの宛先に対して指定されたストレージ・プールが見つかっています。このコピー・グループが活動状態のポリシー・セットに使用されている場合には、クライアント・データをこの宛先に入れようとした時に、バックアップまたはアーカイブ操作は正常に実行されません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、DEFINE STGPOOL コマンドを使用して抜けているストレージ・プールを定義するか、または UPDATE COPYGROUP コマンドを使用して既存のストレージ・プールを参照するようにコピー・グループを更新してください。

---

**ANR4113E** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ポリシー・ドメイン *domain name* のコピー・グループ *copy group name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに正しくない最終更新情報が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4114I** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ポリシー・ドメイン *domain name* のコピー・グループ *copy group name* に関する無効な管理者更新情報が見つかりました - 情報は訂正されます。

説明: データベース監査処理で、指定されたコピー・グループに正しくない最終更新情報が見つかっています。コマンドに FIX=YES が指定されているので、この情報は訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4115E** *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* が参照されますが、正式に定義されていません。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに対する参照が見つかっていますが、このドメインはサーバー・データベースに正式に定義されていません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4116I** *Audit command:* ポリシー・ドメイン *domain name* が参照されますが、正式に定義されていません - この名前をもつポリシー・ドメインがデフォルトの属性を用いて定義されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・ドメインに対する参照が見つかっていますが、このドメインはサーバー・データベースに正式に定義されていません。FIX=YES が指定されているので、監査処理プログラムによってこの名前の新しいポリシー・ドメインが定義されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、QUERY DOMAIN コマンドを使用してこのポリシー・ドメインの属性を表示し、必要な場合には UPDATE DOMAIN コマンドで属性を更新することができます。

---

**ANR4117E** *Audit command:* ドメイン *domain name* でポリシー・セット *set name* が参照されますが、正式に定義されていません。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・セットに対する参照が見つかっていますが、この集合はサーバー・データベースに正式に定義されていません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4118I** *Audit command:* ドメイン *domain name* でポリシー・セット *set name* が参照されますが、正式に定義されていません - この名前をもつポリシー・セットが作成されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定されたポリシー・セットに対する参照が見つかっていますが、この集合はサーバー・データベースに正式に定義されていません。FIX=YES が指定されているので、監査処理でこの名前の新しいポリシー・セットが作成されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、QUERY POLICYSET コマンドを使用してこのポリシー・セットの属性を表示し、必要な場合には UPDATE POLICYSET コマンドで属性を更新することができます。

---

**ANR4119E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* が参照されますが、正式に定義されていません。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに対する参照が見つっていますが、このクラスはサーバー・データベースに正式に定義されていません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4120I** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* が参照されますが、正式に定義されていません - 管理クラスが作成されることになります。

説明: データベース監査処理で、指定された管理クラスに対する参照が見つっていますが、このクラスはサーバー・データベースに正式に定義されていません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査処理でサーバーにこの名前の管理クラスが定義されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、QUERY MGMTCLASS コマンドを使用してこの管理クラスの属性を表示し、必要な場合には UPDATE MGMTCLASS コマンドで属性を更新することができます。

---

**ANR4121E** *Command:* **MOVE DRMEDIA** コマンドによってボリューム *volume name* に対して開始された操作が進行中です。

説明: 後続のコマンドが発行され、同じボリュームが指定されました。MOVE DRMEDIA コマンドの進行中は、指定されたボリュームに対して新規に発行されたコマンドを実行することはできません。

システムの処置: 新規に発行されたコマンドが MOVE NODEDATA コマンドである場合、サーバーはこのボリュームをスキップし、別のボリュームのノード・データの移動を続行します。

ユーザーの処置: MOVE DRMEDIA コマンドによって開始された操作が完了するまでお待ちください。その後、別のコマンドを再発行してください。

---

**ANR4122E** *Audit command:* 管理クラス *class name* のインスタンス数が実際の管理クラス・データ ( *number of instances* 個のインスタンス) と一致しません。

説明: データベース監査処理で、このクラスの実際のインスタンスの数と一致していない、指定された管理クラスに対する参照カウントが見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4123I** *Audit command:* 管理クラス *class name* のインスタンス数が実際の管理クラス・データ ( *number of instances* 個のインスタンス) と一致しません - 数値は訂正されることになります。

説明: データベース監査処理で、このクラスの実際のインスタンスの数と一致していない、指定された管理クラスに対する参照カウントが見つっています。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査処理でこのカウントが訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4124E** *Audit command:* コピー・グループ *copy group name* のインスタンス数が実際のコピー・グループ・データ ( *number of instances* 個のインスタンス) と一致しません。

説明: データベース監査処理で、このコピー・グループの実際のインスタンスの数と一致しない、指定されたコピー・グループに対する参照カウントが見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4125I** *Audit command:* コピー・グループ *copy group name* のインスタンス数が実際のコピー・グループ・データ ( *number of instances* 個のインスタンス) と一致しません - 数値は訂正されることになります。

説明: データベース監査処理で、このコピー・グループの実際のインスタンスの数と一致しない、指定されたコピー・グループに対する参照カウントが見つっています。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査処理でこのカウントが訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4126E** *Audit command:* ポリシー・グローバル属性が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースのポリシー情報のグローバル属性を見つけることができません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

**ANR4127I** *Audit command:* ポリシー・グローバル属性が見つかりません - 属性は再作成されることになります。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースのポリシー情報のグローバル属性を見つけることができません。 監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、この属性は再生成されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4128E** *Audit command:* ポリシー・グローバル最高水準点が使用中の識別名と一致しません。

説明: データベース監査処理で、ポリシー ID のトラッキングに使用される属性が正しくないことが検出されました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

**ANR4129E** *Audit command:* ポリシー・グローバル最高水準点が使用中の識別名と一致しません - それらは訂正されることになります。

説明: データベース監査処理で、ポリシー ID のトラッキングに使用される属性が正しくないことが検出されました。 監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、これらの属性は訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4130W** ボリューム *volume name* の監査ボリューム更新オブジェクト情報: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: 示されたボリュームに FIX=YES を指定した

AUDIT VOLUME コマンドの結果として、指定されたファイルのオブジェクト情報が更新されます。

システムの処置: オブジェクト情報は更新されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4131W** ボリューム *volume name* の監査ボリュームが間違ったオブジェクト情報を検出しました: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ファイル名 *file name*。

説明: 示されたボリュームに FIX=NO を指定した AUDIT VOLUME コマンドの結果として、指定されたファイルのオブジェクト情報にエラーのあることが分かりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4132I** ボリューム *volume name* のボリューム監査処理が終了しました。 *file count* 個のファイルが検査され、*file count* 個の損傷ファイルが削除され、*file count* 個の損傷ファイルが損傷ありとマークされ、前に損傷ありとしてマークされた *file count* 個のファイルが損傷なしにリセットされ、*file count* 個のオブジェクトが更新されました。

説明: 示されているボリュームに FIX=YES を指定している AUDIT VOLUME コマンドが終了しました。

以下の情報が表示されます。

- 監査されたファイルの数
- 削除された不整合ファイルの数
- 損傷ありとマークされた不整合ファイルの数
- 前に損傷ありとしてマークされたが、損傷なしにリセットされたファイルの数
- 更新されたオブジェクトの数

損傷ありとしてマークされたファイルの数には、監査中に損傷ありとしてマークされた集合に所属するすべてのファイルが含まれます。 ファイルは 1 次ストレージ・プールの中で損傷ありとしてマークされ、COPY ストレージ・プールにそのファイルのバックアップ・コピーが存在することが判明している場合には削除されません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ボリューム上に損傷ありとしてマークされているファイルを回復するためには、RESTORE



STGPOOL または RESTORE volume コマンドを使用してください。

**ANR4133I** ボリューム *volume name* のボリューム監査処理が終了しました。 *file count* 個のファイルが検査され、 *file count* 個の損傷ファイルが見つかり損傷ありとマークされ、前に損傷ありとマークされていた *file count* 個のファイルが損傷なしにリセットされ、 *file count* 個のオブジェクトが更新を必要としています。

説明: 示されているボリュームに FIX=NO を指定している AUDIT VOLUME コマンドが終了しました。

以下の情報が表示されます。

- 監査されたファイルの数
- 損傷ありとマークされた不整合ファイルの数
- 前に損傷ありとしてマークされたが、損傷なしにリセットされたファイルの数
- 更新を必要としているオブジェクトの数

損傷ありとしてマークされたファイルの数には、監査中に損傷ありとしてマークされた集合に所属するすべてのファイルが含まれます。整合性のないファイルはデータベースで損傷ありとしてマークされ、COPY ストレージ・プールにそのファイルのコピーが存在している場合には、RESTORE STGPOOL または RESTORE VOLUME コマンドを使用して回復することができません。ハードウェアの問題 (例えば、テープ・ヘッドの汚れ) のためにボリューム監査処理でファイルにアクセスできない場合には、もう一度 AUDIT VOLUME コマンドを実行することでファイルにアクセスしてデータベースの損傷標識をリセットできる場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: テープ・ヘッドの汚れなどのハードウェアの問題でファイルにアクセスできないことが考えられる場合は、ハードウェアの問題を訂正して、このボリュームの AUDIT VOLUME FIX=NO コマンドを再発行してください。損傷ファイル参照を除去してオブジェクト情報を更新するには、AUDIT VOLUME コマンドを出して FIX=YES を指定してください。

**ANR4134E** *Command: "parameter"* パラメーターは、このクラウド・タイプのクラウド・ストレージ・プールに対して無効です。

説明: 示されたコマンドは、このクラウド・タイプのクラウド・ストレージ・プールに無効なパラメーターを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このクラウド・タイプに適したパラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR4135E** *Command: ストレージ・プール storage pool name* に 1 つ以上のクラウド・コンテナが含まれているので、コマンドを完了できませんでした。

説明: 既存のバケット名を使用する 1 つ以上のクラウド・コンテナがこのストレージ・プールに含まれているので、コマンドを完了できませんでした。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ストレージ・プール内にクラウド・コンテナが既に存在している場合は、コマンドおよび指定したすべてのパラメーターが許可されていることを確認してから、コマンドを再発行します。

**ANR4136E** *pool\_name* ストレージ・プールのクラウド・サービス・プロバイダーに対するコンテナ作成要求が失敗しました。このストレージ・プールが使用を試みたバケットまたはボールドに、指定されたクラウド・プロバイダー資格情報ではアクセスできないためです。

説明: コンテナ作成要求が失敗しました。クラウド・サービス・プロバイダーの資格情報には、このストレージ・プールが使用を試みたバケットまたはボールドに対する適切なアクセス権がありませんでした。

システムの処置: コンテナ作成要求が失敗します。

ユーザーの処置: クラウド・サーバーに接続するために指定した資格情報のアクセス権が適切であることを確認してください。必要に応じて、バケットまたはボールドに関する設定を変更してください。バケットの設定を変更することができない場合は、BUCKETNAME パラメーターを指定した UPDATE STGPOOL コマンドを使用して、別の名前前のバケットまたはボールドに設定してください。

**ANR4137E** 現在の資格情報に、バケットまたはボールドに対して *disallowed\_operation\_name* 操作を行うアクセス権がないためにコンテナ作成が失敗しました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーの資格情報には、このストレージ・プールのバケットまたはボールドに必要な操作のすべてを行うためのアクセス権がありません。その結果、コンテナは作成されませんでした。

システムの処置: コンテナの作成は許可されませんでした。

ユーザーの処置: バケットまたはボールドに対するアクセス権を確認し、このストレージ・プールの資格情報に、このバケットまたはボールド内のオブジェクトの読み取り、書き込み、リスト、および削除のためのアクセス権があることを確認します。アクセス権を変更または表示することができない場合は、BUCKETNAME パラメーターを指定して UPDATE STGPOOL コマンドを使用すると、別のバケットまたはボールドの使用を試行できます。

**ANR4138E** *pool\_name* ストレージ・プールのクラウド・サービス・プロバイダーに対するコンテナ作成要求は失敗しました。このストレージ・プールが使用を試みたバケットまたはボールドの名前がクラウド・サービス・プロバイダーに対して無効だったためです。

説明: コンテナ作成要求が失敗しました。このストレージ・プールが使用を試みたバケットまたはボールドの名前は、このクラウド・サービス・プロバイダーでは無効です。

システムの処置: コンテナ作成要求が失敗します。

ユーザーの処置: バケット名およびボールド名は、S3 要件に準拠している必要があります。S3 要件については、オンラインの Amazon S3 資料を参照してください。また、ご使用のクラウド・サービス・プロバイダーに問い合わせ、バケット名やボールド名に関する特定の制約事項がないか確認してください。

BUCKETNAME パラメーターを指定して UPDATE STGPOOL コマンドを使用し、S3 要件とクラウド・プロバイダーの制約事項の両方に準拠した名前に設定します。

**ANR4139W** 複製されるターゲット・ストレージ・プールの **PROTECT STGPOOL** 設定が無効です。問題を解決するには、ストレージ・プール *source storage pool name* に対して **PROTECT STGPOOL** コマンドを手動で発行する必要があります。

説明: 以前に発行された REPAIR STGPOOL コマンドによって、複製されたターゲット・ストレージ・プールの保護設定が無効にされました。その結果、複製されたターゲット・ストレージ・プールに PROTECT STGPOOL コマンドが発行されるまで、REPAIR STGPOOL コマンドを使用して複製されたターゲット・ストレージ・プールからの修復を行うことはできません。REPAIR STGPOOL コマンドは、ローカル・ターゲット・ストレージ・プールには影響を与えません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 指定されたストレージ・プールに対して、値 TYPE=REPLSERVER を指定して PROTECT STGPOOL コマンドを発行します。このコマンドを発行することで、ソース・ストレージ・プールの保護設定が復元されます。

**ANR4140E** 指定された資格情報は、その資格情報に、バケットまたはボールドに対して *disallowed\_operation\_name* 操作を行うアクセス権がないために検証が失敗しました。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーの資格情報には、このバケットまたはボールドに必要な操作のすべてを行うためのアクセス権がありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: バケットまたはボールドに対するアクセス権を確認し、このストレージ・プールの資格情報に、このバケットまたはボールド内のオブジェクトの読み取り、書き込み、リスト、および削除のためのアクセス権があることを確認します。アクセス権を変更または表示できない場合には、別の名前のバケットまたはボールドを試行してください。

**ANR4141E** 指定されたバケットまたはボールドの名前が、このクラウド・サービス・プロバイダーでは無効であったために、指定された資格情報での検証に失敗しました。

説明: 指定されたバケットまたはボールドの名前が、このクラウド・サービス・プロバイダーでは無効であったために、資格情報での検証に失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: バケット名およびボールド名は、S3 要件に準拠している必要があります。S3 要件については、オンラインの Amazon S3 資料を参照してください。また、ご使用のクラウド・サービス・プロバイダーに問い合わせ、バケット名やボールド名に関する特定の制約事項がないか確認してください。S3 要件とクラウド・プロバイダーの制約事項の両方に準拠したバケット名またはボールド名を使用します。

**ANR4142I** クラウド・サービス・プロバイダーの URL および資格情報が検証されました。指定されたクラウド・サービス・プロバイダー上に提供された名前のバケットおよびボールドが存在しません。

説明: クラウド・サービス・プロバイダーの資格情報および URL の検証が正常に完了しました。ただし、指定されたバケットまたはボールドはまだ存在しません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: これらの資格情報に、バケットまたはボルトを作成するための許可も設定されている場合、これらのパラメーターでストレージ・プールを作成するのは安全です。許可がない場合、このバケットまたはボルトは他の手段で作成する必要があり、これらの資格情報はバケットに対して読み取り、書き込み、削除、およびリストするためのアクセス権が必要です。

---

**ANR4143E** クラウド・ストレージ・プールの資格情報は、必要な情報が使用可能ではなかったために検証できませんでした。

説明: 資格情報は、クラウド・タイプ、URL、クラウド ID、またはクラウド・パスワードが指定されなかったために検証できませんでした。また指定されたストレージ・プールは、欠落しているパラメーター (単数または複数) に対する値が設定されていませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 必要なパラメーターをすべて指定してコマンドを再発行するか、既存のクラウド・ストレージ・プールのストレージ・プール名を指定します。

---

**ANR4144E** *Command:* クラウド・コンテナ・ストレージ・プール *storage pool name* は見つかりませんでした。

説明: 指定されたストレージ・プールは、未定義であるか、クラウド・コンテナ・ストレージ・プールではないかのいずれかです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なクラウド・コンテナ・ストレージ・プール名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4248E** *Audit command:* ストレージ・ボリューム *volume name* に関する情報が欠落しているか、あるいは誤っています。

説明: データベース監査処理で、情報が抜けているかまたは正しくないデータ・ストレージ・ボリュームが見つかります。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 情報を作成するかまたは訂正できるように **FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4249E** *Audit command:* ストレージ・ボリューム *volume name* に関する情報が欠落しているか、あるいは誤っています - 情報は作成されるか、あるいは訂正されることになります。

説明: データベース監査処理で、情報が抜けているかまたは正しくないデータ・ストレージ・ボリュームが見つかります。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この情報は作成または訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4250E** *Audit command:* 無関係な参照が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、ストレージ・プールやボリュームなどの存在していないエンティティに対する参照が見つかります。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合には、存在していないエンティティが再作成されるように、**FIX=YES** を指定して監査コマンドを再発行してください。再作成が不可能でない場合には、無関係な参照は削除されます。

---

**ANR4251E** *Audit command:* 無関係な参照が見つかりました - 情報は再作成されるか、削除されることになります。

説明: データベース監査処理で、ストレージ・プールやボリュームなどの存在していないエンティティに対する参照が見つかります。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、可能な場合には、存在しないエンティティが再作成されます。再作成が不可能でない場合には、無関係な情報は削除されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4298I** 期限切れスレッドは既に処理中です - 別の期限切れ処理を開始できません。

説明: 期限切れスレッドが既に処理中です。この期限切れスレッドの処理は、**EXPIRE INVENTORY** コマンドか自動バックグラウンド期限切れ処理のいずれかです。どちらの場合にも、現在の期限切れ処理が完了するかまたは取り消されるまで、別の期限切れ処理を開始することはできません。

システムの処置: 現在の期限切れ処理が続行されます。

ユーザーの処置: **QUERY PROCESS** コマンドを使用して、現在の期限切れ処理の状況を調べてください。

---

**ANR4299I** *command:* 現在、内部エクステンツの修復プロセスを実行中です。監査コマンドを開始することはできません。

説明: 現在、内部エクステンツの修復プロセスを実行中です。このプロセスがアイドル状態になるまで、監査コマンドを開始することができません。そのため、現在修復中のエクステンツは監査コマンドでレポートされません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 内部エクステンツの修復プロセスは、アイドル状態になると ANR1758I を報告します。その時点で監査コマンドを再実行してください。

---

**ANR4322E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* に正しいスペース管理方式が定義されていません。

説明: データベース監査処理で、有効な値が指定されていない管理クラスが見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4323E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* に正しいスペース管理方式が定義されていません - デフォルトの値が設定されることになります。

説明: データベース監査処理で、有効な値が指定されていない管理クラスが見つっています。AUDITDB 操作に FIX=YES が指定されているので、指定された管理クラスにデフォルトのスペース管理方式の値が設定されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効な値については、IBM

Knowledge Centerの DEFINE MGMTCLASS コマンドを参照してください。

---

**ANR4324E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* に正しい  
**AUTOMIGNONUSE** 値が指定されていません。

説明: データベース監査処理で、有効な値が指定されていない管理クラスが見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4325E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* に正しい  
**AUTOMIGNONUSE** 値が指定されていません - デフォルトの値が設定されることになります。

説明: データベース監査処理で、有効な値が指定されていない管理クラスが見つっています。AUDITDB 操作に FIX=YES が指定されているので、指定された管理クラスにデフォルトの AUTOMIGNONUSE の値が設定されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効な値については、IBM

Knowledge Centerの DEFINE MGMTCLASS コマンドを参照してください。

---

**ANR4326E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* に正しい  
**MIGREQUIRESBKUP** 値が指定されていません。

説明: データベース監査処理で、有効な値が指定されていない管理クラスが見つっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。

---

**ANR4327E** *Audit command:* ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* で管理クラス *class name* に正しい  
**MIGREQUIRESBKUP** 値が指定されていません - デフォルトの値が設定されることになります。

説明: データベース監査処理で、有効な値が指定されていない管理クラスが見つっています。AUDITDB 操作に FIX=YES が指定されているので、指定された管理クラスにデフォルトの MIGREQUIRESBKUP の値が設定されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効な値については、IBM

Knowledge Centerの DEFINE MGMTCLASS コマンドを参照してください。

---

**ANR4328W** *Audit command:* 管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* でスペース管理宛先として指定されたストレージ・プール *storage pool name* が存在していません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに定義されていない指定された管理クラスのスペース管理宛先に対して指定されたストレージ・プールが見つかっています。この管理クラスが活動状態のポリシー・セットに使用される場合には、クライアント・データをこの宛先に入れようとすると、マイグレーション操作は実行されません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、DEFINE STGPOOL コマンドを使用して抜けているストレージ・プールを定義するか、または UPDATE MGMTCLASS コマンドを使用して既存のストレージ・プールを参照するように管理クラスを更新してください。

---

**ANR4331E** *command* 処理が終了した。一致する装置クラスがありません。

説明: サーバーは、RECONCILE VOLUMES コマンドで入力された仕様と一致する装置クラス名を見つけることができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY DEVCLASS コマンドを使用して、サーバー上に定義されている装置クラスを判別して、RECONCILE VOLUMES コマンドを出し直してください。

---

**ANR4332W** このコマンドは、指定された装置クラスで使用されたすべてのボリュームと、それらのボリュームの関連したサーバー上に保管された実際のデータを比較して相違点を報告します。この操作が完了するまで、このデータにアクセスすることはできません。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの実行中は、指定されたボリューム上のデータはすべてユーザーに選択不可能になります。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: ボリュームを調整する場合には 'Y' を、処理を停止する場合には 'N' を入力します。

---

**ANR4333W** このコマンドは、関連サーバーから欠落している、指定された装置クラス (1 つ以上) によって使用されるボリュームへのすべての参照を廃棄するので、データは回復不能になります。正しいボリュームは、この操作が完了するまで、ユーザーにアクセス不能になります。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの実行中は、調整中のボリューム上のデータはすべてユーザーに選択不可能になります。コマンドが終了したあとで、整合性のないボリュームが見つかったそれは廃棄されます。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: ボリュームを調整する場合には 'Y' を、処理を停止する場合には 'N' を入力します。

---

**ANR4334I** *command* (修復) プロセスが開始されました。プロセス ID *process ID*。

説明: FIX=YES を指定した RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、ID が表示されている処理が、指定された装置クラスと関連したボリュームの調整を開始しました。

システムの処置: このボリュームは調整され、無効ボリュームは表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4335I** *command* (検査のみ) プロセスが開始されました。プロセス ID *process ID*。

説明: FIX=NO を指定した RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、ID が表示されている処理が、指定された装置クラスと関連したボリュームの調整を開始しました。

システムの処置: このボリュームは調整され、矛盾するボリュームは表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4336W** *command* プロセスが終了しました。プロセス ID *process ID*。

説明: 指定した装置クラスに関する RECONCILE VOLUMES コマンドが終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果の詳細については、前のメッセージを調べてください。

---

**ANR4337W** *command* 処理が終了しました - 処理が取り消されました。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの処理中に、調整を実行中の処理が取り消されました。

システムの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4338W** *command* 処理が終了しました - 使用可能な回復ログ・スペースが不足しています。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの処理中に、ソース・サーバーに、続行するのに十分な回復ログ・スペースがありません。

システムの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ソース・サーバーでさらに大きい回復ログ・スペースを使用可能にしてください。

---

**ANR4339W** *command* 処理が終了しました - 使用可能なデータベース・スペースが不足しています。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの処理中に、ソース・サーバーに、続行するのに十分なデータベース・スペースがありません。

システムの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ソース・サーバーでさらに大きいデータベース・スペースを使用可能にしてください。

---

**ANR4341W** *command* 処理が終了しました - 使用可能なメモリーが不足しています。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの処理中に、ソース・サーバーに、コマンドを完了するのに十分なメモリーがありません。

システムの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 必要な場合には、ソース・サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR4342W** *command* 処理が終了しました - ロックの対立を検出しました。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの処理中に、ソース・サーバーは、必要なロックを獲得できません。

システムの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドは終了します。

ユーザーの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドを出し直してください。

---

**ANR4343W** *command* 処理が終了しました - 内部サーバー・エラーを検出しました。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの処理中に、ソース・サーバーに内部エラーが起きました。

システムの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4344I** 装置クラス *device class* に関する *command* が開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: ID が表示されている RECONCILE VOLUMES 処理は、指定の装置クラスと関連したボリュームの調整を開始しています。

システムの処置: このボリュームは調整され、矛盾するボリュームは表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4345I** 装置クラス *device class* に関する *command* が完了しました (プロセス ID *process ID*)。 *volume count* 個のボリュームが検査され、 *volume count* 個の無効ボリュームが見つかり、 *volume count* 個のボリュームが削除されました。

説明: ID が表示されている RECONCILE VOLUMES 処理は、指定の装置クラスと関連したボリュームの調整を完了しています。 調整されたボリュームの数と検出または削除された無効ボリュームの数が表示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 表示される装置クラスに対する RECONCILE VOLUMES コマンドの結果の詳細については、前のメッセージを調べてください。

---

**ANR4346I** 装置クラス *device class* に関する *command* が完了しました (プロセス ID *process ID*)。 *volume count* 個のボリュームが検査され、 *volume count* 個の無効ボリュームが見つかりました。

説明: ID が表示されている RECONCILE VOLUMES 処理は、指定の装置クラスと関連したボリュームの調整を完了しています。 調整されたボリュームの数と検出

された無効ボリュームの数が表示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 表示される装置クラスに対する RECONCILE VOLUMES コマンドの結果の詳細については、前のメッセージを調べてください。通信障害が原因でボリュームがアクセス不能だった疑いがある場合には、問題を訂正して、RECONCILE VOLUMES コマンドをやり直してください。エラーが有効な場合には、ソース・サーバーが情報の訂正を試みることができるように、FIX=YES を指定してボリューム調整コマンドを再発行してください。

---

**ANR4352I** サーバー *server name* に接続中。

説明: このメッセージは、QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示され、調整処理が表示されたサーバーからボリューム情報の取得を試みていることを示しています。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4353I** 取り消し処理が進行中

説明: このメッセージは、QUERY PROCESS コマンドに回答して表示され、調整処理が取り消されていることを示します。このプロセスは間もなく終了します。

システムの処置: 調整処理は終了し、サーバーは操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4354W** *command*: ソース・サーバーはターゲット・サーバー *server name* の調整を許可されていません。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの処理中に、ソース・サーバーは、示されたターゲット・サーバーのボリュームを調整することを許可されていません。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーに、表示されたターゲット・サーバーのボリュームを調整する許可が必要な場合には、FORCESYNC=YES を指定した UPDATE SERVER コマンドを実行して、ターゲット・サーバーがソース・サーバーの調整操作を受諾するようにしてください。RECONCILE VOLUMES コマンドを出し直してください。

---

**ANR4355W** *command*: ボリューム *volume name* が無効で、ターゲット・サーバーからソース・サーバーに関する該当項目が欠落しています。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがターゲット・サーバーによって報告され、ソース・サーバーには一致するボリュームがありません。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーのいずれかのデータベースが、RESTORE DATABASE 操作またはサーバーに対して外部の何らかのシステム機能によって復帰されました。データベースの一方または両方がその現行条件に回帰する原因になったアクションを調べてください。そのサーバーのさらに新しいデータベース・イメージが存在する場合には、サーバーをその特定時点にリストアすることを考慮してください。各サーバーのデータベースの条件がアクセス可能で、FIX=NO を指定して RECONCILE VOLUMES コマンドを実行した場合には、FIX=Yes を指定して RECONCILE VOLUMES コマンドを再発行して、そのボリュームがターゲット・サーバーから削除されるようにしてください。

---

**ANR4356W** *command*: ボリューム *volume name* が無効で、ソース・サーバーからターゲット・サーバーに関する該当項目が欠落しています。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがソース・サーバーで検出され、ターゲット・サーバーには一致するボリュームがありません。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーのいずれかのデータベースが、RESTORE DATABASE 操作またはサーバーに対して外部の何らかのシステム機能によって復帰されました。データベースの一方または両方がその現行条件に回帰する原因になったアクションを調べてください。そのサーバーのさらに新しいデータベース・イメージが存在する場合には、サーバーをその特定時点にリストアすることを考慮してください。RECONCILE VOLUMES コマンドが FIX=Yes を指定して発行され、ボリュームがストレージ・プール内に定義されている場合には、ボリュームのアクセス・モードは選択不可能に変更されて、ソース・サーバーへのマウントを防ぎます。各サーバーのデータベースの条件が受諾可能である場合には、ソース・サーバーでコマンド DELETE VOLUME または DELETE

VOLHISTORY を発行してデータベースからそのボリュームを除去してください。

---

**ANR4357W** *command:* ボリューム *volume name* が無効で、ターゲット・サーバーのボリュームが、ソース・サーバーに存在していない装置クラス *device class* を参照しています。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがターゲット・サーバーで検出され、表示された装置クラスと関連しています。ソース・サーバーと対応する装置クラスがありません。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーのいずれかのデータベースが、RESTORE DATABASE 操作またはサーバーに対して外部の何らかのシステム機能によって復帰されました。データベースの一方または両方が現行条件に逆行した原因となったアクションを調べてください。そのサーバーのさらに新しいデータベース・イメージが存在する場合には、サーバーをその特定時点にリストアすることを考慮してください。VOLHISTORY 内のボリュームの場合には、装置クラスはソース・サーバーから削除されている可能性があります。可能な場合には、DEFINE DEVCLASS コマンドを出して、この状態を訂正してください。各サーバーのデータベースの条件がアクセス可能で、FIX=NO を指定して RECONCILE VOLUMES コマンドを実行した場合には、FIX=Yes を指定して RECONCILE VOLUMES コマンドを再発行して、そのボリュームがターゲット・サーバーから削除されるようにしてください。

---

**ANR4358W** *command:* ボリューム *volume name* が無効で、ターゲット・サーバーのボリュームの属性が、ソース・サーバー上の属性と一致しません。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で検出されましたが、ボリュームを記述する属性が一致しません。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーのいずれかのデータベースが、RESTORE DATABASE 操作またはサーバーに対して外部の何らかのシステム機能によって復帰されました。データベースの一方または両方がその現行条件に回帰する原因となったアクションを調べてください。そのサーバーのさらに新しいデータベース・イメージが存在する場合には、サーバーをその特定時点にリストアすることを考慮してください。各サーバーでデータベースの条件が受

け入れ可能な場合には、RECONCILE VOLUMES FIX=YES によりこの状態を訂正することができないので、追加のアクションを行う必要があります。VOLHISTORY 内のボリュームの場合には、IMPORT PREVIEW=YES または RESTORE DATABASE PREVIEW=YES によりボリュームの保全性が判別されることになります。ボリュームにエラーがある場合には、DELETE VOLHISTORY がソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方からボリュームが除去されることになります。ストレージ・プール内のボリュームの場合には、AUDIT VOLUME FIX=NO によりボリュームの保全性が判別されることになります。エラーが見つかった場合には、AUDIT VOLUME FIX=YES によりこのボリュームの一部のデータをアクセス可能にすることができます。それ以外の場合には、ソース・サーバーで DELETE VOLUME コマンドを実行して、ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方からボリュームを除去してください。

---

**ANR4359W** *command:* ボリューム *volume name* が無効で、ターゲット・サーバーのボリュームのサイズが、ソース・サーバー上のサイズと一致しません。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で検出されましたが、ボリュームのサイズが一致しません。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーのいずれかのデータベースが、RESTORE DATABASE 操作またはサーバーに対して外部の何らかのシステム機能によって復帰されました。データベースの一方または両方がその現行条件に回帰する原因となったアクションを調べてください。そのサーバーのさらに新しいデータベース・イメージが存在する場合には、サーバーをその特定時点にリストアすることを考慮してください。各サーバーでデータベースの条件が受け入れ可能な場合には、RECONCILE VOLUMES FIX=YES によりこの状態を訂正することができないので、追加のアクションを行う必要があります。VOLHISTORY 内のボリュームの場合には、IMPORT PREVIEW=YES または RESTORE DATABASE PREVIEW=YES によりボリュームの保全性が判別されることになります。ボリュームにエラーがある場合には、DELETE VOLHISTORY がソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方からボリュームが除去されることになります。ストレージ・プール内のボリュームの場合には、AUDIT VOLUME FIX=NO によりボリュームの保全性が判別されることになります。エラーが見つかった場合には、AUDIT VOLUME FIX=YES によ



りこのボリュームの一部のデータをアクセス可能にすることができます。それ以外の場合には、ソース・サーバーで DELETE VOLUME コマンドを実行して、ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方からボリュームを除去してください。

---

**ANR4360W** *command:* ボリューム *volume name* が無効で、ターゲット・サーバーのボリュームのタイプが、ソース・サーバー上のタイプと一致しません。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で検出されましたが、ボリュームのタイプが一致しません。例えば、ターゲット・サーバーのボリュームはストレージ・プール内に定義されているが、ターゲット・サーバーは、そのボリュームを DATABASE BACKUP 用に使用したことを示しています。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーのいずれかのデータベースが、RESTORE DATABASE 操作またはサーバーに対して外部の何らかのシステム機能によって復帰されました。データベースの一方または両方がその現行条件に回帰する原因になったアクションを調べてください。そのサーバーのさらに新しいデータベース・イメージが存在している場合には、その特定時点にサーバーをリストアすることを考慮してください。各サーバーでデータベースの条件が受け入れ可能な場合には、RECONCILE VOLUMES FIX=YES によりこの状態を訂正することができないので、追加のアクションを行うことが必要になります。一方または両方のサーバーで、これらのアクションを実行することが必要な場合があります。両方のサーバーで、QUERY VOLHISTORY および QUERY VOLUME コマンドを使用して、各サーバーのボリューム・タイプを判別してください。VOLHISTORY 内のボリュームの場合には、該当するサーバーでボリュームが除去されることになる、そのサーバーで DELETE VOLHISTORY を使用してください。ストレージ・プール内のボリュームの場合には、該当するサーバーでボリュームが除去されることになる、そのサーバーで DELETE VOLUME を使用してください。

---

**ANR4361W** *command:* ボリューム *volume name* が無効で、ターゲット・サーバーはボリュームのすべてまたは一部に損傷を報告しました。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で検出されましたが、ターゲッ

ト・サーバーがボリュームのすべてまたは一部に損傷を報告しました。

システムの処置: 調整処理は続行されます。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーで、ソース・サーバーによって使用されるストレージ・プール内のボリュームの FIX=NO を指定した監査によって、損傷があるターゲット・サーバー上のボリュームがどれかが示されることになります。ハードウェア障害 (例えば、テープ・ヘッドの汚れ) が原因で損傷が一時的なものである場合には、この AUDIT VOLUME コマンドでデータベース内の損傷標識をリセットできる場合があります。ターゲット・サーバーのボリュームが、前にコピー・ストレージ・プールにバックアップされた 1 次ストレージ・プール内にある場合には、RESTORE STGPOOL コマンドを使用することによって損傷の訂正を試みてください。ターゲット・サーバーの損傷を訂正する試みが失敗した場合には、ソース・サーバーからの FIX=YES を指定した AUDIT VOLUME コマンドによって、アクセス不能になっている各ファイルはソース・サーバー・データベースで損傷とマークされ、それらのファイルは以降の操作でアクセスされないことになります。ファイルが集合体の一部である場合には、その集合体全体が損傷があるとマークが付けられます。別のストレージ・プールにこのファイルの使用可能コピーが存在する場合には、このファイルにかかわる将来の操作でそのコピーにアクセスすることができます。

---

**ANR4362W** *command:* 装置クラス *device class* の無効ボリューム *volume name* がサーバー *server name* から削除されました。

説明: FIX=YES を指定した RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、情報が表示されている、表示されたボリュームはターゲット・サーバーから削除されます。

システムの処置: ボリュームは削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4363W** *command:* ボリューム *volume name* のアクセスが *access mode* に変更されました。

説明: FIX=YES を指定した RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、ソース・ボリュームのアクセス・モードが表示された値に変更されました。

システムの処置: ボリュームのアクセス・モードが変更されます。

ユーザーの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドによって発行された追加メッセージすべてを検討し、ボリュームを選択不可能に設定するエラーを訂正するか、あ

るいは DELETE VOLUME コマンドを使用して、システムからそれを除去してください。

---

**ANR4364W** *command:* ターゲット・サーバー *server name* に接続できません。

説明: 示されたコマンドの処理中に、ソース・サーバーが示されたターゲット・サーバーとの通信を維持できませんでした。

システムの処置: コマンド・プロセスは続行されます。  
ユーザーの処置: ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で、通信問題をさらに詳しく説明している可能性がある追加メッセージがないか調べてください。

---

**ANR4365W** *command:* ボリューム *volume name* の接頭部が装置クラス接頭部と一致しません。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、表示されたボリュームがソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で検出されましたが、ターゲット・サーバー上の高レベル・アーカイブ・ファイルの開始位置 (接頭部) がソース・サーバー上の装置クラスの接頭部と一致しません。

システムの処置: 調整処理は続行されます。  
ユーザーの処置: 必要な場合には、ソース・サーバー上の装置クラスの接頭部が正しく、また更新されていることを確認してください。ソース・サーバー上で RECONCILE VOLUMES FIX=YES コマンドを使用して、ソース・サーバー上の装置クラスと一致するよう、ターゲット・アーカイブ・オブジェクトを名前変更してください。

---

**ANR4366I** *command:* ボリューム *volume name* の接頭部が、装置クラス接頭部と一致するよう変更されました。

説明: RECONCILE VOLUMES コマンドの結果として、ターゲット・サーバー上の高レベル・アーカイブ・ファイルの開始位置 (接頭部) がソース・サーバー上の装置クラスの接頭部と一致するよう変更されました。

システムの処置: 接頭部が訂正されました。  
ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4370E** ソース・サーバーはターゲット・サーバー *server name* にボリュームを作成することを許可されていません。

説明: ソース・サーバーは、表示されたターゲット・サーバーにボリュームの作成を試みましたが、ソース・サーバーがボリュームの作成を許可されていないために、操作が失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーに、表示されたターゲット・サーバーのボリュームを作成する許可が必要な場合には、FORCESYNC=YES を指定した UPDATE SERVER コマンドを実行して、ターゲット・サーバーがソース・サーバーのボリューム作成操作を受諾するようにしてください。障害の起こった操作をやり直してください。

---

**ANR4371E** ソース・サーバー上の情報がターゲット・サーバー *server name* 上の情報と一致しません。

説明: ソース・サーバーは、表示されたターゲット・サーバーに含まれている情報はもはやソース・サーバーに含まれている情報と一致しないと判断しました。

システムの処置: 操作は失敗します。  
ユーザーの処置: RECONCILE VOLUMES コマンドを出して、問題を判別してください。可能な場合には、問題を訂正して、障害の起こった操作をやり直してください。

---

**ANR4372E** ソース・サーバー上のパスワードがターゲット・サーバー *server name* 上のパスワードと一致しません。

説明: ソース・サーバーは、ソース・パスワードとターゲット・パスワードの両方とも更新することを試みましたが、ソース・サーバーがターゲット・サーバーを更新できないようなエラーが発生しました。パスワードがもはや一致しません。

システムの処置: 操作は失敗します。  
ユーザーの処置: ターゲット・サーバーで、UPDATE NODE コマンドを実行して、そのパスワードを変更してください。ソース・サーバーで、UPDATE SERVER コマンドを実行して、ターゲット・サーバー上の新規パスワードと一致するようにパスワードを変更してください。障害の起こった操作をやり直してください。

---

**ANR4373E** セッションがターゲット・サーバー *server name* によって拒否されました。理由: *rejection reason*。

説明: ソース・サーバーは、ターゲット・サーバーとのセッションをオープンしようとして拒否されました。

システムの処置: 操作は失敗します。  
ユーザーの処置: ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で、セッションが拒否された理由をさらに詳しく説明している可能性がある追加メッセージがないか

調べてください。理由が「認証障害」の場合には、ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で必ず同じパスワードを使用してください。理由が「NO RESOURCE」の場合には、ターゲット・サーバーが使用可能になっていて、ソース・サーバー・セッションをサポートするのに十分な DB、LOG、およびメモリー・リソースがあるかという点、およびソース・サーバーのノード名がロックされても、使用中でもない点を確認してください。これが経路指定されたコマンドである場合には、コマンドを経路指定するために使用されている管理者 ID がロックされておらず、また使用中でないことを検査して確認してください。理由が「ライセンス障害」の場合には、ターゲット・サーバーがソース・サーバー・セッションをサポートするように正しくライセンスされているか確認してください。理由が「下位レベル」の場合には、ターゲット・サーバー・プログラムが、ソース・サーバー・セッションをサポートするのに十分新しいレベルになっているか確認してください。理由が「ノード・タイプ」の場合には、ソース・サーバーは、指定されたターゲット・サーバーとのセッションを確立することを許可されていません。ターゲット・サーバーの NODETYPE は CLIENT です。ソース・サーバーにおけるサーバー定義の NODENAME パラメーターが誤っています。ターゲット・サーバーにおける登録済みノードの NODETYPE パラメーターが誤っていて、NODETYPE=SERVER とする必要があります。理由が「INTERNAL ERROR」の場合は、ターゲット・サーバー上のメッセージを使用して問題を判別してください。すべての理由について、上記のいずれも該当しない場合は、ターゲット・サーバーが DISABLE SESSIONS SERVER コマンドによってこのサーバーを使用不可に設定していないことを確認してください。障害の起こった操作をやり直してください。

---

**ANR4374E** セッション障害。ソース・サーバーが内部エラーを検出しました。

説明: ソース・サーバーは、内部論理エラーが検出されたためにセッションを終了します。

システムの処置: ソース・サーバーはセッションを終了し、操作を続行します。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するために、管理者はこのメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べることができます。QUERY ACTLOG コマンドを使用して、活動記録ログを表示し、メッセージを検索することができます。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4375E** セッション障害。ソース・サーバーのメモリーが不足しています。

説明: ソース・サーバーは、十分なメモリー (仮想メモリー) が不足のため、セッションを終了します。

システムの処置: ソース・サーバーはセッションを終了し、操作を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR4376E** セッション障害。ターゲット・サーバー *server name* はソース・サーバーに対してロックされています。

説明: ソース・サーバーは、ターゲット・サーバーがソース・サーバー・アクセスからロックされているために、セッションを終了します。

システムの処置: ソース・サーバーはセッションを終了し、操作を続行します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーがターゲット・サーバーへのアクセスを許可される前に、正当に許可された管理者がターゲット・サーバーをアンロックする必要があります。

---

**ANR4377E** セッション障害。ターゲット・サーバー *server name* はソース・サーバーに定義されていません。

説明: ソース・サーバーは、表示されているターゲット・サーバーがソース・サーバーに定義されていないために、セッションを終了します。

システムの処置: ソース・サーバーはセッションを終了し、操作を続行します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーがターゲット・サーバーにアクセスできるようにするには、その前にターゲット・サーバーを正しく定義しておく必要があります。次の操作を試みる前に、DEFINE SERVER コマンドを使用してターゲット・サーバーを定義してください。

ターゲット・サーバーが複製サーバーであり、そのサーバー定義が誤って削除されていた場合、複製を試みる前に DEFINE SERVER コマンドを使用してサーバーを再定義してください。ただし、ターゲット・サーバーが必要なくなったので複製から削除する場合には、REMOVE REPLSERVER コマンドを使用して、複製サーバーのリストからターゲット・サーバーを削除します。

---

**ANR4378E** 装置クラス *device class* の場合に、ターゲット・サーバー *server name* によるセッションの再試行がタイムアウトになりました。

説明: ソース・サーバーは、表示されたターゲット・サーバーによってセッションを再確立することを試みましたが、指定された装置クラスからの RETRYPERIOD が超過してしまいました。

システムの処置: ソース・サーバーはセッションを終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーにある問題を判別するか、あるいは RETRYPERIOD 値を増やすことを考慮してください。

**ANR4379E** ソース・サーバーがターゲット・サーバー *server name* 上のパスワードを更新できませんでした。

説明: ソース・サーバーは、ターゲット・パスワードの更新を試みました。ソース・サーバーがターゲット・サーバーを更新できないようなエラーが発生しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーで、問題の原因を判別し、それを訂正してください。管理者が、次のアクションでパスワードを訂正することが必要になる可能性があります。ターゲット・サーバーで、UPDATE NODE コマンドを実行して、そのパスワードを変更してください。ソース・サーバーで、UPDATE SERVER コマンドを実行して、ターゲット・サーバー上の新規パスワードと一致するようにパスワードを変更してください。障害の起こった操作をやり直してください。

**ANR4380E** ソース・サーバーがターゲット・サーバー *server name* 上のサーバー妥当性検査キーを更新できませんでした。

説明: ソース・サーバーは、ターゲット・サーバー上のソース・サーバーの妥当性検査キーの更新を試みましたが、ソース・サーバーがターゲット・サーバーを更新できないようなエラーが発生しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーで、問題の原因を判別し、それを訂正してください。管理者が、次のアクションでキーを訂正することが必要になる可能性があります。ローカル・サーバーで、FORCESYNC=YES を指定した UPDATE SERVER コマンドを実行して、ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方でキーが同期化するようにしてください。障害の起こった操作をやり直してください。

**ANR4381E** ソース・サーバーがターゲット・サーバー *server name* によって登録できませんでした。

説明: ソース・サーバーは、表示されたターゲット・サーバーへの登録を試みました。ソース・サーバーがターゲット・サーバーに登録できないようなエラーが発生しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 許可された管理者に、REGISTER NODE コマンドを使用してターゲット・サーバーの使用に関する要求を実行依頼するように依頼してください。障害の起こった操作をやり直してください。

**ANR4382E** セッション障害。ターゲット・サーバー *server name* のポリシー情報が完全ではありません。policy object がありません。

説明: ソース・サーバーは、表示されているターゲット・サーバーが完全でないポリシー情報を提供したために、セッションを終了します。欠落しているポリシー・オブジェクトは表示されます。

システムの処置: ソース・サーバーはセッションを終了し、操作を続行します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーで適切なコマンドを使用して、ソース・サーバーによって使用されるポリシー定義を完全にしてください。障害の起こった操作をやり直してください。

**ANR4383E** セッション障害。ターゲット・サーバー *server name* は現行トランザクションを打ち切りました。理由: *abort reason*。

説明: ソース・サーバーは、表示されているターゲット・サーバーが所与の理由で現行トランザクションを異常終了したために、セッションを終了します。

システムの処置: ソース・サーバーはセッションを終了し、操作を続行します。

ユーザーの処置: ソース・サーバーとターゲット・サーバーの両方で、トランザクションが異常終了した理由をさらに詳しく説明している可能性がある追加メッセージがないか調べてください。障害の起こった操作をやり直してください。

**ANR4384E** ノード *node name* はターゲット・サーバーとしてセッションを確立することを許可されていません。

説明: 指定されたノードがこのシステムとのセッションを確立しようとしていて、これはこのノードの

NODETYPE が原因で許されません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 指定したノードがターゲット・サーバーとしてセッションを確立することができるようにするためには、ノードが SERVER の NODETYPE によって登録されている必要があります。そうでない場合には、ターゲット・サーバーのノード名を、NODETYPE=SERVER パラメーターを指定して登録されたノード名を使用してセッションの確立を許可されているノード名に変更してください。

---

**ANR4385I** ターゲット・サーバー *server name* によるセッションの再試行が進行中です。

説明: ソース・サーバーは、表示されたターゲット・サーバーとのセッションを再確立することを試みました。セッション再試行処理が行われるのは、ソース・サーバーがターゲット・サーバーとの接続を失い、RETRYPERIOD 値が指定されている場合です。

システムの処置: ソース・サーバーは、ターゲット・サーバーとの接続を試みます。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーに問題があるかどうかを判別し、ソース・サーバーでの操作を取り消すことを考慮するか、あるいはターゲット・サーバーによる問題を訂正してください。

---

**ANR4386I** ターゲット・サーバー *server name* に関するセッション再試行が正常終了しました。

説明: ソース・サーバーは、表示されたターゲット・サーバーとのセッションを再確立しました。

システムの処置: ソース・サーバーの処理が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4387E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が拒否されました - ノード名が **TYPE=CLIENT** として登録されていません。

説明: クライアント・ノード名が TYPE=CLIENT のノードとして登録されていないので、サーバーはクライアント・セッションの開始要求を拒否しています。このノード名は、DEFINE SERVER コマンドで定義されたサーバー定義として、または、REGISTER NODE コマンドで定義された TYPE=SERVER ノードとして、使用中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY NODE TYPE=SERVER また

は QUERY SERVER を発行して、どのサーバー定義がこのノード名を既に使用しているかを調べてください。このクライアントは、REGISTER NODE TYPE=CLIENT コマンドで登録され、他のノードや、このサーバーに定義されているサーバーで使用されていない名前を指定していなければなりません。

---

**ANR4388W** 取り消す期限切れ処理がありません。

説明: CANCEL EXPIRATION コマンドが実行されましたが、現在実行中の期限切れ処理はありません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4389I** 期限切れ処理が取り消されました。

説明: CANCEL EXPIRATION コマンドが実行され、現行処理は正常に取り消されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4390E** CANCEL EXPIRATION が失敗しました - 期限切れ処理を取り消すことはできません。

説明: CANCEL EXPIRATION コマンドが実行されましたが、エラーが検出されました。このエラーが原因で、コマンドは処理を取り消すことができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: コマンド QUERY PROCESS を発行して期限切れ処理のプロセス番号を判別してから、そのプロセス番号にコマンド CANCEL PROCESS を発行してください。これで、現行期限切れ処理が取り消されます。

---

**ANR4391I** ノード *node name*、ファイル・スペース *filespace name*、**fsId** *filespace id*、ドメイン *domain name*、および管理クラス *management class name* の期限切れ処理 - *type* ファイル・タイプ用。

説明: 現在、期限切れ処理は、示されたファイル・タイプに指定されたノード、ファイル・スペース、ドメイン名、および管理クラスについての情報を評価中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4392I    CONTAINER DEFRAGMENTATION**

は、ストレージ・プール *stgpool name* の処理を開始しました。フラグメント化のため、コンテナは *cntr space* の *util pct%* のみを使用しています。

説明: CONTAINER DEFRAGMENTATION は、ストレージ・プール内のフラグメント化されたスペースを解放しようとしています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4393I    CONTAINER DEFRAGMENTATION**

は、ストレージ・プール *stgpool name* 内の *cntr count* 個のコンテナ上にある *freed bytes* バイトの未使用スペースのレクラメーション処理を完了しました。

説明: CONTAINER DEFRAGMENTATION は、ストレージ・プール内のフラグメント化されたスペースを解放しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4394I**    サーバー・データベースは以前にリストアされており、影響を受けるボリュームの監査が今から開始または再開されます。リストア日より後に再使用されたコンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリュームは削除されます。

説明: サーバー・データベースが旧バージョンからリストアされた後、サーバーは、ボリューム・ヒストリー・ファイルをスキャンして、リストアのターゲット日の後に再使用されたコンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリュームを識別します。再使用されたストレージ・プール・ボリュームは削除されます。

システムの処置: 再使用されたコンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリュームは、すべて削除されます。このプロセスは、ローカルの保護プロセスおよび修復プロセスは一時的に中断されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4395E**    *command:* このコマンドはノード *node name* のノード・タイプでは許可されません。

説明: このコマンドは、示されているノードのノード・タイプと互換性がありません。

システムの処置: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4396I**    監査プロセスが完了し、再使用されたコンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリュームが削除されました。 *number of volumes* 個のボリュームおよび *number of chunks* 個のエクステン트가コンテナ・コピー・プールから削除されました。

説明: サーバー・データベースが旧バージョンからリストアされた後、サーバーは、ボリューム・ヒストリー・ファイルをスキャンして、リストアのターゲット日の後に再使用されたコンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリュームを識別しました。それらの再使用されたボリュームが削除されました。

システムの処置: 再使用されたコンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリュームは、すべて削除されました。

ユーザーの処置: 値 TYPE=LOCAL を指定して PROTECT STGPOOL コマンドを発行し、コンテナ・コピー・ストレージ・プールに対する 1 次コンテナ・ストレージ・プールの保護を再開します。

---

**ANR4399E**    **NAS** ファイル・サーバー *NAS file server name* が **NDMP** エラー番号 *NDMP error number* を報告しています: *NDMP error description*。

システムの処置: このプロセスは終了します。

ユーザーの処置: Network Data Management Protocol (NDMP) エラーの原因を特定するには、Network Attached Storage (NAS) ファイル・サーバーの資料を参照してください。NAS ファイル・サーバーの NDMP ログを確認し、エラーを解決して、操作を再開してください。

---

**ANR4444W**    *Command:* 入力ボリューム *volume name* は処理できません。

説明: DSMSERV DISPLAY DBBACKUPVOLUME コマンドの実行中に、サーバーは指定されたバックアップ・ボリュームについての必要な情報を表示できません。

システムの処置: このボリュームは処理されません。指定されたボリューム・リストのすべてのボリュームの処理が続行されます。

ユーザーの処置: 障害の原因については、前のエラー・メッセージを参照してください。

---

**ANR4445I** コンテキスト・パラメーターが *value* に設定されました。

説明: ANR9999D エラーが起こった時にコンテキスト報告が生成されるかどうかを判別してください。これは、SET CONTEXT メッセージング・コマンドによってオン/オフになります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4446I** **AUDIT CONTAINER** コマンド (プロセス ID *process ID*) によって識別された損傷データはありません。

説明: ACTION=SCANDAMAGED パラメーターを指定して AUDIT CONTAINER コマンドを発行しましたが、識別された損傷データ・エクステンントはありませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4483I** ノード *node name* がコマンドの **Set Access** *copy type file space namehigh-level addresslow-level address authorized node name ,authorized owner name* を発行しました。

説明: SET ACCESS コマンドが完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4484I** ノード *node name* がコマンドの **Delete Access** *copy type file space namehigh-level addresslow-level address authorized node name ,authorized owner name* を発行しました。

説明: DELETE ACCESS コマンドが完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4485I** ストレージ・プール・スペース・トリガーが、ストレージ・プール *storage pool name* に対して定義され、使用可能にされています。

説明: ストレージ・プール・スペース・トリガーが、指定されたストレージ・プールに対して、DEFINE SPACETRIGGER コマンドを使用して定義されました。

システムの処置: ありません。

---

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4486I** デフォルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーが定義され、使用可能にされています。

説明: デフォルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーが定義され、使用可能にされています。

devtype=DISK 装置クラスまたは devtype=FILE 装置クラスに関連付けられている任意のストレージ・プールに対して有効になります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4487I** ストレージ・プール・スペース・トリガーが、ストレージ・プール *storage pool name* に対して定義されていますが、使用不可になっています。

説明: ストレージ・プール・スペース・トリガーが指示されたストレージ・プールに対して定義されていますが、スペース拡張パーセントが現在 0 に設定されているため、スペース・トリガーは使用不可です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: スペース・トリガーを活動化するには、UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、スペース拡張パーセントを 0 より大きい値に設定します。

---

**ANR4488I** デフォルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーが定義されていますが、使用不可になっています。

説明: デフォルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーが、devtype=DISK または devtype=FILE 装置クラスに関連付けられているストレージ・プールに対して定義されています。ただし、スペース・トリガーなしに定義されています。これは、現在スペース拡張パーセントが 0 に設定され、スペース・トリガーが使用不可になっているためです。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: スペース・トリガーを活動化するには、UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、スペース拡張パーセントを 0 より大きい値に設定します。

---

---

**ANR4489I**    ストレージ・プール *storage pool name* の  
                  ストレージ・プール・スペース・トリガー  
                  が削除されました。

説明: ストレージ・プール・スペース・トリガーに対し  
て DELETE SPACETRIGGER コマンドが正常に完了し  
ました。 スペース拡張が、指定されたストレージ・プ  
ールに対して自動的に起動されることはなくなります。  
デフォルト・ストレージ・プール・スペース・トリガー  
が存在している場合、指定されたストレージ・プールに  
適用されます。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR4490I**    デフォルト・ストレージ・プール・スペー  
                  ス・トリガーが削除されました。

説明: DELETE SPACETRIGGER コマンドが、デフォ  
ルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーに対し  
て正常に完了しました。 スペース拡張が、特定のスペ  
ース・トリガーのないストレージ・プールに対して自動  
的に起動されることはなくなります。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR4491I**    ストレージ・プール・スペース・トリガー  
                  が、ストレージ・プール *storage pool*  
                  *name* に対して更新され、使用可能にされ  
                  ています。

説明: UPDATE SPACETRIGGER コマンドが、指定さ  
れたストレージ・プール・スペース・トリガーに対し  
て正常に完了しました。 コマンドに指定された更新済み  
パラメーターが、ストレージ・プールに対してスペース  
拡張を自動的に起動するために使用されます。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR4492I**    デフォルト・ストレージ・プール・スペー  
                  ス・トリガーが更新され、使用可能になっ  
                  ています。

説明: UPDATE SPACETRIGGER コマンドが、デフォ  
ルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーに対し  
て正常に完了しました。 コマンドに指定された更新済  
みパラメーターが、特定のストレージ・プール・スペー  
ス・トリガーを持たない、devtype=FILE 装置クラスま  
たは devtype=DISK 装置クラスに関連付けされている  
ストレージ・プールに対してスペース拡張を自動的に起  
動するために使用されます。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    ありません。

---

**ANR4493I**    ストレージ・プール・スペース・トリガー  
                  が、ストレージ・プール *storage pool*  
                  *name* に対して更新されていますが、使用  
                  不可になっています。 **T**

説明: UPDATE SPACETRIGGER コマンドが、指定さ  
れたストレージ・プール・スペース・トリガーに対し  
て正常に完了しました。 しかし、現在スペース拡張パー  
セントが 0 に設定されているので、スペース・トリガ  
ーが使用不可能になっています。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    スペース・トリガーを活動化するに  
は、SPACEExpansion パラメーターを指定した  
UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、ゼロ  
より大きい値に設定します。

---

**ANR4494I**    デフォルト・ストレージ・プール・スペー  
                  ス・トリガーが更新されましたが、使用不  
                  可になっています。

説明: UPDATE SPACETRIGGER コマンドが、デフォ  
ルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーに対し  
て正常に完了しました。 しかし、現在スペース拡張パー  
セントが 0 に設定されているので、スペース・トリ  
ガーが使用不可能になっています。

システムの処置:    ありません。

ユーザーの処置:    スペース・トリガーを活動化するに  
は、SPACEExpansion パラメーターを指定した  
UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、ゼロ  
より大きい値に設定します。

---

**ANR4495E**    *Command:* ストレージ・プール・スペー  
                  ス・トリガーが定義されていません。

説明: 現在定義されていないため、ストレージ・プー  
ル・スペース・トリガーは更新も削除もできません。  
ストレージ・プールが指定されなかった場合、デフォ  
ルト・ストレージ・プール・スペース・トリガーの削除が  
試行されましたが、デフォルト・ストレージ・プール・  
スペース・トリガーは定義されていません。

システムの処置:    サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置:    ありません。

---



---

**ANR4496E** *Command:* ストレージ・プール・スペース・トリガーは定義済みです。

説明: ストレージ・プールに対して定義済みであるため、ストレージ・プール・スペース・トリガーは定義できません。デフォルト・ストレージ・プール・トリガーを定義している場合は、デフォルト・ストレージ・プール・トリガーが既に存在していることになります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、示されたスペース・トリガーのパラメーターを変更してください。

---

**ANR4497E** *Command:* ストレージ・プール *Storage Pool* を持つストレージ・プール・スペース・トリガーに対して、EXPansionprefix が有効ではありません。

説明: ストレージ・プール・スペース・トリガーは、指定されたストレージ・プールが DISK タイプの装置クラスに関連付けられていないため、EXPansionprefix パラメーターを使用して定義することができません。順次アクセス・ストレージ・プールは、関連するディレクトリーを使用して、スペース・トリガーが活動化されたときにスペースを作成します。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: UPDATE SPACETRIGGER コマンドを使用して、EXPansionprefix パラメーターを使用しないでスペース・トリガーを作成します。

---

**ANR4498E** *Command:* ストレージ・プール *Storage Pool* は、ストレージ・プール・スペース・トリガーとして適格ではありません。

説明: 示されたストレージ・プールは、DISK タイプまたは FILE タイプの装置クラスと関連付けられていないため、あるいは RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールであるため、スペース・トリガーを定義することができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: DEFINE SPACETRIGGER コマンドを使用して、タイプ DISK または FILE の装置クラスをもつストレージ・プール、または RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールでないものを指定してスペース・トリガーを作成してください。

---

**ANR4499E** *Command:* 基本バックアップ・セット名 *Backup Set Name* が見つかりませんでした。

説明: 指定されたバックアップ・セット名接頭部で開始される名前を持つフルバックアップ・セットが見つかりませんでした。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: QUERY BACKUPSET コマンドを使用して使用可能なフルバックアップ・セットをリストし、既存のフルバックアップ・セットのバックアップ・セット名接頭部を指定してコマンドを再発行してください。フルバックアップ・セットが存在しない場合は、フルバックアップ・セットが生成されるまでは BASE パラメーターを指定しないでください。

---

**ANR4500I** 順次ボリューム・ヒストリー情報を定義済みのファイルに書き込み中。

説明: サーバーは、順次ボリューム使用状況情報に関する情報によって、サーバー・オプション・ファイルに定義されたすべての順次ボリューム・ヒストリー・ファイルを更新中です。更新されるファイルは、サーバー・オプション・ファイルの VOLUMEHISTORY オプションで指定されたものです。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4501I** 順次ボリューム・ヒストリー情報は正常に *file name* に書き込まれました。

説明: サーバーは、順次ボリューム使用状況情報に関する情報によって、サーバー・オプション・ファイルに定義されたすべての順次ボリューム・ヒストリー・ファイルを更新中です。ボリューム・ヒストリー情報は指定されたファイルに正常に書き込まれました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4502W** 順次ボリューム・ヒストリー情報を自動的に保管するファイルが定義されていません。

説明: サーバーは、順次ボリューム使用状況情報に関する情報によって、サーバー・オプション・ファイルに定義されたすべての順次ボリューム・ヒストリー・ファイルを更新しようとしています。この情報を受け取るファイルが構成されていないので、自動操作は実行されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーにサーバーの回復を助ける順次ボリューム・ヒストリー情報を自動的に記録させるためには、サーバー・オプション・ファイルの VOLUMEHISTORY オプションを使用して、ヒストリー情報を書き込む場所を指定してください。オプション・ファイルを更新した場合には、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4503W** サーバー現在日付 *current date* は、サーバー・レコード内の日付 *server date* より前の日付です。

説明: サーバーは、現在のシステム日付が、処理されているサーバー・レコード内の日付よりも前の日付であることを検出しました。この問題の原因として、現在のシステム日付が無効である、以前に将来の日付を使用してサーバーが実行された、またはサーバー・レコード内にエラーがあることが考えられます。将来の日付を使用してサーバーが実行された場合は、その日付が経過するか、将来の日付を持つすべてのレコードがサーバーから削除されるまで、このメッセージが引き続き表示されます。

システムの処置: 処理を続行します。現在のオブジェクトの処理は予想どおりに実行されないことがあります。

ユーザーの処置: サーバーを実行しているマシンで、システム日付が正しいことを確認してください。

---

**ANR4504E** *Command:* 指定された時点は、基本バックアップ・セットの時点より前の時点です。

説明: 差分バックアップ・セットで指定された時点は、その基本バックアップ・セットの時点より前の時点です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後の時点を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4505E** *set name* という名前の *node name* のバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) に対して必須の目次を作成できませんでした。

説明: 命名されたオブジェクト・セットに対して目次を作成できませんでした。目次は必須です (TOC=YES が指定されたか、暗黙指定されました)。

システムの処置: バックアップ・セットは削除されません。

ユーザーの処置: 目次の作成を妨げている問題を訂正

し、バックアップ・セットをもう一度生成してください。

---

**ANR4506W** *node name* の *set name* としてのバックアップ・セット (データ・タイプ *data type*) には目次が必要です。

説明: 指定されたバックアップ・セットには目次が必要ですが、TOC=YES が指定されませんでした。

システムの処置: サーバーは、バックアップ・セット用の目次の作成を試行します。目次の作成が失敗すると、バックアップ・セットは削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4508I** コンテナ *container name* に対してコンテナの監査 (損傷のスキャン) プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 示されたコンテナに対するスキャン・アクションを指定した AUDIT CONTAINER コマンドの結果として、表示された ID のプロセスが、指定されたコンテナ上で以前にマークされた損傷データ・エクステントの監査を開始しました。

システムの処置: コンテナ上で以前にマークされた損傷データ・エクステントが監査されます。データ・エクステントが損傷していない場合は、損傷なしとしてリセットされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4510E** サーバーは順次ボリューム・ヒストリー情報を *volume history file name* に書き込むことができませんでした。データベースを復元するには、このファイルへのアクセス権限が必要です。

説明: 順次ボリューム・ヒストリー情報を定義済みヒストリー・ファイルに書き込もうとしている時に、サーバーが指定のファイルに書き込むことができませんでした。このファイルにアクセスできるようになるまで、データベースを復元できません。

システムの処置: サーバーはボリューム・ヒストリー情報を指定されたファイルに書き込みません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、問題を訂正してください。サーバーが表示のファイルへの書き込みを許可されていること、およびファイル・システムにこのファイル用の十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーがこのデータ・セットへの書き込みを許可されてい

ることを確認してください。問題を訂正した後で、BACKUP VOLHISTORY コマンドを使用して、順次ボリューム・ヒストリー情報をファイルに書き込んでください。

---

**ANR4511E** ボリューム・ヒストリー *volume history file name* をオープンできません。データベースを復元するには、このファイルへのアクセス権限が必要です。

説明: 定義されたヒストリー・ファイルで順次ボリューム・ヒストリー情報の読み取りまたは書き込みを試行している時に、サーバーが指定のファイル名を開くことができませんでした。このファイルにアクセスできるようになるまで、データベースを復元できません。

システムの処置: サーバーが、指定されたファイルのボリューム・ヒストリーの読み取りまたは書き込みを行いません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、問題を訂正してください。サーバーが表示のファイルへの書き込みを許可されていること、およびファイル・システムにこのファイル用の十分なスペースがあることを確認してください。MVS では、データ・セットが割り振られていて、サーバーがこのデータ・セットへの書き込みを許可されていることを確認してください。

---

**ANR4512E** 順次ボリューム・ヒストリー情報の処理中にデータベース・トランザクション障害が見つかりました。

説明: 順次ボリューム・ヒストリー情報を処理しようとしている時に、サーバーがデータベース・トランザクション・エラーを見つけました。

システムの処置: 操作は失敗します。順次ボリュームの使用状況は、後日の参照用に正しく記録されていません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。これで問題が解決されない場合には、サポート担当員に連絡してください。

---

**ANR4513E** 順次ボリューム・ヒストリー情報の処理中にデータベース・ロックの対立が見つかりました。

説明: 順次ボリューム・ヒストリー情報を処理しようとしている時に、サーバーがデータベースのロックの矛盾を見つけました。

システムの処置: 操作は失敗します。通常これは、順次ボリュームの使用状況が後日の参照用に正しく記録さ

れていないことを意味します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。これで問題が解決されない場合には、サポート担当員に連絡してください。

---

**ANR4514E** 順次ボリューム・ヒストリー情報の処理中に、サーバーに使用可能なデータベース・スペースが十分ではありません。

説明: 順次ボリューム・ヒストリー情報を処理しようとしている時に、サーバーが更新に使用可能な十分なデータベース・スペースがないのを見つけました。

システムの処置: 操作は失敗します。順次ボリュームの使用状況は、後日の参照用に正しく記録されていません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR4515E** 順次ボリューム・ヒストリー情報の処理中に、サーバーに使用可能な回復ログ・スペースが十分ではありません。

説明: 順次ボリューム・ヒストリー情報を処理しようとしている時に、サーバーが更新に使用可能な十分な回復ログ・スペースがないのを見つけています。

システムの処置: 操作は失敗します。順次ボリュームの使用状況は、後日の参照用に正しく記録されていません。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの

ACTIVELOGDIRECTORY、  
ARCHIVELOGDIRECTORY、および  
ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルがACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY およびARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

**ANR4516E** サーバーはどの定義済みファイルからも順次ボリューム・ヒストリー情報を読み取ることができませんでした。

説明: 定義されたヒストリー・ファイルから順次ボリューム・ヒストリー情報を読み取ろうとしている時に、サーバーがサーバー・オプション・ファイルに定義されているいずれのファイルもオープンできないのを見つけています。

システムの処置: サーバーはボリューム・ヒストリー情報を読み取りません。 現行のサーバー・タスクにこの情報が必要な場合には、そのタスクは終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。サーバーに定義されたボリューム・ヒストリー・ファイルから読み取る正しい権限があることを確認してください。 データベースのリストアを実行している場合には、RESTORE DB DEVCLASS=VOL を発行してください。

**ANR4517E** 順次ボリューム・ヒストリー情報を保管するファイルが定義されていません。

説明: サーバーは、サーバー・オプション・ファイルに定義されている少なくとも 1 つのボリューム・ヒストリー・ファイルから読み取ろうとしています。 この情報用のファイルが定義されていないので、読み取り操作は実行されません。

システムの処置: サーバーの操作は終了します。

ユーザーの処置: データベースは、必要な時点までのそれぞれのリストア操作のボリューム名を (順番に) 指定してリストアすることができます。 ボリューム・ヒストリー・ファイルが使用できる場合は、サーバー・オプション・ファイルにその名前を指定して操作をやり直してください。

**ANR4518E** ボリューム・ヒストリー・ファイル *file name* 行 *line number* の形式が正しくありません - 読み取り操作は失敗します。

説明: サーバーがボリューム・ヒストリー・ファイルから読み取ろうとして、形式の正しくないレコードを見つけています。

システムの処置: サーバーの操作は終了します。

ユーザーの処置: 指定されたファイルを調べて、無効なレコードを見つけて訂正することができるかどうかを判別してください。 ファイルが壊れていたり正しいボリューム・ヒストリー項目が入っていない場合には、必要な操作に使用することはできません。

**ANR4519W** ボリューム・ヒストリー・ファイルは最新のストレージ・エージェントの更新を反映していません。

説明: ストレージ・エージェントは、その最新の更新情報をサーバー上のボリューム・ヒストリー・ファイルに反映することに失敗しました。

システムの処置: ストレージ・エージェントは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を回避するには、サーバーに接続されている `admin` クライアントから `BACKUP VOLHIST` コマンドを実行してください。 原因は、サーバーとの一時的な通信エラーによる可能性があります。

**ANR4520I** ストレージ・プール *storage pool name* は、スペース割り振り中にスキップされています。 *request amount* メガバイトが要求されましたが、*available amount* メガバイトのみが使用可能でした。

説明: 指示されたストレージ・プールでストレージが要求されました。 ストレージ・プールは、表示されたメガバイト数の容量をもっています。 要求された量は、スキップされているストレージ・プールで満たされません。 次のストレージ・プールがある場合は、要求を満たすためにそのストレージ・プールでストレージ要求が試行されます。

システムの処置: ストレージ・サーバーは指示されたストレージ・プールをスキップして、「次の」プールでストレージを割り振ろうとします。

ユーザーの処置: ストレージ・プールのスペースを増やすには、許可されるスクラッチ・ボリュームの数を増やす (`UPDATE STGPOOL poolname MAXSCRATCH=xx` コマンドを使用) か、ストレージ・プールに専用ボリュームを作成する (`DEFINE VOLUME poolname volname` コマンドを使用) するか、またはストレージ・プール・スペース・トリガーを作成して、ストレージ・プール内のストレージをモニターします。 ストレージ・プール・スペース・トリガーは、スペース・トリガーを超過した場合に、自動的に `FILE` ボリュームを新規作成することもできます (`DEFINE SPACETRIGGER STG STGPOOL=poolname` コマンドを使用)。

**ANR4521E** `BACKUP DB` コマンドに指定されているボリュームの数が十分ではありません。 バックアップは失敗しました。

説明: `BACKUP DB` コマンドの入力パラメーターに指

定されたバックアップ・ボリュームは、十分ではありません。

システムの処置: BACKUP DB は終了します。

ユーザーの処置: 入力ボリュームを増やしてください。

**ANR4522E** ログ・ファイル・エラーで、**RESTORE DB** に失敗しました。

説明: ログ・ファイルは現在のログ・シーケンスと関連付けられていません。

システムの処置: RESTORE DB は終了します。

ユーザーの処置: 最初に REMOVE DB を実行してから RESTORE DB を再試行してください。

**ANR4523I** ストレージ・プール・スペース拡張が起動されました。 *capacity* メガバイトの容量をもつストレージ・プール *storage pool name* は、追加スペース *expansion amount* バイトのため、 *percentage* パーセントの拡張を要求します。

説明: 起動されたスペース拡張が、指示されたストレージ・プールに対して開始されました。 ストレージ・プールは、表示されたメガバイト数の容量をもっています。 ストレージ・プールは、それに対するストレージ・プール・スペース・トリガーの指示に従うか、またはこのストレージ・プールがそれ自体の専用のトリガーを持っていない場合にデフォルト・ストレージ・スペース・トリガーの指示に従って、指定されたパーセントだけ拡張されます。 パーセントは、指示された追加スペース量によって表されます。

システムの処置: スペース拡張が開始します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4524I** ストレージ・プールの起動によるスペース拡張の結果として、ストレージ・プール *storage pool name* に定義されたボリューム *volume name*。

説明: 起動されたスペース拡張により、メッセージに表示されたストレージに、指示されたボリュームが作成されました。 ボリューム定義は、スペース・トリガー・スペースしきい値に達したときに新規のスペースを割り振るストレージ・プール・スペース・トリガー定義の結果です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4525E** ストレージ・プール *storage pool name* 内にボリューム *volume name* を定義するのに失敗。 戻りコード *return code*。

説明: 起動されたスペース拡張により、メッセージに表示されたストレージ・プール内に、指示されたボリュームの作成が試行されました。 このボリュームの作成は、示された戻りコードで失敗しました。 ボリュームは、ストレージ・プールに追加されませんでした。 障害に関する特定の情報を持つ追加メッセージが、ボリューム作成プロセスから表示されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ボリューム作成プロセスからの障害メッセージに基づいたアクションを行うことが必要な場合があります。 そのようなアクションには、ストレージ・スペース・トリガー定義を変更すること、ハードウェア機能の正常動作を確認すること、または IBM Spectrum Protect が書き込みを行うファイル・システム上にアクセスしてファイルを作成できる十分なアクセス権限でサーバーがセットアップされていることを確認することなどがあります。

**ANR4526E** *storage pool name* のストレージ・プール・スペース・トリガーが終了されました。 スレッド・リソースが使用不可です。

説明: サーバーは、示されたストレージ・プールのストレージ・プール拡張を処理するためにスレッドを開始できません。

システムの処置: サーバーの処理は続行されますが、ストレージ・プールは拡張されません。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

**ANR4527W** *volume definition failures* の拡張の失敗後、*storage pool name* のストレージ・プール・スペース・トリガーが使用不可になりました。 プール拡張のためのスペースが不足しています。

説明: サーバーは、示されたストレージ・プールのストレージ・プール拡張を正常に完了できませんでした。 プール拡張における失敗数も表示されます。

システムの処置: サーバーの処理は続行されますが、ストレージ・プールは拡張されません。 示されたストレージ・プールのストレージ・プール・スペース・トリガーが使用不可になりました。

ユーザーの処置: サーバーに追加のストレージ・スペースを割り振ってください。 装置タイプが FILE である

ストレージ・プールでは、追加のディレクトリーがストレージの装置クラスの使用に関連するディレクトリーのリストに追加されることがあります。このアクションが実行されると、対応するストレージ・エージェント・ディレクトリーが、UPDATE PATH コマンドによって追加されます。ストレージ・プール・スペース・トリガーは、UPDATE SPACETRIGGER STG STPOOL=xx コマンドによって再使用可能になります。ここで xx は拡張が失敗したストレージ・プールです (スペース・トリガーのパラメーターの更新は不要)。

---

**ANR4528W** 以前の拡張の失敗のために *storage pool name* のストレージ・プール・スペース・トリガーが使用不可になりました。スペース要件に対応した後、**UPDATE SPACETRIGGER STG** コマンドを発行して自動 **stgpool** 拡張できるようにしてください。

説明: サーバーは、示されたストレージ・プールのストレージ・プール拡張を正常に完了できませんでした。以前の拡張の失敗のためにストレージ・プール・スペース・トリガーは、使用不可になりました。ストレージ・プール・スペース・トリガーは、UPDATE SPACETRIGGER STG STPOOL=xx コマンドによって再使用可能になります。ここで xx は拡張が失敗したストレージ・プールです (スペース・トリガーのパラメーターの更新は不要)。

システムの処置: サーバーの処理は続行されますが、ストレージ・プールは拡張されません。示されたストレージ・プールのストレージ・プール・スペース・トリガーが使用不可のままです。拡張が必要なのにストレージ・プール・スペース・トリガーが使用不可のままである場合は、このメッセージは定期的に発行されます。

ユーザーの処置: サーバーに追加のストレージ・スペースを割り振ってください。装置タイプが FILE であるストレージ・プールでは、追加のディレクトリーがストレージの装置クラスの使用に関連するディレクトリーのリストに追加されることがあります。このアクションが実行されると、対応するストレージ・エージェント・ディレクトリーが、UPDATE PATH コマンドによって追加されます。ストレージ・プール・スペース・トリガーは、UPDATE SPACETRIGGER STG STPOOL=xx コマンドによって再使用可能になります。ここで xx は拡張が失敗したストレージ・プールです (スペース・トリガーのパラメーターの更新は不要)。

---

**ANR4531I** 自動完全データベース・バックアップが開始されます。使用された最後のログ番号は *last log used* で、使用された最初のログ番号は *first log used* です。ログ・ファイル・サイズは *log file size* メガバイトです。最大ログ・ファイル・サイズは *maximum log file size* メガバイトです。

説明: 最後のデータベース・バックアップ以降に使用されたログ・スペースが最大ログ・ファイル・サイズを超える場合、フル・データベース・バックアップが開始されます。

システムの処置:

ユーザーの処置:

---

**ANR4533E** データベース *database name* が無効であるため作成できません。

説明: データベースの名前または別名を選択する場合は、以下のすべてのルールに従ってください。

- データベースの名前を表す文字ストリングには a-z、A-Z、0-9、@、#、および \$ の文字を使用できます。
- データベースの名前または別名はデータベース・インスタンスで固有でなければなりません。
- データベースの名前または別名の長さは 1 から 8 文字です。
- 名前の先頭文字は英字または @、#、\$ のいずれかでなければなりません。
- 名前の最初の 3 文字には SYS、DBM、または IBM のストリングを使用できません。

システムの処置: DSMSEV FORMAT 処理は停止します。

ユーザーの処置: 上記の条件を満たす別のデータベース名を選択し、DSMSEV FORMAT コマンドを再実行してください。

---

**ANR4534E** 活動ログ・サイズ *active log size MB* が使用可能なスペース *active log space MB* を超過しています。

説明: DSMSEV FORMAT コマンドで指定された活動ログ・サイズ用に十分なスペースがありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: データベースおよび回復ログ・アクティビティに使用しているファイル・システムに十分なスペースがあることを確認してください。DSMSEV FORMAT コマンドを再発行して、より小さな値を活動ログ・サイズに指定してください。

**ANR4535E** 活動ログ・ディレクトリー *active log directory* は有効ではありません。

説明: DSMSERV FORMAT コマンドで指定されている活動ログ・ディレクトリーは存在しません。

システムの処置: データベースのフォーマット操作が失敗しました。

ユーザーの処置: サーバー・データベースおよび回復ログのフォーマットで指定したファイル・システムが有効であることを確認してください。有効な活動ログ・ディレクトリーを指定して DSMSERV FORMAT コマンドを再発行します。

**ANR4536E** ファイル *Processor Value Unit table xml file* が見つからなかったか、読み取りアクセスのために開くことができませんでした。

説明: ファイルが見つからなかったか、開くことができませんでした。

システムの処置: ファイルの内容の解析とデータベースへのロードは行われません。

ユーザーの処置: ファイルがサーバー・インスタンス・ディレクトリーまたはサーバー・インストール・ディレクトリーのいずれかに存在することを確認してください。ファイルが存在する場合は、読み取りアクセスの許可を調べてください。ファイルが存在しない場合は、IBM プロセッサ・パリユー・ユニットの Web サイトからコピーを取得してください。

**ANR4537I** 使用された活動ログ・スペースは *log space used is* メガバイトで、使用可能な活動ログ・スペースは *log space available* メガバイトです。比率 *active log used ratio* がしきい値 *log utilization threshold* を超えています。

説明: 使用された活動ログ・スペースがログの使用率しきい値を超える場合、活動ログ・スペースを増やす必要があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 活動ログ・スペースのサイズを増やしてください。活動ログ・スペースのサイズを増やす方法については、製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「活動ログ」を検索してください。

**ANR4538E** サーバーは順次ボリューム・ヒストリー情報を *volume history file name* 一時ファイルに書き込むことができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたファイルに書き込むことができませんでした。ボリュームのヒストリー・ファイルは、この一時ファイルにアクセスできるようになるまで更新できません。

システムの処置: ボリューム・ヒストリー情報は指定された一時ファイルに書き込まれませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、問題を訂正してください。サーバーが指定されたファイルへの書き込みを許可されていること、およびファイル・システムにこのファイル用の十分なスペースがあることを確認してください。

**ANR4539E** サーバー *server name* の装置クラス *device class name* とパス定義間のディレクトリー数が不一致です。装置クラスには *directory count* 個のディレクトリーがあり、パス定義には *path directory count* 個のディレクトリーがあります。

説明: サーバーは、共有 FILE ライブラリー・ボリュームを、サーバーまたはストレージ・エージェントに割り当て中でした。共有 FILE ライブラリーでは、サーバーまたはストレージ・エージェントが FILE ドライブにアクセスするための PATH 定義と、サーバーの装置クラス定義でディレクトリー数が一致している必要があります。例えば、サーバーに以下の装置クラス定義があるとします。DEFINE DEVCLASS SFILE DEVTYPE=FILE MOUNTL=10 SHARED=YES DIR=D:¥DIR1,E:¥DIR2,F:¥DIR3 FILE ライブラリー名 SFILE が作成され、それとともに共有ライブラリー SFILE に SFILE1 から SFILE10 までの名前の付いた 10 個のドライブが作成されます。各ドライブは、ディレクトリー D:¥DIR1、E:¥DIR2、または F:¥DIR3 で作成されたスクラッチ・ボリュームをもつことができます (UNIX プラットフォームの場合は、上記の例で UNIX 形式の名前を代用してください)。

ライブラリー・クライアントおよびストレージ・エージェントの場合は、DEFINE PATH コマンドを使用して、それらのシステムからの適切なディレクトリー・パスを定義する必要があります。例えば、この場合は、DEFINE PATH STA1 SFILE1 SRCTYPE=SERVER DESTTYPE=DRIVE DIR=V:¥DIR1,W:¥DIR2,X:¥DIR3 LIBRARY=SFILE となります。これは、サーバー (またはストレージ・エージェント) STA1 が STA1 システムから V:¥DIR1 を使用してディレクトリー D:¥DIR1 にアクセスし、サーバーの E:¥DIR2 が STA1 の

W:¥DIR2 を使用してアクセスされ、F:¥DIR3 が STA1 の X:¥DIR3 を使用してアクセスされることを意味します。PATH と DEVCLASS 間でディレクトリー数が一致しない場合は、あとで結果ファイルにアクセスするときに問題が発生する可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。別のディレクトリー・パスが選択されます。これによって、ストレージ・エージェントによる以降のアクセスが失敗する場合があります。

ユーザーの処置: QUERY DEVCLASS classname F=D コマンドと QUERY PATH pathname F=D コマンドを使用して、装置クラスとパスのディレクトリー・リストを比較し、それらが同期していることを確認します。

---

**ANR4540I** コンテナ *container name* は現在保留中です - コンテナは、このストレージ・プールの再使用遅延の経過後にストレージ・プール *storage pool name* から削除されます。

説明: 示されているコンテナからすべてのファイルが削除されました。示されているストレージ・プールの再使用遅延期間が経過するまで、コンテナはストレージ・プールから削除されません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4542E** *Audit command:* 装置クラス *device class id* に対して無効なサーバーが

**DevClass.Dirs** テーブルで検出されました。テーブル内のサーバー名は *server name* です。

説明: データベース監査処理によって、未定義であるか、または長さが無効であるサーバーを含むディレクトリー項目が DevClass.Dirs テーブルで検出されました。このテーブルは、ディレクトリーを装置クラスおよびパスに関連付けます。テーブル項目のクラス ID が、サーバー名とともに表示されます。ただし、サーバー名の長さが無効である場合は、単にブランクが表示されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: FIX=YES パラメーターが指定されている場合は、誤った項目をもつデータベース・レコードは削除されます。パラメーターが指定されていない場合は、誤ったレコードを削除できるように FIX=YES を指定して監査コマンドを再発行してください。誤った項目をもつレコードが除去されたら、装置クラスおよびパスに関連したディレクトリーを確認するために以下のコマンドを実行します。QUERY DEVCLASS F=D  
QUERY PATH F=D

---

**ANR4546W** サーバー '*server name*' に対する ping 要求は、サーバー資格情報を使用して接続を確立できませんでした。

説明: この失敗は、ソース・サーバーまたはターゲット・サーバーに問題があるか、またはサーバー間の接続に問題があることを示している可能性があります。

システムの処置: 接続は確立されませんでした。

ユーザーの処置: 問題を特定して解決するには、以下のステップを実行してください。1. ソース・サーバーに障害または問題があることを示すメッセージがないか、活動記録ログおよびサーバー・コンソールを調べます。2. サーバー間の通信接続を調べます。3. 両方のサーバーにおけるサーバー定義およびパスワードを確認します。4. ターゲット・サーバーが稼働していることを確認します。5. 識別された問題をすべて訂正します。

---

**ANR4547W** リモート・サーバー *server\_name* のクロックが、ローカル・サーバーのクロックと *seconds* 秒異なります。

説明: ローカル・サーバーとリモート・サーバーのクロックが整合していません。これは、矛盾する状況報告など、さまざまな問題の原因となる可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: すべてのサーバーのクロックが正しく設定されていることを確認してください。可能な場合は、クロックを自動的に同期化するためにインターネットのタイム・サービスを使用してください。

---

**ANR4548W** *command:* 指定された危険とみなされる間隔 *interval* 時間は、アクティビティーの要約の保存期間 *retention* 日を超えています。

説明: アクティビティーの要約は、危険とみなされる間隔内でクライアントがバックアップされたかを判別するのに使用されます。この間隔がアクティビティーの要約の保存期間を超えていると、サーバーは、条件を満たすバックアップを見つけることができず、クライアントが保護されていないと判断します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンドを再度呼び出して間隔を短くするか、SET SUMMARYRETENTION コマンドを使用してアクティビティーの要約の保存期間を増やします。



---

**ANR4550I** フル・データベース・バックアップ (プロセス *process ID*) は完了しました。バックアップされた合計バイト数は *total DB bytes* です。

説明: 完全なデータベースのバックアップ処理が完了しました。このバックアップに使用された出力ボリュームは、データベースのリストア操作で使うことができます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4551I** データベースの増分バックアップ (プロセス *process ID*) は完了しました。バックアップされた合計バイト数は *total DB bytes* です。

説明: データベースの増分バックアップ処理が完了しました。このバックアップに使用された出力ボリュームは、データベースのリストア操作中に、一連のバックアップの前のボリュームと一緒に使うことができます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4555I** データベース・バックアップ・プロセス *process ID* が取り消されました。

説明: データベースのバックアップ処理は、管理者によって CANCEL PROCESS コマンドで取り消されました。

システムの処置: データベースのバックアップ処理は終了されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4558I** スナップショット・データベース・バックアップ (プロセス *process ID*) は完了しました。バックアップされた合計バイト数は *total DB bytes* です。

説明: データベースの差分バックアップ処理が完了しました。このバックアップに使用された出力ボリュームは、データベースのリストア操作中に、フルバックアップで、前のボリュームと一緒に使えます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4559I** DB のバックアップが進行中。

説明: データベースのバックアップ処理中です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4570E** データベースのバックアップ/リストアが終了しました - 装置クラス *device class name* が定義されていません。

説明: データベースのバックアップまたはリストア処理中に、指定された装置クラスが定義されていないので、エラーが起きました。

システムの処置: データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストアは終了されます。

ユーザーの処置: データベースのバックアップの場合には、指定された装置クラスが定義されていることを確認してください。データベースのリストア処理の場合には、サーバー・オプション・ファイルで指定された装置構成ファイルに装置クラスの定義があることを確認してください。

---

**ANR4571E** データベース・バックアップ/リストアが終了しました - 取り外し可能メディアに使用可能なマウント・ポイント数が不足しています。

説明: データベースのバックアップまたはリストア中に、サーバーが必要なボリュームに十分なマウント・ポイントを割り振ることができません。

システムの処置: データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストアは終了されます。

ユーザーの処置: データベースのバックアップの場合には、必要に応じてさらに多くのマウント位置を用意してください。データベースのリストア処理の場合には、サーバー・オプション・ファイルに指定された装置クラス情報に十分なマウント・ポイントが定義されていることを確認してください。

**ANR4572E** データベース・リストアが終了しました - 重大な読み取りエラーが見つかりました。

説明: データベースのリストア中に、リストアの続行を妨げる読み取りエラーが起こっています。

システムの処置: データベースのリストア処理は停止します。

ユーザーの処置: リストア操作には別の装置を使用してください。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR4573E** データベース・バックアップが終了しました - 重大な書き込みエラーが見つかりました。

説明: データベースのバックアップ中に、バックアップの続行を妨げる書き込みエラーが起こっています。

システムの処置: データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。

ユーザーの処置: 可能な場合には、書き込みエラーの原因を調べて訂正してください。この問題を訂正することができない場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR4574E** データベースのバックアップ/リストアが終了しました - データ転送が中断されました。

説明: データベースのバックアップまたはリストア操作中に、データの転送操作が中断されて、続行することができません。

システムの処置: データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストアは終了されます。

ユーザーの処置: 可能な場合には、中断の原因を調べて訂正してください。この問題を訂正することができない場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR4575E** データベース・バックアップ/リストアが終了しました - 使用可能な回復ログ・スペースが十分にありません。

説明: データベースのバックアップまたはリストア操作中に、サーバーが回復ログ・スペースを使い切っています。

システムの処置: データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストアは終了されます。

ユーザーの処置: データベースのバックアップの場合には、必要に応じてさらに多くのサーバー回復ログ・スペースを用意してください。データベースのリストアの場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR4576E** データベース・バックアップ/リストアが終了しました - 使用可能なデータベース・スペースが十分にありません。

説明: データベースのバックアップまたはリストア操作中に、サーバーがデータベース・スペースを使い切っています。

システムの処置: データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストア処理で、データベースの容量をリストアされるデータベースを入れるために必要な容量に設定しようとしています。これがうまくいかない場合には、リストア操作は終了します。

ユーザーの処置: データベースのバックアップの場合には、必要に応じてさらに多くのサーバー・データベース・スペースを用意してください。データベースのリストアの場合には、オンライン・データベースのサイズが少なくともリストアされるデータベースと同じ容量であることを確認してください。

**ANR4577E** データベース・バックアップが終了しました - ボリュームは既に使用中です。

説明: データベースのバックアップ操作中に、ボリュームが既にストレージ・プールに定義されているか、前にエクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベ

ース・バックアップ操作に (ボリューム・ヒストリーに記録されているように) 使用されているか、あるいは別の処理によって使用されているので、ボリュームを使用することができません。

**システムの処置:** データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。

**ユーザーの処置:** 使用中でないか、ストレージ・プールに定義されていないか、あるいは前にエクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作に (サーバー・ヒストリー情報に記録されているように) 使用されていないボリュームを指定してください。QUERY VOLUME コマンドを使用して、サーバー・ストレージ・プールに定義されているボリュームの名前を表示することができます。QUERY VOLHISTORY コマンドを使用して、エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ操作に使用されているボリュームの名前を表示することができます。

---

**ANR4578E** データベース・バックアップ/リストアが終了しました - 必要なボリュームがマウントされませんでした。

**説明:** データベースのバックアップまたはリストア操作中に、マウント要求が取り消されたので、必要なボリュームをマウントすることができません。

**システムの処置:** データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストアは終了されます。

**ユーザーの処置:** このコマンドを入れ直すか、またはサーバーがバックアップを再試行するまで待ってから、必要なボリュームにアクセス可能であることを確認してください。データベースを特定の日付にリストアするかまたはロールフォワード・リストアを実行している場合には、全リストア操作を再試行してください。

COMMIT=NO を指定して単一のデータベースのバックアップをリストアしている場合には、リストア・コマンドを再発行してください。COMMIT=YES を指定してデータベースのバックアップをリストアしている場合には、一連の完全なバックアップを始めからリストアしてください。

---

**ANR4580E** データベースのバックアップ/リストアが終了しました - 使用可能なメモリーが不足しています。

**説明:** データベースのバックアップまたはリストア操作中に、使用可能な十分なサーバー・メモリーがありません。

**システムの処置:** データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストアは終了されます。

**ユーザーの処置:** 必要な場合には、サーバーが使用できるメモリーをさらに大きくしてください。

---

**ANR4581W** データベースのバックアップ/リストアが終了しました - 内部サーバー・エラーが検出されました。

**説明:** データベースのバックアップまたはリストア操作中に、サーバーが内部エラーを検出しています。

**システムの処置:** データベースのバックアップが BACKUP DB コマンドで開始されている場合には、データベースのバックアップは終了してサーバーの操作が続行されます。データベースのバックアップが自動的に起動された場合には、バックアップは停止して、サーバーは再試行期間の有効期限が切れるまで待機してから再びデータベースのバックアップを試みます。データベースのリストアは終了されます。

**ユーザーの処置:** サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4582E** データベースのリストアが終了しました - ボリュームを使用することができません。

**説明:** データベースのリストア操作中に、ボリュームがマウントされましたが、使用することができません。

**システムの処置:** リストア操作は終了されます。

**ユーザーの処置:** コマンドにボリューム・リストが指定されている場合には、正しいボリュームが指定されてマウントされていることを確認してください。ボリューム・リストが指定されていない場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR4583E** データベース・バックアップが終了しました - 出力メディアがいっぱいで、スクラッチ・メディアをマウントすることができません。

説明: データベースのバックアップ操作中に、順次メディアへ書き込んでいる時にスペース不足条件が起り、スクラッチ・ボリュームをマウントすることができません。

システムの処置: データベースのバックアップが終了され、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コマンドに追加のボリューム名を指定するか、または **SCRATCH=YES** を指定してこのコマンドを再発行してください。

**ANR4585W** ボリューム・ヒストリー・ファイルが存在していません - バックアップ/リストア **DB** 操作にはボリューム・ヒストリー・ファイルが必要です。

説明: バックアップ/リストア **DB** 操作にはボリューム・ヒストリー・ファイルが必要です。 .

システムの処置: .

ユーザーの処置: **dsmserve.opt** にボリューム・ヒストリー・ファイルを指定してください。

**ANR4586E** **DB2** 接続を取得できません。 バックアップ **DB** 操作は終了します。

説明: バックアップ **DB** 操作には **DB2** 接続が必要です。 .

システムの処置: バックアップ **DB** 操作は終了します。

ユーザーの処置: データベース・マネージャー・リソースを検査してください。 コマンドを再実行依頼してください。

**ANR4587E** データベースのバックアップまたはリストア構成が正しくありません。この操作でクライアント・ノード *node name* の使用が試行されました。

説明: サーバー・データベースのバックアップまたはリストア操作が試行され、失敗しました。示されているクライアント・ノードがこの操作に使用されましたが、これは正しくありません。サーバー・データベースのバックアップおよびリストア操作は、制限付きプロトコルであり、クライアント・ノード名 **\$\$TSMDBMGR\_\$\$** の明示的な使用が必要です。

システムの処置: データベースのバックアップまたはリ

ストア操作は失敗して終了します。

ユーザーの処置: サーバーがインストールされているシステムで **IBM Spectrum Protect API** によって使用されている **dsm.sys** ファイルの構成を検査してください。データベース・バックアップを実行するための **dsm.sys** ファイルのサーバー・スタンプが、次のように構成されている必要があります。

- **NODENAME** オプションが **\$\$TSMDBMGR\_\$\$** を指定している。
- サーバーがデータベース・バックアップとリストアに **TCP/IP** を使用するように構成されている場合、サーバー **TCP/IP** アドレスはループバック (127.0.0.1) に設定する必要があります。
- サーバーが適切な **TCP/IP** ポートまたは **SHMPORT** を **listen** するように構成されている。

**ANR4588E** データベース・バックアップ構成が誤っている可能性があります。

説明: サーバー・データベースのバックアップ操作が失敗しました。サーバー・データベースのバックアップおよびリストア操作は、制限付きプロトコルであり、クライアント・ノード名 **\$\$TSMDBMGR\_\$\$** の明示的な使用が必要です。

システムの処置: データベースのバックアップ操作は失敗し、終了します。

ユーザーの処置: サーバーがインストールされているシステムで **IBM Spectrum Protect API** によって使用されている **dsm.sys** ファイルの構成を検査してください。データベース・バックアップを実行するための **dsm.sys** ファイルのサーバー・スタンプが、次のように構成されている必要があります。

- **NODENAME** オプションが **\$\$TSMDBMGR\_\$\$** を指定している。
- サーバーがデータベース・バックアップとリストアに **TCP/IP** を使用するように構成されている場合、サーバー **TCP/IP** アドレスはループバック (127.0.0.1) に設定する必要があります。
- サーバーが適切な **TCP/IP** ポートまたは **SHMPORT** を **listen** するように構成されている。

**ANR4589W** データベースのリストア操作の後に **DB2** 接続が失われました。

説明: サーバー・データベースはリストアされましたが、**DB2** 接続が失敗しました。この理由としては、**DB2** リストア操作の一環として **DB2** ログ・ディレクトリーへのパスが変更された場合、ログ・ディレクトリーへのデータベース・パスが自動的に更新されなかったことが考えられます。

システムの処置: サーバー・データベースはリストア済みです。

ユーザーの処置: DB2 ログ・ディレクトリーへのパスを変更していない場合、アクションは不要です。DB2 ログ・ディレクトリーへのパスを変更した場合は、サーバーの始動時にパスを手動で更新する必要があります。パスを更新するには、次の例に示すように、DB2 データベースに接続して構成を変更します。

- DB2 を開始する: db2start
- TSMDB1 に接続する: db2 connect to TSMDB1
- DB2 データベース構成を更新する: db2 update db cfg using NEWLOGPATH (サーバー・オプションからのログ・パス。例えば /ALOG/tsminst1)
- TSMDB1 への接続を終了する: db2 terminate
- DB2 をリサイクルする: db2stop/db2start
- 新規のログ・パスが有効になっていることを確認する。db2 connect to TSMDB1; db2 get db cfg | grep "Path to log files ( on UNIX ) "
- 新規のログ・パスが有効になっていることを確認する。db2 connect to TSMDB1; db2 get db cfg | find "Path to log files ( on Windows ) "

---

**ANR4591I** データベースのリストア処理に使用できる最適な候補として、*date* および *time* からバックアップの集合 *seriesId* を選択しました。

説明: DSMSEV RESTORE DB コマンドは、使用する最適な候補のデータベース・バックアップを判別するために、コマンドで指定された基準を使用してボリューム・ヒストリー・ファイルを評価します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 報告されたバックアップの集合、日付、および時刻を評価して、望ましいリストア目標に適合しているかどうかを判別してください。これらが目標に適合しない場合は、望ましいリカバリー目標を達成するために、情報を追加または変更して DSMSEV RESTORE DB を再発行してください。

---

**ANR4592I** データベース・バックアップの集合 *seriesId* のリストアでは、シーケンス *sequence* が指定され、装置クラス *device class* を使用するボリューム *volume name* での適格な操作 *opId* が行われます。

説明: DSMSEV RESTORE DB コマンドは、使用する最適な候補のデータベース・バックアップを判別するために、コマンドで指定された基準を使用してボリューム・ヒストリー・ファイルを評価します。示されている *device class* の *opId* および *volume name* は、評価さ

れる候補ボリュームであり、データベースのリストア・プロセスで使用されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 報告されたバックアップの集合、日付、および時刻を評価して、望ましいリストア目標に適合しているかどうかを判別してください。これらが目標に適合しない場合は、望ましいリカバリー目標を達成するために、情報を追加または変更して DSMSEV RESTORE DB を再発行してください。

---

**ANR4593E** データベースのリストアで、処理に使用するための適格な候補を検出できませんでした。

説明: DSMSEV RESTORE DB コマンドは、使用する最適な候補のデータベース・バックアップを判別するために、コマンドで指定された基準を使用してボリューム・ヒストリー・ファイルを評価します。適格な候補のバックアップの集合が見つかりませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: データベースのリストアに使用するボリューム・ヒストリー・ファイルと使用可能なボリュームを評価してください。データベースのリストア処理で検討するバックアップの集合および対応するボリュームの項目を、ボリューム・ヒストリー・ファイルに手動で追加してください。

---

**ANR4594E** データベースのリストアでは、バックアップの集合 *seriesID* および操作 *operationID* のためのボリューム *volumeName* が予期されますが、使用可能なボリューム・ヒストリー・ファイル内で検出できませんでした。

説明: DSMSEV RESTORE DB コマンドは、候補のデータベース・バックアップの集合を選択すると、バックアップ・データ・ストリームからの情報を検証して、ボリューム・ヒストリー・ファイルの使用可能な情報と比較します。この場合、データベース・バックアップには、このバックアップの集合のリストア処理のために指定されたボリュームが必要ですが、このボリュームは使用可能なボリューム・ヒストリー・ファイル情報で検出されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: データベースのリストアに使用するボリューム・ヒストリー・ファイルと使用可能なボリュームを評価してください。指定されたボリュームが使用可能である場合は、このボリュームの項目をボリューム・ヒストリー・ファイルに追加して、操作を再試行してください。このボリュームが使用可能でない場合

は、このバックアップの集合 ID に割り当てられているすべての項目をボリューム・ヒストリーから削除してください。これらの項目が削除されたら、データベースのリストア操作を再試行します。この操作では、次の最適な候補を処理のために選択しようとしています。

---

**ANR4595E** データベースのリストアでは、バックアップの集合 *seriesID* および操作 *operationID* のためのストリーム・シーケンス *stream* が予期されますが、使用可能なボリューム・ヒストリー・ファイル内で検出できませんでした。

説明: DSMSERV RESTORE DB コマンドは、候補のデータベース・バックアップの集合を選択すると、バックアップ・データ・ストリームからの情報を検証して、ボリューム・ヒストリー・ファイルの使用可能な情報と比較します。この場合、データベース・バックアップでは、示されているストリーム・シーケンスに関する情報はありましたが、このバックアップの集合および操作の中のそのストリームで使用されるボリュームに関する情報を検出できませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: データベースのリストアに使用するボリューム・ヒストリー・ファイルと使用可能なボリュームを評価してください。この集合および操作のために追加のボリュームを使用できる場合、それらのボリュームの項目をボリューム・ヒストリー・ファイルに追加して、操作を再試行してください。使用可能な他のボリュームがない場合は、このバックアップの集合 ID に割り当てられているすべての項目をボリューム・ヒストリーから削除してください。これらの項目が削除されたら、データベースのリストア操作を再試行します。この操作では、次の最適な候補を処理のために選択しようとしています。

---

**ANR4596E** データベースのリストア操作で、シリーズ *seriesID* および操作 *operationID* の選択されたデータベース・バックアップを、データベース・バックアップ・ストリームから実際のデータに照らして検証できませんでした。

説明: DSMSERV RESTORE DB コマンドは、候補のデータベース・バックアップの集合を選択すると、バックアップ・データ・ストリームからの情報を検証して、ボリューム・ヒストリー・ファイルの使用可能な情報と比較します。この場合、データベース・バックアップには、サーバー・データベースのリストアを実行するために必要な情報が欠落していました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このエラーは、以下のいずれかの条件で発生する可能性があります。1. 必要なすべてのボリュームが使用可能になっておらず、ボリューム・ヒストリー・ファイルで指定されていない。2. サーバー・データベース・バックアップのリリース・レベルが、リストアするサーバーのリリース・レベルと異なっている。例えば、V6.2 データベースをリストアする場合に、V6.3 IBM Spectrum Protect サーバーを使用すると、エラー ANR4596E が発生します。3. シーケンス 10001 で指定された、誤ったボリュームがある。このバックアップの集合および操作のボリューム・ヒストリー・ファイル内のボリュームに 10001 が割り当てられている場合、別のボリュームにシーケンス 10001 を割り当ててみてください。シーケンス 10001 が割り当てられたボリュームは、リストア・プロセスでバックアップの集合に対する操作を検証するために使用される自己記述型の検証情報および署名を持っていることが予期されます。この情報が見つからない、あるいは誤っている場合、リストアは失敗します。

---

**ANR4597E** バックアップの集合 *seriesID* に対する操作 *operationId* がボリューム *volumeName* を参照しません。ボリューム・ヒストリーが正しくありません。

説明: DSMSERV RESTORE DB コマンドは、候補のデータベース・バックアップの集合を選択すると、バックアップ・データ・ストリームからの情報を検証して、ボリューム・ヒストリー・ファイルの使用可能な情報と比較します。この場合、ボリューム・ヒストリー情報は特定の集合および操作に割り当てられたボリュームを報告していますが、バックアップはそのボリュームを参照していません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 原因として、次の 2 つのケースのいずれかが考えられます。第 1 のケースは、このデータベースの参照整合性のためにこのバックアップ用に記録されたトランザクション・ログ情報には、この情報を保管するために複数のボリュームが必要であった場合です。これは、10001 より大きな書き込みシーケンス番号で参照される必要があります。この値より小さいシーケンス値が割り当てられていた場合は、このデータベース・バックアップ・ボリュームがエラーの原因として考えられます。あるいは、このボリュームが単にこのデータベース・バックアップの集合または操作に属していないために、この障害が発生した可能性もあります。この項目をボリューム・ヒストリー・ファイルから削除して、このバックアップの集合および操作で考慮されなくなるようにしたり、操作 ID および集合 ID を適切な値に訂正すると、この問題が解決される可能性があります。上記のケースを検討して、いずれかに対するアク

ションを実行した後、データベースのリストア操作を再試行してください。

---

**ANR4598I** ボリューム *volumeName* を使用して、選択されたバックアップの集合 *seriesId* および操作 *operationId* のデータベース・バックアップ情報を検証しています。

説明: ボリューム・ヒストリーから選択されたバックアップの集合に関するデータベース・バックアップ情報は、データベース・バックアップ自体の情報に照らして検証されます。ボリューム・ヒストリー情報はクロスチェックされ、バックアップの集合、必要なボリューム、およびデータベース・バックアップのその他の属性がこの操作に対して正しくて完全であることが確認されます。データベースのリストア操作にデータベースの増分バックアップが含まれる場合は、*operationId* 0 およびデータベースの増分バックアップ・データのリストアに最適な候補を表す *operationId* のシーケンス番号 10001 に割り当てられたボリュームを使用して検証が行われることに注意してください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 情報のクロスチェックと検証が正常に行われた場合、このデータベース・バックアップの集合および対応するボリュームを使用してデータベース・リストアが試行されます。情報の検証が失敗した場合は、欠落している情報と、選択されたデータベース・バックアップの集合およびボリュームを使用できない理由を示す追加のメッセージが出されます。検証が失敗した場合、その他のメッセージを調べて、それらのメッセージに示されている修正アクションを実行してから、データベースのリストア操作を再試行してください。

---

**ANR4599W** サーバー・データベースのログ・ディレクトリー *Log directory* を作成できませんでした。

説明: データベース・リストア操作中に、活動ログ、アーカイブ・ログ、ミラー・ログ、アーカイブ・フェイルオーバー・ログのディレクトリーが作成された可能性があります。許可、パス、またはファイル・システムの問題が原因で、これらのディレクトリーの作成時にエラーが発生した可能性があります。

システムの処置: データベースのリストアは正常に完了しました。ただし、サーバーは、指定されたログ・ディレクトリーを使用して稼働していない可能性があります。

ユーザーの処置: サーバー・オプション・ファイルおよび `QUERY LOG F=D` コマンドの出力を確認してください。構成済みのログ・ディレクトリーが作成されており、必要なアクセス権限があることを確認してください。

い。変更を行う場合は、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4602E** `TODATE date time` のボリュームが見つかりません。

説明: ボリューム・ヒストリー・ファイルに指定された日付および時刻パラメーターに適合するボリュームが見つかりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい日付および時刻を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4603I** バージョン 6.3 以降へのアップグレード前に存在していたボリューム・ヒストリー・ファイルは、別の名前 *file name* で保存されています。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーを V6.3 以降にアップグレードした後に、以前のリリースに戻りたい場合は、元のボリューム・ヒストリー・ファイルが必要になります。これは、V6.3 以降のボリューム・ヒストリー・ファイルのフォーマットが、それより前のボリューム・ヒストリー・ファイルとは異なるためです。新しいボリューム・ヒストリー・ファイルを使用しても、IBM Spectrum Protect データベースを以前のリリースにリストアできません。

システムの処置: 以前のボリューム・ヒストリー・ファイルは上書きされないように、システムにより別の名前で保存されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect データベースをリストアするには、保存されているボリューム・ヒストリー・ファイルを使用してください。

---

**ANR4604E** リストア・データベースのボリューム・ヘッダー・マジック番号 *magic* が予期したボリューム・ヘッダー・マジック番号 *expected magic* と一致しませんでした。このボリュームはデータベースのリストアに使用できません。

説明: 各ボリュームには、ヘッダー・マジック番号で始まる IBM Spectrum Protect ボリューム・ヘッダーがあります。マジック番号が合わないということは、このボリュームが壊れているか、またはデータベースのリストアには適さないことを示します。

システムの処置: サーバーは `DSMSERV RESTORE DB` コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・ヒストリー・ファイルをチェックして、このボリュームが有効なデータベース・

バックアップ・ボリュームであることを確認します。  
このボリュームが壊れている場合は、別のセットのバックアップ・ボリュームを使用して別の時刻ヘデータベースをリストアします。

---

**ANR4605E** リストア・データベースのボリューム・ヘッダー・バージョン番号 *version* が予期したボリューム・バージョン番号 *expected version* と一致しませんでした。このボリュームはデータベースのリストアに使用できません。

説明: 各データベース・バックアップ・ボリュームには、ボリューム・ヘッダーに IBM Spectrum Protect バージョン番号があります。バージョン番号が合わないということは、このボリュームが壊れているか、またはデータベースのリストアには適さないことを示します。このボリュームがバージョン 6.3.0 より前のデータベース・バックアップ・ボリュームである可能性もあります。IBM Spectrum Protect V6.3 データベースのリストアには使用できません。

システムの処置: サーバーは DSMSEV RESTORE DB コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・ヒストリー・ファイルをチェックして、このボリュームが有効なデータベース・バックアップ・ボリュームであることを確認します。このボリュームが壊れている場合は、別のセットのバックアップ・ボリュームを使用して別の時刻ヘデータベースをリストアします。

---

**ANR4606E** リストア・データベースのボリューム・ヘッダー・バックアップの集合番号 *series* が予期したバックアップの集合番号 *expected series* と一致しませんでした。このボリュームはデータベースのリストアに使用できません。

説明: 各データベース・バックアップ・ボリュームには、ボリューム・ヘッダーに IBM Spectrum Protect バックアップ集合番号があります。バックアップ集合番号が合わないということは、このボリュームが壊れているか、またはデータベースのリストアには適さないことを示します。

システムの処置: サーバーは DSMSEV RESTORE DB コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・ヒストリー・ファイルをチェックして、このボリュームがデータベース・バックアップ操作に有効であることを確認します。ボリュームが有効である場合、このシリアル番号に合致するようにボリューム・ヒストリー・ファイルを変更して、DSMSEV RESTORE DB コマンドを再発行できます。

問題が続く場合は、このボリュームは、多分、壊れています。別のセットのバックアップ・ボリュームを使用して別の時刻ヘデータベースをリストアします。

---

**ANR4607E** リストア・データベースのボリューム・ヘッダー・バックアップの操作番号 *operation* が予期したバックアップの操作番号 *expected operation* と一致しませんでした。このボリュームはデータベースのリストアに使用できません。

説明: 各データベース・バックアップ・ボリュームには、ボリューム・ヘッダーに IBM Spectrum Protect バックアップ操作番号があります。バックアップ操作番号が合わないということは、このボリュームが壊れているか、またはデータベースのリストアには適さないことを示します。

システムの処置: サーバーは DSMSEV RESTORE DB コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・ヒストリー・ファイルをチェックして、このボリュームがデータベース・バックアップ操作に有効であることを確認します。ボリュームが有効である場合、この操作番号に合致するようにボリューム・ヒストリー・ファイルを変更して、DSMSEV RESTORE DB コマンドを再発行できます。問題が続く場合は、このボリュームは、多分、壊れています。別のセットのバックアップ・ボリュームを使用して別の時刻ヘデータベースをリストアします。

---

**ANR4608E** リストア・データベースのボリューム・ヘッダー・バックアップ・タイプ *backup type* は無効です。このボリュームはデータベースのリストアに使用できません。

説明: 各データベース・バックアップ・ボリュームには、ボリューム・ヘッダーに IBM Spectrum Protect バックアップ・タイプ・コードがあります。無効なバックアップ・タイプ・コードということは、このボリュームが壊れているか、またはデータベースのリストアには適さないことを示します。

システムの処置: サーバーは DSMSEV RESTORE DB コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・ヒストリー・ファイルをチェックして、このボリュームがデータベース・バックアップ操作に有効であることを確認します。このボリュームが壊れている場合は、別のセットのバックアップ・ボリュームを使用して別の時刻ヘデータベースをリストアします。



**ANR4609I** データベースのリストア処理は、*backup type* データベース・バックアップのタイム・スタンプ *backup timestamp* をデータベース・バックアップ・メディアで検出しました。

説明: これは、データベースのリストア操作に使用されるバックアップ・タイム・スタンプです。

システムの処置:

ユーザーの処置:

**ANR4613E** リストア・データベースのボリューム *backup volume* メタデータが無効です。このボリュームはデータベースのリストアに使用できません。

説明: バックアップ・ボリュームには、IBM Spectrum Protect メタデータがあります。無効なメタデータということは、このボリュームが壊れているか、またはデータベースのリストアには適さないことを示します。

システムの処置: サーバーは DSMSEV RESTORE DB コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・ヒストリー・ファイルをチェックして、このボリュームがデータベース・バックアップ操作に有効であることを確認します。このボリュームが壊れている場合は、別のセットのバックアップ・ボリュームを使用して別の時刻へデータベースをリストアします。

**ANR4614E** バックアップ・タイプが *backup type* のデータベース・バックアップ・メディア上のデータベース・バックアップ・タイム・スタンプ *backup timestamp on media* は、ボリューム・ヒストリー・ファイルからのバックアップ・タイム・スタンプ *backup timestamp from volhist* と一致しません。このボリュームはデータベースのリストアに使用できません。

説明: タイム・スタンプが合わないということは、このボリュームが壊れているか、またはデータベースのリストアには適さないことを示します。

システムの処置: サーバーは DSMSEV RESTORE DB コマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・ヒストリー・ファイルをチェックして、このボリュームがデータベース・バックアップ操作に有効であることを確認します。このボリュームが壊れている場合は、別のセットのバックアップ・ボリュームを使用して別の時刻へデータベースをリストアします。

**ANR4615E** サーバーがメディアにアクセスできないために、データベースをリストアできません。

説明: データベース・リストア操作を完了できません。考えられる理由は次のとおりです。

- メディアにアクセスするための装置構成ファイルが正しく定義されていない。
- メディアに問題がある。

システムの処置: データベースはリストアされません。

ユーザーの処置: メッセージの説明にある情報を確認し、装置構成ファイルまたはメディアに関する問題があれば修正処置を行ってください。RESTORE DB コマンドを再発行します。

**ANR4616E** メディア・ヘッダーを見つけることができないため、データベース・リストアが終了しました - **DB2 SQL** コード *sqlcode* および **DB2** エラー・メッセージ *sqlerrmc*。

説明: リストア操作中に、DB2 データベースはメディア・ヘッダーを見つけることができませんでした。メディアに問題がある可能性があります。

システムの処置: データベースのリストアは終了されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーがメディアについてエラーを報告していないかどうか確認してください。データベース・バックアップに使用されるメディアが機能していることを確認してください。

**ANR4617I** サーバー '*server name*' に対する **ping** 要求は、サーバー資格情報を使用して接続を確立できました。

説明: サーバー資格情報は有効です。

システムの処置: 接続が確立されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

**ANR4618I** サーバー *server name* にパスワードが定義されていないため、このサーバーのサーバー資格情報を認証できません。

説明: サーバー・パスワードが欠落しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: エンタープライズ構成やノード複製などのサーバー間機能を使用する場合には、サーバー・パスワードが必要です。パスワードを指定するには、次のコマンドを実行します: UPDATE SERVER *server name* SERVERPASSWORD=*password*。パスワードは、SET

SERVERPASSWORD コマンドで設定されるパスワードと一致していなければなりません。

---

**ANR4620I** データベース・バックアップの集合  
Backup series 操作 backup operation 装置  
クラス device class.

説明: バックアップに使用される装置クラスが示されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4622I** ボリューム volume sequence number in  
backup operation: volume name.

説明: フル・データベース・バックアップまたは増分バックアップのボリューム順序番号および名前が示されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4624I** データベースのリストア操作のプレビュー  
処理が完了しました。

説明: PREVIEW=YES が指定されたデータベース・リストア・コマンドが発行されました。サーバーは、ボリューム・ヒストリー情報を評価して、検出内容の詳細を報告します。指定されたリストア・コマンドに基づいて選択された候補のデータベース・バックアップが報告されます。データベースのリストア処理でリストアに使用できる実行可能なデータベース・バックアップを検出できない場合や、この評価中にその他のエラーが発生した場合は、それらも報告されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 出されたその他のメッセージを調べて、データベース・リストアのプレビュー操作の結果を判別してください。

---

**ANR4625W** データベース・バックアップが number of  
streams のストリームを使用しようとして  
失敗し、バックアップは 1 つのストリー  
ムを使用して再試行されます。

説明: 指定された数のストリームを使用して操作を試行している時に、データベース・バックアップ・プロセスが失敗しました。操作は、単一のストリームを使用して再試行されます。

システムの処置: データベース・バックアップは、単一のストリームを使用して自動的に再試行されます。

ユーザーの処置: 出されたその他のメッセージを調べ

て、複数の出力ストリームを使用するデータベース・バックアップが失敗した理由を判別してください。また、プロセス完了およびその他のメッセージを調べて、単一のストリームを使用した再試行が正常に行われたかどうかを判別してください。

---

**ANR4626I** データベース・バックアップは number of  
streams のストリームを処理に使用しま  
す。最初に要求された数は number  
requested でした。

説明: データベース・バックアップは、示されている数のストリームを使用して実行されます。コマンドまたは SET DBRECOVERY の NUMSTREAM 設定で要求された元のストリーム数も表示されます。

システムの処置: データベース・バックアップは、示されている数のストリームを使用して実行されます。

ユーザーの処置: データベース・バックアップに使用されるストリームの数が要求された数と異なる場合は、構成エラーを示しているか、使用中の装置には以前に検討され計画された数の使用可能ドライブがないことを示しています。データベース・バックアップ・コマンドで使用されている装置クラスと NUMSTREAM の設定を確認して、ドライブをオンラインに戻すために変更が必要かどうか、またはアクションが必要かどうかを判別してください。

---

**ANR4627W** node name のオブジェクトは完了しな  
かった可能性があります: タイプ =type、フ  
ァイル・スペース =filespace name、オブ  
ジェクト =object name.

説明: IBM Spectrum Protect V7.1.0 サーバーは、file space と object name で指定された、>node name に対するタイプが type であるオブジェクトをエクスポートしました。指定されたオブジェクトは不完全である可能性があります。

システムの処置: IMPORT 操作は続行されます。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトのリストア、リトリブ、再呼び出しを行ってください。ファイルのすべての内容が正しく格納されていることを確認してください。

---

**ANR4628E** 装置 device name は、エラー・コード  
errno でクローズできませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーはこのデバイスをクローズできません。

システムの処置: クローズ操作は失敗します。

ユーザーの処置: エラー・コードの値を確認して、装置

ドライバ・トレースを取得し、装置のベンダーに連絡してください。

---

**ANR4629E** 以前のレベルのストレージ・エージェントからフラグメント・ファイルのリストアが試行されました。ファイルはリストアされません: ノード *node name*、タイプ *file type*、ファイル・スペース *filespace name*、ファイル名 *file name*

説明: ストレージ・エージェントがフラグメント・ファイルのリストアを試行した場合、ファイルはリストアされません。この動作は、バージョン 7.1 より前のストレージ・エージェントを使用してクラシック・リストアを行う場合に発生します。

システムの処置: ファイルはリストアされません。

ユーザーの処置: 以下のいずれかのアクションを実行して、問題を解決します。

- LAN から明示的にファイルをリストアする。
- 照会なしリストアを使用してファイルをリストアする。
- ストレージ・エージェントをバージョン 7.1 以降のレベルにアップグレードする。

この問題について詳しくは、APAR IT02547 を参照してください。

---

**ANR4630W** ストレージ・プール *storage pool* 内のコンテナ *container name* を開くことができません。監査はこのコンテナに使用不可のマークを付け、コンテナ内のすべてのデータ・エクステントに損傷のマークを付けます。

説明: AUDIT CONTAINER プロセスは、データ・エクステントの読み取りを試行中に指定されたコンテナでオープン・エラーを検出しました。コンテナは使用不可のマークが付けられ、コンテナ内のすべてのエクステントは損傷のマークが付けられます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 可能な場合は、コンテナのオープン・エラーを特定して解決します。このコンテナの物理装置が正常に機能していて、このボリュームが使用可能であることを確認してください。

---

**ANR4631W** コンテナ・ストレージ・プール *storage pool* 内のコンテナ *container name* のヘッダーが破損しています。監査は、このコンテナに使用不可のマークを付け、すべ

てのコンテンツを損傷ありとして記録します。

説明: コンテナのデータへのアクセスを試行中に、コンテナ・ヘッダーが破損していることが検出されました。コンテナは使用不可のマークが付けられます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 可能な場合は、コンテナの無効なヘッダーを特定して解決します。このコンテナの物理装置が正常に機能していて、このボリュームが使用可能であることを確認してください。

---

**ANR4632E** セッション *session number* は、ターゲット複製サーバー上のコンテナ・ストレージ・プールにデータを保管できません。コンテナ・ストレージ・プール *stgpool name* に十分なスペースがありません。

説明: 複製プロセス中に、ターゲット複製サーバー上のコンテナ・ストレージ・プールに使用可能なフリー・スペースが十分にありませんでした。

システムの処置: 複製プロセスは失敗します。

ユーザーの処置: DEFINE STGPOOLDIRECTORY を発行して、ターゲット複製サーバー上のコンテナ・ストレージ・プール用に新規のストレージ・プール・ディレクトリーを定義してください。

---

**ANR4633W** ストレージ・プール *stgpool name* 内のストレージ・プール・ディレクトリー *dir name* は、アクセス状態が *access* であるため、このストレージ・プール・ディレクトリーにアクセスすることはできません。

説明: 指定されたコンテナのディレクトリーは、アクセスが制限されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 可能な場合は、ストレージ・プール・ディレクトリーのアクセス状態を識別して変更します。

---

**ANR4634I** 日付 *date time* への特定時点データベース・リストアを開始中。

説明: TODATE パラメーターを指定した特定時点のデータベース・リストアが開始されました。このリストアが完了すると、データベースはこのバックアップの時点までコミットされます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4635I** 特定時点データベース・リストアが完了しました。リストア日付 *date time*。

説明: TODATE パラメーターを指定した特定時点のデータベース・リストアが完了しました。このデータベースはこのバックアップの時点までコミットされ、これは指定された TODATE とは異なる場合があります。その場合には、追加のメッセージが表示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4636I** ロールフォワード・データベース・リストアの開始中。

説明: ロールフォワードのデータベース・リストアが開始されました。このリストアが完了すると、データベースはその最新の状態に戻されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4637I** ロールフォワード・データベース・リストアが完了しました。

説明: ロールフォワードのデータベース・リストアが終了しました。最新の連続のすべてのデータベース・バックアップがリストアされ、最新のバックアップ以後のデータベースに対するすべての更新がロールフォワードされました。データベースはその最新の状態に戻されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4638I** バックアップの集合 *backup series number* 操作 *backup operation in series* のリストアが進行中です。

説明: DSMSEV RESTORE DB の実行中に、サーバーはバックアップの集合と現在リストア中の操作を表示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4640E** ディレクトリー *directory name* からのスペース統計の取得に失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは、ディレクトリーからスペース統計を収集できませんでした。

システムの処置: ディレクトリー・スペースの統計操作が失敗しました。

---

ユーザーの処置: ディレクトリーに適切な権限があること、および IBM Spectrum Protect サーバーからアクセスできることを確認してください。

---

**ANR4645I** リストア日付は指定された **TODATE** までに使用可能な最新のバックアップを反映しています。

説明: TODATE パラメーターを指定した DSMSEV RESTORE DB の実行中に、リストアされたバックアップの日付がこのコマンドに指定された日付と同じではありません。リストアされたバックアップの集合は、指定された日付 (を含む) までの最新のバックアップの集合です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: リストアされたデータベースの日付が正しいことを確認してください。正しくない場合には、別の TODATE を指定するか、または個々のデータベースのバックアップをリストアして、もう一度データベースをリストアしてください。

---

**ANR4652E** 通信用のシステム・メッセージ・キューを使用できません。

説明: IBM Spectrum Protect が通信セッションを確立する試行中に、システム・メッセージ・キューを獲得しようとする試みは失敗しました。通常、これはシステムによって強制されるメッセージ・キューの制限に達したことを意味します。

システムの処置: システム・リソースが不足しているため、通信セッションが初期化されません。

ユーザーの処置: システム上のメッセージ・キューの最大数を大きくし、操作を再試行してください。通常、これはカーネルの *msgmni* ファイル内の値を増やすことで行えます。

---

**ANR4653E** 増分 DB バックアップが失敗しました。最初に **FULL DB** バックアップを実行しないと、増分 DB バックアップを実行できません。

説明: 増分 DB バックアップを実行するには、その前に **FULL DB** バックアップを少なくとも一度実行する必要があります。

システムの処置: 増分 DB バックアップは終了します。

ユーザーの処置: *type=FULL* を指定してバックアップ *db* コマンドを再発行してください。

---

---

**ANR4654I** 活動またはアーカイブ・ログ・ディレクトリーの内容が変更されたため、最新時刻に **restore db** を実行できません。 **DB** は最終の完全な状態または完全な状態に増分を加えた状態にリストアされます。

説明: リストア **DB** がリストアできるのは最終フルバックアップのみです。

システムの処置:

ユーザーの処置: **dsmserve** ロールフォワード・リストア・コマンドを試行する前に、活動またはアーカイブ・ログ・ディレクトリーの内容を変更しないでください。

---

**ANR4656E** 鍵リング・ファイルのパスワード *Key Ring password* が無効です。

説明: 指定された鍵リング・ファイルのパスワードは、パスワードの最大長 64 文字を超えています。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 1 から 64 文字の鍵リング・ファイルのパスワードを指定してください。このパスワードが、鍵リング・ファイルのパスワード・ユーティリティで指定された値と同じであることを確認してください。

---

**ANR4657E** **SNMP:** アドレス *address*、ポート *port* でサーバーとの接続に失敗しました。

説明: **SNMP** クライアントが **SNMP** 獲得要求への応答で示されたアドレスおよびポート番号のサーバーとのセッションを実行しようとしたましたが、これではサーバー・スクリプトが実行されることになります。サブエージェントは、サーバーとの接続に失敗しました。

システムの処置: **SNMP** サブエージェントはスクリプトを実行するこの試みを終了して、操作を続行します。

ユーザーの処置: 示されたサーバーが稼働していて、**TCP/IP** プロトコルを使用して管理クライアントを開始できるようになっていることを確認してください。

---

**ANR4658I** 鍵リング・ファイルのパスワードが見つかりませんでした。

説明: 鍵リング・ファイルのパスワードを表示するために **QUERY** コマンドが発行されたか、鍵リング・ファイルのパスワードの変更をサーバーに知らせるために **SET** コマンドが発行されました。パスワードはサーバーで記録されませんでした。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルを作成したりパスワードを生成したりするには、**Secure Sockets Layer**

(**SSL**) 伝送制御プロトコル (**TCP**) ポート・オプションを使用してサーバーを稼働する必要があります。サーバーが **SSL TCP** ポート・オプションで稼働していなかった場合は、オプション・ファイルに **SSLTCPPORT** オプションまたは **SSLTCPADMINPORT** オプションを指定してサーバーを始動してください。次に **QUERY SSLKEYRINGPW** コマンドを発行して、生成されたパスワードを表示します。サーバーで鍵リング・ファイルとそのパスワードが作成された後に外部ユーティリティを使用して鍵リング・ファイルのパスワードを変更する場合は、**SET SSLKEYRINGPW** コマンドを発行してその変更をサーバーに知らせます。

---

**ANR4659E** **SNMP:** 通信障害: 間違った **verb** を受信しました (*verb type*)。

説明: **SNMP** クライアントが、サーバーとのセッション中に無効な通信 **verb** を検出し、セッションの処理を続行することができません。

システムの処置: **SNMP** セッションが終了して、サブエージェント操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4660I** ポート *port number* で **SNMP subagent address** の **SNMP** サブエージェントに接続されました。

説明: サーバーは指示されたアドレスおよびポートの **SNMP** サブエージェントに正常に接続されました。

システムの処置: サーバーは即時にサブエージェントで登録されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4661E** スレッド・リソースが使用不可だったために、サブエージェントとの **SNMP** 通信が失敗しました。

説明: サーバー上で追加処理を開始するために十分なメモリーが使用できないので、サーバーは **SNMP** サブエージェントとの **SNMP** 通信を続行できませんでした。

システムの処置: サーバーは **SNMP** 処理を終了して、サーバーの操作を継続します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR4662W SNMP** サブエージェントにメッセージを送信中に障害。

説明: SNMP サブエージェントへの送信中に、サーバーは TCP/IP からのエラー戻りコードを検出しました。このメッセージは、SNMP サブエージェントが SNMP クライアントとして作動する場合に、サーバーへの verb の送信中にエラーがあった時にも発行されます。接続のどちらかの側が突然打ち切られた (サブエージェント・プログラムの終了の場合など) 場合には、これが正常な結果である場合があります。このエラーは、このエラーの詳細が説明されている TCP/IP の別のメッセージに反映されます。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。メッセージを SNMP 管理ノードに転送中の場合には、メッセージは送られません。ハートビート・メッセージングをサブエージェントに送信中であった場合には、このハートビート・メッセージが失われて、サーバーは SNMP サブエージェントとのセッションを再始動しようとします。

ユーザーの処置: いずれかのサブエージェントを故意に停止させたためにセッションが終了した場合は、応答は不要です。そうでない場合には、使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、TCP/IP プロトコル・スタックが機能中であるかどうか確認してください。

---

**ANR4663W SNMP** サブエージェントからメッセージを受信中に障害。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントからのデータの受信中に TCP/IP からのエラー戻りコードを検出しました。接続のどちらかの側が突然打ち切られた (サブエージェント・プログラムの終了の場合など) 場合には、これが正常な結果である場合があります。このエラーは、このエラーの詳細が説明されている TCP/IP の別のメッセージに反映されます。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。ハートビート・メッセージングをサブエージェントに送信中であった場合には、このハートビート・メッセージが失われて、サーバーは SNMP サブエージェントとのセッションを再始動しようとします。サーバーが SNMP サブエージェントに登録しようとしていた場合には、そのサーバーを再始動するまでハートビート・メッセージングは使用不可能になります。

ユーザーの処置: いずれかのサブエージェントを故意に停止させたためにセッションが終了した場合は、応答は不要です。そうでない場合には、使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、TCP/IP プロトコル・スタックが機能

中であるかどうか確認してください。

---

**ANR4664W SNMP** サブエージェントで登録中に障害。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントで登録しようとした時に問題を検出しました。これは、通信の問題か、あるいは SNMP サブエージェントが使用不可であることが原因の場合があります。

システムの処置: サーバーを再始動するまで、ハートビート・メッセージングは使用不可能になります。

ユーザーの処置: 使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、サブエージェントが実行中で、TCP/IP プロトコル・スタックが機能中であるかどうか確認してください。

---

**ANR4665W SNMP** サブエージェントで登録を再試行中に障害。

説明: サーバーは、接続が失われた後で、SNMP サブエージェントで再登録しようとした時に問題を検出しました。これは、通信の問題か、あるいは SNMP サブエージェントが使用不可であることが原因の場合があります。

システムの処置: 登録の再試行をある回数行った後で、ギブアップします。

ユーザーの処置: 使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、サブエージェントが実行中で、TCP/IP プロトコル・スタックが機能中であるかどうか確認してください。

---

**ANR4666W SNMP** サブエージェントにハートビート・メッセージを送信中に障害。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントにハートビートを送信しようとした時に問題を検出しました。これは、通信の問題か、あるいは SNMP サブエージェントが使用不可であることが原因の場合があります。

システムの処置: サーバーは再び SNMP サブエージェントに連絡して、再同期しようと試みます。

ユーザーの処置: 使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、サブエージェントが実行中で、TCP/IP プロトコル・スタックが機能中であるかどうか確認してください。

---

**ANR4667W SNMP** サブエージェントへのハートビート・メッセージを再試行中に障害。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントにハートビートを送信しようとした時に問題を検出しました。これは、通信の問題か、あるいは SNMP サブエージェ

ントが使用不可であることが原因の場合があります。

システムの処置: サーバーは再び SNMP サブエージェントに連絡して、再同期しようと試みましたが、失敗しました。サーバーを再始動するまで、ハートビート機能は使用不可能になります。

ユーザーの処置: 使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、サブエージェントが実行中で、TCP/IP プロトコル・スタックが機能中であるかどうか確認してください。ハートビート機能が必要な場合には、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4668I** 接続は **SNMP** サブエージェントによって正常に再確立されました。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントにハートビートを送信しようとした時に問題を検出しました。

システムの処置: サーバーは SNMP サブエージェントと正常に再同期できました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4669W** ハートビート・メッセージが **SNMP** サブエージェントによって受け入れられませんでした。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントにハートビートを送信しようとした時に問題を検出しました。SNMP サブエージェントはハートビート・メッセージを受け入れることはできません。サブエージェントを停止して再始動した場合には、これは通常メッセージです。

システムの処置: サーバーは再び SNMP サブエージェントに連絡して、再同期しようと試みます。

ユーザーの処置: 使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、サブエージェントが実行中で、TCP/IP プロトコル・スタックが機能中であるかどうか確認してください。

---

**ANR4670W** **SNMP** サブエージェントでセッションをオープン中に障害。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントとのセッションをオープンしようとした時に問題を検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。ハートビートおよびメッセージ転送機能が使用可能になりません。

ユーザーの処置: 使用中のプラットフォームの特定の TCP/IP スイートに添付されているツールを使用して、サブエージェントが実行中で、TCP/IP プロトコル・スタックが機能中であるかどうか確認してください。ハ

ートビートおよびメッセージ転送機能が必要な場合には、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4671W** **SNMP** サブエージェントは、このサーバーの登録を受け入れませんでした。

説明: サーバーは、SNMP サブエージェントとのセッションをオープンしようとした時に問題を検出しました。サブエージェントは使用可能ですが、このサーバーによる登録は許可されません。

システムの処置: 処理を続行します。ハートビートおよびメッセージ転送機能が使用可能になりません。

ユーザーの処置: サブエージェントを停止して、再始動する必要がある場合があります。その後で、ハートビートおよびメッセージ転送機能が必要な場合には、サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR4672W** スレッド・リソースが使用可能でないために、**SNMP** サブエージェントに転送した **SNMP** メッセージは開始されませんでした。

説明: サーバー上で追加処理を開始するために十分なメモリが使用不可なので、サーバーはメッセージ転送のために SNMP サブエージェントとの SNMP 通信を続行できませんでした。

システムの処置: サーバーは SNMP メッセージ処理を終了して、サーバーの操作を継続します。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR4674E** **DPI** スレッドを開始中にエラー - 戻りコード: *Return code received from called routine.*

説明: SNMP サブエージェントが DPI スレッドを開始できませんでした。

システムの処置: サブエージェントの初期化は失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4675W** *command:* このコマンドは、完了するまでにしばらく時間がかかります。

説明: 実行にしばらく時間がかかる可能性があるコマンドが呼び出されました。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: コマンドを続行する場合には 'Y' を、

またこのコマンドを終了する場合には 'N' を入力してください。

---

**ANR4676E** 別のサーバーを登録できません。

説明: SNMP サブエージェントは新規サーバーを登録する要求を受け取りましたが、新規サーバーの登録に必要なメモリーを割り振ることができませんでした。

システムの処置: サブエージェントは新規サーバーを登録することができません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4677I** セッションはサーバー名 (*The name of the registered server.*) で確立されました。

説明: SNMP サブエージェントは識別されたサーバーの登録を完了しました。

システムの処置: サブエージェントはサーバーからの追加要求を待機します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4678I** セッションはサーバー名 (*The name of the deregistered server.*) でクローズされました。

説明: SNMP サブエージェントは識別されたサーバーの登録解除を完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4679W** メッセージはもはや **SNMP** サブエージェントに転送されません。

説明: サーバーは SNMP サブエージェントへのメッセージの転送中に複数のエラーを検出しました。メッセージをもう転送していません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、メッセージを転送してはいません。

ユーザーの処置: メッセージ転送は、サーバーを停止して再始動することによって再初期化することができます。また、ハートビート機能が使用中で、サーバーがサブエージェントと再同期した場合には、メッセージ転送も再始動されます。再同期が行われるのは、サブエージェント **dsmsnmp** が単一ハートビート間隔 (ハートビート間隔はサーバー・オプションで、**QUERY OPT** コマンドの出力に表示されます) より長い間停止していて、その後再始動する場合です。

---

**ANR4681W** **SNMP** エージェントへの接続に失敗した。試みは続けられます。

説明: サブエージェントは SNMP エージェントと接続しようとして失敗しました。

システムの処置: サブエージェントは接続の再試行を続行します。

ユーザーの処置: SNMP デーモンが立ち上がっていて、実行中で、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR4682W** **SNMP** エージェント接続エラーが発生しました。接続を再接続する試みを実行中。

説明: サブエージェントと SNMP エージェントの間の通信でエラーが起きました。

システムの処置: サブエージェントは再接続を試みます。

ユーザーの処置: SNMP デーモンが立ち上がっていて、実行中で、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR4683E** トレース・ファイル '*file name*' をオープンできません。

説明: トレース・データを書き込むファイルをオープン中にエラーが発生しました。

システムの処置: サブエージェントはトレースなしで操作を続行します。

ユーザーの処置: サブエージェントを実行するドライブ上に適切なスペースがあることを確認して、プログラムをやり直してください。

---

**ANR4684E** トラップ要求が失敗しました - **RC:** *Return code from the trap request.* サーバー索引: *Server index number.*

説明: サーバーからのトラップ要求を処理しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: サブエージェント処理は続行されます。

ユーザーの処置: SNMP デーモンが立ち上がっていて、実行中で、正しく構成されていることを確認してください。



---

**ANR4685E** サブエージェントの初期化にはメモリーが足りません。

説明: 必要なメモリーを獲得できないために、SNMP サブエージェントは初期化できません。

システムの処置: サブエージェントの初期化は失敗します。

ユーザーの処置: サブエージェントに追加のメモリーを割り振ってください。

---

**ANR4686E** サブエージェント・トレースの初期化にはメモリーが不足しています。

説明: SNMP サブエージェント・トレースは、所要メモリーを獲得することができないために初期化することができませんでした。

システムの処置: サブエージェントの初期化は失敗します。

ユーザーの処置: サブエージェントに追加のメモリーを割り振ってください。

---

**ANR4687E** サーバー/サブエージェント・プロトコル違反 - 登録要求が必要。受信要求: *The value of the request that was received.*

説明: SNMP サブエージェントは、登録要求を予期しています。実際に受信したものは、登録要求ではありませんでした。

システムの処置: サブエージェントは無効要求を送信したサーバーからの要求処理を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4688E** サーバー/サブエージェント・プロトコル違反 - 無効な要求ヘッダー・バージョン。

説明: SNMP サブエージェントが、サブエージェントと同じ保守レベルでない要求をサーバーから受信しました。

システムの処置: サブエージェントは無効要求を送信したサーバーからの要求処理を停止します。

ユーザーの処置: サーバーとサブエージェントが同じ保守レベルであることを確認してください。同じ場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4689E** 無効な要求タイプを受信しました (*The value of the request that was received.*)。.

説明: SNMP サブエージェントはサーバーから予期しない要求を受け取りました。

システムの処置: サブエージェントは無効要求を送信したサーバーからの要求処理を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4690E** トラップ・データ・ヘッダーで、予期しない要求タイプ (*The value of the request that was received.*)。

説明: SNMP サブエージェントが、サーバーから無効なトラップ要求を受信しました。

システムの処置: サブエージェントは無効要求を送信したサーバーからの要求処理を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4691I** DPI サブエージェント (*The subagent name.*): 接続済みで、要求の受信が可能です。

説明: サブエージェントは SNMP エージェントに正常に接続しました。

システムの処置: サブエージェントはサーバーからの要求を受信可能です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4692I** DPI サブエージェント (*The subagent name.*): 再接続済みで、要求の受信が可能です。

説明: サブエージェントは SNMP エージェントに正常に再接続しました。

システムの処置: サブエージェントはサーバーからの要求を受信可能です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4694E** SNMP サブエージェント・ポートの確認が失敗しました。

説明: サーバーは SNMP サブエージェントと構成データを通信中でした。このやり取り中にエラーが起きました。サーバーは、サブエージェントにインターフェース情報を送ることができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。SNMP 管理インターフェースは作動不能です。

ユーザーの処置: この問題の原因として一番考えられるのは、一時的なネットワーク障害です。サーバーを再起動して、SNMP サブエージェントとの接続をやり直してください。この問題が繰り返し起こる場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR4695E SNMP: "verb type" verb** の受信時に通信障害。

説明: *verb type verb* を使用してサーバーと SNMP クライアントの間で情報を交換している時に、SNMP クライアントが通信エラーを見つけました。

システムの処置: SNMP セッションは終了し、サーバー操作は続行します。

ユーザーの処置: セッションの進行中に SNMP サブエージェントが終了した場合には、これは問題とならない場合があります。 そうでない場合には、TCP/IP 通信が通常どおりに実行されていることを確認してください。

**ANR4697E SNMP: アドレス *address*、ポート *port* で**サーバーへの認証に失敗しました。

説明: SNMP クライアントが SNMP 獲得要求への応答で示されたアドレスおよびポート番号のサーバーとのセッションを実行しようとしたましたが、これではサーバー・スクリプトが実行されることになります。 サブエージェントが示されたサーバーに接続されましたが、認証に失敗しました。

システムの処置: SNMP サブエージェントはスクリプトを実行するこの試みを終了して、操作を続行します。

ユーザーの処置: 示されたサーバーが SNMPADMIN という管理 ID をもっていること、およびこの管理 ID にスクリプトおよびその中のコマンドを実行するのに十分な権限があることを確認してください。

**ANR4698E SNMP: "verb type" verb (command) の送**信時に通信障害。

説明: *verb type verb* を使用してコマンド *command* を出している時に、SNMP クライアントが通信エラーを見つけました。

システムの処置: SNMP クライアント・セッションが終了して、サブエージェント操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR4699E SNMP: 受信バッファオーバーフロー。**

説明: SNMP クライアントがサーバーとの間の情報転送でオーバーフロー・エラーを見つけました。

システムの処置: SNMP クライアント・セッションが終了して、サブエージェント操作が続行されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR4700I** サーバーの移動バッチ・サイズが *new batch size* に設定されています。 この時点以降に開始した移動操作ではこの新しい値が使用されます。

説明: 移動バッチ・サイズの値を設定するために、SETOPT コマンドが使用されました。 この設定は、1 つのデータベース・トランザクションでサーバーに移動されるファイルの最大数を決定しますが、この数は移動サイズのしきい値の設定によっても左右されます。 この設定は、サーバー・マイグレーション、レクラメーション、ストレージ・プール・バックアップ、およびデータ移動操作のファイル移動に影響します。

システムの処置: サーバーは、このメッセージが出された後に開始された移動操作にこの新しい設定値を使用します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR4701I** サーバーの移動サイズしきい値が *new threshold* に設定されています。 この時点以降に開始した移動操作ではこの新しい値が使用されます。

説明: 移動サイズしきい値を設定するために、SETOPT コマンドが使用されました。 この設定値は、1 回のデータベース・トランザクションでサーバーに移動できるファイルの最大メガバイト数 (移動バッチ・サイズの設定値によっても異なる) を決定します。 この設定は、サーバー・マイグレーション、レクラメーション、ストレージ・プール・バックアップ、およびデータ移動操作のファイル移動に影響します。

システムの処置: サーバーは、このメッセージが出された後に開始された移動操作にこの新しい設定値を使用します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR4702I** サーバー・トランザクション・グループの最大数が *new value* に設定されました。 この時点以降に開始されたクライアント・セッションではこの新しい値が使用されません。

説明: 1 回のデータベース・トランザクションでクライアントから送信可能なファイルの最大数の値を設定するために、SETOPT コマンドが使用されました。

システムの処置: サーバーは、このメッセージが出された後に開始されたクライアント・セッションにこの新しい設定値を使用します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

**ANR4704I** 鍵リング・ファイル名およびパスワードが設定されました。新規設定を使用するためには、サーバーを再始動してください。

説明: 鍵リング・ファイル名は、DEFINE KEYRING コマンドに指定された新規の値に設定されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 鍵リングの新規情報を使用するには、サーバーを再始動してください。

**ANR4707E** *Import/Loaddb command* 操作が終了しました - 入力ボリューム・リストが不完全です。

説明: コマンドの処理に必要なボリュームのリストが不完全でした。操作に必要な少なくとも 1 つのボリュームがリストの終わりから欠落しています。

システムの処置: コマンドの操作は終了されます。

ユーザーの処置: このコマンドを出し直して、必要なボリュームがボリューム・リストに組み込まれていることを確認してください。

**ANR4709W** ライブラリー管理プログラム・サーバー *Server Name* でボリューム *Volume Name* をマウントするように介入が要求されました。

説明: ボリューム・マウントは、指定されたライブラリー管理プログラム・サーバーでオペレーター介入を待っています。

システムの処置: ボリューム・マウント操作はオペレーターの介入を待機中です。

ユーザーの処置: マウント操作を完了するために実行する必要があるアクションを判別するためには、指定されたライブラリー管理プログラム・サーバー上のサーバー・コンソールまたは活動記録ログ、あるいはその両方を参照してください。

**ANR4712E** *Command: DEVCLASS* パラメーターは、ボリューム・ヒストリー・タイプ **DBBACKUP** または **DBSNAPSHOT** の場合にだけ有効です。

説明: TYPE= パラメーターに無効なボリューム・ヒストリー・タイプが指定されたので、このコマンドに失敗しました。

システムの処置: このコマンドは実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コマンドを出し直して、有効なタイプ値を指定してください。

**ANR4713E** *Command: "option"* スtringは 16 進ファイル・スペース・フィールドでは無効です。

説明: 指示されたコマンドは 16 進ファイル・スペース・パラメーターで無効な値を指定します。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 16 進ファイル・スペース・パラメーターに有効な入力指定してコマンドを再発行してください。

**ANR4717E** *command:* 転送方式 **fasp** はサポートされていないため、ターゲット・サーバーは、損傷ファイルの複製およびリカバリーをサポートしません。

説明: ターゲット複製サーバーが転送方式として **fasp** をサポートしないため、このサーバーから開始される複製リカバリー操作は許可されません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: **fasp** を使用した複製リカバリーをサポートするレベルにターゲット複製サーバーをアップグレードしてください。

**ANR4723E** 下位レベルのストレージ・エージェント *storage agent name* に対してセッションが拒否されました。

説明: 下位レベルのストレージ・エージェントがこのサーバーに接続しようとしてしました。サーバーは、以前のすべてのバージョンのストレージ・エージェントはサポートできません。

システムの処置: サーバーは、特定の低位バージョンの製品のストレージ・エージェントによる接続をサポートしません。このサーバーに対してサポートされているストレージ・エージェント・レベルの説明については、README を確認してください。ストレージ・エージェントは始動することではなく、自身が下位レベルであることを示す ANR0454W を報告します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4724E** ノード *node (Node id)* ファイル・スペース *filespace name (filespace id)* のバックアップ中に、削除アクティビティーが起りました。

説明: 完全または増分バックアップの処理中に、ファイルがファイル・スペースから削除されました。ファイルは、期限切れではなく、別のプロセスによって削除されました。DELETE FILESPACE、DELETE

VOLUME、AUDIT VOLUME、または他の管理者コマンドによって、ファイルが削除されることがあります。このノードについての増分バックアップを完了するまで、サーバー上のファイル・スペース・イメージはクライアントと整合性がありません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・ノードに対して、増分バックアップを実行してください。

---

**ANR4725E** *Source file(line number):* サーバー・ロック *Locktype*、モード *Lockmode* が失敗しました。

説明: 処理中にロックを取得しようとして内部エラーが起きました。

システムの処置: このエラーを生成した活動は失敗します。

ユーザーの処置: 処理をやり直してください。処理が失敗する場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4726I** *support module* サポート・モジュールがロードされました。

説明: 指示されたモジュールは正常にロードされています。このモジュールと関連した操作はサーバーによって実行できることがあります。

システムの処置: このモジュールに依存する機能は現在サーバー上で実行されている可能性があります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4728E** ファイル・サーバー *File server name* へのサーバー接続が失敗しました。データ・ムーバーの定義中に指定したファイル・サーバーの属性を検査してください。

説明: サーバーはファイル・サーバーと接続しようとしていました。接続が失敗したのは、以下のいずれかの理由による可能性があります。

- データ・ムーバー定義中に指定したパラメーター、すなわち、ファイル・サーバーの TCP/IP アドレス、ユーザー ID、パスワード、TCP/IP ポートの 1 つが正しくない
- ファイル・サーバーが要求された NDMP バージョンをサポートしていない
- ファイル・サーバーがアクセス可能でない
- NDMP サーバーが活動状態の NDMP セッション数を制限する

- ファイル・サーバーのサポートされないモデルが検出された
- メッセージでアドレス 127.0.0.1 またはサーバー・システムのアドレスが指定されている場合、NDMPCONTROLPORT および/または NDMPPORTRANGE オプションは既に使用中のポート番号または範囲に設定される可能性があります。

システムの処置: ファイル・サーバーの IBM

Spectrum Protect サーバー・バックアップ/リストアが失敗しています。

ユーザーの処置: ファイル・サーバーがネットワークを介してアクセス可能であるかどうかを検査し、データ・ムーバー定義中に指定した各属性を検査し、ファイル・サーバーでサポートされる NDMP バージョンを検査し、ファイル・サーバーで活動状態になっている

NDMP セッション数を検査し、ファイル・サーバー・モデルが IBM Spectrum Protect サーバーでサポートされることを検査してください。メッセージにサーバーのアドレスが示されている場合、オプション

NDMPCONTROLPORT および/または NDMPPORTRANGE で指定されている、またはデフォルト値のポートが使用可能であることを確認してください。オペレーティング・システムによっては、使用中のポート番号を判別するために netstat オペレーティング・システム・コマンドを使用できます。

---

**ANR4729E** ファイル・サーバー *File server name* へのサーバー接続が失敗しました。ファイル・サーバーのオペレーティング・システムのレベルは IBM Spectrum Protect サーバーではサポートされていません。ファイル・サーバーを、サーバーでサポートされるオペレーティング・システムのレベルにアップグレードしてください。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーはオペレーティング・システムのサポートされないレベルでファイル・サーバーに接続しようとしていました。サーバーが NDMP 接続を確立できるのは、オペレーティング・システムのサポートされるレベルのファイル・サーバーの場合だけです。ファイル・サーバーのオペレーティング・システムのサポートされるレベルについては、次のサイトをチェックしてください: <http://www.tivoli.com/storage>

システムの処置: ファイル・サーバーの IBM

Spectrum Protect サーバー・バックアップ/リストアが失敗しています。

ユーザーの処置: ファイル・サーバーを、オペレーティング・システムのサポートされるレベルにアップグレードしてください。

---

**ANR4730E** *Command: parameter name* パラメーターで指定した *stgpool type* のストレージ・プール名の数、許可される最大数を超えています。

説明: 指定された 1 次ストレージ・プールのコピー・ストレージ・プールの数と活動データ・ストレージ・プールの数の合計は、最大 3 つに制限されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 合計 3 つ以下のストレージ・プール名を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4731E** *Command: pool type* のストレージ・プール *storage pool name* が定義されていません。

説明: DEFINE STGPOOL または UPDATE STGPOOL コマンドに、コピー・ストレージ・プールまたは活動データ・ストレージ・プールのいずれとしても定義されていないストレージ・プールが含まれています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: エラー・メッセージに示されたコピーまたは活動データのストレージ・プール名が正しいかどうかを調べてください。COPYSTGPOOLS パラメーターを使用する場合、既に存在するコピー・ストレージ・プールを使用して問題を訂正するか、コピー・ストレージ・プールを定義してください。

ACTIVEDATAPOOLS パラメーターを使用する場合、既に存在する活動データ・ストレージ・プールを使用して問題を訂正するか、活動データ・ストレージ・プールを定義してください。コマンドをやり直してください。

---

**ANR4732E** *Command: ストレージ・プール stgpool name* は、コピー・タイプおよび活動データ・タイプのストレージ・プールではありません。

説明: DEFINE STGPOOL または UPDATE STGPOOL コマンドに、コピーまたは活動データのタイプのストレージ・プールではないストレージ・プール名が含まれています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: エラー・メッセージに示されたコピーまたは活動データのストレージ・プール名が正しいかどうかを調べるか、リストからストレージ・プール名を除去してください。COPYSTGPOOLS パラメーターを使用する場合、既に存在するコピー・ストレージ・プールを使用して問題を訂正するか、コピー・ストレージ・プ

ールを定義してください。ACTIVEDATAPOOLS パラメーターを使用する場合、既に存在する活動データ・ストレージ・プールを使用して問題を訂正するか、活動データ・ストレージ・プールを定義してください。コマンドをやり直してください。

---

**ANR4733E** *Command: pool type* ストレージ・プールに、サイクルをストレージ・プール・チェーンに導入する *pool type* ストレージ・プール名が入っています。

説明: DEFINE STGPOOL または UPDATE STGPOOL コマンドに、処理するストレージ・プールを最終的に指すコピーまたは活動データのストレージ・プールが入っています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: コピーまたは活動データのストレージ・プール・リストからストレージ・プール名を除去し、コマンドを再試行してください。

---

**ANR4734W** *pool type* のストレージ・プール *pool name* は、セッション *Session Id.* の失敗のためストレージ・プール・リストから除去されました。

説明: エラーのために、現行セッションのバックアップ・アーカイブ/スペース管理操作のストレージ・プール・リストから、指定のストレージ・プールが除去されました。この除去は、メッセージ中に示されているセッションに対してだけ行われるもので、他のセッションの操作には影響しません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 起こったエラーは、多くの障害のうちの 1 つにすぎない可能性があります。活動ログの中またはサーバー・コンソール上で次の項目を探してください。1. 指定のストレージ・プールは現在選択不可能な状態ですか? 2. 宛先装置 (ディスクまたは磁気テープ・ドライブ) で入出力エラーが起こっていますか? 3. 装置クラス上のマウント・リミットが正しく設定されていますか? 4. ノードの MAXNUMMP 値は要求を満たすのに十分ですか?

---

**ANR4735W** サーバー・フリー処理は使用できません。初期化は失敗しました。

説明: サーバー・フリー処理の初期化中にエラーが起きました。イメージをバックアップおよびリストアするのにサーバー・フリー・データ転送は使用できません。

システムの処置: クライアントのイメージのバックアップ

プおよびリストア要求は、LAN ベースのデータ転送を使用します。

ユーザーの処置: サーバーの初期化中のメッセージを検査し、エラーを訂正してください。

---

**ANR4736E** *Command: parameter name* パラメーターで指定したコンテナ・コピー・タイプのストレージ・プールの数が、許可される最大数を超過しています。

説明: 指定された 1 次ストレージ・プールのコンテナ・コピー・ストレージ・プールの数は、最大 2 つに制限されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 合計 2 つ以下のストレージ・プール名を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4737E** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* でトランザクションが失敗しました - ストレージ・プール *storage pool name* のコピー続行属性のためにそれ以降の再試行が妨げられました。

説明: バックアップ・セッション中に、指定のストレージ・プールと関連づけられている 1 つ以上のコピー・ストレージ・プールに障害がありました。指定のストレージ・プールのコピー続行オプションがプロセスを停止させたので、操作は停止しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 次のことを検査してください。1. 要求を満たすのに十分なマウント・ポイントが装置クラスにありますか？2. ノードの MAXNUMMP 値は要求を満たすのに十分でしたか？3. 入出力に関連するトランザクションまたは関連の発行で報告されたエラーがありましたか？

---

**ANR4738E** *Command: 1* つ以上のストレージ・プールが、コピー・タイプ、活動データ・タイプ、またはコンテナ・コピー・タイプのストレージ・プールとして *pool name* を使用しています。

説明: DELETE STGPOOL コマンドは、別の 1 次ストレージ・プール用にコピー・ストレージ・プール、活動データ・ストレージ・プール、またはコンテナ・コピー・ストレージ・プールとして定義されたストレージ・プールを削除しようとしていました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 必要な場合には、UPDATE STGPOOL コマンドを発行して別の 1 次ストレージ・

プールを更新します。

COPYSTGPOOLS、ACTIVEDATAPOOLS、または PROTECTLOCAL パラメーターを使用して、削除対象のストレージ・プールへの参照を削除します。削除対象のストレージ・プールを参照する 1 次ストレージ・プールすべてにこの処理を繰り返します。コマンドを再発行してください。

---

**ANR4739E** 高位アドレス (*hladdress*)、低位アドレス (*lladdress*)、またはその両方が誤って入力されました。

説明: 指定された高位アドレスまたは低位アドレスが誤っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: アドレスを有効にするには、高位アドレスと低位アドレスの両方が必要です。更新の場合、正常に完了するには、高位アドレスと低位アドレスの両方が必要です。新規定義の場合、SESSIONINIT=SERVERONLY のときには、高位アドレスと低位アドレスの両方が必要です。高位アドレスまたは低位アドレスのいずれかが、このコマンドでは欠落しています。メッセージ内の「？」で表された欠落しているアドレスを指定し、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4740W** 示されたノード ( *nodename* ) に対して高位アドレスと低位アドレスのどちらか一方または両方が入力されておらず、セッション開始状況が変更されています。

説明: UPDATE NODE コマンドの SESSIONINIT パラメーターを使用してノードのセッション開始状況を変更すると、UPDATE NODE コマンドの HLA および LLA キーワードで指定したアドレスを反映するように、スケジュール表が更新されます。ノードのアドレッシング情報を指定する際にこれらのキーワードの一方または両方を使用しないと、サーバー開始スケジュールはこのノードと連絡を取れません

システムの処置: サーバーはスケジュール表を更新しません。一般に、正しいアドレス情報を持つ HLADDRESS および LLA パラメーターの両方を追加の UPDATE NODE コマンドで指定しない限り、ノードに対する後続のサーバー開始セッションは失敗します。

ユーザーの処置: アドレスを有効にするには、高位アドレスと低位アドレスの両方が必要です。HLADDRESS パラメーター (ノード・アドレス用) と LLADDRESS パラメーター (ノードの listen ポート情報用) で完全なアドレッシング情報を指定して、このノードに UPDATE NODE コマンドを発行してください。

**ANR4741W** このコマンドは、管理者 *adminName* の名前を変更します。この管理者がスケジュールを定義または更新しています。この管理者の名前を変更すると、これらのスケジュールが失敗します。

説明: 管理スケジュールを所有する管理者に対して RENAME ADMINISTRATOR コマンドが入力されました。このコマンドの続行を確認すると、この管理者によって所有されるスケジュールは、将来実行される時に失敗します。

システムの処置: システムはこのコマンドを続行するかどうかを問い合わせます。

ユーザーの処置: RENAME ADMINISTRATOR コマンドの処理を続行する場合には 'Y' を、また処理を停止する場合には 'N' を入力してください。管理者によって所有されるスケジュールを処理するには、QUERY SCHEDULE コマンドを使用するか、あるいは ADMIN\_SCHEDULES 表に対して SQL SELECT ステートメントを使用して、管理者によって最後に更新されたスケジュールを判別してください。UPDATE SCHEDULE コマンドを使用して、スケジュールの実行権限をもつ管理者によって制御されるそれらのスケジュールを更新するか、DELETE SCHEDULE コマンドを使用してスケジュールを除去してください。

**ANR4742W** このコマンドは、管理者 *adminName* を *newAdminName* に名前変更しました。この管理者がスケジュールを定義または更新しています。これにより、将来、スケジュールの実行が失敗します。

説明: RENAME ADMINISTRATOR コマンドが入力され、名前変更された管理者が管理スケジュールを所有しています。これらのスケジュールは管理者の新しい名前に属していないため、将来、これらのスケジュールを実行したときに失敗します。

システムの処置: システムは管理者を名前変更します。

ユーザーの処置: QUERY SCHEDULE コマンドを使用するか、あるいは ADMIN\_SCHEDULES 表に対して SQL SELECT ステートメントを使用して、管理者によって最後に更新されたスケジュールを判別してください。UPDATE SCHEDULE コマンドを使用して、スケジュールの実行権限をもつ管理者によって制御されるそれらのスケジュールを更新するか、DELETE SCHEDULE コマンドを使用してスケジュールを除去してください。

**ANR4743W** 装置クラス *device class name* で使用できるマウント・ポイントの数が十分ではありません。

説明: 同時書き込み処理中に、サーバーは指定された装置クラスに対して十分なマウント・ポイントを割り振ることができません。考えられる理由は次のとおりです。

- 装置クラスに対して指定されたマウント・リミットでは、同時書き込み操作をサポートするための十分な数のマウント・ポイントが用意されていません。
- 装置クラスにサービスを提供するドライブがアクセス不能です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 以下の点を確認してください。

- 装置クラスに対して指定されたマウント・リミットは、同時書き込み操作をサポートするために十分なマウント・ポイントの数になっている。
- 十分な数のドライブが、装置クラスにサービスを提供するライブラリー用に定義され、オンラインになっている。

**ANR4744W** サーバーが、十分な数のマウント・ポイントを取得できません。

説明: 同時書き込み処理中に、サーバーは要求を満たすのに十分な数のマウント・ポイントを取得できません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このメッセージの前後に表示された可能性のあるエラー・メッセージを調べてください。可能であれば、問題をすべて訂正してください。

**ANR4746E** 上位レベルのストレージ・エージェント *storage agent name* に対してセッションが拒否されました。

説明: 上位レベルのストレージ・エージェントがこのサーバーに接続しようとしていました。ストレージ・エージェントが、サーバーよりも上位レベルに位置することはできません。

システムの処置: サーバーは、上位バージョン、同じバージョンの場合上位リリース、または同じバージョンかつ同じリリースの場合上位の修正レベルにあるストレージ・エージェントによる接続をサポートしません。ストレージ・エージェントは始動することなく、リソースが使用不可であることを示す ANR0454W を報告します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4747W Web** 管理インターフェースは、もうサポートされていません。 **Integrated Solutions Console** を代わりに使用してください。

説明: Web 管理インターフェースは、もうサポートされていません。 Integrated Solutions Console を基にした管理インターフェースに置き換わりました。

システムの処置: Web 管理インターフェースの Web ページは表示されません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect support for the Integrated Solutions Console をインストールしてサーバー管理を開始してください。

**ANR4748E NDMP** バージョン 4 を必要とする NAS 操作がファイル・サーバー *File server name* に対して試行されましたが、現行の NDMP セッションは NDMP バージョン 3 を使用しています。ファイル・サーバーが NDMP バージョン 4 をサポートすることを確認してください。

説明: 現在 NDMP バージョン 3 を実行するように構成されているファイル・サーバーに対して、NDMP バージョン 4 を必要とする NAS 操作が試行されました。

システムの処置: ファイル・サーバーの IBM Spectrum Protect サーバー・バックアップ/リストア、またはその他の操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイル・サーバーが NDMP バージョン 4 をサポートすることを確認してください。また、ファイル・サーバーが NDMP バージョン 4 を使用する接続を受け入れるように構成されていることを確認してください。

**ANR4749I** サーバー・データベースから鍵リング・ファイル名およびパスワードが削除されました。

説明: 鍵リング・ファイル名およびパスワードが削除されました。オプション SSLTCPPOINT または SSLTCPADMINPORT が設定されており、鍵リング・ファイル cert.kdb,cert.crl,cert.rdb が存在しない場合、再始動するとサーバーは新規パスワードおよび新規鍵リング・ファイルを生成しようとします。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーを再始動する前に、サーバー実行ディレクトリーから対応する

cert.kdb,cert.crl,cert.rdb ファイルおよび cert.arm ファイルを削除する必要があります (ある場合)。サーバー

を再始動し、新規鍵リング情報を生成して使用してください。

**ANR4752I REPAIR STGVOL** プロセス *process number* が *number of volumes* ボリュームに対して開始されました。

説明: REPAIR STGVOL プロセスが、報告されているプロセス番号として開始されました。このプロセスは、指示された数のボリュームを評価し、必要であれば、それらを修復します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このプロセスは、QUERY PROCESS コマンドを使用して監視することができます。このプロセスを取り消す必要のある場合は、CANCEL PROCESS コマンドを発行してください。

**ANR4753E REPAIR STGVOL** プロセス *process number* が終了し、*total volumes* 合計ボリュームの中から *volumes processed* が処理され、*repaired volumes* の修復に成功し、*failed volumes* が失敗しました。

説明: REPAIR STGVOL プロセスが終了しました。処理対象の合計ボリューム *total volumes* から *volumes processed* を処理しました。 *repaired volumes* は、データベース修復を必要とし、実際に修復されたボリュームの数を示します。 *failed volumes* は、評価の実行中または必要な場合にデータベースの修復の実行中に障害を起こしたボリュームです。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: *failed volumes* が存在した場合は、障害の詳細情報を調べるため、活動記録ログを検討してください。

**ANR4754I REPAIR STGVOL** プロセス *process number* が終了し、*total volumes* 合計ボリュームの中から *volumes processed* を処理し、*repaired volumes* を修復しました。

説明: REPAIR STGVOL プロセスが終了しました。処理対象の合計ボリューム *total volumes* から *volumes processed* を処理しました。 *repaired volumes* は、データベース修復を必要とし、実際に修復されたボリュームの数を示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。



---

**ANR4755W REPAIR STGVOL** プロセス *process number* が終了し、*total volumes* 合計ボリュームの中から *volumes processed* を処理し、*repaired volumes* を修復しました。

説明: REPAIR STGVOL プロセスが終了しました。処理対象の合計ボリューム *total volumes* から *volumes processed* を処理しました。 *repaired volumes* は、データベース修復を必要とし、実際に修復されたボリュームの数を示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: *volumes processed* が *total volumes* 未満の場合は、必要なボリュームすべてを処理する前にプロセスが取り消されたことが理由として考えられます。活動記録ログを検討し、これが原因である場合は、コマンドを再発行し、この処理を完了させます。あるいは、このプロセスの実行中に、ボリュームが再利用または削除された場合は、プロセスの開始時に算出された個数よりも、実際に処理するボリュームが少なかった可能性があります。この場合には、その後のアクションは不要です。

---

**ANR4757I REPAIR STGVOL** がボリューム *volume name* の評価を終了し、修復の必要はありませんでした。

説明: REPAIR STGVOL が *volume name* ボリュームの評価を終了しました。修復処置は、エラーが検出されなかったため、データベースに対して実行されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4758W REPAIR STGVOL** がボリューム *volume name* を修復し、データベース参照エラーが検出され訂正されました。

説明: REPAIR STGVOL が *volume name* ボリュームを評価し、修復処置が必要であると判断しました。必要な修復は正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4759E REPAIR STGVOL** が *volume name* の処理に失敗しました。

説明: REPAIR STGVOL が *volume name* ボリュームの処理に失敗しました。このプロセスは、当該ボリュームの評価実行中に失敗したか、修復処置が必要である

と判断した後、修復処置の実行に失敗したかのいずれかです。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このボリュームの処理が失敗した理由の手掛かりを求めて、活動記録ログを検討してください。 "REPAIR STGVOL VOLNAME=*volume name*" の発行を試行し、再度このボリュームを処理します。このボリュームがサーバーから削除されている場合は、このメッセージは無視してください。

---

**ANR4760I REPAIR STGVOL** が処理履歴をリセットしました。

説明: REPAIR STGVOL コマンドが、RESET=YES で発行されました。この操作により、処理履歴がリセットされます。処理履歴のリセットにより、コマンドの再実行が可能になり、評価済みのボリュームが再評価されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 管理者は、サーバー・データベースの妥当性検査の手段として、処理履歴を定期的にリセットし、サーバー内のすべてのボリュームの再評価を行うことが必要になる場合があります。a

---

**ANR4761E REPAIR STGVOL** による処理履歴一のリセットが失敗しました。

説明: REPAIR STGVOL コマンドが、RESET=YES で発行されました。この操作により、処理履歴がリセットされます。ただし、処理履歴のリセットは失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーはメモリーまたはリソース不足に陥っているものと考えられます。このコマンドは、サーバーを停止してから再始動した後、またはサーバーを停止し、サーバー・マシンをリブートしてから、サーバーを再始動した後に再発行することを薦めます。この手順を実行した後も、リセットが失敗するような場合は、IBM サービス担当員にご連絡ください。

---

**ANR4762E Command: SPACEMANAGED** または **ARCHIVE** タイプのパラメーターは、活動データ・ストレージ・プール・ボリュームには無効です。

説明: 無効なタイプのパラメーターを指定して QUERY CONTENT サーバー・コマンドが入力されました。指定されたボリュームが活動データ・タイプのストレージ・プールに属している場合には、SPACEMANAGED

または ARCHIVE パラメーターは有効ではありません。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 活動データ・ストレージ・プールに対して正しい TYPE パラメーターを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR4763E** *Command:* 無効なパラメーター - *parameter*

説明: 示されているサーバー・コマンドが入力されましたが、順次ファイル・ストレージに z/OS メディア・ライブラリーを使用する場合には適用されない無効なパラメーターが指定されています。

システムの処置: サーバーはこのコマンドを無視します。

ユーザーの処置: 正しい構文を入力してコマンドを再発行してください。順次ファイル・ストレージに z/OS メディア・ライブラリーを使用する場合には、NUMBEROFVOLUMES パラメーターも FORMATSIZE パラメーターも無効です。z/OS メディア・サーバーは、書き込み中に各 FILE ボリュームをフォーマット設定します。

---

**ANR4764E** *Command: parameter* パラメーターの長さが無効です - *parameter value*。

説明: コマンド *command* の (*parameter*) パラメーターに指定された長さ (*parameter value*) は、このパラメーターに許可されている最大長さではありません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: パラメーターに有効な長さを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4765I** 鍵リング・ファイルのパスワードが設定されました。新規パスワードを使用するには、サーバーを再始動してください。

説明: サーバーで使用される鍵リング・ファイルのパスワードが、SET SSLKEYRINGPW コマンドで指定された値に設定されました。通常、これは外部ユーティリティーを使用して鍵リング・ファイルのパスワードが変更された後に行われます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルの新規パスワードを使用するには、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4766E** サーバーは SET SSLKEYRINGPW コマンドで指定されたパスワードを使用して鍵リング・ファイルにアクセスできませんでした。

説明: サーバーで使用される鍵リング・ファイルのパスワードの妥当性が検査されましたが、無効でした。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: QUERY SSLKEYRINGPW コマンドを使用すると、サーバーで現在使用されている鍵リング・ファイルのパスワードが表示されます。外部ユーティリティーでパスワードが変更された場合は、SET SSLKEYRINGPW コマンドで指定された値とこのパスワードが同じであることを確認してください。パスワードを紛失した場合は、DELETE KEYRING コマンドを発行して現在の鍵リング・ファイルを削除してください。サーバーを再始動すると、新しい鍵リング・ファイル、パスワード、および自己署名証明書が生成されます。QUERY SSLKEYRINGPW コマンドを発行して、新しいパスワードを入手します。次に外部ユーティリティーを使用して追加の証明書を再度インポートし、そのうちの 1 つを新しいデフォルトとして指定します。追加の証明書を使用するには、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4767E** サーバーは、サーバーが保管している古いパスワードと SET SSLKEYRINGPW コマンドで指定された新規パスワードを使用して、鍵リング・ファイルのパスワードを変更できませんでした。

説明: 以前の鍵リング・ファイルのパスワードが有効なままです。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: QUERY SSLKEYRINGPW コマンドを使用すると、サーバーで現在使用されている鍵リング・ファイルのパスワードが表示されます。SET SSLKEYRINGPW password UPDATE=YES コマンドで鍵リング・ファイルのパスワードを更新できない場合は、次の手順を実行して鍵リング・ファイルとそのパスワードを削除して再作成できます。1. DELETE KEYRING コマンドを発行して、サーバーの鍵リング・ファイルとパスワードの記録を削除する。2. サーバーを停止する。3. サーバーのインスタンス・ディレクトリーにある cert.\* ファイルを削除する。4. サーバーで鍵リング・ファイルとそのパスワードを再生成するためにサーバーを再始動する。

---

**ANR4768E** *Command:* 無効なボリューム名 - *volume name*。

説明: 示されているコマンドに、ZOSMEDIA ライブラリー・ボリュームとして無効な FILE ボリューム名が入っています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 44 文字以内の有効な文字で、正しいボリューム名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4769W** *Command:* *message number* のアラート・トリガーは既に定義されています。

説明: サーバーに対して既に定義されたメッセージ番号を指定して、DEFINE ALERTTRIGGER コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはメッセージ番号をスキップし、コマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な場合は、UPDATE ALERTTRIGGER コマンドを使用してアラート・トリガーを更新します。

---

**ANR4770W** *Command:* 無効なメッセージ番号 *message number*。

説明: メッセージ番号が誤った形式で指定されている、またはサーバーに存在しないために、メッセージ番号は無効です。

システムの処置: サーバーは指定されたメッセージ番号をスキップし、残りのコマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ番号の形式が正しく、サーバーに存在することを確認します。正しいメッセージ番号を指定してコマンドを再発行します。

---

**ANR4771W** *Command:* 管理者 *admin name* は、登録されていないかロックされているので、処理できません。

説明: 示されている管理者名に対して、このコマンドは処理できません。管理者名が登録されていないか、ロックされています。

システムの処置: 示されている管理者名は処理されません。サーバーは、コマンドに指定されている他の管理者名の処理を続行します。

ユーザーの処置: 管理者名が間違っ指定されている場合は、正しい名前を指定してコマンドを再発行します。管理者名がロックされている場合は、アンロックできるかどうか調べます。UNLOCK ADMIN コマンドを使用

して管理者名をアンロックし、その管理者名を指定してコマンドを再発行します。

---

**ANR4772I** アラート・トリガー *message number* が定義されています。

説明: コマンドへの応答として、要求されたアラート・トリガーがサーバーに追加されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4773I** アラート・トリガー *message number* が削除されました。

説明: 要求されたアラート・トリガーがサーバーから削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4774I** *Command* コマンドが処理されました。

説明: 指定されたコマンドが処理されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 前のメッセージを検討してください。問題を訂正して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4775W** *Command:* アラート・トリガー *message number* は定義されていません。

説明: 指定されているメッセージ番号が、サーバー・データベース内で定義されているアラート・トリガーを参照していません。

システムの処置: サーバーは指定されたメッセージ番号をスキップし、残りのコマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: アラート・トリガーとして定義されたメッセージ番号を指定して、コマンドを再発行します。QUERY ALERTTRIGGER コマンドを発行して、定義済みのメッセージ番号のリストを表示します。

---

**ANR4776I** *Command:* *message number* の管理者 *admin name* は *action* です。

説明: コマンドはアクションを実行して、指定されたアラート・トリガーに対する管理者名の追加または削除を正常に行いました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4777I** *Command:* 管理者 *admin name* は、*alert message number* に対して既に定義されています。

説明: コマンドは、アラートに対して既に定義済みの管理者名を指定しています。

システムの処置: サーバーは管理者名をスキップし、コマンドの処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4778E** *Command:* アラート *alert identifier* が見つかりませんでした。

説明: 指定されたアラートがサーバー・データベース内で見つかりませんでした。

システムの処置: 指定されたアラート ID はスキップされます。サーバーは、コマンドで指定された次のアラート ID の処理を続行します。

ユーザーの処置: サーバー上でクローズまたは削除されていないアラートのアラート ID を指定して、コマンドを再発行してください。既存のアラートのリストを表示するには、QUERY ALERTSTATUS コマンドを発行します。

---

**ANR4779E** *Command:* アラート ID *alert identifier* に対して要求された更新が無効です。アラートは変更されません。

説明: アラートに指定した更新要求は、無効または正しくありません。アラートの状況は、アクティブから非アクティブまたはクローズに、または非アクティブからクローズに変更できます。ASSIGNED パラメーターまたは RESOLVEDBY パラメーターを指定する場合、値はロックされていない登録済み管理者名でなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: アラートに対して有効な状況を指定してコマンドを再発行します。QUERY ALERTSTATUS コマンドを発行して、既存のアラートおよび状況のリストを表示します。

---

**ANR4780I** ノード・グループ *node group name* が定義されました。

説明: DEFINE NODEGROUP コマンドが、指示されたノード・グループを作成しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4781E** *Command:* 無効なノード・グループ名 *node group name*。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたノード・グループ名 *node group name* に有効な文字が含まれていないか、含まれている文字数が多すぎのため失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な名前要件に適合したノード・グループ名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4782E** *Command:* 記述が最大長の *length limit* 文字数を超えました。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定された記述が、許容文字数 *length limit* よりも長い失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 短い記述を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4783E** *Command:* ノード・グループ *node group name* が定義されていません。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたノード・グループ名 *node group name* が、サーバー・データベース内に定義されているノード・グループを参照していないため失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: サーバー・データベースに定義されているノード・グループ名を指定して、コマンドを再発行してください。サーバー・データベース内に定義されているノード・グループ名のリストについては、QUERY NODEGROUP コマンドを発行してください。

---

**ANR4784I** ノード・グループ *node group name* が更新されました。

説明: UPDATE NODEGROUP コマンドに対する応答として、ノード・グループ *node group name* がサーバー・データベースで更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4785I** ノード・グループ *node group name* が削除されました。

説明: DELETE NODEGROUP コマンドに対する応答として、ノード・グループ *node group name* がサーバー・データベースから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4786E** *Command:* ノード・グループ *node group name* はまだ少なくともノードを 1 つ含んでいます。

説明: 削除コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたノード・グループ *node group name* が、まだノードを少なくとも 1 つ含んでいるノード・グループを参照しているため失敗しました。1 つ以上のクライアント・ノードがまだ割り当てられているノード・グループは、削除することができません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: ノード・グループから残りのノードを除去するには、DELETE NODEGROUPMEMBER コマンドを発行してください。すべてのノードが除去された後で、削除コマンドを再発行してください。

---

**ANR4787I** *Command:* ノード・グループ *node group name* 内に *number of nodes* メンバーが定義されています。

説明: DEFINE NODEGROUPMEMBER コマンドが、指示されているノード・グループ内に指定された数のメンバーを作成しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4788I** *Command:* ノード・グループ *node group name* から *number of nodes* メンバーが削除されました。

説明: DELETE NODEGROUPMEMBER コマンドが、指示されているノード・グループから指定された数のメンバーを削除しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4789I** ノード *node name* はノード・グループ *node group name* と関連付けられています。

説明: このメッセージは DEFINE NODEGROUPMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* は、ノード・グループ名 *node group name* に関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4790I** ノード *node name* とノード・グループ *node group name* との関連が解除されました。

説明: このメッセージは DELETE NODEGROUPMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* は、ノード・グループ名 *node group name* に既に関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4791E** *Command:* ノード・グループ *node group name* は定義済みです。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたノード・グループ名 *node group name* がサーバー・データベースに定義済みのノード・グループを参照しているため失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: サーバー・データベースに定義されていないノード・グループ名を指定して、コマンドを再発行してください。サーバー・データベース内に定義されているノード・グループ名のリストについては、QUERY NODEGROUP コマンドを発行してください。

---

**ANR4792E** ポート *Port* での **listen** エラーのため、NDMP テープ・サーバーを初期化できません。

説明: サーバーは、サーバーの内部テープ・サーバーでセッション要求を **listen** する試行に失敗しました。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、NDMP 操作は失敗する可能性があります。

ユーザーの処置: NDMPCONTROLPORT オプションが、システムで使用可能なポート番号にデフォルト設定または設定されていることを確認してください。

QUERY OPTION コマンドを使用して、NDMPCONTROLPORT オプションに関連付けられたポート番号を判別できます。この値を変更する必要がある場合、サーバー・オプション・ファイルでオプションを設定した後にサーバーを再始動する必要があります。

**ANR4793E** ポート *Port* で新規セッションを受け入れているときにエラーが発生したため、**NDMP** テープ・サーバーが終了します。

説明: サーバーは、サーバーの内部テープ・サーバーで新規セッションを受け入れる試行に失敗しました。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、NDMP 操作は失敗する可能性があります。

ユーザーの処置: NDMPCONTROLPORT オプションが、システムで使用可能なポート番号にデフォルト設定または設定されていることを確認してください。

QUERY OPTION コマンドを使用して、NDMPCONTROLPORT オプションに関連付けられたポート番号を判別できます。この値を変更する必要がある場合、サーバー・オプション・ファイルでオプションを設定した後にサーバーを再始動する必要があります。

**ANR4794E** **NAS** ファイル・サーバー *File server name* が **IBM Spectrum Protect** テープ・サーバーへの **NDMP** データ接続をオープンできませんでした。ファイル・サーバーがアウトバウンド・データ接続に対応していることを確認してください。

説明: NAS ファイラーからサーバーへのバックアップ操作中に、ファイル・サーバーから **IBM Spectrum Protect** サーバーへのデータ接続が失敗しました。この原因として、ファイル・サーバーと **IBM Spectrum Protect** サーバーの間にファイアウォールが存在し、ファイル・サーバー上でアウトバウンド・ネットワーク接続を防止していることが考えられます。また、**IBM Spectrum Protect** サーバーを稼働しているシステムのネットワーク構成が無効な TCP/IP ホスト・アドレス (例えば、"127.0.0.1") を報告する場合にも発生します。

システムの処置: ファイル・サーバーの **IBM Spectrum Protect** サーバー・バックアップ操作は失敗します。

ユーザーの処置: NAS ファイル・サーバーが **IBM Spectrum Protect** サーバーへのアウトバウンド・ネットワーク接続を開始できることを確認してください。ファイル・サーバーが **NDMP 3 Way** 操作をサポートすることを確認してください。IBM Spectrum Protect サーバーを稼働しているシステムのネットワーク構成が有効な TCP/IP ホスト・アドレスを報告していることを確認してください。 .

**ANR4795E** **IBM Spectrum Protect** テープ・サーバーが **NAS** ファイル・サーバー *File server name* への **NDMP** データ接続をオープンできませんでした。

説明: NAS ファイラーからサーバーへのリストア操作中に、**IBM Spectrum Protect** サーバーから NAS ファイル・サーバーへのデータ接続が失敗しました。この原因として、NAS ファイル・サーバーが **NDMP 3 Way** リストア操作をサポートするように正しく構成されていないことが考えられます。

システムの処置: ファイル・サーバーの **IBM Spectrum Protect** サーバー・リストア操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイル・サーバーが **NDMP 3-way** リストア操作をサポートすることを確認してください。 .

**ANR4796E** **IBM Spectrum Protect** テープ・サーバーが、ネットワーク・インターフェース *network host name* を使用した **NAS** ファイル・サーバーからの **NDMP** データ接続を受け入れる **listen** ソケットのオープンに失敗しました。

説明: NAS ファイラーからサーバーへのバックアップ操作中に、**IBM Spectrum Protect** テープ・サーバーが NAS ファイル・サーバーからの **NDMP** データ接続を **listen** するための TCP/IP ソケットのオープンに失敗しました。これは、**NDMP** データ接続に選択したネットワーク・インターフェースが稼働していない、または IP バージョン 4 をサポートしていない場合に発生することがあります。

システムの処置: ファイル・サーバーの **IBM Spectrum Protect** サーバー・バックアップ操作は失敗します。

ユーザーの処置: **NDMPPREFDATAINTERFACE** サーバー・オプションで使用されているネットワーク・インターフェースが、適切に構成されて稼働中であることを確認してください。 .

**ANR4797E** ドライブ *driveName* にパス情報がありません。関連するパスがすべて適切に定義されていることを確認してください。

説明: ドライブに、操作を完了するための十分なパス情報がありません。多くの場合、パスが定義されていないことが原因です。

システムの処置: サーバーはストレージ操作に失敗します。

ユーザーの処置: 該当するパスをすべて、ドライブに定義してください。 また、パスに含まれる情報が正しいかどうかを確認してください。

---

**ANR4799I** ストレージ・プール *stgpool name* に対して **AUDIT CONTAINER** (オーファン・エクステントの識別) プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 示されたストレージ・プールに対するスキャン・アクションを指定した **AUDIT CONTAINER** コマンドの結果として、表示された ID のプロセスが、ストレージ・プールのコンテンツにオーファン・エクステントがないかの検査を開始しました。

システムの処置: ストレージ・プールのコンテンツはスキャンされ、有効なエクステントとしてデータベースにリストされていないオブジェクトはオーファンとしてマークされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4802I** ノード *node name* のパスワード有効期限がリセットされました。

説明: このノードのパスワード有効期限は、共通のパスワード有効期限にリセットされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4803I** 管理者 *administrator name* のパスワード有効期限がリセットされました。

説明: この管理者のパスワード有効期限は、共通のパスワード有効期限にリセットされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4804I** ノード *node name* は、既に共通のパスワード有効期限を使用しています。

説明: このノードのパスワード有効期限は、現在、共通のパスワード有効期限に設定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4805I** 管理者 *administrator name* は、既に共通のパスワード有効期限を使用しています。

説明: この管理者のパスワード有効期限は、現在、共通のパスワード有効期限に設定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4807W** サーバーは、*administrator name* のパスワード有効期限を共通のパスワード有効期限にリセットできません。

説明: 現時点では、この管理者のパスワード有効期限を共通のパスワード有効期限にリセットできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このノードのパスワード有効期限をリセットするのは、後にしてください。

---

**ANR4808W** すべての管理者およびノードのパスワード有効期限が共通のパスワード有効期限にリセットされました。

説明: プロファイルで管理されていないすべての管理者と、このサーバー上のノードのパスワード有効期限は、共通のパスワード有効期限にリセットされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4817E** コマンド *Command*: システムの日付が疑わしい間、管理者 *admin* はこのコマンドを発行することが許可されません。システム日付を訂正するか、**ACCEPT DATE** コマンドを使用して、現行の日付を有効なものとして設定してください。

説明: サーバーは、現行システム日付が疑わしいことを注記しました。 管理クライアント・セッションは、**ACCEPT DATE** コマンドを発行して、現行の日付を有効なものとして設定することができます。 システム日付が訂正されるか、現行日付が有効なものとして設定されるまで、他のコマンドは許可されません。

システムの処置: サーバーはコマンドに失敗します。

ユーザーの処置: 現行システム日付が無効な場合には、その日付をリセットしてください。 そうでない場合は、**ACCEPT DATE** コマンドを使用して、現行の日付をサーバー上で有効なものとして設定してください。 コマンドを再発行してください。

無効な日付を受け入れると、以下のいずれかの問題が発生することがあります。

- 期限以前にデータが削除される問題
- 期限以後もデータが保存される問題
- スケジューリングの問題
- イベント・レコードの問題
- パスワード期限切れの問題

---

**ANR4818E** テキストをフォーマットできず、サーバー・コンソールに書き込めません。テキストは *text* です。より広い画面幅の設定を試行してください。

説明: 発行されたサーバー・コマンドのため、サーバーはテーブル・フォーマット内の出力をフォーマットできず、サーバー・コンソールに書き込むことができません。出力の一部のテキストの線幅がウィンドウのサイズを超過しています。

システムの処置: サーバーは出力をコンソールに書き込みません。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ウィンドウの幅を増やして、コマンドを再試行してください。

---

**ANR4819E** ノード *node name* のセッション *session number* には、目次セッションへの許可がありません。

説明: クライアントが目次 (TOC) セッションでの作業を試行しましたが、このノードには適切な許可がありません。サーバーは要求を実行しません。

システムの処置: サーバーは要求を実行しません。

ユーザーの処置: 適切な許可を持つノードを使用して作業を完了してください。

---

**ANR4820E** *Command* 作成日と作成時刻は両方とも指定する必要があります。

説明: ターゲットに到達不能なため、サーバー・フリー処理は完了しませんでした。

システムの処置: サーバーはコマンドに失敗します。

ユーザーの処置: 作成日と作成時刻の両方を指定するか、または両方とも指定しないでコマンドを再実行してください。

---

**ANR4821E** *Command*: 作成日 *date* は無効です。

説明: 示されているコマンドが無効な作成日を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい作成日を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR4822E** *Command*: 作成時刻 *date* は無効です。

説明: 示されているコマンドが無効な作成時刻を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい作成時刻を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR4823E** 使用可能なメモリーが不足しているため、ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。

説明: サーバーは、使用可能なメモリーが不足しているため、指定のノードおよびファイル・スペースに関する目次 (TOC) のロードまたは読み取りを終了します。

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR4824E** ロックが競合しているため、ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。

説明: 要求されたリソースは、既に他のプロセスによって使用中のため、サーバーは指定のノードおよびファイル・スペースに関する目次 (TOC) のロードまたは読み取りを終了します。

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 後で操作をやり直してください。

---

**ANR4826E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のオブジェクトがサーバー内にありません。

説明: サーバーは、目次 (TOC) のオブジェクトを検出できないため、指定のノードおよびファイル・スペースにあるオブジェクトについて TOC のロードまたは読み取りを終了します。

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。TOC オブジェクトは、サーバーの期限切れ後またはボリューム削除操作時にサーバーから削除できます。

ユーザーの処置: 正しい TOC オブジェクトが指定されていることを確認してください。



---

**ANR4827E** スレッドのリソースが使用できないため、ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* の目次をロードできませんでした。

説明: サーバーは、追加のプロセスを開始するために使用可能なメモリーが不足しているため、指定のノードおよびファイル・スペースに関する目次 (TOC) のロードを終了します。

システムの処置: TOC のロードは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR4828E** 内部サーバー・エラーが検出されたため、ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* について、目次のロードまたは読み取りに失敗しました。

説明: サーバーは、内部論理エラーが検出されたため、指定のノードおよびファイル・スペースに関する目次 (TOC) のロードまたは読み取りを終了します。

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4829E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。トランザクションは停止されます。

説明: トランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: 目次 (TOC) のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4830E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。要求を満たすために使用可能なマウント・ポイントが不足しています。

説明: サーバーは、目次 (TOC) を読み取るためのマウント・ポイントを十分に割り振ることができませんでした。

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR4831E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。入力ボリュームは既に使用されています。

説明: TOC のロード操作時または読み取り操作時に、要求の入力ボリュームは、別のプロセスによって既に使用されています。

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 後で操作をやり直してください。

---

**ANR4832E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。必要なボリュームはマウントされませんでした。

説明: 目次 (TOC) のロード操作時または読み取り操作時に、必要なボリュームをマウントできません。マウント要求は取り消されている場合があります。

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: TOC のロードまたは読み取りをもう一度実行して、必要なボリュームが利用できることを確認してください。

---

**ANR4833W** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。ファイルはサーバー・ストレージから削除されています。

説明: 目次 (TOC) のロード操作中または読み取り操作中、ロードまたは読み取りが完了する前に、ファイルは別のプロセスによってサーバー・ストレージから削除されました。

---

システムの処置: TOC のロードまたは読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 管理者に連絡して、DELETE FILESPACE、DELETE VOLUME、またはインベントリリーの満了プロセスが実行されているかどうかを調べてください。これらのプロセスは、TOC のロード操作または読み取り操作時にサーバー・ストレージのファイルを削除することがあります。

---

**ANR4834E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次のロードまたは読み取りに失敗しました。データ転送は割り込まれました。

説明: データ・ストレージとの間のデータ転送が外部のイベントによって中断されたため、サーバーは指定のノードおよびファイル・スペースに関する目次 (TOC) のロードまたは読み取りを終了します。

システムの処置: TOC の読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題を解決できる場合には、再度操作を試みてください。

---

**ANR4835E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の読み取りに失敗しました。データ保全性エラーが検出されました。

説明: サーバーは、サーバー上でデータ保全性エラーが検出されたため、指定のノードおよびファイル・スペースに関する目次 (TOC) の読み取りを終了します。

システムの処置: TOC の読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されたメッセージを調べて、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4836E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の読み取りに失敗しました。装置からの読み取り中にエラーが発生しました。

説明: サーバーは、装置からの読み取り時に入出力エラーを検出したため、指定のノードおよびファイル・スペースに関する目次 (TOC) の読み取りを終了します。

システムの処置: TOC の読み取りは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されたメッセージのうち、障害が発生している装置を明示している

メッセージを調べてください。ハードウェア障害を修正するには、HALT コマンドを使用してサーバーをシャットダウンすることが必要な場合があります。

---

**ANR4837I** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* について、目次のロードを開始しました。

説明: 指定のノードおよびファイル・スペースにある目次 (TOC) のロードが開始されました。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4838I** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* について、目次が正常にロードされました。ロードされた項目の合計は *number of entries* です。

説明: 指定のノードおよびファイル・スペースにある目次 (TOC) が正常にロードされました。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4839E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* について、目次のロードに失敗しました。前のメッセージを参照してください。

説明: 指定のノードおよびファイル・スペースにある目次 (TOC) のロードに失敗しました。

システムの処置: TOC のロードは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されたメッセージを調べて、問題の原因を突き止めてください。

---

**ANR4840I** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* について、目次のロードが取り消されました。

説明: 指定のノードおよびファイル・スペースにある目次 (TOC) のロードは、ユーザーによって取り消されました。

システムの処置: TOC のロードは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4841E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* について、目次のロードに失敗しました。無効なオブジェクト・タイプが検出されました。

説明: 指定のノードおよびファイル・スペースにある目次 (TOC) のロードが失敗しました。指定したオブジェクト・タイプは、サーバーのデータベースに登録されているオブジェクト・タイプと異なるためです。

システムの処置: TOC のロードは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 有効なオブジェクト・タイプを指定して、目次のロードを再試行してください。

---

**ANR4842E** ノード *node name* に関する目次のロードに失敗しました。ファイル・スペース名が見つかりませんでした。

説明: サーバーは、ロードの対象となる目次 (TOC) オブジェクトのファイル・スペースが見つからないため、指定のノードについて、TOC のロードを終了します。

システムの処置: TOC のロードは終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: TOC のロード操作中にファイル・スペースが削除された可能性があります。QUERY FILESPACE コマンドを実行して、ファイル・スペースが削除されたかどうかを確認してください。正しいファイル・スペース名が指定されていることを確認してください。QUERY FILESPACE を出すと、ファイル・スペースが存在するかどうかを確認できます。正しいファイル・スペース名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR4843I** Command: オブジェクト数 *number of objects* が表示されました。 *number of errors* 件のエラーが見つかりました。

説明: QUERY TOC が完了しました。オブジェクト数とエラー件数が表示されました。

システムの処置: QUERY TOC コマンドは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: エラー件数が 0 でない場合には、表示されたオブジェクト名を調べてください。エラー件数はオブジェクトの数を表し、オブジェクト名は「...」と表示されます。これは、ファイル名の UTF-8 からローカル・コード・ページへの変換が失敗するためです。その場合には、FORMAT=DETAILED を指定して QUERY TOC コマンドを出し直してください。FORMAT=DETAILED が指定されると、オブジェクト名は 16 進形式で表示されます。ファイルは無効文字を

含んでいる可能性があるので名前変更が必要な場合もあります。新規バックアップ・コピーは、ファイルが正しく表示されて後で保管できるように、名前変更する必要があります。

---

**ANR4844I** Command: ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に対する示された目次に項目が含まれていません。

説明: 示された目次 (TOC) は存在しますが、中身が空です。項目は表示されません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4845E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました: ディレクトリー・パスが長さとして *max characters* バイトを超えています。ファイル: *lowLevel name*、NDMP ノード ID: *node id hi .node id lo*、NDMP 親ノード ID: *Parent id hi, Parent id lo*。

説明: NAS ファイル・システムのバックアップ最中に、ディレクトリー・パスの長さが IBM Spectrum Protect でサポートされる最長を超えているという、NAS 装置からファイル・ヒストリー・レコードをサーバーが受信した。1024 バイトを超えた長さのディレクトリーを持つ、NAS ファイル・システムの TOC をサーバーは作成できません。BACKUP NODE コマンドの TOC パラメーターが PREFERRED の場合は、バックアップは継続します。TOC パラメーターが YES の場合バックアップは失敗します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: もしも TOC=YES が BACKUP NODE コマンドで指定されていたら、TOC=NO に変えてコマンドをやり直してください。

---

**ANR4846E** Operation プロセス *process ID* が終了しました - サーバーは以下のノードとファイル・スペースに対して目次を作成できません。ノード *node name*、ファイル・スペース *file space*。

説明: 表示の TOC 宛先プールに属する指定のノードやファイル・スペースに対して目次 (TOC) を作成しようとしたときに、障害が発生しました。

システムの処置: TOC 作成が YES に設定しているため操作は失敗します。

ユーザーの処置: 障害に関する具体的な理由を示しているメッセージを、直前に表示されたメッセージから探してください。適切な対策を講じてください。

---

**ANR4847W** *command* は、損傷ありとマークされた、**ID extent id** のエクステントを、コンテナ *cntrname* で検出しました。

説明: このエクステントは、損傷を受けているためコマンド処理中にスキップされます。

システムの処置: 操作はこのエクステントをスキップして処理を続行します。

ユーザーの処置: コンテナに対して **audit container** を実行します。

---

**ANR4848E** コンテナ *container name* は、*container state* 状態にあるため監査できません。

説明: 保留状態にあるコンテナは監査できません。以下のいずれかの状態を示すコンテナは監査することができます: 使用可能、使用不可、または読み取り専用。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 別の有効なコンテナ名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4849I** **AUDIT COPYCONTAINER** コマンド・プロセス *process id* が完了しました。  
*delete chunk count* 個の損傷チャンクが削除されました。

説明: ACTION=REMOVEDAMAGED パラメーターが指定された **AUDIT COPYCONTAINER** コマンドが、処理を完了しました。

以下の情報が表示されます。

- 削除された損傷チャンクの数。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4850W** サーバー *other server* 上の *stgpool name* からのサーバー *this server* 上の *stgpool name* のストレージ・プール修復プロセスは完了しました。一部のエクステントが修復されていない可能性があります。修復されたエクステント: *extents to repair* のうち *extents repaired*。失敗したエクステント: *extents failed*。スキップされたエクステント: *extents skipped*。修復された容

量: *amount to repair* のうち *amount repaired*。失敗した容量: *amount failed*。スキップされた容量: *amount skipped*。経過時間: *elapsed time*。

説明: ストレージ・プールの修復プロセスが完了しましたが、ボリュームが使用不可であったために、一部のエクステントがスキップされました。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 修復されたエクステント: 正常に修復されたエクステント数を示します。
- 失敗したエクステント: 修復に失敗したエクステント数を示します。
- スキップされたエクステント: スキップされたエクステント数を示します。
- 修復された容量: 正常に修復されたバイト数を示します。
- 失敗した容量: 修復に失敗したバイト数を示します。
- スキップされた容量: スキップされたバイト数を示します。
- 経過時間: プロセスが実行されていた時間を示します。

ユーザーの処置: すべてのデータ・エクステントを確実に修復するには、**REPAIR STGPOOL** コマンドを再発行します。

---

**ANR4851W** サーバー *other server* 上の *stgpool name* からのサーバー *this server* 上のストレージ・プール *stgpool name* 修復のプレビューは完了しました。一部のエクステントが、修復が必要なものとして識別されていない可能性があります。修復されるエクステント: *extents repaired*。修復される容量: *amount repaired*。

説明: プレビュー・モードでストレージ・プールの修復プロセスが完了しましたが、ボリュームが使用不可であったために、一部のエクステントがスキップされました。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 修復されるエクステント: 修復されるエクステントの数を示します。
- 修復される容量: 修復されるバイト数を示します。

---

**ANR4852W** *command* は、コンテナ *cntr name* 上に損傷を受けたエクステントを検出しました。

説明: コマンド処理中は、損傷を受けたエクステントはスキップされます。

システムの処置: 操作は損傷を受けたエクステントをスキップして処理を続行します。

ユーザーの処置: 損傷を受けたエクステントを分析するには、指定されたコンテナに対して QUERY DAMAGED コマンドを発行します。

---

**ANR4855I** コマンド *command subcommand* はサポートされていません。この機能に直接置き換わるものはありません。

説明: このコマンドが提供した機能は、不要になりました。

システムの処置: システムは操作を続行します。

ユーザーの処置: 製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で、製品の変更内容に関する情報を確認してください。

---

**ANR4856I** コマンド *command subcommand* はサポートされていません。次のコマンドが類似の機能を提供しています: *newcommand*。コマンドの詳細については、**IBM Knowledge Center** を参照し、置き換わるコマンドについては **HELP** コマンドを発行してください。

説明: 以前このコマンドが提供した機能は、現在 1 つ以上の新しいコマンドによって提供されています。

システムの処置: システムは操作を続行します。

ユーザーの処置: 製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で、製品の変更内容に関する情報を確認してください。

---

**ANR4857I** コマンド *command subcommand* はサポートされていません。次のオプションが類似の機能を提供しています: *newoptions*。オプションの詳細については、**IBM Knowledge Center** を参照し、置き換わるオプションについては **HELP** コマンドを発行してください。

説明: 以前このコマンドが提供した機能は、現在 1 つ以上の新しいオプションによって提供されています。

システムの処置: システムは操作を続行します。

ユーザーの処置: 製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で、製品の変更内容に関する情報を確認してください。

---

**ANR4858I** オプション *option name* はサポートされていません。この機能に直接置き換わるものはありません。

説明: 以前このオプションが提供した機能は、不要になりました。

システムの処置: システムは操作を続行します。

ユーザーの処置: 製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で、製品の変更内容に関する情報を確認してください。

---

**ANR4859I** コマンド *command name* のパラメーター *parameter name* はサポートされていません。

説明: このパラメーターが提供した機能は、不要になりました。

システムの処置: システムは操作を続行します。

ユーザーの処置: 製品資料 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で、製品の変更内容に関する情報を確認してください。

---

**ANR4860W** ドメイン *domain name* に関する **ARCHRETENTION** の正しい値は、管理下のサーバーには送信されません。管理下のサーバーを、最低でも構成マネージャーと同じレベルになるようにアップグレードしてください。

説明: 構成マネージャーには、管理下のサーバーが管理できる値より大きい **ARCHRETENTION** 値があります。この理由は、管理下のサーバーのレベルが構成マネージャーより低いからです。表示のドメインに関する **ARCHRETENTION** の値は、管理下のサーバーが処理できる最大値に設定されます。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: **ARCHRETENTION** の値を管理下のサーバーに正しく送信するには、管理下のサーバーを最低でも構成マネージャーと同じレベルにアップグレードしてください。

---

**ANR4861W** アーカイブ・コピー・グループ *domain name policy set name mgmt class name cg name* に関する **RETVER** の正しい値は、管理下のサーバーには送信されません。管理下のサーバーを、最低でも構成マネージャーと同じレベルにアップグレードしてください。

説明: 構成マネージャーには、管理下のサーバーが処理

できる値より大きい RETVER 値があります。この理由は、管理下のサーバーのレベルが構成マネージャーより低いからです。表示のコピー・グループに関する RETVER の値は、管理下のサーバーの NOLIMIT に設定されます。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: コピー・グループの RETVER の値を管理下のサーバーに正しく送信するには、管理下のサーバーを最低でも構成マネージャーと同じレベルにアップグレードしてください。

---

**ANR4862W** 管理下のサーバーのリリース・レベルが、構成マネージャーのリリース・レベルより低い場合、ドメイン *domain name* の **ACTIVEDESTINATION** パラメーターの値は、管理下のサーバー *server name* に送信されません。

説明: 構成マネージャーに、活動データ・ストレージ・プール名を含む **ACTIVEDESTINATION** パラメーターの値がありますが、管理下のサーバーでは管理できません。問題は、管理下のサーバーのリリース・レベルが構成マネージャーのリリース・レベルより低いことです。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 管理下のサーバーを、構成マネージャーのリリース・レベル以上にアップグレードしてください。

---

**ANR4863W** 構成マネージャーから受け取った、ドメイン *domain name* の **ACTIVEDESTINATION** パラメーターの値は、管理下のサーバーで使用されません。

説明: 受け取った **ACTIVEDESTINATION** パラメーターの値には活動データ・ストレージ・プール ID が含まれていますが、管理下のサーバーでは管理できません。問題は、構成マネージャーのリリース・レベルが管理下のサーバーのリリース・レベルより低いことです。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: 構成マネージャーを、管理下のサーバーのリリース・レベル以上にアップグレードしてください。

---

**ANR4864E** *module name* サポート・モジュールはロードされませんでした。

説明: 示されているサポート・モジュールはロードされませんでした。

システムの処置: サーバーはこのモジュールを必要とする機能を実行できません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーを再始動して、操作を再試行してください。サポート・モジュールがロードされない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4865W** サーバー名が変更されています。

「passwordaccess generate」を使用する **Windows** クライアントは、サーバーにより認証できない可能性があります。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーの名前が変更された後、Windows バックアップ・アーカイブ・クライアントで生成されたパスワードは使用不可能です。このパスワードは、「passwordaccess generate」を使用するバックアップ・アーカイブ・クライアントで生成されます。生成されたパスワードは、Windows レジストリに次のようにサーバー名を含むキーで保管されるため、生成されたパスワードは使用できません。

```
HKLM\SOFTWARE\IBM\ADSM\CurrentVersion\
BackupClient\Nodes\<NODENAME>
\<SERVERNAME>\Password
```

バックアップ/アーカイブ・クライアントが IBM Spectrum Protect サーバーで認証できない場合は、そのクライアントに対するスケジュール済み操作は実行されません。

システムの処置: パスワードが再設定されるまで、「passwordaccess generate」を使用する Windows バックアップ・アーカイブ・クライアントは、IBM Spectrum Protect サーバーにより認証できません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー名を元の名前に戻して変更するか、あるいはサーバーで **UPDATE NODE** コマンドを使用してパスワードを既知のパスワードに再設定してから、**dsm**、**dsmc**、または **dsmcutil** を使用して、「passwordaccess generate」を使用するすべての Windows バックアップ・アーカイブ・クライアントでパスワードを手動で設定します。

---

**ANR4866I** ノード *node name* は、活動データ・プール *active data pool name* を使用するよう構成されているドメインのメンバーではありません。

説明: クライアント・ノードがデータを書き込む先の 1 次ストレージ・プールは、活動データ・プールを使用できます。しかし、このクライアント・ノードは、活動データ・プールに書き込む許可を持つドメインのメンバーではありません。

システムの処置: ノードからのデータは、活動データ・プールに書き込まれません。

ユーザーの処置: クライアント・ノードのデータが活動データ・プールに書き込まなければならない場合は、このアクションの許可を持つドメインにクライアント・ノードを移動するか、活動データ・プール処理用に現行ドメインを更新してください。

---

**ANR4867I** ノード *node name (client platform)* のセッション *session number* が終了しました - セッションの再試行は失敗しました。

説明: サーバー上で以前のエラーが検出されたため、指定されたクライアント・セッションはサーバーによって終了されています。再試行しましたが、セッションを再開できませんでした。

システムの処置: セッションは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: セッションがストレージ・エージェントのプロキシ LAN フリー・セッションである場合、このエラーは、ストレージ・エージェント上でのマウント・ポイントまたはボリュームの優先使用の結果である可能性があります。ストレージ・エージェントがログに記録したメッセージを確認して、ストレージ・エージェントのアクションがこのエラーの原因であるかどうかを判別してください。このセッションによってログに記録されたメッセージを確認して、他の原因を判別してください。

---

**ANR4868I** ノード *node name* のデータベース・バックアップ・セッション *session number* の取り消しは許可されていません。

説明: サーバーは、CANCEL SESSION コマンドに指定されたセッションを取り消すことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: データベース・バックアップ・セッションは、CANCEL SESSION コマンドで取り消すことはできません。データベース・バックアップ操作を終了するには、CANCEL PROCESS コマンドを発行します。

---

**ANR4869I** サーバー *server name* は PING SERVER コマンドによる認証に必要なレベルではないため、このサーバーのサーバー資格情報を認証できません。

説明: パスワード認証が行われるようにするには、サーバーが現行レベルでなければなりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。PING SERVER コマンドでサーバー資格情報を確実に検証でき

るようにするには、リモートの V6.3 サーバーを V6.3.5 以降にアップグレードするか、またはリモートの V7.1 サーバーを V7.1.1 以降にアップグレードしてください。以前のレベルのリモート・サーバーは、資格情報の検証を行わずに PING SERVER コマンドを受け入れません。

---

**ANR4870W** Audit command: コピー・グループ *copy group name* の目次 (TOC) の宛先として、管理クラス *management class name*、ポリシー・セット *set name*、ドメイン *domain name* に指定されたストレージ・プール *storage pool name* が存在しません。

説明: データベース監査処理では、指定のコピー・グループにおける目次 (TOC) の宛先として指定されたストレージ・プールが、サーバー・データベースに定義されていないことを検出しました。このコピー・グループが活動ポリシー・セットで使用されている場合、宛先に TOC 項目を書き込もうとすると、TOC 作成操作を伴う NDMP バックアップは失敗する場合があります。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、DEFINE STGPOOL コマンドを使用して欠落しているストレージ・プールを定義するか、UPDATE COPYGROUP コマンドを使用して既存のストレージ・プールを参照するようにコピー・グループを更新してください。

---

**ANR4871I** コロケーション・グループ *collocation group name* が定義されました。

説明: DEFINE COLLOCGROUP コマンドが、指示されたコロケーション・グループを作成しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4872E** Command: 無効なコロケーション・グループ名 - *collocation group name*。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたコロケーション・グループ名 *collocation group name* に有効な文字が含まれていないか、含まれている文字数が多すぎるため失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: 有効な名前の要件に適合したコロケー

ション・グループ名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4873E** Command: コロケーション・グループの説明が最大長の *length limit* 文字数を超過しました。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたコロケーション・グループの説明が、許容文字数 *length limit* よりも長いこと失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: コロケーション・グループの説明を短く指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4874I** コロケーション・グループ *collocation group name* が更新されました。

説明: UPDATE COLLOCGROUP コマンドに対する応答として、コロケーション・グループ *collocation group name* がサーバー・データベースで更新されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4875I** コロケーション・グループ *collocation group name* が削除されました。

説明: DELETE COLLOCGROUP コマンドに対する応答として、コロケーション・グループ *collocation group name* がサーバー・データベースから削除されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4876W** Command: ノード *node name* が登録されていないので、処理できません。

説明: 示されているノードでこのコマンドを処理することはできません。ノードは登録されていません。他のノードは、コマンドによって指定されている場合に処理可能です。

システムの処置: 指示されているノードは処理されませんが、他のノードは、このコマンドで指定されている場合処理可能です。

ユーザーの処置: ノード名が正しく入力されていない場合は、正しいノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4877E** Command: コロケーション・グループ *collocation group name* が定義されていません。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたコロケーション・グループ名 *collocation group name* が、サーバー・データベース内に定義されているコロケーション・グループを参照していないため失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が継続されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: サーバー・データベースに定義されているコロケーション・グループ名を指定して、コマンドを再発行してください。サーバー・データベース内に定義されているコロケーション・グループ名のリストについては、QUERY COLLOCGROUP コマンドを発行してください。

---

**ANR4878I** Command: コロケーション・グループ *collocation group name* 内に *number of nodes* メンバーが定義されています。

説明: DEFINE COLLOCMEMBER コマンドが、指示されているコロケーション・グループ内に指定された数のメンバーを作成しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4879I** Command: コロケーション・グループ *collocation group name* から *number of nodes* メンバーが削除されました。

説明: DELETE COLLOCMEMBER コマンドが、指示されているコロケーション・グループから指定された数のメンバーを削除しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4880I** ノード *node name* とコロケーション・グループ *collocation group name* との関連が解除されました。

説明: このメッセージは DELETE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* は、コロケーション・グループ名 *collocation group name* に既に関連付けられていません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。



---

**ANR4881E** *Command:* コロケーション・グループ *collocation group name* は定義済みです。

説明: コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたコロケーション・グループ名 *collocation group name* がサーバー・データベースに定義済みのコロケーション・グループを参照しているため失敗しました。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: サーバー・データベースに定義されていないコロケーション・グループ名を指定して、コマンドを再発行してください。サーバー・データベース内に定義されているコロケーション・グループ名のリストについては、QUERY COLLOCGROUP コマンドを発行してください。

---

**ANR4882E** *Command:* コロケーション・グループ *collocation group name* はまだ少なくともノードを 1 つ含んでいます。

説明: 削除コマンド *command* のサーバー処理は、指定されたコロケーション・グループ *collocation group name* が、まだノードを少なくとも 1 つ含んでいるコロケーション・グループを参照しているため失敗しました。1 つ以上のクライアント・ノードがまだ割り当てられているコロケーション・グループは、削除することができません。

システムの処置: コマンドのデータベース変更がロールバックされ、サーバーの操作が続行されます。このコマンドは、サーバー・データベースを変更していません。

ユーザーの処置: コロケーション・グループから残りのノードを除去するには、DELETE COLLOCMEMBER コマンドを発行してください。すべてのノードが除去された後で、削除コマンドを再発行してください。

---

**ANR4883I** ノード *node name* はコロケーション・グループ *collocation group name* と関連付けられています。

説明: このメッセージは DEFINE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* は、コロケーション・グループ名 *collocation group name* に関連付けられています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4884W** ノード *node name* はコロケーション・グループ *collocation group name* と既に関連付けられています。

説明: このメッセージは DEFINE COLLOCMEMBER コマンドへの応答で表示されます。ノード *node name* は、コロケーション・グループ名 *collocation group name* に既に関連付けられています。指示されたノードは処理されません。他のノードは、コマンドによって指定されている場合に処理可能です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく入力されていない場合は、正しいノード名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4885E** *Command:* ノード名またはコロケーション・グループ名のいずれか一方を指定する必要があります。

説明: 指示されたコマンドは、ノード名とコロケーション・グループ名が両方とも指定されていないか、または両方とも指定されているために失敗しました。

システムの処置: 指示されたコマンドは失敗します。サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ノード名またはコロケーション・グループ名のいずれか一方を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4886I** コンテナ *container name* の Audit *command* (スキャン) プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 示されているコンテナにスキャン・アクションを指定している AUDIT CONTAINER コマンドの結果として、その ID が表示されているプロセスは、コンテナの監査を開始しました。

システムの処置: このコンテナが監査され、整合性のないデータが損傷ありとしてマークされています。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4887I** コンテナ *container name* の Audit *command* (損傷削除) プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 示されたコンテナに対する削除アクションを指定した AUDIT CONTAINER コマンドの結果として、表示された ID のプロセスが、コンテナ内の損傷データ・エクステンツに従属しているデータ・ファイルの削除を開始しました。

システムの処置: コンテナ内の損傷データ・エクステ

ントに関連付けられたデータ・ファイルが削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4888I** ストレージ・プール・ディレクトリー *stgpool* *name* に対して *Audit command* (損傷削除) プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 示されたストレージ・プール・ディレクトリーに対する削除アクションを指定した AUDIT

CONTAINER コマンドの結果として、表示された ID のプロセスが、ストレージ・プール・ディレクトリー上の損傷データ・エクステントに付属しているデータ・ファイルの削除を開始しました。

システムの処置: ストレージ・プール・ディレクトリー上の損傷データ・エクステントに関連付けられたデータ・ファイルが削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4889I** ストレージ・プール *stgpool name* に対して *Audit command* (損傷削除) プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 示されたストレージ・プールに対する削除アクションを指定した AUDIT CONTAINER コマンドの結果として、表示された ID のプロセスが、ストレージ・プール内の損傷データ・エクステントに付属しているデータ・ファイルの削除を開始しました。

システムの処置: ストレージ・プール内の損傷データ・エクステントに関連付けられたデータ・ファイルが削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4890W** 削除するためのコンテナ監査プロセスは終了しました - プロセス *process ID* が取り消されました。

説明: 示されているコンテナの AUDIT CONTAINER コマンドの処理中に、監査を実行中のプロセスが取り消されました。

システムの処置: AUDIT CONTAINER コマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4891I** *container\_name* コンテナに対する *Audit command* プロセス *process\_id* が終了しました。 *inspected\_extents* 個のデータ・エクステントが検査され、 *damaged\_extents* 個のデータ・エクステントが損傷ありとしてマークされ、以前に損傷ありとしてマークされた *undamaged\_extents* 個のデータ・エクステントが損傷なしにリセットされ、 *orphaned\_extents* 個のデータ・エクステントがオーファンとしてマークされました。

説明: コンテナの監査によって、以下の情報が生成されました。

- 監査されたデータ・エクステントの数
- 損傷を受けたデータ・エクステントの数
- 以前に損傷ありとマークされた、損傷なしのデータ・エクステントの数。
- クラウド・コンテナの場合、クラウド・サービス・プロバイダーに存在していたが、サーバー・データベースには存在していなかったデータ・エクステント (監査ではこれらのエクステントをオーファンとマーク) の数。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ディレクトリー・コンテナの場合、PROTECT STGPOOL コマンドを使用して、ストレージ・プール・データをターゲット・ストレージ・プール・サーバーにバックアップした場合、REPAIR STGPOOL コマンドを使用して、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プール内の損傷を受けたエクステントを修復することができます。PROTECT STGPOOL コマンドを使用してストレージ・プール・データをバックアップしなかった場合、ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プール内の損傷を受けたエクステントを修復できません

ディレクトリー・コンテナまたはクラウド・コンテナ内の損傷を受けたエクステントを削除して、クラウド・コンテナからオーファン・エクステントを削除するには、AUDIT CONTAINER コマンドを発行して、ACTION=REMOVEDAMAGED パラメーターを指定します。

---

**ANR4892E** *Command:* ストレージ・プール・ディレクトリー *directory* は、ストレージ・プール *stgpool* で定義されていません。

説明: 発行されたコマンドで、存在しないストレージ・プール・ディレクトリーが指定されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・プール・ディレクトリーを指定して、コマンドを再発行してください。  
MACRO コマンドを使用してストレージ・プール・ディレクトリーの定義および更新を行う場合、UPDATE STGPOOLDDIRECTORY コマンドを発行する前に、必ず DEFINE STGPOOLDDIRECTORY コマンドをコミットする必要があります。

---

**ANR4894I** コンテナ *container name* に対してコンテナの監査 (損傷のマーク) プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: 示されているコンテナにスキャン・アクションを指定している AUDIT CONTAINER コマンドの結果として、その ID が表示されているプロセスは、コンテナの監査を開始しました。

システムの処置: このコンテナが監査され、整合性のないデータが損傷ありとしてマークされています。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4895E** ボリューム *volname* 上の、重複排除されたビット・ファイル *bitfile id* に無効なリンクがあります。

説明: 重複排除されたビット・ファイルの読み取り中に、サーバーが無効な重複排除情報を検出しました。

システムの処置: 操作がサーバーのデータ移動である場合、整合性のないビット・ファイルは無効とマークされてスキップされますが、操作は続行します。ただし、操作がクライアント・リストアまたはリトリブである場合、ビット・ファイルには損傷ありとマークされます。

ユーザーの処置: ボリュームが 1 次ストレージ・プールにある場合は、RESTORE VOLUME コマンドを実行して無効なビット・ファイルを修正します。ボリュームがコピー・ストレージ・プールにある場合は、DELETE VOLUME DISCARDDATA=YES コマンドを実行してボリュームを削除してから、1 次ストレージ・プールを再度バックアップします。

どのファイルが損傷ありとマークされた可能性があるか確認するには、QUERY CONTENT DAMAGED=YES コマンドを使用してください。

---

**ANR4896I** インベントリー・クライアント・ファイルの満了によって、*startdate* からのプロセス *process num* を再開しています。

説明: サーバーは、以前に取り消された満了処理の再開処理中です。

システムの処置: サーバーは適切なオブジェクトの満了を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4897I** 操作 *operation ID* のデータベース・リストアは、装置クラス *device class name* を使用して、*number of streams* のストリームの使用を試行します。

説明: 操作 ID に対するサーバーのデータベース・リストア・プロセスは、示されている装置クラスおよび示されている数のストリームに対して実行されます。

システムの処置: サーバーは、データベースのリストア操作を実行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4898W** これは、プレリリース *server\_version IBM Spectrum Protect* サーバー (ドライバー *driver\_number*、ビルド *build\_id*) です。これは、商業用にも実動用にもサポートされていません。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーはプレリリース・プログラムを実行しています。このプログラムは、新規機能のテストまたは評価のために使用することはできますが、営利目的で使用したり、実動状態にしたりすることはできません。

システムの処置: アクションはとられません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーが新規機能の評価するために使用されている場合、アクションは不要です。サーバーを、実稼働環境で、あるいは営利目的で使用する場合は、IBM 営業担当員または許可されたビジネス・パートナーに連絡して、完全にサポートされているリリース済みバージョンを入手してください。

---

**ANR4899E** このデータベース・サーバーは、プレリリース *server\_version IBM Spectrum Protect* サーバー (ドライバー *driver\_number*、ビルド *build\_id*) です。このサーバーは、商業用にも実動用にもサポートされていません。

説明: このサーバー・データベースは、IBM Spectrum Protect サーバーの、サポートされていないプレリリース・バージョンを使用して作成されました。このサーバーは、新規機能のテストまたは評価のために使用することはできますが、営利目的で使用したり、実動状態にしたりすることはできません。

システムの処置: アクションはとられません。

ユーザーの処置: サーバーが新規機能を評価するために使用されている場合、アクションは不要です。サーバーを実稼働環境で、あるいは営利目的で使用する場合は、データベースを除去してください。完全にサポートされているリリース済みバージョンを使用して、新しいデータベースを作成してください。

---

**ANR4900W EMC Centera Software Development Kit (SDK)** ライブラリーがロードに失敗したか、欠けています。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーが、定義された CENTERA 装置クラスを使用して装置を操作できるようにするには、このライブラリーが必要です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: システムに EMC Centera SDK がインストールされており、すべてのライブラリーと関連付けられたリンクに読み取り権限があることを確認してください。

---

**ANR4901E** このサーバー・データベースは、プレリリース *server\_version* **IBM Spectrum Protect** サーバー (ドライバー *driver\_number*、ビルド *build\_id*) を使用しています。このサーバーは、商業用にも実動用にもサポートされていません。

説明: このデータベースは、サポートされていないプレリリース・バージョンの IBM Spectrum Protect を使用しています。このサーバーは、新規機能のテストまたは評価のために使用することはできますが、営利目的で利用したり、実動状態にしたりすることはできません。

システムの処置: アクションはとられません。

ユーザーの処置: サーバーが新規機能を評価するために使用されている場合、アクションは不要です。サーバーを実稼働環境で、あるいは営利目的で使用する場合は、データベースを除去してください。完全にサポートされているリリース済みバージョンを使用して、新しいデータベースを作成してください。

---

**ANR4902I** 損傷ファイルの複製リカバリー属性は *value* に設定されます。

説明: 損傷ファイルの複製リカバリーを制御するための設定が、SET REPLRECOVERDAMAGED コマンドによって、示されている値 (ON または OFF) に設定されました。

システムの処置: 損傷ファイルが存在する場合に、この属性を ON に設定すると、サーバーは損傷ファイルのインベントリーを評価します。サーバーのインベントリーに損傷ファイルが存在しない場合に、この属性を ON

に設定すると、損傷ファイルの評価は行われずに、属性が繰り返し ON に設定されます。OFF に設定すると、サーバー属性は直ちに OFF に切り替わります。

ユーザーの処置: 損傷ファイルが存在する場合に、この属性を ON に設定した場合は、SET REPLRECOVERDAMAGED のプロセスの記述を活動記録ログで照会してください。プロセスが正常に完了した場合、REPLRECOVERDAMAGED 設定は ON に設定されます。プロセスが取り消されたり、正常に完了しなかった場合、属性は変更されないままになります。

---

**ANR4903I** ノード *node list* の損傷ファイルの複製リカバリーが、ターゲット複製サーバー *recovery server* でプロセス *ProcId* によって開始されました。

説明: ターゲット複製サーバーで、複製リカバリー・プロセスが開始されました。

システムの処置: ターゲット複製サーバーで、複製リカバリー・プロセスが開始されました。

ユーザーの処置: ターゲット複製サーバーでの複製リカバリー・プロセスの結果を確認してください。

---

**ANR4904E** *command*: 損傷ファイルの複製リカバリーが無効になっています。

説明: このサーバーから開始される複製リカバリー操作が無効になっています。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: SET REPLRECOVERDAMAGED ON コマンドを使用して、損傷ファイルの複製リカバリーの使用を有効にしてください。

---

**ANR4905E** *command*: 損傷ファイルの複製リカバリーが、ターゲット・サーバーでサポートされていません。

説明: ターゲット複製サーバーが下位レベルであるため、このサーバーから開始される複製リカバリー操作は許可されません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ターゲット複製サーバーを、損傷ファイルの複製リカバリーをサポートするレベルにアップグレードしてください。

---

**ANR4906E** *Command: "parameter"* パラメーターはディレクトリー・コンテナー・ストレージ・プールには無効です。

説明: 示されているコマンドは、ディレクトリー・コン

テナー・ストレージ・プールに無効なパラメーターを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ディレクトリー・コンテナ・ストレージ・プールに適したパラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4907W MAXRUNTIME** パラメーターは、スケジュールされたコマンド *command* を取り消しません。

説明: コマンドを開始した管理スケジュールには、最大実行時間があります。最大実行時間は、DEFINE SCHEDULE コマンドまたは UPDATE SCHEDULE コマンドの MAXRUNTIME パラメーターによって定義されます。MAXRUNTIME 値を使用して、指定されているスケジュール済みコマンドを取り消すことはできません。最大実行時間に達しても、MAXRUNTIME 値は無視され、スケジュールされたコマンドが自動的に取り消されることはありません。

システムの処置: サーバー操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4908E** 損傷ファイルの複製リカバリーは、ターゲット複製サーバーで複製リカバリー・プロセスを開始できません。理由は *rc* です。

説明: ターゲット複製サーバーで、複製リカバリー・プロセスが開始されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 通信エラーについて、活動記録ログを調べてください。

---

**ANR4909I** 損傷ファイルの複製リカバリーの対象ファイルが見つかりません。

説明: REPLICATE NODE コマンドで指定されたノードに損傷ファイルが見つからなかったため、複製リカバリー・プロセスはターゲット複製サーバーで開始されませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4910I** ノード *node list* の複製リカバリー・レビューが完了しました。リカバリーが必要なノード: *nodes to recover*。リカバリーが必要なファイル・スペース: *filespace to recover*。リカバリーが必要なファイル: *files to recover*。リカバリーが必要なバイ

ト数: *bytes to recover*。推定実行時間: *estimated runtime*。

説明: ターゲット複製サーバーからリカバリーできる損傷データについての情報が示されます。

- 「リカバリーが必要なノード」は、損傷ファイルのリカバリーが必要なノードの数を示します。
- 「リカバリーが必要なファイル・スペース」は、損傷ファイルのリカバリーが必要なファイル・スペースの数を示します。
- 「リカバリーが必要なファイル」は、リカバリーが必要な損傷ファイルの数を示します。
- 「リカバリーが必要なバイト数」は、リカバリーが必要な損傷バイト数を示します。
- 推定実行時間は、リカバリー・プロセスの実行にかかる時間の見積もりです。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、ターゲット複製サーバーから損傷ファイルをリカバリーするには、REPLICATE NODE コマンドを再実行する必要があります。ノードを複製して損傷ファイルをリカバリーするには、RECOVERDAMAGED=YES を指定します。損傷ファイルをリカバリーするためだけにコマンドを実行するには、RECOVERDAMAGED=ONLY を指定します。

---

**ANR4911E** ファイル名が長すぎます。サーバーは、ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name*、ファイル名 *file name*、ノード ID *node id*、親ノード ID *parent node id* の目次を作成できません。目次の作成は失敗します。

説明: ファイル名は 512 バイト以下でなければなりません。サイズが 512 バイトより大きい場合、IBM Spectrum Protect サーバーは、ネットワーク・アプライアンス・ファイル・サーバーの目次 (TOC) を作成できません。

システムの処置: TOC の作成は失敗します。

ユーザーの処置: より短い名前にファイル名を変更してください。ファイルまたはディレクトリーの配置および修正を含む、ファイル名またはノード ID の詳細については、ネットワーク・アプライアンスの資料を参照してください。

問題を訂正した後で、操作を再試行してください。

---

**ANR4912I** データベース *restore type byte count*.

説明: データベースのリストアが進行中です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4913E** *Command: "parameter"* パラメーターはクラウド・コンテナ・ストレージ・プールには無効です。

説明: 示されているコマンドは、クラウド・コンテナ・ストレージ・プールに無効なパラメーターを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: クラウド・コンテナ・ストレージ・プールに適したパラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4914E** *Command: "parameter"* パラメーターはクラウド・コンテナ・ストレージ・プールには無効です。

説明: 示されているコマンドは、クラウド・コンテナ・ストレージ・プールに無効なパラメーターを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: クラウド・コンテナ・ストレージ・プールに適したパラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4915I** *Audit command* プロセスが開始されました (プロセス ID *process ID*)。

説明: AUDIT CONTAINER コマンドの結果として、その ID が示されているプロセスが、コンテナの監査を開始しました。

システムの処置: コンテナの監査プロセスが開始されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4916I** 日付 *date time* への特定時点データベース・リストア・スナップショットを開始中。

説明: TODATE パラメーターおよびソース・スナップショットを指定した特定時点のデータベース・リストアが開始されました。このリストアが完了すると、データベースはこのバックアップの時点までコミットされます。

システムの処置: ありません。

---

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4917I** スナップショットを伴う特定時点データベース・リストアが完了しました。リストア日付 *date time*。

説明: TODATE パラメーターを指定した特定時点のデータベース・リストアが完了しました。このデータベースはこのバックアップの時点までコミットされ、これは指定された TODATE とは異なる場合があります。その場合には、追加のメッセージが表示されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4918W** ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name (filespace id)* は、バックアップ・アーカイブ・クライアントによって作成されたのではなく、バックアップ・セットからはリストアできないので、バックアップ・セット *backupset name (data type data type)* には含まれません。

説明: ファイル・スペースはバックアップ・アーカイブ・クライアントによって作成されたのではなく、バックアップ・セットからはリストアできないので、ファイル・スペースからのデータはバックアップ・セットには含まれません。

システムの処置: ファイル・スペースはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4919W** ノード *node name* のファイル・スペース *filespace name (filespace id)* は、サポートされるアプリケーション・タイプでないため、バックアップ・セット *backupset name (data type data type)* には含まれません。

説明: ファイル・スペースはサポートされているアプリケーション・タイプには属していないので、ファイル・スペースからのデータはバックアップ・セットに含まれません。

システムの処置: ファイル・スペースはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR4920E** *Command:* 管理者 *administrator name* は、ストレージ・プール *pool name* に対してこのコマンドを発行する権限を持っていません。

説明: 指定された管理者が指示されたコマンドを入力しましたが、この管理者は、指示されたプールに対してそのコマンドを実行する上で必要な正当な権限を持っていません。指示されたプールは、マイグレーションまたはレクラメーション処理されているストレージ・プールであるか、ファイルがマイグレーションまたはレクラメーション処理される先のストレージ・プールである可能性があります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しく許可された管理者 ID からこのコマンドを出すか、あるいはシステム管理者に連絡して現在の管理者 ID に追加の権限を認可するように依頼してください。

---

**ANR4921E** *Command:* 1 次ストレージ・プール *pool name* には、ターゲット・プールがありません。

説明: 指定された 1 次ストレージ・プールには、指定された操作のターゲット・ストレージ・プールが存在しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドで指定されたプールに対してターゲット・ストレージ・プールを定義してから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4922E** *Command:* マイグレーションがストレージ・プール *pool name* に対して現在実行中です。

説明: マイグレーション操作は、指定されたストレージ・プールに対して既に実行されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: マイグレーションが実行されていないときにコマンドを再発行してください。

---

**ANR4923E** *Command:* レクラメーションがストレージ・プール *pool name* に対して現在実行中です。

説明: レクラメーション操作は、指定されたストレージ・プールに対して既に実行されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: レクラメーションが実行されていないときにコマンドを再発行してください。

---

**ANR4924I** *Command:* マイグレーションは、ストレージ・プール *pool name* にとって必要ではありません。

説明: 指定されたストレージ・プールの現在のパーセントの使用率がマイグレーションの低しきい値を下回るか、データを含むボリュームの数がマイグレーションの低しきい値に達していないかのいずれかです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: プールにとってマイグレーションが必要なときにコマンドを再発行してください。

---

**ANR4925W** ストレージ・プール *storage pool name* に対するマイグレーション・プロセス *process ID* が強制終了されました - 所要時間の超過。

説明: 指示されたストレージ・プールに対するマイグレーションの実行中、マイグレーション所要時間が経過したため、マイグレーション実行プロセスが強制終了されました。

システムの処置: マイグレーション・プロセスが終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4926W** ボリューム *volume name* に対するマイグレーションが強制終了されました - 所要時間の経過。

説明: 指示されたボリュームに対するマイグレーションの実行中、マイグレーションの所要時間が経過しました。

システムの処置: ボリューム・マイグレーションが強制終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4927W** ボリューム *volume name* に対するレクラメーションが強制終了されました - 所要時間の経過。

説明: 指示されたボリュームに対するレクラメーションの実行中、レクラメーションの所要時間が経過しました。

システムの処置: ボリューム・レクラメーションが強制終了されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4929E** Command: ストレージ・プール *pool name* は順次アクセス・プールではありません。

説明: 指定されたストレージ・プールは、指定された操作向きの順次アクセス・ストレージ・メディアではありません。指定された操作は、順次アクセス・ストレージ・メディアのみに適用されます。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 順次アクセス・ストレージ・メディアに対してコマンドを再発行してください。

---

**ANR4930I** レクラメーション処理 *process ID* が 1 次ストレージ・プール *storage pool name* automatically or manually、**threshold=threshold value**、**duration=duration** に対して開始されました。

説明: 表示されているストレージ・プールのレクラメーションの高しきい値を超えたので、ストレージ・プールからファイルをレクラメーションするプロセスが開始されました。注: Duration 値の None は、所要時間が指定されていない、すなわち、レクラメーションが所要時間なしに実行されることを意味します。

システムの処置: データは、このストレージ・プールから同じプールまたはレクラメーション処理ストレージ・プールに移動されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4931I** レクラメーション処理 *process ID* が、コピー・ストレージ・プール *storage pool name* automatically or manually、**threshold=threshold value**、**offsiteRclmLimit=limit value**、**duration=duration** に対して開始されました。

説明: 表示されているストレージ・プールのレクラメーションの高しきい値を超えたので、ストレージ・プールからファイルをレクラメーションするプロセスが開始されました。注: Duration 値の None は、所要時間が指定されていない、すなわち、レクラメーションが所要時間なしに実行されることを意味します。

システムの処置: データは、このストレージ・プールから同じプールまたはレクラメーション処理ストレージ・プールに移動されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4932I** ストレージ・プール *storage pool name* に対するレクラメーション処理 *process ID* が終了しました。

説明: 指名されたストレージ・プールに対するレクラメーション処理が終了しました。このアクションは、ストレージ・プールのしきい値に達したか、または所要時間が経過したために行われる場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4933I** オフサイト・ボリューム *volume name* のスペース・レクラメーションが終了しました。

説明: 指名されたオフサイト・ボリュームのスペース・レクラメーションは完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4934I** オフサイト・レクラメーションがストレージ・プール *pool name*、プロセス数 *number of processes*、レクラメーションされたボリューム数 *number of volume reclaimed*、経過時間 *seconds* 秒に対して終了しました。

説明: オフサイト・レクラメーションが正常に終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4935I** *primary pool name* 1 次ストレージ・プールのマイグレーションが完了しました。マイグレーションされたファイル数: *number of migrated files* マイグレーションされたバイト数: *number of migrated bytes* マイグレーションされた重複排除バイト数: *number of migrated dedup bytes* 読み取れないファイル数: *number of unreadable files*

説明: 指定されたストレージ・プールのマイグレーション処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 以前の各メッセージを調べて、すべてのマイグレーション・プロセスが正常に終了していることを確認してください。

---



**ANR4936I** *pool name* ストレージ・プールのレクラメーションが完了しました。レクラメーション処理されたファイル数: *number of reclaimed files* レクラメーション処理されたバイト数: *number of reclaimed bytes* レクラメーション処理された重複排除バイト数: *number of reclaimed dedup bytes* 再構成されたファイル数: *number of reconstructed files* 読み取れないファイル数: *number of unreadable files*

説明: 指定されたストレージ・プールのレクラメーション処理が、表示された結果で終了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 以前の各メッセージを調べて、すべてのレクラメーション処理が正常に終了していることを確認してください。

**ANR4937E** *Command:* レクラメーションは実行されません - **DELETE FILESPACE** が現在実行中です。

説明: ファイル・スペースの削除操作が実行中です。リソース競合を避けるため、ファイル・スペースの削除の実行中は、レクラメーションは実行されません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ファイル・スペースの削除が実行されていないときにコマンドを再発行してください。

**ANR4938E** *Command:* 管理者 *administrator name* は、ターゲット・ストレージ・プール *pool name* に対してこのコマンドを発行する権限を持っていません。

説明: 指定された管理者が指示されたコマンドを入力しましたが、この管理者は、指示されたプールに対してそのコマンドを実行する上で必要な正当な権限を持っていません。指示されたプールは、ファイルがマイグレーションされるか、レクラメーション処理される先のプールです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しく許可された管理者 ID からこのコマンドを出すか、あるいはシステム管理者に連絡して現在の管理者 ID に追加の権限を認可するように依頼してください。

**ANR4939E** *Command: "option"* オプションはディスク・ストレージ・プールには無効です。

説明: 示されているコマンドが、ディスク・ストレージ・プールには有効でないオプションを指定しています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ディスク・ストレージ・プールに適したオプションを指定してコマンドを再発行してください。

**ANR4940E** コンテナ *container name* は別の操作によってロックされており、変更することができません。

説明: 指定されたコンテナの変更を試行中に、IBM Spectrum Protect は、コンテナの変更に必要なロックを取得できませんでした。

システムの処置: 操作は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 競合プロセスおよびセッションが減るのをまってから、コマンドを再発行してください。

**ANR4941E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name*、ユニコード名 *unicode name*、ノード ID *node id*、親ノード ID *parent node id* の目次を作成中に、サーバーがユニコード名を変換できません。目次の作成は失敗します。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは、Network Appliance ファイル・サーバーの目次 (TOC) の作成中に、ファイル・ヒストリー・メッセージのユニコード名を UCS-2 から UTF-8 に変換しようとして失敗しました。

システムの処置: TOC の作成は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect を実行しているシステムで、UCS-2 と UTF-8 との変換に必要なサポート・プログラムが正常にインストールされ、構成されていることを確認してください。

報告されたユニコード名が有効であることを確認してください。ユニコード名はリトル・エンディアン UCS-2 でエンコードされ、16 進表記で報告されることに注意してください。ユニコード名が無効である場合、通常、Network Appliance ファイル・サーバー上の対応するファイルまたはディレクトリーを削除または名前変更することにより、問題は解決されます。ノード ID と親ノード ID は、Network Appliance NDMP サーバーによって提供されます。これらの値は NDMP サーバー・インプリメンテーションに依存しますが、通常

はファイルまたはディレクトリーの i ノード番号です。ユニコード名またはノード ID、およびそれらを使用して無効なファイルまたはディレクトリーを検出および訂正する方法については、Network Appliance のサポートに問い合わせてください。

可能な場合には、ファイル名およびディレクトリー名を常に UTF-8 としてエンコードするように Network Appliance ファイル・サーバーを構成してください。

問題を訂正した後で、操作を再試行してください。

---

**ANR4942E** *Command:* ボリューム *volume name* は定義されていません。ファイル名が存在しないか、スペースがありません。

説明: 示されたボリューム名に対して `define volume` コマンドが発行されました。FORMATSIZE パラメーターなしでボリューム名が指定されましたが、ボリュームが存在しないか、または存在するがファイルのサイズが 0 であることが検出されました。

システムの処置: ボリューム定義は失敗します。

ユーザーの処置: FORMATSIZE パラメーターを使用して、サーバーで新規ボリューム用にスペースを事前割り振ります。

---

**ANR4943E** *Command:* ボリュームを **RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK** ストレージ・プールから削除することができません。

説明: RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールからのボリュームの削除は許可されていません。空ボリュームの削除はレクラメーション処理中に自動的に実行されます。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 空ボリュームの削除がレクラメーション処理中に自動的に実行されるようにします。

---

**ANR4944E** *Command:* ボリュームを **RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK** ストレージ・プールで定義することができません。

説明: RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールのボリュームの定義は許可されていません。ストレージ・プール・スペースをこれらのストレージ・プールに使用できるようにするには、`DEFINE` コマンドおよび `UPDATE STGPOOL` コマンドの MAXSCRATCH パラメーターを使用します。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ストレージ・プール内でスペースを作

成するには、`DEFINE` コマンドおよび `UPDATE STGPOOL` コマンドの MAXSCRATCH パラメーターを使用します。

---

**ANR4945E** *Command:* ボリューム *volume name* の作成エラー: **FORMATSIZE** が最大許容サイズを超えていました。

説明: ボリュームの定義時に、サーバーは、ボリュームのフォーマット・サイズが最大許容サイズを超えているかどうかを検出します。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: FORMATSIZE パラメーターの値を 8388607 MB 以下にして、`DEFINE VOLUME` コマンドを再度実行してください。

---

**ANR4946W** ノード *node name*、ファイル・システム *file system name* の **NDMP** ファイル・ヒストリー・メッセージの文字エンコード方式が不明です。IBM Spectrum Protect サーバーは、**UTF-8** エンコード方式を使用して目次を作成します。

説明: 指定のノードおよびファイル・システムに関する目次 (TOC) を伴うバックアップを初期化しているときに、IBM Spectrum Protect サーバーは、NAS ファイル・サーバーからのファイル・ヒストリー情報の文字エンコード方式が不明であると判定しました。IBM Spectrum Protect サーバーでは、TOC を作成するために、ファイル・ヒストリー情報が UTF-8 としてエンコードされることを前提にしています。

文字エンコード方式が UTF-8 ではなく、かつ英語以外の文字が存在する場合、名前は正常に表示されません。多くの場合は文字化けとなり、リカバリーが困難となります。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ファイル・ヒストリー情報のエンコード方式が UTF-8 であることを確認してください。Network Appliance の NAS ファイル・サーバーの場合は、指定のノードとファイル・スペースに関するボリューム言語が UTF-8 または UTF-8 のサブセット (7 ビットの ASCII など) であることを確認してください。

---

**ANR4947E** コンテナ *container name* は別の操作によってロックされており、移動することができません。

説明: 指定されたコンテナの移動を試行中に、IBM Spectrum Protect は、コンテナの移動に必要なロックを取得できませんでした。

システムの処置: 操作は失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 競合プロセスおよびセッションが減るのをまってから、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4948E** *list file name* という名前のリスト・ファイルに登録されている項目の数は、*max entry count* 項目を超えています。

説明: サーバーは、リスト・ファイルを読み取っているときに、項目の数が許容最大値を超えていることを検出しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 操作を複数のコマンドに分割して、必要な項目のサブセットを各コマンドが処理する方式を検討してください。

---

**ANR4949E** データベースに十分な一時スペースがないため、サーバーはテーブル *table name* に書き込むことができません。ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* の目次操作は失敗します。

説明: サーバーは目次 (TOC) の操作時に、指定の一時データベース表にデータを挿入しようとしたますが、サーバーのデータベースには十分な一時スペースがありませんでした。

システムの処置: TOC 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サーバーのデータベースに十分な一時スペースがあることを確認してください。

---

**ANR4950E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* の目次を作成中に、サーバーが **NDMP** ファイル・ヒストリー情報を検索できません。 **NDMP** ノード **ID** は *NDMP node ID* です。目次の作成は失敗します。

説明: サーバーは、目次 (TOC) の作成中、以前の **NDMP** ファイル・ヒストリー・メッセージに書き込まれている情報を検索しようとした。しかし、この情報は見つかりませんでした。この原因は、おそらく、ファイル・ヒストリー・メッセージを送信している **NAS** ファイル・サーバーに問題があったからです。このメッセージで通知される **NDMP** ノード **ID** は、現在の **NDMP** ファイル・ヒストリー・メッセージ内で参照されるノード **ID** です。

システムの処置: TOC の作成は失敗します。

ユーザーの処置: **NDMP** サーバーがファイル・ヒストリー情報を正常に送信していることを確認してください

い。そうでない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4951E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。オブジェクトは、そのサイズが原因でストレージ・プール *pool name* およびすべての後続プールから除外されます。

説明: サーバーは、指定されたノードについて目次 (TOC) の作成を終了します。割り当て済み管理クラスのバックアップ・コピー・グループの TOC 宛先属性によって指定されたストレージ・プールで許容されているサイズより、TOC のサイズが大きくなっています。コピー・グループで指定されたプールの後続ストレージ・プールでは、サイズの大きい TOC を受け入れることはできません。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: ストレージ階層において、TOC を収容できるように 1 つ以上のストレージ・プールの最大ファイル・サイズを大きくしてください。許可された管理者は、**UPDATE STGPOOL** コマンドを出して **MAXSIZE** パラメーターを大きくすることができます。

---

**ANR4952E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。ストレージ・プール *pool name* およびすべての後続プールに使用可能スペースがありません。

説明: サーバーは、指定されたノードについて目次 (TOC) の作成を終了します。割り当て済み管理クラスのバックアップ・コピー・グループの TOC 宛先属性によって指定されたストレージ・プールに、TOC を保持する十分なフリー・スペースがありません。コピー・グループで指定されたプールの後続ストレージ・プールには、十分なフリー・スペースがありません。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 許可された管理者は **DEFINE VOLUME** コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。このアクションには、オペレーティング・システム固有のユーティリティを使用して、ストレージ・スペースの作成が含まれることもあります。

---

**ANR4953E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込み  
に失敗しました。ストレージ装置への書き込み時にサーバーでエラーが見つかりました。

説明: サーバーは、装置への書き込み時に入出力エラーを検出したため、指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会して、障害のある装置を示しているこのメッセージの、前のメッセージを見つけてください。ストレージ・プールのボリュームを (VARY コマンドを使用して) オフラインに変更するか、あるいはハードウェアの問題を訂正するため、サーバーを停止する必要があります。問題の訂正後に、操作をやり直してください。

---

**ANR4954E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込み  
に失敗しました。データ転送は割り込まれました。

説明: データ・ストレージとの間のデータ転送が外部のイベントによって中断されたため、サーバーは指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたメッセージを調べて、データの転送が中断された理由を確認してください。問題を解決できる場合には、再度操作を試みてください。

---

**ANR4955E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込み  
に失敗しました。ストレージ・メディアが使用不能です。

説明: サーバーは、指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。これは、TOC の格納先となるストレージ・プールでは、ストレージ・ボリュームが使用できないためです。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 許可された管理者は DEFINE VOLUME コマンドを出して、ストレージ階層の 1 つ以上のストレージ・プールにストレージを追加することができます。VARY ONLINE コマンドを使用して、ストレージ階層中でオフラインのストレージ・ボリューム

ムをオンラインに変更すると、これらのボリュームを TOC 記憶用に使用することができます。

---

**ANR4956E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込み  
に失敗しました。サーバーに十分な回復ログ・スペースがありません。

説明: サーバーは、十分なログ・スペースが使用できないため、指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの ACTIVELOGDIRECTORY、ARCHIVELOGDIRECTORY、および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプションで大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4957E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込み  
に失敗しました。サーバーに十分なデータベース・スペースがありません。

説明: サーバーは、十分なデータベース・スペースが使用できないため、指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR4958E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。サーバーは新規スレッドを開始できません。

説明: サーバーは、サーバー上で別のプロセスを始動するために使用できるメモリーが不足しているため、指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR4959E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。サーバーに十分なメモリーがありません。

説明: サーバーは、十分なメモリーが使用できないため、指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション用にメモリーを増やす方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

---

**ANR4960E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。サーバーが内部エラーを検出しました。

説明: サーバーは、内部論理エラーが検出されたため、指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4961E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。サーバーがトランザクションをコミットできませんでした。

説明: トランザクションのコミット中にエラーが検出されました。このメッセージの前に、実行されなかったトランザクションについて詳細に説明している他のメッセージがあります。

システムの処置: 目次 (TOC) の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、トランザクションが実行されない原因となった条件を取り除いてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4962E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。サーバーで要求を満たすために使用可能なマウント・ポイントが不足しています。

説明: サーバーは、目次 (TOC) を書き込むためのマウント・ポイントを十分に割り振ることができませんでした。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、さらに多くのマウント・ポイントを使用できるようにしてください。

---

**ANR4963E** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みに失敗しました。前のメッセージを参照してください。

説明: 以前のエラーが発生したため、サーバーは指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出されたサーバー・メッセージを調べて、エラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを出して活動記録ログを表示しメッセージを検索してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR4964I** スペース・レクラメーションによって、ストレージ・プール *storage pool name* の *number of volumes* **WORM FILE** ボリュームが削除されました。

説明: 指示されたストレージ・プールに対するレクラメーションの実行中、サーバーが、保存日付を超過した空

の WORM FILE ボリュームを、指定された数だけ削除しました。

システムの処置: レクラメーション操作およびサーバー操作は続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4965E** ストレージ・プール *storage pool name* の *operation* が終了されました。使用可能なデータベース・スペースが十分にありません。

説明: 指定されたストレージ・プールに対する指定された操作の実行中、サーバー・データベース・スペースの不足が見つかりました。

システムの処置: マイグレーションまたはレクラメーションが停止するか、メッセージに示された操作が停止します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるデータベース・スペースを増やすには、EXTEND DBSPACE コマンドを発行して、1 つ以上のディレクトリーをデータベースに追加します。

---

**ANR4966E** ストレージ・プール *storage pool name* の *operation* が終了されました。使用可能な回復ログ・スペースが足りません。

説明: 指定されたストレージ・プールに対する指定された操作の実行中、サーバー回復ログ・スペースの不足が見つかりました。

システムの処置: マイグレーションまたはレクラメーションが停止するか、メッセージに示された操作が停止します。

ユーザーの処置: サーバーが使用できるログ・スペースを増やすために、dsmserv.opt ファイルの

ACTIVELOGDIRECTORY、

ARCHIVELOGDIRECTORY、および

ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY の各オプションに割り当てられるディレクトリーおよびファイル・システムを評価します。ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションが満杯のため、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。

あるいは、活動状態ではなくなったログ・ファイルが ACTIVELOGDIRECTORY ロケーションにあり、ARCHIVELOGDIRECTORY および ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY のロケーションにアーカイブできない場合、ログ・スペース不足の状態が発生する可能性があります。必要に応じて、dsmserv.opt ファイルの ARCHIVELOGDIRECTORY または ARCHFAILOVERLOGDIRECTORY オプション

で大きなサイズのディレクトリーを指定し、サーバーを再始動してください。

---

**ANR4967W** 期限切れの WORM FILE ボリューム *volume name* に有効なデータがまだ含まれています。データは保護されません。

説明: スペース・レクラメーション中に、サーバーが、指定された WORM FILE ボリュームの保存期限が切れていることを検出しましたが、ボリュームには有効なデータがまだ含まれています。ボリューム上のデータは保護されません。

システムの処置: レクラメーションは続行されます。

ユーザーの処置: サーバー活動記録ログを調べて、レクラメーションによって有効なデータが保護のため別の WORM FILE ボリュームに移動されない理由を確認してください。

---

**ANR4968W** WORM FILE ボリューム *volume name* でレクラメーションが失敗しました。

説明: スペース・レクラメーション中に、サーバーが、示された WORM FILE ボリュームからファイルを移動できませんでした。レクラメーション期間が過ぎている場合、ボリューム上のファイルは保護されない可能性があります。

システムの処置: 他のボリュームでレクラメーションが続行されます。

ユーザーの処置: サーバー活動記録ログを調べて、レクラメーションによって有効なデータが保護のため別の WORM FILE ボリュームに移動されない理由を確認してください。レクラメーション期間がいつ期限切れになるかを判別するには、示されたボリュームに対して QUERY VOLUME コマンドを発行します。

---

**ANR4969W** サーバーのコード・ページから UTF-8 への変換が失敗しました。ご使用のオペレーティング・システムに対応する UTF-8 コード・ページおよびツールがインストールされていることを確認してください。

説明: コマンド結果をサーバーのコード・ページから UTF-8 に変換する処理が失敗しました。オペレーティング・システムの変換ツールに問題があるか、コード・ページ変換ツールがないことが、この問題の原因である可能性があります。サーバーは、この状況からの回復を試みます。ただし、回復の結果、管理 API を使用する Web インターフェース上に読めない文字が出力されたり、何も出力されない場合があります。UTF-8 コード・ページ、変換ツール・サポート、および ICONV サポートのインストール方法については、オペレーティ

ング・システムの言語サポート情報を参照してください。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、コマンド出力はサーバーのコード・ページから UTF-8 に変換されません。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムに UTF-8 コード・ページ・サポートをインストールしてください。通常、これはご使用の言語に対応する UTF-8 ロケールをインストールすることにより使用可能です。

**ANR4970E** *Audit command: WORM FILE* ボリューム *volume name* のレクラメーション保存日付が欠落しているか、あるいは誤っています。修正のために **AUDIT VOLUME FIX=YES** を実行してください。

説明: 示された監査処理で、レクラメーション保存日付が欠落しているか、あるいは誤っている WORM FILE ストレージ・ボリュームが見つかりました。欠落しているまたは誤っている日付を修正するために、示されたボリュームに対して **FIX=YES** を指定して **AUDIT VOLUME** コマンドを発行してください。AUDIT VOLUME 処理中に、サーバーは、欠落しているまたは誤っている日付を訂正するために、Network Appliance ファイラーと実際にインターフェースをとり、SnapLock ログ・ボリュームの保存日付を取得します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: レクラメーション保存日付を作成または訂正できるように、**FIX=YES** を指定して **AUDIT VOLUME** コマンドを発行してください。

**ANR4971E** *Audit command: WORM FILE* ボリューム *volume name* のレクラメーション保存日付が欠落しているか、あるいは誤っています。レクラメーション保存日付が作成または訂正されます。

説明: 示された監査処理で、レクラメーション保存日付が欠落しているか、あるいは誤っている WORM FILE ストレージ・ボリュームが見つかりました。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この日付が作成または訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4972I** *Command:* マイグレーションは、ストレージ・プール *pool name* にとって必要ではありません。

説明: 以下のいずれかの理由により、指定されたストレ

ージ・プールでマイグレーションは不要です。

- マイグレーションを防止するため、マイグレーションの開始しきい値 (高しきい値) (パーセント) が 100 に設定されています。
- 指定されたストレージ・プールがランダム・アクセス・ディスクまたは順次アクセス・ディスクを使用している場合、データ容量の使用率はマイグレーションの低しきい値を下回ります。
- 指定されたストレージ・プールがテープまたは光メディアを使用する場合、データを含むボリュームがストレージ・プール内のボリューム合計数に占める率はマイグレーションの低しきい値を下回ります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: プールにとってマイグレーションが必要なときにコマンドを再発行してください。

**ANR4973I** *Command:* レクラメーションはこのストレージ・プール *pool name* に対して許可されていません。

説明: 指定されたストレージ・プールに対してレクラメーションの高しきい値 (パーセント) が 100 に設定され、レクラメーションが妨げられています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: プールにとってマイグレーションが必要なときにコマンドを再発行してください。

**ANR4974W** ノード *node name*、ファイル・スペース *file space name* に関する目次の書き込みが取り消されました。

説明: プロセスが取り消されたため、サーバーは指定のノードに関する目次 (TOC) の作成を終了します。

システムの処置: TOC の作成は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR4975E** **NAS** ノードからサーバーへのバックアップに使用できる **TCP** ポートがありません。

説明: サーバーは、NAS ノードとサーバーの間におけるバックアップまたはリストアで使用するために TCP/IP ポートをセットアップできませんでした。サーバーは、NDMPPORTRANGE オプションで定義されるようにポートの範囲を使用します。これらのポートを使用できるようにセットアップできない場合、NAS ノードとサーバーの固有ストレージ・プールの間におけるバックアップまたはリストアは失敗します。NDMPPORTRANGE オプションが指定されない場合、

サーバーは一時ポート (オペレーティング・システムが動的プールから割り当てるポート) を使用します。 システムが使用可能なポートを使い尽くす場合、NAS ノードとサーバーの固有ストレージ・プールの間における操作は失敗します。

システムの処置: この特定の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 特定のユーティリティ (例: `netstat`) を操作して、使用中のポートを検査できます。 十分な数のポートを用意するには、`NDMPPORTRANGE` オプション (サーバーの再始動が必要) の指定が必要になる場合があります。

---

**ANR4976W** 装置クラス *DevClassName* は、サーバー・バックアップ・ノード **\$\$\_TSMDBMGR\_\$\$** に定義されている装置クラス *DevClassName* と同じではありません。

説明: このコマンドの装置クラスは、サーバー・バックアップ・ノードに定義されている装置クラスと同じではありません。

システムの処置: ただし、サーバーのコマンド処理は続行されます。

ユーザーの処置:

---

**ANR4977E** コンテナ *container name* は、いずれのストレージ・プールでも検出されませんでした。

説明: 指定されたコンテナは、どのストレージ・プールにも存在していません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効なコンテナ名を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4978E** コンテナ *container name* を開くことができませんでした。

説明: 指定されたコンテナは、ファイル・システム内に存在しておらず、開くことができませんでした。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効なコンテナ名を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4979W** 環境変数 **DSMSERV\_DIR** の使用はサポートされていません。

説明: **DSMSERV\_DIR** 環境変数は、ロード可能なモジュールおよび言語ファイルを検出するために、以前のバージョンの **IBM Spectrum Protect** では必要でした。ただし現在、ディレクトリーは自動的に判別されるため、この変数は無視されます。

システムの処置: サーバーの操作は、サーバーの実行可能モジュールを含むディレクトリーを基本サーバー・ディレクトリーとして使用して、続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4980I** サーバー *other server* 上の *stgpool name* へのサーバー *this server* 上の *stgpool name* のストレージ・プール保護プロセスは完了しました。 保護されたエクステンツ: *extents to protect* のうち *extents protected*。保護に失敗したエクステンツ: *extents failed to protect*。削除されたエクステンツ: *extents to delete* のうち *extents deleted*。保護された容量: *amount to protect* のうち *amount protected*。失敗した容量: *amount transferred*。転送された容量: *amount transferred*。経過時間: *elapsed time*。

説明: ストレージ・プールの保護プロセスが完了しました。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 保護されたエクステンツ: ターゲット・サーバー上の一致するエクステンツにリンク付けることで正常に保護されたエクステンツ数。
- 保護に失敗したエクステンツ: ターゲット・サーバーへの保護のプロセス中に正常に保護されなかったエクステンツ数。
- 削除されたエクステンツ: ソース・サーバー上にエクステンツが存在しなかったため、あるいはターゲット・サーバー上でエクステンツは損傷しており再送信が必要であったために、ターゲット・サーバーから正常に削除されたエクステンツ数。
- 保護された容量: ターゲット・サーバー上の一致するエクステンツにリンク付けることで正常に保護されたバイト数。
- 失敗した容量: 保護されなかったバイト数。詳しくは、前のメッセージを参照してください。
- 転送された容量: このプロセス中にターゲット・サーバーに送信されたバイト数。ターゲット・サーバーに既にエクステンツが存在していた場合、あるいは圧縮



が有効にされている場合は、転送された容量が保護された容量より小さくなる可能性があります。

- 経過時間: 処理の実行にかかった時間。

---

**ANR4981I** サーバー *other server* 上の *stgpool name* へのサーバー *this server* 上のストレージ・プール *stgpool name* 保護のプレビューは完了しました。 保護されるエクステント: *extents to protect*。削除されるエクステント: *extents deleted*。保護される容量: *amount protected*。

説明: ストレージ・プール保護のプレビューが完了しました。 以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 保護されるエクステント: ターゲット・サーバー上の一致するエクステントにリンク付けることで保護する必要があるエクステント数。
- 削除されるエクステント: ソース・サーバー上にエクステントが存在しないために削除する必要があるエクステント数。
- 保護される容量: ターゲット・サーバー上の一致するエクステントにリンク付けることで保護する必要があるバイト数。

---

**ANR4982I** サーバー *other server* 上の *stgpool name* からのサーバー *this server* 上の *stgpool name* のストレージ・プール修復プロセスは完了しました。 修復されたエクステント: *extents to repair* のうち *extents repaired*。失敗したエクステント: *extents failed*。スキップされたエクステント: *extents skipped*。修復された容量: *amount to repair* のうち *amount repaired*。失敗した容量: *amount failed*。スキップされた容量: *amount skipped*。経過時間: *elapsed time*。

説明: ストレージ・プールの修復プロセスが完了しました。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 修復されたエクステント: 正常に修復されたエクステント数を示します。
- 失敗したエクステント: 修復に失敗したエクステント数を示します。
- スキップされたエクステント: スキップされたエクステント数を示します。
- 修復された容量: 正常に修復されたバイト数を示します。
- 失敗した容量: 修復に失敗したバイト数を示します。

- スキップされた容量: スキップされたバイト数を示します。
- 経過時間: プロセスが実行されていた時間を示します。

---

**ANR4983I** サーバー *other server* 上の *stgpool name* からのサーバー *this server* 上のストレージ・プール *stgpool name* 修復のプレビューは完了しました。 修復されるエクステント: *extents repaired*。修復される容量: *amount repaired*。

説明: ストレージ・プールの修復プロセスがプレビュー・モードで完了しました。以下のリストは、メッセージ内の情報を説明しています。

- 修復されるエクステント: 修復されるエクステントの数を示します。
- 修復される容量: 修復されるバイト数を示します。

---

**ANR4984E** ストレージ・プール *stgpool name* 内でコンテナ *container name* が見つかりませんでした。

説明: 示されたストレージ・プール内には、指定されたコンテナが存在しません。

システムの処置: コマンドは実行されないでサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 有効なコンテナ名を指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR4985W** このコマンドは、ストレージ・プール *stgpool name* 内で損傷データ・エクステントに関連付けられているデータ・ファイルを削除します。

説明: AUDIT CONTAINER コマンドを実行すると、損傷コンテナに保管されたデータ・エクステントに付属しているデータ・ファイルが削除されます。

システムの処置: 管理者は継続するかどうかを尋ねられます。

ユーザーの処置: コンテナを監査する場合は 'Y' を、プロセスを停止する場合は 'N' を入力してください。

---

**ANR4992W** *Audit command* で、データ・エクステントの読み取りを試行中に、コンテナ・ストレージ・プール *storage pool* 内のコンテナ *container name* の入出力エラーが検出されました。

説明: AUDIT CONTAINER プロセスで、データ・エクステントの読み取りを試行中に、指定されたコンテナ

ーに対する入出力エラーが検出されました。データ・エクステンションは、損傷ありとしてマークされます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 可能な場合には、コンテナの入出力エラーを識別して解決してください。このコンテナの物理装置が正常に機能していて、このボリュームが使用可能であることを確認してください。

---

**ANR4993W** コンテナ *container name* のコンテナの監査プロセスが終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 示されているコンテナの AUDIT CONTAINER コマンドの処理中に、監査を実行中のプロセスが取り消されました。

システムの処置: AUDIT CONTAINER コマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR4994E** ボリューム *volume name* がライブラリー *library name* に入っているかどうかの照会が失敗しました。

説明: 示されたボリュームが示されたライブラリーに入っているかどうかの照会が失敗しました。ライブラリー共有環境でライブラリーがオフラインであるか、ライブラリー・マネージャーがダウンしている可能性があります。

システムの処置: 要求された操作が失敗しました。

ユーザーの処置: ライブラリー共有環境でライブラリーが起動されているとき、またはライブラリー・マネージャーが稼働中のときに、要求を再試行してください。

---

**ANR5001I** *stgpoolmdir name* (プロセス ID *process ID*) の *Update Stgpoolmdir command* (**Access=Destroyed**) プロセスが開始されました。

説明: 示されている *stgpoolmdir* に *access=destroyed* を指定している UPDATE STGPOOLDIR コマンドの結果として、その ID が表示されているプロセスは、*stgpoolmdir* の更新を開始しました。

システムの処置: *stgpoolmdir* のアクセスは *destroyed* に設定されています。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6200I** *Command name:* レベル *compression audit level* の圧縮監査がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 指定されたレベルの圧縮監査が、報告されたプロセス ID をもつバックグラウンド・サーバー・プロセスとして開始されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。バックグラウンド監査は、クライアント圧縮問題の影響を受ける可能性のあるクライアント・ファイルの識別を試みます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6201I** *Command name:* レベル *compression audit level* の圧縮監査がバックグラウンド・プロセス *process ID* として開始中です。

説明: 指定されたレベルの圧縮監査が、報告されたプロセス ID をもつバックグラウンド・サーバー・プロセスとして開始されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。バックグラウンド監査は、クライアント圧縮問題の影響を受ける可能性のあるクライアント・ファイルの識別を試みます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6202I** *Command name:* 最後の監査から候補を検証中です。

説明: 圧縮監査は、前の圧縮監査実行で識別されたクライアント・ファイル候補の検査を開始しました。検査プロセスでは、サーバーのポリシーによって期限切れであることが現在分かっている圧縮候補は、除外されます。

システムの処置: 監査操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6203I** *Command name:* レベル *audit level* の圧縮監査が候補リストの項目の限定から開始中。

説明: 圧縮監査は、指定された監査レベルについて、候補リストからの候補の制限の検査を開始中です。コマンドに指定された制限を条件として、下位レベルの圧縮候補として識別されたクライアント・ファイルがテストされます。

システムの処置: 監査操作は続行されます。

ユーザーの処置: QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。QUERY PROCESS コマンドを使用して、監査操作の進

行状況をモニターすることができます。

---

**ANR6204I** *Command name:* プロセス *process ID*、レベル *audit level* の監査が正常に終了しました - 疑わしい圧縮件数 = *total number of compression suspects*。

説明: 圧縮監査が終了し、検出された疑わしいクライアント・ファイルの総数を報告中です。

システムの処置: 監査操作は完了します。

ユーザーの処置: QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6205I** *Command name:* プロセス *process ID*、オブジェクト *object ID high order number* でレベル **1** の圧縮監査を続行中。*object ID low order number*。

説明: レベル **1** 圧縮監査が、クライアント圧縮問題の影響を受ける可能性がある兆候について、クライアント・ファイルの評価を開始中です。前のレベル **1** 監査の実行が完了したので、この監査は、ID が指定されたオブジェクトで始まる最終監査が停止した所から続行します。

システムの処置: 監査操作は続行されます。

ユーザーの処置: QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。QUERY PROCESS コマンドを使用して、監査操作の進行状況をモニターすることができます。

---

**ANR6206I** *Command name:* プロセス *process ID*、基本レベル **1** の圧縮監査の開始中。

説明: レベル **1** 圧縮監査が、クライアント圧縮問題の影響を受ける可能性がある兆候について、クライアント・ファイルの評価を開始中です。前のレベル **1** 監査の実行が完了した場合でも、サーバーで見つかった最初のクライアント・ファイルから監査が開始します。

システムの処置: 監査操作は続行されます。

ユーザーの処置: QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。QUERY PROCESS コマンドを使用して、監査操作の進行状況をモニターすることができます。

---

**ANR6207I** *Command name:* プロセス *process ID*、レベル *audit level* の分析はノード *client node name* のファイル・スペース *client filespace name* の候補ファイル *high-level object name low-level object name* を検出しました。

説明: 圧縮監査で、指定された監査レベルの候補ファイルが見つかりました。クライアント・ノード、ファイル・スペース、およびファイルの名前が表示されます。このメッセージは、指定された VERBOSE=YES パラメーターで開始された圧縮監査で候補ファイルが検出されたときに、常に出されます。

システムの処置: 監査操作は続行されます。

ユーザーの処置: QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。QUERY PROCESS コマンドを使用して、監査操作の進行状況をモニターすることができます。

---

**ANR6208I** *Command name:* プロセス *process ID* が取り消されました - 取り消しの前に調べた *number of files examined* 個のファイルのうち *number of candidate files* 個の候補ファイルが見つかりました。

説明: 圧縮監査操作が、完了前に CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されました。取り消し前に見つかった候補ファイルの数が表示されます。

システムの処置: 監査操作は終了します。

ユーザーの処置: AUDIT COMPRESSION コマンドによって圧縮監査を再始動することができます。QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6209I** *Command name:* プロセス *process ID*、レベル *audit level* 監査は正常に完了しました - 調べた *number of files examined* 個のファイルのうち *number of candidate files* 個の候補ファイルが見つかりました。

説明: 圧縮監査操作が正常に完了しました。見つかった候補ファイルの数が表示されます。

システムの処置: 監査操作は終了します。

ユーザーの処置: QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6210I** *Command name:* プロセス *process ID*、レベル *audit level* 監査は正常に正常に完了しました - *number of candidate files* 個の候補ファイルが見つかりました。

説明: 圧縮監査操作が正常に完了しました。見つかった候補ファイルの数が表示されます。

システムの処置: 監査操作は終了します。

ユーザーの処置: QUERY COMPRESSION コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6211I**    *Command name:* プロセス *process ID*、レベル *audit level* の分析は、ノード *client node name* のファイル・スペース *client filespace name* で候補ファイル *object name* を検出しました。

説明: 圧縮監査で、指定された監査レベルの候補ファイルが見つかりました。クライアント・ノード、ファイル・スペース、およびファイルの名前が表示されます。このメッセージは、指定された **VERBOSE=YES** パラメーターで開始された圧縮監査で候補ファイルが検出されたときに、常に出されます。

システムの処置: 監査操作は続行されます。

ユーザーの処置: **QUERY COMPRESSION** コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。**QUERY PROCESS** コマンドを使用して、監査操作の進行状況をモニターすることができます。

---

**ANR6212I**    *Command name:* プロセス *process ID*、レベル *audit level* の分析は、候補状況からノード *client node name* のファイル・スペース *client filespace name* でレベル *candidate level* の候補ファイル *object name* を除去しました。

説明: 指定されたレベルの圧縮監査で、さらに詳しい分析を通じて候補ファイルが除外されました。クライアント・ノード、ファイル・スペース、およびファイルの名前が表示されます。このメッセージは、指定された **VERBOSE=YES** パラメーターで開始された圧縮監査で、候補ファイルが考慮に入れられない時に、常に出されます。

システムの処置: 監査操作は続行されます。

ユーザーの処置: **QUERY COMPRESSION** コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。**QUERY PROCESS** コマンドを使用して、監査操作の進行状況をモニターすることができます。

---

**ANR6213I**    *Command name:* プロセス *process ID* は取り消されました - *number of files promoted* 個の候補ファイルがレベル *audit level* で候補としてプロモートされ、*number of files eliminated* 個のファイルが候補として除去され、*number of files expired* 個の候補はサーバー上で期限切れであることが見つかったために除去されました。

説明: 圧縮監査操作が、完了前に **CANCEL PROCESS** コマンドによって取り消されました。この監査レベルの候補としてプロモートされた候補ファイルの数、この

監査レベルの候補として除外された候補ファイルの数、および取り消し前に期限切れと分かった候補ファイルの数が報告されます。

システムの処置: 監査操作は終了します。

ユーザーの処置: **AUDIT COMPRESSION** コマンドによって圧縮監査を再始動することができます。**QUERY COMPRESSION** コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6214I**    *Command name:* プロセス *process ID*、正常に完了 - *number of files promoted* 個の候補ファイルがレベル *audit level* で候補としてプロモートされ、*number of files eliminated* 個のファイルが候補として除去され、*number of files expired* 個の候補がサーバー上で期限切れであることが見つかったために除去されました。

説明: 圧縮監査操作が正常に完了しました。このレベルの監査で候補としてプロモートされ、このレベルの監査で候補として除去され、期限切れであることが見つかった候補ファイルの数が報告されます。

システムの処置: 監査操作は終了します。

ユーザーの処置: **QUERY COMPRESSION** コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6215I**    *Command name:* ノード *client node name* のファイル・スペース *client filespace name* でファイル *high-level object name* *low-level object name* のバックアップは強制できませんでした。

説明: **FORCE BACKUP** コマンドを使って、指定されたファイルのバックアップを強制することはできません。このファイルは、API クライアント、または **ADSM** バージョン 2 クライアント、またはそれ以降のものを使用してバックアップされました。

システムの処置: 強制バックアップ操作は続行され、このファイルについての圧縮レコードの状態は更新されます。

ユーザーの処置: バージョン 2 クライアント、またはそれ以降のクライアントを使用して、ファイルがバックアップされていた場合は、**REMOVE COMPRESSION** コマンドを使用して、候補としてこのエントリーを除去することができます。ファイルが API クライアントを使用してバックアップされていた場合は、このファイルを再バックアップするようにクライアントの所有者に連絡してください。この項目が「非アクティブ」項目になるまで、この項目を除去してはいけません。

---

**ANR6220I** プロセス *process ID* として開始された圧縮操作を削除します。

説明: 圧縮削除操作が、示された ID をもつバックグラウンド・サーバー・プロセスとして開始されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6221I** プロセス *process ID* として開始されたバックアップ操作を強制します。

説明: バックアップ強制操作が、示された ID をもつバックグラウンド・サーバー・プロセスとして開始されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6222I** *Command name:* プロセス *process ID* が取り消されました - 取り消しの前に *number of files* 個のファイルが処理されました。

説明: 示されたプロセスが完了前に取り消されました。このメッセージには、操作が取り消される前に処理されたファイルの数が表示されます。

システムの処置: このプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 示されたコマンドを発行することによって、操作を再始動することができます。

---

**ANR6223I** 削除圧縮プロセス *process ID* が完了しました - *number of files* 個のファイルが削除されました。

説明: 示されたプロセスが処理を完了しました。示された数のファイルについて、すべてのデータベース参照が削除されました。

システムの処置: このプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6224I** 強制バックアップ・プロセス *process ID* が完了しました - *number of files* 個のファイルが強制バックアップとマーク付けされました。

説明: 示されたプロセスが処理を完了しました。示された数のファイルがバックアップ強制ファイルとしてマークされました。これらのファイルは次の増分バックアップ時にバックアップされます。

システムの処置: このプロセスは終了します。

---

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6225I** ファイル *identifier* は、圧縮エラーを起した疑いありとして除去されました。

説明: 圧縮エラーの可能性があるファイルに関するデータベース情報から、指定された ID をもつファイルが除去されました。このファイルに関する、他のデータベース情報は影響を受けません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6226I** *Command name:* バックグラウンド・プロセス *process ID* として開始されました。

説明: サーバー・データベースから圧縮候補情報および一時データベース項目を除去する、圧縮終了処理が開始されました。クライアント・ファイルは、この操作の影響を受けません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: CANCEL PROCESS コマンドを使用して、圧縮終結操作を取り消すことができます。

QUERY PROCESS コマンドを使用して、操作の状況を照会することができます。

---

**ANR6227I** *cleanup process name* 操作がプロセス *process ID* として開始されます。

説明: サーバー・データベースから圧縮候補情報および一時データベース項目を除去する、圧縮終了処理が開始されました。クライアント・ファイルは、この操作の影響を受けません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: CANCEL PROCESS コマンドを使用して、圧縮終結操作を取り消すことができます。

QUERY PROCESS コマンドを使用して、操作の状況を照会することができます。

---

**ANR6228W** *Cleanup process name:* プロセス *process ID* が取り消されました - クリーンアップ処理は不完全です。

説明: 正常終了前に圧縮終了処理が取り消されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: CLEANUP COMPRESSION コマンドを使用して、クリーンアップ操作を再始動することができます。

---

---

**ANR6229I** *Cleanup process name:* プロセス *process ID* が正常に完了しました。

説明: 圧縮終了処理が正常に完了しました。

システムの処置: クリーンアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6300E** *Command name:* 操作に使用可能なサーバー・メモリーが不足しています。

説明: サーバーで十分なメモリーが使用できないので、圧縮テスト・ルーチンは続行できません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サーバーが実行中のプラットフォームに応じて、サーバー領域サイズ、仮想計算機 (VM) サイズ、システムで使用可能なページ・スペースを増やすか、またはメモリー・スワップ・ファイルを再割り当てして、サーバーが使用できるメモリーを増やしてください。この操作の処理中に、サーバー・アクティビティ (セッション、マイグレーションおよびその他の活動) を制限することで、追加メモリーを使用可能にすることもできます。

---

**ANR6301E** *Command name:* 無効な **LEVEL** が指定されました。このコマンドでは、**LEVEL** パラメーターに値 **1** または **2** のみをサポートします。

説明: このコマンドには無効な **LEVEL=** パラメーターが指定されています。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: **LEVEL** パラメーターに **1** または **2** の値を指定してコマンドを再発行します。

---

**ANR6302E** *Command name:* プロセス *process ID*、失敗しました - 失敗する前に調べた *number of files examined* 個のファイルのうち *number of candidate files* 個の候補ファイルが見つかりました。

説明: 圧縮監査操作が完了前に停止しました。失敗前に見つかった候補ファイルの数が表示されます。

システムの処置: 監査操作は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前にサーバー・コンソールまたはアクティビティ・ログに現れるメッセージを調べ、障害の原因を突き止めてください。エラーを訂正できた場合は、圧縮監査を再実行してください。障害を判別または訂正できない場合は、サービス技術員に連絡してください。 **QUERY COMPRESSION** コマ

ンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6303E** *Command name:* プロセス *process ID*、失敗しました - *number of files promoted* 個の候補ファイルがレベル *audit level* で候補としてプロモートされ、*number of files eliminated* 個のファイルが候補として除去され、*number of files expired* 個の候補がサーバー上で期限切れであることが見つかったために除去されました。

説明: 圧縮監査操作が完了前に停止しました。この監査レベルの候補として、プロモートされた候補ファイルの数、この監査レベルの候補として除外された候補ファイルの数、および監査失敗前に期限切れと分かった候補ファイルの数が報告されます。

システムの処置: 監査操作は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前にサーバー・コンソールまたはアクティビティ・ログに現れるメッセージを調べ、障害の原因を突き止めてください。エラーを訂正できた場合は、圧縮監査を再実行してください。障害を判別または訂正できない場合は、サービス技術員に連絡してください。 **QUERY COMPRESSION** コマンドを用いて、圧縮候補リストを表示することができます。

---

**ANR6304E** *Command name:* コマンドは圧縮監査が実行されるまで処理できません。

説明: **AUDIT COMPRESSION** コマンドを使用して圧縮監査が実行されるまでは、示されたコマンドを処理することができません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: **AUDIT COMPRESSION** コマンドを発行して、試行された操作を繰り返してください。

---

**ANR6305E** *Command name:* ファイル *identifier* には圧縮エラーを起こす疑いはありません。

説明: 指定された **ID** をもつファイルは、圧縮エラーの疑いがあるファイルとして、データベースにリストされているものではありません。このファイルを、疑いのあるファイルのリストから除去することはできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: **QUERY COMPRESSION** コマンドを使用して、除去するファイルの正しい **ID** を調べてください。

---

**ANR6306E** *Cleanup process name:* プロセス *process ID* はサーバー・エラーで失敗しました - クリーンアップ処理は不完全です。

説明: 圧縮クリーンアップ操作は、正常な完了の前に失敗しました。

システムの処置: クリーンアップ・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前にサーバー・コンソール、またはサーバー・アクティビティー・ログに現れるメッセージを調べて、エラーの原因を突き止めてください。エラーを識別して訂正できた場合は、CLEANUP COMPRESSION コマンドを使用して終結処置操作を再始動してください。エラーを訂正できない場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**ANR6600E** *Command:* マシン名が無効です - *machine name*。

説明: コマンドに指定されたマシン名が正しくありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいマシン名を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR6601E** *Command:* 説明情報が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された記述が、使用可能な文字数の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい記述を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR6602E** *Command:* 回復指示ファイル名が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された回復指示ファイル名が、使用可能な文字数の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい回復指示ファイル名を指定してコマンドを出してください。

---

**ANR6603E** *Command:* 特性ファイル名が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された特性ファイル名が、使用可能な文字の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい特性ファイル名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6604E** *Command:* 無効な建物 ID - *building*。

説明: コマンドに指定された建物 ID が正しくありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい建物 ID を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6605E** *Command:* 無効なフロア ID - *floor*。

説明: コマンドに指定されたフロア ID が正しくありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいフロア ID を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6606E** *Command:* 無効なルーム ID - *room*。

説明: コマンドに指定されたルーム ID が正しくありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいルーム ID を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6607E** *Command:* マシン *machine name* は既に定義済みです。

説明: コマンドに指定されたマシンは、既にサーバーに対して定義されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 別のマシンを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6608E** *Command:* サーバーを含むマシンは既に定義されています。

説明: このパラメーターで別のマシンが既に定義されているので、コマンドに指定された ADSMSERVER=YES パラメーターが正しくありません。サーバーを含むものとして、このサーバーに定義できるマシンは 1 つだけです。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: パラメーターとして ADSMSERVER=YES を指定しないでコマンドを出し直してください。

---

**ANR6609I** マシン *machine name* が定義されました。

説明: DEFINE MACHINE コマンドで、要求されたマシンがサーバーに追加されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6610E** *Command:* 回復メディア名が無効です - *recovery media name*。

説明: コマンドに指定された回復メディア名が正しくありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい回復メディア名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6611E** *Command:* 位置情報が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された位置が、使用可能な文字の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい位置を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6612I** マシン *machine name* が更新されました。

説明: UPDATE MACHINE コマンドで、マシンの 1 つ以上の属性が更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6613I** マシン *machine name* が削除されました。

説明: DELETE MACHINE コマンドで、要求したマシンがサーバーから削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6614E** *Command:* マシン *machine name* は定義されていません。

説明: コマンドに指定されたマシンは、サーバーに対して定義されていません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいマシンを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6615E** *Command:* 入力ファイルのオープンに失敗しました - *file name*。

説明: コマンドに指定された入力ファイルをサーバーがオープンできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: サーバーがアクセスできるファイル・システム中にある入力ファイルを指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6616E** *Command:* 順序番号が無効です - *sequence number*。

説明: コマンドに指定された順序番号が正しくありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい順序番号を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6617W** *Command:* ノード *node name* が登録されていないので、処理できません。

説明: メッセージに示されているノードは、登録されていないので処理できません。

システムの処置: 示されているノードは処理されませんが、他のノードは (このコマンドで指定されていれば) 処理することができます。

ユーザーの処置: 登録済みの正しいノードを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6618E** *Command:* 対応するノードが登録されていません。

説明: コマンドに指定されたノードが、サーバーに登録されているノードと一致しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいノードを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6619I** ノード *node name* がマシン *machine name* と関連付けられました。

説明: DEFINE MACHNODEASSOCIATION コマンドで、指定したノードが指定したマシンと関連づけられました。ノード *node name* はマシン *machine name* と関連づけられています。

システムの処置: ありません。



ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6620E** *Command:* マシンおよびノードの関連は既に定義されています。

説明: コマンドに指定されたマシンとノードの関連は、既にサーバーに対して定義されています。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 正しいノードを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6621I** ノード *node name* とマシン *machine name* との関連が解除されました。

説明: DELETE MACHNODEASSOCIATION コマンドで、要求した関連づけがサーバーから削除されました。ノード *node name* はマシン *machine name* と関連づけられていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6622E** *Command:* 回復メディア *recovery media name* が定義されていません。

説明: コマンドに指定された回復メディアがサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい回復メディアを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6623W** *Command:* マシン *machine name* が定義されていないので処理できません。

説明: メッセージに示されているマシンはサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: 示されたマシンは処理されませんが、他のマシンは (このコマンドで指定されていれば) 処理することができます。

ユーザーの処置: 正しいマシンを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6624E** *Command:* 一致するマシンが定義されていません。

説明: コマンドに指定されたマシンが、サーバーに対して定義されているマシンと一致しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいマシンを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6625I** マシン *machine name* が回復メディア *recovery media name* と関連付けられました。

説明: DEFINE

RECOVERYMEDIAMACHASSOCIATION コマンドで、指定したマシンが指定した回復メディアと関連づけられました。マシン *machine name* は回復メディア *recovery media name* と関連づけられています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6626E** *Command:* 回復メディア/マシンの関連は既に定義されています。

説明: コマンドに指定された回復メディア/マシンの関連付けは、既にサーバーに対して定義されています。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 正しいマシンを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6627I** マシン *machine name* と回復メディア *recovery media name* の関連が解除されました。

説明: DELETE

RECOVERYMEDIAMACHASSOCIATION コマンドで、要求した関連づけがサーバーから削除されました。マシン *machine name* は回復メディア *recovery media name* と関連づけられていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6628E** *Command:* ボリューム・リストが *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定されたボリューム・リストが、使用可能な文字の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいボリューム・リストを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6629E** *Command:* 製品名が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された製品名が、使用可能な文字の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい製品名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6630E** *Command:* 製品情報が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された製品情報が、使用可能な文字の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい製品情報を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6631E** *Command:* ブート回復メディアのボリューム・リストが抜けています。

説明: ボリューム・リストを指定しなければ、サーバーに対してブート回復メディアを定義できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ブート回復メディアのボリューム・リストを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6632I** 回復メディア *recovery media name* が定義されました。

説明: DEFINE RECOVERYMEDIA コマンドで、サーバーに対して回復メディアが定義されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6633I** 回復メディア *recovery media name* が更新されました。

説明: UPDATE RECOVERYMEDIA コマンドで、回復メディアの 1 つ以上の属性が更新されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6634I** 回復メディア *recovery media name* が削除されました。

説明: DELETE RECOVERYMEDIA コマンドで、要求した回復メディアがサーバーから削除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6635E** *Command:* 回復メディア *recovery media name* が既に定義されています。

説明: コマンドに指定された回復メディアは既にサーバーに対して定義されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 別の回復メディアを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6636E** *Command:* マシン *machine name* に指定された特性が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された特性が、使用可能な文字の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい特性を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6637E** *Command:* マシン *machine name* に指定された回復指示が *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンドに指定された回復指示が、使用可能な文字の最大長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい回復指示を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6638E** *Command:* マシン *machine name* の特性は既に定義されています。

説明: コマンドに指定されたマシンの特性は、既にサーバーに対して定義されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 指定したマシンがサーバーに対して定義されている場合には、UPDATE MACHINE コマンドを出して、既存の特性を更新してください。マシンがサーバーに対して定義されていない場合には、AUDIT DRM FIX を出して特性を削除してください。

---

**ANR6639E** *Command:* マシン *machine name* の回復指示が既に定義されています。

説明: コマンドに指定されたマシンの回復指示は、既にサーバーに対して定義されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 指定したマシンがサーバーに対して定義されている場合には、UPDATE MACHINE コマンドを出して、既存の回復指示を更新してください。マシンがサーバーに対して定義されていない場合には、AUDIT DRM FIX を出して回復指示を削除してください。

---

**ANR6640E** *Command:* ブート回復メディアのボリューム・リストを削除できません。

説明: ブート回復メディアのボリューム・リストは削除することができません。サーバーに対して定義されているそれぞれのブート回復メディアに、ボリューム・リストが存在しなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ボリューム・リストを削除するためには、UPDATE RECOVERYMEDIA コマンドを出して OTHER および VOLUMES="" の回復メディア・タイプを指定してください。回復メディアのタイプを BOOT に変更するためには、UPDATE RECOVERYMEDIA コマンドを出してブート回復メディアが入っているボリューム・リストおよび TYPE=BOOT を指定してください。

---

**ANR6641E** *Command:* 指定されたマシンとノードのペアの関連が見つかりません。

説明: コマンドに指定されたマシンとノードの組み合わせに対する関連が見つかりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 正しいマシンとノードの対を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6642E** *Command:* 指定された回復メディアとノードのペアの関連が見つかりません。

説明: コマンドに指定された回復メディアとマシンの組み合わせに対する関連が見つかりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 正しい回復メディアとマシンの対を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6643E** *Command: parameter* の値が無効です - *parameter value*。

説明: コマンドに出されたパラメーターが正しくありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6644E** *Command:* 文字ストリングを指定しなければなりません。

説明: INSERT コマンドが無効です。文字ストリングを指定しなければなりません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい文字ストリングを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6645W** ノード *node name* はマシン *machine name* と既に関連付けられています。

説明: DEFINE MACHNODEASSOCIATION コマンドに指定されたノードが正しくありません。このノードは、既にメッセージに示されている別のマシンと関連づけられています。1つのマシンと関連づけられるノードは1つだけです。

システムの処置: 示されているノードは処理されませんが、他のノードは (このコマンドで指定されていれば) 処理することができます。

ユーザーの処置: 正しいノード名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6646I** *Audit command:* 災害時回復機能の定義を監査中です。

説明: このメッセージは、データベースの監査中に表示され、災害時回復管理機能定義がデータベース監査処理により検査中であることを示します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6647E** *Audit command: DRM* グローバル属性が抜けています。

説明: サーバー DRM 活動に使用されるグローバル属性がないことが、データベース監査処理で分かります。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: DRM グローバル属性を再作成するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6648I** *Audit command: DRM* グローバル属性が抜けています - 属性を再作成するために、デフォルト値が使用されます。

説明: サーバー DRM 活動に使用されるグローバル属

## ANR6649E • ANR6656I

性がないことが、データベース監査処理で分かります。AUDIT コマンドに FIX=YES が指定されているので、管理グローバル属性を再作成するためにデフォルトの属性値が使用されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6649E** *Audit command: DRM* マシン ID の割り当てが正しくありません。

説明: サーバー DRM 活動に使用されるグローバル属性マシン ID が正しくないことが、データベース監査処理で分かります。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: DRM グローバル属性を訂正できるように FIX=YES を指定して、監査コマンドをやり直してください。

---

**ANR6650I** *Audit command: DRM* マシン ID の割り当てが正しくありません - 値は訂正されます。

説明: サーバー DRM 活動に使用されるグローバル属性マシン ID が正しくないことが、データベース監査処理で分かります。AUDIT コマンドには FIX=YES が指定されているので、サーバー・データベースで属性値が訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR6651I** *Audit command: マシン machine name* に無効な優先順位値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効な優先順位値が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 優先順位を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、UPDATE MACHINE コマンドを出して新しい優先順位の値を指定してください。

---

**ANR6652I** *Audit command: マシン machine name* に無効な優先順位値が見つかりました - デフォルト値が設定されます。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効なマシン優先順位値が見つかりました。FIX=YES が指定されているので、監査機能はマシンの優先順位の値をデフォルト値に設定します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に UPDATE MACHINE コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6653I** *Audit command: マシン machine name* に無効な建物の値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効な構築値が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 建物の値を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、UPDATE MACHINE コマンドを出して新しい建物の値を指定してください。

---

**ANR6654I** *Audit command: マシン machine name* に無効な建物の値が見つかりました - 建物の値は除去されます。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効な構築値が見つかりました。FIX=YES が指定されているので、監査機能により、マシンの建物の値が除去されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 建物の値を別の値に設定するためには、監査コマンドの完了後に UPDATE MACHINE コマンドを出してください。

---

**ANR6655I** *Audit command: マシン machine name* に無効なフロア値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効なフロアの値が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: フロアの値を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、UPDATE MACHINE コマンドを出して新しいフロアの値を指定してください。

---

**ANR6656I** *Audit command: マシン machine name* に無効なフロア値が見つかりました - フロア値が除去されます。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効なフロアの値が見つかりました。FIX=YES が指定されているので、監査機能はマシンのフロアの値を除去します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: フロアの値を別の値に設定するために

は、監査コマンドの完了後に UPDATE MACHINE コマンドを出してください。

---

**ANR6657I** *Audit command:* マシン *machine name* に無効なルーム値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効なルーム値が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ルームの値を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、UPDATE MACHINE コマンドを出して新しいルームの値を指定してください。

---

**ANR6658I** *Audit command:* マシン *machine name* に無効なルーム値が見つかりました - ルーム値は除去されます。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効なルーム値が見つかりました。FIX=YES が指定されているので、監査機能はマシンのルームの値を除去します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 指定したマシンのルームの値を別の値に設定するためには、監査コマンドの完了後に UPDATE MACHINE コマンドを使用してください。

---

**ANR6659I** *Audit command:* マシン *machine name* に無効なサーバー値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効なサーバー値が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: サーバー値を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、UPDATE MACHINE コマンドを出して新しいサーバーの値を指定してください。

---

**ANR6660I** *Audit command:* マシン *machine name* に無効なサーバー値が見つかりました - デフォルト値が設定されます。

説明: データベース監査処理で、示されたマシンに無効なサーバー値が見つかりました。FIX=YES が指定されているので、監査機能はマシンのサーバーの値をデフォルト値に設定します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に UPDATE MACHINE コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6661I** *Audit command:* 複数のマシンがサーバーとして指示されています。ただ 1 つのマシンのサーバー標識が「YES」に設定されるようにしてください。

説明: データベース監査処理で、サーバー標識が「YES」に設定されたマシンが複数個見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: サーバー標識を「YES」に設定したマシンのリストについては、QUERY MACHINE ADSMSERVER=YES コマンドを出してください。サーバーでない各マシンの場合には、UPDATE MACHINE コマンドを出してください。

---

**ANR6662I** *Audit command:* マシン *machine name* の特性が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースにない特性のマシンから特性参照が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後に、UPDATE MACHINE コマンドを出してデータベースに特性をロードしてください。

---

**ANR6663I** *Audit command:* マシン *machine name* の回復指示が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースにない回復指示について、マシンからの回復指示参照が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 監査コマンドの完了後、UPDATE MACHINE コマンドを出してデータベースに回復指示をロードしてください。

---

**ANR6664I** *Audit command:* 回復メディア *recovery media name* に無効なアクセス値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、示された回復メディアに無効なアクセス値が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: アクセス値を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、UPDATE RECOVERYMEDIA コマンドを出して新しいアクセス値を指定してください。

---

**ANR6665I**    *Audit command:* 回復メディア *recovery media name* に無効なアクセス値が見つかりました - デフォルトの値が設定されます。

説明: データベース監査処理で、示された回復メディアに無効なアクセス値が見つかりました。FIX=YES が指定されているので、監査機能は回復メディアのアクセス値をデフォルト値に設定します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に UPDATE RECOVERYMEDIA コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6666I**    *Audit command:* 回復メディア *recovery media name* に無効なタイプ値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、示された回復メディアに無効なタイプ値が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: タイプ値を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、UPDATE RECOVERYMEDIA コマンドを出して新しいタイプ値を指定してください。

---

**ANR6667I**    *Audit command:* 回復メディア *recovery media name* に無効なタイプ値が見つかりました - デフォルトの値が設定されます。

説明: データベース監査処理で、示された回復メディアに無効なタイプ値が見つかりました。FIX=YES が指定されているので、監査機能は回復メディアのタイプ値をデフォルト値に設定します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に UPDATE RECOVERYMEDIA コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6668E**    *Audit command:* 回復メディアによって参照される内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照している回復メディアが、データベース監査処理で見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 回復メディアの属性を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6669I**    *Audit command:* 回復メディアによって参照される内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません - マシン参照は削除されます。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照している回復メディアが、データベース監査処理で見つかりました。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、この参照はサーバー・データベースから除去されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6670E**    *Audit command:* マシンによって参照される内部回復メディア **ID** *recovery media ID* の回復メディアが見つかりません。

説明: サーバー・データベースに定義されていない回復メディアを参照しているマシンが、データベース監査処理で見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 回復メディアの属性を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6671I**    *Audit command:* マシンによって参照される内部回復メディア **ID** *recovery media ID* の回復メディアが見つかりません - 回復メディアの参照は削除されます。

説明: サーバー・データベースに定義されていない回復メディアを参照しているマシンが、データベース監査処理で見つかりました。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、この参照はサーバー・データベースから削除されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6672E**    *Audit command:* マシンによって参照される内部ノード **ID** *node ID* のクライアント・ノードが見つかりません。

説明: サーバー・データベースに定義されていないクライアント・ノードを参照しているマシンが、データベース監査処理で見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: マシンの属性を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6673I** *Audit command:* マシンによって参照される内部ノード **ID** *node ID* のクライアント・ノードが見つかりません - クライアント・ノード参照は削除されます。

説明: サーバー・データベースに定義されていないクライアント・ノードを参照しているマシンが、データベース監査処理で見つかりました。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この参照はサーバー・データベースから除去されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6674E** *Audit command:* クライアント・ノードによって参照される内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照しているクライアント・ノードが、データベース監査処理で見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: マシンの属性を訂正するために **FIX=YES** を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6675I** *Audit command:* クライアント・ノードによって参照される内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません - マシン参照は削除されます。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照しているクライアント・ノードが、データベース監査処理で見つかりました。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この参照はサーバー・データベースから除去されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6676E** *Audit command:* 特性によって参照される内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照している特性が、データベース監査処理で見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: マシンの属性を訂正するために **FIX=YES** を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6677I** *Audit command:* 特性によって参照されている内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません - マシン参照は削除されます。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照している特性が、データベース監査処理で見つかりました。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この参照はサーバー・データベースから除去されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6678E** *Audit command:* 回復指示によって参照される内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照している回復指示が、データベース監査処理で見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: マシンの属性を訂正するために **FIX=YES** を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6679I** *Audit command:* 回復指示によって参照される内部マシン **ID** *machine ID* のマシンが見つかりません - マシン参照は削除されます。

説明: サーバー・データベースに定義されていないマシンを参照している回復指示が、データベース監査処理で見つかりました。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、この参照はサーバー・データベースから除去されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6680E** *Audit command:* マシン *machine name* に欠落しているか、あるいは無効な内部データベース属性が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、指定されたマシンに無効な属性が見つかりました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: マシンの属性を訂正するために **FIX=YES** を指定してコマンドを出し直してください。

---

---

**ANR6681I**    *Audit command:* マシン *machine name* に欠落しているか、あるいは無効な内部データベース属性が見つかりました - 属性は訂正されます。

説明: データベース監査処理で、指定されたマシンに無効な属性が見つかりました。監査コマンドに **FIX=YES** が指定されているので、正しくない属性は訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6682I**    *Command* コマンドが終了しました:  
*number of volumes* 個のボリュームが処理されました。

説明: 指示されたコマンドは終了しました。正常に処理されたボリュームの合計数が、メッセージに示されています。

システムの処置: 指示されたコマンドは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6683I**    *Command:* ボリューム *volume name* が *from state* 状態から *to state* 状態に移りました。

説明: ボリューム *volume name* は指示されたコマンドによって *state1* から *state2* に正常に移りました。

システムの処置: 指示されるボリュームは宛先の状態に移ります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6684I**    *Command:* ボリューム *volume name* が削除されました。

説明: **MOVE DRMEDIA \***  
**WHERESTATE=COURIERRETRIEVE** コマンドがメッセージを表示します。ボリューム *volume name* がサーバー・データベースから削除されます。データベース・バックアップ・ボリュームの場合には、その期限切れ日数の経過後にオンサイトに戻されると、ボリューム・ヒストリー・レコードが削除されます。空のスクラッチ・コピー・ストレージ・プール・ボリューム、または活動データ・ストレージ・プール・ボリュームの場合には、オンサイトに戻されるとボリューム・レコードが削除されます。

システムの処置: ボリューム・レコードがサーバー・データベースから削除されます。

ユーザーの処置: ボリュームがサーバーによって再利用される場合には、オンサイトに戻されるそれぞれのボリ

ュームに **CHECKIN LIBVOLUME** コマンドを出してください。

---

**ANR6685E**    *Command:* ボリューム *volume name* は定義されていません。

説明: ボリューム *volume name* がサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: ボリューム名がコマンドに明示的に指定されている場合には、示されたコマンドは処理されません。コマンドでボリューム・パターンが指定されている場合には、示されているボリュームは処理されませんが、他のボリュームは処理されます。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6686E**    *Command:* ボリューム *volume name* は使用中です。

説明: **MOVE DRMEDIA \***  
**WHERESTATE=MOUNTABLE** コマンドがメッセージを表示します。ボリューム *volume name* は別の操作に使用されています。

システムの処置: コマンドでボリュームが明示的に指定されている場合には、このコマンドは処理されません。コマンドでボリューム・パターンが指定されている場合には、示されているボリュームは処理されませんが、他のボリュームは処理されます。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、コマンドをやり直してください。ボリュームが現在マウントされていてアイドル中の場合には、**DISMOUNT VOLUME** コマンドを使用してこのボリュームを取り外し、その後でこの操作をやり直してください。

---

**ANR6687E**    *Command:* 実行可能コマンド・ストリングが *maximum length* 文字を超えています。

説明: **CMD** パラメーターとともに指定された実行可能コマンド・ストリングの長さが、許容される文字の最大長 (255) を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドの処理を停止します。

ユーザーの処置: コマンドを出し直して、**CMD** パラメーターで有効な実行可能コマンドを指定してください。



---

**ANR6688E** *command:* 指定されたコマンドはライブラリー *library name* の出入り口ポートが満杯のため失敗しました。出入り口ポートからボリュームを外し、*command name* コマンドを再度実行してください。

説明: 指定されたライブラリーの出入り口ポートが満杯のため、操作は失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 出入り口ポートからボリュームを外し、コマンドを再発行して残りの有効なボリュームを処理してください。

---

**ANR6690E** *Command:* コピー・ストレージ・プール *cstgp name* がオフサイト回復メディア用に定義されていません。

説明: MOVE DRMEDIA または QUERY DRMEDIA コマンドはメッセージを表示します。コピー・ストレージ・プール名を指定して示されているコマンドが出されましたが、指定されたプール名がオフサイト回復メディアの DRM に対して定義されていません。

システムの処置: 示されているコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: オフサイト回復メディアの DRM に対してコピー・ストレージ・プールを定義した後で、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6691E** *Command:* この移動で一致するものは見つかりません。

説明: 示されているコマンドが出されましたが、このサーバーにボリュームが定義されていないか、指定されているボリュームはコマンドで管理されていません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいボリュームを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6694E** *Command:* ORM state 状態は *access mode* アクセス・モードのボリュームには無効です。

説明: 示されているコマンドが、示されているアクセス・モードのボリュームには正しくない、オフサイト回復メディアの状態を指定しています。アクセス・モードが OFFSITE のボリュームに COURIER または COURIERRETRIEVE を指定してください。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: アクセス・モードが OFFSITE のボリュームに、状態として COURIER または

COURIERRETRIEVE を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6695E** *Command:* ボリューム *volume name* の装置クラス *device class name* が定義されていません。

説明: MOVE DRMEDIA または QUERY DRMEDIA コマンドはメッセージを表示します。処理中のボリュームは、サーバーに対して定義されていない、示されている装置クラス名と関連づけられています。

システムの処置: コマンドでボリュームが明示的に指定されている場合には、このコマンドは処理されません。コマンドでボリューム・パターンが指定されている場合には、示されているボリュームは処理されませんが、示されているクラスと関連づけられていない他のボリュームは処理されます。

ユーザーの処置: サーバーに対して示されている装置クラスを定義した後でコマンドを出し直してください。

---

**ANR6696I** *command:* ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* に対する *operation* が開始されています。

説明: 指定されたライブラリーに示されたボリュームに対して、指示された操作を開始中です。

システムの処置: サーバーは、管理者によって入力された指示コマンドに応答して操作を開始します。

ユーザーの処置: SCSI ライブラリー・ユーザーの場合には、スロットからボリュームを除去して、ボリュームがライブラリーから除去されたことをサーバーに知らせるために、要求 ID とともに REPLY コマンドを出してください。

---

**ANR6697I** *command:* ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* に対する *operation* が正常に完了しました。

説明: 指定されたライブラリーに示されたボリュームに対して、指示された操作が正常に完了しました。

システムの処置: このボリュームは、ライブラリーのインベントリから削除されているか (その状況が DATA 以外の場合) または存在しないとしてマークされています (その状況が DATA の場合)。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6698E** *command:* ライブラリー *library name* の  
ボリューム *volume name* に対する  
*operation* が失敗しました。

説明: 指定されたライブラリーに示されたボリュームに  
対して、指示された操作が失敗しました。このメッセー  
ジの前に、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセ  
ージがあるはずです。

システムの処置: このボリュームは処理されません。

ユーザーの処置: 追加のメッセージを調べて、障害の原  
因となった条件を排除してから、コマンドをやり直して  
ください。

---

**ANR6699I** 取り消し処理が進行中

説明: MOVE DRMEDIA コマンドは取り消されて、資  
源がバックグラウンド・プロセス用に解放されると、こ  
のコマンドは終了します。このメッセージは、MOVE  
DRMEDIA コマンドに対する QUERY PROCESS コマ  
ンドに応答して表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6700I** *Command* コマンドは正常に完了しまし  
た。

説明: 示されているコマンドは正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6701E** *Command:* クーリエ名が無効です -  
*courier name*。

説明: 正しくないクーリエ名を指定して、示されている  
コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいクーリエ名を指定してコマンド  
を出し直してください。

---

**ANR6702E** *Command:* 無効な期限切れ日数値 - *days*  
*value*。

説明: 無効な期限切れ日数を指定している、指示された  
コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な期限切れ日数を指定してコマ  
ンドを再発行してください。

---

**ANR6703E** *Command:* 回復計画の接頭部が無効です -  
*prefix*。

説明: 示されたコマンドが無効な回復計画接頭部を指定  
して入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい回復計画の接頭部を付けてコマ  
ンドを出し直してください。

---

**ANR6704E** *Command:* 無効な計画指示接頭部 -  
*prefix*。

説明: 示されたコマンドが無効な計画指示接頭部を指定  
して入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい回復指示の接頭部を付けてコマ  
ンドを出し直してください。

---

**ANR6705E** *Command:* ボリューム接尾部に無効な文字  
があります - *postfix character*。

説明: 回復計画ファイルのボリューム名に正しくない後  
置文字を追加して、示されているコマンドが入力されま  
した。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい文字を付けてコマンドを出し直  
してください。

---

**ANR6706E** *Command:* ボールト名が無効です - *vault*  
*name*。

説明: 正しくないボールト名を指定して、示されている  
コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しいボールト名を指定してコマンド  
を出し直してください。

---

**ANR6707W** *Command:* コピー・ストレージ・プール・  
ボリューム *volume name* の状態、アクセ  
ス、および位置の各属性が更新されません  
でした。

説明: MOVE DRMEDIA コマンドは、別のサーバー操  
作によって使用されているため、ボリューム *volume*  
*name* の状態、アクセス、および位置を更新できません  
でした。

システムの処置: ボリュームが自動化ライブラリーに存  
在していた場合は、MOVE DRMEDIA コマンドが、自  
動化ライブラリーからそのボリュームをチェックアウト  
した可能性があります。

ボリューム・パターンがコマンドで指定されている場合、サーバーは、他のボリュームの処理を続行します。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、MOVE DRMEDIA コマンドをやり直してください。MOVE DRMEDIA コマンドと BACKUP STGPOOL コマンドは同時に実行しないでください。BACKUP STGPOOL コマンドが完了してから、MOVE DRMEDIA コマンドを発行するようにしてください。

**ANR6708W** *Command:* コピー・プール・ボリューム *volume name* は処理されませんでした。ボリュームは使用中でした。

説明: MOVE DRMEDIA コマンドは、別のサーバー操作によって使用されているため、ボリューム *volume name* を処理しませんでした。

システムの処置: ボリュームがコマンドで明示的に指定されていた場合、指示されたコマンドは終了します。ボリューム・パターンがコマンドで指定されていた場合、サーバーは、パターンと一致する他のボリュームの処理を続行します。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、MOVE DRMEDIA コマンドをやり直してください。

**ANR6709W** *Command:* 活動データ・プール・ボリューム *volume name* は処理されませんでした。ボリュームは使用中でした。

説明: MOVE DRMEDIA コマンドは、別のサーバー操作によって使用されているため、ボリューム *volume name* を処理しませんでした。

システムの処置: ボリュームがコマンドで明示的に指定されていた場合、指示されたコマンドは終了します。ボリューム・パターンがコマンドで指定されていた場合、サーバーは、パターンと一致する他のボリュームの処理を続行します。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、MOVE DRMEDIA コマンドをやり直してください。

**ANR6710W** *Command:* 活動データ・ストレージ・プール・ボリューム *volume name* の状態、アクセス、および位置の各属性が更新されませんでした。

説明: MOVE DRMEDIA コマンドは、別のサーバー操作によって使用されているため、ボリューム *volume name* の状態、アクセス、および位置を更新できませんでした。

システムの処置: ボリュームが自動化ライブラリーに存在していた場合は、MOVE DRMEDIA コマンドが、自動化ライブラリーからそのボリュームをチェックアウトした可能性があります。

ボリューム・パターンがコマンドで指定されている場合、サーバーは、他のボリュームの処理を続行します。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、MOVE DRMEDIA コマンドをやり直してください。

**ANR6711E** *Audit command:* 無効なデータベース・バックアップの集合期限切れ日数が、検出されました。

説明: データベース監査処理で、データベース・バックアップの集合の期限切れ日数に、無効値が見つかります。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 期限切れ日数を訂正するため FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、SET DRMDBBACKUPEXPIREDDAYS コマンドを出して、新しい期限切れ日数の値を指定してください。

**ANR6712I** *Audit command:* 無効なデータベース・バックアップの集合期限切れ日数が、検出されました - デフォルトの値が使用されます。

説明: データベース監査処理で、データベース・バックアップの集合の期限切れ日数に、無効値が見つかります。FIX=YES が指定されているので、監査機能は期限切れ日数の値をデフォルト値に設定します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMDBBACKUPEXPIREDDAYS コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6713E** *Audit command:* 無効検査ラベル値が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、正しくない検査ラベルの値が見つかります。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 検査ラベルの値を訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。あるいは、SET DRMCHECKLABEL コマンドを出して新しい検査ラベルの値を指定してください。

**ANR6714I**    *Audit command:* 無効な検査ラベル値が見つかりました - デフォルトの値が設定されます。

説明: データベース監査処理で、正しくない検査ラベルの値が見つかっています。FIX=YES が指定されているので、監査機能は検査ラベルの値をデフォルト値に設定します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMCHECKLABEL コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6715E**    *Audit command:* 無効なファイル・プロセス値が検出されました。

説明: データベース監査処理で、正しくないファイル・プロセスの値が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・プロセスの値を訂正するために FIX=YES を指定して、コマンドを出し直してください。あるいは、SET DRMFILEPROCESS コマンドを出して、新しいファイル・プロセスの値を指定してください。

**ANR6716I**    *Audit command:* 無効なファイル・プロセス値が見つかりました - デフォルトの値が設定されます。

説明: データベース監査処理で、正しくないファイル・プロセスの値が見つかっています。FIX=YES が指定されているので、監査機能によりファイル・プロセスの値はデフォルト値に設定されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMFILEPROCESS コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6717E**    *Audit command:* 関係のない DRM グローバル属性が検出されました。

説明: データベース監査処理で、存在しない DRM グローバル属性が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 関係のない属性を削除するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。

**ANR6718I**    *Audit command:* 関係のない DRM グローバル属性が検出されました - 属性は除去されます。

説明: データベース監査処理で、存在しない DRM グローバル属性が見つかっています。FIX=YES が指定されているので、関係のない属性は削除されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR6719E**    *Audit command:* DRM マシン ID の割り当てが見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 内部マシン ID の割り当て項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。

**ANR6720I**    *Audit command:* DRM マシン ID の割り当てが見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 内部マシン ID の割り当て項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はサーバー・データベースにマシン ID の割り当て項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR6721E**    *Audit command:* DRM 回復メディア ID の割り当てが見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 内部回復メディア ID の割り当て項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。

**ANR6722I**    *Audit command:* DRM 回復メディア ID の割り当てが見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 内部回復メディア ID の割り当て項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はサーバー・データベースに回復メ

ディアド ID の割り当て項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6723E** *Audit command: DRM* 回復計画の接頭部が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 回復計画の接頭部の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6724I** *Audit command: DRM* 回復計画の接頭部が見つかりません - 項目が作成されません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 回復計画の接頭部の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースに回復計画ファイルの接頭部項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に SET DRMPANFILEPREFIX コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6725E** *Audit command: DRM* 回復計画指示の接頭部が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 回復計画指示の接頭部の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6726I** *Audit command: DRM* 回復計画指示の接頭部が見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM 回復計画指示の接頭部の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースに回復計画指示ファイルの接頭部項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMPANINSTRPREFIX コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6727E** *Audit command: DRM* 置き換えボリューム名の接尾部が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに置き換えボリューム名の DRM 接尾部文字の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6728I** *Audit command: DRM* 置き換えボリューム名の接尾部が見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに置き換えボリューム名の DRM 接尾部文字の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、デフォルト値を使用して、サーバー・データベースに置き換えボリュームの接尾部の項目が、監査機能によって作成されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMPANVPOSTFIX コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6729E** *Audit command: DRM* によってリストアされる 1 次ストレージ・プールが見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM によってリストアされる 1 次ストレージ・プールの項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6730I** *Audit command: DRM* によってリストアされる 1 次ストレージ・プールが見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM によってリストアされる 1 次ストレージ・プールの項目が見つかりません。監査コマンドに

FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースに DRM によってリストアされる 1 次ストレージ・プールの項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMPRIMSTGPOOL コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6731E** *Audit command: DRM* によって管理されるコピー・ストレージ・プールが見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM によって管理されるコピー・ストレージ・プールの項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

**ANR6732I** *Audit command: DRM* によって管理されるコピー・ストレージ・プールが見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM によって管理されるコピー・ストレージ・プールの項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースに DRM によって管理されるコピー・ストレージ・プールの項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMCOPYSTGPOOL コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6733E** *Command: process name* プロセスの初期化を完了できません。

説明: 初期化のプロセス中に指示されたプロセスが失敗しました。

システムの処置: 指示されたコマンドは終了して、サーバーの処理が続行されます。

ユーザーの処置: 通常、これはサーバー上に使用可能な十分なサーバー・メモリーがないことを示しています。

アプリケーション用にメモリーを増やす方法について

は、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

**ANR6734E** *Command: ボリューム volume name* は処理されません。ライブラリー *library name* が定義されていません。

説明: 指定されたライブラリーが定義されていないかあるいは削除されているため、示されているボリュームは処理されません。

システムの処置: このボリュームは処理されません。

ユーザーの処置: 別のライブラリー名を使用してコマンドをやり直すか、またはライブラリーを定義してからコマンドをやり直してください。

**ANR6735E** *Audit command: ORM* のクォリエ情報が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるクォリエ名の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

**ANR6736I** *Audit command: ORM* のクォリエ情報が見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるクォリエ名の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースにクォリエ名の定義項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMCOURIERNAME コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6737E** *Audit command: ORM* のボールド名が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるボールド名の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6738I**    *Audit command: ORM* のボールド名が見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるボールド名の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースにボールド名の定義項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMVaultName コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6739E**    *Audit command: ORM* のデータベース・バックアップの集合の期限切れ日数が、見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) が使用するデータベース・バックアップの集合の期限切れ日数の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6740I**    *Audit command: ORM* のデータベース・バックアップの集合の期限切れ日数が、見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) が使用するデータベース・バックアップの集合の期限切れ日数の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、データベース・バックアップの集合の期限切れ日数の定義項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMDBBACKUPEXPIREDAYS コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6741E**    *Audit command: ORM* の検査ラベル標識が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用される検査ラベルの定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6742I**    *Audit command: ORM* の検査ラベル標識が見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用される検査ラベルの定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースに検査ラベルの定義項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMCHECKLABEL コマンドを出して値を変更してください。

---

**ANR6743E**    *Audit command: ORM* のファイル・プロセス標識が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるファイル・プロセスの定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6744I**    *Audit command: ORM* のファイル・プロセス標識が見つかりません - 項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるファイル・プロセスの定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースにファイル・プロセスの定義項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMFILPROCESS コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6745E** *Audit command: DRM 回復メディア ID* の割り当てが正しくありません。

説明: データベース監査処理で、サーバー DRM 活動に使用されるグローバル属性回復メディア ID が正しくないことを検出しました。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: DRM グローバル属性を訂正できるように FIX=YES を指定して、監査コマンドをやり直してください。

**ANR6746I** *Audit command: DRM 回復メディア ID* の割り当てが正しくありません。値は訂正されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー DRM 活動に使用されるグローバル属性回復メディア ID が正しくないことを検出しました。AUDIT コマンドには FIX=YES が指定されているので、サーバー・データベースで属性値が訂正されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR6747I** 処理されたボリュームの数: *number*

説明: MOVE DRMEDIA コマンドが、表示されたボリューム数を処理しました。このメッセージは、MOVE DRMEDIA コマンドに対する QUERY PROCESS コマンドに応答して表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR6749I** *Command: プロセス process ID* が完了前に終了しました - プロセスは取り消されました。

説明: 表示されたコマンドを実行中の指示バックグラウンド・プロセスが取り消されました。

システムの処置: 他のプロセスを実行中の場合には、これらのプロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR6750E** 災害時回復機能の操作 *command being processed* が拒否されました - サーバーがライセンス条項に適合していません。

説明: 現行のサーバー構成がライセンス状況に適合していないので、サーバーが災害時回復機能の操作を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。災害復

旧操作は、サーバーが 災害時回復管理機能 製品のライセンスを得るまで実行できません。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE コマンドを出して、適合していないライセンス状況を調べてください。

**ANR6751E** 災害時回復機能操作 *command being processed* が拒否されました - サーバーは災害時回復機能のサポートをライセンスされていません。

説明: サーバーが災害時回復機能をサポートするライセンスを付与されていないので、サーバーが災害時回復機能の操作を拒否しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 災害時回復管理機能をサポートするには、サービス・プロバイダーまたは販売店からライセンスを取得してください。このライセンスに付属している REGISTER LICENSE コマンドを発行して、災害時回復管理機能のサポートを使用可能にします。

**ANR6752W** 災害時回復機能操作 *Command being processed* がサーバーのライセンス条項に違反しています - サーバーは災害時回復機能のサポートをライセンスされていません。

説明: サーバーが災害時回復機能をサポートするライセンスを付与されていないので、サーバーが災害時回復機能の操作について警告しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サービス提供者または再販業者から、災害時回復機能をサポートするライセンスを、取得してください。このライセンスを指定した REGISTER LICENSE コマンドを出して、災害時回復機能サポートを使用できるようにしてください。

**ANR6753E** ライセンスへの適合を検査中に *command being processed* が内部サーバー・エラーを検出しました。

説明: サーバーが、ライセンス条項に適合しているかどうかの判別中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY LICENSE および QUERY STATUS コマンドを出して、サーバーがライセンス条項に適合しているかどうかを調べてください。AUDIT LICENSES プロセスを開始して、サーバーのライセンス情報を調整してください。このプロセスが完了したら、もう一度セッションを開始してください。それでも問題



が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6754I** マシン *machine name* 特性が削除されました。

説明: DELETE MACHINE コマンドで、要求した特性がサーバーから削除されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6755I** マシン *machine name* の回復指示が削除されました。

説明: DELETE MACHINE コマンドで、要求した回復指示がサーバーから削除されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6756E** マシン *machine name* の特性がサーバーに定義されていません。

説明: DELETE MACHINE で、要求した特性をサーバーから削除することはできません。指定したマシンの特性がサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: サーバーに対して特性が定義されているマシンを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6757E** マシン *machine name* の回復指示がサーバーに定義されていません。

説明: DELETE MACHINE コマンドでは、要求した回復指示をサーバーから削除できません。指定したマシンの回復指示がこのサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このコマンドは影響を与えません。

ユーザーの処置: 回復指示がサーバーに定義されているマシンを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6758E** *Command:* 指定できる文字ストリングは 1 つだけです。

説明: INSERT コマンドが無効です。このコマンドに指定できるのは、特性ストリングか、あるいは回復指示ストリングのいずれかです。このコマンドに同時に、両方のタイプのストリングを指定することはできません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

---

ユーザーの処置: 有効な文字ストリングを 1 つだけ指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6759E** 災害時回復機能の操作 *command being processed* が拒否されました - サーバー・プラットフォーム *platform* に対して、災害時回復機能のサポートが使用可能になっていません。

説明: 示されたサーバー・プラットフォームでは災害時回復機能のサポートが使用できないので、サーバーは災害時回復機能の操作を拒否します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6760E** *Command:* 実行可能コマンド・ラインがボリューム *volume name* の *maximum length* 文字を超えています。

説明: コマンド・ファイルへの書き込み中に、次の条件の 1 つが起きました。

- コマンド・ファイルに書き込まれるコマンド・ラインの長さが MVS に指定された LRECL を超えているか、あるいは書き込まれるコマンド・ラインのデフォルトの長さ (255) を超えています。
- 置き換え変数 &VOL、&VOLDSN、&NL、および &LOC の置き換え後に作成されたコマンドの長さがサーバーで使用可能なコマンド・ラインの長さ (1500) を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドの処理を停止します。

ユーザーの処置: コマンドを出し直して、CMD パラメーターで有効な実行可能コマンドを指定してください。

ボリュームがライブラリーから排出される場合には、サーバー・データベースがそのボリュームの実際の状態を反映していない可能性があります。MOVE DRMEDIA の場合には、このエラーの原因を調べてからコマンドをやり直してください。MOVE MEDIA の場合には、ボリュームのアクセスを読み取り専用に設定する、ボリューム更新コマンドを出す必要があります。

このメッセージが MOVE または QUERY DRMEDIA コマンドによって出され、そのボリューム・レコードがサーバー・データベースから削除されている場合には、MOVE または QUERY DRMEDIA コマンドを使用して、このボリュームのコマンド・ファイル項目を作成することはできません。この場合には、適切なコマンドを手操作でコマンドを入れる必要があります。

---

---

**ANR6761E** *Command:* **WHERESTATE** パラメーターが必要です。

説明: 示されたコマンドは、パターン・マッチング・キヤラクター、および **TOSTATE** パラメーターを含むボリューム名を指定します。**WHERESTATE** パラメーターは指定されません。この指定は無効です。ボリューム名のパターン照合は、**WHERESTATE** パラメーターが指定されているときにだけ使用可能です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 特定のボリューム名を指定するか、または **TOSTATE** パラメーターとともに **WHERESTATE** パラメーターを指定して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR6762E** *Command:* 指定された宛先の状態 *tostate* は *current state* 状態のボリューム *volume name* には無効です。

説明: 示された現在の状態の中に表示されているボリューム名には無効な宛先の状態が、指示されたコマンドによって指定されています。

システムの処置: サーバーはボリュームを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを出し直して、表示されたボリューム名に有効な宛先の状態を指定してください。

---

**ANR6763I** *Command:* 指定されたコマンドがファイル '*file name*' に書き込まれました。

説明: 表示されたコマンドに **CMD** パラメーターとともに指定されたコマンド・ストリングは、各ボリュームの順次処理が指示されたファイルに書き込まれます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ファイルに書き込まれたコマンドを実行してください。

---

**ANR6764E** *command:* コマンド・ファイル名が *maximum characters* 文字を超えています。

説明: **DRM** によって生成される実行可能コマンドを入れるために指定されたファイル名が、示された最大有効長を超えています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なファイル名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6765E** *Command:* マウント可能でない位置名が無効です - *not mountable name*。

説明: 示されたコマンドが、無効な取り付け不能位置名を指定して入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な取り付け不能位置名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6766E** *Command:* **FORMAT=CMD** にコマンド・ストリングが指定されていません。

説明: コマンド・ストリングをファイルに書き込むために、示されたコマンドが **FORMAT=CMD** を指定して入力されましたが、コマンド・ストリングが指定されていません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: ファイルに書き込むコマンド・ストリングを指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6767E** *Command:* コマンド・ファイル名が無効です - *command file name*。

説明: 示されたコマンドが、無効なコマンド・ファイル名を指定して入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効なコマンド・ファイル名を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6768E** *command:* 接頭部が *maximum characters* 文字を超えています。

説明: 回復計画ファイルまたは計画指示ファイルに指定された接頭部が許容最大長を超えています。最大有効長がメッセージに示されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6769E** *Audit command:* **ORM** のマウント可能でない名前情報が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに **DRM** オフサイト回復メディア (**ORM**) によって使用される取り付け不能位置名の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために **FIX=YES** を指定して監査コマンドを出し直してください。

**ANR6770I** *Audit command: ORM* のマウント可能でない名前情報が見つかりません。項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用される取り付け不能位置名の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、サーバー・データベースにクリーエ名の定義項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMNOTMOUNTABLENAME コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6771E** *Audit command: ORM* のコマンド・ファイル名情報が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるコマンド・ファイル名の定義項目が見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

**ANR6772I** *Audit command: ORM* のコマンド・ファイル名情報が見つかりません。項目が作成されます。

説明: データベース監査処理で、サーバー・データベースに DRM オフサイト回復メディア (ORM) によって使用されるコマンド・ファイル名の定義項目が見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、監査機能はデフォルト値を使用して、コマンド・ファイル名定義のサーバー・データベースの中に項目を作成します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMCMDFILENAME コマンドを出して値を変更してください。

**ANR6773E** *Command: ファイル 'command file name'* を出力用にオープンできません。

説明: 示されたコマンド・ファイル名をオープンしているときにエラーが起きました。メッセージに表示されたファイル名は、指示されたコマンド、SET コマンド、

または指示されたコマンドによって生成されたデフォルト名とともに指定されます。

システムの処置: サーバーは指定されたコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。示されているファイルへの書き込み権限が、サーバーにあることを確認してください。AIX では、コマンドまたは SET コマンドに指定されたファイル名が、ディレクトリー・パス名ではなく、完全なパスのファイル名であることを確認してください。MVS では、コマンドまたは SET コマンドに指定されたファイル名が、有効な MVS ファイル名であることを確認してください。このエラーの原因を調べてから、コマンドを出し直してください。

**ANR6774E** *Command: ポリユームの変位状態が無効です - 'specified WHERESTATE' 状態から 'specified TOSTATE' 状態へ。*

説明: 指定された TOSTATE は指定された WHERESTATE には無効な宛先の状態です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを出し直して、有効な宛先の状態を指定してください。

**ANR6775E** *Command: ポリユーム volume name のファイル 'file name' への書き込みエラー。*

説明: 指示されたポリユームに示されたファイル名への書き込み中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーはコマンドの処理を停止します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。示されているファイルへの書き込み権限が、サーバーにあることを確認してください。このエラーの原因を調べてから、コマンドを出し直してください。

ポリユームがライブラリーから排出される場合には、サーバー・データベースがそのポリユームの実際の状態を反映していない可能性があります。MOVE DRMEDIA の場合には、このエラーの原因を調べてからコマンドをやり直してください。MOVE MEDIA の場合には、ポリユームのアクセスを読み取り専用に設定する、ポリユーム更新コマンドを出す必要があります。

このメッセージが MOVE または QUERY DRMEDIA コマンドによって出され、そのポリユーム・レコードがサーバー・データベースから削除されている場合には、

MOVE または QUERY DRMEDIA コマンドを使用し、このボリュームのコマンド・ファイル項目を作成することはできません。この場合には、適切なコマンドを手操作でコマンドを入れる必要があります。

---

**ANR6776E** *Command:* ファイル *file name* を削除できませんでした。

説明: 指示されたコマンドは正常に実行されませんでしたが、作成されたファイルを削除することができませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 表示されたファイルを削除してください。

---

**ANR6777E** *Command:* コマンド・ファイル '*file name*' は既に使用中です。

説明: 示されているコマンドは、使用中のコマンド・ファイル名を参照しています。表示されたコマンド・ファイル名は、サーバーで使用するために次の順序で選択されます。

- 指示されたコマンドに指定されたファイル名
- SET コマンドに指定されたファイル名
- サーバーによって生成されたファイル名 (AIX のみ)

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 後でコマンドを再発行するか、あるいは別のコマンド・ファイル名を指定して、コマンドを入力し直してください。

---

**ANR6778E** *Command:* ボリューム *volume name* は処理されません。装置タイプ *device type* はサポートされていません。

説明: 表示された装置タイプがこのファンクションでサポートされていないために、指示されたボリュームは処理されていません。

システムの処置: 示されているボリュームは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6779E** 災害時回復機能の操作 *command being processed* は拒否されています - 災害時回復機能のサポートは、サーバー・プラットフォームには使用することができません。

説明: サーバー・プラットフォームでは災害時回復機能のサポートが使用できないので、サーバーは災害時回復機能の操作を拒否します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6780E** *Audit command:* 回復計画ファイルの無効な期限切れ日数が見つかりました。

説明: データベース監査処理で、回復計画ファイルの期限切れ日数に無効値が見つかっています。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: 期限切れ日数を訂正するため FIX=YES を指定してコマンドを出し直してください。または、SET DRMRPFEXPIREDAYS コマンドを実行し、新しい期限切れ日数値を指定してください。

---

**ANR6781I** *Audit command:* 回復計画ファイルの無効な期限切れ日数が見つかりました - デフォルトの値が設定されます。

説明: データベース監査処理で、回復計画ファイルの期限切れ日数に無効値が見つかっています。FIX=YES が指定されているので、監査機能は期限切れ日数の値をデフォルト値に設定します。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET DRMRPFEXPIREDAYS コマンドを実行して値を変更してください。

---

**ANR6782E** *Audit command:* 回復計画ファイルの期限切れ日数が見つかりません。

説明: データベース監査処理で、回復計画ファイルの期限切れ日数定義の項目がサーバー・データベース中に見つかりません。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: エラーを訂正するために FIX=YES を指定して監査コマンドを出し直してください。

---

**ANR6783I** *Audit command:* 回復計画ファイルの期限切れ日数が見つかりません - 項目は作成されます。

説明: データベース監査処理で、回復計画ファイルの期限切れ日数定義の項目がサーバー・データベース中に見つかりません。監査コマンドに FIX=YES が指定されているので、サーバー・データベースに回復計画ファイルの期限切れ日数定義の項目が、監査機能によってデフォルト値を使用して作成されます。

システムの処置: 監査処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルト値を一時変更するためには、監査コマンドの完了後に、SET

DRMRPFEXPIREDAYS コマンドを実行して値を変更してください。

---

**ANR6784I** 処理されたボリュームの数: *number volumes processed*。チェックアウトのためにライブラリー *library name* に送信されたボリューム数: *number volumes sent*。

説明: MOVE DRMEDIA コマンドが、表示されたボリュームの数を処理しました。現在 MOVE DRMEDIA コマンドが、表示されたボリュームの数を処理するために、表示されたライブラリーに送っています。このメッセージは、MOVE DRMEDIA コマンドに対する QUERY PROCESS コマンドに回答して表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6785W** 警告: ADSM V3 災害復旧管理機能ディスク・イメージ・ダンプ機能は、災害時回復管理機能 ではサポートされません。  
**ADSM V3 DRM** ディスク・イメージ・リストア機能は安定化され、新規保守またはハードウェア・サポートは計画されていません。

説明: ありません。

システムの処置: DRM ディスク・イメージ・ダンプおよびリストア機能は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6900I** *Command:* 回復計画ファイル *file name* が作成されました。

説明: 回復計画ファイルが作成されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6901I** 処理された計画スタンザの数: *number*。

説明: PREPARE コマンドが、表示されたスタンザの数を処理しました。このメッセージは、PREPARE コマンドで QUERY PROCESS に応えて表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6902I** 処理された計画スタンザの数: *number*。  
現在処理中のスタンザ: *recovery plan stanza name*。

説明: PREPARE コマンドは、既に処理されたスタンザの数、および現在処理中のスタンザの名前を表示します。このメッセージは、PREPARE コマンドで QUERY PROCESS に応えて表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6903I** 取り消し処理が進行中

説明: PREPARE コマンドは取り消され、資源がバックグラウンド・プロセス用に解放されると、終了します。このメッセージは、PREPARE コマンドで QUERY PROCESS に応えて表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6904I** ターゲット・サーバーに回復計画ファイルを送信中です。

説明: PREPARE コマンドは、回復計画ファイルをターゲット・サーバーに送信中です。このメッセージは、PREPARE コマンドで QUERY PROCESS に応えて表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6905I** *Command:* 回復計画ファイル *RPF volume name* が作成されました。指定の装置クラスは *device class name* です。

説明: 回復計画ファイルがターゲット・サーバーに作成されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6912W** *Command:* データベースがバックアップされませんでした。

説明: サーバー・データベースのバックアップが行われませんでした。

システムの処置: 回復計画のスタンザには、データベースの回復情報が含まれません。

ユーザーの処置: BACKUP DB コマンドを出して、サーバー・データベースのバックアップを行ってください。

---

**ANR6913W** *Command:* コピー・ストレージ・プール *storage pool name* の中にバックアップ・データをもつボリュームがありません。

説明: コピー・ストレージ・プールに、使用可能なデータを持つボリュームが入っていません。

システムの処置: このストレージ・プールのボリュームに対する回復情報は、回復計画のスタンザに組み込まれません。

ユーザーの処置: このストレージ・プールには使用可能なデータを持つボリュームがない理由を、調べてください。

---

**ANR6914W** *Command:* 活動データ・ストレージ・プール *storage pool name* の中に活動データを持つボリュームがありません。

説明: 活動データ・ストレージ・プールに、使用可能なデータを持つボリュームが入っていません。

システムの処置: このストレージ・プールのボリュームに対する回復情報は、回復計画のスタンザに組み込まれません。

ユーザーの処置: このストレージ・プールには使用可能なデータを持つボリュームがない理由を、調べてください。

---

**ANR6915W** *Command:* ストレージ・プール *storage pool name storage pool type* がサーバーに対して定義されません。

説明: SET DRMPRIMSTGPOOL、SET DRMCOPYSTGPOOL、または PREPARE コマンド・ラインで、サーバーに対して定義されていないストレージ・プールが指定されました。

システムの処置: 回復計画のスタンザに、このストレージ・プールの回復情報は組み込まれません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの指定を訂正するか、あるいはサーバーに対して、このストレージ・プールを定義してください。

---

**ANR6916W** *Command:* コピー・ストレージ・プールが定義されていません。

説明: サーバーに定義済みのコピー・ストレージ・プールがありません。

システムの処置: 回復計画ファイルに、コピー・ストレージ・プールの情報は組み込まれません。

ユーザーの処置: サーバーにコピー・ストレージ・プールを定義してください。

---

**ANR6918W** *Command:* 回復指示ファイル *file name* が見つかりません。

説明: 回復指示のソース・ファイルが見つかりません。

システムの処置: 回復計画に回復指示は組み込まれません。

ユーザーの処置: 回復計画に回復指示を入れるには、対応する指示のソース・ファイルが存在することを、確認してください。存在する場合には、このファイルに対する権限を調べてください。

---

**ANR6920W** *Command:* *volume name* はサーバー装置タイプ *device type* には無効です。元のボリューム名: *volume name*。スタンザは *stanza name* です。

説明: 置き換えボリューム名の (SET DRMPPLANVPOSTFIX で定義した) 接尾部を、元のボリューム名に追加したため、表示されたサーバー装置タイプに対して、無効な名前が作成されました。

システムの処置: 置き換えボリューム名は、回復計画スタンザで使用されます。

ユーザーの処置: 置き換えボリューム名の接尾部を使用できる命名規則を考案するか、あるいは生成された回復計画を正しい置き換え名を指定してリストア時に手操作で更新します。

---

**ANR6921W** *Command:* サーバー・オプション・ファイル '*file name*' を見付けることができません。

説明: Prepare コマンドで、指定したサーバー・オプション・ファイルをオープンできません。

システムの処置: VOLHISTORY および DEVCONFIG オプションが、回復計画ファイルのスタンザ DSMSERV.OPT.FILE に追加されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6922W** *Command:* サーバー *server name* が入っているマシンの、マシン情報が定義されていません。

説明: マシン情報がサーバー・データベースに保存されていません。

システムの処置: 回復計画ファイルにマシンおよび回復メディア情報スタンザが入っていません。

ユーザーの処置: 回復計画ファイルにマシン情報を組み込みたい場合には、DEFINE MACHINE コマンドを出して、マシン情報をサーバー・データベースに保存してから、PREPARE コマンドを出し直してください。

**ANR6923W** *Command:* マシン *machine name* の回復メディアが定義されていません。

説明: 指定されたマシンのサーバーに対して回復メディアが定義されていません。

システムの処置: 回復計画ファイルには、マシン回復メディア・スタンザが入っていません。

ユーザーの処置: 回復計画ファイルにマシン回復メディア情報を組み込みたい場合には、DEFINE RECOVERYMEDIA コマンドを出してください。該当のコマンドを出した後で、PREPARE コマンドを出して、回復メディアを定義してください。

**ANR6924W** *Command:* マシン *machine name* の回復指示が定義されていません。

説明: 指定されたマシンのサーバーに対して、回復指示が定義されていません。

システムの処置: 回復計画ファイルには、マシン回復指示スタンザが入っていません。

ユーザーの処置: 回復計画ファイルにマシン回復指示を組み込みたい場合には、INSERT コマンドを出してください。該当のコマンドを出した後で、PREPARE コマンドを出して、回復メディアを定義してください。

**ANR6925W** *Command:* マシン *machine name* のマシン特性が定義されていません。

説明: 指定されたマシンのサーバーに対して特性が定義されていません。

システムの処置: 回復計画ファイルには、マシン特性スタンザが入っていません。

ユーザーの処置: 回復計画ファイルにマシン回復指示を組み込みたい場合には、INSERT コマンドを出してください。該当のコマンドを出した後で、PREPARE コマンドを出して、回復メディアを定義してください。

**ANR6926W** *Command:* スタンザ *stanza name* 内のサーバー装置タイプ *device type* のストレージ・プール *storage pool* と関連して生成されたボリューム名の少なくとも 1 つが無効です。

説明: 置き換えボリューム名の (SET DRMPPLANVPOSTFIX で定義した) 接尾部を、元のボリューム名に追加したため、表示されたサーバー装置タイプに対して、無効な名前が作成されました。

システムの処置: 置き換えボリューム名は、回復計画スタンザで使用されます。

ユーザーの処置: 置き換えボリューム名の接尾部を使用

できる命名規則を考案するか、あるいは生成された回復計画を正しい置き換え名を指定してリストア時に手操作で更新します。

**ANR6927W** *Command:* 1 次ストレージ・プール *storage pool name*、*storage pool data format* が DRM によって管理されていません。

説明: SET DRMPRIMSTGPOOL または PREPARE コマンドで、NDMP を使用して NAS ファイル・サーバーのバックアップに使用される 1 次ストレージ・プールが指定されました。DRM は、このデータ・フォーマットのストレージ・プールを管理しません。

システムの処置: 回復計画のスタンザに、このストレージ・プールの回復情報は組み込まれません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの指定を訂正してください。

**ANR6928W** *Command:* 指定されたストレージ・プール *storage pool name* と一致する適格な 1 次ストレージ・プールはありません。

説明: SET DRMPRIMSTGPOOL によって、または PREPARE コマンドに指定されたストレージ・プールが、適格な 1 次ストレージ・プールと一致しません。考えられる理由は次のとおりです。

- 1 次ストレージ・プールが定義されていません。
- 1 次ストレージ・プールは定義されているが、そのデータ・フォーマットが NAS ファイル・サーバーであるか、その装置クラスで CENTERA 装置タイプが使用されています。
- 指定された名前が適格な 1 次ストレージ・プール名と一致しません。

システムの処置: 回復計画のスタンザに、このストレージ・プールの回復情報は組み込まれません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの指定を訂正するか、あるいはサーバーに対して適格なストレージ・プールを定義してください。

**ANR6929W** *Command:* サーバーに対して適格な 1 次ストレージ・プールが定義されていません。

説明: サーバーには、適格な 1 次ストレージ・プールが定義されていません。

システムの処置: 回復計画ファイルに、1 次ストレージ・プールの情報は組み込まれません。

ユーザーの処置: サーバーに対して適格な 1 次ストレージ・プールを定義してください。

---

**ANR6930W** *Command:* **CENTERA** 装置タイプを使用する装置クラスを持つ 1 次ストレージ・プール *storage pool name* は、**DRM** によって管理されていません。

説明: SET DRMPRIMSTGPOOL または PREPARE コマンドで、CENTERA 装置タイプを使用する装置クラスを持つ 1 次ストレージ・プールが指定されました。DRM は、CENTERA 装置タイプを使用するストレージ・プールを管理しません。

システムの処置: 回復計画のスタンザに、このストレージ・プールの回復情報は組み込まれません。

ユーザーの処置: ストレージ・プールの指定を訂正してください。

---

**ANR6937E** *command: parameter name* パラメーターは、コマンド・ラインから使用できません。

説明: 表示されたパラメーターは、コマンド・ライン・インターフェースから使用できません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: Web からこのパラメーターを指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR6938I** スタンザ *stanza name* についての情報が見つかりません。

説明: 表示された回復計画ファイル・スタンザについての情報が見つかりません。

システムの処置: サーバーはスタンザについての情報を表示しません。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR6939E** *Command:* 回復計画ファイルのスタンザ名 *stanza name* が無効です。

説明: 指定の回復計画ファイルのスタンザ名が無効です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このコマンドを再発行し、有効な回復計画ファイルのスタンザ名を指定してください。

---

**ANR6940E** *command* コマンドはサーバー・コンソールから使用できません。

説明: 指示されたコマンドは、サーバー・コンソールから指定することができません。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 管理クライアントを使用して、管理者からこのコマンドを入力し直してください。

---

**ANR6941E** 回復計画ファイル内容の照会は装置クラス *device class name* でマウント・ポイントを待機中です。

説明: 回復計画ファイル内容の照会が、表示されている装置クラス中で、ボリュームに使用できるマウント・ポイントを待機し始めています。

システムの処置: この機能はマウント・ポイントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR6942E** 回復計画ファイル内容の照会は入力ボリューム *volume name* へのアクセスを待機中です。

説明: 表示されている入力ボリュームの使用可能になるのを、回復計画ファイル内容の照会が待機し始めています。

システムの処置: この機能はボリュームが使用可能になるのを待機します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR6943E** 回復計画ファイル内容の照会は入力ボリューム *volume name* のマウントを待機中です。

説明: 表示されている入力ボリュームがマウントされるのを、回復計画ファイル内容の照会が待機し始めています。

システムの処置: この機能はマウントを待機します。

ユーザーの処置: マウント要求に応答してください。

---

**ANR6944E** *Command:* 回復計画ファイル名 *recovery plan file name* が無効です。

説明: コマンドで指定された回復計画ファイル名が無効です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このコマンドを出し直して、正しい回復計画ファイル名を指定してください。

---

**ANR6945E** *Command:* 回復計画ファイル *recovery plan file name* 用のファイル・スペース *filespace name* を見つけることができません。

説明: サーバーは、そのサーバーで指定された回復計画



ファイル用のファイル・スペース (ADSM.SERVER) を見つけることができません。

システムの処置: リトリブ操作は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーで QUERY FILESPACE コマンドを出して、回復計画ファイル用に作成されたファイル・スペースがあるかどうかを確認してください。回復計画ファイル用のファイル・スペース名は ADSM.SERVER です。

---

**ANR6946E** *Command: recovery plan file name* のリトリブに失敗しました - 入力ストレージ装置でエラーです。

説明: 装置からの読み取り中にサーバーによって入出力エラーが検出されたので、サーバーはリトリブ操作を終了します。

システムの処置: リトリブ操作は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 活動記録ログを照会して、このメッセージの前にあるメッセージ (障害のある装置を示している) を見つけてください。ハードウェア障害を訂正するには、HALT コマンドを使用してサーバーをシャットダウンすることが必要な場合があります。

---

**ANR6947E** *Command: データ・ストレージからの recovery plan file name* のリトリブに失敗しました - エラーが検出されました。

説明: サーバー上でエラーが検出されたので、サーバーはリトリブ操作を終了します。このエラーの一般的な原因の一部を以下に示します。

- 入力ボリュームのデータが壊れていた。
- ハードウェアまたはメディアの障害が発生した。
- データベースが壊れていた。

システムの処置: リトリブ操作は終了し、サーバーの操作は続行されます。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを調べて、このエラーの原因を判別してください。QUERY ACTLOG コマンドを使用して活動記録ログを表示し、必要があれば、メッセージを検索してください。問題を訂正してからリストアまたはリトリブ操作を再試行してください。操作を再試行してもまだ失敗する場合はサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6948E** *Command: Recovery plan file name* の回復計画ファイルを見つけることができません。

説明: サーバーは指定された回復計画ファイルを見つめることができません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このコマンドを出し直して、正しい回復計画ファイル名を指定してください。その内容の表示に関心がある回復計画ファイルの名前を表示するには、QUERY RPFIL コマンドを使用してください。

---

**ANR6949E** *Command:* 一致する装置クラスが定義されていません。

説明: コマンドに指定された装置クラスが、サーバーに対して定義されたどの装置クラスとも一致しません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: このコマンドを出し直して、正しい装置クラスを指定してください。

---

**ANR6950E** *Command:* 回復計画ファイルは作成されませんでした。

説明: 処理エラーのために、回復計画ファイルが作成されていません。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。このエラーの原因を調べてからコマンドを出し直してください。

---

**ANR6951E** *Command:* 回復計画ファイル *file name* は作成されませんでした。

説明: 処理エラーのために、回復計画ファイルが作成されていません。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。表示のファイルに書き込む適正な権限がサーバーに存在すること、およびこのファイルのファイル・システムに十分なスペースがあることを確認してください。このエラーの原因を調べてからコマンドを出し直してください。

---

**ANR6952E** *Command:* ファイル名 *file name* は既に存在しています。

説明: ファイルは既に存在しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ファイルが既に存在する理由を調べてください。可能ならば削除してください。このエラーの原因を調べてからコマンドを出し直してください。

---

**ANR6953E** *Command:* ファイルの書き込みエラー。

説明: 回復計画ファイルへの書き込み時にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。このファイルのファイル・システムに、十分なスペースがあることを確認してください。このエラーの原因を調べてから、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6954E** *Command:* ファイル '*file name*' を出力用にオープンできません。

説明: 出力のための回復計画ファイルのオープン時にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。示されているファイルへの書き込み権限が、サーバーにあることを確認してください。このエラーの原因を調べてから、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6959E** *Command:* 計画指示の接頭部 '*instructions prefix*' が無効です。

説明: 回復指示に指定された接頭部が正しくありません。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。

---



---

**ANR6960E** *Command:* 回復計画の接頭部 '*plan prefix*' が無効です。

説明: 回復計画ファイルに指定された接頭部が長過ぎます。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6962E** *Command:* データベースの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースの照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6963E** *Command:* ログの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースの照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6964E** *Command:* ストレージ・プールの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースに照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

---

**ANR6965E** *Command:* ボリュームの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースに照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6966E** *Command:* データベース・ボリュームの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースの照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6967E** *Command:* ログ・ボリュームの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースの照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6968E** *Command:* ボリューム・ヒストリーの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースに照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することが

できない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6969E** *Command:* 装置クラスの照会が失敗しました。

説明: サーバー・データベースに照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6970E** *Command:* 回復計画ファイルは既に作成中です。

説明: サーバー・コマンド・プロセッサは、別の PREPARE コマンドを実行するバックグラウンド・プロセスを開始しません。

システムの処置: コマンドのプロセスは終了してサーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 最初の PREPARE コマンドが完了した後でコマンドを出し直してください。

---

**ANR6971E** *Command:* 計画ファイル *plan file name* を削除することができませんでした。

説明: prepare コマンドは実行されませんでした、作成された計画ファイルを削除できませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 計画ファイルを削除してください。

---

**ANR6972E** *Command:* マシンの照会が失敗しました。

説明: サーバーのマシン照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6973E** *Command:* 回復メディアの照会が失敗しました。

説明: サーバーの回復メディア照会エラーが起きました。このメッセージは、このエラーの詳細を示す別のエラー・メッセージを常に伴っています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: QUERY ACTLOG コマンドを出して、活動記録ログを表示してメッセージを探してください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR6974E** *Command:* ファイル *file name* をオープンできません。

説明: ローカル回復計画ファイルのコピーをターゲット・サーバーに送信するため、PREPARE が回復計画ファイルを開こうとしているときにエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルはターゲット・サーバーに保管されません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。このエラーの原因を調べてから、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6975E** *Command:* ファイル *file name* を読み取ることができません。

説明: ローカル回復計画ファイルのコピーをターゲット・サーバーに送信するため、PREPARE が回復計画ファイルを読み取ろうとしているときにエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルはターゲット・サーバーに保管されません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。このエラーの原因を調べてから、コマンドを出し直してください。

---

**ANR6976E** *Command:* 回復計画ファイルは別のサーバーに保管されていなかったため、ローカル・コピー *file name* を削除することはできません。

説明: 処理エラーが原因で、回復計画ファイルはターゲット・サーバーに保管されておらず、計画ファイルのローカル・コピーを削除することはできません。

システムの処置: PREPARE 処理は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。このエラーの原因を判別した後で、PREPARE コマンドを再発行し、ローカル回復計画ファイルを削除してください。

---

**ANR6977E** *Command:* 装置クラス名 *device class name* が *maximum characters* 文字を超えています。

説明: 表示されたコマンドが入力され、長すぎる装置クラス名が指定されています。装置クラス名の有効な最大長はメッセージに表示されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 有効な装置クラス名を指定してこのコマンドを再発行してください。

---

**ANR6978E** *Command:* 装置クラス *device class name* が無効です。

説明: 指定の装置クラスは、表示されたコマンドで使用することができません。考えられる理由は次のとおりです。

- 装置クラスが定義されていません。
- 装置クラスは定義されていますが、タイプ SERVER ではありません。
- 指定された名前は無効な装置クラス名です。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい装置クラス名を指定してコマンドを再発行してください。

---

**ANR6979E** *Command:* 回復計画ファイルが作成されませんでした。指定の装置クラスは *device class name* です。

説明: 回復計画ファイルは、指定の装置クラスを使用して作成することができません。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に表示されているエラー・メッセージを調べて、可能な場合には問題を訂正してください。このエラーの原因を調べてからコマンドを出し直してください。

---

**ANR6980E** *Command:* 接頭部 *prefix* が *maximum characters* 文字を超えています。

説明: 示されているコマンドが入力されて、長過ぎる計画または指示の接頭部が指定されています。最大有効長がメッセージに示されています。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 短い接頭部を指定してコマンドを出し直してください。

---

**ANR6984E** *Command:* 順次メディアでスペース不足です。スクラッチ・メディアをマウントできませんでした。指定の装置クラス *device class name* ; 最大容量: *number of bytes* バイト。

説明: コマンド PREPARE の処理時に、順次メディアへの書き込み中にスペース不足条件が、この処理で検出されています。順次メディアにデータを保管するスペースがないと、コマンド PREPARE は終了します。

システムの処置: コマンド PREPARE の処理は終了します。サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 装置クラスの最大容量を増やし、PREPARE コマンドを再発行してください。オブジェクトがターゲット・サーバー上に作成された場合には、RECONCILE VOLUMES FIX=YES を発行して、ターゲット・サーバーからそのオブジェクトを削除してください。

---

**ANR6985E** *Command:* データ・ストレージへのアクセス時にエラーが見つかりました - ボリュームが既に使用中です。

説明: コマンド *command* の処理時に、ボリュームは既にストレージ・プール内に定義されているか、前にエクスポート、データベース・ダンプ、データベース・バックアップ、または DRM 準備操作によって使用されているか、あるいは別の処理で使用中なので、そのボリュームを使用することができません。

システムの処置: コマンド *command* の操作は終了して、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: PREPARE コマンドを再発行してください。

---

**ANR6986E** *Command:* DELELATEST パラメータは、ボリューム・ヒストリー・タイプ **RPFIL**E または **RPF**SNAPSHOT の場合にだけ有効です。

説明: TYPE= パラメータに無効なボリューム・ヒストリー・タイプが指定されたので、このコマンドに失敗しました。

システムの処置: このコマンドは実行されず、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: コマンドを出し直して、有効なタイプ値を指定してください。

---

**ANR6987W** *Command:* コンテナ・コピー・プール・ボリューム *volume name* は処理されませんでした。ボリュームは使用中でした。

説明: MOVE DRMEDIA コマンドは、別のサーバー操作によって使用されているため、ボリューム *volume name* を処理しませんでした。

システムの処置: ボリュームがコマンドで明示的に指定されていた場合、指示されたコマンドは終了します。ボリューム・パターンがコマンドで指定されていた場合、サーバーは、パターンと一致する他のボリュームの処理を続行します。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、MOVE DRMEDIA コマンドをやり直してください。

---

**ANR6988W** *Command:* コンテナ・コピー・ストレージ・プール・ボリューム *volume name* の状態、アクセス、および位置の各属性が更新されませんでした。

説明: MOVE DRMEDIA コマンドは、別のサーバー操作によって使用されているため、ボリューム *volume name* の状態、アクセス、および位置を更新できませんでした。

システムの処置: ボリュームが自動化ライブラリーに存在していた場合は、MOVE DRMEDIA コマンドが、自動化ライブラリーからそのボリュームをチェックアウトした可能性があります。

ボリューム・パターンがコマンドで指定されている場合、サーバーは、他のボリュームの処理を続行します。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、MOVE DRMEDIA コマンドをやり直してください。

---

**ANR7800I (AIX)** DSMSE<sub>R</sub>V は、*date* の *time* に生成されました。

説明: このサーバー・モジュールは、示されている日付と時刻に生成されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7800I (HP-UX)** DSMSE<sub>R</sub>V は、*date* の *time* に生成されました。

説明: このサーバー・モジュールは、示されている日付と時刻に生成されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

## ANR7800I (Linux) • ANR7804E (AIX)

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7800I (Linux)** DSMSERV は、date の time に生成されました。

説明: このサーバー・モジュールは、示されている日付と時刻に生成されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7800I (Solaris)** DSMSERV は、date の time に生成されました。

説明: このサーバー・モジュールは、示されている日付と時刻に生成されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7800I (Windows)** DSMSERV は、date の time に生成されました。

説明: このサーバー・モジュールは、示されている日付と時刻に生成されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7801I (AIX)** サブシステムのプロセス ID は *process identifier* です。

説明: このサーバー・プロセスには、示されているプロセス ID があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7801I (HP-UX)** サブシステム (マスター) プロセス ID は *process identifier* です。

説明: サーバーのマスター HP-UX には指示されたプロセス ID があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7801I (Linux)** サブシステムのプロセス ID は *process identifier* です。

説明: このサーバー・プロセスには、示されているプロセス ID があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7801I (Solaris)** サブシステムのプロセス ID は *process identifier* です。

説明: このサーバー・プロセスには、示されているプロセス ID があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7802E (AIX)** 既に存在している現行ディレクトリーで実行中のサーバーの共有メモリー・セグメント。 **-F** パラメーターを使用して上書きすることができます。

説明: 共有メモリー・セグメントは、現行ディレクトリーに基づいて、サーバーの各インスタンスごとに作成されます。このメッセージは、共有メモリー・セグメントが既に存在していることを示しています。現行ディレクトリーから現在実行中のサーバーがあるか、あるいは現行ディレクトリーから実行していて異常終了したサーバーがあります。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 現行ディレクトリーで実行中のサーバーが異常終了した場合には、**-F** パラメーターを指定した **dsmserv** を開始して、強制的に既存の共有メモリー・セグメントを上書きしてください。サーバーのインスタンスを複数実行したい場合には、各インスタンスはそれぞれ、別個の **dsmserv.dsk** ファイルを含む別個のディレクトリーから実行しなければならず、また、別個のログ、データベース、およびストレージ・ボリュームをもたなければなりません。

---

**ANR7803E (AIX)** **-F** パラメーターで指示された共有メモリー・セグメントを上書きしようとして、失敗しました。

説明: サーバーが **-F** パラメーターを用いて開始され、既存の共有メモリー・セグメントを上書きしようとしたが、失敗しました。このエラーは、**-F** パラメーターを用いてこのサーバーを開始するユーザーが、共有メモリー・セグメントの所有者でなく、しかも必要な権限を欠いている時に、起こります。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: 権限問題を解決して、サーバーを再始動してください。

---

**ANR7804E (AIX)** *Error reason.*

説明: サーバーが指定されたファイルのオープン、ロック、または書き込みをしようとしたが、オープン、ロックまたは書き込み操作で障害が発生しました。こ

れらは、一般的な失敗の理由です。

別のサーバーが既にこのディレクトリーから実行されており、ファイルがオープンまたはロックされています。インスタンス・ユーザー ID がファイルに対して十分な書き込み権限を持っていません。ファイル・システムがフルです。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: ロック・ファイルの内容を検査してください。実行中のサーバーのプロセス ID がこのファイルに記録されます。同じディレクトリーから 2 つのサーバーを始動することはできません。記録されているプロセス ID が、現在実行している dsmserv でない場合に限り、ロック・ファイルを除去して、サーバーを始動することができます。'ps -e' AIX コマンドを使用して、現在実行中の処理を表示することができます。ディレクトリーとファイル・システムの権限を調べて、ファイルに書き込むための適切な権限がインスタンス・ユーザー ID にあることを確認します。ファイル・システムに、十分なスペースがあることを確認してください。

---

#### ANR7804E (HP-UX) *Error reason.*

説明: サーバーが指定されたファイルのオープン、ロック、または書き込みをしようとしたが、オープン、ロックまたは書き込み操作で障害が発生しました。これらは、一般的な失敗の理由です。

別のサーバーが既にこのディレクトリーから実行されており、ファイルがオープンまたはロックされています。インスタンス・ユーザー ID がファイルに対して十分な書き込み権限を持っていません。ファイル・システムがフルです。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: ロック・ファイルの内容を検査してください。実行中のサーバーのプロセス ID がこのファイルに記録されます。同じディレクトリーから 2 つのサーバーを始動することはできません。記録されているプロセス ID が、現在実行している dsmserv でない場合に限り、ロック・ファイルを除去して、サーバーを始動することができます。'ps -e' コマンドを使用して、現在実行中の処理を表示することができます。ディレクトリーとファイル・システムの権限を調べて、ファイルに書き込むための適切な権限がインスタンス・ユーザー ID にあることを確認します。ファイル・システムに、十分なスペースがあることを確認してください。

---

#### ANR7804E (Linux) *Error reason.*

説明: サーバーが指定されたファイルのオープン、ロック、または書き込みをしようとしたが、オープン、ロックまたは書き込み操作で障害が発生しました。これらは、一般的な失敗の理由です。

別のサーバーが既にこのディレクトリーから実行されており、ファイルがオープンまたはロックされています。インスタンス・ユーザー ID がファイルに対して十分な書き込み権限を持っていません。ファイル・システムがフルです。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: ロック・ファイルの内容を検査してください。実行中のサーバーのプロセス ID がこのファイルに記録されます。同じディレクトリーから 2 つのサーバーを始動することはできません。記録されているプロセス ID が、現在実行している dsmserv でない場合に限り、ロック・ファイルを除去して、サーバーを始動することができます。'ps -e' コマンドを使用して、現在実行中の処理を表示することができます。ディレクトリーとファイル・システムの権限を調べて、ファイルに書き込むための適切な権限がインスタンス・ユーザー ID にあることを確認します。ファイル・システムに、十分なスペースがあることを確認してください。

---

#### ANR7804E (Solaris) *Error reason.*

説明: サーバーが指定されたファイルのオープン、ロック、または書き込みをしようとしたが、オープン、ロックまたは書き込み操作で障害が発生しました。これらは、一般的な失敗の理由です。

別のサーバーが既にこのディレクトリーから実行されており、ファイルがオープンまたはロックされています。インスタンス・ユーザー ID がファイルに対して十分な書き込み権限を持っていません。ファイル・システムがフルです。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: ロック・ファイルの内容を検査してください。実行中のサーバーのプロセス ID がこのファイルに記録されます。同じディレクトリーから 2 つのサーバーを始動することはできません。記録されているプロセス ID が、現在実行している dsmserv でない場合に限り、ロック・ファイルを除去して、サーバーを始動することができます。'ps -e' コマンドを使用して、現在実行中の処理を表示することができます。ディレクトリーとファイル・システムの権限を調べて、ファイルに書き込むための適切な権限がインスタンス・ユーザー ID にあることを確認します。ファイル・システムに、十分なスペースがあることを確認してください。

### ANR7804E (Windows) Error reason.

説明: サーバーが指定されたファイルのオープン、ロック、または書き込みをしようとしたましたが、オープン、ロックまたは書き込み操作で障害が発生しました。これらは、一般的な失敗の理由です。

別のサーバーが既にこのディレクトリーから実行されており、ファイルがオープンまたはロックされています。インスタンス・ユーザー ID がファイルに対して十分な書き込み権限を持っていません。ファイル・システムがフルです。

システムの処置: サーバーは終了します。

ユーザーの処置: ロック・ファイルの内容を検査してください。実行中のサーバーのプロセス ID がこのファイルに記録されます。同じディレクトリーから 2 つのサーバーを始動することはできません。記録されているプロセス ID が、現在実行している dsmserve でない場合に限り、ロック・ファイルを除去して、サーバーを始動することができます。ディレクトリーとファイル・システムの権限を調べて、ファイルに書き込むための適切な権限がインスタンス・ユーザー ID にあることを確認します。ファイル・システムに、十分なスペースがあることを確認してください。

### ANR7805E (AIX) ボリューム *volume name* は別のサーバーが使用中です。

説明: サーバーがディスク・ボリュームをオープンしようとしたますが、このボリュームを別のサーバーが使用中であることを検出しました。

システムの処置: このボリュームのオープン操作は失敗します。

ユーザーの処置: 複数のサーバーによる同時 RAW ボリューム・アクセスを避けるために、これらのボリュームを「ロック」する /tmp ディレクトリーに、ファイルが作成されます。これらの一時ファイルの名前は、/tmp/adsm.disk.dev.<volumename> で、この場合の <volumename> は /dev ディレクトリーに定義された RAW ボリュームの名前です。SMIT で定義された論理ボリュームの名前は、/dev ディレクトリー内では先行文字「r」を付けて表されることに注意してください (例えば、SMIT 内で dsmstg1 として定義されている RAW ボリュームは、/dev ディレクトリー内ではファイル /dev/rdsmstg1 として表されます)。

他の dsmserve 処理が実行されているかどうかを判別するためには、AIX 'ps -e' コマンドを使用することができます。他の dsmserve 処理が実行されていない場合に限り、一時ロック・ファイルを除去して、サーバーを再始動することができます。

### ANR7805E (Linux) ボリューム *volume name* は別のサーバーが使用中です。

説明: サーバーがディスク・ボリュームをオープンしようとしたますが、このボリュームを別のサーバーが使用中であることを検出しました。

システムの処置: このボリュームのオープン操作は失敗します。

ユーザーの処置: 複数のサーバーによる同時 RAW ボリューム・アクセスを避けるために、これらのボリュームを「ロック」する /tmp ディレクトリーに、ファイルが作成されます。これらの一時ファイルの名前は、/tmp/adsm.disk.dev.<volumename> で、この場合の <volumename> は /dev ディレクトリーに定義された RAW ボリュームの名前です。Solaris で定義されている RAW 論理ボリュームの名前は、/dev ディレクトリー内では先行文字「r」を付けて表されることに注意してください (例えば、Solaris 内の正規の SCSI ドライブで dsk/c0t0d0s0 として定義されている RAW ボリュームは、/dev ディレクトリー内ではファイル /dev/rdisk/c0t0d0s0 として表されます。REGULAR DISK ボリュームの場合は、サーバーが自動的にボリュームのロック/アンロックを行います。異なるリンク済みファイル名が同じボリュームを指していると、サーバーはロックそのものではなくリンク済みボリュームをロックするので、このメッセージが出されることになります)。

他の dsmserve プロセスが実行中であるかどうかを判別するためには、Solaris の 'ps -ef | grep dsmserve' コマンドを使用することができます。RAW ボリュームの一時ロック・ファイルを除去して、サーバーの再始動を試行できるのは、他の dsmserve プロセスが実行中でない場合のみです。

### ANR7805E (Solaris) ボリューム *volume name* は別のサーバーが使用中です。

説明: サーバーがディスク・ボリュームをオープンしようとしたますが、このボリュームを別のサーバーが使用中であることを検出しました。

システムの処置: このボリュームのオープン操作は失敗します。

ユーザーの処置: 複数のサーバーによる同時 RAW ボリューム・アクセスを避けるために、これらのボリュームを「ロック」する /tmp ディレクトリーに、ファイルが作成されます。これらの一時ファイルの名前は、/tmp/adsm.disk.dev.<volumename> で、この場合の <volumename> は /dev ディレクトリーに定義された RAW ボリュームの名前です。Solaris で定義されている RAW 論理ボリュームの名前は、/dev ディレク



トリー内では先行文字「r」を付けて表されることに注意してください (例えば、Solaris 内の正規の SCSI ドライブで `dsk/c0t0d0s0` として定義されている RAW ボリュームは、`/dev` ディレクトリー内ではファイル `/dev/rdsk/c0t0d0s0` として表されます。REGULAR DISK ボリュームの場合は、サーバーが自動的にボリュームのロック/アンロックを行います。異なるリンク済みファイル名が同じボリュームを指していると、サーバーはロックそのものではなくリンク済みボリュームをロックするので、このメッセージが出されることとなります。

他の `dsmserv` プロセスが実行中であるかどうかを判断するためには、Solaris の `'ps -ef | grep dsmserv'` コマンドを使用することができます。RAW ボリュームの一時ロック・ファイルを除去して、サーバーの再始動を試行できるのは、他の `dsmserv` プロセスが実行中でない場合のみです。

---

**ANR7806W (AIX)** ファイル *file* をオープンできません。

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。後続する番号のないメッセージには、システムからの詳細があります。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR7806W (HP-UX)** ファイル *file* をオープンできません。

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。後続する番号のないメッセージには、システムからの詳細があります。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR7806W (Linux)** ファイル *file* をオープンできません。

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。後続する番号のないメッセージには、システムからの詳細があります。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR7806W (Solaris)** ファイル *file* をオープンできません。

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。後続する番号のないメッセージには、システムからの詳細があります。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR7806W (Windows)** ファイル *file* をオープンできません。

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。後続する番号のないメッセージには、システムからの詳細があります。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。サーバーまたは他のプログラムによって、ファイルが既にオープンされている可能性があります。

---

**ANR7807W (AIX)** ファイル *file* の情報を入手できません。

説明: サーバーが示されているファイルについての情報を取得できませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作

## ANR7807W (HP-UX) • ANR7809I (AIX)

は失敗します。 後続の番号のないメッセージの中に、システムからの詳細が入っています。

ユーザーの処置: ファイルにアクセスできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルにアクセスできない一般的な理由としては、間違った名前を指定したか、ファイルをオープンするための十分な権限がないか、あるいはファイルの所有者でない、などの理由があります。

---

**ANR7807W (HP-UX)** ファイル *file* の情報を入手できません。

説明: サーバーが示されているファイルについての情報を取得できませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。 後続の番号のないメッセージの中に、システムからの詳細が入っています。

ユーザーの処置: ファイルにアクセスできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルにアクセスできない一般的な理由としては、間違った名前を指定したか、ファイルをオープンするための十分な権限がないか、あるいはファイルの所有者でない、などの理由があります。

---

**ANR7807W (Linux)** ファイル *file* の情報を入手できません。

説明: サーバーが示されているファイルについての情報を取得できませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。 後続の番号のないメッセージの中に、システムからの詳細が入っています。

ユーザーの処置: ファイルにアクセスできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルにアクセスできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、あるいはファイルへのソフト・リンクが多すぎるなどがあります。ロー区画にアクセスしようとする場合には、サーバーはスーパーユーザー特権を用いて開始しなければなりません。

---

**ANR7807W (Solaris)** ファイル *file* の情報を入手できません。

説明: サーバーが示されているファイルについての情報を取得できませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。 後続の番号のないメッセージの中に、システムからの詳細が入っています。

ユーザーの処置: ファイルにアクセスできない理由を調

べて、操作をやり直してください。 ファイルにアクセスできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、あるいはファイルへのソフト・リンクが多すぎるなどがあります。ロー区画にアクセスしようとする場合には、サーバーはスーパーユーザー特権を用いて開始しなければなりません。

---

**ANR7807I (Windows) Oracle Library Attach** モジュール *module name* はロードされました。

説明: 指示されたモジュールは正常にロードされています。 このモジュールと関連した操作は、サーバーによって現在実行されている可能性があります。

システムの処置: サーバーは、現在、このモジュールに依存する ACSLS 関数をサポートします。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7808W (AIX)** デフォルト以外のスケジューリング・ポリシーには **root** ユーザー権限が必要でした。

説明: サーバーがオプション・ファイルに指定されたスケジューリング・ポリシーを使用できません。 デフォルト以外のスケジューリング・ポリシーのいずれかを使用するために、サーバーは **root** 権限で実行中ではなければなりません。

システムの処置: 操作は続行されますが、デフォルトのスケジューリング・ポリシーが使用されます。

ユーザーの処置: サーバーは **root** 権限で実行するか、オプション・ファイルにスケジューリング・ポリシーを指定しないでください。

---

**ANR7808W (Windows) Oracle Library Attach** モジュール *module name* をシステムから使用できません。

説明: サーバーは **Library Attach** モジュールのロードを試みました。けれども、このモジュールはシステムにインストールされていません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、ACSLS 関数がありません。

ユーザーの処置: **Library Attach** モジュールがシステムにインストールされていることを確認してください。

---

**ANR7809I (AIX)** スケジューリング・ポリシー *policy* を使用中。

説明: サーバー内のすべてのスレッドは指定されたスケジューリング・ポリシーを使用します。

システムの処置: 操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR7810W (AIX)** 新規の子処理を作成することができません。

説明: サーバーが新しい子スレッドを作成できません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。サーバー・コンポーネントからの他のエラー・メッセージが表示されます。

ユーザーの処置: 十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。このサーバーが非 root ユーザー ID から始動されている場合には、1 ユーザー当たりの AIX 処理限界がサーバーに十分であることを確認してください。サーバーは、1 クライアント・セッション当たり 1 処理と、各バックグラウンド操作ごとに 1 処理ずつの他に、約 24 処理を必要とします。サーバーによって開始されたそれぞれのスレッドが 1 つの AIX 処理です。1 ユーザー当たりの処理数を変更するには、システム環境用の SMIT メニューを使用し、オペレーティング・システムの変更に選択します。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリ不足の原因になっているかどうか判別できます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR7810E (HP-UX)** コンソール入力スレッドの作成中にエラー。

説明: コンソール入力スレッドを開始することができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: 出されている他のメッセージを調べてください。

---

**ANR7810E (Linux)** コンソール入力スレッドの作成中にエラー。

説明: コンソール入力スレッドを開始することができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: 出されている他のメッセージを調べてください。

---

**ANR7810E (Solaris)** コンソール入力スレッドの作成中にエラー。

説明: コンソール入力スレッドを開始することができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: 出されている他のメッセージを調べてください。

---

**ANR7811I (AIX)** インスタンス・ディレクトリー *instance directory* を使用中。

説明: サーバーは指示されたディレクトリーから操作を行っています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7811E (HP-UX)** コンソールの初期化用のメモリが不十分です。

説明: サーバーがコンソールの初期化に十分なメモリを割り振ることができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: HP-UX 用に十分なページング・スペースがあることを確認してください。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要な場合もあります。

---

**ANR7811E (Linux)** コンソールの初期化用のメモリが不十分です。

説明: サーバーがコンソールの初期化に十分なメモリを割り振ることができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: 十分なページング・スペースがあることを確認してください。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要な場合もあります。

---

**ANR7811E (Solaris)** コンソールの初期化用のメモリが不十分です。

説明: サーバーがコンソールの初期化に十分なメモリを割り振ることができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: Oracle Solaris 用のページング・スペースが十分であることを確認してください。サーバー・

## ANR7812E (HP-UX) • ANR7813W (Solaris)

オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要な場合もあります。

---

**ANR7812E (HP-UX)** コンソール入力をバッファーに入れるにはメモリーが不足しています。次の入力行が廃棄されました: *discarded console input*。

説明: 指定されたコンソール入力を入れるバッファーを割り振ろうとしている時に、エラーが起きました。

システムの処置: コンソール入力は破棄されます。

ユーザーの処置: HP-UX 用に十分なページング・スペースがあることを確認してください。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要な場合もあります。

---

**ANR7812E (Linux)** コンソール入力をバッファーに入れるにはメモリーが不足しています。次の入力行が廃棄されました: *discarded console input*。

説明: 指定されたコンソール入力を入れるバッファーを割り振ろうとしている時に、エラーが起きました。

システムの処置: コンソール入力は破棄されます。

ユーザーの処置: 十分なページング・スペースがあることを確認してください。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要な場合もあります。

---

**ANR7812E (Solaris)** コンソール入力をバッファーに入れるにはメモリーが不足しています。次の入力行が廃棄されました: *discarded console input*。

説明: 指定されたコンソール入力を入れるバッファーを割り振ろうとしている時に、エラーが起きました。

システムの処置: コンソール入力は破棄されます。

ユーザーの処置: Oracle Solaris 用のページング・スペースが十分であることを確認してください。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要な場合もあります。

---

**ANR7813W (AIX)** *server mode* ビット・サーバーは、*kernel mode* ビット・カーネルではサポートされていません。

説明: 32 ビット・サーバーは 32 ビット・カーネル、64 ビット・サーバーは 64 ビット・カーネルのもとで、それぞれ実行されている場合に限りサポートされません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・モードとカーネル・モードは、カーネル・モードを切り替えるか、正しいサーバー・ファイル・セットをインストールして一致させる必要があります。

---

**ANR7813W (Linux)** 新規の子スレッドを作成することができません。

説明: サーバーが新しい子スレッドを作成できません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。サーバー・コンポーネントからの他のエラー・メッセージが表示されます。

ユーザーの処置: Solaris 用に使用可能なスワップ・スペースが十分であることを確認してください。使用可能なスワップの容量は、'swap -l' を実行することによって入手できます。空きブロック数が低い場合には、システムの実行中に 'mkfile' を実行してから 'swap -a' を実行することによってスワップ・ファイルを追加することができます。詳細については、Solaris man ページ 'mkfile' および 'swap' を参照してください。

このサーバーが非 root ユーザー ID から始動されている場合には、1 ユーザー当たりの処理限界がサーバーに十分であることを確認してください。 /etc/system ファイル内の 'maxusers=##' パラメーターを調整して、一度にシステム上に存在できるユーザーの数を増やすことができます。これによって、ユーザー・プロセス用のメモリー/スワップをさらに割り振るよう、カーネルに強制することになります。

新規ユーザー設定を有効にするためには、'reconfigure' オプションを指定してシステムをリブートすることが必要です。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR7813W (Solaris)** 新規の子スレッドを作成することができません。

説明: サーバーが新しい子スレッドを作成できません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。サー

バー・コンポーネントからの他のエラー・メッセージが表示されます。

ユーザーの処置: Solaris 用に使用可能なスワップ・スペースが十分であることを確認してください。使用可能なスワップの容量は、'swap -l' を実行することによって入手できます。空きブロック数が低い場合には、システムの実行中に 'mkfile' を実行してから 'swap -a' を実行することによってスワップ・ファイルを追加することができます。詳細については、Solaris man ページ 'mkfile' および 'swap' を参照してください。サーバーが非ルート・ユーザー ID から始動されている場合には、ユーザー当たりの Solaris プロセス限界がこのサーバーに十分であることを確認してください。

/etc/system ファイル内の 'maxusers=##' パラメーターを調整して、一度にシステム上に存在できるユーザーの数を増やすことができます。これによって、ユーザー・プロセス用のメモリー/スワップをさらに割り振るよう、カーネルに強制することになります。新規ユーザー設定を有効にするためには、'reconfigure' オプションを指定してシステムをリブートすることが必要です。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR7814I (HP-UX)** インスタンス・ディレクトリー *instance directory* を使用中。

説明: サーバーは指示されたディレクトリーから操作を行っています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7814I (Linux)** インスタンス・ディレクトリー *instance directory* を使用中。

説明: サーバーは指示されたディレクトリーから操作を行っています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7814I (Solaris)** インスタンス・ディレクトリー *instance directory* を使用中。

説明: サーバーは指示されたディレクトリーから操作を行っています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7820E (AIX)** コンソール入力をバッファーに入れるには、メモリーが不十分です。次の入力行が廃棄されました: *discarded console input*。

説明: コンソール入力を読み取るのに十分な大きさのバッファーを割り振ろうとしている間に、エラーが起こります。

システムの処置: コンソール入力は破棄されます。

ユーザーの処置: 十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR7820S (HP-UX)** サーバー・スレッド *thread ID* は、プログラム打ち切りへの応答で終了しました。

説明: スレッドはプログラム打ち切りにより終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージをメモして、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7820S (Linux)** スレッド *thread ID* がプログラム打ち切りへの応答で終了しました。

説明: スレッドはプログラム打ち切りにより終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージをメモして、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7820S (Solaris)** サーバー・スレッド *thread ID* は、プログラム打ち切りへの応答で終了しました。

説明: スレッドはプログラム打ち切りにより終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: 関連したメッセージをメモして、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7820W (Windows)** ファイル *file name* に使用可能なスペースが不足しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ディスク上のファイルのためのスペースが不足しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルを収容するためにドライブ上の追加スペースを解放するか、十分なスペースのあるドライブのファイル名を指定するか、スペース要求をドライブと整合性のある値に変更してください。操作を再試行してください。

---

**ANR7821I (HP-UX)** サーバー・スレッド *thread ID* が外部信号への応答で終了しました。

説明: スレッドは外部信号により終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7821I (Linux)** スレッド *thread ID* が外部信号への応答で終了しました。

説明: スレッドは外部信号により終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7821I (Solaris)** サーバー・スレッド *thread ID* が外部信号への応答で終了しました。

説明: スレッドは外部信号により終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7821W (Windows)** ボリューム *file name* を作成している時には、ディレクトリーを作成できません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。新規ディレクトリーも作成されましたが、その作成に失敗しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 既存のディレクトリーのファイル名を指定するか、あるいは名前要求を変更して、別のディレクトリー名を指定してください。

---

**ANR7822E (AIX)** コンソール入力スレッドの作成中にエラー。

説明: コンソール入力スレッドを開始することができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: 出されている他のメッセージを調べてください。

---

**ANR7822I (HP-UX)** サーバー・スレッド *thread ID* がサーバー・シャットダウンへの応答で終了しました。

説明: スレッドはサーバー・シャットダウンにより終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7822I (Linux)** スレッド *thread ID* がサーバー・シャットダウンへの応答で終了しました。

説明: スレッドはサーバー・シャットダウンにより終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7822I (Solaris)** サーバー・スレッド *thread ID* がサーバー・シャットダウンへの応答で終了しました。

説明: スレッドはサーバー・シャットダウンにより終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7822W (Windows)** ボリューム *file name* の作成時にファイルは既に存在しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイルは既に存在しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。サーバーは、ファイルの作成時に既存のファイル名を使用しません。

---

**ANR7823E (AIX)** コンソールの初期化用のメモリーが不十分です。

説明: コンソールの初期化に十分なメモリーを割り振ることができません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: 十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR7823S (Linux)** 内部エラー *internal error* が検出されました。

説明: サーバーの初期化または操作の間に内部エラーが検出されます。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: 障害の起こった操作をやり直してください。操作が再度失敗する場合は、このメッセージに有効な追加情報を確認してください。製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「ANR7823S」を検索します。

---

**ANR7823W (Windows)** ファイル *file name* を作成することができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。システムはファイルの作成におけるエラーを報告しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。

---

**ANR7824E (AIX)** 非同期入出力サポート・モジュールのロード時にエラー。

説明: サーバーは非同期入出力サポート・モジュールをロードしようとしたが、そのロードに失敗しました。ロード障害の詳細については、添付のエラー・メッセージを参照してください。

システムの処置: サーバーは、非同期入出力サポートなしで操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しいサポート・モジュールがサーバーの bin ディレクトリに存在していること、aio サブシステムが AIX で構成されていること、およびその

AIX が構成後にリブートされていることを確認してください。

---

**ANR7824S (HP-UX)** サーバーの操作が終了しました。

説明: サーバーの操作が停止する原因となるエラーが起こっています。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7824S (Linux)** サーバーの操作が終了しました。

説明: サーバーの操作が停止する原因となるエラーが起こっています。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7824S (Solaris)** サーバーの操作が終了しました。

説明: サーバーの操作が停止する原因となるエラーが起こっています。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7824W (Windows)** ボリューム *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。サーバーはファイルの一部を書き込むことができたが、スペース不足になりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。ファイルは依然としてシステム上に存在しています。

ユーザーの処置: 十分なスペースがある新規ファイル名を指定してください。

---

**ANR7825E (Linux)** サーバーは、サイズ *Client requested shared memory size* の共有メモリー・セグメントを割り振ることができません。

説明: 共有メモリー・クライアントは、Solaris が提供できないサイズの共有メモリー・セグメントを要求しています。

システムの処置: クライアントはログオンすることができません。

ユーザーの処置: Solaris の共有メモリー・チューニング・ガイド (Oracle の資料) を参照してください。共有メモリー・セグメントまたはメッセージ・キュー、ある

## ANR7825E (Solaris) • ANR7831E (Solaris)

いはその両方の数/サイズを増やすことが必要な場合があります。

---

**ANR7825E (Solaris)** サーバーは、サイズ *Client requested shared memory size* の共有メモリー・セグメントを割り振ることができません。

説明: 共有メモリー・クライアントは、Solaris が提供できないサイズの共有メモリー・セグメントを要求しています。

システムの処置: クライアントはログオンすることができません。

ユーザーの処置: Solaris の共有メモリー・チューニング・ガイド (Oracle の資料) を参照してください。共有メモリー・セグメントまたはメッセージ・キュー、あるいはその両方の数/サイズを増やすことが必要な場合があります。

---

**ANR7825W (Windows)** ボリューム *file name* を作成できません。戻りコードは *return code* です。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試行は、示された戻りコードで失敗しました。戻りコードはサーバーからの内部コードです。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。また、エラーの解釈のため、サービス担当員に戻りコードを提供する場合があります。

---

**ANR7826W (Windows)** ボリューム *file name* の作成に失敗しました。プロセスは取り消されました。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試みは、プロセスの取り消しコマンドによって取り消されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: DEFINE を再入力することができます。

---

**ANR7830E (Linux)** 無効なロー区画名: 有効なロー区画名は */dev/.../rdsk/.../\** の書式です。ここで ... は 0 個以上のディレクトリーです。

説明: ロー区画の指定には適切なフォーマットを使用し

てください。... は、ゼロ個以上のディレクトリーを意味します。

システムの処置: 正しいロー区画の仕様を使用するようにユーザーに通知してください。

ユーザーの処置: ユーザーに適切な区画名を指定したロー区画を再入力してもらってください。

---

**ANR7830E (Solaris)** 無効なロー区画名: 有効なロー区画名は */dev/.../rdsk/.../\** の書式です。ここで ... は 0 個以上のディレクトリーです。

説明: ロー区画の指定には適切なフォーマットを使用してください。... は、ゼロ個以上のディレクトリーを意味します。

システムの処置: 正しいロー区画の仕様を使用するようにユーザーに通知してください。

ユーザーの処置: ユーザーに適切な区画名を指定したロー区画を再入力してもらってください。

---

**ANR7831E (Linux)** *raw partition name* には既存のファイル・システムがあります。

説明: 指定されたロー区画には既存の Solaris ファイル・システムがあります。この区画に書き込むと、ほとんどの場合にこのファイル・システムが壊れる可能性があります。

システムの処置: ユーザーに、書き込んだ場合には、指定されたロー区画の既存のファイル・システムが破棄される可能性があることを警告します。

ユーザーの処置: ユーザーがまだ有効なファイル・システム・データを必要としているかどうか、判別してください。必要でない場合には、区画をフォーマットするか、またはサーバーがファイル・システムのヘッダー情報を検出できないように、ファイル・システムのヘッダー情報を破棄するプログラムを作成するか、あるいは Solaris *format()* コマンドを使用して区画の開始ブロックと終了ブロックを再配置して、そのファイル・システムを破棄する必要があります。ファイル・システムの詳細については、Oracle 関連資料の *format()* 関数の説明を参照してください。

---

**ANR7831E (Solaris)** *raw partition name* には既存のファイル・システムがあります。

説明: 指定されたロー区画には既存の Solaris ファイル・システムがあります。この区画に書き込むと、ほとんどの場合はこのファイル・システムが壊れます。

システムの処置: ユーザーに、書き込んだ場合には、指定されたロー区画の既存のファイル・システムが破棄さ



れる可能性があることを警告します。

**ユーザーの処置:** ユーザーがまだ有効なファイル・システム・データを必要としているかどうか、判別してください。必要でない場合には、区画をフォーマットするか、またはサーバーがファイル・システムのヘッダー情報を検出できないように、ファイル・システムのヘッダー情報を破棄するプログラムを作成するか、あるいは Solaris `format()` コマンドを使用して区画の開始ブロックと終了ブロックを再配置して、そのファイル・システムを破棄する必要があります。ファイル・システムの詳細については、Oracle Solaris 関連資料の `format()` 関数の説明を参照してください。

---

**ANR7832I (AIX)** スレッド *process ID* が終了コード *program exit code* で終了しました。

**説明:** プロセスが示された終了コードで終了しました。このエラーは、前のメッセージによって引き起こされ、示された問題が原因となっています。

**システムの処置:** サーバーは終了処理を完了します。

**ユーザーの処置:** ありません。

---

**ANR7832E (Linux)** *raw partition name* は、*/* または */usr* のような保護されたファイル・システムと対応しています。

**説明:** 指定されたロー区画には既存のファイル・システムがあります。このファイル・システムは */* または */usr* 区画です。サーバーがそれに書き込んだ場合には、ほとんどの場合、オペレーティング・システム全体が破損することになります。

**システムの処置:** このロー区画にアクセスすることができません。

**ユーザーの処置:** ユーザーに */* または */usr* ではない別のロー区画を指定してもらってください。これが、ブート・ディスクの実際の */* または */usr* 区画でない可能性があります。Solaris `format()` コマンドを使用して、区画名のタグに間違えて */* または */usr* というラベルが付いているかどうか調べてください。

---

**ANR7832E (Solaris)** *raw partition name* は、*/* または */usr* のような保護されたファイル・システムと対応しています。

**説明:** 指定されたロー区画には既存のファイル・システムがあります。このファイル・システムは */* または */usr* 区画です。サーバーがそれに書き込んだ場合には、ほとんどの場合、オペレーティング・システム全体が破損することになります。

**システムの処置:** このロー区画にアクセスすることができません。

**ユーザーの処置:** ユーザーに */* または */usr* ではない別のロー区画を指定してもらってください。これが、ブート・ディスクの実際の */* または */usr* 区画でない可能性があります。Solaris `format()` コマンドを使用して、区画名のタグに間違えて */* または */usr* というラベルが付いているかどうか調べてください。

---

**ANR7833S (AIX)** プロセス *thread ID* がプログラム打ち切りへの応答で終了しました。

**説明:** スレッドはプログラム打ち切りにより終了しました。

**システムの処置:** サーバーは終了処理を完了します。

**ユーザーの処置:** ありません。

---

**ANR7833E (Linux)** *symbolic links* の記号リンクが多すぎます - 可能な最大数は **10** 個です。

**説明:** 指定されたファイルのシンボリック・リンクが多すぎます。サーバーは、このシンボリック・リンクのネーム解決を終了する前に最大 10 個のリンクに従います。

**システムの処置:** このファイルにアクセスすることができません。

**ユーザーの処置:** ファイルがシンボリック・リンクでない実際のファイルを、ユーザーに指定してもらってください。ls -l を使用して、ファイルがシンボリック・リンクかどうかを確認することができます。

---

**ANR7833E (Solaris)** *symbolic links* のシンボリック・リンクが多すぎます - サーバーがサポートするのは最大 **10** 個です。

**説明:** 指定されたファイルのシンボリック・リンクが多すぎます。サーバーは、このシンボリック・リンクのネーム解決を終了する前に最大 10 個のリンクに従います。

**システムの処置:** このファイルにアクセスすることができません。

**ユーザーの処置:** ファイルがシンボリック・リンクでない実際のファイルを、ユーザーに指定してもらってください。ls -l を使用して、ファイルがシンボリック・リンクかどうかを確認することができます。

## ANR7834I (AIX) • ANR7835I (Windows)

---

**ANR7834I (AIX)** スレッド *thread ID* が外部信号への応答で終了しました。

説明: スレッドは外部信号により終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7834E (Linux)** *Specified raw partition name* ロー区画に 0 番目のディスク・シリンダーを入れることはできません。

説明: 指定されたロー区画に 0 番目のディスク・シリンダーがあります。サーバーは 0 番目のシリンダーに書き込みできないようにする必要があります。それができると、ディスク・ラベルが破壊されることになりま

す。

システムの処置: このロー区画にアクセスすることができません。

ユーザーの処置: システム管理者に、この区画の開始シリンダーを 0 より大きい番号に変更してもらってください。

---

**ANR7834E (Solaris)** *Specified raw partition name* ロー区画に 0 番目のディスク・シリンダーを入れることはできません。

説明: 指定されたロー区画に 0 番目のディスク・シリンダーがあります。サーバーは 0 番目のシリンダーに書き込みできないようにする必要があります。それができると、ディスク・ラベルが破壊されることになりま

す。

システムの処置: このロー区画にアクセスすることができません。

ユーザーの処置: システム管理者に、この区画の開始シリンダーを 0 より大きい番号に変更してもらってください。

---

**ANR7834I (Windows)** サーバー・スレッド *thread ID* (*tid Windows NT thread ID*) が外部信号のために終了しました。

説明: スレッドが外部信号のために終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7835I (AIX)** サーバー・スレッド *thread ID* が、サーバーのシャットダウンに反応して、終了しました。

説明: スレッドはサーバー・シャットダウンにより終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7835E (Linux)** *Specified raw partition name* ロー区画は、このオペレーティング・システムで操作するには大きすぎます。

説明: 指定されたロー区画は 2GB より大で、オペレーティング・システムは Solaris 2.6 より下で実行中です。Solaris 2.6 より下のオペレーティング・システムは、本来、2GB より大きいファイルを操作することができません。Solaris 2.6 以前のオペレーティング・システムの場合、限界は 1TB です。

システムの処置: このロー区画にアクセスすることができません。

ユーザーの処置: システム管理者に、ロー区画サイズを、Solaris 2.5 以下の場合は 2GB (4194303 個の 512 バイトのディスク・ブロック) より小さくなるように、Solaris 2.6 以上の場合は 1TB (2147483647 個の 512 バイトのディスク・ブロック) より小さくなるよう、変更してもらってください。

---

**ANR7835E (Solaris)** *Specified raw partition name* ロー区画は、このオペレーティング・システムで操作するには大きすぎます。

説明: 指定されたロー区画は 2GB より大で、オペレーティング・システムは Solaris 2.6 より下で実行中です。Solaris 2.6 より下のオペレーティング・システムは、本来、2GB より大きいファイルを操作することができません。Solaris 2.6 以前のオペレーティング・システムの場合、限界は 1TB です。

システムの処置: このロー区画にアクセスすることができません。

ユーザーの処置: システム管理者に、ロー区画サイズを、Solaris 2.5 以下の場合は 2GB (4194303 個の 512 バイトのディスク・ブロック) より小さくなるように、Solaris 2.6 以上の場合は 1TB (2147483647 個の 512 バイトのディスク・ブロック) より小さくなるよう、変更してもらってください。

---

**ANR7835I (Windows)** サーバー・スレッド *thread ID* (*tid Windows NT thread ID*) がサーバーのシャットダウンのために終了しました。

説明: スレッドがサーバーのシャットダウンのために終了しました。

システムの処置: サーバーは終了処理を完了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7836S (AIX)** サーバーの初期化が終了しました。

説明: サーバー初期化の終了の原因となるエラーが起きます。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: このメッセージに有効な追加情報を確認してください。製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「ANR7836S」を検索します。

---

**ANR7837S (AIX)** 内部エラー *internal error* が検出されました。

説明: サーバーの初期化時または操作時に内部エラーが検出されました。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: ANR7837S エラー、LOGSEG871 エラーを受信した場合は、ログ・ファイルを拡張してください。

このメッセージに有効な追加情報を確認してください。製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「ANR7837S」を検索します。

---

**ANR7837S (Windows)** 内部エラー *internal error* が検出されました。

説明: サーバーの初期化時または操作時に内部エラーが検出されました。

システムの処置: サーバーは停止します。

ユーザーの処置: ANR7837S エラー、LOGSEG871 エラーを受信した場合は、ログ・ファイルを拡張してください。

このメッセージに有効な追加情報を確認してください。製品情報 (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ/>) で「ANR7837S」を検索します。

---

**ANR7838S (AIX)** サーバーの操作が終了しました。

説明: サーバーの操作が停止する原因となるエラーが起こっています。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7841S (AIX)** 使用可能なカーネル・メモリーが不十分です。

説明: カーネル・メモリーが足りないためにエラーが起こります。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7842S (AIX)** モニター・カーネル拡張プログラムが初期化されていません。

説明: モニター・カーネル拡張プログラム機能が初期化されていません。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7843W (AIX)** 実メモリー・サイズを調べることができません。

説明: サーバーは、システムの実メモリーの容量を調べて、データベース・バッファ・プールのストレージの使用を最適化します。オブジェクト・データ・マネージャー (ODM) を使用して、サーバーはシステムにインストールされている実メモリーの容量を判別します。ODM を呼び出すのに使用されたルーチンが失敗したか、あるいは実メモリー・サイズを戻すことができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは、実メモリーを考慮せずに、データベース・バッファ・プール・サイズを大きくすることができます。

ユーザーの処置: この情報を入手するために、サーバーは root ユーザーとして実行することが必要な場合があります。

---

**ANR7843W (HP-UX)** 実メモリー・サイズを調べることができません。

説明: サーバーは、システムの実メモリーの容量を調べて、データベース・バッファ・プールのストレージの使用を最適化します。この情報を取得するのに使用したルーチンが、失敗した戻りコードを戻したか、あるいは実メモリー・サイズを戻すことができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは、実メモリーを考慮せずに、データベース・バッファ・プール・サイズを大きくすることができます。

ユーザーの処置: この情報を入手するために、サーバーは root ユーザーとして実行することが必要な場合があります。

## ANR7843W (Linux) • ANR7854W (Windows)

---

**ANR7843W (Linux)** 実メモリ・サイズを調べることができません。

説明: サーバーは、システムの実メモリの容量を調べて、データベース・バッファ・プールのストレージの使用を最適化します。オブジェクト・データ・マネージャー (ODM) を使用して、サーバーはシステムにインストールされている実メモリの容量を判別します。ODM を呼び出すのに使用されたルーチンが失敗したか、あるいは実メモリ・サイズを戻すことができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは、実メモリを考慮せずに、データベース・バッファ・プール・サイズを大きくすることができます。

ユーザーの処置: この情報を入手するために、サーバーは root ユーザーとして実行することが必要な場合があります。

---

**ANR7843W (Solaris)** 実メモリ・サイズを調べることができません。

説明: サーバーは、システムの実メモリの容量を調べて、データベース・バッファ・プールのストレージの使用を最適化します。この情報を取得するのに使用したルーチンが、失敗した戻りコードを戻したか、あるいは実メモリ・サイズを戻すことができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは、実メモリを考慮せずに、データベース・バッファ・プール・サイズを大きくすることができます。

ユーザーの処置: この情報を入手するために、サーバーは root ユーザーとして実行することが必要な場合があります。

---

**ANR7843W (Windows)** 実メモリ・サイズを調べることができません。

説明: サーバーは、システムの実メモリの容量を調べて、データベース・バッファ・プールのストレージの使用を最適化します。この情報を取得するのに使用したルーチンが、失敗した戻りコードを戻したか、あるいは実メモリ・サイズを戻すことができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは、実メモリを考慮せずに、データベース・バッファ・プール・サイズを大きくすることができます。

ユーザーの処置: この情報を入手するために、サーバーは root ユーザーとして実行することが必要な場合があります。

---

**ANR7849I (AIX)** サーバーの操作は終了しました - カーネル拡張プログラムがリセットされました。

説明: メッセージが出された前の条件に反応して、カーネル拡張プログラム機能が、サーバーによって再初期化されました。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7850I (AIX)** プロセス *process ID* が信号 *signal number (signal name)* で終了しました。

説明: 指定された信号のために指定されたプロセスが終了しました。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7851S (AIX)** 信号 *signal number (signal name)* のハンドラーをリセット中にエラー。

説明: 指定された信号ハンドラーのリセット中にエラーが起こります。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR7852I (Windows)** 現行の処理類似性マスクは *0xThe process affinity mask.* です。

説明: サーバーはマスクによって指示されたプロセッサで実行中です。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7853W (Windows)** 現行の処理類似性マスクを入手できませんでした。理由: *NT return code.*

説明: 現行の処理類似性を入手中に問題が起こりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7854W (Windows)** *dsmserve.opt* に指定された処理類似性マスク (*0xAffinity mask.*) が範囲外です。

説明: 類似性マスク値が範囲外でした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7855W (Windows)** 新規の処理類似性マスクを設定できませんでした。理由: *NT return code*。

説明: 新規の処理類似性マスクの設定で問題が起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7856W (Windows)** 類似性マスク (*0xNT return code*.) が、要求されたものとは異なった値に設定されました

説明: 新規の類似性マスクが設定されましたが、検査でそれが要求されたものと一致しないことが分かりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR7859W (AIX)** 標準入力から読み取り中にエラー。

説明: 標準入力からの読み取りを試みている間に、エラーが起きます。

システムの処置: コンソール入力スレッドは打ち切られます。

ユーザーの処置: この状態は、サーバーがインストールの一部として稼働している場合、クローン・ジョブで稼働している場合、またはバックグラウンドで始動している場合は正常です。この状態は、サーバーが **Telnet** または **SSH** セッションで始動し、そのセッションが強制終了されて、事実上、バックグラウンド・プロセスが作成されている場合に生じます。これが意図されたものでない場合は、サーバーを停止して、フォアグラウンドで再始動してください。

---

**ANR7859W (HP-UX)** 標準入力から読み取り中にエラー。

説明: 標準入力からの読み取りを試みている間に、エラーが起きます。

システムの処置: コンソール入力スレッドは打ち切られます。

ユーザーの処置: この状態は、サーバーがインストールの一部として稼働している場合、クローン・ジョブで稼働している場合、またはバックグラウンドで始動している場合は正常です。この状態は、サーバーが **Telnet** または **SSH** セッションで始動し、そのセッションが強制終了されて、事実上、バックグラウンド・プロセスが作

## ANR7855W (Windows) • ANR7860W (AIX)

成されている場合に生じます。これが意図されたものでない場合は、サーバーを停止して、フォアグラウンドで再始動してください。

---

**ANR7859W (Linux)** 標準入力から読み取り中にエラー。

説明: 標準入力からの読み取りを試みている間に、エラーが起きます。

システムの処置: コンソール入力スレッドは打ち切られます。

ユーザーの処置: この状態は、サーバーがインストールの一部として稼働している場合、クローン・ジョブで稼働している場合、またはバックグラウンドで始動している場合は正常です。この状態は、サーバーが **Telnet** または **SSH** セッションで始動し、そのセッションが強制終了されて、事実上、バックグラウンド・プロセスが作成されている場合に生じます。これが意図されたものでない場合は、サーバーを停止して、フォアグラウンドで再始動してください。

---

**ANR7859W (Solaris)** 標準入力から読み取り中にエラー。

説明: 標準入力からの読み取りを試みている間に、エラーが起きます。

システムの処置: コンソール入力スレッドは打ち切られます。

ユーザーの処置: この状態は、サーバーがインストールの一部として稼働している場合、クローン・ジョブで稼働している場合、またはバックグラウンドで始動している場合は正常です。この状態は、サーバーが **Telnet** または **SSH** セッションで始動し、そのセッションが強制終了されて、事実上、バックグラウンド・プロセスが作成されている場合に生じます。これが意図されたものでない場合は、サーバーを停止して、フォアグラウンドで再始動してください。

---

**ANR7860W (AIX)** ファイル *file name* に使用可能なスペースが不足しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイル・システム内で、ファイルのためのスペースが不足しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルを収容するためにドライブ上の追加スペースを解放するか、十分なスペースのあるドライブのファイル名を指定するか、スペース要求をドラ

## ANR7860W (HP-UX) • ANR7861W (Solaris)

イブと整合性のある値に変更してください。 操作を再試行してください。

---

**ANR7860W (HP-UX)** ファイル *file name* に使用可能なスペースが不足しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイル・システム内で、ファイルのためのスペースが不足しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルを収容するためにドライブ上の追加スペースを解放するか、十分なスペースのあるドライブのファイル名を指定するか、スペース要求をドライブと整合性のある値に変更してください。 操作を再試行してください。

---

**ANR7860W (Linux)** ファイル *file name* に使用可能なスペースが不足しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイル・システム内で、ファイルのためのスペースが不足しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルを収容するためにドライブ上の追加スペースを解放するか、十分なスペースのあるドライブのファイル名を指定するか、スペース要求をドライブと整合性のある値に変更してください。 操作を再試行してください。

---

**ANR7860W (Solaris)** ファイル *file name* に使用可能なスペースが不足しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイル・システム内で、ファイルのためのスペースが不足しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルを収容するためにドライブ上の追加スペースを解放するか、十分なスペースのあるドライブのファイル名を指定するか、スペース要求をドライブと整合性のある値に変更してください。 操作を再試行してください。

---

**ANR7861W (AIX)** ボリューム *file name* を作成している時には、ディレクトリーを作成できません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。新規ディレクトリーも作成されてい

ましたが、その作成に失敗しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 既存のディレクトリーのファイル名を指定するか、あるいは別のディレクトリー名を指定するよう、名前要求を変更してください。

---

**ANR7861W (HP-UX)** ボリューム *file name* を作成している時には、ディレクトリーを作成できません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。新規ディレクトリーも作成されていましたが、その作成に失敗しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 既存のディレクトリーのファイル名を指定するか、あるいは別のディレクトリー名を指定するよう、名前要求を変更してください。

---

**ANR7861W (Linux)** ボリューム *file name* を作成している時には、ディレクトリーを作成できません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。新規ディレクトリーも作成されていましたが、その作成に失敗しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 既存のディレクトリーのファイル名を指定するか、あるいは別のディレクトリー名を指定するよう、名前要求を変更してください。

---

**ANR7861W (Solaris)** ボリューム *file name* を作成している時には、ディレクトリーを作成できません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。新規ディレクトリーも作成されていましたが、その作成に失敗しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 既存のディレクトリーのファイル名を指定するか、あるいは別のディレクトリー名を指定するよう、名前要求を変更してください。

---

**ANR7862W (AIX)** ボリューム *file name* の作成時にファイルは既に存在しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイルは既に存在しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。サーバーは、ファイルの作成時に既存のファイル名を使用しません。

---

**ANR7862W (HP-UX)** ボリューム *file name* の作成時にファイルは既に存在しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイルは既に存在しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。サーバーは、ファイルの作成時に既存のファイル名を使用しません。

---

**ANR7862W (Linux)** ボリューム *file name* の作成時にファイルは既に存在しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイルは既に存在しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。サーバーは、ファイルの作成時に既存のファイル名を使用しません。

---

**ANR7862W (Solaris)** ボリューム *file name* の作成時にファイルは既に存在しています。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。ファイルは既に存在しています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。サーバーは、ファイルの作成時に既存のファイル名を使用しません。

---

**ANR7863W (AIX)** ファイル *file name* を作成することができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。システムはファイルの作成におけるエラーを報告しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。

---

**ANR7863W (HP-UX)** ファイル *file name* を作成することができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。システムはファイルの作成におけるエラーを報告しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。

---

**ANR7863W (Linux)** ファイル *file name* を作成することができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。システムはファイルの作成におけるエラーを報告しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。

---

**ANR7863W (Solaris)** ファイル *file name* を作成することができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。システムはファイルの作成におけるエラーを報告しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。

---

**ANR7864W (AIX)** ボリューム *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。サーバーはファイルの一部を書き込むことができたが、スペース不足になりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。ファイルは依然としてシステム上に存在しています。

ユーザーの処置: 十分なスペースがある新規ファイル名を指定してください。

---

**ANR7864W (HP-UX)** ボリューム *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。サーバーはファイルの一部を書き込むことができたが、スペース不足になりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。ファイルは依然としてシステム上に存在しています。

ユーザーの処置: 十分なスペースがある新規ファイル名を指定してください。

---

**ANR7864W (Linux)** ボリューム *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。サーバーはファイルの一部を書き込むことができたが、スペース不足になりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。ファイルは依然としてシステム上に存在しています。

ユーザーの処置: 十分なスペースがある新規ファイル名を指定してください。

---

**ANR7864W (Solaris)** ボリューム *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。サーバーはファイルの一部を書き込むことができたが、スペース不足になりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。ファイルは依然としてシステム上に存在しています。

ユーザーの処置: 十分なスペースがある新規ファイル名を指定してください。

---

**ANR7865W (AIX)** ボリューム *file name* を作成できません。戻りコードは *return code* です。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試行は、示された戻りコードで失敗しました。戻りコードはサーバー内部コードです。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。また、エラーの解釈のため、サービス担当員に戻りコードを提供する場合があります。

---

**ANR7865W (HP-UX)** ボリューム *file name* を作成できません。戻りコードは *return code* です。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試行は、示された戻りコードで失敗しました。戻りコードはサーバーの内部コードです。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。また、エラーの解釈のため、サービス担当員に戻りコードを提供する場合があります。

---

**ANR7865W (Linux)** ボリューム *file name* を作成できません。戻りコードは *return code* です。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試行は、示された戻りコードで失敗しました。戻りコードはサーバーからの内部コードです。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。また、エラーの解釈のため、サービス担当員に戻りコードを提供する場合があります。

---

**ANR7865W (Solaris)** ボリューム *file name* を作成できません。戻りコードは *return code* です。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試行は、示された戻りコードで失敗しました。戻りコードはサーバーの内部コードです。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: 新規のファイル名を指定してください。また、エラーの解釈のため、サービス担当員に戻りコードを提供する場合があります。

---

**ANR7866W (AIX)** ボリューム *file name* の作成に失敗しました。プロセスは取り消されました。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試みは、プロセスの取り消しコマンドによって取り消されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。



ユーザーの処置: DEFINE を再入力することができません。

---

**ANR7866W (HP-UX)** ボリューム *file name* の作成に失敗しました。プロセスは取り消されました。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試みは、プロセスの取り消しコマンドによって取り消されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: DEFINE を再入力することができません。

---

**ANR7866W (Linux)** ボリューム *file name* の作成に失敗しました。プロセスは取り消されました。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試みは、プロセスの取り消しコマンドによって取り消されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: DEFINE を再入力することができません。

---

**ANR7866W (Solaris)** ボリューム *file name* の作成に失敗しました。プロセスは取り消されました。

説明: サーバーが、示されている名前のファイルを作成しようとした。この試みは、プロセスの取り消しコマンドによって取り消されました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイル作成要求は失敗します。

ユーザーの処置: DEFINE を再入力することができません。

---

**ANR7867I (AIX)** *file name* がディスク・ブロック・サイズ *block size* の倍数ではありません。ファイル・サイズは *file size* ですが、使用可能なスペースの端数を切り捨てた値は *usable file size* です。

説明: サーバーが、示されている名前のランダム・アクセス・ファイルを開こうとした。スペース容量がディスク・ブロック・サイズの偶数の倍数になるように、使用可能なスペースの端数が示された値まで切り捨てられました。これは、ファイルの読み取りお

よび書き込み時のパフォーマンスを向上させるために役立ちます。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイルのスペースの一部は未使用になります。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ファイル内のすべてのスペースを使用するには、サーバー・ユーティリティーを使用して、既存のデータを他のボリュームにオフロードします。その後で、ボリュームを削除し、ディスク・ブロック・サイズの倍数を使用してボリュームを再作成できます。

---

**ANR7867I (HP-UX)** *file name* がディスク・ブロック・サイズ *block size* の倍数ではありません。ファイル・サイズは *file size* ですが、使用可能なスペースの端数を切り捨てた値は *usable file size* です。

説明: サーバーが、示されている名前のランダム・アクセス・ファイルを開こうとした。スペース容量がディスク・ブロック・サイズの偶数の倍数になるように、使用可能なスペースの端数が示された値まで切り捨てられました。これは、ファイルの読み取りおよび書き込み時のパフォーマンスを向上させるために役立ちます。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイルのスペースの一部は未使用になります。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ファイル内のすべてのスペースを使用するには、サーバー・ユーティリティーを使用して、既存のデータを他のボリュームにオフロードします。その後で、ボリュームを削除し、ディスク・ブロック・サイズの倍数を使用してボリュームを再作成できます。

---

**ANR7867I (Linux)** *file name* がディスク・ブロック・サイズ *block size* の倍数ではありません。ファイル・サイズは *file size* ですが、使用可能なスペースの端数を切り捨てた値は *usable file size* です。

説明: サーバーが、示されている名前のランダム・アクセス・ファイルを開こうとした。スペース容量がディスク・ブロック・サイズの偶数の倍数になるように、使用可能なスペースの端数が示された値まで切り捨てられました。これは、ファイルの読み取りおよび書き込み時のパフォーマンスを向上させるために役立ちます。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイルのスペースの一部は未使用になります。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ファイル内のすべてのスペースを使用するには、サーバー・ユーティ

## ANR7867I (Solaris) • ANR7869W (AIX)

リティーを使用して、既存のデータを他のボリュームにオフロードします。その後で、ボリュームを削除し、ディスク・ブロック・サイズの倍数を使用してボリュームを再作成できます。

---

**ANR7867I (Solaris)** *file name* がディスク・ブロック・サイズ *block size* の倍数ではありません。ファイル・サイズは *file size* ですが、使用可能なスペースの端数を切り捨てた値は *usable file size* です。

説明: サーバーが、示されている名前のランダム・アクセス・ファイルをオープンしようとしてしました。スペース容量がディスク・ブロック・サイズの偶数の倍数になるように、使用可能なスペースの端数が示された値まで切り捨てられました。これは、ファイルの読み取りおよび書き込み時のパフォーマンスを向上させるために役立ちます。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ファイルのスペースの一部は未使用になります。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ファイル内のすべてのスペースを使用するには、サーバー・ユーティリティーを使用して、既存のデータを他のボリュームにオフロードします。その後で、ボリュームを削除し、ディスク・ブロック・サイズの倍数を使用してボリュームを再作成できます。

---

**ANR7868E (AIX)** サーバーが *file name* ファイルをオープンまたはロックできません。

説明: サーバーがインスタンス・ロック・ファイルのオープンまたはロックを試行しました。オープン操作またはロック操作が失敗しました。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが正しいインスタンス・ディレクトリーから初期化されていること、およびこのサーバー・インスタンスが実行中ではないことを確認してください。インスタンスの所有者が、指定されたパス上でファイルの読み取りおよび書き込みを行うための適切な権限を持っていることを確認してください。

---

**ANR7868E (HP-UX)** サーバーが *file name* ファイルをオープンまたはロックできません。

説明: サーバーがインスタンス・ロック・ファイルのオープンまたはロックを試行しました。オープン操作またはロック操作が失敗しました。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが正しいインスタンス・ディレクトリーから初期化されていること、およびこのサー

バー・インスタンスが実行中ではないことを確認してください。インスタンスの所有者が、指定されたパス上でファイルの読み取りおよび書き込みを行うための適切な権限を持っていることを確認してください。

---

**ANR7868E (Linux)** サーバーが *file name* ファイルをオープンまたはロックできません。

説明: サーバーがインスタンス・ロック・ファイルのオープンまたはロックを試行しました。オープン操作またはロック操作が失敗しました。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが正しいインスタンス・ディレクトリーから初期化されていること、およびこのサーバー・インスタンスが実行中ではないことを確認してください。インスタンスの所有者が、指定されたパス上でファイルの読み取りおよび書き込みを行うための適切な権限を持っていることを確認してください。

---

**ANR7868E (Solaris)** サーバーが *file name* ファイルをオープンまたはロックできません。

説明: サーバーがインスタンス・ロック・ファイルのオープンまたはロックを試行しました。オープン操作またはロック操作が失敗しました。

システムの処置: サーバーの初期化は実行されません。

ユーザーの処置: サーバーが正しいインスタンス・ディレクトリーから初期化されていること、およびこのサーバー・インスタンスが実行中ではないことを確認してください。インスタンスの所有者が、指定されたパス上でファイルの読み取りおよび書き込みを行うための適切な権限を持っていることを確認してください。

---

**ANR7869W (AIX)** ボリューム *file name* をフォーマット・サイズ *format size* メガバイトで作成できません。

説明: サーバーは示された名前のボリュームを作成しましたが、ボリュームのサイズが指定されたフォーマット・サイズより小さくなっています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ボリュームは作成されますが、フォーマット・サイズは正しくありません。

ユーザーの処置: オペレーティング・システム上の環境制限により、ボリュームのフォーマット・サイズは指定されたサイズより小さくなります。オペレーティング・システムの環境制限を更新して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR7869W (Linux)** ボリューム *file name* をフォーマット・サイズ *format size* メガバイトで作成できません。

説明: サーバーは示された名前のボリュームを作成しましたが、ボリュームのサイズが指定されたフォーマット・サイズより小さくなっています。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。ボリュームは作成されますが、フォーマット・サイズは正しくありません。

ユーザーの処置: オペレーティング・システム上の環境制限により、ボリュームのフォーマット・サイズは指定されたサイズより小さくなります。オペレーティング・システムの環境制限を更新して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR7870W (AIX) odm** 照会を初期化できません。  
**odm** からのエラー・メッセージ *odm message*。

説明: サーバーは AIX オブジェクト・データ・マネージャー (ODM) を使用して AIX についての情報を調べます。例えば、サーバーは ODM を使用して、システムにインストールされている実メモリーの容量を判別します。ODM 照会の初期化に使用したルーチンが失敗しました。ODM は示されているエラー・メッセージを戻しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは、取得できなかった情報に関する前提事項を作成します。

ユーザーの処置: この情報を入手するために、サーバーは root ユーザーとして実行することが必要になる場合があります。

---

**ANR7871W (AIX) odm** 照会を完了できません。  
**odm** からのエラー・メッセージ *odm message*。

説明: サーバーは AIX オブジェクト・データ・マネージャー (ODM) を使用して AIX についての情報を調べます。例えば、サーバーは ODM を使用して、システムにインストールされている実メモリーの容量を判別します。ODM 照会を実行するのに使用されたルーチンが失敗しました。ODM は示されているエラー・メッセージを戻しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは、取得できなかった情報に関する前提事項を作成します。

ユーザーの処置: この情報を入手するために、サーバー

は root ユーザーとして実行することが必要になる場合があります。

---

**ANR8195I (AIX) SSL TCP/IP** バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8195I (HP-UX) SSL TCP/IP** バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8195I (Linux) SSL TCP/IP** バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8195I (Solaris) SSL TCP/IP** バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8195I (Windows) SSL TCP/IP** バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

## ANR8196I (AIX) • ANR8198E (Linux)

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8196I (AIX) SSL TCP/IP** 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8196I (HP-UX) SSL TCP/IP** 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8196I (Linux) SSL TCP/IP** 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8196I (Solaris) SSL TCP/IP** 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8196I (Windows) SSL TCP/IP** 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8197W (HP-UX) TCP/IP** ドライバーは、サーバーが **listen** するマスター・ソケットのウィンドウ・サイズを *TCPWindowSize* に設定できません。サーバーはセッションを **listen** するためにデフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。

説明: ウィンドウ・サイズを要求されたサイズに設定できない原因は、TCP/IP バッファ用メモリーの不足である可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作はデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: 必要に応じて、オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、サーバーを再始動してください。サーバーのウィンドウ・サイズ (*TCPWindowSize*) の設定を調べるには、**QUERY OPTION** コマンドを発行してください。

---

**ANR8198E (AIX) SSL** 環境は確立されませんでした。**GSK** モジュール *gsk module* 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8198E (HP-UX) SSL** 環境は確立されませんでした。**GSK** モジュール *gsk module* 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8198E (Linux) SSL** 環境は確立されませんでした。**GSK** モジュール *gsk module* 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8198E (Solaris)** SSL 環境は確立されませんでした。**GSK** モジュール *gsk module* 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8198E (Windows)** SSL 環境は確立されませんでした。**GSK** モジュール *gsk module* 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8199E (AIX)** SSL TCP/IP ドライバーは、ポート *port number* で初期化されませんでした。

説明: SSL 環境の問題により、IBM Spectrum Protect は指示されたポート番号で SSL プロトコルを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8199E (HP-UX)** SSL TCP/IP ドライバーは、ポート *port number* で初期化されませんでした。

説明: SSL 環境の問題により、IBM Spectrum Protect は指示されたポート番号で SSL プロトコルを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8199E (Linux)** SSL TCP/IP ドライバーは、ポート *port number* で初期化されませんでした。

説明: SSL 環境の問題により、IBM Spectrum Protect は指示されたポート番号で SSL プロトコルを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8199E (Solaris)** SSL TCP/IP ドライバーは、ポート *port number* で初期化されませんでした。

説明: SSL 環境の問題により、IBM Spectrum Protect は指示されたポート番号で SSL プロトコルを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8199E (Windows)** SSL TCP/IP ドライバーは、ポート *port number* で初期化されませんでした。

説明: SSL 環境の問題により、IBM Spectrum Protect は指示されたポート番号で SSL プロトコルを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8200I (AIX)** TCP/IP バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8200I (HP-UX)** TCP/IP バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: これでサーバーは、示されているポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8200I (Linux)** TCP/IP バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

## ANR8200I (Solaris) • ANR8201W (Windows)

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8200I (Solaris) TCP/IP** バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8200I (Windows) TCP/IP** バージョン 4 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8201W (AIX) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否しているので、サーバーが TCP/IP を通して通信を開始できません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: 十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR8201E (HP-UX) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - ソケットの作成に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット作成エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8201E (Linux) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - ソケットの作成に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット作成エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8201E (Solaris) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - ソケットの作成に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット作成エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8201W (Windows) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: サーバーが TCP/IP を使用して通信することができません。メモリー割り振り要求がオペレーティング・システムによって拒否されました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows コントロール・パネルの、システム・アイコン

ンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。

---

**ANR8202W (AIX) TCP/IP** ドライバーを初期化できません - アクセプター・ソケットを作成中にエラー。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP が、listen するソケットに対する要求を拒否したので、サーバーは TCP/IP を介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。TCP/IP が開始されない場合には、サーバー・プロンプトから HALT コマンドを使用して、サーバーをいったん停止してから、サーバーを再始動してください。

---

**ANR8202E (HP-UX) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - ポート *TCP port number* ソケットのバインド操作に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット・バインド・エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。このメッセージは、同じ TCP/IP ポート番号を持つ同じマシン上で複数のサーバーが動作しているために表示されることもあります。それぞれのサーバーの *dsmserv.opt* ファイルの *TCPPort* オプションが異なっていることを確認してください。

---

**ANR8202E (Linux) ポート *TCP port number* の使用中のエラーのために、TCP/IP** ドライバーを初期化できません。エラー *error code*。

説明: サーバーは、ソケット・バインド・エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。このメッセージは、同じ TCP/IP ポート番号を持つ同じマシン上で複数のサーバーが動作しているために表示されることもあります。それぞれのサーバーの *dsmserv.opt* ファイルの *TCPPort* オプションが異なっていることを確認してください。TCP/PORT および TCPADMINPORT が同じ値に設定されておらず、デフォルトとして同じ値になっていないことを確認してください。

---

**ANR8202E (Solaris) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - ポート *TCP port number* ソケットのバインド操作に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット・バインド・エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。このメッセージは、同じ TCP/IP ポート番号を持つ同じマシン上で複数のサーバーが動作しているために表示されることもあります。それぞれのサーバーの *dsmserv.opt* ファイルの *TCPPort* オプションが異なっていることを確認してください。

---

**ANR8202W (Windows) TCP/IP** ドライバーを初期化できません - アクセプター・ソケットを作成中にエラー。理由コードは *reason code* です。

説明: サーバーが TCP/IP を使用して通信することができません。サーバーが listen するソケットの要求を、TCP/IP が拒否しました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。TCP/IP が開始されない場合には、HALT コマンドを出してサーバーを停止し、再びサーバーを始動してください。

---

**ANR8203W (AIX)** TCP 接続を確立することができません - 受け入れエラー。

説明: TCP/IP の障害が原因で、サーバーはクライアント・セッションを受け入れられません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。TCP/IP が開始されない場合には、サーバー・プロンプトから HALT コマンドを使用して、サーバーをいったん停止してから、サーバーを再始動してください。

---

**ANR8203E (HP-UX)** TCP/IP ドライバーを初期化することができません - **listen** 操作に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット **listen** エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8203E (Linux)** TCP/IP ドライバーを初期化することができません - **listen** 操作に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット **listen** エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8203E (Solaris)** TCP/IP ドライバーを初期化することができません - **listen** 操作に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット **listen** エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8203W (Windows)** TCP 接続を確立することができません - 受け入れエラー。

説明: サーバーが、TCP/IP 内の障害のためクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。TCP/IP が開始されない場合には、HALT コマンドを出してサーバーを停止し、再びサーバーを始動してください。

---

**ANR8204W (AIX)** TCP 接続を確立することができません。 - メモリー不足です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: 十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---



---

**ANR8204E (HP-UX) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - スレッドの作成に失敗しました。

説明: サーバーは、サーバー・スレッド作成エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: このエラーはメモリ不足から起こることもあります。システムに、現在の活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8204E (Linux) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - スレッドの作成に失敗しました。

説明: サーバーは、サーバー・スレッド作成エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: このエラーはメモリ不足から起こることもあります。システムに、現在の活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8204E (Solaris) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - スレッドの作成に失敗しました。

説明: サーバーは、サーバー・スレッド作成エラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: このエラーはメモリ不足から起こることもあります。システムに、現在の活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8204W (Windows) TCP** 接続を確立することができません。 - メモリー不足です。

説明: メモリー割り振り要求の失敗のために、サーバーがクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。  
Windows コントロール・パネルの、システム・アイコ

ンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8205W (AIX) TCP** 接続を確立できません - サーバーの停止が進行中です。

説明: サーバーの停止処理が進行中のため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8205E (HP-UX) TCP/IP** ドライバーの終了中 - 受け入れ操作が失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーは、ソケット受け入れエラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8205E (Linux) TCP/IP** ドライバーの終了中です - ソケットの受け入れ操作に失敗しました。エラー *error code*。

説明: サーバーは、ソケット受け入れエラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8205E (Solaris) TCP/IP** ドライバーの終了中です  
- ソケットの受け入れ操作に失敗しました。エラー *error code*。

説明: サーバーは、ソケット受け入れエラーのために TCP/IP ドライバーを初期化できません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、TCP/IP サポートは操作不能です。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8205W (Windows) TCP** 接続を確立できません - サーバーの停止が進行中です。

説明: サーバーの停止処理が進行中であるために、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8206W (AIX) ソケット *socket* (セッション *session number*)** が突然クローズされました。

説明: 指定された TCP/IP ソケットで示されたセッションがサーバーの外側でクローズされることを、サーバーは検出します。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、セッションは打ち切られます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8206E (HP-UX) TCP/IP** セッションを確立することができません - 無効なホスト・アドレスは *IP host address* (ポート *port number*) です。

説明: 指定されたアドレスまたはポート番号が無効なため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したホスト名が有効であること、およびネットワークを介してアクセス可能であることを確認してください。リモート・システムに対して TCPCLIENTPort オプションが指定されている場合には、別のアプリケーションと競合しないことを確認してください。

---

**ANR8206E (Linux) TCP/IP** セッションを確立することができません - 無効なホスト・アドレスは *IP host address* (ポート *port number*) です。

説明: 指定されたアドレスまたはポート番号が無効なため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したホスト名が有効であること、およびネットワークを介してアクセス可能であることを確認してください。リモート・システムに対して TCPCLIENTPort オプションが指定されている場合には、別のアプリケーションと競合しないことを確認してください。

---

**ANR8206E (Solaris) TCP/IP** セッションを確立することができません - 無効なホスト・アドレスは *IP host address* (ポート *port number*) です。

説明: 指定されたアドレスまたはポート番号が無効なため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したホスト名が有効であること、およびネットワークを介してアクセス可能であることを確認してください。リモート・システムに対して TCPCLIENTPort オプションが指定されている場合には、別のアプリケーションと競合しないことを確認してください。

---

**ANR8206I (Windows) TCP/IP** バージョン 4 管理ドライバは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8207W (AIX) ソケット初期化エラーのため、TCP/IP** ドライバーを初期化することができません。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP 通信を初期化している間、サーバーは TCP/IP とのインターフェースをセットアップすることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サ

ーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が始動されて、システム上で活動状態になっていることを確認してください。ユーザー自身のアドレスに TCP/IP ping コマンドを出して、TCP/IP が始動され、活動状態になっていることを確認することができます。

---

**ANR8207E (HP-UX)** メモリーが不足しているために  
IP host address との TCP/IP セッション  
を確立することができません。

説明: メモリー不足状態のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システムに現在のレベルのシステム活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8207E (Linux)** メモリーが不足しているために IP  
host address との TCP/IP セッションを確  
立することができません。

説明: メモリー不足状態のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システムに現在のレベルのシステム活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8207E (Solaris)** メモリーが不足しているために  
IP host address との TCP/IP セッション  
を確立することができません。

説明: メモリー不足状態のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システムに現在のレベルのシステム活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8207W (Windows)** ソケット初期化エラーのため、TCP/IP ドライバーを初期化することができません。理由コードは reason code です。

説明: TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーが TCP/IP (Windows 版) とのインターフェースのセットアップに失敗しました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サ

ーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP がシステムに正しくインストールされていることを確認してください。TCP/IP がシステム上で開始されていることを確認してください。ユーザー自身のアドレスに対して TCP/IP ping コマンドを出して、TCP/IP がインストール済みであり、活動状態であることを確認してください。

---

**ANR8208W (AIX)** ポート port の使用中のエラーのために、TCP/IP ドライバーを初期化できません。理由コード reason code。

説明: TCP/IP 通信の初期化中に、サーバーがクライアントを listen するマスター・ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP bind API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP netstat コマンドを実行して、TCP/PORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが、他にないことを確認してください。サーバーが停止され、クライアント・セッションが活動状態の場合には、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8208E (HP-UX)** IP host address との TCP/IP セ  
ッションを確立することができません -  
ソケットの作成に失敗しました。エラーは  
error code です。

説明: ソケット作成エラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8208E (Linux)** IP host address との TCP/IP セ  
ッションを確立することができません - ソ  
ケットの作成に失敗しました。エラーは  
error code です。

説明: ソケット作成エラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

## ANR8208E (Solaris) • ANR8209E (Solaris)

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8208E (Solaris)** IP host address との TCP/IP セッションを確立することができません - ソケットの作成に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: ソケット作成エラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーの TCP/IP アドレスをターゲットとして持つ PING コマンドを使用して、ユーザーのシステムで TCP/IP が作動可能であることを確認してください。システムで TCP/IP が活動状態でない場合には、これを活動化し、サーバーを停止して再始動する必要があります。

---

**ANR8208W (Windows)** ポート *port* の使用中のエラーのために、TCP/IP ドライバーを初期化できません。理由コード *reason code*。

説明: TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーがクライアントを listen するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP bind API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/PORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。サーバーを停止してすぐに始動すると、ポート再使用のための TCP/IP の 1 分間のタイムアウト期間に入っていることがあります。サーバーを停止し、1 分間待ってから、サーバーを再始動してください。この方法で解決できない場合には、Windows を再始動する必要があります。

---

**ANR8209W (AIX)** 指定したポートでの listen のエラー (理由コード *reason code*) のため、TCP/IP ドライバーを初期化することができません。

説明: TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を listen しようとしているときに、TCP/IP が

エラーを戻しました。理由コードは TCP/IP listen API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用してクライアントから追加のセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: ネットワーク上の他のノードに TCP/IP netstat -s および ping コマンドを実行して、TCP/IP が正しく実行されていることを確認してください。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8209E (HP-UX)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - 接続は拒否されました。

説明: リモート・システムが接続要求を拒否したので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの TCP/Serveraddress および TCP/Port が正しく指定されていることを確認してください。

---

**ANR8209E (Linux)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - 接続は拒否されました。

説明: リモート・システムが接続要求を拒否したので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの TCP/Serveraddress および TCP/Port が正しく指定されていることを確認してください。

---

**ANR8209E (Solaris)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - 接続は拒否されました。

説明: リモート・システムが接続要求を拒否したので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの

TCPServeraddress および TCPPort が正しく指定されていることを確認してください。

---

**ANR8209W (Windows)** 指定したポートでの listen のエラー (理由コード *reason code*) のため、TCP/IP ドライバーを初期化することができません。

説明: TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を listen しようとしているときに、TCP/IP がエラーを戻しました。理由コードは TCP/IP listen API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用してクライアントから追加のセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が正しく実行されているかどうか確認してください。これは、ユーザーのネットワーク上にある他のノードに対して TCP/IP netstat -s および ping コマンドを出すことによって実行できます。サーバーを再始動することによって、この状態を訂正することは可能です。

---

**ANR8210W (AIX)** 新規セッションを受け入れ中のエラー (理由コード *reason code*) のため、TCP/IP ドライバーが終了しました。

説明: TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を受け入れようとしているときに、TCP/IP がエラーを戻します。理由コードは TCP/IP accept API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用してクライアントから追加のセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が正しく実行されているかどうか確認してください。これは、ユーザーのネットワーク上にある他のノードに対して TCP/IP netstat -s および ping コマンドを出すことによって実行できます。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8210E (HP-UX)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - 接続要求がタイムアウトになりました。

説明: リモート・システムが接続要求に応答しないので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 次を確認してください。

- 指定したリモート・システムが操作可能で、TCP/IP を実行するように正しく構成されている。

- クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの正しい TCPServeraddress および TCPPort が指定されている。

- 必要なゲートウェイおよびルーターが正しく機能している。

---

**ANR8210E (Linux)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - 接続要求がタイムアウトになりました。

説明: リモート・システムが接続要求に応答しないので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 次を確認してください。

- 指定したリモート・システムが操作可能で、TCP/IP を実行するように正しく構成されている。
- クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの正しい TCPServeraddress および TCPPort が指定されている。
- 必要なゲートウェイおよびルーターが正しく機能している。

---

**ANR8210E (Solaris)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - 接続要求がタイムアウトになりました。

説明: リモート・システムが接続要求に応答しないので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 次を確認してください。

- 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように正しく構成されている。
- クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの正しい TCPServeraddress および TCPPort が指定されている。
- 必要なゲートウェイおよびルーターが正しく機能している。

---

**ANR8210W (Windows)** 新規セッションを受け入れ中のエラー (理由コード *reason code*) のため、TCP/IP ドライバーが終了しました。

説明: TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を受け入れようとしているときに、TCP/IP がエラーを戻します。理由コードは TCP/IP accept API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用してクライアントから追加のセッションを受け入れることができません。

## ANR8211W (AIX) • ANR8212E (HP-UX)

ユーザーの処置: TCP/IP が正しく実行されているかどうか確認してください。これは、ユーザーのネットワーク上にある他のノードに対して TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを出すことによって実行できます。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8211W (AIX)** 新規スレッドの作成中のエラーのため、TCP/IP ドライバーが終了中です。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、TCP/IP 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8211E (HP-UX)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - システム/ネットワークに到達不能です。

説明: リモート・システムまたはネットワークに到達不能のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。また、必要なゲートウェイ、およびルーターが正しく機能していることも確認してください。

---

**ANR8211E (Linux)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - システム/ネットワークに到達不能です。

説明: リモート・システムまたはネットワークに到達不能のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。また、必要なゲートウェイ、およびルーターが正しく機能していることも確認してください。

---

**ANR8211E (Solaris)** IP host address との TCP/IP セッションを確立できません - システム/ネットワークに到達不能です。

説明: リモート・システムまたはネットワークに到達不能のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。また、必要なゲートウェイ、およびルーターが正しく機能していることも確認してください。

---

**ANR8211W (Windows)** 新規スレッドの作成中のエラーのため、TCP/IP ドライバーが終了中です。

説明: 新規実行スレッドを作成できないために、サーバーを初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、TCP/IP 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8212W (AIX)** node name のアドレスを解決することができません。

説明: サーバーは、示されているノード名の TCP/IP アドレスを取得しようとしています。この試みは成功しません。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく指定されていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。そのためには、TCP/IP `ping` コマンドを使用してください。

---

**ANR8212E (HP-UX)** IP host address との TCP/IP セッションを確立することができません - 接続に失敗しました。エラーは error code です。

説明: 接続エラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8212E (Linux)** *IP host address* との TCP/IP セッションを確立することができません - 接続に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: 接続エラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8212E (Solaris)** *IP host address* との TCP/IP セッションを確立することができません - 接続に失敗しました。エラーは *error code* です。

説明: 接続エラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8212W (Windows)** *node name* のアドレスを解決することができません。

説明: サーバーは、示されているノード名の TCP/IP アドレスを取得しようとしています。この試みは成功しません。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく指定されていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8213W (AIX)** *node name* でのセッション・オープンがタイムアウトになりました。

説明: サーバーは、指示されたノード名に接続しようとしています。この試みは成功しません。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく指定されていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8213E (HP-UX)** 送信エラーのためにセッション *Session identifier* は打ち切られました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーと指定のクライアント・システムの間のセッションで、データ送信中に致命的エラーがありました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8213E (Linux)** ソケット *Socket identifier* は送信エラーのために打ち切られました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーと指定されたクライアント・システムとの間のセッションで、データ送信中に致命的エラーが見つかりました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8213E (Solaris)** ソケット *Socket identifier* は送信エラーのために打ち切られました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーと指定されたクライアント・システムとの間のセッションで、データ送信中に致命的エラーが見つかりました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8213W (Windows)** *node name* でのセッション・オープンがタイムアウトになりました。

説明: サーバーは、指示されたノード名に接続しようとします。この試みは成功しません。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく指定されていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8214E (AIX)** 接続拒否のために、*IP host address* でのセッション・オープンが失敗しました。

説明: リモート・システムが接続要求を拒否したので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの TCPServeraddress および TCPPort が正しく指定されていることを確認してください。

---

**ANR8214E (HP-UX)** ソケット *socket number* でデータが読み取られなかったときに、セッションが停止しました。

説明: サーバーは、示されたソケットでデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションなどの手段を通じて通信できることを確認してください。

---

**ANR8214E (Linux)** ソケット *socket number* でデータが読み取られなかったときに、セッションが終了しました。

説明: サーバーは、示されたソケットでデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了

した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションなどの手段を通じて通信できることを確認してください。

---

**ANR8214E (Solaris)** ソケット *socket number* でデータが読み取られなかったときに、セッションが終了しました。

説明: サーバーは、示されたソケットでデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションなどの手段を通じて通信できることを確認してください。

---

**ANR8214E (Windows)** 接続拒否のために、*IP host address* でのセッション・オープンが失敗しました。

説明: リモート・システムが接続要求を拒否したので、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。クライアント・オプション・ファイルに、接続しようとしているサーバーの TCPServeraddress および TCPPort が正しく指定されていることを確認してください。

---

**ANR8215W (AIX)** *IP host address* でのセッション・オープンが、到達不能のため失敗しました。

説明: リモート・システムが到達不能のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: IP ホスト・アドレスが正しく指定さ



れていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。 そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8215E (HP-UX)** 受信エラーのためにセッション  
*Session identifier* は打ち切られました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーと指定のクライアント・システムの間のセッションで、データ受信中に致命的エラーがありました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8215E (Linux)** 受信エラーのためにセッション  
*Session identifier* は打ち切られました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーと指定されたクライアント・システムとの間のセッションで、データ受信中に致命的エラーが見つかりました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8215E (Solaris)** 受信エラーのためにセッション  
*Session identifier* は打ち切られました。エラーは *error code* です。

説明: サーバーと指定されたクライアント・システムとの間のセッションで、データ受信中に致命的エラーが見つかりました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、TCP/IP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8215W (Windows)** *IP host address* でのセッション・オープンが、到達不能のため失敗しました。

説明: リモート・システムが到達不能のため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: IP ホスト・アドレスが正しく指定されていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。 そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8216W (AIX)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの送信中に **TCP/IP** エラーを検出しました。 理由は *return code* です。

説明: 示されているソケットで通信エラーが発生しました。 接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。 そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR8216E (HP-UX)** スレッドの作成エラーのために、  
*IP host address* との **TCP/IP** セッションを確立できません。

説明: スレッド作成時のエラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システムに現在のレベルのシステム活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8216E (Linux)** スレッドの作成エラーのために、  
*IP host address* との **TCP/IP** セッションを確立できません。

説明: スレッド作成時のエラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システムに現在のレベルのシステム活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8216E (Solaris)** スレッドの作成エラーのために、  
*IP host address* との **TCP/IP** セッションを確立できません。

説明: スレッド作成時のエラーのため、サーバーがセッションを確立できません。

## ANR8216W (Windows) • ANR8217W (Windows)

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: システムに現在のレベルのシステム活動をサポートするだけの十分なページング・スペースがあることを確認してください。

---

**ANR8216W (Windows)** ソケット *socket number* でデータを送信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: 指示されたソケットを介してデータを送信しているときに、サーバーが TCP/IP からエラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションなどの手段を通じて通信できることを確認してください。

---

**ANR8217W (AIX)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの受信中に TCP/IP エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 示されているソケットで通信エラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR8217W (HP-UX)** TCP/IP ドライバーはクライアント *client* の TCPWindowSize にウィンドウ・サイズを設定することができません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーは、示されているクライアントのウィンドウ・サイズを表示された要求サイズに設定できません。示されているセッションに対して、デフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。TCP/IP バッファ用のメモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作は継続され、セッションはデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、セッションを再試行してください。QUERY OPTION コマンドを出して、サーバーの TCPWindowSize の設定を調べてください。

---

**ANR8217W (Linux)** TCP/IP ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否しているため、サーバーが TCP/IP を通して通信を開始できません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: Solaris 用に使用可能なページング・スペースが、十分にあることを確認してください。ps -ef を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうかを調べることもできます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR8217W (Solaris)** TCP/IP ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否しているため、サーバーが TCP/IP を通して通信を開始できません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: Solaris 用に使用可能なページング・スペースが、十分にあることを確認してください。ps -ef を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうかを調べることもできます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR8217W (Windows)** ソケット *socket number* でデータを受信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: 指示されたソケット上でデータを受信しているときに、サーバーが TCP/IP からエラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションなどの手段を通じて通信できることを確認してください。

---

**ANR8218W (AIX)** ソケット *socket number* でデータが読み取られなかったときに、セッションが終了しました。

説明: サーバーは、示されたソケットでデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションなどの手段を通じて通信できることを確認してください。

---

**ANR8218W (HP-UX)** TCP/IP ドライバーが、クライアント *client* に TCP/IP NODELAY オプションを使用することができません。

説明: サーバーが示されているクライアントに対して TCP/IP NODELAY を設定できません。セッションは、TCP/IP 遅延処理を有効として進められます。これにより TCP/IP は、データをクライアントに送信する前にバッファに入れることになります。

システムの処置: サーバーの操作は続行され、セッションは遅延処理をオンにして継続されます。

ユーザーの処置: サービス担当員との連絡で使用する詳細は、管理セッションまたはサーバー・コンソールから次のトレース・コマンドを実行することによって入手できます (適切な管理権限が必要です): TRACE ENABLE TCPINFO TRACE BEGIN tcptrace.out。セッションを開始してメッセージ ANR8218W が表示された後で、コマンド TRACE FLUSH TRACE END を出してください。これで、ファイル tcptrace.out にトレース・データが作成されて、トレースが終了します。このファイルは、要求に応じてサーバー担当員に提供してください。

---

**ANR8218W (Linux)** *node name* のアドレスを解決することができません。

説明: サーバーは、示されているノード名の TCP/IP アドレスを取得しようとします。この試みは成功しません。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく指定されていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8218W (Solaris)** *node name* のアドレスを解決することができません。

説明: サーバーは、示されているノード名の TCP/IP アドレスを取得しようとします。この試みは成功しません。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ノード名が正しく指定されていて、それがネットワーク上でアクセス可能であることを確認してください。そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8218W (Windows)** ソケット *socket number* でデータが読み取られない時に、セッションが終了しました。

説明: サーバーが、示されたソケットで読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションなどの手段を通じて通信できることを確認してください。

---

**ANR8219W (AIX)** 新規スレッドの作成中のエラーのために、TCP/IP ドライバーはアドレス *TCP/IP address* のクライアントとの新規セッションを受け入れることができません。

説明: サーバーは、新規スレッドを作成できないため、クライアントとのクライアント・セッションを表示の

ドレスで受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8219W (HP-UX) TCP/IP** ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否しているため、サーバーが TCP/IP を通して通信を開始できません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: HP-UX 用に使用可能なページ・スペースが十分であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らす必要がある場合があります。

---

**ANR8219W (Linux) TCP** 接続を確立することができません。 - メモリー不足です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: Solaris 用に使用可能なページング・スペースが、十分であることを確認してください。使用可能なスワップの容量を判別するために、'swap -l' を使用することもできます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8219W (Solaris) TCP** 接続を確立することができません。 - メモリー不足です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: Solaris 用に使用可能なページング・スペースが、十分であることを確認してください。使用可能なスワップの容量を判別するために、'swap -l' を使用することもできます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8219W (Windows) 新規スレッドを作成中のエラーのため、TCP/IP** ドライバーが新規セッションを受け入れることができません。

説明: 新しいスレッドを作成できなかったため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバーがサーバー・オプション・ファイル中の MAXSESSIONS オプションを使用して受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8220W (AIX) TCP/IP** ドライバーはクライアント *session* の TCPWindowSize にウィンドウ・サイズを設定することができません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーは、示されているセッションのウィンドウ・サイズを表示された要求サイズに設定できません。または、ウィンドウ・サイズが 65535 バイトより大きい場合 rfc1323 属性を設定できません。示されているセッションに対して、デフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。TCP/IP バッファー用のメモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作は継続され、セッションはデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、セッションを再試行してください。QUERY OPTION コマンドを出して、サーバーの TCPWindowSize の設定を調べてください。

---

**ANR8220W (HP-UX) TCP** 接続を確立することができません。- メモリー不足です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: HP-UX 用に使用可能なページ・スペースが十分であることを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8220W (Linux) TCP/IP** ドライバーはクライアント *client* の TCPWindowSize にウィンドウ・サイズを設定することができません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーは、示されているクライアントのウィンドウ・サイズを表示された要求サイズに設定できません。示されているセッションに対して、デフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。TCP/IP バッファ用のメモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作は継続され、セッションはデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、セッションを再試行してください。QUERY OPTION コマンドを出して、サーバーの TCPWindowSize の設定を調べてください。

---

**ANR8220W (Solaris) TCP/IP** ドライバーはクライアント *client* の TCPWindowSize にウィンドウ・サイズを設定することができません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーは、示されているクライアントのウィンドウ・サイズを表示された要求サイズに設定できません。示されているセッションに対して、デフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。TCP/IP バッファ用のメモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作は継続され、セッションはデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、セッションを再試行してください。QUERY OPTION コマンドを出して、サーバーの TCPWindowSize の設定を調べてください。

---

**ANR8220W (Windows)** 出力ソケット初期化エラーのため、TCP/IP ドライバーが *node name* と接続することができません。理由コード *reason code*

説明: サーバーは、指示されたノード名に接続しようとします。ローカル・ソケットを初期化することができないために、この試みは失敗します。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。

ユーザーの処置: TCP/IP がこのノードで正しく作動していて、リモートと通信できることを確認してください。そのためには、TCP/IP ping コマンドを使用してください。

---

**ANR8221W (AIX) TCP/IP** ドライバーが、クライアント *client* に TCP/IP NODELAY オプションを使用することができません。

説明: サーバーが示されているクライアントに対して TCP/IP NODELAY を設定できません。セッションは、TCP/IP 遅延処理を有効として進められます。これにより TCP/IP は、データをクライアントに送信する前にバッファに入れることになります。

システムの処置: サーバーの操作は続行され、セッションは遅延処理をオンにして継続されます。

ユーザーの処置: サービス担当員との連絡で使用する詳細は、管理セッションまたはサーバー・コンソールから次のトレース・コマンドを実行することによって入手できます (適切な管理権限が必要です): "TRACE ENABLE TCPINFO TRACE BEGIN "セッションを開始し、メッセージ ANR8221W が表示された後、コマンド TRACE FLUSH TRACE END を出してください。これで、ファイル tcptrace.out にトレース・データが作成されて、トレースが終了します。要求があったら、このファイルをサービス担当員に提供してください。

---

**ANR8221I (HP-UX) TCP/IP** バージョン 4 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8221W (Linux)** TCP/IP ドライバーが、クライアント *client* に **TCP/IP NODELAY** オプションを使用することができません。

説明: サーバーが示されているクライアントに対して TCP/IP NODELAY を設定できません。セッションは、TCP/IP 遅延処理を有効として進められます。これにより TCP/IP は、データをクライアントに送信する前にバッファーに入れることになります。

システムの処置: サーバーの操作は続行され、セッションは遅延処理をオンにして継続されます。

ユーザーの処置: サービス担当員との連絡で使用する詳細は、管理用セッションまたはコンソールから次のトレース・コマンドを実行することによって入手できます (適切な管理権限が必要です): TRACE ENABLE TCPINFO TRACE BEGIN tcptrace.out。セッションを開始してメッセージ ANR8221W が表示された後で、コマンド TRACE FLUSH TRACE END を出してください。これで、ファイル tcptrace.out にトレース・データが作成されて、トレースが終了します。要求があったら、このファイルをサービス担当員に提供してください。

---

**ANR8221W (Solaris)** TCP/IP ドライバーが、クライアント *client* に **TCP/IP NODELAY** オプションを使用することができません。

説明: サーバーが示されているクライアントに対して TCP/IP NODELAY を設定できません。セッションは、TCP/IP 遅延処理を有効として進められます。これにより TCP/IP は、データをクライアントに送信する前にバッファーに入れることになります。

システムの処置: サーバーの操作は続行され、セッションは遅延処理をオンにして継続されます。

ユーザーの処置: 管理用セッションまたはサーバー・コンソールから次のトレース・コマンドを出すことによって、サービス担当員との連絡の際に使用する詳細を入手することができます (適切な管理権限が必要です)。

TRACE ENABLE TCPINFO TRACE BEGIN tcptrace.out セッションが開始されてメッセージ ANR8221W が表示されたら、次のコマンドを出してください: TRACE FLUSH TRACE END これで、ファイル tcptrace.out にトレース・データが作成されてトレースが終了されます。要求があったら、このファイルをサービス担当員に提供してください。

---

**ANR8221W (Windows)** TCP/IP ドライバーは、セッション *session*、クライアント *client* の TCPWindowSize にウィンドウ・サイズを設定することができません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーが、示されたセッション/クライアントのウィンドウ・サイズを、示された要求サイズに設定することができません。このサーバーは、示されたセッションにデフォルトのウィンドウ・サイズを使用します。

システムの処置: サーバーの操作は継続され、セッションはデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: 最も起こりうる原因は TCP/IP バッファーのメモリー不足です。より小さな TCP ウィンドウ・サイズをオプション・ファイルに指定して再試行することができます。TCP ウィンドウ・サイズの現在の設定値を表示するためには、QUERY OPTION コマンドを出すことができます。

---

**ANR8222W (AIX)** TCP/IP ドライバーはサーバー・マスター・ソケットのウィンドウ・サイズを TCPWindowSize に設定できません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーは、サーバーが listen するソケットのウィンドウ・サイズを、示された要求サイズに設定することができません。サーバーは、セッションを listen するためにデフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。TCP/IP バッファー用のメモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作はデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、サーバーを再始動してください。QUERY OPTION コマンドを出して、サーバーの TCPWindowSize の設定を調べてください。

---

**ANR8222W (HP-UX)** ポート *port* の使用中のエラーが原因で **TCP/IP** 管理ドライバーは初期化を実行できませんでした。理由コード *reason code*。

説明: 管理セッションの TCP/IP 通信の初期化中に、サーバーは、クライアントを listen するマスター・ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP bind API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからの管理用セッションを受け入れることができません。サーバー間セッション、ストレージ・エージェン

ト/サーバー間セッション、ライブラリー・クライアント/サーバー間セッションの場合も同様です。

ユーザーの処置: TCPADMINPORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。サーバーが停止されており、クライアント・セッションが活動状態であった場合は、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8222W (Linux) TCP** 接続を確立できません - サーバーの停止が進行中です。

説明: サーバーの停止処理が進行中のため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8222W (Solaris) TCP** 接続を確立できません - サーバーの停止が進行中です。

説明: サーバーの停止処理が進行中のため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8222W (Windows) TCP/IP** ドライバーが、クライアント *client* に **TCP/IP NODELAY** オプションを使用することができません。

説明: サーバーが示されているクライアントに対して TCP/IP NODELAY を設定できません。セッションは、TCP/IP 遅延処理を有効として進められます。これにより TCP/IP は、データをクライアントに送信する前にバッファに入れることになります。

システムの処置: サーバーの操作は続行され、セッションは遅延処理をオンにして継続されます。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡する場合の使用法の詳細については、管理セッションまたはサーバー・コンソールから、次のトレース・コマンドを実行することによって入手することができます (正しい管理権限が必要です)。TRACE ENABLE TCPINFO TRACE BEGIN tcptrace.out セッションを開始し、メッセージ ANR8222W が表示された後で、次のコマンドを実行してください。TRACE FLUSH TRACE END で、ファイル tcptrace.out 中にトレース・データが作成され、ト

レースが終了します。 要求があったら、このファイルをサービス担当員に提供してください。

---

**ANR8223W (AIX)** 予期しない戻りコード *ReturnCode* のために、リモート・システム *RemoteSystem* に接続できません。

説明: 接続アプリケーション・プログラミング・インターフェースからの予期しない戻りコードのため、サーバーがリモート・システムに接続できませんでした。 共通の戻りコードは、特定のメッセージによって処理されます。 この戻りコードは予期されていませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、リモート・システムへの接続は失敗します。

ユーザーの処置: TCP/IP 戻りコードはファイル `/usr/include/sys/errno.h` にリストされて、基本的な問題に対するポインターが提供されることがあります。 `/usr/include/sys/errno.h` はファイル・セット `bos.adt.include` の一部です。

---

**ANR8223W (HP-UX)** 新規スレッドの作成中のエラーのために、**TCP/IP** ドライバーはアドレス *TCP/IP address* のクライアントとの新規セッションを受け入れることができません。

説明: サーバーは、新規スレッドを作成できないため、クライアントとのクライアント・セッションを表示のアドレスで受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: 考えられる原因は、メモリー不足です。十分なページング・スペースが AIX で使用可能であることを確認してください。 また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8223W (Linux)** 新規スレッドの作成中のエラーのために、**TCP/IP** ドライバーはアドレス *TCP/IP address* のクライアントとの新規セッションを受け入れることができません。

説明: サーバーは、新規スレッドを作成できないため、クライアントとのクライアント・セッションを表示のアドレスで受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッション要求は失敗します。

## ANR8223W (Solaris) • ANR8224W (Linux)

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Solaris 用に使用可能なページング・スペースが、十分にあることを確認してください。ps -ef を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうかを調べることもできます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8223W (Solaris)** 新規スレッドの作成中のエラーのために、TCP/IP ドライバーはアドレス TCP/IP address のクライアントとの新規セッションを受け入れることができません。

説明: サーバーは、新規スレッドを作成できないため、クライアントとのクライアント・セッションを表示のアドレスで受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Solaris 用に使用可能なページング・スペースが、十分にあることを確認してください。ps -ef を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうかを調べることもできます。また、サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションで、サーバーが受け入れることができるセッションの最大数を減らすこともできます。

---

**ANR8223W (Windows)** アドレス address ポート port でシステムへの接続が失敗しました。

説明: サーバーは、指定したポートで示されたノード名との接続を試みました。この試みは成功しません。ターゲット・ポートがターゲット・ノードで無効です。

システムの処置: 示されたノードとの通信の試みは失敗します。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: このノード名でまだ TCP/IP が実行中であること、およびクライアントが SCHEDULE モードで活動中であることを確認してください。サーバーが SNMP サブエージェントとの接続を試みている場合には、サーバー・オプション・ファイルでのサブエージェントのホスト名とポート番号が正しいことを確認してください。

---

**ANR8224W (AIX)** ポート port の使用中のエラーのために、TCP/IP 管理ドライバーを初期化できませんでした。理由コード reason code。

説明: 管理用セッションの TCP/IP 通信の初期化時

に、サーバーがクライアントを listen するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP bind API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからの管理用セッションを受け入れることができません。サーバー間セッション、ストレージ・エージェント/サーバー間セッション、ライブラリー・クライアント/サーバー間セッションの場合も同様です。

ユーザーの処置: TCPADMINPORT または TCPPORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。サーバーが停止され、クライアント・セッションが活動状態の場合には、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8224E (HP-UX)** サーバーがシステムしきい値のためにファイルをオープンできません。

説明: サーバーがファイルのオープンを試行しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、問題が修正されるまでファイルをオープンすることはできません。

ユーザーの処置: System Administrator Manager (SAM) プログラムを使用して、maxfiles パラメーターの値を大きくしてください。この値は、1 つのプロセスが一度にオープンできるファイルの最大数を決定します。適切なサーバー操作のためには、maxfiles 値を 512 以上にしてください。

---

**ANR8224W (Linux)** TCP/IP ドライバーはサーバー・マスター・ソケットのウィンドウ・サイズを TCPWindowSize に設定できません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーは、サーバーが listen するソケットのウィンドウ・サイズを、示された要求サイズに設定することができません。サーバーは、セッションを listen するためにデフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。TCP/IP バッファー用のメモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作はデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、サーバーを再始動してください。QUERY OPTION コマンド



を出して、サーバーの TCPWindowSize の設定を調べてください。

---

**ANR8224W (Solaris)** TCP/IP ドライバーはサーバー・マスター・ソケットのウィンドウ・サイズを TCPWindowSize に設定できません。デフォルト値が使用されます。

説明: サーバーは、サーバーが listen するソケットのウィンドウ・サイズを、示された要求サイズに設定することができません。サーバーは、セッションを listen するためにデフォルト・ウィンドウ・サイズを使用します。TCP/IP バッファ用メモリーが不足している可能性があります。

システムの処置: サーバーの操作はデフォルト・ウィンドウ・サイズで続行されます。

ユーザーの処置: 必要な場合には、オプション・ファイルでより小さいウィンドウ・サイズを指定して、サーバーを再始動してください。QUERY OPTION コマンドを出して、サーバーの TCPWindowSize の設定を調べてください。

---

**ANR8224W (Windows)** ポート *port* の使用中のエラーのために、TCP/IP 管理ドライバーを初期化できませんでした。理由コード *reason code*。

説明: 管理用セッションの TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーがクライアントを listen するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP bind API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからの管理用セッションを受け入れることができません。サーバー間セッション、ストレージ・エージェント/サーバー間セッション、ライブラリー・クライアント/サーバー間セッションの場合も同様です。

ユーザーの処置: TCPADMINPORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。サーバーを停止してすぐに始動すると、ポート再使用のための TCP/IP の 1 分間のタイムアウト期間に入っていることがあります。サーバーを停止し、1 分間待ってから、サーバーを再始動してください。この方法で解決できない場合には、Windows を再始動する必要があります。

---

**ANR8225I (AIX)** TCP/IP バージョン 4 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8225W (Linux)** ポート *port* の使用中のエラーのために、TCP/IP 管理ドライバーを初期化できませんでした。理由コード *reason code*。

説明: 管理用セッションの TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーがクライアントを listen するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP bind API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからの管理用セッションを受け入れることができません。サーバー間セッション、ストレージ・エージェント/サーバー間セッション、ライブラリー・クライアント/サーバー間セッションの場合も同様です。

ユーザーの処置: TCPADMINPORT または TCPPORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。サーバーが停止され、クライアント・セッションが活動状態の場合には、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8225I (Solaris)** TCP/IP バージョン 4 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8225I (Windows) TCP/IP** バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8226E (AIX) HBA-API** ライブラリーのバージョンを検出中にエラー *errno*

説明: *devices.common.IBM.fc.hba-api* ファイル・セットのレベル判別中にエラーに遭遇しました。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、SAN 装置マップは正しくありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8226I (Linux) TCP/IP** バージョン 4 管理ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 4 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8226W (Solaris)** ポート *port* の使用中のエラーのために、**TCP/IP** 管理ドライバーを初期化できませんでした。理由コード *reason code*。

説明: ポートに対する BIND API の実行中のエラーのために、TCP/IP 管理ドライバーを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからの管理用セッションを受け入れることができません。サーバー間セッション、ストレージ・エージェント/サーバー間セッション、ライブラリー・クライアント/サーバー間セッションの場合も同様です。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、サーバーは TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントからの管理用セッションを受け入れることができません。サーバー間セッション、ストレージ・エージェント/サーバー間セッション、ライブラリー・クライアント

ト/サーバー間セッションの場合も同様です。

ユーザーの処置: TCPADMINPORT または TCPPORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。サーバーが停止されており、クライアント・セッションが活動状態であった場合は、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8226W (Windows) アダプター *network adapter number* の NETBIOS** ドライバーを、初期化することができません。

説明: サーバーが、示されたネットワーク・アダプター上で通信を初期化するための十分な NETBIOS リソースを獲得することができません。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、サーバーは NETBIOS プロトコルを使用するクライアントからのセッションを受け入れません。

ユーザーの処置: NETBIOS がシステムに構成されていることを確認してください。すべての NETBIOS リソースがまだ使用されていないことを確認してください。LAN サーバーまたは LAN リクエスターのアプリケーションが実行されている場合は、NETBIOS が構成されています。この場合には、LAN サーバーまたは LAN リクエスターを始動する前に、サーバーを始動することによって、サーバーは必要な NETBIOS リソースを獲得できます。

---

**ANR8227E (AIX) ファイル・セット**  
***devices.common.IBM.fc.hba-api*** は、必須レベルではありません。

説明: 指定されたファイル・セットのレベルは、IBM Spectrum Protect 操作と互換性がありません。SAN 装置を使用する場合には、このファイル・セットの最新の保守レベルをインストールしてください。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、SAN 装置マップは正しくありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8227W (Linux) 予期しない戻りコード**  
*ReturnCode* のために、リモート・システム *RemoteSystem* に接続できません。

説明: 接続アプリケーション・プログラミング・インターフェースからの予期しない戻りコードのため、サーバーがリモート・システムに接続できませんでした。共通の戻りコードは、特定のメッセージによって処理されます。この戻りコードは予期されていませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、リモート・システムへの接続は失敗します。

ユーザーの処置: TCP/IP 戻りコードはファイル /usr/include/asm/errno.h にリストされて、基本的な問題に対するポインターが提供されることがあります。

---

**ANR8227W (Solaris)** 予期しない戻りコード

*ReturnCode* のために、リモート・システム *RemoteSystem* に接続できません。

説明: 接続アプリケーション・プログラミング・インターフェースからの予期しない戻りコードのため、サーバーがリモート・システムに接続できませんでした。共通の戻りコードは、特定のメッセージによって処理されます。この戻りコードは予期されていませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、リモート・システムへの接続は失敗します。

ユーザーの処置: TCP/IP 戻りコードはファイル /usr/include/sys/errno.h にリストされて、基本的な問題に対するポインターが提供されることがあります。

---

**ANR8227W (Windows)** NETBIOS 接続が終了しました - メモリーが不十分です。ネットワーク・アダプター *network adapter number*。

説明: メモリー割り振り要求がうまくいかなかったために、サーバーは指定されたネットワーク・アダプターでクライアント・セッションを *listen* することができません。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、セッションは指定されたアダプターで受け入れられません。他のネットワーク・アダプターは影響を受けていません。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。

---

**ANR8228E (AIX)** ファイル・セット

*devices.common.IBM.fc.hba-api* がシステムにインストールされていません。

説明: 示されているファイル・セットは、SAN ディスカバリー操作に必要です。SANDISCOVERY オプションを ON に設定している場合は、このファイル・セットの最新の保守レベルをインストールしてください。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、

SAN 装置マップは正しくありません。

ユーザーの処置: 最新バージョンの *device.common.IBM.fc.hba-api* ファイル・セットをインストールしてください。

---

**ANR8228E (Linux)** 次の Aspera FASP 読み取りエラーのため、セッション *Session identifier* が打ち切られました。エラー *error code : error code2*

説明: サーバーと指定されたパートナーとの間のセッションで、データの受信時に通信エラーが発生しました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、Aspera FASP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8228W (Windows)** NETBIOS 接続が終了しました - サーバーの停止が進行中です。

説明: サーバーの停止処理が進行中のため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8229E (Linux)** 次の Aspera 書き込みエラーのため、セッション *Session identifier* が打ち切られました。エラー *error code : error code2*

説明: サーバーと指定されたパートナー・システムとの間のセッションで、データの送信時に通信エラーが発生しました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、Aspera FASP を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8229W (Windows)** サーバー名 *server name* をアダプター *network adapter number* に追加することができません。

説明: サーバー名を NETBIOS 名としてアダプターに追加することができないので、サーバーは示されたネットワーク・アダプターで NETBIOS プロトコルを使用して、通信処理を初期化することができません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、NETBIOS プロトコルを使用するクライアントからのクライアント・セッションはこのアダプターでは受け入れられません。他のアダプターに影響はありません。

ユーザーの処置: このメッセージが出される原因のほとんどは、NETBIOS 通信で同じ名前を使用する、別のシステムがネットワーク上にあることです。これは、別のサーバーまたはクライアント、あるいは LAN リクエスター・ノードである可能性があります。サーバー・オプション・ファイル中のこのアダプターの NETBIOSNAME オプションを変更または追加してから、サーバーを再始動することによって、このアダプターが NETBIOS 通信で使えるようになることがあります。

---

**ANR8230I (AIX) TCP/IP バージョン 6 ドライバー** は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8230I (HP-UX) TCP/IP バージョン 6 ドライバー** は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: これでサーバーは、示されているポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8230I (Linux) TCP/IP バージョン 6 ドライバー** は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8230I (Solaris) TCP/IP バージョン 6 ドライバー** は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができるようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8230W (Windows) アダプター *network adapter number* の NETBIOS セッションを開始** するには、メモリーが不十分です。

説明: 指定されたアダプターでメモリー割り振り要求がうまくいかなかったため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルの中の MAXSESSIONS または NETBIOSSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れられる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8231W (Windows) スレッドを作成して NETBIOS セッションを受け入れること** ができません。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、NETBIOS 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルの中の MAXSESSIONS または NETBIOSSESSIONS オプションを使用して、サーバー

が受け入れられる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8232W (Windows)** スレッドを作成してアダプター *network adapter number* の **NETBIOS** セッションを **listen** することができません。

説明: 示されたネットワーク・アダプターをモニターする新しい実行スレッドを作成できないため、サーバーは初期化を行うことができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、示されたアダプターでの NETBIOS 通信は作動不能です。他のアダプターは影響を受けません。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルの中の MAXSESSIONS または NETBIOSSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れられる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8233E (AIX)** ローカル・ポート情報を獲得できません。 **getaddrinfo** 戻りコード *return code*。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントは、使用できる TCP/IP プロトコルを判別するため、システム **getaddrinfo** API を使用しました。示されたシステム・エラー・コードによって示されるように、障害が起きました。サーバーは TCP/IP 通信を初期化中でした。

システムの処置: TCP/IP 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: **getaddrinfo** システム API からの戻りコードに関するシステム情報を調べる必要があります。TCP/IP ネットワーキングが、TCP/IP バージョン 4 またはバージョン 6 で正しく作動していることを確認してください。

---

**ANR8233E (HP-UX)** ローカル・ポート情報を獲得できません。 **getaddrinfo** 戻りコード *return code*。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントは、使用できる TCP/IP プロトコルを判別するため、システム **getaddrinfo** API を使用しました。示されたシステム・エラー・コードによって示されるように、障害が起

きました。サーバーは TCP/IP 通信を初期化中でした。

システムの処置: TCP/IP 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: **getaddrinfo** システム API からの戻りコードに関するシステム情報を調べる必要があります。TCP/IP ネットワーキングが、TCP/IP バージョン 4 またはバージョン 6 で正しく作動していることを確認してください。

---

**ANR8233E (Linux)** ローカル・ポート情報を獲得できません。 **getaddrinfo** 戻りコード *return code*。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントは、使用できる TCP/IP プロトコルを判別するため、システム **getaddrinfo** API を使用しました。示されたシステム・エラー・コードによって示されるように、障害が起きました。サーバーは TCP/IP 通信を初期化中でした。

システムの処置: TCP/IP 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: **getaddrinfo** システム API からの戻りコードに関するシステム情報を調べる必要があります。TCP/IP ネットワーキングが、TCP/IP バージョン 4 またはバージョン 6 で正しく作動していることを確認してください。

---

**ANR8233E (Solaris)** ローカル・ポート情報を獲得できません。 **getaddrinfo** 戻りコード *return code*。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントは、使用できる TCP/IP プロトコルを判別するため、システム **getaddrinfo** API を使用しました。示されたシステム・エラー・コードによって示されるように、障害が起きました。サーバーは TCP/IP 通信を初期化中でした。

システムの処置: TCP/IP 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: **getaddrinfo** システム API からの戻りコードに関するシステム情報を調べる必要があります。TCP/IP ネットワーキングが、TCP/IP バージョン 4 またはバージョン 6 で正しく作動していることを確認してください。

---

**ANR8233W (Windows)** スレッドを作成してアダプター *network adapter number* の **NETBIOS** セッション *session number* を処理することができません。

説明: 示されたセッション用に独立した実行スレッドを開始することができないために、サーバーは示されたア

## ANR8234I (AIX) • ANR8235W (Windows)

アダプターで新しいクライアント・セッションを開始できません。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、このセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルの中の MAXSESSIONS または NETBIOSSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れられる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8234I (AIX) TCP/IP バージョン 6 管理ドライバ**は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8234I (HP-UX) TCP/IP バージョン 6 管理ドライバ**は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8234I (Linux) TCP/IP バージョン 6 管理ドライバ**は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8234I (Solaris) TCP/IP バージョン 6 管理ドライバ**は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8234I (Windows) TCP/IP バージョン 6 管理ドライバ**は、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で TCP/IP バージョン 6 プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8235W (Windows) 要求した NETBIOS セッション数**をアダプター *network adapter number* で使用することができません。使用可能なセッションから続行します。

説明: サーバーが、示されたアダプター用に要求された数の NETBIOS セッションを獲得できません。サーバーは、サーバー・オプション・ファイルの NETBIOSSESSIONS パラメーター、あるいはこのオプションが指定されていない場合には、MAXSESSIONS オプションによって指示された NETBIOS セッション数を獲得しようとします。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、NETBIOS セッションの最大数は、獲得されるセッションの数に限定されます。

ユーザーの処置: 必要な NETBIOS リソースの数がまだ使用されずに残っていることを確認してください。LAN サーバーまたは LAN リクエスターのアプリケーションが実行されている場合は、NETBIOS が構成されています。この場合は、LAN サーバーまたは LAN リクエスターを始動する前にサーバーを始動することによって、サーバーは要求された NETBIOS リソースを獲得できることがあります。

**ANR8236W (Windows)** アダプター *network adapter number* で **NETBIOS** セッションを **listen** 中の障害です。NETBIOS listen 戻りコード = *listen return code*。

説明: サーバーは、示されたアダプターで NETBIOS セッションを **listen** することができません。示された **listen** 戻りコードは NETBIOS listen API から受け取ったものです。戻りコードが 24 (16 進数 18) の場合には、**listen** が再試行されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。戻りコード 24 は一時的な障害を示しているため、戻りコードが 24 (16 進数 18) の場合は、新規の **listen** がセットアップされます。それ以外の場合には、問題が訂正されてサーバーが再始動されるまで、指示されたアダプターを使用して追加の NETBIOS セッションは開始されません。

ユーザーの処置: NETBIOS listen 障害は、ネットワーク問題、アダプター問題、または NETBIOS 構成問題の徴候です。次のシステム構成およびシステム環境 **listen** 戻りコード (16 進数) と **listen** 障害に対する解決アクションは、「IBM ローカル・エリア・ネットワーク・テクニカル解説書」にあります。

戻りコード	説明
11	ローカル・セッション・テーブルがいっぱいです。最大数のセッションが使用中です。NETBIOS 構成を変更して、セッションの最大数を大きくしてください。
19	名前が矛盾しています。ネットワーク内の他の場所で、サーバーの NETBIOS 名が使用されていないことを確認してください。
22	保留中のコマンドが多すぎます。最大数のセッションが使用中です。NETBIOS 構成を変更して、セッションの最大数を大きくしてください。
35	オペレーティング・システムのリソースが使用し尽くされました。おそらく、リブートが必要です。

**ANR8237E (Windows)** ローカル・ポート情報を獲得できません。 **getaddrinfo** 戻りコード *return code*。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントは、使用できる TCP/IP プロトコルを判別するため、システム **getaddrinfo** API を使用しました。示されたシステム・エラー・コードによって示されるように、障害が起きました。サーバーは TCP/IP 通信を初期化中でした。

システムの処置: TCP/IP 通信は作動不能です。

ユーザーの処置: **getaddrinfo** システム API からの戻りコードに関するシステム情報を調べる必要があります。TCP/IP ネットワーキングが、TCP/IP バージョン 4 またはバージョン 6 で正しく作動していることを確認してください。

**ANR8238E (Windows)** 次の **Aspera FASP** 読み取りエラーのため、セッション *Session identifier* が打ち切られました。エラー *error code : error code2*

説明: サーバーと指定されたパートナーとの間のセッションで、データの受信時に通信エラーが発生しました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、**Aspera FASP** を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

**ANR8239E (Windows)** 次の **Aspera** 書き込みエラーのため、セッション *Session identifier* が打ち切られました。エラー *error code : error code2*

説明: サーバーと指定されたパートナー・システムとの間のセッションで、データの送信時に通信エラーが発生しました。

システムの処置: リモート・システムとのセッションは終了しました。

ユーザーの処置: 指定したリモート・システムが操作可能状態で、**Aspera FASP** を実行するように、正しく構成されていることを確認してください。

**ANR8260I (Windows)** 名前付きパイプ・ドライバは、クライアントと接続可能になっていません。

説明: サーバーは現在、名前付きパイプ・プロトコルを使用するクライアントとのセッションを、受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8261W (Windows)** 名前付きパイプ接続が終了しました - メモリーが不十分です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したため、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

## ANR8262W (Windows) • ANR8266W (Windows)

システムの処置: サーバーは操作を続行します。名前付きパイプ通信は作動不能になります。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8262W (Windows)** 新規スレッドを作成中のエラーのため、名前付きパイプ・ドライバは終了します。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバー操作は続行されますが、名前付きパイプ通信は作動不能となります。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8263W (Windows)** 名前付きパイプ (セッション *session number*) でデータを送信中にエラー。 **WriteFile** 戻りコードは *return code*。

説明: サーバーは、示されたセッションを介して名前付きパイプにデータを書き込み中に、**WriteFile** Windows NT API からのエラー戻りコードを受け取ります。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8264W (Windows)** 名前付きパイプ、セッション *session number* でのデータ読み取り中にエラー。 **ReadFile** 戻りコードは *return code* です。

説明: サーバーは、示されたセッションを介して名前付きパイプからデータを読み取り中に、**ReadFile** Windows API からエラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合は、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8265W (Windows)** 名前付きパイプ *Named Pipes name* のオープン中にエラー、**CreateNamedPipe** 戻りコード *return code*。

説明: クライアントとの名前付きパイプ通信用に示された名前付きパイプ名をオープンしようとする、サーバーはエラー戻りコードを受け取ります。表示されている戻りコードは Windows **CreateNamedPipe** API によって戻されたものです。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。名前付きパイプ通信は作動不能になります。

ユーザーの処置: サーバーがファイル・ハンドルを使用し尽くした可能性があります。サーバーを停止してから再び始動して、名前付きパイプ通信を使用可能にしてください。ファイル・ハンドルを使用し尽くすのは異常なことです。見えない原因として、システムまたは論理エラーがあるものと思われます。

---

**ANR8266W (Windows)** 名前付きパイプ *Named Pipes name* で接続を受け入れ中にエラー。**ConnectNamedPipe** 戻りコード *return code*。

説明: クライアントとの名前付きパイプ通信用に示された名前付きパイプ名で接続を完了しようとする、サーバーはエラー戻りコードを受け取ります。表示されている戻りコードは Windows **ConnectNamedPipe** API によって戻されたものです。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。名前付きパイプ通信は作動不能になります。

ユーザーの処置: システム上の問題によって、名前付き



パイプの使用が妨げられている可能性があります。サーバーを停止してから再び始動して、名前付きパイプ通信を使用可能にしてください。

---

**ANR8267W (Windows)** 名前付きパイプ *Named Pipes name* のセキュリティ記述子の初期化中にエラー。理由: *System message*。

説明: クライアントとの名前付きパイプ通信に示された名前付きパイプを初期化しようとしたときに、サーバーがエラー戻りコードを受け取りました。表示されている理由は Windows FormatMessage API によって戻されたものです。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。名前付きパイプ通信は作動不能になります。

ユーザーの処置: 管理者権限が必要です。管理者権限でアカウントを使用してログインし、サーバーを再始動して、名前付きパイプ通信を再度使用可能にしてください。

---

**ANR8268W (Windows)** 次の Windows グループ名を検索中のエラーが原因で、名前付きパイプ通信が使用可能になっていませんでした: *Windows group name*。Windows ユーザー・マネージャーを使用して、指定したグループを追加してください。グループのメンバーが、名前付きパイプを介して、サーバーをアクセスするために Windows 統合ログオンを使用できるようになります。

説明: クライアントとの名前付きパイプ通信に示された名前付きパイプを初期化しようとしたときに、サーバーがエラー戻りコードを受け取りました。システムは、サーバー・オプション・ファイルで指定した Windows アカウント名を検出できませんでした。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。名前付きパイプ通信は作動不能になります。

ユーザーの処置: Windows 統合ログオンを使用するには、有効な Windows アカウント名、またはグループ名を指定してください。サーバーを再始動して、名前付きパイプ通信を使用可能にします。

---

**ANR8269W (Windows)** 名前付きパイプ *Named Pipes name* をオープン中にエラー。理由: *System message*。

説明: クライアントとの名前付きパイプ通信に示された名前付きパイプ名をオープンしようとすると、サーバーはエラー戻りコードを受け取ります。表示されている

理由は Windows FormatMessage API によって戻されたものです。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。名前付きパイプ通信は作動不能になります。

ユーザーの処置: 理由テキストを考慮し、適切なアクションを行ってください。サーバーを停止してから再び始動して、名前付きパイプ通信を使用可能にしてください。

---

**ANR8273I (Windows)** 共有メモリー・ドライバは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: これでサーバーは、示されているポートで共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8274W (Windows)** 新規スレッドの作成エラーのために、共有メモリー通信ドライバを終了中です。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、共有メモリー通信は操作不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。

---

**ANR8275W (Windows)** 共有メモリー接続が終了しました - メモリーが不十分です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。共有メモリー通信は作動不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンラ

## ANR8276W (Windows) • ANR8283W (Linux)

イン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8276W (Windows)** 共有メモリー接続が終了しました - 初期化できません。キー *channel key*、理由: *reason code*。

説明: 共有メモリーを初期化できないので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。共有メモリー通信は作動不能です。

ユーザーの処置: 別の共有メモリー・セッションをやり直してみてください。

---

**ANR8277E (Windows)** 共有メモリーが初期化できません。 - **Port:** *shm port number* 理由: *reason code*。

説明: 通信チャネルを初期化できなかったために、サーバーはクライアント・セッションを受け入れられません。他のサーバーまたは同じマシン上で稼働中のストレージ・エージェントが同じ *shm* ポート番号を使用していないことを確認してください。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。共有メモリー通信は作動不能です。

ユーザーの処置: 別の共有メモリー・セッションをやり直してみてください。

---

**ANR8282I (HP-UX)** **SNMP** ドライバーは、ポート *port number* でサブエージェントと接続可能です。

説明: これでサーバーは、示されているポート番号で **SNMP** サブエージェントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8282I (Linux)** **SNMP** ドライバーは、ポート *port number* でサブエージェントと接続可能です。

説明: これでサーバーは、示されているポート番号で **SNMP** サブエージェントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8282I (Solaris)** **SNMP** ドライバーは、ポート *port number* でサブエージェントと接続可能です。

説明: これでサーバーは、示されているポート番号で **SNMP** サブエージェントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8283W (HP-UX)** ポート *port* の使用中のエラーのために、**SNMP** ドライバーを初期化できません。理由コード *reason code*。

説明: TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーが **SNMP** サブエージェントを *listen* するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP *bind API* からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーはマクロ・コマンドを実行するために **SNMP** サブエージェントからセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: **SNMPSUBAGENT** オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。TCP/IP がクライアント・セッションにも使用されている場合には、TCP/IP 通信と **SNMP** 通信の両方に、同じポート番号が指定されていないことを確認してください。これは、TCP/IP *netstat* コマンドを出すことによって行うことができます。

---

**ANR8283W (Linux)** ポート *port* へのバインドでのエラー (理由コード *reason code*) が原因で、**SNMP** ドライバーを初期化することができません。

説明: TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーが **SNMP** サブエージェントを *listen* するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP *bind API* からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーはマクロ・コマンドを実行するために **SNMP** サブエージェントからセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: **PORT** オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。TCP/IP がクライアント・セッションにも使用されている場合には、TCP/IP 通信と **SNMP** 通信の両方

に、同じポート番号が指定されていないことを確認してください。

---

**ANR8283W (Solaris)** ポート *port* へのバインドでのエラー (理由コード *reason code*) が原因で、**SNMP** ドライバーを初期化することができません。

説明: TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーが **SNMP** サブエージェントを **listen** するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP **bind** API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーはマクロ・コマンドを実行するために **SNMP** サブエージェントからセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: **PORT** オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。TCP/IP がクライアント・セッションにも使用されている場合には、TCP/IP 通信と **SNMP** 通信の両方に、同じポート番号が指定されていないことを確認してください。

---

**ANR8284E (AIX)** 共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

説明: サーバーは、エラーのために共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は共有メモリー通信を使用しないで続行されます。

ユーザーの処置: 障害の原因については、前のエラー・メッセージを参照してください。

---

**ANR8284E (HP-UX)** 共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

説明: サーバーは、エラーのために共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は共有メモリー通信を使用しないで続行されます。

ユーザーの処置: 障害の原因については、前のエラー・メッセージを参照してください。

---

**ANR8284E (Linux)** 共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

説明: サーバーは、エラーのために共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は共有メモリー通信を

## ANR8283W (Solaris) • ANR8285I (Solaris)

使用しないで続行されます。

ユーザーの処置: 障害の原因については、前のエラー・メッセージを参照してください。

---

**ANR8284E (Solaris)** 共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

説明: サーバーは、エラーのために共有メモリー通信プロトコルを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は共有メモリー通信を使用しないで続行されます。

ユーザーの処置: 障害の原因については、前のエラー・メッセージを参照してください。

---

**ANR8285I (AIX)** 共有メモリー・ドライバーは、ポート *port* で、クライアントと接続可能になっています。

説明: これでサーバーは、共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8285I (HP-UX)** 共有メモリー・ドライバーは、ポート *port* で、クライアントと接続可能になっています。

説明: これでサーバーは、共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8285I (Linux)** 共有メモリー・ドライバーは、ポート *port* で、クライアントと接続可能になっています。

説明: これでサーバーは、共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8285I (Solaris)** 共有メモリー・ドライバーは、ポート *port* で、クライアントと接続可能になっています。

説明: これでサーバーは、共有メモリー・プロトコルを

## ANR8285I (Windows) • ANR8286W (Windows)

使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8285I (Windows) SNMP** ドライバーは、ポート *port number* でサブエージェントと接続可能です。

説明: これでサーバーは、示されているポート番号で SNMP サブエージェントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8286W (AIX)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否したので、サーバーは共有メモリー・プロトコルを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: AIX 用のページ・スペースが、十分にあるかどうかを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要になる場合もあります。

---

**ANR8286W (HP-UX)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否したので、サーバーは共有メモリー・プロトコルを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: HP-UX 用に十分なページング・スペースがあることを確認してください。また、SAM を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか、判別できます。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更し

て、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要になる場合もあります。

---

**ANR8286W (Linux)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否したので、サーバーは共有メモリー・プロトコルを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: Solaris 用のスワップ・スペースが十分にあるか、確認してください。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要になる場合もあります。

---

**ANR8286W (Solaris)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - メモリーが不十分です。

説明: オペレーティング・システムがメモリー割り振り要求を拒否したので、サーバーは共有メモリー・プロトコルを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: Solaris 用のスワップ・スペースが十分にあるか、確認してください。サーバー・オプション・ファイルの MAXSESSIONS オプションを変更して、クライアント・セッションの最大数を減らすことが必要になる場合もあります。

---

**ANR8286W (Windows)** ポート *port* へのバインドでのエラー (理由コード *reason code*) が原因で、SNMP ドライバーを初期化することができません。

説明: TCP/IP 通信の初期化時に、サーバーが SNMP サブエージェントを *listen* するマスター TCP/IP ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP *bind* API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーはマクロ・コマンドを実行するために SNMP サブエージェントからセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: PORT オプションでサーバー・オプション・ファイルに指定されたポート番号を使用しているアプリケーションが他にないことを確認してください。TCP/IP がクライアント・セッションにも使用されている場合には、TCP/IP 通信と SNMP 通信の両方に、同じポート番号が指定されていないことを確認してください。これは、TCP/IP `netstat -s` コマンドを出すことによって実行することができます。サーバーを停止してすぐに始動すると、ポート再使用のための TCP/IP の 1 分間のタイムアウト期間に入っていることがあります。サーバーを停止し、1 分間待ってから、サーバーを再始動してください。この方法で解決できない場合には、Windows を再始動する必要があります。

---

**ANR8287W (AIX)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - アクセプター・ソケットを作成中にエラー。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP が `listen` するソケットに対する要求を拒否したので、サーバーは共有メモリーを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が開始されない場合には、任意のサーバー・プロンプトから `HALT` コマンドを使用して、サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8287W (HP-UX)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - アクセプター・ソケットを作成中にエラー。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP が `listen` するソケットに対する要求を拒否したので、サーバーは共有メモリーを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が開始されない場合には、任意のサーバー・プロンプトから `HALT` コマンドを使用して、サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8287W (Linux)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - アクセプター・ソケットを作成中にエラー。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP が `listen` するソケットに対する要求を拒否したので、サーバーは共有メモリーを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が開始されない場合には、任意のプロンプトから `HALT` コマンドを使用して、サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8287W (Solaris)** 共有メモリー・ドライバーを初期化することができません - アクセプター・ソケットを作成中にエラー。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP が `listen` するソケットに対する要求を拒否したので、サーバーは共有メモリーを介して通信を開始することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が開始されない場合には、任意のサーバー・プロンプトから `HALT` コマンドを使用して、サーバーを停止して再始動してください。

---

**ANR8288W (AIX)** 共有メモリーの接続を確立できません - メモリーが不十分です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: AIX 用のページ・スペースが、十分にあるかどうかを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルで `MAXSESSIONS` オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8288W (HP-UX)** 共有メモリーの接続を確立できません - メモリーが不十分です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、こ

## ANR8288W (Linux) • ANR8289W (Solaris)

のセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: HP-UX 用に十分なページング・スペースがあることを確認してください。また、SAM を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか、判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8288W (Linux)** 共有メモリーの接続を確立できません - メモリーが不十分です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: Solaris 用のスワップ・スペースが十分にあるか、確認してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8288W (Solaris)** 共有メモリーの接続を確立できません - メモリーが不十分です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、このセッションに対するセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: Solaris 用のスワップ・スペースが十分にあるか、確認してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8289W (AIX)** 新規スレッドを作成中のエラーのために、共有メモリー・ドライバは終了中です。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、共有メモリー通信は操作不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。AIX 用のページ・スペースが、十分にあるかどうかを確認してください。また、SMIT を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか判別できます。また、サーバー・オプション・

ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8289W (HP-UX)** 新規スレッドを作成中のエラーのために、共有メモリー・ドライバは終了中です。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、共有メモリー通信は操作不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。HP-UX 用に十分なページング・スペースがあることを確認してください。また、SAM を使用して、アプリケーションの数がメモリー不足の原因になっているかどうか、判別できます。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8289W (Linux)** 新規スレッドを作成中のエラーのために、共有メモリー・ドライバは終了中です。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、共有メモリー通信は操作不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Solaris 用のスワップ・スペースが十分にあるか、確認してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8289W (Solaris)** 新規スレッドを作成中のエラーのために、共有メモリー・ドライバは終了中です。

説明: 新規実行スレッドを作成できないので、サーバーは初期化することができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、共有メモリー通信は操作不能です。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Solaris 用のスワップ・スペースが十分にあるか、確認してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8290W (AIX)** 共有メモリーを介してデータを送信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリーを介してデータを送信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8290W (HP-UX)** 共有メモリーを介してデータを送信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリーを介してデータを送信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8290W (Linux)** 共有メモリーを介してデータを送信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリーを介してデータを送信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8290W (Solaris)** 共有メモリーを介してデータを送信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリーを介してデータを送信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8290I (Windows)** IPX/SPX ドライバーは、ソケット *IPX socket number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは現在、示されたソケット番号で IPX/SPX プロトコルを使用する、クライアントとのセッションを受け入れることができます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8291W (AIX)** 共有メモリーを介してデータを受信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリー・プロトコルを介してデータを受信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8291W (HP-UX)** 共有メモリーを介してデータを受信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリー・プロトコルを介してデータを受信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8291W (Linux)** 共有メモリーを介してデータを受信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリー・プロトコルを介してデータを受信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

## ANR8291W (Solaris) • ANR8292W (Solaris)

は、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8291W (Solaris)** 共有メモリーを介してデータを受信中にエラー。理由は *return code* です。

説明: サーバーが、共有メモリー・プロトコルを介してデータを受信している時に、エラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8291W (Windows)** IPX/SPX マスター・ソケットにバインドすることができません。戻りコードは *return code* です。

説明: サーバーは、使用するよう指定されたソケット番号で通信を開始することができません。

システムの処置: サーバー操作は続行しますが、IPX/SPX プロトコルを使用する通信は作動不能となります。

ユーザーの処置: このシステムで実行されるよう、SPX がリクエスター構成プログラムを介して、構成されていることを確認してください。同じソケット番号を使用している、同じシステム上で実行している他のサーバーのインスタンスがないことを確認してください。これは戻りコードがゼロの場合によく起こります。また、IPX/SPX プロトコルを使用する他のアプリケーションによって SPX セッションの数 (NET.CFG ファイルに指定されている) が、限度を超えていないことも確認してください。

---

**ANR8292W (AIX)** 共有メモリーを介してデータが読み取られなかったときに、セッションが終了しました。

説明: サーバーは、共有メモリーからデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8292W (HP-UX)** 共有メモリーを介してデータが読み取られなかったときに、セッションが終了しました。

説明: サーバーは、共有メモリーからデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8292W (Linux)** 共有メモリーを介してデータが読み取られなかったときに、セッションが終了しました。

説明: サーバーは、共有メモリーからデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。

---

**ANR8292W (Solaris)** 共有メモリーを介してデータが読み取られなかったときに、セッションが終了しました。

説明: サーバーは、共有メモリーからデータを読み取ることができません。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。



---

**ANR8292W (Windows) IPX/SPX** 接続が終了しました  
- メモリーが不十分です。

説明: メモリー割り振り要求が失敗したので、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 最も有力な原因はメモリーの不足です。Windows ページング・ファイル用に、十分なスペースがあることを確認してください。Windows NT コントロール・パネルの、システム・アイコンをクリックしてから、仮想メモリー・ボタンをクリックしてください。仮想メモリーの容量の増やし方については、オンライン・ヘルプを参照してください。また、サーバー・オプション・ファイルで MAXSESSIONS オプションを使用して、サーバーが受け入れることのできる最大セッション数を減らすこともできます。

---

**ANR8293W (AIX)** ソケットの初期化エラーのため、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信を初期化している時に、サーバーが TCP/IP とのインターフェースの設定に失敗しました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が始動されて、システム上で活動状態になっていることを確認してください。ユーザー自身のアドレスに TCP/IP ping コマンドを出して、TCP/IP が始動され、活動状態になっていることを確認することができます。

---

**ANR8293W (HP-UX)** ソケットの初期化エラーのため、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信を初期化している時に、サーバーが TCP/IP とのインターフェースの設定に失敗しました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が始動されて、システム上で活動状態になっていることを確認してください。ユーザー自身のアドレスに TCP/IP ping コマンドを出して、

TCP/IP が始動され、活動状態になっていることを確認することができます。

---

**ANR8293W (Linux)** ソケットの初期化エラーのため、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信を初期化している時に、サーバーが TCP/IP とのインターフェースの設定に失敗しました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が始動されて、システム上で活動状態になっていることを確認してください。ユーザー自身のアドレスに TCP/IP ping コマンドを出して、TCP/IP が始動され、活動状態になっていることを確認することができます。

---

**ANR8293W (Solaris)** ソケットの初期化エラーのため、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信を初期化している時に、サーバーが TCP/IP とのインターフェースの設定に失敗しました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP が始動されて、システム上で活動状態になっていることを確認してください。ユーザー自身のアドレスに TCP/IP ping コマンドを出して、TCP/IP が始動され、活動状態になっていることを確認することができます。

---

**ANR8293W (Windows)** マスター・ソケットでの **listen** のエラーのため、IPX/SPX ドライバーを初期化することができません。戻りコード = *return code*。

説明: IPX/SPX を使用するクライアントからのセッション要求を **listen** しようとした時に、サーバーがエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーは IPX/SPX プロトコルを使用して、クライアントから追加のセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: IPX/SPX がまだ正しく実行されてい

## ANR8294W (AIX) • ANR8295W (HP-UX)

ること、および IPX/SPX が故意である、故意でない、を問わず停止されていないことを確認してください。これは `getipxad` コマンドを使用することによって実行することができ、まだエンドポイントをオープンしてバインドすることができるかどうか、およびまだ NetWare サーバーに接続することができるかどうかを判別することができます。

---

**ANR8294W (AIX)** 共有メモリー・セッションを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信セッションを初期化している時に、初期セットアップ時にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッションは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR8294W (HP-UX)** 共有メモリー・セッションを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信セッションを初期化している時に、初期セットアップ時にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッションは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR8294W (Linux)** 共有メモリー・セッションを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信セッションを初期化している時に、初期セットアップ時にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッションは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR8294W (Solaris)** 共有メモリー・セッションを初期化できません。

説明: 共有メモリー通信セッションを初期化している時に、初期セットアップ時にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、セッションは終了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR8294W (Windows)** IPX/SPX 接続を確立することができません - 受け入れエラー。戻りコード = `tli error`。

説明: IPX/SPX からの接続の受け入れ時の障害のために、サーバーはクライアント・セッションを受け入れることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行しますが、このセッション要求は失敗します。

ユーザーの処置: このシステムで実行されるよう、SPX がリクエスト構成プログラムを介して、構成されていることを確認してください。同じソケット番号を使用している、同じシステム上で実行している他のサーバーのインスタンスがないことを確認してください。また、IPX/SPX プロトコルを使用する他のアプリケーション (NetWare アプリケーションなど) によって SPX セッションの数が限度を超えていないことも、確認してください。

---

**ANR8295W (AIX)** ポート `port` へのバインド・エラーのために、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。理由コードは `reason code` です。

説明: 共有メモリー通信の初期化時に、サーバーが、クライアントを `listen` するマスター・ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP `bind` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

ユーザーの処置: TCP/IP `netstat` コマンドを実行して、サーバー・オプション・ファイルの `SHMPORT` オプションで指定されたポート番号を使用しているアプリケーションがないことを確認してください。サーバーが停止され、クライアント・セッションが活動状態の場合には、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8295W (HP-UX)** ポート `port` の使用中のエラーのために、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。理由コード `reason code`。

説明: 共有メモリー通信の初期化時に、サーバーが、クライアントを `listen` するマスター・ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP `bind` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サ

サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

**ユーザーの処置:** TCP/IP `netstat` コマンドを実行して、サーバー・オプション・ファイルの `SHMPORT` オプションで指定されたポート番号を使用しているアプリケーションがないことを確認してください。サーバーが停止され、クライアント・セッションが活動状態の場合には、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8295W (Linux)** ポート `port` へのバインド・エラーのために、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。理由コードは `reason code` です。

**説明:** 共有メモリー通信の初期化時に、サーバーが、クライアントを `listen` するマスター・ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP `bind` API からの戻りコードです。

**システムの処置:** サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

**ユーザーの処置:** TCP/IP `netstat` コマンドを実行して、サーバー・オプション・ファイルの `SHMPORT` オプションで指定されたポート番号を使用しているアプリケーションがないことを確認してください。サーバーが停止され、クライアント・セッションが活動状態の場合には、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8295W (Solaris)** ポート `port` へのバインド・エラーのために、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。理由コードは `reason code` です。

**説明:** 共有メモリー通信の初期化時に、サーバーが、クライアントを `listen` するマスター・ソケットへの接続に失敗しました。理由コードは TCP/IP `bind` API からの戻りコードです。

**システムの処置:** サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからのセッションを受け入れることができません。

**ユーザーの処置:** TCP/IP `netstat` コマンドを実行して、サーバー・オプション・ファイルの `SHMPORT` オプションで指定されたポート番号を使用しているアプリ

ケーションがないことを確認してください。サーバーが停止され、クライアント・セッションが活動状態の場合には、ポートを解放する前に、クライアント・システムのクライアント・セッションを終了することが必要な場合があります。

---

**ANR8295W (Windows)** セッション `session number` でデータを送信中にエラー。理由は `return code` です。

**説明:** サーバーは、示されたセッションでデータを送信しているときに IPX/SPX からエラー戻りコードを受け取りました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

**システムの処置:** セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

**ユーザーの処置:** クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果として、セッションが打ち切られた場合は、応答は不要です。そうでない場合には、IPX/SPX がまだ活動状態であることを確認してください。

---

**ANR8296W (AIX)** 指定されたポートでの `listen` エラーのため、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。理由コードは `reason code` です。

**説明:** TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を `listen` しようとしているときに、TCP/IP がエラーを戻しました。理由コードは TCP/IP `listen` API からの戻りコードです。

**システムの処置:** サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

**ユーザーの処置:** ネットワーク上の他のノードに TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを実行して、TCP/IP が正しく実行されていることを確認してください。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8296W (HP-UX)** 指定されたポートでの `listen` エラーのため、共有メモリー・ドライバーを初期化できません。理由コードは `reason code` です。

**説明:** TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を `listen` しようとしているときに、TCP/IP がエラーを戻しました。理由コードは TCP/IP `listen` API からの戻りコードです。

**システムの処置:** サーバーの操作は続行されますが、サ

## ANR8296W (Linux) • ANR8297W (Linux)

サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

ユーザーの処置: ネットワーク上の他のノードに TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを実行して、TCP/IP が正しく実行されていることを確認してください。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8296W (Linux)** 指定されたポートでの `listen` エラーのため、共有メモリー・ドライバーは初期化できません。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を `listen` しようとしているときに、TCP/IP がエラーを戻しました。理由コードは TCP/IP `listen` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

ユーザーの処置: ネットワーク上の他のノードに TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを実行して、TCP/IP が正しく実行されていることを確認してください。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8296W (Solaris)** 指定されたポートでの `listen` エラーのため、共有メモリー・ドライバーは初期化できません。理由コードは *reason code* です。

説明: TCP/IP を使用してクライアントからのセッション要求を `listen` しようとしているときに、TCP/IP がエラーを戻しました。理由コードは TCP/IP `listen` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

ユーザーの処置: ネットワーク上の他のノードに TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを実行して、TCP/IP が正しく実行されていることを確認してください。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8297W (AIX)** 新規セッションを受け入れ中のエラーのために、共有メモリー・ドライバーは終了中です。理由コード *reason code*。

説明: 共有メモリー・プロトコルを使ってクライアントからのセッション要求を受け入れようとしているときに、TCP/IP はエラーを戻します。理由コードは TCP/IP `accept` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

ユーザーの処置: TCP/IP が正しく実行されているかどうか確認してください。これは、ユーザーのネットワーク上にある他のノードに対して TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを出すことによって実行できます。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8297W (HP-UX)** 新規セッションを受け入れ中のエラーのために、共有メモリー・ドライバーは終了中です。理由コード *reason code*。

説明: 共有メモリー・プロトコルを使ってクライアントからのセッション要求を受け入れようとしているときに、TCP/IP はエラーを戻します。理由コードは TCP/IP `accept` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

ユーザーの処置: TCP/IP が正しく実行されているかどうか確認してください。これは、ユーザーのネットワーク上にある他のノードに対して TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを出すことによって実行できます。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8297W (Linux)** 新規セッションを受け入れ中のエラーのために、共有メモリー・ドライバーは終了中です。理由コード *reason code*。

説明: 共有メモリー・プロトコルを使ってクライアントからのセッション要求を受け入れようとしているときに、TCP/IP はエラーを戻します。理由コードは TCP/IP `accept` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリー・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

ユーザーの処置: TCP/IP が正しく実行されているかどうか確認してください。これは、ユーザーのネットワーク上にある他のノードに対して TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを出すことによって実行できます。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8297W (Solaris)** 新規セッションを受け入れ中のエラーのために、共有メモリ・ドライバは終了中です。理由コード *reason code*。

説明: 共有メモリ・プロトコルを使ってクライアントからのセッション要求を受け入れようとしているときに、TCP/IP はエラーを戻します。理由コードは TCP/IP `accept` API からの戻りコードです。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、サーバーが共有メモリ・プロトコルを使用して、クライアントからの追加セッションを受け入れることはできません。

ユーザーの処置: TCP/IP が正しく実行されているかどうか確認してください。これは、ユーザーのネットワーク上にある他のノードに対して TCP/IP `netstat -s` および `ping` コマンドを出すことによって実行できます。サーバーを停止して再始動し、追加のクライアント・セッションを開始させることもできます。

---

**ANR8298W (AIX)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの書き込み中に TCP/IP エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリ・セッションのネゴシエーション中にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR8298W (HP-UX)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの書き込み中に TCP/IP エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリ・セッションのネゴシエーション中

にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR8298W (Linux)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの書き込み中に TCP/IP エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリ・セッションのネゴシエーション中にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR8298W (Solaris)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの書き込み中に TCP/IP エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリ・セッションのネゴシエーション中にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが TCP/IP スイートの一部である Telnet または FTP アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR8299W (AIX)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの読み取り中に **TCP/IP** エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリー・セッションのネゴシエーション中にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合、またはクライアントの構成が誤っている場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが **TCP/IP** スイートの一部である **Telnet** または **FTP** アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

クライアント・オプション・ファイルで、サーバーの共有メモリー・ポートがセットアップされており、サーバーの **TCP/IP** ポートと混同されていないことを確認してください。共有メモリー・ポートは、サーバーが通信を開始して共有メモリー通信に切り替えるために使用する **TCP/IP** ポートです。

---

**ANR8299W (HP-UX)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの読み取り中に **TCP/IP** エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリー・セッションのネゴシエーション中にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合、またはクライアントの構成が誤っている場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが **TCP/IP** スイートの一部である **Telnet** または **FTP** アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

クライアント・オプション・ファイルで、サーバーの共有メモリー・ポートがセットアップされており、サーバーの **TCP/IP** ポートと混同されていないことを確認してください。共有メモリー・ポートは、サーバーが通信を開始して共有メモリー通信に切り替えるために使用する **TCP/IP** ポートです。

---

**ANR8299W (Linux)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの読み取り中に **TCP/IP** エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリー・セッションのネゴシエーション中にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合、またはクライアントの構成が誤っている場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが **TCP/IP** スイートの一部である **Telnet** または **FTP** アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

クライアント・オプション・ファイルで、サーバーの共有メモリー・ポートがセットアップされており、サーバーの **TCP/IP** ポートと混同されていないことを確認してください。共有メモリー・ポートは、サーバーが通信を開始して共有メモリー通信に切り替えるために使用する **TCP/IP** ポートです。

---

**ANR8299W (Solaris)** サーバーは、ソケット *socket number* でのデータの読み取り中に **TCP/IP** エラーを検出しました。理由は *return code* です。

説明: 共有メモリー・セッションのネゴシエーション中にエラーが発生しました。接続のどちらかの側が突然終了した場合、またはクライアントの構成が誤っている場合には、これが正常なイベントである可能性があります。

システムの処置: セッションは打ち切られます。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントまたはサーバーのいずれかが故意に停止された結果としてセッションが打ち切られた場合には、アクションは不要です。そうでない場合には、クライアントとサーバーが **TCP/IP** スイートの一部である **Telnet** または **FTP** アプリケーションを使用して通信できることを確認してください。

クライアント・オプション・ファイルで、サーバーの共有メモリー・ポートがセットアップされており、サーバーの **TCP/IP** ポートと混同されていないことを確認してください。共有メモリー・ポートは、サーバーが通信を開始して共有メモリー通信に切り替えるために使用する **TCP/IP** ポートです。

---

**ANR8300E** ライブラリー *library name* で入出力エラー (**OP=internal code**、**CC=internal code**、**KEY=internal code**、**ASC=internal code**、**ASCQ=internal code**、**SENSE=sense data**、説明=*error description*) が発生しました。入出力エラー・コードの説明については、**IBM Spectrum Protect** 資料を参照してください。

説明: 指定されたライブラリーに対する操作中に、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーと関連づけられている **DEVICE** パラメーターが **DEFINE PATH** コマンドで正しく識別されたこと、およびライブラリーが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認します。ライブラリーにアクセス・ドアがある場合には、それがクローズされていることを確認します。通常は、**KEY**、**ASC**、および **ASCQ** フィールドの値を説明する表が、ライブラリー解説書に入っています。

---

**ANR8301E** ライブラリー *library name* で入出力エラー (**OP=internal code**、**SENSE=internal code**)。

説明: 指定されたライブラリーに対する操作中に、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーと関連づけられている **DEVICE** パラメーターが **DEFINE PATH** コマンドで正しく識別されたこと、およびライブラリーが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認します。ライブラリーにアクセス・ドアがある場合には、それがクローズされていることを確認します。

---

**ANR8302E** ボリューム *volume name* を持つドライブ *drive name* で、入出力エラー(**OP=internal code**、エラー番号= *internal code*、**CC=internal code**、**rc = return code**、**KEY=internal code**、**ASC=internal code**、**ASCQ=internal code**、**SENSE=sense data**、説明=*error description*) が発生しました。入出力エラー・コードの説明については、**IBM Spectrum Protect** 資料を参照してください。

説明: 指定されたドライブに対する操作中に、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ドライブと関連づけられている **DEVICE** パラメーターが **DEFINE PATH** コマンドで正しく識別されたこと、およびドライブが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。通常は、**KEY**、**ASC**、および **ASCQ** フィールドの値を説明する表が、ドライブ解説書に入っています。**OP=SETMODE SCSI** コマンドが失敗し、**KEY**、**ASC**、および **ASCQ** の各フィールドがすべて **FF** の値を表示する場合、**IBM Spectrum Protect** サーバーが使用する磁気テープ装置ドライバーは、磁気テープ装置に対してこのコマンドを発行しません。適切なバージョンの磁気テープ装置ドライバーが、ご使用のシステムにインストールされていることを確認します。

---

**ANR8303E** ドライブ *drive name* で入出力エラー (**OP=internal code**、**SENSE=internal code**)。

説明: 指定されたドライブに対する操作中に、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ドライブと関連づけられている **DEVICE** パラメーターが **DEFINE PATH** コマンドで正しく識別されたこと、およびドライブが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。

---

**ANR8304E** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* でタイムアウト・エラー。

説明: 自動ライブラリー操作を実行できるよう、指定されたドライブが作動可能になるのを待機中に、タイムアウト条件が起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ドライブと関連づけられている **DEVICE** パラメーターが **DEFINE PATH** コマンドで正しく識別されたこと、および装置が現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。

---

**ANR8305E** ライブラリー *library name* が作動可能でないか、あるいは操作可能になっていません。

説明: 指定された自動ライブラリー装置は、作動不能または操作不能状態です。

システムの処置: ライブラリー装置の初期化は正常に行われません。

ユーザーの処置: ライブラリーがパワーオンで、自動操作の準備ができていることを確認してください。自動操作のためのライブラリーへのアクセスが次に試みられるまで、指定されたライブラリーに対する以後の初期化の

試みは、通常延期されます。ただし、サーバー始動時に、少し待ってから初期化が再試行されることがあります。

---

**ANR8306I**    *Request number: device type* ボリューム *volume name mount mode* を *time limit* 分以内にスロットの中にライブラリー *library name* のエレメント番号 *slot element* を付けて挿入してください。準備ができた要求 **ID** と一緒に **'REPLY'** を発行してください。

説明: CHECKIN LIBVOLUME または LABEL LIBVOLUME コマンドが進行中で、指定のボリュームが必要です。サーバーでは、指定のライブラリーの指定のエレメント番号をもったスロットに、メッセージに示された制限時間内にボリュームを挿入する必要があります。ライブラリーのスロットおよびエレメント番号ダイアグラムについては、現行の ptf レベルで提供された資料を参照してください。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるか、または時間制限が切れるまで待機します。

ユーザーの処置: スロットにボリュームを挿入し、要求 ID と一緒に REPLY コマンドを出して、ボリュームを挿入したことをサーバーに知らせてください。

---

**ANR8307I**    *Request number: ライブラリー library name* のエレメント番号 *slot name* のスロットから *device type* ボリューム *volume name* を取り外してください。作動可能になった時に、要求 **ID** を指定して **'REPLY'** を出してください。

説明: CHECKOUT LIBVOLUME コマンドが完了しました。指定されたエレメント番号のスロットから、ボリュームを取り外し、これをライブラリーの外に保管することができます。ライブラリーのスロットおよびエレメント番号ダイアグラムについては、現行の ptf レベルで提供された資料を参照してください。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるまで、待機します。

ユーザーの処置: スロットからボリュームを取り外して、それを安全な場所に保管してください。要求 ID と一緒に REPLY コマンドを出し、ボリュームを取り外したことをサーバーに知らせてください。CHECKIN LIBVOLUME コマンドを用いて、ボリュームをライブラリーに戻すことができます。

---

**ANR8308I**    *Request number: ライブラリー library name* で使用する *device type* ボリューム *volume name* が必要です。*time limit* 以内(分)に **CHECKIN LIBVOLUME** が必要でした。

説明: ストレージ・プールに定義されているボリュームのうち、現在は指定されたライブラリーからチェックアウトされているものに対して、マウント要求が出されました。

システムの処置: サーバーは、ボリュームがライブラリーにチェックインされたことを検出するまで、あるいは制限時間が切れるまで、待機します。

ユーザーの処置: 必要なボリュームを獲得し、CHECKIN LIBVOLUME コマンドを出して、それをライブラリーに挿入します。ライブラリーが現在満杯である場合には、CHECKIN LIBVOLUME コマンドの SWAP=YES オプションを使用してください。このプロセスにより、サーバーは、必要なボリュームを入れる場所を作るためにスワップアウトする、適切なボリュームを選択することができます。

---

**ANR8309E**    マウントしようとしたものが失敗しました  
- ライブラリー *library name* が定義されていません。

説明: ボリュームをマウントしようとしたものが、指定されたライブラリーが定義されていないので失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: マウント操作と関連づけられている装置クラスの LIBRARY 属性が、定義済みのライブラリーを識別していることを確認してください。そうでない場合には、LIBRARY 属性の値を訂正するか、または指定されたライブラリーを定義して、操作をやり直してください。

---

**ANR8310E**    ライブラリー *library name* へのアクセス中に入出力エラーが起きました。

説明: 指定されたライブラリーへのアクセス中に、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーと関連づけられている DEVICE パラメーターが DEFINE PATH コマンドで正しく識別されていること、およびライブラリーが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。ライブラリーにアクセス・ドアがある場合には、それがクローズされていることを確認します。潜在



的なこれらの問題を検査し訂正してから、操作をやり直してください。

---

**ANR8311E** *low-level operation* 操作のためにドライブ *drive name* をアクセス中に入出力エラーが起きました。エラー番号 = *drive errno*、*rc* = *return code*。

説明: 指定されたドライブに対して操作を実行中に入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ドライブと関連づけられている

DEVICE パラメーターが DEFINE PATH コマンドで正しく識別されていること、およびドライブが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。潜在的なこれらの問題を検査し訂正してから、操作をやり直してください。入出力エラー・コードの詳細情報については、IBM Knowledge Center でサーバー・メッセージの入出力エラー・コードについて検索してください。

---

**ANR8312E** ライブラリー *library name* でボリューム *volume name* を見つけることができませんでした。

説明: 与えられたライブラリー内の予期された位置で、指定されたボリュームを見つけることができません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 指定されたライブラリーに対して AUDIT LIBRARY 操作を実行してください。この操作により、サーバーは、ライブラリー内のボリュームについて、そのインベントリー情報を再評価するように強制されます。

---

**ANR8313E** ライブラリー *library name* にボリューム *volume name* がありません。

説明: 指定されたライブラリー内の与えられたボリュームに対してマウント要求が出されましたが、このボリュームは現在ライブラリーにチェックインされていません。

システムの処置: マウント操作は正常に行われません。ボリュームがストレージ・プール入出力 (インポート/エクスポート入出力に対立するもの) 用にマウントされている場合には、これ以上マウント要求が出されないようにするために、その ACCESS 属性が UNAVAILABLE に変更されます。

ユーザーの処置: CHECKIN LIBVOLUME コマンドを出してボリュームをライブラリーに戻し、UPDATE VOLUME コマンドを使用してボリュームの ACCESS

属性を READONLY または READWRITE に更新してください。マウント要求をやり直してください。

---

**ANR8314E** ライブラリー *library name* が満杯です。

説明: ライブラリーの記憶場所がすべてふさがっているため、ライブラリー操作は正常に行われません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: CHECKOUT LIBVOLUME コマンドを出して、ライブラリー内に場所を作ってください。ライブラリー操作をやり直してください。

---

**ANR8315E** *Command: library type* ライブラリーのドライブ *drive name* の装置タイプはサポートされていません。

説明: コマンドで識別されたタイプの装置は、指定されたタイプのライブラリーではサポートされません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: インストールされているサーバーのレベルで、ドライブとライブラリーの組み合わせが、サポートされているかどうかを調べてください。サポートされている場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR8316E** ライブラリー *library name* をチェックアウトするための、スワップ・ボリュームを選択中。

説明: 新規のカートリッジを入れておくための空のスロットがないライブラリーに対して、CHECKIN LIBVOL コマンドが出されました。コマンドには SWAP=YES パラメーターが指定されていました。

システムの処置: スクラッチ・ボリューム (ない場合には、マウント回数が最低のボリューム) を指定した CHECKOUT LIBVOL コマンドが自動的に出されません。

ユーザーの処置: サポートされているタイプのドライブを使用してください。スワップ・ボリュームを取り外し、それを安全な場所に保管してください。REPLY コマンドを出して、ボリュームを取り外したことをサーバーに知らせてください。CHECKIN LIBVOLUME コマンドを用いて、ボリュームをライブラリーに戻すことができます。

---

**ANR8317I** *device type* ドライブ *drive name* のボリュームを、手操作で排出する必要があります。

説明: この装置タイプは、ボリュームが取り外された時にそれを自動的に排出するものではないので、手操作で

ドライブからボリュームを排出する必要があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 物理的にドライブからボリュームを排出してください。

---

**ANR8318I**    *Request number: time limit* < 分以内に、ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* に *device type* ボリューム *volume name* *mount mode* のサイド *side* をマウントしてください。

説明: サーバーは、指定されたボリュームが要求とおり  
にマウントされることを必要としています。 ボリュームが 2 面になっているので、このメッセージはサーバーが入出力操作にどちらの面 (A または B) を必要としているかを指定しています。

システムの処置: サーバーはボリュームがマウントされるのを待機します。

ユーザーの処置: 指定されたドライブにボリュームをマウントしてください。

---

**ANR8319I**    *Request number: time limit* 以内 (分) にライブラリー *library name* に *device type* ボリューム *volume name* *mount mode* を挿入してください。

説明: CHECKIN LIBVOLUME コマンドが進行中で、指定されたボリュームが必要です。 サーバーは、コンビニエンス入出力ステーション機構をもつライブラリーに、ボリュームが挿入されることを要求しています。

システムの処置: サーバーは、ボリュームがライブラリーに挿入されるか、あるいは時間制限が切れるまで、待機します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームをライブラリーに挿入してください。 ボリュームが既にライブラリーに挿入されている場合には、ユーザー・アクションは不要です。

---

**ANR8320I**    *Request number: time limit* 分以内にライブラリー *library name* のドライブ *drive name* に *device type* ボリューム *volume name* *mount mode* を挿入してください。 作動可能になった時に、要求 ID と一緒に 'REPLY' を出してください。

説明: CHECKIN LIBVOLUME または LABEL LIBVOLUME コマンドが進行中で、指定のボリュームが必要です。 サーバーは、メッセージに指定された時間制限内に、与えられたライブラリーの指定されたドライブにボリュームが挿入されることを要求します。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるか、または時間制限が切れるまで待機します。

ユーザーの処置: ドライブにボリュームを挿入してから、要求 ID と一緒に REPLY コマンドを出して、ボリュームを挿入したことをサーバーに知らせてください。

---

**ANR8321I**    *Request number:* ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* から *device type* ボリューム *volume name* を取り外してください。 作動可能になった時に、要求 ID と一緒に 'REPLY' を出してください。

説明: CHECKOUT LIBVOLUME または LABEL LIBVOLUME コマンドが完了しました。 指定されたボリュームを、指示されたドライブから取り外して、それをライブラリーの外部に保管できます。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるまで、待機します。

ユーザーの処置: ボリュームをドライブから取り外して、安全な場所に保管してください。 要求 ID と一緒に REPLY コマンドを出し、ボリュームを取り外したことをサーバーに知らせてください。 CHECKIN LIBVOLUME コマンドを用いて、ボリュームをライブラリーに戻すことができます。

---

**ANR8322I**    *Request number:* ライブラリー *library name* の出入り口ポートから *device type* ボリューム *volume name* を取り外してください。 作動可能になった時に、要求 ID と一緒に 'REPLY' を出してください。

説明: CHECKOUT LIBVOLUME コマンドが完了しました。 与えられたライブラリーの出入り口ポートから、指定されたボリュームを取り外して、それを他の場所に保管することができます。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるまで、待機します。

ユーザーの処置: ライブラリーからボリュームを取り外して、それを安全な場所に保管してください。 要求 ID と一緒に REPLY コマンドを出し、ボリュームを取り外したことをサーバーに知らせてください。 CHECKIN LIBVOLUME コマンドを用いて、ボリュームをライブラリーに戻すことができます。

---

**ANR8323I**    *Request number: time limit* 以内 (分) にライブラリー *library name* の出入り口ポートに *device type* ボリューム *volume name* *mount mode* を挿入してください。 作動可能になった時に要求 ID と一緒に

'REPLY' を出してください。

説明: CHECKIN LIBVOLUME または LABEL LIBVOLUME コマンドが進行中で、指定のボリュームが必要です。メッセージに指定された時間制限以内に、与えられたライブラリーの出入り口ポートにボリュームをマウントしてください。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるか、または時間制限が切れるまで待機します。

ユーザーの処置: ライブラリーの出入り口ポートにボリュームを挿入してから、要求 ID と一緒に REPLY コマンドを出して、ボリュームを挿入したことをサーバーに知らせてください。

---

**ANR8324I** *Device type* ボリューム *volume name* のマウント (*mount mode*) が必要です。

説明: サーバーが指定されたボリュームを読み取りまたは書き込み用にアクセスできるように、近い将来そのボリュームをマウントすることを要求されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ボリュームがオフラインで保管されている場合には、サーバーがそのマウントを要求した時に直ちにそのボリュームにアクセスできるよう、そのボリュームを用意しておいてください。

---

**ANR8325I** ボリューム *volume name* の取り外し中 - *mount retention period* (分) のマウント保存有効期限が切れました。

説明: 与えられたマウント保存期間が切れたので、指定されたボリュームは取り外されます。

システムの処置: ボリュームは取り外されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8326I** *Request number: time limit* 以内 (分) にライブラリー *library name* のドライブ *drive name* に *device type* ボリューム *volume name* *mount mode* をマウントしてください。

説明: ボリューム名に名前 EXP、IMP、DUMP、または DBBK が入っている場合には、スクラッチ・ボリュームの要求です。

システムの処置: サーバーはボリュームがマウントされるのを待機します。

ユーザーの処置: 指定されたドライブにボリュームをマウントしてください。

---

**ANR8327E** *Command:* 要求 *request number* を取り消すことはできません。

説明: 与えられたコマンドに指定された番号の要求を取り消すことはできません。要求した操作を完了しなければなりません。

システムの処置: 要求取り消しコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 要求した操作を続行してください。

---

**ANR8328I** *Request number: device type* ボリューム *volume name* がドライブ *drive name* にマウントされました。

説明: サーバーは、要求したボリュームが指定されたドライブに正しくマウントされたことを確認します。

システムの処置: ボリュームは読み取りまたは書き込み (あるいはその両方) のためにアクセスされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8329I** *Device type* ボリューム *volume name* がドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています。状況: **IDLE**。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答でサーバーは、与えられたボリュームが、指定されたドライブにマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在アイドル状態になっています。これは、実行中の活動操作がないことを意味します。このボリュームが、装置クラス・マウント保存期間で指定された時間の間、アイドル状態のままである場合には、自動的に取り外されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8330I** *Device type* ボリューム *volume name* がドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています。状況: **IN USE**。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答でサーバーは、与えられたボリュームが、指定されたドライブにマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在使用中です。これは、読み取り操作または書き込み操作 (あるいはその両方) が実行中であることを意味します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8331I** *Device type* ボリューム *volume name* がドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています。状況:

**DISMOUNTING.**

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答でサーバーは、与えられたボリュームが、指定されたドライブにマウントされていることを示しています。ボリュームは現在、サーバーによって取り外し中です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8332I** *Device type* ボリューム *volume name* がマウント (*mount mode*) されています。状況: **IDLE.**

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられたボリュームが、入出力操作作用にマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在アイドル状態になっています。これは、実行中の活動操作がないことを意味します。このボリュームが、装置クラス・マウント保存期間で指定された時間の間、アイドル状態のままである場合には、自動的に取り外されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8333I** *Device type* ボリューム *volume name* がマウント (*mount mode*) されています。状況: **IN USE.**

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられたボリュームが、入出力操作作用にマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在使用中です。これは、読み取り操作または書き込み操作 (あるいはその両方) が実行中であることを意味します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8334I** *Number of matches* 件の一致が見つかりました。

説明: これは、QUERY MOUNT コマンドの要約メッセージです。これは、コマンド出力内で報告されたマウント・ポイントの合計数を示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8335I** *Request number:* ドライブ *drive name* の *device type* ボリューム *volume name* のラベルを検査中。

説明: サーバーは、前のマウント・メッセージによって要求されたボリュームのラベルを検査します。これは、オペレーターが正しいボリュームをマウントしたかどうかを確かめるために行われます。

システムの処置: サーバーはボリューム・ラベルを読み取り、その妥当性を検査します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8336I** ドライブ *drive name* の *device type* ボリューム *volume name* のラベルを検査中。

説明: サーバーは、読み取り操作または書き込み操作、あるいはその両方に必要な、ボリュームのラベルを検査します。これは、正しいボリュームがマウントされたかどうか、確認するために行われます。

システムの処置: サーバーはボリューム・ラベルを読み取り、その妥当性を検査します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8337I** *Device type* ボリューム *volume name* がドライブ *drive name* にマウントされました。

説明: サーバーは、指定されたマウント要求が正しく完了したかどうか検査します。そのボリュームに対して、読み取り操作または書き込み操作、あるいはその両方を実行することができます。

システムの処置: ボリュームのラベルが検査されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8338E** *Device type* ボリューム *volume name* は **EXPORT** 操作で上書きすることができません。

説明: 指定されたボリュームが既に存在しているか、またはデータを含んでいるので、サーバーは新しいエクスポート・データがそのボリュームに書き込まれることを許可しません。

システムの処置: サーバーは、要求されたエクスポート操作によって上書きされるデータが、指定されたボリュームに既に入っていることを見つけます。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、ボリュームを削除してからエクスポート操作をやり直してください。

---

**ANR8339E** ドライブ *drive name* の *Device type* ボリューム *intended volume name* がボリューム *incorrect volume name* で置き換えられました。

説明: サーバーは、前にマウントされて確認されたボリューム (望みのボリューム) が別のボリューム (正しくないボリューム) に置き換えられたことを見つけます。データ破損の恐れがあるので、与えられたドライブに対してこれ以上読み取り操作、または書き込み操作、あるいはその両方を行うことはできません。

システムの処置: サーバーはドライブからボリュームを取り外します。

ユーザーの処置: 手操作ライブラリーの場合には、正しいボリュームをマウントして、操作をやり直してください。

---

**ANR8340I** *Device type* ボリューム *volume name* がマウントされました。

説明: サーバーは与えられたボリュームをマウントしました。

システムの処置: そのボリュームに対して、読み取り操作または書き込み操作、あるいはその両方が開始されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8341I** *device type* ボリューム *volume name* の、ボリュームの終わりに達しました。

説明: サーバーは、与えられたボリュームについて、ボリューム終わり条件を検出しました。

システムの処置: ボリュームは、満杯とマークされます。さらにデータを保管する必要がある場合には、サーバーはそのデータのために別のボリュームにアクセスします。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8342I** ボリューム *volume name* の *request number* が *administrator name* によって取り消されました。

説明: 与えられた管理者によってマウント要求が取り消されました。

システムの処置: システムはマウント要求を取り消します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8343I** ボリューム *volume name* の *request number* が *administrator name* によって取り消されました (**PERMANENT**)。

説明: マウント要求は **PERMANENT** オプションによって正常に取り消されます。

システムの処置: システムはマウント要求を取り消して、ボリュームを使用不可能とマークします。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8344E** *Command*: 無効な要求番号 - *request number*。

説明: 正しくない要求番号でコマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい要求番号を用いてコマンドを出してください。

---

**ANR8345E** *Command*: この要求番号と一致するものが見つかりません。

説明: コマンドに指定された要求番号は、未処理マウント要求のリストにありません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 正しい要求番号を用いてコマンドを出してください。

---

**ANR8346I** *Command*: 未解決の要求はありません。

説明: 未処理のマウント要求がないのに、**QUERY REQUEST** または **CANCEL REQUEST** コマンドが入力されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8347E** *Command*: ボリューム *volume* が見つかりません。

説明: **DISMOUNT VOLUME** コマンドが出されましたが、取り外すボリュームが見つかりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しいボリューム名を入力したかどうか確かめてください。

---

**ANR8348E** *Command:* ボリューム *volume* は "Idle" 状態ではありません。

説明: DISMOUNT VOLUME コマンドが出されましたが、ボリュームはまだ使用中であるので、取り外すことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ボリュームを取り外す必要がある場合には、ボリュームを使用しているセッション、またはプロセスを取り消してから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8349E** *Command:* 装置 *device* が見つかりません。

説明: DISMOUNT DEVICE コマンドが出されましたが、取り外す装置が見つかりません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 正しい装置を指定したかどうか確かめてください。

---

**ANR8350E** *Command:* 装置 *device* は "Idle" 状態ではありません。

説明: DISMOUNT DEVICE コマンドが出されましたが、装置はまだ使用中であるので、取り外すことができません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 装置を取り外す必要がある場合には、装置を使用しているセッション、またはプロセスを取り消してから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8351E** *Request number:* ボリューム *volume name* のマウント要求がタイムアウトになりました。

説明: マウント要求が要求された時間内に満たされませんでした。

システムの処置: サーバーはマウント要求を停止します。

ユーザーの処置: マウント要求をやり直し、手動ライブラリーの時間制限内にボリュームがマウントされることを、確認してください。自動化ライブラリーの場合には、マウント要求をやり直し、装置クラスのマウント待機時間を増やしてください。

---

**ANR8352I** 未解決の要求:

説明: このメッセージは、現在未解決であるマウント要求のリストを提供します。

システムの処置: サーバーは、すべての未解決マウント要求、または QUERY REQUEST コマンドで指定された要求をリストします。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8353E** *Request number:* ドライブ *drive name* のボリュームのラベル読み取り中に入出力エラー。

説明: サーバーが指定されたドライブのボリュームからボリューム・ラベルを読み取っている時に、エラーを検出しました。

システムの処置: ボリュームは排出され、サーバーは要求したボリュームがマウントされるのを待ち続けます。

ユーザーの処置: 次を確認してください。

- 要求されたボリュームが指定されたドライブに正しく挿入されている。
- ボリュームをサーバーで使用する前に、DSMLABEL ユーティリティ・プログラムを用いてボリュームにラベルが付けられている。
- ドライブと関連づけられている DEVICE パラメーターが DEFINE PATH コマンドで正しく識別されていて、ドライブが現在パワー・オンで、作動可能になっている。

潜在的なこれらの問題を検査し訂正してから、操作をやり直してください。

---

**ANR8354E** *Request number:* 正しくないボリューム (*volume name*) がドライブ *drive name* にマウントされました。

説明: ユーザーは指定されたボリュームを示されたドライブに挿入しましたが、そのボリュームはサーバーが要求したものではありません。

システムの処置: ボリュームは排出され、サーバーは要求したボリュームがマウントされるのを待ち続けます。

ユーザーの処置: 要求されたボリュームが指定されたドライブに正しく挿入されるようにしてください。

---

**ANR8355E** ドライブ *drive name* のボリューム *volume name* のラベル読み取り中に入出力エラー。

説明: サーバーが指定されたドライブのボリュームのボ

リューム・ラベルを読み取り/検査中に、エラーを検出しました。

システムの処置: ボリュームはサーバーによって取り外されます。

ユーザーの処置: 次を確認してください。

- **AUDIT VOLUME** コマンドを出して、ボリューム上のデータの保全性を検査する。このエラーが **VTL** または **SCSI** ライブラリーの内部に保管されているボリュームで起こったものである場合には、**AUDIT LIBRARY** コマンドを使用してライブラリーそのものを監査する必要があるかもしれません。
- ドライブと関連づけられている **DEVICE** パラメーターが **DEFINE PATH** コマンドで正しく識別されていて、ドライブが現在パワー・オンで、作動可能になっている。

潜在的なこれらの問題を検査し訂正してから、操作をやり直してください。

---

**ANR8356E** ボリューム *expected volume name* ではなく正しくないボリューム *mounted volume name* がライブラリー *library name* にマウントされました。

説明: 正しくないボリュームが指定されたライブラリーにマウントされました。このエラーは、手動介入またはボリュームの移動、あるいはその両方のためにライブラリー・インベントリーが変更された場合に、起こることがあります。

システムの処置: ボリュームは取り外されます。このエラーが通常のボリューム・マウント活動で起こったものである場合には、予期されたボリュームが使用不可能とマークされる可能性があります。

ユーザーの処置: **AUDIT LIBRARY** コマンドを使用して、ライブラリーがそのボリューム・インベントリーを再評価するように強制してください。

---

**ANR8357I** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のスロット・エレメント・アドレス *element address* からのボリュームのラベルを読み取り中にエラー。

説明: 指定されたライブラリーに対して探索モードの **CHECKIN LIBVOLUME** コマンドを処理している時に、サーバーが、ラベルを読み取れないボリュームを見つけました。

システムの処置: ボリュームは取り外され、ライブラリーにチェックインされません。

ユーザーの処置: ライブラリーからボリュームを取り外して、それに正しくラベルが付けられるようにしてくだ

さい。そうした後で、ボリュームをライブラリーにチェックインすることができます。

---

**ANR8358E** ライブラリー *library name* に監査操作が必要です。

説明: サーバーは与えられたライブラリーの管理中に問題があり、**AUDIT LIBRARY** 操作を実行する必要があると判断しました。

システムの処置: サーバーはライブラリーへのアクセスを続けますが、ボリュームによっては、ライブラリーに対し **AUDIT LIBRARY** コマンドが出されるまでアクセスできない場合があります。

ユーザーの処置: ライブラリーに対して **AUDIT LIBRARY** コマンドを出してください。

---

**ANR8359E** ライブラリー *library name* ドライブ *drive name* の *device type* ボリューム *volume name* でメディア障害が検出されました。

説明: サーバーは、指定されたドライブを使用して指定されたボリュームへアクセス中に、メディア障害を見つけました。

システムの処置: ボリュームへのアクセスを試みている操作は正常に実行されず、ボリュームは直ちにドライブから取り外されます。

ユーザーの処置: 場合によっては、サーバーが自動的にボリュームを読み取り専用とマークすることがあります。これにより、サーバーはボリュームへの書き込みを行わなくなります。 **AUDIT VOLUME** コマンドを出して、メディア障害のために失われたデータがないかどうかを調べてください。

---

**ANR8360I** ボリューム *volume name* がマニュアル・ライブラリー *library name* から削除されました。

説明: 指定されたボリュームがサーバーによって削除されました。必要であれば、マウント作業員がそれをスクラッチ・プールに戻すことができます。

システムの処置: ボリュームはサーバーのインベントリーから除去されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8361E** *Command*: 装置タイプが指定されていません。

説明: 指定されたコマンドには、**DEVTYPE** パラメーターを指定する必要があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、有効な DEVTYPE パラメーターを指定してください。

---

**ANR8362E** *Command: parameter* パラメーターは装置タイプ *device type* には無効です。

説明: 指定されたパラメーターは、与えられた装置タイプをもつ装置クラスには有効ではありません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターを用いてコマンドをやり直してください。

---

**ANR8363E** *Command: 装置タイプ device type* には、*parameter* パラメーターが必要です。

説明: 示された装置タイプを使用する時に、指定されたコマンドには、与えられたパラメーターを指定する必要があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、必要なパラメーター値を指定してください。

---

**ANR8364E** *Command: MOUNTLIMIT* は、現在マウントされているボリューム数よりも小さくできません。

説明: MOUNTLIMIT 値を現在マウントされているボリューム数より小さくすることはできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: サーバーがマウントされているボリュームのいくつかを使い終えるまで待つか、あるいは DISMOUNT VOLUME コマンドを使用して、サーバーがアイドル・ボリュームを取り外すように強制してから、このコマンドをやり直してください。

---

**ANR8365E** *Command: parameter* パラメーターを変更できません。

説明: 指定されたパラメーターを、関連する DEFINE コマンドで指定された値から変更することはできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 与えられたパラメーターに別の値を使用する必要がある場合には、関連オブジェクトを削除してから、新しいパラメーター値を用いて、これを再定義しなければなりません。

---

**ANR8366E** *Command: parameter* パラメーターは無効値です。

説明: 指定されたパラメーターには無効値が指定されています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、有効なパラメーター値を指定してください。 DEFINE DRIVE 上の ELEMENT パラメーターで AUTODETECT を指定したときにこのメッセージが発行された場合は、エレメント番号を動的に判別する機能をライブラリーがサポートしていないことが原因である可能性があります。 この場合には、ELEMENT パラメーターで AUTODETECT を指定する代わりに、実際のエレメント番号を指定してください。これが 3592 装置クラス上の SCALECAPACITY パラメーターの場合は、この装置クラスが属性 WORM=NO を持っているか確認してください。WORM と SCALECAPACITY には互換性がないからです。

---

**ANR8367E** *Command: 複数の parameter* 値は使用できません。

説明: 指定されたパラメーターがコマンドに複数回指定されています。これは許されません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、与えられたパラメーターを 1 回だけ指定するようにしてください。

---

**ANR8368E** *Request number: ボリューム volume name* の間違ったサイド (*side*) がドライブ *drive name* にマウントされました。

説明: ユーザーは、要求されたボリュームの間違った面を示されたドライブに挿入しました。

システムの処置: ボリュームは排出され、サーバーはボリュームの要求した面がマウントされるのを待ち続けます。

ユーザーの処置: 要求されたボリュームの正しい面を指定されたドライブに挿入してください。

---

**ANR8369E** ライブラリー *library name* が定義されていません。

説明: 指定されたライブラリーは定義されていないのに、マウント要求で参照されています。

システムの処置: マウント要求は拒否されます。

ユーザーの処置: 与えられたライブラリーを定義するか、またはそれを参照している装置クラスの LIBRARY パラメーターを更新してください。



---

**ANR8370I** *Device type* ボリューム *volume name* がマウント (*mount mode*) されています。状況: **RETRY**。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられたボリュームが、入出力操作にマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在 **RETRY** 状態ですが、これは、別のサーバーとの通信を再接続しようとしていることを意味します。このボリュームが、装置クラス再試行期間で指定された時間の間、再試行状態のままになっていると、操作は失敗し、このボリュームは自動的に取り外されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8371I** ボリューム *volume name* の入出力が迂回されています。

説明: 示されたボリュームはマウントされていますが、このボリュームの実際の入出力操作を、サーバーはバイパスしています。このボリュームに関連づけられたプールが、オプション・ファイルの NULLPOOLNAME オプションと一致しているか、あるいはオプション・ファイルに NULLFILEDEVCLASS YES が指定されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8372I** *Request number:* ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* から *device type* のボリューム *volume name* を除去してください。

説明: LABEL LIBVOLUME コマンドが完了しました。指定されたボリュームを、指示されたドライブから取り外して、それをライブラリーの外部に保管できません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ボリュームをドライブから取り外して、安全な場所に保管してください。

---

**ANR8373I** *Request number:* *time limit* 分以内に、ライブラリー *library name* の大量入出力ポートに処理するすべての *device type* ボリュームを入れてください。準備ができたら要求 ID と一緒に 'REPLY' を出してください。

説明: SEARCH=BULK を指定した CHECKIN LIBVOLUME または LABEL LIBVOL コマンドが進行

中です。指示されたライブラリーのマルチスロット出入りに、メッセージに指定された時間制限以内に処理するボリュームをすべてロードしてください。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるか、または時間制限が切れるまで待機します。

ユーザーの処置: ボリュームをライブラリーの出入り口ポートに挿入し、要求 ID と一緒に REPLY コマンドを実行して、ボリュームを挿入したことをサーバーに通知してください。

---

**ANR8374E** マウント・ポイント *mountpoint name* をアンマウントできません。

説明: 取り外し可能ファイル装置クラス・マウント・ポイントは、オペレーティング・システムのアンマウント機能を使用してアンマウントされなければなりません。サーバーが指定されたディレクトリーをアンマウントする許可を持っていません。

システムの処置: サーバーは続行しますが、ディレクトリーがアンマウントされるまで、取り外し可能ファイル・サポート用のマウント・ポイントを使用することはできません。

ユーザーの処置: マウントされているディレクトリーをアンマウントするには、サーバーをルート・ユーザーとして実行する必要があります。

---

**ANR8375E** *Device type* ボリューム *volume name* は **BACKUPSET** 操作で上書きできません。

説明: 指定されたボリュームが既に存在しているか、またはデータを含んでいるので、サーバーは新しい backup set データがそのボリュームに書き込まれることを許可しません。

システムの処置: サーバーは、要求された backup set 操作によって上書きされるデータが、指定されたボリュームに既に入っていることを検出します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、ボリュームを削除してから backup set 操作を再試行してください。

---

**ANR8376I** 装置クラス *Device class name* でマウント・ポイントが予約されています。状況: **RESERVED**。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられた装置クラス内で将来の入出力操作に予約されているマウント・ポイントがあることを示しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8377I** *Device type* ボリューム *volume name* がマウント・モード *mount mode* でマウントされています。状況:

**DISMOUNTING。**

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられたボリュームが現在取り外し中であることを示しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8378I** *Device type* ボリューム *volume name* がマウント・モード *mount mode* でマウントされています。状況: **RETRY**

**DISMOUNT FAILURE。**

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられたボリュームの前の取り外しが失敗したので、現在取り外そうとしていることを示しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8379I** 装置クラス *Device class name* 内のマウント・ポイントがボリュームのマウントの完了を待機しています。状況: **WAITING FOR VOLUME。**

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、ボリューム・マウントの完了を待機している与えられた装置クラス内にマウント・ポイントがあることを示しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8380I** *Device type* ボリューム *volume name* がドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています。状況: **RETRY**

**DISMOUNT FAILURE。**

説明: 前の取り外しの失敗のために、サーバーは、指定されたドライブから指定されたボリュームを取り外そうとしています。QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、そのボリュームがドライブにマウントされていることを示しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---



---

**ANR8381E** *Device type* ボリューム *volume name* がドライブ *drive name* にマウントできません。

説明: エラーのために、サーバーは指定されたマウント要求を完了できません。指定されたボリュームおよび操作に関する追加情報については、前のメッセージを調べてください。

システムの処置: 要求された操作は失敗します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームおよび操作に関する追加情報については、前のメッセージを調べてください。

---

**ANR8382W** ライブラリー *library name* が現在いっぱいです。

説明: マルチスロット出入り口ステーションからのライブラリー・チェックイン操作時に、残りの出入り口スロットがチェックされる前に、最後の保管場所がいっぱいになりました。

システムの処置: 操作は停止しましたが、少なくとも 1 つのボリュームがチェックインされていれば、成功と見なされます。

ユーザーの処置: チェックインするボリュームが残っている場合には、CHECKOUT LIBVOLUME コマンドを出して、ライブラリー内に場所を作ってください。ライブラリー操作をやり直してください。

---

**ANR8383E** 装置クラス *device class name* ディレクトリー *directory name* が **SnapLock** ディレクトリーではありません。

説明: 指定された装置クラスの処理時に、NetApp SnapLock WORM ボリュームではない装置クラスに対してディレクトリーが指定されていることが検出されました。RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK であるストレージ・プールに対して装置クラスが使用するディレクトリーはすべて Snaplock ディレクトリーである必要があります。

システムの処置: RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK であるストレージ・プールを定義しようとする、そのコマンドは失敗します。

RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK ストレージ・プールによって指されている装置クラスを更新しようとする、そのコマンドは失敗します。

ユーザーの処置: RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK であるストレージ・プールを定義する場合は、すべてのディレクトリーが NetApp SnapLock WORM ボリュームである装置クラスを指定する必要があります。すべての SnapLock ディレクトリーが指定された別の

装置クラスを選択することもできます。あるいは、UPDATE DEVCLASS コマンドを使用して装置クラスの DIR リストから SnapLock 以外のディレクトリーを除去することもできます。既存の装置クラスを変更する場合は、装置クラスから除去するディレクトリーにデータが保管されていないことを確認する必要があります。装置クラスを更新しようとしたときにこのメッセージが発行される場合は、ディレクトリー内で指定されているすべてのディレクトリーが SnapLock ディレクトリーであることを確認してください。

---

**ANR8384E** Request number: 正しくないボリューム (volume name) がライブラリー library name に挿入されました。

説明: ユーザーは指定されたボリュームを示されたライブラリーに挿入しましたが、そのボリュームはサーバーが要求したものではありません。

システムの処置: ボリュームはスキップされ、サーバーは要求したボリュームが挿入されるのを待ち続けます。

ユーザーの処置: 要求されたボリュームが、ライブラリー内の指定された位置に正しく挿入されるようにしてください。

---

**ANR8385E** ライブラリー library name の出入り口ポートがすべて空です。

説明: ライブラリーの出入り口ポートに、処理できるボリュームが含まれていません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーの出入り口ポートにボリュームが正しく挿入されていることと、ボリュームが挿入されたことをライブラリーが示していることを確認し、コマンドを再発行します。ボリュームが正しく挿入されているにも関わらずこのエラーが発生する場合は、ハードウェア・ベンダーに連絡してください。

---

**ANR8386W** ライブラリー library name のスロット element number はアクセス不能です。

説明: この時点では、ライブラリーのスロットに物理的にアクセスすることができません。

システムの処置: スロットはスキップされ、次のスロットで処理が続行されます。

ユーザーの処置: 処理を必要とするスロット内のボリュームがある場合は、出入り口ドアが閉じられ、スロットがアクセス可能で、その装置の装置エラーが記録されていないことを確認してから、このコマンドをやり直してください。スロットがアクセス不能であると誤って報

告される場合は、ハードウェア・ベンダーに連絡してください。

---

**ANR8387I** Request number: ライブラリー library name のすべての出入り口ポートが満杯またはアクセス不能です。出入り口ポートを空にして、出入り口ポートのドアを閉じ、ポートをアクセス可能にしてください。

説明: CHECKOUT LIBVOLUME コマンドは、ボリュームを除去するために、空および使用可能な出入り口ポートを見つけることができません。

システムの処置: サーバーは、オペレーターが要求された処置を実行するまで待ちます。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの出入り口ポートを空にしてアクセス可能にします。出入り口ポートまたはライブラリーを確認してください。出入り口のドアが閉じられていることを確認してください。すべての出入り口ポートが満杯の場合は、出入り口ポートから少なくとも 1 つのボリュームを除去してください。いずれかの出入り口が空の場合は、空の出入り口ポートがアクセス不能です。ライブラリーの資料を参照して、出入り口ポートをアクセス可能にする方法を確認してください。ライブラリーが出入り口ポートの状況を誤って報告している場合は、ライブラリーのベンダーに問い合わせてください。

---

**ANR8388E** 装置クラス device class name にディレクトリーが指定されていません。

説明: タイプ RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK のストレージ・プールによって参照されている、指定された装置クラスの処理中に、この装置クラスに対してディレクトリーが指定されていないことが発見されました。RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK が指定されたストレージ・プールが使用する装置クラスには、1 つ以上のディレクトリーを指定する必要があり、すべてのディレクトリーは、NetApp SnapLock WORM ボリュームでなければなりません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: タイプ RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK のストレージ・プールによって参照されている装置クラスは、1 つ以上のディレクトリーを指定する必要があり、これらのディレクトリーは NetApp SnapLock WORM ボリュームでなければなりません。UPDATE DEVCLASS コマンドを使用して装置クラスに適切なディレクトリーを定義し、要求を再試行してください。

**ANR8389E** 装置クラス *device class name* は矛盾する **RECLAMATIONTYPE** パラメーターのストレージ・プールを持っているか、装置クラス内に無効なディレクトリーがあります。

説明: 指定された装置クラスの処理時に、適切に構成されていないことが検出されました。装置クラスは、**RECLAMATIONTYPE=THRESHOLD** または **RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK** のタイプのストレージ・プールに参照されます。タイプ **RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK** のストレージ・プールでは、装置クラスに指定されたすべてのディレクトリーが NetApp SnapLock WORM ボリューム上に存在している必要があります。

システムの処置: もし、IBM Spectrum Protect サーバー開始中あればサーバーは継続します。しかし、その装置クラスを言及しているストレージ・プールと装置クラスが適切に構成されるまでは、ストレージ・プールからの読み取り、対しての書き込みは失敗します。

ユーザーの処置: メッセージ ANR8502、ANR8383E、および ANR8388E の活動記録ログを検査してください。これらのメッセージが発行されている場合は、各メッセージの「ユーザーの処置」のセクションの指示に従い解決してください。

問題が解決されない場合は、**QUERY DEVCLASS** コマンドを **FORMAT=DETAILED** オプションつきで使用し、その装置クラスの特定のディレクトリーを入手します。ディレクトリーがすべて IBM Spectrum Protect サーバーで利用可能であること、つまりオンライン、読み取り/書き込みモードであり適切に構成されていることを確認します。

問題が解決しない場合、**RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK** ストレージ・プールに使用されている装置クラスの場合は、すべてのディレクトリーが NetApp SnapLock WORM ボリュームにあることを確認します。違う場合は、**UPDATE DEVCLASS** コマンドを使用して、装置クラスのディレクトリー構造を適切に更新します。

問題が解決されない場合は、**QUERY STGPOOL** コマンドを **FORMAT=DETAILED** オプションつきで使用し、どのストレージ・プールが装置クラスを指定しているか判別します。ストレージ・プールのタイプが **RECLAMATIONTYPE=THRESHOLD** または **RECLAMATIONTYPE=SNAPLOCK** が装置クラスを使用していることを確認します。両方のタイプのストレージ・プールが装置クラスを使用している場合は、ストレージ・プール定義を変更して、どちらか一方だけがその装置クラスを使用するようにします。同じディレクトリー構造を指定する両方のレクラメーション・タイプ

のストレージ・プールを希望する場合は、まず同じディレクトリー構造をもつ二つの装置クラスを作成します。次に 1 つのレクラメーション・タイプのストレージ・プールに 1 つの装置クラスを指定して、別のレクラメーション・タイプをもつストレージ・プールに別の装置クラスを指定します。

ストレージ・プールと装置クラスを更新し、しかもまだ問題が解決しない場合には、IBM Spectrum Protect サーバーを再起動します。

---

**ANR8390W** ボリューム *volume* を管理するためのライブラリー・クライアント *library client* への接続中に障害。

説明: ライブラリー・マネージャーは、指定されたボリュームの管理操作のために指定されたライブラリー・クライアントに接続することに失敗しました。

システムの処置: ライブラリー管理操作は失敗します。

ユーザーの処置: このライブラリー・クライアントおよびこのボリュームに関連する活動記録ログ内の他のメッセージを確認して、この障害でどの操作に影響があったかを判別してください。

---

**ANR8391E** 外部ライブラリー・マネージャー *file name* が見つかりません。ライブラリー *library name* は利用不能です。

説明: このライブラリー用にリストされた外部ライブラリー・マネージャーが見つかりませんでした。パスまたはファイル名が正しくありません。

システムの処置: ライブラリー管理操作は失敗します。

ユーザーの処置: 上記の外部ライブラリーのパスおよび名前を確認してください。その外部ライブラリーが正しい場合は、ファイルがシステム上に存在すること、およびファイル許可によりサーバーがファイルを起動できるようになっていることを確認してください。

---

**ANR8392E** 外部ライブラリー・マネージャー *file name* が実行可能な許可を持っていません。ライブラリー *library name* は利用不能です。

説明: このライブラリー用にリストされた外部ライブラリー・マネージャーが見つかりませんでした。パスまたはファイル名が正しくありません。

システムの処置: ライブラリー管理操作は失敗します。

ユーザーの処置: 上記の外部ライブラリーのパスおよび名前を確認してください。その外部ライブラリーが正しい場合は、ファイルがシステム上に存在すること、およびファイル許可によりサーバーがファイルを起動でき

るようになっていることを確認してください。

---

**ANR8393E** 外部ライブラリー *library name* にその定義された外部ライブラリー・マネージャー・パスを介して通信できませんでした。

説明: 外部ライブラリー・マネージャーの実行可能ファイルが開始しなかったか、即時に終了しました。

システムの処置: ライブラリー管理操作は失敗します。

ユーザーの処置: このライブラリーの外部ライブラリー・マネージャーのパスおよびファイル名を確認してください。その外部ライブラリーが正しい場合は、ファイルがシステム上に存在すること、およびファイル許可によりサーバーがファイルを起動できるようになっていることを確認してください。パスおよびファイル名は、QUERY PATH コマンドを使用して見つけることができます。

---

**ANR8394E** 装置クラス *device class name* のディレクトリー・パラメーターが長すぎます。

説明: 装置クラスの定義コマンドのディレクトリー・パラメーターが長すぎます。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な DIRECTORY パラメーターを指定してコマンドを再発行してください。ディレクトリー・パラメーターは 0 から 1400 文字でなければなりません。

---

**ANR8395E** *Command:* 指定されたパラメーターは、**ZosMedia** ライブラリーで定義された装置クラスのみに対して有効です。

説明: 装置クラスのライブラリー・パラメーターで **ZosMedia** ライブラリーが指定されている場合を除き、指定されたパラメーターは装置クラスには有効ではありません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターを用いてコマンドをやり直してください。

---

**ANR8396E** *Command:* ライブラリー *library name* は、所有するドライブのディスクカバーに対応していません。

説明: PERFORM LIBACTION コマンドは失敗しました。ライブラリーに所有ドライブのシリアル番号とエレメント番号を判別する SCSI 機能が欠落しているか、SAN ディスカバリーでシリアル番号をドライブの特殊ファイル名に変換できませんでした。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: SAN ディスカバリーの問題を訂正して、PERFORM LIBACTION コマンドを再発行してください。コマンドを処理できない場合、一度に 1 つのドライブに対して、このライブラリーのドライブおよびドライブ・パスの定義を手動で定義する必要があります。

---

**ANR8397E** ライブラリー名 (*library name*) は、デフォルトの **PREFIX** 値として使用するには長すぎます。明示的な **PREFIX** 値が必要です。

説明: **PREFIX** 値は、25 文字以下で指定する必要があります。 **PREFIX** 値が指定されていない場合、デフォルトでライブラリー名が使用されます。ただし、ライブラリー名が 25 文字より長い場合は、**PREFIX** パラメーターで使用できません。代わりに、**PREFIX** 値を明示的に指定する必要があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: PERFORM LIBACTION コマンドを再発行して、**PREFIX** パラメーターに 25 文字以下の値を指定してください。

---

**ANR8398E** **REMOVE=UNTILEEFULL** オプションは、ライブラリー・タイプ *library type* のライブラリー *library name* に対する **MOVE DRMEDIA** コマンドではサポートされていません。

説明: **MOVE DRMEDIA** コマンドは、このライブラリー・タイプに対する **REMOVE=UNTILEEFULL** オプションをサポートしません。

システムの処置: 操作に失敗します。

ユーザーの処置: このオプションは、ライブラリー・タイプ SCSI でのみサポートされます。

**REMOVE=UNTILEEFULL** オプションを削除して、操作を再実行してください。

---

**ANR8399E** **IBM Spectrum Protect** サーバーが、**ACSL**S サーバーから状況 *acsls status* を受信します。

説明: **ACSL**S CSI メディア・サーバーが、**IBM Spectrum Protect** サーバーからの応答を受信しません。

システムの処置: 操作に失敗します。

ユーザーの処置: これは通信問題です。ネットワーク・アダプターおよびそのドライバーの構成を調べてから、操作を再実行してください。

---

**ANR8400I** ライブラリー *library name* が定義されました。

説明: 指定されたライブラリーが正常に定義されました。

システムの処置: ライブラリーは定義され、データベースに記録されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8401E** *Command:* 無効なライブラリー名 *library name*。

説明: 指定されたライブラリー名は無効です。文字数が多すぎるか、または無効な文字が入っています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なライブラリー名を使用してコマンドをやり直してください。

---

**ANR8402E** *Command:* ライブラリー *library name* は既に定義されています。

説明: 指定されたライブラリーは、既に存在しているので、定義することができません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 追加のライブラリーを定義したい場合には、別のライブラリー名でコマンドを出し直してください。

---

**ANR8403E** *Command:* この操作は *library type* ライブラリーに対しては使用できません。

説明: 要求された操作は、与えられたタイプのライブラリーに対しては許されません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8404I** ドライブ *Drive name* がライブラリー *library name* で定義されました。

説明: 指定されたドライブは、指定されたライブラリーのメンバーとして正常に定義されました。

システムの処置: ドライブは定義され、データベースに記録されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

---

**ANR8405E** *Command:* 無効なドライブ名 *drive name*。

説明: 指定されたドライブ名は無効です。文字数が多すぎるか、または無効な文字が入っています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なドライブ名を使用してコマンドをやり直してください。

---

**ANR8406E** *Command:* ドライブ *drive name* は既にライブラリー *library name* で定義されています。

説明: 指定されたドライブは、指定されたライブラリーに対して既に定義されているので、定義することができません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 追加のドライブを定義したい場合には、別のドライブ名でコマンドを出し直してください。

---

**ANR8407E** *Command:* このコマンドには **MODEL** パラメーターが必要です。

説明: **MODEL** パラメーターが指定されていません。このパラメーターは必須です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **MODEL** パラメーターを使用してコマンドをやり直してください。

---

**ANR8408E** *Command:* このコマンドには **DEVICE** パラメーターが必要です。

説明: **DEVICE** パラメーターが指定されていません。このパラメーターは必須です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **DEVICE** パラメーターを使用してコマンドをやり直してください。

---

**ANR8409E** *Command:* ライブラリー *library name* は定義されていません。

説明: 指定されたライブラリーは定義されていません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のライブラリー名を使用してコマンドをやり直すか、またはライブラリーを定義してからコマンドをやり直してください。

---

---

**ANR8410I** ライブラリー *library name* が削除されました。

説明: 指定されたライブラリーは正常に削除されました。

システムの処置: ライブラリーは削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8411E** *Command:* ライブラリー *library name* には、まだ 1 つ以上のドライブが定義されています。

説明: 指定されたライブラリーに定義されているドライブがあるため、コマンドは失敗しました。 DELETE LIBRARY および PERFORM LIBACTION (ACTION=DEFINE) コマンドでは、指定されたライブラリーに、現時点でライブラリー内で定義されているドライブがあってはなりません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ライブラリーからすべてのドライブを削除して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8412I** ドライブ *drive name* がライブラリー *library name* から削除されました。

説明: 指定されたドライブは、指定されたライブラリーから正常に削除されました。

システムの処置: ドライブは削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8413E** *Command:* ドライブ *drive name* は現在使用中です。

説明: 指定されたドライブは、現在使用中であるので、削除することも更新することもできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ドライブがもはや使用中でなくなるまで待機して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8414E** *Command:* ドライブ *drive name* はライブラリー *library name* に定義されていません。

説明: 指定されたドライブは与えられたライブラリーに定義されていません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のドライブ名を使用してコマンドをやり直してください。該当する場合には、ドライブを定義してからコマンドをやり直してください。

---

**ANR8415E** *Command:* このコマンドには *parameter* パラメーターが必要です。

説明: 与えられたコマンドを処理する時には、指定されたパラメーターが必要です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、必要なパラメーター値を指定してください。

---

**ANR8416E** *Command:* *parameter* パラメーターはライブラリー・タイプ *library type* には無効です。

説明: 指定されたパラメーターは、指定のタイプのライブラリーに対しては無効です。 349x ライブラリーの場合は、スクラッチ・カテゴリーは専用カテゴリーより少なくとも 2 だけ小さくしなければなりません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターのみを使用して、コマンドをやり直してください。スクラッチ・カテゴリーを使用する場合には、それが専用カテゴリーより少なくとも 2 だけ小さいことを確認してください。

---

**ANR8417E** *Command:* *parameter* パラメーターは *library type* ライブラリーのドライブには無効です。

説明: 与えられたタイプのライブラリーにあるドライブを定義または更新する時には、指定されたパラメーターを使用することはできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターのみを使用して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8418E** *Command:* ライブラリー *library name* のアクセス中に、入出力エラーが起きました。

説明: 指定されたライブラリーへのアクセス中に、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーと関連づけられている DEVICE パラメーターが DEFINE PATH コマンドで正しく識別されていること、およびライブラリーが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。ライブラリーにアクセス・ドアがある場合には、それがクローズされていることを確認します。潜在的なこれらの問題を検査し訂正してから、操作をやり直してください。

---

**ANR8419E** *Command:* ドライブまたはエレメントがライブラリー *library name* の既存ドライブと対立しています。

説明: ライブラリーにもう物理ドライブがないか、または指定された ELEMENT パラメーターが、与えられたライブラリーにある既存の定義済みドライブと対立しています。このエラーが DB のリストア操作中に発生した場合は、物理磁気テープ装置の環境または構成が変更されています。オリジナルの磁気テープ装置が削除されたか、またはオフライン状態です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ライブラリー中の他のどのドライブも使用していない、有効な ELEMENT パラメーターを指定してください。このエラーが DB のリストア操作中に発生した場合は、物理装置構成を確認してください。devconf.dat ファイル内での装置の定義が、物理装置構成と一致しているか確認してください。

---

**ANR8420E** *Command:* ドライブ *drive name* のアクセス中に、入出力エラーが起きました。

説明: 指定されたドライブへのアクセス中に、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ドライブと関連づけられている DEVICE パラメーターが DEFINE PATH コマンドで正しく識別されていること、およびドライブが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。これらの潜在的な問題を検査および訂正してから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8421E** *Command:* このコマンドのプロセスを開始することができません。

説明: サーバーが、指定されたコマンドを実行するバックグラウンド・プロセスを開始できません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: メモリー不足や他のサーバー資源制約を検査して訂正してから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8422I** *Command:* ライブラリー *library name* の操作がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 与えられたライブラリーへのボリュームの挿入を処理するために、ボリューム・チェックイン処理が開始されました。このプロセスには、メッセージに示されている ID が割り当てられました。

システムの処置: サーバーは、管理者が入力した CHECKIN LIBVOLUME コマンドに応じて操作を実行する、バックグラウンド・プロセスを開始します。

ユーザーの処置: プロセスの状況を知るためには、QUERY PROCESS コマンドを出してください。このプロセスは CANCEL PROCESS コマンドで取り消すことができます。

---

**ANR8423I** ライブラリー *library name* の CHECKIN LIBVOLUME プロセスが取り消されました。

説明: 与えられたライブラリーの 1 つ以上のボリュームをチェックインするよう、作業していたバックグラウンド・サーバー・プロセスは、CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されます。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8424I** ライブラリー *library name* でボリューム *volume name* をチェックイン中です。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージには、サーバー上における CHECKIN LIBVOLUME プロセスの状況が表示されます。示されたボリュームは、指定されたライブラリーにチェックインされています。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスの操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR8425I** ライブラリー *library name* で検索モードでボリュームをチェックイン中。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージには、サーバー上における CHECKIN LIBVOLUME プロセスの状況が表示されます。ボリュームは、前に不明のボリュームの探索を使用して、自動的に与えられたライブラリーにチェックインされています。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスの操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。



---

**ANR8426E** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の **CHECKIN LIBVOLUME** が失敗しました。

説明: CHECKIN LIBVOLUME コマンドに対するバックグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了しますが、ボリュームはライブラリーにチェックインされていません。

ユーザーの処置: このコマンドと関連づけられているライブラリーおよびドライブ装置がパワー・オンで、作動可能になっていることを確かめてから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8427I** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の **CHECKIN LIBVOLUME** が正常に完了しました。

説明: CHECKIN LIBVOLUME または LABEL LIBVOLUME コマンドの処理中に、指定されたボリュームがライブラリーに正常にチェックインされました。

システムの処置: ボリュームは、与えられたライブラリーにマウント可能となります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8428E** *Command:* このコマンドには **STATUS** パラメーターが必要です。

説明: 与えられたコマンドには STATUS パラメーターが必要です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、有効な STATUS パラメーター値を指定してください。

---

**ANR8429E** *Command:* ライブラリー *library name* には、現在ドライブは定義されていません。

説明: 与えられたライブラリーに少なくとも 1 つのドライブが定義されるまでは、コマンドを出すことができません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: DEFINE DRIVE コマンドを使用してライブラリーにドライブを定義するだけでなく、DEFINE PATH コマンドを使用してドライブへのパスも定義してください。次に、失敗したコマンドを再試行します。

---

**ANR8430I** ボリューム *volume name* がライブラリー *library name* にチェックインされました。

説明: 探索モードの CHECKIN LIBVOLUME プロセスが与えられたボリュームを見つけ、それを自動的にライブラリーにチェックインしました。

システムの処置: ボリュームは与えられたライブラリーのインベントリーに追加されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8431I** ライブラリー *library name* の **CHECKIN LIBVOLUME** プロセスが完了しました。  
*volume count* ボリュームが見つかりました。

説明: 探索モードの CHECKIN LIBVOLUME プロセスが完了しました。指定された数のボリュームが、正常にライブラリーのインベントリーに追加されました。

システムの処置: ボリュームはサーバーが使用可能となります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8432E** *Command:* ライブラリー *library name* には既にボリューム *volume name* が存在しています。

説明: 指定されたボリュームは、既に存在しているので、与えられたライブラリーにチェックインすることができません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 与えられたライブラリーに既に存在しているボリューム以外の、ボリュームの名前を指定してください。QUERY LIBVOLUME コマンドを使用して、既にライブラリーにチェックインされているボリュームの完全なリストを取得してください。

---

**ANR8433E** *Command:* ライブラリー *library name* にはボリューム *volume name* は存在していません。

説明: このボリュームはライブラリーにないため、アクセスできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ライブラリーに含まれているボリュームの名前を指定してください。ライブラリーに存在しているボリュームの完全なリストを得るためには、QUERY LIBVOLUME コマンドを使用してください。AUDIT LIBVOLUME コマンドを使用している場合、ボリュームは別の操作に使用されている可能性があります。

す。そうでない場合、ボリュームはライブラリー内に存在していません。

---

**ANR8434I**    *Command:* ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の操作がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 与えられたライブラリーからのボリュームの除去を処理するために、ボリューム・チェックアウト・プロセスが開始されました。このプロセスには、メッセージに示されている ID が割り当てられました。

システムの処置: サーバーは、管理者が入力した CHECKOUT LIBVOLUME コマンドに応じて、操作を実行するバックグラウンド・プロセスを開始します。

ユーザーの処置: プロセスの状況を知るためには、QUERY PROCESS コマンドを出してください。このプロセスは CANCEL PROCESS コマンドで取り消すことができます。

---

**ANR8435I**    ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の **CHECKOUT LIBVOLUME** が取り消されました。

説明: 与えられたライブラリーからボリュームをチェックアウトするために、作業していたバックグラウンド・サーバー・プロセスは、CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されます。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8436I**    ボリューム *volume name* をライブラリー *library name* をチェックアウト中です。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージには、サーバー上における CHECKOUT LIBVOLUME プロセスの状況が表示されます。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスの操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR8437E**    ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の **CHECKOUT LIBVOLUME** が失敗しました。

説明: CHECKOUT LIBVOLUME コマンドのバックグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了し

ますが、ボリュームはライブラリーからチェックアウトされていません。

ユーザーの処置: このコマンドと関連づけられているライブラリーおよびドライブ装置がパワー・オンで、作動可能になっていることを確かめてから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8438I**    ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の **CHECKOUT LIBVOLUME** が正常に完了しました。

説明: CHECKOUT LIBVOLUME コマンドのバックグラウンド・プロセスが正常に完了しました。

システムの処置: ボリュームは、ライブラリーのインベントリーから削除されるか (状況が DATA 以外の場合)、または非存在とマークされます (状況が DATA の場合)。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8439I**    *library type* ライブラリー *library name* は操作可能になっています。

説明: 与えられたライブラリーに対する初期化プロセスは正常に完了したので、ライブラリーをいつでも使用することができます。

システムの処置: ライブラリーは使用可能状態になります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8440E**    *library type* ライブラリー *library name* の初期化に失敗しました。*delay time* 分後に再試行されます。

説明: 指定のライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われませんでした。指定された時間が経過すると、自動的に再試行されます。

システムの処置: 初期化は後で再試行されます。

ユーザーの処置: ライブラリー装置がパワーオンになっていて、作動可能であることを確認してください。ライブラリーにアクセス・ドアがある場合には、それがクローズの位置にあるかどうか確かめてください。

---

**ANR8441E**    *library type* ライブラリー *library name* の初期化に失敗しました。

説明: 与えられたライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われず、次回にサーバーがライブラリーへのアクセスを必要になる時まで再試行されません。

システムの処置: ライブラリーは一時的に使用不可能になります。

ユーザーの処置: ライブラリーの電源がオンで、接続されていることを確認してください。

---

**ANR8442E** *Command:* ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* は現在使用中です。

説明: 指定されたボリュームは既に別の操作で使用中であるので、コマンドを処理できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 対立するボリューム活動が完了するまで待ってから、コマンドをやり直してください。ボリュームが現在マウントされていてアイドル状態である場合には、DISMOUNT VOLUME コマンドを用いてボリュームを取り外してから、この操作をやり直すことができます。

---

**ANR8443E** *Command:* ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* に **SCRATCH** の状況を割り当ててはできません。

説明: ボリュームはライブラリーのスクラッチ・プールに割り当てできません。理由は、ストレージ・プール・ボリュームまたはボリュームがこのボリューム名でログ・ファイルにあるためです。このようなボリュームには、まだ有効なデータが入っている可能性があります。ライブラリーのスクラッチ・プールにボリュームを割り当てると、ボリュームのデータがリストアできないよう、上書きされる可能性があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ボリュームに **PRIVATE** の状況が割り当てられるように指定して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8444E** 現在、*Command:* ライブラリー *library name* は使用不可能です。

説明: 指定されたライブラリーは入出力操作に使用できないので、要求された操作を完了することはできません。ライブラリーはまだ、初期化操作を実行中である可能性があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ライブラリー初期化が完了するか、またはライブラリーが使用可能になるまで、待機してください。

---

**ANR8445I** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* が更新されました。

説明: 指定されたライブラリー・ボリュームは正常に更新されました。

システムの処置: ライブラリー・ボリューム・インベントリが更新されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8446W** ライブラリー *library name* には手操作介入が必要です。

説明: 指定されたライブラリーには手操作介入が必要です。

システムの処置: 現在のライブラリー活動は、必要な介入が行われるまで、延期されます。

ユーザーの処置: ライブラリーにアクセス・ドアがある場合には、それがクローズの位置にあるかどうか確かめてください。カートリッジ・カラーセルがある場合は、カラーセルが取り付けられていることを確かめてください。サーバーは、該当するアクションが行われた時点を自動的に検出してから、その操作を続行します。

---

**ANR8447E** 現在、ライブラリー *library name* に使用可能なドライブはありません。

説明: 使用可能なドライブがないので、試行された操作は、指定されたライブラリーで完了できません。サーバー以外のアプリケーションがドライバーを開いている可能性があるため、ドライブは使用不可能な場合があります。また、このメッセージは、CHECKIN または LABEL コマンドが出され、ドライブが操作のサービスに使用可能でない場合にも、出されることがあります。これは、すべてのドライブが他のプロセスまたはセッションによってマウントされているか、装置タイプが誤って指定されたためです。

システムの処置: 実行しようとした操作は終了します。

ユーザーの処置: QUERY DRIVE コマンドを使用して、ドライブのオンライン状況を調べてください。

「hh:mm yy/mm/dd 以後使用不可」とマークされているドライブは、ハードウェア障害またはドライブをオープンできないために、指定された時点でサーバーによってオフラインにされたドライブです。実行しようとした操作が CHECKIN または LABEL コマンドの場合には、QUERY MOUNT コマンドを使用して、ライブラリー内のすべてのドライブがマウントされているかどうかを判別し、その 1 つが使用可能になるまで待機してください。IDLE 状況のマウント済みボリュームがある場合には、DISMOUNT VOLUME コマンドを使用し

て、そのドライブを解放し、元の操作をやり直してください。

---

**ANR8448E** ライブラリー *library name* からのスクラッチ・ボリューム *volume name* が拒否されました - このボリューム名は既使用中です。

説明: スクラッチ・マウントを満たすために指示されたボリュームが使用されましたが、このボリュームはストレージ・プールに既に定義されているか、あるいはサーバー・ボリューム・ヒストリー・ファイルに記録されているようにサーバー・エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ情報を保管するのに使用されます。

システムの処置: このボリュームは受け入れられません。

ユーザーの処置: 使用されていないボリュームを使用するか、リジェクトされたボリュームをチェックアウトし、ラベルを付け直してこのプロセスで新しい名前を割り当てるか、あるいは名前の競合の原因となった既存のボリュームを削除してください。

---

**ANR8449E** スクラッチ・ボリューム *volume name* が拒否されました - このボリューム名は既使用中です。

説明: スクラッチ・マウントを満たすために指示されたボリュームが使用されましたが、このボリュームはストレージ・プールに既に定義されているか、あるいはサーバー・ボリューム・ヒストリー・ファイルに記録されているようにサーバー・エクスポート、データベース・ダンプ、またはデータベース・バックアップ情報を保管するのに使用されます。

システムの処置: このボリュームは受け入れられません。

ユーザーの処置: 使用されていないボリュームを使用するか、リジェクトされたボリュームの名前を変更するか、あるいは名前の競合の原因となった既存のボリュームを削除してください。

---

**ANR8450E** 現在、*Command:* ライブラリー *library name* は使用中です。

説明: 指定されたライブラリーは、現在入出力操作で使用中であるので、削除することも更新することもできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ライブラリーがもはや使用中でなくなるまで待つてから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8451I** **349X** ライブラリー *library name* は操作可能になっています。

説明: 与えられたライブラリーに対する初期化プロセスは正常に完了したので、ライブラリーをいつでも使用することができます。

システムの処置: ライブラリーは使用可能状態になります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8452E** **349X** ライブラリー *library name* の初期化が失敗しました。 *delay time* 分後にやり直されます。

説明: 指定のライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われませんでした。 指定された時間が経過すると、自動的に再試行されます。

システムの処置: 初期化は後で再試行されます。

ユーザーの処置: ライブラリー装置がパワーオンになっていて、作動可能であることを確認してください。

---

**ANR8453E** **349X** ライブラリー *library name* の初期化が失敗しました。

説明: 与えられたライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われず、次回にサーバーがライブラリーへのアクセスを必要になる時まで再試行されません。

システムの処置: ライブラリーは一時的に使用不可能になります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8454E** **349X** ライブラリー *library name* で外部ラベル (*volume name from external label*) とメディア・ラベル (*volume name from media label*) との間に不一致が検出されました。

説明: 指定されたライブラリーにあるボリュームの外部ラベルが、そのメディア・ラベルと異なることが分かりました。

システムの処置: ボリュームはアクセスされません。

ユーザーの処置: ライブラリーからボリュームを取り外して、それに正しくラベルが付けられるようにしてください。

---

**ANR8455E** ライブラリー *library name* の監査時に、ボリューム *volume name* が見つかりません。 ボリュームはライブラリー・インベントリーから除去されています。

説明: 与えられたライブラリーに対して AUDIT LIBRARY コマンドを処理している時には、サーバーは与えられたボリュームをそのライブラリーで見つけることはできません。

システムの処置: ボリュームはライブラリー・インベントリから除去されます。

ユーザーの処置: ボリュームが必要な場合には、CHECKIN LIBVOLUME コマンドを使用して、ボリュームを見つけてライブラリーにチェックインしてください。

---

**ANR8456E** ライブラリー *library name* の監査時に、名前 *volume name* のボリュームが複数見つかりました。

説明: 与えられたライブラリーに対して AUDIT LIBRARY コマンドを処理している時に、同じ名前をもつ物理ボリュームが複数見つかりました。

システムの処置: ボリュームの最初のインスタンスがサーバー・インベントリに保存され、他のインスタンスはすべて無視されます。

ユーザーの処置: ボリュームの冗長インスタンスをライブラリーからすべて除去してください。サーバーが保存したボリュームが正しくないボリュームであると分かった場合は、CHECKOUT LIBVOLUME コマンドを用いてそれをチェックアウトすることができます。その後で、CHECKIN LIBVOLUME コマンドを用いて、正しいインスタンスをライブラリーにチェックインすることができます。

---

**ANR8457I** Command: ライブラリー *library name* の操作がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 与えられたライブラリーに対してライブラリー監査処理が開始されました。このプロセスには、メッセージに示されている ID が割り当てられました。

システムの処置: サーバーは、管理者が入力した AUDIT LIBRARY コマンドに応じて操作を実行する、バックグラウンド・プロセスを開始します。

ユーザーの処置: プロセスの状況を知るためには、QUERY PROCESS コマンドを出してください。このプロセスは CANCEL PROCESS コマンドで取り消すことができます。

---

**ANR8458I** ライブラリー *library name* の AUDIT LIBRARY プロセスが取り消されました。

説明: 与えられたライブラリーを監査するために働いて

いたバックグラウンド・サーバー・プロセスは、CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されます。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8459I** ライブラリー *library name* のボリューム・インベントリを監査中です。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージには、サーバー上における AUDIT LIBRARY プロセスの状況が表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR8460E** ライブラリー *library name* の AUDIT LIBRARY プロセスが失敗しました。

説明: AUDIT LIBRARY コマンドにより開始されたバックグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: システム操作は続行しますが、バックグラウンド・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。1. アクティビティー・ログを参照して、監査プロセス中に他のエラーや警告が出されていないかどうかを判別します。エラーがあれば解決します。2. テープ・ライブラリーと磁気テープ装置の電源がオンであり、使用可能になっていることを確認します。3. 磁気テープ装置に関連付けられたパスがオンラインであることを確認します。4. 磁気テープ装置のファイル名が変更されている場合、SANDISCOVERY サーバー・オプションが ON に設定されていることを確認します。5. AUDIT LIBRARY コマンドを再発行します。

---

**ANR8461I** ライブラリー *library name* の AUDIT LIBRARY プロセスが、正常に完了しました。

説明: AUDIT LIBRARY のバックグラウンド・プロセスは正常に完了しました。

システムの処置: 監査操作中に見つかったライブラリーの内容と一致するように、ライブラリー・インベントリが更新されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8462I** *device type* ボリューム *volume name* のサ  
イドの終わりになりました。

説明: サーバーは、与えられた 2 面ボリュームについ  
て、面終わり条件を検出しました。

システムの処置: サーバーはボリュームの第 2 面にア  
クセスします。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8463E** *Device type* ボリューム *volume name*  
は、書き込み保護されています。

説明: サーバーは、指定されたボリュームに書き込み保  
護条件を検出しました。

システムの処置: サーバーはそのボリュームを取り外  
し、別のボリュームで処理を続行します。

ユーザーの処置: 書き込みが許可されるように、ボリ  
ューム上の書き込み保護スイッチを調整してください。  
ボリューム上の書き込み保護スイッチによって書き込み  
が許可される場合、ドライブの装置特殊ファイルに、  
dsmserv プロセスを開始しているユーザーに対するオペ  
レーティング・システム層での適切な読み取りおよび書  
き込みの許可があることを確認してください。このボ  
リュームが光ディスク・ボリュームで、既に書き込み保  
護スイッチが書き込みできるよう、セットされている場  
合には、MOVE DATA コマンドを使用して、ボリ  
ュームからデータを移動してください。再書き込み可能ボ  
リュームは、データは別のボリュームに移動された後で  
再フォーマットされて再利用されます。

---

**ANR8464E** *command:* ライブラリーに対して更新要求  
が無効です。 *library name*。

説明: 与えられたライブラリーに対して無効な更新要求  
が出されました。これは、新しい装置名が指定され、  
その装置の特性が元の装置の特性と一致しない場合に起  
こることがあります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 異なるタイプのライブラリー装置がイ  
ンストールされている場合には、DELETE LIBRARY コ  
マンドを用いて古いライブラリー定義を削除してから、  
新しいライブラリーを定義しなければなりません。こ  
の場合には、UPDATE LIBRARY コマンドを使用する  
ことはできません。

---

**ANR8465I** ライブラリー *library name* が更新されま  
した。

説明: 与えられたライブラリーに対して UPDATE  
LIBRARY 要求が正常に処理されました。

システムの処置: サーバーはライブラリーに関するその  
情報を更新します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8466E** *command:* ドライブに対して更新要求が無  
効です。 *drive name*, ライブラリー *library*  
*name*。

説明: 与えられたドライブに対して無効な更新要求が出  
されました。これは、新しい装置名が指定され、その  
装置の特性が元の装置の特性と一致しない場合に起こる  
ことがあります。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 異なるタイプのドライブがインストー  
ルされている場合には、DELETE DRIVE 操作を用いて  
古いドライブ定義を削除してから、新しいドライブを定  
義しなければなりません。この場合には、UPDATE  
DRIVE コマンドを使用することはできません。

---

**ANR8467I** ライブラリー *library name* のドライブ  
*drive name* が更新されました。

説明: 与えられたドライブに対して UPDATE DRIVE  
要求が正常に処理されました。

システムの処置: サーバーはドライブに関するその情報  
を更新します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8468I** ライブラリー *library name* のドライブ  
*drive name* から *device type* ボリューム  
*volume name* が取り外されました。

説明: 与えられたドライブから指定されたボリュームが  
取り外されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 与えられたライブラリーのタイプが  
MANUAL である場合には、オペレーターが、ドライブ  
からボリューム (既に排出されているボリューム) を取  
り外すことを選択して、そのボリュームを適切な場所に  
保管することができます。自動化ライブラリーの場合  
には、このメッセージは純粋に通知用です。

---

**ANR8469E** ライブラリー *library name* のドライブ  
*drive name* からの *device type* ボリューム  
*volume name* の取り外しが失敗しまし  
た。

説明: 指定されたボリュームを取り外そうとしました  
が、入出力エラーのためにできませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 与えられたライブラリーのタイプが MANUAL である場合には、ボリュームを手操作で排出して、ドライブから取り外すことができます。自動ライブラリーの場合には、問題の訂正に手操作介入が必要なことがあります。

---

**ANR8470W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* で初期化障害。

説明: 指定されたドライブはこの時点では初期化できませんでした。

システムの処置: 指定されたライブラリーの初期化が続行されます。

ユーザーの処置: 指定されたドライブとそのパスの内部検証が失敗しました。ローカル・サーバーに対するドライブのパス定義が正しいことを確認してください。指定されたドライブに関する情報がないか、以前のメッセージをすべて調べてください。必要に応じて、ローカル・サーバーから指定ドライブへのパスを削除し、再定義してください。パスを再定義した後、または関連したエラー・メッセージで報告された問題を修正した後、指定されたドライブのマウントを次に試行するときにドライブの初期化が再試行されます。

---

**ANR8471E** サーバーは、ライブラリー *library name* 中のドライブ *drive name* をもうポーリングしていません - パス *path* はオフラインとマークされます。

説明: サーバーは、指定されたパスを介して示されたドライブを使用できません。これは、次が原因と考えられます。

- ドライブをオープンすることができません。
- 3494 または区分可能なライブラリーの場合には、ドライブが、ライブラリー管理機能で使えない、別のアプリケーションが使用している、あるいはサーバー使用とラベル付けされていないカートリッジでロードされている可能性があります。

システムの処置: ドライブへのパスがオフラインであり、テープ操作に使用されていません。

ユーザーの処置: システム・ログに報告されたハードウェア・エラーなど、ドライブへのパスがアクセス不能になった理由を調べてください。ハードウェアに対して必要な訂正があれば、これを実行してください。次に、ONLINE=YES オプションを指定した UPDATE PATH コマンドを出すことによって、このパスをオンラインにすることができます。

---

**ANR8472I** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のボリュームのラベルを読み取り中にエラー。

説明: 指定されたライブラリーに対して探索モードの CHECKIN LIBVOLUME コマンドを処理している時に、サーバーが、ラベルを読み取れないボリュームを見つけました。

システムの処置: ボリュームは取り外され、ライブラリーにチェックインされません。

ユーザーの処置: ライブラリーからボリュームを取り外して、それに正しくラベルが付けられるようにしてください。そうした後で、ボリュームをライブラリーにチェックインすることができます。

---

**ANR8473I** ライブラリー *library name* 内のストレージ・エレメント *slot element address* にボリューム *volume name* が見つかりました。これは、まだドライブに入っている可能性があります。

説明: クリーナー・カートリッジのストレージ・スロットに指定されたボリュームが見つかりました。これがクリーニング用にドライブに挿入されると、IBM Spectrum Protect は、クリーナー・カートリッジでないと判断します。IBM Spectrum Protect は、カートリッジをクリーナー・カートリッジのストレージ・スロットに戻そうとしている時にエラーを検出しました。ボリュームがストレージ・プール・ボリュームである場合には、IBM Spectrum Protect は、既にそれを使用不可能にしようとしています。QUERY VOLUME F=D コマンドの出力でストレージ・プール・ボリュームを検討してください。QUERY VOLHISTORY コマンドの出力で非ストレージ・プール・ボリュームを検討してください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 他のすべてのクリーナー・カートリッジが正しいストレージ・スロットにあるかを検査してください。QUERY LIBVOLUME コマンドを出して、現在 IBM Spectrum Protect にチェックインされているすべてのカートリッジのストレージ・スロットを獲得してください。ANR8911W メッセージで識別されたストレージ・スロット内のカートリッジを取り外してください。ドライブから指定されたボリュームを取り外してください。ライブラリーに対して AUDIT LIBRARY コマンドを出してください。

---

**ANR8474E** Command: 1 つ以上のパスがまだライブラリー *library name* に定義されています。

説明: 指定されたライブラリーは、まだそれに定義されたパスがあるので削除できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: このライブラリーへのすべてのパスを削除して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8475I** ボリューム *volume name* の取り外しが失敗しました。これは、まだドライブに入っている可能性があります。

説明: 指定されたボリュームは、取り外せませんでした。IBM Spectrum Protect は、ボリュームを取り外そうとしている時にエラーを検出しました。ボリュームがストレージ・プール・ボリュームである場合には、IBM Spectrum Protect は、既にそれを使用不可能にしようとしています。QUERY VOLUME F=D コマンドの出力でストレージ・プール・ボリュームを検討してください。QUERY VOLHISTORY コマンドの出力で非ストレージ・プール・ボリュームを検討してください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 活動記録ログのメッセージ

ANR8469E を検討してください。ボリュームがまだドライブに取り付けられているかを確認してください。ボリュームがドライブにない場合には、ライブラリー内のボリュームがある場所を判別してください。

---

**ANR8476E** ライブラリー *library name* のライブラリー・タイプでは操作がサポートされていません。

説明: ライブラリーのライブラリー・タイプで操作がサポートされていないので、操作は実行されませんでした。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 操作を実行するには、MANUAL などの異なるライブラリー・タイプを使用してください。

---

**ANR8477E** ドライブ *drive name* に対して装置タイプ *device type* が正しくありません。

説明: ライブラリー・クライアント上の指定されたドライブの装置タイプがライブラリー・マネージャー上の同じドライブの装置タイプと互換性がありません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリー・クライアント上のドライブ定義を削除して、正しい装置を指定してドライブを再定義してください。これで問題が解決しない場合に

は、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR8478W** ライブラリー *library name*、ボリューム *volume name*、スロット *slot number* のインベントリーのホーム・スロット・アドレスが無効です。

説明: ライブラリー・インベントリーの指定されたボリュームのホーム・スロットがデータベース・インベントリーに一致しません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 指定のライブラリーに対して 'audit library' を実行してください。

---

**ANR8479W** ライブラリー *library name* のスロット・エレメント *slot-element* の監査ができません。

説明: ライブラリー監査処理は、指定したエレメント・アドレスを持つストレージ・スロットを監査できませんでした。これは、カートリッジをロードすることができないドライブ装置がないときによく起こります。また、監査処理中に発生するライブラリーやドライブ入出力エラーが原因でも起こることがあります。

システムの処置: AUDIT LIBRARY コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーにあるすべてのカートリッジ・タイプに対して、メディアを読み取ることが出来るドライブが少なくとも 1 つ定義されていることと、ドライブがオンラインで正しく作動していることを確認してください。ハードウェア障害に関する入出力エラーを活動記録ログを検査して修復してください。

---

**ANR8480E** ドライブ *Drive Name* は、ライブラリー *Library Name* には検出されませんでした。

説明: 現在の操作を正常に実行するためには、欠落しているドライブを定義することが必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 指定されたドライブが定義されていることを確認してください。マクロが使用されているときは、DEFINE DRIVE の後に COMMIT コマンドを実行する必要があります。そうでなければ、サーバー内部エラーを示す場合もあります。



---

**ANR8481I** ライブラリー *library name* に対して、既に **AUDIT LIBRARY** 操作のマウント・アクティビティが保留されています。

説明: タイプ SHARED のライブラリーでは、1 つの AUDIT LIBRARY 操作だけがマウント・アクティビティを待機できます。その後の AUDIT LIBRARY 操作はすべて取り消されます。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8482E** チェックアウト・ボリューム *volume name* はライブラリー *library name* の出入り口ポートが満杯のため失敗しました。出入り口ポートからボリュームを外し、コマンドを再発行してください。

説明: 指定されたライブラリーの出入り口ポートが満杯のため、操作は失敗しました。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 出入り口ポートからボリュームを外し、コマンドを再発行して残りの有効なボリュームを処理してください。

---

**ANR8483W** ライブラリー *library name* の装置クラスが見つかりません。

説明: ライブラリー・クライアントは、SHARED タイプのライブラリーを監査しますが、そのライブラリーについて装置クラスが定義されていません。

システムの処置: AUDIT LIBRARY コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーの装置クラスを、DEFINE DEVCLASS コマンドを使用して定義するか、または UPDATE DEVCLASS コマンドを使用して更新してください。

---

**ANR8484E** ライブラリー *LIBRARY NAME* 内にフォーマット *FORMAT* を持つ *MODE* モードでのマウントに対応できるドライブがありません。

説明: 試行された操作は、指定されたライブラリーで完了できません。指定されたフォーマットを持つ対応可能なドライブがないか、またはボリュームのアクセス・モードが間違っています。別のアプリケーションがドライブを開いているため、そのドライブは使用できません。このメッセージは、CHECKIN または LABEL コマンドが出され、ドライブが操作のサービスに使用可能

でない場合にも、出されることがあります。これは、すべてのドライブが他のプロセスまたはセッションによってマウントされるか、または無効な装置タイプが指定されたためです。

システムの処置: 試行された操作は終了します。

ユーザーの処置: QUERY DRIVE コマンドを使用して、ドライブのオンライン状況を調べてください。

「hh:mm yy/mm/dd 以後使用不可」とマークされているドライブは、ハードウェア障害またはドライブをオープンできないために、指定された時点でサーバーによってオフラインにされたドライブです。QUERY MOUNT コマンドを使用して、マウント済みのドライブとそれぞれのマウント・モードを照会してください。IDLE 状況のマウント済みボリュームがある場合には、DISMOUNT VOLUME コマンドを使用してドライブを解放し、元の操作を再試行してください。

---

**ANR8485E** SCSI 装置 *drive name*、エラー・コード *=error value set by server* をオープンできません。

説明: 示された SCSI 装置は、サーバーによってオープンできません。エラー・コードは、IBM Spectrum Protect によって提供されます。これは、この装置がオープン・システムの機能呼び出しに応答しないことを示しています。これは、存在しない装置、電源オフにした装置、またはファームウェア/ハードウェアの障害を持つ装置から発生することがあります。

システムの処置: このドライブの必要なトランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: 装置がオンラインになっており、ホスト・システムに接続されていることを確認してください。装置が取り外されても、電源オフにもなっていない場合、電源をオフにしてからすぐにオンにしてこの装置を再初期化し、この装置が正常な状態にあることを確認してください。この装置がまだ正常な状態にない場合は、装置のベンダー・サポートに連絡して問題を修正してください。

---

**ANR8486I** 装置クラス *Device class name* 内のマウント・ポイントは予約されています -- 所有サーバー: *owner name*、状況: **RESERVED** (セッション: *session ID*、プロセス: *process number*)。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられた装置クラス内で将来の入出力操作用に予約されているマウント・ポイントがあることを示しています。セッションとプロセスの値は、このマウント・ポイントを所有するサーバーに関連しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8487I** 装置クラス *Device class name* 内のマウント・ポイントはボリュームのマウントの完了を待機しています -- 所有サーバー: *owner name*、状況: **WAITING FOR VOLUME** (セッション: *session ID*、プロセス: *process number*)。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、ボリューム・マウントの完了を待機している与えられた装置クラス内にマウント・ポイントがあることを示しています。セッションとプロセスの値は、このマウント・ポイントを所有するサーバーに関連しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8488I** *Device type* のボリューム *volume name* はドライブ *drive name* に (*mount mode*) でマウントされています -- 所有サーバー: *owner name*、状況: **IN USE** (セッション: *session ID*、プロセス: *process number*)。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答でサーバーは、与えられたボリュームが、指定されたドライブにマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在使用中です。これは、読み取り操作または書き込み操作 (あるいはその両方) が実行中であることを意味します。セッションとプロセスの値は、このマウント・ポイントを所有するサーバーに関連しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8489I** *Device type* のボリューム *volume name* はドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています -- 所有サーバー: *owner name*、状況: **IDLE** (セッション: *session ID*、プロセス: *process number*)。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答でサーバーは、与えられたボリュームが、指定されたドライブにマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在アイドル状態になっています。これは、実行中の活動操作がないことを意味します。このボリュームが、装置クラス・マウント保存期間で指定された時間の間、アイドル状態のままである場合には、自動的に取り外されます。セッションとプロセスの値は、このマウント・ポイントを所有するサーバーに関連しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8490I** *Device type* のボリューム *volume name* はドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています -- 所有サーバー: *owner name*、状況: **DISMOUNTING** (セッション: *session ID*、プロセス: *process number*)。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答でサーバーは、与えられたボリュームが、指定されたドライブにマウントされていることを示しています。ボリュームは現在、サーバーによって取り外し中です。セッションとプロセスの値は、このマウント・ポイントを所有するサーバーに関連しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8491I** *Device type* のボリューム *volume name* はドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています -- 所有サーバー: *owner name*、状況: **RETRY DISMOUNT FAILURE** (セッション: *session ID*、プロセス: *process number*)。

説明: サーバーは QUERY MOUNT コマンドへの応答で、指定されたドライブからの前の取り外しが失敗したため、示されているボリュームを現在取り外そうとしていることを示しています。セッションとプロセスの値は、このマウント・ポイントを所有するサーバーに関連しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8492I** *Device type* のボリューム *volume name* はドライブ *drive name* に *mount mode* でマウントされています -- 所有サーバー: *owner name*、状況: **RETRY** (セッション: *session ID*、プロセス: *process number*)。

説明: QUERY MOUNT コマンドへの応答で、サーバーは、与えられたボリュームが、入出力操作作用にマウントされていることを示しています。ボリュームは、現在 **RETRY** 状態ですが、これは、別のサーバーとの通信を再接続しようとしていることを意味します。このボリュームが、装置クラス再試行期間で指定された時間の間、再試行状態のままになっていると、操作は失敗し、このボリュームは自動的に取り外されます。セッションとプロセスの値は、このマウント・ポイントを所有するサーバーに関連しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8493I** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* にマウントされた *device type* ボリューム *volume name*。

説明: 指定されたボリュームは指定されたドライブにマウントされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 自動化ライブラリーの場合には、このメッセージは純粋に通知用です。

---

**ANR8494E** *Command*: 指定されたオプションが *library type* ライブラリーには無効です。

説明: 要求されたオプションは、指定されたコマンドで指定されたタイプのライブラリーでは無効です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8495E** *Device type* のボリューム *volume name* を **BACKUP DB** 操作によって上書きすることはできません。

説明: 指定されたボリュームが既に存在しているか、またはデータを含んでいるので、サーバーは新しい **BACKUP DB** データがそのボリュームに書き込まれることを許可しません。あるいは、このバックアップを書き込む宛先ファイル・スペースに、使用可能なスペースがありません。

システムの処置: 要求された **BACKUP DB** コマンドによって上書きされる一部のデータが、既に指定されたボリュームに入っていること、または使用可能なスペースが不足していることを、サーバーは検出します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、ボリュームを削除してから **BACKUP DB** コマンドをやり直してください。

---

**ANR8496E** 装置構成情報ファイルで装置クラス *device class* が定義されていません。

説明: 指定された装置クラスが装置構成情報ファイルで定義されていることが、出されたコマンドにとって必要です。この定義が見つからなかったか、あるいはファイル中のステートメントの順序が間違っています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、有効な装置クラスを指定してください。 **BACKUP DEVCONFIG** コマンドを出して、装置構成情報ファイルを最新表示してください。

---

**ANR8497E** 装置構成情報ファイルでライブラリー *library* が定義されていません。

説明: 指定されたライブラリーが装置構成情報ファイルに定義されていることが、出されたコマンドにとって必要です。この定義が見つからなかったか、あるいはファイル中のステートメントの順序が間違っています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **BACKUP DEVCONFIG** コマンドを出して、装置構成情報ファイルを最新表示してください。装置クラスにライブラリーが定義されていることを確かめてください。コマンドを再発行してください。

---

**ANR8498E** 装置構成情報ファイルでライブラリー *library* のドライブが定義されていません。

説明: 指定されたライブラリーについて指定されたドライブが装置構成情報ファイルに定義されていることが、指定されたコマンドの場合には必要です。この定義が見つからなかったか、あるいはファイル中のステートメントの順序が間違っています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **BACKUP DEVCONFIG** コマンドを出して、装置構成情報ファイルを最新表示してください。装置クラスと関連づけられているライブラリーに、ドライブが定義されていることを確認してください。コマンドを再発行してください。

---

**ANR8499I** コマンドが受け入れられました。

説明: サーバーはコマンドを受け入れて処理します。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8500E** 装置構成情報ファイルでライブラリー *library name* またはそのドライブについて有効なパスが定義されていません。

説明: 指定されたコマンドでは、指定されたライブラリーおよびそのドライブのパスが装置構成情報ファイルで定義されている必要があります。この有効な定義が見つからなかったか、あるいはファイル中のステートメントの順序が間違っています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **BACKUP DEVCONFIG** コマンドを出して、装置構成情報ファイルを最新表示してください。装置クラスと関連付けられているライブラリーおよびそのドライブに、パスが定義されていることを確認

してください。これらのパス定義に正しいソースが使用されていることを確認してください。デフォルトのサーバー名がソースとして使用されていない場合、装置構成情報ファイルで SET SERVERNAME コマンドが必要です。コマンドを再発行してください。

---

**ANR8501E** ファイル名 *file name* のボリューム *server volume name* を開いているときに、システム戻りコード *return code* を受信しました。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントが、指定されたファイル名にアクセスしようとしたますが、ボリュームのオープンに失敗しました。示されたシステム戻りコードが受信されました。実際のボリューム名は、サーバーが使用するファイル名に対応しています。サーバーがファイルのオープンに失敗する場合は、サーバーのボリューム名とファイル名が同じである可能性があります。

システムの処置: このボリュームは開かれません。

ユーザーの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントは、別のボリュームへのアクセスを要求することによって、いくつかの失敗からリカバリーすることができます。ディレクトリーの定義に問題がある場合は、別のボリュームでの再試行中にこのメッセージが数回表示される場合があります。サーバーの装置クラス定義に関連するディレクトリー名を調べて、ディレクトリー項目の数と名前が正しいことを確認する必要があります。各ファイル・ドライブの PATH 定義を調べて、PATH 定義内のディレクトリーの数がサーバーの装置クラス定義内の数と一致していることと、ディレクトリーが存在し、独自のパス名を介してサーバー・ディレクトリーにアクセスするサーバーおよびストレージ・エージェントにアクセスできることを確認する必要があります。例えば、サーバーの定義は次のようになります。

```
DEFINE DEVCLASS FILE DEVTYPE=FILE
DIR=K:¥FILECLASS¥DIR1,L:¥FILECLASS¥DIR2 および
ストレージ・エージェントの PATH 定義は次のようになります。
DEFINE PATH STA FILE1
SRCTYPE=SERVER DESTTYPE=DRIVE
LIBRARY=FILE DEVICE=FILE DIR=X:¥DIR1,X:¥DIR2
また、サーバー上のディレクトリー L:¥FILECLASS に
アクセスするために、システム STA でドライブ X が
設定されている必要があります。それにより、ディレク
トリー DIR1 および DIR2 がストレージ・エージェント
上の正しい宛先に対応し、PATH 定義と
DEVCLASS 定義の間でディレクトリーの数的一致する
ようにします。
```

---

**ANR8502E** Errno *errno* がファイラー上に **checking WORM** ディレクトリー *directory name* を受信しました。

説明: サーバーは、NetApp SnapLock Filer 上の該当するディレクトリーにアクセスを試みたが示されたエラー・コードにより失敗した。

システムの処置: ストレージ・プールの定義またストレージ・プールに関連する装置クラスの更新を試みたところ、そのコマンドは失敗します。サーバーの初期化中にこのエラーに遭遇した場合は、サーバーの初期化は継続しますがこの問題が解決するまで該当するストレージ・プールに関係する操作はできません。

ユーザーの処置: NetApp Filer 内でのエラーまたはサーバーと NetApp Filer のコミュニケーションに起因する場合があります。ネットワークが正常に稼働していて、サーバーから SnapLock Filer がアクセス可能であることを確認し、NetApp SnapLock Filer の資料を参照して問題を解決します。次にコマンドを再発行します。

---

**ANR8503E** ボリューム *server volume name* への書き込み中に障害が起きました。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントが示されたボリューム名に書き込んでいたときに、障害が起きました。

システムの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントは、指定されたボリュームへの書き込みを停止します。

ユーザーの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントは、別のボリュームへのアクセスを要求することによって、いくつかの失敗からリカバリーすることができます。ディレクトリーの定義に問題がある場合は、別のボリュームでの再試行中にこのメッセージが数回表示される場合があります。サーバーの装置クラス定義に関連するディレクトリー名を調べて、ディレクトリー項目の数と名前が正しいことを確認する必要があります。

新規に作成されたファイルに関連する許可を調べて、新規に作成されたファイルにサーバーおよびストレージ・エージェントが書き込めることを確認してください。システムによっては、マスク値の調整が必要になることがあります。システム・エラー・ログまたはイベント・ログで、ファイル・システムからのハードウェア・エラーまたはソフトウェア・エラーの通知がないかどうかを調べてください。

リモート側でマウントされたファイル・システムでは、リモート・ファイル・システムがマウント済みであり、そのファイル・システムをストレージ・エージェントが使用できることを確認してください。ファイル・システ

ムを調べて、十分なスペースが使用可能であることを確認してください。サーバーによるスペースの検査中には、同じファイル・システムを複数の装置クラスまたはサーバーが使用しているために、使用可能なスペースが過小評価されることがあります。

ストレージ・エージェントの場合は、各ファイル・ドライブの PATH 定義を調べて、PATH 定義内のディレクトリーの数がサーバーの装置クラス定義内の数と一致していることと、ディレクトリーが存在し、独自のパス名を介してサーバー・ディレクトリーにアクセスするサーバーおよびストレージ・エージェントにアクセスできることを確認する必要があります。例えば、サーバーの定義は次のようになります。

```
DEFINE DEVCLASS FILE DEVTYPE=FILE
DIR=K:¥FILECLASS¥DIR1,L:¥FILECLASS¥DIR2 および
ストレージ・エージェントの PATH 定義は次のようになります。
DEFINE PATH STA FILE1
SRCTYPE=SERVER DESTTYPE=DRIVE
LIBRARY=FILE DEVICE=FILE DIR=X:¥DIR1,X:¥DIR2
また、サーバー上のディレクトリー L:¥FILECLASS にアクセスするために、システム STA でドライブ X が設定されている必要があります。それにより、ディレクトリー DIR1 および DIR2 がストレージ・エージェント上の正しい宛先に対応し、PATH 定義と DEVCLASS 定義の間でディレクトリーの数が一致するようにします。
```

---

**ANR8504E** ボリューム *server volume name* にデータをフラッシュしようとして、障害が起きました。

説明: サーバーまたはストレージ・エージェントが示されたボリューム名に書き込んでいたときに、障害が起きました。サーバーが、データの書き込みの進行とファイル・システムのデータとの同期を試行していたときに、フラッシュ操作中の障害が起きました。ファイル・システムが満杯になった場合でも、フラッシュ操作が試行されるまでエラー通知が発行されない可能性があります。

システムの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントは、指定されたボリュームへの書き込みを停止します。進行中のトランザクションはロールバックします。

ユーザーの処置: サーバーまたはストレージ・エージェントは、別のボリュームへのアクセスを要求することによって、いくつかの失敗からリカバリーすることができます。ディレクトリーの定義に問題がある場合は、別のボリュームでの再試行中にこのメッセージが数回表示される場合があります。サーバーの装置クラス定義に関連するディレクトリー名を調べて、ディレクトリー項目の数と名前が正しいことを確認する必要があります。

新規に作成されたファイルに関連する許可を調べて、新規に作成されたファイルにサーバーおよびストレージ・エージェントが書き込めることを確認してください。システムによっては、マスク値の調整が必要になることがあります。システム・エラー・ログまたはイベント・ログで、ファイル・システムからのハードウェア・エラーまたはソフトウェア・エラーの通知がないかどうかを調べてください。

リモート側でマウントされたファイル・システムでは、リモート・ファイル・システムがマウント済みであり、そのファイル・システムをストレージ・エージェントが使用できることを確認してください。ファイル・システムを調べて、十分なスペースが使用可能であることを確認してください。サーバーによるスペースの検査中には、同じファイル・システムを複数の装置クラスまたはサーバーが使用しているために、使用可能なスペースが過小評価されることがあります。

ストレージ・エージェントの場合は、各ファイル・ドライブの PATH 定義を調べて、PATH 定義内のディレクトリーの数がサーバーの装置クラス定義内の数と一致していることと、ディレクトリーが存在し、独自のパス名を介してサーバー・ディレクトリーにアクセスするサーバーおよびストレージ・エージェントにアクセスできることを確認する必要があります。例えば、サーバーの定義は次のようになります。

```
DEFINE DEVCLASS FILE DEVTYPE=FILE
DIR=K:¥FILECLASS¥DIR1,L:¥FILECLASS¥DIR2 および
ストレージ・エージェントの PATH 定義は次のようになります。
DEFINE PATH STA FILE1
SRCTYPE=SERVER DESTTYPE=DRIVE
LIBRARY=FILE DEVICE=FILE DIR=X:¥DIR1,X:¥DIR2
また、サーバー上のディレクトリー L:¥FILECLASS にアクセスするために、システム STA でドライブ X が設定されている必要があります。それにより、ディレクトリー DIR1 および DIR2 がストレージ・エージェント上の正しい宛先に対応し、PATH 定義と DEVCLASS 定義の間でディレクトリーの数が一致するようにします。
```

---

**ANR8505I** ライブラリー *library name* の、ストレージ・エージェント *storage agent* とライブラリー・マネージャー *primary library manager* 間のパスの定義の検査。 *library count* の *total library count* ライブラリーからの処理。

説明: 指定されたライブラリー・パス定義が、ストレージ・エージェントの初期化について検査されています。

システムの処置: サーバーは、指定されたライブラリーの検査を処理しています。

ユーザーの処置: 数えられたすべての共有ライブラリーについての検査をサーバーが終了しない場合は、1 次ライブラリー・マネージャー・パスの接続および構成を検査してください。ライブラリー・パス検査メッセージで表示された最後のストレージ・エージェントのライブラリー・マネージャーを確認してください。

---

**ANR8506E** ライブラリー *library name* は、スタンドアロンのユーティリティー操作とは互換性がありません。

説明: 指定されたライブラリーは、DUMP DB または RESTORE DB などのスタンドアロン・モードでは操作できません。

システムの処置: 要求された操作は失敗します。

ユーザーの処置: これが FILE ライブラリーである場合は、FILE ライブラリーを使用しない装置クラスを使用してください。FILE 装置クラスはライブラリーを必要としないので、LIBRARY="" および SHARED=NO を指定して更新できます。装置構成ファイルをスタンドアロン操作用に適切に更新してから、必要に応じて、サーバーが実行中のときは FILE ライブラリーを使用して装置クラスを元の状態に戻します。

---

**ANR8507W** ボリューム *volume name* が、固有でない暗号鍵を使用しているため、セキュアではありません。

説明: 各ボリュームには固有な暗号鍵がなければなりません。このボリュームは不適切にも他のボリュームと暗号鍵を共有しています。

システムの処置: 操作は完了します。

ユーザーの処置: データをこのボリュームから新規ボリュームに移動すると、新規ボリュームに固有な暗号鍵が作成され、データをさらにセキュアにします。データを移動する前に、このボリュームに READONLY とマークを付け、IBM Spectrum Protect がボリュームにデータを付加できないようにします。次に、MOVE DATA コマンドを使用して、データをこのボリュームから新規暗号化ストレージ・プールへと移動します。

---

**ANR8508E** *Device type* のボリューム *volume name* を DB2 のアーカイブ・ログ操作によって書き込むことはできません。

説明: 指定されたボリュームが既に存在しているか、データを含んでいるので、サーバーは新しいアーカイブ・ログ・データをそのボリュームに書き込むことを許可しません。あるいは、このバックアップを書き込む宛先ファイル・スペースに、使用可能なスペースがありません。

システムの処置: DB のアーカイブ・ログ操作によって書ききされる一部のデータが、既に指定されたボリュームに入っていること、または使用可能なスペースが不足していることを、サーバーは検出します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、ボリュームを削除してください。

---

**ANR8509E** 装置クラス *devclass name* には互換性のあるドライブはありません。

説明: 使用可能なドライブがないため、指定された装置クラスに対して試行された操作を完了できません。このメッセージには、指定された装置クラスで FORMAT 値または DEVTYPE 値が無効であると示される場合があります。また、このメッセージには、FORMAT 値と DEVTYPE 値は有効であるが、互換性のあるドライブがオンラインになっていないと示される場合もあります。

システムの処置: 試行された操作は失敗します。

ユーザーの処置: QUERY DEVCLASS コマンドを使用して、装置クラスの FORMAT 値と DEVTYPE 値を確認してください。これらの値を、QUERY DRIVE F=D の同等の値と比較してください。この操作を試行する装置クラスと互換性のある DEVTYPE 値と FORMAT 値が指定されたドライブが少なくとも 1 つオンラインでなければなりません。互換性のあるドライブがない場合は、この構成を修正し、操作を再試行してください。

---

**ANR8510E** ZOSMEDIA ライブラリー *library name* の有効なパスが定義されていません。

説明: 保管操作では、ZOSMEDIA ライブラリーへのパスが定義されている必要があります。ライブラリーへの PATH が定義されていない場合、マウント要求は z/OS メディア・サーバー名を解決できません。

システムの処置: マウント要求は処理されません。

ユーザーの処置: ライブラリー・パスを定義して、ZOSMEDIASERVER パラメーターで z/OS メディア・サーバーを指定します。例えば、ZLIB1 という ZOSMEDIA ライブラリーがあり、IBM Spectrum Protect サーバー名が SERVER1 であるとしします。z/OS メディア・サーバーは、IP アドレス 9.8.7.6 を使用してアクセス可能であり、ポート 1492 で listen し、ZMEDSRV1 という名前が付けられています。以下のコマンドにより、サーバー SERVER1 が ZLIB1 にアクセスするために適切に構成されます。DEFINE LIBRARY ZLIB1 LIBTYPE=ZOSMEDIA DEFINE SERVER ZMEDSRV1 SERVERPASS=SECRET HLA=9.8.7.6 LLA=1492 DEFINE PATH SERVER1

ZLIB1 SRCTYPE=SERVER DESTTYPE=LIBRARY  
ZOSMEDIASERVER=ZMEDSRV1

**ANR8511E ZOSMEDIASERVER** *mediaservername* を  
ライブラリー・パスから解決できません。

説明: 保管操作では、ライブラリー・パスの  
ZOSMEDIASERVER 名と一致するサーバー定義が存在  
している必要があります。SERVER が定義されてい  
ない場合、要求は z/OS メディア・サーバーの HLA お  
よび LLA を判別できないため、保管操作を完了でき  
ません。

システムの処置: マウント要求は処理されません。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバーの高位アド  
レス (HLA) および低位アドレス (LLA) を判別し、  
DEFINE SERVER コマンドを使用して、z/OS メディ  
ア・サーバーを表すサーバー定義を作成してください。  
z/OS メディア・サーバーを定義するために使用される  
サーバー名は、ライブラリーの PATH の  
ZOSMEDIASERVER 名と一致している必要があります。  
例えば、ZLIB1 という ZOSMEDIA ライブラリー  
があり、IBM Spectrum Protect サーバー名が  
SERVER1 であるとしします。z/OS メディア・サーバー  
は、IP アドレス 9.8.7.6 を使用してアクセス可能であ  
り、ポート 1492 で listen し、ZMEDSRV1 という名前  
が付けられています。以下のコマンドにより、サーバー  
SERVER1 が ZLIB1 にアクセスするために適切に構成  
されます。DEFINE LIBRARY ZLIB1  
LIBTYPE=ZOSMEDIA DEFINE SERVER ZMEDSRV1  
SERVERPASS=SECRET HLA=9.8.7.6 LLA=1492  
DEFINE PATH SERVER1 ZLIB1 SRCTYPE=SERVER  
DESTTYPE=LIBRARY  
ZOSMEDIASERVER=ZMEDSRV1

**ANR8512E DEFINE** または **UPDATE DEVCLASS**  
の実行時に **RETENTION** を指定できま  
せん。

説明: DEFINE DEVCLASS では、RETENTION およ  
び EXPIRATION の両方を指定することはできません。  
これらは、矛盾するパラメーターです。

システムの処置: コマンド要求は処理されません。

ユーザーの処置: 装置クラスに既に EXPIRATION 値  
が指定されている場合、RETENTION が指定され  
ると、装置クラスを更新できません。装置クラスに既に  
RETENTION 値が指定されている場合、EXPIRATION  
が指定されると、装置クラスを更新できません。2 つ  
のパラメーター (RETENTION および EXPIRATION)  
は、相互に排他的です。

**ANR8513E zOS** メディア・サーバー (*server name*)  
のパスワードは、**Tivoli Storage  
Manager for z/OS Media** での認証に使  
用するには長すぎます。パスワードは 16  
文字を超えてはなりません。

説明: SERVERPASSWORD は、16 文字以下で指定す  
る必要があります。このパスワードは、ターゲット  
z/OS メディア・サーバーのパスフレーズ・オプション  
と一致しなければなりません。

システムの処置: 操作は処理されません。

ユーザーの処置: UPDATE SERVER コマンドを発行し  
て、16 文字を超えない SERVERPASSWORD を指定  
し、z/OS メディア・サーバーのパスフレーズ・オプシ  
ョンと一致する文字が使用されるようにします。

**ANR8514W Tivoli Storage Manager for z/OS  
Media** サーバー (*server name*) は、ファ  
イル・ボリューム *volume name* を拡張で  
きませんでした。

説明: z/OS メディア・サーバーは、FILE 装置クラス  
から SECONDARYALLOCATION 値を使用して  
VSAM LDS FILE ボリュームを拡張しようとした  
が、失敗しました。

システムの処置: 書き込み操作が失敗し、FILE ボリ  
ュームには「読み取り専用」のマークが付きます。

ユーザーの処置: Tivoli Storage Manager for z/OS  
Media サーバーが EA 対応 VSAM 線形データ・セッ  
ト・ボリュームを作成できるようにします。1. SMS を  
使用して、FILE 装置クラスの接頭部属性に関連する  
VSAM 線形データ・セットを管理します。2. 拡張フ  
ォーマットおよび拡張アドレッシング機能オプションを指  
定したデータ・クラス (SMS 構成) にデータ・セットを  
関連付けます。データ・セットとデータ・クラスを関連  
付けるためには、自動クラス選択 (ACS) ルーチンを使  
用して、Tivoli Storage Manager for z/OS Media  
VSAM 線形データ・セットに関連 SMS データ・クラ  
スを割り当てます。ACS ルーチンは、データ・セット  
名に基づいて割り当てを行います。

**ANR8515W z/OS** メディア・ライブラリー に属する  
ボリューム が削除されようとしています  
が、**z/OS** メディア・サーバー に到達で  
きないため、**IBM Spectrum Protect** サ  
ーバー・ボリューム・インベントリが削  
除されたボリュームを反映しています。

説明: ボリューム削除要求時に z/OS メディア・サー  
バーに到達できません。IBM Spectrum Protect サーバ

ーは、z/OS メディア・サーバーに到達できなくても操作を続行します。

システムの処置: z/OS メディア・サーバー上のボリュームは削除されません。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバーに接続できない理由を判別してください。 IBM Spectrum Protect 活動記録ログでメッセージ ANR8515W を調べて、z/OS システム上の関連データ・セットを削除することを慎重に検討してください。

**ANR8516W** z/OS メディア・サーバー が **HLA** および **LLA** で到達不能です。

説明: ZOSMEDIA ライブラリー要求時に z/OS メディア・サーバーに到達できません。 IBM Spectrum Protect サーバーは、z/OS メディア・サーバーに到達できなくても操作を続行します。

システムの処置: 操作は失敗する可能性があります。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバーに接続できない理由を判別してください。

**ANR8517E** z/OS メディア・サーバー が **HLA** および **LLA** で到達可能ですが、認証障害が原因で接続に失敗します。

説明: ZOSMEDIA ライブラリー要求時に z/OS メディア・サーバーに到達できました。しかし、認証を完了できませんでした。z/OS メディア・サーバー接続を認証できないため、IBM Spectrum Protect サーバーは操作を続行しません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバー接続を認証できない理由を判別してください。 Tivoli Storage Manager for z/OS Media サーバーのパスフレーズ・オプションが、IBM Spectrum Protect サーバーのメディア・サーバー定義の `serverpassword` に一致することを確認してください。パスワードは 16 文字を超えてはなりません。

**ANR8518E** *command:* ドライブに対して更新要求が無効です。 *drive name*, ライブラリー *library name*。

説明: 指定されたドライブに対して無効な要求が出されました。このドライブは仮想テープ・ライブラリー (VTL) の一部です。要求された操作は VTL のドライブには適用されません。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: 仮想ドライブにクリーニング設定の変更を行わないでください。このライブラリーが VTL

でない場合、UPDATE LIBRARY コマンドを使用してライブラリー・タイプを SCSI に変更し、操作を再試行してください。

**ANR8519E** z/OS メディア・サーバー は、データ・セット名 を使用してボリューム をオープンできません。

説明: z/OS メディア・サーバーは、ZOSMEDIA ライブラリー要求時にボリュームを OPEN できません。IBM Spectrum Protect サーバーは操作に失敗します。

システムの処置: 操作は失敗する可能性があります。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバーがボリュームを OPEN できない理由を判別してください。ボリュームまたはデータ・セット名に関連したエラー条件がないか、z/OS メディア・サーバーのジョブ・ログ、および z/OS SYSLOG を調べてください。

**ANR8520E** *Command: StorageTek Automated Cartridge System Library Software (ACSL) API* モジュールは、ACSL ライブラリー用のシステムからは入手できません。

説明: ACSLS タイプのライブラリーの操作には、システムにロードされた ACSLS API モジュールが必要です。このモジュールがシステムにロードされていない場合、ACSL ライブラリーの定義は失敗します。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ACSLS API モジュールがシステムにインストールされていることを確認してください。

**ANR8521E** データ・セット **dynalloc rc = dynalloc error = Hex** および **dynalloc info =** を割り振りにできません。

説明: z/OS メディア・サーバーは、ZOSMEDIA ライブラリー要求時にデータ・セットを割り振りにできません。IBM Spectrum Protect サーバーは操作に失敗します。

システムの処置: 操作は失敗する可能性があります。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバーがボリュームを割り振りにできない理由を判別してください。dynalloc 関連情報およびエラー・メッセージのサマリーについて、ANZ5031I メッセージの z/OS メディア・サーバーのジョブ・ログを調べてください。失敗した割り振り要求に関連したエラー条件がないか、z/OS SYSLOG を調べてください。



---

**ANR8522E** z/OS メディア・サーバー が HLA および LLA で到達不能であり、プロトコル違反のため接続に失敗しました。

説明: z/OS メディア・サーバーはターゲット LLA ポート上で listen されないことがあります。z/OS メディア・サーバー接続を確立できないため、IBM Spectrum Protect サーバーは操作を続行しません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバー接続を確立できない理由を判別してください。z/OS メディア・サーバーがターゲット IP アドレスおよびポート・アドレス上で listen していることを確認してください。プロトコル違反は、アプリケーションがターゲット HLA ポート上で listen しているが、そのアプリケーション・プログラムが z/OS メディア・サーバーではないことを示しています。サーバー定義での HLA および LLA の値を確認してください。

---

**ANR8523E** ソース・サーバー から宛先ライブラリーへのパスがオフラインになっています。

説明: z/OS メディア・サーバーが稼働中であり、正しいポート・アドレス上で listen していることを確認してください。z/OS メディア・サーバーが目的のポート・アドレス上で listen していて、認証が適切に構成されている場合、ライブラリー・パスをオフラインにすることを要求する z/OS メディア・サーバーのバージョンに問題がある可能性があります。

システムの処置: ライブラリー・パスがオフラインです。

ユーザーの処置: z/OS メディア・サーバーのサービス・レベルを調べてください。z/OS メディア・サーバーの前提条件、仕様を調べて、インストールされている IBM Spectrum Protect サーバーの現行 README を確認してください。

---

**ANR8524W** ドライブ *drive name* のエレメント・アドレスがライブラリー *library name* で間違っている可能性があります。

説明: DEFINE DRIVE コマンドでの `element=autodetect` パラメーターは、ネットワークに接続された SCSI (NAS) ドライブではサポートされていません。このオプションを使用すると、無効なエレメント・アドレスがデバイスに割り当てられます。

システムの処置: テープ・ボリュームの移動操作は失敗します。

ユーザーの処置: QUERY DRIVE f=d コマンドを発行して、エレメント・フィールドの値を確認してください

い。フィールドに値がない場合は、UPDATE DRIVE コマンドを発行して、`element=address` パラメーターの値を指定します。

---

**ANR8525E** UNIT 値 で指定された装置を割り振ることができません。

説明: ボリュームのマウント要求に関連付けられている装置クラス内の UNIT 値が、すでに割り振られている装置アドレスを指定しているため、z/OS メディア・サーバーは、指定された装置を ZOSMEDIA ライブラリー要求中に割り振ることができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーは操作に失敗します。

ユーザーの処置: UNIT 値が装置アドレスを指定している場合、装置クラス内の MOUNTLIMIT パラメーター値が 1 であることを確認してください。また、MOUNTRETENTION パラメーター値を 0 に更新することもできます。この更新を行うと、マウントされたボリュームは使用後に取り外されます。

---

**ANR8526W** IBM 磁気テープ・デバイス・ドライバー設定が更新され、再始動する必要があります。ウィンドウを再始動するか、IBM 磁気テープ・デバイス・ドライバー を再インストールすることによって、デバイス・ドライバーを再始動できます。

説明: IBM 磁気テープ・デバイス・ドライバー 設定が、ドライブを自動的に予約しないように変更されました。IBM Spectrum Protect が予約を管理できるようにすることによって、いくつかの予約に関する警告および潜在的なマウント障害をなくすることができます。これは、一回限りの変更であり、デバイス・ドライバーの再初期化を必要とします。ウィンドウを再始動するか、IBM 磁気テープ・デバイス・ドライバー を再インストールすることによって、デバイス・ドライバーを再初期化できます。ウィンドウを再始動の方が簡単です。一方、IBM 磁気テープ・デバイス・ドライバー を再インストールする方法は中断が少なくおすすめです。

システムの処置: ホスト間で予約が競合する可能性があります。

ユーザーの処置: ウィンドウを再始動するか、IBM 磁気テープ・デバイス・ドライバー を再インストールして、IBM デバイス・ドライバー がレジストリーの変更を検出するようにしてください。

**ANR8527E** デフォルトのカートリッジ・アクセス・ポート (CAP) ID は、ライブラリー *library name* には無効です。

説明: デフォルトの CAP ID が CHECKOUT LIBVOLUME コマンドに指定されています。デフォルトの CAP ID が指定された場合、CAP 優先順位の値をゼロ以外の値に設定する必要があります。

システムの処置: システムはテープ・ボリュームの排出に失敗しました。

ユーザーの処置: CAP の優先順位の値を確認するには、QUERY CAP コマンドを発行します。優先順位の値が 0 の場合は、CAP 優先順位をゼロ以外の値に設定して、CHECKOUT LIBVOLUME コマンドを再発行してください。

**ANR8528E** スロット・エレメント・アドレス *slot element address* は、*library name* ライブラリーには無効です。

説明: スロット・エレメント・アドレスは無効になりました。この問題は、ライブラリーの電源がオフにされた場合、あるいはハードウェアの誤動作中に発生する可能性があります。仮想ライブラリーの場合、この問題は、ライブラリーが再構成されたか、またはそのファームウェアが更新された後でも発生する可能性があります。

システムの処置: このライブラリーのスロットは使用不可です。

ユーザーの処置: ライブラリーの電源がオンになっており、明らかなハードウェア問題がないことを確認してください。スロット・エレメント・アドレスを確認するには、デバイス・ドライバ・ツールまたは仮想ライブラリー構成ツールを使用してください。

**ANR8529E** *Command:* オープン・システム呼び出しを使用してライブラリー *library name* をオープンできません。

説明: IBM Spectrum Protect は該当のライブラリーをオープンできません。

システムの処置: このライブラリーを必要とするトランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーを検査してください。ライブラリーの電源がオンになっており、作動可能であることを確認してください。ライブラリーがホスト・システム用に正しく構成されていることを確認してください。

**ANR8530W** ライブラリー *library name* 内のドライブ *drive name* のボリューム *volume name* にラベルが付いていません。

説明: ラベルがブランクです。

システムの処置: AUTOLABEL パラメーターが YES に設定されており、ライブラリーが自動ラベル付けをサポートしている場合は、このボリュームに自動的にラベルが付けられる場合があります。

ユーザーの処置: ボリュームに手動でラベルを付けるには、LABEL LIBVOLUME コマンドを発行します。

CHECKIN LIBVOLUME コマンドを発行して、ボリュームをチェックインしてください。

**ANR8531W** ファイル・システムからの **FILE** ボリューム *volume name* の削除は、正常に完了しませんでした。

説明: サーバーはファイル・ボリュームを検出できなかったため、ファイル・システムからそのファイル・ボリュームを削除しませんでした。ファイル・ボリュームは、サーバーからアクセスできなくなっていますが、まだ存在している場合、引き続きファイル・システム内のスペースを占有しています。

システムの処置: サーバーは操作を続行し、ファイル・ボリュームはサーバー内では論理的に削除されますが、ファイル・システムからは削除されません。

ユーザーの処置:

**ANR8550E (AIX)** *filespec* をオープン中にエラー。

説明: オープン操作を試みると、エラーが起こります。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置:

- オープン操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。
- ファイル名を入力した場合は、ファイル名が正しいこと、およびそのファイルが存在することを確認してください。

**ANR8550E (HP-UX)** *file name* のオープン中にエラー。

説明: サーバーがファイルのオープン操作を試みたときにエラーが起こりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置:

- オープン操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。
- ファイル名を入力した場合は、ファイル名が正しいこと、およびそのファイルが存在することを確認してください。

---

**ANR8550E (Linux)** *file name* のオープン中にエラー。

説明: サーバーがファイルのオープン操作を試みたときにエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置:

- オープン操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。
- ファイル名を入力した場合は、ファイル名が正しいこと、およびそのファイルが存在することを確認してください。

---

**ANR8550E (Solaris)** *file name* のオープン中にエラー。

説明: サーバーがファイルのオープン操作を試みたときにエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置:

- オープン操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。
- ファイル名を入力した場合は、ファイル名が正しいこと、およびそのファイルが存在することを確認してください。

---

**ANR8550E (Windows)** *filespec* をオープン中にエラー。

説明: サーバーがオープン操作を試みている時にエラーを検出します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置:

- オープン操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。
- ファイル名を入力した場合は、ファイル名が正しいこと、およびそのファイルが存在することを確認してください。

---

**ANR8551E (AIX)** 書き込み操作中にエラー (*error code*) が起きました。

説明: 書き込み操作を試みると、エラーが起きます。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して書き込み操作が失敗した理由を判別し、問題を訂正してこのプロセスを再開してください。

---

**ANR8551E (HP-UX)** 書き込み操作中にエラー (*error code*) が起きました。

説明: サーバーが書き込み操作を行おうとした時にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 書き込み操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8551E (Linux)** 書き込み操作中にエラー (*error code*) が起きました。

説明: サーバーが書き込み操作を行おうとした時にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して書き込み操作が失敗した理由を判別し、問題を訂正してこのプロセスを再開してください。

---

**ANR8551E (Solaris)** 書き込み操作中にエラー (*error code*) が起きました。

説明: サーバーが書き込み操作を行おうとした時にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 書き込み操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8551E (Windows)** 書き込み操作中にエラー (*error code*) が起きました。

説明: サーバーが書き込み操作を試みている時にエラーを検出します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 他の表示されたメッセージを参照して、書き込み操作が正常に実行されなかった理由を調べてください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8552E (AIX)** 読み取り操作中にエラー (*error code*) が起こりました。

説明: 読み取り操作を試みると、エラーが起こります。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して読み取り操作が失敗した理由を判別し、問題を訂正してこのプロセスを再開してください。

---

**ANR8552E (HP-UX)** 読み取り操作中にエラー (*error code*) が起こりました。

説明: サーバーが読み取り操作を行おうとした時にエラーが起こりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 読み取り操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8552E (Linux)** 読み取り操作中にエラー (*error code*) が起こりました。

説明: サーバーが読み取り操作を行おうとした時にエラーが起こりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して読み取り操作が失敗した理由を判別し、問題を訂正してこのプロセスを再開してください。

---

**ANR8552E (Solaris)** 読み取り操作中にエラー (*error code*) が起こりました。

説明: サーバーが読み取り操作を行おうとした時にエラーが起こりました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 読み取り操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8552E (Windows)** 読み取り操作中にエラー (*error code*) が起こりました。

説明: サーバーが読み取り操作を試みている時にエラーを検出します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 読み取り操作が失敗した理由を判別するには、その他の表示メッセージを参照してください。問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8553E (AIX)** *Device type* ボリューム *volume name* が **DUMPDB** 操作によって上書きすることができません。

説明: 指定されたボリュームは既に存在するか、またはデータが入っているので、サーバーがこれに新規 **DUMPDB** データを書き込むことはできません。

システムの処置: サーバーは、要求された **DUMPDB** 操作によって上書きされるデータが、指定されたボリュームに既に入っていることを見つけました。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、ボリュームを削除してから **DUMPDB** 操作を再試行してください。

---

**ANR8553E (HP-UX)** *Device type* ボリューム *volume name* が **DUMPDB** 操作によって上書きすることができません。

説明: 指定されたボリュームは既に存在するか、またはデータが入っているので、サーバーがこれに新規 **DUMPDB** データを書き込むことはできません。

システムの処置: 所定のボリュームに要求された **DUMPDB** 操作で上書きされるデータが、既に入っていることをサーバーが検出しました。

ユーザーの処置: 指定したボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、それを削除して **DUMPDB** 操作をやり直すか、または別のボリューム名を指定してください。

---

**ANR8553E (Linux)** *Device type* ボリューム *volume name* が **DUMPDB** 操作によって上書きすることができません。

説明: 指定されたボリュームは既に存在するか、またはデータが入っているので、サーバーがこれに新規 **DUMPDB** データを書き込むことはできません。

システムの処置: 所定のボリュームに要求された **DUMPDB** 操作で上書きされるデータが、既に入っていることをサーバーが検出しました。

ユーザーの処置: 指定したボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、それを削除して **DUMPDB** 操作をやり直すか、または別のボリューム名を指定してください。

---

**ANR8553E (Solaris)** *Device type* ボリューム *volume name* が **DUMPDB** 操作によって上書きすることができません。

説明: 指定されたボリュームは既に存在するか、またはデータが入っているので、サーバーがこれに新規

DUMPDB データを書き込むことはできません。

システムの処置: 所定のボリュームに要求された DUMPDB 操作で上書きされるデータが、既に入っていることをサーバーが検出しました。

ユーザーの処置: 指定したボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、それを削除して DUMPDB 操作をやり直すか、または別のボリューム名を指定してください。

---

**ANR8553E (Windows)** *Device type* ボリューム *volume name* が **DUMPDB** 操作によって上書きすることができません。

説明: 指定されたボリュームは既に存在するか、またはデータが入っているので、サーバーがこれに新規 DUMPDB データを書き込むことはできません。

システムの処置: サーバーは、要求された DUMPDB 操作によって上書きされるデータが、指定されたボリュームに既に入っていることを検出します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームに貴重なデータが入っていない場合には、ボリュームを削除してから DUMPDB 操作を再実行してください。

---

**ANR8554W (AIX)** *Dump/load command:* 装置クラス *device class name* が定義されていません。装置タイプは **FILE** と見なされます。

説明: 指定された装置クラス名がサーバー・オプション・ファイル中のサーバーに対して DUMPLOADDB DEVCLASS オプションで定義されていないか、あるいはサーバーが指定された装置クラスを定義することができません。

システムの処置: 処理を続行します。ダンプ/ロード・プロセスは、装置クラスが devtype=FILE であると見なして、ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み取りを行います。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して、この装置クラスが未定義の理由を判別してください。ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み取りを行わない場合には、問題を訂正してから、コマンドを再始動してください。

---

**ANR8554W (HP-UX)** *Dump/load command:* 装置クラス *device class name* が定義されていません。装置タイプは **FILE** と見なされます。

説明: 指定された装置クラス名がサーバー・オプション・ファイル中のサーバーに対して DUMPLOADDB

DEVCLASS オプションで定義されていないか、あるいはサーバーが指定された装置クラスを定義することができません。

システムの処置: 処理を続行します。ダンプ/ロード・プロセスは、装置クラスが devtype=FILE であると見なして、ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み取りを行います。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して、この装置クラスが未定義の理由を判別してください。ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み取りを行わない場合には、問題を訂正してから、コマンドを再始動してください。

---

**ANR8554W (Linux)** *Dump/load command:* 装置クラス *device class name* が定義されていません。装置タイプは **FILE** と見なされます。

説明: 指定された装置クラス名がサーバー・オプション・ファイル中のサーバーに対して DUMPLOADDB DEVCLASS オプションで定義されていないか、あるいはサーバーが指定された装置クラスを定義することができません。

システムの処置: 処理を続行します。ダンプ/ロード・プロセスは、装置クラスが devtype=FILE であると見なして、ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み取りを行います。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して、この装置クラスが未定義の理由を判別してください。ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み取りを行わない場合には、問題を訂正してから、コマンドを再始動してください。

---

**ANR8554W (Solaris)** *Dump/load command:* 装置クラス *device class name* が定義されていません。装置タイプは **FILE** と見なされます。

説明: 指定された装置クラス名がサーバー・オプション・ファイル中のサーバーに対して DUMPLOADDB DEVCLASS オプションで定義されていないか、あるいはサーバーが指定された装置クラスを定義することができません。

システムの処置: 処理を続行します。ダンプ/ロード・プロセスは、装置クラスが devtype=FILE であると見なして、ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み取りを行います。

ユーザーの処置: 表示された他のメッセージを参照して、この装置クラスが未定義の理由を判別してください。ファイルへの書き込みまたはファイルからの読み

## ANR8555E (AIX) • ANR8556E (Windows)

取りを行わない場合には、問題を訂正してから、コマンドを再始動してください。

---

**ANR8555E (AIX)** ディスク *disk name* からの読み取り操作中にエラー *error code (error string)* が発生しました。

説明: ディスクからの読み取りを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8555E (HP-UX)** ディスク *disk name* からの読み取り操作中にエラー (*error code, error string*) が発生しました。

説明: ディスクからの読み取りを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8555E (Linux)** ディスク *disk name* からの読み取り操作中にエラー (*error code, error string*) が発生しました。

説明: ディスクからの読み取りを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8555E (Solaris)** ディスク *disk name* からの読み取り操作中にエラー (*error code, error string*) が発生しました。

説明: ディスクからの読み取りを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8555E (Windows)** ディスク *disk name* からの読み取り操作中にエラー (*error code*) が発生しました。

説明: ディスクからの読み取りを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8556E (AIX)** ディスク *disk name* への書き込み操作中にエラー *error code (error string)* が発生しました。

説明: ディスクへの書き込みを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8556E (HP-UX)** ディスク *disk name* への書き込み操作中にエラー (*error code, error string*) が発生しました。

説明: ディスクへの書き込みを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8556E (Linux)** ディスク *disk name* への書き込み操作中にエラー (*error code, error string*) が発生しました。

説明: ディスクへの書き込みを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8556E (Solaris)** ディスク *disk name* への書き込み操作中にエラー (*error code, error string*) が発生しました。

説明: ディスクへの書き込みを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8556E (Windows)** ディスク *disk name* への書き込み操作中にエラー (*error code*) が発生しました。

説明: ディスクへの書き込みを試みたときにエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8557W (AIX)** ディスク *disk name* に対する入出力操作の再試行に失敗しました。エラー番号 *number*。

説明: ディスク・ボリュームで入出力操作の試行中に、エラーが発生しました。要求は再試行されます。

システムの処置: 失敗した入出力操作が再試行されます。

ユーザーの処置: 報告されている問題を訂正し今後のエラーを防止するか、AIX サポートに連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR8558E (AIX)** I/O ベクトル・エレメント **bufP:** *buffer address*, **len:** *buffer length*, **offset:** *file offset*, エラー番号: *errno*。

説明: これは診断メッセージで、エラーを起こした AIO 要求の詳細を示します。このメッセージは、通常、ANR8555E または ANR8556E によって処理され、入出力エラー関連の追加情報を提供します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、プロセスを再始動してください。

---

**ANR8577E (AIX)** IBM Spectrum Protect は、SSL 鍵リング・ファイル *file name* を開くことができませんでした。GSKit 戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーのインスタンス・ディレクトリーに正しい SSL 鍵リング・ファイルが入っていることを確認してください。外部ユーティリティーでパスワードが変更された場合は、SET SSLKEYRINGPW コマンドを使用して、鍵リング・ファイルのパスワードをサーバーで使用される値と同じにしてください。問題が続く場合は、鍵リング・ファイルを削除し、DELETE KEYRING サーバー・コマンドを実行して、サーバーが新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8577E (HP-UX)** IBM Spectrum Protect は、SSL 鍵リング・ファイル *file name* を開くことができませんでした。GSKit 戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーのインスタンス・ディレクトリーに正しい SSL 鍵リング・ファイルが入っていることを確認してください。外部ユーティリティーでパスワードが変更された場合は、SET SSLKEYRINGPW コマンドを使用して、鍵リング・ファイルのパスワードをサーバーで使用される値と同じにしてください。問題が続く場合は、鍵リング・ファイルを削除し、DELETE KEYRING サーバー・コマンドを実行して、サーバーが新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8577E (Linux)** IBM Spectrum Protect は、SSL 鍵リング・ファイル *file name* を開くことができませんでした。GSKit 戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーのインスタンス・ディレクトリーに正しい SSL 鍵リング・ファイルが入っていることを確認してください。外部ユーティリティーでパスワードが変更された場合は、SET SSLKEYRINGPW コマンドを使用して、鍵リング・ファイルのパスワードをサーバーで使用される値と同じにしてください。問題が続く場合は、鍵リング・ファイルを削除し、DELETE KEYRING サーバー・コマンドを実行して、サーバーが新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8577E (Solaris)** IBM Spectrum Protect は、SSL 鍵リング・ファイル *file name* を開くことができませんでした。GSKit 戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーのインスタンス・ディレクトリーに正しい SSL 鍵リング・ファイルが入っていることを確認してください。外部ユーティリティーでパスワードが変更された場合は、SET SSLKEYRINGPW コ

## ANR8577E (Windows) • ANR8579E (AIX)

マンドを使用して、鍵リング・ファイルのパスワードをサーバーで使用される値と同じにしてください。問題が続く場合は、鍵リング・ファイルを削除し、DELETE KEYRING サーバー・コマンドを実行して、サーバーが新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8577E (Windows) IBM Spectrum Protect** は、**SSL** 鍵リング・ファイル *file name* を開くことができませんでした。 **GSKit** 戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーのインスタンス・ディレクトリーに正しい SSL 鍵リング・ファイルが入っていることを確認してください。外部ユーティリティーでパスワードが変更された場合は、SET SSLKEYRINGPW コマンドを使用して、鍵リング・ファイルのパスワードをサーバーで使用される値と同じにしてください。問題が続く場合は、鍵リング・ファイルを削除し、DELETE KEYRING サーバー・コマンドを実行して、サーバーが新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8578E (AIX) IBM Spectrum Protect** データベースには、**SSL** 鍵リング・ファイル用のパスワードがありません。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルを削除して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8578E (HP-UX) IBM Spectrum Protect** データベースには、**SSL** 鍵リング・ファイル用のパスワードがありません。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルを削除して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8578E (Linux) IBM Spectrum Protect** データベースには、**SSL** 鍵リング・ファイル用のパスワードがありません。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルを削除して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8578E (Solaris) IBM Spectrum Protect** データベースには、**SSL** 鍵リング・ファイル用のパスワードがありません。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルを削除して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8578E (Windows) IBM Spectrum Protect** データベースには、**SSL** 鍵リング・ファイル用のパスワードがありません。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルを削除して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルを生成できるようにしてください。

---

**ANR8579E (AIX) SSL** 鍵リング・ファイルは存在しますが、**IBM Spectrum Protect** データベースにはそれ用のパスワードが含まれています。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルのコピーをリストアするか、DELETE KEYRING を使用して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルおよびパスワードを生成できるようにしてください。



---

**ANR8579E (HP-UX)** SSL 鍵リング・ファイルは存在しませんが、**IBM Spectrum Protect** データベースにはそれ用のパスワードが含まれています。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルのコピーをリストアするか、DELETE KEYRING を使用して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルおよびパスワードを生成できるようにしてください。

---

**ANR8579E (Linux)** SSL 鍵リング・ファイルは存在しませんが、**IBM Spectrum Protect** データベースにはそれ用のパスワードが含まれています。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルのコピーをリストアするか、DELETE KEYRING を使用して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルおよびパスワードを生成できるようにしてください。

---

**ANR8579E (Solaris)** SSL 鍵リング・ファイルは存在しませんが、**IBM Spectrum Protect** データベースにはそれ用のパスワードが含まれています。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルのコピーをリストアするか、DELETE KEYRING を使用して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルおよびパスワードを生成できるようにしてください。

---

**ANR8579E (Windows)** SSL 鍵リング・ファイルは存在しませんが、**IBM Spectrum Protect** データベースにはそれ用のパスワードが含まれています。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 鍵リング・ファイルのコピーをリストアするか、DELETE KEYRING を使用して、IBM Spectrum Protect が新規の鍵リング・ファイルおよび

パスワードを生成できるようにしてください。

---

**ANR8580E (AIX)** セッション *session* で、SSL 書き込みエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 書き込み操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8580E (HP-UX)** セッション *session* で、SSL 書き込みエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 書き込み操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8580E (Linux)** セッション *session* で、SSL 書き込みエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 書き込み操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8580E (Solaris)** セッション *session* で、SSL 書き込みエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 書き込み操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8580E (Windows)** セッション *session* で、SSL 書き込みエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 書き込み操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8581E (AIX)** セッション *session* で、SSL 読み取りエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 読み取り操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

## ANR8581E (HP-UX) • ANR8583E (HP-UX)

---

**ANR8581E (HP-UX)** セッション *session* で、**SSL** 読み取りエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 読み取り操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8581E (Linux)** セッション *session* で、**SSL** 読み取りエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 読み取り操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8581E (Solaris)** セッション *session* で、**SSL** 読み取りエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 読み取り操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8581E (Windows)** セッション *session* で、**SSL** 読み取りエラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL 読み取り操作中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8582E (AIX)** セッション *session* で、**SSL** ソケットのオープン・エラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ソケットのオープン操作中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8582E (HP-UX)** セッション *session* で、**SSL** ソケットのオープン・エラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ソケットのオープン操作中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8582E (Linux)** セッション *session* で、**SSL** ソケットのオープン・エラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ソケットのオープン操作中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8582E (Solaris)** セッション *session* で、**SSL** ソケットのオープン・エラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ソケットのオープン操作中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8582E (Windows)** セッション *session* で、**SSL** ソケットのオープン・エラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ソケットのオープン操作中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

---

**ANR8583E (AIX)** セッション *session* で、**SSL** ソケットの初期化エラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ハンドシェーク・プロセス中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントが SSL 用に正しく構成されているか確認し、操作を再試行します。

---

**ANR8583E (HP-UX)** セッション *session* で、**SSL** ソケットの初期化エラーが発生しました。**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ハンドシェーク・プロセス中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントが SSL 用に正しく構成されているか確認し、操作を再試行します。

---

**ANR8583E (Linux)** セッション *session* で、SSL ソケットの初期化エラーが発生しました。

**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ハンドシェーク・プロセス中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントが SSL 用に正しく構成されているか確認し、操作を再試行します。

---

**ANR8583E (Solaris)** セッション *session* で、SSL ソケットの初期化エラーが発生しました。

**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ハンドシェーク・プロセス中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントが SSL 用に正しく構成されているか確認し、操作を再試行します。

---

**ANR8583E (Windows)** セッション *session* で、SSL ソケットの初期化エラーが発生しました。

**GSKit** 戻りコードは *gsk return code* です。

説明: SSL ハンドシェーク・プロセス中にエラーが起きました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: クライアントが SSL 用に正しく構成されているか確認し、操作を再試行します。

---

**ANR8584I (AIX)** SSL TCP/IP バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8584I (HP-UX)** SSL TCP/IP バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8584I (Linux)** SSL TCP/IP バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8584I (Solaris)** SSL TCP/IP バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8584I (Windows)** SSL TCP/IP バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* でクライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指示されたポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、クライアントとのセッションを受け入れることができました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8585I (AIX)** SSL TCP/IP バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* で管理クライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8585I (HP-UX) SSL TCP/IP** バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* で管理クライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8585I (Linux) SSL TCP/IP** バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* で管理クライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8585I (Solaris) SSL TCP/IP** バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* で管理クライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8585I (Windows) SSL TCP/IP** バージョン 6 ドライバーは、ポート *port number* で管理クライアントと接続可能です。

説明: サーバーは、指定のポート番号で SSL TCP/IP プロトコルを使用して、管理クライアントとのセッションを受け入れることができますようになりました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8586E (AIX)** サーバーは、鍵リング・ファイル *file name* を作成できませんでした。  
**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクト

リーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8586E (HP-UX)** サーバーは、鍵リング・ファイル *file name* を作成できませんでした。  
**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8586E (Linux)** サーバーは、鍵リング・ファイル *file name* を作成できませんでした。  
**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8586E (Solaris)** サーバーは、鍵リング・ファイル *file name* を作成できませんでした。  
**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8586E (Windows)** サーバーは、鍵リング・ファイル *file name* を作成できませんでした。  
**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8587E (AIX)** サーバーは、**SSL** 自己署名証明書を作成できませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 戻りコードを確認し、適切なアクションを行ってください。

---

**ANR8587E (HP-UX)** サーバーは、**SSL** 自己署名証明書を作成できませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 戻りコードを確認し、適切なアクションを行ってください。

---

**ANR8587E (Linux)** サーバーは、**SSL** 自己署名証明書を作成できませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 戻りコードを確認し、適切なアクションを行ってください。

---

**ANR8587E (Solaris)** サーバーは、**SSL** 自己署名証明書を作成できませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 戻りコードを確認し、適切なアクションを行ってください。

---

**ANR8587E (Windows)** サーバーは、**SSL** 自己署名証明書を作成できませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: SSL 環境の初期化は失敗しました。SSL ポートへの接続はできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 戻りコードを確認し、適切なアクションを行ってください。

---

**ANR8588E (AIX)** サーバーは、**SSL** パブリック証明書ファイル *file name* をエクスポートできませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントが使用する証明書エクスポート・ファイルを生成できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8588E (HP-UX)** サーバーは、**SSL** パブリック証明書ファイル *file name* をエクスポートできませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントが使用する証明書エクスポート・ファイルを生成できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8588E (Linux)** サーバーは、**SSL** パブリック証明書ファイル *file name* をエクスポートできませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントが使用する証明書エクスポート・ファイルを生成できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8588E (Solaris)** サーバーは、**SSL** パブリック証明書ファイル *file name* をエクスポートできませんでした。 **GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントが使用する証明書エクスポート・ファイルを生成できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリーへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8588E (Windows)** サーバーは、**SSL** パブリック証明書ファイル *file name* をエクスポートできませんでした。**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントが使用する証明書エクスポート・ファイルを生成できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンス・ディレクトリへの許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8589E (AIX)** サーバーは、**GSKit** 鍵管理環境を初期化できませんでした。**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: GSKit 鍵管理サブシステムを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 鍵管理ダイナミック・リンク・ライブラリーを実行するための許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8589E (HP-UX)** サーバーは、**GSKit** 鍵管理環境を初期化できませんでした。**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: GSKit 鍵管理サブシステムを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 鍵管理ダイナミック・リンク・ライブラリーを実行するための許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8589E (Linux)** サーバーは、**GSKit** 鍵管理環境を初期化できませんでした。**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: GSKit 鍵管理サブシステムを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 鍵管理ダイナミック・リンク・ライブラリーを実行するための許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8589E (Solaris)** サーバーは、**GSKit** 鍵管理環境を初期化できませんでした。**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: GSKit 鍵管理サブシステムを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 鍵管理ダイナミック・リンク・ライブラリーを実行するための許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8589E (Windows)** サーバーは、**GSKit** 鍵管理環境を初期化できませんでした。**GSKit** 鍵管理戻りコードは *return code* です。

説明: GSKit 鍵管理サブシステムを初期化できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: GSKit 鍵管理ダイナミック・リンク・ライブラリーを実行するための許可が正しいか確認してください。

---

**ANR8590I (AIX)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8590I (HP-UX)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8590I (Linux)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8590I (Solaris)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8590I (Windows)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8591E (Windows) IBM GSKit** バージョン 8 がシステムにインストールされている必要があります。

説明: サーバーには IBM GSKit バージョン 8 が必要です。

システムの処置: サーバーは操作を停止します。

ユーザーの処置: IBM GSKit バージョン 8 をインストールするには、サーバーをインストールし、再始動する必要があります。

---

**ANR8592I (AIX)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8592I (HP-UX)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8592I (Linux)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8592I (Solaris)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8592I (Windows)** セッション *session* 接続は、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8593E (AIX)** 鍵リング・ファイルのパスワードの更新に失敗しました。

説明: 鍵リング・ファイルのパスワードを変更するために、SET SSLKEYRINGPW password UPDATEPW=YES コマンドが発行されました。サーバーは鍵リング・ファイルのパスワードを、指定された新規パスワードに変更できませんでした。サーバーのパスワードの記録が間違っているか、または指定された新規パスワードが新規パスワードとして受け入れられない可能性があります。

## ANR8593E (HP-UX) • ANR8594I (AIX)

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーで鍵リング・ファイルの新規パスワードを生成するには、DELETE KEYRING コマンドを発行し、次にサーバーを停止してから再始動してください。事前に第三者機関の証明書が鍵リング・ファイルにインポートされていた場合は、これらの証明書を再インポートする必要があります。

---

### ANR8593E (HP-UX) 鍵リング・ファイルのパスワードの更新に失敗しました。

説明: 鍵リング・ファイルのパスワードを変更するために、SET SSLKEYRINGPW password UPDATEPW=YES コマンドが発行されました。サーバーは鍵リング・ファイルのパスワードを、指定された新規パスワードに変更できませんでした。サーバーのパスワードの記録が間違っているか、または指定された新規パスワードが新規パスワードとして受け入れられない可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーで鍵リング・ファイルの新規パスワードを生成するには、DELETE KEYRING コマンドを発行し、次にサーバーを停止してから再始動してください。事前に第三者機関の証明書が鍵リング・ファイルにインポートされていた場合は、これらの証明書を再インポートする必要があります。

---

### ANR8593E (Linux) 鍵リング・ファイルのパスワードの更新に失敗しました。

説明: 鍵リング・ファイルのパスワードを変更するために、SET SSLKEYRINGPW password UPDATEPW=YES コマンドが発行されました。サーバーは鍵リング・ファイルのパスワードを、指定された新規パスワードに変更できませんでした。サーバーのパスワードの記録が間違っているか、または指定された新規パスワードが新規パスワードとして受け入れられない可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーで鍵リング・ファイルの新規パスワードを生成するには、DELETE KEYRING コマンドを発行し、次にサーバーを停止してから再始動してください。事前に第三者機関の証明書が鍵リング・ファイルにインポートされていた場合は、これらの証明書を再インポートする必要があります。

---

### ANR8593E (Solaris) 鍵リング・ファイルのパスワードの更新に失敗しました。

説明: 鍵リング・ファイルのパスワードを変更するために、SET SSLKEYRINGPW password UPDATEPW=YES コマンドが発行されました。サーバーは鍵リング・ファイルのパスワードを、指定された新規パスワードに変更できませんでした。サーバーのパスワードの記録が間違っているか、または指定された新規パスワードが新規パスワードとして受け入れられない可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーで鍵リング・ファイルの新規パスワードを生成するには、DELETE KEYRING コマンドを発行し、次にサーバーを停止してから再始動してください。事前に第三者機関の証明書が鍵リング・ファイルにインポートされていた場合は、これらの証明書を再インポートする必要があります。

---

### ANR8593E (Windows) 鍵リング・ファイルのパスワードの更新に失敗しました。

説明: 鍵リング・ファイルのパスワードを変更するために、SET SSLKEYRINGPW password UPDATEPW=YES コマンドが発行されました。サーバーは鍵リング・ファイルのパスワードを、指定された新規パスワードに変更できませんでした。サーバーのパスワードの記録が間違っているか、または指定された新規パスワードが新規パスワードとして受け入れられない可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーで鍵リング・ファイルの新規パスワードを生成するには、DELETE KEYRING コマンドを発行し、次にサーバーを停止してから再始動してください。事前に第三者機関の証明書が鍵リング・ファイルにインポートされていた場合は、これらの証明書を再インポートする必要があります。

---

### ANR8594I (AIX) アドレス *session* へのセッションは、SSL バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、指示されたアドレスへのアウトバウンド SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし



---

**ANR8594I (HP-UX)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、指示されたアドレスへのアウトバウンド SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8594I (Linux)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、指示されたアドレスへのアウトバウンド SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8594I (Solaris)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、指示されたアドレスへのアウトバウンド SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8594I (Windows)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョンおよび暗号仕様を使用して、指示されたアドレスへのアウトバウンド SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: なし

---

**ANR8595I (AIX)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、指示されたアドレスへの SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8595I (HP-UX)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、指示されたアドレスへの SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8595I (Linux)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、指示されたアドレスへの SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8595I (Solaris)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、指示されたアドレスへの SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8595I (Windows)** アドレス *session* へのセッションは、**SSL** バージョン *SSL version*、暗号仕様 *cipher specification*、証明書のシリアル番号 *certificate serial number* を使用しています。

説明: リストされた SSL バージョン、暗号仕様、および証明書のシリアル番号を使用して、指示されたアドレスへの SSL 接続が確立されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8596E (AIX)** アドレス *address* のサーバーの証明書 ID を検証できませんでした。

説明: サーバーは、証明書 ID を検証できなかったため、指定されたアドレスのサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。検証ができないのは、証明書の所有権情報がドメイン名または IP アドレスと一致しない場合です。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: サーバーのドメイン名または IP アドレス (DEFINE SERVER コマンドの HLADDRESS パラメーター) が正しいことを確認してください。自己署名証明書を使用している場合、DEFINE SERVER コマンドで指定されているのと同じアドレスのサーバーで証明書が作成されたことを確認してください。

---

**ANR8596E (HP-UX)** 証明書 ID を検証できませんでした。

説明: サーバーは、証明書 ID を検証できなかったため、アドレス *address* のサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。検証ができないのは、証明書の所有権情報がドメイン名または IP アドレスと一致しない場合です。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: サーバーのドメイン名または IP アドレス (DEFINE SERVER コマンドの HLADDRESS パラメーター) が正しいことを確認してください。自己署名証明書を使用している場合、DEFINE SERVER コマンドで指定されているのと同じアドレスのサーバーで証明書が作成されたことを確認してください。

---

**ANR8596E (Linux)** アドレス *address* のサーバーの証明書 ID を検証できませんでした。

説明: サーバーは、証明書 ID を検証できなかったため、指定されたアドレスのサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。検証ができないのは、証明書の所有権情報がドメイン名または IP アドレスと一致しない場合です。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: サーバーのドメイン名または IP アドレス (DEFINE SERVER コマンドの HLADDRESS パラメーター) が正しいことを確認してください。自己署名証明書を使用している場合、DEFINE SERVER コマンドで指定されているのと同じアドレスのサーバーで証明書が作成されたことを確認してください。

---

**ANR8596E (Solaris)** 証明書 ID を検証できませんでした。

説明: サーバーは、証明書 ID を検証できなかったため、アドレス *address* のサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。検証ができないのは、証明書の所有権情報がドメイン名または IP アドレスと一致しない場合です。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: サーバーのドメイン名または IP アドレス (DEFINE SERVER コマンドの HLADDRESS パラメーター) が正しいことを確認してください。自己署名証明書を使用している場合、DEFINE SERVER コマンドで指定されているのと同じアドレスのサーバーで証明書が作成されたことを確認してください。

---

**ANR8596E (Windows)** アドレス *address* のサーバーの証明書 ID を検証できませんでした。

説明: サーバーは、証明書 ID を検証できなかったため、指定されたアドレスのサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。検証ができないのは、証明書の所有権情報がドメイン名または IP アドレスと一致しない場合です。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: サーバーのドメイン名または IP アドレス (DEFINE SERVER コマンドの HLADDRESS パラメーター) が正しいことを確認してください。自己署名証明書を使用している場合、DEFINE SERVER コマンドで指定されているのと同じアドレスのサーバーで証明書が作成されたことを確認してください。

---

**ANR8597E (AIX)** アドレス *address* のサーバーへの接続のための証明書情報を取得できませんでした。

説明: サーバーは、指定されたアドレスのサーバーへの SSL 接続のための証明書情報を取得できませんでした。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの証明書がこのサーバーの鍵リング・ファイルにインポートされたことを確認します。第三者機関の証明書を使用している場合、Firefox などのブラウザでターゲット・サーバーの SSL ポートへのセッションを使用してそれをテストすることができます。

---

**ANR8597E (HP-UX)** 証明書情報を取得できませんでした。

説明: サーバーは、アドレス *address* のサーバーへの SSL 接続のための証明書情報を取得できませんでした。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの証明書がこのサーバーの鍵リング・ファイルにインポートされたことを確認します。第三者機関の証明書を使用している場合、Firefox などのブラウザでターゲット・サーバーの SSL ポートへのセッションを使用してそれをテストすることができます。

---

**ANR8597E (Linux)** アドレス *address* のサーバーへの接続のための証明書情報を取得できませんでした。

説明: サーバーは、指定されたアドレスのサーバーへの SSL 接続のための証明書情報を取得できませんでした。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの証明書がこのサーバーの鍵リング・ファイルにインポートされたことを確認します。第三者機関の証明書を使用している場合、Firefox などのブラウザでターゲット・サーバーの SSL ポートへのセッションを使用してそれをテストすることができます。

---

**ANR8597E (Solaris)** 証明書情報を取得できませんでした。

説明: サーバーは、アドレス *address* のサーバーへの SSL 接続のための証明書情報を取得できませんでした。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの証明書がこのサーバーの鍵リング・ファイルにインポートされたことを確認します。第三者機関の証明書を使用している場合、Firefox などのブラウザでターゲット・サーバーの SSL ポートへのセッションを使用してそれをテストすることができます。

---

**ANR8597E (Windows)** アドレス *address* のサーバーへの接続のための証明書情報を取得できませんでした。

説明: サーバーは、指定されたアドレスのサーバーへの SSL 接続のための証明書情報を取得できませんでした。

システムの処置: セッションは終了します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの証明書がこのサーバーの鍵リング・ファイルにインポートされたことを確認します。第三者機関の証明書を使用している場

合、Firefox などのブラウザでターゲット・サーバーの SSL ポートへのセッションを使用してそれをテストすることができます。

---

**ANR8598I (AIX)** アウトバウンド SSL サービスがロードされました。

説明: サーバーはノード複製中にサーバーから他のサーバーに対して SSL セッションを実行することができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。サーバーは SSL を使用して他のサーバーと通信できます。サーバーの始動前に、サーバーの鍵リング・ファイル (cert.kdb) に証明書をロードする必要があります。

---

**ANR8598I (HP-UX)** アウトバウンド SSL サービスがロードされました。

説明: サーバーはノード複製中にサーバーから他のサーバーに対して SSL セッションを実行することができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。サーバーは SSL を使用して他のサーバーと通信できます。サーバーの始動前に、サーバーの鍵リング・ファイル (cert.kdb) に証明書をロードする必要があります。

---

**ANR8598I (Linux)** アウトバウンド SSL サービスがロードされました。

説明: サーバーはノード複製中にサーバーから他のサーバーに対して SSL セッションを実行することができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。サーバーは SSL を使用して他のサーバーと通信できます。サーバーの始動前に、サーバーの鍵リング・ファイル (cert.kdb) に証明書をロードする必要があります。

---

**ANR8598I (Solaris)** アウトバウンド SSL サービスがロードされました。

説明: サーバーはノード複製中にサーバーから他のサーバーに対して SSL セッションを実行することができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。サーバーは SSL を使用して他のサーバーと通信できます。サーバーの始動前に、サーバーの鍵リング・ファイル (cert.kdb) に証明書

をロードする必要があります。

---

**ANR8598I (Windows)** アウトバウンド SSL サービスがロードされました。

説明: サーバーはノード複製中にサーバーから他のサーバーに対して SSL セッションを実行することができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。サーバーは SSL を使用して他のサーバーと通信できます。サーバーの始動前に、サーバーの鍵リング・ファイル (cert.kdb) に証明書をロードする必要があります。

---

**ANR8675E (AIX)** *File name*: ファイルはファイル出口またはファイル・テキスト出口用に既に存在しています。

説明: 指定されたファイルは既に存在していて、ファイル出口オプションは PRESERVE に設定されています。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 存在していないファイルを指定してください。

---

**ANR8675E (HP-UX)** *File name with environment variable DSMSEV\_DIR*: ファイルはファイル出口またはファイル・テキスト出口用に既に存在しています。

説明: 指定されたファイルは既に存在していて、ファイル出口オプションは PRESERVE に設定されています。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 存在していないファイルを指定してください。

---

**ANR8675E (Linux)** *File name with environment variable DSMSEV\_DIR*: ファイルは **File/FileText** 出口に既に存在し、上書きオプションが「YES」に設定されています。

説明: 指定されたファイルは既に存在していて、上書きオプションが「YES」に設定されていませんでした。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 別のファイルを指定するか、あるいはサーバー・オプション・ファイルで、上書きオプションを「YES」に設定してください。

---

**ANR8675E (Solaris)** *File name with environment variable DSMSEV\_DIR*: ファイルは **File/FileText** 出口に既に存在し、上書きオプションが「YES」に設定されていません。

説明: 指定されたファイルは既に存在していて、上書きオプションが「YES」に設定されていませんでした。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 別のファイルを指定するか、あるいはサーバー・オプション・ファイルで、上書きオプションを「YES」に設定してください。

---

**ANR8675E (Windows)** *File name with path within registry*: ファイルはファイル出口またはファイル・テキスト出口用に既に存在しています。

説明: 指定したファイルは既に存在していて、File/FileText 出口オプションが PRESERVE に設定されました。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 存在していないファイルを指定してください。

---

**ANR8677E (AIX)** *User specified module*: サーバーにロードできません。AIX システム・エラー番号 *number*。

説明: サーバーは指定されたモジュールをロードできませんでした。このモジュールは、正しく C コンパイルされて動的モジュールにリンクされていません。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: サーバー提供のサンプル makefile およびエクスポート・ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールをコンパイル/リンクしてください。

export.ref ファイルにサーバー定義の機能名が入っていること、およびモジュールに実際にサーバー定義の機能名が入っていて 1 つの void パラメーターが宣言されていることを確認してください。

---

**ANR8677E (HP-UX)** *User specified module, with environment variable DSMSEV\_DIR*: サーバーにロードできません。システム・エラー番号 = *Error number generated by HP-UX*。

説明: サーバーは指定されたモジュールをロードできませんでした。このモジュールは、正しく C コンパイル

されて動的モジュールにリンクされていません。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: サーバー提供のサンプル `makefile` およびエクスポート・ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールをコンパイル/リンクしてください。

`export.ref` ファイルにサーバー定義の機能名が入っていること、およびモジュールに実際にサーバー定義の機能名が入っていて 1 つの `void` パラメーターが宣言されていることを確認してください。

---

**ANR8677E (Linux)** *User specified module, with environment variable DSMSERV\_DIR:* サーバーにロードすることができません。システム・エラー番号 = Error number generated by Solaris。

説明: サーバーは指定されたモジュールをロードできませんでした。このモジュールは、正しく C コンパイルされて動的モジュールにリンクされていません。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 提供されているサンプル `makefile`、`c`、および `h` ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールを生成してください。モジュールに製品定義機能名 `adsmV3UserExit` が入っていることを確認し、モジュールには実際に 1 つの `void *` パラメーターを宣言した製品定義機能名が入っていて `void` が戻されることを確認してください。

---

**ANR8677E (Solaris)** *User specified module, with environment variable DSMSERV\_DIR:* サーバーにロードすることができません。システム・エラー番号 = Error number generated by Solaris。

説明: サーバーは指定されたモジュールをロードできませんでした。このモジュールは、正しく C コンパイルされて動的モジュールにリンクされていません。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: サーバー提供のサンプル `makefile`、`c`、および `h` ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールを生成してください。モジュールにサーバー定義機能名 `adsmV3UserExit` が入っていることを確認し、モジュールには実際に 1 つの `void *` パラメーターを宣言したサーバー定義機能名が入っていて `void` が戻されることを確認してください。

---

**ANR8677E (Windows)** *User specified module, with path within registry:* サーバーにロードすることができません。システム・エラー番号 = Error number generated by Windows。

説明: サーバーは指定されたモジュールをロードできませんでした。このモジュールは、正しく C コンパイルされて動的モジュールにリンクされていません。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: サーバー提供サンプル `makefile` を使って、ユーザー出口モジュールをコンパイル、およびリンクします。

---

**ANR8678E (AIX)** *User specified module* をサーバーにバインドできません。AIX システム・エラー number。

説明: サーバーが指定されたモジュールをバインドできませんでした。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: サーバー提供のサンプル `makefile` およびエクスポート・ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールをコンパイル/リンクしてください。

`export.ref` ファイルにサーバー定義の機能名が入っていること、およびモジュールに実際にサーバー定義の機能名が入っていて 1 つの `void` パラメーターが宣言されていることを確認してください。サーバーの変数名と矛盾するグローバル変数名がモジュールに入っている可能性があります。

---

**ANR8678E (HP-UX)** サーバーに *User specified module, with environment variable DSMSERV\_DIR* をバインドできません。システム・エラー番号 = Error number generated by HP-UX。

説明: サーバーが指定されたモジュールをバインドできませんでした。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: サーバー提供のサンプル `makefile` およびエクスポート・ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールをコンパイル/リンクしてください。

`export.ref` ファイルにサーバー定義の機能名が入っていること、およびモジュールに実際にサーバー定義の機能名が入っていて 1 つの `void` パラメーターが宣言されていることを確認してください。サーバーの変数名と矛

## ANR8678E (Linux) • ANR8679W (Solaris)

盾するグローバル変数名がモジュールに入っている可能性があります。

---

**ANR8678E (Linux)** サーバーに *User specified module, with environment variable DSMSEV\_DIR* をバインドできません。システム・エラー番号 = *Error number generated by Solaris*。

説明: サーバーが指定されたモジュールをバインドできませんでした。このサーバーは、モジュール内で *adsmV3UserExit* という名前の関数を見つけることができませんでした。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 提供されているサンプル *makefile*、*c*、およびヘッダー・ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールを作成してください。共有ライブラリー・モジュールに、*void* 型で *void \** パラメーターが 1 つ指定されている *adsmV3UserExit* という名前の関数が含まれていることを確認してください。

---

**ANR8678E (Solaris)** サーバーに *User specified module, with environment variable DSMSEV\_DIR* をバインドできません。システム・エラー番号 = *Error number generated by Solaris*。

説明: サーバーが指定されたモジュールをバインドできませんでした。このサーバーは、モジュール内で *adsmV3UserExit* という名前の関数を見つけることができませんでした。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: サーバー提供のサンプル *makefile*、*c*、およびヘッダー・ファイルを使用して、ユーザー出口モジュールを作成してください。共有ライブラリー・モジュールに、*void* 型で *void \** パラメーターが 1 つ指定されている *adsmV3UserExit* という名前の関数が含まれていることを確認してください。

---

**ANR8678E (Windows)** *User specified DLL library name, with registry path* で *User specified function name within DLL* を検出/設定することができません。システム・エラー番号 = *Error number generated by Windows*。

説明: サーバーが指定した *DLL* で機能名を検出またはバインドあるいはその両方ができません。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: サーバー提供のサンプル *makefile* を

使用して、ユーザー出口モジュールをコンパイル/リンクしてください。サーバー・オプション・ファイルで指定されたとおりの機能名が *DLL* にあることを確認してください。その機能が 1 つの引数であるポイド・ポインターだけを受け入れることを確認してください。

---

**ANR8679W (AIX)** ユーザー出口モジュールが既にロードされています。

説明: ユーザー出口モジュールが前にロードされました。別のユーザー出口モジュールはロードできません。

システムの処置: サーバーの初期化を停止するか、あるいは既にアップした場合には、サーバーは実行を続行します。

ユーザーの処置: 新規のユーザー出口モジュールをロードするためには、サーバーを停止してから、新規のユーザー出口モジュールを指定してそのサーバーを再始動してください。

---

**ANR8679W (HP-UX)** 既にユーザー出口がロードされています。

説明: 以前に正常にロードされたユーザー出口モジュールがあるので、サーバーは別のユーザー出口モジュールをロードすることができません。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: 新規ユーザー出口モジュールをロードするには、サーバーを停止してから、新規ユーザー出口モジュールを指定してそのサーバーを再始動する必要があります。

---

**ANR8679W (Linux)** ユーザー出口モジュールをアンロードすることができません。システム・エラー番号 = *Error number generated by Solaris*。

説明: サーバーは、ユーザー出口モジュールをアンロードできませんでした。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: ユーザー出口を再活動化する前に、サーバーはできるだけ早く停止する必要があります。

---

**ANR8679W (Solaris)** ユーザー出口モジュールをアンロードすることができません。システム・エラー番号 = *Error number generated by Solaris*。

説明: サーバーは、ユーザー出口モジュールをアンロードできませんでした。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: ユーザー出口を再活動化する前に、サーバーはできるだけ早く停止する必要があります。

---

**ANR8679W (Windows)** 既にユーザー出口がロードされています。

説明: 以前に正常にロードされたユーザー出口モジュールがあるので、サーバーは別のユーザー出口モジュールをロードすることができません。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 新規のユーザー出口モジュールをロードするためには、サーバーを停止してから、新規のユーザー出口モジュールを指定してそのサーバーを再始動してください。

---

**ANR8680W (AIX)** ファイル出口またはファイル・テキスト出口に使用されたファイルが既にオープンされています。

説明: ファイル出口またはファイル・テキスト出口用のファイルが前にオープンされています。サーバーが別の出口をオープンすることはできません。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: ファイル出口またはファイル・テキスト出口用の新規ファイルを開始するには、サーバーを停止して、新しいファイル名でサーバーを再始動してください。

---

**ANR8680W (HP-UX)** **file** または **filetext** 出口に使用されたファイルが既に存在しています。

説明: ファイル出口またはファイル・テキスト出口用に前にオープンされたファイルがあります。サーバーが別の出口をオープンすることはできません。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: **file** または **filetext** 出口用の新規ファイルを開始するためには、サーバーを停止してから、新規のファイル名を指定してそのサーバーを再始動してください。

---

**ANR8680W (Linux)** **file** または **filetext** 出口に使用されたファイルが既に存在しています。

説明: ファイル出口またはファイル・テキスト出口用に前にオープンされたファイルがあります。サーバーが別の出口をオープンすることはできません。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、ある

いは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: 出口用の新規ファイルを開始するためには、サーバーを停止してから、新規のファイル名を指定してそのサーバーを再始動してください。

---

**ANR8680W (Solaris)** **file** または **filetext** 出口に使用された名前付きのファイルが既に存在しています。

説明: ファイル出口またはファイル・テキスト出口用に前にオープンされたファイルがあります。サーバーが別の出口をオープンすることはできません。

システムの処置: サーバーは初期化を停止するか、あるいは既に始動されている場合には実行を継続します。

ユーザーの処置: **file** または **filetext** 出口用の新規ファイルを開始するためには、サーバーを停止してから、新規のファイル名を指定してそのサーバーを再始動してください。

---

**ANR8680W (Windows)** **file** または **filetext** 出口に使用されたファイルが既に存在しています。

説明: ファイル出口またはファイル・テキスト出口用に前にオープンされたファイルがあります。サーバーが別の出口をオープンすることはできません。

システムの処置: サーバーは稼働を続けます。

ユーザーの処置: 出口用の新規ファイルを開始するためには、サーバーを停止してから、新規のファイル名を指定してそのサーバーを再始動してください。

---

**ANR8681I (AIX)** ポート *port* で *node name* の **Tivoli** イベント・サーバーに接続しました。

説明: サーバーは、指定された *node name* および *port* で **Tivoli** イベント・サーバーとの接続を正常に確立しました。

システムの処置: サーバーは、この接続を使用して **Tivoli** イベント・サーバーにイベントを送信します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8681I (HP-UX)** ポート *port* で *node name* の **Tivoli** イベント・サーバーに接続しました。

説明: サーバーは、指定された *node name* および *port* で **Tivoli** イベント・サーバーとの接続を正常に確立しました。

システムの処置: サーバーは、この接続を使用して **Tivoli** イベント・サーバーにイベントを送信します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8681I (Linux)** ポート *port* で *node name* の **Tivoli** イベント・サーバーに接続しました。

説明: サーバーは、指定された *node name* および *port* で Tivoli イベント・サーバーとの接続を正常に確立しました。

システムの処置: サーバーは、この接続を使用して Tivoli イベント・サーバーにイベントを送信します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8681I (Solaris)** ポート *port* で *node name* の **Tivoli** イベント・サーバーに接続しました。

説明: サーバーは、指定された *node name* および *port* で Tivoli イベント・サーバーとの接続を正常に確立しました。

システムの処置: サーバーは、この接続を使用して Tivoli イベント・サーバーにイベントを送信します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8681I (Windows)** ポート *port* で *node name* の **Tivoli** イベント・サーバーに接続しました。

説明: サーバーは、指定された *node name* および *port* で Tivoli イベント・サーバーとの接続を正常に確立しました。

システムの処置: サーバーは、この接続を使用して Tivoli イベント・サーバーにイベントを送信します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8682E (AIX)** ノード *node name* 上の **Tivoli** イベント・サーバーのポートを判別できません。

説明: サーバーは、ノード *node name* 上の Tivoli イベント・サーバー用の TCP/IP ポートを判別できませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合は、サーバー・オプション・ファイルに TECPORT が指定されていることを確認してください。

---

**ANR8682E (HP-UX)** *node name* 上の **Tivoli** イベント・サーバーのポートを判別できません。

説明: サーバーは、*node name* 上の Tivoli イベント・サーバーが listen している TCP/IP ポートを判別することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合は、サーバー・オプション・ファイルに TECPORT が指定されていることを確認してください。

---

**ANR8682E (Linux)** *node name* 上の **Tivoli** イベント・サーバーのポートを判別できません。

説明: サーバーは、*node name* 上の Tivoli イベント・サーバーが listen している TCP/IP ポートを判別することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合は、サーバー・オプション・ファイルに TECPORT が指定されていることを確認してください。

---

**ANR8682E (Solaris)** *node name* 上の **Tivoli** イベント・サーバーのポートを判別できません。

説明: サーバーは、*node name* 上の Tivoli イベント・サーバーが listen している TCP/IP ポートを判別することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合は、サーバー・オプション・ファイルに TECPORT が指定されていることを確認してください。

---

**ANR8682E (Windows)** *node name* 上の **Tivoli** イベント・サーバーのポートを判別できません。

説明: サーバーは、*node name* 上の Tivoli イベント・



サーバーが **listen** している TCP/IP ポートを判別することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。  
イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合には、サーバー・オプション・ファイルの **TECPORT** に指定されていることを確認してください。

---

**ANR8683E (AIX)** ノード *node name* のポート *port* で  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、ノード *node name* のポート *port* で Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。  
イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合には、サーバー・オプション・ファイルの **TECPORT** に指定された値が正しいことを確認してください。

---

**ANR8683E (HP-UX)** ポート *port* で *node name* の  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、ポート *port* で *node name* の Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。  
イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合には、サーバー・オプション・ファイルの **TECPORT** に指定された値が正しいことを確認してください。

---

**ANR8683E (Linux)** ポート *port* で *node name* の  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、ポート *port* で *node name* の Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。  
イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合には、サーバー・オプション・ファイルの **TECPORT** に指定された値が正しいことを確認してください。

---

**ANR8683E (Solaris)** ポート *port* で *node name* の  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、ポート *port* で *node name* の Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。  
イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合には、サーバー・オプション・ファイルの **TECPORT** に指定された値が正しいことを確認してください。

---

**ANR8683E (Windows)** ポート *port* で *node name* の  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、ポート *port* で *node name* の Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置: Tivoli イベント・サーバーが指定したシステムで稼働中であることを確認してください。  
イベント・サーバーが稼働しているシステムが TCP/IP Portmapper をサポートしない場合には、サーバー・オプション・ファイルの **TECPORT** に指定された値が正しいことを確認してください。

---

**ANR8684E (AIX)** TCP/IP が使用可能でないため、  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、TCP/IP サービスが使用可能でないため、Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ログは選択不可能になっています。

## ANR8684E (HP-UX) • ANR8685I (AIX)

ユーザーの処置:

- サーバー・オプション・ファイルに  
COMMETHOD TCPIP が指定されていることを、  
確認してください。
- COMMETHOD TCPIP が指定されている場合には、サーバーの初期化が完了した後で、  
BEGIN  
EVENTLOGGING TIVOLI コマンドを使用して、  
Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ロギング  
を手作業で開始してください。

---

**ANR8684E (HP-UX) TCP/IP** が使用可能でないため、  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、TCP/IP サービスが使用可能でない  
ので、Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を  
確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベ  
ント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置:

- サーバー・オプション・ファイルに  
COMMETHOD=TCPIP が指定されているか、また  
は COMMETHOD=NONE は指定されていないこ  
とを確認してください。
- COMMETHOD=TCPIP が指定されている場合は、  
サーバーの初期化が完了した後で、  
BEGIN  
EVENTLOGGING TIVOLI コマンドを使用して、  
Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ロギング  
を手作業で開始してください。

---

**ANR8684E (Linux) TCP/IP** が使用可能でないため、  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できません。

説明: サーバーは、TCP/IP サービスが使用可能でない  
ので、Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を  
確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベ  
ント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置:

- サーバー・オプション・ファイルに  
COMMETHOD=TCPIP が指定されているか、また  
は COMMETHOD=NONE は指定されていないこ  
とを確認してください。
- COMMETHOD=TCPIP が指定されている場合は、  
サーバーの初期化が完了した後で、  
BEGIN  
EVENTLOGGING TIVOLI コマンドを使用して、  
Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ロギング  
を手作業で開始してください。

---

**ANR8684E (Solaris) TCP/IP** が使用可能でないため、  
**Tivoli** イベント・サーバーに接続できま  
せん。

説明: サーバーは、TCP/IP サービスが使用可能でない  
ので、Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を  
確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベ  
ント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置:

- サーバー・オプション・ファイルに  
COMMETHOD=TCPIP が指定されているか、また  
は COMMETHOD=NONE は指定されていないこ  
とを確認してください。
- COMMETHOD=TCPIP が指定されている場合は、  
サーバーの初期化が完了した後で、  
BEGIN  
EVENTLOGGING TIVOLI コマンドを使用して、  
Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ロギング  
を手作業で開始してください。

---

**ANR8684E (Windows) TCP/IP** が使用可能でないた  
め、**Tivoli** イベント・サーバーに接続で  
きません。

説明: サーバーは、TCP/IP サービスが使用可能でない  
ので、Tivoli イベント・サーバーとの TCP/IP 接続を  
確立することができませんでした。

システムの処置: Tivoli イベント・サーバーへのイベ  
ント・ログは選択不可能になっています。

ユーザーの処置:

- サーバー・オプション・ファイルに  
COMMETHOD=TCPIP が指定されているか、また  
は COMMETHOD=NONE は指定されていないこ  
とを確認してください。
- COMMETHOD=TCPIP が指定されている場合は、  
サーバーの初期化が完了した後で、  
BEGIN  
EVENTLOGGING TIVOLI コマンドを使用して、  
Tivoli イベント・サーバーへのイベント・ロギング  
を手作業で開始してください。

---

**ANR8685I (AIX) コア・ダンプ**をファイル *core dump*  
*file* に生成しています

説明: サーバーは、ユーザー要求の結果として、指定さ  
れたファイルにコア・ダンプの生成を開始しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8686I (AIX)** コア・ダンプが正常に生成されました

説明: サーバーは、要求されたコア・ダンプを正常に生成しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8687E (AIX)** コア・ダンプの生成エラー、エラー番号 *system errno*。

説明: サーバーは、要求されたコア・ダンプを生成できませんでした。エラー番号により、AIX が要求を完了できなかった理由が示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8740W** 自動化ライブラリー・スロットの数 (*slots in use*) がライセンス条項 (*slots licensed*) を超えています。

説明: 自動化ライブラリー内の使用中スロット数がライセンス値を超えています。

システムの処置: 操作は完了します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して自動化ライブラリー内のスロットのライセンス値を更新してもらうか、または、必要に応じて **CHECKOUT LIBVOLUME** コマンドを出して使用中のスロット数を減らしてください。

---

**ANR8741E** **CHECKIN LIBVOLUME** は、現行のライセンス条項では許可されません。

説明: **CHECKIN LIBVOLUME** 操作は、現行ライセンス条項で許可されていないので、使用することができません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して自動化ライブラリー内のスロットのライセンス値を更新してもらうか、または、必要に応じて **CHECKOUT LIBVOLUME** コマンドを出して使用中のスロット数を減らしてください。

---

**ANR8742E** このサーバーは *device type* 装置タイプをサポートするよう、ライセンス交付を受けていません。装置サポート・モジュール *module number* が必要です。

説明: サーバーは必要な装置タイプをサポートするようにライセンス交付を受けていないので、**DEFINE DRIVE**

コマンドまたはボリューム・マウント操作を処理することはできません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、必要な装置タイプのサポートが使用可能になるよう、サーバー・ライセンス条項を更新してもらってください。

---

**ANR8743E** このサーバーはライブラリー *device name* をサポートするよう、ライセンス交付を受けていません。装置サポート・モジュール *module number* が必要です。

説明: サーバーは与えられたライブラリーをサポートするように認可されていないので、**DEFINE LIBRARY** コマンド、ボリューム・マウント操作、またはライブラリー初期化を処理できません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、与えられたライブラリー装置のサポートが使用可能になるよう、サーバー・ライセンス条項を更新してもらってください。

---

**ANR8744E** *Command*: 現行ライセンス条項ではこの操作は許可されていません。

説明: 指定されたコマンドは、現行ライセンス条項で許可されていないので、正常に実行されませんでした。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、要求した操作を処理できるように、サーバー・ライセンス条項を更新してもらってください。

---

**ANR8745E** ライブラリー *library name* の **3590** 装置タイプのサポートは、使用不可能になっています。

説明: 指定されたライブラリーでは **3590** 装置タイプのサポートは現在使用可能でないので、要求した操作は正常に実行されません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サーバー・オプション・ファイルに **ENABLE3590LIBRARY** オプションが指定されていること、および **3590** ボリュームのスクラッチ・カテゴリ番号が専用カテゴリまたは **CARTRIDGE** ボリューム・スクラッチ・カテゴリと矛盾していないことを確認してください。

**ANR8746E** このリリースでは、装置タイプ *device type* はサポートされていません。

説明: サーバーのこのリリース/プラットフォームで、指定された装置タイプを使用できません。

システムの処置: 装置を使用することはできません。

ユーザーの処置: サーバーの最新のリリースにアップグレードするには、販売またはサービス担当員に連絡してください。

**ANR8747I** ライブラリー *library name* でボリューム *volume name* をチェックイン中 - **CANCEL PENDING**。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージには、サーバー上における CHECKIN LIBVOLUME プロセスの状況が表示されます。指定のボリュームは、指示されたライブラリーにチェックインされていましたが、別の管理者によってこのプロセスが取り消されました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスの操作はキューに入っています。このプロセスは、キューから取り出されると終了します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8748I** ライブラリー *library name* で検索モードでボリュームをチェックイン中 - **CANCEL PENDING**。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージには、サーバー上における CHECKIN LIBVOLUME プロセスの状況が表示されます。指定のボリュームは、指示されたライブラリーに検索モードでチェックインされていましたが、管理者によってこのプロセスが取り消されました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスの操作は終了中です。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8749E** ライブラリー *library name* でライブラリー順序の順序チェック。

説明: ボリュームをマウントまたは取り外そうとしましたが、次の理由の 1 つによって失敗しました。

- マウントが既に進行中であるか、あるいはボリュームは既にマウントされている。
- マウントは既に保留されている。
- 取り外しは既に保留されている。
- 取り外しが要求されたが、ボリュームがマウントされていない。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このエラーが起こるのは通常、取り外しが失敗しカートリッジがドライブに残っている時です。別のカートリッジを同じドライブに挿入しようとしても、後続のマウントはすべて失敗することになります。ライブラリー・マネージャーを使用してカートリッジを取り外すか、あるいは指定のライブラリーに対して AUDIT LIBRARY 操作を実行してください。操作を再試行してください。

**ANR8750E** ボリュームがライブラリー *library name* で指定した装置タイプと非互換です。

説明: マウントしようとしているカートリッジがドライブと互換性がない (例えば、3590 カートリッジを 3490 ドライブにマウントしようとしている) ので、ボリュームをマウントまたはチェックインしようとしたましたが失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: CHECKIN コマンドの DEVTYPE パラメーターがドライブの装置タイプと一致していることを、確認してください。操作を再試行してください。

**ANR8751W** このサーバーは *device type* 装置タイプをサポートするよう、ライセンス交付を受けていません。管理下のライブラリー・ライセンスが必要です。

説明: このメッセージは、DEFINE DRIVE コマンドまたはボリューム・マウント操作が、サーバー上でライセンス交付を受けていない装置クラスを使用した時に出されます。

システムの処置: これが試行後購入サーバーの場合には、操作は失敗します。購入済みサーバーの場合、このメッセージは、ユーザーが登録されたライセンス条項に準拠していないことを、警告するためのものです。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、必要な装置タイプのサポートが使用可能になるよう、サーバー・ライセンス条項を更新してもらってください。

**ANR8752W** このサーバーはライブラリー *device type* をサポートするよう、ライセンス交付を受けていません。管理下のライブラリー・ライセンスが必要です。

説明: このメッセージは、DEFINE LIBRARY コマンドまたはボリューム・マウント操作が、サーバー上でライセンス交付を受けていない装置クラスを使用した時に出されます。

システムの処置: これが試行後購入サーバーの場合に

は、操作は失敗します。購入済みサーバーの場合、このメッセージは、ユーザーが登録されたライセンス条項に準拠していないことを、警告するためのものです。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、必要な装置タイプのサポートが使用可能になるよう、サーバー・ライセンス条項を更新してもらってください。

---

**ANR8753W** このサーバーはライブラリー *library name* をサポートするよう、ライセンス交付を受けていません。ライブラリー共有が必要です。

説明: このメッセージは、DEFINE LIBRARY コマンド、またはライブラリー共有が必要だが、ライブラリー共有がサーバー上で認可されていないライブラリーのライブラリー初期化で出されます。

システムの処置: これが試行後購入サーバーの場合には、操作は失敗します。購入済みサーバーの場合、このメッセージは、ユーザーが登録されたライセンス条項に準拠していないことを、警告するためのものです。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、必要な装置タイプのサポートが使用可能になるよう、サーバー・ライセンス条項を更新してもらってください。

---

**ANR8754E** *Command:* ライブラリー *library name* を削除する要求が既にあります。

説明: 既にドライブの削除要求があるので、指定されたライブラリーを削除または更新できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8755E** *Command:* ライブラリー *library name* を更新する要求が既にあります。

説明: ライブラリーを更新する要求があるので、指定されたライブラリーを削除できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8756E** 光ディスク・ライブラリーの場合は **CHECKLABEL=YES** を指定してください。

説明: 光ディスク・ライブラリーの場合、CHECKLABEL パラメーターを YES に設定する必要があります。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: CHECKLABEL=YES オプションを指定して、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8757W** このサーバーはライブラリー *device type* をサポートするよう、ライセンス交付を受けていません。Extended Edition ライセンスが必要です。

説明: このメッセージは、DEFINE LIBRARY コマンドまたはボリューム・マウント操作が、サーバー上でライセンス交付を受けていない装置クラスを使用した時に出力されます。

システムの処置: これが試行後購入サーバーの場合には、操作は失敗します。購入済みサーバーの場合、このメッセージは、ユーザーが登録されたライセンス条項に準拠していないことを、警告するためのものです。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、必要な装置タイプのサポートが使用可能になるよう、サーバー・ライセンス条項を更新してもらってください。

---

**ANR8758W** 仮想テープ・ライブラリー *library name* のオンライン・ドライブの数が、ソース *source name* のオンライン・ドライブ・パスの数と一致していません。

説明: ライブラリーのオンライン・ドライブの数が、該当するソースのライブラリー内のドライブへのオンライン・パスと一致しないため、サーバーが有効なパス定義のないドライブを選択する可能性があります。その後、サーバーはマウント操作を再試行し、再試行がマウント・パフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。ただし、このメッセージは、選択されたドライブに有効なオンライン・パスが定義されていない場合にマウントが再試行される可能性があることを示しています。

ユーザーの処置: この問題を解決するには、以下のステップを実行します。1. すべてのドライブ・パス定義を評価してください。2. 該当するソース (ストレージ・エージェントなど) のパス定義が欠落しているすべてのドライブに対して、ドライブ・パスを定義してください。3. すべてのドライブ・パス定義がオンラインであることを確認してください。4. ハードウェアに関する問題でドライブ・パスがオフラインになっている場合は、ハードウェアの問題を解決してから、オンラインに戻すためにパスを更新します。5. SAN 接続磁気テープ装置および NAS 磁気テープ装置が同じライブラリー内に構成されている場合、磁気テープ装置は 2 つのライブラリーに分けてください。各ライブラリーには 1 つのタイプの接続磁気テープ装置のみ含まれるようにしてください。

**ANR8759W** *lib name* ライブラリーの *drive name* ドライブは、*owner name* によって所有されています。

説明: ドライブがライブラリー・クライアントまたはストレージ・エージェントによって所有されている場合、ライブラリー・マネージャーの初期化時に、ライブラリー・マネージャーはドライブのアクセスと作動可能性を検査しません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 共有ライブラリー環境では、磁気テープ・ドライブの所有者が変更される可能性があります。磁気テープ・ドライブがライブラリー・クライアントまたはストレージ・エージェントによって所有されている場合、ライブラリー・マネージャーは磁気テープ・ドライブにアクセスできません。例えば、ライブラリー・クライアントまたはストレージ・エージェントが磁気テープ・ドライブを所有していて、ライブラリー・マネージャーが停止したか応答に失敗した場合、始動時にライブラリー・マネージャーはドライブを所有するライブラリー・クライアントまたはストレージ・エージェントを記憶しており、このドライブの処理をスキップします。ライブラリー・クライアントまたはストレージ・エージェントがライブラリー・マネージャーと同期しておらず、ドライブを所有しているという記録が存在しない場合、ドライブが使用不能になる可能性があります。この場合は、ライブラリー・クライアントまたはストレージ・エージェントのホスト・マシンからドライブの予約をリセットする必要があることがあります。

**ANR8760I** 取り消し処理が進行中

説明: MOVE MEDIA コマンドは取り消され、リソースがバックグラウンド・プロセス用に解放されると終了します。このメッセージは、MOVE MEDIA コマンドのための QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8761I** 処理されたボリュームの数: *number*

説明: MOVE MEDIA が表示されたボリューム数を処理しました。このメッセージは、MOVE MEDIA コマンドのための QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8762E** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* は、暗号鍵管理から暗号鍵を取得できませんでした。

説明: 暗号鍵マネージャーは、IBM Spectrum Protect サーバーによって管理されているドライブまたはライブラリーに応答しませんでした。IBM Spectrum Protect は暗号鍵を管理していないため、暗号鍵マネージャー、ドライブ、またはライブラリーに問題があります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 最も有力な原因として、暗号鍵マネージャーの問題が考えられます (例えば、暗号鍵マネージャーとドライブまたはライブラリーとの間でのタイムアウトまたは通信障害)。暗号鍵マネージャーの問題を訂正して、操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、IBM ハードウェア・サポートに連絡してください。

**ANR8763E** *Command*: ボリューム *volume name* は処理されません。ライブラリー *library name* が定義されていません。

説明: 指定されたライブラリーが定義されていないかあるいは削除されているため、示されているボリュームは処理されません。

システムの処置: このボリュームは処理されません。

ユーザーの処置: 別のライブラリー名を使用してコマンドをやり直すか、またはライブラリーを定義してからコマンドをやり直してください。

**ANR8764E** *Command*: ボリューム *volume name* は処理されません。ライブラリー・タイプ *library type* では、この操作は許可されていません。

説明: 指定されたタイプのライブラリーに対して、要求された操作が許可されていないために、示されたボリュームは処理されません。

システムの処置: このボリュームは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8765I** *Request number*: ライブラリー *library name* で使用するために、位置 *location name* に *device type* ボリューム *volume name* が必要です。*time limit* 分以内に **CHECKIN LIBVOLUME** が必要です。

説明: ボリュームに対してマウント要求が出され、そのボリュームはストレージ・プールに定義されていますが、現在示されたライブラリーがチェックアウトされて

いて、示された位置に保管されています。

システムの処置: サーバーは、ボリュームがライブラリーにチェックインされたことを検出するまで、あるいは制限時間が切れるまで、待機します。

ユーザーの処置: 必要なボリュームを指示された位置から獲得し、CHECKIN LIBVOLUME コマンドを出して、それをライブラリーに挿入します。ライブラリーが現在満杯である場合には、CHECKIN LIBVOLUME コマンドの SWAP=YES オプションを使用してください。このプロセスにより、サーバーは、必要なボリュームを入れる場所を作るためにスワップアウトする、適切なボリュームを選択することができます。

---

**ANR8766I** MOVE MEDIA command: ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* に対する CHECKOUT LIBVOLUME command が正常に完了しました。排出されたボリュームを位置 *location name* に入れてください。

説明: 所定のライブラリー中の指示されたボリュームに対して、CHECKOUT LIBVOLUME 命令が正常に完了しました。排出されたボリュームを示された位置に入れてください。

システムの処置: このボリュームは、ライブラリーのインベントリーから削除されているか (その状況が DATA 以外の場合) または存在しないとしてマークされています (その状況が DATA の場合)。

ユーザーの処置: 位置 \*UNKNOWN\* が表示されている場合には、UPDATE STGPOOL OVFLLOCATION コマンドを出して、続く MOVE MEDIA コマンドで使用するオーバーフロー位置名を定義します。位置 \*UNKNOWN\* で排出されたボリュームの場合には、UPDATE VOLUME LOCATION コマンドを使用して、その位置をユーザーのオーバーフロー位置名に更新します。

---

**ANR8767I** 処理されたボリュームの数: *number volumes processed*。チェックアウトのためにライブラリー *library name* に送信されたボリューム数: *number volumes sent*。

説明: MOVE MEDIA コマンドは示された数のボリュームを処理しました。現在、MOVE MEDIA コマンドは示されたボリューム数を示されたライブラリーに処理のために送信しました。このメッセージは、MOVE MEDIA コマンドのための QUERY PROCESS コマンドへの応答で表示される場合があります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8768E** ボリューム *drive name* でファイル *file name* が見つかりませんでした。

説明: サーバーは、示されたファイル名を示されたボリューム上で見つけることができませんでした。取り外し可能ファイル装置クラスの場合、各ボリュームは、ボリューム名と同じファイル名およびボリュームのラベルの値を使用してデータを維持します。

システムの処置: このボリュームは受け入れられません。

ユーザーの処置: 正しいボリュームがドライブに配置されていることを確認してください。FILE 装置クラス・ボリュームからデータをコピーすることによって取り外し可能ファイル装置クラス・ボリュームを作成する場合、メディアにはボリューム名と同じラベルが必要です。ボリュームにコピーするファイルは、ラベルと同じ名前を持つように名前変更する必要があります。

---

**ANR8769E** 外部メディア管理ファンクション *request type* が結果=result を戻しました。

説明: 示されたファンクション・タイプの要求が外部ライブラリー管理プログラムに送られ、これが SUCCESS でない結果コードを戻しました。

システムの処置: サーバーは続行されますが、行おうとしていたサーバーの操作は失敗します。

ユーザーの処置: 外部メディア管理プログラムの資料を調べ、このエラー状態から回復する方法を、決定してください。その後で、サーバーの操作をもう一度行ってください。

---

**ANR8770W** 外部ライブラリー管理 *filespec* をロードできません。

説明: LIBTYPE=EXTERNAL のライブラリーが定義されていますが、サーバーは、外部ライブラリー・マネージャーをロードすることができません。

システムの処置: サーバーは続行しますが、外部ライブラリーにアクセスすることはできません。

ユーザーの処置: DEFINE LIBRARY または UPDATE LIBRARY コマンドで外部ライブラリーの EXTERNALMANAGER パラメーターが正しく指定されていることを確認してください。

---

**ANR8771E** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* が削除されました。外部ライブラリーはサーバーと同期していません。監査が必要です。

説明: サーバーはそのインベントリーからボリュームを

削除し、外部ライブラリー・マネージャーに通知しようとしたが、できませんでした。

システムの処置: サーバーはライブラリーへのアクセスを続行できますが、ボリュームによっては、外部ライブラリーがサーバーと同期化されるまでアクセスできない場合があります。

ユーザーの処置: 外部ライブラリーをサーバーと同期化させるために、外部ライブラリーに対して適切なタイプの処理を実行してください。

**ANR8772I** ボリューム *volume name (if known)* をドライブ *drive name* からライブラリー *library name* のスロット *slot element number* に移動中。

説明: ライブラリーの初期化時にドライブで見つかったボリュームは、スロットへ移動中です。

システムの処置: ボリュームはドライブからスロットへ移動されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8773E** *library type* ライブラリーに対するオプション **CHECKLABEL=NO** および **SEARCH=YES** は非互換です。

説明: バーコード・リーダーがインストールされておらず、サーバーによって検出されない場合には、VTL または SCSI テープ・ライブラリー内の新規ボリュームの検索時に、サーバーはテープ・ラベルを検査する機能が必要とします。CHECKIN LIBVOL コマンドの CHECKLABEL=NO パラメーターと SEARCH=YES パラメーターには、互換性がありません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: CHECKIN LIBVOL コマンドをやり直して、CHECKLABEL=YES を指定してください。

**ANR8774W** ボリューム *volume name* はライブラリー *library name* にチェックインされていますが、カテゴリー *category number* を使用しています。

説明: 所定のライブラリーの DEFINE LIBRARY または AUDIT LIBRARY コマンドの処理中に、ライブラリー (CHECKIN LIBVOL コマンドで) にチェックインされなかったボリュームを、サーバーが見つけたが、これはそのライブラリーが使用していないカテゴリーの 1 つに割り当てられています。

システムの処置: ボリューム・カテゴリーがライブラリー SCRATCHCAT の値と同じ場合には、カテゴリーがライブラリー PRIVATECAT の値に変更されます。こ

れは、スクラッチ・ボリュームが要求された時に、ボリュームのロードからライブラリーを防止するためです。

ユーザーの処置: ボリュームがサーバーによって使用される場合には、再割り当てする必要はありませんが、CHECKIN LIBVOL コマンドでライブラリーにチェックインする必要があります。ボリュームがサーバーによって使用されない場合には、mtlib プログラムを使用して、ボリュームを正しいカテゴリーに再割り当てします。mtlib プログラムの詳細については、ライブラリー装置とともに提供されている資料を参照してください。

**ANR8775I** ドライブ *drive name* はライブラリー・マネージャーで使用できません。

説明: 指定されたドライブの可用性状況がライブラリー・マネージャーで、使用可能から使用不可能に変更されました。

システムの処置: サーバー上のドライブの状況は、ライブラリー・マネージャーに対する可用性を反映するように更新されます。このドライブは、マウントまたは取り外し要求の候補とは見なされません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、ドライブが使用不可能になった理由を調べてください。サービス担当員が原因を判別して可用性状況をライブラリー管理機能で使用可能に変更すると、サーバーはそのドライブの使用を再開します。

**ANR8776W** ドライブ *drive name* のボリューム *volume name* には、破損した VCR データがあります。パフォーマンスが低下する可能性があります。

説明: ドライブ中のカートリッジの重要カートリッジ・レコードが失われたか、あるいは破壊されています。この結果、ドライブが迅速にカートリッジ上のファイル位置を見つけることができず、読み取りまたは付加操作の位置付けパフォーマンスが低下します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: VCR データのリストア方法には次の 2 つがあります。最初の方法は、MOVE DATA コマンドを使用し、テープからデータを移動し、テープをスクラッチまたは空の状況にします。空のテープをテープの始めから再書き込みすると、VCR データが再構築されます。2 番目の方法は、テープをロードして直接データの終わりに位置付けすることによって VCR を再構築します。これは、通常の使用で新規データがテープの終わりに付加される時に、サーバーによって行われます。また、サーバーとは別にテープを未使用のドライブにロードし、tapeutil プログラムを使っても行うこ



とができます。 `tapeutil` オプション「データの終わりにスペース」を選択してください。

---

**ANR8777E** ボリューム *volume name* のマウントが失敗しました。メディアのパフォーマンスが低下します。

説明: ボリュームの VCR データが失われているか、あるいは破壊されていて、その結果としてテープの位置決め効率が低下します。磁気テープ装置が、この条件を指示するためにマウントに失敗するよう構成されているために、このマウントが失敗しました。

システムの処置: クライアント・コマンドが失敗し、トランザクションがロールバックされます。

ユーザーの処置: VCR データがリストアされるまで、ユーザーは `UPDATE VOLUME` コマンドを出して、このボリュームを選択不可能にすることができます。

VCR データのリストア方法には次の 2 つがあります。最初の方法は、`MOVE DATA` コマンドを使用し、テープからデータを移動し、テープをスクラッチまたは空の状況にします。空のテープをテープの始めから再書き込みすると、VCR データが再構築されます。2 番目の方法は、テープをロードして直接データの終わりに位置付けすることによって VCR を再構築します。これは、通常の使用でデータがテープの終わりに付加される時に、サーバーによって行われます。また、サーバーとは別にテープを未使用のドライブにロードし、`tapeutil` プログラムを使っても行うことができます。`tapeutil` オプション「データの終わりにスペース」を選択してください。

---

**ANR8778W** 再アクセスを防止するために、スクラッチ・ボリューム *volume name* がプライベート状況に変更されました。

説明: マウント処理中に、スクラッチ・ボリュームで使用できないエラーが起きました。このボリュームは今後のスクラッチ・マウントに選択されないよう、プライベートの状況に変更されました。(状況はプライベートになりますが、これはストレージ・プールに対しては定義されません。)

システムの処置: 別のスクラッチ・ボリュームから処理が続行されます。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを参照して、マウント障害の原因を調べ、問題を訂正してください。問題がボリューム・ラベルの間違いまたはラベル読み取り不能の場合には、`-overwrite` オプションを指定した `dsmlabel` ユーティリティを使用してスクラッチ・ボリュームに、再ラベル付けしてください。このボリュームがそのホーム・スロットから欠落している場合には、ライブラリーに対して再び `AUDIT LIBRARY` コマ

ンドを出してください。ボリュームの VCR データが失われているか、あるいは破壊されている場合には、ボリュームを再ラベル付けしてください。(これは、テープの始めからボリュームに書き込むことによって VCR データを再初期化します。) 問題が訂正されてから、`UPDATE LIBVOL` コマンドを使用して、ボリュームの状況をスクラッチに更新します。

---

**ANR8779E** ドライブ *drive name* をオープンできません。エラー番号=*errno value from open system call*。

説明: サーバーがドライブをオープンできません。UNIX および Linux システムでは、エラー番号は、オペレーティング・システムによって返されたエラー番号の値です。Windows では、エラー番号は Windows エラー・メッセージ番号です。

システムの処置: このドライブを必要とするトランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システム資料とエラー番号を一緒に使って、原因の範囲を狭めてください。ドライブを検査してください。ドライブの電源が入っていて作動可能であること、ケーブルが正しく接続されていて終端処理されていること、および装置がオペレーティング・システムに対して正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8780E** ドライブ *drive name* のボリュームにはラベルがありません。

説明: 指示されたドライブのボリュームにはラベルがありません。このサーバーでは、すべてのメディアが固有にラベル付けされている必要があります。

システムの処置: このボリュームは拒否され、サーバーが新しいボリュームを求めるプロンプトを出します。

ユーザーの処置: 適切なラベル付けユーティリティを使用して、メディアにラベルを付けてください。

Windows NT では、`LABEL` コマンドを使用して、取り外し可能ディスク・カートリッジ、ディスクセット、およびドライブ名として示されるその他のメディアにラベルを付けます。

---

**ANR8781E** ドライブ *drive name* のボリュームに無効なラベル *label* があります。

説明: 指示されたドライブのボリュームは、示されたラベルを持っています。この名前は、サーバーの要件に適合していません。このサーバーでは、すべてのメディアが固有にラベル付けされ、取り外し可能メディアの場合には、ラベルがファイル命名規則に従っている必要があります。見つかったラベルが、取り外し可能メデ

アの最大ラベル・サイズを超えているか、あるいはサーバーのラベル付け要件に適用していません。ラベルに?????が表示されている場合には、サーバーがそのラベルを読み取れないことを示しています。ラベルに?????が表示されている場合には、サーバーがそのラベルを読み取れないことを示しています。

システムの処置: このボリュームは受け入れられません。

ユーザーの処置: 適切なラベル付けユーティリティを使用して、メディアにラベルを付けてください。

Windows NT では、LABEL コマンドを使用して、取り外し可能ディスク・カートリッジ、ディスケット、およびドライブ名として示されるその他のメディアにラベルを付けます。このラベルはサーバーの要件にも適用していなければなりません。

---

**ANR8782E** ボリューム *volume name* はライブラリー *library name* によってアクセスできませんでした。

説明: 指定されたボリュームは、ライブラリー・マネージャーのインベントリーに入っていますが、物理的な位置がアクセス不能であるか、あるいは不明です。

システムの処置: 操作は失敗します。ボリュームのアクセス・モードが UNAVAILABLE に変更されます。

ユーザーの処置: そのカートリッジが物理的にライブラリー中にあることを確認して、ライブラリーのインベントリーを再作成してください。ボリュームの位置が解決された場合には、UPDATE VOLUME コマンドを使用して、ボリュームのアクセス・モードを前の値にリストアしてください。

---

**ANR8783E** ドライブ *drive name* のボリューム上のラベルを読み取ることができません。

説明: サーバーは示されているドライブのラベルを読み取ることができませんでした。

システムの処置: このボリュームは受け入れられません。

ユーザーの処置: 適切なラベル付けユーティリティを使用して、メディアにラベルを付けてください。

Windows NT では、LABEL コマンドを使用して、取り外し可能ディスク・カートリッジ、ディスケット、およびドライブ名として示されるその他のメディアにラベルを付けます。このラベルはサーバーの要件にも適用していなければなりません。

---

**ANR8784E** ボリューム *drive name* でファイル *file name* を作成できませんでした。

説明: サーバーは示されているボリュームの示されたファイルを作成できませんでした。サーバーは、データを保管する取り外し可能メディアにファイルを作成します。

システムの処置: このボリュームは受け入れられません。

ユーザーの処置: メディアに欠陥がなく、正しくフォーマットされていることを確認してください。ファイル・システムのルートに、既に多数のファイルがないことを確認してください。ファイル・システムによっては、ルート・ディレクトリーに作成できるファイル数に、制限がある場合があります。

---

**ANR8785E** *device type* ボリューム *volume name* のファイル・システムにスペースがありません。

説明: サーバーが、示されたボリュームのファイル・システムでスペース切れ条件を検出しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 増えるボリュームを入れるために、ファイル・システムを拡張する必要があります。

---

**ANR8786I** *Request number:* 出入り口ポートから *device type* ボリュームから除去します。  
*time limit* 分以内にライブラリー *library name* の出入り口ポートにボリューム *volume name* *mount mode* を挿入してください。作動可能になった時に要求 ID と一緒に 'REPLY' を出してください。

説明: CHECKIN LIBVOLUME コマンドが進行中で、指定されたボリュームが必要です。ただし、指定されたボリュームを指定のライブラリーのポートに入れる前に、出入り口ポートから取り外されるのを待機しているボリュームがあります。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出されるまで、待機します。

ユーザーの処置: ライブラリーからボリュームを取り外して、正しいボリュームを出入り口ポートに挿入してください。要求 ID と一緒に REPLY コマンドを出して、ボリュームを取り外し、新しいボリュームを挿入したことをサーバーに知らせてください。

---

**ANR8787W** ライブラリー *library name* バーコード・ラベルを読み取ることができません。

説明: CHECKLABEL=BARCODE オプションを指定したコマンドが出されました。ライブラリーは、カートリッジに有効なバーコードがあることを検出できません。バーコード・リーダーが使用不可能になっているか、あるいはラベルを読み取ることができません。

システムの処置: コマンドがクリーニング・カートリッジをチェックインしていないかぎり、このプロセスは、そのカートリッジをライブラリーのドライブにロードし、そのテープからラベルを読み取ることによって続行されます。クリーニング・カートリッジには、それをドライブにロードしてチェックできる内部ラベルがありません。

ユーザーの処置: カートリッジ全体をライブラリーのドライブにロードしたくない場合には、プロセスを取り消してください。カートリッジを調べて、バーコード・ラベルがあること、およびそれがバーコード・リーダーと互換性があることを確認してください。すべてのベンダーのラベルが、すべてのライブラリーで読み取り可能とは限りません。必要な場合には、バーコード・リーダーが構成されていて、正しく機能していることを検査してください。

**ANR8788W** ライブラリー *library name* のスロット **ID** *Element number of slot* のカートリッジのバーコードを読み取ることができません。ラベルを読み取るために、ドライブにロード中。

説明: ライブラリー・バーコード・リーダーが、テープ・カートリッジのラベルを読み取ることができません。このカートリッジは、示されたエレメント番号のスロットに入っています。

システムの処置: カートリッジは、ドライブにロードされ、そのラベルがテープから読み取られます。

ユーザーの処置: カートリッジをライブラリーのドライブにロードしたくない場合には、プロセスを取り消してください。カートリッジにバーコード・ラベルがあること、およびこれがバーコード・リーダーと互換性があることを確認してください。すべてのベンダーのラベルが、すべてのライブラリーで読み取り可能とは限りません。必要な場合には、バーコード・リーダーが構成されていて、正しく機能していることを検査してください。

**ANR8789W** エラーのために *device type* ボリューム *volume name* で動的ドライブ回復が試みられています。

説明: ドライブまたはメディアの障害のため、サーバーが新しいドライブにボリュームを移動中です。

システムの処置: ボリュームが再マウントされると、読み取りまたは書き込み操作が再開されます。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8790I** *device type* ボリューム *volume name* が *drive name* に再マウントされました。

説明: ドライブまたはメディアの障害のために、サーバーが指定のドライブにボリュームを移動中です。ボリュームに対して読み取りまたは書き込み操作が再開されます。

システムの処置: ボリュームのラベルが検査されました。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8791E** *device type* ボリューム *volume name* を別のドライブに移動できません。

説明: このボリュームに対して動的ドライブ回復が試みられましたが、ボリュームを別のドライブに移動できませんでした。

システムの処置: 開始中のプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを参照して、DDR 障害の原因を調べ、問題を訂正してください。問題が読み取り不能ラベルによる場合には、ボリューム上のデータの一部が失われることがあります。

**ANR8792E** ドライブ *drive name* に回復不能なドライブの障害があり、ドライブには現在オフラインのマークが付けられています。

説明: このドライブは、障害が反復して起こっているために、障害として判別されました。

システムの処置: このドライブには、オフラインのマークが付けられます。

ユーザーの処置: 障害のドライブにサービスしてください。ドライブを削除し再定義して、オンラインに戻してください。

**ANR8793E** 十分なドライブが使用可能でないために、*device type* ボリューム *volume name* の動的ドライブ回復が失敗しました。

説明: ボリュームを別のドライブに回復するためには、

回復するトランザクションと関連していない、他のドライブが少なくとも 1 つなければなりません。さらに、同時に動的ドライブ回復を実行できるドライブの最大数は、ドライブの数よりも 1 だけ少なくなります。これは、2 つのリカバリー・トランザクションから起こるデッドロックを、防止するためです。これらの基準の 1 つに合致していません。

システムの処置: DDR は実行されず、トランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: トランザクションを再始動してください。

---

**ANR8794E** *device type* ボリューム *volume name* に対する *operation name* 操作の再試行が失敗しました。

説明: ボリュームを別のドライブに正常にマウントした後で、入出力エラーのために再試行しようとした時に、元の操作が操作が失敗しました。

システムの処置: これ以上の回復は実行されず、トランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: トランザクションを再始動してください。

---

**ANR8795I** *device type* ボリューム *volume name* に対する *operation name* 操作の再試行が正常に実行されました。

説明: ボリュームを別のドライブにマウントした後で、入出力エラーによる再試行が、正常に実行されました。

システムの処置: トランザクションは、障害による中断点から続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8796W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* はオンラインになっていません。**UPDATE DRIVE** が必要です。

説明: ライブラリーの初期化中に、ドライブがオフラインに更新されていることをサーバーが見つけました。

システムの処置: ライブラリーは、テープ操作でこのドライブをアクセスできません。

ユーザーの処置: ONLINE=YES オプションを指定した UPDATE DRIVE コマンドを出すことによって、このドライブをオンラインにすることができます。

---

**ANR8797W** *command:* ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* にアクセスできません。

説明: サーバーが上記のドライブを使用できません。これは、次が原因と考えられます。

- このドライブはオープンできません。
- 3494 または区分可能なライブラリーの場合には、ドライブが、ライブラリー管理機能で使えない、別のアプリケーションが使用している、あるいはサーバー使用とラベル付けされていないカートリッジでロードされている可能性があります。

システムの処置: ドライブが一時的にオフラインになっていて、テープ操作に使用されていません。サーバーは、この条件が解消されているかどうかをチェックするために、1/2 分間隔でドライブをポーリングします。再びドライブがアクセス可能になると、ドライブはオンラインになります。

ユーザーの処置: システム・ログに報告されたハードウェア・エラーなど、ドライブがアクセス不能になった理由を調べてください。ドライブに対して必要な訂正があれば、これを実行してください。ポーリング・プロセスで、ドライブがアクセス可能になったことが分かると、ドライブは自動的にオンラインになります。

---

**ANR8798W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* が使用中です。一部のトランザクションが失敗する可能性があります。

説明: オフラインにされているドライブは、オープン・テープ・ボリュームに現在マウントされます。このボリュームを使用するトランザクションに後続のテープ・マウントが必要であり、ドライブを獲得できない場合には、そのトランザクションは失敗することになります。

システムの処置: このテープ・ボリュームが、トランザクションの処理に必要な一連のボリュームの 1 つである場合には、マウントの都度ドライブが使用可能でなければなりません。これは、ライブラリー中の任意のドライブで構いませんが、他のすべてのライブラリー・ドライブが現在使用中で、新しいテープのマウントが必要になった時にもまだ使用中の場合には、トランザクションは失敗することになります。

ユーザーの処置: 可能であれば、これを使用するトランザクションが終了するまで、ドライブをオンラインにしておいてください。ドライブにアイドル・ボリュームがある場合には、そのボリュームを最初に取り外してください。

---

---

**ANR8799I** Command: ライブラリー *library name* の操作がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 示されたライブラリーの指定のボリュームにラベルを書き込む LABEL プロセスが開始されました。このプロセスには、メッセージに示されている ID が割り当てられました。

システムの処置: サーバーは管理者が入力した LABEL コマンドに応じて、操作を実行するバックグラウンド・プロセスを開始します。

ユーザーの処置: プロセスの状況を知るためには、QUERY PROCESS コマンドを出してください。このプロセスは CANCEL PROCESS コマンドで取り消すことができます。

---

**ANR8800I** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* に対する LABEL LIBVOLUME が正常に完了しました。

説明: ボリュームに対する LABEL バックグラウンド・プロセスが正常に実行されました。

システムの処置: ボリュームのラベルが再書き込みされました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8801I** ライブラリー *library name* の LABEL LIBVOLUME プロセス *process Id* が完了しました。count of labeled volumes ボリュームにラベルが付けられ、count of checked in volumes ボリュームがチェックインされました。

説明: ボリュームの LABEL 検索モード・プロセスが正常に実行されました。

システムの処置: ボリュームにラベルが付けられました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8802E** ライブラリー *library name* の LABEL LIBVOLUME プロセス *process Id* が失敗しました。

説明: ラベル・プロセスが障害で終了しました。

システムの処置: このプロセスは終了します。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを参照して、障害の原因を調べ、問題を訂正してください。

---

**ANR8803I** ライブラリー *library name* の LABEL VOLUME プロセス *process Id* が取り消され、count of labeled volumes 個のボリュームがラベル付けされ、count of checked in volumes 個のボリュームがチェックインされました。

説明: 示されているライブラリー用のボリュームへのラベル付けを行っていたバックグラウンド・サーバー・プロセスは、CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されました。示されているカウントは、この取り消しよりも前に処理されたボリュームに関するものです。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8804I** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* にラベル付け中。

説明: このメッセージは、QUERY PROCESS コマンドに応答して、サーバー上の LABEL プロセスの状況を表示します。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用し、取り消すことができます。

---

**ANR8805I** ライブラリー *library name* のボリュームのラベル付け中。volume count ボリュームにラベルが付けられました。

説明: このメッセージは、QUERY PROCESS コマンドに応答して、SEARCH オプションを指定した LABEL プロセスの状況を表示します。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用し、取り消すことができます。

---

**ANR8806E** ライブラリー *library name* のテープ上にボリューム・ラベル *volume name* を書き込むことができません。

説明: ラベル・プロセスは、指定されたテープにラベルを書き込むことができませんでした。

システムの処置: SEARCH=YES の LABEL 操作の場合には、バックグラウンド・プロセスが、次のボリュームから続行されます。個別ボリュームの場合には、プ

ロセスは終了します。 ボリュームにはラベルは付けられず、ライブラリーにチェックインされません。

ユーザーの処置: このコマンドと関連づけられているライブラリーおよびドライブ装置がパワー・オンで、作動可能になっていることを確かめてから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8807W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のボリュームには、既に *existing volume name* のラベルが付けられているので、ラベル *volume name* を書き込むことはできません。

説明: このボリュームには、既にラベルが付けられているので、チェックインまたはラベル・プロセスは、指定されたテープにラベルを書き込むことができませんでした。

システムの処置: チェックイン・プロセスは、既にラベルのあるボリュームに上書きせず、ラベル・プロセスは **OVERWRITE=YES** を指定したときにだけボリュームに上書きします。このボリュームにはラベルを付けることができず、ライブラリーにチェックインできません。 **SEARCH=YES** の場合には、プロセスは次のボリュームから続行されます。 個別ボリュームの場合には、プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターを指定して、コマンドを再発行してください。

---

**ANR8808E** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のボリュームには、まだストレージ・プールまたはボリューム・ヒストリーの中に定義されている *volume name* のラベルが既に付けられているので、そのボリュームにラベル *label name* を書き込むことはできませんでした。

説明: ストレージ・プールに対してまだ定義されているか、あるいはボリューム・ヒストリー・ファイルにまだ入っているボリュームのラベルを上書きしようとした。このようなボリュームには、まだ有効なデータが入っている可能性があります。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: 通常、ボリュームのラベルを付け直す必要はありません。ボリュームに再ラベル付けが必要な場合には、最初にそのボリュームを、定義されているストレージ・プールまたはボリューム・ヒストリー・ファイルから除去する必要があります。

---

**ANR8809I** *Request number: time limit* 分以内に **REPLY n LABEL=xxx** を出すことによって、ライブラリー *library name* のスロット・エレメント *slot element number* にそのボリュームのラベル名指定してください。ただし、**n** は要求 **ID** であり、**xxx** は所要のラベル名です。

説明: LABEL LIBVOLUME コマンドが進行中で、次のボリュームの名前が必要です。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出るまで、待機します。

ユーザーの処置: 要求 ID と次のカートリッジのボリューム名を指定した REPLY コマンドを出してください。

---

**ANR8810I** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* がラベル付けされました。

説明: 検索オプションを指定したラベル・プロセスでボリュームが検出されて、ラベル付けされました。

システムの処置: このプロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8811E** *Command:* このコマンドで **SEARCH** を使用する時には、**LABELSOURCE** パラメーターが必要です。

説明: 与えられたコマンドには LABELSOURCE パラメーターが必要です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、有効な LABELSOURCE パラメーター値を指定してください。

---

**ANR8812E** *Command:* このコマンドで **LABELSOURCE** を使用する時には、**SEARCH** パラメーターが必要です。

説明: このコマンドで LABELSOURCE オプションを使用する時には、SEARCH パラメーターも指定する必要があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、有効な SEARCH パラメーター値を指定してください。

---

**ANR8813W** ライブラリー *library name* のスロット・エレメント *Element number of slot* のカートリッジのバーコードを読み取ることができません。

説明: ライブラリー・バーコード・リーダーが、テープ・カートリッジのラベルを読み取ることができません。このカートリッジは、示されたエレメント番号のスロットに入っています。

システムの処置: LABEL LIBVOLUME コマンドに LABELSOURCE=BARCODE を指定したときには、バーコードのないボリュームにラベルを付けることはできません。CHECKIN LIBVOLUME コマンドに VOLRANGE または VOLLIST オプションを指定した時には、バーコードのないボリュームにラベルを付けることはできません。

ユーザーの処置: カートリッジにバーコード・ラベルがあること、およびこれがバーコード・リーダーと互換性があることを確認してください。すべてのベンダーのラベルが、すべてのライブラリーで読み取り可能とは限りません。必要な場合には、バーコード・リーダーが構成されていて、正しく機能していることを検査してください。

---

**ANR8814I** ライブラリー *Library name* のスロット・エレメント *Slot element number* からボリューム *Volume name* を取り外してください。

説明: 指定したボリュームの LABEL LIBVOLUME が終了しましたが、チェックインされていないか、エラーがあったために、そのボリュームをライブラリーから取り外す必要があります。

システムの処置: サーバーは通常の操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームをライブラリーから取り外してください。

---

**ANR8815I** ライブラリー *Library name* のポート・エレメント *Port element number* からボリューム *Volume name* を取り外してください。

説明: 指定したボリュームの LABEL LIBVOLUME が終了しましたが、チェックインされていないか、エラーがあったために、そのボリュームをライブラリーから取り外す必要があります。

システムの処置: サーバーは通常の操作を続行します。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームをライブラリーから取り外してください。

---

**ANR8816E** *command*: ボリューム *Volume name* (ライブラリー *Library name*) にラベル付けできません。理由は、現在ストレージ・プールまたはボリューム・ヒストリー・ファイルに定義されているためです。

説明: コマンド *command* の処理中に、このボリュームと同じボリューム名でストレージ・プール・ボリュームが定義されているか、または同じ名前のボリュームがボリューム・ヒストリー・ファイルに存在するため、このボリュームを使用できません。このようなボリュームには、まだ有効なデータが入っている可能性があります。カートリッジにボリューム名を適用すると、データが上書きされたり、ライブラリー・インベントリーが壊れたり、あるいはその両方が起こる可能性があります。ボリュームがボリューム・ヒストリー・ファイルにある場合、以前にエクスポートのためにデータベース・ダンプかデータベース・バックアップ操作によって使用されているか、またはライブラリー・クライアントによって使用されていることになります (ボリューム・ヒストリーに記録されています)。

システムの処置: SEARCH=YES オプションが指定されている場合には、現行ボリュームがスキップされ、見つかった次のボリュームからコマンド処理が続行されます。SEARCH=NO が指定されている場合には、コマンド処理は終了します。

ユーザーの処置: このボリュームが自動化ライブラリー中にある場合には、これを取り除くか、あるいは PRIVATE カテゴリーのライブラリー・インベントリーにチェックインする必要があります。

---

**ANR8817E** ボリューム "*Volume name*" の名前の長さが無効です。最大は *Maximum name length* です。

説明: LABEL LIBVOL 処理中に、ラベル上に書き込むために指定されたボリューム名が、このカートリッジ・タイプの最大長を超えています。

システムの処置: このカートリッジのラベル・プロセスは失敗します。

ユーザーの処置: LABEL LIBVOL コマンドを出し直して、リストされた最大よりも長くないボリューム名を指定してください。

---

**ANR8818E** ライブラリー *library name* で入出力エラー。 **3494** ライブラリー・マネージャーに対する操作 *operation/function* の要求がタイムアウトになりました。

説明: ライブラリー・マネージャーに対して操作用のコマンドが出されて、最大タイムアウト期間内に応答が受け取られていません。

システムの処置: この操作およびトランザクションに失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーとの通信が操作可能であり、それがオンラインになっていて、コマンドに対して

作動可能であることを確認してください。ライブラリー・マネージャー制御点のデバイス・ドライバーのタイムアウト限界を大きくしてください。この問題が続いて起こる場合には、サービス担当員に 3494 ライブラリー・マネージャーのトランザクション・ログを提供してください。

---

**ANR8819E** ライブラリー *library name* バーコード・ラベルを読み取ることができません。

説明: LABEL コマンドが LABELSOURCE=BARCODE オプション付で出されました。ライブラリーは、カートリッジに正しいバーコード・ラベルが付いているかを検出できないか、ライブラリーにバーコード・リーダーがありません。バーコード・リーダーがある場合は、リーダーが使用不可能になっているか、あるいはラベルを読み取ることができません。

システムの処置: カートリッジを調べて、バーコード・ラベルがあること、およびそれがバーコード・リーダーと互換性があることを確認してください。すべてのベンダーのラベルが、すべてのライブラリーで読み取り可能とは限りません。バーコード・リーダーが構成されていて、正しく機能していることを検査してください。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8820W** ドライブ *drive name* のボリューム *volume name* について VCR データの修理中 - 取り外しが遅れることがあります。

説明: ドライブ中のカートリッジの重要カートリッジ・レコードが失われた、または破壊された結果、ドライブが迅速にカートリッジ上のファイル位置を見つけることができません。ボリュームの今後のマウントでパフォーマンス低下が起こらないようにするために、ボリューム取り外しプロセス中に VCR を再構築しています。

システムの処置: サーバーは取り外し操作を続行します。テープをデータの終わりまで順方向にスペースングして VCR を再構築するために、遅延が長くなる場合があります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8821E** エレメント *slot element address* のバーコード '*hardware barcode string*' の長さ *maximum length* 文字を超えています。

説明: 有効なボリューム名よりも長いバーコードが入力されています。

システムの処置: バーコードは有効と見なされず、サーバーのプロセスには使用されません。

ユーザーの処置: カートリッジのバーコードを、ライブラリーでサポートされていて、その文字数が最大長を超えないものに置き換えてください。

---

**ANR8822E** '*Volume name*' は有効なボリューム名ではありません。

説明: 指定されたストリングは有効なボリューム名ではありません。

システムの処置: プログラムは新しいボリューム名についてプロンプトを表示します。

ユーザーの処置: ラベルを付けるメディア・タイプの長さ制約内で、英数字のみを含むボリューム名を入力してください。

---

**ANR8823E** ライブラリー *library name* でハードウェア構成エラー: *number of drives* 個のドライブ、*number of storage slots* 個のストレージ・スロット。

説明: ライブラリー装置がドライブまたはスロットのいずれかでゼロのカウントを戻しました。ドライブが、オペレーティング・システムまたはライブラリーに対して、まだ構成されていない可能性があります。サーバーに対して定義するには、正しく構成された時に、ライブラリーに最低 1 つのドライブと複数のスロットがなければなりません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムにドライブを構成して、ライブラリーを再初期設定してください。

---

**ANR8824E** ライブラリー *library name* で入出力エラー。3494 ライブラリー・マネージャーに対する操作 *operation/function* の要求 *request id* は失われました。

説明: ライブラリー・マネージャーに対して操作用のコマンドが出されて、最大タイムアウト期間内に応答が受け取られていません。

システムの処置: この操作およびトランザクションに失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーとの通信が操作可能であり、それがオンラインになっていて、コマンドに対して作動可能であることを確認してください。この問題が続いて起こる場合には、サービス担当員に 3494 ライブラリー・マネージャーのトランザクション・ログ、および失敗した操作からの要求 ID を提供してください。



---

**ANR8825E** 'Volume range' は有効なボリューム範囲ではありません。

説明: 指定されたストリングは有効なボリューム範囲ではありません。

システムの処置: プログラムは新規のボリューム範囲をプロンプト指示してきます。

ユーザーの処置: ラベル付けされているメディア・タイプの長さ制限内の範囲にあり、英数字のみを含むボリューム名を入力してください。先頭と最後のボリュームのボリューム名が同じ長さで、増分は数字でなければなりません。

---

**ANR8826E** ライブラリー *library name* の出入り口が見つかりません。

説明: CHECKIN LIBVOLUME SEARCH=BULK コマンドが、出入り口ポートのないライブラリーに出されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8827E** ライブラリー *library name* の出入り口ポートが使用可能ではありません。

説明: CHECKOUT LIBVOL コマンドが出されたライブラリーのすべての出入り口ポートが、満杯またはアクセス不能でした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー上のすべての出入り口ポートを空にして、出入り口ポートのドアを閉じ、ポートをアクセス可能にしてから、このコマンドをやり直してください。

---

**ANR8828E** ライブラリー *library name* のスロット *element number* はアクセス不能です。

説明: この時点では、ライブラリーのスロットに物理的にアクセスすることができません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 出入り口ドアが閉じられ、その装置の装置エラーが記録されていないことを確認してから、このコマンドをやり直してください。

---

**ANR8829I** 必要に応じて、ライブラリー *library name* のスロット *element number* からボリューム *volume name* を取り外してください。

説明: ボリュームがライブラリーからチェックアウトされて、複数の出入り口ポート・ライブラリーに入れられ

ました。ボリュームをこのライブラリーから取り外すことが必要で、さもないと操作は重大な状況になります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ボリュームを出入り口スロットから取り外してください。

---

**ANR8830E** 内部 *Device type* ドライブの診断で、ボリューム *Volume name* について過剰なメディア障害が検出されました (**MIM MIM Code**)。アクセス・モードは「読み取り専用」に設定されました。

説明: 磁気テープ装置のマイクロコードは、ボリュームのマウントに先立って、メディアの分析を実行し、一時エラーおよびその他の標識の数が、信頼できるデータ記録のためのしきい値を超えていることを判別しました。

システムの処置: このボリュームは読み取り専用とされます。

ユーザーの処置: システム・エラー・ログで、メディア・エラーに関連した装置で作成された項目を調べてください。将来のエラーの影響およびメディアのさらなる損傷を最小にするために、このデータをボリュームから除去することをお勧めします。

---

**ANR8831W** ボリューム *Volume name* のメディア・エラーのために、できるだけ速やかにデータを除去する必要があります。

説明: 以前にボリュームで検出されたエラーのため、データへのアクセスは、問題がある状態のままになっています。このエラーは、Magstar ドライブのボリューム制御領域の破壊などの永続的な一時メディア障害の可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: データをボリュームから移動させてください。これは、MOVE DATA コマンドで行えます。場合によっては、このテープはスクラッチまで戻すことにより、再使用可能な場合もあります。システム・エラー・ログで、メディア・エラーに関連した装置で作成された項目を調べてください。エラーの原因を切り分けてエラーを解決することができない場合は、サポート担当員に連絡してください。テープをスクラッチまで戻すか、それを処分してください。

---

**ANR8832E** ライブラリー *library name* の検索モードのボリュームに対する **CHECKIN LIBVOLUME** に失敗しました。

説明: CHECKIN LIBVOLUME コマンドに対するバツ

クグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了しますが、ボリュームはライブラリーにチェックインされていません。

ユーザーの処置: このコマンドと関連づけられているライブラリーおよびドライブ装置がパワー・オンで、作動可能になっていることを確かめてから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8833E** Command: ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* は現在チェックインまたはチェックアウト中です。

説明: 指定されたボリュームはライブラリーにチェックインまたはチェックアウト中であるために、コマンドを処理することができません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 対立するチェックインまたはチェックアウトが完了するのを待って、このコマンドを出し直してください。

---

**ANR8834E** ライブラリー・ボリューム *volume name* はまだライブラリー *library name* のドライブ *drive name* に存在しているので、マニュアルで取り外すことが必要です。

説明: ボリュームがまだドライブにマウントされているので、このドライブを使用してライブラリー操作を実行することはできません。これは、そのドライブで前に取り外しの障害が起きているためである可能性があります。

システムの処置: コマンドは失敗します。ドライブはオフラインにされていることがあります。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージおよびシステム・エラー・ログを参照して、取り外しの障害の原因、またはボリュームがドライブにロードされたままになっているその他の理由を判別してください。ハードウェア診断が必要な場合があります。必要な場合には、ボリュームをマニュアルで取り外して、それをストレージ・セルに入れてください。ストレージ・セルが不明の場合には、ボリュームを任意のセルに入れて、AUDIT LIBRARY コマンドを出してください。QUERY DRIVE コマンドを使用して、ドライブのオンライン状況を判別してください。ドライブがまだ機能している場合には、UPDATE DRIVE コマンドを使用してその状況を変更してください。

---

**ANR8835W** ボリューム *volume name* をスクラッチに戻しているときにエラー。

説明: サーバーの外部ライブラリー管理機能が、指定されたボリュームの RELEASE 要求を外部エージェントに送りましたが、外部エージェントは、この要求を満たすことができませんでした。しかし、サーバーは、そのインベントリーでこのボリュームにスクラッチとマーク付けしました。その結果、サーバーのインベントリーと外部エージェントのインベントリーは、整合性がとれなくなりました。このメッセージは、外部エージェントのインベントリーが、外部エージェントの機能を使用してサーバーのインベントリーと整合性を持つ必要があることを、カスタマーに知らせるために出されたものです。

システムの処置: サーバーがこのボリュームをスクラッチ状況に戻しています。

ユーザーの処置: 外部エージェントの資料を調べて、エージェントのインベントリーが、サーバーのインベントリーと整合性を持つようにするために必要なアクションを行ってください。

---

**ANR8836E** 関数 *RSM\_function* が、*server\_function* の処理に失敗しました。戻り *return code*、呼び出し *call number* 。

説明: Windows NT 取り外し可能ストレージ・マネージャーに対して API を使用するライブラリー関数は、その API から戻りコードを出して失敗しました。呼び出し番号は、このプログラムで出された API 呼び出しを正確に示しています。

システムの処置: 関数は失敗します。

ユーザーの処置: RSM 資料を使用して、問題の発生源を判別してください。

---

**ANR8837E** RSM ライブラリー *Library Name* はこの Windows プラットフォームではサポートされません。

説明: RSM をサポートしない Windows プラットフォームで libtype=RSM が使用されました。

システムの処置: 関数は失敗します。

ユーザーの処置: 別のライブラリー・タイプを使用して、ライブラリーを定義してください。

---

**ANR8838E** ドライブ *drive name* で入出力エラー: 装置から重大な装置アテンションを受け取りました。

説明: ドライブに対する操作は、装置アテンションが原

因で失敗しました。これらは、操作の再試行時に生成されるのが普通ですが、この場合には、これ以降の回復と再試行が装置アテンションのために永続的に失敗します。これは、装置障害を示しています。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 付随するエラー・メッセージとシステム・エラー・ログを参照して、ドライブ障害の原因を判別してください。ハードウェア診断が必要な場合があります。手操作でボリュームをアンロードし、UPDATE DRIVE コマンドによってそのドライブをオフラインとマークすることが必要になる場合があります。

---

**ANR8839W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* がアクセス可能です。

説明: サーバーは、現在アクセス不能であったこのドライブを使用することができます。しかしながら、管理者はドライブがポーリングされていた時オフラインとマークしています。

システムの処置: ドライブはオフラインのままで、テープには使用できません。

ユーザーの処置: UPDATE DRIVE コマンドを実行して、ドライブをオンラインに戻してください。

---

**ANR8840E** エラー番号 *error number* および **PVRR** *return code* で装置 *device name* を開くことができません。

説明: ライブラリーはアクセス不能です。結果として、オープン要求は失敗しました。これは、保留中の要求が失敗する原因となります。

システムの処置: ドライブにアクセス不能のマークが付けられています。サーバーは、ライブラリーとドライブの両方がアクセス不能であるかどうかを判別するために、ドライブをポーリングします。多くの場合、ライブラリーは一時的な故障を起こしますが、回復します。サーバーが、ライブラリーが使用可能であることを判別した場合には、ドライブはオンラインに戻されます。

ユーザーの処置: オペレーティング・システム資料とエラー番号を一緒に使って、原因の範囲を狭めてください。ライブラリーを検査してください。ライブラリーの電源が入っていて作動可能であること、ケーブルが正しく接続されていること、および装置がシステムに対して正しく構成されていることを確認してください。

---

**ANR8841I** 必要に応じて、ボリュームをライブラリー *library name* のスロット *element number* から除去してください。

説明: サーバー・コマンドの正常終了の結果としてボリ

ュームが出入り口ポートに戻されたか、あるいはサーバー・コマンド実行中に問題があったために、1 つのボリュームが、複数の出入り口ポート・ライブラリーにあります。ボリュームをこのライブラリーから取り外すことが必要で、さもないと操作は重大な状況になります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ボリュームを出入り口スロットから取り外してください。指定されたボリュームおよびコマンドに関する追加情報については、前のメッセージを調べてください。

---

**ANR8842E** *Device type* ドライブで限界セクターが検出され、ボリューム *Volume name* のセクターを再割り振りでできませんでした。アクセス・モードは「読み取り専用」に設定されました。

説明: 光ディスク・ドライブが、ボリュームの読み取り中に限界セクター (メディア・エラー) を検出しました。装置はセクターを正常に読み取りましたが、前のメディア・エラーのためにセクターを再割り振りでできませんでした。

システムの処置: このボリュームは読み取り専用とされます。

ユーザーの処置: システム・エラー・ログで、メディア・エラーに関連した装置で作成された項目を調べてください。将来のエラーの影響およびメディアのさらなる損傷を最小にするために、このデータをボリュームから除去することをお勧めします。

---

**ANR8843E** *library type* ライブラリー *library name* の初期化が失敗しました - このライブラリーはアクセス不能になります。

説明: 指定のライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われませんでした。サーバーは、このライブラリーを使用できません。これは、次が原因と考えられます。

- ライブラリーがパスなしで定義されています。
- ライブラリーの装置が DELETE PATH コマンドによって除去されます。
- ライブラリーを制御しているデータ・ムーバーがオフラインです。
- ライブラリーへのパスがオフラインです。

システムの処置: ライブラリーがオフラインになり、いずれのライブラリー操作にも使用されなくなります。

ユーザーの処置: ライブラリーがアクセス不能になっている理由を判別します。ライブラリーに必要な変更を加え、サーバーをシャットダウンして、サーバーを再度

立ち上げ、ライブラリーを完全に初期化できるようにしてください。

---

**ANR8844E** リモート・ドライブ *drive name* をオープンできません。エラー・コード *=error value from server plugin*。

説明: 示されたりモート・ドライブは、サーバーによってオープンできません。表示されたエラー・コードは、サーバー・プラグイン・ルーチンからの戻りコードです。

システムの処置: このドライブの必要なトランザクションは失敗します。

ユーザーの処置: 表示された戻りコードを使用して、オープン障害の原因またはドライブをオープンできないその他の理由を判別してください。ハードウェア診断が必要な場合があります。ドライブを検査してください。ドライブの電源が入っていて作動可能になっているかどうか、ケーブルが正しく接続されていて終端の接続がしっかりとしているかどうか、および装置が正しくオペレーティング・システムに対して構成されているかどうか、確認してください。

---

**ANR8845E** リモート操作にはロード可能モジュール *module name* が必要です。

説明: リモート・ドライブまたはライブラリーで操作を実行するには、サーバーは示されたロード可能モジュールを必要としますが、そのモジュールがロードされていません。モジュールがロードされているときには、サーバー初期化のときにメッセージ ANR4726I が出されます。

システムの処置: リモート操作は正常に行われません。

ユーザーの処置: サーバーの活動記録ログを調べて、モジュールがロードされているかどうかを示すメッセージ ANR4726I を見つけてください。このモジュールのサーバー初期化のときに、このメッセージが表示された場合には、サービス担当員に連絡してください。このメッセージが表示されない場合には、ロード可能モジュールが削除されていることを確認するか、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR8846E** ボリューム *volume name* は、ライブラリー *library name* に属していないカテゴリに割り当てられます。

説明: ライブラリーによって使用される挿入、専用、またはスクラッチ・カテゴリ以外のカテゴリに割り当てられているので、ボリュームに試みられた操作を進めることができません。

システムの処置: 実行しようとした操作は終了します。

ユーザーの処置: **mtlib** ユーティリティを使用して、そのボリュームのカテゴリを照会してください。このボリュームが他のライブラリーによって使用されていない場合には、**mtlib** を使ってそのカテゴリを再割り当てするか、あるいは適切なカテゴリに割り当てられている別のボリュームを選択します。

---

**ANR8847E** 現在、ライブラリー *library name* には、使用可能な *device type* タイプのドライブがありません。

説明: 指定されたタイプの使用可能なドライブがないので、試行された操作は、指定されたライブラリーでは完了することができません。別のアプリケーションがドライブを開いているために、ドライブが使用不可能な場合があります。また、このメッセージは、CHECKIN または LABEL コマンドが出され、ドライブが操作のサービスに使用可能でない場合にも、出されることがあります。これは、すべてのドライブが他のプロセスまたはセッションによってマウントされているか、装置タイプが誤って指定されたためです。これは、正しくないバーコード・ラベルが間違ったメディア・タイプに付けられた場合 (例えば、LTO2 バーコード・ラベルを LTO1 カートリッジに付けた場合) にも発行されることがあります。

システムの処置: 実行しようとした操作は終了します。

ユーザーの処置: QUERY DRIVE コマンドを使用して、ドライブのオンライン状況を調べてください。

「hh:mm yy/mm/dd 以後使用不可」とマークされているドライブは、ハードウェア障害またはドライブをオープンできないために、指定された時点でサーバーによってオフラインにされたドライブです。実行しようとした操作が CHECKIN または LABEL コマンドの場合には、QUERY MOUNT コマンドを使用して、ライブラリー内のすべてのドライブがマウントされているかどうかを判別し、その 1 つが使用可能になるまで待機してください。IDLE 状況のマウント済みボリュームがある場合には、DISMOUNT VOLUME コマンドを使用して、そのドライブを解放し、元の操作を再試行してください。結局、CHECKIN および LABEL コマンドには、349X ライブラリー内の 3590 ボリュームを指定した DEVTYPE パラメーターが必要です。これには、3490 ボリュームも含まれています。これは、このライブラリーは 3490 ボリュームもサポートし、CHECKIN および LABEL コマンドのデフォルトの装置タイプが CART (3490) であるためです。

---

**ANR8848W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* がアクセス不能です。サーバーは、ドライブのポーリングを開始しました。

説明: サーバーが上記のドライブを使用できません。これは、次が原因と考えられます。

- ドライブをオープンすることができません。
- 3494 または区分可能なライブラリーの場合には、ドライブが、ライブラリー管理機能で使えない、別のアプリケーションが使用している、あるいはサーバー使用とラベル付けされていないカートリッジでロードされている可能性があります。

システムの処置: ドライブが一時的にオフラインになっていて、テープ操作に使用されていません。サーバーは、この条件が解消されているかどうかをチェックするために、1/2 分間隔でドライブをポーリングします。再びドライブがアクセス可能になると、ドライブはオンラインになります。

ユーザーの処置: システム・ログに報告されたハードウェア・エラーなど、ドライブがアクセス不能になった理由を調べてください。ドライブに対して必要な訂正があれば、これを実行してください。ポーリング・プロセスで、ドライブがアクセス可能になったことが分かると、ドライブは自動的にオンラインになります。

---

**ANR8849E** *Command:* 既にドライブ *drive name* の削除要求があります。

説明: 既にドライブの削除要求があるので、指定されたドライブを削除、あるいは更新できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8850I** **ACSL**S ライブラリー *library name* は操作可能になっています。

説明: 与えられたライブラリーに対する初期化プロセスは正常に完了したので、ライブラリーをいつでも使用することができます。

システムの処置: ライブラリーは使用可能状態になります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8851E** **ACSL**S ライブラリー *library name* の初期化に失敗しました。*delay time* 分後に再試行されます。

説明: 指定のライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われませんでした。指定された時間が経過する

と、自動的に再試行されます。

システムの処置: 初期化は後で再試行されます。

ユーザーの処置: ライブラリー装置がパワーオンになっていて、作動可能であることを確認してください。

---

**ANR8852E** **ACSL**S ライブラリー *library name* の初期化に失敗しました。

説明: 与えられたライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われず、次回にサーバーがライブラリーへのアクセスを必要になる時まで再試行されません。

システムの処置: ライブラリーは一時的に使用不可能になります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8853E** **ACSL**S ライブラリーの場合、オプション **CHECKLABEL=NO** と **SEARCH=YES** は互換性がありません。

説明: CHECKIN LIBVOL コマンドの CHECKLABEL=NO パラメーターと SEARCH=YES パラメーターには、互換性がありません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: CHECKIN LIBVOL コマンドをやり直して、CHECKLABEL=YES を指定してください。

---

**ANR8854E** **ACSA**PI(*command name*) の呼び出しに失敗しました。状況は *acs status* です。

説明: 指定のコマンドで ACSLS ライブラリー API 呼び出しが失敗しました。

システムの処置: サーバーの機能およびコマンドによって、ライブラリーが使用不可能になる場合があります。

ユーザーの処置: ACS システム管理者に連絡して、ACSLS ライブラリーの問題判別を実行してください。

---

**ANR8855E** **ACSA**PI(*command name*) は正常でない状況で応答しています。状況は *acs status* です。

説明: ACSLS ライブラリー API は指示どおりの障害状況を応答しました。

システムの処置: サーバーの機能およびコマンドによって、ライブラリーが使用不可能になる場合があります。

ユーザーの処置: 状況が STATUS\_CAP\_IN\_USE を示している場合には、非ゼロに設定されていない CAP 優先順位である可能性があります。また、CAP が自動モードに設定されていないか、あるいはチェックイン中に CAP が手動モードになっている場合もあります。CAP

モードおよび優先順位が正しく設定されていない場合には、ACS システム管理者に連絡して、ACSLS ライブラリーの問題判別を実行してください。

---

**ANR8856E** ACSAPI 順序 (*sequence number*) の要求 (*request number*) がタイムアウトになりました。経過時間は *hours:minutes:seconds* です。

説明: ACSLS クライアントが経過時間に指示された時間間隔で ACSLS サーバーから応答を受け取っていません。要求番号がゼロ以外の場合には、関連した順序番号の ACSLS ライブラリー API 機能は取り消されます。

システムの処置: サーバーの機能およびコマンドによって、ライブラリーが使用不可能になる場合があります。

ユーザーの処置: ACS システム管理者に連絡して、ACSLS ライブラリーの問題判別を実行してください。

---

**ANR8857I** ACS アクセス制御が *user\_id* - *user id* に設定されました。状況は *acs status* です。

説明: コマンドおよびボリューム・アクセス制御の ACSLS ACCESSID 構造が指示どおり *user\_id* に設定されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 指示された *user\_id* が、環境変数 ACSAPI\_USER\_ID に指定されたものと同じであることを、確認してください。

---

**ANR8858W** ドライブ *drive id*、*drive id*、*drive id*、*drive id* をロックすることができません。状況は *acs status* です。

説明: ACSLS ライブラリー機能 *acs\_lock\_drive* は指定されたドライブで失敗しました。

システムの処置: サーバーの機能およびコマンドによって、ライブラリー・ドライブが使用不可能な場合があります。あるいは、共有ライブラリー環境で一時的に使用不可能になっていることがあります。

ユーザーの処置: この問題が続いて起こる場合には、ACS システム管理者に連絡して、ACSLS ライブラリーの問題判別を実行してください。

---

**ANR8859W** ボリューム *volume id* をロックすることができません。状況は *acs status* です。

説明: ACSLS ライブラリー機能 *acs\_lock\_volume* が指定されたドライブで失敗しました。

システムの処置: サーバーの機能およびコマンドによっては、ライブラリー・ボリュームは使用不可能です。

ユーザーの処置: この問題が続いて起こる場合には、ACS システム管理者に連絡して、ACSLS ライブラリーの問題判別を実行してください。

---

**ANR8860W** ボリューム *volume id* は既に *user id* によってロックされています。

説明: 指定されたボリュームは他のユーザーによって既にロックされているか、あるいは異なったロック ID があります。

システムの処置: 機能によっては、ボリュームがバイパスされるか、あるいはプロセスが終了することがあります。

ユーザーの処置: これは、共有構成中のエラーでない可能性があります。ただし、既存のボリューム・ロックは不要です。ユーザーの ACSLS システム管理者に連絡して、ボリュームをアンロックしてください。

---

**ANR8861I** ボリューム *volume id* を CAP から取り外すためには、ACSSA コンソール・メッセージを待つてモニターしてください。

説明: 示されたボリュームは、取り外しのために CAP に配置されようとしています。ACSSA メッセージに示すように、ACSSA コンソールをモニターし、ボリュームが CAP に配置されてからそのボリュームを取り外します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ACSSA コンソールをモニターして待機してください。

---

**ANR8862I** ACS ボリューム *volume id* にアクセスすることができません。

説明: 指定された ACSLS ボリュームにライブラリーの中でアクセスすることができません。考えられる理由として、ボリュームが使用中であるか、ユーザーが認可されていないか、あるいはボリュームがライブラリー内に存在していません。

システムの処置: サーバーの機能およびコマンドによっては、ライブラリー・ボリュームは使用不可能です。

ユーザーの処置: この問題が続いて起こる場合には、ACS システム管理者に連絡して、ACSLS ライブラリーの問題判別を実行してください。

---

**ANR8863I** ライブラリー *library name* のボリュームを **ACSL** サーバーからアンロック中です。

説明: 指定されたライブラリーのボリュームは、**ACSL** サーバーからアンロック中です。

システムの処置: 操作は続行されます。ライブラリー中のボリュームの数によっては、このプロセスにしばらくかかることがあります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8864I** **ACSL** ライブラリー *library name* の再初期化中です。

説明: 指定された **ACSL** ライブラリーは、再初期化されているところです。

システムの処置: 操作は続行されます。ライブラリー中のボリュームの数によっては、このプロセスにしばらくかかることがあります。ライブラリー中のすべてのボリュームが、ロックされています。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8865W** *command* の場合にボリューム *volume name* が迂回されました。状況は *acs\_status* です。

説明: 指定されたボリュームは迂回されます。このボリュームは、指定された機能に対して有効な状況にありません。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ボリュームの状況を **ACSSA** から判別して、必要であればこのコマンドを出し直してください。

---

**ANR8866E** **ACSL** ライブラリーへの互換性のないオプション **REMOVE=BULK** です。

説明: **REMOVE=BULK** オプションは、**ACSL** ライブラリーに対してサポートされていません。最終の応答の **ACSAPI acs\_eject** はボリュームが **CAP** から除去されるまで、アプリケーションに戻されません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: 再度 **CHECKOUT LIBVOL** コマンドを、**REMOVE=YES** または **NO** を指定し発行してください。

---



---

**ANR8867I** *command* コマンドのボリューム *volume id* を処理中です。

説明: 指定されたコマンドの指定のボリュームを処理しています。

システムの処置: コマンド・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8868E** ボリューム *volume name* のイジェクトに失敗しました。状況 = *acs\_status* 。

説明: 示された状況が原因で、ライブラリーからボリュームをイジェクトすることに失敗しました。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ボリューム状況をそのメッセージから判別して、必要な操作を実行してください。

---

**ANR8869E** *Command*: 既にドライブ *drive name* の更新要求があります。

説明: 既にドライブの更新要求があるので、指定されたドライブは削除できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8870E** ライブラリー *library name* へのパスは使用不可能です。

説明: 与えられたライブラリーへのパスがないか、ライブラリーへのパスがオフラインであるか、ライブラリーへのパスのソース・エンティティーがオフラインです。

システムの処置: ライブラリーはアクセス不能です。

ユーザーの処置: ライブラリーにパスが定義されているかを確認してください。ライブラリーに定義されたパスがある場合には、そのパスがオンラインで、そのパスのソース・エンティティーもオンラインであることを確認してください。

---

**ANR8871I** 指定された装置名 *device name* が *device name* に変更されました。

説明: **DEFINE PATH** または **UPDATE PATH** コマンド上に指定された装置名が推奨装置名に変更されました。

システムの処置: コマンド・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8872E** ドライブ *drive name* に使用可能なパスがありません - ボリューム *volume name* をドライブからアンロードできませんでした。

説明: 与えられたドライブへのパスがないか、ドライブへのパスがオフラインであるか、ドライブへのパスのソースがオフラインです。示されたボリュームがまだドライブにある可能性があります。

システムの処置: ドライブはアクセス不能です。

ユーザーの処置: ドライブにパスが定義されていることを確認してください。ドライブに定義されたパスがある場合には、そのパスがオンラインで、そのパスのソースもオンラインであることを確認してください。問題が訂正された後で、AUDIT LIBRARY コマンドを実行してください。

**ANR8873E** ソース *source name* から宛先 *drive name* へのパスがオフラインにされています。

説明: 示されたパスを使用するときに、問題がありました。このパスには、オフラインのマークが付けられません。

システムの処置: パスはアクセス不能です。

ユーザーの処置: ハードウェア障害など、パスがアクセス不能である理由を判別してください。必要な訂正を加えてください。ここで ONLINE=YES オプションを指定した UPDATE PATH コマンドを出して、パスをオンラインにできます。

**ANR8874E** ライブラリー *library name* のエレメント *element number* のメディアにより使用される装置の種類を、ハードウェアが判断できません。ボリュームは処理されません。

説明: スロットまたは EE ポートのメディアの種類を判別するライブラリー機構に障害があります。一般にこの機構はバーコード読取機構または何らかの機械的なセンサーです。

システムの処置: ボリュームのプロセスはスキップされました。

ユーザーの処置: ライブラリーがメディア・タイプを判別できなかった原因 (バーコードの劣化、スキャナーの故障、またはシステム技術者が検出した何らかのハードウェアの問題など) を突き止めます。データが格納されている専用ボリュームのバーコード・ラベルを取り替える場合には、ボリューム名が記述されているラベルを必ず使用してください。スクラッチ・ボリュームまたは空の専用ボリュームの場合、任意のバーコード名に取り

替えることができます。ただし、バーコード名が変更された場合には、これらのボリュームのラベルを取り替える必要があります。

**ANR8875E** ライブラリー *library name* のエレメント *element number* のメディアに対して不正な移動操作を実行しようとした。このメディアのタイプは、宛先エレメント *element number* と互換性がありません。

説明: サーバーが特定のタイプのボリュームを、互換性のない別のタイプのドライブまたはスロットへ移動しようとした。一般にこのエラーは、他のボリュームが宛先のスロットを占有しているか、またはこのボリュームに関するサーバーの情報が壊れていることが原因で発生します。

システムの処置: プロセスは失敗します。

ユーザーの処置: AUDIT LIBRARY コマンドを実行して、操作をやり直してください。

**ANR8876E** ライブラリー *library name* のエレメント *element number* のメディアはクリーナーです。

説明: ライブラリー・ハードウェアにより、指定されたスロットのメディアがクリーナー・カートリッジであると判別されました。STATUS=CLEANER パラメーターが指定されていない CHECKIN コマンドではこのメディアを処理できません。また、LABEL コマンドでラベルを指定することもできません。

システムの処置: このメディアの処理はスキップされます。処理対象メディアがほかになければ、処理が失敗します。

ユーザーの処置: AUDIT LIBRARY コマンドを実行して、操作をやり直してください。

**ANR8877E** ボリューム *volume name* は、ライブラリー *library name* の装置クラス *devclass name* と互換性がありません。

説明: マウント要求を処理しようとしたが、マウントされているカートリッジのメディア・タイプが、マウントを要求している devclass と互換でないため、このマウント要求は失敗しました。これは一般に WORM 特性と読み書き特性の競合が原因で発生します。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: これが 3592 装置またはメディアではない場合は、CHECKLABEL=YES パラメーターが指定されている CHECKIN コマンドでこのボリュームがチェックインできなかった可能性があります。ボリュー



ムをチェックアウト (REMOVE=NO を使用) してから、CHECKLABEL=YES パラメーターを使用してボリュームをライブラリーにチェックインします。これにより、メディア・タイプが判別されて保存されます。これが 3592 装置またはメディアである場合は、ボリュームに、WORM プロパティが正しくないことを示す誤ったバーコード・ラベルがある可能性があります。ラベルを逆の WORM タイプ (例えば、WORM から非 WORM へ、または非 WORM から WORM へ) 変換するか、ライブラリーから完全に除去します。

---

**ANR8878E** リモート・ライブラリー *library name* (*device name*) のクローズに失敗しました。

説明: NAS ファイル・サーバーに接続されているリモート・ライブラリー装置をクローズしようとしたことが、失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 示されたライブラリーに関する詳細な情報がないか、以前のメッセージを調べてください。

---

**ANR8879E** リモート・ライブラリー *library name* (*device name*) の SCSI セッションのクローズに失敗しました。

説明: NAS ファイル・サーバーに接続されているリモート・ライブラリー装置の SCSI セッションをクローズしようとしたことが、失敗しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 示されたライブラリーに関する詳細な情報がないか、以前のメッセージを調べてください。

---

**ANR8880W** ライブラリー *Library name* 内のドライブ *Drive name* の装置タイプが **GENERIC\_TAPE** であることが分かりました。

説明: ドライブの装置タイプは、そのドライブのパスが定義されるときに決定されます。正しくない装置ファイルが DEFINE PATH の装置パラメーターで使用された場合、多くの場合、ドライブの装置タイプは GENERIC\_TAPE になります。または IBM 磁気テープ・デバイス・ドライバーを使用している場合は、装置タイプを GENERIC\_TAPE にすべきではありません。装置タイプを GENERIC\_TAPE にするのは、固有の OS デバイス・ドライバーを使用している場合だけにしてください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: GENERIC\_TAPE がこのドライブで

望ましい装置タイプであることを確認してください。装置タイプ GENERIC\_TAPE は有効ですが、間違えて指定されることがよくあります。したがって、それが意図した装置タイプであることを確認する必要があります。GENERIC\_TAPE が意図した装置タイプでない場合は、このドライブのすべてのパスおよびドライブそのものを削除し、再定義する必要があります。

---

**ANR8881W** 装置クラス *device class name* 用のディレクトリー *directory* 内の新規ボリュームのスペースが不足しています。

説明: 新規ボリュームを作成するために指定されたディレクトリーに十分なスペースがないことを、サーバーが検出しました。

システムの処置: 他にあるようならば、その装置クラスには、利用可能な他のディレクトリーが使用されます。スペースのあるディレクトリーがないようならば、操作は失敗します。このディレクトリーのスペースのために要求が作成されるので、このメッセージは定期的に発行されます。

ユーザーの処置: 増えるボリュームを入れるために、ファイル・システムを拡張する必要があります。

---

**ANR8882I** *Request number: time limit* 分以内に **REPLY n LABEL=xxx** を出すことによって、ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* にそのボリュームのラベル名を指定してください。ただし、**n** は要求 ID であり、**xxx** は所要のラベル名です。

説明: AUTOLABEL を指定したマウントが進行中で、ボリュームの名前が必要です。

システムの処置: サーバーは、REPLY コマンドが出るまで、待機します。

ユーザーの処置: 要求 ID とカートリッジのボリューム名を指定した REPLY コマンドを出してください。

---

**ANR8883W** スロット *element number* 内のボリューム *volume name* は、ライブラリー *library name* 内にありますが、**IBM Spectrum Protect** のインベントリー・データベース内にはありません。このボリュームをチェックインするか、ライブラリーから除去してください。

説明: .

システムの処置: .

ユーザーの処置: Audit Library コマンドは、このライ

ブラリー内でこのボリュームを検出しましたが、このライブラリーとボリュームは IBM Spectrum Protect のインベントリー・データベース内にはありません。このボリュームをチェックインするか、このライブラリーから除去することができます。

---

**ANR8884W** ボリューム *volume name* を持つドライブ *drive name* の書き込み済み **WORM** メディアにラベルを付けようとして、  
(**OP**=*internal code*、エラー番号=*internal code*、**CC**=*internal code*、**KEY**=*internal code*、**ASC**=*internal code*、**ASCQ**=*internal code*、  
**SENSE**=*sense data*、  
説明=*error description*)。入出力エラー・コードの説明については、**IBM Spectrum Protect** 資料を参照してください。

説明: 書き込み済み WORM メディアにラベルを付けようとして、入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ドライブの WORM メディアが書き込み済み WORM メディアでないことを確認してください。

---

**ANR8885W** ドライブ *Device Name* の装置タイプが **GENERIC TAPE** であることが判別されました。

説明: このドライブへのパスを定義する際に、**GENERIC TAPE**=Yes が指定されました。この磁気テープ装置はサポートされていますが、汎用磁気テープ・フォーマットではなく、IBM Spectrum Protect の磁気テープ・フォーマットを使用することが推奨されています。IBM Spectrum Protect の磁気テープ・フォーマットを使用する場合は、ドライブへのパスを定義するときに **GENERIC TAPE**=Yes を指定しないでください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: **GENERIC TAPE** がこのドライブに適切な装置タイプであることを確認してください。  
**GENERIC TAPE** 装置タイプは有効ですが、IBM Spectrum Protect サーバーでサポートされる磁気テープ装置には推奨されていません。**GENERIC TAPE** が目的の装置タイプでない場合は、このドライブへのパスをすべて削除し、ドライブ自体を削除してください。その後、**GENERIC TAPE**=Yes を指定しないでドライブとパスを再定義してください。

---

**ANR8886E** エレメント・アドレスの不一致: ライブラリー *library name* のエレメント *element number* が、ライブラリーによってエレメント *element number* として報告されました。

説明: ライブラリー構成が変更されたようです。ライブラリー・インベントリーを変更している他の管理インターフェースがないことを確認してください。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 指定されたボリュームおよび発行されたコマンドに関する追加情報については、前のメッセージを調べてください。操作を再試行してください。  
**AUDIT LIBRARY** コマンドを使用してライブラリーを監査する必要が生じることがあります。

---

**ANR8887E** ドライブ *drive name* のボリューム *volume name* のブロック・サイズは互換性がありません。

説明: ドライブはボリュームのラベルまたはデータを読み取ることができません。この問題は、このボリュームに設定されている別のデータ・ブロック・サイズに起因すると考えられます。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: この問題が磁気テープ・ラベル操作中に発生した場合、そのテープはサード・パーティー・アプリケーションに既にラベル付けされている可能性があります。その場合、このエラーは無視できます。この問題が通常のデータ読み取り操作中に発生した場合は、磁気テープ装置をチェックして、正しいバージョンのデバイス・ドライバがインストールされていることを確認してください。

---

**ANR8888W** シリアル番号 *drive serial number* の装置 *drive name* の永続予約キーがクリアされます。

説明: サーバーは、IBM Spectrum Protect サーバーの永続キーを使用して、この装置を先に取得することができません。そのため、サーバーはこの装置に対して設定されているこのキーをクリアします。

システムの処置: N/A

ユーザーの処置: SAN 構成を確認し、この装置が IBM Spectrum Protect サーバーによって使用されていることを確認してください。

---

**ANR8901E** Command: オプション  
**STATUS=CLEANER** と  
**CHECKLABEL=YES** が非互換です。

説明: クリーナー・カートリッジには、ドライブにロードしてチェックできる内部ラベルがありません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: CHECKIN LIBVOL コマンドをやり直して、パラメーター CHECKLABEL=BARCODE を (SEARCH=YES を指定して) 組み込むか、あるいはパラメーター CHECKLABEL=NO を (必要なボリューム名を CHECKIN コマンドに指定して) 組み込みます。

---

**ANR8902W** ライブラリー *library name* 内でスロット  
**ID Element number of slot** のクリーナー・カートリッジのバーコードを読み取ることができません。クリーナーはチェックインされません。

説明: クリーナーとしてチェックインされるカートリッジのラベルを、ライブラリー・バーコード・リーダーが読み取ることができません。このカートリッジは、示されたエレメント番号のスロットに入っています。

システムの処置: カートリッジはチェックインされません。ライブラリーを検索している場合には、チェックイン・プロセスは次のボリュームから続行されます。

ユーザーの処置: カートリッジにバーコード・ラベルがあること、およびこれがバーコード・リーダーと互換性があることを確認してください。すべてのベンダーのラベルが、すべてのライブラリーで読み取り可能とは限りません。バーコード・リーダーが構成されていて、正しく機能していることを検査してください。クリーナー・カートリッジは CHECKIN LIBVOL コマンドを出すことによって、バーコード・ラベルを使用しないでチェックインすることができます。

---

**ANR8903E** Command: クリーナー・カートリッジ・チェックインの **CLEANINGS** パラメーターがありません。

説明: クリーナー・カートリッジのチェックイン時には、CLEANINGS パラメーターが必要です。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: CHECKIN LIBVOL コマンドをやり直して、CLEANINGS パラメーターに値を指定します。この値は、ドライブのクリーニングのためにクリーナーをマウントできる回数の判別に使用されます。

---

**ANR8904I** Command: ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のクリーニング操作はプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 指定のドライブのクリーニングを実行するために、コマンド駆動プロセスが開始されました。このプロセスには、メッセージ内部に記録されている ID が割り当てられます。

システムの処置: 管理者によって出された CLEAN DRIVE コマンドへの応答で、サーバーは、操作を実行するバックグラウンド・プロセスを開始します。

ユーザーの処置: プロセスの状況を知るためには、QUERY PROCESS コマンドを出してください。このプロセスは CANCEL PROCESS コマンドで取り消すことができます。

---

**ANR8905I** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* の **CLEAN DRIVE** プロセスが取り消されました。

説明: 指定のドライブのクリーニング作業を実行していたバックグラウンド・サーバー・プロセスが CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されました。

システムの処置: クリーニング・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8906I** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* をクリーニング中。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージは、サーバー上の CLEAN DRIVE プロセスの状況を表示します。示されたボリュームは、指定されたライブラリーにチェックインされています。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスの操作を続行します。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR8907E** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* の **CLEAN DRIVE** が失敗しました。

説明: CLEAN DRIVE に対するバックグラウンド・プロセスは正常に実行されませんでした。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了し

ますが、ドライブはクリーニングされていません。

ユーザーの処置: このコマンドと関連づけられているライブラリーおよびドライブ装置がパワーオンで、作動可能になっていることを確認してください。 コマンドを再発行してください。

---

**ANR8908I**    ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* の **CLEAN DRIVE** が正常に完了しました。

説明: 指定されたドライブは、CLEAN DRIVE コマンドの処理中に、ライブラリー内で正常にクリーニングされています。

システムの処置: ドライブは、通常のライブラリー操作に使用可能です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8909I**    ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* をクリーニング中 - 取り消しを保留中。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージは、サーバー上の CLEAN DRIVE プロセスの状況を表示します。

システムの処置: バックグラウンド・プロセス操作は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8910I**    クリーナーなし、またはクリーニングが残っているクリーナーなしが、ライブラリー *library name* で検出されました。

説明: ドライブにクリーナー・カートリッジをロードするように選択されていますが、クリーナーなし、またはクリーニングが残っているクリーナーなしが、ライブラリーのインベントリーで検出されました。

システムの処置: ドライブは、通常のライブラリー操作に使用可能です。

ユーザーの処置: CHECKIN LIBVOL コマンドを出すことによって、クリーナーをライブラリーにチェックインする必要があります。

---

**ANR8911W**    ライブラリー *library name* のストレージ・エレメント *slot element address* のカートリッジが、必要としていたクリーナー・カートリッジではありません。

説明: カートリッジは、そのクリーナー・ボリューム状況とともに、ライブラリーのインベントリー中にリストされます。指定された記憶セル中で、カートリッジをク

リーニング用にドライブにロードした後で、クリーナー・カートリッジでないことが判別されています。

システムの処置: ドライブは、通常のライブラリー操作に使用可能です。

ユーザーの処置: 他のすべてのクリーナー・カートリッジが正しいストレージ・セルにあるかを検査してください。 QUERY LIBVOLUME コマンドを出して、現在 IBM Spectrum Protect にチェックインされているすべてのカートリッジのストレージ・セルを入手してください。カートリッジがクリーナー・ボリューム状態でライブラリーのインベントリーにまだリストされている場合には、CHECKOUT LIBVOL コマンドを出して、そのカートリッジをライブラリーからチェックアウトしなければなりません。 必要な場合には、クリーナー・カートリッジを交換するために調べる必要があります。

---

**ANR8912E**    ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* にあるスロット・エレメント *element-address* からボリュームのラベルを検査できません。

説明: エレメント・アドレスで識別されるスロットからのボリュームがドライブにロードされます。ロードの後で、このドライブはオープンできません。 ボリュームを処理するためのラベルを読み取ることができません。

システムの処置: ボリュームが保管されて、次に使用可能なスロットで処理を続行します。

ユーザーの処置: このボリュームと関連したドライブによって報告されたエラーについては、システム・エラー・ログを検査してください。 カートリッジが間違っ

てロードされたクリーナー・カートリッジでないことを確認してください。 カートリッジがクリーナーである場合には、QUERY LIBVOL コマンドを出して、そのクリーナーの正しいストレージ・スロットを調べて、クリーナーをそのスロットに移動してください。 ライブラリーのインベントリー内に、クリーナーがない場合には、CHECKIN LIBVOL を使ってそのクリーナーをチェックインしてください。 ライブラリー監査中に、報告されたスロットから不適切なボリュームを除去し、ライブラリー監査を再実行してください。

---

**ANR8913I**    現在、ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* は使用中です。クリーニング・フラグが設定され、ドライブのクリーニングが正常に行われるとクリアされます。

説明: ドライブが使用中のため、このドライブをクリーニングするためのバックグラウンド・プロセスが、ドライブを獲得できません。

システムの処置: バックグラウンド・プロセス操作は完了します。ドライブ・クリーニング・フラグが設定され、その後でクリアされます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8914I** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* でクリーニングが必要です。

説明: ドライブが、クリーニングが必要であるという指示をサーバーに戻しました。

システムの処置: サーバーはクリーニングするドライブにマークを付けます。ドライブがサーバー管理クリーニングを使用できるようになっていて、クリーナー・カートリッジがライブラリーにチェックインされている場合には、サーバーは現行のボリュームが取り外された後でクリーナーをドライブにロードします。サーバー管理クリーニングを使用可能にすることについては、**DEFINE DRIVE** および **QUERY DRIVE** コマンドを参照してください。クリーナーをライブラリーにチェックインする詳細については、**CHECKIN LIBVOL** コマンドを参照してください。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8915I** ライブラリー *library name* のクリーニング・カートリッジ *cleaner name* が寿命に近づいています。残りの使用数は *cleanings left* です。

説明: クリーナー・カートリッジが検出されて使用されていますが、残りの使用数がほとんど使い尽くされています。

システムの処置: クリーニング操作を続行します。

ユーザーの処置: クリーナーを使用する時に、**QUERY LIBVOL** コマンドを使用して、残っているクリーニングの数をモニターしてください。すべてのクリーニングが使い尽した時に、そのクリーナーを取り外してください。古いクリーナーを使い尽くした時に、ライブラリーが有用なクリーナーがないままだったので、新規のクリーナーをチェックインすることができます。

---

**ANR8916I** ストレージ・エージェント *storage agent name* でライブラリー *library name* 内のドライブ *Drive name* のドライブ・マッピングが定義されました。

説明: 指定されたドライブのドライブ・マッピングは正常に定義されました。

システムの処置: ドライブ・マッピングは定義され、データベースに記録されました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8917I** ストレージ・エージェント *storage agent name* 上のライブラリー *library name* 内のドライブ *Drive name* のドライブ・マッピングが更新されました。

説明: 指定されたドライブに対して **UPDATE DRIVEMAPPING** 要求が正常に処理されました。

システムの処置: サーバーはドライブ・マッピングに関するその情報を更新します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8918I** ストレージ・エージェント *storage agent name* 上のライブラリー *library name* 内のドライブ *Drive name* のドライブ・マッピングが削除されました。

説明: 指定されたストレージ・エージェント、ライブラリー、およびドライブのドライブ・マッピングが正常に削除されました。

システムの処置: ドライブ・マッピングは削除されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8919I** 共有ライブラリー *library name* の初期化および回復を開始しました。

説明: ライブラリー管理プログラムとライブラリー・クライアントを再同期化するために、共有ライブラリーの初期化または回復が開始されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このプロセスは、現在このライブラリー・クライアントが使用中のすべてのドライブを再同期化します。またこのプロセスは、通信エラーの後、あるいはライブラリー・クライアントがライブラリー管理プログラムとのドライブ状況を確認できなかった場合にも、開始されることがあります。

---

**ANR8920I** 共有ライブラリー *library name* の初期化および回復を終了しました。

説明: 初期化または回復でライブラリー管理プログラムが終了されて、ライブラリー・クライアントが同期化されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 以前にライブラリー・クライアントが所有していたドライブは、現在ライブラリー管理プログラム上で解放されていることが示されています。これは、ライブラリー管理プログラムの **QUERY DRIVE** コマンドで確認してください。ドライブの所有権にまだ疑問がある場合は、ライブラリー・クライアントとライ

ブラリー管理プログラムを再度開始してください。

---

**ANR8921E** ライブラリー・ポーリング・スレッドを開始できません。

説明: ライブラリーの共有には、このポーリング・スレッドを開始する必要があります。このスレッドは、ドライブの所有権に関して、ライブラリー管理プログラムとライブラリー・クライアントを同期された状態を保持します。これらのスレッドは、ライブラリーの定義時、またはサーバーの最初の初期化時に開始されます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ポーリング・スレッドが開始していないので、ユーザーはサーバーを再始動して、ライブラリー共有が正しく機能するようする必要があります。サーバーを再始動して実行中のポーリング・サービスを取得する障害は、ライブラリー・クライアントの異常な結果の原因になる可能性があります。

---

**ANR8922I** ライブラリー *library name* の装置クラスが見つかりません。

説明: ライブラリー・クライアントは、ライブラリー管理プログラムによって、マウント操作が実行されるよう要求しました。ライブラリー管理プログラムで、そのライブラリーの装置クラスの定義が欠落しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: DEFINE DEVCLASS コマンドを使用して、ライブラリーの装置クラスを定義してください。

---

**ANR8923I** ライブラリー *library name* 内のドライブ *drive name* が現在は *drive owner name* によって所有されていないので、取り外しが失敗しました。

説明: ライブラリー・クライアントが、ライブラリー・クライアントが現在所有していないドライブを取り外そうとしました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8925W** ライブラリー *library name* 内のドライブ *drive name* は *elapsed time* 秒を過ぎてもサーバー *server name* による使用が確認されていません。ドライブは他からの使用のためにレクラメーション処理されます。

説明: ライブラリー・サーバーはライブラリー・クライアントがまだドライブを使用中であるかを検査するために、指定された時間間隔でライブラリー・クライアントにコンタクトできませんでした。この時点でライブラ

リー・マネージャーのエラー回復論理がドライブをレクラメーション処理し (可能な場合、クライアント・ボリュームの取り外しを含む)、他からドライブが使用できるようにします。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 上記のサーバー名を持つライブラリー・クライアントが、まだ実行中であることを確認してください。セッションが使用不可能ではなく、ネットワークが 2 つのホスト・マシン間でまだ稼働中であることを確認してください。ライブラリー・マネージャーおよびライブラリー・クライアントの両方でサーバー定義 (QUERY SERVER) が正しいことを確認してください。

---

**ANR8926W** 共有ライブラリー *library name* 内のドライブ *drive name* の使用を確認中にエラーが起きました。

説明: ライブラリー・クライアントはライブラリー・マネージャーに対してドライブの使用を確認することができませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: セッションが使用不可能ではなく、ネットワークが 2 つのホスト・マシン間でまだ稼働中であることを確認してください。ライブラリー・マネージャーおよびライブラリー・クライアントの両方でサーバー定義 (QUERY SERVER) が正しいことを確認してください。

---

**ANR8927W** このライブラリー・クライアントは *elapsed time* 秒間、ライブラリー・マネージャーにコンタクトできませんでした。共有ライブラリー *library name* 内のすべてのドライブの所有権を解放します。

説明: ライブラリー・クライアントはライブラリー・マネージャーに対してドライブの使用を確認することができませんでした。ライブラリー・クライアントは現在所有しているすべてのボリュームを取り外します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: セッションが使用不可能ではなく、ネットワークが 2 つのホスト・マシン間でまだ稼働中であることを確認してください。ライブラリー・マネージャーおよびライブラリー・クライアントの両方でサーバー定義 (QUERY SERVER) が正しいことを確認してください。

---

**ANR8928W** 共有ファイル装置クラス *device class*  
*name* に指定されたライブラリー *library name* が共有として定義されませんでした。そのライブラリーが更新されないかぎり、装置クラスは共有可能とはなりません。

説明: 新規共有ファイルの装置クラスに事前に存在するライブラリーが指定されました。ただし、装置クラスのファイルは、そのライブラリーも共有されないかぎり共有することはできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: UPDATE LIBRARY libname  
 SHARED=YES コマンドを出して、ライブラリーを共有にしてください。

---

**ANR8929E** 共有ファイル装置クラス *device class*  
*name* に指定されたライブラリー *library name* が **FILE** ライブラリーとして定義されませんでした。

説明: 新規共有ファイルの装置クラスに事前に存在するライブラリーが指定されました。ただし、既存のライブラリーは LIBTYPE=FILE パラメーターで作成されませんでした。

システムの処置: ありません。この装置クラスは作成されません。

ユーザーの処置: LIBTYPE=FILE パラメーターおよび SHARED=YES パラメーターで作成されたライブラリー名を指定するか、あるいは存在しないライブラリー名(その場合、ライブラリーが作成される)を指定してください。また、LIBRARY パラメーターを指定しないことも可能です(この場合ライブラリー名が作成されます)。

---

**ANR8930W** *drives to create* ドライブを定義する試みがライブラリー *library name* で失敗しました。装置クラスには *mount limit* のマウント・リミットがありますが、関連したライブラリーのドライブ数はマウント・リミットより小さくなっています。

説明: 共有装置クラスを作成または更新する時には、そのドライブ数がマウント・リミットより小さい場合には、関連するライブラリーに追加するファイル・ドライブをマウント・リミットまで定義しようとします。追加のドライブを定義中に 1 つ以上の障害が起きました。ドライブ数が関連した装置クラスのマウント・リミットと対応していません。これは、サーバーとストレージ・エージェント間のリソースの平衡化で問題になることがあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY DRIVE コマンドを使用して、そのライブラリーと関連したドライブの名前を表示してください。QUERY DEVCLASS deviceclass F=D コマンドを使用して、関連した装置クラスのマウント・リミットを検索してください。この新しいドライブに対して DEFINE DRIVE コマンドを DEFINE PATH コマンドとともに使用し (DEVICE=FILE を指定)、関連する装置クラスのマウント限界と一致するように追加ドライブをファイル・ライブラリーに定義します。

---

**ANR8931W** *drives to delete* ドライブを削除する試みがライブラリー *library name* で失敗しました。装置クラスには *mount limit* のマウント・リミットがありますが、関連したライブラリーのドライブ数がマウント・リミットより大きくなっています。

説明: 共有装置クラスが更新され、関連したライブラリー内のドライブ数が装置クラスのマウント・リミットより大きい場合は、マウント・リミットと同じドライブ数になるように、ドライブの削除が試みられます。ドライブを削除中に 1 つ以上の障害が起きました。ドライブ数が関連した装置クラスのマウント・リミットと対応していません。これは、サーバーとストレージ・エージェント間のリソースの平衡化で問題になることがあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: QUERY DRIVE コマンドを使用して、そのライブラリーと関連したドライブの名前を表示してください。QUERY DEVCLASS deviceclass F=D コマンドを使用して、関連した装置クラスのマウント・リミットを検索してください。DELETE DRIVE コマンドを使用して、ライブラリーのドライブ数が装置クラスのマウント・リミットと対応するようになるまでドライブを削除してください。

---

**ANR8932W** サーバー *servername*、ライブラリー *library name*、ドライブ名 *drive name* のドライブ・マップにディレクトリー *directory* がありますが、これは、同じライブラリー内のドライブの別のドライブ・マップとは異なっています。

説明: 共有ファイルを作成しようとしていました。これを行う時に、そのドライブ・マップと関連したディレクトリーで、指示されたドライブ・マップと、同じライブラリー内のドライブの他のドライブ・マップとの間で異なった定義があることが判別されました。これによって、データが予測できない位置に書き込まれたか、あるいはデータが書き込まれない可能性があります。

システムの処置: サーバーは指示されたディレクトリーを使用して操作を続行します。

ユーザーの処置: F=D パラメーターを指定した QUERY DRIVEMAP コマンドを使用して、指示されたライブラリー内のドライブのドライブ・マップと関連したディレクトリーをリストして、そのディレクトリーが正しく、同一のものであることを確認してください。 UPDATE DRIVEMAP コマンドを使用して、間違ったディレクトリー項目を更新してください。

---

**ANR8933W** ライブラリー *library* のファイル *volumename* が必要なディレクトリー中に存在しません。

説明: FILE ボリュームをファイル・ドライブから取り外していました。そのファイルを検出する必要があったディレクトリー中に存在していません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ドライブ・マッピングが間違っていて、無効だが、そのサーバーのディレクトリーとは異なったディレクトリーをストレージ・エージェントが使用している可能性があります。この場合、ストレージ・エージェントはファイルにアクセスできますが、サーバーはできません。 F=D パラメーターを指定した QUERY PATH コマンドを使用して、指示されたライブラリー内のドライブのドライブ・マップと関連したディレクトリーをリストして、そのディレクトリーが正しく、同一のものであることを確認してください。 UPDATE PATH コマンドを使用して、間違ったディレクトリー項目を更新してください。 ファイルを正しいディレクトリーに移動するには、ご使用のプラットフォームに応じて Windows move コマンドまたは Unix mv コマンドを使用してください。

---

**ANR8934W** 装置クラス *device class* と関連したライブラリー *library* のファイル *volumename* をライブラリー・インベントリーに挿入できませんでした。

説明: FILE ボリュームをライブラリー・インベントリーに挿入していました。そのライブラリーを参照する装置クラスと関連したディレクトリー中で、ファイルが検出されませんでした。ただし、指示されたファイル名の項目がライブラリー・インベントリー中に既にあります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ドライブ・マッピングが間違っていて、無効だが、そのサーバーのディレクトリーとは異なったディレクトリーをストレージ・エージェントが使用している可能性があります。この場合、ストレージ・

エージェントはファイルにアクセスできますが、サーバーはできません。 F=D パラメーターを指定した QUERY DRIVEMAP コマンドを使用して、指示されたライブラリー内のドライブのドライブ・マップと関連したディレクトリーをリストして、そのディレクトリーが正しく、同一のものであることを確認してください。 UPDATE DRIVEMAP コマンドを使用して、間違ったディレクトリー項目を更新してください。 ファイルを正しいディレクトリーに移動するには、ご使用のプラットフォームに応じて Windows move コマンドまたは Unix mv コマンドを使用してください。

---

**ANR8935E** サーバー *server name* 上の共有ライブラリー *library name* の互換性のある装置クラスが見つかりませんでした。

説明: ライブラリー・クライアント・サーバーには、このサーバー上の装置クラス定義と互換性のない装置クラス定義があります。装置タイプおよび記録形式は両方のサーバー上で同一であることが必要であるか、あるいは、サーバーの 1 つが汎用テープの装置タイプを持つことができます。

---

**ANR8936W** 装置名 *device name* と、ライブラリー *library name* 内のドライブ *drive name* のパス変換が失敗しました。 **UPDATE DRIVE** が必要です。

説明: ライブラリーの初期化中に、ドライブ・パスが除去されていることをサーバーがを見つけました。

システムの処置: ライブラリーは、テープ操作でこのドライブをアクセスできません。

ユーザーの処置: DEVICE= オプションを指定した UPDATE DRIVE コマンドを出すことによって、このドライブをアクセス可能にできます。

---

**ANR8937W** ライブラリー *library name* 内のドライブ *drive name* の装置名が欠落しています。 **UPDATE DRIVE** が必要です。

説明: ドライブの装置名が欠落していることが判明しました。

システムの処置: ドライブは、テープ操作でこのサーバーにアクセスできなくなります。

ユーザーの処置: DEVICE= オプションを指定した UPDATE DRIVE コマンドを出すことによって、このドライブをアクセス可能にできます。



**ANR8938E** 共有ライブラリー *library name* の初期化に失敗しました。*delay time* 分内に再試行されます。

説明: 指定のライブラリーに対する初期化プロセスは正常に行われませんでした。指定された時間内に自動的に再試行されます。

システムの処置: 初期化は後で再試行されます。

ユーザーの処置: ライブラリー・マネージャー・サーバーが実行中であり、ライブラリーが初期化されていることを確認します。

**ANR8939E** 磁気テープ装置 *drive name* のアダプターは、このボリュームを使用するために必要なブロック・サイズを処理できません。

説明: アダプターの MAXIMUMSGLIST パラメーターが 16 進 41 より小さく設定されているため、アダプターは、ボリュームに必要なブロック・サイズの読み書きを行うことができません。

システムの処置: このボリュームはこのドライブにマウントされません。

ユーザーの処置: 大きなブロック・サイズを処理できるようにアダプターを更新する必要があります。通常、設定は以下の場所にある Windows レジストリーの MAXIMUMSGLIST で行います。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE->SYSTEM->Current
Control Set->Services->{vendor device
name}>Parameters->Device
```

「{vendor device name}」をベンダー装置名で置換する必要のあることに注意してください。例えば、Qlogic 2200 の場合はベンダー装置名として「QI2200」を使用します。

MAXIMUMSGLIST を 16 進 41 に設定しなければ、IBM Spectrum Protect で正常に機能しません。

MaximumSGList 値は、DSMMAXSG ユーティリティを実行しても、すべての HBA に対して 0x41(65) に設定できます。

追加情報については、HBA の資料を参照するか HBA のベンダーにお問い合わせください。

その他の質問については、IBM サポートにお問い合わせください。

**ANR8940E** サーバーまたはストレージ・エージェント *server or storage agent name* のライブラリー *library name* 内のファイル・ドライブ *drive name* のパス定義には、ボリューム *volume name* の装置クラス・ディレク

トリ属性内にある一致するディレクトリーがありません。

説明: ライブラリー・クライアントまたはストレージ・エージェントがファイル・ライブラリーに含まれるドライブ内のファイル・ボリュームのマウントを要求しましたがパス定義に一致するディレクトリー名がありません。ファイル・ライブラリーの各ドライブの PATH 定義内のディレクトリーと、ライブラリーに関連している装置クラス内の対応するディレクトリーが一致している必要があります。特定のサーバーやストレージ・エージェントの観点からすると、PATH 定義内のディレクトリーは、装置クラス定義と同じストレージを必ず指示している必要があります。ディレクトリーのリストには、特定のサーバーやストレージ・エージェントにより読み書きされるファイル・ボリュームの各ディレクトリーのエントリーが必要です。

システムの処置: 操作に失敗します。

ユーザーの処置: 上記のパス定義の DIRECTORY 属性が、サーバーの装置クラス定義内の各ディレクトリーに一致するディレクトリーを含んでいるか確認してください。

**ANR8941W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* にあるスロット・エレメント *element-address* のボリュームがブランクです。

説明: スロットのボリュームにラベルが付いていないかブランクです。

システムの処置: ボリュームはスキップされて、次に使用可能なスロットで処理を続行します。このボリュームをチェックインした場合は、インベントリーから除去されます。

ユーザーの処置: LABEL LIBVOL を使用してボリュームにラベルを付け、CHECKIN LIBVOL を使用してチェックインしてください。

**ANR8942E** ボリューム *volume name* をスロット・エレメント *element-address* からスロット・エレメント *element-address* に移動できませんでした。

説明: ボリュームをスロットからスロットに移動できませんでした。

システムの処置: ボリュームの移動操作は失敗しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、この操作に関連した前のエラー・メッセージを確認してください。他のエラー・メッセージに記載されている推奨処置でこの状態が解決されない場合 (または他にエラー・メッセージがない場合)

は、AUDIT LIBRARY コマンドを実行し、ライブラリー・インベントリー内の不整合を検出して修正してください。このコマンドは、ライブラリー・ボリュームのインベントリーを、ライブラリー内に物理的に置かれているボリュームと整合した状態にリストアします。

AUDIT LIBRARY コマンドの完了後、ボリュームがライブラリー・インベントリーにない場合は、CHECKIN LIBVOLUME コマンドを使用してボリュームをライブラリーにチェックインして戻す必要があります。

---

**ANR8943E** ライブラリー *library name* に対する操作中にハードウェア・エラーまたはメディア・エラー (**OP=internal code**、**CC=internal code**、**KEY=internal code**、**ASC=internal code**、**ASCQ=internal code**、**SENSE=sense data**、**説明=error description**) が発生しました。入出力エラー・コードの説明については、**IBM Spectrum Protect** 資料を参照してください。

説明: 指定されたライブラリーに対する操作中に、ハードウェア・エラーまたはメディア・エラーが発生しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ライブラリーと関連付けられている DEVICE パラメーターが DEFINE PATH コマンドで正しく識別されていること、およびライブラリー装置の電源が現在オンで、作動可能になっていることを確認してください。ライブラリーにアクセス・ドアがある場合には、それがクローズされていることを確認します。このライブラリー内のテープ・ドライブについてクリーニングしきい値を超えた場合、テープ・ドライブをクリーニングしてください。フィールド KEY、ASC、および ASCQ の値について詳しくは、ライブラリーおよびドライブの解説書を参照してください。

---

**ANR8944E** ボリューム *volume name* を持つドライブ *drive name* で、ハードウェア・エラーまたはメディア・エラー (**OP=internal code**、エラー番号= *internal code*、**CC=internal code**、**KEY=internal code**、**ASC=internal code**、**ASCQ=internal code**、**SENSE=sense data**、**説明=error description**) が発生しました。入出力エラー・コードの説明については、**IBM Spectrum Protect** 資料を参照してください。

説明: 指定されたドライブに対する操作中に、ハードウ

ェア・エラーまたはメディア・エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ドライブと関連づけられている DEVICE パラメーターが DEFINE PATH コマンドで正しく識別されたこと、およびドライブが現在パワー・オンで、作動可能になっていることを確認してください。通常は、KEY、ASC、および ASCQ フィールドの値を説明する表が、ドライブ解説書に入っています。

---

**ANR8945W** スクラッチ・ボリュームのマウントが失敗しました。ボリューム名 *volume name*。

説明: スクラッチ・ボリュームのマウントが失敗しました。

システムの処置: スクラッチ・ボリュームのマウント操作が失敗しました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8946W** **vollist** のラベルの数が、ラベル付けが可能なボリュームの数を超えています。

説明: Label Libvolume コマンドはエラーを出さずに終了しますが、最後のラベルは使用されませんでした。ラベル付け可能なボリュームがなくなると、ラベル付け処理は完了します。

システムの処置: ラベル付け可能なすべてのボリュームにラベルが付けられましたが、**vollist** の一部のボリューム名は使用されませんでした。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8947W** **vollist** のラベルの数が、ラベル付け可能なボリュームの数を下回っています。

説明: Label Libvolume コマンドはエラーを出さずに終了しますが、一部のボリュームにはラベルが付けられません。

システムの処置: 一部のボリュームにはラベルが付けられません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8948S** 装置 *device*、ボリューム *volume name* から、重大な **TapeAlert** (*alertmessage*) が発行されました。

説明: 示されている装置が、示されているボリュームのロード中に TapeAlert 重大メッセージを発行しました。このメッセージはハードウェア機能であり、IBM Spectrum Protect サーバーではなく装置から発行されます。このメッセージは現在の操作が終了した時点で表示されますが、操作とは関係ありません。

システムの処置: 装置から出される他のエラー情報 (チェック状態など) によっては、操作が失敗することがあります。TapeAlert メッセージ自体は失敗を示すものではありません。活動記録ログで装置またはボリュームに関するその他のメッセージを確認してください。

ユーザーの処置: TapeAlert のテキストに適切な応答が示されていることがあります。他の活動記録ログ・メッセージから TapeAlert の内容を確認し、その推奨事項に従います。

---

**ANR8949E** 装置 *device*、ボリューム *volume* から、重大な **TapeAlert** (*alertmessage*) が発行されました。

説明: 示されているボリュームがロードされているかどうかにかかわらず、示されている装置が TapeAlert 重大メッセージを発行しました。このメッセージはハードウェア機能であり、IBM Spectrum Protect サーバーではなくホスト・インターフェースから発行されます。このメッセージは現在の操作が終了した時点で表示されますが、操作とは関係ありません。

システムの処置: 操作に失敗します。TapeAlert メッセージ自体は失敗を示すものではありません。活動記録ログで装置またはボリュームに関するその他のメッセージを確認してください。

ユーザーの処置: TapeAlert のテキストに適切な応答が示されていることがあります。他の活動記録ログ・メッセージから TapeAlert の内容を確認し、その推奨事項に従います。

---

**ANR8950W** 装置 *device*、ボリューム *volume* から、警告 **TapeAlert** (*alertmessage*) が発行されました。

説明: 示されている装置 (ボリューム名なし) から TapeAlert 警告メッセージが発行されました。このメッセージはハードウェア機能であり、IBM Spectrum Protect サーバーではなく装置から発行されます。このメッセージは現在の操作が終了した時点で表示されますが、操作とは関係ありません。

システムの処置: 操作に失敗します。活動記録ログで装置またはボリュームに関するその他のメッセージを確認してください。

ユーザーの処置: TapeAlert のテキストに適切な応答が示されていることがあります。他の活動記録ログ・メッセージから TapeAlert の内容を確認し、その推奨事項に従います。

---

**ANR8951I** 装置 *device*、ボリューム *volume* から、情報 **TapeAlert** (*alertmessage*) が発行されました。

説明: 示されているボリュームがロードされている指定の装置が、TapeAlert 情報メッセージを発行しました。このメッセージはハードウェア機能であり、IBM Spectrum Protect サーバーではなく装置から発行されます。このメッセージは現在の操作が終了した時点で表示されますが、操作とは関係ありません。

システムの処置: 装置から出される他のエラー情報 (チェック状態など) によっては、操作が失敗することがあります。TapeAlert メッセージ自体は失敗を示すものではありません。活動記録ログで装置またはボリュームに関するその他のメッセージを確認してください。

ユーザーの処置: TapeAlert のテキストに適切な応答が示されていることがあります。他の活動記録ログ・メッセージから TapeAlert の内容を確認し、その推奨事項に従います。

---

**ANR8952E** ライブラリー・シリアル番号が、ライブラリー名 に対して定義されているシリアル番号と一致しません。

説明: 示されているライブラリーに対して定義されているシリアル番号が、検出されたシリアル番号と一致しません。保留操作が失敗します。

システムの処置: シリアル番号の不一致が検出されると、ライブラリーはオフラインになります。ライブラリーのシリアル番号と装置名を、定義されているシリアル番号と装置名と突き合わせて確認してください。一致しない場合には、ライブラリーの定義が誤っているため、この定義を更新する必要があります。シリアル番号の更新が完了すると、ライブラリーがオンラインに戻ります。

ユーザーの処置: 示されているライブラリーのシリアル番号と装置名を正しい値で更新します。

---

**ANR8953I** ライブラリー *library name* のシリアル番号 *serial number* が、新たに検出されたシリアル番号 *serial number* に更新されました。

説明: 定義されているライブラリーのシリアル番号が、検出されたシリアル番号と一致していません。自動検出が有効になっているので、このライブラリーに対して定義されているシリアル番号が、新たに検出されたシリアル番号に置き換えられます。

システムの処置: 示されているライブラリーの既存のシリアル番号が、新たに検出されたシリアル番号に置き換えられました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8954E** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のパスの取得に失敗しました。

説明: ドライブのパスを獲得する試行に失敗しました。最も有力な原因は、このドライブのパスが定義されていないことです。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このドライブのパスが定義されていることを確認してください。定義されている場合は、それが正しいソースと宛先タイプを使用して正しく定義されていることを確認してください。ドライブが共有 FILE ライブラリーにある場合は、以下の項目を確認します:

ストレージ・エージェントに定義されているパスの数、ライブラリー内のドライブの数と同じであることを確認してください。

サーバー装置クラス定義とストレージ・エージェント・パス定義でディレクトリーが正しいことを確認してください。

ストレージ・エージェントの各パスのディレクトリーの数および順序が、装置クラス・ディレクトリー定義のディレクトリーの数および順序と同じであることを確認してください。

---

**ANR8955I** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のシリアル番号 *serial number* が、新たに検出されたシリアル番号 *serial number* に更新されます。

説明: 定義されているドライブのシリアル番号が、検出されたシリアル番号と一致していません。自動検出が有効になっているので、このドライブに対して定義されているシリアル番号が、新たに検出されたシリアル番号に置き換えられます。

システムの処置:

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8956E** ライブラリー *library name* に対して定義されているシリアル番号が、検出されたシリアル番号と一致していません。

説明: 自動検出が NO に設定されているため、検出されたシリアル番号が、定義されているライブラリーのシリアル番号と一致していません。保留操作が失敗します。

システムの処置: ライブラリーのシリアル番号と新たに検出されたシリアル番号の不一致が検出されました。

ユーザーの処置: 示されているライブラリーのシリアル番号を正しい値で更新します。

---

**ANR8957E** *Command:* ライブラリーから報告されたシリアル番号が、ライブラリー定義内のシリアル番号と一致しませんでした。

説明: データベース内のライブラリーのシリアル番号が、指定された装置固有ファイルを使用して検出されたライブラリーのシリアル番号に一致しませんでした。ライブラリーを変更するのに UPDATE PATH を使用することができないため、新しい装置は、データベース内のシリアル番号が空の場合を除き、データベース内に保管されているものと同じシリアル番号を持っている必要があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して、有効な DEVICE パラメーター値を指定してください。これが、新しいライブラリーであるか、または別のシリアル番号を持つ別のライブラリーである場合、DEFINE LIBRARY および DEFINE PATH を使用して、新しいライブラリーとパスを定義する必要があります。

---

**ANR8958E** *Command:* 自動検出が **OFF** に設定されており、ドライブから報告されたシリアル番号と、ドライブ定義で検出されたシリアル番号が一致していません。

説明: 指定されたパラメーターには無効値が指定されています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドをやり直して、有効なパラメーター値を指定してください。

---

**ANR8959W** ライブラリーまたは装置へのパスが存在していません。

説明: ライブラリーまたは装置へのパスが存在していません。

システムの処置: これはエラーでない可能性があります。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8960I** *Command:* SCSI 装置から発行された Tape Alerts の *status* が表示されます。

説明: SCSI 装置の Tape Alerts の状況が表示されます。

システムの処置: コマンドは処理されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8961E** ライブラリー *library name* とドライブ *drive name* に対して定義されているシリアル番号がブランクであり、検出されたドライブ・シリアル番号 *serial number* と一致していません。

説明: 装置を交換しましたが、新しいパスを取得できませんでした。

システムの処置: .

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8962E** ライブラリー *library name* に定義されたシリアル番号と一致するパスが見つかりません。

説明: 装置にハードウェア障害があるか、装置パスが変更されており、SAN ディスカバリー・オプションが ON に設定された状態では IBM Spectrum Protect サーバーは新規パスを見つけることができません。

システムの処置: .

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8963E** ライブラリー *library name* 内のドライブ *drive name* に定義されたシリアル番号と一致するパスが見つかりません。

説明: 装置にハードウェア障害があるか、装置パスが変更されている可能性があり、SAN ディスカバリー・オプションが ON に設定された状態では IBM Spectrum Protect サーバーは新規パスを見つけることができません。IBM Spectrum Protect サーバーは、装置をオープンできないときは装置情報を取得できません。したがって、IBM Spectrum Protect サーバーはドライブのシリアル番号を検査して、オープン操作が失敗したこのドライブが前に使用されたのと同じドライブであるか調べることができません。この装置がオープンに失敗した原因は、ケーブルの不良、ドライブの不良、または HBA カードの不良である可能性があります。ただし、正しくないドライブが使用され (例えば、装置パスが正しくない)、SAN ディスカバリー・オプションが OFF または UNSCANNEDPATHOFF に設定されている場合は、IBM Spectrum Protect サーバーが適切な装置を入手するために SAN 環境を検索することはありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーは、SAN ディスカバリー・オプションが ON または UNSCANNEDPATHOFF であるためにこの装置にオフラインのマークを付けることがあります。

ユーザーの処置: 最初に IBM Spectrum Protect サーバー・オプション・ファイルを確認する必要があります。SAN ディスカバリー・オプションが OFF または

UNSCANNEDPATHOFF に設定されている場合は、それを ON に設定して、装置上にハードウェア・エラーがないか確認します。SAN ディスカバリー・オプションが ON に設定されている場合は、装置を検査してハードウェア障害があるか調べます。

---

**ANR8964W** データベース *path source name* およびドライブ *drive name* のパスを更新できません。

説明: システムがデータベースのパス情報を更新できません。

システムの処置: .

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8965W** サーバーは SCSI 装置 *device name* のシリアル番号を取得することができません。

説明: HBAAPI または装置自体から装置のシリアル番号を検出できないため、サーバーはその装置のパスを自動的に訂正できません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 次を確認してください。

- パス定義にある装置名が正しい。
  - HBAAPI の正しいバージョンがシステムにインストールされている。
  - オプション・ファイル内の SANdiscovery オプションが ON に設定されている。
- 

**ANR8966E** ドライブ *drive name* の装置番号を取得できませんでした。

説明: 示されているドライブの装置番号をサーバーが取得できませんでした。このエラーの原因としては、ドライブに対して無効な装置名が指定されていることや、ハードウェア・エラーがあることが考えられます。

システムの処置: ドライブが一時的にオフラインになっていて、テープ操作に使用されていません。サーバーは、この条件が解消されているかどうかをチェックするために、1/2 分間隔でドライブをポーリングします。再びドライブがアクセス可能になると、ドライブはオンラインになります。

ユーザーの処置: ドライブがアクセス不能になった原因 (システム・ログに記録されたハードウェア・エラーやドライブに設定されている誤った装置名など) を調べてください。ドライブに対して必要な訂正があれば、これを実行してください。ポーリング・プロセスで、ドライブがアクセス可能になったことが分かると、ドライブは自動的にオンラインになります。

**ANR8967E** *Command:* ドライブ・シリアルがライブラリー *library name* にある既存のドライブと競合しています。

説明: シリアル番号は提供されたライブラリーのドライブに既に存在しています。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ドライブの有効なシリアル・パラメーターを指定します。

**ANR8968E** 装置 *device* のパスを作成できません。

説明: 所定の装置名を持つドライブと接続しようとしたが、失敗しました。通常このエラーは装置名が正しくない場合に発生しますが、その他の理由で発生する場合もあります。

システムの処置: 操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 装置パラメーターが有効でない可能性があります。これは、一時的に発生した可能性があります。IBM Spectrum Protect バージョン 4.1 以前 (パスを未使用) からアップグレードする際にこれが発生する場合は、ドライブを削除、再定義し、有効な装置パラメーターで新しいパスを定義する必要があります。パスを既に持っている IBM Spectrum Protect サーバー (バージョン 4.2 以上) でこれが発生する場合は、ドライブをオンラインに更新してください。装置パラメーターの変更が必要であることがわかっている場合は、ドライブをオンラインにする前に、ドライブ・パス上の装置パラメーターも更新できます。

**ANR8969E** ボリューム *Volume name* の所有者を所有者 *Owner name* に更新できません。

説明: ボリュームの所有権を更新して、コマンドが出されました。このボリュームの所有者を変更することはできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR8970E** *parameter* デバイス・ドライバーのトレース用の特殊ファイル *specialfile* を開くことができません。エラー = *errno*。

説明: サーバーは、トレースの目的でデバイス・ドライバーによって作成された特殊ファイルを開くことができませんでした。このファイルは、デバイス・ドライバーをシステム上で構成するときに作成する必要があります。

システムの処置: デバイス・ドライバーのトレースを開始できませんでした。

ユーザーの処置: 特殊ファイルが存在すること、およびサーバーからアクセス可能であることを確認してください。デバイス・ドライバーが完全に構成されておらず、すべての装置に対して特殊ファイルが作成済みの場合は、構成を完了してください。デバイス・ドライバーのトレースは、IBM Spectrum Protect サーバーに定義されているライブラリー名またはドライブ名を指定することにより行うこともできます。

**ANR8971E** *parameter* コマンドのディレクトリー名 *directory name* の妥当性検査を実行できませんでした。

説明: 指定されたディレクトリー名は、指示されたコマンドで使用されていました。サーバーは、ディレクトリーがアクセス可能で、コマンド定義で使えるかを確認しようとした。サーバーは、ディレクトリーがアクセス可能であることを確認できませんでした。

システムの処置: コマンドは失敗します。サーバーは続行します。

ユーザーの処置: ディレクトリーが存在すること、およびサーバーからアクセス可能であることを確認してください。

**ANR8972E** *command:* ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* のエレメント番号を検出できません。

説明: ドライブ・シリアル番号が、ライブラリーによって報告されたシリアル/エレメント番号マップのドライブ・シリアル番号と一致しないため、エレメント番号を判別できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 自動検出が活動状態でない場合は、ドライブに対して入力したシリアル番号が正しいことを確認します。自動検出が活動状態の場合は、ドライブ・シリアル番号が誤っているか、またはライブラリーによって報告されたシリアル/エレメント番号マップが誤っている可能性があります。サービス担当員に連絡してください。

**ANR8973E** パス *path name* の装置 *device name* に対して別のシステムによって設定された予約を、装置リセットで取り消すことができませんでした。

説明: 別のシステムによって設定された装置の予約をリセットできませんでした。

システムの処置: システム・アクションは実行されません。

ユーザーの処置: この磁気テープ装置が Windows 2003 上のファイバー・チャネル直接接続装置である場合は、HBA ベンダーのサポート Web サイトを調べて、HBA ドライバーが StorPort ドライバーであることを確認してください。Windows 2003 上での装置リセット (LUN Reset) には、StorPort ドライバーが必要です。このドライバーがない場合、予約をリセットして装置にアクセスできるようにするには、装置を再始動する必要がある可能性があります。この装置が、AIX システムに接続された磁気テープ装置である場合は、この装置が AIX 汎用テープ・ドライバで構成されていないことを確認してください。これは、システム・コマンド "lsdev" を使用して ("lsdev -Cs fcp | grep mt") 確認します。UPDATE LIBRARY コマンドの "RESETDrives" キーワードが "No" に設定されている場合、装置はリセットできません。装置リセットは試行されません。

---

**ANR8974I** *path source name* の新規パスを検出。宛先名 *target name* 旧パス *old path name* 新規パス *new path name* パス情報はリモート側で更新されます。

説明: ライブラリー・クライアント上またはストレージ・エージェント上の装置の新規パスを検出しました。ライブラリー・マネージャー上のパス情報を更新します。

システムの処置: .

ユーザーの処置: パス変更は、システムのリブートまたは、ケーブル交換、装置の追加あるいは取り外しなどで発生します。

---

**ANR8975I** *path source name* の新規パスを検出。宛先名 *target name* 旧パス *old path name* 新規パス *new path name* パス情報は更新されました。

説明: 装置の新規パスを検出し、パス情報が更新されました。

システムの処置: .

ユーザーの処置: パス変更は、システムのリブートまたは、ケーブル交換、装置の追加あるいは取り外しなどで発生します。

---

**ANR8976E** LUN リセット用の特殊ファイル *specialfile* を開くことができません。エラー番号 = *errno*。

説明: サーバーは、LUN リセットの目的でデバイス・ドライバによって作成された特殊ファイルを開くことができませんでした。このファイルは、デバイス・ドライバをシステム上で構成するときに作成する必要があります。

システムの処置: LUN リセットを開始できませんでした。

ユーザーの処置: 特殊ファイルが存在すること、およびサーバーからアクセス可能であることを確認してください。デバイス・ドライバが完全に構成されておらず、すべての装置に対して特殊ファイルが作成済みの場合は、デバイス・ドライバ構成を解決してください。

---

**ANR8977W** ライブラリー *library name* にロードされたボリュームに、有効なラベルがありませんでした。有効なラベルを持つスクラッチ・ボリュームをロードしてください。

説明: ボリュームに有効なラベルがなく、AUTOLABEL パラメーターがオンに設定されている場合、手動ライブラリーは通常の操作中にユーザーに対して必要なボリューム名の指定を求めるプロンプトを出します。しかし、DUMPDB のユーティリティー・モードでは、ユーザーに対して必要なボリューム名の指定を求めるプロンプトを出すことができません。

システムの処置: サーバーは、ボリュームをアンロードし、有効なラベルを持つ新規のスクラッチ・ボリュームを求めるプロンプトを出します。

ユーザーの処置: ユーザーは、有効なラベルを持つスクラッチ・ボリュームを挿入するか、DUMPDB コマンドを再発行してコマンド・ラインで VOLUMENAMES パラメーターに必要なボリューム名を指定する必要があります。DUMPDB の資料を参照してください。

---

**ANR8978W** ライブラリー *library name* 内のドライブの数が、*original drive count* から *new drive count* に増加しました。構成を更新するには、**IBM Spectrum Protect** サーバーを再始動してください。

説明: ライブラリー内のドライブの数が増加しました。IBM Spectrum Protect サーバーを再始動すると、新規の構成が記録されます。

システムの処置: .

ユーザーの処置: ライブラリー内のドライブの数が増加しました。ユーザーは、IBM Spectrum Protect サーバ

ーを再始動して新規の構成を取り込む必要があります。

---

**ANR8979I** Command: ライブラリー *library name* の操作がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 与えられたライブラリーに対してライブラリーのスキャン・プロセスが開始されました。このプロセスには、メッセージに示されている ID が割り当てられました。

システムの処置: サーバーは、管理者が入力した SCAN LIBRARY コマンドに応じて操作を実行する、バックグラウンド・プロセスを開始します。

ユーザーの処置: プロセスの状況を知るためには、QUERY PROCESS コマンドを出してください。このプロセスは CANCEL PROCESS コマンドで取り消すことができます。

---

**ANR8980I** ライブラリー *library name* の SCAN LIBRARY プロセスが取り消されました。

説明: 与えられたライブラリーをスキャンするために働いていたバックグラウンド・サーバー・プロセスは、CANCEL PROCESS コマンドによって取り消されます。

システムの処置: サーバー・プロセスが終了し、サーバーの操作が続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8981I** ライブラリー *library name* をスキャン中です。

説明: QUERY PROCESS コマンドへの応答で、このメッセージには、サーバー上における SCAN LIBRARY プロセスの状況が表示されます。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。このプロセスは、許可された管理者が CANCEL PROCESS コマンドを使用して、取り消すことができます。

---

**ANR8982E** ライブラリー *library name* の SCAN LIBRARY プロセスが失敗しました。

説明: SCAN LIBRARY コマンドのバックグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了します。

ユーザーの処置: このコマンドと関連づけられているライブラリーおよびドライブ装置がパワー・オンで、作動

可能になっていることを確かめてから、コマンドをやり直してください。

---

**ANR8983I** ライブラリー *library name* の SCAN LIBRARY プロセスが、正常に完了しました。

説明: SCAN LIBRARY のバックグラウンド・プロセスは正常に完了しました。

システムの処置: ライブラリーがスキャンされました。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8984E** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* は、ドライブの暗号化操作を実行できません。

説明: サーバーはドライブの暗号化機能を照会しましたが、照会が失敗したか、照会によってドライブに暗号化機能がないことが示されました。

システムの処置: マウント操作は正常に行われません。

ユーザーの処置: このメッセージがスクラッチ・マウントで示され、まだドライブの暗号化が使用されていない場合、装置クラスで DRIVEENCRYPTION パラメーターを更新することによって、ドライブの暗号化をオフに切り替えられます。そうでない場合には、ハードウェア構成を確認してください。最初に、この論理ライブラリーのすべてのドライブがドライブの暗号化をサポートすることを確認してください。次に、このライブラリーのすべてのドライブを制御しているデバイス・ドライバーもドライブの暗号化をサポートすることを確認してください。ドライブもデバイス・ドライバーもドライブの暗号化をサポートする場合、ドライブ・ハードウェア・サポートに連絡してください。

---

**ANR8985E** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* は、現在のサーバー設定と互換性のない暗号化方式を使用しています。

説明: サーバーでは、空のボリュームの場合は DRIVEENCRYPTION 装置クラス・パラメーターに基づいて、または埋め込みボリュームに使用された以前の暗号化方式に基づいて、ドライブがさまざまなドライブの暗号化方式を使用する必要があります。この競合を解決しないと、サーバーはボリュームの暗号鍵を適切に処理できません。

システムの処置: マウント操作は正常に行われません。

ユーザーの処置: このメッセージが空のボリュームをマウントしているときに示される場合、ハードウェア環境でセットアップされている暗号化方式は、装置クラスの DRIVEENCRYPTION 設定と互換性がありません。こ



これらの設定が競合しなくなるように、装置クラスまたはハードウェアの暗号化方式を更新してください。このメッセージが埋め込み中のボリュームをマウントしているときに示される場合、ハードウェア構成を、このボリュームを最初にバックアップしたときに使用したのと同じ方式 (QUERY VOLUME FORMAT=DETAIL コマンドで判別可能) に更新するか、このボリュームのアクセスを UNAVAILABLE に更新します。

---

**ANR8986E** サーバーは、現在、装置クラスで **DRIVEENCRYPTION=ON** パラメーターを指定する場合に、ドライブの暗号化サポートに必要な **AES** 暗号化を許可しません。

説明: AES 暗号化サポートがないと、サーバーはドライブの暗号化のために十分に強力な暗号鍵を生成できません。

システムの処置: マウント操作は正常に行われません。

ユーザーの処置: 装置クラスで **DRIVEENCRYPTION** パラメーターを **ON** 以外の値に更新します。

---

**ANR8987W** サーバーはボリューム *volume name* を暗号化しません。

説明: 装置クラス・パラメーター設定が **DRIVEENCRYPTION=ON** になっているドライブの暗号化では、ストレージ・プール・ボリュームのみが暗号化されます。そのため、バックアップ・セット、DB バックアップ、およびエクスポート・ボリュームは暗号化されません。

システムの処置: マウントは続行されますが、暗号化は使用されません。

ユーザーの処置: このボリューム、あるいは他のバックアップ・セット、DB バックアップ、またはエクスポート・ボリュームで暗号化が必要な場合は、別の暗号化方式を使用します。装置クラス・パラメーターの **DRIVEENCRYPTION=ALLOW** およびハードウェア方式の 'Library' または 'System' ('Application' 方式は使用しないでください) を使用してください。

---

**ANR8988W** ライブラリー *Library Name* は、スクラッチ状況に戻った後にボリューム *Volume Name* の再ラベルに失敗しました。

説明: RELABELSCRATCH オプションが使用可能であり、ボリュームの再ラベルを試行中に、操作が失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 再ラベル操作が、別のライブラリー・

ボリューム操作 (LABEL LIBVOLUME、CHECKIN LIBVOLUME、CHECKOUT LIBVOLUME、または別の再ラベル操作) と同じボリュームの再ラベル付けを試行する場合、この警告が出されることがあります。例えば、同じボリューム上で 2 つの再ラベル操作が実行されているとします。最初の再ラベル操作が成功し、2 番目の操作が失敗した場合、処置は必要ありません。

QUERY LIBVOL コマンドを使用して、ボリュームがライブラリーにまだチェックインされていることを確認してください。チェックインされていない場合は、LABEL LIBVOL または CHECKIN LIBVOL を使用してボリュームをライブラリーに再度チェックインします。

---

**ANR8989E** 1 次ライブラリー・マネージャーとの通信セッションを確立できません。

説明: 要求された操作には、ライブラリー・マネージャーとの通信セッションの確立が必要です。この時点には、ライブラリー・マネージャーとも使用できないことが分かりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 1 次ライブラリー・マネージャーが立ち上がっていて、操作可能になっていることを確認します。サーバーが操作可能であることを確認してから、操作をやり直してください。

---

**ANR8990E** 装置 *Device Name* は、**IBM Spectrum Protect** サーバーでサポートされていません。

説明: 装置の製品 ID が IBM Spectrum Protect サーバーで認識されません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: インストールされているサーバーのレベルで装置がサポートされているかどうかを確認してください。Linux システムについては、IBM Tivoli Storage Manager Supported Devices for Linux の装置サポート Web ページを参照してください。その他のすべてのシステムについては、IBM Tivoli Storage Manager Supported Devices for AIX, HP-UX, Solaris, and Windows の装置サポート・ページを参照してください。

装置がサポートされていない磁気テープ装置である場合は、汎用磁気テープ・フォーマットでこの装置を使用できます。このドライブを使用する場合は、ドライブへのパスを定義するときに **GENERICTAPE=Yes** を指定してください。装置がサポートされているのに、このメッセージが表示される場合は、次の IBM Spectrum

Protect Support Web サイトで既知の解決方法を検索してください。

### IBM Spectrum Protect 製品資料

解決方法が見つからない場合は、IBM Spectrum Protect サポートに問題を報告してください。

---

**ANR8991E**    **GENERICTAPE** フォーマットはドライブ *Device Name* でサポートされていません。

説明: このデバイス・ドライバーでは GENERICTAPE フォーマットに必要なすべての機能がサポートされていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 磁気テープ装置を固有のデバイス・ドライバーで制御するようにしてください。この IBM Spectrum Protect のデバイス・ドライバーでは、汎用磁気テープ・フォーマットはサポートされていません。IBM Spectrum Protect のデバイス・ドライバーでドライブを制御し、このドライブで IBM Spectrum Protect の磁気テープ・フォーマットを使用する場合は、ドライブへのパスを定義するときに GENERICTAPE=Yes を指定しないでください。

---

**ANR8992E**    *library name* のライブラリー状態のリフレッシュが失敗しました。

説明: ライブラリーの状態を再初期化する操作は失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー状態をリフレッシュするには、IBM Spectrum Protect サーバーを一時停止してから再始動してください。

---

**ANR8993I**    *library name* のライブラリー状態のリフレッシュは正常に行われました。

説明: サーバーは、ライブラリーの状態を正常に再初期化しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR8994W**    付加専用モードは、ドライブ *Drive Name* でサポートされていません。

説明: サーバーは、データ上書き保護のためにテープ・ドライブで付加専用モードを使用可能にしようとした。しかし、テープ・ドライブは付加専用モードをサポートしません。

システムの処置: サーバーは、データ上書き保護のため

にテープ・ドライブで付加専用モードを使用可能にしません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。サーバーが付加専用モードをサポートするテープ・ドライブでデータ上書き保護のための付加専用モードを使用しないようにするために、サーバー・オプション CHECKTAPEPOS を No または TSMonly に設定することができます。

---

**ANR8995E**    ドライブ *Drive Name* のボリューム *Volume Name* に書き込むことができません。

説明: ドライブが付加専用モードであり、ボリュームが書き込み保護されているため、サーバーはボリュームに書き込むことができません。

システムの処置: サーバーはそのボリュームを取り外し、別のボリュームで処理を続行します。

ユーザーの処置: 援助が必要であればサービス担当員に連絡してください。

---

**ANR8996W**    ドライブ *Drive Name* で照会または付加専用モードの使用可能化を実行できません。

説明: サーバーは、テープ・ドライブで照会または付加専用モードの使用可能化を実行できませんでした。

システムの処置: サーバーは、このマウント中にボリュームに対して付加専用モードを使用可能にしません。サーバー・オプション CHECKTAPEPOS が Yes または DRIVEonly に設定されている場合、サーバーは、次のボリュームのマウント時に付加専用モードを使用可能にしようとします。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合には、サービス担当員に連絡して支援を要請してください。サーバーがデータ上書き保護のための付加専用モードを使用しないようにするために、サーバー・オプション CHECKTAPEPOS を No または TSMonly に設定することができます。

---

**ANR8997W**    ドライブ *Drive Name* のデバイス・ドライバーの現行バージョンは *Driver Version* です。付加専用モードを使用可能にするには、バージョン *Required Version* 以降が必要です。

説明: ドライブのデバイス・ドライバーは、付加専用モードをサポートするためのバージョン要件を満たしていません。

システムの処置: サーバーは、データ上書き保護のため

にテープ・ドライブで付加専用モードを使用可能にしません。

ユーザーの処置: ドライブのデバイス・ドライバーを必要なバージョンにアップグレードしてください。

---

**ANR8998W** ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* に対して暗号化が使用不可に設定されました。

説明: サーバーは、ドライブの暗号化方式が Application Managed Encryption (AME) であることを判別しました。サーバーは、装置クラスが DRIVEENCRYPT=ALLOW を使用していてドライブが AME を使用する場合に暗号化を設定することが想定されているため、暗号化は使用不可に設定されました。

システムの処置: マウントは、暗号化が使用不可の状態で行われます。

ユーザーの処置: この操作で、IBM Spectrum Protect が暗号鍵を管理する暗号化が使用される予定である場合は、DRIVEENCRYPT パラメーターを ON に設定する必要があります。この操作で、IBM Spectrum Protect が暗号鍵を管理しない暗号化が使用される予定である場合 (例えば、NEC、Fujitsu、および SpectraLogic が、IBM Spectrum Protect が暗号化を管理しない AME 暗号化ソリューションを提供する場合)、DRIVEENCRYPT パラメーターを EXTERNAL に設定する必要があります。いずれの状況でも、この操作で使用されるボリューム上のデータは、データを暗号化するために正しく設定された新規ボリュームに移動される必要があります。

---

**ANR8999E** ディレクトリー名 *directory name* は、*parameter* コマンドで重複しています。

説明: 装置クラスに複数のディレクトリーを定義または更新する場合、コマンドでのディレクトリー名の指定は 1 度だけしかできません。

システムの処置: コマンドは失敗します。サーバーは続行します。

ユーザーの処置: ディレクトリー名がコマンドで 1 度だけ指定されていることを確認してください。

---

**ANR9000E** ドライブ *drive name* は論理ブロック保護をサポートしません。

説明: 装置クラスに関連付けされた LBPROTECT パラメーターは論理ブロック保護を使用可能にするように設定されています。しかし、テープ・ドライブは論理ブロック保護をサポートしません。

システムの処置: マウント操作は正常に行われません。

ユーザーの処置: ドライブのファームウェアを論理ブ

ック保護をサポートするレベルに更新してください。

---

**ANR9001W** ボリューム *volume name* には論理ブロック保護がありません。

説明: サーバーはこのボリュームに対して論理ブロック保護を使用可能にできません。このボリュームの既存のデータに論理ブロック保護がないか、メディア・タイプが論理ブロック保護に対応していません。

システムの処置: 操作はボリューム上で使用可能にされた論理ブロック保護なしで続行します。

ユーザーの処置: メディア・タイプが論理ブロック保護をサポートする場合、サーバーがボリュームに書き込みできないように、ボリューム・アクセスに「読み取り専用」のマークを付けてください。

---

**ANR9002E** ドライブ *Drive Name* のデバイス・ドライバーのバージョンは *Driver Version* です。論理ブロック保護にはドライバー・バージョン *Required Version* 以降が必要です。

説明: ドライブのデバイス・ドライバーが、論理ブロック保護のバージョン要件を満たしていません。

システムの処置: マウント操作は正常に行われません。

ユーザーの処置: ドライブのデバイス・ドライバーを必要なバージョンにアップグレードしてください。

---

**ANR9003E** ブロック **CRC** の妥当性検査がドライブ *drive name* のボリューム *volume name* で失敗しました。

説明: ドライブへの転送またはドライブからの転送の際、データ・ブロックが破損しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 操作を再開して、別のドライブ内のボリュームを使用します。問題が再発する場合には、ハードウェアの接続および磁気テープ・ドライブを検査してください。

---

**ANR9004E** サーバーは、その他のアプリケーションも **st** 装置特殊ファイル *device name* を使用して *drive name* にアクセスできることを検出しました。このドライブのすべての **st** 装置特殊ファイルを削除する必要があります。

説明: 複数のデバイス・ドライバーがドライブにアクセスできる場合、テープ・ラベルやその他のデータが上書きされる可能性があります。データ保全性の問題が発生する可能性を防止するために、このテープ・ドライブ

の st 装置特殊ファイルをすべて削除する必要があります。

システムの処置: 操作が失敗するか、ドライブが一時的にオフラインになり、テープ操作に使用できなくなります。サーバーは、30 秒間の間隔でドライブのポーリングを実行し、テープ・ドライブの st 装置特殊ファイルがすべて削除されたことを確認します。すべてのファイルが削除されると、ドライブはオンラインに戻されます。

ユーザーの処置: -d を指定して rmstdev ユーティリティを root ユーザーとして実行し、st 装置特殊ファイルを見つけて削除します。その後、操作を再試行してください。

---

**ANR9005E** Command: ライブラリー *library name* は、アクティブな再ラベル付けプロセスが行われているため、削除できません。

説明: 指定されたライブラリーは、現在、再ラベル付け操作で使用されているため、削除することも更新することもできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 再ラベル付け操作が完了するまで待つてから、コマンドを再試行してください。

---

**ANR9006E** テープ・ボリウムは、ACSLS カートリッジ・アクセス・ポート (CAP) から物理的に取り出す必要があります。

説明: テープ・ボリウムが ACSLS CAP 内に配置されています。ACSLS サーバーは、ユーザーが 30 分以内にこれらのボリウムを CAP から物理的に取り出すことを要求しています。CHECKOUT LIBVOLUME コマンドで REMOVE=YES が設定されている場合は、テープの排出操作がスケジュールされています。ユーザーが 30 分以内に CAP からテープを取り出せなかった場合は、ACSLS サーバーは、テープ排出操作の状況を失敗に設定します。

システムの処置: ACSLS ライブラリーがテープ・ボリウムを排出し、それらを CAP に再配置しました。

ユーザーの処置: ボリウムを CAP から取り出してください。CAP 内にテープ・カートリッジがない場合は、ACSLS ライブラリーをチェックして、テープが詰まっていないかを確認してください。

---

**ANR9007E** Command: ライブラリー *library name* のカートリッジ・アクセス・ポート (CAP) ID が無効です。

説明: CHECKOUT LIBVOLUME コマンドでライブラ

リーの CAP ID が指定されなかったため、テープ・ボリウムが ACSLS ライブラリーから排出されませんでした。デフォルトでは、すべての CAP で優先順位の初期値が 0 です。これは、ACSLS サーバーが自動的に CAP を選択しないことを意味します。

システムの処置: システムはテープ・ボリウムの排出に失敗しました。

ユーザーの処置: CAP の優先順位の値を確認するには、QUERY CAP コマンドを発行します。優先順位の値が 0 の場合は、CHECKOUT LIBVOLUME コマンドに CAP ID を指定して再発行します。あるいは、CAP の優先順位をゼロ以外の値に設定した後、CHECKOUT LIBVOLUME コマンドを再発行します。

---

**ANR9008E** タイプ *Device Inquiry String* の *Device* のドライブ・タイプを判別できません。

説明: このドライブはオープンできませんでした。このバージョンの IBM Spectrum Protect は、このドライブ・タイプをサポートしていない可能性があります。

システムの処置: システムはドライブ・タイプの識別に失敗しました。

ユーザーの処置: ドライブ・タイプがサポートされていることを確認してください。Linux システムについては、IBM Tivoli Storage Manager Supported Devices for Linux の装置サポート Web ページを参照してください。その他のすべてのシステムについては、IBM Tivoli Storage Manager Supported Devices for AIX, HP-UX, Solaris, and Windows の装置サポート・ページを参照してください。

---

**ANR9009E** ライブラリー *library name* のカートリッジ・アクセス・ポート (CAP) が使用不可です。CAP 状況は *cap status* です。

説明: 指定されたライブラリーにアクセスする際に、CAP 内でエラーが発生しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: CAP が空であり、すべてのテープ・ボリウムが CAP から取り外され、CAP のドアが閉じていることを確認します。

---

**ANR9010W** ドライブ *drive name* を検証できません。

説明: SANDISCOVERY オプションが有効でないために、マウント操作が失敗しました。したがって、SAN ディスカバリー機能は、指定されたドライブを開く必要があるかどうか検証しませんでした。

システムの処置: SAN ディスカバリー機能がオンになっていません。

ユーザーの処置: `dsm serv.opt` ファイル内の `SANDISCOVERY` オプション値を確認します。値が `OFF` または `UNSCANNEDPATHOFF` に設定されている場合は、値を `ON` に変更します。

---

**ANR9011E** 位置エラー: ドライブ *drive name* 内のボリューム *volume name* が、予期された位置 *expected position* にありません。実際のボリューム位置は、*expected volume position* です。

説明: `CHECKTAPEPOS` サーバー・オプションにより、`IBM Spectrum Protect` がテープの位置変更を行わなかったためにボリューム位置エラーが生じていることが判別されました。データ損失を防ぐために、書き込みが停止されます。

システムの処置: 書き込み操作は失敗します。

ユーザーの処置: `IBM Knowledge Center` (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSGSG7>) にある、磁気テープ・ラベルの上書き防止に関する `IBM Spectrum Protect` 資料を参照してください。

---

**ANR9012E** 装置クラス *device class name* 用のデータベース・リストア操作に使用できるドライブがありません。

説明: データベース・リストア操作を完了できません。使用可能なマウント・ポイントがありません。考えられる理由は次のとおりです。

- 装置構成ファイルが、メディアにアクセスするために正しく定義されていない。
- メディアに問題がある。

システムの処置: データベースのリストア操作は失敗します。

ユーザーの処置: メッセージの説明にある情報を確認し、装置構成ファイルまたはメディアに関する問題があれば修正処置を行ってください。 `RESTORE DB` コマンドを再発行します。

---

**ANR9013W** ライブラリー *library name* が `RESETDRIVES` を使用していません。

説明: `DEFINE LIBRARY` コマンドを実行中のクラスター・フェイルオーバー環境では、`SHARED` パラメーター値が `NO` (デフォルト値) の場合、`RESETDRIVES` パラメーターを `YES` に設定する必要があります。

`RESETDRIVES` パラメーターは、クラスターのフェイルオーバーの発生後に、磁気テープ装置の予約をクリーンアップすることを指定します。例えば、クラスター・フ

ェイルオーバー環境で、ホスト A は、1 次ホスト・システム、ホスト B が 2 次ホスト・システムだとします。フェイルオーバーが発生する前は、ホスト A が磁気テープ装置を使用しています。ホスト A からホスト B へのフェイルオーバー発生後、ホスト A がこの磁気テープ装置の予約を続行します。`RESETDRIVES` パラメーターが `NO` に設定されていると、ホスト B は、この磁気テープ装置の予約をクリーンアップしません。そしてホスト B は、この磁気テープ装置にアクセスできなくなります。`RESETDRIVES` パラメーターが `YES` に設定されていると、ホスト B は、この磁気テープ装置から予約をクリーンアップして、この装置にアクセスできるようになります。`RESETDRIVES` パラメーターについて詳しくは、`DEFINE LIBRARY` コマンドを参照してください。

システムの処置: フェイルオーバー発生後、サーバーは、クラスター・フェイルオーバー環境で別のサーバーに予約されている磁気テープ装置にアクセスできません。

ユーザーの処置: `UPDATE LIBRARY` コマンドを発行して、`RESETDRIVES=YES` オプションを指定してください。

---

**ANR9014E** ボリューム *volume name* はドライブ *drive name* と互換性がありません。

説明: ドライブはボリューム・フォーマットを読み取ることができません。これは、異なる世代のメディアのフォーマットまたは暗号化テープに起因すると考えられます。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: ボリュームがこのドライブ用に正しくフォーマット設定されていることを確認し、この操作に対する装置クラスの設定を検証してください。暗号化されている場合、カートリッジを暗号化解除するようにドライブを構成する必要があります。

---

**ANR9015E** 装置 *device name* のパス `symlink` が循環しているようです。

説明: サーバーが装置パスの妥当性検査を試行したときの `symlink` が長すぎます。

システムの処置: 装置 `symlink` の問題のために、サーバーが装置にアクセスできません。

ユーザーの処置: `autoconf` スクリプトを実行して、リンクを再確立してください。

---

**ANR9016W** プロセス *process number*: ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* に対する **AUDIT LIBVOLUME** を取り消すことはできません。

説明: AUDIT LIBVOLUME コマンドを使用して特定のライブラリーのボリュームを監査する場合、CANCEL PROCESS コマンドを使用してバックグラウンド・サーバー・プロセスを取り消すことはできません。AUDIT LIBVOLUME コマンド実行時のテープ装置ファームウェアの制限により、バックグラウンド・サーバー・プロセスを取り消すことができません。

システムの処置: バックグラウンド・サーバー・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9017I** Command: ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の操作がプロセス *process ID* として開始されました。

説明: 特定のライブラリーに対するボリューム監査プロセスが進行中です。プロセスにはメッセージに示されている ID が割り当てられています。

システムの処置: AUDIT LIBVOLUME コマンドを実行すると、サーバーによってボリューム監査プロセスが開始されます。

ユーザーの処置: バックグラウンド・プロセスに関する情報を表示する場合は、QUERY PROCESS コマンドを実行してください。

---

**ANR9018E** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の **AUDIT LIBVOLUME** が失敗しました。

説明: AUDIT LIBVOLUME コマンドのバックグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了しますが、ボリュームは監査されていません。

ユーザーの処置: AUDIT LIBVOLUME コマンドに関連したライブラリー装置およびドライブ装置がオンになっているか確認してから、コマンドを再実行してください。

---

**ANR9019I** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の **AUDIT LIBVOLUME** が正常に完了しました。

説明: AUDIT LIBVOLUME プロセスが正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

---

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9020E** ライブラリー *library name* のボリューム *volume name* のドライブ *drive name* を使用して **AUDIT LIBVOLUME** コマンドを実行することはできません。

説明: AUDIT LIBVOLUME コマンドのバックグラウンド・プロセスが失敗しました。指定されたタイプのドライブを使用して AUDIT LIBVOLUME コマンドを実行することはできません。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了しますが、ボリュームは監査されていません。

ユーザーの処置: 次のテープ・ドライブのいずれかを所有するライブラリーで AUDIT LIBVOLUME コマンドを実行してください。 - IBM 3592 第 4 世代ドライブ以降 - IBM LTO 第 5 世代ドライブ以降

---

**ANR9021I** プロセス *process ID* によるライブラリー *library name* のボリューム *volume name* の監査でドライブ *drive name* を使用します。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーが AUDIT LIBVOLUME コマンドを処理するためのドライブを見つけると、この状況メッセージが表示されます。

システムの処置: AUDIT LIBVOLUME バックグラウンド・プロセス操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9022E** ライブラリー *library name* 内のすべてのドライブが使用中であるため、**AUDIT LIBVOLUME** コマンドでボリューム *volume name* をマウントできませんでした。

説明: AUDIT LIBVOLUME コマンドのバックグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了します。ボリュームは監査されません。

ユーザーの処置: AUDIT LIBVOLUME コマンドを発行する前に、ドライブが使用可能であることを確認します。磁気テープ・ドライブ内のアイドル状態のボリュームをマウント解除するか、ドライブが使用可能になるまで待ってから、コマンドを再発行します。

---

---

**ANR9023E** 現行のテープ装置ドライバーのバージョンが *current driver version* のドライブ *drive name* に対する **AUDIT LIBVOLUME** コマンドが失敗しました。バージョン *supported driver version* 以上のドライバーを使用して、**AUDIT LIBVOLUME** コマンドを発行してください。

説明: **AUDIT LIBVOLUME** コマンドのバックグラウンド・プロセスが失敗しました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスは終了しますが、ボリュームの監査は行われていません。

ユーザーの処置: サポートされているバージョンのドライバーをインストールして、コマンドを再試行してください。

---

**ANR9024E** 使用可能なドライブがありません。

説明: サーバーは、有効なドライブを見つけることができません。ほとんどの場合、これは、クライアント・ノードがドライブにアクセスする際の妨げになります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: いずれかのドライブまたはパスがオフラインである場合は、**UPDATE DRIVE** コマンドまたは **UPDATE PATH** コマンドを使用してオンラインに戻してください。

---

**ANR9025E** **NAS** クラスターの必要なノードに接続されている、使用可能な **NAS** ドライブはありません。

説明: サーバーは、**NAS** 操作用に有効なドライブを見つけることができません。ほとんどの場合、これは、**NAS** クラスター化ノードがドライブにアクセスする際の妨げになります。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: いずれかのドライブまたはパスがオフラインである場合は、**UPDATE DRIVE** コマンドまたは **UPDATE PATH** コマンドを使用してオンラインに戻してください。クラスター化 **NAS** 装置について、正しい装置名を使用してパスが定義されていることを確認してください。クラスター化 **NAS** 装置に接続されているドライブの場合、その装置名には、装置が接続されているクラスター内のノード名が含まれていなければなりません。

---

**ANR9579W (HP-UX)** *Command:* ファイル *file name* が見つかりません。

説明: 指定されたファイルが見つかりません。

システムの処置: デフォルトのサーバー実行可能ファイルとして、**PREPARE** コマンドは */opt/IBMadsms-s/bin/dsmserv* を使用します。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要な場合には作成してください。

---

**ANR9579W (Linux)** *Command:* ファイル *file name* が見つかりません。

説明: 指定されたファイルが見つかりません。

システムの処置: デフォルトのサーバー実行可能ファイルとして、**PREPARE** コマンドは */opt/IBMadsms-s/bin/dsmserv* を使用します。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要な場合には作成してください。

---

**ANR9579W (Solaris)** *Command:* ファイル *file name* が見つかりません。

説明: 指定されたファイルが見つかりません。

システムの処置: デフォルトのサーバー実行可能ファイルとして、**PREPARE** コマンドは */opt/IBMadsms-s/bin/dsmserv* を使用します。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要な場合には作成してください。

---

**ANR9580W (Linux)** *Command:* 生成済みの置き換えボリューム名 *volume name* は有効なロー区画名でないと考えられます。元のボリューム名: *volume name*。スタンプは *stanza name* です。

説明: 置き換えボリューム名の接尾部を元のボリューム名に追加して、有効なロー区画名でない名前が作成されています。

システムの処置: 置き換えボリューム名は、回復計画スタンプで使用されます。

ユーザーの処置: 手操作で、生成された回復計画スタンプを正しい置き換え名で更新してください。置き換え名は、別のロー区画名または通常のファイル名とすることができます。

---

**ANR9580W (Solaris)** *Command:* 生成済みの置き換えボリューム名 *volume name* は有効なロー区画名でないと考えられます。元のボリューム名: *volume name*。スタンザは *stanza name* です。

説明: 置き換えボリューム名の接尾部を元のボリューム名に追加して、有効なロー区画名でない名前が作成されています。

システムの処置: 置き換えボリューム名は、回復計画スタンザで使用されます。

ユーザーの処置: 手操作で、生成された回復計画スタンザを正しい置き換え名で更新してください。置き換え名は、別のロー区画名または通常のファイル名とすることができます。

---

**ANR9581W (HP-UX)** *Command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中にボリューム *file name* が見つかりませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されていますが、存在しません。このボリュームに関連付けられた装置クラスが DISK であるか、または装置クラスの装置タイプが FILE です。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要なら作成してください。

---

**ANR9581W (Linux)** *command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中にボリューム *file name* が見つかりませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されていますが、存在しません。このボリュームに関連付けられた装置クラスが DISK であるか、または装置クラスの装置タイプが FILE です。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要なら作成してください。

---

**ANR9581W (Solaris)** *Command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中にボリューム *file name* が見つかりませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されていますが、存在しません。このボリュームに関連付けられた装置クラスが DISK であるか、または装置クラスの装置タイプが FILE です。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要なら作成してください。

---

**ANR9582E (HP-UX)** *Command:* 生成されたファイル名が長すぎます。ディレクトリーの長さ、または接頭部 '*prefix*' と '*name*' を加えた長さが、*maximum characters* 文字を超えています。

説明: 生成されたファイル名が長すぎます。最大有効長がメッセージに示されています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9582E (Linux)** *command:* 生成されたファイル名が長すぎます。ディレクトリーの長さ、または接頭部 '*prefix*' と '*name*' を加えた長さが、*maximum characters* 文字を超えています。

説明: 生成されたファイル名が長すぎます。最大有効長がメッセージに示されています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9582E (Solaris)** *Command:* 生成されたファイル名が長すぎます。ディレクトリーの長さ、または接頭部 '*prefix*' と '*name*' を加えた長さが、*maximum characters* 文字を超えています。

説明: 生成されたファイル名が長すぎます。最大有効長がメッセージに示されています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。



ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9583E (HP-UX)** *Command:* 'name' の完全修飾ファイル名を生成できません。

説明: 指定されたファイル名の展開中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9583E (Linux)** *command:* 'name' の完全修飾ファイル名を生成できません。

説明: 指定されたファイル名の展開中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9583E (Solaris)** *Command:* 'name' の完全修飾ファイル名を生成できません。

説明: 指定されたファイル名の展開中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9584E (HP-UX)** *command:* サーバー・オプション・ファイル名を生成できません。

説明: サーバー・オプション・ファイル名の生成中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9584E (Linux)** *command:* サーバー・オプション・ファイル名を生成できません。

説明: サーバー・オプション・ファイル名の生成中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9584E (Solaris)** *Command:* サーバー・オプション・ファイル名を生成できません。

説明: サーバー・オプション・ファイル名の生成中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9585E (HP-UX)** *Command:* ボリューム・ヒストリー・ファイル名を生成できません。

説明: ボリューム・ヒストリー・ファイルの生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9585E (Linux)** *command:* ボリューム・ヒストリー・ファイル名を生成できません。

説明: ボリューム・ヒストリー・ファイルの生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9585E (Solaris)** *Command:* ボリューム・ヒストリー・ファイル名を生成できません。

説明: ボリューム・ヒストリー・ファイルの生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9586E (HP-UX)** *Command:* 装置構成ファイル名を生成できません。

説明: 装置構成ファイル名の生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9586E (Linux)** *command:* 装置構成ファイル名を生成できません。

説明: 装置構成ファイル名の生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9586E (Solaris)** *Command:* 装置構成ファイル名を生成できません。

説明: 装置構成ファイル名の生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9600E (AIX)** 無効な情報が **NETLS** ライセンス・インターフェースに渡されました。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9600E (Solaris)** 共有メモリ通信用のメモリーの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリ通信は活動化されません。

ユーザーの処置: おそらく最大共有メモリーが小さすぎます。Oracle Solaris でのサイズを増やすには、「/etc/system」を「set shmsys:shminfo\_shmmax=268435456」(推奨サイズ)で更新します。

---

**ANR9601E (AIX)** **NETLS** ライセンス・インターフェースが適切に初期化されていません。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9601E (Solaris)** 共有メモリ通信エラー用のメッセージ・キューの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリ通信は活動化されません。

ユーザーの処置: 示されたエラーが "ENOSPC" である場合には、システム・メッセージ待ち行列の最大数を超えている可能性があります。"/etc/system" を "set shmsys:msginfo\_msgmni=100" で更新してください。内部問題を暗示する他のエラーが報告されるはずです。

---

**ANR9602E (AIX)** 無効なジョブ情報が **NETLS** インターフェースに渡されました。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9602E (Solaris)** 共有メモリー通信用のメモリー・セグメントの割り当て中にエラー *errno* が発生しました。

説明: 共有通信セッション用の共有メモリー・セグメントを割り当てようとしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: 共有メモリー通信セッションは初期化されません。

ユーザーの処置: Oracle の資料で *shmat* サブルーチンについて調べ、エラー番号の示す内容を確認した後、適切なアクションを実行してエラーを訂正してください。

---

**ANR9603E (AIX)** *NETLS* ノードロック・ファイルを作成することができませんでした。

説明: サーバーは、ライセンス・パスワード情報の保管に使用されるファイル */usr/lib/netls/conf/nodelock* を作成することができませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サーバーが *root* 権限をもたずに実行している場合には、サーバーが実行しているユーザー ID で */usr/lib/netls/conf/nodelock* ファイルの作成、読み取り、および書き込みが行えるように */usr/lib/netls/conf* パスにおけるディレクトリ権限が設定されていることを確かめてください。サーバーが *root* 権限で実行されている場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決のための援助を依頼してください。

---

**ANR9604E (AIX)** *NETLS* ライセンス・インターフェースが内部エラーを検出しました。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9605E (AIX)** 無効なベンダー ID が *NETLS* に渡されました。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9606E (AIX)** *NETLS* はサーバーに接続するソケット・ファミリーの検出に失敗しました。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9607E (AIX)** *NETLS* サーバーが見つかりません。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9608E (AIX)** *NETLS* セキュリティ違反が検出されました。

説明: サーバーのライセンス機能が、サーバー記憶容量および登録済みクライアント数について、ライセンス情報にアクセス中に、内部エラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーは新しいライセンス情報を使用しません。

ユーザーの処置: サービス担当員に連絡して、エラー解決を依頼してください。

---

**ANR9609E (AIX)** 間違ったライセンスが入力されました。

入力されたパスワード = *password*

入力された注釈 = *annotation*。

説明: *REGISTER LICENSE* コマンドのために入力されたライセンス情報が正しくありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: *REGISTER LICENSE* コマンドを用いてライセンスを登録し直してください。必ず正しいライセンス情報を入力してください。

---

**ANR9610E (AIX)** ディレクトリを作成することができません : *directory*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、指定されたディレクトリ構造を作成することも、検査することもできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーが root 権限をもたずに実行している場合には、サーバーが実行しているユーザー ID で /usr/lib/netls/conf/nodelock ファイルの作成、読み取り、および書き込みが行えるように /usr/lib/netls/conf パスにおけるディレクトリ権限が設定されていることを確かめてください。サーバーが root 権限で実行されている場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決のための援助を依頼してください。

---

**ANR9610E (Linux)** ディレクトリを作成することができません : *directory*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、指定されたディレクトリ構造を作成することも、検査することもできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーが root 権限で実行されていない場合には、サーバーを実行中のユーザーが、サーバーのライセンス・ファイルの作成、読み取り、および書き込みができるよう、指定されたディレクトリ・パスのディレクトリ権限が設定されていることを確認してください。サーバーが root 権限で実行されている場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決のための援助を依頼してください。

---

**ANR9610E (Solaris)** ディレクトリを作成することができません : *directory*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、指定されたディレクトリ構造を作成することも、検査することもできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーが root 権限で実行されていない場合には、サーバーを実行中のユーザーが、サーバーのライセンス・ファイルの作成、読み取り、および書き込みができるよう、指定されたディレクトリ・パスのディレクトリ権限が設定されていることを確認してください。サーバーが root 権限で実行されている場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決のための援助を依頼してください。

---

**ANR9611E (AIX) NODELOCK** ファイルをオープンできません: *file*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、ノードロック・ファイルを作成することも、オープンすることもできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーが root 権限をもたずに実行している場合には、サーバーが実行しているユーザー ID で /usr/lib/netls/conf/nodelock ファイルの作成、読み取り、および書き込みが行えるように /usr/lib/netls/conf パスにおけるディレクトリ権限が設定されていることを確かめてください。サーバーが root 権限で実行されている場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決のための援助を依頼してください。

---

**ANR9612E (AIX) NODELOCK** ファイルへの書き込みエラー。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、ノードロック・ファイルに書き込むことができません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーが root 権限をもたずに実行している場合には、サーバーが実行しているユーザー ID で /usr/lib/netls/conf/nodelock ファイルの作成、読み取り、および書き込みが行えるように /usr/lib/netls/conf パスにおけるディレクトリ権限が設定されていることを確かめてください。サーバーが root 権限で実行されている場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決のための援助を依頼してください。

---

**ANR9613W (AIX)** ライセンス機能用の *modname* をロード中にエラー。

説明: サーバーは、ライセンス交付機能を初期化するためのファイル・モジュール *modname* をロードできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーの実行中は、デフォルト・ライセンス値が有効です。

ユーザーの処置: ライセンス許可のためのロード・プロセスの一環として *dsmreg.lic* モジュールがアクセスされます。このモジュールは、*dsmserv* 実行可能モジュールと同じディレクトリにあるか、または *DSMSERV\_DIR* 環境変数が指すディレクトリになければなりません。 *dsmreg.lic* モジュールは、製品を購入しなければインストールされません。

---

**ANR9613W (HP-UX)** ライセンス機能用の *modname* をロード中にエラー。

説明: サーバーは、ライセンス交付機能を初期化するためのファイル・モジュール *modname* をロードできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーの実行中は、デフォルト・ライセンス値が有効です。

ユーザーの処置: ライセンス許可のためのロード・プロセスの一環として *dsmreg.lic* モジュールがアクセスされます。このモジュールは、*dsmserve* 実行可能モジュールと同じディレクトリーにあるか、または *DSMSERV\_DIR* 環境変数が指すディレクトリーになければなりません。 *dsmreg.lic* モジュールは、製品を購入しなければインストールされません。

---

**ANR9613W (Linux)** ライセンス機能用の *modname* をロード中にエラー。

説明: サーバーは、ライセンス交付機能を初期化するためのファイル・モジュール *modname* をロードできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーの実行中は、デフォルト・ライセンス値が有効です。

ユーザーの処置: *dsmreg.lic* は、ライセンスのためのロード・プロセスの一部としてアクセスされます。このファイルは *dsmserve* 実行可能ファイルと同じディレクトリーに入っているか、あるいは *DSMSERV\_DIR* 環境変数で指示されたディレクトリーに入っていなければなりません。 *dsmreg.lic* モジュールは、製品を購入しなければインストールされません。

---

**ANR9613W (Solaris)** ライセンス機能用の *modname* をロード中にエラー。

説明: サーバーは、ライセンス交付機能を初期化するためのファイル・モジュール *modname* をロードできません。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。サーバーの実行中は、デフォルト・ライセンス値が有効です。

ユーザーの処置: *dsmreg.lic* は、ライセンスのためのロード・プロセスの一部としてアクセスされます。このファイルは *dsmserve* 実行可能ファイルと同じディレクトリーに入っているか、あるいは *DSMSERV\_DIR* 環境変数で指示されたディレクトリーに入っていなければなりません。 *dsmreg.lic* モジュールは、製品を購入しなければインストールされません。

---

**ANR9614E (AIX)** ライセンス・ファイルをオープンすることができません: *file*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、サーバー・ライセンス・ファイルを作成することも、オープンすることもできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバー実行中のディレクトリーのライセンス・ファイルに対して、作成または書き込み (あるいはその両方) を行うために必要な権限を、サーバーで実行中のユーザー ID が持っていることを確認してください。これで問題が解決しない場合には、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR9614E (Linux)** ライセンス・ファイルをオープンすることができません: *file*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、サーバー・ライセンス・ファイルを作成することも、オープンすることもできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバー実行中のディレクトリーのライセンス・ファイルに対して、作成または書き込み (あるいはその両方) を行うために必要な権限を、サーバーで実行中のユーザー ID が持っていることを確認してください。これで問題が解決しない場合には、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR9614E (Solaris)** ライセンス・ファイルをオープンすることができません: *file*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドは、サーバー・ライセンス・ファイルを作成することも、オープンすることもできません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバー実行中のディレクトリーのライセンス・ファイルに対して、作成または書き込み (あるいはその両方) を行うために必要な権限を、サーバーで実行中のユーザー ID が持っていることを確認してください。これで問題が解決しない場合には、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR9615E (AIX)** *adsmserve.licenses* ファイルに書き込み中にエラー。

説明: REGISTER LICENSE コマンドが、サーバー・ライセンス・ファイルへの書き込みに失敗します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバー実行中のディレクトリーのライセンス・ファイルに対して、作成または書き込み (あ

## ANR9615E (Linux) • ANR9617W (Linux)

るいはその両方)を行うために必要な権限を、サーバーで実行中のユーザー ID が持っていることを確認してください。また、ライセンス情報をファイルに書き込むよう、ファイル・システムに使用可能なフリー・スペースがあることも確認してください。これで問題が解決しない場合には、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR9615E (Linux)** `admserv.licenses` ファイルに書き込み中にエラー。

説明: REGISTER LICENSE コマンドが、サーバー・ライセンス・ファイルへの書き込みに失敗します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーが実行中のディレクトリー内のライセンス・ファイルの作成または書き込み、あるいはその両方に必要な権限が、サーバーを実行中のユーザー ID にあることを確認してください。また、ライセンス情報をファイルに書き込むために、ファイル・システムに使用可能なフリー・スペースがあることを確認してください。これで問題が解決しない場合には、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR9615E (Solaris)** `admserv.licenses` ファイルに書き込み中にエラー。

説明: REGISTER LICENSE コマンドが、サーバー・ライセンス・ファイルへの書き込みに失敗します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバーが実行中のディレクトリー内のライセンス・ファイルの作成または書き込み、あるいはその両方に必要な権限が、サーバーを実行中のユーザー ID にあることを確認してください。また、ライセンス情報をファイルに書き込むために、ファイル・システムに使用可能なフリー・スペースがあることを確認してください。これで問題が解決しない場合には、サービス担当員に連絡して援助を依頼してください。

---

**ANR9616I (AIX)** ライセンス・ファイル中に無効なライセンス・レコード *record value* が検出されました - スキップされます。

説明: ライセンス管理機能が、サーバー・ライセンス・ファイル (`admserv.licenses`) で無効なレコードを見つけました。このレコードは無視されます。

システムの処置: 無効なレコードは無視されます。

ユーザーの処置: `admserv.licenses` ファイルを消去して、ユーザーのライセンスを再登録してください。

---

**ANR9616W (Linux)** ライセンス・ファイルで無効なライセンス・レコード *record value* が見つかりました - これは無視されます。

説明: ライセンス管理機能が、サーバー・ライセンス・ファイル (`admserv.licenses`) で無効なレコードを見つけました。このレコードは無視されます。

システムの処置: 無効なレコードは無視されます。

ユーザーの処置: `admserv.licenses` ファイルを消去して、ユーザーのライセンスを再登録してください。ユーザーに与えられたライセンスを参照して、有効なライセンスのみが REGISTER LICENSE コマンドで指定されていることを確認します。

---

**ANR9616W (Solaris)** ライセンス・ファイルで無効なライセンス・レコード *record value* が見つかりました - これは無視されます。

説明: ライセンス管理機能が、サーバー・ライセンス・ファイル (`admserv.licenses`) で無効なレコードを見つけました。このレコードは無視されます。

システムの処置: 無効なレコードは無視されます。

ユーザーの処置: `admserv.licenses` ファイルを消去して、ユーザーのライセンスを再登録してください。ユーザーに与えられたライセンスを参照して、有効なライセンスのみが REGISTER LICENSE コマンドで指定されていることを確認します。

---

**ANR9617I (AIX)** 無効なライセンス権限: *authorization string*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドに指定されたライセンス権限が正しくありません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: REGISTER LICENSE コマンドとともに入力されたライセンス権限ストリングを調べてください。ライセンス権限が正しく指定されていない場合には、コマンドを再入力してください。ライセンス権限が正しく指定されている場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9617W (Linux)** 無効なライセンス権限: *authorization string*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドに指定されたライセンス権限が正しくありません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。

REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: REGISTER LICENSE コマンドで入力したライセンス権限を調べてください。ライセンス権限が正しく指定されていない場合には、コマンドを再入力してください。ライセンス権限が正しく指定されている場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9617W (Solaris)** 無効なライセンス権限:  
*authorization string*。

説明: REGISTER LICENSE コマンドに指定されたライセンス権限が正しくありません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: REGISTER LICENSE コマンドで入力したライセンス権限を調べてください。ライセンス権限が正しく指定されていない場合には、コマンドを再入力してください。ライセンス権限が正しく指定されている場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9618E (AIX)** ライセンス登録はこのサーバーでサポートされていません。

説明: ライセンス認可モジュールが見つからないので、REGISTER LICENSE コマンドは正常に実行されません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: AIX/6000 サーバーの正式ライセンスには、ライセンス権限ファイルが必要です。このファイルは製品の購入時に引き渡されますが、プロダクト・サービス・ストリームやサーバーのデモ版では使用することができません。サーバーを購入している場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決にあたっての援助を依頼してください。

---

**ANR9618E (Linux)** ライセンス登録はこのサーバーでサポートされていません。

説明: ライセンス権限モジュールが見つからなかったので、REGISTER LICENSE コマンドは正常に実行されませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: サーバーの正式ライセンスにはライセンス権限ファイルが必要です。このファイルは製品の購

入時に引き渡されますが、プロダクト・サービス・ストリームやサーバーのデモ版では使用することができません。サーバーを購入している場合には、この問題の解決にあたって援助を要求するよう、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9618E (Solaris)** ライセンス登録はこのサーバーでサポートされていません。

説明: ライセンス権限モジュールが見つからなかったので、REGISTER LICENSE コマンドは正常に実行されませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: サーバーの正式ライセンスにはライセンス権限ファイルが必要です。このファイルは、サーバーの購入時に引き渡されますが、製品サービス・ストリームやサーバーのデモ版では使用できません。サーバーを購入している場合には、この問題の解決にあたって援助を要求するよう、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9622I (AIX) IBM Spectrum Protect for Space Management** のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れません。

説明: AIX/6000 サーバーは、IBM Spectrum Protect for Space Management サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect for Space Management ライセンスにより、クライアントは、スペース管理時にマイグレーションされたファイルの保管にサーバーを利用できます。サーバーは、ファイルがクライアント・ノードからサーバーにマイグレーションされる時に、サーバーがこの機能の実行を認可されているかどうかを確認するために、このライセンスを検査します。

ユーザーの処置: サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では IBM Spectrum Protect for Space Management をサポートしません。

---

**ANR9623I (AIX)** 災害時回復管理機能 のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

説明: AIX/6000 サーバーは、災害時回復管理機能 サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

システムの処置: 災害時回復管理機能 のライセンスによって、導入先はマシンおよび回復メディアに関する情報をサーバーに保管し、オフサイトの回復メディアを管理し、サーバー回復のための情報を収集してサーバーに保管することができ、タイプ・サーバーの装置クラスにデータベースおよびストレージ・プールをバックアップすることができます。マシンまたは回復メディアがサーバーに対して定義されるとき、PREPARE または MOVE DRMMEDIA が呼び出されたとき、およびデータベースのバックアップまたはストレージ・プールのバックアップがタイプ・サーバーの装置クラスに対して実行された時に、このライセンスを検査してサーバーがこの機能を実行するライセンスを持っているかどうか、サーバーは確認します。

ユーザーの処置: サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では 災害時回復管理機能 をサポートしません。

---

**ANR9624E (AIX)** 予期しないエラーが **iFor/LS (SystemView** ライセンス・ユース管理) ルーチン *license interface name* 状況 = *xreported status code* で検出されました。

説明: サーバーが、指定された SystemView ライセンス・ユース管理機能にアクセスしている時に、予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: サーバー・ライセンス・モニター操作が失敗しました。

ユーザーの処置: SystemView ライセンス・ユース管理プロダクトは、通常の AIX サーバーのインストール時にインストールされます。 検査して、サーバーが正しくインストールされていることを確認してください。インストールが正常に行われていた場合は、AIX システムをリブートして、サーバーを再始動してください。このメッセージが繰り返し出される場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9624I (HP-UX)** **IBM Spectrum Protect for Space Management** のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

説明: サーバーは、IBM Spectrum Protect for Space Management サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect for Space Management ライセンスにより、クライアントは、スペース管理時にマイグレーションされたファイルの保管にサーバーを利用できます。サーバーは、ファイルがクライアント・ノードからサーバーにマイグレーションされる時に、サーバーがこの機能の実行を認可されているかどうかを確認するために、このライセンスを検査します。

ユーザーの処置: サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では IBM Spectrum Protect for Space Management をサポートしません。

---

**ANR9624I (Linux)** **IBM Spectrum Protect for Space Management** のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

説明: サーバーは、IBM Spectrum Protect for Space Management サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect for Space Management ライセンスにより、クライアントは、スペース管理時にマイグレーションされたファイルの保管にサーバーを利用できます。サーバーは、ファイルがクライアント・ノードからサーバーにマイグレーションされる時に、サーバーがこの機能の実行を認可されているかどうかを確認するために、このライセンスを検査します。

ユーザーの処置: サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では IBM Spectrum Protect for Space Management をサポートしません。



---

**ANR9624I (Solaris) IBM Spectrum Protect for Space Management** のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

説明: サーバーは、IBM Spectrum Protect for Space Management サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect for Space Management ライセンスにより、クライアントは、スペース管理時にマイグレーションされたファイルの保管にサーバーを利用できます。サーバーは、ファイルがクライアント・ノードからサーバーにマイグレーションされる時に、サーバーがこの機能の実行を認可されているかどうかを確認するために、このライセンスを検査します。

ユーザーの処置: サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では IBM Spectrum Protect for Space Management をサポートしません。

---

**ANR9624I (Windows) IBM Spectrum Protect for Space Management** のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

説明: サーバーは、IBM Spectrum Protect for Space Management サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect for Space Management ライセンスにより、クライアントは、スペース管理時にマイグレーションされたファイルの保管にサーバーを利用できます。サーバーは、ファイルがクライアント・ノードからサーバーにマイグレーションされる時に、サーバーがこの機能の実行を認可されているかどうかを確認するために、このライセンスを検査します。

ユーザーの処置: サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では IBM Spectrum Protect for Space Management をサポートしません。

---

**ANR9625E (AIX)** ファイル *file name* をオープンすることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9625I (HP-UX) 災害時回復管理機能** のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

説明: サーバーは、災害時回復管理機能 サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

システムの処置: 災害時回復管理機能 のライセンスによって、導入先はマシンおよび回復メディアに関する情報をサーバーに保管し、オフサイトの回復メディアを管理し、サーバー回復のための情報を収集してサーバーに保管することができ、タイプ・サーバーの装置クラスにデータベースおよびストレージ・プールをバックアップすることができます。マシンまたは回復メディアがサーバーに対して定義されるとき、PREPARE または MOVE DRMMEDIA が呼び出されたとき、およびデータベースのバックアップまたはストレージ・プールのバックアップがタイプ・サーバーの装置クラスに対して実行された時に、このライセンスを検査してサーバーがこの機能を実行するライセンスを持っているかどうか、サーバーは確認します。

ユーザーの処置: サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では 災害時回復管理機能 をサポートしません。

---

**ANR9625I (Linux) 災害時回復管理機能** のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

説明: サーバーは、災害時回復管理機能 サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式

## ANR9625I (Solaris) • ANR9626E (AIX)

ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合には、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

**システムの処置:** 災害時回復管理機能 のライセンスによって、導入先はマシンおよび回復メディアに関する情報をサーバーに保管し、オフサイトの回復メディアを管理し、サーバー回復のための情報を収集してサーバーに保管することができ、タイプ・サーバーの装置クラスにデータベースおよびストレージ・プールをバックアップすることができます。マシンまたは回復メディアがサーバーに対して定義されたとき、PREPARE または MOVE DRMMEDIA が呼び出されたとき、およびデータベースのバックアップまたはストレージ・プールのバックアップがタイプ・サーバーの装置クラスに対して実行されたときに、サーバーは、このライセンスを検査してサーバーがこの機能を実行するライセンスを持っているかどうかを確認します。

**ユーザーの処置:** サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では 災害時回復管理機能 をサポートしません。

---

**ANR9625I (Solaris)** 災害時回復管理機能 のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

**説明:** サーバーは、災害時回復管理機能 サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

**システムの処置:** 災害時回復管理機能 のライセンスによって、導入先はマシンおよび回復メディアに関する情報をサーバーに保管し、オフサイトの回復メディアを管理し、サーバー回復のための情報を収集してサーバーに保管することができ、タイプ・サーバーの装置クラスにデータベースおよびストレージ・プールをバックアップすることができます。マシンまたは回復メディアがサーバーに対して定義されるとき、PREPARE または MOVE DRMMEDIA が呼び出されたとき、およびデータベースのバックアップまたはストレージ・プールのバックアップがタイプ・サーバーの装置クラスに対して実行された時に、このライセンスを検査してサーバーがこの機能を実行するライセンスを持っているかどうか、サーバーは確認します。

**ユーザーの処置:** サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効

期限の後では 災害時回復管理機能 をサポートしません。

---

**ANR9625I (Windows)** 災害時回復管理機能 のサポートの評価ライセンスが *expiration date* で有効期限が切れます。

**説明:** サーバーは、災害時回復管理機能 サポートの評価用ライセンス付きで配布されます。サーバーの正式ライセンスが見つからなくて、評価期間が経過していない場合は、サーバーがサーバー・ライセンス条項を検査するたびに、このメッセージが表示されます。

**システムの処置:** 災害時回復管理機能 のライセンスによって、導入先はマシンおよび回復メディアに関する情報をサーバーに保管し、オフサイトの回復メディアを管理し、サーバー回復のための情報を収集してサーバーに保管することができ、タイプ・サーバーの装置クラスにデータベースおよびストレージ・プールをバックアップすることができます。マシンまたは回復メディアがサーバーに対して定義されるとき、PREPARE または MOVE DRMMEDIA が呼び出されたとき、およびデータベースのバックアップまたはストレージ・プールのバックアップがタイプ・サーバーの装置クラスに対して実行された時に、このライセンスを検査してサーバーがこの機能を実行するライセンスを持っているかどうか、サーバーは確認します。

**ユーザーの処置:** サーバーの使用に関心がある場合には、評価期間が経過する前にサービス担当員に連絡して、サーバーの正式ライセンスを取得してください。正式ライセンスがなければ、サーバーは示されている有効期限の後では 災害時回復管理機能 をサポートしません。

---

**ANR9626E (AIX)** ライセンス認証ファイル *file name* が無効です。

**説明:** 指定されたファイルには、有効なライセンス認証情報が含まれていません。

**システムの処置:** ライセンス登録コマンドは、ファイルの内容を無視します。

**ユーザーの処置:** 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR9627E (AIX)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSEV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定に誤りがある場合は、DSMSEV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR9628E (Windows)** 予期しないエラーが iFor/LS (SystemView ライセンス・ユース管理) ルーチン *license interface name* 状況 = *xreported status code* で検出されました。

説明: サーバーが、指定された SystemView ライセンス・ユース管理機能にアクセスしている時に、予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: サーバー・ライセンス・モニター操作が失敗しました。

ユーザーの処置: SystemView ライセンス・ユース管理プロダクトは、通常のサーバーのインストール時にインストールされます。製品が正しくインストールされていることを調べて確認してください。インストールが正常に行われていた場合は、システムをリブートして、サーバーを再始動してください。このメッセージが繰り返し出される場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR9629E (Windows)** ファイル *file name* をオープンすることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出するこ

とができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR9630E (Windows)** ライセンス認証ファイル *file name* が無効です。

説明: 指定されたファイルには、有効なライセンス認証情報が含まれていません。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは、ファイルの内容を無視します。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

**ANR9631E (Windows)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSEV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定にエラーがある場合は、DSMSEV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

**ANR9632I (Windows)** ライセンス DLL ライブラリー *DLL file name* をロードできません。サーバーは評価ライセンス・モードであると見なします。

説明: サーバーは、指定されたダイナミック・リンク・ライブラリーをロードできませんでした。

システムの処置: サーバー・ライセンスは、ライセンスが 180 日間の「試用および購入」モードであると見なします。

ユーザーの処置: 指定された DLL ライブラリーは、機能のライセンス許可をサポートするためにサーバーに必

## ANR9634E (AIX) • ANR9634E (Windows)

要です。サーバーの評価コピーを実行中の場合、このメッセージが表示されても問題はなく、正常です。ライブラリーがインストールされてもこのメッセージが続けて出る場合には、サポート担当員に援助を頼んでください。

---

**ANR9634E (AIX)** *command name:* ライセンス認証ファイルが *file name specification* 指定で見つかりませんでした。

説明: サーバーは、入力されたファイル名を指定したライセンス証明書ファイルを見つけられませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。ファイル名の仕様は、サーバーが読み取ろうとした完全修飾ファイル名を示します。明示パスが提供されない時に、ライセンス認証ファイルの検出で使用するディレクトリーは、次のとおり判別されます。

- この変数が定義された場合には、環境変数 `DSMSERV_DIR` によって指示されるディレクトリー・パス。
- `DSMSERV_DIR` 変数が定義されない場合には、サーバー・プロセスの現行作業ディレクトリー。

エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9634E (HP-UX)** *command name:* ライセンス認証ファイルが *file name specification* 指定で見つかりませんでした。

説明: サーバーは、入力されたファイル名を指定したライセンス証明書ファイルを見つけられませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9634E (Linux)** *command name:* ライセンス認証ファイルが *file name specification* 指定で見つかりませんでした。

説明: サーバーは、入力されたファイル名を指定したライセンス証明書ファイルを見つけられませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9634E (Solaris)** *command name:* ライセンス認証ファイルが *file name specification* 指定で見つかりませんでした。

説明: サーバーは、入力されたファイル名を指定したライセンス証明書ファイルを見つけられませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9634E (Windows)** *command name:* ライセンス認証ファイルが *file name specification* 指定で見つかりませんでした。

説明: サーバーは、入力されたファイル名を指定したライセンス証明書ファイルを見つけられませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9635E (HP-UX)** ライセンス認証ファイル *file name* が無効です。

説明: 指定されたファイルには、有効なライセンス認証情報が含まれていません。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは、ファイルの内容を無視します。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9635E (Linux)** ライセンス認証ファイル *file name* が無効です。

説明: 指定されたファイルには、有効なライセンス認証情報が含まれていません。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは、ファイルの内容を無視します。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9635E (Solaris)** ライセンス認証ファイル *file name* が無効です。

説明: 指定されたファイルには、有効なライセンス認証情報が含まれていません。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは、ファイルの内容を無視します。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9635E (Windows)** ライセンス認証ファイル *file name* が無効です。

説明: 指定されたファイルには、有効なライセンス認証情報が含まれていません。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは、ファイルの内容を無視します。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9636E (HP-UX)** ファイル *file name* をオープンすることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9636E (Linux)** ファイル *file name* をオープンすることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9636E (Solaris)** ファイル *file name* をオープンすることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認して

## ANR9636E (Windows) • ANR9637E (Windows)

ください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9636E (Windows)** ファイル *file name* をオープンすることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9637E (HP-UX)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSERV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定に誤りがある場合は、DSMSERV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9637E (Linux)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスでき

ることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSERV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定にエラーがある場合には、DSMSERV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9637E (Solaris)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSERV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定にエラーがある場合には、DSMSERV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9637E (Windows)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSERV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定にエラーがある場合は、DSMSERV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9638W (HP-UX)** ライセンス登録はこのサーバーでサポートされていません。

説明: ライセンス認可モジュールが見つからないので、REGISTER LICENSE コマンドは正常に実行されません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: HP-UX サーバーの正式ライセンスには、ライセンス権限ファイルが必要です。このファイルは、サーバーの購入時に引き渡されますが、製品サービス・ストリームやサーバーのデモ版では使用できません。サーバーを購入している場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決にあたっての援助を依頼してください。

---

**ANR9638W (Linux)** ライセンス登録はこのサーバーでサポートされていません。

説明: ライセンス認可モジュールが見つからないので、REGISTER LICENSE コマンドは正常に実行されません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: サーバーの正式ライセンスにはライセンス権限ファイルが必要です。このファイルは製品の購入時に引き渡されますが、プロダクト・サービス・ストリームやサーバーのデモ版では使用することができません。サーバーを購入している場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決にあたっての援助を依頼してください。

---

**ANR9638W (Solaris)** ライセンス登録はこのサーバーでサポートされていません。

説明: ライセンス認可モジュールが見つからないので、REGISTER LICENSE コマンドは正常に実行されません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: Oracle Solaris サーバーの正式ライセンスには、ライセンス許可ファイルが必要です。このファイルは、サーバーの購入時に引き渡されますが、製品サービス・ストリームやサーバーのデモ版では使用できません。サーバーを購入している場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決にあたっての援助を依頼してください。

---

**ANR9638W (Windows)** ライセンス登録はこのサーバーでサポートされていません。

説明: ライセンス認可モジュールが見つからないので、REGISTER LICENSE コマンドは正常に実行されません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されます。  
REGISTER LICENSE コマンドでは、ライセンス条項は変更されません。

ユーザーの処置: Windows サーバーの正式ライセンスには、ライセンス権限ファイルが必要です。このファイルは製品の購入時に引き渡されますが、プロダクト・サービス・ストリームやサーバーのデモ版では使用することができません。サーバーを購入している場合には、サービス担当員に連絡して、この問題の解決にあたっての援助を依頼してください。

---

**ANR9639W (HP-UX)** 共有ライブラリー *shared library* をロードすることができません。

説明: サーバー・モジュールは、指示された共有ライブラリーをロードすることができません。

システムの処置: サーバーの操作は継続しますが、共有ライブラリーを必要とする機能は操作不能になります。

ユーザーの処置: 共有ライブラリーにアクセスできることを確認してください。これがサーバーの評価コピーの場合には、DSMREG ライブラリーは購入されたサーバーだけに提供されるため、このメッセージはライブラリーに対して正常のものです。サーバーのライセンス付与は、一定期間だけライセンス・オプションの例を提供する「試用および購入」モードを前提としています。

---

**ANR9639W (Linux)** 共有ライセンス・ファイル *shared library* をロードできません。

説明: サーバーは共有ライブラリーをロードできませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、共有ライブラリーを必要とする機能は作動不能になります。

ユーザーの処置: 共有ライブラリーがアクセス可能/読み取り可能であることを確認してください。このメッセージは、試用モードのサーバーには普通です。

---

**ANR9639W (Solaris)** 共有ライセンス・ファイル *shared library* をロードできません。

説明: サーバーは共有ライブラリーをロードできませんでした。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、共

## ANR9640E (HP-UX) • ANR9642E (HP-UX)

有ライブラリーを必要とする機能は作動不能になります。

ユーザーの処置: 共有ライブラリーがアクセス可能/読み取り可能であることを確認してください。このメッセージは、試用モードのサーバーには普通です。

---

**ANR9640E (HP-UX)** 共有ライブラリー *shared library* からプロシージャ・アドレスをロードすることができません。

説明: サーバー・モジュールは、指示された共有ライブラリー内のルーチンのアドレスをロードできません。

システムの処置: サーバーの操作は継続しますが、共有ライブラリーを必要とする機能は操作不能になります。

ユーザーの処置: 共有ライブラリーにアクセスできることを確認してください。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9640E (Linux)** プロシージャ・アドレスを共有ライブラリー *shared library* のライセンス・モジュールからロードできません。

説明: サーバー・モジュールは、ライセンス・ロード用に示されている共有ライブラリーに、ルーチンのアドレスをロードできません。

システムの処置: サーバーの操作は継続しますが、共有ライブラリーを必要とする機能は操作不能になります。

ユーザーの処置: 共有ライブラリーにアクセスできることを確認してください。この問題が続いて起こる場合には、カスタマー・サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9640E (Solaris)** プロシージャ・アドレスを共有ライブラリー *shared library* のライセンス・モジュールからロードできません。

説明: サーバー・モジュールは、ライセンス・ロード用に示されている共有ライブラリーに、ルーチンのアドレスをロードできません。

システムの処置: サーバーの操作は継続しますが、共有ライブラリーを必要とする機能は操作不能になります。

ユーザーの処置: 共有ライブラリーにアクセスできることを確認してください。この問題が続いて起こる場合には、カスタマー・サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9641W (HP-UX)** 1 つ以上の評価用ライセンスが *expiration date* に満了します。

説明: サーバーの購入バージョンで実行している場合であっても、指定の日付に有効期限が切れる 1 つ以上の登録済みライセンスがあります。製品を購入する前に評

価ライセンスを使用していた場合によく起こります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して、サーバー始動ディレクトリーのノード・ロック・ファイルを消去します。サーバーの再始動後に、REGISTER LICENSE コマンドを使用して、サーバーと一緒に購入したライセンス機能を定義してください。これらのライセンスには有効期限がないので、正式ライセンスの再登録後にはこのメッセージは表示されません。このメッセージが続いて表示される場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9641W (Linux)** 1 つ以上の評価用ライセンスが *expiration date* に満了します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して、サーバー始動ディレクトリーのノード・ロック・ファイルを消去します。サーバーの再始動後に、REGISTER LICENSE コマンドを使用して、サーバーと一緒に購入したライセンス機能を定義してください。これらのライセンスには有効期限がないので、正式ライセンスの再登録後にはこのメッセージは表示されません。このメッセージが続いて表示される場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9641W (Solaris)** 1 つ以上の評価用ライセンスが *expiration date* に満了します。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して、サーバー始動ディレクトリーのノード・ロック・ファイルを消去します。サーバーの再始動後に、REGISTER LICENSE コマンドを使用して、サーバーと一緒に購入したライセンス機能を定義してください。これらのライセンスには有効期限がないので、正式ライセンスの再登録後にはこのメッセージは表示されません。このメッセージが続いて表示される場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9642E (HP-UX)** 指定のライセンス許可コード (*license authorization code*) が無効です。

説明: REGISTER LICENSE コマンドを使用して入力したライセンス許可コードが無効です。

システムの処置: 追加のライセンスは登録されません。サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 有効なライセンス許可コードを取得して、このコマンドをやり直してください。



---

**ANR9642E (Linux)** 指定のライセンス許可コード  
(*license authorization code*) が無効です。

説明: REGISTER LICENSE コマンドを使用して入力した  
ライセンス許可コードが無効です。

システムの処置: 追加のライセンスは登録されません。  
サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: 有効なライセンス許可コードを取得し  
て、このコマンドをやり直してください。

---

**ANR9653E (HP-UX)** 予期しないエラーが iFor/LS  
(SystemView ライセンス・ユース管理)  
ルーチン *license interface name* 状況 =  
*xreported status code* で検出されました。

説明: サーバーが、指定された SystemView ライセン  
ス・ユース管理機能にアクセスしている時に、予期しな  
いエラーを検出しました。

システムの処置: サーバー・ライセンス・モニター操作  
が失敗しました。

ユーザーの処置: SystemView ライセンス・ユース管理  
プロダクトは、通常の AIX サーバーのインストール時  
にインストールされます。 検査して、サーバーが正し  
くインストールされていることを確認してください。  
インストールが正常に行われていた場合は、AIX システ  
ムをリブートして、サーバーを再始動してください。  
このメッセージが繰り返し出される場合は、サービス担  
当員に連絡してください。

---

**ANR9653E (Solaris)** 予期しないエラーが iFor/LS  
(SystemView ライセンス・ユース管理)  
ルーチン *license interface name* 状況 =  
*xreported status code* で検出されました。

説明: サーバーが、指定された SystemView ライセン  
ス・ユース管理機能にアクセスしている時に、予期しな  
いエラーを検出しました。

システムの処置: サーバー・ライセンス・モニター操作  
が失敗しました。

ユーザーの処置: SystemView ライセンス・ユース管理  
プロダクトは、通常の AIX サーバーのインストール時  
にインストールされます。 検査して、サーバーが正し  
くインストールされていることを確認してください。  
インストールが正常に行われていた場合は、AIX システ  
ムをリブートして、サーバーを再始動してください。  
このメッセージが繰り返し出される場合は、サービス担  
当員に連絡してください。

---



---

**ANR9654E (HP-UX)** ファイル *file name* をオープンす  
ることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファ  
イルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されま  
せん。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカ  
ード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス  
証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認して  
ください。 エラーが見つかった場合は、指定を訂正し  
てコマンドをやり直してください。エラーを検出するこ  
とができない場合は、サービス担当員に連絡してくださ  
い。

---

**ANR9654E (Solaris)** ファイル *file name* をオープンす  
ることができませんでした。

説明: サーバーは、指定されたライセンス証明書ファ  
イルをオープンできませんでした。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは実行されま  
せん。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカ  
ード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス  
証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認して  
ください。 エラーが見つかった場合は、指定を訂正し  
てコマンドをやり直してください。エラーを検出するこ  
とができない場合は、サービス担当員に連絡してくださ  
い。

---

**ANR9655E (HP-UX)** ライセンス認証ファイル *file*  
*name* が無効です。

説明: 指定されたファイルには、有効なライセンス認証  
情報が含まれていません。

システムの処置: ライセンス登録コマンドは、ファイル  
の内容を無視します。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカ  
ード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス  
証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認して  
ください。 エラーが見つかった場合は、指定を訂正し  
てコマンドをやり直してください。エラーを検出するこ  
とができない場合は、サービス担当員に連絡してくださ  
い。

---

**ANR9655E (Solaris)** ライセンス認証ファイル *file*  
*name* が無効です。

説明: 指定されたファイルには、有効なライセンス認証  
情報が含まれていません。

---

## ANR9656E (HP-UX) • ANR9676E (Linux)

システムの処置: ライセンス登録コマンドは、ファイルの内容を無視します。

ユーザーの処置: 入力されたファイル指定 (ワイルドカード文字を含む) を調べて、使用する予定のライセンス証明書ファイルの名前になっているかどうかを確認してください。エラーが見つかった場合は、指定を訂正してコマンドをやり直してください。エラーを検出することができない場合は、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9656E (HP-UX)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSERV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定に誤りがある場合は、DSMSERV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9656E (Solaris)** ノード・ライセンス・ロック・ファイル *file name* にアクセスすることができません。

説明: サーバーは、指定されたファイルにアクセスすることができませんでした。ノード・ロック・ファイルに、サーバーのライセンス情報が入っています。

システムの処置: ライセンス機能は働きません。

ユーザーの処置: 表示されたファイル指定を調べて、そのファイル属性でサーバーが、ファイルにアクセスできることを確認してください。ファイルの位置は、サーバーが始動されたディレクトリー内か、または DSMSERV\_DIR 環境変数によって指定されたディレクトリー内です。この指定に誤りがある場合は、DSMSERV\_DIR 環境変数を指定し直してください。また、このファイル用に指定されたドライブに、十分なスペースがあることを確認してください。これらの訂正を行った後も問題が続く場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9676E (AIX)** 共有メモリー通信用のメモリー・セグメントの割り当て時にエラー *errno* が発生しました。

説明: 共有通信セッション用の共有メモリー・セグメントを割り当てようとしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: 共有メモリー通信セッションは初期化されません。

ユーザーの処置: AIX 資料で *shmat* サブルーチンについて調べ、エラー番号の示す内容を確認してください。AIX でエラー番号が EMFILE のときは、EXTSHM 環境変数を ON に設定してからサーバーを始動してください。これにより、サーバーで 3 つを超える共有メモリー・セッションを同時にサポートできるようになります。

---

**ANR9676E (HP-UX)** 共有メモリー通信用のメモリー・セグメントの割り当て時にエラー *errno* が発生しました。

説明: 共有通信セッション用の共有メモリー・セグメントを割り当てようとしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: 共有メモリー通信セッションは初期化されません。

ユーザーの処置: AIX 資料で *shmat* サブルーチンについて調べ、エラー番号の示す内容を確認してください。AIX でエラー番号が EMFILE のときは、EXTSHM 環境変数を ON に設定してからサーバーを始動してください。これにより、サーバーで 3 つを超える共有メモリー・セッションを同時にサポートできるようになります。

---

**ANR9676E (Linux)** 共有メモリー通信用のメモリー・セグメントの割り当て時にエラー *errno* が発生しました。

説明: 共有通信セッション用の共有メモリー・セグメントを割り当てようとしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: 共有メモリー通信セッションは初期化されません。

ユーザーの処置: AIX 資料で *shmat* サブルーチンについて調べ、エラー番号の示す内容を確認してください。AIX でエラー番号が EMFILE のときは、EXTSHM 環境変数を ON に設定してからサーバーを始動してください。これにより、サーバーで 3 つを超える共有メモリー・セッションを同時にサポートできるようになります。

---

**ANR9677E (AIX)** 共有メモリー通信用のメモリーの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリー通信は活動化されません。

---

**ANR9677E (HP-UX)** 共有メモリー通信用のメモリーの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリー通信は活動化されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9677E (Linux)** 共有メモリー通信用のメモリーの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリー通信は活動化されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9678E (AIX)** 共有メモリー通信エラー用のメッセージ・キューの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリー通信は活動化されません。

---

**ANR9678E (HP-UX)** 共有メモリー通信エラー用のメッセージ・キューの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリー通信は活動化されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9678E (Linux)** 共有メモリー通信エラー用のメッセージ・キューの割り振りに失敗しました。エラー: *error text*。

説明: 共有通信オプション用のメモリーを入手しようとした時に、エラーが起きました。

システムの処置: 共有メモリー通信は活動化されません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9678W (Windows)** サーバーのために使用した *File name* は実行可能です。サーバーは、現在、サービスとして実行されています。

説明: サーバーがサービスとして実行している時に使用される実行可能の名前は、計画ファイルで使用できません。

システムの処置: PREPARE では計画ファイル内のメッセージで識別したファイル名が使用され、計画ファイルの生成は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9679W (AIX)** *Command:* ファイル *file name* が見つかりません。

説明: 指定されたファイルが見つかりません。

システムの処置: デフォルトのサーバー実行可能ファイルとして、PREPARE コマンドは /opt/IBMadsms-s/bin/dsmserv を使用します。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要な場合には作成してください。

---

**ANR9679W (Windows)** *Command:* ファイル *file name* が見付かりません。

説明: 指定されたファイルが見つかりません。

システムの処置: PREPARE は、計画ファイルの次のデフォルト・ファイル名を使用します。

- サーバー実行可能ファイルの場合のデフォルト値は *c:\progra~1\tivoli\tsm\server\dsmserv* です。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要なら作成してください。

---

**ANR9680W (AIX)** *Command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中に *volume name* の AIX 論理ボリューム情報を入手できませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されますが、PREPARE はその AIX 論理ボリューム情報を

## ANR9680W (HP-UX) • ANR9682E (Windows)

AIX オブジェクト・データ管理プログラム (ODM) から入手できません。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に、ODM エラー・コードを含む別のエラー・メッセージがあるはずで  
す。

---

**ANR9680W (HP-UX)** *Command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中に *volume name* の論理ボリューム情報を入手できませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されていますが、PREPARE はその論理ボリューム情報を取得できません。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に、エラー・コードが入っている別のエラー・メッセージがあります。

---

**ANR9680W (Solaris)** *Command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中に *volume name* の論理ボリューム情報を入手できませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されていますが、PREPARE はその論理ボリューム情報を取得できません。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に、エラー・コードが入っている別のエラー・メッセージがあります。

---

**ANR9680W (Windows)** レジストリーで *component* のパスを見つけることができません。

説明: コンポーネントへのパスがレジストリーで見つかりません。

システムの処置: PREPARE では、計画ファイルにある次のデフォルト・パス名が使用されます。

- コンポーネント・インストール・ディレクトリーの場合のデフォルト値は `c:\%progra~1\%tivoli\%tsm\%server%`
- 管理コマンド・ライン・クライアントの場合のデフォルト値は `c:\%progra~1\%tivoli\%tsm\%baclient%`
- ディスク・フォーマット・ユーティリティーの場合のデフォルト値は `c:\%progra~1\%tivoli\%tsm\%utils%`

ユーザーの処置: パスがない理由を判別し、必要であればコンポーネントをインストールしてください。

---

**ANR9681W (AIX)** *Command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中にボリューム *file name* が見つかりませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されていますが、存在しません。このボリュームに関連付けられた装置クラスが DISK であるか、または装置クラスの装置タイプが FILE です。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要な場合には作成してください。

---

**ANR9681W (Windows)** *Command:* スタンザ *recovery plan stanza name* の作成中にボリューム *file name* が見つかりませんでした。

説明: このボリュームはサーバーに対して定義されていますが、存在しません。このボリュームに関連付けられた装置クラスが DISK であるか、または装置クラスの装置タイプが FILE です。

システムの処置: このボリュームの項目は回復計画スタンザに含まれていません。

ユーザーの処置: ファイルが存在しない理由を調べて、必要なら作成してください。

---

**ANR9682E (AIX)** *Command:* 生成されたファイル名が長すぎます。ディレクトリーの長さ、または接頭部 '*prefix*' と '*name*' を加えた長さが、*maximum characters* 文字を超えています。

説明: 生成されたファイル名が長すぎます。最大有効長がメッセージに示されています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9682E (Windows)** *Command:* 生成されたファイル名が長すぎます。ディレクトリーの長さ、または接頭部 '*prefix*' と '*name*' を加えた長さが、*maximum characters* 文字を超えています。

説明: 生成されたファイル名が長すぎます。最大有効

長がメッセージに示されています。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されませんでした。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9683E (AIX)** *Command:* 'name' の完全修飾ファイル名を生成できません。

説明: 指定されたファイル名の展開中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9683E (Windows)** *Command:* 'name' の完全修飾ファイル名を生成できません。

説明: 指定されたファイル名の展開中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 有効な接頭部を指定して、コマンドを出し直してください。接頭部を指定するためには、次のコマンドを使用します。

- SET DRMPLANPREFIX
- SET DRMINSTRPREFIX
- PREPARE

---

**ANR9684E (AIX)** *Command:* サーバー・オプション・ファイル名を生成できません。

説明: サーバー・オプション・ファイル名の生成中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9684E (Windows)** *Command:* サーバー・オプション・ファイル名を生成できません。

説明: サーバー・オプション・ファイル名の生成中にエラーが起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9685E (AIX)** *Command:* ボリューム・ヒストリー・ファイル名を生成できません。

説明: ボリューム・ヒストリー・ファイルの生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9685E (Windows)** *Command:* ボリューム・ヒストリー・ファイル名を生成できません。

説明: ボリューム・ヒストリー・ファイルの生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9686E (AIX)** *Command:* 装置構成ファイル名を生成できません。

説明: 装置構成ファイル名の生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

**ANR9686E (Windows)** *Command:* 装置構成ファイル名を生成できません。

説明: 装置構成ファイル名の生成中に障害が起きました。

システムの処置: 回復計画ファイルは作成されません。

ユーザーの処置: 詳しくは付随するメッセージを参照してください。

---

### ANR9687W (Windows) Microsoft dll

NTMSAPI.DLL をロードできません。  
**Removable Media Support** が使用できません。

説明: 取り外し可能メディアには Microsoft dll NTMSAPI.DLL が必要です。通常、Windows System32 ディレクトリで見つかりますが、Removable Media と呼ばれる Windows 機能がオフになっている場合は除去できます。Windows 2008 では、デフォルトで Removable Media がオフです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ドライブに保管する場合はこのメッセージを無視するか、Windows で Removable Media 機能をオンにしてください。

---

### ANR9751E ドライブ 'drive name' のボリュームは、このドライブと互換性がありません。

説明: このドライブでこのボリュームを使用することはできません。ドライブが書き込めない旧式のメディア・タイプである可能性が最も有力です。

システムの処置: ボリュームはラベル付けされません。

ユーザーの処置: ボリュームを取り外して、このドライブで動くことが分かっている別のタイプと交換するか、あるいは ENTER を押してプログラムを終了してください。

---

### ANR9756I ボリュームが見つかりませんでした。

説明: このライブラリー中にボリュームが見つかりません。このことは、349x ATL に insert カテゴリー (xFF00) のボリュームが見つからないこと、および SCSI オートチェンジャーでライブラリーにカートリッジがロードされていないことを意味します。

システムの処置: プログラムは正常に終了します。

ユーザーの処置: ライブラリーにカートリッジを挿入します。349x ATL の場合、これは、再ラベル付けのために前に挿入されたカートリッジのカテゴリーの変更と関係する場合があります。

---

### ANR9757E SAN ディスカバリーを完了できませんでした。

説明: ドライブのシリアル番号が指定されていない場合、SAN ディスカバリーは完了しません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: IBM Tape Diagnostic Tool (ITDT) または lbtest ユーティリティを使用して、ライブラリー構成を確認してください。テープ・ライブラリーで

磁気テープ・ドライブの要素・アドレスが正しく構成されていることを確認し、すべての磁気テープ・ドライブがシリアル番号付きでライブラリー内に存在していることを確認してください。シリアル番号がない磁気テープ・ドライブが存在する場合は、ライブラリー・ベンダーに連絡して支援を受けてください。

---

### ANR9758W ボリューム 'volume name' のマウント中のエラーです。

説明: ボリュームをドライブにマウントしている時に、エラーが起こっています。ボリューム、またはドライブが使用中であるか、あるいは共有環境でロックされている可能性があるため、これはエラーでないことがあります。

システムの処置: 指定されたボリュームはラベルづけ処理で迂回されます。

ユーザーの処置: ラベルが必要な場合には、ボリュームがロックされていないこと、または使用中でないことを確認してください。

---

### ANR9761E ライブラリー library name のドライブ drive name のパスが、original drive path から new drive path に変更されています。新しいパスを使用してモデル・タイプを取得できないため、新しいパスは更新されません。

説明: ドライブの新しいパスは、この新しいパスを使用するデータベースと比較して異なる装置タイプが検出されたために更新できません。問題は、新しいパスでデバイス・ドライバーのフォーマットが誤っていることであると考えられます。

システムの処置: .

ユーザーの処置: ユーザーは、同じドライブに装置の特殊ファイル名が 2 つ指定されていないか確認する必要があります。AIX の場合は、IBM ドライブが /dev/rmt であり、IBM Spectrum Protect ドライブが /dev/mt であることを確認してください。Solaris の場合は、Solaris 固有のデバイス・ドライバーがインストールされていないことを確認してください。

---

### ANR9771E ボリューム volume name で、ボリュームの WORM タイプを記述したバーコード・ラベルが誤っています。

説明: ボリュームに対して CHECKIN または LABEL を試行したときに、ボリュームの実際の WORM 特性が、バーコード・ラベルの記述と一致していないことがわかりました。

システムの処置: ボリュームはチェックインされません。

ユーザーの処置: ボリュームのラベルが間違っている可能性があります。ライブラリーでボリュームを検索します。ボリュームを除去するか、バーコード・ラベルを逆の WORM 特性を持つラベルと交換し (非 WORM の場合は WORM、WORM の場合は非 WORM)、CHECKIN コマンドを再試行します。

---

**ANR9774W** ボリューム *volume name* のデータは、できるだけ速やかに解放する必要があります。

説明: サーバーは、示されているボリュームに再割り振り用の予備のセクターがないことを示す指示を、3995 から受け取りました。予備セクターは、入出力の問題が起こったセクターに代わるよう、予約されています。再割り振りは読み取りか書き込みのいずれかで実行することができます。

システムの処置: 示されているボリュームには、サーバーによって読み取り専用のマークが付けられています。

ユーザーの処置: このカートリッジからライブラリーの他のカートリッジにデータを移動するのに、できるだけ MOVE DATA コマンドを使用してください。このカートリッジには、UPDATE VOLUME コマンドを介して再度読み書きのマーク付けがされることはありません。

---

**ANR9775E** ボリューム *volume name* に書き込み中にエラー (RC = *internal code*)。

説明: 指定されたボリュームへの書き込み中に入出力エラーが起きました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 3995 ボリュームがアクセス可能であること、およびメディアが使用可能なことを確認してください。指定されたボリュームを含む 3995 の診断を実行する必要があります。問題が続く場合には、サービス担当員に連絡して、このメッセージに示されている内部コード値を知らせてください。OS/2 オペレーティング・システムからサーバーに内部コードが戻されます。

---

**ANR9776I** ファイル *file name* が消去され削除されます。データの消去には数分間かかることがあります。

説明: ファイルが光ディスク・ライブラリー・カートリッジから削除されます。このファイルは、LAN3995 装置クラス・ボリュームが削除されるときに削除されます。ファイルの削除にはデータの消去が含まれます。

消去プロセスは、完了するまでに数分間かかることがあります。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9778E** 1 次ライブラリー・マネージャーとの通信セッションを確立できません。

説明: 要求された操作には、ライブラリー・マネージャーとの通信セッションの確立が必要です。この時点には、ライブラリー・マネージャーとも使用できないことが分かりました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 1 次ライブラリー・マネージャーが立ち上がっていて、操作可能になっていることを確認します。サーバーが操作可能であることを確認してから、操作をやり直してください。

---

**ANR9779E** ライブラリー・マネージャーからボリューム *volume name* のドライブを獲得できません。

説明: ライブラリー・マネージャーは、ライブラリー・クライアントにドライブを割り当てできません。このエラーの原因となる状態には次のいくつかがあります。

- すべてのドライブが他のライブラリー・クライアント、またはライブラリー・マネージャーに割り振られています。
- 特定のドライブに対する要求を満たすことができません。これは、ライブラリー・クライアント側でドライブにオフラインのマークが付けられているか、あるいは現在別のプロセスで使用中の場合に起こることがあります。
- ボリュームのマウント要求時に通信エラーが起きました。
- 要求されたボリュームがライブラリー・マネージャーのインベントリにありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ドライブがライブラリー・マネージャー側で使用可能なこと、およびライブラリー・クライアントで現在使用中またはオフラインになっていないことを確認します。ライブラリー・マネージャーおよびライブラリー・クライアント上で、その装置クラスのマウント保存期間を低い値に設定します。低いマウント保存値によってドライブを解放することができます。

---

**ANR9780E** ボリューム *volume name* は、ライブラリーからドライブ *drive name* にマウントされていません。

説明: ボリュームの取り外し中に通信エラーが起きました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー・マネージャーが立ち上がっていて、操作可能になっていることを確認します。ライブラリー・マネージャーとライブラリー・クライアントがコマンドの経路指定を使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR9781E** ライブラリー・マネージャーにマウントするボリューム・シリアル番号 *volume name* が見つかりませんでした。

説明: ライブラリー・マネージャーによれば、要求されたボリュームはもうマウントされていません。通信エラーのためにライブラリー・マネージャーが強制的にボリュームを取り外した場合に、これが起こることがあります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ボリュームが取り外されていることを確認します。

---

**ANR9782E** 1 次ライブラリー・マネージャー *primary library manager name* がサーバーとして定義されていません。

説明: 1 次ライブラリー・マネージャー・サーバーがこのサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: DEFINE SERVER コマンドを使用して、サーバーをこのサーバーに対して定義します。

---

**ANR9783E** 1 次ライブラリー・マネージャーに有効な値が含まれていません。

説明: 1 次ライブラリー・マネージャー・サーバーがこのサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: DEFINE SERVER コマンドを使用して、サーバーをこのサーバーに対して定義します。

---

**ANR9784E** 2 次ライブラリー・マネージャー *secondary library manager name* がサーバーとして定義されていません。

説明: 2 次ライブラリー・マネージャーのサーバーが、

このサーバーに定義されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: DEFINE SERVER コマンドを使用して、サーバーをこのサーバーに対して定義します。

---

**ANR9785E** ライブラリー・マネージャーでドライブ *drive name* が定義されていません。

説明: 存在していないドライブを定義しているか、あるいはライブラリー・マネージャーが管理しています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー・マネージャーでドライブ名を確認してください。

---

**ANR9786E** 通信エラーが起きました。 操作を終了中です。

説明: 通信エラーが起きました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー・マネージャーが立ち上がっていて、操作可能になっていることを確認します。ライブラリー・マネージャーとライブラリー・クライアントがコマンドの経路指定を使用して通信できることを確認してください。

---

**ANR9787E** 指定された所有者名がこのサーバーに対して定義されていません。

説明: ボリュームの所有権を指定して、コマンドが出されました。 指定された所有者の名前は、このサーバーに対して定義されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: DEFINE SERVER コマンドを使用して、サーバーをこのサーバーに対して定義します。

---

**ANR9788E** *Command:* ライブラリー *library name* が定義されていません - 1 次ライブラリー・マネージャーが定義されていません。

説明: 1 次ライブラリー・マネージャーがこのサーバーに対するサーバーとして定義されていないので、指定されたライブラリーは定義されません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: DEFINE SERVER コマンドを使用して、サーバーをこのサーバーに対して定義します。



---

**ANR9789E** *Command:* ライブラリー *library name* が定義されていません - 2 次ライブラリー・マネージャーが定義されていません。

説明: 2 次ライブラリー・マネージャーがこのサーバーに対するサーバーとして定義されていないので、指定されたライブラリーは定義されません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: DEFINE SERVER コマンドを使用して、サーバーをこのサーバーに対して定義します。

---

**ANR9790W** ライブラリー・クライアント *Library Client Name* のためのボリューム *Volume Name* をマウントする要求に失敗しました。

説明: ライブラリー・クライアントは、ライブラリー・マネージャーによるボリュームのマウントを要求しましたが、失敗しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: すべてのドライブの状況が現在オンラインであり、他のライブラリー・クライアント、またはライブラリー・マネージャー自体によって使用中でないことを確認してください。必要に応じて、ドライブ・リソースを解放してください。

---

**ANR9791I** ライブラリー *Library Name* のボリューム *Volume Name* の所有権が *Current volume owner* から *New Volume owner* に変更されています。

説明: 共有ライブラリーのボリュームの所有権が現在の所有者から新規所有者に変更されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9792E** ライブラリー・マネージャー *Library Manager Name* のライブラリー *Library Name* は現在共有されていません。

説明: ライブラリー定義コマンドで、ライブラリー・マネージャーが共有していない、共有ライブラリーを定義しようとした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー・マネージャーのライブラリーが共有されていることを確認してください。ライブラリーが共有されていない場合は、ライブラリー共有状況を yes に更新してください。

---



---

**ANR9793I** ライブラリー *library name* の *process name* - 取り消しの保留中。

説明: QUERY PROCESS コマンドに応答して、このメッセージは、サーバー上のプロセスの状況を表示します。コマンドは開始されましたが、プロセスが管理者によって取り消されました。

システムの処置: バックグラウンド・プロセスの操作は終了中です。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9794E** **RSM** ダイナミック・リンク・ライブラリー *dynamic link library* をロードできません。

説明: サーバー・モジュールは、示されたダイナミック・リンク・ライブラリーをロードできません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、ダイナミック・リンク・ライブラリーを必要とする機能は、作動不能になります。

ユーザーの処置: インストール済みの Windows のバージョンが RSM をサポートしていることを確認してください。取り外し可能ストレージ・マネージャーがインストールされ、システム DLL がアクセス可能であることを確認してください。

---

**ANR9795E** *Command:* 無効なストレージ・エージェント名 *storage agent name*。

説明: 指定されたストレージ・エージェント名は無効です。含まれている文字数が多すぎるか、あるいは文字の一部が無効です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・エージェント名を使用してコマンドを再発行してください。

---

**ANR9796E** *Command:* ドライブ *drive name* のドライブ・マッピングは既にストレージ・エージェント *storage agent name* 上のライブラリー *library name* に定義されています。

説明: 指定されたドライブ・マッピングは、指定されたドライブ、ライブラリー、およびストレージ・エージェントには既に定義されているので、定義できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 追加のドライブ・マッピングを定義したい場合は、別のドライブ名でコマンドを出し直してください。

---

**ANR9797E** *Command:* ドライブ *drive name* のドライブ・マッピングは、ストレージ・エージェント *storage agent name* 上のライブラリー *library name* に定義されていません。

説明: 指定されたドライブ・マップは、与えられたストレージ・エージェントで与えられたライブラリー内の与えられたドライブに対して定義されていません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 別のドライブ名を使用してコマンドをやり直してください。該当する場合には、ドライブを定義してからコマンドをやり直してください。

**ANR9798E** *Command:* ライブラリー *library name* のドライブ *drive name* に 1 つ以上のパスがまだ定義されています。

説明: まだ定義されたパスがあるので、指定されたドライブは削除できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ドライブのすべてのパスを削除して、コマンドをやり直してください。

**ANR9799E** *Command:* ライブラリー *Library Name* は、現在共有されていません。

説明: コマンドで、ライブラリーが共有されなければ許可されない操作を実行しようとした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー・マネージャーのライブラリーが共有されていることを確認してください。ライブラリーが共有されていない場合は、ライブラリー共有パラメーターを「はい」に更新してください。

**ANR9800E** ライブラリー *Library Name* は現在共有されていませんし、試行された操作は共有ライブラリーにのみ許されます。

説明: コマンドで、ライブラリーが共有されなければ許可されない操作を実行しようとした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ライブラリー・マネージャーのライブラリーが共有されていることを確認してください。ライブラリーが共有されていない場合は、ライブラリー共有パラメーターを「はい」に更新してください。

**ANR9801I (Windows) ANR9801:** 操作可能。

説明: デバイス・ドライバーが正常に初期化され、サーバーからの要求を受け入れることが可能です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR9803W (Windows) ANR9803:** エラーが発生しました。ドライバーを初期化するには空きメモリーが不十分です。

説明: 動的ストレージを獲得することができないために、サーバー・デバイス・ドライバーを初期化できません。

システムの処置: 処理を続行します。サーバーからの要求を処理するのに、デバイス・ドライバーを使用できません。

ユーザーの処置: 最小ストレージ要件については、「ライセンス・プログラム仕様/2」を参照してください。

Windows および使用したいデバイス・ドライバーを初期化するためには、システムに十分なメモリーが必要です。

**ANR9810I (Windows) ANR9810:** SCSI テープ・デバイス・ドライバーを初期化中...

説明: サーバー SCSI テープ・デバイス・ドライバーがシステムによって呼び出され、初期化中です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR9820I (Windows) ANR9820:** SCSI オートチェンジャー・デバイス・ドライバーを初期化中...

説明: サーバー SCSI オートチェンジャー・デバイス・ドライバーがシステムによって呼び出され、初期化中です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

**ANR9900W (AIX) 重要 --** アカウンティング・レコードをファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが、アカウンティング・ファイルをオープンしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあるこ

と、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9900W (HP-UX) 重要:** アカウントティング・レコードはファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントティング・ファイルをオープンしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーの処理は継続しますが、アカウントティング・レコードは書き込まれません。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9900W (Linux) 重要:** アカウントティング・レコードはファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントティング・ファイルをオープンしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーの処理は継続しますが、アカウントティング・レコードは書き込まれません。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9900W (Solaris) 重要:** アカウントティング・レコードはファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントティング・ファイルをオープンしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーの処理は継続しますが、アカウントティング・レコードは書き込まれません。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9900W (Windows) 重要 --** アカウントティング・レコードをファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが、アカウントティング・ファイルをオープンしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9901W (AIX) 重要 --** アカウントティング・レコードをファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが、アカウントティング・レコードに書き込もうとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9901W (HP-UX) 重要:** アカウントティング・レコードはファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントティング・レコードに書き込もうとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9901W (Linux) 重要:** アカウントティング・レコードはファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントティング・レコードに書き込もうとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9901W (Solaris) 重要:** アカウントティング・レコードはファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントティング・レコードに書き込もうとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントティング・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9901W (Windows) 重要 --** アカウントティング・レコードをファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが、アカウントティング・レコードに書き込もうとしてエラーを検出しました。

## ANR9902W (AIX) • ANR9905W (AIX)

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントिंग・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9902W (AIX) 重要 -- アカウントिंग・レコード**をファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが、アカウントING・ファイルをクローズしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースが使用可能であること、およびアカウントING・ファイルが読み取り専用としてマークされていないことを確認してください。

---

**ANR9902W (HP-UX) 重要: アカウントING・レコード**はファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントING・ファイルをクローズしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントING・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9902W (Linux) 重要: アカウントING・レコード**はファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントING・ファイルをクローズしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントING・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9902W (Solaris) 重要: アカウントING・レコード**はファイル *file name* に書き込むことができません。

説明: サーバーが、アカウントING・ファイルをクローズしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントING・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9902W (Windows) 重要 -- アカウントING・レコード**をファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーが、アカウントING・ファイルをクローズしようとしてエラーを検出しました。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびアカウントING・ファイルに読み取り専用のマークが付けられていないことを確認してください。

---

**ANR9903W (HP-UX) スレッドの作成**が失敗しました。システムは、最大 *thread count* 個のスレッドに構成されています。最大 **1024** 個のスレッドに構成することを検討してください。

説明: サーバーは新規スレッドを作成できません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: システムの最大スレッド数を増やすことを検討してください。

---

**ANR9904E (AIX) アダプター装置 *Device name***を開けませんでした。

説明: 許可が拒否されました。サーバーは、磁気テープ装置から予約をクリアするための論理装置番号 (LUN) リセット機能を完了しませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、ターゲットの磁気テープ装置にアクセスできません。

ユーザーの処置: 問題を解決するには、以下のアクションのいずれかを実行します。 - ターゲットの磁気テープ装置で電源スイッチをいったん切ってから入れ直します。 - 磁気テープ装置が永続予約をサポートしている場合、磁気テープ装置ドライバーに使用される予約タイプを SCSI-2 から永続予約に変更します。

---

**ANR9904W (HP-UX) スレッドの作成**が失敗しました。後で操作を再試行してください。

説明: リソース制約のため、サーバーは新規スレッドを作成できません。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 後で操作を再試行してください。

---

**ANR9905W (AIX) ファイル *file***をオープンできません。 *Error message generated by AIX*

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR9905W (HP-UX)** ファイル *file* をオープンできません。 *Error message generated by HP-UX.*

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR9905W (Linux)** ファイル *file* をオープンできません。 *Error message generated by Linux.*

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR9905W (Solaris)** ファイル *file* をオープンできません。 *Error message generated by Solaris.*

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR9905W (Windows)** ファイル *file* をオープンできません。 *Error message generated by Windows.*

説明: サーバーが示されているファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 示されているファイルを使用する操作は失敗します。

ユーザーの処置: ファイルをオープンできない理由を調べて、操作をやり直してください。 ファイルをオープンできない一般的な理由としては、間違った名前を指定した、ファイルをオープンするための適正な権限がない、ファイルの所有者でない、などがあります。

---

**ANR9906E (AIX)** *volume name* という名前のボリュームがシステム上で可能なボリューム・サイズを超えました。最大許容サイズは *allowed size* です。

説明: ボリュームを開こうとしているときに、ボリューム・サイズが最大許容値を超えていることをサーバーが検出しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: より小さな複数のボリュームを定義してください。

---

**ANR9950W (Windows)** 重要 — ライセンス・オプションはファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーがオプション・ファイルへの書き込みを試みると、エラーを検出します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびオプション・ファイルが読み取り専用としてマークされていないことを確認してください。

---

**ANR9951W (Windows)** 重要 — ライセンス・オプションはファイル *filespec* に書き込むことができませんでした。

説明: サーバーがオプション・ファイルのクローズを試みると、エラーを検出します。

システムの処置: サーバーは処理を続行します。

ユーザーの処置: 十分なディスク・スペースがあること、およびオプション・ファイルが読み取り専用としてマークされていないことを確認してください。

---

**ANR9952E (Windows)** *Command:* ライセンス・ストレージ容量に無効値 *value* が指定されました。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を使用してコマンドを実行します。

---

**ANR9953E (Windows)** *Command:* ライセンスされたクライアント数に無効値 *value* が指定されました。

説明: 示されているコマンドが無効値を指定して出されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行しますが、このコマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 有効な値を使用してコマンドを実行します。

---

**ANR9955W (Windows)** ダイナミック・リンク・ライブラリー *dynamic link library* をロードできません。

説明: サーバー・モジュールは、示されたダイナミック・リンク・ライブラリーをロードできません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、ダイナミック・リンク・ライブラリーを必要とする機能は、作動不能になります。

ユーザーの処置: ダイナミック・リンク・ライブラリー・ディレクトリーがアクセス可能であることを、確認してください。これがサーバーの評価コピーである場合は、DSMREG ライブラリーは購入された Windows サーバーだけに提供されるため、このメッセージはライブラリーに対して正常のものです。サーバーのライセンス付与は、一定期間だけライセンス・オプションの例を提供する「試用および購入」モードを前提としています。

---

**ANR9956E (Windows)** ダイナミック・リンク・ライブラリー *dynamic link library* から、プロシージャ・アドレスをロードすることができません。

説明: サーバー・モジュールは、示されたダイナミック・リンク・ライブラリー中のルーチンの、アドレスをロードすることができません。

システムの処置: サーバーの操作は続行されますが、ダ

イナミック・リンク・ライブラリーを必要とする機能は、作動不能になります。

ユーザーの処置: ダイナミック・リンク・ライブラリー・ディレクトリーがアクセス可能であることを、確認してください。この問題が続いて起こる場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9957W (Windows)** 1 つ以上の評価用ライセンスが *expiration date* に満了します。

説明: サーバーの購入バージョンで実行している場合であっても、指定の日付に有効期限が切れる 1 つ以上の登録済みライセンスがあります。これは通常、Windows 用のサーバーの購入前に評価ライセンスを使用していた時に起こります。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバーを停止して、サーバー始動ディレクトリーのノード・ロック・ファイルを消去します。サーバーの再始動後に REGISTER LICENSE コマンドを使用して、Windows サーバーと一緒に購入したライセンス取得済み機能を定義してください。これらのライセンスには有効期限がないので、正式ライセンスの再登録後にはこのメッセージは表示されません。このメッセージが続いて表示される場合には、サービス担当員に連絡してください。

---

**ANR9958W (Windows)** ノード項目 *node name* が、活動ディレクトリーのこのサーバーの定義から、除去されました。

説明: REMOVE NODE コマンドへの応答として、要求されたバックアップ/アーカイブ・ノードが、Active Directory のこのサーバーの定義から除去されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9959W (Windows)** ノード項目 *node name* が、活動ディレクトリーのこのサーバーの定義から、除去されていません。

説明: REMOVE NODE コマンドへの応答として、要求されたバックアップ/アーカイブ・ノードは、Active Directory のこのサーバーの定義から除去されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: Active Directory のノード項目を除去するには、サーバー・オプション・ファイルでオプション "adunregister" が「はい」に設定されていなければなりません。また、ドメイン・コントローラーも使用可能になっていなければなりません。「Active

Directory の構成」ウィザードを使用して、サーバーの定義を、手動で更新することができます。

---

**ANR9960W (Windows)** ノード項目 *node name* が、活動ディレクトリーのこのサーバーの定義に、追加されました。

説明: REGISTER NODE コマンドへの応答として、要求されたバックアップ/アーカイブ・ノード項目が、Active Directory のこのサーバーの定義に追加されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9961W (Windows)** ノード項目 *node name* が、活動ディレクトリーのこのサーバーの定義に追加されていません。

説明: REGISTER NODE コマンドへの応答として、要求されたバックアップ/アーカイブ・ノード項目は、Active Directory のこのサーバーの定義に追加されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: Active Directory のノード項目を登録するには、サーバー・オプション・ファイルでオプション "adregister" が「はい」に設定されていなければなりません。また、ドメイン・コントローラーも使用可能になっていなければなりません。「Active Directory の構成」ウィザードを使用して、サーバーの定義を、手動で更新することができます。

---

**ANR9962W (Windows)** ノード項目 *node name* が、活動ディレクトリーのこのサーバーの定義で、名前変更されました。

説明: RENAME NODE コマンドへの応答で、要求されたバックアップ・アーカイブ・ノードが示されている新しい名前に変更されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9963W (Windows)** ノード項目 *node name* が、活動ディレクトリーのこのサーバーの定義で、名前変更されていません。

説明: RENAME NODE コマンドへの応答として、要求されたバックアップ/アーカイブ・ノードは、名前変更されていません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: Active Directory のノードを名前変

更するには、サーバー・オプション・ファイルでオプション "adregister" および "adunregister" が「はい」に設定されていなければなりません。また、ドメイン・コントローラーも使用可能になっていなければなりません。「Active Directory の構成」ウィザードを使用して、サーバーの定義を、手動で更新することができます。

---

**ANR9964W (Windows)** Active Directory へのアクセスに失敗しました。RC: *return code*

説明: Active Directory サーバーと通信できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・オプション・ファイルのオプション "adsetdc" を使用して、Active Directory が入っているドメイン・コントローラーの TCP/IP アドレスを、明示的に指定してください。

---

**ANR9965W (Windows)** 活動ディレクトリーの、このサーバーの初期ノード・リストを作成できませんでした。

説明: 始動時に、サーバーの登録済みノードを Active Directory のサーバー定義に追加できませんでした。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: サーバー・オプション・ファイルのオプション "adsetdc" を使用して、Active Directory が入っているドメイン・コントローラーの TCP/IP アドレスを、明示的に指定してください。

---

**ANR9966I (Windows)** NodeName *node name*。

説明: NodeName が Active Directory に登録されました。

システムの処置: サーバーは操作を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9967I (Windows)** サーバー *server name* が活動ディレクトリーに定義されました。

説明: サーバーが Active Directory に登録されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9968I (Windows)** 活動ディレクトリーへのアクセスに成功しました。

説明: Active Directory サーバーに接続できました。

システムの処置:

ユーザーの処置: ありません。

---

**ANR9969E (Windows)** ボリューム *volume name* をオープンすることができません。最大の理由は、他の **IBM Spectrum Protect** サーバーが実行されており、この場所に、このボリュームが割り当てられているためです。

説明: 指定したボリュームをオープンできるのは、一度に 1 つの IBM Spectrum Protect サーバーだけです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーが未始動です。

ユーザーの処置: 他の IBM Spectrum Protect サーバーが既に実行されているかどうか、およびそれがこのボリュームを使用しているかどうかを調べてください。

---

### **ANR9999D** (*component*)(*code*):(*text*)

説明: このメッセージの診断テキストは、サーバー処理またはアルゴリズムに関連しています。情報は、サーバーで起こる処理例外およびその他の非標準状態を報告するためのものです。(component)、(code)、および (text) は、メッセージの原因と、メッセージを発行するサーバー処理またはアルゴリズムによって異なり、サーバー処理は続行される場合があります。

システムの処置: SET CONTEXTMESSAGING コマンドを発行し、メッセージ・コンテキスト報告を ON に設定してください。これにより、サーバーがメッセージを生成するときに追加の情報を受け取ることができます。

ユーザーの処置: このメッセージの前後に表示されていたエラー・メッセージを調べ、問題があればそれを訂正してください (可能な場合)。このメッセージの原因を判別または解決できない場合は、サポート担当員に連絡してください。サポート担当員に連絡するときは、このメッセージのテキスト全体を報告してください。



---

## 第 4 章 サーバー・メッセージの入出力コードの説明

IBM Spectrum Protect メッセージには、入出力 (I/O) コードが含まれていることがあります。コードは、命令コード、完了コード、追加センス・コード (ASC) コード、および追加センス・コード修飾子 (ASCQ) コードのいずれかです。

サポートされるすべてのオペレーティング・システムで出される、IBM Spectrum Protect サーバーからの入出力エラー・メッセージについて、コードの説明が記載されています。

コード 説明

**OP** 失敗した入出力操作。 次の値が表示される可能性があります。

- READ
- WRITE
- FSR (前送りスペース・レコード)
- RSR (逆送りスペース・レコード)
- FSF (前送りスペース・ファイル)
- RSF (逆送りスペース・ファイル)
- WEOF (ファイル終わり (EOF) マーク書き込み)
- OFFL (テープの巻き戻し・アンロード)
- FLUSH (フラッシュ)
- GET\_MEDIUM\_INFO (メディア情報の取得)
- LOCATE (位置指定)
- QRYLBP (論理ブロック保護の照会)
- RDBLKID (ブロック ID の読み取り)
- SETLBP (論理ブロック保護の設定)
- SETMODE (モードの設定)
- REW (巻き戻し)
- SPACEEOD (データの終わりのスペース)
- TESTREADY (テスト・ドライブが作動可能)

**CC** 入出力完了コード。 この値は、エラーが発生したときにデバイス・ドライバからサーバーに戻されます。 完了コードのリストについては、842 ページの『完了コードと命令コードの値の概要』を参照してください。テープ・ライブラリーのシステム呼び出しおよびライブラリー入出力制御要求のエラーの説明については、技術情報 S7002972 を参照してください。

**KEY** エラーからのセンス・バイトのバイト 2。 以下に一部の定義がリストされています。

- 0 = 追加センス・バイト利用不能
- 1 = 回復エラー
- 2 = 作動不能
- 3 = メディア・エラー

4 = ハードウェア・エラー  
 5 = 正しくない要求  
 6 = 装置アテンション (SCSI バス・リセットなど)  
 7 = データ保護  
 8 = ブランク検査  
 9 = ベンダー特定  
 A = コピー取り消し  
 B = 取り消されたコマンド  
 C = 廃止  
 D = ボリュームのオーバーフロー  
 E = 比較誤り  
 F = 予約済み

### ASC/ASCQ

ASC コードと ASCQ コードはセンス・バイト 12 と 13 です。デバイスとともに提供されるドライブまたはライブラリー参照資料は、KEY、ASC および ASCQ の各フィールドの値を説明する表を含んでいます。848 ページの『標準の ASC コードと ASCQ コードの説明』は、ASC コードと ASCQ コードの標準の値に関する補足情報を示しています。

### オペレーティング・システムのエラー・コード

コマンドが失敗すると、オペレーティング・システムはエラー番号を返します。エラー・コードの意味を判別するには、次の処置を行います。

AIX®、HP-UX、および Solaris の各プラットフォームでは、`/usr/include/sys` ディレクトリーの `errno.h` ファイルを確認してください。このファイルは、エラー・コードの定義を示しています。

Linux プラットフォームでは、`/usr/include/asm-generic` ディレクトリーの `errno-base.h` ファイルおよび `errno.h` ファイルを確認してください。これらのファイルは、コードの定義を示しています。

Windows プラットフォームでは、Microsoft サポートに連絡して、エラー・メッセージに関する支援を受けてください。

## 完了コードと命令コードの値の概要

IBM Spectrum Protect メッセージには、デバイス・ドライバーからのデバイス・ドライバー完了コードが含まれている可能性があります。

### デバイス・ドライバーの完了コード：共通コード

IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーは、すべての装置クラスに共通の完了コードを提供しています。

次の表に、IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーに共通の完了コード値を示します。各項目には、入出力エラー・メッセージについての説明と推奨処置が示されています。推奨処置を実行した後で、失敗した操作を再試行します。

表 1. 全装置クラス共通の完了コード値

10 進数	16 進数	説明	推奨処置
200	X'C8'	装置が障害条件を示していますが、センス・データが使用できません。	失敗した操作をやり直してください。

表 1. 全装置クラス共通の完了コード値 (続き)

10 進数	16 進数	説明	推奨処置
201	X'C9'	デバイス・ドライバーが失敗しました。	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
202	X'CA'	装置 EEPROM が失敗しました。	デバイスをテストします。必要な場合には、デバイスの保守を行います。
203	X'CB'	手操作による介入が必要です。	デバイスの問題点を訂正する。問題としては、テープの張り付き、ヘッドの汚れ、ライブラリー・アームのジャムなどが考えられます。
204	X'CC'	システムは入出力エラーから回復しました。これは、通知専用です。	アクションは不要です。
205	X'CD'	SCSI アダプターが失敗しました。	ケーブルの緩み、ピンのゆがみ、不適切なケーブル、SCSI アダプターの不具合、不適切な終了、不適切なターミネーターなどを検査します。
206	X'CE'	一般的な SCSI 障害が発生しました。	ケーブルの緩み、ピンのゆがみ、不適切なケーブル、SCSI アダプターの不具合、不適切な終了、不適切なターミネーターなどを検査します。
207	X'CF'	装置は、要求されたアクションを実行できません。	デバイスがオンであり、作動可能状態であることを確認します。ドライブが <b>DEFINE DRIVE</b> コマンドを使用して適切に定義されていることを確認してください。装置クラスが <b>DEFINE DEVCLASS</b> コマンドを使用して適切に定義されていることを確認してください。
208	X'D0'	コマンドは停止しました。	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
209	X'D1'	装置マイクロコードで障害が検出されました。	ドライブのマイクロコード・レベルを検査する。ドライブのメーカーに連絡して、最新レベルを要求してください。
210	X'D2'	装置の電源が切れたか、SCSI バスがリセットされたか、あるいはテープが手操作でロード/排出されたために装置がリセットされました。	失敗した操作をやり直してください。
211	X'D3'	SCSI バスが使用中です。	SCSI ID が正しいデバイスに正しく割り当てられており、かつデバイスが他の処理からのアクセスを受けていないことを確認します。
212	X'D4'	このデバイスでは永続予約はサポートされません。	アクションは不要です。
213	X'D5'	永続予約操作は失敗しました。	デバイスをリセットして、操作を再試行してください。それでも問題が解決されない場合は、IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。

## デバイス・ドライバーの完了コード: メディア・チェンジャー

IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーは、メディア・チェンジャー・デバイスに固有の完了コードを提供しています。

次の表に、メディア・チェンジャーに関する IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーの完了コード値を示します。各項目には、入出力エラー・メッセージについての説明と推奨処置が示されています。推奨処置を実行したあと、失敗した操作を再試行します。

表 2. メディア・チェンジャーに関する完了コード値

10 進数	16 進数	説明	推奨処置
300	X'12C'	カートリッジ出入り口エラー	ジャムを起こしたボリウムの開始/終了ポートを検査する。
301	X'12D'	カートリッジのロード障害	ジャムを起こしたボリウムのドライブを検査する。AIX 上で <code>errpt</code> を表示してハードウェア・エラーを検査する。
302	X'12E'	障害のあるドライブにカートリッジ	ジャムを起こしたボリウムのドライブを検査する。AIX 上で <code>errpt</code> を表示してハードウェア・エラーを検査する。
303	X'12F'	カルーセルがロードされていません	カルーセルが正しくはめ込まれていて、ドアが閉じていることを確認します。
304	X'130'	チェンジャーの障害	AIX 上で <code>errpt</code> を表示してハードウェア・エラーを検査する。
305	X'131'	ドライブの障害	ヘッドが清掃済みであることを確認します。AIX 上で <code>errpt</code> を表示してハードウェア・エラーを検査する。
306	X'132'	ドライブまたはメディアの障害	ヘッドが清掃済みであることを確認します。AIX 上で <code>errpt</code> を表示してハードウェア・エラーを検査する。
307	X'133'	出入り口の障害	ハードウェア・エラーが発生していないか、テープ・ライブラリー・インターフェースを確認してください。エラーがない場合は、IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
308	X'134'	出入り口ポートが存在していません	ハードウェア・エラーが発生していないか、テープ・ライブラリー・インターフェースを確認してください。エラーがない場合は、IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
309	X'135'	ライブラリー監査エラー	ジャムを起こしているボリウムがないことを確認する。ハードウェアのエラーによるライブラリー監査の失敗。 AIX 上で <code>errpt</code> を表示してハードウェア・エラーを検査する。

表 2. メディア・チェンジャーに関する完了コード値 (続き)

10 進数	16 進数	説明	推奨処置
310	X'136'	ライブラリーがいっぱいです	ジャムを起こしたボリュームを検査する。ボリュームが再配置されていないことを確認します。ライブラリーが満杯でない場合は、 <b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
311	X'137'	メディア・エクスポート	ハードウェア・エラーが発生していないか、テープ・ライブラリー・インターフェースを確認してください。エラーがない場合は、IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
312	X'138'	スロットの障害	スロット中でジャムが起こっていないことを確認する。
313	X'139'	スロットまたはメディアの障害	スロット中でボリュームがジャムを起こしていないこと、およびボリュームが再配置されていないことを確認します。問題が解決しない場合は、 <b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
314	X'13A'	ボリュームを移動しようとした時にソース・スロットまたはドライブが空でした	ボリュームが再配置されていないことを確認します。問題が解決しない場合は、 <b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
315	X'13B'	ボリュームを移動しようとした時に宛先スロットまたはドライブが空でした	ボリュームが再配置されていないこと、およびボリュームがドライブ中で詰まっていることを確認します。問題が解決しない場合は、 <b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
316	X'13C'	クリーナー・カートリッジがインストールされました	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
317	X'13D'	メディアが排出されない	ボリュームが再配置されていないこと、およびボリュームがドライブ中で詰まっていることを確認します。問題が解決しない場合は、 <b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
318	X'13E'	入出力ポートが構成されない	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
319	X'13F'	最初の宛先が空	ボリュームが再配置されていないことを確認します。問題が解決しない場合は、 <b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
320	X'140'	インベントリー情報が無い	<b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
321	X'141'	読み取りエレメントの状況がミスマッチ	ホスト・バス・アダプター・ドライバとファームウェアが現行レベルにあることを確認してください。ハードウェア・エラーが発生していないか、テープ・ライブラリー・インターフェースを確認してください。エラーがない場合は、IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。

表 2. メディア・チェンジャーに関する完了コード値 (続き)

10 進数	16 進数	説明	推奨処置
322	X'142'	範囲の初期化に失敗	ハードウェア・エラーが発生していないか、テープ・ライブラリー・インターフェースを確認してください。エラーがない場合は、IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。

## デバイス・ドライバーの完了コード: 磁気テープ装置

IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーは、磁気テープ装置に固有の完了コードを提供します。

次の表に、磁気テープ装置の IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーの完了コード値を示します。各項目には、入出力エラー・メッセージについての説明と推奨処置が示されています。推奨処置を試行したあと、失敗した操作を再試行します。

表 3. 磁気テープ装置の完了コード値

10 進数	16 進数	説明	推奨処置
400	X'190'	メディアの物理的な終わりが検出されました	ドライブのヘッドが清掃済みであることを確認します。
401	X'191'	データの終わりが検出された	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
402	X'192'	メディアが破壊されました	ヘッドが清掃済みであることを確認します。メディアが物理的な損害を受けていないこと、またメディアのメーカーに指定されている耐用年数に達していないことを確認してください。
403	X'193'	メディアの障害	ヘッドが清掃済みであることを確認します。メディアが物理的な損害を受けていないこと、またメディアのメーカーに指定されている耐用年数に達していないことを確認してください。
404	X'194'	メディアの非互換性	メディアの長さおよびタイプが正しいものであることを確認します。
406	X'196'	要求されたセクターが無効です	内部サーバー・エラー。 IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
407	X'197'	書き込み保護	ボリュームが書き込み保護されていないことを確認します。
408	X'198'	メディアとドライブをクリーニングしてください	クリーニング・カートリッジでドライブ・ヘッドをクリーニングしてください。
409	X'199'	メディアの障害	ヘッドが清掃済みであることを確認します。メディアが物理的な損害を受けていないこと、またメディアのメーカーに指定されている耐用年数に達していないことを確認してください。

表 3. 磁気テープ装置の完了コード値 (続き)

10 進数	16 進数	説明	推奨処置
410	X'19A'	クリーニング完了	失敗した操作をやり直してください。
411	X'19B'	メディアの論理的な終わりが検出された	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
412	X'19C'	ドライブにメディアが入っていません	ドライブ中のメディアが正しく設置されていることを確認します。問題が解決しない場合は、 <b>AUDIT LIBRARY</b> コマンドを開始します。
413	X'19D'	メディアの始まりを検出しました	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
414	X'19E'	消去の障害	ドライブ・ヘッドを清掃する。
415	X'19F'	既書き込まれた WORM メディアに上書きしようとしてしました	内部サーバー・エラー。 IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
416	X'1A0'	正しくない長さのブロックが読み取られました	ヘッドが清掃済みであることを確認します。AIX 上で <b>errpt</b> を表示してハードウェア・エラーを検査する。
417	X'1A1'	読み取り専用のオープン	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
418	X'1A2'	書き込み専用オープン	IBM Spectrum Protect サポートに連絡してください。
419	X'1A2'	メディアのスキャンに失敗	ドライブおよびメディアを清掃する。
420	X'1A4'	論理書き込み保護	ヘッドが清掃済みであることを確認します。ハードウェア・エラー用のオペレーティング・システムのエラー・ログを検査する。ライト・プロテクト・タブがオフであることを確認します。SAN Tape Acceleration をオフにするか <b>CHECKTAPEPOS</b> を OFF または TSMonly に設定してください。
422	X'1A6'	クリーニングが必要です。	テープ装置を清掃する。
423	X'1A7'	メディア・エラー	ハードウェア・エラー用のオペレーティング・システムのエラー・ログを検査する。問題のあるメディアを使用していないかどうか確認します。
424	X'1A8'	暗号化に関連したエラーが発生しました	装置クラスおよび磁気テープ・ドライブの暗号化設定を確認します。
425	X'1A9'	暗号化解除に関連したエラーが発生しました。	装置クラスおよび磁気テープ・ドライブの暗号化設定を確認します。
425	X'1AA'	暗号化に関連した外部エラーが発生しました	装置クラスおよび磁気テープ・ドライブの暗号化設定を確認します。
426	X'1AB'	CRC 不一致が発生しました	メディアのメーカーに指定されている耐用年数に達していないことを確認してください。操作を再試行してください。

## 標準の ASC コードと ASCQ コードの説明

標準の ASC コードと ASCQ コードについて説明します。

ASC コードと ASCQ コードは、SCSI-2 デバイスの場合はバイト 12 と 13 です。Windows システムでは、これらのコードは Windows イベント・ログに表示されますが、情報の入っているバイトは異なります。

推奨処置については、ANR8300E または ANR8302E を参照してください。

次の表は、いくつかの標準的な ASC コードと ASCQ コードの説明を示しています。おのおのの値は、16 進数であることを示す 0x の接頭部を持っています。説明はデバイス間で異なることに注意してください。個々のデバイスに応じた ASC コードと ASCQ コードの正確な説明については、デバイスに付属の資料を参照してください。

表 4. 標準の ASC コードと ASCQ コードの説明

ASC	ASCQ	説明
0x00	0x00	追加センスなし
0x00	0x01	ファイル・マーク検出
0x00	0x02	メディアの終わりを検出
0x00	0x03	セット・マーク検出
0x00	0x04	メディアの始まり
0x00	0x05	データ終了
0x00	0x06	入出力プロセス終了
0x02	0x00	シーク完了なし
0x03	0x00	デバイス書き込み障害
0x03	0x01	現在書き込みなし
0x03	0x02	過剰書き込みエラー
0x04	0x00	論理装置作動不能
0x04	0x01	作動可能になる
0x04	0x02	作動不能、初期化コマンドが必要
0x04	0x03	作動不能、手動介入が必要
0x04	0x04	作動不能、フォーマット中
0x05	0x00	選択に対して応答なし
0x06	0x00	参照先位置が検出不能
0x07	0x00	複数のデバイスを選択
0x08	0x00	通信障害
0x08	0x01	通信タイムアウト
0x08	0x02	通信パリティ・エラー
0x09	0x00	トラック追従エラー
0x0A	0x00	エラー・ログのオーバーフロー
0x0C	0x00	書き込みエラー
0x11	0x00	回復不能読み取りエラー
0x11	0x01	読み取り再試行回数到達



表 4. 標準の ASC コードと ASCQ コードの説明 (続き)

ASC	ASCQ	説明
0x11	0x02	長すぎて訂正不能なエラー
0x11	0x03	多重読み取りエラー
0x11	0x08	ブロック読み取り不完全
0x11	0x09	ギャップ検出不能
0x11	0x0A	訂正誤りのエラー
0x14	0x00	記録済みエンティティ検出不能
0x14	0x01	レコード検出不能
0x14	0x02	ファイル・マーク/セット・マーク検出不能
0x14	0x03	データの終わり検出不能
0x14	0x04	ブロック・シーケンス・エラー
0x15	0x00	ランダム位置決めエラー
0x15	0x01	機械的位置決めエラー
0x15	0x02	読み取り位置決めエラー
0x17	0x00	エラー訂正適用なし
0x17	0x01	再試行による回復
0x17	0x02	positive ヘッド・オフセットによる回復
0x17	0x03	negative ヘッド・オフセットによる回復
0x18	0x00	ECC 適用
0x1A	0x00	パラメーター・リスト長さのエラー
0x1B	0x00	同期データ転送エラー
0x20	0x00	命令コード無効
0x21	0x00	ブロック範囲外
0x21	0x01	エレメント・アドレス無効
0x24	0x00	CDB 内無効フィールド
0x25	0x00	LUN サポートなし
0x26	00	パラメーター・リスト内の無効フィールド
0x26	0x01	パラメーターがサポートされていない
0x26	0x02	パラメーター値無効
0x26	0x03	しきい値パラメーターがサポートされていない
0x27	0x00	書き込み保護
0x28	0x00	作動不能から作動可能へ
0x28	0x01	インポート/エクスポートのエレメント・アクセス
0x29	0x00	電源オン、リセット、バス・リセット
0x2A	0x00	パラメーター変更
0x2A	0x01	モード・パラメーター変更
0x2A	0x02	ログ・パラメーター変更
0x2B	0x00	コピー実行不能
0x2C	0x00	コマンド・シーケンス・エラー
0x2D	0x00	更新時上書きエラー
0x2F	0x00	イニシエーターがコマンドをクリアした

表 4. 標準の ASC コードと ASCQ コードの説明 (続き)

ASC	ASCQ	説明
0x30	0x00	非互換メディア
0x30	0x01	メディア・フォーマット不明
0x30	0x02	非互換フォーマット・メディア
0x30	0x03	クリーニング・カートリッジ・インストール済み
0x31	0x00	メディア・フォーマット破壊
0x33	0x00	テープ長さエラー
0x37	0x00	パラメーター丸め済み
0x39	0x00	パラメーター保管のサポートなし
0x3A	0x00	メディアが存在しない
0x3B	0x00	順次位置決めエラー
0x3B	0x01	BOT における位置決めエラー
0x3B	0x02	EOT における位置決めエラー
0x3B	0x08	再位置決めエラー
0x3B	0x0D	メディア宛先エレメント・フル
0x3B	0x0E	メディア・ソース・エレメントが空
0x3D	0x00	メッセージ内に無効ビット
0x3E	0x00	LUN が自己構成でない
0x3F	0x00	操作条件変更済み
0x3F	0x01	マイクロコード変更済み
0x3F	0x02	操作条件変更済み
0x3F	0x03	照会データ変更済み
0x3F	0x0E	報告された LUN データ変更済み
0x43	0x00	メッセージ・エラー
0x44	0x00	内部ターゲット障害
0x45	0x00	選択/再選択障害
0x46	0x00	ソフト・リセット失敗
0x47	0x00	SCSI パリティ・エラー
0x48	0x00	イニシエーターがメッセージ受信を検出
0x49	0x00	無効なメッセージ・エラー
0x4A	0x00	コマンド・フェーズ・エラー
0x4B	0x00	データ・フェーズ・エラー
0x4C	0x00	LUN 自己構成障害
0x4E	0x00	オーバーラップ・コマンド試行
0x50	0x00	書き込み追加エラー
0x50	0x01	書き込み追加位置エラー
0x50	0x02	位置エラー (タイミング)
0x51	0x00	消去の障害
0x52	0x00	カートリッジ障害
0x53	0x00	ロード/メディア排出障害
0x53	0x01	テープ・アンロード障害

表 4. 標準の ASC コードと ASCQ コードの説明 (続き)

ASC	ASCQ	説明
0x53	0x02	メディア除去保護
0x5A	0x00	オペレーター状態変更済み
0x5A	0x01	オペレーター・メディア除去
0x5A	0x02	オペレーター書き込み保護
0x5A	0x03	オペレーター書き込み許可
0x5B	0x00	ログ例外
0x5B	0x01	しきい値条件合致
0x5B	0x02	ログ・カウンター最大
0x5B	0x03	ログ・リスト・コードを使い尽くした

## Windows イベント・ログの ASC コードと ASCQ コード

ASC コードと ASCQ コードは、Windows イベント・ログに表示されます。

ASC と ASCQ コードは、Windows イベント・ログのデータ域に 16 進値として表示されます。イベント・ログは、表示済みの情報については 0x 接頭部を省略します。

Windows イベント・ログの中では、IBM Spectrum Protect AdsmScsi デバイス・ドライバによってソース AdsmScsi を含む項目が作成されます。AdsmScsi デバイス・ドライバまたは Windows テープ・デバイス・ドライバからの項目には、次の情報が含まれています。

- バイト 3E はセンス・キーです
- バイト 3D は ASC です
- バイト 3C は ASCQ です

バイト 44 が 'ef' であれば、記録されるエラーはチェック条件エラーではありません。これらのエラーの例は、コマンドのタイムアウト、またはデバイス選択エラーです。



---

## 第 5 章 AIX システム・エラー・ログのデバイス・エラー・コード

一部のデバイス・エラー・コードは、AIX システム・エラー・ログに記録されています。

### **ADSM\_DD\_LOG1 (0xAC3AB953)**

#### **DEVICE DRIVER SOFTWARE ERROR**

このエラーは、問題が IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバー・ソフトウェアにあると思われるときに、IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーによって記録されます。IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーが正しくない命令コードを指定して SCSI I/O コマンドを発行すると、コマンドは失敗し、エラーがこの ID とともにログに記録されます。ただちにこのエラーを IBM Spectrum Protect サポートに報告してください。

詳細データ: センス・データ

センス・データには、エラーの原因を特定できる情報が入っています。エラー項目に含まれるすべてのデータを IBM Spectrum Protect サポートに報告してください。

### **ADSM\_DD\_LOG2 (0x5680E405)**

#### **HARDWARE/COMMAND-ABORTED ERROR**

このエラーは、SCSI I/O コマンドに応じてハードウェア・エラーまたは停止コマンド・エラーをデバイスが報告するときに、IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーによって記録されます。

詳細データ: センス・データ

センス・データには、障害が起こったハードウェア・コンポーネント、および障害の原因を特定できる情報が入っています。特定デバイスのセンス・データを解釈するには、デバイスの SCSI 仕様マニュアルを参照してください。

### **ADSM\_DD\_LOG3 (0x461B41DE)**

#### **MEDIA ERROR**

このエラーは、SCSI I/O コマンドが失敗する場合は、メディアが破壊されたか非互換であるため、あるいはドライブにクリーニングが必要なために、IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーによって記録されます。

詳細データ: センス・データ

センス・データには、エラーの原因を特定できる情報が入っています。特定デバイスのセンス・データを解釈するには、デバイスの SCSI 仕様マニュアルを参照してください。

### **ADSM\_DD\_LOG4 (0x4225DB66)**

#### **TARGET DEVICE GOT UNIT ATTENTION**

このエラーは、デバイスからの特定の UNIT ATTENTION 通知を受信した後で、IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーによって記録されます。UNIT ATTENTION は通知であり、通常はデバイスの状態が一部変更されたことを示します。例えば、ライブラリー・デバイスのドアがオープンされてからクローズされると、このエラーが記録されます。このイベントがログに記録されている場合は、活動が起こり、ライブラリー・インベントリが変更された可能性があることを示します。

詳細データ: センス・データ

センス・データには、UNIT ATTENTION の理由を記述する情報が入っています。特定デバイスのセンス・データを解釈するには、デバイスの SCSI 仕様マニュアルを参照してください。

#### **ADSM\_DD\_LOG5 (0xDAC55CE5)**

##### **PERMANENT UNKNOWN ERROR**

このエラーは、SCSI I/O コマンドに応じて、デバイスからの不明エラーを受信した後で、IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーによって記録されます。エラーが続いて起こる場合は、IBM Spectrum Protect サポート担当者に報告してください。

詳細データ: センス・データ

センス・データには、エラーの原因を特定できる情報が入っています。エラー項目に含まれるすべてのデータを IBM Spectrum Protect サポートに報告してください。

#### **ADSM\_DD\_LOG6 (0xBC539B26)**

##### **WARNING OR INFORMATIONAL MESSAGE FOR TARGET DEVICE**

このエラーは、SCSI I/O コマンドに応じて、デバイスからの警告メッセージまたは通知メッセージを受信した後で、IBM Spectrum Protect デバイス・ドライバーによって記録されます。これらの通知メッセージは、問題を示すものではない可能性があります。メッセージが引き続き出される場合は、IBM Spectrum Protect サポートに報告してください。

詳細データ: センス・データ

センス・データには、メッセージの理由を判別することができる情報が入っています。項目に含まれるすべてのデータを IBM Spectrum Protect サポートに報告してください。

---

## 付録. IBM Spectrum Protect 製品ファミリーのアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーが情報技術コンテンツを快適に使用できるように支援します。

### 概要

IBM Spectrum Protect ファミリーの製品は、以下の主要なアクセシビリティ機能を備えています。

- キーボードのみによる操作
- スクリーン・リーダーを使用する操作

IBM Spectrum Protect ファミリーの製品では、US Section 508 ([www.access-board.gov/guidelines-and-standards/communications-and-it/about-the-section-508-standards/section-508-standards](http://www.access-board.gov/guidelines-and-standards/communications-and-it/about-the-section-508-standards/section-508-standards)) および Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0 ([www.w3.org/TR/WCAG20/](http://www.w3.org/TR/WCAG20/)) に確実に準拠するために、最新の W3C 標準である WAI-ARIA 1.0 ([www.w3.org/TR/wai-aria/](http://www.w3.org/TR/wai-aria/)) を使用します。アクセシビリティ機能を利用するには、最新リリースのスクリーン・リーダーと、この製品によってサポートされる最新の Web ブラウザーを使用してください。

IBM Knowledge Center の製品資料は、アクセシビリティに対応しています。IBM Knowledge Center のアクセシビリティ機能については、IBM Knowledge Center ヘルプの「Accessibility」セクション ([www.ibm.com/support/knowledgecenter/about/releasenotes.html#accessibility](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/about/releasenotes.html#accessibility)) に記載されています。

### キーボード・ナビゲーション

この製品は、標準のナビゲーション・キーを使用します。

### インターフェース情報

ユーザー・インターフェースには、毎秒 2 回から 55 回フラッシュするコンテンツは含まれません。

Web ユーザー・インターフェースは、カスケーディング・スタイル・シートを使用することで、コンテンツを適切にレンダリングし、使いやすさを実現しています。このアプリケーションは、視覚に障害のあるユーザーがシステム表示設定を使用するための、同等の方式 (ハイコントラスト・モードなど) を備えています。デバイスまたは Web ブラウザーの設定を使用して、フォント・サイズを制御することができます。

Web ユーザー・インターフェースには、アプリケーション内の機能領域に素早く移動できる WAI-ARIA ナビゲーション・ランドマークが含まれます。

## ベンダー・ソフトウェア

IBM Spectrum Protect 製品ファミリーには、IBM 使用許諾契約書の対象とならない特定のベンダー・ソフトウェアが含まれています。これらの製品のアクセシビリティ機能について、IBM は一切の保証責任を負いません。ベンダーの製品に関するアクセシビリティ情報については、該当のベンダーにお問い合わせください。

## 関連アクセシビリティ情報

標準の IBM ヘルプ・デスクおよびサポートの各 Web サイトに加え、IBM では、聴覚障害を持つユーザーまたは聴覚機能が低下しているユーザーが販売サービスやサポート・サービスにアクセスするのに使用できる TTY 電話サービスを用意しています。

TTY サービス  
800-IBM-3383 (800-426-3383)  
(北アメリカ内)

IBM のアクセシビリティへの取り組みの詳細については、IBM Accessibility ([www.ibm.com/able](http://www.ibm.com/able)) を参照してください。



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing*  
*IBM Corporation*  
*North Castle Drive, MD-NC119*  
*Armonk, NY 10504-1785*  
*US*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

本書に含まれるパフォーマンス・データは、特定の動作および環境条件下で得られたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

#### 著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、このサンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。「© (お客

様の会社名) (西暦年)」。このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. \_年を入れる\_。

## 商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com<sup>®</sup> は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標です。

Linear Tape-Open、LTO、および Ultrium は、HP、IBM Corp. および Quantum の米国およびその他の国における商標です。

Intel および Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java<sup>™</sup> およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

## 製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

### 適用条件

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

### 個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

### 商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利 ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、

データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

## プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (「ソフトウェア・オファリング」) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie などの各種テクノロジーの使用について詳しくは、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメントのハイライト」(<http://www.ibm.com/privacy/jp/ja/>)、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント」(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』というタイトルのセクション、および「IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement」(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

---

## 用語集

IBM Spectrum Protect 製品ファミリーの用語と定義が記載されている用語集を使用できます。

IBM Spectrum Protect 用語集を参照してください。

他の IBM 製品の用語集を確認するには、IBM 用語 を参照してください。







プログラム番号: 5725-W98  
5725-W99  
5725-X15  
5725-X18

Printed in Japan